

LO STRANIERO

イタリア語 異邦人



2020/06/15
～2026/04/05
三浦 高志

参考文献等

参考文献等

イタリア語テキストはインターネットよりダウンロード

http://moodle2.units.it/pluginfile.php/29556/mod_resource/content/1/albert_camus_-_lo_straniero.pdf

(現在は、ダウンロードできない)

構文解析期間 2020/06/15 ~ 2026/04/05

三浦 高志 Takashi Miura



文の構成要素と構文解析の書式

文法書によると、日・伊・西・仏・独・英などの言語では異なる文法用語が使用されているが、この文書では英語の文法用語を基本として、独自解釈も交えて構文解析を行う。

「文」は「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」及び「形容詞」で構成される。

また「接続詞」や「関係代名詞」などは「文」と「文」を接続してより複雑な文を構成するために使用される。

文の構成要素と単語の品詞についておおまかに説明する。

「名詞」は事物の名称・状態・性質・存在などの概念を表す単語である。

「形容詞」は事物の性質・状態、人間の感覚・感情などを表す語で「名詞」を修飾する。

「副詞」は事物の状態・性質・程度や時刻・場所などを表し、「動詞」を修飾したり、他の「副詞」や「形容詞」を修飾する。

「句」は2つ以上の単語が集まって「名詞」、「形容詞」、「副詞」あるいは「動詞」の役目をするもの。それぞれ「名詞句」、「形容詞句」...などと表す。例えば、
「名詞句」は「形容詞+名詞」、「名詞+名詞」などによって作られ、
「形容詞句」は「副詞+形容詞」、「前置詞+名詞」などによって作られ、
「副詞句」は「副詞+副詞」、「前置詞+名詞」などによって作られ、
「動詞句」は「動詞+前置詞」、「動詞+副詞」、「助動詞+動詞」によって作られる。

「節」は2つ以上の単語が集まって「主語」と「動詞」を含む文を構成して、全体の中で「名詞」、「形容詞」または「副詞」の役割をする。従属節と呼ばれる。それぞれ「名詞節」、「形容詞節」および「副詞節」と表す。

2つの節が対等に結合される場合は等位節と呼ぶ。(英語で **and** や **but** で結合)

「主語」は「動詞」の動作・作用の主体を表す「名詞・句・節」または「代名詞・句」。

「動詞」は事物の動作・作用・状態・存在などを表す。

「直接目的語」は動詞の表す動作の対象となる人・物を表す「名詞・句・節」。

「間接目的語」は動詞の表す動作によって動作主または「直接目的語」が移動または状態変化する場所または動作の目的・結果を表す「名詞・句・節」または「副詞・句・節」。

注意：英語の文法書では、「間接目的語」は「直接目的語」と共に用いられることになっているが、この文書では「間接目的語」が単独で用いられる場合がある。すなわち、「主語」「動詞」「直接目的語」と「主語」「動詞」「間接目的語」の構文がある。

「補語」は「主語」または「目的語」の性質・状態を表す「名詞」「形容詞」「副詞」。

名詞・性と数

「名詞」は人または事物の名称を表す語であり、文中で「主語」、「直接目的語」、「間接目的語」または「補語」として用いられる。時には、他の「名詞」を修飾する「形容詞」として利用されたり、「時」や「場所」に関する「副詞」として利用されることがある。

「名詞」が「動詞」のように利用されて「前進！」のような命令文が作られることもある。

さらに、「名詞」として辞書に載っている単語だけでなく、「動詞」や「形容詞」または「副詞」が「名詞」的に利用されることもあるので、「名詞」の出現頻度は高い。

「代名詞」は「名詞」の代わりをする語である。代名詞を利用することで、文中に同じ単語が何度も現れるのを防いで、文を明確化することができる。

「名詞句」や「名詞節」も文中で「名詞」と同様の機能として使われる。

「名詞」は数えられる名詞「可算名詞」と数えられない名詞「不可算名詞」に分けられ、可算名詞は「普通名詞」と「集合名詞」に、不可算名詞は「固有名詞」、「物質名詞」と「抽象名詞」に分けられる。

「普通名詞」は「本」、「猫」、「机」など同じ種類の個体を多数持っているものに与えられる名称で、単数が複数かという区別を必要とする。単数の場合は「不定冠詞」か「定冠詞」を付けるのが原則である。

「集合名詞」は「委員会」、「家族」、「警察」のように人・動物・物などの集合体を指す名詞である。

「固有名詞」は「富士山」、「パリ」、「ニュートン」などのように、人・場所・事物などに固有の名称である。本来一つしかないものなので不定冠詞をつけたり、複数形にすることは原則としてない。定冠詞を付ける場合と付けない場合がある。

「物質名詞」は「空気」、「水」、「ワイン」のように物質を表す名称で、一定の形を持たず、また特別な容器を用いない限り、個々には独立して存在しない。不可算名詞なので、不定冠詞は付かないし、複数形にもならない。

「抽象名詞」は「親切」、「愛」、「悲しみ」、「真理」のように、具体的な形を持たない抽象的な概念を示す名称である。抽象名詞も数えられないから、不定冠詞は付かないし、複数形にもならない。

イタリア語・スペイン語・フランス語・ドイツ語などでは、「名詞」に付属する冠詞・形容詞は名詞と性・数の一致が必要となり、「名詞」に関係する「動詞」は名詞と数の一致が必要になる。

「直接目的語」と「間接目的語」

「僕は君にこの本をあげる」という文は、「主語：僕（は）」、「間接目的語：君に」、「直接目的語：この本（を）」、「動詞：あげる」という構成要素から作られている。そして、「動詞：あげる」の動作において動作の主体が操作・加工する対象となるものが「直接目的語：この本（を）」である。「間接目的語：君に」は「直接目的語」（または「主語」）の移動先（抽象的な概念の場所も含む）を表しており、動作の主体が操作・加工する対象ではない。

「直接目的語」は動作の主体が操作・加工する対象を示すと考えると、「人」や「物」を表す「名詞」類が使用されることが分かる。

「間接目的語」は「直接目的語」または「話者自身」の移動先を示す場所であると考え、場所を表す「人」や「物」または「場所を表す空間」を表す「名詞」類または「副詞」類が使用されることが分かる。参考：「私は両親に従う。」の「両親」は「両親の希望・意見などの抽象的な概念の場所」を表す「間接目的語」である。「間接目的語」が名詞・代名詞ならこれを「主語」として受動文を作れるが、副詞類なら受動文を作れない。

注意：一般の文法書では、「自動詞+前置詞+名詞」の「名詞」を前置詞の「目的語」と説明しているが、この文書では「前置詞+名詞」または「前置詞+副詞」を「間接目的語」と解釈して構文解析を進める。この方が文章を理解しやすいと判断したからである。

この方法によると、「私は学校へ行く」は自動詞の「行く」と前置詞が付いた「学校へ」が使われており、「学校へ」が「間接目的語」と構文解析されることになる。

しかし、一般の文法書の解説とは異なるので、学校の試験などでは間違いとされる恐れがあることを注意する必要がある。しかし、フランス語の文法はこの解釈に近い。

まとめ：「直接目的語」は「名詞」類が使われる。「～を」

「間接目的語」は「名詞・副詞」類が使われる。「～の所へ、～のために、～にとって」

形容詞

「名詞」、「代名詞」を修飾・限定するものを「形容詞」という。「形容詞」は事物の性質・状態、人間の感覚・感情などを表す語で「名詞」を修飾する。

「形容詞」類の例示：

代名詞：「私の本」、「この本」、「数冊の本」、「どんな本」の下線を付けた語句。

冠詞：「一冊の本」、「その本」の下線を付けた語句。

分詞：「眠っている赤ん坊」、「失われた時間」の下線を付けた語句。

名詞：「空軍」、「石橋」のように「名詞」+「名詞」の語句。

形容詞句：「籠の中の鳥」の下線を付けた語句（前置詞で導かれる）。

形容詞節：「これはパリで買った指輪です」の下線を付けた語句（関係代名詞で導かれる）。

まとめ：「形容詞節」を含む「形容詞」類は「名詞」類の前後に使用される。

不定冠詞

「形容詞」類の一つである。様々な意味に使われる。

1. どれでもよい、不定の人や物の一つを指す。
2. ある具体的な一つの物（人）を指す。
3. 一つの～という意味をはっきり示す。
4. ～につきの意味を示す。
5. 或る～の意味で用いる。

話の中で初めて述べる「名詞」には不定冠詞を付けて内容を説明して、二度目以降では定冠詞を付けて使う。

定冠詞

「形容詞」類の一つである。加算名詞・不加算名詞を問わず、全ての名詞の前に付けることができ、その名詞が何らかの意味で特定されたものであることを示す。

1. 先に出た「不定冠詞+名詞」を指す場合。
2. すでに述べられた事柄に関連して特定される場合。
3. 周囲の状況からそれと分かる場合。
4. ただ一つしかないものを指す場合。
5. 最上級や唯一的な意味で限定された名詞に付ける。
6. 修飾語句によって限定される場合。
7. 楽器を代表的に指す場合

副詞

「副詞」は事物の状態・性質・程度や時刻・場所などを表し、「動詞」を修飾したり、他の「副詞」や「形容詞」を修飾する。しかし、名詞・代名詞、句や節または文全体を修飾・限定することもある。

まとめ：「副詞」類は修飾する語句の近くに置かれるので、「文頭」、「主語」の前後、「動詞」の前後、「補語」の前後、「文末」のように、文中いたる所に使われる。

比較

「形容詞」や「副詞」は性質・様態・数量などの程度を表すが、他の物との間の程度の違いを比較・表現する場合は語形を変えてそれを示す。この語形変化を比較といい、原級、比較級、最上級の語形と慣用句がある。

補語

「補語」は文中で「主語」や「目的語」の性質・状態・動作を補足説明する語句である。

「彼は親切だ」、「私は学生だ」など「主語+動詞+補語」の形式で表される文では、下線部分の事を「補語」といって、「補語」は「主語」の性質・状態を補足説明している。

また、「私は彼が親切だと分かった」のように「主語+動詞+目的語+補語」の形式で表される文では、下線部分の事を「補語」というが、こちらは「主語」ではなく「目的語」（二重下線部分）を補足説明している。「補語」は主に「名詞」類または「形容詞」類が使われる。

しかし「彼はパリ出身だ」、「この本はカルロスのものだ」、「このテーブルは木製だ」などの文を「～である」を表す「動詞」を使って表現すると、下線部分は「副詞句」となる。この「副詞句」も「主語」の性質・状態を補足説明しているので「補語」である。

参考：「私は彼が全力を尽くすことを期待している。」は「主語」「不完全他動詞」「目的語」「補語」の構文によって「補語」が「目的語」の動作を補足説明している。

「補語」が必要な「動詞」は「～である」、「～になる」、「～と感じる」、「～と思われる」などの意味の「動詞」である。

まとめ：「補語」は「動詞・名詞・形容詞・副詞」が使用され性質・状態・動作を補足する。

動詞

「動詞」は人や様々な事物の動きや状態を述べる語である。

「主語」は「動詞」の動きを実行する主体である。

「動詞」の種類について：

完全自動詞：「主語」が「動詞」の動作を実行する。

不完全自動詞：「動詞」と「補語」によって「主語」の性質・状態を補足説明する。

完全他動詞：「主語」が「直接目的語」に対して「動詞」の動作を実行する。

間接他動詞：「動詞」と「間接目的語」で「主語」の移動先を示す。（フランス語文法）

授与動詞：「主語」が「間接目的語」に対して「直接目的語」を与える。

不完全他動詞：「目的語」の性質・状態を「補語」によって「動詞」で表現したり、「補語」で示される動作を「目的語」に対して「動詞」で表現する。

助動詞

「助動詞」は「動詞」と結びついて可能「～する事が出来る」、推量「～するかもしれない」、義務「～しなければならない」など、話し手の判断や心理を表す表現を追加する「法助動詞」とそれ自身は特に意味を持たず現在分詞・過去分詞と結びついて進行形・受動態・完了形などの時制・態を形成する助動詞がある。

疑問詞

「誰」、「何」、「どこ（場所）」、「いつ（時）」、「どちら（選択）」など文を形成する要素の一部分を話し相手に質問する時に、質問の種類を知らせるための語を「疑問詞」という。

「疑問詞」は文の中で、「主語」、「目的語」、「補語」または「副詞」類として機能するが、どの場合でも文頭におかれて、最初に質問の種類を明らかにする役目を果たす。

「疑問代名詞」、「疑問形容詞」および「疑問副詞」の3種類がある。

接続詞

「接続詞」は文中の語・句・節を接続する。

「等位接続詞」は文法上の働きが対等の関係にある語・句・節を結び付ける。

「従属接続詞」主節の一部として、全体で一つの名詞または副詞の働きをする節を導く接続詞を従属接続詞と呼ぶ。

「従属接続詞」+「節」→「従属節」となり、「従属節」が「名詞節」または「副詞節」として働くことになる。

まとめ：「語・句・節」+「等位接続詞」+「語・句・節」の形式で使用される。

「主語」+「動詞」+「従属接続詞」+「節」の形式で使用される。

関係詞

文中の「主語」、「目的語」または「補語」に対して説明を加える場合に、それを「先行詞」として、説明に適当な「関係詞」に続いて説明の「節」を置くことで、説明の行き届いた文を作ることができる。「先行詞」は「節」の中で「主語」、「目的語」または「補語」として機能する。

まとめ：「関係代名詞」は「名詞」類を修飾する「形容詞節」を導く。

「関係副詞」は「時」や「場所」を修飾する「副詞節」を導く。

前置詞

「名詞」・「代名詞」の前に置いて、それらと共に全体として一つの品詞の働きをする語。

前置詞と結びついた語句の品詞によって、「形容詞句」または「副詞句」として機能する。

「形容詞句」は「名詞」と結びついて「名詞句」を構成して、文中で「主語」、「目的語」または「補語」として機能する。

「副詞句」は文全体や「動詞」・「形容詞」を修飾したり、「間接目的語」として機能する。

構文解析の書式

構文解析は文を構成要素ごとに区切りを付けて、「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」および「形容詞節」に分類して、文がどのように構成されているかを分かり易く示すことが目的である。

しかし「形容詞節」は「主語」、「目的語」などと一体化されて、「主語」または「目的語」として分類することが多い。（「形容詞節」は名詞句の一部になる）

「目的語」は必要に応じて「間接目的語」と「直接目的語」を明示する。

本文書では、日本語の文を最初に示してから、次の行に外国語の文を示す。そして、外国語の文の後ろまたは次の行に文全体の構成要素を示す。さらに、その次の行からは、各構成要素の語句ごとにその読み、語句の品詞（「動詞」の場合はその活用も表記）、日本語の意味、構成要素名を1行から3行程度のスペースを使用して表示する。

複数の語が集まって「主語」、「動詞」、「目的語」または「補語」が作られる場合には、それぞれの単語の読み、品詞、意味を表示する場合がある。この場合には、次の書式に従って表示する。

「語句」「読み」「品詞の記号」「意味」（「構成要素名」）

「品詞の記号」

名詞：男性名詞 n.m、女性名詞 n.f

代名詞：pron、pron.f.のように性別を追加することがある。

形容詞：男性形容詞 adj.m 女性形容詞 adj.f

複数：pl.（名詞、代名詞と形容詞の品詞記号の前または後ろに置く）

副詞：adv、「構成要素名：修飾する語句」の形式で説明を加える。

動詞：接続法・1人称単数現在なら接・1単現のように表記、自動詞 v.i、他動詞 v.t

動詞句：否定詞+動詞、助動詞+動詞、助動詞+過去分詞、動詞+不定詞など複数の動詞関連語句は、動詞としての機能と自動詞／他動詞の区別などを示す

注意：動詞の未来、過去または完了形の場合、<「原形」の形式で示すときは原形の意味を表示するが、「原形」を示さない場合は未来、過去または完了形の意味を表示する。

接続詞：conj. 接続詞は単語そのものを表示する

前置詞：prep

複数の単語によって名詞句などが作られる場合には、複数の単語の品詞を表示してから、→「複数の単語の語句」、品詞記号、意味、構成要素名の形式で表示する。

数字は読みのスペルをカッコ内に表記した。

構成要素には「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」、「形容詞」のように下線を追加した。「補語」、「副詞」および「形容詞」は同じ下線である。また、「間接目的語」と「直接目的語」も同じ下線である。「動詞句」は「動詞」と同じ下線である。

構文解析の例

2 週間の間、風邪のために喉が痛い。

Ho mal di gola per il raffreddore durante due settimane. 「動詞」「目的語」「副詞句」

Ho オ 1 単現 < avere v.t (病気、熱、痛みを) 持つ 「動詞」

mal di gola マル・ディ・ゴラ n.m のどの痛み 「目的語」

注意：male マレ n.m 苦しみ、痛み、病気 → ときに語尾音削除で mal となる。

per il raffreddore ヘル・イル・ラフレッツォレ adv. 風邪のために

durante due settimane ドゥランテ・トゥ・セッティマーニ adv. 2 週間の間

→ per il raffreddore durante due settimane 「副詞句：Ho」

今日はイタリア語とスペイン語で日記を書くために参考書を 2 冊買った。

Òggi ho comprato 2 (due) libri di consultazione per tenere un diario in italiano e in spagnolo.

「副詞」「動詞句」「目的語」

Òggi オッジ adv. 今日 「副詞」

ho comprato オ・コンプラート 1 単現・完了形 v.t 購入した、買った 「動詞句」

2 libri di consultazione トゥエ・リブリー・ディ・コンサルタツィオーネ n.m pl. 2 冊の参考書

per tenere un diario in italiano e in spagnolo

ヘル・テネレ・ウン・ディアリオ・イン・イタリアノ・エ・イン・スパニョーロ

adj. イタリア語とスペイン語で日記を書くための

→ 2 libri di consultazione per tenere un diario in italiano e in spagnolo

イタリア語とスペイン語で日記を書くための参考書を 2 冊 「目的語」

山栗が 430g とナスが 2 本採れた。

Ho raccolto 430 (quattrocento trenta) grammi di castagne selvatiche e 2 (due) melanzane.

「動詞句」「目的語」

Ho raccolto オ・ラッコルト 1 単現・完了形 < raccogliere v.t 拾い集める 「動詞句」

430 grammi di castagne selvatiche クォットロチェント・トレンタ・グラモ・ディ・カスターニャ・セルヴァーティチェ

n. 山栗を 430g

2 melanzane トゥエ・メランザーネ n. 茄子を 2 個

→ 430 grammi di castagne selvatiche e 2 melanzane 「目的語」

文の構成要素と構文解析の書式—終わり

目次

参考文献等.....	1
文の構成要素と構文解析の書式.....	2
名詞・性と数	3
「直接目的語」と「間接目的語」	4
形容詞	4
不定冠詞	5
定冠詞.....	5
副詞	5
比較	5
補語	6
動詞	6
助動詞	6
疑問詞	7
接続詞	7
関係詞	7
前置詞	7
構文解析の書式.....	8
構文解析の例.....	9
文の構成要素と構文解析の書式ー終わり	9
目次.....	10
PARTE PRIMA 第 1 部	15
1.	16
ひつぎ 棺と柩	39
フランス語版では.....	48
反語表現	53
フランス語版では.....	77
日中（にっちゅう）	86
机に座る	93
フランス語版では.....	126
2.	132
フランス語版でも.....	138
時制の助動詞 <i>èssere</i> と <i>avère</i>	139
フランス語版では.....	148

バルコニーとベランダ	153
ポマーデ	157
フランス語版では.....	159
フランス語版では.....	160
単複同型の名詞	163
条件法過去	165
条件法現在	165
3.	177
フランス語版では.....	179
船荷証券（ふなにしょうけん）connaissances :	179
鉢合わせ	191
集合住宅	202
フランス語版では.....	216
フランス語版では.....	232
階段口	250
フランス語版では.....	251
4.	252
フランス語版では.....	255
フランス語版では.....	268
フランス語版では.....	270
ひも	273
コニャック	284
練兵場.....	288
複合時制の助動詞.....	288
縄抜け名人	289
5.	300
6.	348
フランス語版では.....	353
アスフォデル	364
タマリンド	365
浮き身.....	377
フランス語版では.....	384
フランス語版では.....	385
ズック靴	392
フランス語版では.....	412
フランス語版では.....	423

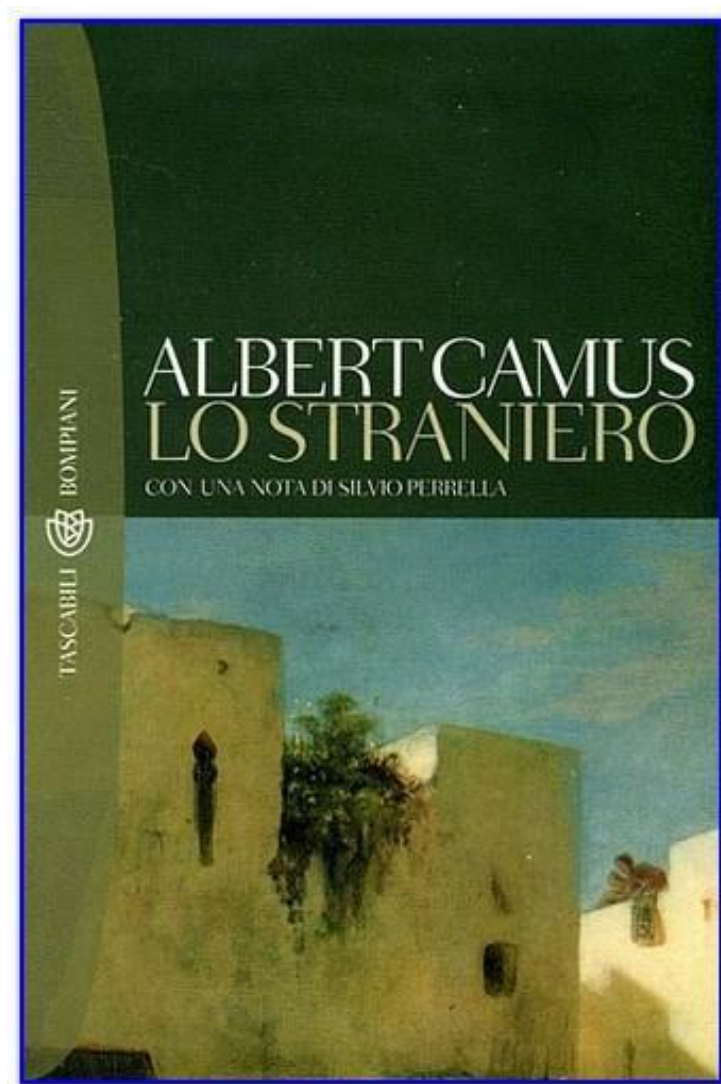
フランス語版では.....	431
フランス語版では.....	437
PARTE SECONDA 第2部.....	444
1.	445
ウィングカラー	453
フランス語版では.....	474
2.	504
フランス語版では.....	520
フランス語版では.....	520
フランス語版では.....	529
a+不定詞 副詞節的用法	541
フランス語版では.....	549
フランス語版では.....	566
3.	574
強調構文	581
フランス語版では.....	584
フランス語版では.....	607
tanto...che～	614
perché +不定詞	616
Sólo che+接続法.....	620
フランス語版では.....	646
4.	684
フランス語版では.....	689
メトロノームの同期現象.....	722
禁固と懲役	742
5.	751
dare a+不定詞 (da+不定詞) ～する原因となる、きっかけとなる	793
過去分詞の性・数一致	816
フランス語版では.....	827
フランス語版では.....	837
フランス語版では.....	838
Nel+不定詞.....	855

注意：この文書は構文解析を用いて、外国語の文章を日本語に翻訳する方法を示して、外国語学習者の文法理解を多少なりとも支援するために作成した参考資料です。

翻訳は辞書に載っている単語や熟語などの意味と構文解析に基づいて、文章の意味を日本語に訳したものであり、文学作品の文章として翻訳している訳ではありません。

Albert Camus

LO STRANIERO

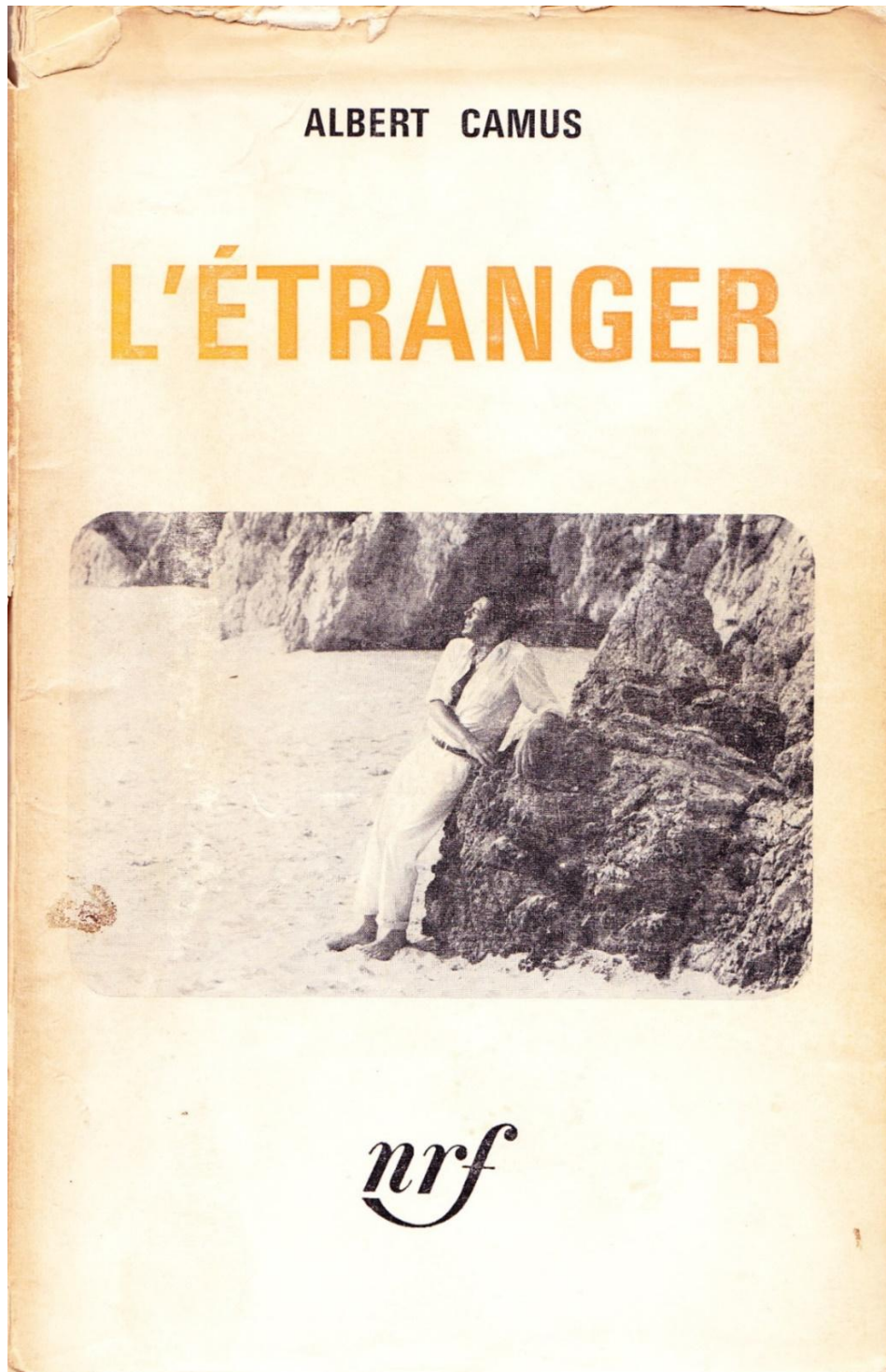


Titolo originale: L'Étranger

Traduzione di Alberto Zevi

Casa Editrice: Bompiani – Anno: 1987

ALBERT CAMUS
LO STRANIERO
PARTE PRIMA 第1部



PARTE PRIMA 第1部

1.

今日、母さんが死んだ。それとも昨日かも知れないが、よく分からない。

Òggi la mamma è mòrta. O forse ièri, non so.

「副詞」「主語」「動詞句」 | O「副詞句」「動詞句」

Òggi オッジ adv. 今日

「副詞」

la mamma ラ・マンマ n.f 母さんが

「主語」

è mòrta. エ・モルタ 3 単現・完了形(morire)v.i 死んだ

「動詞句」

O オ conj. または

forse フォルセ adv. ことによると、おそらく、〜かも

「副詞」

ièri, イェーリ adv. 昨日

「副詞」

non so. ノ・ソ 1 単現・否定(sapere)v.t 分からない

「動詞句」

養老院から電報を受け取った：「ハハウエゴセイキョ ソウギアス オクヤミモウシアゲル」

Ho ricevuto un telegramma dall'ospizio: "Madre deceduta. Funerali domani. Distinti saluti."

「動詞句」「目的語」「副詞句」：《「主語」「補語」 | 「主語」「副詞」 | 「挨拶」》

Ho ricevuto オ・リチェヴァート 1 単現・完了形(ricevere)v.t 受け取った

「動詞句」

un telegramma ウン・テレグラマ n.m 電報を

「目的語」

dall'ospizio: ダ・ロスピーツィオ adv. (起点) 養老院から

「副詞句」

"Madre マドレ n.f 母上が

「主語」

deceduta. デチェトゥータ 過去分詞(decedere)adj. 亡くなられた

「補語」

Funerali フネーリ pl(funerale)n.m 葬儀は

「主語」

葬儀にはいくつかのプロセスがあるので複数形が用いられるのだろう

domani. ドマーニ adv. 明日

「副詞」

Distinti ディスチンチ adj(distinto).m.pl 特別の

「形容詞」

saluti." サルーティ pl(saluto).n.m 挨拶

「挨拶」

これでは何も分からない：たぶん昨日だろう。

Quésto non dice nulla: è stato forse ièri.

「主語」「動詞句」「目的語」：「動詞句」「副詞句」

Quésto クェスト pron これは

「主語」

non dice ノン・ディチェ 3 単現・否定(dire)v.t 意味しない、表さない

「動詞句」

nulla: ヌッラ pron 何も〜ない

「目的語」

è stato エ・スタート 3 単現・完了形(essere)v.i 〜だった

「動詞句」

forse フォルセ adv. おそらく

「副詞」

ièri. イェーリ adv. (死んだのは) 昨日

「副詞」

PARTE PRIMA 第1部

養老院は、アルジェから 80 キロのマレンゴにある。

L'ospizio dei vecchi è a Marengo, a ottanta chilometri da Algèri.

「主語」「動詞」「副詞句」

L'ospizio dei vecchi ロスピツィオ・デ・イ・ヴァッッキ n.m 養老院は

「主語」

è エ 3 単現・存在(essere)v.i 〜にある

「動詞」

a Marengo, ア・マレンゴ adv. (場所) マレンゴに

「副詞句」

a ottanta chilometri ア・オタンタ・キロメートル adv. (位置) 80 キロの距離に

「副詞句」

da Algèri. ダ・アルジェリ adj. (起点) アルジェから

「副詞句」

二時のバスに乗ろう。そうすれば午後のうちに着けるだろう。

Prenderò l'autobus delle due e arriverò ancora nel pomeriggio.

「動詞」「目的語」e「動詞」「副詞句」

Prenderò プレンデロ 1 単未・意志(prendere)v.t (乗り物に) 乗ろう

「動詞」

l'autobus ラウトバス n.m バスに

「目的語」

delle due デ・ッレ・ドゥエ adj. 2 時の

「形容詞句」

e エ conj. (結果) そうすれば

arriverò アーリヴァロ 1 単未・推量(arrivare)v.i 着くだろう

「動詞」

ancora アンコーラ adv. まだ

「副詞」

nel pomeriggio. ネル・ポメリッジョ adv. (限定的な時間) 午後の内に

「副詞句」

そうすると、通夜に出られるし、明日の晩には戻って来られる。僕は社長に 2 日間の休暇を願い出た。

こういう事情なら、ダメとは言えないだろう。

Così potrò vegliarla e essere di ritorno domani sera. Ho chiesto due giorni di libertà al principale e con una scusa simile non potevo dirmi di no.

「副詞」「動詞句」e「動詞句」「副詞句」

「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」e「副詞句」「動詞句」「目的語」

Così コシ adv. (結論) それで、すると

「副詞」

potrò vegliarla ポ・トロ・ヴァリアラ 1 単未・推量(potére+不定詞 vegliare+la)

v.t 通夜に出られるだろう

「動詞句」

vegliare ヴェリアレ v.t 徹夜で付き添う、通夜に出る la は mamma の代用

e エ conj. そして

essere di ritorno エッセレ・デ・イ・リトル 1 単未・推量(potére+不定詞 essere di ritorno)

v.i 帰って来られるだろう

「動詞句」

essere di ritorno 「帰って来るところである」

domani sera. ドマニ・セーラ adv. 明日の晩に

「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

Ho chiesto オ・キェスト 1 単現・完了形(chiedere)v.t	～を願い出た	「動詞句」
due giorni トゥエ・じよるに pl(giorno).n.m	2 日	「直接目的語」
di libertà デイ・リヴァルタ adj.	自由の、休暇の	「形容詞句」
al principale アル・プリンチパレ adv.	社長に	「間接目的語」
e エ conj.	そして	
con una scusa simile コン・ウナ・スクサ・シミレ adv.	(条件) こういう口実ならば	「副詞句」
non poteva dirmi ノン・ポテヴァ・ディル・ミ 3 単半・可能・否定・推量(potére+不定詞 dire+mi)		
v.t	言えないだろう	「動詞句」
di no. デイ・ノ n.	だめだと	「目的語」

しかし彼は不満げな表情だったので、「僕のせいじゃありません」とまで、付け加えた。

Ma non aveva l'aria contenta. Gli ho persino detto: “Non è colpa mia.”

Ma 「動詞句」「目的語」 | 「間接目的語」「動詞句」:《「動詞句」「補語」》

Ma マ conj.	しかし	
non aveva ノン・アヴァ・エヴァ 3 単線・否定(avére)v.t	～がなかった	「動詞句」
l'aria ラーリア n.f	様子	「目的語」
contenta. コンテンタ adj(contento).f	満足した	「形容詞」
Gli リ pron	彼に	「間接目的語」
ho persino detto: オ・ペルシノ・デット 1 単現・完了形(dire+persino)v.t	～とさえ言った	「動詞句」
“Non è ノネ 3 単現・否定(essere)v.i	～でない	「動詞句」
colpa mia.” コルパ・ミーア n.f	僕の過ち、責任	「補語」

彼は僕に返事をしなかった。それで、僕はあんなことは言うべきではなかったと思った。

Lui non mi ha risposto. Allora ho pensato che non avrei dovuto dirglielo.

「主語」「動詞句」「間接目的語」 | 「副詞」「動詞句」「目的語」「動詞句」

Lui ルーイ pron	彼は	「主語」
non ...ha risposto. ノン...ア・リスポスト 3 単現・完了形・否定(rispondere)		
v.i	答えなかった	「動詞句」
mi ミ pron	僕に	「間接目的語」
Allora アッローラ adv.	それで	「副詞」
ho pensato オ・ペンサート 1 単現・完了形(pensare)v.t (che ～と)	思った	「動詞句」
che ケ conj.	～ということを	「目的語」
non avrei dovuto dirglielo. ノン・アヴァレイ・トヴァーロ・ディル・リエロ 条・1 単現・完了形・義務・否定		
(dovére+不定詞 dire+gli+lo)v.t	それを言うべきではなかった	「動詞句」
glielo = gli + lo	の結合形	

PARTE PRIMA 第1部

要するに、僕が弁解する必要など無かったのだ。むしろ、彼のほうから、僕にお悔やみを言うべきだったのだ。

Insomma, non avevo da scusarmi di nulla. Stava a lui, piuttosto, di farmi le condoglianze.

「副詞」「動詞句」「間接目的語」 | 「動詞」「副詞句」「主語」

Insomma, インソマ adv. 要するに、早い話が

「副詞」

non avevo da scusarmi ノン・アヴェーヴォ・ダ・スカサル・ミ 1 単現・義務・否定(avére da+不定詞)

v.pr(di ~について) 弁解する必要が無い

「動詞句」

avére da+不定詞 「～すなければならない、～するはずだ、～するためのものがある」

Ho da partire subito. すぐ出発しなければならない。

Non ho (cosa) da mangiare. 食べ物がない。da+不定詞は目的を表す形容詞句

di nulla. デイ・ヌッラ adv. 何についても～ない

「間接目的語」

Stava スタヴァ 3 単半(stare)v.i (ある場所に) あった

「動詞」

a lui, アルイー adv. 彼の側に

「副詞句」

piuttosto, ピエットースト adv. どちらかという、むしろ

「副詞」

di farmi デイ・ファル・ミ 不定詞(fare+mi)n. 僕に～することは

「主語」

le condoglianze. レ・コンドリアンツェ pl(condoglianza).n.f お悔やみを

「目的語」

だが、あさって喪中の僕を見たら、社長はお悔やみを言うだろう。

Ma certo lo farà dopodomani, quando mi vedrà in lutto.

Ma 「副詞」「目的語」「動詞」「副詞句」

Ma マ conj. しかし

certo チェルト adv. きつと

「副詞」

lo ロ pron (condoglianze の代用) それを

「目的語」

farà ファラ 3 単未(fare)v.t (行為を) するだろう

「動詞」

dopodomani, ドーポドマーニ adv. 明後日

「副詞句」

quando クワント conj. ～する時

「副詞節」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

vedrà ヴェトラ 3 単未・假定(vedere)v.t 見たならば

「動詞」

in lutto. イン・ルト adv. (状態) 喪中の

「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

差し当たって、母さんはまるで死んでいないような扱いを受けているが、葬儀が終われば、反対に、
処理済みの1件になって、すべてがより公式に進行するだろう。

Per adesso è un po' come se la mamma non fosse morta; dopo il funerale, invece, sarà una faccenda esaurita e tutto avrà preso un andamento più ufficiale.

「副詞句」「動詞」「補語」；「副詞句」「動詞」「補語」 e 「主語」「動詞句」「目的語」

Per adesso ペル・アデッソ adv. 今の所、差し当たって今は 「副詞句」

è エ 3 単現(essere)v.i. ～である 「動詞」

un po' ウンポ adv. 少し 「副詞句」

come se コメ・セ conj. まるで～のように 「補語」

la mamma ラ・マンマ n.f. 母さんは 「主語」

non fosse ノン・フォッセ 接・3 単半・否定・推量(essere)v.i. ～でない 「動詞句」

morta; モルタ adj(morto).f. 死んだ 「補語」

dopo トーポ prep (時間) ～の後には 「副詞句」

il funerale, イル・フネラーレ n.m. 葬式、葬儀 「目的語」

invece, インヴェーチェ adv. 反対に、その代わりに 「副詞」

sarà サラ 3 単未・変化(essere)v.i. ～になるだろう 「動詞」

una faccenda ウナ・ファチェンダ n.f. 1 件 「補語」

esaurita エサウリタ adj(esaurito)adj. 使い果たした、処理済みの 「形容詞」

e エ conj. そして

tutto トウット pron. すべてが 「主語」

avrà preso アヴラ・プレ 3 単未・完了形(prendere)v.t. 取るだろう 「動詞句」

un andamento ウン・アンダメント n.m. 経過、進行 「目的語」

più ufficiale. ヒウ・ウッフイチャーレ adj. より公式の 「形容詞句」

僕は2時のバスに乗った：ひどく暑かった。まず、セレステのレストランで食事をした。

Ho preso l'autobus delle due: faceva molto caldo. Prima ho mangiato in trattoria, da Celeste, come al solito.

「動詞句」「目的語」：「動詞」「補語」 | 「副詞」「動詞句」「副詞句」

Ho preso オ・プレ 1 単現・完了形(prendere)v.t. (乗り物に) 乗った 「動詞句」

l'autobus ラウトバス n.m. バスに 「目的語」

delle due: デッレ・トゥエ adj. 2 時の 「形容詞句」

faceva ファチェヴァ 3 単半(fare)v.h. (非人称・天候) ～だった 「動詞」

molto caldo. モルト・カルト adj. ひどく暑い 「補語」

Prima プリマ adv. まず、最初に 「副詞」

ho mangiato オ・マンジャート 1 単現・完了形(mangiare)v.t. 食べた 「動詞句」

in trattoria, イン・トラットリーア adv. レストランで、軽食堂で 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

da Celeste, ダ・チェステ adv. (場所) セステの所で

「副詞句」

còme al sòlito. コメ・アル・ソーリト adv. いつものように

「副詞句」

みんなは僕に対して、心のこもった哀悼の気遣いをしてくれた。セステは僕に言った：「おふくろはひとりしかいないからな」

Avevano tutti molta compassiòne per me e Celeste mi ha détto: “Di mamme ce n’è una sóla.”

「動詞」「主語」「目的語」「副詞句」 e 「主語」「間接目的語」「動詞句」:

《「副詞句」「動詞句」「主語」》

Avevano アヴェバノ 3 複半(avére)v.t (状態) ～をもっていた

「動詞」

tutti トウッティ pron.pl みんな

「主語」

molta compassiòne モルタ・コンパッショーネ n.f 多くの同情

「目的語」

per me ペル・メ adv. 僕に対して

「副詞句」

e エ conj. そして

Celeste チェステ n.m セステは

「主語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha détto: ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

“Di mamme ディ・マンマ adv. (主題) 母親というのは

「副詞句」

ce n’è チェ・ネ 3 単現・存在・否定(essere)v.i いない

「動詞句」

una sóla.” ウナ・ソーラ n.f (限定) 一人しか～ない

「主語」

僕が店を出ようとなると、皆が戸口まで送ってくれた。

Quando ho fatto per andarmene, mi hanno accompagnato alla pòrta.

「副詞節」, 「目的語」「動詞句」「副詞句」

Quando クワント conj. ～する時

「副詞節」

ho fatto per andarmene, オ・ファット・ペル・アンダー・ル・メ・ネ 1 単現・完了形・しようとする

(fare per+不定詞 andarsene)v.pr (店を) 出ようとした

「動詞句」

fare per+不定詞 「～しようとする」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

hanno accompagnato アンノ・アッコンパニャート 3 複現・完了形(accompagnare)

v.t 見送ってくれた

「動詞句」

alla pòrta. アッラ・ポールタ adv. (到達点) 戸口まで

「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

僕は少し頭がぼうっとしていた。というのは、エマヌエルの所へ行って黒ネクタイと腕章を借りるつもりだったのだ。彼は何か月か前に叔父さんを亡くしていた。

Ero un po' intontito perché ero anche andato su da Emanuele a farmi prestare una cravatta nera e una benda per il braccio. Lui ha perso suo zio qualche mese fa.

「動詞」「補語」, 「副詞節」

Ero エロ 1 単半(èssere)v.i ~だった

「動詞」

un po' intontito ウン・ポ・イントンチト adj. ぼうっとしていた

「補語」

perché ペルケ conj. ~なので

「副詞節」

ero anche andato エロ・アスケ・アンダート 1 単半・完了形・近接未来・予定(andare)

v.i(a+不定詞) ~もしに行くところだった

「動詞句」

su da Emanuele ス・ダ・マヌエレ adv. (方向) エマヌエルの所へ

「間接目的語」

a farmi prestare ア・ファル・ミ・プレスターレ 不定詞・使役・目的(fare+不定詞 prestare+mi)

adv. (彼が僕に) 貸すために、(僕に) 貸してもらう

「副詞句」

una cravatta nera ウナ・クラバッタ・ネラ n.f 黒ネクタイ

「目的語」

e エ conj. そして

una benda ウナ・ベンダ n.f 包帯

「目的語」

per il braccio. ペル・イル・ブラッチョ adv. 腕用に

「副詞句」

Lui ルーイ pron 彼は

「主語」

ha perso ア・ペール 3 単現・完了形(perdere)v.t なくしていた

「動詞句」

suo zio スー・チーオ n.m 叔父さんを

「目的語」

qualche mese fa. クワルケ・メセ・ファ adv. 何か月か前に

「副詞句」

バスに乗り遅れないように、走らなければならなかった。

Ho dovuto correre per non perdere l'autobus.

「動詞句」「副詞句」

Ho dovuto correre オ・ドヴート・コルレ 1 単現・完了形・必要(dovére+不定詞)

v.i 走らなければならなかった

「動詞句」

per +不定詞 ペル 不定詞・目的 adv. ~するために

「副詞句」

non perdere 不定詞・否定形 v.t (乗り物に) 乗り損なわない

「動詞句」

l'autobus. ラウトブス n.m バスを

「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

急いだ事や、走ったことは確かにそのせいだろうが、それに加えて、バスの揺れやガソリンの匂い、道路と空からの照り付けのせいで、僕はやがて眠ってしまった。

La gran fretta, la corsa, certo è per questo, oltre alle scosse, all'odór di benzina, al riverbero della strada e del cielo, che presto mi sono assopito.

「主語」「副詞」「動詞」「副詞句」, 「副詞句」, che 「副詞」「動詞句」

La gran fretta, ラ・グラン・フレッタ n.f 大急ぎ 「主語」

la corsa, ラ・コース n.f 駆け足 「主語」

certo チェルト adv. もちろん、確かに 「副詞」

è エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」

per questo, ペル・クェスト adv. (原因) そのために、だから 「副詞句」

oltre (+a) オルトレ prep ~に加えて 「副詞句」

alle scosse, アッレ・スコッセ adv. 揺れに 「間接目的語」

scosse スコッセ pl(scossa)n.f 揺れ、振動、衝撃

all'odór di benzina, アット・ドル・ディ・ベンジーナ adv. ガソリンの匂いに 「間接目的語」

al riverbero アル・リヴァーベロ adv. 照り返しに 「間接目的語」

della strada・デッラ・ストラダ

adv. 道路からの 「副詞句」

e エ conj. そして

del cielo, デル・チェロ adv. 空からの 「副詞句」

che ケ conj. (事実の提示) ~ということである、そして~する

presto プレスト adv. すぐに、間もなく、やがて 「副詞」

mi sono assopito. ミ・ソノ・アッピート 1 単現間(assopirsi)v.pr 眠った、まどろんだ 「動詞句」

僕は走っている間中ほとんど眠っていた。そして目が覚めると、僕は一人の軍人にもたれかかっていた。彼は僕に微笑みかけて、遠くから来たのかと尋ねた。

Ho dormito quasi tutto il percorso. E quando mi sono svegliato ero addossato a un militare che mi ha sorriso e mi ha chiesto se venivo di lontano.

「動詞句」「副詞句」 | E 「副詞節」, 「動詞」「補語」

Ho dormito オ・ドルミート 1 単現・完了形(dormire)v.i 眠っていた 「動詞句」

quasi tutto il percorso. クワジ・トゥット・イル・ペルコース

adv. ほとんど走っている間ずっと 「副詞句」

E エ conj. そして

quando クワント conj. ~した時 「副詞節」

mi sono svegliato ミ・ソノ・スヴェリアート 1 単現・完了形(svegliarsi)

v.pr 目覚めた 「動詞句」

ero エロ 1 単半・状態(essere)v.i ~だった 「動詞」

PARTE PRIMA 第1部

addossato アッドサート adj. もたれかかった	「補語」
a un militare ア・ウン・ミターレ adv. 軍人に	「副詞句」
che ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha sorriso ア・ソリーゾ 3 単現・完了形(sorridere)	
v.i 微笑んだ	「動詞句」
e エ conj. そして	
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha chiesto ア・キスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた	「動詞句」
se セ conj. ～かどうかということ	「直接目的語」
venivo ヴェニーヴォ 1 単半(venire)v.i 来た	「動詞」
di lontano. ディ・ロンターノ adv. 遠くから	「副詞句」

僕は、それ以上話さなくて済むように、「ええ」と答えた。

Ho detto “Sì” per non dover più parlare.

	「動詞句」「目的語」「副詞句」
Ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
“Sì” シ adv. (肯定の返事) ええ	「目的語」
per +不定詞 ヘル 不定詞・目的 adv. ～するために	「副詞句」
non dover più parlare. ノン・ドヴエル・ピウ・パルラーレ 不定詞・否定・必要(dovére+不定詞)	
v.i それ以上話さなくてよい	「動詞句」
dovére+不定詞 「～しなければならない」 → dovére+不定詞・否定形 「～しなくてよい」	

養老院は村から 2 キロの所にある：僕はそこまで歩いた。

L'ospizio è a due chilometri dal villaggio: ho fatto la strada a piedi.

	「主語」「動詞」「副詞句」：「動詞句」「目的語」「副詞」
L'ospizio ロスピーツィオ n.m 養老院は	「主語」
è エ 3 単現・存在(essere)v.i ～にある	「動詞」
a due chilometri ア・ドゥエ・キローメトリ adv. (距離) 2 キロの所に	「副詞句」
dal villaggio: ダル・ヴィッラッジョ adv. (起点) 村から	「副詞句」
ho fatto オ・ファット 1 単現・完了形(fare)v.t (動作を) した	「動詞句」
la strada ラ・ストラダ n.f 行程を	「目的語」
a piedi. ア・ピエ adv. (手段) 歩いて	「副詞」

PARTE PRIMA 第1部

僕はすぐに母さんに会いたかった。しかし、門衛は先に院長の所へ行かなければならないと言った。

Volevo vedére subito la mamma, ma il portinàio mi ha détto che dovevo prima andare dal direttóre.

「動詞句」「副詞」「目的語」,ma「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Volevo vedére ヲレウ・ウ・ウ・エーレ 1 単半・願望(volére+不定詞)

v.t. ～に会いたかった 「動詞句」

subito スービト adv. すぐに 「副詞」

la mamma, ラ・マンマ n.f. 母さんに 「目的語」

ma マ conj. しかし

il portinàio イル・ポ・ルチナーイオ n.m. 門衛が 「主語」

mi ミ pron. 僕に 「間接目的語」

ha détto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t. 言った 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

dovevo prima andare ト・ウ・エーウ・オ・プ・リーマ・アンダーレ 1 単半・必要・時制の一致(dovére+不定詞)

v.i. 先に行かなければならない 「動詞句」

dal direttóre. ダル・ディレットレ adv. (行先) 院長の所へ 「間接目的語」

院長は手が離せなかったので、僕は少し待った。その間、門衛はずっと話続けていた。

Siccome era occupato, ho atteso per un po' e intanto il portinàio non smetteva di parlare.

「副詞節」,「動詞句」「副詞句」e「副詞」「主語」「動詞句」

Siccome シッコメ conj. (原因) ～なので 「副詞節」

主節の前に置かれて、先に理由を述べる表現

era エラ 3 単半(essere)v.i. ～だった 「動詞」

occupato, オックパート adj. 手が離せない、忙しい 「補語」

ho atteso オ・アテゾ 1 単現・完了形(attendere)v.t. 待った 「動詞句」

per un po' ペル・ウン・ポ adv. (期間) 少しの間 「副詞句」

e エ conj. そして

intanto インタント adv. その間 「副詞」

il portinàio イル・ポ・ルチナーイオ n.m. 門衛は 「主語」

non smetteva di parlare. ノン・スメッテヴァ・ア・ディ・パルレ 3 単半・中断・否定(smettere di+不定詞)

v.i. 話続けていた 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

それから、僕は院長に会った：彼は僕を院長室に迎え入れた。

Pòi ho visto il direttóre: mi ha ricevuto nel suo ufficio.

「副詞」「動詞句」「目的語」：「目的語」「動詞句」「副詞句」

Pòi ポーイ adv. それから

「副詞」

ho visto オ・ヴィスト 1 単現・完了形(vedere)v.t 会った

「動詞句」

il direttóre: イル・ディレットレ n.m 院長に

「目的語」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

ha ricevuto ア・リチェヴート 3 単現・完了形(ricevere)v.t 迎え入れた

「動詞句」

nel ネル prep (場所) 〜の中で

「副詞句」

suo ufficio. スーオ・ウッフィチョ n.m 彼の院長室、執務室

「目的語」

レジョン・ドヌール勲章を付けた小柄な老人だった。

È un vecchietto col nastrino délla Legion d'onore.

「動詞」「補語」

È エ 3 単現(essere)v.i 〜である

「動詞」

un vecchietto ウン・ヴェッキエット n.m 小柄な老人

「補語」

col nastrino コル・ナストリーノ adv. (様態) リボンを付けた

「副詞句」

délla Legion d'onore. デッラ・レジオン・ドヌーレ

adj. レジョン・ドヌールの

「形容詞句」

彼は淡い色の目でじっと僕を見つめた。それから僕の手を握りしめたが、いつまでたっても離してくれないので、どうやって手を引っ込めれば良いのか分からなかった。

Mi ha fissato con i suoi occhi chiari, pòi mi ha strétto la mano e l'ha tenuta così a lungo che non sapevo cómo fare per ritirarla.

「目的語」「動詞句」「副詞句」, 「副詞」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

e 「目的語」「動詞句」「副詞句」「副詞節」

Mi ミ pron 僕を

「目的語」

ha fissato ア・フィッサート 3 単現・完了形(fissare)v.t じっと見つめた

「動詞句」

con i suoi occhi chiari, コン・イ・スオイ・オッキ・キアーリ adv. (手段) (色の) 淡い目で

「副詞句」

pòi ポーイ adv. それから

「副詞」

mi ミ pron 僕の

「間接目的語」

ha strétto ア・ストレット 3 単現・完了形(stringere)v.t 握りしめた

「動詞句」

la mano ラ・マーノ n.f 手を

「直接目的語」

e エ conj. そして

l' ラ pron (la mano の代用) それを

「目的語」

ha tenuta ア・テヌータ 3 単現・完了形(f.tenére)v.t つかんでいた

「動詞句」

così a lungo コシ・アルンゴ adv. (程度) あまりにも長く

「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

che ケ conj. (così...che) (結果) それで～できない	「副詞節」
non sapevo ノン・サペーヴォ 1 単半・否定(sapere)v.t 分からなかった	「動詞句」
cóme fare コメ・ファーレ n. どうすれば良いかということが	「目的語」
per ritirarla. ペル・リチラル・ラ 不定詞・目的 adv. それを引っ込めるために	「副詞句」

院長は書類に目を通してから僕に言った：「ムルソーさんは、3年前にここへ入られました。あなたは彼女の唯一人の頼りでいらっしやいます」

Ha consultato un incartaménto e mi ha détto: “La signóra Meursault è entrata qui tre anni fa. Vói eravate il suo ùnico sostégno.”

「動詞句」「目的語」e「間接目的語」「動詞句」:

《「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」》

Ha consultato ア・コンサルタート 3 単現・完了形(consultare)v.t (文書を) 参照した	「動詞句」
un incartaménto ウン・インカルタメント n.m 書類の束を	「目的語」
e エ conj. そして	
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha détto: ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
“La signóra Meursault ラ・セニョーラ・ムルソー n.f ムルソーさんは	「主語」
è entrat <u>a</u> エ・エントラータ 3 単現・完了形(f(entrare)v.i 入った	「動詞句」
qui クィ adv. (場所) ここに	「副詞」
tre anni fa. トレ・アニ・ファ adv. (時) 3 年前に	「副詞句」
Vói ボーイ pron.pl (単数の敬称として) あなたは	「主語」
eravate エラヴァーテ 2 複半・時制の一致・敬称(essere)v.i ～でいらっしやる	「動詞」
il suo ùnico イル・スー・ウニコ adj. 彼女の唯一の	「形容詞句」
sostégno.” ソステーニョ n.m 支え、頼り	「補語」

彼が僕に何かを咎めているように思ったので、彼に説明をし始めた。

Ho creduto che mi rimproverasse qualcòsa e ho cominciato a spiegargli.

「動詞句」「目的語」e「動詞句」

Ho creduto オ・クレドゥート 1 単現・完了形(credere)v.t 思った	「動詞句」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
rimproverasse リンプロヴァッセ 接・3 単半・推測(rimproverare)	
v.t 咎めているのではないか	「動詞」
qualcòsa クォルコーサ pron 何かを	「直接目的語」
e エ conj. そして	
ho cominciato オ・コンチヤート 1 単現・完了形(cominciare)v.t(a+不定詞) ～し始めた	「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

a spiegargli. ア・スピェル・リ 不定詞(spiegare+gli)v.t 彼に説明する

「動詞句」

しかし、彼は僕を遮って言った：

Ma lui mi ha interrotto:

Ma「主語」「目的語」「動詞句」

Ma マ conj. しかし

lui ルーイ pron 彼は

「主語」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

ha interrotto: ア・インテロット 3 単現・完了形(interrómpere)v.t 遮った

「動詞句」

「弁解などなさなくてよいです、息子よ！母上の書類一式は確認いたしました。あなたは母上の面倒を見る余裕はありませんでした。母上には看護婦が必要でしたが、あなたの給料はそこそこです。結局、母上はここに来て幸せだったのです」

“Non avete da giustificarvi, caro figliolo. Ho letto la pratica di vostra madre. Voi non eravate in grado di provvedere ai suoi bisogni. Aveva bisogno di un’infermiera. Il vostro stipendio è modesto. E, in fondo, lei era più felice qui.”

《「動詞句」「呼びかけ」 | 「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「補語」

「動詞句」「間接目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」

E「副詞句」「主語」「動詞」「補語」》

“Non avete da giustificarvi, ノン・アヴ・エーテ・ダ・ジ・ュスティフィカルヴィ 2 複現・必要・否定・敬称

v.pr(avère da+不定詞 giustificarsi) 弁解などしなくてよろしいですよ

「動詞句」

caro figliolo. カロ・フィリョーロ n.m 親愛なる息子よ

「呼びかけ」

Ho letto オ・レット 1 単現・完了形(lèggere)v.t 読んだ

「動詞句」

la pratica ラ・プラチカ n.f 関係書類一式を

「目的語」

di vostra madre. ティ・ボストロ・マトレ adj. 母上の

「形容詞句」

Voi ヴォーイ pron (二人称単数・敬称として) あなたは

「主語」

non eravate ノン・エラヴァーテ 2 複半・否定・敬称(essere)v.i 〜でない

「動詞句」

in grado イン・グラート adv. 水準の

「補語」

di provvedere ティ・プロヴァーレ 不定詞・目的語 adv. 供給するために

「副詞句」

ai suoi bisogni. アイ・スオイ・ビゾーニ adv. 彼女に必要な物を

「間接目的語」

Aveva bisogno アヴ・エヴァ・ビゾーニョ 3 単半・必要(avère bisogno di)

v.i 〜が必要だった

「動詞句」

di un’infermiera. ティ・ウンインフェルミエラ adv. 看護婦が

「間接目的語」

Il vostro stipendio イル・ヴオストロ・ステイペンティオ n.f あなたの給料は

「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i 〜である

「動詞」

modesto. モテスト adj. 控えめの

「補語」

E, エ conj. それで

PARTE PRIMA 第1部

in fón-do, イン・フォント adv. 結局は	「副詞句」
lèi レーイ pron 彼女は	「主語」
era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった	「動詞」
più felice ピ・ウ・フェリーチェ adj. より幸せな	「補語」
qui.” クィ adv. ここが	「副詞」

僕は言った：「その通りです、院長さん」

Ho détto: “Sì, signor direttore.”	「動詞句」：《「応答」「呼びかけ」》
Ho détto: オ・テット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
“Sì, シ adv. (肯定) はい、その通りです	「応答」
signor direttore.” シニョール・デ・イレットレ n.m 院長さん	「呼びかけ」

彼は付け加えて言った：「ここには友達や同年代の人々がいます」

Lui ha soggiunto: “Capirete, aveva degli amici, persóne délla sua età.”	「主語」「動詞句」：《「呼びかけ」, 「動詞」「目的語」》
Lui ルーイ pron 彼は	「主語」
ha soggiunto: ア・ソジエント 3 単現・完了形(soggiungere)v.t 付け加えた	「動詞句」
“Capirete, カピレテ 2 複未(capire)v.t 分かるでしょう	「呼びかけ」
aveva アヴェーヴァ 3 単半・時制の一致(avere)v.t いる	「動詞」
degli amici, デッリ・アミチ pl(amico).n.m 友達	「目的語」
persóne ペ・ロッネ pl(persóna).n.f 人々	「目的語」
délla sua età. デッラ・スー・エタ adj. 彼女の年代の	「形容詞句」

「彼らと、ひと昔前の趣味を共有することが出来たのです。」

Con lóro, poteva avére in comune interèssi che sono di un altro tèmpo.	《「副詞句」, 「動詞句」「副詞句」「目的語」》
Con lóro, コン・ローロ adv. 彼らと一緒に	「副詞句」
poteva avére ポ・テヴァ・ア・アリェレ 3 単半・可能(potére+不定詞)v.t 持てた	「動詞句」
in comune イン・コムネ adv. 共有して、共通に	「副詞句」
interèssi インテレッシ pl(interèsse)n.m 興味、趣味	「目的語」
che ケ pron (主語) ~する	「形容詞節」
sono ソーノ 3 複現(essere)v.i ~である	「動詞」
di un altro tèmpo. デイ・ウン・アルトロ・テンポ adj. 一昔前の	「補語」

PARTE PRIMA 第1部

「あなたはお若いので、あなたと一緒にだと母上は退屈したでしょう」

Vói siete giovane e con vói doveva annoiarsi.”

《「主語」「動詞」「補語」 e 「副詞句」「動詞句」》

Vói ヴォイ pron あなたは 「主語」
 siete シエ 2 複現・敬語(essere)v.i ~である 「動詞」
 giovane ジョヴァネ adj. 若い 「補語」
 e エ conj. それで
 con vói コン・ヴォイ adv. あなたと一緒にでは 「副詞句」
 doveva annoiarsi.” ドゥェヴァ・アノイアルシ 3 単半・推量(dovére+不定詞 annoiarsi)
 v.pr 退屈したに違いない 「動詞句」

彼の言う通りだった。母さんが家にいた時、黙って僕を目で追って、時間を過ごしていた。

Aveva ragione. Quando era a casa la mamma passava il suo tempo a seguirmi con lo sguardo in silenzio.

「動詞」「目的語」 | 「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Aveva アヴェヴァ 3 単半(avére)v.t ~があった 「動詞」
 ragione. ラジオーネ n.f 理性、道理、根拠、理由 「目的語」
 Quando クワント conj. ~した時 「副詞節」
 era エラ 3 単半・存在(essere)v.i ~にいた 「動詞」
 a casa ア・カサ adv. 家に 「副詞句」
 la mamma ラ・ママ n.f 母さんは 「主語」
 passava パッサヴァ 3 単半(passare)v.t (時を) 過ごしていた 「動詞」
 il suo tempo イル・スオ・テンポ n.m 自分の時間を 「目的語」
 a seguirmi ア・セグイルミ adv. (方法) 僕を追いながら 「副詞句」
 con lo sguardo コン・ロ・スグアルト adv. (手段) 視線で 「副詞句」
 in silenzio. イン・シレンツィオ adv. (様態) 黙って 「副詞句」

養老院にきた最初の頃は、母さんは良く泣いていた。だが、それは慣れによるものだ。

I primi giorni, all'ospizio, piangeva spesso. Ma era per via dell'abitudine.

「副詞句」, 「動詞」「副詞」 | Ma 「動詞」「補語」

I primi giorni, イ・プリミ・ジオルニ adv. 初めの頃は 「副詞句」
 all'ospizio, アッ・ロスピツィオ adv. 養老院にきた 「副詞句」
 piangeva ピアンジェヴァ 3 単半・習慣(piangere)v.i 泣いていたものだ 「動詞」
 spesso. スペッソ adv. 度々、しばしば 「副詞」
 Ma マ conj. しかし
 era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」

PARTE PRIMA 第1部

per via déll'abitudine. ヘル・ウ・イ・ア・テッラ・ビ・トウ・テ・イネ adv. 慣れによる

「補語」

数か月後、もし母さんを養老院から出したら、泣いだろう。やはり、慣れのせいだ。

Dópo qualche mése, avrebbe pianto se l'avessero portata via di lì. Sèmpre per l'abitudine.

「副詞句」, 「動詞句」 「副詞節」 | 「副詞句」

Dópo qualche mése, トーポ・クワルケ・メセ adv. (時間) 数か月後には

「副詞句」

avrebbe pianto アヴレッハ・ピアント 条・3 単現・完了形 (過去における未来の推量) (piangere)

v.i 泣いたに違いない

「動詞句」

se セ conj. もし~ならば

「副詞節」

l' ラ pron 母さんを

「目的語」

avessero portata アヴェッセロ・ポルタータ 接・3 複半・完了形・假定(portare)

v.t (via 外へ) 連れ出したとしたら

「動詞句」

via di lì. ウ・イ・ア・テ・イ・リ adv. 養老院の外へ

「副詞句」

Sèmpre センプレ adv. これもやはり

「副詞」

per l'abitudine. ヘル・ラ・ビ・トウ・テ・イネ adv. 慣れによる

「副詞句」

この1年間、僕がほとんどここへ来なかったのは、多少はそのためである。

È un po' per quèsto che l'ultimo anno non ci sono andato quasi più.

「動詞」 「補語」 「主語」

È エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

un po' per quèsto ウン・ポ・ヘル・クェスト adv. (原因) 多少はこのため

「補語」

che ケ conj. ~ということは

「主語」

l'ultimo anno ルチモ・アンノ adv. 最近の1年間は

「副詞句」

non ci sono andato ノン・チ・ソーノ・アンダート 1 単現・完了形・否定(andare+ci)

v.i ここに来ていなかった

「動詞句」

ci チ adv. (場所) ここに、そこに

quaSi più. クワ・ジ・ピウ adv. (否定) ほとんど~ない

「副詞句」

quaSi クワ・ジ adv. (否定) ほとんど~ない più ピウ adv. もっと多く

PARTE PRIMA 第1部

また、ここへ来ると、バスに乗りに行き、切符を買って、2時間移動をすることは別にしても、日曜日がまるまる潰れてしまうということも理由だった。

E anche perché così perdevo tutta la domenica a parte la fatica di prendere l'autobus comprare i biglietti e fare due ore di viaggio.

E「副詞節」

E エ conj. そして

anche perché アンケ・ペルケ conj. ～ということでもある

「副詞節」

così コシ adv. (理由) そうすると (ここへ来ると)

「副詞」

perdevo ペルテヴォ 1 単半・時制の一致・結果(perdere)

v.t 失う、無駄にする

「動詞」

tutta la domenica トウッタ・ラ・ドメニカ n.f 日曜日をまるまる

「目的語」

a parte ア・パルテ prep (除外) ～は別にして

「副詞句」

la fatica ラ・ファチカ n.f 骨折り、仕事

「目的語」

di +不定詞 adj. (同格) ～するという

「形容詞句」

prendere プレンデレ 不定詞

v.t (乗り物) に乗りに行く

「動詞」

l'autobus, ラウトブス n.m バスに

「目的語」

comprare コンプレ 不定詞 v.t ～を買う

「動詞」

i biglietti, イ・ビリエッティ pl.n.m 切符を

「目的語」

e エ conj. そして

fare ファレ 不定詞 v.t (動作を) する

「動詞」

due ore トゥエ・オーレ pl.n.f 2時間

「目的語」

di viaggio. デイ・ヴァイアッジョ

adj. 旅の、行程の、移動の

「形容詞句」

院長はさらに僕に話しを続けた。しかし、僕はもうほとんど彼の話を聞いていなかった。

Il direttore mi ha parlato ancora. Ma io non lo ascoltavo quasi più.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞」

Ma「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」「動詞句」

Il direttore イル・ディレットレ n.m 院長は

「主語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha parlato ア・パルラート 3 単現・完了形(parlare)v.i 話した

「動詞句」

ancora. アンコーラ adv. さらに、また

「副詞」

Ma マ conj. しかし

io イオ pron 僕は

「主語」

non ...ascoltavo ノン...アスカルターヴォ 1 単半・否定(ascoltare)v.t 聞いていなかった

「動詞句」

lo ロ pron 彼の話を

「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

qua*si* più. クわ・ジ・ピウ adv. (否定) ほとんど～ない

「副詞句」

それから彼は僕に言った：「お母様にご対面なされたいでしょうね」

Poi mi ha detto: "Immagino che vorrete vedere vostra madre."

「副詞」「間接目的語」「動詞句」：《「動詞」「目的語」》

Poi ポーイ adv. それから

「副詞」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha detto: ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

"Immagino イマジノ 1 単現(immaginare)v.t(che ～だと) 思う

「動詞」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

vorrete vedere ウォレーテ・ウエデーレ 2 複現・願望(volére+不定詞)v.t 会いたい

「動詞句」

vostra madre." ウォストラ・マトレ n.f お母様に

「目的語」

僕は何も言わずに立ち上がった。すると、彼は僕の前を歩いてドアの方へ向かった。

Mi sono alzato senza dir nulla e lui si è avviato per primo verso la porta.

「動詞句」「副詞句」e「主語」「動詞句」「副詞句」

Mi sono alzato ミ・ソーノ・アルツァート 1 単現・完了形(alzarsi)v.pr 立ち上がった

「動詞句」

senza dir センツァ・ディール 不定詞・様態 adv. 言わないで

「副詞句」

nulla ヌツァ pron 何も～ない

「目的語」

e エ conj. そして

lui ルーイ pron 彼は

「主語」

si è avviato シ・エ・アウヴァイート 3 単現・完了形(avviarsi)v.pr ～に向かった

「動詞句」

per primo ペル・プリモ adv. 最初に、1 番に、前に

「副詞句」

verso la porta. ヴェールゾ・ラ・ポールタ adv. (方向) ドアのほうへ

「副詞句」

階段を降りる時、彼は僕に説明した：

Scendendo le scale, mi ha spiegato:

「副詞句」,「間接目的語」「動詞句」

Scendendo シェンデント ジェルンディオ・同時(scendere)v.i 降りながら

「副詞句」

le scale, レ・スカーレ pl(scalèa).n.f 階段を

「目的語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha spiegato: ア・スピエガート 3 単現・完了形(spiegare)v.t 説明した

「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

「お母様は、私どもの小さな霊安室に移しました。他の人達を動揺させないためです」

“L'abbiamo trasportata nel nostro piccolo obitorio. È per non impressionare gli altri.

《「目的語」「動詞句」「副詞句」 | 「動詞」「補語」》

“L' ラ pron.f お母様を

「目的語」

abbiamo trasportata アッビ°アモ°トラス°ルター 1 複現・完了形.f(trasportare)

v.t (場所を) 移した

「動詞句」

nel ネル prep (場所) 〜の中に

「副詞句」

nostro piccolo obitorio. ノストロ°ピッコロ°オビトリオ n.m 私どもの小さな霊安室 「目的語」

È エ 3 単現(essere)v.i 〜である

「動詞」

per +不定詞 adv. (目的) 〜するため

「補語」

non impressionare ノン°インプレッション°レ 不定詞・否定

v.t 動揺させない、ショックを与えない

「動詞句」

gli altri. リ°アルトリ pl(altri).pron (不変) 他の者たち

「目的語」

「入寮者がひとり亡くなる度に、他の入寮者は、2・3日のあいだ情緒不安定になります。そしてそれが養老院の業務に支障をきたすのです。」

“Ogni volta che un pensionante muore, gli altri sono nervosi per due o tre giorni, e questo rende difficile il servizio.”

《「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」, e 「主語」「動詞」「補語」「目的語」》

Ogni volta che オンニ°ヴァルタ°ケ conj. 〜する度に

「副詞節」

un pensionante ウン°ペンシオナnte n.m 入寮者が一人

「主語」

muore, ムオレ 3 単現(morire)v.i 死ぬ、亡くなる

「動詞」

gli altri リ°アルトリ pl(altri : 不変).n.m 他の人々は

「主語」

sono ソーノ 3 複現・変化(essere)v.i 〜になる

「動詞」

nervosi ネルヴ°オーシ adj(nervoso).m.pl 情緒不安定な、神経質な

「補語」

per due o tre giorni, ペル°ドゥエ°オトレ°ジオルニ adv. (期間) 2・3日のあいだ

「副詞句」

e エ conj. そして

questo クェスト pron このことが

「主語」

rende レンデ° 3 単現・変更(rendere)v.t (状態を) 〜にする

「動詞」

difficile ディッフイーチェ adj. 困難な

「補語」

il servizio.” セルヴ°イーツイオ n.m 業務を

「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

僕たちは中庭を横切った。そこには、少数の仲間ごとにお喋りをしている老人が大勢いた。

Abbiamo attraversato un cortile dove c'erano molti vecchi che chiacchieravano a piccoli gruppi.

「動詞句」「目的語」

Abbiamo attraversato アツビ^ア・ア^モ・アットラヴァ^{エル}サート 1 複現・完了形(attraversare)

v.t 横切った

「動詞句」

un cortile ウン・コルチレ n.m 中庭を

「目的語」

dove トーヴァ^エ conj. そこで～する

「形容詞節」

c'erano チェラーノ 3 複半・存在(esserci)v.i ～がいた

「動詞句」

molti vecchi モルチ・ヴェッキ pl(vecchio).n.m 大勢の老人たちが

「主語」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

chiacchieravano キアッキエラヴァ^{アーノ} 3 複半・時制の一致(chiacchierare)

v.i お喋りする

「動詞」

a ア prep (配分) ～ごとに

「副詞句」

piccoli gruppi. ピコリ・グルッピ

pl(gruppo).n.m 少数の仲間

「目的語」

僕たちが通りかかると、彼らは話を中断した。そして通り過ぎると、またお喋りが始まった。

Al nostro passaggio, smettevano di parlare. E dietro a noi le conversazioni riprendevano.

「副詞句」, 「動詞句」 | E 「副詞句」「主語」「動詞」

Al アル prep(a+il) (時点) ～の時に

「副詞句」

nostro passaggio, ノストロ・パッサージョ n.m 僕たちの通過

「目的語」

smettevano di parlare. スメッテバ^ノ・デ^イ・パルラーレ 3 複半・中断(sméttre di+不定詞)

v.i 話を中断した

「動詞句」

E エ conj. そして

dietro デイエトロ prep(a の) 後ろで

「副詞句」

a noi ア・ノイ adv. 僕たち

「間接目的語」

le conversazioni レ・コンベルサチオーニ pl(conversazione)n.f お喋りが

「主語」

riprendevano. リプレンデバ^ノ 3 複半(riprendere)v.i また始まった

「動詞」

PARTE PRIMA 第1部

オウムたちが小声でさえずっているようだった。

Cóme un cicaleccio sordo di pappagalli.

「副詞句」

Cóme コーメ conj. どのように

「副詞句」

un cicaleccio ウン・チカレチョ n.m さえずり、がやがや声

「目的語」

sordo ソルト adj. 内にこもった、押し殺した

「形容詞」

di pappagalli. デイ・パッパガッリ adj. オウムの

「形容詞句」

小さな建物の戸口で、院長が僕に別れを告げた。

Davanti alla pòrta di un piccolo edificio, il direttore mi ha salutato:

「副詞句」, 「主語」 「目的語」 「動詞句」

Davanti ダヴァンティ prep (場所) (a の) ーの前で

「副詞句」

alla pòrta アッラ・ポルト adv. 戸口の

「目的語」

di un piccolo edificio, デイ・ウン・ピッコロ・エディフィチョ

adj. 小さな建物の

「形容詞句」

il direttore イル・ディレットレ n.m 院長が

「主語」

mi ミ pron 僕に

「目的語」

ha salutato: ア・サルタート 3 単現・完了形(salutare)v.t 別れを告げた、挨拶した

「動詞句」

「ムルソーさん、あなたをここに残していきますが、私は院長室におりますので、御用があればなん
なりと...」

“Vi lascio, signor Meursault. Sono a vostra disposizione nel mio ufficio.

《「目的語」「動詞」「呼びかけ」 | 「動詞」「副詞句」》

“Vi ヴィ pron (二人称敬称) あなたを

「目的語」

lascio, ラッショ 1 単現(lasciare)v.t 残す

「動詞」

signor Meursault. シニョール・ムルソー n.m ムルソーさん

「呼びかけ」

Sono ソーノ 1 単現・存在(essere)v.i ーにいる

「動詞」

a vostra disposizione ア・ヴォストラ・ディスポジチオーネ adv. あなたの意のままに

「副詞句」

nel mio ufficio. ネル・ミーオ・ウッフィチョ adv. 院長室に

「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

葬儀は、明日の朝 10 時を予定しています：こうすると、あなたがお通夜をなさることが出来るだろうと、考えましたので。

I funerali sono fissati per domattina alle dièci: abbiamo pensato che così potrete vegliare la scomparsa.

「主語」「動詞句」「副詞句」：「動詞句」「目的語」

I funerali イ・フネラーリ pl(funerale).n.m 葬儀は 「主語」

sono fissati ソーノ・フィッサート 3 複現・受動(fissare)v.t 予定している 「動詞句」

per domattina ペル・ドマッティナ adv. (予定) 明日に 「副詞句」

alle dièci: アッレ・ディエチ adv. 10 時に 「副詞句」

abbiamo pensato アッビエアーモ・ペンサート 1 複現・完了形(pensare)v.t 考えた 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

così コシ adv. こうすると 「副詞」

potrete vegliare ポートレテ・ヴェリアレ 2 複未・可能・期待(potére+不定詞)

v.t 徹夜で付き添うことができるだろう 「動詞句」

la scomparsa. ラ・スコンパールサ n.f 故人を 「目的語」

「最後に一言。母上は、宗教に則って埋葬して欲しいとよくお仲間に仰っていたようです。」

Un'ultima còsa. Pare che vostra madre abbia sovènte espresso ai suoi compagni il desidèrio di essere sepòlta religiosamente.

《「呼びかけ」 | 「動詞」「主語」》

Un'ultima còsa. ウン・ウルマ・コサ n.f 最後に一言だけ 「呼びかけ」

Pare パレ 3 単現(parére)v.i (che+接続法) (伝聞・推量) ～のようだ 「動詞」

che ケ conj. ～ということ 「主語」

vostra madre ヴォストラ・マトレ n.f 母上は 「主語」

abbia sovènte espresso アッビエ・ソヴァンテ・エスプレッソ 接・3 単現・完了形(esprimere)

v.t しばしば言っていた 「動詞句」

ai suoi compagni アイ・ソイ・コンパニ pl(compagno).n.m 仲間に 「間接目的語」

il desidèrio イル・デシデーリオ n.m 希望を 「直接目的語」

di essere sepòlta ディ・エッセレ・セポルタ 不定詞・受動.f(seppellire)

adj. (同格) 埋葬されるという 「形容詞句」

religiosamente. レリジョサメンテ adj. 宗教的に 「副詞」

PARTE PRIMA 第1部

「必要な事は、すべて手配しておきましたので、お知らせしておこうと思ひまして」

Mi sono occupato io di tutto il necessario. Ma volevo avvertirvi.”

《「動詞句」「主語」「間接目的語」 | Ma「動詞句」》

Mi sono occupato ミ・ソノ・オクパート 1 単現・完了形(occuparsi)

v.pr (di の) 仕事をした

「動詞句」

io イオ pron 私は

「主語」

di tutto il necessario. ティ・トゥット・イル・ネッサリーオ adv. 必要な全てを

「間接目的語」

Ma マ conj. それで

volevo avvertirvi.” ヴォーレ・ヴァ・アヴヴェルティルヴィ 1 単半・願望(volére+不定詞 avvertirre+vi)

v.t あなたにお知らせしようと思った

「動詞句」

僕は院長に礼を言った。母さんは、無神論者ではなかったけれども、生前宗教のことは全く考えていなかった。

L'ho ringraziato. La mamma, senza essere atea, non aveva mai pensato alla religione in vita sua.

「目的語」「動詞句」「主語」 | 「主語」「副詞句」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

L' ho pron 彼に

「目的語」

ho ringraziato. オ・リンク・ラチアート 1 単現・完了形(ringraziare)v.t 礼を言った

「動詞句」

La mamma, ラ・マンマ n.f 母さんは

「主語」

senza essere atea, センツァ・エッセレ・アテア adv. (譲歩) 無神論者ではなかったが

「副詞句」

non aveva mai pensato ノン・アヴェーヴァ・ア・マー・イ・ペンサート 3 単半・完了形・否定(pensare)

v.i (a のことを) 考えていたことは一度もなかった

「動詞句」

alla religione アッラ・レリジオーネ adv. 宗教のことを

「間接目的語」

in vita sua. イン・ヴァー・ター・スア adv. 生前、人生において

「副詞句」

僕は中に入った。そこは石灰で白く塗られ、天井には明り取りのガラス窓があるととても明るい部屋だった。

Sono entrato. Era una stanza molto chiara, imbiancata a calce e coperta da una vetrata.

「動詞句」 | 「動詞」「補語」

Sono entrato. ソーノ・エントラート 1 単現・完了形(entrare)v.i 中に入った

「動詞句」

Era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

una stanza ウナ・スタンツァ n.f 部屋

「補語」

molto chiara, モルト・キアーラ adj(chiaro).f すごく明るい

「形容詞句」

imbiancata インビアンカータ 過去分詞・受動(imbiancare)adj.f 白く塗られた

「形容詞句」

a ア prep (手段) ~によって

「副詞句」

calce カルチェ n.f 石灰

「目的語」

e エ conj. そして

PARTE PRIMA 第1部

copèrta コペールタ 過去分詞・受動(coprire)adj.f 覆われた 「形容詞句」
 da ダー prep (動作主) ーによって 「副詞句」
 una vetrata. ウナ・ヴェトラータ n.f ガラス窓 「目的語」

安置台が、椅子と X 字型の架台を何脚か利用して組み立てられていた。

Il mobilio era compósto di sèggiole e cavallétti a fórma di X. 「主語」「動詞句」「副詞句」
 Il mobilio イル・モビリーオ n.m 家具 (→安置台、調度) が 「主語」
 era compósto エラ・コンポスト 3 単半・受動(compórrre)v.t 組み立てられていた 「動詞句」
 di ディ prep (手段) ーによって、ーで 「副詞句」
 sèggiole セッジョレ pl(sèggiola).n.f いす 「目的語」
 e エ conj. そして
 cavallétti カヴァレッティ pl(cavallétto).n.m 架台 「目的語」
 a ア prep (目標) ーに、ーの 「副詞句」
 fórma di X. フォルマ・ディ・イクス n.f X 字型 「目的語」

中央の 2 台の架台が、蓋の閉じた柩を支えていた。

Due di questi, al cèntro, reggevano una bara chiusa col suo coperchio. 「主語」「動詞」「目的語」
 Due di questi, トゥエ・ディ・ケステイ pron.pl その架台の 2 つは 「主語」
 questi ケステイ は、男性複数の指示代名詞だから、cavallétti の代用である
 al cèntro, アル・チェントロ adv. 中央にある 「副詞句」
 reggevano レッジェヴァノ 3 複点(règgere)v.t 支えていた 「動詞」
 una bara ウナ・バーラ n.f 柩を 「目的語」
 chiusa キューサ adj(chiuso).f 閉じた 「形容詞」
 col コル prep (手段) ーを用いて 「副詞句」
 suo coperchio. スー・コペールキオ n.m 蓋 「目的語」

ひつぎ 棺と柩

棺は棺桶という入れ物を表し、柩は棺桶の中に亡骸を納めたものを表す

PARTE PRIMA 第1部

仮留めされたねじくぎが、クルミ染料を塗られた柩の蓋の上で光を放っていた。

Sulle assi dipinte color nóce spiccavano alcune viti lùcide conficcate soltanto un pòco.

「副詞句」, 「動詞」 「主語」

Sulle スレ prep (位置) (su+le) ~の上で

「副詞句」

assi アッシ pl(asse)n.f 板

「目的語」

dipinte ディピンテ adj(dipinto).f.pl 色を塗った

「形容詞」

color nóce コロー・ノチェ n.m(colóre nóce) クルミ染料

「目的語」

落ち着いた茶色の染料

spiccavano スピカヴァノ 3 複半(spicare)v.i 目立っていた

「動詞」

alcune viti アルケー・ヴィーチ pl(vite).n.f いくつかのねじくぎが

「主語」

lùcide ルチデ adj(lùcido).f.pl 光る

「形容詞」

conficcate コンフィカテ 過去分子・受動(conficcare)

adj(conficcato).f.pl 打ち込まれた

「形容詞」

soltanto un pòco. ソルタント・ウン・ポコ adv. 少しでも

「副詞句」

柩のそばに、白い上っ張りを着て、色鮮やかなスカーフを被ったアラブ人の看護婦がいた。

Accanto alla bara c'era un'infermiera àraba in cànice bianco, con in tèsta un fazzolétto a colóri sgargianti.

「副詞」 「動詞句」 「主語」

Accanto アッカント adv. すぐそばに

「副詞」

alla bara アッラ・バーラ adv. 柩の

「間接目的語」

c'era チェーラ 3 単半・存在(esserci)v.i ~がいた

「動詞句」

un'infermiera ウニフェルミエーラ n(infermière).f 看護婦が

「主語」

àraba アーラバ adj(àrabo).f アラブ人の

「形容詞」

in イン prep (状態・着用) ~を着用した

「副詞句」

cànice カミチェ n.m (医者)の 白衣、上っ張り

「目的語」

bianco, ビアンコ adj. 白い

「形容詞」

con コン prep (付属) ~を付けた、身に着けた

「副詞句」

in tèsta イン・テスタ adv. (場所) 頭に

「副詞句」

un fazzolétto ウン・ファツォレット n.m スカーフ、ネッカチーフ

「目的語」

a colóri ア・コロリ adv(colóre). 色付きの

「形容詞句」

sgargianti. スガルジヤンティ

adj(sgargiante).m.pl 色鮮やかな、派手な

「形容詞」

PARTE PRIMA 第1部

その時、僕の背後に門衛が近づいて来た。走って来たに違いない。

In quel momento, alle mie spalle, è entrato il portinaio. Doveva aver fatto una corsa.

「副詞句」, 「動詞句」 「主語」 | 「動詞句」 「目的語」

In イン prep (時) ーの時に

「副詞句」

quel momento, ケル・モメント n.m その時

「目的語」

alle アッレ prep(a+le) (方向) ーの方へ

「副詞句」

mie spalle, ミエ・スパッレ pl(spalla).n.f 背後、肩

「目的語」

è entrato エ・エントラート 3 単現・完了形(entrare)v.i 入って来た

「動詞句」

il portinaio. イル・ポルチナイオ n.m 門衛が

「主語」

Doveva aver fatto トヴエ・アヴァ・アヴェル・ファット 3 単半・推量(dovére+不定詞・完了形 aver fatto)

v.t ーしたに違いない

「動詞句」

una corsa. ウナ・コルサ n.f 駆け足、走ること

「目的語」

彼は少しどもりながら言った:「蓋をしてしまいましたが、ご対面できるようにねじを外しますので、少しお待ちください」

Mi ha detto balbettando un po': "L'hanno coperta, ma devo svitare la cassa perché voi possiate vederla."

「間接目的語」 「動詞句」 「副詞句」:

《「目的語」 「動詞句」, ma 「動詞句」 「目的語」 「副詞節」》

Mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

balbettando バルベッタント ジェルンディオ・同時(balbettare)v.i どもりながら

「副詞句」

un po': ウン・ポ adv. 少し

「副詞句」

"L' ラ pron (bara の代用) それを

「目的語」

hanno coperta, アンノ・コペールタ 3 複現・完了形.f(coprire)v.t 蓋をした、してしまった

「動詞句」

ma マ conj. しかし

devo svitare デヴエ・オ・スヴィターレ 1 単現・必要(dovére+不定詞 svitare)

v.t ねじを外さなければならない

「動詞句」

la cassa ラ・カッサ n.f 箱、(bara の代用) 柙を

「目的語」

perché ベルケ conj. (目的) ーするために

「副詞節」

vói ヴォーイ pron あなたが

「主語」

possiate vederla." ポッシアテ・ヴァ・エデール・ラ 接・2 複現・可能(potére+不定詞 vedére+la)

v.t 母上と対面できる

「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

彼は柩に近付いて行った。しかし僕は彼を止めた。彼は言った。「ご対面されないのですか？」

Si stava avvicinando alla cassa, ma l'ho fermato. Mi ha detto: "Non volete?"

「動詞句」「間接目的語」.ma「目的語」「動詞句」 | 「間接目的語」「動詞句」:《「質問」》

Si stava avvicinando シ・スターヴァ・ア・アツァ イチナント 3 単半・進行形

(stare+ジェルンディオ avvicinarsi)v.pr(a に) 近付いて行った 「動詞句」

alla cassa, アツァ・カッサ adv. 柩に 「間接目的語」

ma マ conj. しかし

l' pron 彼を 「目的語」

ho fermato. オ・フェルマート 1 単現・完了形(fermare)v.t 止めた、停止させた 「動詞句」

Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha detto: ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

"Non volete?" ノン・ヴァレテ 2 複現・否定・疑問文(volére)v.t 対面しないのですか? 「質問」

僕は答えた:「ええ、まあ」彼は中断した。僕は、そんなことを言うべきではなかったと感じて、気まぐずい思いがした。

Ho risposto: "No." Si è interrotto e io ero imbarazzato perché sentivo che non avrei dovuto dirlo.

「動詞句」:《「応答」》 | 「動詞句」e「主語」「動詞」「補語」

Ho risposto: オリスポスト 1 単現・完了形(rispondere)v.i 答えた 「動詞句」

"No." ノ adv. (否定) ええ、まあ 「応答」

Si è interrotto シ・エ・インテロット 3 単現・完了形(interrómpersi)v.pr 中断した 「動詞句」

e エ conj. そして

io イオ pron 僕は 「主語」

ero エロ 1 単半(essere)v.i 〜だった 「動詞」

imbarazzato インバラツァート adj. 落ち着かない、困惑した 「補語」

perché ペルケ conj. (理由) 〜なので 「副詞節」

sentivo センチヴァ 1 単半(sentire)v.t 感じた 「動詞」

che ケ conj. 〜ということを 「目的語」

non avrei dovuto dirlo. ノン・アヴァイレ・ドヴァート・ディル・ロ 条・1 単現・完了形・必要・否定

(dovére+不定詞 dire+lo)

v.t そんなことを言うべきでなかった 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

少ししてから、彼は僕を見つめて尋ねた：「どうしてですか?」、しかし答める口調ではなく、ただ聞きたいという感じだった。

Dopo un momento mi ha guardato e mi ha chiesto: “Perché”, ma senza accento di rimprovero, come se volesse informarsi.

「副詞句」「目的語」「動詞句」 e 「間接目的語」「動詞句」：《「質問」》, ma 「副詞句」
 Dopo un momento トーボ・イン・モメント adv. 少ししてから 「副詞句」
 mi ミ pron 僕を 「目的語」
 ha guardato ア・グワルダート 3 単現・完了形(guardare)v.t 見つめた 「動詞句」
 e エ conj. そして
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha chiesto: ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた 「動詞句」
 “Perché”, ペルケ adv. 「どうしてですか」 「質問」
 ma マ conj. しかし
 senza センツァ prep ーなしで 「副詞句」
 accento アクセント n.m 口調、抑揚、調子 「目的語」
 di rimprovero, ディ・リンプローヴェロ adj. 非難の、答める 「形容詞句」
 come コーメ conj. ーのように 「副詞句」
 se volesse informarsi. セ・ウレッセ・インフォルマルシ 接・3 単半・願望・推量
 (volersi+不定詞 informarsi)v.pr 問い合わせたい 「動詞句」

彼に言った：「分かりません」。すると、彼は白いひげをよじりながら言った：「わかります」

Gli ho detto: “Non so.” Allora, attorcigliandosi i baffi bianchi, ha dichiarato senza guardarmi: “Capisco.”

「間接目的語」「動詞句」：《「動詞句」》 | 「副詞句」, 「動詞句」「副詞句」：《「応答」》
 Gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 ho detto: オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 “Non so.” ノン・ソ 1 単現・否定(sapere)v.t 分からない 「動詞句」
 Allora, アッローラ adv. すると 「副詞」
 attorcigliandosi アットクリヤントシ ジェルンディオ・同時(attorcigliarsi)
 v.pr ーをよじりながら 「副詞句」
 i baffi bianchi, イ・バッフィ・ビアンキ pl(baffo).n.m 白いひげを 「目的語」
 ha dichiarato ア・デイクアラート 3 単現・完了形(dichiarare)v.t はっきりと言った 「動詞句」
 senza guardarmi: センツァ・グワルダールミ adv. 僕を見ないで 「副詞句」
 “Capisco.” カピスコ 1 単現(capire)v.t 分かります 「応答」

PARTE PRIMA 第1部

彼は美しい青い目で、顔は少し赤みがかった。彼は僕に椅子を勧めてから、自分も僕の少し後ろに座った。

Aveva due begli occhi azzurri e la faccia un po' róssa. Mi ha dato una sèdia e anche lui si è messo a sedere, un po' diètro a me.

「動詞」「目的語」 | 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e 「主語」「動詞句」「副詞句」

Aveva アヴェーヴァ 3 単半(avére)v.t (身体的特徴を) していた 「動詞」

due begli occhi azzurri トゥエ・ベッリ・オッキ・アッズーリ pl(occhio).n.m 美しい青い目 「目的語」

e エ conj. そして

la faccia ラ・ファッチャ n.f 顔 「目的語」

un po' róssa. ウン・ポ'・ロッサ adj. 少し赤みがかった 「形容詞句」

Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha dato ア・ダート 3 単現・完了形(dare)v.t 与えた、提供した 「動詞句」

una sèdia ウナ・セデーア n.f 椅子を 「直接目的語」

e エ conj. そして

anche lui アンケ・ルーイ pron 彼も 「主語」

si è messo a sedere, シ・エ・メッソ・ア・セデーレ 3 単現・完了形・開始(mettersi a+不定詞 sedere)

v.pr 座り始めた 「動詞句」

un po' diètro a me. ウン・ポ'・ディエトロ・ア・メ adv. (位置) 僕の少し後ろに 「副詞句」

看護婦が立ち上がり、出口の方へ進んで行った。

L'infermiera si è alzata e si è diretta verso l'uscita.

「主語」「動詞句」 e 「動詞句」「副詞句」

L'infermiera リンフェルミエーラ n(infermière).f 看護婦は 「主語」

si è alzata シ・エ・アルツァータ 3 単現・完了形.f(alzarsi)v.pr 立ち上がった 「動詞句」

e エ conj. そして

si è diretta シ・エ・ディレッタ 3 単現・完了形.f(dirigersi)v.pr ~の方へ行った 「動詞句」

verso l'uscita. ヴェールツ・ルツシータ adv. (方向) 出口の方へ 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

その時、門衛が僕に言った：「腫瘍があるんです」。僕は意味が分からなかったので、看護婦をよく見ると、目の下あたりで頭の周りをぐるりと包帯を巻きつけているのが見えた。

In quel momento il portinaio mi ha detto: “È un cancro, quello che ha” Siccóme non capivo, ho guardato l'infermiera e ho visto che aveva sotto gli occhi una benda che le girava tutt'intorno alla testa.

「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞句」：《「動詞」「補語」「主語」》

「副詞節」, 「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」

In quel momento イン・ケル・モメント adv. その時 「副詞句」
 il portinaio イル・ポルチナーイオ n.m 門衛が 「主語」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha detto: ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 “È エ 3 単現(èssere)v.i ~である 「動詞」
 un cancro, ウン・カンクロ n.m 悪性腫瘍 「補語」
 quello ケッロ pron それは 「主語」
 che ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」
 ha” ア 3 単現(avére)v.t 持っている、ある 「動詞」
 Siccóme シッコメ conj. (原因・理由) ~なので 「副詞節」
 non capivo, ノン・カピョーヴォ 1 単半・否定(capire)v.t 分からなかった 「動詞句」
 ho guardato オ・グアルダート 1 単現・完了形(guardare)v.t 見つめた 「動詞句」
 l'infermiera リンフェルミエーラ n.f 看護婦を 「目的語」
 e エ conj. そして
 ho visto オ・ヴィスト 1 単現・完了形(vedere)v.t ~が見えた、~が分かった 「動詞句」
 che ケ conj. ~ということが 「目的語」
 aveva アウエーヴァ 3 単半・時制の一致(avére)v.t ~がある 「動詞」
 sotto ソット prep (位置) ~の下に 「副詞句」
 gli occhi リ・オッキ pl(occhio)n.m 両目 「目的語」
 una benda ウナ・ベンダ n.f 包帯 「目的語」
 che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 le レ pron 彼女の 「間接目的語」
 girava ヒラーヴァ 3 単半・時制の一致(girare)v.t 取り巻く 「動詞」
 tutt'intorno トウッティントルノ adv. 辺り一帯を 「副詞句」
 alla testa. アッラ・テスト adv. 頭の 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

鼻の位置を見ても、包帯は平らだった。

All'altezza del naso, la fasciatura era piatta.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「補語」

All' アル prep(a+la) (場所) 〜は、〜に

「副詞句」

altezza アルテツァ n.f 頂上、高い所

「目的語」

del naso, デル・ナソ adj. 鼻の

「形容詞句」

la fasciatura ラ・ファッシャトゥーラ n.f 包帯が

「主語」

era エラ 3 単半(ser)v.i 〜だった

「動詞」

piatta. ピアッタ adj(piatto).f 平らな

「補語」

顔を見ても、包帯の白さだけが目立っていた。

Non si vedeva nel suo viso che la bianchezza délla bènnda di garza.

「動詞句」 「副詞句」 「主語」

Non si vedeva ノン・シ・ヴェデーヴァ 3 単半・再帰受動・否定(vedersi)v.pr 見えなかった

「動詞句」

nel suo viso ネル・スオ・ヴィスト adv. 彼女の顔に

「副詞句」

che la bianchezza ケ・ラ・ビアンケツァ n.f (non...che 〜しか) 白さしか

「主語」

délla bènnda デッラ・ベンダ adj. 包帯の

「形容詞句」

di garza. デイ・ガールザ adj. ガーゼの

「形容詞句」

garza ガールザ n.f ガーゼ fasciatura ファッシャトゥーラ n.f 包帯、包むもの

看護婦が出て行くと、門衛が話しかけてきた：「ここでお一人にして差し上げましょう」

Quando lei è uscita, il portinaio ha parlato: “Vi lascerò sólo, adesso.”

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」: 《「目的語」 「主語」 「動詞」 「補語」》

Quando クワント conj. 〜すると

「副詞節」

lei レイ pron 彼女が

「主語」

è uscita, エ・ウッシータ 3 単現・完了形.f(uscire)v.i 出て行った

「動詞句」

il portinaio イル・ポルチナイオ n.m 門衛が

「主語」

ha parlato: ア・パルラート 3 単現・完了形(parlare)v.i 話しかけてきた

「動詞句」

“Vi ヴィ pron (二人称単数敬称) あなたを

「目的語」

lascerrò ラッセルロ 1 単未・放任・意志(lasciare)v.i 〜の状態にしましょう

「動詞」

sólo, adj. ひとりの

「補語」

adesso.” アデッソ adv. たった今、今から

「副詞」

PARTE PRIMA 第1部

僕がどんな仕草をしたのか分からないが、彼は僕の後ろでその場に立っていた。

Non so che gesto ho fatto, ma lui è rimasto lì in piedi diètro di me.

「動詞句」「目的語」,ma「主語」「動詞句」「副詞句」

Non so ノ・ソ 1 単現・否定(sapère)v.t 分からない 「動詞句」

che gesto ケ・ヘスト pron (目的語) ~どんな仕草を~するかということ 「目的語」

ho fatto, オ・ファット 1 単現・完了形(fare)v.t (動作を) した 「動詞句」

ma マ conj. しかし

lui ルーイ pron 彼は 「主語」

è rimasto エ・リマスト 3 単現・完了形・過去における継続(rimanère)v.i 留まっていた 「動詞句」

lì, リ adv. その場に、そこに 「副詞句」

in piedi イン・ピエーティ adv. 立って 「副詞句」

diètro di me. デイエトロ・ディ・ミ adv. 僕の後ろに 「副詞句」

僕の背後に彼が居ることで、僕は居心地が悪かった。

Quella presènza alle mie spalle mi metteva a disàgio.

「主語」「目的語」「動詞」「補語」

Quella presènza ケツァ・プレゼンツァ n.f その存在感は 「主語」

alle mie spalle アッエ・ミーエ・スパッレ adv. (方向) 僕の背後の 「副詞句」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

metteva メッテヴァ 3 単半(mettere)v.t (ある状態に) 持っていた 「動詞」

a disàgio. ア・ディザージォ adv. 居心地の悪い、窮屈な状態 「補語」

部屋は、午後の終わりの美しい光で満たされていた。

La stanza era piena di una bella luce di pomeriggio inoltrato. 「主語」「動詞」「補語」

La stanza ラ・スタンツァ n.f 部屋は 「主語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」

piena ピエーナ adj(pièno).f(di ~で) いっぱいの 「補語」

di ディ prep (手段) ~で 「副詞句」

una bella luce ウナ・ベッラ・ルーチェ n.f 美しい光 「目的語」

di pomeriggio デイ・ポメリッジョ adj. 午後の 「形容詞句」

inoltrato. イノルトラート adj. 遅くの 「形容詞」

PARTE PRIMA 第1部

2匹のスズメバチがガラス窓にぶつかってぶんぶん飛び回っていた。僕は何とか眠気をこらえていた。

Due calabroni ronZavano còntro la vetrata e io mi sentivo vincere dal sònno.

「主語」「動詞」「副詞句」 e 「主語」「動詞句」「補語」

Due calabroni トゥエ・カラブローニ pl(calabrón)e.n.m 2匹のスズメバチが 「主語」

ronZavano ロンザバノ 3 複半(ronzare)v.i ブーンとうなっていた 「動詞」

còntro コントロ prep (対抗) ～にぶつかって 「副詞句」

la vetrata ラ・ヴェトラータ n.f ガラス窓 「目的語」

e エ conj. そして

io イオ pron 僕は 「主語」

mi sentivo ミ・センチヴァ 1 単半(sentirsi)v.pr ～と感じた 「動詞句」

vìncere ヴィンチェレ 不定詞・mi の動作 v.i ～に優勢である、勝っている 「補語」

dal sònno. ダル・ソノ adv. (動作主) 睡魔から、眠気から 「副詞句」

フランス語版では

そして僕は眠気が襲い掛かって来るのを感じた。

Et je sentais le sommeil me gagner.

僕は振り向かず、彼に言った：「ここに来られて、もう長いのですか？」

Ho détto al portinàio, sènza voltarmi: “È mólto tèmpo che siete qui?”

「動詞句」「間接目的語」「副詞句」：《「動詞」「補語」「主語」》

Ho détto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

al portinàio, アル・ポルチナーイオ adv. 門衛に 「間接目的語」

sènza +不定詞 センツァ adv. ～しないで 「副詞句」

voltarmi: ヴォルタルミ 不定詞(voltarsi)v.pr 振り向く 「動詞句」

“È エ 3 単現・疑問文(èssere)v.i ～ですか？ 「動詞」

mólto tèmpo モルト・テンポ n.m 長い時間 「補語」

che ケ conj. ～ということは 「主語」

siete シエ 2 複現・敬称・移動(èssere)v.i ～に来られて 「動詞」

qui?” クィ adv. ここに 「副詞」

PARTE PRIMA 第1部

彼はすぐ答えた：「5年になります」まるで僕のその質問をずっと前から待っていたように。

Mi ha risposto immediatamente: “Cinque anni” cóme se avesse atteso da sèmpre la mia domanda.

「間接目的語」「動詞句」「副詞」：《「応答」》 cóme se 「動詞句」「副詞句」「目的語」

Mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha risposto ア・リスポスト 3 単現・完了形(rispondere)v.i 答えた

「動詞句」

immediatamente: インメディアタメンテ adv. すぐに

「副詞」

“Cinque anni” チンクエ・アンニ pl(anno).n.m 5 年

「応答」

cóme se コ・セ conj. まるで～のように

avesse atteso アヴェッセ・アッテソー 接・3 単半・完了形(attendere)v.t 待っていた

「動詞句」

da sèmpre ダ・センプレ adv. ずっと前から

「副詞句」

la mia domanda. ラ・ミーア・トマンダ n.f 僕の質問を

「目的語」

それから彼は大いに喋った。もしも誰かにいつか、いずれはマレンゴで養老院の門衛になるだろうと言われたら、驚いたに違いない。

Poi ha chiacchierato molto. Sarèbbe certo rimasto stupito se un giorno gli avessero detto che sarèbbe andato a finire portinàio all'ospizio di Marengo.

「副詞」「動詞句」「副詞」 | 「動詞」「補語」「副詞節」

Poi ポーイ adv. それから、その後に、次に

「副詞」

ha chiacchierato ア・キアッキエート 3 単現・完了形(chiacchierare)v.i お喋りした

「動詞句」

molto. モルト adv. おおいに、ずいぶん

「副詞」

Sarèbbe サレッベ 条・3 単現・推量(essere)v.i ～だろう

「動詞」

certo チェルト adj. 明らかな

「補語」

rimasto リマスト 過去分詞・状態 (rimanére)

adv. (ある状態に) なっていると

「副詞句」

stupito ストゥピト adj. 驚いた

「補語」

se セ conj. (仮定) もし～ならば

「副詞節」

un giorno ウン・ジオルノ adv. ある日、いつか

「副詞句」

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

avessero detto アヴェッセロ・デット 接・3 複半・完了形(dire)v.t 言ったならば

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

sarèbbe andato a finire サレッベ・アンダート・ア・フィニレ 条・3 単現・完了形(andare a finire)

v.i ～に行きつくだろう

「動詞句」

portinàio ポルチナーイオ n.m 門衛

「補語」

all'ospizio di Marengo. アッロスピオー・ツイオ・ディ・マレンゴ

adv. マレンゴの養老院で

「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

彼の年齢は64歳で、パリの出身だ。

Aveva sessantaquattro anni ed era di Parigi.

「動詞」「目的語」ed「動詞」「補語」

Aveva アヴェーヴァ 3 単半(avére)v.t (年齢が) ~歳だった

「動詞」

sessantaquattro anni セサンタクワトロ・アニ pl(anno)n.m 64 歳

「目的語」

ed エド conj. そして

e+母音で始まる語 → ed を使用する

era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

di Parigi. ディ・パリジ adj. パリ出身の

「補語」

この時、僕は彼を遮って言った：「ああ、ここの出身ではないのですね？」

A questo punto l'ho interrotto: "Ah, non siete di qui?"

「副詞句」「目的語」「動詞句」：《「感嘆」,「動詞句」「補語」》

A questo punto ア・ケスト・プント adv. この時

「副詞句」

l' ル pron 彼を

「目的語」

ho interrotto: オ・インテロト 1 単現・完了形(interrómpere)v.t 遮った

「動詞句」

"Ah, アー int. ああ

「感嘆」

non siete ノン・シエ 2 複現・敬称・否定・時制の一致(essere)v.i ~でない

「動詞句」

di qui? ディ・クィ adj. ここの出身の

「補語」

それから、院長室へ同行する前に、母さんについて彼が言っていたことを思い出した。

Poi mi è venuto in mente che, prima di accompagnarmi dal direttore, mi aveva parlato della mamma.

「副詞」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」「主語」

Poi ホーイ adv. それから

「副詞」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

è venuto エ・ヴェヌート 3 単現・完了形(venire)v.i (心に) 浮かんだ

「動詞句」

in mente イン・メンテ adv. 心に

「副詞句」

che, ケ ~ということが

「主語」

prima di accompagnarmi プリマ・ディ・アッコンパニアルミ adv. 僕に同行する前に

「副詞句」

dal direttore, ダル・ディレットーレ adv (行先) 院長室へ

「副詞句」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

aveva parlato アヴェーヴァ・パルラート 3 単半・完了形(parlare)v.t 話していた

「動詞句」

della mamma. デッラ・マンマ adv. (主題) 母さんについて

「間接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

特にこの地方の平野部は暑いので、急いで埋葬しなければならないと言っていた。

Mi aveva detto che bisognava seppellirla molto presto perché in pianura faceva caldo, soprattutto in quel paese.

Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

aveva detto アヴェーヴァ・デット 3 単半・完了形(dire)v.t 言っていた 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

bisognava seppellirla ビゾーニャ・セッペリール 非人称・3 単半・必要

(bisognare+不定詞 seppellire+la)

v.h 母さんを埋葬しなければならない 「動詞句」

seppellire セッペリレ v.t 埋葬する、墓に埋める、地下に埋める

molto presto モルト・プレスト adv. とても急いで 「副詞句」

perché ペルケ conj. (理由) ～なので 「副詞節」

in pianura イン・ピアスラ adv. 平野部では 「主語」

faceva ファチェヴァ 非人称・3 単半・気候・時制の一致(fare)

v.h ～である 「動詞」

caldo, カルト adj. 暑い 「補語」

soprattutto ソプラットット adv. とりわけ、その上 「副詞」

in quel paese. イン・クエル・パエゼ adv. この地方では 「副詞句」

その時、彼はパリに住んでいたことがあり、パリは忘れがたいと僕に言った。

Era stato allora che mi aveva detto di aver vissuto a Parigi, e che faceva fatica a dimenticarselo.

「動詞」「副詞」「主語」

Era stato エラ・スタート 3 単半・完了形(essere)v.i ～だった 「動詞」

allóra アッローラ adv. その時 「副詞」

che ケ conj. ～したのは 「主語」

essere allóra che～ 強調構文「その時～した、～したのはその時」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

aveva detto アヴェーヴァ・デット 3 単半・完了形(dire)

v.t (di+不定詞) ～すると話した 「動詞句」

di aver vissuto a Parigi, ディ・アリェル・ヴィッスト・ア・パリジ 不定詞(vivere)

v.i パリに住んでいたことがある 「動詞句」

e エ conj. そして

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

faceva fatica a dimenticarselo. ファチェヴァ・ファチカ・ア・ディメンチアル・セロ 非人称・3 単半・困難

(fare fatica a+不定詞 dimenticarselo)

v.h それを忘れるのは困難だ 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

パリでは、3日間、時には4日まで死者と共に過ごす。

A Parigi si resta col mòrto tre giòrni, persino quattro, cèrte vòlte.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」

A Parigi ア・パリジ adv. (場所) パリでは

「副詞句」

si resta シ・レスタ 3 単現(restarsi)v.pr 留まる

「動詞句」

col mòrto コル・モルト adv. 死者と一緒に

「副詞句」

tre giòrni, トレ・ジョルニ adv. 3 日間

「副詞句」

persino quattro, ペルシノ・クワットロ adv. 4 日間まで

「副詞句」

cèrte vòlte. チェルテ・ヴォルテ adv. 時には、時々

「副詞句」

ここでは時間が無い：亡くなったという現実を受け入れる間もなく、もう霊柩車の後を急いで追わねばならない。

Qui non c'è tèmpo: non ci si è ancóra abituati all'idèa, che già bisogna correr diètro al carro fùnebre.

「副詞」「動詞句」「主語」：「動詞句」「間接目的語」,che 「副詞」「動詞句」「副詞句」

Qui クイ adv. ここでは

「副詞」

non c'è ノン・チェ 3 単現・否定(esserci)v.i 〜がない

「動詞句」

tèmpo: テンポ n.m 時間が

「主語」

non ci si è ancóra abituati ノン・チ・シ・エ・アンコーラ・アビトゥアーティ 3 単現・完了形(abituarsi)

v.pr(a に) まだ慣れていない

「動詞句」

all'idèa, アリデア adv. (亡くなったという) 考えに

「間接目的語」

che ケ conj. (結果) そして〜する

già ジャ adv. もう

「副詞」

bisogna correr ビズォーニャ・コレル 3 単現・必要(bisognare+不定詞)

v.i 走らなければならない

「動詞句」

diètro al carro fùnebre. デイエトロ・アルカッロ・フネブレ adv. 霊柩車の後を

「副詞句」

この時、門衛の妻が言った：「おやめなさい。この方に話すことではないでしょうに！」

A quèsto punto sua móglie gli aveva détto: “Sta zitto, ti pare che siano còse da raccontare al signore?”

「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞句」：

《「動詞」「補語」,「間接目的語」「動詞」「主語」》

A quèsto punto ア・クェスト・ポイント adv. (時点) この時

「副詞句」

sua móglie スー・モーリエ n.f 彼の妻が

「主語」

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

aveva détto: アヴァ・エヴァ・テット 3 単半・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

“Sta スタ 命・2 単現(stare)v.i 〜の状態でいなさい

「動詞」

PARTE PRIMA 第1部

zitto, ツィット	adj. 黙っている	「補語」
ti チ	pron あなたには	「間接目的語」
pare パレ	3 単現(parére)v.i ~のように見える	「動詞」
反語表現 「~と思うの?」→「~ではないでしょう?」		
che ケ	conj. ~ということ	「主語」
siano シアーノ	接・3 複現・思う(èssere)v.i ~である	「動詞」
còse コーセ	pl(còsa).n.f もの	「補語」
da raccontare ダ・ラッコントラーレ	不定詞・目的 adj. 話すべき	「形容詞句」
al signore? アル・シニョーレ	adv. この方に	「間接目的語」

反語表現

- 1 断定を強調するために、言いたいことと反対の内容を疑問の形で述べる表現
- 2 表面ではほめ、またはそして、裏にその反対の意味を含ませる言い方。多くは皮肉な言い方となる。

門衛は、顔を赤らめて弁解した。

<u>Il vècchio era diventato rósso e si era scusato.</u>	「主語」「動詞句」「補語」 e 「動詞句」
Il vècchio エル・ウ ^ゝ エッキオ n.m 老人は、門衛は	「主語」
era diventato エラ・ティウ ^ゝ エンタート 3 単半・完了形・変化(diventare)v.i ~になった	「動詞句」
rósso ロッソ adj. 赤い	「補語」
e エ conj. そして	
si era scusato. シ・エラ・スカサート 3 単半・完了形(scusarsi)v.pr 弁解した	「動詞句」

僕は仲裁に入って、言った：「そんなことはありませんよ...」

<u>Io ero intervenuto per dire: “Ma no, ma no.”</u>	「主語」「動詞句」「副詞句」:《「応答」》
Io イオ pron 僕は	「主語」
ero intervenuto エロ・インテルヴ [゛] ェヌート 1 単半・完了形(intervenire)v.i 仲裁に入った	「動詞句」
per dire: ペル・デーレ adv. (目的・結果)そして言った	「副詞句」
“Ma no, ma no.” マ・ノ・マ・ノ adv. (門衛を養護して) そんなことはありません	「応答」

PARTE PRIMA 第1部

彼が言った事、僕はそれが正しい上に、興味深いと思った。

Quello che raccontava, io lo trovavo giusto e interessante.

「目的語」, 「主語」 「目的語」 「動詞」 「補語」

Quello ケッロ pron それ

「目的語」

che ケ pron (目的語) ~する

「形容詞節」

raccontava, ラッコンターヴァ 3 単半(raccontare)v.t 語った

「動詞」

io イオ pron 私は

「主語」

lo ロ pron それを

「目的語」

trovavo トロヴァーヴォ 1 単半(trovare)v.t ~と思っていた

「動詞」

giusto e interessante. ジュスト・エ・インテリサンテ adj. 正しくて興味深い

「補語」

小さな霊安室で、彼は生活困窮者としてこの養老院へ入ったのだと説明してくれた。

Nel piccolo obitorio mi ha spiegato che era entrato all'ospizio come indigente.

「副詞句」, 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」

Nel ネル prep(in+il) (場所) ~で

「副詞句」

piccolo obitorio ピッコロ・オビトリオ n.m 小さな霊安室

「目的語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha spiegato ア・スビエガート 3 単現・完了形(spiegare)v.t 説明した

「動詞句」

che, ケ conj. ~ということを

「直接目的語」

era entrato エラ・エントラート 3 単半・完了形(entrare)v.i 入った

「動詞句」

all'ospizio アッロスピーツィオ adv. 養老院へ

「間接目的語」

come indigente. コメ・インデジエンテ adv. (資格) 生活困窮者として

「副詞句」

彼はまだ働けると思ったので、この門衛の仕事を自ら申し出たのだった。

Siccome si sentiva capace di lavorare, si era offerto per quel posto di portinaio.

「副詞節」, 「動詞句」 「間接目的語」

Siccome シッコーメ conj. (原因) ~なので

「副詞節」

si sentiva シ・センチャーヴァ 3 単半(sentirsi)v.pr ~と感じた

「動詞句」

capace カパーチェ adj.(di+不定詞) ~することができる

「補語」

di lavorare, ディ・ラボラーレ adv. 働くことが

「副詞句」

si era offerto シ・エラ・オフエルト 3 単半・完了形(offrirsi)v.pr (自ら) 申し出た

「動詞句」

per quel posto di portinaio. ペル・ケル・ポスト・ディ・ポルチナーイ

adv. (目的) この門衛の仕事を

「間接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

僕は彼に、結局は彼も入寮者ですねと確認した。彼は僕に、それは違うと答えた。

Gli ho fatto notare che in fondo era anche lui un pensionante. Lui mi ha risposto di no.

「間接目的語」「動詞句」「補語」 | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」

Gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 ho fatto オ・ファット 1 単現・使役・完了形(fare)v.t ~させた 「動詞句」
 notare ノターレ 不定詞・gli の動作 v.t 気付く 「補語」
 che ケ conj. ~ということを 「目的語」
 in fondo イン・フォンド° adv. 結局は 「副詞句」
 era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ~である 「動詞」
 anche lui アンケ・ルーイ pron 彼も 「主語」
 un pensionante. ウン・ペンシヨナンテ n.m 入寮者 「補語」
 Lui ルーイ pron 彼は 「主語」
 mi ミ porn 僕に 「間接目的語」
 ha risposto ア・リスポ°スト 3 単現・完了形(rispondere)v.i 答えた 「動詞句」
 di no. デイ・ノ adv. 違うと 「間接目的語」

彼が入寮者について話す時に、「彼ら」とか「他の連中」そしてまれではあるが自分より年下の相手に
 対して「老人」と呼ぶ言い方に、僕はすでに違和感を感じていた。

Mi aveva già colpito il modo con cui diceva: “loro”, “gli altri”, e più di rado, “i vecchi”, parlando dei pensionanti di cui alcuni non avevano certo più anni di lui.

「動詞句」「目的語」「副詞句」: 「目的語」「副詞句」

Mi aveva già colpito ミ・アヴァ°エウ°ア・ジヤ°コルピト 1 単半・完了形(colpirsi+ già)
 v.pr すでに印象を持っていた 「動詞句」
 il modo イル・モト° n.m 言い方、表現、方法、やり方 「目的語」
 con cui diceva: コン・クーイ・デイ°エウ°ア° adv. 彼が言っていた言葉の中に 「副詞句」
 “loro”, ロロ pron 「彼ら」 「目的語」
 “gli altri”, リ・アルトリ pron.pl 「他の連中」 「目的語」
 e, エ conj. そして
 più di rado, ピウ°ディ°ラーロ adv. まれにはあるが 「副詞句」
 “i vecchi”, イウ°エッキ pl(vecchio).n.m 「老人たち」 「目的語」
 parlando パ°ラント° ジェルンディオ・条件(parlare)v.i(di について) 話すときに 「副詞句」
 dei pensionanti デイ°ペンシヨナンティ adv. 入寮者たち 「間接目的語」
 di cui デイ°クーイ adj. ~する人の 「形容詞句」
 alcuni アルクニ pron.pl ある人々が 「主語」
 non avevano ノン・アヴァ°エウ°ア° 3 複半・否定(avére)
 v.t ~が無い 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

cèrto più anni チェルト・ピウ・アンニ

pl(anno).n.m 確実により多くの歳を 「目的語」

di lui. ティ・ルーイ adv. (比較) 彼よりも 「副詞句」

しかし彼らは同列ではない。彼は門衛だから、ある程度まで入寮者に対して権限がある。

Ma naturalmènte non era la stèssa còsa. Lui era portinàio e, fino a un cèrto punto, godeva dei diritti su di lóro.

Ma 「副詞」「動詞句」「補語」

「主語」「動詞」「補語」 e, 「副詞句」「動詞」「目的語」「副詞句」

Ma マ conj. しかし

naturalmènte ナチュラルメンテ adv. もちろん、当然 「副詞」

non era ノン・エラ 3 単半・否定・時制の一致(èssere)v.i ~でない 「動詞句」

la stèssa còsa. ラ・ステッサ・コサ n.f 同じ事 「補語」

Lui ルーイ pron 彼は 「主語」

era エラ 3 単半・時制の一致(èssere)v.i ~である 「動詞」

portinàio ポルチナイオ n.m 門衛 「補語」

e, エ conj. そして

fino フィーノ prep (限度) ~まで 「副詞句」

a un cèrto punto, ア・ウン・チェルト・プント adv. ある点に 「副詞句」

godeva ゴデーヴァ 3 単半・時制の一致(godére)v.t ~がある 「動詞」

dei diritti ティ・ディ・リッティ pl(diritto).n.m 権利、権限 「目的語」

su di lóro. ス・ディ・ローロ adv. (対象) 彼らに対して 「副詞句」

その時看護婦が入って来た。日はあつという間に沈んでいた。

In quel moménto è entrata l'infermiera. La séra era calata mólto prèsto.

「副詞句」「動詞句」「主語」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

In quel moménto イン・ケル・モメント adv. その時 「副詞句」

è entrata エ・エントラータ 3 単現・完了形.f(entrare)v.i 入って来た 「動詞句」

l'infermiera. リンフェルミエラ n(infermière).f 看護婦が 「主語」

La séra ラ・セーラ n.f 夕方は 「主語」

era calata エラ・カタ 3 単半・完了形.f(calare)v.i (太陽が) 沈んでいた 「動詞句」

mólto prèsto. モルト・プレスト adv. 非常に早く、あつという間に 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

急速に、夜はガラス窓の上に分厚く覆いかぶさっていた。

Mólto prèsto la nòtte si era fatta spéssa al di sópra délla vetrata.

「副詞句」「主語」「動詞句」「補語」

Mólto prèsto モルト・プレスト adv. とても早く

「副詞句」

la nòtte ラ・ノッテ n.f 夜は

「主語」

si era fatta シ・エラ・ファッタ 3 単半・完了形・状態(farsi)v.pr 〜になっていた

「動詞句」

spéssa スペッサ adj(spesso).f 厚い、分厚い

「補語」

al di sópra アル・ディ・ソプラ prep (+di) 〜の上に

「副詞句」

délla vetrata. デッラ・ヴェトラータ adj. ガラス窓の

「形容詞句」

門衛がスイッチをひねると、突然の強烈な光のために、僕は目がくらんだ。

Il portinàio ha girato l'interruttore e sono rimasto accecato dalla luce violènta e improvvisa.

「主語」「動詞句」「目的語」e「動詞句」「補語」

Il portinàio イル・ポルチナーイオ n.m 門衛は

「主語」

ha girato ア・ジラート 3 単現・完了形(girare)v.t 回した、ひねった

「動詞句」

l'interruttore リンテルットーレ n.m スイッチを

「目的語」

e エ conj. そして

sono rimasto ソー・リマスト 1 単現・完了形(rimanére)v.i 〜になった

「動詞句」

accecato アッチェカート 過去分詞・受動 adj. 目がくらんだ

「補語」

dalla luce ダッラ・ルチェ adv. (動作主) 光によって

「副詞句」

violènta ヴィオレンタ adj(violènto).f 強烈な

「形容詞」

e エ conj. そして

improvvisa. インプロヴィザー adj(improvviso).f 突然の

「形容詞」

彼は僕に、食堂で夕食を取られてはいかがですかと促した。

Mi ha détto che potevo andare al refettório per la céna.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha détto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t (che 〜と) 言った

「動詞句」

che ケ conj. 〜ということを

「直接目的語」

potevo andare ポテヴァ・ォ・アンダーレ 1 単半・許可・勧誘(potére+不定詞)

v.i(a に) 行った方がよろすよ

「動詞句」

al refettório アル・レフェトリオ adv. (修道院の) 食堂へ

「間接目的語」

per la céna. ペル・ラ・チェナ adv. (目的) 夕食を食べに

「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

しかし僕は腹がすいていなかった。すると彼は、カフェオレを1杯持ってきてましようとし出してくれた。

Ma non avevo fame. Allóra mi ha offerto di portarmi una tazza di caffelatte.

Ma 「動詞句」「目的語」 | 「副詞」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Ma マ conj. しかし

non avevo ノン・アヴェーヴォ 1 単半・否定(avére)v.t. ～が無かった 「動詞句」

fame. ファーメ n.f 空腹 「目的語」

Allóra アッローラ adv. それで 「副詞」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha offerto ア・オフフェルト 3 単現・完了形・申し出(offrire)

v.t(di+不定詞) ～することを申し出た 「動詞句」

di portarmi ディ・ポルタール・ミ 不定詞 v.t 僕に持ってくる 「動詞句」

una tazza ウナ・タッサ n.f 1 杯 「直接目的語」

di caffelatte. ディ・カフェラテ adj. カフェオレの 「形容詞句」

カフェ・オ・レは僕の大好きなので彼の申し出を受け入れた。すると少ししてから、盆に載せて戻って来た。

Siccome il caffelatte mi piace molto, ho accettato e lui è ritornato dopo un istante con un vassóio.

「副詞節」, 「動詞句」 e 「主語」「動詞句」「副詞句」

Siccome シッコメ conj. (原因) ～なので 「副詞節」

il caffelatte イル・カフェラテ n.m カフェ・オ・レは 「主語」

mi ミ pron 僕にとって 「間接目的語」

piace ピアチェ 3 単現(piacére)v.i 好みのものである 「動詞」

molto, モルト adv. とても 「副詞」

ho accettato オ・アッチェタート 1 単現・完了形(accettare)v.t (申し出を) 受け入れた 「動詞句」

e エ conj. そして

lui ルーイ pron 彼は 「主語」

è ritornato エ・リトルナート 3 単現・完了形・移動(ritornare)v.i 戻って来た 「動詞句」

dopo un istante トーボ・ウン・インスタnte adv. 少ししてから 「副詞句」

con un vassóio. コン・ウン・ヴァッソーイオ adv. 盆にのせて 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

僕はそれを飲んだ。それからタバコを吸いたくなった。だが、母さんの前でタバコを吸っても良いかどうかが分からなかったのだからためらった。

Ho bevuto. Poi ho avuto voglia di fumare ma ho esitato perché non sapevo se potevo farlo davanti alla mamma. 「動詞句」 | 「副詞」「動詞句」「目的語」 ma 「動詞句」「副詞節」

Ho bevuto. オ・ベヴート 1 単現・完了形(bére)v.t 飲んだ 「動詞句」

Poi ポーイ adv. それから、次に 「副詞」

ho avuto オ・アヴート 1 単現・完了形(avére)v.t 〜があった 「動詞句」

voglia ヴォリア n.f(di+不定詞) (〜したい) 気持ち、願望 「目的語」

di fumare デイ・フマーレ 不定詞・同格 adj. タバコを吸うという 「形容詞句」

ma マ conj. しかし

ho esitato オ・エシタート 1 単現・完了形(esitare)v.i 躊躇した、ためらった 「動詞句」

perché ペルケ conj. (理由) 〜なので 「副詞節」

non sapevo ノン・サペーヴォ 1 単半・否定(sapére)v.t 分からなかった 「動詞句」

se セ conj. 〜かどうかということ 「目的語」

potevo farlo ポテヴォ・ファル・ロ 1 単半・可能(potére+不定詞)

v.t そうして良い 「動詞句」

davanti alla mamma. ダヴァンティ・アッ・マンマ adv. 母さんの前で 「副詞句」

僕はよく考えて、何の問題もないと思った。僕は門衛に1本を渡して、一緒に吸った。

Ho riflettuto, e non aveva nessuna importanza. Ho offerto una sigarétta al portinàio e abbiamo fumato insieme. 「動詞句」, e 「動詞句」「目的語」

「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」 e 「動詞句」「副詞」

Ho riflettuto, オ・リフレットゥート 1 単現・完了形(riflettere)v.i 熟考した 「動詞句」

riflettere の過去分詞は、riflesso または riflettuto が使用可能

e エ conj. そして

non aveva ノン・アヴァー 3 単半・否定(avére)v.t 〜が無かった 「動詞句」

nessuna importanza. ネスーナ・インポルタンツァ n.f 何の重要性も 「目的語」

avére importanza 「重要である」

Ho offerto オ・オフエルト 1 単現・完了形(offrire)v.t 提供した 「動詞句」

una sigarétta ウナ・シガレッタ n.f タバコを1本 「直接目的語」

al portinàio アル・ポルチナーイオ adv. 門衛に 「間接目的語」

e エ conj. そして

abbiamo fumato アッビアーモ・フマート 1 複現・完了形(fumare)v.t タバコを吸った 「動詞句」

insieme. インシェーメ adv. 一緒に 「副詞」

PARTE PRIMA 第1部

ある時点で彼は僕に言った：「お知らせしておきますが、お母様のお友達もお通夜に来ることになっています」

A un cèrto punto mi ha détto: “Sapete, gli amici délla vostra signóra madre verranno anche lóro a vegliarla.

《「副詞句」》, 「間接目的語」「動詞句」, 《「動詞」, 「主語」「動詞句」「主語」「動詞句」》

A un cèrto punto ア・ウン・チェルト・フント adv. (時点) ある時点で、ところで、同時に 「副詞句」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha détto: ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

“Sapete, サペーテ 2 複現(sapére)v.t お知らせします、知っている 「動詞」

gli amici リ・アミチ pl(amico)n.m お友達は 「主語」

délla vostra signóra madre デッラ・ヴァストラ・シニョーラ・マトレ adj. お母様の 「形容詞句」

verranno ヴェランノ 3 複未(venire)v.i(a+不定詞 ～しに) 来ることになっている 「動詞句」

anche lóro アンケ・ローロ pron.pl 彼らも 「主語」

a vegliarla. ア・ヴェリアール・ラ 不定詞(vegliare+la)v.t 彼女のお通夜をする 「動詞句」

「そういう仕来たりです。私は椅子とブラックコーヒーを取りに行かなければなりません」

È l'uso. Bisogna che vada a prendere délle sèdie e del caffè néro.”

《「動詞」「補語」 | 「動詞句」「主語」》

È エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

l'uso. ルーゾ n.m 習慣、しきたり、風習 「補語」

Bisogna ビゾニャ 非人称・3 単現・必要(bisognare)

v.h (che+接続法) ～しなければならない 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「主語」

vada a prendere ヴァダ・ア・プレンデレ 接・1 単現・しに行く (andare a+不定詞)

v.t 取りに行かねばならない 「動詞句」

délle sèdie デッレ・セデーエ pl(sèdia)n.f 椅子を 「目的語」

e エ conj. そして

del caffè néro.” デル・カフェ・ネーロ n.m ブラックコーヒーを 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

彼にランプの1つを消せるかと尋ねた：白壁に反射する強い光で気が滅入るのだ。

Gli ho chiesto se si poteva spegnere una delle lampadine: lo sfolgorio della luce sulle pareti bianche mi stancava.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」：「主語」「目的語」「動詞」

Gli リ pron 彼に 「間接目的語」

ho chiesto オ・キスト 1 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた、頼んだ 「動詞句」

se セ conj. へかどうかということを 「直接目的語」

si poteva spegnere シ・ポテヴァ・スぺ・ニエレ 3 単半・可能(potere+不定詞・再帰受動 spegnersi)

v.pr 消されることが出来る 「動詞句」

una delle lampadine: ウナ・デレ・ランパ・ディ・ネ

pron(lampadina) ランプの一つが 「主語」

lo sfolgorio della luce ロ・スフォルリオ・デラ・ルーチェ n.m 明かりの輝きが 「主語」

sulle pareti スレ・ペレティ adv.(parète) 壁の 「副詞句」

bianche ビアンケ adj(bianco).f.pl 白い 「形容詞」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

stancava. スタンカーヴァ 3 単半・時制の一致(stancare)v.t 疲れさせる 「動詞」

彼は、それは出来ないと言った。取付けがそうになっているのだ：全点灯または全消灯だ。

Lui mi ha detto che non era possibile. L'installazione era fatta così: tutto o niente.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | 「主語」「動詞句」「副詞」 | 「主語」

Lui ルー pron 彼は 「主語」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. へということを 「直接目的語」

non era ノン・エラ 3 単半・否定・時制の一致(essere)v.i へでない 「動詞句」

possibile. ポッシビレ adj. 可能な 「補語」

L'installazione リンスタチオーネ n.f 取付けが 「主語」

era fatta エラ・ファッタ 3 単半・受動.f・時制の一致(fare)v.t なされている 「動詞句」

così: コシ adv. そのように 「副詞」

tutto トット pron すべて 「主語」

o オ conj. または

niente. ニエンテ pron 何もへない 「主語」

PARTE PRIMA 第1部

それから僕はあまり彼のことが気にならなくなった。彼は出て行き、戻って来て、椅子を並べ、椅子の一つの上にコーヒーポットを置き、その周りに沢山のカップを置いた。

Pòi non ho più fatto molta attenzione a quel che faceva è uscito, è rientrato, ha disposto delle sedie e su una ha messo parecchie tazze intorno a una caffettiera.

「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Pòi ポーイ adv. それから

「副詞」

non ho più fatto ノ・ノ・ビウ・ファット 1 単現・完了形・否定(fare)

v.t (動作を) しなくなった

「動詞句」

molta attenzione モルタ・アッテンツィオーネ n.f (否定文で) あまり注意を

「目的語」

→ 気にならなくなった

a quel ア・ケル adv. (対象) に対して

「副詞句」

che ケ pron (目的語) ~する

「形容詞節」

faceva ファチェヴァ 3 単半・時制の一致(fare)v.t する

「動詞」

è uscito, エウッシート 3 単現・完了形(uscire)v.i 出て行った

「動詞句」

è rientrato, エリエントラート 3 単現・完了形(rientrare)v.i 戻って来た

「動詞句」

ha disposto ア・ディスポスト 3 単現・完了形(disporre)v.t 並べた

「動詞句」

delle sedie デッレ・セデーエ pl(sedia).n.f 椅子を

「目的語」

e エ conj. そして

su una ス・ウナ adv. 椅子の一つの上に

「副詞句」

ha messo ア・メツ 3 単現・完了形(mettere)v.t 置いた

「動詞句」

parecchie tazze パレッキエ・タツェ pl(tazza).n.f 沢山のカップを

「目的語」

parecchie パレッキエ adj(parecchio).f.pl かなりの多くの tazze タツェ pl(tazza).n.f カップ

intorno a イントルノ・ア prep. ~の周りに

「副詞句」

una caffettiera. ウナ・カフエチエラ n.f コーヒーポットを

「目的語」

それから、彼は母さんの向こう側の僕の正面に座った。

Pòi si è seduto di fronte a me dall'altra parte della mamma. 「副詞」「動詞句」「副詞句」

Pòi ポーイ adv. それから

「副詞」

si è seduto シ・エ・セドゥート 3 単現・完了形(sedersi)v.pr 座った

「動詞句」

di fronte a me デイ・フロンテ・ア・メ adv. (位置) 僕の正面に

「副詞句」

dall'altra parte ダル・アルトラ・パルテ adv. 反対側の、向こう側の

「副詞句」

della mamma. デッラ・ママ adj. 母さんの

「形容詞句」

PARTE PRIMA 第1部

看護婦もその奥に居て、僕に背中を向けて座っていた。

Anche l'infermiera era in fondo da quella parte, e mi voltava la schiena.

「主語」「動詞」「副詞句」,e「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Anche アンケ conj. もまた

l'infermiera リンフェルミエラ n.f 看護婦は

「主語」

era エラ 3 単半・存在(essere)v.i 〜にいた

「動詞」

in fondo イン・フォント adv. (位置) 奥に

「副詞句」

da quella parte, ダ・ケッラ・パルテ adv. その場所から

「副詞句」

e エ conj. そして

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

voltava ヴォルターヴァ 3 単半(voltare)v.t 向けていた

「動詞」

la schiena. ラ・シェナ n.f 背中を

「直接目的語」

彼女が何をしているのか見ることはできなかった。しかし彼女の手動きから、編み物をしているの
だろうと推測した。

Non vedevo quel che faceva, ma dal movimento delle sue braccia ho supposto che lavorasse a
maglia.

「動詞句」「目的語」,ma「副詞句」「動詞句」「目的語」

Non vedevo ノン・ヴェデーヴォ 1 単半・否定(vedere)v.t 見えなかった

「動詞句」

quel ケル pron 〜するものを

「目的語」

che ケ pron (目的語) 〜する

「形容詞節」

faceva, ファチェヴァ 3 単半・時制の一致(fare)v.t している

「動詞」

ma マ conj. しかし

dal movimento ダル・モヴイメント adv. (手段) 動きから

「副詞句」

delle sue braccia デッレ・ス・ブラッチャ adj. 彼女の腕の

「形容詞句」

braccia ブラッチャ pl(braccio).n.m 腕 ([複]le braccia) ,腕木 (アーム) ([複]i bracci)

ho supposto オ・スポスト 1 単現・完了形(supporre)v.t (che 〜と) 推測した

「動詞句」

che ケ conj. 〜ということを

「目的語」

lavorasse ラヴォラッセ 接・3 単半・時制の一致(lavorare)

v.i (a 仕事を) しているのだろう

「動詞」

a maglia. ア・マリア adv. 編み物を

「間接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

室温は心地よくて、僕の体はコーヒーを飲んで温まっていた。そして開いた戸口から、夜と花の香りが流れ込んできていた。

La temperatura era dolce, il caffè mi aveva scaldato e dalla porta aperta entrava un odore di notte e di fiori.

「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「目的語」「動詞句」 e 「副詞句」「動詞」「主語」	
La temperatura ラ・テンペラトゥラ n.f 気温は	「主語」
era エラ 3 単半(essere)v.i 〜だった	「動詞」
dolce, トルチェ adj. 穏やかな、優しい、心地よい	「補語」
il caffè イル・カフエ n.m コーヒーは	「主語」
mi ミ pron 僕を	「目的語」
aveva scaldato アヴェ・エヴァ・ア・スカルダート 3 単半・完了形(scaldare)v.t 温めた	「動詞句」
e エ conj. そして	
dalla porta aperta ダ・ッラ・ポーラ・アペールタ adv. (起点) 開いた戸口から	「副詞句」
entrava エントラーヴァ 3 単半(entrare)v.i 入って来ていた	「動詞」
un odore ウン・オドーレ n.m 香りが	「主語」
di notte ディ・ノッテ adj. 夜の	「形容詞句」
e エ conj. そして	
di fiori. ディ・フィオーリ adj. 花の	「形容詞句」

僕は少しうとうとしたと思う。衣擦れの音がして、僕は目が覚めた。

Credo di aver sonnecchiato un po'. È stato un fruscio a risvegliarmi.

「動詞句」「副詞句」 「動詞句」「主語」	
Credo di +不定詞・完了形 クレド・ディ 1 単現(crédere)v.t(di+不定詞・完了形)	
v.t 〜したと思う	「動詞句」
aver sonnecchiato アヴェル・ソネッキアーレ 不定詞・完了形 v.i うとうとした	「動詞句」
un po'. ウン・ポ' adv. 少し	「副詞句」
È stato エ・スタート 3 単現・完了形・存在(essere)v.i 〜があった	「動詞句」
un fruscio ウン・フルッシーオ n.m 衣擦れの音が	「主語」
a risvegliarmi. ア・リスヴェギアルミ 不定詞・目的・結果 v.t 僕を目覚めさせる	「形容詞句」

PARTE PRIMA 第1部

しばらく目を閉じていたので、部屋の白さがさらに眩しくなったように思われた。

Dopo aver tenuti chiusi a lungo gli occhi, la stanza mi è parsa ancora più sfolgorante di bianco.

「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「補語」

Dopo +不定詞・完了形 adv. (時間・理由) ～した後なので

「副詞句」

aver tenuti アヴェル・テヌーティ 不定詞・完了形.pl(tenére)

v.t(OC) O を C に保っていた

「動詞句」

chiusi キュージ adj(chiuso).m.pl 閉じ

「補語」

a lungo ア・ルンゴ adv. 長い間

「副詞句」

gli occhi, リ・オッキ pl(occhio).n.m 目を

「目的語」

la stanza ラ・スタンツァ n.f 部屋は

「主語」

mi ミ pron 僕には

「間接目的語」

è parsa エ・パルサ 3 単現・完了形.f(parére)v.i ～のように見えた

「動詞句」

ancora アンコーラ adv. さらに、一段と

「副詞」

più sfolgorante ピュ・スフォルコランテ adj. さらに輝いた、明るい

「補語」

di bianco. ティ・ブランコ adv. 白く

「副詞句」

僕の前にはいかなる影もなく、それぞれの物体が、それぞれの角が、すべての曲線が、目を傷つけるほど強烈な輪郭によって己自身を描き出していた。

Davanti a me non c'era neppure un'ombra e ogni oggetto, ogni angolo, tutte le curve si disegnavano con una purezza che feriva lo sguardo.

「副詞句」 「動詞句」 「主語」 e 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Davanti a me ダヴァンティ・ア・メ adv. 僕の前には

「副詞句」

non c'era ノン・チェラ 3 単半・否定・存在(esserci)v.i ～がなかった

「動詞句」

neppure ネプーレ adv. ...さえも～ない

「副詞」

un'ombra ウ・ノンブラ n.f 影

「主語」

e エ conj. そして

ogni oggetto, オンニ・オブジェット n.m それぞれの物体が

「主語」

ogni angolo, オンニ・アングロ n.m それぞれの角が

「主語」

tutte le curve トゥッテ・レ・クルヴェ pl(curva).n.f すべての曲線が

「主語」

si disegnavano シ・ディセグナーヴァノ 3 複半(disegnarsi)

v.pr (自分自身を) 描いていた

「動詞句」

con una purezza コン・ウナ・プレツァ adv. (様態) 簡潔に、単純に

「副詞句」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

feriva フェリヴァ 3 単半・時制の一致(ferire)v.t 傷つける

「動詞」

lo sguardo. ロ・ズグワルト n.m 視線、目を

「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

その時、母さんの友人たちが入って来た。

E in quel momento, che sono entrati gli amici della mamma.

「副詞句」

E in quel momento, エ・イン・ケル・モメント adv. そしてその時

「副詞句」

che ケ adv. ～した

「副詞節」

sono entrati ソーノ・エントラーティ 3 複現・完了形(pl(entrare))

v.i 入って来た

「動詞句」

gli amici リ・アミチ pl(amico).n.m 友人が

「主語」

della mamma. デッラ・ママ adj. 母さんの

「形容詞句」

全部で 10 人くらいだった。目がくらむような光の中を列になって入って来た。

Erano una dozzina in tutto e sfilavano silenziosamente in quella luce accecante.

「動詞」「主語」「副詞句」 e 「動詞」「副詞句」

Erano エーノ 3 複半(essere)v.i ～だった

「動詞」

una dozzina ドッジーナ n.f 10 人くらいの人

「主語」

in tutto イン・トゥット adv. 全部で

「副詞句」

e エ conj. そして

sfilavano スフィラヴァーノ 3 複半(sfilare)v.i 列になって進んで来た

「動詞」

silenziosamente シレンツィオサメンテ adv. 静かに、無言で

「副詞」

in quella luce イン・ケッラ・ルチェ adv. 光の中を

「副詞句」

accecante. アチェカンテ 現在分詞(accecare)adj. 失明させる

「形容詞」

彼らは着席したが、一つの椅子もきしまなかった。

Si sono seduti senza che una sóla delle sèdie scricchiolasse.

「動詞句」「副詞節」

Si sono seduti シ・ソーノ・セドゥーティ 3 複現・完了形(sedersi)v.pr 座った、着席した

「動詞句」

senza che+接続法 センツァ・ケ conj. ～しないのに

「副詞節」

una sóla ウナ・ソーラ pron ただ一つが

「主語」

delle sèdie デッレ・セデーエ adj.pl.(sedia) 椅子の

「形容詞句」

scricchiolasse. スリキョラッセ 接・3 単半・時制の一致(scricchiolare)v.i きしむ

「動詞」

PARTE PRIMA 第1部

彼らの誰も、これまでに一度も見たことが無い程に見えた。そして彼らの顔や衣服のどんな些細な部分も僕にははっきりと識別できた。

Li vedevo còme non ho mai visto alcuno e non mi sfuggiva il minimo particolare dei lóro vólti e dei lóro vestiti.

「目的語」「動詞」「副詞節」 e 「動詞句」「目的語」「動詞句」「主語」

Li リ pron 彼らを 「目的語」

vedevo ヴェデーヴォ 1 単半(vedére)v.t 見えた 「動詞」

còme コーメ adv. (同等比較) ーと同じように 「副詞節」

non ho mai visto ノ・ノ・マイ・ヴィスト 1 単現・完了形・否定(vedére)

v.t 一度も見たことがない 「動詞句」

alcuno アルクノ pron どれも、誰も 「目的語」

e エ conj. そして

non ...sfuggiva ノン...スフッジーヴァ 3 単半・否定(sfuggire)v.t ーを避けなかった 「動詞句」

→ 僕の中から逃れなかった → はっきりと見極められた

mi ミ pron 僕を 「目的語」

il minimo particolare イル・ミニモ・パルチコラーレ n.m どんな些細な細部も 「主語」

dei lóro vólti デイ・ロー・ヴォルティ adj. 彼らの顔の 「形容詞句」

e エ conj. そして

dei lóro vestiti. デイ・ロー・ヴォエステーティ adj. 彼らの衣服の 「形容詞句」

しかし、彼らの声は聞こえなかったもので、彼らを現実のものとして受け入れ難かった。

Eppure non li udivo e mi era difficile credere alla lóro realtà.

Eppure 「動詞句」「目的語」「動詞句」 e 「間接目的語」「動詞」「補語」「主語」

Eppure エッポーレ conj. しかし

non ...udivo ノン...ウディヴォ 1 単半・否定(udire)v.t 聞こえなかった 「動詞句」

li リ pron.pl 彼らの声を 「目的語」

e エ conj. そして

mi ミ pron 僕には 「間接目的語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ーだった 「動詞」

difficile ディッフィーチレ adj. 困難な 「補語」

credere クレーデレ 不定詞 v.i(a を) 信じることは 「主語」

alla lóro realtà. アッラ・ロー・レアルタ adv. (対象) 彼らの実在を 「間接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

女たちはほとんど全員が前掛けをしていて、胴体を締め付ける紐がなおさら彼女らの丸々とした腹部を目立たせていた。

Quasi tutte le donne portavano un grembiale e il cordone che stringeva loro la vita faceva risaltare ancor di più il loro ventre rotondo.

「主語」「動詞」「目的語」 e 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

Quasi tutte le donne クォーシ・トゥテ・レ・ドンネ pl(donna).n.f ほとんど全員の女が 「主語」

portavano ポルタヴァノ 3 複半(portare)v.t 着ていた、身に着けていた 「動詞」

un grembiale ウン・グレンビアレ n.m(= grembiule) 前掛けを 「目的語」

e エ conj. そして

il cordone イル・コルドーネ n.m 紐は 「主語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

stringeva ストリンジエヴァ 3 単半(stringere)v.t 締め付けていた 「動詞」

loro ローロ pron 彼らの 「間接目的語」

la vita ラ・ヴィータ n.f 彼らの胴体を 「直接目的語」

faceva risaltare ファチェヴァ・リサルターレ 3 単半・使役(fare+不定詞)v.t 目立たせていた 「動詞句」

ancor di più アンコール・ディ・ピウ adv. さらにもっと、なおさら 「副詞句」

il loro ventre イル・ローロ・ヴェントレ n.m 彼らの腹部を 「目的語」

rotondo. ロント adj. 丸々とした 「形容詞」

あの時まで、女が歳をとるとあれ程の腹になるとは、これまで見たことが無かった。

Non avevo mai osservato prima d'allora fino a qual punto le vecchie donne possono avere la pancia.

「副詞句」「動詞句」「目的語」

Non avevo mai osservato ノン・アヴェー・マ・オスセルヴァート 1 単半・完了形・否定

(osservare)v.t 今まで一度も見たことが無かった 「動詞句」

prima d'allora プリーマ・ダッローラ adv. その時まで 「副詞句」

fino a qual punto フィーノ・ア・クワル・プント adv. あそこまで 「副詞句」

le vecchie donne レ・ヴィエッキエ・ドンネ

pl(donna).n.f 年を取った女が～することを 「目的語」

possono avere ポッソノ・アヴェーレ 3 複現・可能(potére+不定詞 avere)

v.t (身体的特徴) になれる 「動詞句」

la pancia. ラ・パンチャ n.f 腹 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

男たちは、ほとんど全員がとても痩せており、杖を持っていた。

Gli uòmini erano quasi tutti móltó magri e avevano il bastóne.

「主語」「動詞」「主語」「補語」 e 「動詞」「目的語」

Gli uòmini リ・ウーミニ pl(uòmo).n.m 男たちは、人間 「主語」
 erano エーノ 3 複半(èssere)v.i ~だった 「動詞」
 quasi tutti クわ・ジ・トゥッティ pron.pl(tutto) ほとんど全員が 「主語」
 móltó magri モルト・マ・グ・リ adj(magro).pl とても痩せた 「補語」
 e エ conj. そして
 avevano アヴ・ェヴァノ 3 複半(avére)v.t を持っていた 「動詞」
 il bastóne. イル・バ・スト・ネ n.m 杖、ステッキを 「目的語」

彼らの顔の中で僕が一番印象深いのは、彼らの目が見当たらず、皺の真ん中に濁った光だけが見えたことだ。

Quéllo che mi colpiva di più nelle lóro facce, è che non vedevo i lóro òcchi, ma soltanto un lume senza splendore in mèzzo a un nido di rughe.

「主語」「動詞」「補語」

Quéllo クェッロ pron そのものは 「主語」
 che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 mi ミ pron 僕に 「目的語」
 colpiva コルピヴァ 3 単半(colpire)v.t 印象付けた、衝撃を与えた 「動詞」
 di più デイ・ピウ adv. より多く、最も 「副詞句」
 nelle lóro facce, ネッレ・ロー・ロ・ファッチェ adv. (fàccia) 彼らの顔の中で 「副詞句」
 faccia ファッチャ n.f ([複] facce) 顔、顔色、顔つき、(建物の) 正面、ファサード
 è エ 3 単現(èssere)v.i ~である 「動詞」
 che ケ conj. ~ということ 「補語」
 non vedevo ノン・ヴァ・エダー・ヴァ 1 単半・否定(vedére)v.t 見えない 「動詞句」
 i lóro òcchi, イ・ロー・ロ・オッキ pl(òcchio).n.m 彼らの目 「目的語」
 ma マ conj. しかし
 soltanto un lume ソルタント・ウン・ルーメ n.m 光だけ、光しか 「目的語」
 senza splendore センツァ・スプレンドーレ adj. 輝きの無い 「形容詞句」
 in mèzzo a イン・メツォ・ア prep (位置) ~の真ん中に 「副詞句」
 un nido ウン・ニド n.m 巣 「目的語」
 di rughe. デイ・ルーゲ adj.(ruga) 皺の 「形容詞句」
 eughe ルーゲ pl(ruga).n.f (顔の) しわ

PARTE PRIMA 第1部

彼らが座っていた時、ほぼ全員が僕をじっと見つめ、歯の無い口に唇を収めるように噛みしめながら、
落ち着かない様子で頭を揺っていた。僕には彼らが僕に挨拶しているのか、癖なのか分からなかった。

Quando sono stati seduti quasi tutti mi hanno guardato e hanno scosso la testa imbarazzati, le labbra tutte mangiate nelle loro bocche senza denti, e non potevo capire se mi salutavano oppure se si trattava di un tic.

「副詞節」, 「主語」「目的語」「動詞句」 e 「動詞句」「目的語」「副詞」,
「主語」「補語」, e 「動詞句」「目的語」

Quando クワント conj. ～した時 「副詞節」
sono stati seduti ソノ・スターティ・セト・カーティ 3 複現・完了形(stare sedere)
v.i 座っていた 「動詞句」
quasi tutti クワ・ジ・トゥッティ pron ほぼ全員が 「主語」
mi ミ pron 僕を 「目的語」
hanno guardato アンノ・グ・ワルダート 3 複現・完了形(guardare)v.t じっと見つめた 「動詞句」
e エ conj. そして
hanno scosso アンノ・スコッソ 3 複現・完了形(scuotere)v.t 揺すった 「動詞句」
la testa ラ・テスタ n.f 頭を 「目的語」
imbarazzati, インバ・ラツァーティ adj(imbarazzato).pl 落ち着かない、困った 「副詞」
le labbra レ・ラッブラ pl(labbro).n.f 唇は 「主語」
tutte mangiate トゥッテ・マンジ・ャテ 過去分詞(mangiare)adv. しっかり噛みしめて 「副詞句」
nelle loro bocche ネレ・ロー・ボ・ッケ adv. 口の中で 「副詞句」
senza denti, センツァ・デンティ adj. 歯のない 「形容詞句」
e エ conj. そして
non potevo capire ノン・ポ・テーヴァ・ォ・カピ・ーレ 1 単半・可能・否定(potére+不定詞)
v.t 分からなかった 「動詞句」
se セ conj. ～かどうかということを 「目的語」
mi ミ pron 僕に 「目的語」
salutavano サルタヴァノ 3 複半(salutare)v.t 挨拶した 「動詞」
oppure オップ・ーレ conj. それとも
se セ conj. ～かどうかということを 「目的語」
si trattava シ・トラッタヴァ 3 単半(trattarsi)v.pr(di の) ことである 「動詞句」
di un tic. ディ・ウン・チック adv. 癖 「間接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

だが、僕に挨拶したのだろうと思う。

Ma ho l'impressione che mi salutassero.

Ma 「動詞」「目的語」

Ma マ conj. しかし

ho オ 1 単現(avére)v.t. ～がある

「動詞」

l'impressione リンプレッシオーネ n.f. 印象が

「目的語」

che ケ conj. (同格) ～という

「形容詞節」

mi ミ pron 僕に

「目的語」

salutassero. サルタッセロ 接・3 複半・推測(salutare)

v.t. 挨拶したのだろう

「動詞」

このとき僕は気付いた。老人たちは、門衛を囲んで座り、僕に向かって頭を振っていたのだ。

È a questo punto, che mi sono accorto che erano tutti seduti di fronte a me a dondolare la testa, attorno al portinaio.

「動詞」「補語」「主語」

È エ 3 単現(essere)v.i. ～である

「動詞」

a questo punto, ア・クェスト・プント adv. この時に

「補語」

che ケ conj. ～ということは

「主語」

→ ～したのはこの時である (強調構文) → この時、～した

mi sono accorto ミ・ソノ・アッコルト 1 単現・完了形(accòrgersi)

v.pr(che ということに) 気付いた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

erano tutti seduti エラーノ・トゥッティ・セドゥーティ 3 複半・完了形(sedére)

v.i. みな座っていた

「動詞句」

di fronte a me ティ・フロンテ・ア・メ adv. 僕の正面に

「副詞句」

di fronte a 「～の正面に、向かいに、～を考慮して」

a dondolare ア・ドンドラレ 不定詞・同時 adv. 揺り動かしながら

「副詞句」

la testa, ラ・テスタ n.f. 頭を、首を

「目的語」

attorno アトルノ adv.(a を) 囲んで

「副詞句」

al portinaio. アル・ポルチナーイオ adv. 門衛を

「間接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

僕は一瞬、彼らは僕を裁くためにそこにいるのだろうという馬鹿げた想像をした。

Ho avuto per un istante l'impressione ridicola che fossero lì per giudicarmi.

「副詞句」「動詞句」「目的語」

Ho avuto オ・アヴート 1 単現・完了形(avére)v.t ~を持った

「動詞句」

per un istante ペル・ウン・インスタンテ adv.(期間) 一瞬の間、束の間

「副詞句」

l'impressione リンプレシオーネ n.f 印象を

「目的語」

ridicola リデーコラ adj(ridicolo).f おかしな、馬鹿げた

「形容詞」

che ケ conj. (同格) ~という

「形容詞節」

fossero フォッセル 接・3 複半・推測(essere)v.i ~にいるのだろう

「動詞」

lì リ adv. そこに

「副詞」

per giudicarmi. ペル・ジューディカルミ 不定詞・目的

adv. 僕を裁くために

「副詞句」

間もなく女たちの一人が泣き出した。

Poco dopo una delle donne si è messa a piangere.

「副詞句」「主語」「動詞句」

Poco dopo ポコ・ドーポ adv. 少しすると、まもなく

「副詞句」

una delle donne ウナ・デッレ・ドンネ pron.f 女たちの一人が

「主語」

donne ドンネ pl(donna).n.f 女、女性、婦人

si è messa a piangere. シ・エ・メッサ・ア・ピアンジェ 3 単現・完了形.f・開始(mettersi a+不定詞)

v.pr 泣き出した

「動詞句」

彼女は2列目に居て、仲間の一人の陰になっていたので、よく見えなかった。

Era nella seconda fila, nascosta da una delle compagne e la vedevo male.

「動詞」「副詞句」, 「補語」e 「目的語」「動詞」「副詞」

Era エラ 3 単半・存在(essere)v.i ~にいた

「動詞」

nella ネッラ prep (場所) ~に

「副詞句」

seconda fila, セコンダ・フィラ n.f 2 列

「目的語」

nascosta ナスコスタ adj(nascosto).f 隠された

「補語」

da una delle compagne ダ・ウナ・デッレ・コンパニエ

adv. (動作主) 仲間の一人によって

「副詞句」

compagne コンパニエ pl(compagno).n.f 仲間、相棒

e エ conj. そして

la ラ pron 彼女を

「目的語」

vedevo ヴェデーヴォ 1 単半(vedere)v.t 見えた

「動詞」

male マーレ adv. よく~ない、まずく

「副詞」

PARTE PRIMA 第1部

女は規則的に小さくしゃくりあげて泣いていた：もはや泣き止まないだろうと思われた。

Piangeva a piccoli singulti, regolarménte: mi sembrava che non si sarèbbe fermata più.

「動詞」「副詞句」：「間接目的語」「動詞」「主語」

Piangeva ピアングェヴァ 3 単半(piangere)v.i 泣いていた 「動詞」

a ア prep (手段) ～によって 「副詞句」

piccoli singulti, ピッコリ・シグアルティ pl(singultio).n.m 小さなしゃっくり 「目的語」

regolarménte: レコラルメンテ adv. 規則的に 「副詞」

mi ミ pron 僕には 「間接目的語」

sembrava センブラヴァ 3 単半(sembrare)v.i ～のように思われた 「動詞」

che ケ conj. ～ということ 「主語」

non si sarèbbe fermata più. ノン・シ・サレッハ・フェルマータ・ピウ 条・3 単現・完了形・過去の未来予測

(fermarsi)v.pr(non...più) もはや終わらないだろう 「動詞句」

他の老人たちは女の声が聞こえないようだった。彼らは憔悴し、沈み込んで、無言だった。

Gli altri avevano l'aria di non sentirla. Erano accasciati, tristi e silenzíosi.

「主語」「動詞」「目的語」 | 「動詞」「補語」

Gli altri リ・アルトリ pl(altero).pron 他の老人たちは 「主語」

avevano アヴェンヴァノ 3 複半(avére)v.t (特徴や状態を) していた 「動詞」

l'aria ラーリア n.f 様子を 「目的語」

di +不定詞 ディ 不定詞 adj. ～する 「形容詞句」

non sentirla. ノン・センチール・ラ 不定詞・否定(sentire+la)

v.t 女の泣き声が聞こえない 「動詞句」

Erano エラノ 3 複半(essere)v.i ～だった 「動詞」

accasciati, アッカシャティ adj(accasciato).pl 憔悴した、気落ちした 「補語」

tristi トリスティ adj(triste).pl 沈み込んだ 「補語」

e エ conj. そして

silenzíosi. シレンチオシ adj(silenzioso).pl 無言の 「補語」

彼らは柩や自分の杖など兎に角何か一つを見つめていたが、それしか見ていなかった。

Guardavano la bara o il lóro bastóne, o un'altra còsa qualunque, ma non guardavano che quèlla còsa.

「動詞」「目的語」,ma「動詞句」「目的語」

Guardavano グワルダヴァノ 3 複半(guardare)v.t 見つめていた 「動詞」

la bara ラ・バラ n.f 柩を 「目的語」

o オ conj. または

il lóro bastóne, イル・ロー・バストーネ n.m 自分の杖を 「目的語」

o オ conj. または

PARTE PRIMA 第1部

un'altra cosa ウン・アルトラ・コサ n.f 別のものを	「目的語」
qualunque, クワルクェ adj. どんなものでも、兎に角	「形容詞」
ma マ conj. しかし	
non guardavano ノ・グワルダヴァノ 3 複半・否定(guardare)v.t 見ていなかった	「動詞句」
che qu�ella cosa. ケ・クェツァ・コサ n.f (限定) そのものしか	「目的語」

女はあいかわらず泣いていた。

<u>La donna pi�ngeva sempre.</u>	「主語」「動詞」「副詞」
La donna ラ・ドンナ n.f 女は	「主語」
pi�ngeva ピ�アンジェヴァ 3 単半(pi�ngere)v.i 泣いていた	「動詞」
sempre. センプレ adv. あいかわらず	「副詞」

僕は彼女と面識が無かったので、とても驚いた；できればこれ以上泣き声を聞きたくなかった、しかしそれでも彼女にそれを言うわけにはいかなかった。

<u>Ero molto stupito perch� non la conoscevo; avrei voluto non sentirla pi�, ma tuttavia non osavo dirglielo.</u>	「動詞」「補語」；「動詞句」「副詞」,ma「動詞句」
Ero エロ 1 単半(�ssere)v.i �だった	「動詞」
molto stupito モルト・ストオピト adj. とても驚いた	「補語」
perch� ペルク conj. (理由) �なので	「副詞節」
non ...conoscevo; ノ...コノシェヴォ 1 単半・否定(conoscere)	
v.t 知らなかった	「動詞句」
la ラ pron 彼女を	「目的語」
avrei voluto +不定詞 アヴレイ・ヴォルト 条・1 単現・完了形(vol�re+不定詞)	
v.t できれば�したかった	「動詞句」
non sentirla ノン・センチール・ラ 不定詞・否定形(sentire+la)v.t 彼女の鳴き声を聞く	「動詞句」
pi�, ピ� adv. もう�ない	「副詞」
ma マ conj. しかし	
tuttavia トウッタヴァイア conj. それでも	
non osavo dirglielo. ノン・オサヴォ・ディルリエロ 1 単半・否定・あえて(osare+不定詞)	
v.t あえてそれを彼女にいうことは出来なかった	「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

門衛が女の方へ体を屈めて、女に話しかけたが、女は首を振って、何かぼそぼそと喋ると、また同じ規則的な調子で泣き続けた。

Il portinàio si è chinato verso di lei, le ha parlato, ma la donna ha scosso la testa, ha baciato qualcosa e ha continuato a piangere con la stessa regolarità.

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「間接目的語」「動詞句」,

ma 「主語」「動詞句」「目的語」, 「動詞」「目的語」 e 「動詞句」「副詞句」

Il portinàio イル・ポルチナイオ n.m 門衛が 「主語」
 si è chinato シ・エ・チナト 3 単現・完了形(chinare)v.pr 体をかがめた 「動詞句」
 verso di lei, ヴェールゾ・ディ・レイ adv. 彼女のほうへ 「副詞句」
 le レ pron 彼女に 「間接目的語」
 ha parlato, ア・パルラト 3 単現・完了形(parlare)v.i 話しかけた 「動詞句」
 ma マ conj. しかし
 la donna ラ・ドンナ n.f 女は、婦人は 「主語」
 ha scosso ア・スコッソ 3 単現・完了形(scuòtere)v.t 振った 「動詞句」
 la testa, ラ・テスタ n.f 頭を、首を 「目的語」
 ha baciato ア・ビアシアート 3 単現・完了形(baciare)v.t ぼそぼそと話した 「動詞」
 qualcosa クワルコーサ pron 何かを 「目的語」
 e エ conj. そして
 ha continuato a piangere ア・コンチヌアート・ア・ビアンジェレ 3 単現・完了形・継続
 (continuare a+不定詞)v.i 泣き続けた 「動詞句」
 con la stessa regolarità. コン・ラ・ステッサ・レコラリタ adv. 同じ規則的な調子で 「副詞句」

その時、門衛が僕の方へやって来て、近くに座った。

Allóra il portinàio è venuto dalla mia parte. Si è seduto vicino a me.

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「動詞句」「副詞句」

Allóra アッローラ adv. その時 「副詞」
 il portinàio イル・ポルチナイオ n.m 門衛が 「主語」
 è venuto エ・ヴェヌート 3 単現・完了形(venire)v.i やって来た 「動詞句」
 dalla ダッラ prep (目的) ~の所へ 「副詞句」
 mia parte. ミーア・パルテ n.f 僕の居るあたり 「目的語」
 Si è seduto シ・エ・セドゥート 3 単現・完了形(sedersi)v.pr 座った 「動詞句」
 vicino a ヴィチーノ・ア prep (位置) ~の近くに 「副詞句」
 me. メ pron 僕 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

かなり長い沈黙の後で、僕の顔を見ないで、門衛は僕に説明した：「あれはあなたのお母さんとしても仲が良かったんです」

Dopo un silenzio piuttosto lungo, mi ha informato senza guardarmi: “Era molto affezionata alla vostra signora mamma.

「副詞句」, 「間接目的語」 「動詞句」 「副詞句」: 「動詞」 「補語」

Dopo ドーホ prep (時間) ーの後で 「副詞句」

un silenzio ウン・シレンツィオ n.m 沈黙 「目的語」

piuttosto lungo, ビウットースト・ルンゴ adj. かなり長い 「形容詞句」

piuttosto ビウットースト adv. どちらかと言うと、かなり、けっこう

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha informato ア・インフォルマト 3 単現・完了形(informare)v.t 知らせた、説明した 「動詞句」

senza guardarmi: センツァ・グワルダール・ミ adv. (様態) 僕の顔を見ないで 「副詞句」

“Era エラ 3 単半(essere)v.i ーだった 「動詞」

molto affezionata モルト・アフエッチォナータ adj. とても情愛のある、親しい 「補語」

alla vostra signora mamma. アッラ・ウァストラ・シニョーラ・マンマ

adv. あなたのお母さんと 「副詞句」

「ここでただ一人の友達だった。今では独りぼっちになってしまったと、言っています」

Dice che era la sóla amica che aveva qui e che adesso non ha più nessuno.”

《「動詞」 「目的語」 e 「目的語」》

Dice ディェ 3 単現(dire)v.t 言っている 「動詞」

che ケ conj. ーということを 「目的語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ーだった 「動詞」

la sóla amica ラ・ソーラ・アミカ n.f たった一人の友人 「補語」

che ケ pron (目的語) ーする 「形容詞節」

aveva アヴェーヴァ 3 単半(avére)v.t 持った 「動詞」

qui クィ adv. ここで 「副詞」

e エ conj. そして

che ケ conj. ーということを 「目的語」

adesso アデッソ adv. 今では 「副詞句」

non ha più ノナ・ピウ 3 単現・否定(avére)v.t もういない 「動詞句」

nessuno.” ネッスーノ pron 誰もーない 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

僕たちは、かなりの時間そんな風にしていた。あの女の溜息と嗚咽は静まって来た。

Siamo rimasti parecchio tempo così. I sospiri e i singhiozzi della vecchia si sono fatti meno frequenti. 「動詞句」「補語」 | 「主語」「動詞句」「補語」

Siamo rimasti シアーモ・リマスティ 1 複現・完了形.pl・持続(rimanére)v.i. ~のままでいた 「動詞句」

parecchio tempo パレッキオ・テンポ adv. かなりの時間 「副詞句」

così. コシ adv. (様態) そんな風にして 「補語」

I sospiri イ・ソスピリ pl(sospiro)n.m 溜息は 「主語」

e エ conj. そして

i singhiozzi イ・シンギョッツィ pl(singhiózzo).n.m 嗚咽、むせび泣き、しゃっくり 「主語」

della vecchia デッラ・ヴェッキア adj. 老婆の、あの女の 「形容詞句」

si sono fatti シ・ソノ・ファッティ 3 複現・完了形.pl(farsi)v.pr ~になった 「動詞句」

meno frequenti. メノ・フレクエンティ adj. 少し間遠な 「補語」

女の息は荒くなっていた。それからやっと泣き止んだ。

Respirava gròsso, e infine non si è sentita più. 「動詞」「副詞」,e「副詞」「動詞句」

Respirava レスピラヴァ 3 単半(respirare)v.i 息をしていた 「動詞」

gròsso, グロツォ adv. 乱雑に 「副詞」

e エ conj. そして

infine インフィーネ adv. やっと 「副詞」

non si è sentita più. ノン・シ・エ・センチター・ピウ 3 単現・完了形・否定・再帰受動.f(sentirsi)

v.pr もう彼女の泣き声は聞こえなくなった 「動詞句」

フランス語版では

彼女はひんぱんに鼻をすすった。そしてついに彼女は泣き止んだ。

Elle **reniflait** beaucoup. Elle s'est tue enfin.

renifler レニフレ v.i 鼻を鳴らして息を吸う → 鼻をすす

もう眠くなかったが、疲れていて、腰が痛んだ。

Io non avevo più sonno, ma ero stanco e mi facevano male le reni.

「主語」「動詞句」「目的語」,ma「動詞」「補語」e「間接目的語」「動詞」「副詞」「主語」

Io イオ pron 僕は 「主語」

non avevo più ノン・アヴァ・エヴァ・オ・ピウ 1 単半・否定(avére)v.t もう無かった 「動詞句」

sonno, ソノ n.m 眠気が 「目的語」

ma マ conj. しかし

ero エロ 1 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」

stanco スタンコ adj. 疲れた 「補語」

e エ conj. そして

PARTE PRIMA 第1部

mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
facevano ファチェヴァノ 3 複点(fare)v.t (動作を) した	「動詞」
male マレ adv. 悪く	「副詞」
le reni. レ・レニ pl.n.f 腰が	「主語」

今は、ここにいる全員の沈黙が苦痛になった。

Quél che era insopportabile, adesso, era il silenzio di tutta quèlla gènte.

Quél ケル pron それは	「主語」
che ケ pron (主語) ～する	「動詞」
era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった	「補語」
insopportabile, インソッポ ルタービレ adj. 我慢できない	「形容詞節」
adesso, アデッソ adv. 今	「動詞」
era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった	「副詞」
il silenzio イル・シレンツィオ n.m 沈黙	「主語」
di tutta quèlla gènte. ディ・トゥッタ・ケッラ・ジェンテ adj. ここにいる全員の	「補語」
	「形容詞句」

ただ時々、小さい変な物音が聞こえたが、それが何なのか分からなかった。

Sentivo sólo, di tanto in tanto, un rumorino strano e non riuscivo a comprendere che cosa fósse.

Sentivo センチーヴァ 1 単半(sentire)v.t 聞こえた	「動詞」
sólo, ソーロ adv. ただ～だけ	「動詞」
di tanto in tanto, ディ・タント・イン・タント adv. 時々	「副詞」
un rumorino strano ウン・ルモリーノ・ストラノ n.m(rumóre+ -ino) 小さい変な物音	「副詞句」
e エ conj. そして	「目的語」
non riuscivo a comprendere ノン・リウシヴァ 1 単半・成功・否定 (riuscire a+不定詞)v.t 分からなかった	「目的語」
che cosa ケ・コサ pron 何が～するというのを	「動詞句」
fósse. フォッセ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である	「目的語」
	「動詞」

PARTE PRIMA 第1部

やっと分かった。何人かの老人が自分の頬の内側を吸って、その奇妙な舌打ちの音を漏らしていたのだった。

Finalmente mi sono accorto che alcuni dei vecchi si succhiavano l'interno delle guance e così si lasciavano sfuggire quegli schiocchi curiosi. 「副詞」「動詞句」「目的語」

Finalmente ファイナルメンテ adv. やっと、最後に 「副詞」

mi sono accorto 1 単現・完了形(accòrgersi)v.pr 気付いた、分った 「動詞句」

che ケ conj. 何ということ 「目的語」

alcuni dei vecchi アルクーニ・デー・ウゝェッキ pron(alcuno).pl 何人かの老人が 「主語」

si succhiavano シ・スッキアヴァノ 3 複半(succhiarsi)

v.pr (自分の体の一部を) 吸っていた 「動詞句」

l'interno リンテルノ n.m 内側を 「目的語」

delle guance テッレ・グェ・ワンチェ adj.(guancia) 頬の 「形容詞句」

e エ conj. そして

così コシ adv. このようにして 「副詞句」

si lasciavano sfuggire シ・ラッシャヴァノ・スフッジーレ 3 単半・使役(lasciarsi+不定詞 sfuggire)

v.pr (自分の体の一部に) ーを漏らさせていた 「動詞句」

quegli schiocchi curiosi. ケリ・シオッキ・クリオーシ

pl(schiocco).n.m その奇妙な舌打ちの音を 「目的語」

彼らはそのことに気付いていなかった。それほど物思いに耽っていたのだ。

Loro non se ne accorgevano, tanto erano assorti nei loro pensieri.

「主語」「動詞句」, 「副詞」「動詞」「補語」

Loro ローロ pron.pl 彼らは 「主語」

non se ne accorgevano, ノン・セ・ネ・アッコルジエヴァノ 3 複半・否定(accorgersi+ne)

v.pr そのことに気付いていなかった 「動詞句」

ne は自分たちの動作

tanto タント adv. それほど 「副詞」

erano エラノ 3 複半(essere)v.i ーだった 「動詞」

assorti アッソルティ adj(assorto).m.pl ふけた 「補語」

nei loro pensieri. ネイ・ローロ・ペンシエリ adv. 自分たちの考えに 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

僕は、彼らの中央に横たえられたその死者は、彼らの目には何も意味しないのではないかという印象さえ抱いた。

Avevo addirittura l'impressione che quella mòrta, coricata lì in mèzzo a lóro, non significasse niènte ai lóro òcchi. 「動詞」「目的語」

Avevo アヴェーヴォ 1 単半(avére)v.t. ～があった、持った 「動詞」

addirittura アディリットゥラ adv. ～さえも 「副詞」

l'impressione リンプレシオーネ n.f 印象を 「目的語」

che ケ conj. (同格) ～という 「形容詞節」

quella mòrta, ケッラ・モールタ n(mòrto).f その死者は 「主語」

coricata コリカータ 過去分詞・受動(coricare)

adj.f 横たえられた 「形容詞句」

lì リ adv. そこに 「副詞」

in mèzzo a lóro, イン・メツォ・ア・ローロ

adv. 彼らの中央に 「副詞句」

non significasse ノン・シニフィッセ 接・3 単半・推量(significare)

v.t 意味しないのではないか 「動詞句」

niènte ニエンテ pron 何も～ない 「直接目的語」

ai lóro òcchi. アイ・ローロ・オッキ adv. 彼らの目に 「間接目的語」

しかし、いまではその印象は誤りだったと思う。

Ma adesso credo che fosse un'impressione sbagliata. Ma 「副詞」「動詞」「目的語」

Ma マ conj. しかし

adesso アデッソ adv. 今、今では 「副詞」

credo クレド 1 単現(crédere)v.t(che と) 思っている 「動詞」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

fosse フosse 接・3 単過・推量(essere)v.i. ～だっただろう 「動詞」

un'impressione ウン・インプレッシオーネ n.f 印象 「補語」

sbagliata. スバリアータ adj(sbagliato).f 間違えた 「形容詞」

僕たちは全員、門衛が出してくれたコーヒーを飲んだ。

Abbiamo tutti bevuto il caffè servito dal portinaio. 「動詞句」「主語」「目的語」

Abbiamo ...bevuto アッビアーモ...ベヴァート 1 複現・完了形(bére)v.t 飲んだ 「動詞句」

tutti トゥッティ pron(tutto).pl 全員 「主語」

il caffè イル・カフエ n.m コーヒーを 「目的語」

servito セルヴァート 過去分詞・受動(servire)adj. 出された 「形容詞句」

dal portinaio. ダル・ポルチナイオ adv. (動作主) 門衛によって 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

その後は何も分からない。夜が過ぎていった。

Pòi, non so altro. La notte è passata. 「副詞」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」
 Pòi, ポーイ adv. (時間) その後は 「副詞」
 non so ノ・ソ 1 単現・否定(sapere)v.t 分からない 「動詞句」
 altro. アルトロ pron 他のことを 「目的語」
 La notte ラ・ノッテ n.f 夜が 「主語」
 è passata. エ・パッサータ 3 単現・完了形.f(passare)v.i 過ぎていった 「動詞句」

僕はある時目を開けたのを覚えている。その時、老人たちが背を丸めて眠っているのが見えた。一人だけは例外で、顎を杖を支えている両手の甲に載せて、まるで僕の目覚を待っているのではないかと
 思うほどじっと僕を見つめていた。

Mi ricordo che a un certo momento ho aperto gli occhi e ho visto che i vecchi dormivano, abbandonati su se stessi, ad eccezione di uno che, puntando il mento sul dorso delle mani appoggiate al bastone, mi guardava fisso come se non aspettasse che il mio risveglio.

「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」, 「副詞句」
 Mi ricordo ミ・リコルト 1 単現(ricordarsi)v.pr 〜を覚えている 「動詞句」
 che ケ conj. 〜ということを 「目的語」
 a un certo momento ア・ウン・チェルト・モメント adv. ある時に 「副詞句」
 ho aperto オ・アペルト 1 単現・完了形(aprire)v.t 開けた 「動詞句」
 gli occhi リ・オッキ pl(occhio).n.m 目を 「目的語」
 e エ conj. そして
 ho visto オ・ヴィスト 1 単現・完了形(vedere)v.t 見えた 「動詞句」
 che ケ conj. 〜ということが 「目的語」
 i vecchi イ・ヴェッキ pl(vecchio).n.m 老人たちが 「主語」
 dormivano, ドルミヴァノ 3 複半(dormire)v.i 眠っていた 「動詞」
 abbandonati アッパントナティ 過去分詞(abbandonare)adj.pl 身をゆだねて 「副詞句」
 su se stessi, ス・セ・ステッス adv. 自分自身の上に 「副詞句」
 → 背を丸めた格好で
 ad eccezione di アド・エツィオネ・ディ adv. 〜を除いて 「副詞句」
 uno ウノ pron 一人 「目的語」
 che, ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」
 puntando プンタント ジェルンディオ(puntare)
 v.t 押し当てる、突き出して 「動詞」
 il mento イルメント n.m 顎を 「目的語」
 sul dorso スル・ドルソ adv. 背の上に 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

→ 手の甲の上に

délle mani デッレ・マーニ adn. 両手の 「形容詞句」

appoggiate アッポシヤテ 過去分詞(appoggiare)

adj. 支えた 「形容詞句」

al bastóne, アル・バストーネ

adv. 杖を「間接目的語」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

guardava グワルダヴァ 3 単半(guardare)

v.t 見つめていた 「動詞」

fisso フィッソ adv. (程度) じっと 「副詞」

cóme se +接続法 コーメ・セ

conj. まるで〜であるかのように 「副詞節」

non aspettasse ノン・アスペッタセ 接・3 単半・否定・推量(aspettare)

v.t 〜を待っているのではないか 「動詞句」

che il mio risvéglío. ケ・イル・ミー・オ・リスヴェリオ

n.m 僕が目覚めを 「目的語」

それから僕はまた眠った。またもや、腰の痛みがひどくなったので目が覚めた。

Pòi ho dormito ancóra. Mi sono svegliato perché avevo sèmpre più male alle reni.

「副詞」「動詞句」「副詞」 | 「動詞句」「副詞節」

Pòi ホーイ adv. それから 「副詞」

ho dormito オ・ドルミート 1 単現・完了形(dormire)v.i 眠った 「動詞句」

ancóra. アンコーラ adv. また 「副詞」

Mi sono svegliato ミ・ソーノ・スヴェリアート 1 単現・完了形(svegliarsi)v.pr 目が覚めた 「動詞句」

perché ベルケ conj. (原因) 〜なので 「副詞節」

avevo アヴェーヴォ 1 単半(avére)v.t 〜があった 「動詞」

sèmpre センブレ adv. またもや 「副詞」

più male ヒー・マーレ n.m さらにひどい痛み 「目的語」

alle reni. アレ・レニ adv. 腰に 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

日差しがガラス窓に差し込んで来た。

La luce del giorno cominciava a scivolare sulla vetrata.

「主語」「動詞句」「副詞句」

La luce ラ・ルーチェ n.f 光が

「主語」

del giorno デル・ジョルノ adj. 日の

「形容詞句」

cominciava a scivolare コミンチャーヴァ・ア・シヴォラーレ 3 単半・開始(cominciare a+不定詞)

v.i 滑り落ちてきた

「動詞句」

sulla vetrata. スラ・ヴェトラータ adv. ガラス窓の上に

「副詞句」

少しすると、老人の一人が目を覚まし、しばらく咳き込んでいた。

Poco dopo uno dei vecchi si è svegliato e ha tossito a lungo.

「副詞句」「主語」「動詞句」 e 「動詞句」「副詞句」

Poco dopo ポコドーポ adv. 少しして、それから間もなく

「副詞句」

uno dei vecchi ウノ・デ・イ・ヴェッキ pron 老人の1人が

「主語」

si è svegliato シ・エ・スヴェリアート 3 単現・完了形(svegliarsi)v.pr 目を覚ました

「動詞句」

e e conj. そして

ha tossito ア・トッシート 3 単現・完了形(tossire)v.i 咳をした

「動詞句」

a lungo. ア・ルンゴ adv. 長い間

「副詞句」

彼は格子縞の大きなハンカチに痰を吐いていたが、毎回、喉にへばりついた痰を残らず吐き出そうとしてりきんでいた。

Sputava in un gran fazzoletto a quadri e ognuno dei suoi sputi era come uno strappo.

「動詞」「副詞句」 e 「主語」「動詞」「補語」

Sputava スプターヴァ 3 単半(sptare)v.i 痰を吐いていた

「動詞」

in un gran fazzoletto イン・ウン・グラン・ファッツォレット adv. 大きなハンカチに

「副詞句」

a quadri ア・クワドリ adj. 格子縞の

「形容詞句」

e e conj. そして

ognuno オンニョーノ それぞれは

「主語」

dei suoi sputi デ・イ・スオイ・スプーティ adj. 痰の吐き出しの

「形容詞句」

era エラ 3 単半(essere)v.i 〜だった

「動詞」

come コーメ adv. 〜のような

「補語」

uno strappo. ウノ・ストラッポ n.m 剥ぎ取り

「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

他の老人たちも目を覚ましたので、門衛は彼らに部屋に戻るよう指図した。

Gli altri si sono svegliati e il portinàio ha detto che dovevano andare via.

「主語」「動詞句」 e 「主語」「動詞句」「目的語」

Gli altri リ・アルトリ pl(altero).pron 他の老人たちは 「主語」

si sono svegliati シ・ソーノ・ズウェリアーティ 3 複現・完了形(svegliarsi)v.pr 目を覚ました 「動詞句」

e エ conj. そして

il portinàio イル・ポルチナーイオ n.m 門衛は 「主語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 命じた、言った 「動詞句」

che ケ conj. ～という事を 「目的語」

dovevano andare トゥヴェヴァノ・アンダーレ 3 複半・必要(dovére+不定詞 andare)

v.i 行かなければならない 「動詞句」

via. ヴィア adv. あちらへ、別の所へ 「副詞」

限られた老人だけがお通夜に参加できた。お通夜が終われば、部屋に戻ることになる。

彼らは皆、立ち上がった。窮屈な姿勢で通夜を過ごしたせいで、顔は蒼白かった。

Si sono alzati tutti. Dopo quella scòmoda véglia le loro facce erano cineree.

「動詞句」「主語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

Si sono alzati シ・ソーノ・アルツァーティ 3 複現・完了形(alzarsi)v.pr 立ち上がった 「動詞句」

tutti. トゥッティ pl(tutto).pron みんな 「主語」

Dopo トーポ prep (時間) ～の後で 「副詞句」

quella scòmoda véglia クェッラ・スコモダ・ヴェリア n.f あの居心地の悪い通夜 「目的語」

le loro facce レ・ローロ・ファッチェ pl(faccia).n.f 彼らの顔は 「主語」

erano エラーノ 3 複半(essere)v.i ～だった 「動詞」

cineree. チネレ adj(cinereo).f.pl 灰色、蒼白い 「補語」

霊安室を出るときに、驚いたことに、皆が僕の手を握ってから出て行った。言葉を交わさなかったこの一夜が、まるで僕たちの親密さを増したかのように。

Nell'uscire, tutti, con mio grande stupóre, mi hanno strétto la mano come se quella notte in cui non avevamo scambiato paròla avesse aumentato la nostra intimità.

「副詞句」, 「主語」「副詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「副詞節」

Nell'uscire, ネルシーレ adv. (特定の時) 出る時に 「副詞句」

Nell'uscire = in l'uscire in+不定詞 adv. (特定の時) ～する時に

tutti, トゥッティ pron(tutto).pl 皆は 「主語」

con コン prep (様態) ～だが 「副詞句」

mio grande stupóre, ミオ・グランデ・ストゥポーレ n.m 大変な驚き 「目的語」

→ とても驚いたことに、非常に驚いたのだが

PARTE PRIMA 第1部

mi ミ pron 僕の	「間接目的語」
hanno strétto アンノ・ストレット 3 複現・完了形 stringere)v.t 握りしめた	「動詞句」
la mano ラ・マノ n.f 手を	「直接目的語」
cóme se コ・セ conj. まるで～かのように	「副詞節」
quella notte ケッラ・ノッテ n.f この一夜が	「主語」
in cui イン・ケー adv. そこで～する	「副詞節」
non avevamo scambiato ノン・アヴ・エヴァ・モ・スカンビアート 1 複現・完了形・否定(scambiare)	
v.t ～を交わさなかった	「動詞句」
paròla パ・ローラ n.f 言葉を	「目的語」
avesse aumentato アヴ・エッセ・アウメント 接・3 単半・完了形・推量(aumentare)	
v.t 増した	「動詞句」
la nostra intimità. ラ・ノストラ・インチタ n.f 我々の親密さを	「目的語」

僕は疲れていた。門衛が僕を彼の部屋に連れて行ってくれたので、少し身づくろいが出来た。

Ero stanco. Il portinàio mi ha accompagnato nélla sua stanza e ho potuto fare un po' di toilette.

「動詞」「補語」 | 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」 e 「動詞句」「目的語」

Ero エロ 1 単半(essere)v.i ～だった	「動詞」
stanco. スタンコ adj. 疲れた	「補語」
Il portinàio イル・ポ・ルチナーイオ n.m 門衛は	「主語」
mi ミ pron 僕を	「目的語」
ha accompagnato ア・アコンパニャート 3 単現・完了形(accompagnare)v.t 連れて行った	「動詞句」
nélla sua stanza ネラ・スア・スタンツァ adv. 彼の部屋へ	「副詞句」
e エ conj. そして	
ho potuto fare オ・ポ・トゥート・ファーレ 1 単現・完了形・可能(potére+不定詞 fare)	
v.t ～が出来た	「動詞句」
un po' di toilette. ウン・ポ・ディ・トリッテ n.f (= tolétta) 少し身づくろいを	「目的語」

僕はまたカフェオレを飲んだ。とても美味しかった。

Ho ancora preso del caffelatte che era molto buono.

「動詞句」「目的語」「形容詞節」

Ho ancora preso オ・アンコーラ・プレゾ 1 単現・完了形(prèndere+ ancora)

v.t (飲み物を) また飲んだ	「動詞句」
del caffelatte デル・カフェラテ n.m カフェオレを	「目的語」
che ケ pron (主語) それは～する	「形容詞節」
era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった	「動詞」
molto buono. モルト・ブオーノ adj. とても美味しい	「補語」

PARTE PRIMA 第1部

外に出ると、もう日は高かった。

Quando sono uscito era già completaménte giórno.

「副詞節」「動詞」「補語」

Quando クワンツォ conj. ～する時

「副詞節」

sono uscito ソノ・ウッシート 1 単現・完了形(uscire)v.i 外に出た

「動詞句」

era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった

「動詞」

già ジャ adv. もう

「副詞」

completaménte コンプレタメンテ adv. 完全に

「副詞」

giórno. ショールノ n.m 日中

「補語」

日中（にっちゅう）

1. 太陽が十分に高い位置にある時間帯を指す。「正午を挟んだ前後 4～5 時間ずつ」
2. 太陽が出ている間の時間帯を示す。「日の出から日没まで」

マレンゴを海から隔てている丘の上では、空は赤く染まっていた。

Al di sópra délle colline che separano Marengo dal mare, il ciélo era piéno di màcchie ròsa.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」

Al di sópra アル・ディ・ソフ^ラ adv. (場所) 上部では

「副詞句」

délle colline デッレ・コリーネ adj.(collina) 丘の

「形容詞句」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

separano セハラ 3 単現(separare)

v.t 隔てる、分離する

「動詞」

Marengo マレンゴ n.m マレンゴを

「目的語」

dal mare, ダル・マーレ adv. 海から

「副詞句」

il ciélo イル・チェーロ n.m 空は

「主語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった

「動詞」

piéno ピエーノ adj.(di で) いっぱいの

「補語」

di màcchie ròsa. デイ・マッキア・ローザ adj.(màcchia) 赤い染み

「形容詞句」

PARTE PRIMA 第1部

そしてその丘の上を渡る風は潮の香を運んで来ていた。良い一日になりそうだった。

E il vento che passava su quelle colline portava con sé un profumo di sale. Si stava preparando una bella giornata.

E 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」 | 「動詞句」「補語」

E エ conj. そして

il vento イル・ヴェント n.m 風は

「主語」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

passava パッサヴァ 3 単半・時制の一致(passare)v.i (～を) 渡る

「動詞」

su quelle colline ス・クエッレ・コリーネ

adv.(collina) (位置) その丘の上を

「副詞句」

portava ポルターヴァ 3 単半(portare)v.t 運んできた

「動詞」

con sé コン・セ adv. 自分と一緒に

「副詞句」

un profumo ウン・プロフォモ n.m 香りを

「目的語」

di sale. デイ・サーレ adj. 潮の

「形容詞句」

Si stava preparando シ・スターヴァ・プレパランド 3 単半・進行形(stare+現在分詞 prepararsi)

v.pr ~になろうとしていた

「動詞句」

una bella giornata. ウナ・ベッラ・ジョルナータ n.f 良い一日

「補語」

もう長いこと田舎に来ていなかったもので、もし母さんのことが無かったら、どんなに散歩をしたいと思っただろうと感じた。

Era mólto tèmpo che non andavo in campagna e sentivo quanto mi avrebbe fatto piacere passeggiare se non ci fosse stata la mamma.

「動詞」「補語」 e 「動詞」「目的語」

Era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

mólto tèmpo モルト・テンポ n.m 長い時間

「補語」

che ケ conj. (時間) ~した時から

「副詞節」

non andavo ノン・アンダヴォ 1 単半・否定・時制の一致(andare)

v.i 行かない

「動詞句」

in campagna カンパニャ adv. 田舎へ

「副詞句」

e エ conj. そして

sentivo センチヴォ 1 単半(sentire)v.t 感じた

「動詞」

quanto クワント adv. どれほど～するかということを

「目的語」

mi ミ pron 私に

「目的語」

avrebbe fatto アリッベ・ファット 条・3 単現・完了形・使役・推量(fare)

v.t ~させただろう

「動詞句」

piacere passeggiare ピアチェレ・パッセジャレ 不定詞・mi の動作(piacere+不定詞)

v.i 散歩したいと思う

「補語」

PARTE PRIMA 第1部

se セ conj. (仮定) もし～ならば

「副詞節」

non ci fósse stata ノン・チ・フォッセ・スタタ 接・3 単半・完了形・存在(èsserci)

v.i ～が無かった

「動詞句」

la mamma. ラ・ママ n.f 母さんのことが

「主語」

しかし僕は中庭の鈴懸の木の下で待っていた。

Ma sono rimasto ad aspettare nel cortile, sotto un platano.

Ma 「動詞句」「副詞句」

Ma マ conj. しかし

sono rimasto ad aspettare ソーノ・リマスト・アト・アスペッターレ 1 単現・完了形・状態変化

(rimanére a+不定詞 aspettare)v.i 待っていた

「動詞句」

rimanére リマネレ v.i (ある状態に) なる

nel cortile, ネル・コルチレ adv. 中庭で

「副詞句」

sotto ソット prep (位置) ～の下で

「副詞句」

un platano. ウン・プラタノ n.m (植物) プラタナス、すずかけの木

「目的語」

みずみずしい土の香を嗅ぐと、もう眠気は消え失せた。僕は会社の同僚のことを思った。

Respiravo l'odore della terra fresca e non avevo più sonno. Ho pensato ai colleghi d'ufficio.

「動詞」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「間接目的語」

Respiravo レスピラヴォ 1 単半(respirare)v.t 呼吸した、息を吸った

「動詞」

l'odore ロドレ n.m 香りを

「目的語」

della terra デッラ・テッラ adj. 土の

「形容詞句」

fresca フレスカ adj(frésco).f みずみずしい

「形容詞」

e エ conj. そして

non avevo ノン・アヴァエヴォ 1 単半・否定(avére)v.t ～が無かった

「動詞句」

più sonno. ピウ・ソノ n.m (疑問文で) もう眠気は～ない

「目的語」

Ho pensato オ・ペンサート 1 単現・完了形(pensare)v.i 考えた、思った

「動詞句」

ai colleghi アイ・コレギ adv. 同僚のことを

「間接目的語」

collegi コレギ pl(collèga).n 同僚、仕事仲間、同乗者

d'ufficio. ドゥッフィチョ adj. 会社の、職場の

「形容詞句」

PARTE PRIMA 第1部

この時間には、仕事に行くのに皆起きている：僕にとっては、一番つらい時間だ。

A quell'óra si alzavano per andare al lavóro: per me era sèmpre l'óra più difficile.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」：「副詞句」「動詞」「副詞」「補語」

A quell'óra ア・ケローラ adv. この時間には 「副詞句」

si alzavano シ・アルツァヴァノ 3 複半・習慣(alzarsi)v.pr 起きている 「動詞句」

per andare ペル・アンダーレ adv. (目的) ～に行くために 「副詞句」

al lavóro: アル・ラウオーロ adv. 仕事に 「間接目的語」

per me ペル・メ adv. 僕にとっては 「副詞句」

era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった 「動詞」

sèmpre センプレ adv. いつでも 「副詞」

l'óra ローラ n.f 時間 「補語」

più difficile. ピュー・ディッフィチレ adj. 一番つらい 「形容詞句」

僕はいまだに少しそのことを考えていたが、建物の内部でまた鐘が鳴り響いたので気を散らされた。

Ho riflettuto ancóra un po' a queste còse, ma pòi mi ha distratto una campana che risuonava all'intèrno déll'edificio.

「動詞句」「副詞句」「間接目的語」,ma「副詞」「目的語」「動詞句」「主語」

Ho riflettuto オ・リフレットウト 1 単現・完了形(riflettere)v.i 熟考した 「動詞句」

過去分詞は riflesso または riflettuto が使用される

ancóra アンコーラ adv. まだ、いまだに 「副詞」

un po' ウンポ adv. 少し 「副詞句」

a queste còse, ア・クェステ・コーセ adv.(còsa) これらのことを 「間接目的語」

ma マ conj. しかし

pòi ポーイ adv. それから 「副詞」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

ha distratto ア・ディストラット 3 単現・完了形(distrarre)v.t 気を散らした 「動詞句」

una campana ウナ・カンパナ n.f 鐘が 「主語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

risuonava リスオナヴァ 3 単半(risuonare)v.i 再び鳴り響いた 「動詞」

risuonare リソナーレ v.i 再び鳴る

all'intèrno アリンテルノ adv. 内部で 「副詞句」

déll'edificio. デレディフィチョ adj. 建物の 「形容詞句」

PARTE PRIMA 第1部

窓の向こうで動きがあり、その後、また静かになった。

C'è stato del movimento dietro le finestre, poi tutto è ridiventato calmo.

「動詞句」「主語」「副詞句」, 「副詞」「主語」「動詞句」「補語」

C'è stato チェ・スタート 3 単現・完了形・存在(esserci)v.i. 〜があった 「動詞句」
 del movimento デル・モヴイメント n.m 動きが 「主語」
 dietro ディエトロ prep (場所) 〜の向こうで 「副詞句」
 le finestre, レ・フィネストレ pl(finestra).n.f 窓 「目的語」
 poi ポーイ adv. その後、それから 「副詞」
 tutto トゥット pron すべてが 「主語」
 è ridiventato エ・リディヴェンタート 3 単現・完了形(ridiventare)
 v.i (元の状態に) 再びなった 「動詞句」
 calmo. カルモ adj. 静かな 「補語」

太陽はさらに空高く昇り、僕の足を温め始めていた。

Il sole era salito un po' più alto nel cielo: cominciava a scaldarmi i piedi.

「主語」「動詞句」「副詞句」: 「動詞句」「目的語」

Il sole イル・ソーレ n.m 太陽は 「主語」
 era salito エラ・サリート 3 単半・完了形(salire)v.i 昇っていた 「動詞句」
 un po' più alto ウン・ポ'・ピウ・アルト adv. さらに少し高く 「副詞句」
 nel cielo: ネル・チェーロ adv. 空の上に 「副詞句」
 cominciava a scaldarmi コミンチャーヴァ・ア・ア・スカルダール・ミ 3 単半・開始(cominciare a+不定詞)
 v.t 温め始めた 「動詞句」
 i piedi. イ・ピエーティ pl(piède).n.m 足を 「目的語」

門衛が中庭を横切り僕のところにやって来て、院長が呼んでいると僕に伝えた。

Il portinaio ha traversato il cortile e mi ha detto che il direttore mi faceva chiamare.

「主語」「動詞句」「目的語」 e 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il portinaio イル・ポルチナイオ n.m 門衛が 「主語」
 ha traversato ア・トラヴァエルサート 3 単現・完了形(traversare)v.t 横切った 「動詞句」
 il cortile イル・コルティール n.m 中庭を 「目的語」
 e エ conj. そして
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 che ケ conj. 〜ということを 「直接目的語」
 il direttore イル・ディレクター n.m 院長が 「主語」
 mi ミ pron 僕を 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

faceva chiamare. ファチェヴァ^ア・キアマレ 3 単半・使役(fare+不定詞 chiamare)

v.t 呼ばせた

「動詞句」

院長室へ行くと、いくつかの書類にサインをさせられた。

Sono andato nel suo ufficio e mi ha fatto firmare un certo numero di carte.

「動詞句」「副詞句」 e 「目的語」「動詞句」「補語」

Sono andato ソノ・アンダ^オ 1 単現・完了形(andare)v.i 行った

「動詞句」

nel suo ufficio ネル・スオ・ウッフィチョ adv. 院長室へ

「副詞句」

e エ conj. そして

mi ミ pron 僕に

「目的語」

ha fatto ア・ファット 3 単現・完了形・使役(fare)v.t(+不定詞) ～させた

「動詞句」

firmare フィルマーレ 不定詞・mi の動作 v.t サインする

「補語」

un certo numero di ウン・チェルト・ヌーメロ・デー adj. いくつかの

「形容詞句」

carte. カルテ pl(carta).n.f 書類に

「目的語」

僕は院長が黒服に縞模様のズボンをはいていることに気が付いた。

Ho visto che era vestito di nero, con i calzoní rigati.

「動詞句」「目的語」

Ho visto オ・ヴィスト 1 単現・完了形(vedere)v.t 気づいた、分かった

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

era vestito エラ・ヴェステイト 3 単半・完了形・時制の一致(vestire)

v.t 着ている

「動詞句」

di nero, ディネロ adv. (手段) 黒服で

「副詞句」

con コン adv. (付属) ～と一緒に

「副詞句」

i calzoní イ・カルツォーニ pl(calzone).n.m ズボン

「目的語」

rigati. リガーティ adj(rigato).pl 縞の入った

「形容詞」

彼は電話を手に取り、僕に言った：「葬儀社の社員がもうここに来ています。そろそろ棺の蓋を閉める指示を出したいと思います」

Ha preso in mano il telefono e mi ha detto: “Gli impiegati delle pompe funebri sono già qui. Ora dovrò dare l’ordine di chiudere la bara.

「動詞句」「副詞句」「目的語」 e 「間接目的語」「動詞句」:

《「主語」「動詞」「副詞句」 | Óra 「動詞句」「目的語」》

Ha preso ア・プレソ 3 単現・完了形(prendere)v.t 取った

「動詞句」

in mano イン・マーノ adv. 手に

「副詞句」

il telefono イル・テレフォノ n.m 電話機を

「目的語」

e エ conj. そして

PARTE PRIMA 第1部

mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha detto: ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
“Gli impiegati リ・インピェガターティ pl(impiegato).n.m 社員が	「主語」
delle pómpe fùnebri テッレ・ボンペ・フーネブリー adj. 葬儀社の	「形容詞句」
pómpe ボンペ pl(pómpe).n.f 行進、進行 fùnebri フーネブリー adj(fùnebre).pl 葬儀の	
impresa di pómpe fùnebri 葬儀社（葬儀進行の会社）	
sono ソ 3 複現・存在・移動(essere)v.i 〜に来ている	「動詞」
già qui. ジャ・クイ adv. もうここに	「副詞句」
Óra オーラ conj. さて	
dovrò dare ドヴロ・ダーレ 1 単未・義務(dovère+不定詞 dare)	
v.t 〜を与えようと思います	「動詞句」
l'ordine ロルディネ n.m 指示を	「目的語」
di chiudere ティ・キューテレ 不定詞・目的 adj. 〜を閉めるための	「形容詞句」
la bara. ラ・バーラ n.f 棺を	「目的語」

「その前に、お母上と最後のご対面をなさいますか？」

Volete prima vedére vostra madre un'ultima vòlta?

《「動詞句」「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」》

Volete ...vedére ヴォレテ...ヴェデーレ 2 複現・願望・敬称・疑問文(volére+不定詞 vedére)

v.t ご対面なさいますか？	「動詞句」
prima プリーマ adv. その前に、先に	「副詞」
vostra madre ヴォストラ・マトレ n.f お母上に	「目的語」
un'ultima vòlta? ウン・ウルチマ・ヴォルタ adv. 最後に	「副詞句」

僕は、いえ、結構ですと答えた。すると彼は、声を弱めて電話で指令を与えた：「フィジャック、男たちにもう初めて良いと言ってくれ」

Ho rispósto di no e lui ha dato l'ordine per telèfono, abbassando la vóce: “Figeac, di' agli uòmini che comincino pure.”

「動詞句」「間接目的語」e「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」:

《「呼びかけ」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」》

Ho rispósto オ・リスポスト 1 単現・完了形(rispóndere)v.i (di 〜と) 答えた	「動詞句」
di ティ prep (賛否) 〜だと	「間接目的語」
no ノ adv. (否定) いいえ	「副詞」
e エ conj. そして	
lui ルーイ pron 彼は	「主語」
ha dato ア・ダート 3 単現・完了形(dare)v.t 与えた	「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

l'ordine	ロルデ ^{イネ}	n.m	指令を	「目的語」
per telefono,	ペル・テレフォノ	adv.	(手段) 電話で	「副詞句」
abbassando	アバサント	ジェルンディオ・同時(abbassare)v.t	～を弱めて	「副詞句」
la voce:	ラ・ヴォーチェ	n.f	声を	「目的語」
“Figeac,	フィジャッキ	n.m	(人名) フィジャック	「呼びかけ」
di'	ディ	命・2 単現(dire)v.t	言いなさい	「動詞」
agli uomini	アリ・ウーミ	pl(uòmo).n.m	男たちに	「間接目的語」
che	ケ	conj.	～ということを	「直接目的語」
comincino	コンチノ	命・3 複現(cominciare)v.i	始めてください	「動詞」
pure.”	プーレ	adv.	(命令法と共に、催促して) どうぞ	「副詞」

それから院長は僕に、自分も葬儀に参列するつもりだと言ったので、礼を言った。

Poi mi ha detto che avrebbe assistito ai funerali e l'ho ringraziato.

				「副詞」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e 「目的語」「動詞句」
Poi	ポーイ	adv.	それから	「副詞」
mi	ミ	pron	僕に	「間接目的語」
ha detto	ア・デット	3 単現・完了形(dire)v.t	言った	「動詞句」
che	ケ	conj.	～ということを	「直接目的語」
a avrebbe assistito	アヴレッハ・アシスト	条・3 単現・完了形・過去から見た未来・意思(assistere)		
	v.i	参列するつもりだ		「動詞句」
ai funerali	アイ・フネラーリ	adv.	葬儀に	「間接目的語」
e	エ	conj.	そして	
l'	ロ	pron	彼に	「目的語」
ho ringraziato.	オ・リンクラチアト	1 単現・完了形(ringraziare)v.t	(人に) 礼を言った	「動詞句」

彼は机に座って、短い脚を組んだ。

Si è seduto alla scrivania, ha incrociato le sue gambette.

				「主語」「動詞句」「間接目的語」, 「動詞句」「目的語」
Si è seduto	シ・エ・セドゥート	3 単現・完了形(sedersi)v.pr	座った、着席した	「動詞句」
alla scrivania,	アラ・スクリヴァニア	adv.(場所)	机に	「間接目的語」
ha incrociato	ア・インクロチャート	3 単現・完了形(incrociare)v.t	交差させた	「動詞句」
le sue gambette.	レ・スエ・ガンベッテ	pl(gamba+ -etto).n.f	短い脚を	「目的語」
			机に座る	
			「机に(向かって椅子に)座る」の省略形 → 机の前にある椅子に座る	

PARTE PRIMA 第1部

彼は僕に、当番の看護婦を含めて彼と僕だけになります、と教えてくれた。

Mi ha avvertito che saremmo stati sóli lui e io con l'infermiera di servizio.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha avvertito ア・アウヴェルチート 3 単現・完了形(avvertire)v.t 知らせた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

saremmo stati サレモ・スターティ 条・1 複現・完了形・推量(essere)

v.i ～なるでしょう

「動詞句」

sóli, ソーリ adj(sólo).pl ～だけ

「形容詞」

lui e io, ルー・エ・イオ pl.n 彼と僕

「補語」

con l'infermiera コン・リンフェルミエラ adv. 看護婦を含めて

「副詞句」

di servizio. デイ・セルヴィツィオ adj. 当番の

「形容詞句」

規則で、入寮者は葬儀に参列できない。

Di regola i pensionanti non dovevano assistere ai funerali.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」

Di regola デイ・レーゴラ adv. (理由) 規則によって

「副詞句」

i pensionanti イ・ペンシオナンティ pl(pensionante).n 入寮者は

「主語」

non dovevano assistere ノン・ドヴェヴァン・アシステレ 3 複半・禁止・時制の一致

v.i 参列できない

「動詞句」

ai funerali. アイ・フネラーリ adv(funerale). 葬儀に

「間接目的語」

通夜に出る事だけは許可しました:「人情というものがありますから」と、院長は述べた。

Permetteva soltanto che vegliassero: “è una questione di umanità,” ha osservato.

「動詞」「副詞」「目的語」:《「動詞」「補語」》, 「動詞句」

Permetteva ペルメテヴァ 3 単半(permettere)v.t 認めた、許可した

「動詞」

soltanto ソルタント adv. ～だけ

「副詞」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

vegliassero: ヴェリアッセロ 接・3 複半・時制の一致(vegliare)

v.i 眠らないでいる、お通夜にでる

「動詞」

“è 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

una questione ウナ・クェスチオーネ n.f 問題

「補語」

di umanità,” デイ・ウマニタ adj. 人間性の

「形容詞句」

ha osservato. ア・オッセルヴァート 3 単現・完了形(osservare)v.t (所見を) 述べた

「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

だが特例として、母さんの友人「トマ・ペレーズ」には葬列に同行する許可を与えていた。

Ma nel caso particolare aveva concesso l'autorizzazione di seguire l'accompagnamento a un vecchio amico della mamma: Tommaso Perez.

Ma 「副詞句」, 「動詞句」 「直接目的語」 「間接目的語」

Ma マ conj. しかし

nel caso particolare ネル・カズ・パルチコラーレ adv. 特例として 「副詞句」

aveva concesso アヴ・ェヴァ・コンチェッソ 3 単半・完了形(concedere)v.t 授けていた 「動詞句」

l'autorizzazione ラウトリザチオーネ n.f 許可を 「直接目的語」

di seguire ディ・セグイーレ 不定詞・同格 adj. ～についていくという 「形容詞句」

l'accompagnamento ラコンパニャメント n.m 行列に 「目的語」

a un vecchio amico ア・ウン・ヴェッキョ・アミーコ adv. 友人に 「間接目的語」

della mamma: デラ・マンマ adj. 母さんの 「形容詞句」

Tommaso Perez. トマソ・ペレス n.m (人名) トマ・ペレーズ 「間接目的語」

この時、院長は微笑んだ。

A questo punto il direttore ha sorriso. 「副詞句」 「主語」 「動詞句」

A questo punto ア・ケスト・プント adv. (時) この時 「副詞句」

il direttore イル・ディレットーレ n.m 院長は 「主語」

ha sorriso. ア・ソリーゾ 3 単現・完了形(sorridere)v.i 微笑んだ 「動詞句」

彼は僕に言った：「まああの、あどけない感情なんです」

Mi ha detto: "Capirete, è un sentimento un po' puerile.

「間接目的語」 「動詞句」: 《「話題転換」, 「動詞」 「補語」》

Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha detto: ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

“Capirete, カピレテ 2 複未・敬称(capire)v.t 分かるでしょう、まああの 「話題転換」

è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

un sentimento ウン・センチメント n.m 感情、思いやり 「補語」

un po' puerile. ウン・ポ・プエーレ adj. 子供っぽい、あどけない 「形容詞句」

「ですが、彼とお母様はいつも一緒にいました。」

Ma lui e vostra madre erano sempre insieme. 《Ma 「主語」 「動詞」 「副詞句」》

Ma マ conj. しかし

lui ルー pron 彼は 「主語」

e エ conj. と、そして

vostra madre ヴォストラ・マトレ n.f あなたの母上は 「主語」

PARTE PRIMA 第1部

erano エラーノ 3 複半・存在(essere)v.i いた 「動詞」
 sempre センプレ adv. いつも 「副詞」
 insieme. インシエーメ adv. 一緒に 「副詞」

「養老院では、彼らをからかって、ペレーズに『お前のいいなずけか』と言っていました」

All'ospizio, li prendevano in giro, dicevano a: 'è la tua fidanzata.'

《「副詞句」, 「目的語」 「動詞句」, 「動詞」 「間接目的語」: 「動詞」 「補語」》

All'ospizio, アロスピーツィオ adv. (場所) 養老院では 「副詞句」
 li リ pron.pl 彼らを 「目的語」
 prendevano in giro, プレンドェヴァノ・イン・ジロ 3 複半(prendere)v.t からかっていた 「動詞句」
 prendere in giro qlcu. 「人をからかう、馬鹿にする」
 dicevano デイチェヴァノ 3 複半(dire)v.t 言っていた 「動詞」
 a Perez: ア・ペレス adv. ペレーズに 「間接目的語」
 'è エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
 la tua fidanzata.' ラ・トゥア・フィダヅァータ n.f お前のいいなずけ 「補語」

「彼は笑っていましたが、彼らはそう言われて喜んでいたと思いますよ」

Lui rideva. Era una cosa che faceva loro piaceré.

《「主語」 「動詞」 | 「動詞」 「補語」》

Lui ルー pron.m 彼は 「主語」
 rideva. リデヴァ 3 単半(ridere)v.i 笑っていた 「動詞」
 Era エラ 3 単半・推量(essere)v.i ~だった 「動詞」
 una cosa ウナ・コサ n.f 事 「補語」
 che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 faceva ファチェヴァ 3 単半・使役(fare)v.t(O+不定詞) O に~させる 「動詞」
 loro ロロ pron 彼らに 「目的語」
 piaceré. ビアチェレ 不定詞・loro の動作 v.i 気に入る 「補語」

「そして間違いなく、ムルソーさんの死は彼にとって辛いことでした」

E senza dubbio la morte délla signóra Meursault è stata un colpo duro per lui.

《E 「副詞句」 「主語」 「動詞句」 「補語」》

E エ conj. そして
 senza dubbio センツァ・ドゥビオ adv. 確かに、疑いもなく 「副詞句」
 la morte ラ・モルテ n.f 死は 「主語」
 délla signóra Meursault デラ・シヨラ・ムルソー adj. ムルソーさんの 「形容詞句」
 è stata エ・スタータ 3 単現・完了形(essere)v.i ~だった 「動詞句」
 un colpo ウン・コルポ n.m 打撃、一撃 「補語」

PARTE PRIMA 第1部

duro ドゥーロ adj. 辛い

「形容詞」

per lui. ペル・ルーイ adv. 彼にとって

「副詞句」

「彼に許可を与えない訳にはいきませんでした」

Non ho creduto di dovergli rifiutare l'autorizzazione.

《「動詞句」「目的語」》

Non ho creduto ノ・ノクレトゥート 1 単現・完了形・否定(crédere)v.t(di+不定詞)

v.t. ～するとは考えられなかった

「動詞句」

di dovergli rifiutare ディ・ドゥヴェルリ・リフィウターレ 不定詞(dovére+不定詞 rifiutare +gli)

v.t. 彼に断るべきである

「動詞句」

l'autorizzazione. ラウトリザチオーネ n.f 許可を

「目的語」

「ですが、通いの医師の助言に従って、きのうの通夜は禁じました」

Ma su consiglio del medico visitatore, gli ho vietato la veglia di ieri.”

《Ma 「副詞句」, 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」》

Ma マ conj. しかし

su consiglio ス・コンシリョ n.m 助言に従って

「副詞句」

del medico visitatore, デル・メディコ・ビシタトール adj. 通いの医師の

「形容詞句」

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

ho vietato オ・ヴェィエタート 1 単現・完了形(vietare)v.t 禁止した

「動詞句」

la veglia ラ・ヴェリア n.f 徹夜、お通夜

「直接目的語」

di ieri.” ディ・イエーリ adj. 昨日の

「形容詞句」

僕たちはかなり長い間黙り込んでいた。

Siamo rimasti in silenzio abbastanza a lungo.

「動詞句」「補語」

Siamo rimasti シアーモ・リマスティ 1 複現・完了形(rimanére)v.i. ～のままでいた

「動詞句」

in silenzio イン・シレンツィオ adv. 無言で

「補語」

abbastanza アッバ・スタンツァ adv. かなり

「副詞」

a lungo. ア・ルンゴ adv. 長い間

「副詞句」

院長は立ち上がって、執務室の窓から外を眺めだした。

Il direttore si è alzato e si è messo a guardare fuori dalla finestra del suo ufficio.

「主語」「動詞句」e「動詞句」「目的語」「副詞句」

Il direttore イル・ディレットール n.m 院長は

「主語」

si è alzato シ・エ・アルツァート 3 単現・完了形(alzarsi)v.pr 立ち上がった

「動詞句」

e エ conj. そして

si è messo a guardare シ・エ・メツ・ア・グェルターレ 3 単現・完了形・開始(mettersi a+不定詞)

PARTE PRIMA 第1部

v.pr 眺め始めた	「動詞句」
fuòri フォーリ n.m 外を	「目的語」
dalla finèstra ダッラ・フィネストラ adv. 窓から	「副詞句」
del suo ufficio. デル・スーオ・ウッフィチョ adj. 部屋の	「形容詞句」

少したって彼は言った：「おや、マランゴの司祭様がお着きになった」

A un certo momento ha osservato: “Ecco che arriva il parroco di Marengo.

「副詞句」「動詞句」：《「副詞」「動詞」「主語」》

A un certo momento ア・ウン・チェルト・モメント adv. 少ししてから、そのうち	「副詞句」
certo チェルト adj. いくらかの	
ha osservato: ア・オッセルヴァート 3 単現・完了形(osservare)v.t (所見を) 述べた	「動詞句」
“Ecco エッコ adv. おや、ほら	「副詞」
che ケ conj. ～ということだ	
arriva アリヴァ 3 単現(arrivare)v.i 着いた	「動詞」
il parroco イル・パ・ロコ n.m 司祭が	「主語」
di Marengo. デイ・マレンゴ adj. マランゴの	「形容詞句」

「予定より早い」彼によると、村の教会に着くには歩いて約 45 分かかかるらしい。

È in anticipo.” Mi ha avvertito che ci sarebbero voluti quasi tre quarti d’ora di cammino per arrivare alla chiesa che è proprio in paese.

《「動詞」「補語」》 | 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

È エ 3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
in anticipo.” イン・アンティチポ adv. 予定より早い	「補語」
Mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha avvertito ア・アッヴェルチート 3 単現・完了形(avvertire)v.t 知らせた	「動詞句」
che ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
ci sarebbero voluti チ・サレバヴォルティ 条・3 複現・完了形.pl・推量・伝聞(volerci)	
v.pr 必要だという話だ	「動詞句」
quasi tre quarti d’ora クワジ・トレ・クワルティ・ドーラ	
pl(quarto).n.m 約 45 分が	「主語」
di cammino デイ・カミーノ adv. (手段) 徒歩で、歩いて	「副詞句」
per arrivare ペル・アッリヴァーレ 不定詞・目的 v.i 着くために	「副詞句」
alla chiesa アッラ・キエーザ adv. 教会まで	「副詞句」
che ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
è エ 3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
proprio フロープリオ adj. 固有の	「補語」

PARTE PRIMA 第1部

in paese. イン・パ°エーセ° adv. 村に 「副詞句」

僕たちは下に降りた。小さな建物の前に、司祭が2人の侍者と一緒に待っていた。

Siamo scesi. Davanti al piccolo edificio c'era il parroco con due chierici.

「動詞句」 | 「副詞句」「動詞句」「主語」「副詞句」

Siamo scesi. シアーモ・シェージ° 1 複現・完了形・移動(scendere)v.i 降りた 「動詞句」

Davanti ダヴァンティ prep (場所) (a の) 前で 「副詞句」

al piccolo edificio アル・ピ°ッコロ・エデ°ィフィチョ° adv. 小さな建物の 「目的語」

c'era チェラ 3 単半・存在(esserci)v.i ~がいた 「動詞句」

il parroco イル・パ°ーロコ n.m 司祭が 「主語」

con due chierici. コン・トゥエ°キエリチ° adv.(chierico) (ミサの) 侍者と一緒に 「副詞句」

侍者の1人が香炉を手を持ち、司祭は屈んで、銀の鎖の長さを調整していた。

Uno di loro aveva in mano un incensiere e il prete era chino a regolare la lunghezza della catenella d'argento.

「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」 e 「主語」「動詞」「補語」

Uno di loro ウノ・ディ°ローロ° pron 侍者の1人は 「主語」

aveva アヴェ°ェウァ° 3 単線(avere)v.t 持っていた 「動詞」

in mano イン・マーノ° adv. 手に 「副詞句」

un incensiere ウン・インチェンシエレ° n.m 香炉を 「目的語」

e エ° conj. そして

il prete イル・プレ°テ° n.m 司祭は 「主語」

era エラ° 3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」

chino チノ° adj. 屈んだ、傾いた 「補語」

a regolare ア°レゴ°ラレ° 不定詞・目的 v.t 調整するために 「副詞句」

la lunghezza ラ°ルンゲ°ツツァ° n.f 長さを 「目的語」

della catenella デラ°カネラ° adj. 鎖の 「形容詞句」

d'argento. ダルジ°ェント° adj. (材料) 銀製の 「形容詞句」

PARTE PRIMA 第1部

僕たちが着くと、司祭は立ち上がって、僕のことを《我が子よ》と呼んだ。それから僕になにかを話してから中に入っていった：僕は彼についていった。

Quando siamo arrivati, il prète si è alzato. Mi ha chiamato “figlio mio”, e mi ha detto qualche paròla. È entrato: io l’ho seguito.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 | 「目的語」 「動詞句」 「補語」,

e 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」 | 「動詞句」: 「主語」 「目的語」 「動詞句」

Quando クワンﾄ conj. ～する時 「副詞節」
siamo arrivati, シアーモ・アリヴァーティ 1 複現・完了形(arrivare)v.i 着いた 「動詞句」
il prète イル・プレテ n.m 司祭は 「主語」
si è alzato. シ・エ・アルツァート 3 単現・完了形(alzarsi)v.pr 立ち上がった 「動詞句」
Mi ミ pron 僕を 「目的語」
ha chiamato ア・キマート 3 単現・完了形(chiamare)v.t 呼んだ 「動詞句」
“figlio mio”, フィーリオ・ミーオ n.m 《我が子》 「補語」
e エ conj. そして
mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
qualche paròla. クワルク・パローラ n.f 何かを 「直接目的語」
È entrato: エ・エントラト 3 単現・完了形(entrare)v.i 中に入って行った 「動詞句」
io イオ pron 僕は 「主語」
l’ロ pron 彼に 「目的語」
ho seguito. ホ・セギト 1 単現・完了形(seguire)v.t ついて行った 「動詞句」

棺のねじがすべて締められており、部屋には4人の黒服の男がいることにすぐ気づいた。

Sùbito ho visto che le viti délla bara erano tutte conficcate nel légno e che c’erano nélla stanza quattro uòmini néri.

「副詞」 「動詞句」 「目的語」 e 「目的語」

Sùbito スービト adv. すぐに 「副詞」
ho visto オ・ヴィスト 1 単現・完了形(vedere)v.t 見えた 「動詞句」
che ケ conj. ～ということが 「目的語」
le viti レ・ヴィーチ pl(vite)n.f ねじが、釘 「主語」
délla bara デラ・バーラ adj. 棺の 「形容詞句」
erano tutte conficcate エラーノ・トゥッテ・コンフィカーテ 3 複半・受動.f.pl(conficcare)
v.t すべて打ち込まれていた 「動詞句」
nel légno ネル・レニョ adv. 木材に 「副詞句」
e エ conj. そして
che ケ conj. ～ということが 「目的語」
c’erano チェラーノ 3 複半・存在(esserci)v.i ～がいた 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

nella stanza ネラ・スタンツァ adv. 部屋の中に 「副詞句」
 quattro uòmini クワトロ・ウオミニ pl(uòmo).n.m 4人の男たちが 「主語」
 néri. ネリ adj. 黒服を着た 「形容詞」

院長が僕に柩車が道で待っているという声と、司祭が祈祷を始める声とが、同時に聞こえた。

Allo stésso tèmpo ho udito il direttóre che mi diceva: “Il carro sta aspettando in strada”, e il prète che cominciava le sue preghiere. 「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」, e 「目的語」

Allo stésso tèmpo アロ・ステツツ・テンボ adv. 同時に 「副詞句」

ho udito オ・ウディート 1 単現・完了形(udire)v.t 聞こえた 「動詞句」

il direttóre イル・ディレットレ n.m 院長の声が 「目的語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

diceva: デッチェヴァ 3 単半・時制の一致(dire)v.t 言う 「動詞」

“Il carro イル・カロ n.m 車が、柩車が 「主語」

sta aspettando スタ・アスペッタント 3 単現・進行形(stare+ジェルンディオ aspettare)

v.t 待っている 「動詞句」

in strada”, イン・ストラダ adv. 道で 「副詞句」

e エ conj. そして

il prète イル・プレテ n.m 司祭の声が 「目的語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

cominciava コミンチャヴァ 3 単半・時制の一致(cominciare)

v.t 始める 「動詞」

le sue preghiere. レ・スエ・プレギエレ

pl(preghiera).n.f 祈祷を、祈りを 「目的語」

その瞬間から、すべてが非常に急速に進行した。

A partire da quel momento, tutto ha proceduto molto rapidamente.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

A partire da ア・パルチレ・ダ prep (時間・起点) ～から、～以降 「副詞句」

quel momento, ケル・モメント n.m その瞬間 「目的語」

tutto トゥット pron 全てが 「主語」

ha proceduto ア・プロチェット 3 単現・完了形(procedere)v.i 進んだ 「動詞句」

molto rapidamente. モルト・ラピダメンテ adv. 非常に急速に 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

男たちは布を持って棺の方へ歩み寄った。

Gli uòmini si sono avanzati con un drappo vèrso la bara.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Gli uòmini リ・ウーミニ pl(uòmo).n.m 男たちは

「主語」

si sono avanzati シ・ソーノ・アヴ・アンサーティ 3 複現・完了形(avanzarsi)v.pr 進み出た

「動詞句」

con un drappo コン・ウン・トラッポ adv. (所有) 布を持って

「副詞句」

→ 棺にかける覆いの布、祭壇布

vèrso ヴェールツ prep (方向) への方へ

「副詞句」

la bara. ラ・バーラ n.f 棺

「目的語」

司祭とその侍者たち、院長と僕は外に出た。

Il prète, i suoi assistènti, il direttóre ed io siamo usciti.

「主語」「動詞句」

Il prète, イル・プレテ n.m 司祭は

「主語」

i suoi assistènti, イ・スオイ・アシステンティ pl(assistènte).n 侍者たちは

「主語」

il direttóre イル・デ・イレットレ n.m 院長は

「主語」

ed エト conj. そして

io イオ pron 僕は

「主語」

siamo usciti. シアーモ・ウッシーティ 1 複現・完了形.pl(uscire)v.i 外に出た

「動詞句」

戸口の前に、僕の知らない女性がいた。

Davanti alla pòrta c'era una signóra che non conoscevo.

「副詞句」「動詞句」「主語」

Davanti ダヴァンティ prep(a の) 前に

「副詞句」

alla pòrta アラ・ポールタ adv. 戸口の

「副詞句」

c'era チェラ 3 単半・存在(esserci)v.i へがいた、あった

「動詞句」

una signóra ウナ・シニョーラ n.f 女性が

「主語」

che ケ pron (目的語) へする

「形容詞節」

non conoscevo. ノン・コノシェーヴォ 1 単半・否定・時制の一致(conoscere)

v.t 知らない

「動詞句」

「ムルソーさんです」と、院長が僕を紹介した。

“Il signor Meursault,” ha détto il direttóre.

《「主語」》, 「動詞句」「主語」

“Il signor Meursault,” イル・シニョール・ムルソー n.m ムルソーさん

「主語」

ha détto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

il direttóre. イル・デ・イレットレ n.m 院長が

「主語」

PARTE PRIMA 第1部

その女性の名前は聞き取れなかったが、彼女が派遣の看護婦だということだけは分かった。

Non ho udito il n me della sign ra, ho soltanto compreso che era l'infermi ra delegata.

「動詞句」「目的語」, 「動詞句」「副詞」「動詞句」「目的語」

Non ho udito ノ・ノ・ウディート 1 単現・完了形(udire)v.t 聞こえなかった 「動詞句」

il n me イル・ノメ n.m 名前を 「目的語」

della sign ra, デラ・シヨラ adj. その女性の 「形容詞句」

ho ...compreso オ...コンプレゾ 1 単現・完了形(comprendere)v.t 分かった 「動詞句」

soltanto ソルタント adv.  だけ 「副詞」

che ケ conj.  ということを 「目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致( ssere)v.i  である 「動詞」

l'infermi ra リンフェルミエラ n(infermi re).f 看護婦 「補語」

delegata. デレガタ adj(delegato).f 派遣された 「形容詞」

彼女は、微笑むこともなく、その骨ばった面長の顔を傾けた。

Ha inclinato, senza un sorriso, il viso lungo e ossuto.

「動詞句」「副詞句」「目的語」

Ha inclinato, ア・インクリナト 3 単現・完了形(inclinare)v.t 傾けた 「動詞句」

senza un sorriso, センツァ・ウン・ソリーソ adv. 微笑まずに 「副詞句」

il viso イル・ウィーツ n.m 顔を 「目的語」

lungo ルンゴ adj. 長い 「形容詞」

e エ conj. そして

ossuto. オスト adj. 骨ばった 「形容詞」

それから、僕たちは棺を通すために脇に寄った。

P i ci siamo messi da parte per lasciar passare la bara.

「副詞」「動詞句」「副詞句」

P i ポーイ adv. それから 「副詞」

ci siamo messi チ・シアモ・メッシ 1 複現・完了形(mettersi)v.pr 身を置いた 「動詞句」

da parte タ・パルテ adv. 脇に 「副詞句」

per +不定詞 パル 不定詞・目的 adv.  するために 「副詞句」

lasciar passare ラッシャール・ハッサーレ 不定詞・使役(lasciare+不定詞)

v.t  を通らせる 「動詞句」

la bara. ラ・バーラ n.f 棺を 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

僕たちは棺の運搬人の後について、養老院を出た。門の前に、霊柩車が止まっていた。

Abbiamo seguito i portatori e siamo usciti dall'ospizio. Davanti alla porta c'era il carro funebre.

「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」「副詞句」 | 「副詞句」「動詞句」「主語」

Abbiamo seguito アッビアーモ・セグィート 1 複現・完了形(seguire)v.t ついて行った 「動詞句」

i portatori イ・ポルトーリ pl(portatore).n.m 運搬人 「目的語」

e エ conj. そして

siamo usciti シアーモ・ウッシーティ 1 複現・完了形.pl(uscire)v.i (〜から) 出た 「動詞句」

dall'ospizio. ダロスピーツィオ adv. 養老院から 「副詞句」

Davanti alla porta ダヴァンティ・アッラ・ポールタ adv. 門の前に 「副詞句」

c'era チェラ 3 単半・存在(esserci)v.i 〜があった 「動詞句」

il carro イル・カーロ n.m 馬車が 「主語」

まだ柩車が馬車なのか自動車なのかはつきりしない

funebre. フネブレ adj. 葬儀の 「形容詞」

それはニス塗られ、細長く、光沢があり、ペン入れを想像させた。

Verniciato, oblungo e lucido, faceva pensare a un portapénne.

「補語」, 「動詞句」「間接目的語」

Verniciato, ヴェルニチャート 過去分詞・様態(verniciare)adj. ニスを塗られて 「補語」

oblungo オブルゴ adj. 細長い 「補語」

e エ conj. そして

lucido, ルチド adj. 光沢がある 「補語」

faceva pensare ファチェヴァ・ア・ペンサーレ 3 単半・使役(fare+不定詞)v.i(a を) 想像させた 「動詞句」

a un portapénne. ア・ウン・ポルトペンネ adv. ペン入れを、ペン軸を 「間接目的語」

その脇に、変な服装で小柄な葬儀進行係と、そのそばにぎこちない様子の老人が見えた。

Di fianco ho visto l'incaricato delle pómpe funebri, un ométto vestito in modo ridicolo, e lì vicino un vecchio dal fare impacciato.

「副詞句」, 「動詞句」「目的語」, e 「副詞句」「目的語」

Di fianco ディ・フィアコ adv. その脇に 「副詞句」

ho visto オウイスト 1 単現・完了形(vedere)v.t が見えた 「動詞句」

l'incaricato リンカリカート n.m 係員、担当者 「目的語」

delle pómpe funebri, テレ・ボンペ・フネブリ adj. 葬儀進行の 「形容詞句」

pómpe ボンペ pl(pómpa).n.f 行進、進行 funebri フネブリ adj(funebre).pl 葬儀の

un ométto ウン・オメット n.m (同格) 小柄な男 「目的語」

vestito ヴェスチート adj. (衣装を) 着た 「形容詞」

in modo ridicolo, イン・モート・リディコ adv. おかしな服装に 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

e エ conj. そして

lì vicino リ・ヴィチーノ adv. そのそばに

「副詞句」

un vecchio ウン・ヴェッキオ n.m 老人が

「目的語」

dal fare ダル・ファレ adj. 〜である

「形容詞句」

impacciato. インパッチャート adj. ぎこちない

「補語」

僕は、それがペレーズ氏だと分かった。

Ho capito che era il signor Perez.

「動詞句」「目的語」

Ho capito オ・カピート 1 単現・完了形(capire)v.t 分かった、理解した

「動詞句」

che ケ conj. 〜ということを

「目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i 〜である

「動詞」

il signor Perez. イル・シニョール・ペレス n.m ペレーズ氏

「補語」

彼はつば広で半球型のフェルト帽を被り（棺が門を出る時に、彼はそれを脱いだ）、背広を着ていた
 がズボンには長すぎたし、黒の蝶ネクタイは白い大きなカラーのついたシャツと比較して小さすぎた。

Aveva un féltro a larghe tese con la calotta rotonda (se l'è tolto quando la bara ha passato la porta),
 un abito con i calzoni troppo lunghi, e un fiocco di stoffa nera troppo piccolo per la sua camicia dal
 gran collo bianco.

「動詞」「目的語」（「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞節」）, 「目的語」, e 「目的語」

Aveva アヴェーヴァ 3 単半(avére)v.t 着用していた

「動詞」

un féltro ウン・フェルトロ n.m フェルト帽、フェルト

「目的語」

a ア prep (特性) 〜をした

「副詞句」

larghe tese ラルゲ・テーゼ pl(tésa).n.f 長いつば

「目的語」

con la calotta rotonda コン・ラ・カロッタ・ロトンダ

adv. (特徴) 丸いトップをした

「副詞句」

(se ...è tolto セ...エ・トルト 3 単現・完了形(togliersi)v.pr (帽子を) 脱いだ、とった

「動詞句」

l' ロ pron (féltro の代用) それを

「目的語」

quando クワント conj. 〜する時に

「副詞節」

la bara ラ・バーラ n.f 棺が

「主語」

ha passato ア・パッサート 3 単現・完了形・時制の一致(passare)

v.t 通過する、通る

「動詞句」

la porta), ラ・ポールタ n.f 門を

「目的語」

un abito ウン・アビート n.m 背広を

「目的語」

con i calzoni コン・イ・カルツォーニ adv. (付属) ズボンのついた

「副詞句」

troppo lunghi, トロップ・ルンギ adj. 長すぎる

「形容詞句」

e エ conj. そして

PARTE PRIMA 第1部

un fiòcco ウン・フィオッコ n/m 蝶ネクタイ 「目的語」
 di stòffa néra ティ・stoffa・ネーラ adj. 黒い生地 「形容詞句」
 tròppo piccolo トロッポ・ピッコロ adj. 小さすぎる 「形容詞句」
 per la sua camicia ヘル・ラ・スア・カミチャ adv. (比較) シャツに比べて 「副詞句」
 dal gran còllo bianco. タル・グラン・コロ・ビアンコ
 adv. (属性) 白い大きなカラーのついた 「副詞句」

黒い点をまき散らされた鼻の下で、彼の唇が震えていた。

Le labbra gli tremavano, sòtto il naso cosperso di punti néri. 「主語」「動詞」「副詞句」
 Le labbra レ・ラッブラ pl(labbro).n.m 唇が 「主語」
 gli リ pron 彼の 「間接目的語」
 tremavano, トレマヴァノ 3 複半(tremare)v.i 震えていた 「動詞」
 sòtto ソット prep (位置) ~の下で 「副詞句」
 il naso イル・ナソ n.m 鼻 「目的語」
 cosperso コスパル 過去分詞・受動(cospargere)
 adj. (di を) まき散らされた 「形容詞句」
 di punti néri. ティ・プンティ・ネーリ adv. 黒い点を 「目的語」
 punti プンティ pl(punto).n.m 点 néri ネーリ adj(néro).pl 黒い

かなり薄い白髪が、垂れ下がって醜く縁取りされた変な形の耳を露わにしていた。生気を失った風貌
 の中で、血の紅い色が僕の印象に残った。

I capélli bianchi, abbastanza fini, lasciavano apparire due strane orécchie traballanti e male orlate di cui mi colpì il colór rósso sàngue in quèlla fàccia sbiadita.
 「主語」「動詞句」「目的語」, 「目的語」「動詞」「主語」「副詞句」
 I capélli bianchi, イ・カペッリ・ビアンキ pl(capélllo).n.m 白い髪は 「主語」
 bianchi ビアンキ adj(bianco).m.pl 白い
 abbastanza アッバスタンツァ adv. かなり、結構 「副詞」
 fini, フィーニ adj(fino).m.pl 薄い、細い 「形容詞」
 lasciavano apparire ラッシャヴァノ・アッパリーレ 3 複半・使役(lasciare+不定詞 apparire)
 v.t 目立たせていた 「動詞句」
 due strane orécchie トゥエ・ストラネ・オレッキエ pl(orécchia).n.f 変な耳を 「目的語」
 strane ストラネ adj(strano).f.pl 変な、奇妙な orécchie オレッキエ pl(orécchia).n.f 耳
 traballanti トラバランティ adj(traballante).pl ふらつく、揺れる 「形容詞」
 e エ conj. そして
 male マーレ adv 醜く 「副詞」
 orlate オルターテ 過去分詞・受動(orbitare)adj.f.pl 縁取りされた 「形容詞」

PARTE PRIMA 第1部

di cui ディ・クワイ adv. (分離) 耳から	「副詞句」
mi ミ pron 僕を	「目的語」
colpì コルピ° 3 単遠(colpire)v.t 打った	「動詞」
il colór rósso sàngue イル・コロール・ロツツ・サングエ n.m 血の赤色が	「主語」
in quèlla イン・クェラ adv. その中で	「副詞句」
fàccia ファッチャ 接・3 単現・非人称・時制の一致(fare)v.h 〜になっている	「動詞」
sbiadita. スビリアータ adj(sbiadito).f 生気を欠いた、色あせた	「補語」

係員が僕たちそれぞれに座席をあてがった。

L'incaricato assegnò il pósto ad ognuno di nói.

「主語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」

L'incaricato リンカリカート n.m 係員が	「主語」
assegnò アッセニョ 3 単遠(assegnare)v.t あてがった、支給した	「動詞」
il pósto イル・ポスト n.m 座席を	「直接目的語」
ad ognuno アト・オンニョノ adv. それぞれに	「間接目的語」
ad アト prep(a) 前置詞 a の後ろが母音の時は ad となる	
di nói. ディ・ノイ adj. 我々の	「形容詞句」

司祭が先頭を歩き、その次に柩車がやって来た。柩車の周りに、4 人の男がいた。

Il pàrroco camminava in tèsta, pòi veniva la vettura. Intórno, c'erano i quattro uòmini.

「主語」「動詞」「副詞句」, 「副詞」「動詞」「主語」 | 「副詞」「動詞句」「主語」

Il pàrroco イル・パ・ーロコ n.m 司祭が	「主語」
camminava カンミナーヴァ 3 単半(camminare)v.i 歩いた	「動詞」
in tèsta, イン・テスタ adv. (位置) 先頭を	「副詞句」
pòi ポーイ adv. それから、その後に	「副詞」
veniva ヴェニヴァ 3 単半(venire)v.i やって来た	「動詞」
la vettura. ラ・ヴェットゥーラ n.f 柩車が、車	「主語」
Intórno, イン・トルノ adv. 周りには	「副詞」
c'erano チェラーノ 3 複過・存在(esserci)v.i 〜がいた	「動詞句」
i quattro uòmini. イ・クワットロ・ウオーミニ pl(uòmo).n.m 4 人の男が	「主語」

PARTE PRIMA 第1部

その後ろに院長と僕が来て、しんがりに派遣の看護婦とペレーズ氏が続いた。

Diètro veniva il direttóre, io e, per chiùdere il cortèo, l'infermièra delegata e il signor Perez.

「副詞」「動詞」「主語」 e, 「副詞句」, 「主語」

Diètro ディエトロ adv. その後ろに、あとに

「副詞」

veniva ヴェニヴァ 3 単半(venire)v.i 来た

「動詞」

il direttóre, イル・ディレットレ n.m 院長が

「主語」

io イオ porn 僕が

「主語」

e, エ conj. そして

per chiùdere il cortèo, ヘル・キューデレ・イル・コルテオ

adv. しんがりとして、列を締めくくるために

「副詞句」

chiùdere キューデレ v.t 締める、閉じる cortèo コルテオ n.m 行列

l'infermièra リンフェルミエラ n.f 看護婦が

「主語」

delegata デレガータ adj(delegato).f 派遣された

「形容詞」

e エ conj. そして

il signor Perez. イル・セニョール・ペレス n.m ペレーズ氏が

「主語」

空は太陽でいっぱいだった。

Il cièlo era pièno di sóle.

「主語」「動詞」「補語」

Il cièlo イル・チェロ n.m 空は

「主語」

era エラ 3 単半(essere)v.i 〜だった

「動詞」

pièno di sóle. ピエノ・ディ・ソレ adj. 太陽でいっぱい

「補語」

日差しが地面にのしかかり、気温は急速に上昇した。

Cominciava a pesare sulla tèrra e il calore aumentava rapidamente.

「動詞句」「副詞句」 e 「主語」「動詞」「副詞」

Cominciava a pesare コンチャーヴァ・ア・ペサレ 3 単半・開始(cominciare a+不定詞)

v.i のしかかり始めた

「動詞句」

主語は「日差し」

sulla tèrra スッラ・テッラ adv. 地面に

「副詞句」

e エ conj. そして

il calore イル・カローレ n.m 気温は、熱は

「主語」

aumentava アウメンターヴァ 3 単半(aumentare)v.i 上昇した

「動詞」

rapidamente. ラピダメンテ adv. 急速に

「副詞」

PARTE PRIMA 第1部

なぜか分からないが、僕たちは歩き始めるまでにかかなり長く待った。

Non so perché abbiamo atteso abbastanza a lungo prima di metterci in marcia.

「動詞句」「目的語」

Non so ノ・ソ 1 単現・否定(sapere)v.t 分からない

「動詞句」

perché ペルケ conj. どうして～するかということが

「目的語」

abbiamo atteso アッビ・アーモ・アテゾ 1 複現・完了形(attendere)v.t 待った

「動詞句」

abbastanza アバスタンツァ adv. かなり

「副詞」

a lungo ア・ルンゴ adv. 長い間

「副詞句」

prima di +不定詞 プリマ・ディ adv. ～する前に

「副詞句」

metterci メッテルチ 不定詞(mettersi)v.pr 身を置く

「動詞句」

in marcia. イン・マルチャ adv. 歩行に

「間接目的語」

mettersi in marcia 「歩き始める」

僕の黒っぽい背広の下は暑くなってきていた。

Avevo caldo sotto i miei vestiti scuri.

「動詞」「目的語」「副詞句」

Avevo アヴェ・エウ・ヴォ 1 単半(avere)v.t (心身の状態) ～だった

「動詞」

caldo カルト n.m 暑さ

「目的語」

avere caldo 「暑さを覚える」

sotto ソット prep. ～の下は

「副詞句」

i miei vestiti イ・ミエイ・ヴェステイーティ pl(vestito).n.m 服、衣服

「目的語」

scuri. スーリ adj(scuro).pl 黒っぽい

「形容詞」

帽子を被り直していたその小柄な老人は、またそれを脱いだ。

Il vecchietto, che si era rimesso il cappello, se l'è nuovamente tolto.

「主語」「動詞句」「目的語」

Il vecchietto, イル・ヴェッキエット n.m その小柄な老人は

「主語」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

si era rimesso シ・エラ・リメツ 3 単半・完了形(rimettersi)

v.pr 自分に置き直していた

「動詞句」

il cappello, イル・カペッロ n.m 帽子を

「目的語」

→ 帽子を被り直していた

se ...è nuovamente tolto. セ...エ・ヌヴァンメンテ・トルト 3 単現・完了形(togliere+se)

v.t また自分のために取り去った

「動詞句」

l' 〇 pron (cappello の代用) それを

「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

僕は少し彼のほうを振り向いて、彼を見ていた。その時、院長が僕に彼の話を話した。

Io mi ero un po' girato dalla sua parte e lo stavo guardando, quando il direttore mi ha parlato di lui. 「主語」「動詞句」「副詞句」 e 「目的語」「動詞句」,

quando 「主語」「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」

Io イオ pron 僕は

「主語」

mi ero un po' girato ミ・エロ・ウン・ポ・ジラート 1 単半・完了形(girarsi+ un po')

v.pr 少し振り返った、振り向いた

「動詞句」

dalla sua parte ダッ・スア・パルテ adv. (方向) 彼のほうを

「副詞句」

parte パルテ n.f (漠然とした場所を指して) 方、側 (がわ)

e エ conj. そして

lo ロ pron 彼を

「目的語」

stavo guardando, スターヴ・ォ・グ・ワルダント 1 単半・進行形(stare+現在分詞)

v.t 見ていた

「動詞句」

quando クワント conj. その時

il direttore イル・ディレットレ n.m 院長が

「主語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha parlato ア・パルラート 3 単現・完了形(parlare)v.i 話した

「動詞句」

di lui. ディ・ルーイ adv. 彼の事を

「間接目的語」

院長は僕に、母さんとペレーズ氏は夕方によく看護婦に付き添われて村まで散歩に出かけたものだと話してくれた。

Mi ha detto che spesso mia madre e il signor Perez andavano a passeggio la sera fino al villaggio, accompagnati da un'infermiera. 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

spesso スペッツ adv. しばしば、何度も、よく

「副詞」

mia madre ミア・マトレ n.f 母さんは

「主語」

e エ conj. そして

il signor Perez イル・シニョール・ペレス n.m ペレーズ氏は

「主語」

andavano アンダヴァノ 3 複半(andare)

v.i (+動作名詞) ～しに出掛けた

「動詞」

a passeggio ア・パッセージョ adv. 散歩に

「間接目的語」

andare a passeggio 「散歩に出かける」

la sera ラ・セーラ adv. (時間) 夕方に

「副詞句」

fino al villaggio, フィーノ・アル・ヴィラッジョ adv. 村まで

「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

accompagnati アコンパニャーティ 過去分詞・受動.pl(accompagnare)

adj. 付き添われて

「副詞句」

da un'infermiera. ダ・ウン・インフェルミエラ

adv. (動作主) 看護婦に

「副詞句」

僕は周りの田園地帯を眺めた。

Io guardavo la campagna intorno.

「主語」「動詞」「目的語」

Io イオ pron 僕は

「主語」

guardavo グァルダヴォ 1 単半(guardare)v.t 眺めた

「動詞」

la campagna ラ・カンパニャ n.f 田園地帯を

「目的語」

intorno. イントルノ adj. 周りの

「形容詞」

空にせまる丘まで続く糸杉の列を通して、この赤茶色と緑の大地やまばらにくっきりと見える家を通して、僕は母さんを理解した。

Attraverso le linee dei cipressi che conducevano alle colline vicino al cielo, attraverso quella terra ruggine e verde, quelle case rare e ben disegnate, io comprendevo la mamma.

「副詞句」, 「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

Attraverso アットラヴェールソ prep ~を通過して、通して

「副詞句」

le linee レ・リーネ pl(linea).n.f 列

「目的語」

dei cipressi デイ・チプレッシ adj.pl(cipresso) 糸杉の

「形容詞句」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

conducevano コンドゥチェヴァノ 3 複半(condurre)

vi(a に) 達する、通じる

「動詞」

alle colline アレ・コリーネ adv. 丘に

「間接目的語」

vicino al cielo, ヴィチーノ・アル・チェロ

adv. 空に近い

「副詞句」

attraverso アットラヴェールソ prep ~を通過して、通して

「副詞句」

quella terra ケッラ・テッラ n.f この大地

「目的語」

ruggine ルージネ adj. (金属の) さび色の、赤茶色の

「形容詞」

ruggine ルージネ n.f (金属の) さび、恨み、怨恨、さび病

e エ conj. そして

verde, ヴェルデ adj. 緑の

「形容詞」

quelle case ケッレ・カゼ pl(casa).n.f あれらの家

「目的語」

rare ラレ adj(raro).f.pl まばらな

「形容詞」

e エ conj. そして

ben disegnate, ベン・ディゼニャーテ 過去分詞(disegnare+ben)・受動

PARTE PRIMA 第1部

adj.f.pl うまく描かれた	「形容詞句」
io イオ pron 僕は	「主語」
comprendevo コンプレンドェヴォ 1 単半(comprendere)v.t 理解した	「動詞」
la mamma. ラ・ママ n.f 母さんを	「目的語」

この地では、夕暮れは物寂しい休戦の時であつたに違いない。

La séra, in quei luòghi, doveva esser cóme una trégua melanconica.

	「主語」「副詞句」「動詞句」「補語」
La séra, ラ・セーラ n.f 夕暮れは	「主語」
in quei luòghi, イン・ケイ・ルオーギ adv. この地では	「副詞句」
quei ケイ adj. (男性複数形) あの、この luòghi ルオーギ (luògo).n.m 場所、～地	
doveva esser トヴエーウァ・エッセル 3 単半・可能性(dovére+不定詞 essere)	
v.i ～であつたに違いない	「動詞句」
cóme una trégua コーメ・ウナ・トレーグわ adv. 休戦のような	「補語」
melanconica. マランコーニカ adj(melanconico).f 憂鬱な、物寂しい	「形容詞」
malincònico マリンコーニコ adj. 憂鬱な、物寂しい	

今は逆に、過度の太陽が風景を震え上がらせ、それを無慈悲で憂鬱な眺めに変えている。

Óra, invéce, il sóle eccessivo che faceva sobbalzare il paesaggio, lo rendeva inumano e deprimente.

	「副詞句」, 「主語」「目的語」「動詞」「補語」
Óra, オーラ adv. 今では	「副詞」
invéce, インヴァーチェ adv. 逆に、それに反して	「副詞」
il sóle イル・ソーレ n.m 太陽は	「主語」
eccessivo エチェシーヴォ adj. 過度の、度を越した	「形容詞」
che ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
faceva sobbalzare ファチエーウァ・ソバルツァーレ 3 単半・使役(fare+不定詞 sobbalzare)	
v.t ～を震えあがらせる	「動詞句」
il paesaggio, イル・パ・エザッジョ n.m 風景を	「目的語」
lo ロ pron (paesaggio の代用) それを	「目的語」
rendeva レンデヴァ 3 単半・時制の一致(rèndere)v.t ～にしている	「動詞」
inumano イヌマーノ adj. 残酷な、無慈悲な	「補語」
e エ conj. そして	
deprimente. デプリメンテ adj. 憂鬱な	「補語」

PARTE PRIMA 第1部

僕たちは歩き始めた。

Ci siamo messi in cammino.

「動詞句」「間接目的語」

Ci siamo messi チ・シアモ・メッシ 1 複現・完了形(mettersi)v.pr (in に) 身を置いた

「動詞句」

in cammino. イン・カンミーノ adv. 歩行に、道のりに

「間接目的語」

ペレーズが軽く足を引きずって歩いていることに気づいたのはその時だ。

È in quel momento che mi sono accorto che Perez zoppicava leggermente.

「動詞」「副詞句」「主語」

È エ 3 単現(essere)v.i 〜である

「動詞」

in quel momento イン・ケル・モメント adv. その時に

「副詞句」

che ケ conj. 〜ということは

「主語」

mi sono accorto ミ・ソノ・アッコルト 1 単現・完了形(accorgersi)v.pr 気付いた

「動詞句」

che ケ conj. 〜ということを

「目的語」

Perez ペレス n.m ペレーズが

「主語」

zoppicava ゴッピカヴァ 3 単半・時制の一致(zoppicare)

v.i 足を引きずって歩いている

「動詞」

leggermente. レッジエルメンテ adv. 軽く

「副詞」

柗車が少しずつ速度を上げると、老人は遅れていった。

La vettura, a poco a poco, guadagnava velocità e il vecchio perdeva terreno.

「主語」「副詞句」「動詞」「目的語」 e 「主語」「動詞」「目的語」

La vettura, ラ・ヴェットゥーラ n.f 柗車は

「主語」

a poco a poco, ア・ポコ・ア・ポコ adv. 少しずつ

「副詞句」

guadagnava グワダニャヴァ 3 単半(guadagnare)v.t (速度を) 加速した

「動詞」

velocità ヴェロチタ n.f 速度を

「目的語」

e エ conj. そして

il vecchio イル・ヴェッキオ n.m 老人は

「主語」

perdeva ペルテヴァ 3 単半(perdere)v.t 失った

「動詞」

terreno. テレーノ n.m 場を、領域を

「目的語」

perdere terreno 「(競争などで) 引き離される、距離を開けられる、劣勢になる」

PARTE PRIMA 第1部

柩車の周りにいた男たちの一人も引き離されて、今では僕と同じ位置を歩いている。

Anche uno degli uòmini che erano intórno al carro si era lasciato distaccare e camminava óra alla mia altezza. 「主語」「動詞句」 e 「動詞」「副詞句」

Anche uno アンケ・ウーノ pron 一人も 「主語」

degli uòmini デリ・ウーミニ adj. 男たちの 「形容詞句」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

erano エラノ 3 複半・存在(èssere)v.i. ～にいた 「動詞」

intórno al carro イントールノ・アル・カッロ adv. 柩車の周りに 「副詞句」

si era lasciato distaccare シ・エラ・ラッシャート・ディスタッカル 3 単半・完了形・使役(lasciarsi+不定詞)

v.pr 引き離されるままになっていた 「動詞句」

lasciarsi+不定詞・他動詞 「～されるがままになる」

e エ conj. そして

camminava カミナヴァ 3 単半・時制の一致(camminare)v.i. 歩いている 「動詞」

óra オーラ adv. 今や 「副詞」

alla mia altezza. アッラ・ミーア・アルテツァ adv. 僕と同じ位置を 「副詞句」

僕は太陽が空に上る速さに驚いた。

Ero stupito délla rapidità con cui il sóle saliva nel cièlo. 「動詞句」「間接目的語」

Ero stupito エロ・ストピト 1 単半・完了形(stupire)v.i.(di に) 驚いた 「動詞句」

délla rapidità デラ・ラピディタ adv. 速さに 「間接目的語」

con cui コン・クーイ adv. (手段) ～する 「形容詞節」

il sóle イル・ソーレ n.m 太陽が 「主語」

saliva サリーヴァ 3 単半・時制の一致(salire)v.i. 上る 「動詞」

nel cièlo. ネル・チェーロ adv. 空に 「副詞句」

僕は、もうだいぶ前から畑は虫の鳴き声や草の葉擦れの音で賑わっていることに気づいた。

Mi sono accorto che già da parécchio tèmpo la campagna ronzava del canto degli insetti e di crepitii d'erba. 「動詞句」「目的語」

Mi sono accorto ミ・ソーノ・アッコルト 1 単現・完了形(accòrgersi)v.pr 気付いた 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

già ジャ adv. もう 「副詞」

da ダー prep (時間) ～前からずっと 「副詞句」

parécchio tèmpo パレッキオ・テンポ n.m かなりの時間 「目的語」

la campagna ラ・カンパニャ n.f 畑は 「主語」

ronzava ロンザヴァ 3 単半(ronzare)v.i. 音を立てていた 「動詞」

del canto degli insetti デル・カント・デリ・インセッティ adv. 虫の鳴き声 「間接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

e エ conj. そして

di crepitii d'erba. ティ・クレチヒ・ティ・テルハ adv. 草の葉擦れの音

「間接目的語」

汗が僕の頬を滴り落ちた。

Il sudóre mi colava sulle guànce.

「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」

Il sudóre イル・ストーレ n.m 汗が

「主語」

mi ミ pron 僕の

「間接目的語」

colava コラヴァ 3 単半(colare)v.i 滴り落ちた

「動詞」

sulle guànce. スレ・グァンチェ adv. 頬の上を

「副詞句」

guànce グァンチェ pl(guància).n .f 頬、ほっぺた

帽子が無かったので、ハンカチであおいだ。

Siccóme non avevo cappello, mi facevo vènto col fazzolétto.

「副詞節」, 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」

Siccóme シッコメ conj. (原因) ~なので

「副詞節」

non avevo ノン・アヴァーヴォ 1 単半・否定(avére)v.t ~がなかった

「動詞句」

cappello, カッペーロ n.m 帽子が

「目的語」

mi ミ pron 自分に

「間接目的語」

facevo ファチェヴォ 3 単半(fare)v.t 起こした、送った

「動詞」

vènto ウェント n.m 風を

「直接目的語」

col fazzolétto. コル・ファツォレット adv. (手段) ハンカチで

「副詞句」

そのとき葬儀社の社員が僕に何かを言ったが、僕は理解できなかった。

L'impiegato delle pómpe fùnebre mi ha détto allóra qualcòsa che non ho capito.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞」「直接目的語」

L'impiegato リンビエガート n.m 社員は

「主語」

delle pómpe fùnebre テレ・ボンペ・フーネブリ adj. 葬儀社の

「形容詞句」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha détto ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

allóra アッローラ adv. その時

「副詞」

qualcòsa クォルコーサ pron 何かを

「直接目的語」

che ケ pron (目的語) ~する

「形容詞節」

non ho capito. ノン・カピート 1 単現・完了形・否定(capire)

v.t 理解できなかった

「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

彼は右手で帽子のひさしを持ち上げておき、その間に、左手に持ったハンカチで頭のでっぺんを拭いた。

Intanto si asciugava il crànio con un fazzolétto che aveva nélla sinistra, méntre con la dèstra teneva sollevata la visiera del suo berrétto.

「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」, 「副詞節」

Intanto インターント adv. その間に

「副詞」

si asciugava シ・アッシガ^ァーウ^ァ 3 単半(asciugarsi)

v.pr (自分の体を) ぬぐった、拭いた

「動詞句」

il crànio イル・クラニオ n.m 頭頂部を、頭蓋

「目的語」

con un fazzolétto コン・ウン・ファツォレット adv. (手段) ハンカチを使って

「副詞句」

che ケ pron (目的語) ~する

「形容詞節」

aveva アウ^ェーウ^ァ 3 単半(avére)v.t 持っていた

「動詞」

nélla sinistra, ネッラ・シニストラ adv. 左手に

「副詞句」

méntre メントレ conj. ~する間に

「副詞節」

con la dèstra コン・ラ・デストラ adv. 右手で

「副詞句」

teneva テネウ^ァ 3 単半(tenére)v.t(SVOC) (状態に) しておいた

「動詞」

sollevata ソッレウ^ァータ adj(sollevato).f (高い位置に) 上げた

「補語」

la visiera ラ・ウ^ィジェラ n.f (帽子の) ひさしを

「目的語」

del suo berrétto. テル・スオ・ベレット adj. 帽子の

「形容詞句」

僕は彼に尋ねた：「なんですって？」彼は空を指さして答えた：「日差しが強いね！」僕は言った：「ええ」少し経って、彼が僕に尋ねた：「お袋さんかい？」

Gli ho chiesto: “Cóme?” Ha rispósto indicando il cièlo: “Batte fòrte.” Ho détto: “Sì.” Un po’ più tardi mi ha domandato: “è sua madre, quèlla?”

「間接目的語」「動詞句」：《「応答」》 | 「動詞句」「副詞句」：《「動詞」「副詞」》

「動詞句」：《「応答」》 | 「副詞句」「間接目的語」「動詞句」：《「動詞」「補語」「主語」》

Gli リ pron 彼に

「間接目的語」

ho chiesto: オ・キェスト 1 単現・完了形(chièdere)v.t 尋ねた

「動詞句」

“Cóme?” コーメ adv. (疑問文で) なんと行ったのですか？

「応答」

Ha rispósto ア・リスポスト 3 単現・完了形(rispóndere)v.i 答えた

「動詞句」

indicando インディカント[°] ジェルンディオ・同時(inndicare)v.t ~を指さして

「副詞句」

il cièlo: イル・チェロ n.m 空を

「目的語」

“Batte バッテ 3 単現(bàtttere)v.t (太陽が) 照る

「動詞」

fòrte.” フォルテ adv. 激しく

「副詞」

Ho détto: オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

“Sì.” シ adv. そうですね

「応答」

PARTE PRIMA 第1部

Un po' più tardi ウン・ポ・ピウ・タルテ adv. 少し経ってから	「副詞句」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha domandato: ア・トマンダート 3 単現・完了形(domandare)v.t 尋ねた	「動詞句」
“è エ 3 単現・疑問文(essere)v.i ~なのかい?	「動詞」
sua madre, スーア・マトレ n.f お袋さん	「補語」
quella?” ケッラ pron それは	「主語」

僕はまた言った:「ええ」「かなりの年だったのかい?」僕は正確な数字を知らなかったので、「ええ、まあ」とだけ答えた。

Ho detto ancora: “Sì.” “Era vecchia?” Ho risposto: “Così, così” perché non sapevo il numero esatto.

「動詞句」「副詞」:《「応答」》《「動詞」「補語」》「動詞句」:《「応答」》「副詞節」

Ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
ancora: アンコーラ adv. また	「副詞」
“Sì.” シ adv. ええ	「応答」
“Era エラ 3 単半・疑問文(essere)v.i ~だったのかい?	「動詞」
vecchia?” ヴェッキア adj(vecchio).f 年老いた	「補語」
Ho risposto: オリスポスト 1 単現・完了形(rispondere)v.i 答えた	「動詞句」
“Così, così” コシ・コシ adv. まあまあ	「応答」
perché ペルケ conj. (理由) ~なので	「副詞節」
non sapevo ノン・サペーヴォ 1 単半・否定(sapere)v.t 知らなかった	「動詞句」
il numero イル・ヌーメロ n.m 数字を	「目的語」
esatto. エザット adj. 正確な	「形容詞」

それから彼は黙り込んだ。振り返ると、後方約 50 メートルにペレーズ老人が見えた。

Poi non ha più parlato. Mi sono voltato e ho visto il vecchio Perez a una cinquantina di metri dietro di noi.

「副詞」「動詞句」 | 「動詞句」 e 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Poi ポーイ adv. それから、その後	「副詞」
non ha più parlato. ノン・ナ・ピウ・ハルラート 3 単現・完了形・否定(parlare+ più)	
v.i もうそれ以上話さなかった、黙り込んだ	「動詞句」
Mi sono voltato ミ・ソーノ・ヴォルタート 1 単現・完了形(voltarsi)v.pr 振り返った	「動詞句」
e エ conj. そして	
ho visto オ・ヴィスト 1 単現・完了形(vedere)v.t 見えた	「動詞句」
il vecchio Perez イル・ヴェッキオ・ペレス n.m ペレーズ老人が	「目的語」
a una cinquantina di metri ア・ウナ・チンクワンティナ・ディ・メトリ	
adv. (位置) 約 50 メートルのところに	「副詞句」
dietro di noi. ディエトロ・ディ・ノイ adv. 僕たちの後方	「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

彼は手に持ったフェルト帽を振りながら、出来るだけ急いで歩いていた。

Andava più in fretta che poteva, agitando il feltro che aveva in mano. 「動詞」「副詞句」

Andava アンダーヴァ 3 単半(andare)v.i 歩いていた 「動詞」

più ピウ adv. もっと、さらに 「副詞」

in fretta イン・フレッタ adv. 急いで、あわてて 「副詞句」

che ケ conj. (比較) ～するよりも 「副詞節」

poteva, ホ・テヴァ 3 単半(potere)v.i 出来る 「動詞」

agitando アジタント ジェルンディオ・同時(agitare)

v.t 振りながら 「副詞句」

il feltro イル・フェルトロ n.m フェルト帽を 「目的語」

che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

aveva アヴェヴァ 3 単半(avere)

v.t 持っていた 「動詞」

in mano. イン・マノ adv. 手に 「副詞句」

僕は院長のほうも観察してみた。

Ho guardato anche il direttore. 「動詞句」「目的語」

Ho guardato オ・グワルダート 1 単現・完了形(guardare)v.t 観察した、調べた 「動詞句」

anche アンケ adv. ～も 「副詞」

il direttore. イル・ディレットレ n.m 院長 「目的語」

彼は無駄な動きをせず、とても軽やかに歩いていた。

Camminava con molta agilità, senza un gesto inutile. 「動詞」「副詞句」

Camminava カミナーヴァ 3 単半(camminare)v.i 歩いていた 「動詞」

con molta agilità, コン・モルタ・アジリタ adv. (様態) とても機敏に、軽やかに 「副詞句」

senza センツァ prep ～なしに 「副詞句」

un gesto ウン・ヘスト n.m しぐさ、行為 「目的語」

inutile. イヌーレ adj. 無駄な、余計な 「形容詞」

汗の滴がいくらか彼の額を流れたが、彼はそれを拭おうとしなかった。

Qualche goccia di sudore gli imperlava la fronte, ma egli non l'asciugava.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」,ma 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」

Qualche goccia クワルケ・ゴッチャ n.f いくらかの滴が 「主語」

di sudore デイ・ストーレ adj. 汗の 「形容詞句」

gli リ pron 彼の 「間接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

imperlava インペ ルラーヴァ 3 単半(imperlare)v.t (滴で) 濡らした	「動詞」
la frónite, ラ・フロンテ n.f 額を	「直接目的語」
ma マ conj. しかし	
égli エグリ pron 彼は	「主語」
non ...asciugava. ノン...アッシェガヴァ 3 単半(asciugare)・否定 v.t 拭わなかった	「動詞句」
l' ラ pron (goccia の代用) それを	「目的語」

僕には、行列の速度が少し速まったように思われた。

<u>Mi parve che il convoglio andasse un po' più veloce.</u>	「間接目的語」「動詞」「主語」
Mi ミ pron 僕には	「間接目的語」
parve パルヴェ 3 単遠(parére)v.i ～と思われた	「動詞」
che ケ conj. ～ということが	「主語」
il convoglio イル・コンヴォリオ n.m 行列が、葬列が	「主語」
andasse アンダッセ 接・3 単半・推量(andare)v.i 進んでいる	「動詞」
un po' più veloce. ウン・ポ'・ピウ・ヴェローチェ adv. 少し速く	「副詞句」

僕の周りは相変わらず太陽が溢れんばかりに輝くあの田園地帯が広がっていた。

<u>Intorno a me c'era sempre quella campagna luminosa, traboccante di sole.</u>	「副詞句」「動詞句」「副詞」「主語」
Intorno a イントルノ・ア prep ～の周りには	「副詞句」
me メ pron 僕	「目的語」
c'era チェラ 3 単半・存在(èsserci)v.i ～があった	「動詞句」
sèmpe センプレ adv. 相変わらず	「副詞」
quella campagna ケッラ・カンパニャ n.f あの田園地帯が	「主語」
luminosa, ルミノサ adj(luminoso).f 明るい、輝く	「形容詞」
traboccante di トラボカンテ・ディ prep ～で溢れそうに	「副詞句」
sóle. ソーレ n.m 太陽	「目的語」

空の輝きで目が眩んだ。

<u>Lo sflogorio del cielo era accecante.</u>	「主語」「動詞句」
Lo sflogorio ロ・スフォルゴリオ n.m 輝きは	「主語」
del cielo デル・チェーロ adj. 空の	「形容詞句」
era accecante. エラ・アチェカンテ 3 単半・進行形(accecare)v.t 目を眩ませていた	「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

ある時、最近補修された道路の区間に通りかかった。

A un certo punto siamo passati su un tratto della strada che era stato rifatto recentemente.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」

A un certo punto ア・ウン・チェルト・フント adv. ある時

「副詞句」

siamo passati シアーモ・パッサーティ 1 複現・完了形(passare)v.i ~に通りかかった

「動詞句」

su un tratto ス・ウン・トラット adv. (道路の) 区間の上に

「副詞句」

della strada デラ・ストラータ adj. 道路の

「形容詞句」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

era stato rifatto エラ・スタート・リファット 3 単半・完了形・受動(rifare)

v.t 修理された

「動詞句」

recentemente. レチェンメンテ adv. 最近

「副詞」

強い日差しでアスファルトが柔らかくなっていた。

Il sole aveva reso malle l'asfalto.

「主語」「動詞句」「補語」「目的語」

Il sole イル・ソレ n.m 太陽は

「主語」

aveva reso アヴァ・エーガ・ア・レゾ 3 単半・完了形・変化(rendere)v.t ~にしていた

「動詞句」

malle モーレ adj. 柔らかな

「補語」

l'asfalto. ラスファルト n.m アスファルトを

「目的語」

足がアスファルトにめり込むと、黒光りする中身がはみ出してきた。

I piedi vi affondavano e lasciavano aperta la sua carne luccicante.

「主語」「動詞」「目的語」 e 「動詞」「補語」「目的語」

I piedi イ・ピエーティ pl(piède).n.m 足が

「主語」

vi ビ pron.pl 僕たちを

「目的語」

affondavano アッフオンダーヴァノ 3 複半(affondare)v.t 沈めた

「動詞」

e エ conj. そして

lasciavano ラッシャーヴァノ 3 複半・放任(lasciare)v.t ~の状態にさせた

「動詞」

aperta アペルタ adj(aperto).f 開いた、剥き出しの

「補語」

la sua carne ラ・スーア・カルネ n.f アスファルトの中身を

「目的語」

luccicante. ルチカンテ adj. 光り輝く

「形容詞」

PARTE PRIMA 第1部

御者のつやのある革の帽子はその黒光りする泥に漬け込まれていたように見えた。

In alto, sul carro, il cappello di cuoio lucido del cocchiere sembrava fosse stato intriso in quella melma nera.

「主語」「動詞」「補語」

In alto, sul carro, イン・アルト・スル・カーロ adv. 柩車の上の

「副詞句」

il cappello イル・カペッロ n.m 帽子は

「主語」

di cuoio ディ・クォーイオ adj. (材料) 革の

「形容詞句」

lucido ルチト adj. つやのある、光るような

「形容詞」

del cocchiere テル・コチエレ adj. (所有) 御者の

「形容詞句」

柩車が馬車であることが明確になった

sembrava センプラヴァ 3 単半(sembrare)v.i. ーのように見えた

「動詞」

n. ーということ

「補語」

fosse stato intriso フォッセ・スタート・イントリーゾ 接・3 単半・完了形・受動(intridere)

v.t. ーに漬けられた

「動詞句」

in quella melma nera. イン・ケッラ・メルマ・ネーラ adv. その黒い泥の中に

「副詞句」

青と白の対比が際立つ空と、剥き出しのアスファルトの粘り気のある黒や喪服の色あせた黒や柩車の黒光りする黒という単調な色とに板挟みになり、自分を見失いそうになった。

Ero un po' perso fra il cielo azzurro e bianco e la monotonia di quei colori, nero vischioso dell'asfalto aperto, nero sbiadito degli abiti, nero laccato della vettura.

「動詞」「補語」

Ero エロ 1 単半・変化(essere)v.i. ーになった

「動詞」

un po' perso ウン・ポ・ペールソ adj. 少し自分を見失った

「補語」

fra フラ prep (空間) ーの間で

「副詞句」

il cielo イル・チェーロ n.m 空

「目的語」

azzurro e bianco アズーロ・エ・ビアンコ adj. 青と白の

「形容詞句」

e エ conj. そして

la monotonia ラ・モトニーア n.f 単調さ

「目的語」

di quei colori, ディ・クエイ・コローリ adj. それらの色の

「形容詞句」

nero ネロ n.m 黒

「目的語」

vischioso ヴィシオゾ adj. 粘り気のある

「形容詞」

dell'asfalto デラスファルト

adj. アスファルトの

「形容詞句」

aperto, アペールト

adj. 剥き出しの

「形容詞」

nero ネロ n.m 黒

「目的語」

sbiadito スビァディート adj. 色あせた

「形容詞」

PARTE PRIMA 第1部

degli abiti, デッリ・アビーチ

adj.m.pl 喪服の

「形容詞句」

néro ネロ n.m 黒

「目的語」

laccato ラッカト adj. ラッカーを塗った

「形容詞」

della vettura. デッラ・ヴェットゥーラ

adj. 枢車の

「形容詞句」

このすべてが、太陽、馬車から発せられる革と馬糞の臭い、ニスのにおいと香のかおり、不眠の一夜の疲れが、僕の視力と思考を混乱させた。

Tutto quέsto, il sóle, l'odóre di cuóio e di sterco del carro, quέllo di vernice e quέllo d'incenso, la stanchέzza di una nótte d'insónnia, mi confondeva la vista e le idée.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Tutto quέsto, トゥット・クェスト pron このすべてが

「主語」

il sóle, イル・ソーレ n.m 太陽

「主語」

l'odóre ロドーレ n.m 臭い

「主語」

di cuóio ディ・クォーイオ adj. 革の

「形容詞句」

e エ conj. そして

di sterco ディ・ステルコ adj. 馬糞の

「形容詞句」

del carro, デル・カルロ adj. 馬車から発せられる

「形容詞句」

quέllo di vernice ケットロ・デ・ヴェルニチェ n.m ニスの匂い

「主語」

e エ conj. そして

quέllo d'incenso, ケットロ・デ・インチェンソ n.m 香のかおり

「主語」

la stanchέzza ラ・スタンケツァ n.f 疲労

「主語」

di una nótte ディ・ウナ・ノッテ adj. 一夜の

「形容詞句」

d'insónnia, デインソニア adj. 不眠の

「形容詞句」

mi ミ pron 僕の

「間接目的語」

confondeva コンフォンテヴァ 3 単半(confondere)v.t 混乱させた

「動詞」

la vista ラ・ヴィスタ n.f 視力を

「直接目的語」

e エ conj. そして

le idée. レ・イデー pl(idèa).n.f 思考を、思考力

「直接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

僕はもう一度振り返った：ペレーズは陽炎の中に埋もれてかなり離れているように見えた。その後、もう彼の姿が見えなくなった。

Mi sono voltato ancora: Perez mi è parso molto lontano, perduto in un nembo di caldo, poi non l'ho visto più.

「動詞句」「副詞」：「主語」「間接目的語」「動詞句」「補語」,
「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞」

Mi sono voltato ミ・ツノ・ヴォルタート 1 単現・完了形(voltarsi)v.pr 振り返った 「動詞句」

ancora: アンコーラ adv. もう一度、また 「副詞」

Perez ペレス n.m ペレーズは 「主語」

mi ミ pron 僕には 「間接目的語」

è parso エ・パルソ 3 単現・完了形(parere)v.i へのように見えた 「動詞句」

molto lontano, モルト・ロンターノ adv. とても遠く 「補語」

perduto ペルトゥート 過去分詞(perdere)adv. (様態) 消えて、失った 「副詞句」

in un nembo di caldo, イン・ウンネボ・ディ・カルド adv. 陽炎の中に 「副詞句」

nembo ネボ n.m 黒雲 caldo カルト n.m 熱、高温

poi ポーイ adv. 次に、それから 「副詞」

non ...ho visto ノン...オ・ヴィスト 1 単現・完了形・否定(vedere)v.t 見えなくなった 「動詞句」

l' l' pron 彼が 「目的語」

più. ビー adv. もう 「副詞」

僕は視線を巡らせて彼を捜した：すると、彼は道路を離れて野原の通り道を進んでいた。

L'ho cercato con lo sguardo: aveva abbandonato la strada e preso la via dei campi.

「目的語」「動詞句」「副詞句」：「動詞句」「目的語」e「動詞句」「目的語」

L' l' pron 彼を 「目的語」

ho cercato オ・チェルカート 1 単現・完了形(cercare)v.t 探した 「動詞句」

con lo sguardo: コン・ロ・ズグワルト adv. (方法) 視線を巡らせて 「副詞句」

aveva abbandonato アヴェーウァ・アッヴァントナート 3 単半・完了形(abbandonare)

v.t 離れていた 「動詞句」

la strada ラ・ストラダ n.f 道路を 「目的語」

e e conj. そして

preso プレゾ 3 単半・完了形(prendere)v.t 取った 「動詞句」

la via ラ・ヴィア n.f 通り道を 「目的語」

dei campi. デイ・カンピ adj.(campo) 野原の 「形容詞句」

PARTE PRIMA 第1部

僕はさらに、僕の前方で道路がカーブしていることに気づいた。

Ho constatato anche che davanti a me la strada faceva una curva.

「動詞句」「副詞」「目的語」

Ho constatato オ・コンスタート 1 単現・完了形(constatare)v.t 気付いた

「動詞句」

anche アンケ adv. さらに、また

「副詞」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

davanti a me ダヴァンティ・ア・メ adv. 僕の正面に、僕の前で

「副詞句」

la strada ラ・ストラダ n.f 道路が

「主語」

faceva ファチェヴァ 3 単半・時制の一致(fare)v.t 作っている

「動詞」

una curva. ウナ・クルヴァ n.f カーブ、湾曲部を

「目的語」

ペレーズは土地勘があるので、僕たちに追いつくために近道をしていると分かった。

Ho compreso che Perez, che conosceva i luoghi, tagliava per la via più corta per raggiungerci.

「動詞句」「目的語」

Ho compreso オ・コンプレゾ 1 単現・完了形(comprendere)v.t 分かった

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

Perez, ペレス n.m ペレーズは

「主語」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

conosceva コンシェヴァ 3 単半・時制の一致(conoscere)

v.t 知っている

「動詞」

i luoghi, イルオーギ pl(luogo).n.m この地域を

「目的語」

tagliava タリアヴァ 3 単半(tagliare)v.i(per を) 近道した

「動詞」

per la via più corta ヘル・ラ・ヴァ・イア・ビウ・コルタ adv. より近い道を

「間接目的語」

per +不定詞 ヘル 不定詞・目的 adv. ～するために

「副詞句」

raggiungerci. ラッジュンジェルチ 不定詞(raggiungere+ci)

v.t 僕たちに追いつく

「動詞句」

次の曲がり角で、彼はまた僕たちと合流した。

Alla curva successiva era di nuovo con noi.

「副詞句」「動詞」「副詞句」

Alla curva アラ・クルヴァ adv. (位置) カーブの所で

「副詞句」

successiva スチェッシーヴァ adj(successivo).f 次の

「形容詞」

era エラ 3 単半・状態(essere)v.i ～になった

「動詞」

di nuovo デイ・ヌォヴァ adv. 再び、また

「副詞句」

con noi. コン・ノイ adv. 僕たちと一緒に

「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

それから、僕たちは彼を見失った。彼がまた近道したのだ。彼は何度もこれを繰り返した。

Pòi l'abbiamo perduto. Ha preso ancora la via dei campi e così ha fatto parecchie volte.

「副詞」「目的語」「動詞句」

「動詞句」「副詞」「目的語」 e 「副詞」「動詞句」「目的語」

Pòi ポーイ adv. それから

「副詞」

l' ロ pron 彼を

「目的語」

abbiamo perduto. アッビアーモ・ペルトゥート 1 複現・完了形(perdere)v.t 見失った

「動詞句」

Ha preso ア・プレゾ 3 単現・完了形(prèndere)v.t 取った

「動詞句」

ancóra アンコーラ adv. また

「副詞」

la via dei campi ラ・ヴィーア・デー・カンピ n.f 野原の通り道を

「目的語」

e エ conj. そして

così コシ adv. このように

「副詞」

ha fatto ア・ファット 3 単現・完了形(fare)v.t (動作を) した

「動詞句」

parecchie volte. パレッキエ・ヴォルテ pl(vólta).n.f かなりの回数 (の動作)

「目的語」

僕は、こめかみで血が脈打つを感じた。

Io sentivo il sangue che mi batteva alle tempie.

「主語」「動詞」「目的語」

Io イーオ pron 僕は

「主語」

sentivo センチーヴォ 1 単半(sentire)v.t 感じた

「動詞」

il sangue イル・サングエ n.m 血を

「目的語」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

batteva バッテヴァ 3 単半・時制の一致(battere)v.t 叩く

「動詞」

alle tempie. アレ・テンピエ adv.(tèmpia) (場所) こめかみを

「副詞句」

その後、全てが非常に迅速かつ正確に進行し、全てがとても自然だったので、僕はもう何も覚えていない。

In séguito tutto si è svolto con tanta precipitazione e esattezza, tutto è stato così naturale, che non mi ricordo più nulla.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」, 「主語」「動詞句」「補語」

,che 「動詞句」「目的語」

In séguito イン・セグイート adv. その後、のちほど

「副詞句」

in séguito a (a séguito di) 「～の結果として、～の理由により、～に関連して」

a séguito di quanto sópra 上記の結果として

tutto トゥット pron (単数扱い) すべてが

「主語」

si è svolto シ・エ・ズヴォルト 3 単現・完了形(svòlgersi)v.pr 行なわれた、進行した

「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

con tanta precipitazione e esattezza, コン・タンタ・フ レチヒ° タチオーネ・エ・エサ° ッテツツァ

adv. (様態) 非常に迅速かつ正確に

「副詞句」

tutto トゥット pron (単数扱い) すべてが

「主語」

è stato エ・スタート 3 単現・完了形・状態(stare)v.i ~だった

「動詞句」

così naturale, コシ・ナトゥーレ adj. とても自然な

「補語」

che ケ conj. (così... che~) (結果) (あまり... なので) ~する

non mi ricordo ノン・ミ・リコルト° 1 単現・否定(ricordarsi)v.pr 覚えていない

「動詞句」

più nulla. ヒ°ウ・ヌッラ pron もうなにも

「目的語」

ただ1つだけ覚えていること：村の入り口で、派遣の看護婦が僕に話しかけたことだ。

Una còsa soltanto: all'entrata dèlla chièsa, l'infermiera delegata mi ha parlato.

「主語」：「副詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」

Una còsa ウナ・コサ n.f 1つの事

「主語」

soltanto: ソルトンテ adv. ただ~だけ、~のみ

「副詞」

all'entrata アレントラー adv. (場所) 入り口で

「副詞句」

dèlla chièsa, デラ・キエーサ° adj. 教会の → 村の

「形容詞句」

l'infermiera リンフェルミエラ n(infermière).f 看護婦が

「主語」

delegata デレガータ adj(delegato).f 派遣された

「形容詞」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha parlato. ア・パルラート 3 単現・完了形(parlare)v.i 話しかけた

「動詞句」

フランス語版では

1つだけ覚えているのは、村の入り口で派遣の看護婦が、僕に話しかけて来たことだ。

Une chose seulement : à l'entrée du village, l'infirmière déléguée m'a parlé.

Aveva una voce strana, che non si accordava al suo viso, una voce melodiosa e tremante.

この文の次にもう一つの文があった。

彼女は、その顔つきに似合わない、歌うような震えるような独特な声をしていた。

Elle avait une voix singulière qui n' allait pas avec son visage, une voix mélodieuse et tremblante.

PARTE PRIMA 第1部

彼女は僕に言った：「もしゆっくり歩けば日射病になります。しかし、急ぎすぎれば、教会の中で風邪をひきます」

Mi ha detto: “Se si va lentamente, si rischia di prendere un’insolazione. Ma se si va troppo in fretta si suda, e in chiesa ci si busca un raffreddore.”

「間接目的語」「動詞句」：《「副詞節」, 「動詞句」「目的語」

Ma 「副詞節」, 「動詞句」, e 「副詞節」「動詞句」「目的語」》

Mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha detto: ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

“Se セ conj. もし～ならば

「副詞節」

si va シ・ヴァ 3 単現(andarsi)v.pr 歩く

「動詞句」

lentamente, レンタメンテ adv. ゆっくり

「副詞」

si rischia di prendere シ・リスキャ・ディ・プレンドレ 3 単現・危険(rischiarsi di+不定詞 prendere)

v.pr (病気に) なる危険がある

「動詞句」

un’insolazione. ウ・インソラツィオーネ n.f 日射病

「目的語」

Ma マ conj. しかし

se セ conj. もし～ならば

「副詞節」

si va シ・ヴァ 3 単現(andarsi)v.pr 歩く

「動詞句」

troppo in fretta トロップ・イン・フレッタ adv. 急ぎすぎて

「副詞句」

si suda, シ・スタ 3 単現(sudarsi)v.pr 汗をかく

「動詞句」

e エ conj. そして

in chiesa イン・キエーザ・チ adv. 教会で

「副詞句」

si busca シ・ブスカ 3 単現(buscarsi)v.pr 手に入れる

「動詞句」

un raffreddore.” ウン・ラッフレッツォーレ n.m 風邪を

「目的語」

その通りだ。逃げ道は無い。

Aveva ragione. Non c’era via d’uscita.

「動詞」「目的語」 | 「動詞句」「主語」

Aveva アヴェ・ヴァ 3 単半・時制の一致(avére)v.t ～がある

「動詞」

ragione. ラジオーネ n.f 道理

「目的語」

Non c’era ノン・チェラ 3 単半・存在・否定・時制の一致(esserci)v.i ～がない

「動詞句」

via d’uscita. ヴァ・イー・ア・ト・ウッシータ n.f 解決策

「主語」

via ヴァ・イー・ア n.f 道 uscita ウッシータ n.f 脱出

PARTE PRIMA 第1部

この日のいくつかの情景が記憶に残っている：例えば、村の手前で、ペレーズが最後に僕たちに追いついたときの顔だ。

Mi è rimasta qualche altra immagine di quella giornata: per esempio la faccia di Perez quando, per l'ultima volta, ci ha raggiunti prima del villaggio.

	「間接目的語」「動詞句」「主語」：「副詞句」「主語」
Mi ミ pron 僕には	「間接目的語」
è rimasta エ・リマスタ 3 単現・完了形.f(rimanére)v.i 残っている	「動詞句」
qualche altra immagine クワルケ・アルトラ・インマージネ n.f いくつかの情景が	「主語」
di quella giornata: デイ・ケッラ・ジョルナータ adj. この日の	「形容詞句」
per esempio ペル・エゼンピオ adv. 例えば	「副詞句」
la faccia ラ・ファッチャ n.f 顔	「主語」
di Perez デイ・ペレス adj. ペレーズの	「形容詞句」
quando, クワント conj. ～する時の	「副詞節」
per l'ultima volta, ペル・ルルチマ・ヴォルタ adv. 最後に	「副詞句」
ci チ pron 僕たちに	「目的語」
ha raggiunti ア・ラジエンティ 3 単現・完了形.pl(raggiungere)	
v.t 追いついた	「動詞句」
prima del villaggio. プリマ・テル・ヴィアッジョ adv. 村の手前で	「副詞句」

疲労と苦痛による大粒の涙が、彼の頬を伝って流れ落ちていた。

Grösse lacrime di stanchezza e di pena gli scendevano sulle guance.

	「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」
Grösse lacrime グロッセ・ラークリメ pl(làcrima).n.f 大粒の涙が	「主語」
di stanchezza デイ・スタンケツァ adj. 疲労の	「形容詞句」
e エ conj. そして	
di pena デイ・ペーナ adj. 苦痛の	「形容詞句」
gli リ pron 彼の	「間接目的語」
scendevano シェンデヴァノ 3 複半(scendere)v.i 降りていた	「動詞」
sulle guance. スレ・グワンチェ adv.(guancia) 頬の上を	「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

しかし顔のしわの筋目のせいで、汗はそこに溜まって流れ落ちない；涙は横に広がり、寄せ集まって、しわくちの顔の上に1枚の膜を作る。

Ma, per via delle rughe, non gli colavano giù; si distendevano, si raccoglievano, e formavano una vernice d'acqua su quel viso distrutto.

Ma 「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」 「動詞句」 ;

「動詞句」, 「動詞句」, e 「動詞」 「目的語」 「副詞句」

Ma, マ conj. しかし

per へ prep (原因) へのために

「副詞句」

via delle rughe, ヴィーア・デレ・ルヘ n.f しわのひだ、しわの筋目

「目的語」

non ...colavano ノン...コラヴァノ 3 複半・否定(colare)v.i 滴り落ちない

「動詞句」

→ 「主語」は lacrime

gli リ pron (via の代用) ひだを

「間接目的語」

giù; ジュ adv. 下へ

「副詞」

si distendevano, シ・ディステンデヴァノ 3 複半(distendersi)v.pr 広がった

「動詞句」

si raccoglievano, シ・ラッコリエヴァノ 3 単半(raccogliersi)v.pr 集まった

「動詞句」

e エ conj. そして

formavano フォルマヴァノ 3 複半(formare)v.t 作った、形成した

「動詞」

una vernice d'acqua ウナ・ヴェルニチェ・ダックワ n.f エナメル、エナメルを塗った革

「目的語」

su quel viso ス・ケル・ヴィーゾ adv. その顔の上に

「副詞句」

distrutto. ディストルト adj. 破壊された

「形容詞」

PARTE PRIMA 第1部

まだ記憶に残っているのは、教会と歩道の村人、墓地の墓石に飾られたゼラニウム、ペレーズの卒倒（糸の切れた操り人形のような）、母さんの棺の上に転がり落ちる血の色をした土、その土に混ざった木の根の白い肉、さらに人々、人の声、村、カフェの前での待ち時間、エンジンの絶え間のない騒音、そして、バスがアルジェの光の巣の中に入り、僕はベッドに入って、12時間は眠れるだろうと考えた時のうれしさ。

C'è stata ancora la chiesa e i paesani sui marciapiedi, i gerani rossi sulle tombe del cimitero, lo svenimento di Perez (lo si sarebbe detto un burattino rotto), la terra color sangue che rotolava sulla bara della mamma, la carne bianca delle radici che v'erano mescolate, ancora gente, voci, il villaggio, l'attesa davanti a un caffè, il rombo incessante del motore, e la mia gioia quando l'autobus è entrato nel nido di luci di Algèri e ho pensato che sarei andato a letto e avrei dormito dodici ore.

「動詞句」「副詞」「主語」

C'è stata チェ・スタータ 3 単現・完了形・存在(esserci)v.i. ～があった 「動詞句」

ancora アンコーラ adv. まだ、さらに 「副詞」

記憶の中にまだ～があった

la chiesa e i paesani sui marciapiedi, ラ・キェーザ・エ・イ・パ・エザ・ニ・シ・マルチャピ・エーティ

n. 教会と歩道の村人 「主語」

paesani パ・エザ・ニ pl(paesano).n.m 村人

marciapiedi マルチャピ・エーティ pl(marciapiède).n.m 歩道

i gerani rossi sulle tombe del cimitero, イ・ジ・エーニ・ロッシ・スレ・トンベ・チミテロ

pl.n.m 墓地の墓石に飾られたゼラニウム 「主語」

gerani ジ・エーニ pl(gerano).n.m (植物) ゼラニウム tombe トンベ pl(tomba).n.f 墓石

cimitero チミテロ n.m 墓地の

lo svenimento di Perez ロ・スヴ・エニメント・ティ・ペレス n.m ペレーズの卒倒 「主語」

(lo 〇 pron それは 「主語」

si sarebbe detto シ・サレバ・デット 条・3 単現・受動・推量(dire)

v.t 言われるかもしれない 「動詞句」

un burattino rotto), ウン・ブラッティノ・ロット n.m 壊れた人形 「補語」

糸の切れた操り人形

la terra ラ・ラ・テッラ n.f 土 「主語」

color sangue コーラル・サングェ adj. 血の色をした 「形容詞句」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

rotolava ロトラヴァ 3 単半・時制の一致(rotolar)v.i. 転がり落ちる 「動詞」

sulla bara della mamma, スラ・バーラ・デラ・マンマ

adv. 母さんの棺の上に 「副詞句」

la carne bianca ラ・カルネ・ビアンカ n.f 白い肉 「主語」

delle radici テレ・ラディチ adj. 木の根の 「形容詞句」

PARTE PRIMA 第1部

che ケ pron (主語) ~する	「形容詞節」
v'erano mescolate, ヴェラーノ・メスコラーテ 3 複半・完了形(mescolarsi)	
v.pr そこに混ざっていた	「動詞句」
ancóra gènte, アンコーラ・ジェンテ n.f さらに人々	「主語」
vóci, ヴォーチ pl(vóce)n.f 人の声	「主語」
il villàggio, イル・ヴィラージヨ n.m 村	「主語」
l'attésa ラテーサ n.m 待ち時間	「主語」
davanti a un caffè, ダヴァンティ・ア・ウン・カフェ adv. カフェの前での	「副詞句」
il rómbo イル・ロンボ n.m 騒音	「主語」
incessante インチェサンテ adj. 絶え間のない	「形容詞」
del motóre, デル・モトーレ adj. エンジンの	「形容詞句」
e エ conj. そして	
la mia giòia ラ・ミーア・ジョーイア n.f 僕の喜び	「主語」
quando クワント conj. ~するとき	「副詞節」
l'autobus ラウトバス n.m バスが	「主語」
è entrato エ・エントラート 3 単現・完了形(entrare)v.i 入った	「動詞句」
nel nido ネル・ニド adv. 巣の中に	「副詞句」
di luci ディ・ルチ adj. 光の	「形容詞句」
di Algèri ディ・アルジェリ adj. アルジェの	「形容詞句」
e エ conj. そして	
ho pensato オ・ペンサート 1 単現・完了形(pensare)v.t 考えた	「動詞句」
che ケ conj. ~ということを	「目的語」
sarèi andato サレイ・アンダート 条・1 単現・完了形・過去における未来完了・推量(andare)	
v.i 行けるだろう	「動詞句」
a letto ア・レト adv. ベッドへ	「副詞句」
e エ conj. そして	
avrèi dormito アヴレイ・ドルミト 条・1 単現・完了形・過去における未来完了・推量(dormire)	
v.i 眠れるだろう	「動詞句」
dodici óre. ドーディチ・オーレ pl(óra)n.f 12 時間	「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

2.

目覚める時、僕が社長に 2 日間の休暇を願い出た時に、どうして不機嫌な様子だったのかが分かった：今日は土曜日なのだ。

Svegliandomi ho capito perché il principale aveva l'aria scontenta quando gli ho chiesto i due giorni di libertà: oggi è sabato.

「副詞句」「動詞句」「目的語」：「副詞」「動詞」「補語」

Svegliandomi スヴェリアント・ミ ジェルンディオ・様態(svegliare)adv. 目覚める時に 「副詞句」
ho capito オ・カピート 1 単現・完了形(capire)v.t 分かった 「動詞句」
perché ペルケ conj. なぜ～するかということ 「目的語」
il principale イル・プリンチパレ n.m 社長が 「主語」
aveva アヴェーヴァ 3 単半(avére)v.t (精神的状態) をしていた 「動詞」
l'aria scontenta ラーリア・スコテンタ n.f 不機嫌な様子 「目的語」
aria アーリア n.f 様子 **scontenta** スコテンタ adj(scontento).f 不機嫌な、不満な
quando クワント conj. ～した時に 「副詞節」
gli リ pron 彼に 「間接目的語」
ho chiesto オ・キエスト 1 単現・完了形(chiedere)v.t 求めた 「動詞句」
i due giorni イ・トゥエ・ジョルニ pl(giórno).n.m 2 日を 「直接目的語」
di libertà デイ・リベルタ adj. 休暇の 「形容詞句」
oggi オジ adv. 今日は 「副詞」
è エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」
sabato サバト n.m 土曜日 「補語」

どうも僕はそれを忘れていたようだ。だが起きる時にそれが頭に浮かんだのだ。

L'avevo per così dire dimenticato, ma nell'alzarmi mi è venuto in mente.

「目的語」「動詞句」「副詞句」「動詞句」,ma「副詞」「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」
L' プ pron それを 「目的語」
avevo ...dimenticato, アヴェーヴァ・オ...デイメンチカート 1 単半・完了形(dimenticare)
v.t 忘れていた 「動詞句」
per così dire ペル・コシ・デーレ adv. 言うなれば、どうも 「副詞句」
ma マ conj. しかし
nell'alzarmi ネラルツアル・ミ 不定詞(in+不定詞 alzarsi)adv. 起床する時に 「副詞句」
mi ミ pron 僕の 「間接目的語」
è venuto エ・ヴェヌート 3 単現・完了形(venire)v.i (心に) 浮かんだ 「動詞句」
in mente. イン・メンテ adv. 頭に 「間接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

社長は当然、日曜日を含めて僕は4連休を取ることにすると考えただろう。そうすると、これで社長が嬉しいはずはない。

Il mio principale, si capisce, ha pensato che così avrei avuto quattro giorni di vacanza con la domenica, e questo non poteva fargli piacere.

「主語」「副詞句」「動詞句」「目的語」,e「主語」「動詞句」「補語」

Il mio principale, イル・ミーオ・プリンチパレ n.m 社長は 「主語」

si capisce, シ・カピシェ adv. もちろん、当然 「副詞句」

ha pensato ア・ペンサート 3 単現・完了形(pensare)v.t 考えた 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

così コシ adv. もしそうなら、それでは 「副詞」

avrèi avuto アヴレイ・アヴート 条・1 単現・完了形・時制の一致・推量(avére)

v.t 取ることになるだろう 「動詞句」

quattro giorni クワットロ・ジョルニ pl(giorno).n.m 4 日 「目的語」

di vacanza ディ・ヴァカンツァ adj. 休暇の 「形容詞句」

con la domenica, コン・ラ・ドメニカ adv. 日曜日を含めて 「副詞句」

e エ conj. そして

questo クェスト pron これは 「主語」

non poteva fargli ノン・ポテヴァ・ファルリ 3 単半・可能性・否定・使役(potére+不定詞 fare+gli)

v.t (状態) 彼を～にするはずがない 「動詞句」

piacere. ピアチェレ n.m 喜び 「補語」

しかし、母さんの葬儀を今日ではなく昨日やっただとしても、僕のせいではない。だがどちらにしても土曜と日曜の休みは取れたのだ。

Ma in fondo non è colpa mia se hanno sotterrato la mamma ieri invece di oggi, e del resto avrei avuto in ogni modo vacanza il sabato e la domenica.

Ma 「副詞句」「動詞句」「補語」「副詞節」,e「副詞句」「動詞句」「副詞句」「目的語」

Ma マ conj. しかし

in fondo イン・フォント adv. 結局は、奥に、底に 「副詞句」

non è ノネ 3 単現・否定(essere)v.i ～でない 「動詞句」

colpa mia コルパ・ミア n.f 僕の罪、僕の責任 「補語」

se セ conj. (譲歩) たとえ～であるとしても 「副詞節」

hanno sotterrato アンノ・ソッテラート 3 複現・完了形(sotterrare)v.t 埋葬した 「動詞句」

la mamma ラ・ママ n.f 母さんを 「目的語」

ieri イェリ adv. 昨日 「副詞」

invece di oggi, インヴェーチェ・ディ・オッジ adv. 今日ではなく 「副詞句」

e エ conj. そして

PARTE PRIMA 第1部

del resto テル・レスト adv. だがしかし、とは言っても	「副詞句」
avrèi avuto アヴレイ・アヴェート 条・1 単現・完了形・推量(avère)v.t. ～があっただろう	「動詞句」
in ógni mòdo イン・オンニ・モート adv. どちらにしても、いずれにしても	「副詞句」
vacanza ヴァカンサ n.f. 休暇が	「目的語」
il sàbato e la doménica. イル・サーバト・エ・ラ・ドメニカ adv. 土曜と日曜に	「副詞句」

勿論、だからといって社長の気持ちが分からない訳ではない。

Naturalmènte quèsto non mi impedisce di comprèndere benissimo il mio principale.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「補語」

Naturalmènte ナチュラルメンテ adv. 当然、もちろん	「副詞」
quèsto クェスト pron. これは	「主語」
non ...impedisce ノン...インペディシェ 3 単現・使役・否定(impedire)v.t. 妨げない	「動詞句」
mi ミ pron. 僕が	「目的語」
di comprèndere ディ・コンプレンデレ 不定詞・mi の動作 v.t. 理解する	「補語」
benissimo ベニッシモ adv. 大変よく	「副詞」
il mio principale. イル・ミーオ・プリンチパレ n.m. 社長を	「目的語」

僕は昨日1日の事で疲れていたの、起きるのが辛かった。

Ho faticato ad alzarmi perché ero stanco délla giornata di ieri.

「動詞句」「副詞節」

Ho faticato ad alzarmi オ・ファティカート・アド・アルツアル・ミ 1 単現・完了形・やっとな(faticare a+不定詞)

v.pr. やつとのことで起きることが出来た 「動詞句」

a+不定詞 母音で始まる不定詞の場合は、a が ad に変わる

perché ペルケ conj. (原因) ～なので	「副詞節」
ero エロ 1 単半(essere)v.i. ～だった	「動詞」
stanco スタンコ adj. 疲れた	「補語」
délla giornata デラ・ジョルナータ adv. (原因) 1日のために	「副詞句」
di ieri. ディ・イェリ adj. 昨日の	「形容詞句」

髭をそりながら、何をしようかと考え、泳ぎに行くことにした。

Mèntre mi radevo mi sono chièsto che còsa avrèi fatto e ho deciso di andare a nuotare.

「副詞節」「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」

Mèntre ミントレ conj. (期間)、～しながら、～する間	「副詞節」
mi radevo ミ・ラデーヴォ 1 単半・時制の一致(radersi)v.pr. 髭をそる	「動詞句」
mi sono chièsto ミ・ソノ・キェスト 1 単現・完了形(chiedersi)v.pr. 自問した、考えた	「動詞句」
che còsa ケ・コーサ pron. 何をしようかということ	「目的語」
avrèi fatto アヴレイ・ファット 条・1 単現・完了形・推量(fare)v.t. したら	「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

e エ conj. そして

ho deciso di andare オ・デチズ・ディ・アンダーレ 1 単現・完了形・する(decidere di+不定詞)

vi(andare a+不定詞) ～しに行こうと決めた 「動詞句」

a nuotare. ア・ヌターレ 不定詞 v.i 泳ぎに 「動詞句」

僕は路面電車に乗って、港にある海水浴場へ行った。

Sono andato col tram allo Stabilimento Bagni del pòrto.

「動詞句」「副詞句」「間接目的語」

Sono andato ソーノ・アンダート 1 単現・完了形(andare)v.i(a に) 行った 「動詞句」

col tram コル・トラム adv. (手段: con il) 路面電車で 「副詞句」

allo Stabilimento Bagni アロ・スタビリメント・バーニ

adv. (場所) (公共の) 海水浴場へ 「間接目的語」

del pòrto. デル・ポールト adj. 港の 「形容詞句」

そこで、僕は水に飛び込んだ；防波堤には、大勢の若者がいた。

Lì mi sono tuffato; sul mòlo c'era una fòlla di ragazzetti.

「副詞」「動詞句」；「副詞句」「動詞句」「主語」

Lì リ adv. そこで 「副詞」

mi sono tuffato; ミ・ソーノ・トゥファト 1 単現・完了形(tuffarsi)v.pr (水に) 飛び込んだ 「動詞句」

sul mòlo スル・モーロ adv. 防波堤の上には 「副詞句」

c'era チェラ 3 単半・存在(esserci)v.i ～がいた 「動詞句」

una fòlla ウナ・フォッラ n.f 群衆が 「主語」

di ragazzetti. デイ・ラガッツェッティ adj. 若者の 「形容詞句」

水の中で僕は以前会社にいたタイピストのマリー・カルドナに出会った。僕はいつかものにしたいと思っていた。彼女のほうも同じだと思う。しかし、彼女はまもなく会社を辞めたので、僕たちにその時間は無かった。

In àcqua ho trovato Maria Cardona, una ex dattilografa del mio ufficio che mi aveva fatto vòglia a suo tèmpo; anch'io a lèi, credo. Ma se n'era andata subito e ci era mancato il tèmpo.

「副詞句」「動詞句」「目的語」「形容詞節」

Ma 「動詞句」「副詞」 e 「間接目的語」「動詞句」「主語」

In àcqua イン・アックワ adv. 水の中で 「副詞句」

ho trovato オ・トロヴァート 1 単現・完了形(trovare)v.t (偶然に) 出会った 「動詞句」

Maria Cardona, マリア・カルドナ n.f マリー・カルドナに 「目的語」

una ex dattilografa ウナ・エックス・ダティログラファ n(dattilografo).f 前のタイピスト 「目的語」

del mio ufficio デル・ミー・ウッフィーチョ adj. 僕の会社の 「形容詞句」

PARTE PRIMA 第1部

che ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
aveva fatto アヴェーヴァ・ファット 3 単半・完了形(fare)v.t 作った	「動詞句」
vòglia ヴォーリア n.f 欲求を	「直接目的語」
a suo tèmpo; ア・スー・テンポ adv. しかるべき時に	「副詞句」
anch'io a lèi, アンキオ・ア・レーイ adv. 彼女にしても同様の	「副詞句」
credo. クレト 1 単現(crédere)v.t 思っている	「動詞」
Ma マ conj. しかし	
se n'era andata セ・ネ・アンダータ 3 単半・完了形(andarsene)v.pr 会社を辞めた	「動詞句」
sùbito スービト adv. まもなく、すぐに	「副詞」
e エ conj. そして	
ci チ pron 僕たちには	「間接目的語」
era mancato エラ・マンカト 3 単半・完了形(mancare)v.i 不足していた、無かった	「動詞句」
il tèmpo. イル・テンポ n.m 時間が	「主語」

僕は彼女がブイの上に這い上がる手助けをし、その間に、彼女の胸に軽く触れた。

L'ho aiutata a salire su una bòa, e in quel moviménto le ho sfiorato i sèni.

	「目的語」「動詞句」「補語」,e「副詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
L' ラ pron.f 彼女を	「目的語」
ho aiutata オ・アイユタータ 1 単現・完了形(faiutare)v.t 手助けした	「動詞句」
a salire ア・サルレ 不定詞・la の動作 v.i 上がる	「補語」
su una bòa, ス・ウナ・ボア adv. ブイの上に、浮標	「副詞句」
e エ conj. そして	
in quel moviménto イン・ケル・モヴィメント adv. その動作の間に	「副詞句」
le レ pron.f.pl 彼女の	「間接目的語」
ho sfiorato オ・スフィオラト 1 単現・完了形(sfiorare)v.t 軽く触れた	「動詞句」
i sèni. イ・セニ pl(séno).n.m 乳房を、胸を	「直接目的語」

僕はまだ水の中にいたが、彼女はもうブイの上で腹這いになっていた。

Ero ancóra in àcqua e lèi era già stésa col vèntre sulla bòa.

	「動詞」「副詞句」e「主語」「動詞」「補語」
Ero エロ 1 単半・存在(essere)v.i ～にいた	「動詞」
ancóra アンコーラ adv. まだ	「副詞」
in àcqua イン・アックワ adv. 水の中に	「副詞句」
e エ conj. そして	
lèi レーイ pron.f 彼女は	「主語」

PARTE PRIMA 第1部

era エラ 3 単半・状態(essere)v.i	～だった	「動詞」
già ジャ adv.	もう	「副詞」
stésa スーサ adj(stéso).f	伸ばした	「補語」
col ventre コル・ヴァントレ adv.	(手段) 腹で	「副詞句」
sulla bòa. スラ・ボア adv.	ブイの上で	「副詞句」

マリーは僕の方へ振り返った：彼女の髪は目にかかり、笑っていた。

Si è voltata verso di me: aveva i capelli sugli occhi e rideva.

「動詞句」「副詞句」：「動詞」「目的語」e「動詞」

Si è voltata シ・エ・ヴォルタータ 3 単現・完了形.f(voltarsi)v.pr	振り向いた	「動詞句」
verso di me: ヴェールツ・ディ・ミ adv.	(方向) 僕の方へ	「副詞句」
aveva アヴェーヴァ 3 単半(avére)v.t	(身体的特徴) をしていた	「動詞」
i capelli イ・カペッリ pl(capello).n.m	髪	「目的語」
sugli occhi スリ・オッキ adv.	(様態) 目の上に、目にかかった	「副詞句」
e エ conj.	そして	
rideva. リデーヴァ 3 単半(ridere)v.i	笑っていた	「動詞」

僕はブイの上の彼女の隣に這い上がった；いい気分だった。それから冗談で頭をずらして彼女の腹に載せたが、彼女は何も言わなかったので、載せたままだった。

Sono salito di fianco a lei sulla bòa; si stava bene e come per scherzare ho abbandonato la testa all'indietro e l'ho appoggiata sul suo ventre. Lei non ha detto nulla e sono rimasto così.

「動詞句」「副詞句」；「動詞句」「補語」e「副詞句」「動詞句」「目的語」「副詞句」

e「目的語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「目的語」e「動詞句」「補語」

Sono salito ソノ・サルト 1 単現・完了形(salire)v.i	上がった、昇った	「動詞句」
di fianco a ディ・フィアニコ・ア prep	(位置) ～の脇に、隣に	「副詞句」
lei レイ pron.f	彼女	「目的語」
sulla bòa; スラ・ボア adv.	ブイの上の	「副詞句」
si stava シ・スターヴァ 非人称・3 単半・時制の一致(starsi)		
v.pr	人にとって～の状態である	「動詞句」
mi sentivo bene 「僕は気分がよかった」		
bene ベーネ adv.	よい、気分のよい	「補語」
e エ conj.	そして	
come per scherzare コーメ・ペル・スケルツァーレ adv.	ふざけて、冗談で	「副詞句」
ho abbandonato オ・アッパントナート 1 単現・完了形(abbandonare)v.t	置き去りにした	「動詞句」
la testa ラ・テスタ n.f	頭を	「目的語」
all'indietro アリンディエートロ adv.	後ろにずらして	「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

e エ conj. そして	
l' ラ pron それを	「目的語」
ho appoggiata オ・アッポジヤト 1 単現・完了形(appoggiare)v.t 置いた	「動詞句」
sul suo ventre. スル・スオ・ヴェントレ adv. 彼女の腹の上に	「副詞句」
Lèi レイ pron.f 彼女は	「主語」
non ha detto ノ・ナ・デット 3 単現・完了形・否定(dire)v.t 言わなかった	「動詞句」
nulla ヌッラ pron (否定文で) 何も～ない	「目的語」
e エ conj. そして	
sono rimasto ソー・リマスト 1 単現・完了形(rimanere)v.i (ある状態で) いた	「動詞句」
così. コシ adv. そのような	「補語」

フランス語版でも

いい気分だった。

Il faisait bon (非人称表現が使用されている)

視界全体に青と金色の空が広がっていた。僕のうなじの下で、マリーの腹が穏やかに脈打つのが感じられた。

Avevo negli occhi tutto il cielo e era blu e oro. Sotto la nuca sentivo il ventre di Maria battere dolcemente.

「動詞」「副詞句」「目的語」 e 「動詞」「補語」 「副詞句」「動詞句」「目的語」「補語」	
Avevo アヴェーヴォ 3 単半・存在(avere)v.t ～があった	「動詞」
negli occhi ネリ・オッキ adv. 視界には、視野には	「副詞句」
tutto il cielo トゥット・イル・チェロ n.m 空全体が	「目的語」
e エ conj. そして	
era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった	「動詞」
blu e oro. ブル・エ・オー adj. 青くて金色の	「補語」
Sotto ソット prep (位置) ～の下で	「副詞句」
la nuca ラ・ヌカ n.f うなじ、首筋	「目的語」
sentivo センチーヴォ 1 単半・知覚動詞(sentire)	
v.t(SVO+不定詞) O が～するのを感じた	「動詞句」
il ventre イル・ヴェントレ n.m 腹が	「目的語」
di Maria ディ・マリア adj. マリーの	「形容詞句」
battere バッテレ 不定詞・ventre の動作 v.i 鼓動がする、脈打つ	「補語」
dolcemente. ドルチェメンテ adv. 穏やかに、ゆつたりと	「副詞」

PARTE PRIMA 第1部

僕たちは半睡状態でしばらくブイの上にいた。日差しが余りにも熱くなると、マリーは海に飛び込み、僕は彼女に続いた。

Siamo rimasti a lungo sulla bòa, mezzi addormentati. Quando il sóle ha cominciato a scottare troppo, lei si è tuffata e io l'ho seguita.

「動詞句」「副詞句」 | 「副詞節」, 「主語」「動詞句」 e 「主語」「動詞句」「目的語」

Siamo rimasti シアー・リマスティ 1 複現・存在・完了形.pl(rimanére)v.i ~にいた 「動詞句」

a lungo ア・ルンゴ adv. 長い間、しばらく 「副詞句」

sulla bòa, スラ・ボア adv. ブイの上に 「副詞句」

mezzi addormentati. メッジ・アドルメンターティ adj.pl 半睡状態で 「副詞句」

Quando クワント conj. ~する時 「副詞節」

il sóle イル・ソレ n.m 太陽が 「主語」

ha cominciato a scottare ア・コミンチャート・ア・スコッターレ 3 単現・完了形・開始(cominciare a+不定詞)

v.i 非常に暑くなってくる 「動詞句」

troppo, トロッポ adv. あまりにも 「副詞」

lei レイ pron.f マリーは 「主語」

si è tuffata シ・エ・トゥッファータ 3 単現・完了形.f(tuffarsi)v.pr 海に飛び込んだ 「動詞句」

e エ conj. そして

io イオ pron 僕は 「主語」

l' ラ pron.f 彼女に 「目的語」

ho seguita. オ・セグィータ 1 単現・完了形.f(seguire)v.t 続いた 「動詞句」

時制の助動詞 essere と avere

「複合時制」では、助動詞は essere か avere のどちらかが用いられる。

essere の時には、過去分詞が主語の性・数に一致して語尾変化〈～o, i, a, e〉をする。

avere の時には、その前に目的語があれば過去分詞は目的語の性・数に一致する。

僕は彼女に追いつき、彼女の腰に手を回して一緒に泳いだ。彼女はずっと笑っていた。

L'ho raggiunta, le ho passato una mano intorno alla vita e abbiamo nuotato insieme. Lei continuava a ridere.

「目的語」「動詞句」, 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「副詞句」

e 「動詞句」「副詞」 | 「主語」「動詞句」

L' ラ pron.f 彼女に 「目的語」

ho raggiunta, オ・ラジ ャンタ 1 単現・完了形.f(raggiungere)v.t 追いついた 「動詞句」

le レ pron.f 彼女に 「間接目的語」

ho passato オ・パッサート 1 単現・完了形(passare)v.t 走らせた 「動詞句」

una mano ウナ・マーノ n.f 手を 「直接目的語」

intorno alla vita イントーノ・アラ・ヴィータ adv. 腰の周りに 「副詞句」

e エ conj. そして

PARTE PRIMA 第1部

abbiamo nuotato アッビアーモ・ヌオタート 1 複現・完了形(nuotare)v.i 泳いだ 「動詞句」
 insieme. インシェーメ adv. 一緒に 「副詞」
 Lei レイ pron.f 彼女は 「主語」
 continuava a ridere. コンチヌアヴァ・ア・リーデーレ 3 単半・継続(continuare a+不定詞 ridere)
 v.i ずっと笑っていた 「動詞句」

防波堤の上で体を乾かしていると、彼女は僕に言った：「私のほうが日に焼けているわ」

Sul mòlo, méntre ci asciugavamo, mi ha détto: “Sono più néra io di lei.”

「副詞句」「副詞節」「間接目的語」「動詞句」：《「動詞」「補語」「主語」》

Sul mòlo, スル・モーロ adv. 防波堤の上で 「副詞句」
 méntre メントレ conj. ～する間 「副詞節」
 ci asciugavamo, チ・アッシュガヴァーモ 1 複半(asciugarsi)
 v.pr 体を乾かしていた 「動詞句」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha détto: ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 “Sono ソーノ 1 単現(èssere)v.i ～である 「動詞」
 più néra ピウ・ネーラ adj(néro).f もっと黒い、日に焼けた 「補語」
 io イオ pron 私は 「主語」
 di lei.” ディ・レーイ adv. (比較) あなたよりも 「副詞句」

僕は、夜になったら映画に行かないかと彼女を誘った。

Le ho domandato se voleva venire al cinema, la sera.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Le レ pron.f 彼女に 「間接目的語」
 ho domandato オ・トマンダート 1 単現・完了形(domandare)v.t 尋ねた 「動詞句」
 se セ conj. ～かどうかということを 「直接目的語」
 voleva venire ヴォーレヴァ・ヴェーニレ 3 単半・願望(volére+不定詞 venire)
 v.i(a に) 行きたい 「動詞句」
 al cinema, アル・チーナ adv. 映画に 「間接目的語」
 la sera. ラ・セーラ adv. 夜に 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

彼女はまた笑って、フェルナンデルの映画が見たいと僕に言った。

Ha riso ancóra e mi ha détto che aveva vòglia di vedére un film con Fernandel.

「動詞句」「副詞」 e 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Ha riso ア・リゾ 3 単現・完了形(ridere)v.i 笑った 「動詞句」

ancóra アンコーラ adv. (反復) また 「副詞」

e エ conj. そして

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha détto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

aveva vòglia di vedére アヴェーヴァ・ウァ・オリア・ディ・ウァ・エデーレ 3 単半・完了形・願望・時制の一致

(avére vòglia di +不定詞 vedére)v.t ～を見たい 「動詞句」

un film ウン・フィルム n.m 映画を 「目的語」

con Fernandel. コン・フェルナンデル adv. フェルナンデルの出ている 「副詞句」

僕たちが服を着た時、マリーは僕が黒いネクタイをしているのを見てとても驚いたようで、喪中なのかと僕に尋ねた。

Quando ci siamo vestiti, è parsa mólto sorprésa di vedermi con una cravatta néra e mi ha chièsto se ero in lutto.

「副詞節」, 「動詞句」「補語」 e 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Quando クワンツォ conj. ～する時 「副詞節」

ci siamo vestiti, チ・シアモ・ウァ・エスティーティ 1 複現・完了形.pl(vestirsi)

v.pr 服を着た 「動詞句」

è parsa エ・パルサ 3 単現・完了形.f(parére)v.i ～のように思われた 「動詞句」

mólto sorprésa モルト・ソルプレサ adj(sorprésa).f とても驚いた 「補語」

di vedermi ディ・ウァ・エデーレ・ミ 不定詞・原因 adv. 僕を見て 「副詞句」

con una cravatta néra コン・ウナ・クラヴァッタ・ネーラ

adv. (様態) 黒のネクタイをした 「副詞句」

e エ conj. そして

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha chièsto ア・キエスト 3 単現・完了形(chièdere)v.t 尋ねた 「動詞句」

se セ conj. ～なのかどうかということを 「直接目的語」

ero エロ 1 単半・時制の一致(èssere)v.i ～である 「動詞」

in lutto. イン・ルト adv. 喪中の 「補語」

PARTE PRIMA 第1部

母さんが死んだ、と彼女に言った。いつだ？と彼女が尋ねるので、「きのう」と答えた。

Le ho detto che la mamma era mòrta. Siccóme voleva sapére quando, le ho rispósto: “Ièri.”

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | 「副詞節」, 「間接目的語」「動詞」, 《「応答」》

Le レ pron.f 彼女に 「間接目的語」
 ho détto オ・テット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 la mamma ラ・マンマ n.f 母さんが 「主語」
 era mòrta. エラ・モルタ 3 単半・完了形・時制の一致(morire)v.i 死んだ 「動詞句」
 Siccóme シッコメ conj. (原因) ～なので 「副詞節」
 voleva sapére ヲレウヴァ・サペレ 3 単半・願望(volére+不定詞 sapére)
 v.t 知りたがった、尋ねた 「動詞句」
 quando, クワント adv. いつ 「副詞」
 le レ pron.f 彼女に 「間接目的語」
 ho rispósto: オ・リスポスト 1 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた 「動詞」
 “Ièri.” イェリ adv. 昨日 「応答」

彼女は少したじろいだようにみえたが、何も言わなかった。

Lèi si è cóme ritratta un po', ma non ha détto nulla.

「主語」「動詞句」「副詞句」, ma 「動詞句」「目的語」

Lèi レイ pron.f 彼女は 「主語」
 si è cóme ritratta シ・エ・コメ・リトラッタ 3 単現・完了形.f・推量(ritrarrsi+ cóme)
 v.pr 後ずさりしたようだ、たじろいだようだ 「動詞句」
 cóme コメ adv. ～のように
 un po', ウンポ adv. 少し 「副詞句」
 ma マ conj. しかし
 non ha détto ノ・ナ・テット 3 単現・完了形・否定(dire)v.t 言わなかった 「動詞句」
 nulla. ヌーラ pron 何も～ない 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

僕のせいではないと彼女に言うところだったが、それはもう社長に言っていたと考えて、思いとどまった。

Io stavo per dirle che non era colpa mia, ma mi sono trattenuto perché ho pensato che l'avevo già detto al mio principale. 「主語」「動詞句」「目的語」,ma「動詞句」「副詞節」

Io イオ pron 僕は 「主語」

stavo per dirle スターヴォ・ヘル・ディル・レ 1 単半・直前(stare per+不定詞 dire+le)

v.t 彼女に言うところだった 「動詞句」

英語の「be about to+不定詞」に相当する

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

non era ノン・エラ 3 単半・否定・時制の一致(èssere)v.i ～でない 「動詞句」

colpa mia, コルパ・ミーア n.f 僕のせい 「補語」

ma マ conj. しかし

mi sono trattenuto ミ・ソノ・トレッテヌート 1 単現・完了形(trarrenersi)

v.pr 思いとどまった 「動詞句」

perché ペルケ conj. ～なので 「副詞節」

ho pensato オ・ペンソ 1 単現・完了形(pensare)v.t 考えた 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

l' lo pron それを 「直接目的語」

avevo già detto アヴェウ・ジョ・ヂャ・デット 1 単半・完了形(dire+ già)

v.t もう言っていた 「動詞句」

al mio principale. アル・ミーオ・プリンチパレ adv. 社長に 「間接目的語」

その上、何の意味もない。人はいつでも何らかの意味で少しは責任があるのだ。

E poi non significava nulla. In un modo o nell'altro si è sempre un po' in colpa.

E 「副詞」「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞」「補語」

E エ conj. そして

poi ポーイ adv. その上、さらに 「副詞」

non significava ノン・シニフィカーヴァ 3 単半・否定・時制の一致(significare)

v.t 意味しない 「動詞句」

nulla. ヌッラ pron 何も～ない 「目的語」

In un modo o nell'altro イン・ウン・モト・オ・ネラルト adv. 何らかの方法で 「副詞句」

si シ pron 人は 「主語」

è エ 3 単現(èssere)v.i ～である 「動詞」

sempre センプレ adv. いつでも 「副詞」

un po' in colpa. ウン・ポ・コ・イン・コルパ adj. 少しは責任のある 「補語」

PARTE PRIMA 第1部

その夜、マリーはすべて忘れていた。映画は所々面白かったが、他は全く馬鹿げていた。

La sera Maria aveva tutto dimenticato. Il film era divertente a tratti, poi diventava davvero troppo stupido.

「副詞句」「動詞句」「目的語」「動詞句」 「主語」「動詞」「補語」, 「副詞」「動詞」「補語」		
La sera	ラ・セーラ n.f	その夜 「副詞句」
Maria	マリア n.f	マリーは 「主語」
aveva ...dimenticato.	アヴ・ェーヴァ...デ・イメンチカート	3 単半・完了形(dimenticare)
v.t	忘れていた	「動詞句」
tutto	トゥット pron	全てを 「目的語」
Il film	イル・フィルム n.m	映画は 「主語」
era	エーラ 3 単半(essere)v.i	〜だった 「動詞」
divertente	デ・イヴ・ェルテンテ adj.	面白い 「補語」
a tratti,	ア・トラッティ adv.	時々 「副詞句」
tratto	トラット n.m	部分、期間
poi	ポーイ adv.	それから 「副詞」
diventava	デ・イヴ・ェンターヴァ 3 単半・変化(diventare)v.i	〜になった 「動詞」
davvero troppo stupido.	ダ・ヴヴェーロ・トロッポ・ストゥーピド adj.	全く馬鹿げた 「補語」
davvero	ダ・ヴヴェーロ adv.	本当に

マリーが自分の脚の僕の脚にこすりつけてきた。僕は彼女の胸を愛撫した。

L'èi aveva la gamba contro la mia. Io le carezzavo i seni.

「主語」「動詞」「目的語」「補語」 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」		
L'èi	レイ pron.f	彼女は 「主語」
aveva	アヴ・ェーヴァ 3 単半(avere)v.t	(動作を) した 「動詞」
la gamba	ラ・ガンバ n.f	脚を 「目的語」
contro	コントロ prep	(接触) 〜に接して 「補語」
la mia.	ラ・ミア pron.f	僕の脚に 「目的語」
Io	イーオ pron	僕は 「主語」
le	レ pron	彼女の 「間接目的語」
carezzavo	カレツァーヴォ 1 単半(carezzare)v.t	愛撫した 「動詞」
i seni.	イー・セニ pl(seno).n.m	乳房を 「直接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

映画が終わる頃に彼女にキスしたが、ぎこちなかった。

Quando il film stava per finire, l'ho baciata, ma male.

「副詞節」, 「動詞句」 「目的語」, ma 「副詞」

Quando クワント conj. ～した時

「副詞節」

il film イル・フィルム n.m 映画が

「主語」

stava per finire, スターヴァ・ペル・フィニレ 3 単半・近接未来(stare per+不定詞 finire)

v.i まもなく終わる

「動詞句」

英語の、「be about to+不定詞」に相当する

l' la pron 彼女に

「目的語」

ho baciata, オ・バチャタ 1 単現・完了形.f(baciare)v.t キスした

「動詞句」

ma マ conj. しかし

male. マレ adv. ギこちなく

「副詞」

映画の後で、彼女は僕の部屋に来了。僕が目覚めると、彼女はもう帰っていた。

Dopo il cinema, è venuta da me. Quando mi sono svegliato, Maria era già uscita.

「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」 | 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「副詞」 「動詞句」

Dopo トーポ prep (時間) ～の後で

「副詞句」

il cinema, イル・チネマ n.m 映画

「目的語」

è venuta エ・ヴェヌタ 3 単現・完了形(venire)v.i 来た

「動詞句」

da me. ダ・メ adv. 僕の部屋に

「副詞句」

Quando クワント conj. ～した時

「副詞節」

mi sono svegliato, ミ・ソーノ・スヴェリアート 1 単現・完了形(svegliarsi)

v.pr 目が覚めた

「動詞句」

Maria マリア n.f マリーは

「主語」

era ...uscita. エラ...ウッシャタ 3 単半・完了形.f(uscire)v.i 出て行った

「動詞句」

già ジャ adv. もう

「副詞」

叔母さんの家に行かなければならない、と言っていた。

Mi aveva spiegato che doveva andare da sua zia.

「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」

Mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

aveva spiegato アヴァ・エヴァ・スピエアート 3 単半・完了形(spiegare)v.t 話していた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

doveva andare ドヴァ・エヴァ・アンダーレ 3 単半・義務・時制の一致(dovére+不定詞 andare)

v.i 行かなければならない

「動詞句」

da sua zia. ダ・スア・ツィア adv. おばさんの家に

「間接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

今日は日曜日だと頭に浮かんだ。日曜日は退屈だ。僕は日曜日は嫌いだ。

Mi è venuto in mente che era domenica e questo mi ha dato noia: la domenica non mi piace.

「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」「主語」 e

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」: 「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」

Mi ミ pron 僕の 「間接目的語」

è venuto エ・ヴェヌート 3 単現・完了形(venire)v.i やって来た 「動詞句」

in mente イン・メンテ adv. 心に 「間接目的語」

che ケ conj. ～ということが 「主語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」

doménica ト・メニカ n.f 日曜日 「補語」

e エ conj. そして

quésto クェスト pron これは 「主語」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha dato ア・ダート 3 単現・完了形・時制の一致(dare)v.t 与える 「動詞句」

noia: ノーイア n.f 退屈を、倦怠感を 「直接目的語」

la doménica ラ・ト・メニカ n.f 日曜日は 「主語」

non ...piace. ノン...ピアーチェ 3 単現・否定(piacere)v.i 好んでない 「動詞句」

mi ミ pron 僕には 「間接目的語」

それで僕はベッドの中で寝返りを打って、マリーの髪が枕の中に残した汐の香りを探した。それから、10時まで眠った。

Allóra mi sono rivoltato nel letto, ho cercato nel cuscino il profumo di sale che avevano lasciato i capélli di Maria e ho dormito fino alle dièci.

「副詞」「動詞句」「副詞句」, 「動詞句」「副詞句」「目的語」 e 「動詞句」「副詞句」

Allóra アッローラ adv. それで 「副詞」

mi sono rivoltato ミ・ソノ・リヴオルタート 1 単現・完了形(rivoltarsi)v.pr 寝返りを打った 「動詞句」

nel letto, ネル・レット adv. ベッドの中で 「副詞句」

ho cercato オ・チェルカート 1 単現・完了形(cercare)v.t 探した 「動詞句」

nel cuscino スル・クッシーノ adv. 枕の中に 「副詞句」

il profumo イル・ブローモ n.m 香りを 「目的語」

di sale デイ・サーレ adj. 汐の 「形容詞句」

che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

avevano lasciato アヴェ・エヴァノ・ラッシャート 3 複半・完了形(lasciare)

v.t 残した 「動詞句」

i capélli イ・カペッリ pl(capélllo).n.m 髪が 「主語」

di Maria デイ・マリア adj. マリーの 「形容詞句」

PARTE PRIMA 第1部

e エ conj. そして

ho dormito オ・ドルミト 1 単現・完了形(dormire)v.i 眠った

「動詞句」

fino フィーノ prep (時間) ~まで

「副詞句」

alle dièci. アレ・ディエチ adv. 10 時に

「副詞句」

その後、相変わらずベッドの中で何本もタバコを吸って、正午になった。

Pòi ho fumato mólte sigarétte sèmpre in lètto, fino a meZZogiórno.

「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Pòi ポーイ adv. それから、その後

「副詞」

ho fumato オ・フマート 1 単現・完了形(fumare)v.t (タバコを) 吸った

「動詞句」

mólte sigarétte モルテ・シガレツテ pl(sigarétta).n.f タバコをたくさん

「目的語」

sèmpre in lètto, センプレ・イン・レット adv. 相変わらずベッドの中で

「副詞句」

fino a meZZogiórno. フィーノ・ア・メツツジョルノ adv. (結果) 正午まで

「副詞句」

僕はいつものようにセレステのレストランで食事をする気にならなかった。間違いなく、皆が僕に質問するだろうと思ったからだ。それに僕はそういう事は好きではない。

Non volevo andare a mangiare da Celeste còme il sòlito, perché mi avrebbero cèrto fatto delle domande ed è una còsa che non mi piace.

「動詞句」「間接目的語」「副詞句」 ed 「動詞」「補語」

Non volevo andare a mangiare ノン・ヴォレヴォ・アンダーレ・ア・マンジヤレ 1 単半・願望・否定

(volére+不定詞 andare+ a mangiare)v.t 食事に行こうと思わなかった

「動詞句」

da Celeste ダ・チェステ adv. セレステの店に

「間接目的語」

còme il sòlito, コーメ・イル・ソリート adv. いつものように

「副詞句」

perché ペルケ conj. ~なので

「副詞節」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

avrebbero cèrto fatto アヴレツェバロ・チェルト・ファット 条・3 複現・完了形・推量(faire+ cèrto)

v.t (行為を) したに違いない

「動詞句」

cèrto チェルト adv. 疑いなく、確実に

delle domande デッレ・トマンテ pl(domanda).n.f 質問を

「目的語」

ed エト conj. そして

è エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

una còsa ウナ・コサ n.f 事

「補語」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

non ...piace. ノン...ピアチェ 3 単現・否定(piacére)

v.i 好みでない

「動詞句」

mi ミ pron 僕にとって

「間接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

僕はバターで卵を焼いた。パンは切らしており、買うために下に降りたくなかったので、パン無しで、フライパンから直接食べた。

Mi sono fatto delle uova al burro e le ho mangiate dentro la padella, senza pane perché non ce n'era e non avevo voglia di andar giù a comprarlo.

「動詞句」「目的語」「副詞句」 e 「目的語」「動詞句」「副詞句」

Mi sono fatto ミ・ソノ・ファット 1 単現・完了形(farsi)v.pr (自分のために) ~調理した 「動詞句」

delle uova デ・レ・ウオーヴァ pl(uovo).n.f 卵を 「目的語」

al burro アル・ブッロ adv. (方法) バターで 「副詞句」

e エ conj. そして

le レ pron.f.pl それを 「目的語」

ho mangiate オ・マンジャテ 1 単現・完了形.f.pl(mangiare)v.t 食べた 「動詞句」

dentro デントロ prep ~の中で 「副詞句」

la padella, ラ・パデッラ n.f フライパン 「目的語」

senza センツァ prep ~なしで 「副詞句」

pane パーネ n.m パン 「目的語」

perché ペルケ conj. (理由) ~なので 「副詞節」

non ce n'era ノン・チェ・ネラ 3 単半・存在・否定(esserci)

v.i 無かった、切らしていた 「動詞句」

e エ conj. そして

non avevo voglia di andar ノン・アウエーヴァ・オ・ヴァ・オリア・ディ・アンダーレ 1 単半・願望・否定

v.t(avère voglia di+不定詞) ~行きたくなかった 「動詞句」

giù ジュ adv. 下へ 「副詞」

a comprarlo. ア・コンパラルロ 不定詞・目的 adv. それを買うために 「副詞句」

フランス語版では

僕は自分で卵を料理して、それを大皿から直接食べた。パンは切らしていたが、それを買うために降りたくなかったので、パンは無しで済ませた。

Je me suis fait cuire des oeufs et je les ai mangés à même le plat, sans pain parce que je n'en avais plus et que je ne voulais pas descendre pour en acheter.

PARTE PRIMA 第1部

その後、僕は少し退屈になって、部屋の中をうろついた。

Dopo mi sono annoiato un po', e ho vagato da una camera all'altra.

「副詞」「動詞句」「副詞句」,e「動詞句」「副詞句」

Dopo ドーポ adv. その後で

「副詞」

mi sono annoiato ミ・ソノ・アンノイアト 1 単現・完了形(annoiarsi)v.i 退屈した

「動詞句」

un po', ウン・ポ adv. 少し

「副詞句」

e エ conj. そして

ho vagato オ・ヴァガート 1 単現・完了形(vagare)v.i 当てもなくさまよった

「動詞句」

da ダ prep (位置) ~で

「副詞句」

una camera ウン・カメラ n.f 部屋

「目的語」

all'altra. アラルトラ adv. (方向) あちこちへ

「副詞句」

このアパートは、母さんがいた頃は便利だった。

Era un appartamento comodo, quando c'era la mamma.

「動詞」「補語」

Era エラ 3 単線(essere)v.i ~だった

「動詞」

un appartamento ウン・アパートメント n.m アパート

「補語」

comodo, コモド adj. 便利な、快適な

「形容詞」

quando クワンド conj. ~する時

「副詞節」

c'era チェラ 3 単線・存在(esserci)v.i ~である

「動詞」

la mamma. ラ・マンマ n.f 母さんが

「主語」

今となっては広すぎるので、食堂のテーブルを僕の寝室に移動しなければならなかった。

Adesso è troppo grande per me e ho dovuto trasportare in camera mia la tavola della sala da pranzo.

「副詞」「動詞」「補語」e「動詞句」「副詞句」「目的語」

Adesso アデッソ adv. 今は、今となっては

「副詞」

è エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

troppo grande トロppo・グランデ adj. 広すぎる

「補語」

per me ペル・メ adv. 僕にとっては

「副詞句」

e エ conj. そして

ho dovuto trasportare オ・ドヴァート・トラスポートレ 1 単現・完了形・必要(dovére+不定詞)

v.t 運ばなければならなかった

「動詞句」

in camera イン・カメラ adv. 寝室の中に

「副詞句」

mia ミア adj(mio).f 僕の

「形容詞」

la tavola ラ・ターヴォラ n.f テーブルを

「目的語」

della sala デラ・サラ adj. 部屋の

「形容詞句」

da ダ prep (目的) ~用の

「形容詞句」

PARTE PRIMA 第1部

pranzo. プランゾ n.m 昼食

「目的語」

もうこの部屋だけで、座面が少しへこんだ藁詰め椅子や黄ばんだ姿見の付いた箆笥や化粧台や真鍮のベッドに囲まれて暮らしている。

Non vivo più che in questa stanza, fra le sèdie impagliate in cui si affonda un po' l'armadio che ha la specchiera ingiallita, la toilette e il letto di ottone.

「動詞句」「副詞句」

Non vivo ノン・ヴィヴォ 1 単現・否定(vivere)v.i 暮らしていない

「動詞句」

più ピウ adv. (否定文で) もう～ない

「副詞」

che ケ conj. (non...che) ～でしかない

「副詞句」

in questa stanza, イン・クェスタ・スタンツァ adv. この部屋で

「副詞句」

fra フラ prep (位置) ～の間で

「副詞句」

le sèdie レ・デー・デーエ pl(sedia).n.f 椅子

「目的語」

impagliate インパリアーテ 過去分詞・受動(impagliare)

adj.f.pl 藁詰め

「形容詞」

in cui イン・クー adv. その中に～する

「形容詞節」

si affonda シ・アフォンダ 3 単現(affondarsi)

v.pr 沈んだ

「動詞句」

長年の使用により、座面が沈み込んでいる

un po', ウン・ポ' adv. 少し

「副詞」

l'armadio ラルマデーオ n.m 箆笥

「目的語」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

ha ア 3 単現(avére)v.t ～がある

「動詞」

la specchiera ラ・スペキエラ n.f 姿見

「目的語」

ingiallita, インジャリータ 過去分詞(ingiallire)

adj. 黄ばんだ

「形容詞」

la toilette ラ・トリッテ n.f(= tolétta) 化粧台

「目的語」

e エ conj. そして

il letto イル・レト n.m ベッド

「目的語」

di デイ prep (材料) ～の、～で出来た

「形容詞句」

ottone. オットネ n.m 真鍮

「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

その他は手つかずのままだ。少し経って、暇つぶしに、古新聞を取り出してきて読んだ。

Il resto è abbandonato. Un po' più tardi, tanto per far qualcosa, ho preso un vecchio giornale e l'ho letto.

「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「副詞句」, 「動詞句」「目的語」 e 「目的語」「動詞句」

Il resto イル・レスト n.m 残りは 「主語」

è abbandonato. エ・アッバント・ナート 3 単現・受動(abbandonare)v.t 放置されている 「動詞句」

Un po' più tardi, ウン・ポ・ピウ・タルデ adv. 少ししてから、少し後で 「副詞句」

tanto per +不定詞 タント・ペル adv. (目的) ただ～するために 「副詞句」

far ファール 不定詞(fare)v.t する 「動詞」

qualcosa, クワルコーサ pron 何かを 「目的語」

→ 何かするだけのために → 暇つぶしに

ho preso オ・プレソ 1 単現・完了形(prèndere)v.t 持ってきた 「動詞句」

un vecchio giornale ウン・ウエッキオ・ジヨルナーレ n.m 古新聞を 「目的語」

e エ conj. そして

l' ロ pron それを 「目的語」

ho letto オ・レット 1 単現・完了形(lèggere)v.t 読んだ 「動詞句」

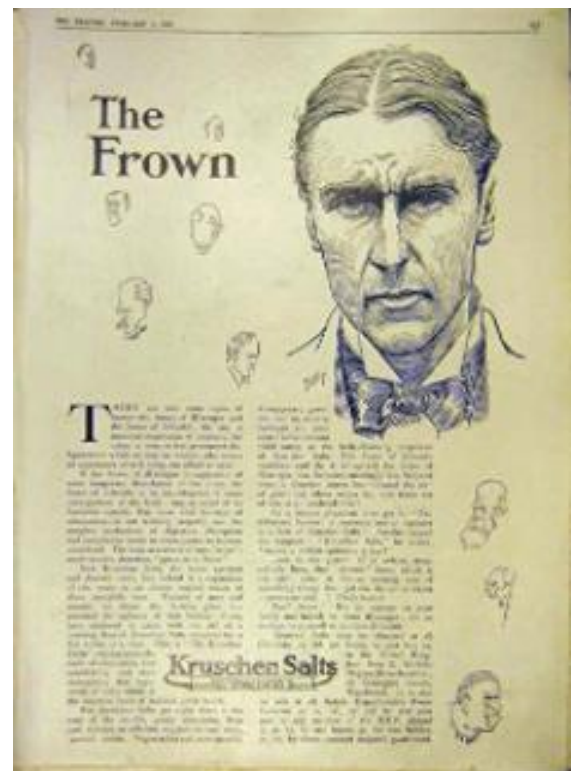
PARTE PRIMA 第1部

僕はクリュシャン塩の広告を切り抜いて、新聞で見つけた面白いものをスクラップしておく古いノートに貼りつけた。

Ho ritagliato una réclame dei sali Kruschen e l'ho incollata su un vecchio quaderno dove metto le cose divertenti che trovo sui giornali.

「動詞句」「目的語」 e 「目的語」「動詞句」「副詞句」

Ho ritagliato オ・リタリアート 1 単現・完了形(ritagliare)v.t 切り抜いた 「動詞句」
 una réclame ヲ・レクラメ n.f 広告を 「目的語」
 dei sali デイ・サリ adj.pl(sale) 塩の 「形容詞句」
 Kruschen クリュシェン adj. クリュシャンの 「形容詞」
 e エ conj. そして
 l' ラ pron.f (réclame の代用) それを 「目的語」
 ho incollata オ・インコラータ 1 単現・完了形(fincollare)v.t のりで貼り付けた 「動詞句」
 su un vecchio quaderno ス・ウ・ヴ・エッキオ・クワデルノ adv. 古いノートに 「副詞句」
 dove ト・ウ・ェ conj. そこに～する 「形容詞節」
 metto メット 1 単現(mettere)v.t 貼る 「動詞」
 le cose レ・コセ pl(cosa).n.f 物を 「目的語」
 divertenti デイ・ウ・エルテンティ adj(divertente).pl 面白い 「形容詞」
 che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 trovo トロヴァ 1 単現(trovare)v.t 見つける 「動詞」
 sui giornali. スイ・ジョルナーリ adv. 新聞で 「副詞句」



PARTE PRIMA 第1部

僕は手も洗って、結局バルコニーに出た。

Mi sono anche lavato le mani e infine mi sono messo al balcone.

「動詞句」 anche 「動詞句」 「目的語」 e 「副詞」 「動詞句」 「副詞句」

Mi sono ...lavato ミ・ソノ...ラヴァト 1 単現・完了形(lavarsi)v.pr (自分の体を) 洗った 「動詞句」

anche アンケ conj. ～もまた

le mani レ・マーニ pl(mano).n.f 手を 「目的語」

e エ conj. そして

infine インフィーネ adv. 結局、最後に 「副詞」

mi sono messo ミ・ソノ・メッシ 1 単現・完了形(mettersi)v.pr 身を置いた 「動詞句」

al balcone. アル・バルコーネ adv. バルコニーへ 「副詞句」

バルコニーとベランダ

「ベランダ」とは、屋根のある2階以上の張り出し部分

「バルコニー」とは、屋根のない2階以上の張り出し部分

「ルーフバルコニー」とは、主に下の階を利用した屋根を兼用したスペース

「テラス」とは、掃き出し窓などに前に作っている床・スペース

僕の部屋は、この界隈の目抜き通りに面している。

La mia camera dà sulla via principale del quartiere.

「主語」 「動詞」 「間接目的語」

La mia camera ラ・ミア・カーメラ n.f 僕の部屋は 「主語」

dà ダ 3 単現(dare)v.i(su に) 面している 「動詞」

sulla via principale スラ・ヴィア・プリンチパレ adv. 目抜き通りに 「間接目的語」

via ヴィア n.f 通り principale プリンチパレ adj. 主要な、主な

del quartiere. デル・クワルチエレ adj. 界隈の、地区の 「形容詞句」

午後は晴れ渡っていたが、舗道は濡れており、人通りはまばらで、急ぎ足だった。

Il pomeriggio era bello. Il lastricato era tuttavia umido, i passanti ancora rari e affrettati.

「主語」 「動詞」 「補語」 | 「主語」 「動詞」 tuttavia 「補語」, 「主語」 「動詞」 「補語」

Il pomeriggio イル・ポメリッジョ n.m 午後は 「主語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった 「動詞」

bello. ベーロ adj. 晴れた 「補語」

Il lastricato イル・ラストリカート n.m 石畳は、舗道は 「主語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった 「動詞」

tuttavia トウッタヴィア conj. しかし

umido, ウーミド adj. 湿った、濡れた 「補語」

i passanti イ・パッサンティ pl(passante).n.m 通行人は 「主語」

ancora アンコーラ adv. まだ 「副詞」

PARTE PRIMA 第1部

rari ラーリ adj(raro).m.pl まれな、まばらな 「補語」

e エ conj. そして

affrettati. アフレッターティ adj(affrettato).m.pl 急いだ、あわただしい 「補語」

最初に、散歩に出かける家族がやって来た。男の子2人はセーラー服を着て、膝より少し長い半ズボンははいていたが生地が硬くてさまにならなかった。女の子はバラ色の大きいリボンをつけて、エナメル黒い靴を履いていた。

Erano in principio famiglie che andavano a passeggio, due ragazzini vestiti alla marinara, coi calzoni più giù del ginocchio, un po' goffi dentro la stoffa rigida, e una bambina con un gran fiocco rosa e delle scarpe nere di vernice.

「動詞」「副詞句」「主語」, 「主語」「補語」, e 「主語」「補語」

Erano エラノ 3 複半・移動(essere)v.i やって来た 「動詞」

in principio イン・プリンチーピオ adv. 最初に 「副詞句」

famiglie ファミリーエ pl(famiglia).n.f 家族が 「主語」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

andavano a passeggio, アンダーヴァノ・ア・パッセジョ 3 複半・出かける・時制の一致

(andare a passeggio)v.i 散歩に出かける 「動詞句」

due ragazzini トゥエ・ラガッツィニ pl(ragazzo+-ino).n.m 男の子が二人 「主語」

vestiti ヴェステイティ adj(vestito).pl(a を) (服を) 着た 「形容詞」

alla marinara, アラ・マリナラ adv. セーラー服を 「間接目的語」

coi calzoni コイ・カルツォーニ adv. (様態) 半ズボンをはいた 「副詞句」

più giù del ginocchio, ピュ・ジュ・デル・ギノッキオ

adv. ひざより少し長い 「副詞句」

un po' goffi ウン・ポ・ゴッフォ adj(goffo).pl (服装が) 少しさまにならない 「補語」

dentro デントロ prep ~の中で 「副詞句」

la stoffa rigida, ラ・stoffa・リージダ n.f 硬い生地 「目的語」

stoffa staffa n.f 布地、生地 rigida リージダ adj(rigido).f 硬い

e エ conj. そして

una bambina ウナ・バンビーナ n.f 女の子が一人 「主語」

con un gran fiocco rosa コン・ウン・グラン・フィオッコ・ローザ

adv. バラ色の大きいリボンをつけた 「補語」

e エ conj. そして

delle scarpe nere デレ・スカルペ・ネレ adv. 黒い靴をはいた 「副詞句」

di vernice. ディ・ヴェルニチェ adj. エナメルの 「形容詞句」

PARTE PRIMA 第1部

子供たちの後ろに、栗色の絹のドレスを着た大柄の母親と、顔を見たことがあるかなり痩せて小柄の父親が歩いていた。

Diètro a lóro una madre enórme, vestita di séta marróne, e il padre, un ométto piuttosto èsile che conosco di vista.

「副詞句」「主語」

Diètro a lóro ディエトロ・ア・ローロ adv. (位置) 子供たちの後ろに

「副詞句」

una madre ウナ・マトレ n.f 母親が

「主語」

enórme, エノルメ adj. 大柄な

「形容詞」

vestita ヴェスチータ adj(vestito).f(di) (衣装を) 着た

「副詞句」

di séta marróne, ディ・セタ・マローネ adj. 栗色の絹の

「形容詞句」

séta セタ n.f 絹 marróne マローネ n.m 栗色、クリの実

e エ conj. そして

il padre, イル・パトレ n.m 父親が

「主語」

un ométto ウン・オメット n.m 小柄な男

「主語」

piuttosto ピウットースト adv. どちらかと言うと、かなり

「副詞」

èsile エジレ adj. やせた

「形容詞」

che ケ pron (目的語) ~する

「形容詞節」

conosco コノスコ 1 単現(conoscere)v.t 知っている

「動詞」

di vista. ディ・ヴィスタ adv. (手段) 顔を

「間接目的語」

父親は、かんかん帽を被り、蝶ネクタイをして、ステッキを持っていた。

Aveva una pagliétta, una cravatta a farfalla e un bastóne da passéggio.

「動詞」「目的語」

Aveva アヴェ・エヴァ 3 単半(avére)v.t ~があつた、着ていた

「動詞」

una pagliétta, ウナ・パリエッタ n.f かんかん帽を

「目的語」

una cravatta ウナ・クラヴァッタ n.f ネクタイを

「目的語」

a farfalla ア・ラルファッタ adv. 蝶々風の

「形容詞句」

e エ conj. そして

un bastóne ウン・バストーネ n.m ステッキを

「目的語」

da passéggio. ダ・パッセジヨ adv. (目的) 散歩用の

「副詞句」

彼が妻といるのを見て、どうして彼が界隈で洗練された紳士と言われているか分かった。

Vedendolo con sua móglie, ho capito perché nel quartiere si diceva che era una persóna distinta.

「副詞句」, 「動詞句」「目的語」

Vedendolo ヴェデント・ロ ジェルンディオ(vedere+lo)adv. 彼を見ると

「副詞句」

con sua móglie, コン・スー・モリエ adv. (様態) 妻と一緒にいる

「副詞句」

ho capito オ・カピート 1 単現・完了形(capire)v.t 分かった

「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

perché ペルケ adv. どうして～ということ	「目的語」
nel quartiere ネル・クワルチエ adv. 界限で	「副詞句」
si diceva シ・ディチェヴァ 3 単半・再帰受動・時制の一致(dirsi)	
v.pr 言われている	「動詞句」
che ケ conj. ～ということ	「目的語」
era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i. ～である	「動詞」
una persóna distinta. ウナ・ペルソナ・ディスタント n.f. 洗練された人	「補語」

少し後で、近郊から来た若者たちが通りかかった。ポマードでてかてかにした髪と赤いネクタイ、胸ポケットに刺繍入りのハンカチの入った体にぴったりの上着、先端が角ばった靴。

Un po' più tardi passarono i ragazzi del sobborgo, coi capélli impomatati e delle cravatte rosse, la giacca móltó aderente con un fazzolétto ricamato nel taschino e delle scarpe a punta quadra.

「副詞句」, 「動詞」 「主語」, 「副詞句」

Un po' più tardi ウン・ポ・ピウ・タルティ adv. 少し後で	「副詞句」
passarono パッサロ 3 複遠(passare)v.i. 通りかかった	「動詞」
i ragazzi イ・ラガッツィ pl(ragazzo).n.m. 若者たちが	「主語」
del sobborgo, デル・ソボルゴ adv. (都市の周辺の) 地区から来た	「副詞句」
coi capélli コイ・カペーリ adv. (様態) ～の髪をした	「副詞句」
capélli カペーリ pl(capélló).n.m. 髪の毛、毛髪	
以降の「様態」を本文の後にまとめて列挙する	
impomatati インポマターティ	
adj(impomatato).m.pl 髪を(ポマードで)てかてかにした	「形容詞」
e エ conj. そして	
delle cravatte rosse, デレ・クラヴァッテ・ローセ	
adv. (様態) 赤いネクタイをした	「副詞句」
la giacca ラ・ジャッカ n.f. ジャケットを着て、上着	「副詞句」
móltó aderente モルト・アデレンテ adj. とてもぴったりした	「形容詞句」
con un fazzolétto コン・ウン・ファツレット adv. ハンカチを入れた	「副詞句」
ricamato リカマト adj. 刺繍の入った	「形容詞」
nel taschino ネル・タッシーノ adv. 胸ポケットに	「副詞句」
e エ conj. そして	
delle scarpe デレ・スカルペ adv. (様態) 靴を履いた	「副詞句」
a punta quadra. ア・プンタ・クワドラ adv. (位置) 先端が角ばった	「形容詞句」
punta プンタ n.f. 先端 a punta ア・プンタ adj. 先のとがった	

PARTE PRIMA 第1部

ポマード

油性の整髪料で、主に男性用。ゼリー状もしくは粘性のある油状を呈し、成分や形状によって油性、水性、そして植物性、鉱物性に分類される。リーゼントスタイル、オールバックスタイル（ストレートバックスタイル）に適し、強い固定力と艶のある仕上がりが特徴。ヘアジェル、ヘアスプレーとは違い、整髪料が乾いて固定するのではなく、髪と髪を油で接着させて固定する為、濡れたような仕上がりが見られる。

彼らは中心街の映画館に行くところだと確信した。こんなに早く家を出て、路面電車に乗ろうとして大声で笑いながら急いでいるのは、そのためなのだ。

Certo andavano nei cinema del centro. Era per questo che uscivano di casa così presto e correvano per prendere il tram, ridendo forte.

「補語」 | 「動詞」「副詞句」「主語」

Certo チェルト adj. 確信した

「補語」

State certi che non vi aiuterà nessuno.

誰も君たちを助けてくれないことを肝に銘じておきたまえ。

adv. ～ということに

「副詞句」

andavano アンダーヴァノ 3 複半・時制の一致(andare)v.i 行く

「動詞」

nei cinema ネイ・チーナ adv. 映画館に

「間接目的語」

del centro. デル・チェントロ adv. 中心街の

「副詞句」

Era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

per questo ヘル・クェスト adv. (目的) このため

「副詞句」

che ケ conj. ～ということは

「主語」

uscivano ウシヴァノ 3 複半(uscire)v.i 出てきた

「動詞」

di casa デイ・カーサ adv. 家を

「副詞句」

così presto コシ・プレスト adv. こんなに早く

「副詞句」

e エ conj. そして

correvano コレヴァノ 3 複半・時制の一致(correre)v.i 走る、急ぐ

「動詞」

per prendere ヘル・プレンデレ 不定詞・目的 v.t (乗り物に) 乗るために

「副詞句」

il tram, イル・トラム n.m 路面電車

「目的語」

ridendo リエント ジェルンディオ・同時(ridere)adv. 笑いながら

「副詞句」

forte. フォルテ adv. 大声で

「副詞」

PARTE PRIMA 第1部

彼らが通り過ぎると、通りは次第にまばらになった。

Passati loro, la strada è diventata a poco a poco deserta.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「補語」

Passati パッサーティ 過去分詞(passare)adv. 通り過ぎた

「副詞句」

loro, ロロ pron 彼らが

「主語」

la strada ラ・ストラダ n.f 通りは

「主語」

è diventata エ・デ・イウ・エンタータ 3 単現・完了形・状態(diventare)v.i ~になった

「動詞句」

a poco a poco deserta. ア・ポコ・ア・ポコ・デゼールタ adj(deserto).f 少しずつ無人の

「補語」

映画や芝居はもうどこでも始まっているのだろう。

Gli spettacoli dovevano essere cominciati dappertutto.

「主語」 「動詞句」 「副詞」

Gli spettacoli リ・スペッターコリ pl(spettacolo).n.m 見世物は、映画や芝居は

「主語」

dovevano essere cominciati トゥヴァ・エウ・アノ・エッセレ・コミンチャーティ 3 複半・推量

(dovére+不定詞・完了形.pl)v.i 始まっているのだろう

「動詞句」

ムルソーの推量

dappertutto. ダッペルトゥット adv. どこでも

「副詞」

通りにはもう、商店主たちと猫しかいなかった。

Non c'erano più, nélla strada, che i bottegai ed i gatti.

「動詞句」 「副詞句」, 「主語」

Non c'erano ノン・チェラーノ 3 複半・存在・否定(esserci)v.i ~がいなかった

「動詞句」

più, ピー adv. もう

「副詞」

nélla strada, ネラ・ストラダ adv. 通りには

「副詞句」

che ケ conj.(non...che) ~しか

i bottegai イ・ボッテガイ pl(bottegaio).n.m 商店主たち

「主語」

ed エド conj. そして

i gatti. イ・ガッティ pl(gatto).n.m 猫たち

「主語」

通りの脇のイチジク並木の上空は、澄んでいたが輝きは無かった。

Il cielo era puro ma senza splendore, sopra i fichidindia ai lati della strada.

「主語」 「動詞」 「補語」, 「副詞句」

Il cielo イル・チェーロ n.m 空は

「主語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

puro プーロ adj. 澄んだ

「補語」

ma マ conj. しかし

senza splendore, センツァ・スペレントレーレ adj. 輝きの無い

「補語」

sopra ソーブラ prep ~の上で

「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

i fichidindia イ・フィキ・ディンジャ pl(fico d'india)n.m ヒラウチワサボテン 「目的語」

i fichi イ・フィ(fico).n.m イチジク fico d'india は「ヒラウチワサボテン」

ai lati アイ・ラーティ adv. 脇に 「副詞句」

della strada. デラ・ストラダ adj. 通りの 「形容詞句」

フランス語版では

通りに沿って並んでいるイチジク並木の上空は、澄んでいたが輝きがなかった。

Le ciel était pur mais sans éclat au-dessus des ficus qui bordent la rue.

向かい側の歩道で、タバコ屋の主人が椅子を外に持ち出して来て、戸口の前に据えて、椅子に跨り背もたれに置いた手にもたれていた。 両腕を背もたれに載せて、腕枕をする

Sul marciapiède di fronte, il tabaccaio ha tirato fuori una sedia, l'ha sistemata davanti alla sua porta, e ci si è messo sopra a cavalcioni appoggiandosi con le mani allo schienale.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞」 「目的語」, 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」,
e 「動詞句」 「副詞句」

Sul スル prep (位置) ~の上で 「副詞句」

marciapiède マルチャピェーテ n.m 歩道 「目的語」

di fronte, ディ・フロンテ adj. 正面の、向かい側の 「形容詞句」

il tabaccaio イル・タバカオ n.m タバコ屋の主人が 「主語」

ha tirato ア・チラト 3 単現・完了形(tirare)v.t 引き出した 「動詞句」

fuori フォーリ adv. 外に 「副詞」

una sedia, ウナ・セデーア n.f 椅子を 「目的語」

l' ラ pron.f それを 「目的語」

ha sistemata ア・システマタ 3 単現・完了形.f(sistemare)v.t (物を) 置いた 「動詞句」

davanti ダヴァンティ adv. 前に 「副詞句」

alla sua porta, アラ・スア・ポールタ adv. 戸口の 「副詞句」

e エ conj. そして

ci si è messo チ・シ・エ・メッソ 3 単現・完了形(mettersi+ci)v.pr それに座った 「動詞句」

sopra ソプーラ adv. 上に 「副詞」

a cavalcioni ア・カヴァルチオーニ adv. (様態) 跨 (またが) って 「副詞句」

appoggiandosi アポジヤントシ ジェルンディオ・同時(appoggiarsi)adv. もたれて 「副詞句」

con コン prep (様態) ~の状態 「副詞句」

le mani レ・マーニ pl(mano).n.f 手 「目的語」

allo schienale. アロ・シキエーレ adv. 背もたれに 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

少し前には満員だった路面電車が、今はほとんど空っぽになっている。

I tram, pòco prima gremiti, erano quasi vuòti.

「主語」「動詞」「補語」

I tram, イ・トラム pl(tram).n.m 路面電車は

「主語」

pòco prima ポ・コ・プリマ adv. 少し前は

「副詞句」

gremiti, グレミティ adj(gremito).pl 満員の

「形容詞句」

erano エラノ 3 複半・時制の一致(èssere)v.i ~である

「動詞」

quasi vuòti. クワ・ジ・ウ・ォーティ adj(vuòto).pl ほとんど空っぽ

「補語」

タバコ屋の正面の小さなカフェ「ピエロの店」では、ウェイターが客のいない店内をおがくずで掃いていた。

Nel piccolo caffè “Da Pierrot”, che è di frónte al tabaccàio, il camerière scopava délla segatura nélla sala desèrta.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」

Nel ネル prep(in il) ~の中では

「副詞句」

piccolo caffè ピッコロ・カフエ n.m 小さなカフェ

「目的語」

“Da Pierrot”, ダ・ピエロ n.m ピエロの店

「目的語」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

è エ 3 単現・存在(èssere)v.i ~にある

「動詞」

di frónte ディ・フロンテ adv. ~の正面に

「副詞句」

al tabaccàio, アル・タバカイオ adv. タバコ屋の

「副詞句」

il camerière イル・カメリエーレ n.m ウェイターが、給仕が

「主語」

scopava スコパー・ヴァ 3 単半(scopare)v.t 掃いていた

「動詞」

délla segatura デラ・セカトゥーラ adv. (手段) おがくずで

「副詞句」

nélla sala ネラ・サーラ adv. 店内を

「副詞句」

desèrta. デセールタ adj(desèrto).f 無人の

「形容詞」

フランス語版では

タバコ屋の隣の小さなカフェ「ピエロの店」では、(正面ではなくて隣)

Dans le petit café «Chez Pierrot», à côté du marchand de tabac,

PARTE PRIMA 第1部

まさしく日曜日だ。僕は自分の椅子を回して、タバコ屋の椅子のように置いてみた。そのほうが快適
そうに思えたからだ。

Era veramente domenica. Ho girato la mia sedia e l'ho messa come quella del tabaccaio perché ho trovato che era più comodo.

「動詞」「補語」 | 「動詞句」「目的語」 e 「目的語」「動詞句」「副詞句」

Era エラ 3 単半・時制の一致(èssere)v.i ~である 「動詞」

veramente ヴェラメンテ adv. 本当に 「副詞」

domenica. ドメニカ n.f 日曜日 「補語」

Ho girato オ・ジラート 1 単現・完了形(girare)v.t 回した、回転させた 「動詞句」

la mia sedia ラ・ミア・セディア n.f 僕の椅子を 「目的語」

e エ conj. そして

l' ラ pron (sedia の代用) それを 「目的語」

ho messa オ・メッサ 1 単現・完了形.f(mettere)v.t 置いた、設置した 「動詞句」

come コーメ conj. ~のように 「副詞句」

quella ケッラ pron(sedia の代用) 椅子 「目的語」

del tabaccaio テル・タバカイオ adj. タバコ屋の 「形容詞句」

perché ペルケ conj. (理由) ~なので 「副詞節」

ho trovato オ・トロヴァート 1 単現・完了形(trovare)

v.t (che ~であると) 思った 「動詞句」

che ケ conj. ~ということ 「目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(èssere)v.i ~である 「動詞」

più comodo. ビウ・コモト adj. より楽な、より快適な 「補語」

僕はタバコを2本吸ってから、部屋に入ってチョコレートを一かけら取って来て、バルコニーに戻っ
てそれを食べた。

Ho fumato due sigarette, sono entrato in camera a prendere un pezzo di cioccolata e sono venuto a mangiarla al balcone.

「動詞句」「目的語」, 「動詞句」「間接目的語」「副詞句」 e 「動詞句」「副詞句」

Ho fumato オ・フマート 1 単現・完了形(fumare)v.t タバコを吸った 「動詞句」

due sigarette, トゥエ・シガレッテ pl(sigaretta).n.f タバコを2本 「目的語」

sono entrato ソーノ・エントラート 1 単現・完了形・移動(entrare)v.i に入った 「動詞句」

in camera イン・カメラ adv. 部屋に 「間接目的語」

a prendere ア・プレンデレ 不定詞・目的 v.t ~を取るために 「副詞句」

un pezzo ウン・ペッツ n.m ひとかけら 「目的語」

di cioccolata ディ・チコラータ adj. チョコレートの 「形容詞句」

e エ conj. そして

PARTE PRIMA 第1部

sono venuto a mangiarla ソーノ・ヴェヌート・ア・マンジァーラ 1 単現・完了形・結果

(venire a+不定詞 mangiare+la)v.i 出てきてそれを食べた

「動詞句」

al balcone. アル・バルコーネ asdv. バルコニーへ

「副詞句」

すると間もなく、空が曇って暗くなったので、僕は夕立になりそうと思った。

Pòco dópo il cièlo si è infoscato e ho creduto che ci sarèbbe stato un temporale estivo.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 e 「動詞句」 「目的語」

Pòco dópo ホコドーボ asdv. それから間もなく、すぐ後で

「副詞句」

il cièlo イル・チーロ n.m 空は

「主語」

si è infoscato シ・エ・インフォスカート 3 単現・完了形(infoscarsi)

v.pr (空が) 曇った、暗くなった

「動詞句」

e エ conj. そして

ho creduto オ・クレトゥート 1 単現・完了形(crédere)v.t (che ～と) 思った

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

ci sarèbbe stato チ・サレッベ・スタート 条・3 単現・完了形・変化(esserci)

v.i ～になるだろう

「動詞句」

un temporale ウン・テンポラーレ n.m 嵐

「補語」

estivo. エスターヴォ adj. 夏の

「形容詞」

→ 夏嵐 (夏、木々の緑をゆるがして吹きあれる風)

→ 夕立 (夏に、雲が急に立って、短時間に激しく降る大粒の雨)

ところが、空はまた少しずつ晴れてきた。

Ma a pòco a pòco si è schiarito di nuòvo.

Ma 「副詞句」 「動詞句」 「副詞句」

Ma マ conj. しかし

a pòco a pòco ア・ホコ・ア・ホコ asdv. 少しずつ

「副詞句」

si è schiarito シ・エ・スキアリート 3 単現・完了形(schiarirsi)

v.pr 晴れてきた、明るくなった

「動詞句」

di nuòvo. ディ・ヌーヴォー asdv. また、再び

「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

しかし雲が通過して雨の前触れのようなものを残していき、それが通りをさらに暗くした。

Il passaggio delle nubi, però, aveva lasciato sulla strada come una promessa di pioggia che l'ha fatta diventare più scura.

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」, 「主語」「目的語」「動詞句」「補語」
 Il passaggio イル・パッサージョ n.m 通過は 「主語」
 delle nubi, デレ・ヌビ adj. 雲の 「形容詞句」
 però, ペロ conj. しかし
 aveva lasciato アヴァ・エウ・ア・ラッシャート 3 単半・完了形(lasciare)v.t 残していった 「動詞句」
 sulla strada スラ・ストラダ adv. 通りに 「副詞句」
 come una promessa コメ・ウナ・プロイメッサ adv. 前触れのようなものを 「目的語」
 di pioggia デイ・ピョッジャ adj. 雨の 「形容詞句」
 che ケ pron (pioggia の代用) それが～する 「副詞節」
 l'ra pron.f (strada の代用) 通りを 「目的語」
 ha fatta diventare ア・ファッタ・デイヴァ・エンターレ 3 単現・完了形・使役・変化.f(fare+不定詞 diventare)
 v.t 変えた 「動詞句」
 più scura. ピウ・スクーラ adj(scuro).f さらに暗く 「補語」

僕はしばらく空を眺めていた。

Sono rimasto a lungo ad osservare il cielo. 「動詞句」「副詞句」「動詞句」「目的語」
 Sono rimasto ソー・リマスト 1 単現・完了形(rimanere)
 v.i(a+不定詞) ～し続けた、残って～した 「動詞句」
 a lungo ア・ルンゴ adv. しばらくの間 「副詞句」
 ad osservare アト・オッセルヴァーレ 不定詞 v.t そして観察する 「動詞句」
 il cielo. イル・チェロ n.m 空を 「目的語」

5 時になると、騒音を立てて路面電車が到着し始めた。

Alle cinque sono arrivati dei tram, rumorosi. 「副詞句」, 「動詞句」「主語」「副詞」
 Alle cinque アレ・チンケ adv. (時刻) 5 時には 「副詞句」
 sono arrivati ソー・アリヴァーティ 3 複現・完了形.pl(arrivare)v.i 到着した 「動詞句」
 dei tram, デイ・トラム pl(di i tram).n.m 路面電車が 「主語」
 rumorosi. ルモロシ adv. 騒音を立てて 「副詞」

単複同型の名詞

語末にアクセントが来る名詞

città 町 età 年齢・年代 caffè コーヒー
 metà 半分 papà パパ virtù 徳 gioventù 青年期
 子音で終わる名詞

PARTE PRIMA 第1部

sport スポーツ film 映画 tram 路上電車 bar バー、喫茶店
gas ガス nord 北 est m.東 sud 南 ovest 西

-i に終わる女性名詞

tesi 主張, 学位論文 crisi 危機 analisi 分析 sintesi 総合
perifrasi 遠回しの言い方 enfasi 誇張 ipotesi 仮説 parentesi 括弧

郊外の競技場から大勢の観客が、路面電車のステップに詰め込まれたり、手すりにぶら下がって運ばれてきた。次の電車には選手たちが乗っていたが、彼らが持っている小さなバッグで見分けられた。

Riportavano dallo stàdio délla periferia gràppoli di spettatóri stipati sui predellini.
attaccati ai parapètti. Sui tram successivi c'erano i giocatóri che ho riconosciuto dalle
loro valigette. 「動詞」「副詞句」「目的語」 | 「副詞句」「動詞句」「主語」

Riportavano リポルターヴァノ 3 複半(riportare)v.t. ～を連れ戻った 「動詞」

主語は「路面電車」

dallo stàdio タロ・スターディオ adv. 競技場から 「副詞句」

délla periferia デラ・ペリフェリア adv. 郊外の 「形容詞句」

gràppoli グラッポリ pl(gràppolo).n.m. 一団を 「目的語」

di spettatóri ティ・スペクタトリ adj. 観客の 「形容詞句」

stipati スチパーティ 過去分詞・受動(stipare)adj.pl 詰め込まれた 「形容詞」

sui predellini, スイ・プレデニーニ

adv.(predellino) ステップの上に 「副詞句」

attaccati アッタッカーティ 過去分詞・受動(attaccare)adj.pl 吊るされた 「形容詞」

ai parapètti. アイ・パラペッティ adv. 手すりに 「副詞句」

Sui tram スイ・トラム adv. (複数) その電車に 「副詞句」

successivi スチェッシーヴィ adj(successivo).pl 次の、続く 「形容詞」

c'erano チェラーノ 3 複半・存在(esserci)v.i. ～がいた、乗っていた 「動詞句」

i giocatóri イ・ジョカトリ pl(giocatóre).n.m. 選手たちが 「主語」

che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

ho riconosciuto オ・リコノシュート 1 単現・完了形(riconoscere)

v.t 見分けた、分かった 「動詞句」

dalle loro valigette. タレ・ロー・ヴァリジエッテ

adv. (手段) 彼らの小さなバッグから 「副詞句」

valigette ヴァリジエッテ(valigetta) → valigia + -etta (縮小辞) 小さなバッグ

彼らは、彼らのチームは不滅だと、声を限りに叫び、そして歌っていた。

Urlavano e cantavano a pièni polmoni che non sarèbbe mai perita la lóro società.

「動詞句」「副詞句」「目的語」

Urlavano ウラヴァノ 3 複半(urlare)v.t (大声で) 怒鳴っていた、歌っていた 「動詞」

e エ conj. そして

cantavano カンタヴァノ 3 複半(cantare)v.t 歌っていた 「動詞」

a pièni polmoni ア・ピ・エ・ポ・ルモネ adv. (手段) 声を限りに 「副詞句」

polmóne ポ・ルモネ n.m 肺

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

non sarèbbe mai perita ノン・サレッベ・マイ・ペ・リタ 条・3 単現・完了形.f (条件法過去)

v.i(perire) 決して滅びることは無い 「動詞句」

la lóro società. ラ・ロー・ロ・ソシエタ n.f 彼らのチームは 「主語」

条件法過去

〈èssere・avére の条件法現在+ 過去分詞〉

「過去」「現在」「未来」を通しての「実現不可能事」の表現。

および過去の「実現不確実事」または「実現可能事」の表現。

条件法現在

「現在」から「未来」にかけての「実現可能事（ありうるだろうこと）」を表す。

何人かが僕に挨拶した。一人は、僕に向かって「奴らに勝ったぞ！」と叫びさえた。

Mólti mi hanno fatto dei saluti. Uno mi ha persino gridato: “Li abbiamo fregati.”

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | 「主語」「間接目的語」「動詞句」:

《「目的語」「動詞句」》

Mólti モルティ pl(mólto).pron 何人かは 「主語」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

hanno fatto アンノ・ファット 3 複現(fare)v.t (行為を) した 「動詞句」

dei saluti. デイ・サルティ pl(saluto).n.m 挨拶を 「直接目的語」

Uno ウノ pron 一人は 「主語」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha persino gridato: ア・ペ・ルシーノ・グリタート 3 単現・完了形(gridare+ persino)

v.i 叫びさえた 「動詞句」

“Li リ pron.pl 彼らに 「目的語」

abbiamo fregati.” アビアーモ・フレガーティ 1 複現・完了形.pl(fregare)v.t 勝った 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

それで僕は首を振って「分かった」と合図した。その時から、車が流れ込んできた。

E io ho fatto ségno di sì con la tèsta. A partire da quel moménto le automobili hanno cominciato a affluire.

E 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」

E エ conj. そして

io イオ pron 僕は 「主語」

ho fatto オ・ファット 1 単現・完了形(fare)v.t (動作を) した 「動詞句」

ségno セーニョ n.m 合図を 「目的語」

di sì ディ・シ adj. 了解の 「形容詞句」

con la tèsta. コン・ラ・テスタ adv. (手段) 首で、首を振って 「副詞句」

A partire da quel moménto ア・パルチーレ・ダ・ケル・モメント adv. その時から 「副詞句」

le automobili レ・アウトモービリ pl(automobile).n.f 車が 「主語」

hanno cominciato a affluire. アンノ・コンチャート・ア・アフルイーレ 3 複現・完了形・開始

(cominciare a+不定詞 affluire)v.i 詰めかけ始めた 「動詞句」

また少し、日が暮れてきた。

La giornata è andata avanti ancóra un pòco. 「主語」「動詞句」「副詞句」

La giornata ラ・ジョルナータ n.f 日は 「主語」

è andata エ・アンダータ 3 単現・完了形.f(andare)v.i 進んだ 「動詞句」

avanti アヴァンティ adv. 前に 「副詞」

ancóra un pòco. アンコーラ・ウン・ポコ adv. また少し 「副詞句」

屋根の上の空はすでに赤味がかり、夕暮れが近づくにつれて、通りは活気づいてきた。

Al di sópra dei tétti il cièlo è divenuto rossastro e méntre nasceva la séra le vie si sono animate. 「副詞句」「主語」「動詞句」「補語」 e 「副詞節」「主語」「動詞句」

Al di sópra アル・ディ・ソープラ adv. 上には 「副詞句」

dei tétti ディ・テッティ adj.(tétto) 屋根の 「形容詞句」

il cièlo イル・チェロ n.m 空が 「主語」

è divenuto エ・ディヴエヌイト 3 単現・完了形・変化(divenire)v.i 〜になっていた 「動詞句」

diventare ディヴエンターレ も同様に状態変化の表現に利用される

rossastro ロッサストロ adj. 赤味がかった 「補語」

e エ conj. そして

méntre メントレ conj. 〜するにつれて、〜するうちに 「副詞節」

nasceva ナシェヴァ 3 単半・時制の一致(nàscere)v.i 生まれる 「動詞」

la séra ラ・セーラ n.f 夕暮れが、夕方 「主語」

le vie レ・ヴィエ pl(via).n.f 通りは 「主語」

PARTE PRIMA 第1部

si sono animate. シ・ソーノ・アニマーテ 3 複現・完了形(animarsi)v.pr 活気づいた 「動詞句」

散歩に行っていた人たちが、少しづつ戻って来ていた。歩行者の間に、僕はあの上品な紳士を見つけた。

Quelli che erano andati a passeggio ritornavano a poco a poco. Ho riconosciuto, in mezzo ad altri, il signore distinto. 「主語」「動詞」「副詞句」 | 「動詞句」「副詞句」「目的語」

Quelli ケッリ pron(quello).m.pl あの人たちは 「主語」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

erano andati エラノ・アンダーティ 3 複現・完了形(andare)

v.i 行っていた 「動詞句」

a passeggio ア・パッセツジョ adv. 散歩に 「間接目的語」

ritornavano リトルヴァノ 3 複半(ritornare)v.i 戻って来た 「動詞」

a poco a poco. ア・ポコ・ア・ポコ adv. 少しづつ 「副詞句」

Ho riconosciuto, オ・リコノシュート 1 単現・完了形(riconoscere)v.t 認めた、見つけた 「動詞句」

in mezzo ad altri, イン・メツォ・アト・アルトリ adv. 人々の間に 「副詞句」

il signore distinto. イル・シニョーレ・ディストント n.m あの上品な紳士を 「目的語」

子供たちは泣いていたり、引きずられていた。

I bambini piangevano e si facevano trascinare. 「主語」「動詞」 e 「動詞句」

I bambini イ・バンビニ pl(bambino).n.m 子供たちは 「主語」

piangevano ピ・アンジェヴァノ 3 複半(piangere)v.i 泣いていた 「動詞」

e エ conj. そして

si facevano trascinare. シ・ファチェヴァノ・トラツチャーレ 3 複半・使役・再帰受動

(farsi+不定詞 trascinare)v.pr 引きずられるままになっていた 「動詞句」

ほとんどすぐ後に、界隈の映画館から観客の雑踏が通りにあふれ出た。

Quasi subito i cinema del rione hanno riversato sulla strada la folla degli spettatori.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

Quasi subito クワ・ジ・スービト adv. ほとんどすぐ後で 「副詞句」

i cinema イ・チネマ pl(cinema).n.m 映画館は 「主語」

del rione テル・リオネ adj. 界隈の 「形容詞句」

hanno riversato アンノ・リヴァエルサート 3 複現・完了形(riversare)v.t 吐き出した、注いだ 「動詞句」

sulla strada スラ・ストラタ adv. 通りに、路上に 「副詞句」

la folla ラ・フォッラ n.f 雑踏を、群衆を 「目的語」

degli spettatori. テリ・スペクタートリ adj. 観客の 「形容詞句」

通りへ出てきた若者たちは決然たる身振りをしていた。それで僕は、彼らは冒険映画を見たに違いないと思った。

I ragazzi che uscivano avevano gesti molto decisi e ho pensato che dovevano aver visto un film d'avventure. 「主語」「動詞」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」

I ragazzi イ・ラガッツィ pl(ragazzo).n.m 若者たちは 「主語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

uscivano ウシヴァノ 3 複半(uscire)v.i 出てきた 「動詞」

avevano アヴァエヴァノ 3 複半(avére)v.t (動作を) していた 「動詞」

gesti ジェスティ pl(gesto).n.m 身振りを 「目的語」

molto decisi モルト・デッチェ adj(deciso).pl 非常に決然たる 「形容詞句」

e エ conj. そして

ho pensato オ・ペンサート 1 単現・完了形(pensare)v.t 思った 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

dovevano aver visto トヴァエヴァノ・アヴァエル・ヴィスト 3 複半・推量(dovére+不定詞 aver visto)

v.t 見たに違いない 「動詞句」

un film ウン・フィルム n.m 映画を 「目的語」

d'avventure. ダヴァェントゥーレ adj. 冒険の 「形容詞句」

PARTE PRIMA 第1部

中心街の映画館から戻って来る人たちは少し後になって到着した。

Quelli che tornavano dai cinema del cèntro arrivarono un po' più tardi.

「主語」「動詞」「副詞句」

Quelli ケェリ pron.pl 人たちは

「主語」

che ケ pron.pl (主語) ~する

「形容詞節」

tornavano トルナヴァノ 3 複半・時制の一致(tornare)v.i 戻って来る 「動詞」

dai cinema del cèntro ダイ・チーネマ・デル・チェントロ

adv. 中心街の映画館から

「副詞句」

arrivarono アリヴァロノ 3 複半(arrivare)v.i 到着した

「動詞」

un po' più tardi. ウン・ポ'・ピウ・タルデ adv. 少し後になって

「副詞句」

彼らはもっと厳粛な様子だった。そうは言っても笑ってはいた。しかし、時々、疲れて夢うつつの様に見えた。

Avevano l'aria più grave. Ridevano, sì, ma di tanto in tanto sembravano stanchi e trasognati.

「動詞」「目的語」 | 「動詞」「副詞」,ma 「副詞句」「動詞」「補語」

Avevano アヴェヴァノ 3 複半(avere)v.t (特徴を) していた

「動詞」

l'aria ラーリア n.f 表情、様子

「目的語」

più grave. ピウ・グラーヴェ adj. もっと厳粛な

「形容詞句」

Ridevano, リデヴァノ 3 複半(ridere)v.i 笑っていた

「動詞」

sì, シ adv. そうはいつでも

「副詞」

ma マ conj. しかし

di tanto in tanto ディ・タント・イン・タント adv. 時々

「副詞句」

sembravano センブラヴァノ 3 複半(sembrare)v.i ~のように見えた

「動詞」

stanchi スタンキ adj(atanco).pl 疲れた

「補語」

e エ conj. そして

trasognati. トラソニャーティ adj(trasognato).pl 夢うつつの

「補語」

彼らは向かい側の歩道を行ったり来たりして、路上に留まっていた。

Sono rimasti sulla strada, ad andare e venire sul marciapiède di frónte.

「動詞句」「副詞句」

Sono rimasti ソーノ・リマスティ 3 複現・完了形.pl(rimanere)v.i 留まっていた

「動詞句」

sulla strada, スラ・ストラダ adv. 道路に

「副詞句」

ad andare e venire アド・アンダー・エ・ヴェニレ 不定詞・手段 adv. 行ったり来たりして

「副詞句」

sul marciapiède スル・マルチャピエ adv. 歩道を

「副詞句」

di frónte. ディ・フロンテ adj. 向かい側の

「形容詞句」

PARTE PRIMA 第1部

界限の娘たちは、帽子は被らずに、互いに手をつないで歩いていた。

Le ragazze del ri ne, senza cappello, camminavano tenendosi a braccetto.

「主語」「副詞句」「動詞」「副詞句」

Le ragazze レ・ラガツェ pl(ragazza).n.f 娘たちは 「主語」
 del ri ne, デル・リオネ adj. 界限の 「形容詞句」
 senza センツァ prep (様態) ～なしで、～を身に着けずに 「副詞句」
 cappello, カッペッロ n.m 帽子 「目的語」
 camminavano カミナヴァノ 3 複半(caminare)v.i 歩いていた 「動詞」
 tenendosi テネンドシ ジェルンディオ・同時(tenersi)v.pr (相互) (手を) つないで 「副詞句」
 a braccetto. ア・ブラチェット adv. 手を 「間接目的語」

若者たちはすれ違う時に娘たちを通らせて、冗談を言っていた。それに対して娘たちは、そっぽを向いて笑っていた。

I ragazzi facevano in modo di incrociarle passando e dicevano delle spiritosaggini di cui esse ridevano voltando la testa dall'altra parte.

「主語」「動詞」「副詞句」「補語」 e 「動詞」「目的語」

「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」

I ragazzi イ・ラガツィ pl(ragazzo).n.m 若者たちは 「主語」
 facevano ファチェヴァノ 3 複半・使役(fare)v.t(SVO+現在分詞) ～させていた 「動詞」
 in modo di +不定詞 イン・モト・ディ adv. (期間) ～しながら 「副詞句」
 incrociarle インクロチャール・レ 不定詞(incrociare+le)v.t 彼女たちとすれ違う 「動詞句」
 passando パサント 現在分詞・le の動作(passare)v.i 通る 「補語」
 e エ conj. そして
 dicevano ディチェヴァノ 3 複半(dire)v.t 言っていた 「動詞」
 delle spiritosaggini デレ・スピリトザジニ pl(spiritosaggine).n.f 冗談を 「目的語」
 di cui ディ・クイ adv. それに対して 「副詞句」
 esse エッセ pron.f.pl 彼女たちは 「主語」
 ridevano リデヴァノ 3 複半(ridere)v.i 笑っていた 「動詞」
 voltando ヴォルタント ジェルンディオ・同時(voltare)adv. 向けながら 「副詞句」
 la testa ラ・テスタ n.f 頭を 「目的語」
 dall'altra parte. ダラルトラ・パルテ adv. 別の方へ 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

彼女たちの中で僕の知り合いの何人かは、僕に手で合図をした。

Parécchie di lóro, che conoscevo, mi hanno fatto ségno con la mano.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「副詞句」

Parécchie パレッキエ pl(parécchio).n.f 何人かは 「主語」
 di lóro, ディ・ローロ adj. 彼女たちの 「形容詞句」
 che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 conoscevo, コノシェヴォ 1 単半・時制の一致(conoscere)v.t 知っている 「動詞」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 hanno fatto アンノ・ファット 3 複現・完了形(fare)v.t (動作を) した 「動詞句」
 ségno セーニョ n.m 合図を 「直接目的語」
 con la mano. コン・ラ・mano adv. 手で 「副詞句」

それから突然、通りの街灯が灯り、夜になって先に上っていた星たちは色褪せた。

Pòi i lampioni délla strada si sono illuminati d'improvviso e hanno fatto impallidire le prime stélle che sorgevano nélla notte.

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」 e 「動詞句」「目的語」

Pòi ポーイ adv. それから、次に 「副詞」
 i lampioni イ・ランピオーニ pl(lampione).n.m 街灯が 「主語」
 délla strada デラ・ストラダ adj. 通りの 「形容詞句」
 si sono illuminati シ・ソーノ・イルミナーティ 3 複現・完了形・再帰受動(illuminarsi)
 v.pr 灯った、点灯された 「動詞句」
 d'improvviso ディンプ・ロヴァイゾ adv. 突然 「副詞句」
 e エ conj. そして
 hanno fatto impallidire アンノ・ファット・インパリディレ 3 複現・完了形・使役(fare + 不定詞)
 v.t 蒼ざめさせた、色褪せさせた 「動詞句」
 le prime レ・プリメ adj(primo).f.pl 最初の 「形容詞句」
 stélle ステッレ pl(stélla).n.f 星たちを 「目的語」
 che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 sorgevano ソルジェヴァノ 3 複半(sorgere)v.i 昇っていた 「動詞」
 nélla notte. ネラ・ノッテ adv. 夜に 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

僕は、人と光で溢れた舗道を眺めているうちに目が疲れてきた。

Ho sentito i miei occhi affaticarsi a guardare i marciapiedi con il loro carico di uomini e di luci. 「動詞句」「目的語」「補語」

Ho sentito オ・センチト 1 単現・完了形・知覚動詞(sentire)

v.t(SVO+不定詞 O が～するのを) 感じた 「動詞句」

i miei occhi イ・ミエイ・オッキ pl(occhio).n.m 自分の目が 「目的語」

affaticarsi アッフアティカルシ 不定詞・occhi の動作 v.pr(a+不定詞 ～して) 疲れる 「補語」

a guardare ア・グェ わルダレ 不定詞 v.t 眺める 「動詞句」

i marciapiedi イ・マルチヤピエーディ pl(marciapiède).n.m 歩道を 「目的語」

con il loro carico コン・イル・ロー・カーリコ adv. (付属) 荷物のある 「副詞句」

di uomini e di luci. ディ・ウオーミニ・エ・ディールチ adj. 人と光の「形容詞句」

街灯の光が濡れた石畳に反射していた。そして、規則的な間隔で通りすぎる路面電車のヘッドライトが通行人のつややかな髪や微笑みや銀のブレスレットを照らし出していた。

I lampióni facevano luccicare il lastricato umido, e i tram, a intervalli regolari, illuminavano dei capelli lucidi, un sorriso o un bracciale d'argento.

「主語」「動詞句」「目的語」 e 「主語」「副詞句」「動詞」「目的語」

I lampióni イ・ランピオーネ pl(lampione).n.m 街灯は 「主語」

facevano luccicare ファチェヴァノ・ルチカレ 3 複半・使役(fare+不定詞 luccicare)

v.t 輝かせていた 「動詞句」

il lastricato イル・ラストリカート n.m 石畳を、石の舗装を 「目的語」

umido, ウーミド adj. 濡れた 「形容詞」

e エ conj. そして

i tram, イ・トラム pl(tram).n.m 路面電車は 「主語」

a intervalli regolari, ア・インテルヴァーリ・レゴラーリ adv. (方法) 規則的な間隔で 「副詞句」

illuminavano イルミナヴァノ 3 複半(illuminare)v.t 照らした 「動詞」

dei capelli ディ・カペッリ pl(capello).n.m 髪を 「目的語」

lucidi, ルーチディ adj(lucido).pl つやつやの 「形容詞」

un sorriso ウン・ソリーソ n.m 微笑みを 「目的語」

o オ conj. そして

un bracciale d'argento. ウン・ブラチヤレット・ダールジエント

n.m 銀のブレスレットを、腕輪 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

それから間もなく路面電車はまばらになり、早くも街灯や樹木の上に暗い夜が被さり、界限はだんだんまばらになっていき、ついに無人となった通りを最初の猫が横切った。

Pòco dópo, i tram divenuti più rari e la notte già nera sopra i lampioni e le piante, il sobborgo si è svuotato a pòco a pòco, fino a che il primo gatto traversò lentamente la strada ritornata desèrta.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」, fino a che 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」
 Pòco dópo, ポ・コ・ドーポ adv. 少し後で、それから間もなく 「副詞句」
 i tram, イ・トラム pl(tram).n.m 路面電車は 「主語」
 divenuti デイヴァエヌティ 過去分詞・変化(diventare)adv. 〜になって 「副詞句」
 più rari ピウ・ラーリ adj(raro).pl さらにまばらに 「補語」
 e エ conj. そして
 la notte ラ・ノッテ n.f 夜は 「主語」
 già ジャ adv. すでに、もう、早くも 「副詞」
 nera ネーラ adj(néro).f 黒い 「補語」
 sopra ソフ・ラ prep 〜の上で 「副詞句」
 i lampioni イ・ランピオーニ pl(lampione)n.m 街灯 「目的語」
 e エ conj. そして
 le piante, レ・ピアンテ pl(pianta).n.f 樹木 「目的語」
 il sobborgo イル・ソボルゴ n.m 近郊地区は 「主語」
 si è svuotato シ・エ・ズヴァータート 3 単現・完了形(svuotarsi)v.pr 空になった 「動詞句」
 a pòco a pòco, ア・ポ・コ・ア・ポ・コ adv. 少しずつ 「副詞句」
 fino a che フィーノ・ア・ケ conj. 〜するまで、そして〜した
 「結果　そして〜する」に翻訳する
 il primo gatto イル・プリーモ・ガット n.m 最初の猫が 「主語」
 traversò トラヴァエルツ 3 単遠(traversare)v.t 横切った 「動詞」
 lentamente レンタメンテ adv. ゆっくり 「副詞」
 la strada ラ・ストラダ n.f 通りを 「目的語」
 ritornata リトルナタ 過去分詞(ritornare)adj.f 〜に戻った 「形容詞句」
 desèrta. デゼールタ adj(desèrto).f 無人の、空っぽの 「補語」

僕は夕食を食べなければと思った。

Ho pensato che bisognava cenare. 「動詞句」「目的語」
 Ho pensato オ・ペンサート 1 単現・完了形(pensare)v.t 考えた 「動詞句」
 che ケ conj. 〜ということ 「目的語」
 bisognava ビゾニャーバ 非人称・3 単半・時制の一致(bisognare)
 v.i 〜が必要である 「動詞」
 cenare. チェナーレ 不定詞 n. 夕食を取ることが 「主語」

PARTE PRIMA 第1部

僕はずっと椅子の背にもたれて腕枕をしていたので、少し首が痛くなった。

Mi faceva un po' male il collo a esser rimasto appoggiato tanto tempo sulla spalliera della sedia. 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「主語」「副詞句」

Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

faceva ファチェヴァ 3 単半(fare)v.t 引き起こしていた 「動詞」

un po' male ウン・ポ・マーレ n.m 少し痛みを 「直接目的語」

il collo イル・コロ n.m 首が 「主語」

a +不定詞・完了形 ア adv. (原因) ～していたので 「副詞句」

esser rimasto エッセル・リマスト 不定詞・完了形(rimanere)v.i ～のままでいた 「動詞句」

appoggiato アポジヤート 過去分詞(appoggiare)adj. 持たれた 「補語」

tanto tempo タント・テンポ adv. 長い間 「副詞句」

sulla スラ adv. (位置) ～の上に 「副詞句」

spalliera スパリエラ n.f (椅子の) 背もたれ 「目的語」

della sedia. デラ・セデア adj. 椅子の 「形容詞句」

僕は下へ行ってパンとパスタを買って来て、自分で料理して、立ったままで食べた。

Sono andato giù a prendere del pane e della pasta, mi sono fatto da mangiare e ho cenato in piedi. 「動詞句」「副詞句」, 「動詞句」 e 「動詞句」「副詞句」

Sono andato ソノ・アンダート 1 単現・完了形(andare)v.i 行った 「動詞句」

giù ジュ adv. 下へ 「副詞」

a prendere ア・プレンデレ 不定詞・目的 adv. ～を買いに 「副詞句」

del pane デル・パーネ n.m パンを 「目的語」

e エ conj. そして

della pasta, デラ・パスタ n.f パスタを 「目的語」

mi sono fatto da mangiare ミ・ソノ・ファット・ダ・マンジヤレ 1 単現・完了形(farsi da mangiare) v.pr 自分で料理した 「動詞句」

e エ conj. そして

ho cenato オ・チェナート 1 単現・完了形(cenare)v.t 夕食を食べた 「動詞句」

in piedi. イン・ピエーティ adv. (様態) 立って 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

また窓辺でタバコを吸いたいと思ったが、もう外気が冷たくなって、少し寒気を感じた。

Ancóra ho voluto fumare una sigarétta alla finèstra; ma l'ària si era rinfrescata e ho sentito un po' frédde.

「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」;ma「主語」「動詞句」e「動詞句」「目的語」
 Ancóra アンコーラ adv. また再び 「副詞」
 ho voluto fumare オ・ヴォルト・フマーレ 1 単現・完了形(volére+不定詞 fumare)
 v.t (タバコを) 吸いたいと思った 「動詞句」
 una sigarétta ウナ・シガレッタ n.f 煙草を 1 本 「目的語」
 alla finèstra; アラ・フィネストラ adv. (場所) 窓辺で 「副詞句」
 ma マ conj. しかし
 l'ària ラーリア n.f 外気が 「主語」
 si era rinfrescata シ・エラ・リンフレスカータ 3 単半・完了形(rinfrescarsi)
 v.pr 冷たくなっていた 「動詞句」
 e エ conj. そして
 ho sentito オ・センチート 1 単現・完了形(sentire)v.t 感じた 「動詞句」
 un po' frédde. ウンポ・フレット n.m 少し寒気を 「目的語」

僕はガラス窓を閉めた。そして部屋に戻る時に、数切れのパンのそばにアルコールランプが置かれた
 テーブルの片隅が鏡に映っているのが見えた。

Ho chiuso i véttri e rientrando ho visto riflesso nello specchio un àngolo délla tàvola con il fornèllo a spirito, accanto a dei pèzzi di pane.

「動詞句」「目的語」e「副詞句」「動詞句」「目的語」「副詞句」「目的語」
 Ho chiuso オ・キューゾ 1 単現・完了形(chiudere)v.t 閉めた 「動詞句」
 i véttri イ・ヴェートリ pl(vétro).n.m ガラス窓を 「目的語」
 e エ conj. そして
 rientrando リエントラント ジェルンディオ(rientrare)adv. (時) 部屋に戻る時に 「副詞句」
 ho visto オ・ヴィスト 1 単現・完了形(vedere)v.t 見えた 「動詞句」
 riflesso リフレッソ n.m 投影を 「目的語」
 nello specchio ネロ・スペッキオ adv. 鏡の中に 「副詞句」
 un àngolo ウン・アングロ n.m 片隅が (riflesso の同格) 「目的語」
 délla tàvola デラ・ターヴォラ adj. テーブルの 「形容詞句」
 con コン prep (様態) 〜のある 「副詞句」
 il fornèllo a spirito, イル・フォルネーロ・ア・スピート
 n.m アルコールランプ 「目的語」
 accanto a アッカント・ア prep 〜のそばに 「副詞句」
 dei pèzzi di pane. デイ・ペッツィ・デイ・パーネ

PARTE PRIMA 第1部

pl(pèzzo).n.m 数切れのパン

「目的語」

僕は思った。また日曜日が終わった。今では母さんは埋葬された。また仕事に戻る；結局、何も変わったことはない。

Ho pensato che era sèmpre un'altra doménica passata, che adèssò la mamma era seppellita, che avrèi ripreso il lavóro; e tutto sommato non era cambiato nulla.

「動詞句」「目的語」、「目的語」；e「副詞句」「動詞句」「主語」

Ho pensato オ・ペンサート 1 単現・完了形(pensare)v.t 考えた 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」

sèmpre センプレ adv. またもや、それでも 「副詞」

un'altra doménica ウン・アルトラ・ド・メニカ n.f 別の日曜日 「補語」

passata, パッサータ adj(passato).f 過ぎ去った 「形容詞」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

adèssò アデッソ adv. 今は 「副詞」

la mamma ラ・ママ n.f 母さんは 「主語」

era seppellita, エラ・セペリータ 3 単半・受動.f(seppellire)v.t 埋葬された 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

avrèi ripreso アヴレイ・リプレゾ 条・1 単現・完了形・過去における未来完了・推量(riprendere)
v.t 再開することになるだろう 「動詞句」

il lavóro; イル・ラヴォーロ n.m 仕事を 「目的語」

e

tutto sommato トゥット・ソマト adv. 結局 「副詞句」

non era cambiato ノン・エラ・カンビアート 3 単半・完了形・否定(cambiare)

v.i 変わらなかった 「動詞句」

nulla. ヌッラ pron 何も～ない 「主語」

3.

今日は会社でよく働いた。社長は愛想が良かった：僕にひどく疲れていないかと聞き、母さんの年齢も尋ねた。

Òggi ho avuto móltro da fare in ufficio. Il principale è stato gentile: mi ha domandato se non ero tróppo stanco e ha voluto anche sapére che età aveva la mamma.

「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」

「主語」「動詞」「補語」：「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e 「動詞句」「目的語」

Òggi オジ adv. 今日は 「副詞」
 ho avuto オ・アヴート 1 単現・完了形(avére)v.t. ～があった 「動詞句」
 móltro モルト pron. たくさんの事が 「目的語」
 da fare ダ・ファレ 不定詞・目的 adj. やるべき 「形容詞句」
 in ufficio. イン・ウフイーチョ adv. 会社で 「副詞句」
 Il principale イル・プリンチパレー n.m. 社長は 「主語」
 è stato エ・スタート 3 単現・完了形・状態(èssere)v.i. ～だった 「動詞」
 gentile: ジェンティレ adj. 愛想の良い 「補語」
 mi ミ pron. 僕に 「間接目的語」
 ha domandato ア・ドマンダート 3 単現・完了形(domandare)v.t. 尋ねた 「動詞句」
 se セ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」
 non ero ノン・エロ 1 単半・否定・疑問文・時制の一致(èssere)
 v.i. ～でないか? 「動詞句」
 tróppo stanco トロッポ・スタンコ adj. ひどく疲れた 「補語」
 e エ conj. そして
 ha voluto anche sapére ア・ヴァオルト・アンケ・サペレー 3 単現・完了形・願望(volére+不定詞)
 v.t. ～も尋ねた、知りたかった 「動詞句」
 che età ケ・エタ n.f. 何歳を～するかということ 「目的語」
 aveva アヴァエヴァ 3 単半(avére)v.t. (年齢が～歳) だった 「動詞」
 la mamma. ラ・マンマ n.f. 母さんは 「主語」

PARTE PRIMA 第1部

僕は間違えないように、「60 歳くらいです」と答えた。すると彼は、なぜか分からないが、気が休まったような、この一件はこれで終わったというような表情を見せた。

Ho detto: “Una sessantina d’anni”, per non sbagliarmi e lui, non so perché, ha avuto l’aria di provare un certo sollievo, e di considerare che era una faccenda esaurita.

「動詞句」:《「応答」》,「副詞句」 e 「主語」,「副詞節」,「動詞句」「目的語」

Ho detto: オ・テット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った、答えた 「動詞句」

“Una sessantina d’anni”, ウナ・セッサンティナ・ダンニ n.f 60 歳くらい 「応答」

per+不定詞 ヘル prep (目的) ~しないために 「副詞句」

non sbagliarmi ノン・ズバリアルミ 不定詞(sbagliarsi)v.pr 間違えない 「動詞句」

e エ conj. そして、すると

lui, ルーイ pron 彼は 「主語」

non so perché, ノン・ソ・ペルケ adv. なぜか分からないが 「副詞節」

ha avuto ア・アウート 3 単現・完了形(avére)v.t (様子を) した 「動詞句」

l’aria ラーリア n.f 様子を 「目的語」

di provare デイ・プロヴァーレ 不定詞・同格 adj. ~を感じるという 「形容詞句」

un certo sollievo, ウン・チェルト・ソリエーヴォ

n.m なにかの苦痛の緩和を 「目的語」

e エ conj. そして

di considerare デイ・コンシデラーレ 不定詞・同格

adj. ~とみなしているという 「形容詞句」

che ケ conj. ~ということ 「目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ~である 「動詞」

una faccenda ウナ・ファチェンダ n.f 一件 「補語」

esaurita. エサウリータ

adj(esaurito).f 処理済みの、使い果たした「形容詞」

僕のデスクには多数の船荷証券が積み重なり、それを次々に処理しなければならなかった。

C'era una quantità di pratiche che si erano accumulate sulla mia scrivania e ho dovuto farle passare a una a una. 「動詞句」「主語」 e 「動詞句」「副詞句」

C'era チェラ 3 単半・存在(esserci)v.i ~があった 「動詞句」

una quantità di ユナ・クワンティタ・ディ n.f 多数の~が 「主語」

pratiche プラティケ pl(pratica).n.f (業務の) 関係書類 「目的語」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

si erano accumulate シ・エラーノ・アックムラテ 3 複半・完了形(accumulare)

v.pr 積み重なった 「動詞句」

sulla mia scrivania スラ・ミーア・スクリヴァニア

adv.l 僕のデスクの上に 「副詞句」

e エ conj. そして

ho dovuto farle passare オ・ドヴート・ファール・レ・パッサレ 1 単現・完了形・使役

(dovère+不定詞 fare+le+不定詞 passare)v.t それを処理しなければならない「動詞句」

passare パッサレ v.i 通過する

a una a una. ア・ウナ・ア・ウナ adv. 次々に、一つずつ 「副詞句」

フランス語版では

僕の事務机の上には沢山の船荷証券が山積みになっていて、僕はそれらをすべて綿密に調べなければならなかった。

Il y avait un tas de connaissances qui s'amoncelaient sur ma table et il a fallu que je les dépouille tous.

船荷証券 (ふなにしょうけん) connaissances :

貿易における船積書類のひとつ。船会社など運送業者が発行し、貨物の引き受けを証明し、当該貨物受け取りの際の依拠とする。英語では Bill of Lading、B/L と略す。船積書類のうち、もっとも重要な書類である。

PARTE PRIMA 第1部

昼食に行くために会社を出る前に、僕は手を洗った。

Prima di uscire dall'ufficio per andare a colazione, mi sono lavato le mani.

「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」

Prima di +不定詞 プリマ・ディ adv. ～する前に

「副詞句」

uscire ウッシーレ 不定詞 v.i 出る

「動詞」

dall'ufficio ダルウッフィーチョ adv. 会社から

「副詞句」

per +不定詞 ペル adv. (目的) ～するために

「副詞句」

andare アンダーレ 不定詞 v.i 行く

「動詞」

a colazione, ア・コラツィオーネ adv. 昼食に

「間接目的語」

mi sono lavato ミ・ソーノ・ラヴァート 1 単現・完了形(lavarsi)v.pr 洗った

「動詞句」

le mani. レ・マーニ pl(mano).n.f 手を

「目的語」

正午のこの瞬間が僕の一番好きな時間だ。

Per me quello è un momento molto piacevole, a mezzogiorno.

「副詞句」 「主語」 「動詞」 「補語」

Per me ペル・メ adv. 僕にとって

「副詞句」

quello ケッロ pron それは

「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

un momento ウン・モメント n.m 瞬間

「補語」

molto piacevole, モルト・ピェアチェウオーレ adj. 一番快適な、好きな

「形容詞句」

a mezzogiorno. ア・メツゾジオルノ adv. 正午に

「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

夕方になるとその楽しみは少なくなる。回転式のタオルは一日中使用されて、すっかり湿ってしまうからだ。

La sera il piacere è minore perché l'asciugamano girévole che si adopera è tutto umido: ha servito per tutto il giorno.

La sera ラ・セーラ n.f 夕方には 「副詞句」

il piacere イル・ピアチェーレ n.m 喜びは 「主語」

è エ 3 単現・変化(essere)v.i ~になる 「動詞」

minore ミノーレ adj. より少ない 「補語」

perché ペルケ conj. なぜなら、~なので 「副詞節」

l'asciugamano ラッシュガマノ n.m タオルは 「主語」

girévole ジレヴォーレ adj. 回転式の 「形容詞」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

si adopera シ・アトペーラ 3 単現・再帰受動(adoperarsi)

v.pr 使われる 「動詞句」

è エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」

tutto umido: トゥット・ウミト adj. すっかり湿った 「補語」

ha servito ア・セルヴィト 3 単現・完了形(servire)v.t 奉仕した 「動詞句」

per tutto il giorno. ペール・トゥット。イル・ジヨルノ adv. 一日中 「副詞句」

そのことを、一度社長に言ったことがある。

Una volta l'ho fatto notare al principale.

「副詞句」「直接目的語」「動詞句」「間接目的語」

Una volta ウナ・ヴルタ adv. 一度 「副詞句」

l' 〇 pron そのことを 「直接目的語」

ho fatto notare オ・ファット・ノターレ 1 単現・完了形・使役(fare+不定詞 notare)

v.t 気付かせた、言った 「動詞句」

al principale. アル・プリンチパーレ adv. 社長に 「間接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

彼は、そのことは遺憾ではあるが、取るに足らない些末なことだと僕に答えた。

Lui mi ha rispósto che trovava spiacevole la còsa, ma che era. Comùnque un particolare senza importanza. 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Lui ルー pron.m 彼は 「主語」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha rispósto ア・リスポスト 3 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

trovava トロヴァヴァ 3 単半・時制の一致(trovare)

v.t(SVOC O が C だと) 思う 「動詞」

spiacevole スピアチェヴォレ adj. 不快な 「補語」

la còsa, ラ・コーサ n.f そのことは 「目的語」

ma マ conj. しかし

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」

Comùnque コムンケ conj. それでも

un particolare ウン・パルチコラーレ n.m 細部 「補語」

senza importanza. センツァ・インポルタンツァ adj. 重要性のない 「形容詞句」

僕は、少し遅く、12 時半に配送部門で働いているエマヌエルと一緒に会社を出た。

Sono uscito un po' tardi, a mezzogiórno e mezzo, con Emanuele che lavora al reparto spedizioni. 「動詞句」「副詞句」

Sono uscito ソーノ・ウッシート 1 単現・完了形(uscire)v.i 出た 「動詞句」

un po' tardi, ウン・ポ・タルディ adv. 少し遅く 「副詞句」

a mezzogiórno e mezzo, ア・メツジヨルニ・エ・メツゾ adv. 12 時半に 「副詞句」

con Emanuele コン・エマヌエレ adv. エマヌエルと一緒に 「副詞句」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

lavora ラヴァオーラ 3 単現(lavorare)v.i 働いている 「動詞」

al reparto アルパルト adv. 部門で 「副詞句」

spedizioni. スペディツィオーニ pl(spedizione).n.f 配送の「形容詞」

PARTE PRIMA 第1部

オフィスは海に面している。僕たちはしばらくの間、灼熱の太陽が照り付ける港で貨物船を眺めて過ごした。

L'ufficio guarda sul mare e siamo rimasti un momento a osservare i cargos nel porto bruciante di sole.

「主語」「動詞」「間接目的語」 e 「動詞句」「副詞句」「動詞句」「目的語」「副詞句」
 L'ufficio ルッフィョ n.m オフィスは 「主語」
 guarda グアルダ 3 単現(guardare)v.i(su に) 面している 「動詞」
 sul mare スル・マーレ adv. 海に 「間接目的語」
 e エ conj. そして
 siamo rimasti シアーモ・リマスティ 1 複現・完了形.pl(rimanere)v.i (ある状態に) なった 「動詞句」
 un momento ウン・モメント adv. 少しの間 「副詞句」
 a osservare ア・オッセルヴァーレ 不定詞・結果 v.t そして眺めた 「動詞句」
 i cargos イ・カルコス pl(cargo).n.m 貨物船を 「目的語」
 nel porto ネル・ポルト adv. 港の中で 「副詞句」
 bruciante di sole. ブルチャンテ・デイ・ソル 現在分詞 adj. 太陽で焦げる 「形容詞句」

その時、チェーンを引きずる音とエンジンの爆発音を轟かせて小型トラックがやって来た。エマヌエルが「飛び乗らないか」と誘うので、僕は走り出した。

In quel momento è arrivato un camion con un gran fragore di catene e di scoppi. Emanuele mi ha chiesto se “si saltava su” e io mi sono messo a correre.

「副詞句」「動詞句」「主語」「副詞句」
 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e 「主語」「動詞句」
 In quel momento イン・ケル・モメント adv. その時 「副詞句」
 è arrivato エ・アッリヴァート 3 単現・完了形(arrivare)v.i やって来た 「動詞句」
 un camion ウン・カーミオン n.m トラックが 「主語」
 con un gran fragore コン・ウン・グラン・フラゴレ adv. (様態) 大音響と共に 「副詞句」
 di catene デイ・カテーナ adv. (起源) チェーンによる 「副詞句」
 e エ conj. そして
 di scoppi. デイ・スコッピ
 adv.(scoppio) エンジンのアフターファイヤによる爆発音で 「副詞句」
 Emanuele エマヌエレ n.m エマニュエルは 「主語」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた 「動詞句」
 se セ conj. 何かどうかということ 「直接目的語」
 “si saltava su” シ・サルターヴァ・ス 3 単半・勧誘(saltarsi su)
 v.pr 飛び乗ろうよ! 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

e エ conj. そして

io イオ pron 僕は

「主語」

mi sono messo a correre. ミ・ソーノ・メツ・ア・コルレ 1 単現・完了形・開始(mettersi a+不定詞)

v.pr 走り始めた

「動詞句」

トラックが僕たちを追い抜いて行った。そこで、僕たちはそれを追いかけた。

Il càmion ci ha sorpassati e l'abbiamo rincorso.

「主語」「目的語」「動詞句」 e 「目的語」「動詞句」

Il càmion イル・カミオン n.m トラックは

「主語」

ci チ pron.pl 僕たちを

「目的語」

ha sorpassati ア・ソルパッサーティ 3 単現・完了形.pl(sorpassare)v.t 追い抜いた

「動詞句」

目的語 ci が前に置かれているので、過去分詞 sorpassato が ci に性・数一致した

e エ conj. そして

l' ロ pron それを

「目的語」

abbiamo rincorso. アッビアーモ・リンコルソ 1 複現・完了形(rincorrere)v.t 追いかけた

「動詞句」

僕は騒音と埃に包まれて息苦しくなった。

Io affogavo nel frastuòno e nélla pólvore.

「主語」「動詞」「副詞句」

Io イオ pron 僕は

「主語」

affogavo アッフオガーヴォ 1 単半(affogare)v.i 息が詰まった

「動詞」

nel frastuòno ネル・フラストオーノ adv. 騒音の中で

「副詞句」

e エ conj. そして

nélla pólvore. ネラ・ポールヴレ adv. 埃の中で

「副詞句」

もう何も見えなかった。そして疾走による混乱した熱意しか感じなかった。僕らの周囲には、ウィンチと水平線で踊る船のマストそして僕たちの脇に迫る船があった。

Non ci vedevo più e non sentivo che la foga disordinata della corsa, con i verricelli e gli alberi delle navi che danzavano all'orizzonte e gli scafi che ci passavano di fianco.

「動詞句」「副詞」「動詞句」「副詞」 e 「動詞句」「目的語」、「副詞句」

Non ...vedevo ノン...ヴェデーヴォ 1 単半・否定(vedére)v.t 見えなかった 「動詞句」

ci チ adv. そこに 「副詞」

più ビウ adv. もう 「副詞」

e エ conj. そして

non sentivo ノン・センチヴォ 1 単半・否定・限定(sentire)

v.t(non...che) ～しか感じなかった 「動詞句」

che ケ conj.(non...che) ～ということだけを 「目的語」

la foga フォガ n.f 意気込み、熱意 「目的語」

disordinata ディスルディナタ

adj(disordinato).f 混乱した、当惑した 「形容詞」

della corsa, デラ・コルサ adv. (原因) 駆け足による 「副詞句」

con コン prep (同伴) ～のある (周囲の状況) 「副詞句」

i verricelli イ・ヴェリチェッリ pl(verricello).n.m ウィンチ 「目的語」

e エ conj. そして

gli alberi リ・アルベリ pl(albero).n.m (船) マスト 「目的語」

delle navi デレ・ナーヴィ adj.(nave) 船の 「形容詞句」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

danzavano ダンサヴァノ 3 複半・時制の一致(danzare)

v.i 踊る 「動詞」

all'orizzonte アリゾンテ adv. 水平線で 「副詞句」

e エ conj. そして

gli scafi リ・スカーフィ pl(scafo).n.m 船、船体 「目的語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

ci チ pron 僕たちの 「間接目的語」

passavano パッサヴァノ 3 複半・時制の一致(passare)

v.i 進んでくる 「動詞」

di fianco. ディ・フィアノ adv. 脇に 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

僕が最初にしがみつきの、素早く荷台に飛び乗った。

Io mi sono aggrappato per primo e sono saltato su, al volo.

「主語」「動詞句」「副詞句」 e 「動詞句」「副詞句」

Io イオ pron 僕は

「主語」

mi sono aggrappato ミ・ソノ・アグラパート 1 単現・完了形(aggrapparsi)

v.pr(a に) しがみついた

「動詞句」

per primo ヘル・プリーモ adv. 最初に

「副詞句」

e エ conj. そして

sono saltato ソノ・サルタート 1 単現・完了形(saltare)v.i 跳び上がった

「動詞句」

su, ス adv. 上に

「副詞」

al volo. アル・ヴォロ adv. すばやく

「副詞句」

それからエマヌエルが腰掛けるのに手を貸した。僕たちは息を切らした。トラックは埃と太陽の中を、海岸通りのデコボコな石畳の上を飛び跳ねるように走った。

Poi ho aiutato Emanuele a sedersi. Eravamo senza fiato e il camion saltava sul lastricato ineguale del lungomare, in mezzo alla polvere e al sole.

「副詞」「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「補語」 e 「主語」「動詞」「副詞句」

Poi ポーイ adv. それから

「副詞」

ho aiutato オ・アイユタート 1 単現・完了形(aiutare)

v.t(SVO a+不定詞) O が～するのを手伝った

「動詞句」

Emanuele エマヌエレ n.m エマヌエルが

「目的語」

a sedersi. ア・セデーニル・シ futeisi・Emanuele の動作 v.pr 座る

「補語」

Eravamo エラヴァーモ 1 複半(èssere)v.i ～だった

「動詞」

senza fiato センツァ・フィアート adj. 息の詰まった

「補語」

e エ conj. そして

il camion イル・カミオン n.m トラックは

「主語」

saltava サルターヴァ 3 単半(saltare)v.i 飛び跳ねていた

「動詞」

sul lastricato スル・ラストリカート adv. 石畳の上を

「副詞句」

ineguale イネグアーレ adj. デコボコな、平坦でない

「形容詞」

del lungomare, デル・ルンゴマーレ adj. 海岸通りの

「形容詞句」

in mezzo イン・メツォ adv.(a の) 中を

「副詞句」

alla polvere アラ・ポーヴェレ adv. 埃の

「副詞句」

e エ conj. そして

al sole. アル・ソーレ adv. 太陽の

「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

エマヌエルはもう我慢できないというほど笑っていた。

Emanuele rideva da non poterne più.

「主語」「動詞」「副詞句」

Emanuele エマヌエレ n.m エマヌエルは

「主語」

rideva リデーヴァ 3 単半(ridere)v.i 笑った

「動詞」

da +不定詞 ダー adv. (結果) ~する程

「副詞句」

non poterne più. ノン・ポテル・ネ・ピウ 不定詞・否定(potére+ne)

v.i それを我慢できない

「動詞句」

僕たちは汗まみれになってセレストの店に着いた。

Siamo arrivati da Celeste in un bagno di sudore.

「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

Siamo arrivati シアーモ・アリヴァーティ 1 複現・完了形.pl(arrivare)v.i 着いた

「動詞句」

da Celeste ダ・チェステ adv. (目的地) セレストのレストランに

「間接目的語」

in un bagno イン・ウン・バンニョ adv. (様態) 風呂につかった状態で

「副詞句」

di sudore. デイ・ストーレ adj. (材料) 汗の

「形容詞句」

店にはいつものように、大きな腹に前掛けをして、白い口髭のセレストがいた。

Era lì come sempre, col suo pancione, il suo grembiale e i suoi baffi bianchi.

「動詞」「副詞句」

Era エラ 3 単半・存在(essere)v.i ~がいた

「動詞」

lì リ adv. そこに

「副詞」

come sempre, コモ・センプレ adv. いつものように

「副詞句」

col コル prep(= con il 身なり・様態) ~の様子で

「副詞句」

suo pancione, スーオ・パンチョーネ n.m 大きな腹

「目的語」

il suo grembiale イル・スーオ・グレンビアレ n.m(= grembiule) 前掛け、エプロン

「目的語」

e エ conj. そして

i suoi baffi bianchi. イ・スーイ・バッフィ・ビアンキ pl(baffo).n.m 白い口髭

「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

「元気か？」と、僕に尋ねた。僕は、腹が減ったと答えた。

“Cóme va?” mi ha chiesto. Gli ho detto che avevo fame.

《「呼びかけ」》, 「間接目的語」「動詞句」 | 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 “Cóme va?” コメ・ヴァ adv. (挨拶) 元気か? 「呼びかけ」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha chiesto. ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた 「動詞句」
 Gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 avevo アヴェーヴォ 1 単半・時制の一致(avere)v.t ～がある 「動詞」
 fame. ファーメ n.f 空腹 「目的語」

僕は太急ぎで食べ、コーヒーを飲んだ。

Ho mangiato molto in fretta e ho preso un caffè.

「動詞句」「副詞句」 e 「動詞句」「目的語」
 Ho mangiato オ・マンジヤート 1 単現・完了形(mangiare)v.t 食べた 「動詞句」
 molto モールト adv. 大いに 「副詞」
 in fretta イン・フレッタ adv. 急いで 「副詞句」
 e エ conj. そして
 ho preso オ・プレゾ 1 単現・完了形(prendere)v.t 飲んだ 「動詞句」
 un caffè. ウン・カフェ n.m コーヒーを 「目的語」

それから部屋に戻り、ワインを飲みすぎたので少し眠った。そして目が覚めると、煙草が吸いなくなった。

Poi sono tornato a casa, ho dormito un po' perché avevo bevuto troppo vino e quando mi sono svegliato ho avuto voglia di fumare una sigaretta.

「副詞」「動詞句」「間接目的語」, 「動詞句」「副詞句」 e 「副詞節」「動詞句」「目的語」
 Poi ポーイ adv. それから 「副詞」
 sono tornato ソーノ・トルナート 1 単現・完了形(tornare)v.i 帰った、戻った 「動詞句」
 a casa, ア・カーサ adv. 家に 「間接目的語」
 ho dormito オ・ドルミート 1 単現・完了形(dormire)v.i 眠った 「動詞句」
 un po' ウン・ポ adv. 少し 「副詞句」
 perché ペルケ conj. (理由) ～なので 「副詞節」
 avevo bevuto アヴェーヴォ・ベヴァート 1 単半・完了形(bere)v.t 飲んだ 「動詞句」
 troppo トロッポ adv. あまりにも 「副詞」
 vino ヴァーノ n.m ワインを 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

e エ conj. そして

quando クワンド conj. ～した時

「副詞節」

mi sono svegliato ミ・ソノ・ズヴェリアート 1 単現・完了形(svegliarsi)

v.pr 目が覚めた

「動詞句」

ho avuto オ・アヴート 1 単現・完了形(avére)v.t ～があった

「動詞句」

vòglia ヴォリア n.f 欲求

「目的語」

di fumare ディ・フマーレ 不定詞・同格 adj. (タバコを) 吸いたいという 「形容詞句」

una sigarétta. ウナ・シガレッタ n.f タバコを

「目的語」

時間が遅くなっていたので、路面電車に間に合うように走らなければならなかった。

Si era fatto tardi e ho dovuto correre per raggiungere un tram.

「動詞句」「補語」 e 「動詞句」「副詞句」

Si era fatto シ・エラ・ファット 非人称・3 単半・完了形(farsi)

v.pr (時間帯が) ～になっていた

「動詞句」

tardi タルディ adv. 遅く

「補語」

e エ conj. そして

ho dovuto correre オ・ドヴート・コレレ 1 単現・完了形・必要(dovére+不定詞)

v.i 走らなければならなかった

「動詞句」

per +不定詞 ペル adv. (目的) ～するために

「副詞句」

raggiungere ラジエンジエ 不定詞 v.t 乗る、間に合う

「動詞」

un tram. ウン・トラム n.m 路面電車

「目的語」

午後はずっと働いた；会社の中はとても暑かったので、夕方、海岸通りをゆっくり歩いて帰ると、潮風がとても心地よかった。

Ho lavorato tutto il pomeriggio; in ufficio faceva molto caldo e la sera, all'uscita, sono stato felice di risalire a piedi, lentamente, tutto il lungomare.

「動詞」「副詞句」；「副詞句」「動詞」「補語」 e 「副詞句」「動詞」「補語」「副詞句」

Ho lavorato オ・ラヴァート 1 単現・完了形(lavorare)v.i 働いた

「動詞句」

tutto トゥット adv. ずっと、いっぱい

「副詞」

il pomeriggio; イル・ポメリッジョ n.m 午後

「副詞句」

in ufficio イン・ウフイーチョ adv. 会社の中は

「副詞句」

faceva ファチェヴァ 非人称・3 単半・天候(fare)v.h ～だった

「動詞」

molto caldo モルト・カルト adj. とても暑い

「補語」

e エ conj. そして

la sera, ラ・セーラ adv. 夕方に

「副詞句」

all'uscita, アルッシーター adv. 帰る時に

「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

sono stato	ソノ・スタート 1 単現・完了形・変化(essere)v.i	～になった	「動詞句」
felice	フェリーチェ adj.	幸福な	「補語」
di risalire	ディ・リサリレ 不定詞・原因 v.t	さかのぼると	「副詞句」
a piedi,	ア・ピエーディ adv.	(手段) 歩いて	「副詞句」
lentamente,	レンタメンテ adv.	ゆっくりと	「副詞」
tutto	トゥット adv.	全体を	「副詞」
il lungomare.	イル・ルンゴマーレ n.m	海岸通りを	「目的語」

空は緑色で、僕は満足な気分になった。しかし、ジャガイモを茹でておきたかったので、真っすぐ家に帰った。

Il cielo era verde, mi sentivo contento. Ma sono tornato diritto a casa perché volevo farmi delle patate lesse.

「主語」「動詞」「補語」, 「動詞句」「補語」 Ma 「動詞句」「間接目的語」「副詞節」			
Il cielo	イル・チェロ n.m	空は	「主語」
era	エラ 3 単半(essere)v.i	～だった	「動詞」
verde,	ヴェールデ adj.	緑色の	「補語」
mi sentivo	ミセンチヴォ 1 単半(sentirsi)v.pr	～の気分になった	「動詞句」
contento.	コンテンツ adj.	満足した	「補語」
Ma	マ conj.	しかし	
sono tornato	ソノ・トルナート 1 単現・完了形(tornare)v.i	帰った	「動詞句」
diritto a casa	ディレット・ア・カ adv.	まっすぐ家に	「間接目的語」
perché	ペルケ conj.	(理由) ～なので	「副詞節」
volevo farmi	ヴォレヴァ・ファルミ 1 単半・願望(volere+不定詞 farsi)		
v.pr	自分のためにしておきたかった		「動詞句」
delle patate	デレ・パターテ pl(patata).n.f	ジャガイモをいくつか	「目的語」
delle	デレ(di + le) 部分冠詞	「いくつかの、いくつかの」	
lesse.	レッセ 過去分詞・受動(lessare).adj(léssu).f.pl	茹でられた	「補語」

暗い階段を登っている時に、同じ階のサラmano老人と鉢合わせした。

Salendo le scale buie, ho urtato il vecchio Salamano, il mio vicino di pianerottolo.

「副詞句」「動詞句」「目的語」			
Salendo	サレント ジェルンディオ・同時(salire)adv.	登りながら	「副詞句」
le scale	レ・スカレ pl(scala).n.f	階段を	「目的語」
bùie,	ブーエ adj(bùio).f.pl	暗い	「形容詞」
ho urtato	オ・ウルトート 1 単現・完了形(urtare)v.t	ぶつかった、鉢合わせした	「動詞句」
il vecchio Salamano,	イル・ヴェッキオ・サマノ n.m	サラmano老人と	「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

il mio vicino イル・ミオ・ヴィチーノ n.m (同格) 僕の隣人の 「形容詞句」

di pianerottolo. ディ・ピッパネットロ

adj. 階段の踊り場の、同じ階の 「形容詞句」

鉢合わせ

思いがけなく出会う事

犬と一緒にいた。彼らが一緒にいるのを見かけて8年になる：そのスパニエル犬は疥癬だと思うが皮膚病で、犬はほとんど毛が抜け、全身が吹き出物やかさぶたで覆われている。

Era col suo cane. Sono otto anni che li si vede insieme. Lo spaniel ha una malattia della pelle, la rogna, credo, che gli fa perdere quasi tutto il pelo e lo copre di placche e di croste scure.

「動詞」「副詞句」 | 「動詞」「補語」「副詞節」: 「主語」「動詞」「目的語」, 「動詞」,

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e 「目的語」「動詞」「副詞句」

Era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」

col コル prep (con+il) (様態) ~と一緒に 「副詞句」

suo cane. スー・カーネ n.m 彼の犬 「目的語」

Sono ソーノ 3 複現(essere)v.i ~である 「動詞」

Sono 時間 che... 「~してから(時間)になる」

otto anni オット・アノ pl(anno).n.m 8年 「補語」

che ケ conj. ~してから 「副詞節」

li リ pron.pl 彼らを 「目的語」

si vede シ・ヴェデ 3 単現(vedersi)v.pr 人が見かける 「動詞句」

insieme: インシエーメ adv. 一緒にいる 「補語」

Lo spaniel ロ・スパニエル n.m そのスパニエル犬は 「主語」

ha ア 3 単現(avere)v.t ~がある 「動詞」

una malattia ウナ・マラッティアー n.f 疾患、病気 「目的語」

della pelle, デラ・ペッレ adv. 皮膚に 「副詞句」

la rogna, ラ・ローニャ n.f 疥癬 「目的語」

credo, クレド 1 単現(crédere)v.t 思うのだが 「動詞」

che ケ pron それが 「主語」

gli リ pron 彼の 「間接目的語」

fa perdere ファ・ペールデレ 3 単現・使役(fare+不定詞)v.t 失わせた 「動詞句」

quasi tutto il pelo クワジ・トゥット・イル・ペーロ n.m ほとんどの毛が 「直接目的語」

e エ conj. そして

lo ロ pron 犬を 「目的語」

copre コプレ 3 単現(coprire)v.t(di で) 覆っている 「動詞」

di placche ディ・ブラッケ adv.(placcha) (手段) 斑点、吹き出物で 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

e エ conj. そして

di cròste scure. ティ・クロス・スクレ adv. (手段) くすんだかさぶた 「副詞句」

cròsta クロスタ n.f. かさぶた scuro スクロ adj. 黒っぽい、くすんだ

狭い部屋で犬と一緒に暮らしてきたので、サラマノ老人はついにその犬に似てきた。

A forza di vivere con lui, tutt'e due insieme in una stanzetta, il vecchio Salamano ha finito per somigliargli. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」

A forza di + (不定詞/動作名詞) ア・フォルツァ・ディ

adv. (反復行為) ~のあげく、~し続けたお陰で 「副詞句」

vivere ヴィーヴレ 不定詞 v.i 暮らしている 「動詞」

con lui, コン・ルーイ adv. 犬と一緒に 「副詞句」

tutt'e due トゥッテ・トゥーエ adv. (= tutti e due) 2人とも 「副詞句」

insieme インシエメ adv. 一緒に 「副詞」

in una stanzetta, イン・ウナ・スタンツェッタ adv. 狭い部屋に 「副詞句」

il vecchio Salamano イル・ヴェッキオ・サラマノ n.m. サラマノ老人は 「主語」

ha finito per somigliargli. ア・フィニート・ペル・ソミリアル・リ 3 単現・完了形・ついに

(finire per+不定詞 somigliare+gli)v.t. ついには犬に似てきた 「動詞句」

老人の顔には赤みがかった瘡蓋があり、髪の毛は黄色でまばらだった。

Ha delle cròste rossastre sul viso e pelo giallo e rado.

「動詞」 「目的語」 「副詞句」 e 「目的語」

Ha ア 3 単現・存在(avére)v.t. ~がある 「動詞」

「主語」はサラマノ老人

delle cròste rossastre テレ・クロス・ロッサストレ pl.n.f. 赤みがかった瘡蓋 「目的語」

delle テレ部分冠詞 いくらかの cròste クロス pl(cròsta)n.f. かさぶた

rossastre ロッサストレ adj(rossastro).f.pl 赤みがかった

sul viso スル・ヴィツォ adv. 顔の上に 「副詞句」

e エ conj. そして

pelo ペロ n.m. 毛が 「目的語」

giallo e rado. ジャッロ・エ・ラト adj. 黄色でまばらな 「形容詞句」

PARTE PRIMA 第1部

犬のほうは、鼻づらを突き出して首を伸ばしてかがんで歩く仕草を主人から引き継いだ。

Il cane, da parte sua, ha preso dal padrone un modo di camminare tutto curvo, col muso in avanti e il collo teso. 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

Il cane, イル・カーネ n.m 犬は 「主語」
 da parte sua, ダ・パルテ・スア adv. 犬の方は 「副詞句」
 ha preso ア・プレゾ 3 単現・完了形(prèndere)v.t 引き受けた、身につけた 「動詞句」
 dal padrone ダル・パトローネ adv. 飼い主から 「副詞句」
 un modo ウン・モート n.m やり方を 「目的語」
 di camminare ディ・カミネレ 不定詞・目的 adj. 歩くための 「形容詞句」
 tutto curvo, トゥット・クルヴォ adv. かがんだ 「副詞句」
 col muso コル・ムーゾ adv. (様態) 鼻づらを～する 「副詞句」
 in avanti イン・アバンティ adv. 前方に 「副詞句」
 e エ conj. そして
 il collo イル・コッロ n.m 首を 「目的語」
 teso. テーソ adj. 伸ばされた 「形容詞」

彼らは同じ種族の様に見えるが、しかし互いに憎み合っている。

Sembrano della stessa razza e tuttavia si detestano.

「動詞」「補語」 e tuttavia 「動詞句」
 Sembrano センブラノ 3 複現(sembrare)v.i ～のように見える 「動詞」
 della stessa razza デラ・ステッサ・ラッサ adj. 同じ種族の 「補語」
 e エ conj. そして
 tuttavia トゥッタヴィア conj. それでも、しかし
 si detestano. シ・デテスタノ 3 複現(detestarsi)v.pr (相互) 互いに憎み合っている 「動詞句」

1 日に 2 回、11 時と 6 時に老人は犬を散歩に連れて行く。

Due volte al giorno, alle undici e alle sei, il vecchio porta il suo cane a passeggio.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」
 Due volte トゥエ・ヴォルテ pl(vólta).n.f 2 回 「副詞句」
 al giorno, アル・ジョルノ adv. (割合) 1 日に 「副詞句」
 alle undici アレ・ウンティチ adv. (時刻) 11 時に 「副詞句」
 e エ conj. そして
 alle sei, アレ・セイ adv. (時刻) 6 時に 「副詞句」
 il vecchio イル・ヴェッキオ n.m 老人は 「主語」
 porta ポルタ 3 単現(portare)v.t 連れて行く 「動詞」
 il suo cane イル・スオ・カーネ n.m 犬を 「直接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

a passeggiò. ア・パッセージョ adv. 散歩に

「間接目的語」

8年前からずっと、彼らは散歩コースを変えていない。

Da otto anni non cambiano il loro itinerario.

「副詞句」「動詞句」「目的語」

Da ダー prep (時間の起点) ~前からずっと

「副詞句」

otto anni オット・アニ pl(anno).n.m 8年

「目的語」

non cambiano ノン・カンビアーノ 3 複現・否定(cambiare)v.t 変えていない

「動詞句」

il loro itinerario. イル・ローロ・イネリアーノ n.m 散歩コースを、ルート、行程

「目的語」

リヨン通り沿いで、彼らを見かけることが出来るだろう。犬は人を引っ張り、結局サラマノ老人はつまづいて、犬を杖でたたき、ののしる。

Si può vederli lungo la rue di Lyon, il cane che tira l'uomo fino a che Salamano inciampa; allora il vecchio bastona il cane e lo insulta.

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「主語」「副詞節」

Si シ pron 人は

「主語」

può vederli プォ・ヴェデーレ・リ 3 単現・可能性(potére+不定詞 vedére+li)

v.t 彼らを見るだろう

「動詞句」

lungo la rue di Lyon, ルンゴ・ラ・リュ・ディ・リヨン adv. リヨン通り沿いで

「副詞句」

rue リュ n.f (フランス語) 通り via ヴィア n.f 通り、strada ストラダ n.f 道路

il cane イル・カーネ n.m 犬は

「主語」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

tira ティラ 3 単現(tirare)v.t 引っ張る

「動詞」

l'uomo ルォーモ n.m 人を

「目的語」

fino a che フィノ・ア・ケ conj. ~するまで、結局~する

「副詞節」

Salamano サラマノ n.m サラマノ老人は

「主語」

inciampa; インチャンパ 3 単現(inciampare)v.i つまづく

「動詞」

allóra アッローラ adv. すると、それでは

「副詞」

il vecchio イル・ヴェッキョ n.m 老人は

「主語」

bastona バストナ 3 単現(bastonare)v.t 杖でたたく

「動詞」

il cane イル・カーネ n.m 犬を

「目的語」

e エ conj. そして

lo ロ pron その犬を

「目的語」

insulta. インスルタ 3 単現(insultare)v.t 罵る、侮辱する

「動詞」

犬は怯えて地面に這いつくばって動かない。すると今度は老人が犬を引っ張る番になる。

Il cane s'accovaccia per il terróre e si impunta. A questo punto tocca al vecchio tirarlo.

「主語」「動詞句」「副詞句」 e 「動詞句」 | 「副詞句」「動詞」「間接目的語」「主語」
 Il cane イル・カーネ n.m 犬は 「主語」
 s'accovaccia サコヴァッチャ 3 単現(accovacciarsi)v.pr うずくまる、這いつくばる 「動詞句」
 per ペル prep (原因) ~のために 「副詞句」
 il terróre イル・テローレ n.m 恐怖、怯え 「目的語」
 e エ conj. そして
 si impunta. シ・インプンタ 3 単現(impuntarsi)
 v.pr (動物など) 足をふんばって歩こうとしない 「動詞句」
 A questo punto ア・クェスト・プント adv. 今度は、この時点で 「副詞句」
 tocca トッカ 3 単現(toccare)v.i(a の、に) (順番が) 当たる 「動詞」
 al vecchio アル・ヴェッキオ adv. 老人に 「間接目的語」
 tirarlo. チラール・ロ 不定詞(tirare+lo)n. 犬を引っ張ることは 「主語」

犬は今までの事を忘れるとまた主人を引っ張りはじめ、またしても殴られ、罵られる。

Quando il cane non se ne ricorda più, ricomincia a tirare il padrone e di nuovo è battuto e insultato.

「副詞節」, 「動詞句」「目的語」 e 「副詞句」「動詞句」
 Quando クワント conj. ~すると 「副詞節」
 il cane イル・カーネ n.m 犬が 「主語」
 non se ne ricorda più, ノン・セ・ネ・リコルダ・ピウ 3 単現・否定(ricordarsi+ più)
 v.pr もう覚えていない、忘れてしまう 「動詞句」
 ne は「主人にされた事」
 ricomincia a tirare リコミンチャ・ア・チラーレ 3 単現・再開(ricominciare a+不定詞 tirare)
 v.t また引っ張り始める 「動詞句」
 il padrone イル・パドローネ n.m 主人を 「目的語」
 e エ conj. そして
 di nuovo ディ・ヌオーヴォ adv. またしても 「副詞句」
 è battuto エ・バットウト 3 単現・受動(battere)v.t 殴られる 「動詞句」
 e エ conj. そして
 insultato. インスルタート 3 単現・受動(insultare)v.t 罵られる 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

そうすると両者とも歩道で立ち止まり、犬は恐怖ですくみ、人間は憎しみを露わにして、互いに睨み合う。

Allóra restano tutt'e due fèrmi sul marciapiède e si stanno a guardare, il cane pièno di terróre, l'uòmo di òdio. 「副詞」「動詞」「主語」「補語」 e 「動詞句」「副詞句」

Allóra アッローラ adv. そうすると 「副詞」

restano レスタノ 3 複現(restare)v.i. ~のままでいる、(ある状態に) なる 「動詞」

tutt'e due トゥッテ・ドゥエ pron.pl 両者とも 「主語」

(性別なし) tutti e due (tutt'e due) (女性ばかり) tutte e due

fèrmi フェールミ adj(férmo).m.pl 動かない 「補語」

sul スル prep (位置) ~の上で 「副詞句」

marciapiède マルチャピエーテ n.m 歩道 「目的語」

e エ conj. そして

si stanno a guardare, シ・スタンノ・ア・グァルダレ 3 複現・継続・相互(stare a+不定詞 guardarsi)

v.pr 互いに睨み合う 「動詞句」

il cane イル・カーネ n.m (様態) 犬は~の状態で 「副詞句」

pièno di ピエノ・ディ adv. ~でいっぱい 「副詞句」

terróre, テローレ n.m 恐怖 「目的語」

l'uòmo ルオーモ n.m (様態) 人間は~の状態 「副詞句」

di òdio. ディ・オーディオ adv. 憎しみで一杯 「副詞句」

毎日がこんな調子だ。犬が小便をしたがると、老人は犬に時間を与えずに、犬を引っ張る。すると犬は、自分の後ろに一筋の水滴の跡を残していく。

È così tutti i giórni. Quando il cane vuole orinare, il vècchio non gliene lascia il tèmpo e lo tira, e lo spaniel semina diètro di sé una scia di goccioline.

「動詞」「補語」「主語」 | 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」

E 「目的語」「動詞」, e 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

È エ 3 単現(essere)v.i. ~である 「動詞」

così コシ adv. このような 「補語」

tutti i giórni. トゥッティ・ジヨルニ pl(giórno).n.m 毎日が 「主語」

Quando クワント conj. ~すると 「副詞節」

il cane イル・カーネ n.m 犬が 「主語」

vole orinare, ヴォレ・オリーナレ 3 単現・願望(volére+不定詞 orinare)

v.i 小便したがる 「動詞句」

il vècchio イル・ヴェッキオ n.m 老人は 「主語」

non ...lascia ノン...ラッシャ 3 単現・否定(lasciare)v.t 与えない 「動詞句」

gliene リ・エネ pron 犬にそれを 「間接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

il tèmpo	イル・テンポ°	n.m	時間を	「直接目的語」
e	エ	conj.	そして	
lo	ロ	pron	犬を	「目的語」
tira,	チラ	3 単現(tirare)v.t	引っ張る	「動詞」
e	エ	conj.	そして	
lo spaniel	ロ・スパニエル°	n.m	スパニエル犬は	「主語」
semina	セミナ	3 単現(seminare)v.t	まき散らす	「動詞」
diètro di sé	ディエトロ・ディ・セ	adv.	自分の後ろに	「副詞句」
una scia	ウナ・シア	n.f	跡を	「目的語」
di goccioline.	ディ・ゴッチョーネ	adj.(goccio + -ina).pl.f	小さい水滴の	「形容詞句」

たまたま部屋の中で垂れ流したら、犬はまた殴られる。

Se per caso il cane sporca nélla càmera, è bastonato di nuòvo.

				「副詞節」, 「動詞句」 「副詞句」
Se	セ	conj.	もしなにならば	「副詞節」
per caso	ペル・カーゾ°	adv.	たまたま、偶然に、万一	「副詞句」
il cane	イル・カーネ	n.m	犬が	「主語」
sporca	スポルカ	3 単現(sporcare)v.t	汚す	「動詞」
nélla càmera,	ネラ・カメラ	adv.	部屋の中で	「副詞句」
è bastonato	エ・バストーナト	3 単現・受動.m(bastonare)v.t	殴られる	「動詞句」
di nuòvo.	ディ・ヌォーヴォ	adv.	また、再び	「副詞句」

こんな調子で、8年続いている。

Sono otto anni che dura questa stòria.

				「動詞」 「補語」 「主語」
Sono	ソーノ	3 複現(essere)v.i	(時間が) ~になる、~である	「動詞」
otto anni	オット・アニ	pl(anno).n.m	8年	「補語」
che	ケ	conj.	~ということは	「主語」
dura	ドゥラ	3 単現(durare)v.i	続いている	「動詞」
questa stòria.	クェスタ・ストーリア	n.f	この話が	「主語」

セレステはいつも「不幸な事だ」というが、結局は誰にも本当の事は分からない。

Celeste dice sempre che. “è una disgrazia”, ma in fondo chi può saperlo?

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」, ma 「副詞句」「主語」「動詞句」

Celeste チェステ n.m セレステは 「主語」

dice ディェ 3 単現(dire)v.t 言う 「動詞」

sempre センプレ adv. いつも 「副詞」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

“è 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

una disgrazia”, ウナ・ディズグラチア n.f 不幸（なこと） 「補語」

ma マ conj. しかし

in fondo イン・フォント adv. 結局は、本質的には 「副詞句」

chi キ pron 誰が 「主語」

può saperlo? プォ・サペール・ロ 3 単現・可能・疑問文・反語(potere+不定詞 sapere+lo)

v.t それを分かると言うのか?、分かるはずがない 「動詞句」

階段で出会ったとき、サラマノ老人は犬を怒鳴っているところだった。

Quando l’ho incontrato per le scale, Salamano stava insultando il cane.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」

Quando クワント conj. ～する時 「副詞節」

l’ ル pron 彼に 「目的語」

ho incontrato オ・インコントラート 1 単現・完了形(incontrare)v.t 出会った 「動詞句」

per le scale, ペル・レ・スカレ adv.(scala) 階段で 「副詞句」

Salamano サラマノ n.m サラマノ老人は 「主語」

stava insultando スターヴァ・インスルタント 3 単半・継続(stare+現在分詞 insultare)

v.t 怒鳴っていた 「動詞句」

il cane. イル・カーネ n.m 犬を 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

彼は犬に言った：「いまいましい死にぞこないめ！」そして、犬は呻いていた。僕は「こんにちは」と呼びかけたが、老人は犬を怒鳴り続けた

Gli diceva: “Maledétto! Carógna!” e il cane gèmeva. Io ho détto: “Buongiórno”, ma il vècchio ha continuato a insultarlo.

「間接目的語」「動詞」：《「罵倒」》e「主語」「動詞」

「主語」「動詞句」：《「挨拶」》,ma「主語」「動詞句」

Gli リ pron 犬に 「間接目的語」
diceva: ティチェヴァ 3 単半(dire)v.t 言っていた 「動詞」
“Maledétto! マレデット adj. いまいましい 「罵倒」
Carógna!” カーニャ n.f 老いぼれ、死にぞこない 「罵倒」
e エ conj. そして
il cane イル・カーネ n.m 犬は 「主語」
gèmeva. ジェメヴァ 3 単半(gèmere)v.i 呻いていた 「動詞」
Io イオ pron 僕は 「主語」
ho détto: オ・テット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
“Buongiórno”, ブォンジョルノ adv. こんにちは 「挨拶」
ma マ conj. しかし
il vècchio イル・ヴェッキオ n.m 老人は 「主語」
ha continuato a insultarlo. ア・コンチヌアート・ア・インスタル・ロ 3 単現・完了形・継続
(continuare a+不定詞 insultare+lo)v.t 犬を怒鳴り続けた 「動詞句」

そこで僕は犬が何をしたのかと彼に尋ねた。

Allóra gli ho chièsto còsa aveva fatto il cane.

「副詞」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Allóra アッローラ adv. それで 「副詞」
gli リ pron 彼に 「間接目的語」
ho chièsto オ・キェスト 1 単現・完了形(chièdere)v.t 尋ねた 「動詞句」
còsa コーサ pron(che còsa の省略形) ～をするかということを 「直接目的語」
aveva fatto アヴェヴァ・ファット 3 単半・完了形(fare)v.t した、やった 「動詞句」
il cane. イル・カーネ n.m 犬が 「主語」

PARTE PRIMA 第1部

彼は僕に答えず、ただ言った：「死にぞこないの畜生！」

Lui non mi ha risposto. Diceva soltanto: “Maledétto! Carógna!”

「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」 | 「動詞」「副詞」：《「罵声」》

Lui ルー pron 彼は 「主語」

non ...ha risposto. ノン...ア・リスポ スト 3 単現・完了形・否定(rispondere)

v.t 答えなかった 「動詞句」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

Diceva ディチェヴァ 3 単半(dire)v.t 言った 「動詞」

soltanto: ソルタント adv., ただ、～のみ 「副詞」

“Maledétto! マレデット adj. 畜生、いまいましい 「罵声」

Carógna!” カローニャ n.f 死体、老いぼれ 「罵声」

彼は犬の上に屈みこんで、首輪のどこかを調整しているようだった。

Era chino sul cane e doveva essere occupato a sistemargli qualcòsa nel collare.

「動詞」「補語」 e 「動詞句」「目的語」

Era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった 「動詞」

chino キノ adj. 傾いた、曲がった 「補語」

sul cane スル・カーネ adv. 犬の上に 「副詞句」

e エ conj. そして

doveva essere occupato a sistemargli トゥェーヴァ・ア・エッセレ・オックハート・ア・システマル・リ

3 単半・推量・受動・従事(dovére+不定詞・受動 occupare a+不定詞)

v.i 犬の整理をするのに専念していたに違いない 「動詞句」

qualcòsa クワルコーサ pron 何かを 「目的語」

nel collare. ネル・コラーレ adv. 首輪の 「副詞句」

僕は少し大きな声で尋ねた。すると、彼は振り返らずに、怒りを押し殺したような口調で僕に答えた：
「まったく動かない」

Ho parlato più forte. Allora, senza voltarsi, mi ha risposto con una specie di fùria repressa: “è sempre qui.”

「動詞句」「副詞句」

「副詞句」, 「間接目的語」「動詞句」「副詞句」: 《「動詞」「副詞句」》

Ho parlato オ・パ^ルラート 1 単現・完了形(parlare)v.i 話した、尋ねた 「動詞句」
più forte. ヒ^ウ・フォルテ adv. 少し大きな声で 「副詞句」
Allora, アッローラ adv. すると 「副詞」
senza voltarsi, センツァ・ヴォルタルシ adv. (様態) 振り向かずに 「副詞句」
mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
ha risposto ア^{リス}ト 3 単現・完了形(rispondere)v.i 答えた 「動詞句」
con コン prep (手段) 〜で 「副詞句」
una specie di ウナ^{スペ}・エ^ティ adj. 〜のような 「形容詞句」
fùria フーリア n.f 怒り 「目的語」
repressa: レ^プ・レッサ adj(represso).f 押し殺した 「形容詞」
“è エ 3 単現(essere)v.i 〜である 「動詞」
sempre センブレ adv. ずっと、相変わらず 「副詞」
qui.” キ adv. ここに 「副詞」
→ ずっとここに居る→ 動かない

それから老人は犬を引っ張って出て行った。犬は 4 つ足を突っ張ったまま引きずられて、
呻いていた。

Poi se n'è andato tirando la bestia che si lasciava trascinare sulle quattro zampe, e piangeva.

「副詞」「動詞句」「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」 e 「動詞」

Poi ポーイ adv. それから 「副詞」
se n'è andato セ^ネ・アンダー 3 単現・移動・完了形(andarsene)v.pr 出て行った 「動詞句」
tirando チラント ジェルンディオ・同時(tirare)adv. 引っ張って 「副詞句」
la bestia ラ^ベスチア n.f 獣を、犬を 「目的語」
che ケ pron その犬は 「主語」
si lasciava trascinare シ^ラッシャーガ^ア・トラッシャーレ 3 単半・放任(lasciarsi+不定詞 trascinare)
v.pr 引きずられるに任せた 「動詞句」
sulle quattro zampe, スレ^クワットロ^ツアンパ[°] adv. 4 つ足の上で、足を突っ張って 「副詞句」
e エ conj. そして
piangeva. ヒ^アンジ^エウ^ア 3 単半(piangere)v.i 呻いていた 「動詞」

丁度その時、同じ階の別の住人がアパートに入って来た。

Pròprio in quel moménto è entrato in casa l'altro mio vicino di pianerottolo.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」「主語」

Pròprio プロプリオ adv. ちょうど、まさに

「副詞」

in quel moménto イン・ケル・モメント adv. その時に

「副詞句」

è entrato エ・エントラート 3 単現・完了形(entrare)v.i 入って来た

「動詞句」

in casa イン・カサ adv. 建物に、アパートに

「副詞句」

l'altro mio vicino ラルトロ・ミオ・ビシーノ pron 別の住人が、隣人が

「主語」

di pianerottolo. ディ・ピアネロットロ adj. 同じ階の

「形容詞句」

pianerottolo ピアネロットロ n.m (階段の) 踊り場、(集合住宅の) 同じ階

集合住宅

集合住宅とは、1 棟の建物内に複数の住戸が区画され、各区画がそれぞれ独立した住宅をいう。一般的には、マンション、アパートなどの総称。

各住戸に含まれる「専用部分」と、そこに住む住人が共同で使用する、エントランス、エレベーター、管理人室、集会室、共用廊下などの「共用部」とに分けられる。

彼はこの界限では、女を食い物にしているという噂だ。

Nel ríone dicono che è uno sfruttatóre di dónne.

「副詞句」「動詞」「目的語」

Nel ríone ネル・リオーネ adv. 近所で、この界限で

「副詞句」

dicono ディコノ 3 複現(dire)v.t 言っている

「動詞」

受動態に翻訳する

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

è エ (èssere)v.i (彼は) ～である

「動詞」

uno sfruttatóre ウノ・スフルタートレ n.m 搾取者、他人を食い物にする人、ひも「補語」

di dónne. ディ・ドンネ adj.(dónna) 女の

「形容詞句」

本人に仕事を尋ねると、「倉庫番」と答えたそうだ。

Lui, quando gli si domanda che còsa fa, dice che è magazzinière.

「主語」, 「副詞節」, 「動詞」「目的語」

Lui, ルーイ pron 彼は

「主語」

quando クワント adv. ～する時

「副詞節」

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

si domanda シ・トマンダ 3 単現(domandarsi)v.pr 誰かが尋ねる

「動詞句」

che còsa ケ・コサ pron 何を～するかということ

「直接目的語」

fa, ファ 3 単現(fare)v.t している

「動詞」

dice ディチェ 3 単現(dire)v.t 言う、答える

「動詞」

PARTE PRIMA 第1部

che ケ conj. ～ということを	「目的語」
è エ 3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
magazzinière. マガジニエーレ n.m 倉庫係、倉庫番、倉庫管理者	「補語」

概して、彼は人からあまり好かれない。

Per lo più la gente non gli vuol bene.

「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」

Per lo più ヘル・ロ・ピウ adv. 概して	「副詞句」
la gente ラ・ヘンテ n.f 世間の人	「主語」
non ...vuol ノン...ヴオル 3 単現・否定(volére)v.t 望まない	「動詞句」
gli リ pron 彼のために	「間接目的語」
bene. ベーネ n.m 幸福を	「直接目的語」
→ volére bene 「～を好む」	

だが、僕たちは良く話し合うし、時々彼は僕の部屋に立ち寄っていく。それは僕が彼の話を聞いてやるからだ：僕は彼の話は面白いと思う。

Ma parliamo spesso insieme e qualche volta passa un momento da me perché io lo sto ad ascoltare: trovo che quel che dice è interessante.

Ma 「動詞」「副詞句」 e 「副詞句」「動詞」「副詞句」「副詞節」：「動詞」「目的語」

Ma マ conj. しかし

parliamo パルリアーモ 1 複現(parlare)v.i 話をする	「動詞」
spesso スペッツ adv. たびたび	「副詞句」
insieme インシエーメ adv. 一緒に	「副詞」
e エ conj. そして	
qualche volta クワルケ・ヴァールタ adv. 時々	「副詞句」
passa パッサ 3 単現(passare)v.i 立ち寄っていく	「動詞」
un momento ウン・モメント adv. 短時間、少しの間	「副詞句」
da me ダ・メ adv. (場所) 僕の部屋に	「副詞句」
perché ヘルケ conj. (理由) ～なので	「副詞節」
io イオ pron 僕が	「主語」
lo ロ pron 彼の話を	「目的語」
sto ad ascoltare: スト・アト・アスコルターレ 1 単現・継続・習慣(stare a+不定詞 ascoltare)	
v.t いつも聞く	「動詞句」
trovo トロヴァ 1 単現(trovare)v.t(che ～と) 思う	「動詞」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
quel ケル pron それは	「主語」

PARTE PRIMA 第1部

che ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
dice ディチェ 3 単現(dire)v.t 言う	「動詞」
è エ 3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
interessante. インテレサンテ adj. 面白い	「補語」

それに、彼と話さない理由は無い。彼はレーモン・サンテスという名前だ。

Del resto non ho alcuna ragione di non parlargli. Si chiama Raimondo Synthés.

	「副詞句」「動詞句」「目的語」 「動詞句」「補語」
Del resto デル・レスト adv. だがしかし、とは言っても	「副詞句」
non ho ノ・ノ 1 単現・否定(avere)v.t ～が無い	「動詞句」
alcuna ragione アルカーナ・ラジオーネ n.f (否定文で) いかなる理由も～ない	「目的語」
di +不定詞 ディ adj. (同格) ～しないと言う	「形容詞句」
non parlargli. ノン・パルラル・リ 不定詞・否定(parlare+gli)	
v.i 彼と話さない	「動詞句」
Si chiama シ・キアム 3 単現(chiamarsi)v.pr ～という名前だ	「動詞句」
Raimondo Synthés. ライモンド・シテス n.m レーモン・サンテス	「補語」

背はかなり低い、肩幅は広く、鼻はボクサーのように潰れている。

<u>È piuttosto basso, con spalle quadrate e un naso da pugile.</u>	「動詞」「補語」「副詞句」
È エ 3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
piuttosto ピウットースト adv. かなり、けっこう	「副詞」
basso, バッソ adj. (背が) 低い	「補語」
con コン prep (様態) ～をしている	「副詞句」
spalle スパッレ pl(spalla).n.f 肩	「目的語」
quadrate クワドラーテ adj(quadrato).f.pl たくましい	「形容詞」
e エ conj. そして	
un naso ウン・ナソ n.m 鼻	「目的語」
da ダ prep (特徴) ～の	「形容詞句」
pugile. プージレ n.m ボクサー	「目的語」

いつも身なりはきちんとしている。

<u>È sempre vestito molto decentemente.</u>	「動詞」「補語」
È エ 3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
sempre センプレ adv. いつも	「副詞」
vestito ヴェスチート adj. (衣装を) 着た	「補語」
molto decentemente. モルト・デチェンテメンテ adv. とても上品に	「副詞句」

彼もサラマノについて言った：「不幸な事だ！」彼は僕に嫌気がささないかと尋ねたので、僕はそんなことはないと答えた。

Anche lui mi ha détto, parlando di Salamano: “Guarda un po’ che disgrazia!” Mi ha chiesto se non mi faceva schifo e gli ho rispósto di no.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」：《「動詞」「目的語」》

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e 「間接目的語」「動詞句」「副詞句」

Anche lui	アンケ・ルーイ	pron	彼も	「主語」
mi	ミ	pron	僕に	「間接目的語」
ha détto,	ア・デット	3 単現・完了形(dire)v.t	言った	「動詞句」
parlando	パ・ラント	現在分詞 adv.(di ～のことを)	話して	「副詞句」
di Salamano:	ディ・サラマノ	adv.	サラマノのことを	「目的語」
“Guarda	グ・ワルダ	命・2 単現(guardare)v.t	見よ！、ちょっと！	「動詞」
un po’ che disgrazia!”	ウン・ポ・ケ・ディズ・グラツィア	n.f	なんという不幸を	「目的語」
Mi	ミ	pron	僕に	「間接目的語」
ha chiesto	ア・キスト	3 単現・完了形(chiedere)v.t	尋ねた	「動詞句」
se	セ	conj.	～かどうかということ	「直接目的語」
non ...faceva	ノン...ファチェヴァ	3 単半・否定・時制の一致(fare)		
	v.t		引き起こさない	「動詞句」
mi	ミ	pron	僕に	「間接目的語」
schifo	スキフォ	n.m	嫌悪感を、いやな気分	「直接目的語」
e	エ	conj.	そして	
gli	リ	pron	彼に	「間接目的語」
ho rispósto	オ・リスポスト	1 単現・完了形(rispondere)v.i(di ～と)	答えた	「動詞句」
di no.	ディ・ノ	adv.	いや	「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

僕たちは一緒に階段を上がった。別れ際に彼が僕に言った：「腸詰があるんだ...それにワインも」

Siamo saliti insieme e stavo per lasciarlo quando mi ha detto: “Ho dei sanguinacci, da me, e del vino. 「動詞句」「副詞句」 e 「動詞句」「副詞節」:

《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「間接目的語」, e 「目的語」

Siamo saliti シアーモ・サリーチ 1 複現・完了形(pl(salire)v.i 上がった 「動詞句」

insieme インシエーメ adv. 一緒に 「副詞句」

e エ conj. そして

stavo per lasciarlo スターヴ・ォ・ペル・ラッシャー・ロ 1 単半・寸前(stare per+不定詞 lasciare+lo)

v.i 彼と別れるところだった 「動詞句」

stare(essere) per+不定詞 ~するところだ 「fare per+不定詞」 も同じ意味

quando クワンド conj. その時~する 「副詞節」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha detto: ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

“Ho オ 1 単現(avére)v.t ~がある 「動詞」

dei sanguinacci, デイ・サンガ・イッチ pl(sanguinaccio).n.m (豚の血と脂の) 腸詰 「目的語」

da ダ prep (対象) ~に 「副詞句」

me, メ pron 僕 「目的語」

e エ conj. そして

del vino. デル・ビーノ n.m ワイン 「目的語」

「ちょっと食べに来ませんか？」これで夕食を作らなくて済むと思い、誘いを受け入れた。

Non vuol venire a mangiare un boccone?” Ho pensato che questo mi evitava di preparare la cena, e ho accettato. 《「動詞句」「目的語」》「動詞句」「目的語」, e 「動詞句」

Non vuol venire a mangiare ノン・ヴオル・ヴェニエーレ・ア・マンジヤーレ 3 単現・願望・疑問文・否定・勧誘

(volére+不定詞 venire a+不定詞 mangiare)

v.i 食べに来ませんか? 「動詞句」

un boccone? ウン・ボッコネ n.m 一口分、少量 「目的語」

Ho pensato オ・ペンサート 1 単現・完了形(pensare)v.t(che ~と) 考えた 「動詞句」

che ケ conj. ~ということ 「目的語」

questo クェスト pron これは 「主語」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

evitava エヴァターヴァ 3 単半・推量(evitare)

v.t(di+不定詞) ~しないようにするだろう 「動詞」

di preparare デイ・プレパラーレ 不定詞・mi の動作 v.t 調理する 「補語」

la cena, ラ・チェナ n.f 夕食 「目的語」

e エ conj. そして

PARTE PRIMA 第1部

ho accettato. オ・アツェッタート 1 単現・完了形(accettare)v.t 受け入れた 「動詞句」

彼のところも寝室が一つに、窓の無い台所が付いていた。

Anche lui ha soltanto una camera con una cucina senza finestra.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」

Anche lui アンケ・ルーイ pron 彼も 「主語」

ha ア 3 単現(avére)v.t 〜がある 「動詞」

soltanto ソルタント adv. 〜だけ 「副詞」

una camera, ヲ・カメラ n.f 寝室が一つ、一部屋 「目的語」

con una cucina コン・ヲ・クチナ adv. 台所付きの 「副詞句」

senza finestra. センツァ・フィネストラ adv. 窓の無い 「副詞句」

ベッドの上の壁に、白とバラ色の漆喰の天使像と、名選手の写真が数枚と、ヌード写真が数枚飾ってあった。

Sopra il suo letto c'è un angelo di stucco bianco e rosa, delle fotografie di campioni e due o tre ritratti di donne nude.

「副詞句」「動詞句」「主語」

Sopra ソープラ prep (位置) 〜の上方に 「副詞句」

il suo letto イル・スー・レッテ n.m ベッド 「目的語」

c'è チェ 3 単現・存在(esserci)v.i 〜がある 「動詞句」

un angelo ウン・アンジェロ n.m 天使像、天使 「主語」

di stucco ディ・ストゥッコ adj. (材料) 漆喰の 「形容詞句」

bianco e rosa, ビアンコ・エ・ローサ adj. 白とバラ色の 「形容詞句」

delle fotografie デッレ・フォトグラフィエ pl(fotografia).n.f 数枚の写真 「主語」

di campioni ディ・カンピオーネ adj.(campione) 名選手の 「形容詞句」

e エ conj. そして

due o tre ritratti ツェ・オ・トレ・リトラッティ pl(ritratto).n.m 2〜3 枚の肖像写真 「主語」

di donne nude. ディ・ドンネ・ヌーデ adj.(donna nuda) 裸の女の 「形容詞句」

部屋は汚く、ベッドは乱れたままだった。

La camera era sporca e il letto disfatto.

「主語」「動詞」「補語」 e 「主語」「補語」

La camera ラ・カメラ n.f 部屋は 「主語」

era エ 3 単半(essere)v.i 〜だった 「動詞」

sporca スポールカ adj(spòrco).f 汚い、汚れた 「補語」

e エ conj. そして

il letto イル・レット n.m ベッドは 「主語」

disfatto. デイスファット 過去分詞(disfare)adj. ベッドメイキングしていない 「補語」

PARTE PRIMA 第1部

彼はまず石油ランプに火をつけた。そしてポケットから汚れた包帯を取り出して右手に巻き始めた。

Prima ha acceso la lampada a petrolio, poi ha tirato fuori di tasca una benda di colore incerto e si è messo a fasciarsi la mano destra.

「副詞」「動詞句」「目的語」,

「副詞」「副詞句」「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」

Prima プリーマ adv. まず 「副詞」

ha acceso ア・アチェツォ 3 単現・完了形(accendere)v.t つけた、点灯した 「動詞句」

la lampada ラ・ランパダ n.f ランプを 「目的語」

a petrolio, ア・ペトロリオ adv. (手段) 石油を使う 「副詞句」

poi ポーイ adv. それから 「副詞」

ha tirato ア・チラート 3 単現・完了形(tirare)v.t 取り出した 「動詞句」

fuori di tasca フォーリ・ディ・タスカ adv. ポケットから 「副詞句」

una benda ウナ・ベンタ n.f 包帯を 「目的語」

di colore incerto ディ・コロレ・インチェルト

adj. 汚れた、色がはっきりしない 「形容詞句」

e エ conj. そして

si è messo a fasciarsi シ・エ・メツ・ア・ファシャルシ 3 単現・完了形・開始(mettersi a+不定詞 fasciarsi)

v.pr ~を巻き始めた 「動詞句」

la mano ラ・マーノ n.f 手に 「目的語」

destra. デストラ adj(destro).f 右の 「形容詞」

彼にどうしたのか尋ねると、言いがかりをつけてきた奴と喧嘩をしたと答えた。

Gli ho chiesto che cosa avesse. Mi ha raccontato che aveva fatto a pugni con un tale che andava in cerca di grane.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Gli リ pron 彼に 「間接目的語」

ho chiesto オ・キエスト 1 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた 「動詞句」

che ケ conj. ~ということを 「直接目的語」

cosa コーサ pron 何が 「主語」

avesse. アヴェッセ 接・3 単半(avere)v.t ~があった 「動詞」

Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha raccontato ア・ラコンタート 3 単現・完了形(raccontare)v.t 語った 「動詞句」

che ケ conj. ~ということを 「直接目的語」

aveva fatto アヴェヴァ・ア・ファット 3 単半・完了形(fare)v.t (行為を) した 「動詞句」

a pugni ア・プーニ adv. (手段) こぶしを、喧嘩を、一撃を 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

con un tale コン・ウン・ターレ adv. (相手) 誰かと 「副詞句」
 che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 andava アンダーヴァ 3 単半(andare)v.i やって来た 「動詞」
 in cerca di イン・チェルカ・ディ
 prep (目的) ~を探して、~を求めて 「副詞句」
 grane. グラネ pl(grana).n.f (俗) 金 「目的語」

「ねえ、ムルソーさん」と、彼は僕に言った。「私は悪人なんかじゃない、ただ元気が良すぎるんです」

“Lèi mi capisce, signor Meursault,” mi ha detto, “non è mica che io sia cattivo, ma sono vivace.

《「呼びかけ」》, 「間接目的語」「動詞句」,
 《「動詞」「補語」, ma 「動詞」「補語」》

“Lèi レイ pron あなたは 「呼びかけ」

あまり親しくない相手に敬意を表したい場合に使う

mi ミ pron 私を 「目的語」
 capisce, カピシェ 3 単現(capire)v.t 分かる、理解する 「動詞」
 signor Meursault,” シニョール・ムルソー n.m ムルソーさん 「呼びかけ」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha detto, ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 “non è ノネ 3 単現・否定(essere)v.i ~でない 「動詞」
 mica ミカ adv. 全然~ない 「副詞」
 che ケ conj. ~ということ 「補語」
 io イオ pron 私が 「主語」
 sia シア 接・1 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
 cattivo, カッティヴァーヴォ n.m 悪人 「補語」
 ma マ conj. しかし、そうではなくて
 sono ソーノ 1 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
 vivace. ヴィヴァーチェ adj. 元気のよい 「補語」

PARTE PRIMA 第1部

「相手の奴が『男なら電車から降りろ』と言ったので、俺は『まあ落ち着け』と答えたんだ」

Quando quell'altro mi ha detto: 'Scendi dal tram se sei un uomo,' io gli ho risposto: 'Va là, va là, sta tranquillo.'

《「副詞節」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」: 「応答」》

Quando	クワント` conj. ~する時	「副詞節」
quell'altro	ケェルトロ pron 相手の奴が	「主語」
mi	ミ pron 俺に	「間接目的語」
ha detto:	ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
'Scendi	シェンディ 命・2 単現(scendere)v.i 降りろ!	「命令」
dal tram	タル・トラム adv. 電車から	「副詞句」
se	セ conj. もし~ならば	「副詞節」
sei	セイ 2 単現(essere)v.i ~である	「動詞」
un uomo,	ウン・ウオーモ n.m 男	「補語」
io	イ・オ pron 俺は	「主語」
gli	リ pron 奴に	「間接目的語」
ho risposto:	オ・リス`スト 1 単現・完了形(rispondere)v.i 答えた	「動詞句」
'Va là, va là,	ヴァ・ラ・ヴァ・ラ adv. まあまあ	「応答」
sta	スタ 命・2 単現(stare)v.i ~の状態でいる	「命令」
tranquillo.'	トランキョ adj. おとなしい、落ち着いた	「補語」

「奴は『俺は男じゃない』と言った」

Lui mi ha detto che non ero un uomo.

《「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」》

Lui	ル・イ pron 奴は	「主語」
mi	ミ pron 俺に	「間接目的語」
ha detto	ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
che	ケ conj. ~ということ	「直接目的語」
non ero	ノン・エロ 1 単半・時制の一致・否定(essere)v.i ~でない	「動詞句」
un uomo.	ウン・ウオーモ n.m 男	「補語」

PARTE PRIMA 第1部

それで俺は電車を降りて、奴に言ってやった：「やめておけ。その方があんたのためだ。さもなければ、一発食らわせるぞ」

Allóra sono sceso giù e gli ho detto: 'Piantala che è meglio per te, oppure ti curo io'.

「副詞」「動詞句」「副詞」 e 「間接目的語」「動詞句」:

《「命令」「主語」「動詞」「補語」 oppure 「目的語」「動詞」「主語」》

Allóra アッローラ adv. それで 「副詞」
sono sceso ソーノ・シェゾ 1 単現・完了形(scendere)v.i 降りた 「動詞句」
giù ジウ adv. 電車から下に 「副詞」
e エ conj. そして
gli リ pron 彼に 「間接目的語」
ho detto: オ・テット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
'Piantala ピアンタラ 命・2 単現(piantarla)v.t やめなさい 「命令」
che ケ pron それは 「主語」
è エ 3 単現(essere)v.i 〜である 「動詞」
meglio メリオ adj. より良い 「補語」
per te, ペル・テ adv. あなたにとって 「副詞句」
oppure オッポーレ conj. さもなければ
ti チ pron お前を 「目的語」
curo ケーロ 1 単現(curo)v.t 治療する、思い知らせてやる 「動詞」
io'. イオ pron 俺が 「主語」

奴は俺に言い返した：「何をだ？」それで、俺は奴に一発食らわせてやった。奴は倒れた。俺は起こしてやろうとしていたが、奴は地面に寝転がったままで俺を蹴りだした。

Lui mi ha risposto: 'Di còsa?' Allóra gliene ho mollato uno. È caduto. Io, stavo per tirarlo su. Ma lui, steso lì per terra, ha cominciato a tirare càlci.

「主語」「間接目的語」「動詞」:《「応答」》 | 「副詞」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」 | Ma 「主語」「副詞句」「動詞句」「目的語」

Lui ルーイ pron 奴は 「主語」
mi ミ pron 俺に 「間接目的語」
ha risposto: ア・リスポスト 3 単現・完了形(rispondere)v.i 言い返した 「動詞」
'Di còsa?' ディ・コサ adv. (手段) 何で?、どうやって、何を? 「応答」
Allóra アッローラ adv. それで 「副詞」
gliene リエ・ネ pron 彼に 「間接目的語」
ho mollato オ・モラート 1 単現・完了形(mollare)v.t 食らわした 「動詞句」
uno. ウーノ pron 一発を 「直接目的語」
È caduto. エ・カドゥート 3 単現・完了形(cadere)v.i 倒れた 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

Io, イオ pron 俺は 「主語」
 stavo per tirarlo su. スターヴォ・ペル・チラーロ 1 単現・近接未来(stare per+不定詞 tirare su+lo)
 v.t 奴を起こしてやろうとしていた 「動詞句」
 Ma マ conj. しかし
 lui, ルーイ pron 奴は 「主語」
 stéso ステソ adv. (様態) 寝転がった状態で 「副詞句」
 lì リ adv. そこに 「副詞」
 per tèrra, ペル・テッラ adv. 地面に 「副詞句」
 ha cominciato a tirare ア・コンチャート・ア・チラーレ 3 単現・完了形・開始(cominciare a+不定詞 tirare)
 v.t 蹴り始めた 「動詞句」
 càlci. カルチ pl(càlcio).n.m 蹴りを 「目的語」

それで膝蹴りを1発とかかと落としを2発お見舞いしてやった。

Allóra gli ho dato un cólpo di ginòcchio e due col tacco.

「副詞」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Allóra アッローラ adv. それで 「副詞」
 gli リ pron 奴に 「間接目的語」
 ho dato オ・ダート 1 単現・完了形(dare)v.t 与えた 「動詞句」
 un cólpo ウン・コルポ n.m 一撃 「直接目的語」
 di ginòcchio デイ・ジノッキオ adv. (手段) 膝で 「副詞句」
 e エ conj. そして
 due トゥエ pron 2 発 「直接目的語」
 col tacco. コル・タッコ adv. (手段) 靴のかかとで 「副詞句」

それで、奴の顔は血まみれさ。これで十分かと聞いてやった。

Aveva la faccia insanguinata. Gli ho chiesto se gli bastava.

「動詞」「目的語」 | 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Aveva アヴェヴァ 3 単半(avére)v.t (特徴) へになった 「動詞」
 la faccia ラ・ファッチャ n.f 顔 「目的語」
 insanguinata. インサングイナタ adj(insanguinato).f 血まみれの 「形容詞」
 Gli リ pron 奴に 「間接目的語」
 ho chiesto オ・キエスト 1 単現・完了形(chiédere)v.t 尋ねた 「動詞句」
 se セ conj. ～ということを 「直接目的語」
 gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 bastava. バスタヴァ 3 単半・時制の一致(bastare)v.i 十分である 「動詞」

PARTE PRIMA 第1部

奴は「ああ」と答えた。こう言っている間じゅう、サンテスは包帯を直していた。

Lui mi ha détto: ‘Sì.’ Durante tutto quèsto tèmpo Synthés metteva a pósto la sua fasciatura.

「主語」「間接目的語」「動詞句」:《「応答」》 | 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」
 Lui ルーイ pron 奴は 「主語」
 mi ミ pron 俺に 「間接目的語」
 ha détto: ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 ‘Sì.’ シ adv. ああ 「応答」
 Durante tutto quèsto tèmpo トゥランテ・トゥット・ケスト・テンポ° adv. この間じゅう 「副詞句」
 Synthés シンテス n.m サンテスは 「主語」
 metteva メッテヴァ 3 単半(mettere)v.t 貼っていた 「動詞」
 a pósto ア・ポ°スト adv. 本来の場所に 「副詞句」
 mettere a pósto 「正常化する、直す」
 la sua fasciatura. ラ・スーア・ファッシャトゥーラ n.f 包帯を 「目的語」

僕はベッドに腰掛けていた。彼が僕に言った:「わかるでしょう? 喧嘩を始めたのは俺じゃあない。
 奴がパンチを当てそこなったんだ」

Io ero seduto sul lètto. E mi ha détto: ‘L’èi vede che non sono stato io a provocarlo. È stato lui che ha mancato il colpo.’

「主語」「動詞句」「副詞句」 | E 「間接目的語」「動詞句」:
 《「主語」「動詞」「目的語」 | 「動詞句」「補語」「主語」》
 Io イーオ pron 僕は 「主語」
 ero seduto エロ・セドゥート 1 単半・完了形(sedére)v.i 座っていた 「動詞句」
 sul lètto. スル・レット adv. ベッドの上に 「副詞句」
 E エ conj. そして
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha détto: ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 “L’èi レーイ pron (敬称) あなたは、あんたは 「主語」
 vede ヴェデ° 3 単現(vedére)v.t 分かる 「動詞」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 non sono stato ノン・ソーノ・スタート 1 単現・完了形・否定(essere)
 v.i ～ではなかった 「動詞句」
 essere...a+不定詞 「～するのは... である」(強調構文)
 io イーオ pron 俺 「補語」
 a provocarlo. ア・プ°ロウ°ォカル°ロ 不定詞・原因 adv. それを引き起こしたのは 「副詞句」
 È stato エ・スタート 1 単現・完了形(essere)v.i ～である 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

èssere...che 「～ということは... である」(強調構文)
 lui ルー pron 奴だ 「補語」
 che ケ conj. ～ということは 「主語」
 ha mancato ア・マンカート 3 単現・完了形(mancare)v.t 失敗した 「動詞句」
 il colpo.” イル・コルポ n.m 一撃、殴打 「目的語」

その通りだ。僕もそれを認めた。

Era véro e l'ho riconosciuto anch'io. 「動詞」「補語」 e 「目的語」「動詞句」「主語」
 Era エラ 3 単半・時制の一致(èssere)v.i ～である 「動詞」
 véro ヴェロ adj. 正しい 「補語」
 e エ conj. そして
 l' lo pron それを 「目的語」
 ho riconosciuto オ・リコノシュート 1 単現・完了形(riconoscere)v.t 認めた 「動詞句」
 anch'io. アンキオ pron 僕も 「主語」

すると彼は僕に言った。その件で僕に助言を頼みたい。僕は世間を知っているから彼を助けられる、
 そうしたら兄弟分だ。

Allóra mi ha détto che per l'appunto voleva chiedermi un consiglio a proposito di quèlla faccènda, che io ero un uòmo che conosceva la vita, che potevo aiutarlo e che pòi lui sarèbbe stato mio amico. 「副詞」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Allóra アッローラ adv. それでは、じゃあ 「副詞」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha détto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 per l'appunto ペル・ラプント adv. まさしく、そのとおり 「副詞句」
 voleva chiedermi ヴォレヴァ・キエデル・ミ 3 単半・願望(volére+不定詞 chiedere+mi)
 v.t 僕に頼みたがっていた 「動詞句」
 un consiglio ウン・コンシーリオ n.m 助言を 「目的語」
 a proposito di ア・プロポシト・ディ prep (関連) ～に関して 「副詞句」
 quèlla faccènda, ケラ・ファチェンダ n.f その件 「目的語」
 che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 io イオ pron 僕は 「主語」
 ero エロ 1 単半・時制の一致(èssere)v.i ～である 「動詞」
 un uòmo ウン・ウオーモ n.m 男、人間 「補語」
 che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 conosceva コノシェヴァ 3 単半・時制の一致(conoscere)

PARTE PRIMA 第1部

v.t 知っている	「動詞」
la vita, ラ・ヴィータ n.f 浮世、世間	「目的語」
che ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
potevo aiutarlo ポテウヴォ・アイタル・ロ 1 単半・可能・時制の一致(potére+不定詞 aiutare+lo)	
v.t 彼を助けられる	「動詞句」
e エ conj. そして	
che ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
pòi ポーイ adv. その後、それから	「副詞」
lui ルーイ pron 彼は	「主語」
sarèbbe stato サレッパ・スタート 条・3 単現・完了形・過去における未来(èssere)	
v.i ～になるだろう	「動詞句」
mio amico. ミオ・アミーコ n.m 僕の友人	「補語」

僕が何も言わないでいると、彼は兄弟分になりたいかどうかとさらに尋ねてきた。

Io non ho détto niènte e lui mi ha chièsto ancóra se volevo essere suo amico.

「主語」「動詞句」「目的語」 e 「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞」「直接目的語」	
Io イオ pron 僕は	「主語」
non ho détto ノ・ノ・デット 1 単現・完了形・否定(dire)v.t 言わなかった	「動詞句」
niènte ニエンテ pron 何も～ない	「目的語」
e エ conj. そして	
lui ルーイ pron 彼は	「主語」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha chièsto ア・キェスト 3 単現・完了形(chièdere)v.t 尋ねた	「動詞句」
ancóra アンコーラ adv. さらに	「副詞」
se セ conj. ～かどうかということを	「直接目的語」
volevo essere ヴォレウヴォ・エッセレ 1 単半・願望・変化・時制の一致(volére+不定詞 essere)	
v.i ～になりたい	「動詞句」
suo amico. スーオ・アミーコ n.m 彼の兄弟分	「補語」

PARTE PRIMA 第1部

僕としてはどちらでも良いと答えた。すると彼は満足げな表情をした。

Gli ho detto che per me era lo stesso e lui ha avuto l'aria contenta

	「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e 「主語」「動詞句」「目的語」
Gli リ pron 彼に	「間接目的語」
ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
che ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
per me ペル・メ pron 僕にとっては	「副詞句」
era エ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である	「動詞」
lo stesso ロ・ステッソ pron どちらでも良い、同じこと	「補語」
e エ conj. そして	
lui ルーイ pron 彼は	「主語」
ha avuto ア・アヴェート 3 単現・完了形(avere)v.t (勘定など) 示した	「動詞句」
l'aria contenta ラーリア・コンテンタ n.f 満足な様子を	「目的語」

彼は腸詰を取り出して来て、フライパンでそれを炒めた。そしてグラスと皿とワインを2本テーブルに並べた。

Ha tirato fuori il sanguinaccio, l'ha fatto friggere nella padella, e ha preparato i bicchieri, i piatti e due bottiglie di vino.

	「動詞句」「副詞」「目的語」, 「目的語」「動詞句」「副詞句」, e 「動詞句」「目的語」
Ha tirato ア・チラート 3 単現・完了形(tirare)v.t(fuori) 取り出してきた	「動詞句」
fuori フォーリ adv. 外に	「副詞」
il sanguinaccio, イル・サンク・イッチョ n.m 腸詰を	「目的語」
l' ロ pron それを	「目的語」
ha fatto friggere ア・ファット・フリッジ・エレ 3 単現・完了形・使役(fare+不定詞 friggere) v.t 炒めた、焼いた	「動詞句」
nella padella, ネラ・パ・デッラ adv. フライパンの中で	「副詞句」
e エ conj. そして	
ha preparato ア・プレパレート 3 単現・完了形(preparare)v.t そろえた	「動詞句」
i bicchieri, イ・ビッキエーリ pl(bicchieri).n.m グラスを	「目的語」
i piatti イ・ピアッティ pl(piatto).n.m 皿	「目的語」
e エ conj. そして	
due bottiglie トゥエ・ボッティーリエ pl(bottiglia).n.f 2 本の瓶	「目的語」
di vino. ディ・ヴィーノ adj. ワインの「形容詞句」	

フランス語版では

彼は腸詰をいくつか取り出して、それをフライパンで炒めた。それから彼は、グラスと皿にナイフとフォーク、そしてワインを2本並べた。

PARTE PRIMA 第1部

Il a sorti du boudin, il l'a fait cuire à la poêle, et il a installé des verres, des assiettes, **des couverts** et deux bouteilles de vin.

この間ずっと無言だった。それから、僕たちはテーブルについた。食べながら、彼は自分の話を語り始めた。

Tutto questo in silenzio. Poi ci siamo messi a tavola. Mangiando ha cominciato a raccontarmi la sua storia.

「副詞句」 | 「副詞」「動詞句」「間接目的語」 | 「副詞」「動詞句」「目的語」

Tutto questo トット・ケスト adv. (様態) その間ずっと 「副詞句」

in silenzio. イン・シレンツィオ adv. 無言で 「副詞句」

Poi ポーイ adv. それから 「副詞」

ci siamo messi チ・シャモ・メッシ 1 複現・完了形(metteresi)v.pr 席についた 「動詞句」

a tavola. ア・ターヴァ 〇 adv. テーブルに 「間接目的語」

Mangiando マンジヤント ジェルンディオ・同時(mangiare)v.t 食べながら 「副詞」

ha cominciato a raccontarmi ア・コンチャート・ア・ラコンタル・ミ 3 単現・完了形・開始

(cominciare a+不定詞 raccontare+mi)v.t 僕に語り始めた 「動詞句」

la sua storia. ラ・スア・ストーリー n.f 彼の話を 「目的語」

最初は少しためらっていた:「ある女と付き合っているんだ... まあ、愛人というところだ」

In principio esitava un po': "Conoscevo una signóra... tant'è dire che era la mia amante..."

「副詞句」「動詞」「副詞句」:《「動詞」「目的語」 | 「主語」「補語」》

In イン prep (限定的な時間) ~のうちは、~の時に、~以内で 「副詞句」

principio プリンチーピオ n.m 始め、最初 「目的語」

esitava エシタヴァ 1 単半(esitare)v.i ためらっていた 「動詞」

un po': ウン・ポ adv.(= un pòco) 少し、ちょっと、わずかに 「副詞句」

"Conoscevo コノシェヴァ 〇 1 単半(conoscere)v.t 知り合っている、付き合っている 「動詞」

una signóra... ウナ・シニョーラ n.f ある女と 「目的語」

tant'è トンテ adv. 同じことだ 「補語」

→ 言ってみれば、まあ~ということ

dire ディール 不定詞 n. ~と言うことは 「主語」

che ケ conj. ~ということをして 「目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ~である 「動詞」

la mia amante...". ラ・ミア・アマンテ n.f 俺の愛人 「補語」

PARTE PRIMA 第1部

彼が殴り合った相手は、その女の兄弟だった。彼は自分が女の面倒を見ていたと言った。

L'uomo con cui aveva avuto la rissa era il fratello di quella donna. Lui la manteneva, ha detto. 「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「目的語」「動詞」, 「動詞句」

L'uomo ルーモ n.m その男は 「主語」

con cui コン・クーイ pron (間接目的語) ~する 「形容詞節」

aveva avuto アヴェーヴァ・アヴェート 3 単半・完了形(avére)

v.t (動作を) した 「動詞句」

la rissa ラ・リッサ n.f 殴り合いを 「直接目的語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」

il fratello イル・フラテッロ n.m 兄弟 「補語」

di quella donna. ディ・クェッラ・ドンナ adj. その女の 「形容詞句」

Lui ルーイ pron 彼は 「主語」

la ラ pron 彼女を 「目的語」

manteneva, マンテネヴァ 3 単半(mantenére)v.t 面倒を見ていた、扶養していた 「動詞」

ha detto. ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

僕は何も答えなかった。しかし彼はすぐに付け加えて言った。界限で自分について言われていることは知っているが、自分の良心に恥じることはない。自分は倉庫管理をしている。

Io non ho risposto niente, ma lui ha aggiunto subito che sapeva quel che dicevano di lui nel rióne, ma che gli bastava la sua coscienza e che lui faceva il magazzinière.

「主語」「動詞句」「目的語」,

ma 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」, ma 「目的語」 e 「目的語」

Io イーオ pron 僕は 「主語」

non ho risposto ノ・ウノ・リスポスト 1 単現・完了形・否定(rispondere)v.t 答えなかった 「動詞句」

niente, ニェンテ pron 何も~ない 「目的語」

ma マ conj. しかし

lui ルーイ pron 彼は 「主語」

ha aggiunto ア・アジエント 3 単現・完了形(aggiungere)v.t 付け加えた 「動詞句」

subito スービト adv. 「副詞」

che ケ conj. ~ということ 「目的語」

sapeva サペーヴァ 3 単半・時制の一致(sapére)v.t 知っている 「動詞」

quel che ケル・ケ pron そのことを 「目的語」

dicevano ディチェヴァノ 3 複半・時制の一致(dire)

v.t (人々が) 言っている 「動詞」

di lui ディ・ルーイ adv. 彼について 「間接目的語」

nel rióne, ネル・リオネ adv. 界限で 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

ma マ conj.	しかし	
che ケ conj.	～ということを	「目的語」
gli リ pron	彼にとって	「間接目的語」
bastava バスターヴァ 3 単半・時制の一致(bastare)v.i	十分である	「動詞」
la sua coscienza ラ・スア・コジエンサ n.f	自分の良心は	「主語」
e エ conj.	そして	
che ケ conj.	～ということを	「目的語」
lui ルーイ pron	彼は	「主語」
faceva ファチェヴァ 3 単半・時制の一致(fare)v.t	(仕事を) している	「動詞」
il magazzinoiere. イル・マガジニエレ n.m	倉庫管理	「目的語」

「自分のことを考えてみて」と、彼は僕に言った、「不正があると、気づいたんだ」

“Per venire alla mia faccenda,” mi ha detto, “mi sono accorto che c’era del màrcio.”

《「副詞句」》, 「間接目的語」「動詞句」, 《「動詞句」「目的語」》

“Per +不定詞 ペル adv.	(結果) ～すると	「副詞句」
venire ヴェニレ 不定詞 v.i	来る	「動詞」
alla mia faccenda,” アラ・ミーア・ファチェンダ” adv.	自分の状況	「目的語」
mi ミ pron	僕に	「間接目的語」
ha detto, ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t	言った	「動詞句」
“mi sono accorto ミ・ソノ・アッコールト 1 単現・完了形(accòrgersi)v.pr	気付いた	「動詞句」
che ケ conj.	～ということを	「目的語」
c’era チェーラ 3 単半・存在(esserci)v.pr	～がある	「動詞句」
del màrcio.”デル・マルチョ n.m	不正が、腐敗が	「主語」

「彼は生活に必要なだけの物を女に与えていた。」

<u>Lui le dava il necessario per vivere.</u>	《「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》
Lui ルーイ pron 彼は	「主語」
le レ pron 女に	「間接目的語」
dava ダヴァ 3 単半(dare)v.t 与えていた	「動詞」
il necessario イル・ネッサーリオ n.m 必要な物を	「直接目的語」
per vivere. ペル・ヴィーヴェレ 不定詞・目的 adv. 生活するために	「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

「女の家賃は彼が支払っていた。さらに、食費として1日について20フラン渡していた。」

Pagava lui l'affitto della camera e le dava venti franchi al giorno per mangiare.

《「動詞」「主語」「目的語」 e 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」》

Pagava パガバ 3単半(pagare)v.t 払っていた 「動詞」
 lui ルーイ pron 彼が 「主語」
 l'affitto ラフィット n.m 家賃を 「目的語」
 della camera デラ・カメラ adj. 部屋の 「形容詞句」
 e エ conj. そして
 le レ pron 女に 「間接目的語」
 dava ダヴァ 3単半(dare)v.t 与えていた 「動詞」
 venti franchi ヴェンチ・フランキ pl(franco).n.m 20フラン 「直接目的語」
 al giorno アル・ジヨルノ adv. 1日について 「副詞句」
 per mangiare. ペル・マンジヤレ 不定詞・目的 adv. 食べるために 「副詞句」

「家賃に300フラン、食費に600フランそして、時々は靴下を買ってやる。これですぐ1000フランになる」

“Trecento franchi di camera, seicento di mangiare, un paio di calze di tanto in tanto, son subito mille franchi.

《「主語」「動詞」「補語」》

“Trecento franchi トレセント・フランキ pl(franco).n.m 300フラン 「主語」
 di camera, ディ・カメラ adj. (目的) 家賃に 「形容詞句」
 seicento セイチェント pl(franco).n.m 600フラン 「主語」
 di mangiare, ディ・マンジヤレ adj. (目的) 食費に 「形容詞句」
 un paio di calze ウン・パーイオ・ディ・カルツァ n.m 靴下を1足 「主語」
 paio パーイオ n.m 1対、1組 calza カルツァ n.f ソックス、靴下
 di tanto in tanto, ディ・タント・イン・タント adv. 時々 「副詞句」
 son ソン 3複現・変化(essere)v.i ~になる 「動詞」
 subito スービト adv. たちまち、すぐに 「副詞」
 mille franchi. ミルレ・フランキ pl(franco).n.m 1000フラン 「補語」

「そして奥様は働かずに、俺が渡している金だけで生活するのはぎりぎりだと言う。」

E madama non lavorava, ma mi diceva che era appena appena, che non ci stava dentro con quel che le dava.

《E「主語」「動詞」,ma「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

E エ conj. そして
 madama マダマ n.f 奥様は 「主語」
 non lavorava, ノン・ラヴァ・オーヴァ 3単半・時制の一致(lavorare)v.i 働かない 「動詞」
 ma マ conj. しかし

PARTE PRIMA 第1部

mi ミ pron 俺に	「間接目的語」
diceva ディチェヴァ 3 単半・時制の一致(dire)v.t 言う	「動詞」
che ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である	「動詞」
appena appena, アッペーナ・アッペーナ adv. だろうじて、やっと	「補語」
che ケ conj. ～ということは	「主語」
non ci stava ノン・チ・スターヴァ 3 単半・時制の一致(starci)	
v.pr 生活する	「動詞句」
non は虚辞	
déntro con quél デントロ・コン・ケル adv. その中で	「副詞句」
che ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
le レ pron 彼女に	「間接目的語」
davo. ダヴォ 1 単半(dare)v.t 与えた	「動詞」

そして、あいつには言っていたんだ：「どうして半日でも働かないんだ？そうすれば、細々したことが楽になるのに」

E pensare che le dicevo: ‘Ma perché non lavori una mezza giornata? Mi solleveresti molto per tutte le piccole cose.

E 「動詞」「目的語」：《Ma 「副詞」「動詞句」「目的語」 「目的語」「動詞」「副詞句》	
E エ conj. そして	
pensare ペンサレ 不定詞 v.t 考える	「動詞」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
le レ pron 奴に	「間接目的語」
dicevo: ディチェヴォ 1 単半(dire) 言っていた	「動詞」
‘Ma マ conj. しかし	
perché ペルケ adv. どうして	「副詞」
non lavori ノン・ラヴォーリ 2 単現・否定(lavorare)v.i 働かない	「動詞句」
una mezza giornata? ウナ・メツァ・ジォルナータ n.f 半日	「目的語」
Mi ミ pron 俺を	「目的語」
solleveresti ソレヴェステイ 条・2 単現・推量(sollevare)v.t (重荷を) 軽減するだろう	「動詞」
mólto モルト adv. 非常に	「副詞」
per tutte le piccole cose. ペル・トゥッテ・レ・ピッコレ・コーセ	
adv. (関連) 細々したことについて	「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

「今月はお前に服を買ってやったし、1日につき20フランやっている。その上お前の家賃も俺が払っている。それなのにお前は午後に友達とコーヒーを飲んでいる。」

Ti ho comprato un vestito questo mese, ti do venti franchi al giorno, ti pago l'affitto, e tu bevi il caffè il pomeriggio con le tue amiche.

《「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「副詞句」, 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」, 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 e 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」》

Ti	チ pron	お前には	「間接目的語」
ho comprato	オ・コンプ ラート	1 単現・完了形(comprare)v.t	「動詞句」
un vestito	ウン・ヴェスティート	n.m	「直接目的語」
questo mese,	クェスト・メセ	adv.	「副詞句」
ti	チ pron	お前には	「間接目的語」
do	ト	1 単現(dare)v.t	「動詞」
venti franchi	ヴェンチ・フランキ	pl(franc).n.m	「直接目的語」
al giorno,	アル・ジヨルノ	adv.	「副詞句」
ti	チ pron	お前のために	「間接目的語」
pago	パゴ	1 単現(pagare)v.t	「動詞」
l'affitto,	ラフィット	n.m	「直接目的語」
e	エ conj.	そして	
tu	トゥ pron	お前は	「主語」
bevi	ベビ	2 単現(bere)v.t	「動詞」
il caffè	イル・カフェ	n.m	「目的語」
il pomeriggio	イル・ポメリッジヨ	adv.	「副詞句」
con le tue amiche.	コン・レ・トゥエ・アミーケ	adv.(amico)	「副詞句」

「お前は友達にコーヒーと砂糖を奢ってやるが、その金を出しているのは俺なんだ。」

Gli dai il caffè e lo zucchero, alle tue amiche, e sono io a dare i soldi.

《「間接目的語」「動詞」「直接目的語」, 「間接目的語」, e 「動詞」「補語」「主語」》

Gli	リ pron	相手には	「間接目的語」
dai	ダイ	2 単現(dare)v.t	「動詞」
il caffè e lo zucchero,	イル・カフェ・エ・ロ・ツッケロ	n.m	「直接目的語」
alle tue amiche,	アレ・トゥエ・アミーケ	adv.(amico)	「間接目的語」
e	エ conj.	そして	
sono	ソーノ	1 単現(essere)v.i	「動詞」
io	イオ pron	俺	「補語」
a dare	ア・ダーレ	不定詞 n.	「主語」
i soldi.	イ・ソルディ	pl(soldo).n.m	「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

「俺はお前には良くしてやったが、お前は感謝もしていない」

Io ho agito bène con te e tu mi ricambi male.

《「主語」「動詞句」「副詞」「間接目的語」 e 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」》
 Io イオ pron 俺は 「主語」
 ho agito オ・アジト 1 単現・完了形(agire)v.i 行動した、実行した 「動詞句」
 bène ベーネ adv. 良く 「副詞」
 con te コン・テ adv. お前に対して 「間接目的語」
 e エ conj. そして
 tu トゥ pron お前は 「主語」
 mi ミ pron 俺に対して 「間接目的語」
 ricambi リカンビ 2 単現(ricambiare)v.t 返す 「動詞」
 male. マーレ adv. 悪く 「副詞」

「それでもあいつは働かない。いつも『やっていけない』ばかり言っている。それで、俺は騙されて
 いると気づいたんだ」

Ma lèi non lavorava, diceva sèmpre che non ci stava déntro ed è così che mi sono accorto
 che c'era del màoio.

《Ma 「主語」「動詞句」, 「動詞」「副詞」「目的語」 ed 「動詞」「補語」「主語」》
 Ma マ conj. しかし
 lèi レーイ pron.f あいつは 「主語」
 non lavorava, ノン・ラヴァ 3 単半・否定・時制の一致(lavorare)v.i 働かない 「動詞句」
 diceva デイチェヴァ 3 単半・時制の一致(dire)v.t 言っている 「動詞」
 sèmpre センプレ adv. いつも 「副詞」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 non ci stava ノン・チ・スターヴァ 3 単半・否定・時制の一致(starci)
 v.pr 生活できない 「動詞句」
 déntro デントロ adv. 貰った範囲で 「副詞」
 ed エ conj. そして
 è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」
 così コシ adv. こんな風に 「補語」
 che ケ conj. ～ということは 「主語」
 mi sono accorto ミ・ソノ・アッコルト 1 単現・完了形(accòrgersi)v.pr 気付いた 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 c'era チェラ 3 単半・存在・時制の一致(esserci)v.i ～がある 「動詞句」
 del màoio. デル・マルチョ n.m 不正が、裏切りが 「主語」

それから、彼は女のハンドバッグの中に宝くじの券を見つけたが、女はどうやってそれを買ったかを彼に説明できなかったと僕に言った。

Mi ha raccontato allóra che aveva trovato un biglietto di lotteria nélla sua borsétta e lèi non aveva potuto spiegargli cóme avesse fatto a comprarlo.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e 「主語」「動詞句」「目的語」

Mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha raccontato ア・ラコンタート 3 単現・完了形(raccontare)v.t 語った、話して聞かせた「動詞句」

allóra アッローラ conj. それから

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

aveva trovato アヴ・ェヴァ・ア・トロヴァート 3 単半・完了形(trovare)

v.t 見つけた

「動詞句」

un biglietto ウン・ビリエット n.m 券を

「目的語」

di lotteria ディ・ロッテリーア adj. 宝くじの

「形容詞句」

nélla sua borsétta ネラ・スア・ボルセッタ adv. ハンドバッグの中に

「副詞句」

e エ conj. そして

lèi レイ pron.f 女は

「主語」

non aveva potuto spiegargli ノン・アヴ・ェヴァ・ア・ポ・トヴァート・スピ・エガル・リ 3 単半・完了形・可能・否定

(potére+不定詞 spiegare+gli)v.t 彼に説明できなかった

「動詞句」

cóme コーメ adv. どうやって～するかということ

「目的語」

avesse fatto アヴ・ェッセ・ファット 接・3 単半・完了形(fare)v.t やった

「動詞句」

a comprarlo. ア・コンプ・ラル・ロ 不定詞・目的 adv. それを買うために

「副詞句」

少し後で、女がブレスレットを2つ質入れしたことを示す質屋の預かり証を見つけた。

Un po' più tardi, aveva trovato un "documento" del monte di pietà che provava che lèi aveva impegnato due braccialetti.

「副詞句」「動詞句」「目的語」

Un po' più tardi, ウン・ポ・ピウ・タルディ adv. 少ししてから

「副詞句」

aveva trovato アヴ・ェヴァ・ア・トロヴァート 1 単半・完了形(trovare)v.t 見つけた

「動詞句」

un "documento" ウン・ドクメント n.m 証書を

「目的語」

del monte di pietà デル・モンテディ・ピエタ adj. 質屋の

「形容詞句」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

provava プロヴァヴァ 3 単半・時制の一致(provare)v.t 証明する「動詞」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

lèi レイ pron 女が

「主語」

aveva impegnato アヴ・ェヴァ・ア・インペニャート 3 単半・完了形(impegnare)

v.t 質入れしていた

「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

due braccialetti. トゥエ・ブラチャレッティ

pl(braccialetto).n.m ブレスレットを2つ 「目的語」

その時まで彼は、そのブレスレットの存在を知らなかった。

Sino a quel momento, lui ignorava l'esistenza di quei braccialetti.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」

Sino a シノ・ア prep (時) 〜まで

「副詞句」

quel momento, ケル・モメント n.m その時

「目的語」

lui ルー pron 彼は

「主語」

ignorava イノラヴァ 3 単半(ignorare)v.t 知らなかった、気づかなかった

「動詞」

l'esistenza レジ・ステンツァ n.f 存在を

「目的語」

di quei braccialetti. デイ・ケイ・ブラチャレッティ adj. そのブレスレットの 「形容詞句」

「騙されていたとよく分かった。それであいつとは別れた」

“Ho visto chiaro che c'era del mårcio. Allora l'ho piantata.

《「動詞句」 「副詞」 「目的語」 | Allora 「目的語」 「動詞句」》

“Ho visto オ・ヴィスト 1 単現・完了形(vedere)v.t 分かった

「動詞句」

chiaro キアロ adv. 良く、はっきり

「副詞」

che ケ conj. 〜ということ

「目的語」

c'era チェラ 3 単半・存在(esserci)v.i 〜があった

「動詞句」

del mårcio. デル・マルチョ n.m 背徳が、裏切りが

「主語」

Allora アッローラ conj. それで

l' ラ pron 女を

「目的語」

ho piantata. オ・ピアンタ 1 単現・完了形.f(piantare)v.t 捨てた、別れた

「動詞句」

「しかし、まず殴ってやった。それから、本当の事を言ってやった」

Ma prima glielè ho date. E poi le ho détto il fatto suo.

《Ma 「副詞」 「目的語」 「動詞句」 | 「副詞句」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」》

Ma マ conj. しかし

prima プリーマ adv. まず

「副詞」

glielè リエ pron.f 女にそれを

「目的語」

gli 女に 「間接目的語」 le pron.f.pl それ、打撃

ho date. オ・ダーテ 1 単現・完了形.f.pl(dare)v.t やった

「動詞句」

E poi エ・ポーイ adv. それから

「副詞句」

le pron 女に

「間接目的語」

ho détto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

il fatto suo. イル・ファット・スオ n.m 事実を

「直接目的語」

俺は女に、自分のものを使って楽しむことしか考えていないと言ってやった。

Le ho detto che tutto quello che lei voleva, era di divertirsi con la sua cosa.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Le レ pron 女に

「間接目的語」

ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

tutto quello トゥット・ケロ pron (目的語) 全てのものは

「主語」

che ケ conj. ～する

「形容詞節」

lei レイ pron 女が

「主語」

voleva, ヴォレヴァ 3 単半・時制の一致(volére)v.t 望む「動詞」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

di divertirsi デイ・ディヴェルチルシ 不定詞 n. 自分で楽しむこと

「補語」

con la sua cosa. コン・ラ・スア・コーサ adv. (手段) 自分の物で

「副詞句」

ムルソーさん、あの女も俺が言った事をいずれ分かりますよ：「お前は、世間では俺がお前にしてやっている好意にやきもちを焼いているのが分かってないんだ」

L'è capisce come gliel'ho detto, signor Meursault: "Tu non capisci che il mondo è geloso della felicità che io ti do."

「主語」「動詞」「目的語」, 「呼びかけ」: 《「主語」「動詞句」「目的語」》

L'è レイ pron 女は

「主語」

capisce カピシェ 3 単現(capire)v.t 分かる

「動詞」

come コメ conj. ～ということを

「目的語」

gliel' リエラ pron 女に

「間接目的語」

ho detto, オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

signor Meursault: シニョール・ムルソー n.m ムルソーさん

「呼びかけ」

"Tu トゥ pron お前は

「主語」

non capisci ノン・カピシ 2 単現・否定(capire)v.t 分かっていない

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

il mondo イル・モンド n.m 世間は

「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

geloso ジェローソ adj.(di に) やきもちやきの

「補語」

della felicità デラ・フェリシタ adv. 幸せに対して

「副詞句」

che io ti do. ケ・イ・ティ・ド adj. 俺がお前に与えている「形容詞節」

PARTE PRIMA 第1部

「お前はかつて持っていた幸せな日に気付くことだろう」

Ti accorgerai un giorno délla felicità che avevi'. 《「動詞句」「目的語」》

Ti accorgerai ティ・アッコーレヰェライ 2 単未・推量(accòrgersi)v.pr (に) 気付くだろう 「動詞句」

un giorno ウン・ジョルノ n.m 日の事に 「目的語」

délla felicità デラ・フェリチタ adj. 幸せの 「形容詞句」

che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

avevi' アヴェヴィ 2 単半(avére)v.t かつて持っていた 「動詞」

彼は血が出るほど女を殴った。しかし、その時まで彼は女を殴ったことはなかった。

L'aveva battuta a sangue. Prima di allóra, non l'aveva mai bastonata.

「目的語」「動詞句」「副詞句」 | 「副詞句」, 「動詞句」「目的語」「動詞句」

L' ラ pron.f 女を 「目的語」

aveva battuta アヴェウヴァ・ハットウタ 3 単半・完了形.f(battere)v.t 殴った 「動詞句」

a sangue. ア・サングレ adv. (程度) 血が出るまで、血が出る程 「副詞句」

Prima di プリーマ・ディ prep (時間) ～まで 「副詞句」

allóra, アッローラ adv. その時 「副詞」

non ...aveva mai bastonata. ノン...アヴェウヴァ・マイ・バストナタ 3 単半・完了形.f・否定

(bastonare)v.t 一度も打ちのめしたことが無かった 「動詞句」

l' ラ pron.f 女を 「目的語」

「女を叩いたことはあるが、言ってみれば、優しく撫でるようなものだ。少しは悲鳴をあげ
る。俺はドアを閉める。そして全て、いつも通りに進む。だが、今回は本気だ。まだ十分に
懲らしめた気がしない」

“Gliele davo, ma per così dire dolcemente. Lèi strillava un po'. Io chiudevo le impòste e
tutto andava a finire come il solito. Ma adesso, è una còsa seria. E per conto mio non l'ho
punita abbastanza.” 《「目的語」「動詞」, ma 「副詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞句」

「主語」「動詞」「目的語」 | E 「主語」「動詞句」「副詞句」

Ma 「副詞」「動詞」「補語」 | E 「副詞句」「動詞句」「目的語」》

“Gliele リ・エ・レ pron 女に打撃を 「目的語」

davo, ダヴォ 1 単現(dare)v.t 与えたことがある 「動詞」

ma マ conj. しかし

per così dire ヘル・コシ・ディエレ adv. 言ってみれば 「副詞句」

dolcemente. ドルチェメンテ adv. (方法) 優しくだ 「副詞」

Lèi レーイ pron 女は 「主語」

strillava ストリラヴァ 3 単半(strillare)v.i 悲鳴をあげた 「動詞」

un po'. ウン・ポ' adv. 多少は 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

Io	イオ	pron	俺は	「主語」
chiudevo	キューデーヴォ	1 単半(chiudere)v.t	閉めた	「動詞」
le impòste	レ・インポステ	pl(impòsta).n.f	扉を	「目的語」
e	エ	conj.	そして	
tutto	トゥット	pron	全てが	「主語」
andava a finire	アンダーヴァ・ア・フィニレ	3 単半・進行(andare a finire)v.i	行き着く	「動詞句」
cóme il sòlito.	コメ・イル・ソリト	adv.	いつも通りに	「副詞句」
Ma	マ	conj.	しかし	
adesso,	アデッソ	adv.	今回は	「副詞」
è	エ	3 単現(essere)v.i	〜である	「動詞」
una còsa seria.	ウナ・コーサ・セリア	n.f	本気の事	「補語」
E	エ	conj.	そして	
per conto mio	ペル・コント・ミオ	adv.	俺としては	「副詞句」
non ...ho punita abbastanza.”	ノン...オ・プニータ・アッパスタンツァ	1 単現・完了形.f(punire)		
	v.t		まだ十分に懲らしめていない	「動詞句」
l'	ラ	pron.f	女を	「目的語」

それで、このために彼は僕の助言が必要だったと説明した。

Allóra mi ha spiegato che era per quèsto che aveva bisógno di un consiglio.

				「副詞」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
Allóra	アッローラ	adv.	それで	「副詞」
mi	ミ	pron	僕に	「間接目的語」
ha spiegato	ア・スピエガート	3 単現・完了形(spiegare)v.t	説明した	「動詞句」
che	ケ	conj.	〜ということを	「直接目的語」
era	エラ	3 単半(essere)v.i	〜だった	「動詞」
per quèsto	ペル・クエスト	adv.	だから、このために	「副詞句」
che	ケ	conj.	〜ということ	「補語」
aveva bisógno	アヴェーヴァ・ビゾーニョ	3 単半・完了形(avere bisógno)		
	v.t(di の)		必要があった	「動詞句」
di un consiglio.	ディ・ウンコンシリオ	adj.	助言の	「形容詞句」

彼は話を中断して、燻っていたアルコールランプの芯を少し引き上げて調整した。

Si è interrotto per tirare un po' più su lo stoppino del fornello a spirito che era tutto carbonizzato. 「動詞句」「副詞句」

Si è interrotto シ・エ・インテロット 3 単現・完了形(interrómpersi)v.pr 中断した 「動詞句」

per +不定詞 ヘル 不定詞・目的・結果 adv. そして～する、～するために 「副詞句」

tirare チラレ 不定詞 v.t 引き出す 「動詞」

un po' ウン・ポ adv. 少し 「副詞句」

più su ヒ・ウス adv. もっと上に 「副詞句」

lo stoppino ロ・ストビノ n.m (石油ランプの) 芯を 「目的語」

del fornello a spirito デル・フォルネーロ・ア・スピリト

adj. アルコールランプの 「形容詞句」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

era tutto carbonizzato. エラ・トゥット・カルボニザート 3 単半・受動(carbonizzare)

v.t 真っ黒こげになった、煤けた 「動詞句」

僕はずっと彼の話聞いて、ワインを1リットル位飲んでいたので、こめかみが熱かった。

Io lo ascoltavo sempre. Avevo bevuto quasi un litro di vino e avevo molto caldo alle tempie.

「主語」「目的語」「動詞」「副詞」 | 「動詞句」「目的語」 e 「動詞」「目的語」「副詞句」

Io イオ pron 僕は 「主語」

lo ロ pron 彼を 「目的語」

ascoltavo アスコルターヴォ 1 単半(adcoltare)v.t 聞いていた 「動詞」

sempre. センプレ adv. ずっと 「副詞」

Avevo bevuto アヴェーヴォ・ベブート 1 単現・完了形(bére)v.t 飲んだ 「動詞句」

quasi un litro di vino クワジ・ウン・リトロ・ディ・ヴィーノ n.m ほとんどワイン1リットル「目的語」

e エ conj. そして

avevo アヴェーヴォ 1 単半(avére)v.t (身体的特徴) ～があった 「動詞」

molto caldo モルト・カルト adj. とても熱い 「目的語」

alle tempie. アレ・テンピエ adv. こめかみあたりに 「副詞句」

tempie テンピエ pl(tempia).n.f こめかみ

PARTE PRIMA 第1部

自分のタバコを切らしていたので、レーモンのタバコを吸った。

Fumavo le sigarétte di Raimondo perché avevo finite le mie. 「動詞」「目的語」「副詞節」

Fumavo フマヴォ 1 単半(fumare)v.t (タバコを) 吸った 「動詞」

le sigarétte レ・シガレツェ pl(sigarétta).n.f タバコを 「目的語」

di Raimondo ディ・ライモンド adj. (所有) レーモンの 「形容詞句」

perché ペルケ conj. (理由) ~なので 「副詞節」

avevo finite アヴェヴォ・フィニト 1 単半・完了形(finire)v.t 使い果たしていた 「動詞句」

le mie. レ・ミー pron. 自分のタバコを 「目的語」

最終の路面電車が通過して、この界限から今はもう遠い騒音を連れ去った。

Passavano gli ultimi tram portando via con sé i rumóri ormai lontani del quartiere.

「動詞」「主語」「副詞句」

Passavano パッサヴァノ 3 複半(passare)v.i 通過していった 「動詞」

gli ultimi tram リ・ウルチミ・トラム pl.n.m 最終の路面電車が 「主語」

portando via ポルトント・ヴィア ジェルンディオ・同時(portare+via)adv. 運び去って 「副詞句」

con sé コン・セ adv. 自分自身と共に 「副詞句」

portare con sé 連れて行く

i rumóri イ・ルモーリ pl(rumóre).n.m 騒音を 「目的語」

ormai lontani オルマイ・ロンターニ adj. 今はもう遠い 「形容詞句」

del quartiere. テル・クワルチエーレ adv. この界限から 「副詞句」

レーモンは話を続けた。困っていたのは、彼がまだ女の体に未練があることだった。

Raimondo ha continuato a parlare. Quél che gli seccava “era di aver ancóra una cèrta nostalgia per il suo coito”. 「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」

Raimondo ライモンド n.m レーモンは 「主語」

ha continuato a parlare. ア・コンチヌアト・ア・パルラーレ 3 単現・完了形・継続

(continuare a+不定詞)v.i 話し続けた 「動詞句」

Quél ケル pron. それは 「主語」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

gli リ pron 彼を 「間接目的語」

seccava セカヴァ 3 単半(seccare)v.t 悩ませていた 「動詞」

“era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」

di aver ディ・アヴェール 不定詞(avére)n. ~があること 「補語」

ancóra アンコーラ adv. まだ 「副詞」

una cèrta nostalgia ウナ・チェルタ・ノスタルジーア n.f いくらかの郷愁が 「目的語」

per il suo coito”. ペル・イル・スー・コイト adv. (方向) 女のセックスに 「副詞句」

しかし女は懲らしめたい。最初、女をホテルに連れ込み、風紀警察を呼び、ひと騒ぎを起こして、女をブラックリストに入れさせようと考えた。

Ma la voleva punire. Aveva dapprima pensato di portarla in un albergo e chiamare il “costume” per provocare uno scandalo e farla mettere sulla lista.

Ma 「目的語」「動詞句」

「動詞句」「副詞」「動詞句」「副詞句」 e 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Ma マ conj. しかし

la ラ pron 女を

「目的語」

voleva punire. ヴォレヴァ・プニレ 3 単半・願望・時制の一致(volére+不定詞 punire)

v.t 懲らしめたい

「動詞句」

Aveva ...pensato di portarla アヴァ・ェヴァ・ア...ペンサート・ディ・ポルタル・ラ 3 単半・完了形・思案

(pensare di+不定詞 portare+la)v.t 女を連れて行こうと考えていた

「動詞句」

dapprima ダップリマ adv. 最初は

「副詞」

in un albergo イン・ウン・アルベルゴ adv. ホテルに

「副詞句」

e エ conj. そして

chiamare キアマーレ 3 単半・完了形・思案(pensare di+不定詞 chiamare)

v.t ~を呼ぼうと考えていた

「動詞句」

il “costume” イル・コストゥーメ n.m 風紀警察を

「目的語」

squadra del buon costume 「警察の風紀取締り班」

per +不定詞 ヘル 不定詞・目的 adv. ~するために

「副詞句」

provocare プロヴァカーレ 不定詞 v.t 引き起こす

「動詞」

uno scandalo ウノ・スカンダロ n.m ひと騒ぎを

「目的語」

e エ conj. そして

farla mettere ファール・ラ・メッテレ 不定詞・使役(fare+不定詞+la)

v.t 女を~に入れさせる

「動詞句」

sulla lista. スラ・リスタ adv. ブラックリストに

「間接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

次にその筋の友人に相談してみた。

Poi si era rivolto a degli amici che aveva nella “vita”. 「副詞」「動詞句」「間接目的語」

Poi ポーイ adv. それから、次に 「副詞」

si era rivolto シ・エラ・リヴョルト 3 単半・完了形(rivolgersi)v.pr 尋ねた 「動詞句」

a degli amici ア・デリ・アミチ adv. 友人に 「間接目的語」

che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

aveva アヴェーヴァ 3 単半(avére)v.t (関係を) 持っていた 「動詞」

nella “vita”. ネラ・ヴィータ adv. 裏社会に 「副詞句」

malavita マラヴィータ n.f 裏社会

フランス語版では

それから、その筋の知り合いに話を聞いてみた。

Ensuite, il s’était adressé à des amis qu’il avait dans le milieu.

le milieu ル・ミユ n.m 暗黒街

彼らは何も思いつかなかった。レーモンが言う通り、その筋の輩も役に立たない。

Non avevano trovato nulla. E come mi faceva notare Raimondo, bel vantaggio si aveva a essere della “vita”. 「動詞句」「目的語」 | 「副詞節」, 「感嘆」

Non avevano trovato ノン・アヴェーヴァ・ノ・トロヴァート 3 複半・完了形・否定(trovare)

v.t 思いつかなかった、発見しなかった 「動詞句」

nulla. ヌッラ pron 何も～ない 「目的語」

E エ conj. そして

come コーメ conj. ～のように 「副詞節」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

faceva notare ファチェーヴァ・ノターレ 3 単半・使役(fare+不定詞 notare)

v.t 気付かせた、話した 「動詞句」

Raimondo, ライモンﾄﾞ n.m レーモンが 「主語」

bel vantaggio ベル・ヴァンタージョ n.m (反語) 大きな利点 「感嘆」

si aveva a essere della “vita”. シ・アヴェーヴァ・ア・エッセレ・デラ・ヴィータ

adj. 裏社会にいるという 「形容詞節」

彼は彼らにもそう伝えた。すると彼らは、女に焼き印を押してはどうかと提案した。

Gliel'aveva détto anche a lóro, e quélli gli avevano propósto di "marcarla".

「直接目的語」「動詞句」「間接目的語」,e「主語」「間接目的語」「動詞句」
 Gliel' リエロ pron 彼らにそれを 「直接目的語」
 aveva détto アヴェーヴァ・デット 3 単半・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 anche a lóro, アンケ・ア・ローロ adv. 彼らにも 「間接目的語」
 e エ conj. そして
 quélli ケल्ली pron.pl 彼らは 「主語」
 gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 avevano propósto アヴェヴァ・プロポスト 3 複半・完了形(propórre)
 v.t(di+不定詞 ～すると) 提案した 「動詞句」
 di "marcarla". ディ・マルカル・ラ 不定詞(marcare+la)v.t 女に焼き印を押す 「動詞句」

しかし彼が望んでいたのはそのような事ではなかった。結局、もう一度考えることにした。

Ma non era quέsto che lui voleva. Insomma, ci avrebbe pensato ancóra.

Ma 「動詞句」「補語」「主語」 | 「副詞」,「間接目的語」「動詞句」「副詞」
 Ma マ conj. しかし
 non era ノン・エラ 3 単半・否定(èssere)v.i ～でなかった 「動詞句」
 quέsto ケスト pron そのような事 「補語」
 che ケ conj. ～することは 「主語」
 lui ルーイ pron 彼が 「主語」
 voleva. ヴォレヴァ 3 単半(volére)v.t 望んでいた 「動詞」
 Insomma, インソマ adv. 結局、要するに 「副詞」
 ci チ pron それについて 「間接目的語」
 avrebbe pensato アヴレッパ・ペンサート 条・3 単現・完了形(pensare)
 v.t 考えることにした 「動詞句」
 ancóra. アンコーラ adv. もう一度 「副詞」

PARTE PRIMA 第1部

しかし、まず僕にあることを尋ねたいと言った。できれば、僕にそれを聞く前に、僕が事件についてどう思ったかを知りたいと言った。

Ma prima voleva chiedermi una cosa. Anzi, prima di chiedermela, voleva sapere cosa pensavo della faccenda.

Ma 「副詞」「動詞句」「目的語」 | Anzi, 「副詞句」, 「動詞句」「目的語」

Ma マ conj. しかし

prima プリーマ adv. まず、最初に 「副詞」

voleva chiedermi ヲレヴァ・キエデル・ミ 3 単半・願望(volére+不定詞 chiedere+mi)

v.t 僕に尋ねたいと言った 「動詞句」

una cosa. ウァ・コサ n.f ある事を 「目的語」

Anzi, アンツイ conj. できれば

prima di +不定詞 adv. ～する前に 「副詞句」

chiedermela, キエデル・メラ 不定詞(chiedere+me+la)v.t 僕にそれを聞く 「動詞句」

voleva sapere ヲレヴァ・サペレ 3 単半・願望(volére+不定詞 sapere)

v.t 知りたいと言った 「動詞句」

cosa コサ pron ～する事を 「目的語」

pensavo ペンサーヴォ 1 単半(pensare)v.t 思った 「動詞」

della faccenda. デラ・ファチェンダ adv. 事件について 「副詞句」

僕は何も思わないが、面白いと答えた。

Gli ho risposto che non ne pensavo niente, ma che era interessante.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Gli リ pron 彼に 「間接目的語」

ho risposto オ・リスポスト 1 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

non ne pensavo ノ・ネ・ペンサーヴォ 1 単半・否定(pensare)

v.t それについて考えたことがない 「動詞句」

ne ネ pron それについて

niente, ニエンテ pron 何も～ない 「目的語」

ma マ conj. しかし

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

era エ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」

interessante. インテレッサンテ adj. 面白い 「補語」

PARTE PRIMA 第1部

彼は、僕も裏切りがあったと思うかと尋ねた。それで、僕は裏切りがあったと思うと答えた。そして僕なら、女を懲らしめるべきだと思うか、そして僕ならどうするかと尋ねたので、僕には分からないが、女を懲らしめたい気持ちはよくわかると答えた。

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」,e「間接目的語」「動詞」「応答」「主語」;
「直接目的語」 e「目的語」「動詞句」「副詞句」,

e「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」,ma「直接目的語」

Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた 「動詞句」
 se セ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」
 credevo クレデヴォ 1 単現(crédere)v.t 思う 「動詞」
 anch'io アンキオ pron 僕も 「主語」
 che ケ conj. ～ということ 「目的語」
 ci fosse チ・フォッセ 3 単半・存在(esserci)v.i ～があった 「動詞句」
 del màoio, テル・マルチョ n.m 裏切りが 「主語」
 e エ conj. そして
 a me, ア・メ adv. 僕にとって 「間接目的語」
 pareva パレヴァ 3 単半(parère)v.i 思われる 「動詞」
 sì シ adv. そうである (裏切りがあった) 「応答」
 che ケ conj. ～ということは 「主語」
 ci fosse チ・フォッセ 3 単半・存在(esserci)v.i ～があった 「動詞句」
 del màoio; テル・マルチョ n.m 裏切りが 「主語」
 se セ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」
 secondo me セコント・メ adv. 僕の考えでは 「副詞句」
 si doveva punirla シ・トヴァ・エヴァ・プニール・ラ 3 単半・必要(dovère+不定詞 punire+la)
 v.t 女を罰するべきだ 「動詞句」
 e エ conj. そして
 cosa コーサ n.f 何を 「目的語」
 avrei fatto アヴレイ・ファット 条・1 単現・完了形(fare)v.t した 「動詞句」
 al suo pósto, アル・スー・ポスト adv. 自分の立場では 「副詞句」
 e エ conj. そして
 io イオ pron 僕は 「主語」
 gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということ 「直接目的語」
 non si può mai dire, ノン・シ・プ・オ・マイ・デーレ 3 単現・可能・否定(potère+不定詞 dire)
 v.t 言えない 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

ma マ conj. しかし	
che ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
capivo カピョ 1 単半・時制の一致(capire)v.t 分かる	「動詞」
bène ベーネ adv. 良く	「副詞」
che ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
lui ルーイ pron 彼が	「主語」
volesse punirla. ヴォレスセ・プニール・ラ 接・3 単半・推量(volére+不定詞 punire+la)	
v.t 女を罰したい	「動詞句」

僕はまた少しワインを飲んだ。

<u>Ho bevuto ancóra un po' di vino.</u>	「動詞句」「副詞句」「目的語」
Ho bevuto オ・ベヴート 1 単現・完了形(bére)v.t 飲んだ	「動詞句」
ancóra アンコーラ adv. また、もう一度	「副詞句」
un po' di vino. ウン・ポ・ディ・ヴィーノ n.m 少しのワインを	「目的語」

彼は煙草に火をつけ、自分の考えを僕に語った。

<u>Lui ha acceso una sigarétta e mi ha détto qual era la sua idèa.</u>	「主語」「動詞句」「目的語」 e 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
Lui ルーイ pron 彼は	「主語」
ha acceso ア・アチェツォ 3 単現・完了形(accèndere)v.t 火をつけた	「動詞句」
una sigarétta ウナ・シガレッタ n.f 煙草に	「目的語」
e エ conj. そして	
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha détto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
qual クワル pron (主語) ～する事を	「直接目的語」
era エラ 3 単半(èssere)v.i ～だった	「動詞」
la sua idèa. ラ・スア・イデア n.f 彼の考え	「補語」

「女に、足蹴にするような文句と同時に、後悔させるような内容の手紙を出したい」

Voleva scriverle una lettera in cui ci fossero delle pedate e allo stesso tempo delle cose per farle venire rimorso. 《「動詞句」「目的語」》

Voleva scriverle ヲォレヴァ・スクリヴァ・ェール・レ 3 単半・願望(volére+不定詞 scrivere+le)

v.t 女に～を書きたい 「動詞句」

una lettera ヲ・レッタ n.f 手紙 「目的語」

in cui イン・クーイ adj. その中で～する 「形容詞節」

ci fossero チ・フォッセロ 接・3 複半・存在(esserci)v.i ～がある 「動詞句」

delle pedate テレ・ペ・ダテ pl(pedata).n.f 足蹴 「主語」

e エ conj. そして

allo stesso tempo アロ・ステッソ・テンポ adv. 同時に 「副詞句」

delle cose テッレ・コセ pl(cosa).n.f 事が 「主語」

per farle venire ペ・ル・ファレ・ヴァ・ェニレ 不定詞・目的・使役(fare+不定詞)

adv. ～に居たさせる 「副詞句」

rimorso. リモールソ n.m 後悔 「補語」

「その後女が戻ってきたら、一緒にベッドに入り、まさに終わる時に女の顔に唾を吐きつけて、外にたたき出すのだ」

Poi, quando la ragazza fosse venuta, sarebbe andato a letto con lei e “pròprio al momento di finire” le avrebbe sputato in faccia e l'avrebbe buttata fuori.

《「副詞句」, 「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

e 「副詞句」「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」 e 「目的語」「動詞句」「副詞」》

Poi, ポーイ adv. それから、その後で 「副詞」

quando クワント conj. ～する時に 「副詞節」

la ragazza ラ・ラガッツァ n.f 女が 「主語」

fosse venuta, フォッセ・ヴァ・ェヌータ 接・3 単半・完了形・假定(venire)

v.i 戻って来た 「動詞句」

sarebbe andato サレッベ・アンダート 条・3 単現・完了形・意思(andare)

v.i (a に) 行く 「動詞句」

a letto ア・レット adv. ベッドに 「間接目的語」

con lei コン・レイ adv. 女と 「副詞句」

e エ conj. そして

“pròprio al momento di finire” プ・ロープ・リオ・アル・モメント・ディ・フィニレ

adv. まさに終わる時に 「副詞句」

le レ pron 女の 「間接目的語」

avrebbe sputato アヴ・レッベ・スプ・タート 条・3 単現・完了形・意思(sputare)

PARTE PRIMA 第1部

v.i つばを吐く 「動詞句」
 in faccia イン・ファッチャ adv. 顔に 「間接目的語」
 e エ conj. そして
 l' ラ pron.f 女を 「目的語」
 avrebbe buttata アヴレッハ・ブッタート 条・3 単現・完了形・意思(buttare)v.t 放り出す 「動詞句」
 fuori. フォーリ adv. 外に 「副詞」

確かに、この方法なら女を懲らしめることが出来るだろうと思った。

Ho trovato che, effettivamente, a questo modo sarebbe stata punita.

「動詞句」「目的語」
 Ho trovato オ・トロヴァート 1 単現・完了形(trovare)v.t 思った、思いついた 「動詞句」
 che, ケ conj. ～ということ 「目的語」
 effettivamente, エフェティヴァメンテ adv. 実際に、確かに 「副詞」
 a questo modo ア・ケスト・モート adv. (方法) この方法によれば 「副詞句」
 sarebbe stata punita. サレハ・スタータ・プニータ 条・3 単過・受動 f・推量・時制の一致(punire)
 v.t 罰せられるだろう 「動詞句」

しかしレーモンは、自分でそんな手紙を書くことは出来ないから、僕にその手紙を書いても
 らおうと考えていたのだと話した。

Ma Raimondo mi ha detto che non si sentiva capace di fare la lettera che ci voleva e che
 aveva pensato a me per buttarla giù.

Ma 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e 「直接目的語」
 Ma マ conj. しかし
 Raimondo ライモンテ n.m レーモンは 「主語」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということ 「直接目的語」
 non si sentiva ノン・シ・センチヴァ 3 単半・否定(sentirsi)
 v.pr 自分が～と思わない 「動詞句」
 capace カパッチェ adj. (di fare) ～する能力がある 「補語」
 di fare ディ・ファーレ adv. ～する 「副詞句」
 la lettera ラ・レッタ n.f そのような手紙を 「目的語」
 che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 ci チ pron それを 「間接目的語」
 voleva ヴォレヴァ 3 単半(volere)v.t 望んだ 「動詞」
 e エ conj. そして

PARTE PRIMA 第1部

che ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
aveva pensato アヴェウァ・ペンサート 3 単半・完了形(pensare)	
v.i(a のことを) 考えていた	「動詞句」
a me ア・メ adv. 僕のことを	「間接目的語」
per buttarla giù. ペル・ブッタール・ラ・ジウ 不定詞・目的(buttare giù)	
adv. 手紙を書き殴るために	「副詞句」

僕が何も言わなかったのも、彼はすぐに手紙を書いてもらうのは迷惑だろうかと僕に尋ねた。僕はそんなことはないと答えた。

Siccome io non dicevo niente, mi ha chiesto se mi seccava di farlo subito, e io gli ho risposto di no.

「副詞節」, 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」,
e 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Siccome シッコメ conj. (原因) ～なので	「副詞節」
io イオ pron 僕が	「主語」
non dicevo ノン・ディチェヴォ 1 単半(dire)	
v.t 言わないでいた、言わなかった	「動詞句」
niente, ニエンテ pron 何も～ない	「目的語」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた	「動詞句」
se セ conj. ～かどうかということを	「直接目的語」
mi ミ pron 僕を	「目的語」
seccava セッカヴァ 3 単半・時制の一致(seccare)	
v.t(di+不定詞) 煩わせる、邪魔する	「動詞」
di farlo ディ・ファール・ロ 不定詞 n. それをすることは	「主語」
subito, スビト adv. すぐに	「副詞」
e エ conj. そして	
io イオ pron 僕は	「主語」
gli リ pron 彼に	「間接目的語」
ho risposto オ・リスポスト 1 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた	「動詞句」
di no. ディ・ノ n. ノーということを	「直接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

すると、彼はワインを一杯飲んでから立ち上がった。

Allóra si è alzato dópo aver bevuto un bicchière di vino. 「副詞」「動詞句」「副詞句」

Allóra アッローラ adv. それで、すると 「副詞」

si è alzato シ・エ・アルツァート 3 単現・完了形(alzarsi)v.pr 立ち上がった 「動詞句」

dópo +不定詞 トーポ prep してから 「副詞句」

aver bevuto アヴェル・ベヴート 不定詞・完了形(bére)v.t 飲んだ 「動詞句」

un bicchière ウン・ビッキェーレ n.m コップ一杯 「目的語」

di vino. ディ・ヴィーノ adj. ワインの 「形容詞句」

すると彼は、皿と僕たちが食べ残していたわずかな冷めた腸詰を脇に寄せた。

Ha messo da parte i piatti e quel po' di sanguinaccio frédde che avevamo lasciato lì.

「副詞句」「動詞句」「目的語」

Ha messo ア・メッソ 3 単現・完了形(mettere)v.t 置いた 「動詞句」

da parte ダ・パルテ adv. 脇に 「副詞句」

i piatti イ・ピッアッティ pl(piatto).n.m 皿を 「目的語」

e エ conj. そして

quel po' di sanguinaccio ケル・ポ・ディ・サングイナッチョ n.m わずかな腸詰を 「目的語」

frédde フレッドデ adj. 冷めた 「形容詞」

che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

avevamo lasciato アヴェヴァモ・ラッシャート 1 複半・完了形(lasciare)

v.t 残してあった 「動詞句」

lì. リ adv. そこに 「副詞」

彼は蠟引きのテーブルクロスを念入りに拭いた。

Ha asciugato con mólta cura la téla cerata del tàvolo. 「動詞句」「副詞句」「目的語」

Ha asciugato ア・アッシュカート 3 単現・完了形(asciugare)v.t (布で) 拭いた 「動詞句」

con mólta cura コン・モルタ・クーラ adv. 念入りに 「副詞句」

la téla ラ・テーラ n.f 布を 「目的語」

cerata セラタ adj(cerato).f 蠟引きの 「形容詞」

del tàvolo. デル・ターヴォロ adj. テーブルの 「形容詞句」

PARTE PRIMA 第1部

彼は、ナイトテーブルの引き出しから、方眼入りの紙を1枚と、黄色の封筒、赤い木製の小さいペンそして紫のインクが入った四角いインク瓶を取り出した。

Ha tirato fuori dal cassétto del comodino un foglio di carta quadrettata, una busta gialla, una piccola penna di légno rósso e un calamàio quadrato con déll'inchìostro viòla.

「副詞句」「動詞句」「目的語」

Ha tirato ア・チラート 3 単現・完了形(tirare)v.t 取り出した 「動詞句」

fuori フォーリ prep への外に 「副詞句」

dal cassétto ダル・カセツト adv. 引き出しから 「副詞句」

del comodino デル・コモデーノ adj. ナイトテーブルの 「形容詞句」

un foglio ウン・フォリオ n.m 紙を 「目的語」

di carta ディ・カルタ adj. 文書の 「形容詞句」

quadrettata, クワトレッタータ adj(quadrettato).f 方眼入りの 「形容詞」

una busta ウナ・ブスタ n.f 封筒 「目的語」

gialla, ジャーラ adj(giallo).f 黄色の 「形容詞」

una piccola penna ウナ・ピッコラ・ペナ n.f 小さなペン 「目的語」

di légno rósso ディ・レンニョ・ロッツ adj. (材料) 赤い木製の 「形容詞句」

e エ conj. そして

un calamàio ウン・カマーイオ n.m インク瓶 「目的語」

quadrato クワトラート adj. 四角い 「形容詞」

con déll'inchìostro viòla. コン・デルンキオストロ・ウイオーラ

adv. 紫のインクの入った 「副詞句」

彼が僕に女の名前を言った時、僕はそれがアラブ人だと分かった。

Quando mi ha détto il nóme délla dònna, ho visto che era un'àraba.

「副詞節」, 「動詞句」「間接目的語」

Quando クワント adv. した時 「副詞節」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha détto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

il nóme イル・ノメ n.m 名前を 「直接目的語」

délla dònna, デラ・ドンナ adj. 女の 「形容詞句」

ho visto オ・ヴィスト 1 単現・完了形(vedere)v.t 分かった 「動詞句」

che ケ conj. ということ 「直接目的語」

era エ 3 単半・時制の一致(essere)v.i である 「動詞」

un'àraba. ウ・アラバ n(àrabo).n.f アラブ人 「補語」

PARTE PRIMA 第1部

僕は手紙を書き上げた。

Ho scritto la lettera.

「動詞句」「目的語」

Ho scritto オ・スクリット 1 単現・完了形(scrivere)v.t 書き上げた

「動詞句」

la lettera. ラ・レッテラ n.f 手紙を

「目的語」

僕は少し思いつくままに手紙を書いた。しかし、レーモンを喜ばせるように努めた。なぜなら、彼を喜ばせない理由がなかったから。

L'ho fatta un po' come mi veniva, ma ho cercato di accontentare Raimondo perché non avevo alcuna ragione di non accontentarlo.

「目的語」「動詞句」「副詞節」,ma 「動詞句」「目的語」「副詞節」

L' ラ pron(lettera の代用) それを

「目的語」

ho fatta オ・ファッタ 1 単現・完了形.f(fare)v.t (手紙を) 書いた

「動詞句」

un po' come ウン・ポ・コメ conj. 少し～するように

「副詞節」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

veniva, ヴェニヴァ 3 単半・時制の一致(venire)v.i (心に) 浮かぶ

「動詞」

ma マ conj. しかし

ho cercato オ・チェルカート 1 単現・完了形(cercare)v.i(di+不定詞 ～しようと) 努めた 「動詞句」

di accontentare ディ・アッコンテンタレ 不定詞・目的 v.t 喜ばせる

「動詞句」

Raimondo ライモンド n.m レーモンを

「目的語」

perché ペルケ conj. なぜなら

「副詞節」

non avevo ノン・アヴェーヴォ 1 単半・否定(avere)v.t ～が無かった

「動詞句」

alcuna ragione アルカーナ・ラジオーネ n.f どんな理由も～ない

「目的語」

di non accontentarlo. ディ・ノン・アッコンテンタル・ロ 不定詞・目的

adj. 彼を喜ばせないための

「形容詞句」

それから僕は、彼にその手紙を大きな声で読んで聞かせた。

Poi gli ho letto la lettera a voce alta.

「副詞」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「副詞句」

Poi ポーイ adv. それから

「副詞」

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

ho letto オ・レット 1 単現・完了形(lèggere)v.t 読んで聞かせた

「動詞句」

la lettera ラ・レッテラ n.f その手紙を

「直接目的語」

a voce alta. ア・ヴォーチェ・アルタ adv. (方法) 大きな声で

「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

彼は煙草を吸いながら、うなづきながら僕が読むのを聞いていた。それから、もう一度読んでくれな
いかと僕に頼んだ。

Mi ha ascoltato fumando e crollando il capo, poi mi ha chiesto di rileggerla.

「目的語」「動詞句」「副詞」, 「副詞」「目的語」「動詞句」「補語」

Mi ミ pron 僕が読むのを 「目的語」

ha ascoltato ア・アスコルト 3 単現・完了形(ascoltare)v.t 聞いていた 「動詞句」

fumando フマント ジェルンディオ・同時(fumare)adv. タバコを吸いながら 「副詞」

e エ conj. そして

crollando クロラント ジェルンディオ・同時(crollare)adv. 振りながら 「副詞句」

il capo, イル・カーポ n.m 頭を 「目的語」

poi ポーイ adv. そして、それから 「副詞」

mi ミ pron 僕に 「目的語」

ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t(di+不定詞) 求めた、頼んだ 「動詞句」

di rileggerla. ディ・リレッツェル・ラ 不定詞・mi の動作(rilèggere+la)

v.t 手紙をもう一度読む 「補語」

彼は大いに満足した。

È stato tutto contento. 「動詞句」「補語」

È stato エ・スタート 3 単現・完了形・変化(essere)v.i 〜になった 「動詞句」

tutto contento. ツット・コンテンツ adj. すっかり満足した 「補語」

tutto トゥット は副詞的「すっかり、まったく」

彼は僕に言った：「思った通り、あんたは世間でものを良く知っている」

Mi ha detto: “Lo sapevo bene che tu conoscevi la vita”.

「間接目的語」「動詞句：《「動詞句」「副詞」「目的語」》

Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha detto: ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

“Lo 〇 pron 仮の目的語（真の目的語は che 以降）

sapevo サペーヴォ 1 単半(sapere)v.t (che 〜を) 知っていた 「動詞」

sapere che+直説法 「〜ということを知っている、思った通り〜だ」

bene ベーネ adv. (程度) よく 「副詞」

che ケ conj. 〜ということ 「目的語」

tu トゥ pron あんたは 「主語」

conoscevi コシエヴィ 2 単半・時制の一致(conoscere)v.t 知っている 「動詞」

la vita”. ラ・ヴァータ n.f 世間を、暮らしを 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

最初、彼が僕に親しい口の利き方をしていることに気付かなかった；彼が僕に「今から、お前さんは本当の兄弟分だ」と、何度も繰り返した時に僕はやっと気が付いた。

Al primo istante non mi sono accorto che mi dava del tu; è stato sólo quando mi ha dichiarato: “Adesso, tu sei un véro amico.” che la cosa mi ha fatto un certo efffetto.

「副詞句」「動詞句」「目的語」；「動詞」「補語」

Al primo istante アル・プリーモ・イスタンテ adv. 最初は

「副詞句」

non mi sono accorto ノン・ミ・ソーノ・アッコルト 1 単現・完了形・否定(accòrgersi)

v.pr 気付かなかった

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

dava ダヴァ 3 単半・時制の一致(dare)v.t(di と) 呼んでいる

「動詞」

del tu; デル・トゥ adv. 親しい呼び方で

「副詞句」

è stato エ・スタート 3 単現・完了形(essere)v.i (僕が気付いたのは) ～だった

「動詞」

sólo quando ソロ・クワント adv. ～した時

「補語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha dichiarato: ア・デア・イアラート 3 単現・完了形(dichiarare)

v.t はっきり言った

「動詞句」

“Adesso, アデッソ adv. たった今、今から

「副詞」

tu トゥ pron 君は

「主語」

sei セイ 2 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

un véro amico,” ウン・ヴェーロ・アミーコ n.m 本当の親友、兄弟分

「補語」

che ケ conj. 強調 しかも～

la cosa ラ・コサ n.f それを

「目的語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha fatto ア・ファット 3 単現・完了形(fare)v.t 言った

「動詞句」

un certo efffetto. ウン・チェルト・エフフェット adv. 何度も

「副詞句」

彼はその言葉を繰り返した。僕は「そうだな」と言った。兄弟分になるのはどうでも良かったが、彼は本当にそれを望んでいるようだった。

Ha ripetuto la frase e io ho detto: “Sì.” Per me tant’era di essere suo amico e lui sembrava che ci tenesse davvero.

「動詞句」「目的語」 e 「主語」「動詞句」:

《「応答」》「副詞句」「補語」「動詞」「主語」 | 「主語」「動詞」「補語」

Ha ripetuto ア・リペトート 3 単現・完了形(ripetere)v.t 繰り返した 「動詞句」
 la frase ラ・フレーゼ n.f その言葉を 「目的語」
 e エ conj. そして
 io イオ pron 僕は 「主語」
 ho detto: オ・テット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 “Sì.” シ adv. そうだな 「応答」
 Per me ペル・メ adv. 僕にとっては 「副詞句」
 tant’ タント adj. 同様の、同じ 「補語」
 era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ~である 「動詞」
 di essere ディ・エッセレ 不定詞 n. ~であることは 「主語」
 suo amico スー・アミコ n.m 彼の兄弟分 「補語」
 e エ conj. そして
 lui ルーイ pron 彼は 「主語」
 sembrava センブラヴァ 3 単半(sembrare)v.i ~に見えた 「動詞」
 che ケ conj. ~ということ 「補語」
 ci tenesse チ・テネッセ 接・3 単半・推量・時制の一致(tenere+ci)
 v.t それを大事にする 「動詞句」
 tenerci a ql.co. 「何かを大事にする」
 davvero. ダヴェーロ adv. 本当に 「副詞」

彼は手紙を封筒に収め、僕たちはワインを飲み尽くした。

Ha chiuso la lettera e abbiamo finito il vino.

「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」

Ha chiuso ア・キウゾ 3 単現・完了形(chiudere)v.t 封をした 「動詞句」
 la lettera ラ・レッテラ n.f 手紙に 「目的語」
 e エ conj. そして
 abbiamo finito アビビアーモ・フィニート 1 複現・完了形(finire)v.t 飲み尽くした 「動詞句」
 il vino. イル・ヴィーノ n.m ワインを 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

それからしばらく僕たちは無言でタバコを吸っていた。

Pòi siamo rimasti un moménto a fumare sènza dir nulla. 「副詞」「動詞句」「補語」

Pòi ポーイ adv. それから 「副詞」

siamo rimasti シアーモ・リマスティ 1 複現・完了形(rimanére)v.i. ~のままでいた 「動詞句」

un moménto ウン・モメント adv. しばらく 「副詞句」

a fumare ア・フマーレ 不定詞・様態 adv. タバコを吸っていた 「補語」

sènza dir nulla. センツァ・ディール・ヌッラ adv. 無言で 「副詞句」

外は静まり返っていたので、通りかかった車の物音が聞こえた。

Fuòri tutto era calmo e abbiamo udito il fruscìo di una màccina che passava.

「副詞」「主語」「動詞」「補語」 e 「動詞句」「目的語」

Fuòri フォーリ adv. 外は 「副詞」

tutto トゥット pron 全てが 「主語」

era エラ 3 単半(èssere)v.i. ~だった 「動詞」

calmo カルモ adj. 静かな 「補語」

e エ conj. そして

abbiamo udito アッビアーモ・ウディート 1 複現・完了形(udire)v.t. 聞こえた 「動詞句」

il fruscìo イル・フルシーオ n.m. 衣擦れの音 「目的語」

di una màccina ディ・ウナ・マッキナ adj. 車の 「形容詞句」

che passava. ケ・パッサヴァ conj. 通りかかった 「形容詞節」

僕は言った：「もう遅い！」レーモンもそう思っていた。

Ho détto: “è tardi.” Anche Raimondo lo pensava.

「動詞句」：《「動詞」「補語」》「主語」「目的語」「動詞」

Ho détto: オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t. 言った 「動詞句」

“è エ 3 単現(èssere)v.i. ~である 「動詞」

tardi.” タルディ adj. 遅い 「補語」

Anche Raimondo アンケ・ライモンド n.m. レーモンも 「主語」

lo ロ pron. それを 「目的語」

pensava. ペンサヴァ 3 単半(pensare)v.t. 考えていた 「動詞」

PARTE PRIMA 第1部

彼は、時が経つのは速いと言った。ある意味では、彼と同意見だった。

Ha osservato che il tempo passa presto e, in un certo senso, ero d'accordo con lui.

「動詞句」「目的語」 e, 「副詞句」「動詞」「補語」

Ha osservato ア・オッセルヴァート 3 単現・完了形(osservare)v.t (所見を) 述べた、言った「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

il tempo イル・テンポ n.m 時は 「主語」

passa パッサ 3 単現(passare)v.i (時間が) 過ぎる 「動詞」

presto プレスト adv. 早く 「副詞」

e, エ conj. そして

in un certo senso, イン・ウン・チェルト・センソ adv. ある意味では 「副詞句」

ero エロ 1 単半(essere)v.i ～だった 「動詞」

d'accordo ダッコルト adj. 同意見で 「補語」

con lui. コン・ルーイ adv. 彼に 「副詞句」

僕は眠かったが、立ち上がるのは面倒だった。

Avevo sonno ma mi seccava di alzarmi. 「動詞」「目的語」 ma 「目的語」「動詞」「主語」

Avevo アヴェーヴォ 1 単半(avere)v.t ～があった 「動詞」

sonno ソノ n. 眠気 「目的語」

ma マ conj. しかし

mi ミ pron 僕を 「目的語」

seccava セッカヴァ 3 単半(seccare)v.t 煩わせた 「動詞」

di alzarmi. ティ・アルツアル・ミ 不定詞(di+不定詞 alzarsi)n. 起き上がることは 「主語」

僕は疲れた様子だったに違いない。レーモンが僕に投げやりになるなど言ったからだ。

Dovevo aver l'aria stanca perché Raimondo mi ha detto che non bisogna lasciarsi andare.

「動詞句」「目的語」「副詞節」

Dovevo +不定詞 ドヴェーヴォ 1 単半・推量(dovere+不定詞)v.t ～したに違いない 「動詞句」

aver アヴェール 不定詞 (ある特徴を) v.t している 「動詞句」

l'aria stanca ラーリア・スタカ n.f 疲れた様子を 「目的語」

perché ペルケ conj. ～なので 「副詞節」

Raimondo ライムント n.m レーモンが 「主語」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

non bisogna +不定詞 ノン・ビゾーニャ 3 単現・否定・必要(bisognare+不定詞)

v.h ～してはならない 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

lasciarsi andare. ラッシャル・シ・アンダーレ 不定詞(lasciarsi+不定詞 andare)

v.pr (事態が) 進行するのに任せることは 「主語」

lasciarsi+不定詞・自動詞 「つい～してしまう」

lasciarsi+不定詞・他動詞 「～されるがままになる」

最初はその意味が理解できなかった；すると彼は、母さん亡くなったことは聞いているが、それは遅かれ早かれ訪れることだ、と説明した。

Lì per lì non ho capito còsa volesse dire; pòi lui mi ha spiegato che aveva saputo della mòrte della mamma, ma che era una còsa che doveva succèdere prima o pòi.

「副詞句」「動詞句」「目的語」；「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Lì per lì リ・ペル・リ adv. すぐに、最初は 「副詞句」

non ho capito ノ・ノ・カピート 1 単現・完了形・否定(capire)v.t 分からなかった 「動詞句」

còsa コーサ pron (目的語) ～する事を 「目的語」

volesse dire; ヴォレッセ・ディレ 接・3 単半(volére dire)v.t 意味する 「動詞句」

pòi ポーイ adv. それから 「副詞」

lui ルーイ pron 彼は 「主語」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha spiegato ア・スピエガート 3 単現・完了形(spiegare)v.t 説明した 「動詞句」

che ケ conj. ～ということ を 「直接目的語」

aveva saputo アヴェーヴァ・サプート 3 単半・完了形(sapére)

v.t 聞いている 「動詞句」

della mòrte della mamma, デラ・モルテ・デラ・マンマ n.f 母さんの死を 「目的語」

ma マ conj. しかし

che ケ conj. ～ということ を 「直接目的語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ～である 「動詞」

una còsa ウナ・コーサ n.f 事 「補語」

che ケ conj. ～ことは 「主語」

doveva succèdere トヴェーヴァ・スツェーデレ 3 単半・必然(dovére+不定詞 succèdere)

v.i 起こるはずである 「動詞句」

prima o pòi. プリーマ・オ・ポーイ adv. 遅かれ早かれ 「副詞句」

それは僕も同じ意見だった。

Quélla era anche la mia opinióne. 「主語」「動詞」「補語」

Quélla ケッラ pron それは 「主語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった 「動詞」

anche アンケ conj. ～もまた

PARTE PRIMA 第1部

la mia opinióne. ラ・ミー・ア・オピニオーネ n.f 僕の意見

「補語」

僕は立ち上がった。レーモンは僕の手をしっかりと握って、男同士ならいつでも分かり合える、と僕に言った。

Mi sono alzato, Raimondo mi ha strétto la mano móltto fòrte e mi ha détto che fra uòmini ci si capisce sèmpre.

「動詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「副詞句」

e 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Mi sono alzato, ミ・ソノ・アルツァート 1 単現・完了形(alzarsi)v.i 立ち上がった 「動詞句」

Raimondo ライモンツォ n.m レーモンは 「主語」

mi ミ pron 僕の 「間接目的語」

ha strétto ア・ストレット 3 単現・完了形(stringere)v.t 握った 「動詞句」

la mano ラ・マノ n.m 手を 「直接目的語」

móltto fòrte モルト・フォルテ adv. しっかりと 「副詞句」

e エ conj. そして

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha détto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

fra フラ prep (空間) ～の間では 「副詞句」

uòmini ウォーミニ pl(uòmo).n.m 男たち 「目的語」

ci チ pl.pron 互いを 「目的語」

si capisce シ・カピツシェ 3 単現(capirsi)v.pr (相互的) 分かり合える 「動詞句」

sèmpre. センプレ adv. いつも 「副詞」

レーモンの部屋を出てドアを閉めると、僕はしばらく廊下の暗がりに立ち止まっていた。

Uscendo ho richiuso la pòrta e sono rimasto un moménto sul pianerottolo, al bùio.

「副詞」「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」「副詞句」

Uscendo ウシェント ジェルンディオ・同時(uscire)adv. 部屋を出て 「副詞」

ho richiuso オ・リキューゾ 1 単現・完了形(richiudere)v.t 閉めた 「動詞句」

la pòrta ラ・ポールタ n.f ドアを 「目的語」

e エ conj. そして

sono rimasto ソノ・リマスト 1 単現・完了形(rimanere)v.i ～のままでいた 「動詞句」

un moménto ウン・モメント adv. 少しの間 「副詞句」

sul pianerottolo, スル・ピアネットロ adv. (階段の) 踊り場に、廊下に 「副詞句」

al bùio. アル・ブーイオ adv. 暗がりに 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

アパートは静まり返り、階段口の底からどんより湿った息吹が立ち昇って来た。

La casa era calma e dal profondo della trómba delle scale veniva un sóffio úmido e oscuro.

「主語」「動詞」「補語」 e 「副詞句」「動詞」「主語」

La casa ラ・カサ n.f アパートは、家は、住居は 「主語」

era エラ 3 単半(essere)v.i 〜だった 「動詞」

calma カルマ adj(calmo).f 静かな 「補語」

e エ conj. そして

dal profondo タル・プロント adv. (場所・起点) 底から 「副詞句」

della trómba delle scale テッラ・トロンバ・テレ・スカレ adj. 階段口の 「形容詞句」

veniva ヴェニヴァ 3 単半(venire)v.i やって来た 「動詞」

un sóffio ウン・ソフイオ n.m 息吹が、一陣の風が 「主語」

úmido ウーミト adj. 湿った 「形容詞」

e エ conj. そして

oscuro. オスクロ adj. どんよりした、暗い 「形容詞」

階段口

階段に沿って出来た、人や空気が行き来するらっぱ状の空間を表わす。



僕は耳元で唸る脈動しか聞こえず、じっと動かないでいた。

Non sentivo che i colpi del mio sangue che mi ronzava alle orécchie e sono rimasto immobile.

「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」「補語」

Non sentivo ノン・センチヴォ 1 単半・否定(sentire)v.t 聞こえなかった 「動詞句」

che ケ conj. (比較) 〜しか

i colpi イ・コルピ pl(cólpo).n.m 打撃、脈拍 「目的語」

del mio sangue テル・ミオ・サングレ adj. 自分の血液の 「形容詞句」

che ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

mi ミ pron 僕の 「間接目的語」

ronzava ロンザーバ 3 単半(ronzare)v.i うなる 「動詞」

alle orécchie アレ・オレッキオ adv. (部位) 耳で 「間接目的語」

e エ conj. そして

sono rimasto ソーノ・リマスト 1 単現・完了形・継続(rimanere)v.i 〜のままでいた 「動詞句」

immobile. インモービレ adj. 動かない 「補語」

しかしサラマノ老人の部屋で、犬が低く唸った。

Ma nella stanza del vecchio Salamano il cane ha dato un lamento sordo.

Ma 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

Ma マ conj. しかし

nella stanza ネッラ・スタンツァ adv. 部屋の中で

「副詞句」

del vecchio Salamano デル・ヴェッキオ・サラマノ adj. サラマノ老人の

「形容詞句」

il cane イル・カーネ n.m 犬が

「主語」

ha dato ア・ダート 3 単現・完了形(dare)v.t 生じさせた、起こした

「動詞句」

un lamento ウン・ラメント n.m 唸り声を

「目的語」

sordo. ソルト adj. 鈍い、内にこもった

「形容詞」

眠りについたアパートの中心で、その呻き声が静寂から生まれた花のように立ち昇った。

Nel cuore di quella casa piena di sonno, il gemito è salito lentamente, come un fiore nato dal silenzio.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

Nel cuore ネル・クオーレ adv. 中心で、心臓部で

「副詞句」

di quella casa ディ・ケッラ・カーサ adj. その家の

「形容詞句」

piena di sonno, ピェーナ・ディ・ソノ adj. 眠りでいっぱい

「形容詞句」

il gemito イル・ジェミト n.m うめき声が

「主語」

è salito エ・サート 3 単現・完了形(salire)v.i 立ち昇った

「動詞句」

lentamente, レンタメンテ adv. ゆっくりと

「副詞」

come コーメ conj. ~のように

「副詞句」

un fiore ウン・フィオーレ n.m 花

「目的語」

nato ナート adj. 生まれた

「形容詞」

dal silenzio. ダル・シレンツィオ adv. 静寂から

「副詞句」

フランス語版では

この文は存在しない。

4.

僕は1週間ずっとよく働いた。レーモンがやって来て、あの手紙はもう送ったと言った。

Ho lavorato forte tutta la settimana è venuto Raimondo e mi ha detto che aveva spedito la lettera.

「動詞句」「副詞句」, 「動詞句」「主語」 e 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Ho lavorato オ・ラヴァ^{ヴォ}ォラート 1 単現・完了形(lavorare)v.i 働いた 「動詞句」
 forte フォールテ adv. よく、大いに、しっかりと 「副詞」
 tutta la settimana トウッタ・ラ・セッティマナ adv. 1 週間ずっと 「副詞句」
 è venuto エ・ヴェヌート 3 単現・完了形(venire)v.i やって来た 「動詞句」
 Raimondo ライモン^ト n.m レーモンが 「主語」
 e エ conj. そして
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 aveva spedito アヴ・ェヴァ^ア・スペディート 3 単半・完了形(spedito)
 v.t すでに送った 「動詞句」
 la lettera. ラ・レッテラ n.f あの手紙を 「目的語」

エマヌエルと 2 回映画に行った。彼は時々、スクリーンで何が起きているのか分からなくなる。そんな時は、彼に説明してやらなければならない。

Sono andato due volte al cinema con Emanuele che ogni tanto non capisce quel che succede sullo schermo, e allora bisogna spiegarglielo.

「動詞句」「副詞句」「間接目的語」「副詞句」,
 「主語」「副詞句」「動詞句」「目的語」 e 「副詞」「動詞句」
 Sono andato ソーノ・アンダート 1 単現・完了形(andare)v.i 行った 「動詞句」
 due volte ドゥエ・ヴォルテ pl(vólta).n.f 2 度 「副詞句」
 al cinema アル・チネマ adv. 映画に 「間接目的語」
 con Emanuele コン・エマヌエレ adv. エマヌエルと 「副詞句」
 che ケ pron (主語) ～する 「主語」
 ogni tanto オンニ・タント adv. 時々 「副詞句」
 non capisce ノン・カピ^シェ 3 単現・否定(capire)v.t 分からない 「動詞句」
 quel ケル pron ものが 「目的語」
 che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 succede スチェデ^テ 3 単現(succedere)
 v.i 起きている 「動詞」

PARTE PRIMA 第1部

sullo schermo, スロ・スケルモ

adv. スクリーン上で

「副詞句」

e エ conj. そして

allóra アッローラ adv. その時

「副詞」

bisogna spiegarglielo. ビゾニャ・スピエガール・リ・エロ 非人称・3 単現・必要

(bisognare+不定詞 spiegare+gli+e+lo)v.h 彼にそれを説明しなければならない「動詞句」

昨日は土曜日で、約束した通りマリーがやって来た。

Ièri era sàbato ed è venuta Maria, còme eravamo d'accordo.

「主語」「動詞」「補語」ed「動詞句」「主語」「副詞節」

Ièri イェーリ n.m 昨日は

「主語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

sàbato サバト n.m 土曜日

「補語」

ed エ conj. そして

è venuta エ・ヴェヌタ 3 単現・完了形(venire)v.i やって来た

「動詞句」

Maria, マリア n.f マリーが

「主語」

còme コーメ conj. (類似) ~のように

「副詞節」

eravamo エラヴァーモ 1 複半(essere)v.i ~だった

「動詞」

d'accordo. ダッコールト adj. 約束した、取り決めた

「補語」

僕はたまらなく彼女が欲しくなった。彼女が赤と白の縞の綺麗なドレスに革のサンダルを履いていたからだ。引き締まった乳房が想像できて、日に焼けた顔は花のようだった。

Ho avuta molta voglia di lei perché aveva un bel vestito a righe rosse e bianche e dei sandali di cuoio. Si indovinavano i seni duri e il suo viso, bruno di sole, era un fiore.

「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」「副詞節」

「動詞句」「主語」e「主語」「動詞」「補語」

Ho avuta オ・アヴァータ 1 単半・完了形(avere)v.t ~があった

「動詞句」

molta voglia モルタ・ヴァーリア n.f 強い欲求

「直接目的語」

di lei ディ・レーイ pron (対象) 彼女に

「間接目的語」

perché ペルケ conj. (理由) というのは~だから

「副詞節」

aveva アヴァーヴァ 3 単半(avere)v.t 身に着けていた

「動詞」

un bel vestito ウン・ベル・ヴェストト n.m きれいなドレスを

「目的語」

a righe ア・リエ adv. 縞の

「副詞句」

rosse e bianche ロッセ・エ・ビアンケ

adj(rosso / bianco).f 赤と白の

「形容詞句」

e エ conj. そして

PARTE PRIMA 第1部

dei sandali di cuoio. デイ・サンダリ・デイ・クオーイオ

pl(sàndalo).n.m 革のサンダルを

「目的語」

Si indovinavano シ・イントヴイヴァノ 3 複現・再帰受動(indovinarsi)v.pr 推測された「動詞句」

i seni イ・セニ pl(séno).n.m 乳房が

「主語」

duri ドゥーリ adj(duro).pl 引き締まった

「形容詞」

e エ conj. そして

il suo viso, イル・スー・ヴィーゾ n.m 彼女の顔は

「主語」

bruno ブルーノ adj. 黒っぽい

「形容詞」

di sóle, デイ・ソーレ adv. 太陽のために

「副詞句」

era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

un fióre. ウン・フィオーレ n.m 花

「補語」

私たちはバスに乗り、アルジェから数キロの所にある、岩に挟まれ、陸の側を葦で縁どられた砂浜へ行った。

Abbiamo preso l'autobus e siamo andati a qualche chilometro da Algèri su una spiaggia stretta fra le rocce e orlata di roseti dalla parte délla tèrra.

「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」「間接目的語」

Abbiamo preso アビアーモ・プレリ 1 複現・完了形(prèndere)v.t (乗り物に) 乗った 「動詞句」

l'autobus ラウトバス n.m バスに

「目的語」

e エ conj. そして

siamo andati 1 複現・完了形・移動(andare)v.i ~に行った

「動詞句」

a qualche chilometro ア・クワルケ・キメトロ

adv. (位置) 数キロのところにある

「副詞句」

da Algèri ダ・アルジェリ adv. (起点) アルジェから

「副詞句」

su ス prep (位置) ~の上に

「間接目的語」

una spiaggia ウナ・スピアッジャ n.f 砂浜、浜辺

「目的語」

stretta ストレッタ adj(strétto).f 挟まれた、狭い

「形容詞」

fra フラ prep (空間) ~の間に

「副詞句」

le rocce レ・ロッチェ pl(ròccia).n.f 岩

「目的語」

e エ conj. そして

orlata オルタータ 過去分詞・受動(ornare)

adj(ornato).f 縁どられた

「形容詞」

di roseti デイ・ロセティ adv. (動作主) バラ園(葦)で「副詞句」

dalla parte délla tèrra. ダラ・パルテ・テラ・テッラ

adv. 陸の側を

「副詞句」

フランス語版では

僕たちはバスに乗り、アルジェから数キロのところの、岩に挟まれ、岸の側を葦に囲まれた浜辺に行った。

Nous avons pris un autobus et nous sommes allés à quelques kilomètres d'Alger, sur une plage resserrée entre des rochers et bordée de roseaux du côté de la terre.

フランス語の roseaux (葦) を roseraie (バラ園) と混同したと思われる。

イタリア語では、di canne (葦) になる。

4時の日差しはそれほど暑くなかったが、水は長くけだるいうねりになって、生温かった。

Il sóle, alle quattro, non era eccessivamente caldo, ma l'acqua era tèpida, con délle piccole ónde lunghe e pigre. 「主語」「動詞句」「補語」,ma「主語」「動詞」「補語」

Il sóle, イル・ソーレ n.m 日差しは 「主語」

alle quattro, アレ・クアットロ adv. 4時に 「副詞句」

non era ノン・エラ 3 単半・否定(essere)v.i ~でなかった 「動詞句」

eccessivamente caldo, エチェシヴァ・メンテ・カルド adj. (否定文で) 暑すぎない 「補語」

ma マ conj. しかし

l'acqua ラックワ n.f 水は 「主語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」

tèpida, テーピダ adj.(tèpido).f 生温い 「補語」

con délle piccole ónde コン・テレ・ピッコレ・オンテ

adv. (様態) 小さい波を持って 「副詞句」

ónda オンダ n.f 波、うねり

lunghe e pigre. ルンゲ・エ・ピグレ

adj.(lungo / pigro).pl.f 長くけだるい 「形容詞句」

マリーが僕に遊びを1つ教えてくれた。

Maria mi ha insegnato un giòco. 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Maria マリア n.f マリーが 「主語」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha insegnato ア・インセニャート 3 単現・完了形(insegnare)v.t 教えてくれた 「動詞句」

un giòco. ウン・ジョーコ n.m 遊びを 「直接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

泳ぎながら波の先端を飲み込んで、口の中にすべての泡を溜めてから、仰向けになり、空に向かってそれを吹き出すというものだ。

Bisognava, nuotando, bere dalla cresta delle onde, trattenere in bocca tutta la schiuma e poi mettersi sul dorso per proiettarla contro il cielo. 「動詞」「主語」

Bisognava, ビゾニャーヴァ 3 単半(bisognare)v.h(+不定詞) ~する必要があった 「動詞」

nuotando, ノタント ジェルンディオ(nuotare)adv. 泳ぎながら 「副詞」

bere ベーレ 不定詞 n. 飲むことが 「主語」

dalla cresta delle onde, ダラ・クレスタ・デレ・オンデ n.f 波の先端を 「目的語」

onda オンダ n.f 波、うねり

trattenere トラッテネレ 不定詞 n. 溜めることが 「主語」

in bocca イン・ボッカ adv. 口の中に 「副詞句」

tutta la schiuma トウッタ・ラ・スキュマ n.f 全ての泡を 「目的語」

e エ conj. そして

poi ポーイ adv. それから 「副詞」

mettersi メッテルシ 不定詞 n. 身を置くことが 「主語」

sul dorso スル・ドールソ adv. 背中の上に 「副詞句」

→ 仰向けになる

per +不定詞 ペル 不定詞・継続 n. そして~することが 「主語」

proiettarla プロイェッター・ラ 不定詞(proiettare+la)v.t それを放り出す 「動詞句」

contro il cielo. コントロ・イル・チェロ adv. 空に向かって 「副詞句」

それはふわふわしたレースのようになり、空中で消えてしまったり、生暖かい雨のように僕の顔に降りかかったりする。

Si formava così una trina spumeggiante che scompariva nell'aria o mi ricadeva, pioggia tepida, sopra il viso. 「動詞句」「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」

o 「間接目的語」「動詞」「主語」「副詞句」

Si formava シ・フォルマバ 3 単半・時制の一致(formarsi)v.pr 生じる、形成される 「動詞句」

così una trina コシ・ウナ・トリナ adv. レースのように 「副詞句」

spumeggiante スプ・メシヤンテ adj. ふわふわした 「形容詞」

che ケ pron (主語) それが~する 「主語」

scompariva スコンパ・リーヴァ 3 単半(scomparire)v.i 消える 「動詞」

nell'aria ネッラーリア adv. 大気中に 「副詞句」

o オ conj. または

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ricadeva, リカデーヴァ 3 単半(ricadere)v.i 戻って来る 「動詞」

pioggia ピ・オッジャ n.f 雨 「主語」

PARTE PRIMA 第1部

tèpida, テーピダ adj(tèpido).f 生暖かい	「形容詞」
sópra ソフーラ prep 〜の上に	「副詞句」
il viso. イル・ヴィーゾ n.m 顔	「目的語」

だがやがて、塩のために口が焼けてきた。

Ma <u>dópo un po' avevo la bocca bruciata dal sale.</u>	Ma 「副詞句」「動詞」「目的語」
Ma マ conj. しかし	
dópo un po' トーポ・ウン・ポ adv. すこし後で、やがて	「副詞句」
avevo アヴェーヴォ 1 単半(avére)v.t 〜を持った	「動詞」
la bocca bruciata ラ・ボッカ・ブルチャータ n.f 焼けた口	「目的語」
dal sale. ダル・サーレ adv. (原因) 塩のために	「副詞句」

すると、マリーが僕に近づいて来て、水中で体を僕に密着させた。

<u>Maria mi ha raggiunto, allóra, e nell'acqua si è strétta cóntro di me.</u>	「主語」「目的語」「動詞句」「副詞」,e「副詞句」「動詞句」「副詞句」
Maria マリア n.f マリーが	「主語」
mi ミ pron 僕に	「目的語」
ha raggiunto, ア・ラジエント 3 単現・完了形(raggiungere)v.t 接近した	「動詞句」
allóra, アッローラ adv. すると	「副詞」
e エ conj. そして	
nell'acqua ネラックわ adv. 水中で	「副詞句」
si è strétta シ・エ・ストレッタ 3 単現・完了形(stringersi)v.pr 体を密着させた	「動詞句」
cóntro di me. コントロ・ディ・ミ adv. 僕に対して	「副詞句」

彼女の口を僕の口に押し当てた。

<u>Ha messo la sua bocca cóntro la mia.</u>	「動詞句」「目的語」「副詞句」
Ha messo ア・メッソ 3 単現・完了形(mettere)v.t 置いた	「動詞句」
la sua bocca ラ・スーア・ボッカ n.f 彼女の口を	「目的語」
cóntro la mia. コントロ・ラ・ミア adv. 僕の口へ	「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

彼女の舌が僕の唇を冷やしてくれた。それから少しの間、僕たちは波の中を転げ回った。

La sua lingua mi rinfrescava le labbra e per qualche istante ci siamo rotolati nelle onde.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 e 「副詞句」「動詞句」「副詞句」

La sua lingua ラ・スア・リンゲア n.f 彼女の舌が 「主語」

mi ミ pron 僕の 「間接目的語」

rinfrescava リンフレスカーヴァ 3 単半(rinfrescare)v.t 冷やした 「動詞」

le labbra レ・ラッブラ pl(labbro).n.m 唇を 「直接目的語」

labbro ラッブロ n.m (複 le labbra) 唇、口、(複 i labbri) 縁、物の口、傷口

e エ conj. そして

per qualche istante ペル・クワルケ・イスタンテ adv (時間) 少しの間 「副詞句」

ci siamo rotolati チ・シアモ・ロトラティ 1 複現・完了形(rotolarsi)v.pr 転げ回った 「動詞句」

nelle onde. ネレ・オンデ adv. 波の中を 「副詞句」

onde オンデ pl(onda).n.f 波

浜辺で着替えていると、マリーが目をきらめかせて僕を見つめた。

Quando ci siamo rivestiti sulla spiaggia, Maria mi guardava con gli occhi scintillanti.

「副詞節」, 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

Quando クワント conj. ～する時 「副詞節」

ci siamo rivestiti チ・シアモ・リヴェスチ 1 複現・完了形(vestirsi)

v.pr 着替えた 「動詞句」

sulla spiaggia, スラ・ピアッジャ adv. 海岸で、浜辺で 「副詞句」

Maria マリア n.f マリーは 「主語」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

guardava グワルダヴァ v.t 見つめていた 「動詞」

con gli occhi コン・リ・オッキ adv. 目で 「副詞句」

scintillanti. シンチランチ adj(scintillante).pl.m きらめく 「形容詞」

僕は彼女にキスをした。その時から僕たちは、もう何も話さなかった。

L'ho baciata. Da quel momento in poi, non abbiamo parlato più.

「目的語」「動詞句」 | 「副詞句」「動詞句」

L' ラ pron 彼女に 「目的語」

ho baciata. オ・バチャタ 1 単現・完了形.f(baciare)v.t キスした 「動詞句」

Da quel momento in poi, ダ・ケル・モメント・イン・ポーイ adv. (時間・起点) その時から 「副詞句」

non abbiamo parlato più. ノン・アッビアモ・パルラト・ピウ 1 複現・完了形・否定

v.i もう何も話さなかった 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

僕は彼女を抱き寄せ、急いでバスに乗り、街に戻り、僕の部屋へ行き、ベッドに飛び込んだ。

L'ho tenuta còntro di me e abbiamo avuto fretta di trovare un autobus, tornare in città, andare a casa mia e gettarci sul mio letto.

「目的語」「動詞句」「副詞句」 e 「動詞句」「目的語」,

「動詞句」「間接目的語」, 「動詞句」「間接目的語」 e 「動詞句」「副詞句」

L' pron.f 彼女を 「目的語」

ho tenuta オ・テヌ・タ 1 単現・完了形(tenére)v.t つかんだ 「動詞句」

còntro di me コントロ・ディ・メ adv. 僕に向かって 「副詞句」

e ɛ conj. そして

abbiamo avuto fretta di +不定詞 アッビ・アーモ・アウ・ター・ディ 1 複現・完了形・急ぐ

(avére fretta di+不定詞)v.t 急いで～した 「動詞句」

trovare トロヴァーレ 不定詞

v.t (期待していたものを) 得る、(乗り物に) 乗る 「動詞句」

un autobus, ウン・アウトバス n.m バスに 「目的語」

tornare トルナーレ 不定詞 v.i 戻る 「動詞句」

in città, イン・チッタ adv. 街に 「間接目的語」

andare アンダーレ 不定詞 v.i 行く 「動詞句」

a casa mia ア・カサ・ミア adv. 僕の部屋に 「間接目的語」

e ɛ conj. そして

gettarci ケッタール・チ 不定詞(gettarsi)v.pr 飛び込む 「動詞句」

sul mio letto. スル・ミーオ・レット adv. ベッドに 「副詞句」

窓は開けたままにしておいた。日に焼けた体の上に、夏の夜が感じられて心地よかった。

Avevo lasciato apèrta la finèstra e dólce era sentire la notte d'estate sópra i nostri còrpi bruni.

「動詞句」「補語」「目的語」 e 「補語」「動詞」「主語」

Avevo lasciato アヴ・ェウ・ヴォ・ラッシャート 1 単半・完了形・放任(lasciare)v.t ～のままにした 「動詞句」

apèrta アペールタ adj(apèrto).f 開いた、開いた 「補語」

la finèstra ラ・フィネストラ n.f 窓を 「目的語」

e ɛ conj. そして

dólce トルチェ adj. 心地良い 「補語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった 「動詞」

sentire センチレ 不定詞 n. 感じることは 「主語」

la notte d'estate ラ・ノッテ・デ・スターテ n.f 夏の夜を 「目的語」

sópra i nostri còrpi ソープ・ライ・ノストリ・コルピ° adv. 体の上に 「副詞句」

bruni. ブルニ adj(bruno).pl 暗褐色の、日に焼けた 「形容詞」

PARTE PRIMA 第1部

今朝はマリーが僕の所に残っていたので、一緒に食事をしないかと誘った。

Questa mattina Maria è restata da me e le ho detto che si sarebbe mangiato insieme.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」 e 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Questa mattina クェスタ・マッティーナ adv. 今朝は 「副詞句」

Maria マリア n.f マリーは 「主語」

è restata エ・レスタタ 3 単現・完了形.f(restare)v.i 残っていた 「動詞句」

da me ダ・メ adv. 僕の所に 「副詞句」

e エ conj. そして

le レ pron 彼女に 「間接目的語」

ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

si sarebbe mangiato シ・サルッベ・マンジヤト 条・3 単現・完了形・勧誘(mangiarsi)

v.pr 食べていった～らどうだろう 「動詞句」

insieme. インシェーメ adv. 一緒に 「副詞」

僕は肉を買いに降りた。また階段を上がって来る時、レーモンの部屋で女の声が聞こえた。

Sono andato giù a comperare la carne. Mentre risalivo le scale, ho udito una voce di donna nella camera di Raimondo.

「動詞句」「副詞句」 | 「副詞節」, 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Sono andato ソーノ・アンダート 1 単現・完了形(andare)v.i 歩いて行った 「動詞句」

giù ジウ adv. 下に 「副詞」

a comperare ア・コンプ ラレ 不定詞・目的 adv. 買うために 「副詞句」

la carne. ラ・カルネ n.f 肉を 「目的語」

Mentre メントレ conj. ～する時 「副詞節」

risalivo リサルイヴォ 1 単半(risalire)v.t また上がって来た 「動詞」

le scale, レ・スカーレ pl(scala)n.f 階段を 「目的語」

ho udito オ・ウディート 1 単現・完了形(udire)v.t 聞こえた 「動詞句」

una voce ウナ・ヴォーチェ n.f 声が 「目的語」

di donna デイ・ドンナ adj. 女の 「形容詞句」

nella camera di Raimondo. ネラ・カメラ・デイ・ライメント adv. レーモンの部屋で 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

少し経ってから、サラマノ老人が犬を叱った。

Un po' più tardi, il vecchio Salamano ha sgridato il suo cane.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Un po' più tardi, ウン・ポ・ピウ・タルテ adv. 少したってから

「副詞句」

il vecchio Salamano イル・ヴェッキオ・サラマノ n.m. サラマノ老人が

「主語」

ha sgridato ア・スクリダート 3 単現・完了形(sgridare)v.t. 大声で叱った

「動詞句」

il suo cane. イル・スオ・カーネ n.m. 犬を

「目的語」

階段の踏み板の上で靴底と犬の足の爪の音が聞こえた。それから、「死にぞこないの畜生！」が聞こえて、彼らは通りに出て行った。

Abbiamo udito un rumore di suole e di zampe sui gradini di legno della scala, e poi “Maledétto, Carógna”; uscivano in strada.

「動詞句」 「目的語」, e 「副詞」 《「呼びかけ」》; 「動詞」 「副詞句」

Abbiamo udito アビアーモ・ウディート 1 複現・完了形(udire)v.t. 聞こえた

「動詞句」

un rumore ウン・ルモーレ n.m. 物音が

「目的語」

di suole ティ・スオーレ adj. 靴底の

「形容詞句」

suole スオーレ adj(suola).pl.f 靴底

e e conj. そして

di zampe ティ・サンペ adj. (動物の) 爪の

「形容詞句」

sui gradini スイ・グラディーニ adv. 踏み段の上で

「副詞句」

gradini グラディーニ pl(gradino)pl.n.m 踏み段

di legno ティ・レンニョ adj. 木製の

「形容詞句」

della scala, テラ・スカラ adj. 階段の

「形容詞句」

e e conj. そして

poi ポーイ adv. それから

「副詞」

“Maledétto, Carógna”; マレデット・カロニャ adv. 「死にぞこないの畜生！」

「呼びかけ」

uscivano ウシヴァノ 3 複半(uscire)v.i. 出て行った

「動詞」

in strada. イン・ストラダ adv. 通りに

「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

僕がその老人のことをマリーに話して聞かせると、マリーは笑った。

Ho raccontato a Maria la stòria del vècchio e lèi ha riso.

「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」 e 「主語」「動詞句」

Ho raccontato オ・ラッコンタート 1 単現・完了形(raccontare)v.t 話して聞かせた 「動詞句」

a Maria ア・マリア adv. マリーに 「間接目的語」

la stòria del vècchio ラ・ストーリア・デル・ヴェッキオ n.f その老人の話を 「直接目的語」

e エ conj. そして

lèi レイ pron.f 彼女は 「主語」

ha riso. ア・リゾ 3 単現・完了形(ridere)v.i 笑った 「動詞句」

彼女は、僕のパジャマの1つを袖の上にたくし上げて着ていた。彼女が笑った時、僕はまた彼女を抱きたくなった。

Si era messa un mio pigiama di cui aveva tirato su le maniche. Quando ha riso ho avuto ancora voglia di lei.

「動詞句」「目的語」 | 「副詞節」, 「動詞句」「副詞」「間接目的語」

Si era messa シ・エラ・メッサ 3 単半・完了形(mettersi)v.pr (服を) 着ていた 「動詞句」

un mio pigiama ウン・ミオ・ピジヤマ n.m 僕のパジャマの1つを 「目的語」

di cui デイ・クイ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

aveva tirato アヴェーヴァ・チラート 3 単半・完了形(tirare)

v.t 手繰り上げた 「動詞句」

su le maniche. ス・レ・マーニケ adv. 袖の上に 「副詞句」

maniche マーニケ pl(mànica).n.f 袖

Quando クワント conj. ～する時 「副詞節」

ha riso ア・リーゾ 3 単現・完了形(ridere)v.i 笑った 「動詞句」

ho avuto オ・アヴェート 1 単現・完了形(avere)v.t (感情を) 抱いた 「動詞句」

ancora アンコーラ adv. また 「副詞句」

voglia di lei. ヴォーリア・デイ・レイ n.f 彼女に対する性的欲求を 「目的語」

少し後で、マリーは僕に愛しているかと尋ねた。僕は、それはなんの意味も無い事だが、おそらく愛していないと思うと答えた。

Un momento dopo, mi ha domandato se l'amavo. Le ho risposto che era una cosa che non significava nulla, ma che mi pareva di no.

「副詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 ma 「直接目的語」

Un momento dopo, ウン・モメント・ドーポ adv. 少し後で 「副詞句」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha domandato ア・ドマンドート 3 単現・完了形(domandare)v.t 尋ねた 「動詞句」

se セ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」

l' ラ pron.f 彼女を 「目的語」

amavo. アマヴォ 1 単半・時制の一致(amare)v.t 愛している 「動詞」

Le レ pron.f 彼女に 「間接目的語」

ho risposto オ・リスポスト 1 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた 「動詞句」

che ケ conj. ～ということ 「直接目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」

una cosa ウナ・コサ n.f 事 「補語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

non significava ノン・シニフィカヴァ 3 単半・否定・時制の一致(significare)

v.t 意味しない 「動詞句」

nulla, ニュラ pron 何も～ない 「目的語」

ma マ conj. しかし

che ケ conj. ～ということ 「直接目的語」

mi ミ pron 僕には 「間接目的語」

pareva パレヴァ 3 単半・時制の一致(parere)v.i ～のように思われる 「動詞」

di no. ディ・ノ 不定詞・省略(di+不定詞・否定・省略)

n. 愛していないということが 「主語」

彼女は少し悲し気な顔をした。しかし、彼女は食事の用意をしている時に、取るに足らない事でいつものように笑ったので、僕は彼女にキスをした。

Lèi ha avuto l'aria un po' triste. Ma mentre preparava da mangiare, e per una sciocchezza, ha ancora riso in un tal modo che l'ho baciata.

「主語」「動詞句」「目的語」 | Ma 「副詞節」 che 「間接目的語」「動詞句」
 Lèi レイ pron.f 彼女は 「主語」
 ha avuto ア・アヴート 3 単現・完了形(avére)v.t (感情) をした 「動詞句」
 l'aria ラーリア n.f 様子を 「目的語」
 un po' triste. ウン・ポ・トリステ adj. 悲し気な 「形容詞句」
 Ma マ conj. しかし
 mentre メントレ conj. ～する間 「副詞節」
 preparava da mangiare, プレハ ラウヴァ・ダ・マンジヤレ 3 単半(preparare da+不定詞 mangiare)
 v.t 食事の支度をしていた 「動詞句」
 e エ conj. そして
 per una sciocchezza, ペル・ウナ・ショケツツァ
 adv. (原因) 取るに足らない事で 「副詞句」
 ha ancora riso ア・アンコーラ・リゾ 3 単現・完了形(ridere)v.i また笑った 「動詞句」
 in un tal modo イン・ウン・タル・モート adv. いつものように 「副詞句」
 che ケ conj. (結果) それで～する
 l' ラ pron.f 彼女に 「間接目的語」
 ho baciata. オ・バチャータ 1 単現・完了形.f(baciare)v.t キスした 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

その時突然、レーモンの部屋で口論が始まったのが聞こえた。

È in quel moménto che da Raimondo sono scoppiati i rumóri di una lite.

「動詞」「補語」「主語」

È エ 3 単現(èssere)v.i ~である

「動詞」

in quel moménto イン・ケル・メント adv. その時

「補語」

che ケ conj. ~ということは

「主語」

da Raimondo ダ・ライメント adv. レーモンの部屋から

「副詞句」

sono scoppiati ソーノ・スコピ・アーティ 3 複現・完了形.pl(scoppiare)

v.i 勃発した、起こった

「動詞句」

i rumóri イルモーリ pl(rumório).n.m 騒音が

「主語」

di una lite. ティ・ウナ・リーテ adj. 口論の

「形容詞句」

まず最初に女の金切り声が聞こえ、それから「お前は俺を騙した。俺を騙した」というレーモンの声が聞こえた。

Dapprima si è udita una voce stridula di donna e poi Raimondo che diceva: “Tu mi hai fregato, mi hai fregato.

「副詞」「動詞句」「主語」

Dapprima ダップリーマ adv. まず最初に

「副詞」

si è udita シ・エ・ウディータ 3 単現・完了形・再帰受動(udirsi)v.pr 聞こえた

「動詞句」

una voce ウナ・ヴォーチェ n.f 声が

「主語」

stridula ストリドゥラ adj(stridulo).f 鋭い、耳をつんざく

「形容詞」

di donna ティ・ドンナ adj. 女の

「形容詞句」

e エ conj. そして

poi ポーイ adv. それから

「副詞」

Raimondo ライメント adj. レーモンの

「形容詞句」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

diceva: デイチェヴァ 3 単半(dire)v.t 言う

「動詞」

“Tu トゥ pron お前は

「主語」

mi ミ pron 俺を

「目的語」

hai fregato, アイ・フラガト 2 単現・完了形(fregare)

v.t 騙した、欺いた

「動詞句」

mi ミ pron 俺を

「目的語」

hai fregato. アイ・フラガト 2 単現・完了形(fregare)

v.t 騙した、欺いた

「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

「俺を騙したらどうなるか教えてやる」鈍い殴打の音が聞こえ、そして、女が悲鳴をあげた。しかし、それが余りにも激しかったので、踊り場はすぐに人で一杯になった。

Adesso ti insegnerò io a fregarmi. Qualche colpo sordo e poi la donna ha urlato, ma in un modo così terribile che immediatamente il pianerottolo di gente.

《「副詞」「間接目的語」「動詞」「主語」「副詞句」》

「主語」 e 「副詞」「主語」「動詞句」,

ma 「副詞句」 che 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」

Adesso アデッソ adv. すぐに、まもなく 「副詞」

ti チ pron お前に 「間接目的語」

insegnerò インセニエロ 1 単末(insegnare)v.t 教えてやる 「動詞」

io イオ pron おれは 「主語」

a fregarmi.” ア・フレガル・ミ 不定詞・条件(fregare+mi)adv. 俺を騙したら 「副詞句」

Qualche colpo クワルケ・コルポ pl.n.m いくつかの殴打 「主語」

sordo ソルト adj. 鈍い 「形容詞」

e エ conj. そして

poi ポーイ adv. それから 「副詞」

la donna ラ・ドンナ n.f 女が 「主語」

ha urlato, ア・ウルラト 3 単現・完了形(urlare)v.i 悲鳴をあげた 「動詞句」

ma マ conj. しかし

in un modo così terribile イン・ウン・モト・コシ・テリビレ adv. あまりにもすごい、激しい 「副詞句」

che ケ conj. (結果) そして～する

immediatamente インメディアメンテ adv. すぐに、たちまち 「副詞」

il pianerottolo イル・ピアネットロ n.m 踊り場は 「主語」

si è riempito シ・エ・リエンプト 3 単現・完了形(riempirsi)v.pr(di で) 一杯になった 「動詞句」

di gente. デイ・ヘンテ adv. 人で 「副詞句」

僕たちも部屋から出てみた。女は叫び続け、レーモンは女を殴り続けていた。

Siamo usciti anche noi. La donna continuava a gridare e Raimondo continuava a colpirla.

「動詞句」「主語」 | 「主語」「動詞句」 e 「主語」「動詞句」

Siamo usciti シアーモ・ウッシーティ 1 複現・完了形(uscire)v.i 出た 「動詞句」

anche noi. アンケ・ノイ pron 僕たちも 「主語」

La donna ラ・ドンナ n.f 女は 「主語」

continuava a gridare コンチヌアヴァ・ア・グリダレ 3 単半・継続(continuare a+不定詞 gridare)
v.i 叫び続けていた 「動詞句」

e エ conj. そして

Raimondo ライモンテ n.m レーモンは 「主語」

PARTE PRIMA 第1部

continuava a colpirla. コンチヌアヴァ・ア・コルピールラ 3 単半・継続(continuare a+不定詞 gridare)
v.t 女を殴り続けていた 「動詞句」

マリーは僕にそれはひどいと言った。僕は彼女に何も答えなかった。彼女は僕に警官を呼んでと頼んだが、僕は警官は嫌いだと答えた。

Maria mi ha detto che era terribile e io non ho risposto nulla. Mi ha detto di andare a chiamare un agente, ma io le ho detto che non mi piacciono gli agenti.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e 「主語」「動詞句」「目的語」

「間接目的語」「動詞句」「補語」,ma 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Maria マリア n.f マリーは 「主語」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(estar)v.i ～である 「動詞」

terribile テリビレ adj. ひどい 「補語」

e エ conj. そして

io イオ pron 僕は 「主語」

non ho risposto ノ・ノ・リスポスト 1 単現・完了形・否定(rispondere)v.t 答えなかった 「動詞句」

nulla. ヌッラ pron 何もなはない 「目的語」

Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t(di+不定詞 ～するように) 言った 「動詞句」

di andare a chiamare ディ・アンダ・レ・ア・キアマーレ 不定詞・mi の動作(andare a+不定詞 chiamare)

v.t 呼びに行く 「補語」

un agente, ウン・アジエンテ n.m 警官を 「目的語」

ma マ conj. しかし

io イオ pron 僕は 「主語」

le レ pron.f 彼女に 「間接目的語」

ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った、答えた 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

non ...piacciono ノ...ピ・アッチョノ 3 複現・否定(piacere)v.i 好みでない 「動詞句」

mi ミ pron 僕にとって 「間接目的語」

gli agenti. リ・アジエンティ pl(agente).n.m 警官は 「主語」

それでも警官が一人、3階に住んでいる配管工と一緒に到着した。

Comunque ne è arrivato uno con lo stagnino che abita al secondo piano.

「副詞句」「動詞句」「主語」「副詞句」

Comunque コムンケ adv. それでも

「副詞」

ne ネ adv. そこに

「副詞」

è arrivato エ・アリヴァート 3 単現・完了形(arrivare)v.i 着いた、到着した

「動詞句」

uno ウーノ pron 警官が一人

「主語」

con lo stagnino コン・ロ・スタニーノ adv. 配管工と一緒に

「副詞句」

stagnino スタニーノ n.m ブリキ屋 idraulico イドラウリコ n.m 配管工、水道屋

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

abita アビタ 3 単現(abitare)v.t 住んでいる

「動詞」

al secondo piano. アル・セコント・ピアーノ adv. 3 階に

「副詞句」

フランス語版では

それでも警官が1人、3階に住んでいる配管工と一緒に到着した。

Pourtant, il en est arrivé un avec le locataire du deuxième qui est plombier.

警官がドアを叩くと、もう何も聞こえなくなった。さらに強く叩くと、少ししてから、女が泣き出し、レーモンがドアを開けた。

Ha bussato alla porta e non si è sentito più nulla. Ha bussato più forte e, dopo un istante, la donna si è messa a piangere e Raimondo ha aperto.

「動詞句」「間接目的語」 e 「動詞句」「主語」

「動詞句」「副詞句」 e, 「副詞句」「主語」「動詞句」 e 「主語」「動詞句」

Ha bussato ア・ブッサート 3 単現・完了形(bussare)v.i(a を) 叩いた

「動詞句」

alla porta アラ・ポールタ adv. ドアを

「間接目的語」

e エ conj. そして

non si è sentito ノン・シ・エ・センチート 3 単現・完了形・再帰受動・否定(sentirsi)

v.pr 聞こえなかった

「動詞句」

più nulla. ピー・ウ・ヌッラ pron もう何も

「主語」

Ha bussato ア・ブッサート 3 単現・完了形(bussare)v.i(a を) 叩いた

「動詞句」

più forte ピー・ウ・フォルテ adv. さらに強く

「副詞句」

e, エ conj. そして

dopo un istante, トーポ・ウン・イスタンテ adv. 少ししてから

「副詞句」

la donna ラ・ドンナ n.f 女が

「主語」

si è messa a piangere シ・エ・メッサ・ア・ピアンジェレ 3 単現・完了形.f・開始

(mettersi a+不定詞 piangere)v.pr 泣きだした

「動詞句」

e エ conj. そして

PARTE PRIMA 第1部

Raimondo ライモンﾄﾞ n.m レーモンが 「主語」
 ha apèrto. ア・アペールト 3 単現・完了形(aprire)v.t 開けた 「動詞句」

レーモンは煙草をくわえ、にやけた素振りだった。女が戸口に突進して、警官にレーモンに殴られたと訴えた。

Aveva una sigarétta in bócca e il fare mellifluo. La ragazza si è precipitata alla pòrta e ha dichiarato all'agènte che Raimondo l'aveva picchiata.

「動詞」「目的語」「副詞節」 e 「目的語」

「主語」「動詞句」「副詞句」 e 「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」

Aveva アヴェヴァ 3 単半(avére)v.t ～があった 「動詞」
 una sigarétta ウナ・シガレッタ n.f タバコが 「目的語」
 in bócca イン・ボッカ adv. 口に 「副詞句」
 e エ conj. そして

aveva 3 単半(avére)v.t (動作を) した

il fare イル・ファレ n.m 態度を 「目的語」
 mellifluo. メリフルオ adj. 甘ったれた、軽々しい 「形容詞」

La ragazza ラ・ラガッツァ n.f 女が 「主語」
 si è precipitata シ・エ・プレチピタータ 3 単現・完了形(precipirarsi)v.pr 突進した 「動詞句」
 alla pòrta アラ・ポールタ adv. 戸口に 「副詞句」
 e エ conj. そして

ha dichiarato ア・デ・イキアラート 3 単現・完了形(dichiarare)v.t 申し立てた 「動詞句」
 all'agènte アラジエンテ adv. 警官に 「間接目的語」
 che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

Raimondo ライモンﾄﾞ n.m レーモンが 「主語」

l' ラ pron 自分を 「目的語」

aveva picchiata. アヴェヴァ・ア・ピッキアータ 3 単半・完了形.f(picchiare)
 v.t 殴った 「動詞句」

「名前は？」と、警官が言った。レーモンは名前を伝えた。「私と話すときは、くわえ煙草はやめろ」と、警官が言った。

“Il tuo nóme,” ha détto l’agènte. Raimondo glielo ha détto. “Tira via la sigarétta di bócca quando parli con me,” ha détto l’agènte.

《「質問」》, 「動詞句」「主語」 | 「主語」「間接目的語」「直接目的語」「動詞句」,
《「動詞」「副詞」「目的語」》, 「動詞句」「主語」

“Il tuo nóme,”	イル・トゥーオ・ノメ n.m (質問)	名前は？	「質問」
ha détto	ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t	言った	「動詞句」
l’agènte.	ラジエンテ n.m	警官が	「主語」
Raimondo	ライモンテ n.m	レーモンは	「主語」
glielo	リエロ pron	彼に名前を	「目的語」
ha détto.	ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t	伝えた	「動詞句」
“Tira	チラ 命・2 単現(tirare)v.t	取り出せ	「動詞」
via	ヴァーア adv.	外に、向こうへ	「副詞」
la sigarétta	ラ・シガレッタ n.f	タバコを	「目的語」
di bócca	ディ・ボッカ adv.	(起点) 口から	「副詞句」
quando	クワント conj.	何する時は	「副詞節」
parli	パルリ 2 単現(parlare)v.i	話す	「動詞」
con me,”	コン・メ adv.	私と	「副詞句」
ha détto	ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t	言った	「動詞句」
l’agènte.	ラジエンテ n.m	警官が	「主語」

レーモンは少しためらい、僕を見て、タバコを加え続けていた。

Raimondo ha esitato un moménto, mi ha guardato, e ha tenuto la sigarétta.

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「目的語」「動詞句」, e 「動詞句」「目的語」

Raimondo	ライモンテ n.m	レーモンは	「主語」
ha esitato	ア・エジタート 3 単現・完了形(esitare)v.i	ためらった	「動詞句」
un moménto,	ウン・モメント adv.	少し	「副詞句」
mi	ミ pron	僕を	「目的語」
ha guardato,	ア・グワルダート 3 単現・完了形(guardare)v.t	見た、見つめた	「動詞句」
e	エ conj.	そして	
ha tenuto	ア・テヌート 3 単現・完了形(tenére)v.t	(状態に) 保った	「動詞句」
la sigarétta	ラ・シガレッタ n.f	タバコを	「目的語」

フランス語版では

レーモンはためらい、僕を見つめてから煙草を吸った。

Raymond a hésité, m’a regardé et a tiré sur sa cigarette.

PARTE PRIMA 第1部

イタリア語版では、「タバコを吸った」意味にならない。

この瞬間、警官がレーモンの頬の真ん中に、分厚く重い平手打ちを食らわせた。

A questo punto, l'agente lo ha schiaffeggiato di tutta forza, con un ceffone spesso e pesante, in piena guancia. 「副詞句」, 「主語」 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」

A questo punto, ア・クェスト・プント adv. この時、その瞬間 「副詞句」

l'agente ラジエンテ n.m 警官は 「主語」

lo 彼 pron 彼を 「目的語」

ha schiaffeggiato ア・スキアフェジヤート 3 単現・完了形(schiaffeggiare)

v.t (人の) 頬を平手で打った 「動詞句」

di tutta forza, ディ・トゥッタ・フォルサ adv. (様態) 全力で、力任せに 「副詞句」

con un ceffone コン・ウン・チェフォネ adv. (手段) 平手打ちで 「副詞句」

spesso スペツ adj. 分厚い 「形容詞」

e conj. そして

pesante, ペサンテ adj. 重い 「形容詞」

in piena guancia. イン・ピェナ・グアンチャ adv. 頬の真ん中に 「副詞句」

タバコは数メートル先に落ちた。レーモンは顔色を変えたが、すぐには、何も言わなかった。それから、へりくだった調子で、吸い殻を拾い上げても構わないかと尋ねた。

La sigarétta è caduta qualche mètro più in là. Raimondo ha cambiato faccia, ma lì per lì non ha detto niente e poi ha chiesto, con una voce umile, se poteva tirar su il mozzicone.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」 | 「主語」 「動詞句」 「目的語」,

ma 「副詞句」 「動詞句」 「目的語」 e 「副詞」 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」

La sigarétta ラ・シガレッタ n.f タバコは 「主語」

è caduta エ・カドゥッタ 3 単現・完了形(ccadere)v.i 落ちた 「動詞句」

qualche mètro クワルケ・メトロ adv. 数メートルに 「副詞句」

più in là. ピウ・イン・ラ adv. 先へ、向こうへ 「副詞句」

Raimondo ライモンテ n.m レーモンは 「主語」

ha cambiato ア・カンビアート 3 単現・完了形(cambiare)v.t 変えた 「動詞句」

faccia, ファッチャ n.f 顔色を 「目的語」

ma conj. しかし

lì per lì リ・ペル・リ adv. すぐに 「副詞句」

non ha detto ノナ・デット 3 単現・完了形・否定(dire)v.t 言わなかった 「動詞句」

niente ニエンテ pron 何も～ない 「目的語」

e conj. そして

pòi ポーイ adv. それから 「副詞」

PARTE PRIMA 第1部

ha chiesto, ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた	「動詞句」
con una voce コン・ウナ・ヴォーチェ adv. 声で	「副詞句」
umile, ウミレ adj. へりくだった	「形容詞」
se セ conj. へかどうかということ	「目的語」
poteva tirar su ポ・テヴァ・チラル・ス 3 単半・許可(potere+不定詞 tirare)	
v.t 拾い上げて構わない	「動詞句」
il mozzicone. イル・モチコーネ n.m 吸い殻を	「目的語」

警官は彼に許可を与えてから、付け加えた：「だが、この次は、警官はでくの坊じゃないということ
覚えておけ」

L'agente l'ha autorizzato e ha soggiunto: “Ma la prossima volta saprai che un agente non
è un fantoccio.” 「主語」「間接目的語」「動詞句」 e 「動詞句」:

《Ma 「副詞句」「動詞」「目的語」》

L'agente ラジエンテ n.m 警官は	「主語」
l' 〇 pron 彼に	「間接目的語」
ha autorizzato ア・アウトリザート 3 単現・完了形(authorizzare)v.t 許可した	「動詞句」
e エ conj. そして	
ha soggiunto: ア・ソジエント 3 単現・完了形(soggiungere)v.t 付け加えた	「動詞句」
“Ma マ conj. だが	
la prossima volta ラ・プロッシマ・ヴォルタ adv. この次は	「副詞句」
saprai サプライ 2 単未・命令(sapere)v.t 覚えておけ、分かるだろう	「動詞」
che ケ conj. へということ	「目的語」
un agente ウン・アジエンテ n.m 警官は	「主語」
non è ノ・ネ 3 単現・否定(essere)v.i へでない	「動詞句」
un fantoccio.” ウン・ファントチォ n.m 人形	「補語」

その間じゅう女は泣いて言い続けていた：「こいつは私を殴った。こいつはひもなんだ」

Durante tutto il tempo la ragazza piangeva e continuava a dire: “Mi ha bastonata. È un
ruffiano.”

「副詞句」, 「主語」「動詞」 e 「動詞句」: 《「目的語」「動詞句」 | 「動詞」「補語」》

Durante トゥランテ prep への間、へじゅう	「副詞句」
tutto il tempo トゥット・イル・テンポ n.m その時間すべて	「目的語」
la ragazza ラ・ラガッツァ n.f 女は	「主語」
piangeva ヒ・アンジエヴァ 3 単半(piangere)v.i 泣いていた	「動詞」
e エ conj. そして	
continuava a dire: コンチヌアヴァ・ア・ディレ 3 単半・継続(continuare a+不定詞 dire)	

PARTE PRIMA 第1部

v.t 言い続けていた 「動詞句」
 “Mi ミ pron 私を 「目的語」
 ha bastonata. ア・バストーナ 3 単現・完了形(bastonare)v.t 殴った 「動詞句」
 È エ 3 単現(essere)v.i 〜である 「動詞」
 un ruffiano.” ウン・ルフイアノ n.m ひも、女衒 「補語」

ひも

女子に働かせ、金銭を貢がせたり、女子に養われている情夫。

「おまわりさん」と、その時レーモンが尋ねた。「人を『ひも』と呼んでも構わないなんて法律があるんですか？」だが警官はレーモンに口を閉じろと命じた。

“Signor agente,” ha domandato allora Raimondo, “c’è nella legge, questo, che si può dare a un uomo del ruffiano?” Ma l’agente gli ha ordinato di chiudere il becco.

《「呼びかけ」》, 「動詞句」「副詞」「主語」, 《「動詞句」「副詞句」「主語」》

Ma 「主語」「目的語」「動詞句」「補語」

“Signor agente,” シニョール・アジエンテ n.m お巡りさん 「呼びかけ」
 ha domandato ア・ドマンダート 3 単現・完了形(domandare)v.t 尋ねた 「動詞句」
 allora アッローラ adv. その時 「副詞」
 Raimondo, ライモンﾄﾞ n.m レーモンが 「主語」
 “c’è チェ 3 単現・疑問文・存在(esserci)v.i 〜があるんですか? 「動詞句」
 nella legge, ネラ・レッジェ adv. 法律の中に 「副詞句」
 questo, クェスト pron こういうことは 「主語」
 che ケ conj. 〜ということは 「形容詞節」
 si può dare シ・プオ・ダーレ 3 単現・可能(potère+不定詞 dare)
 v.t (人は) 〜と呼んでもよい 「動詞句」
 a un uomo ア・ウン・ウオーモ adv. 人を 「間接目的語」
 del ruffiano?” テル・ルフイアノ adv. ひもと 「補語」
 Ma マ conj. しかし
 l’agente ラジエンテ n.m 警官は 「主語」
 gli リ pron 彼に 「目的語」
 ha ordinato ア・オルディナート 3 単現・完了形(ordinare)v.t 命じた 「動詞句」
 di chiudere ディ・キウヂェレ 不定詞・gli の動作 v.t 閉じる 「補語」
 il becco. イル・ベッコ n.m 口を 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

するとレーモンは女の方へ振り返り、女に言った：「だが、待ってろよ、お前。また会うことになるだろう」

Allóra Raimondo si è girato vèrso la ragazza e le ha détto: “Aspetta pure, piccina, ci si ritroverà.”

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」 e 「間接目的語」「動詞句」:

《「動詞」 pure, 「呼びかけ」, 「主語」「動詞句」》

Allóra アッローラ adv. そこで、すると 「副詞」

Raimondo ライモンﾄﾞ n.m レーモンは 「主語」

si è girato シ・エ・ジラト 3 単現・完了形(girarsi)v.pr 振り返った 「動詞句」

vèrso ヴェールソ prep (方向) への方に 「副詞句」

la ragazza ラ・ラガッツァ n.f 女 「目的語」

e エ conj. そして

le レ pron 女に 「間接目的語」

ha détto: ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

“Aspetta アスペッタ 命・2 単現(aspettare)v.t 待っている 「動詞」

pure, プーレ conj. けれども

piccina, ピッチーナ n.f おまえ 「呼びかけ」

ci チ pron.pl 俺たちは 「主語」

si ritroverà.” シ・リトヴェラ 3 単未・相互(ritrovarsi+ci)v.pr また会うだろう 「動詞句」

警官はレーモンは口を閉じると叱責した。女は家に帰るよう指示した。レーモンは警察署に召喚できるように部屋に留まるようにと申し渡した。

L'agènte gli ha détto di piantarla, che la ragazza doveva andar via e lui restare lì in càmera che l'avrebbero convocato al commissariato.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「補語」, 「直接目的語」

L'agènte ラジエンテ n.m 警官は 「主語」

gli リ pron 彼に 「間接目的語」

ha détto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

di piantarla, ディ・ピアンタル・ラ 不定詞・gli の動作(piantare+la)

v.t 言うことを止める 「補語」

che ケ conj. へということ 「直接目的語」

la ragazza ラ・ラガッツァ n.f 女は 「主語」

doveva andar via トヴェヴァ・アンダール・ヴィア 3 単半・必要(dovére+不定詞 andare via)

v.i 帰らなければならない 「動詞句」

e エ conj. そして

lui ルーイ pron レーモンは 「主語」

restare レスターレ 3 単半・必要(dovére+不定詞 restare)

PARTE PRIMA 第1部

v.i 留まっていなければならない	「動詞句」
lì in càmera リ・イン・カメラ adv. その部屋に	「副詞句」
che ケ conj. (命令) ~するように	「副詞節」
l'ò pron レーモンを	「目的語」
avrebbero convocato アヴレヴ ^ェ ロ・コンヴ ^ォ カート 条・3 複現・完了形・推量(convocare)	
v.t 召喚するだろう	「動詞句」
al commissariato. アル・コミッサリアート adv. 警察署に	「副詞句」

警官は、レーモンは体が震えるほど酔っていることを恥じるべきだと付け加えた。

Ha soggiunto che Raimondo avrebbe dovuto vergognarsi di essere ubriaco al punto di tremare come faceva.

Ha soggiunto ア・ソヅ ^ィ ント 3 単現・完了形(soggiungere)v.t 付け加えた	「動詞句」
che ケ conj. ~ということを	「目的語」
Raimondo ライモント ^ェ n.m レーモンは	「主語」
avrebbe dovuto vergognarsi アヴレヴ ^ェ ・ドヴ ^ォ グ ^ァ ート・ヴ ^ェ ルコ ^ニ ャルシ 条・3 単現・完了形・義務	
(dovére+不定詞 vergognarsi)v.pr(di を) 恥じるべきだと思われる	「動詞句」
di essere ディ・エッセ 不定詞・変化 n. ~になっていることを	「目的語」
ubriaco ウブリアコ adj. 酔った	「補語」
al punto アル・プント adv. (程度) そこまで	「副詞句」
di tremare ディ・トレマーレ 不定詞・同格	
adv. 震えるという	「副詞句」
come faceva. コメ・ファチェヴァ	
adv. 彼がしているように	「副詞句」

それでレーモンは警官に説明した：「酔っちゃいませんよ。ただ、お巡りさんの前じゃ、震えるんです。ほらね」

Allóra Raimondo gli ha spiegato: “Io non sono ubriaco, signor agente. Soltanto sono qui davanti a lei, e tremo; è così.”

「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞句」:	
《「主語」「動詞句」「補語」「呼びかけ」 「副詞」「動詞」「副詞句」e「動詞」「副詞句」》	
Allóra アッローラ adv. そこで	「副詞」
Raimondo ライモント ^ェ n.m レーモンは	「主語」
gli リ pron 警官に	「間接目的語」
ha spiegato: ア・ス ^ィ ポ ^ィ カート 3 単現・完了形(spiegare)v.t 説明した	「動詞句」
“Io イオ pron 俺は	「主語」
non sono ノン・ソノ 1 単現・否定(essere)v.i ~でない	「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

ubriaco, ウブリアコ	adj. 酔った	「補語」
signor agente. シニョール・アジエンテ	n.m お巡りさん	「呼びかけ」
Soltanto ソルタント	adv. ただ～だけ	「副詞」
sono ソーノ	1 単現(èssere)v.i ～である	「動詞」
qui davanti a lei, クイ・ダヴァンティ・ア・レイ	adv. お巡りさんの前では	「副詞句」
e エ	conj. そして	
tremo; トレモ	1 単現(tremare)v.i 震える	「動詞」
è così.” エ・コシ	adv. こんな風に	「副詞句」

彼はドアを閉めた。皆は立ち去った。マリーと僕は昼食の支度を終えた。

<u>Ha chiuso la pòrta e tutti se ne sono andati. Maria ed io abbiamo finito di preparare la colazione.</u>	「動詞句」「目的語」 e 「主語」「動詞句」 「主語」「動詞句」「目的語」
Ha chiuso ア・キウゾ 3 単現・完了形(chiudere)v.t 閉めた	「動詞句」
la pòrta ラ・ポールタ n.f ドアを	「目的語」
e エ conj. そして	
tutti トウッティ pron(tutto).pl 皆が	「主語」
se ne sono andati. セ・ネ・ソーノ・アンダーティ 3 複現・完了形(pl(andarsene) v.pr 立ち去った	「動詞句」
Maria ed io マリア・エド・イオ pron.pl マリーと僕は	「主語」
abbiamo finito di preparare アビアーモ・フィニート・ティ・プレパラーレ 1 複現・完了形・完了 (finire di+不定詞 preparare)v.t への準備を終えた	「動詞句」
la colazione. ラ・コラツィオーネ n.f 昼食	「目的語」

しかし彼女は空腹で無かったので、僕がほとんど全部食べた。彼女は1時に帰り、それから僕は少し眠った。

Ma <u>lei non aveva fame</u> , e <u>ho mangiato io quasi tutto</u> . <u>È partita all'una</u> e <u>allóra ho dormito un po'</u> .	Ma 「主語」「動詞句」「目的語」,e 「動詞句」「目的語」「主語」 「動詞句」「副詞句」 e 「副詞」「動詞句」「副詞句」
Ma マ conj. しかし	
lei レイ pron.f 彼女は	「主語」
non aveva ノン・アヴ ェーヴァ 3 単半・否定(avére)	
v.t (冠詞なしの目的語と共に) ～でなかった	「動詞句」
fame, ファーメ n.f 空腹	「目的語」
e エ conj. そして	
ho mangiato オ・マンジ ャート 1 単現・完了形(mangiare)v.t 食べた	「動詞句」
io イオ pron 僕が	「主語」

PARTE PRIMA 第1部

quasi tutto. カシ・トゥット pron	ほとんど全てを	「目的語」
È partita エ・パルティータ 3 単現・完了形(partire)v.i	帰った	「動詞句」
all'una アルナ adv. 1 時に		「副詞句」
e エ conj. そして		
allóra アッローラ adv. それから		「副詞」
ho dormito オ・ドルミト 1 単現・完了形(dormire)v.i	眠った	「動詞句」
un po'. ウン・ポ adv. 少し		「副詞句」

3 時頃に、ドアを叩く音が聞こえて、レーモンが入って来た。

Verso le tre ho sentito bussare alla porta ed è entrato Raimondo.

「副詞句」「動詞句」「目的語」ed「動詞句」「主語」

Verso ヴェールゾ prep (時間) ~ころ、~くらい		「副詞句」
le tre レ・トレ pl.n.f 3 時		「目的語」
ho sentito オ・センチト 1 単現・完了形・知覚動詞(sentire)v.t(SV+不定詞)		
v.t ~するのが聞こえた		「動詞句」
bussare ブッサーレ 不定詞 n. ノックしているのが		「目的語」
alla porta アッラ・ポールタ adv. ドアを		「間接目的語」
ed エト conj. そして		
è entrato エ・エントラト 3 単現・完了形(entrare)v.i	入って来た	「動詞句」
Raimondo. ライモンﾄ n.m	レーモンが	「主語」

僕は寝そべったままでいた。彼はやって来てベッドの縁に腰掛けた。

Io sono rimasto sdraiato. Lui è venuto a sedersi sul bordo del letto.

「主語」「動詞句」「補語」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

Io イオ pron	僕は	「主語」
sono rimasto ソーノ・リマスト 1 単現・完了形(rimanere)v.i	~のままでいた	「動詞句」
sdraiato. ストライアト adj.	横になった、寝そべった	「補語」
Lui ルーイ pron	彼は	「主語」
è venuto a sedersi エ・ヴァエヌト・ア・セデール 3 単現・完了形・来てする(venire a+不定詞 sedersi)		
v.i やって来て腰掛けた		「動詞句」
sul bordo スル・ボルト adv.	へりに	「副詞句」
del letto. デル・レト adj.	ベッドの	「形容詞句」

PARTE PRIMA 第1部

彼がしばらく何も言わないので、例の件はどうなったのかと彼に尋ねた。

È rimasto un momento senza parlare e gli ho chiesto com'era andata la sua faccenda.

「動詞句」「補語」 e 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

È rimasto エ・リマスト 3 単現・完了形(rimanere)v.i ~のままでいた 「動詞句」

un momento ウン・モメント adv. 少しの間 「副詞句」

senza parlare センツァ・パ・ルラーレ adv. 話さないで 「補語」

e エ conj. そして

gli リ pron 彼に 「間接目的語」

ho chiesto オ・キェスト 1 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた 「動詞句」

com' コーメ adv. どのようにに~するかを 「直接目的語」

era andata エラ・アンダータ 3 単半・完了形(andare)v.i 進んだ 「動詞句」

la sua faccenda. ラ・スア・ファチェンダ n.f 彼の件は 「主語」

彼は、希望通りに進んだが、女から平手打ちを食らったので、彼も女を殴ったと言った。

Mi ha raccontato che aveva fatto quel che voleva fare, ma lei gli aveva dato uno schiaffo e allora l'aveva bastonata.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha raccontato ア・ラッコナート 3 単現・完了形(raccontare)v.t 語った 「動詞句」

che ケ conj. ~ということ 「直接目的語」

aveva fatto アヴ・ェヴァ・ア・ファット 3 単半・完了形(fare)v.i 実行した 「動詞句」

quel ケル pron それを 「目的語」

che ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

voleva fare, ヴォレヴァ・ファレ 3 単半・願望(volere+不定詞 fare)

v.t 望んだ 「動詞句」

ma マ conj. しかし

lei レイ pron.f 女が 「主語」

gli リ pron 彼に 「間接目的語」

aveva dato アヴ・ェヴァ・ダート 3 単半・完了形(dare)v.t 与えた 「動詞句」

uno schiaffo ウノ・シアップォ n.m 平手打ちを 「直接目的語」

e エ conj. そして

allora アッローラ adv. それで 「副詞」

l' ラ pron 女を 「目的語」

aveva bastonata. アヴ・ェヴァ・バストーナタ 3 単半・完了形.f(bastonare)

v.t 打ちのめした、殴った 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

その後の事は、僕も見分けている。僕には、女はもう罰を受けたように思われるから、レーモンは満足しても良いだろうと彼に言った。

Il resto, l'avevo visto anch'io. Gli ho detto che mi sembrava che ormai la ragazza fosse stata punita e che poteva essere soddisfatto.

「目的語」「動詞句」「主語」 | 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Il resto, イル・レスト n.m 残りは、その後の事は 「目的語」
 l' pron それを 「目的語」
 avevo visto アヴェーヴォ・オ・ヴィスト 1 単半・完了形(vedere)v.t もう見た 「動詞句」
 anch'io. アン・キオ pron 僕も 「主語」
 Gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということ 「直接目的語」
 mi ミ pron 僕には 「間接目的語」
 sembrava センブラヴァ 3 単半(sembrare)v.i ～のように見えた 「動詞」
 che ケ conj. ～ということは 「主語」
 ormai オルマイ adv. 今では、もはや 「副詞」
 la ragazza ラ・ラガッツァ n.f その女は 「主語」
 fosse stata punita フォッセ・スタータ・プニータ 接・3 単半・完了形・受動・推量(punire)
 v.t 罰を受けただろう 「動詞句」
 e エ conj. そして
 che ケ conj. ～ということは 「主語」
 poteva essere soddisfatto. ポテヴァ・エッセレ・ソディスファット 3 単半・可能(potere+不定詞・受動)
 v.t 満足できる 「動詞句」

彼もそう思っていた。そして、警官は望んだことを出来たが、女が受けた痛手を取り除くことは出来なかったとレーモンは言った。

Era quel che pensava anche lui e ha osservato che l'agente poteva fare quel che voleva, ma non poteva toglierle le bôte che si era prese.

「動詞」「補語」 e 「動詞句」「目的語」, ma 「動詞句」「目的語」
 Era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった 「動詞」
 quel ケル pron それ 「補語」
 che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 pensava ペンサーヴァ 3 単半(pensare)v.t 考えていた 「動詞」
 anche lui アンケ・ルーイ pron 彼も 「主語」
 e エ conj. そして
 ha osservato ア・オッセルヴァート 3 単現・完了形(osservare)v.t (所見を) 述べた 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

che ケ conj. ～ということを	「目的語」
l'agente ラジエンテ n.m 警官は	「主語」
poteva fare ポテヴァ・ファレ 3 単半・可能(potére+不定詞 fare)v.t 出来た	「動詞句」
quel ケル pron それ	「目的語」
che ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
voleva, ヴォレーヴァ 3 単半(volére)v.t 望んだ	「動詞」
ma マ conj. しかし	
non poteva toglierle ノン・ポテヴァ・トリエルレ 3 単半・可能・否定(potére+不定詞 toglier+le)	
v.t 彼女から取り除くことは出来なかった	「動詞句」
le bôte レ・ボッテ pl(bôtta).n.f 痛手、打撲	「目的語」
che ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
si era prese. シ・エラ・プレ 3 単半・再帰受動(prëndersi)	
v.pr 受けた	「動詞句」

彼は警官というものは良く知っているし、彼らの扱い方も心得ていると付け加えた。

Ha aggiunto che lui conosceva bene gli agenti e sapeva da che parte bisogna prenderli.

	「動詞句」「目的語」
Ha aggiunto ア・アジント 3 単現・完了形(aggiungere)v.t 付け加えた	「動詞句」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
lui ルー pron 彼は	「主語」
conosceva コノシェヴァ 3 単半・時制の一致(conoscere)v.t 知っている	「動詞」
bene ベーネ adv. よく	「副詞」
gli agenti リ・アジエンティ pl(agente).n.m 警官というものを	「目的語」
e エ conj. そして	
sapeva サペヴァ 3 単半・時制の一致(sapere)v.t 知っている	「動詞」
da che parte ダ・ケ・パルテ conj. どの部分から～することを	「目的語」
→ どのようにするかということ	
bisogna ビゾーニャ 非人称・3 単現・必要(bisognare+不定詞)	
v.h ～しなければならない	「動詞」
prenderli. プレンデルリ 不定詞(prèndere+li)v.t 彼らを扱う	「主語」

PARTE PRIMA 第1部

それから僕に、警官の平手打ちに応じることを期待していたかと尋ねた。

Pòi mi ha chièsto se io mi aspettavo che rispondesse allo schiaffo déll'agènte.

「副詞」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Pòi ポーイ adv. それから

「副詞」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha chièsto ア・キェスト 3 単現・完了形(chièdere)v.t 尋ねた

「動詞句」

se セ conj. ～かどうかということ

「直接目的語」

io イオ pron 僕は

「主語」

mi aspettavo ミ・アスペッターヴォ 1 単半(aspettarsi)v.pr 期待した

「動詞句」

che ケ conj. ～ということ

「目的語」

rispondesse リスポンデッセ 接・3 単半・推量(riepondere)

v.i (動作を) 返す、応じる

「動詞」

allo schiaffo アロ・スキアッフォ adv. 平手打ちに

「間接目的語」

déll'agènte. デラジエンテ adj. 警官の

「形容詞句」

僕は何も期待していなかったし、とにかく警官は嫌いだと答えた。

Io ho rispósto che non mi aspettavo nulla e che in ógni mòdo gli agènti non mi piacciono.

「主語」「動詞句」「目的語」e「目的語」

Io イオ pron 僕は

「主語」

ho rispósto オ・リスポスト 1 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということ

「目的語」

non mi aspettavo ノン・ミ・アスペッターヴォ 1 単半・否定(aspettarsi)

v.pr 期待していなかった

「動詞句」

nulla ヌッラ pron 何も～ない

「目的語」

e エ conj. そして

che ケ conj. ～ということ

「目的語」

in ógni mòdo イン・オンニ・モトド adv. なんとしても、とにかく

「副詞句」

gli agènti リ・アジエンティ pl(agènte).n.m 警官は

「主語」

non ...piacciono. ノン...ピアチョノ 3 複現・否定(piacere)

v.i (～にとって) 気に入らない

「動詞句」

mi ミ pron 僕にとって

「間接目的語」

レーモンは満足げな顔をして、一緒に外に出ないかと僕を誘った。

Raimondo ha avuto l'aria contenta. Mi ha chiesto se volevo andar fuori con lui.

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Raimondo ライムント^ㇿ n.m レーモンは 「主語」
 ha avuto ア・アヴート 3 単現・完了形(avére)v.t (状態) をした 「動詞句」
 l'aria ラーリア n.f 様子 「目的語」
 contenta. コンテンタ adj(contentò).f 満足げな 「形容詞」
 Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha chiesto ア・キスト 3 単現・完了形(chièdere)v.t 尋ねた 「動詞句」
 se セ conj. へかどうかということ 「直接目的語」
 volevo andar ヲ・オレーヴォ・アンダー 1 単半・願望・勧誘(volére+不定詞 andar)
 v.i 行きたい、行かないか? 「動詞句」
 fuori フォーリ adv. 外に 「副詞」
 con lui. コン・ルーイ adv. 彼と一緒に 「副詞句」

僕は立ち上がり、髪をとかし始めた。すると彼は、僕に証人になってもらいたいと言った。

Mi sono alzato e ho cominciato a pettinarmi. Allora mi ha detto che dovevo andare a fargli da testimònio.

「動詞句」 e 「動詞句」 | 「副詞」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Mi sono alzato ミ・ソーノ・アルツァート 1 単現・完了形(alzarsi)v.pr 立ち上がった 「動詞句」
 e エ conj. そして
 ho cominciato a pettinarmi. オ・コミンチャート・ア・ペチナルミ 1 単現・完了形・開始
 (cominciare a+不定詞 pettinarsi)v.pr 髪をとかし始めた 「動詞句」
 Allora アッローラ adv. その時 「副詞」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 che ケ conj. へということ 「直接目的語」
 dovevo andare a fargli ト・ウヴェーヴォ・アンダーレ・ア・ファール・リ 1 単現・必要(dovére+不定詞)
 v.i 行って彼のためにしなければならない 「動詞句」
 da ダ prep (資格) へとして 「副詞句」
 testimònio. テスチモーニオ n.m 証人 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

行くのは構わないが、何を言うべきかが分からない。レーモンによれば、女が彼を騙していたというだけでよいという事だった。

Potevo andarci benissimo, sì, ma non sapevo quel che dovevo dire. Secondo Raimondo bastava dichiarare che la ragazza lo aveva tradito.

「動詞句」「副詞句」,ma「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「動詞」「主語」

Potevo andarci ポテウァンダーチ 1 単半・可能・時制の一致(potére+不定詞)

v.i 行ける 「動詞句」

benissimo, sì, ベニッシモ・シ adv. もちろん、構わない 「副詞句」

ma マ conj. しかし

non sapevo ノン・サペーヴォ 1 単現・否定(sapére)v.t 分からない 「動詞句」

quel ケル pron それが 「目的語」

che ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

dovevo dire. ドヴェーヴォ・デーレ 1 単現・必要(dovére+不定詞 dire)

v.t 言わなければならない 「動詞句」

Secondo セコンド prep ~によれば 「副詞句」

Raimondo ライモンド n.m レーモン 「目的語」

bastava バスタヴァ 非人称・3 単半・時制の一致(bastare)

v.i(+不定詞) ~するだけでよい 「動詞」

dichiarare ディイアラーレ 不定詞 n. 証言することが 「主語」

che ケ conj. ~ということ 「目的語」

la ragazza ラ・ラガッツァ n.f 女が 「主語」

lo ロ pron 彼を 「目的語」

aveva tradito. アヴェーヴァ・トラディート 3 単半・完了形(tradire)v.t 騙していた 「動詞句」

僕は証人の件を引き受けた。僕達は外出した。レーモンが僕にコニャックを奢ってくれた。

Ho accettato di fargli da testimònio. Siamo usciti e Raimondo mi ha offerto un cognac.

「動詞句」「副詞句」 | 「動詞句」 e 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Ho accettato di fargli オ・アツェタート・ディ・ファール・リ 1 単現・完了形・受け入れ

(accettare di+不定詞 fare+gli)v.t 彼に~するのを引き受けた 「動詞句」

da testimònio. ダ・テスチモニオ adv. (資格) 証人として 「副詞句」

Siamo usciti シアーモ・ウシート 1 複現・完了形(uscire)v.i 外出した 「動詞句」

e エ conj. そして

Raimondo ライモンド n.m レーモンが 「主語」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha offerto ア・オフエルト 3 単現・完了形(offrire)v.t 奢ってくれた 「動詞句」

un cognac. ウン・コニャク n.m コニャックを 「直接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

コニャック

フランスの町の名前から付けられた高級ブランデーの一種。伝統的な銅製のポットスチルを用いた単式蒸留を2回行って得られたアルコール度数70%程度の精留分を、リムーザンもしくはトロンセ産のオークを使用した熟成樽で最低でも2年以上熟成する。

それから彼はビリヤードで1勝負しないかと僕を誘った。僕は僅差で負けた。

Pòi ha voluto che facessimo una partita a biliardo e io ho pèrso, ma per pòco.

「副詞」「動詞句」「目的語」 e 「主語」「動詞句」 ma 「副詞句」

Pòi ポーイ adv. それから 「副詞」

ha voluto ア・ウ・オルト 3 単現・完了形(volére)v.t 望んだ 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

facessimo 接・1 複現・勧誘(fare)v.t ～しないか 「動詞句」

una partita a biliardo ウナ・パルチータ・ア・ビリアルト n.f ビリヤードを1勝負 「目的語」

e エ conj. そして

io イオ pron 僕は 「主語」

ho pèrso, オ・ペールソ 1 単現・完了形(pèrdere)v.t 負けた 「動詞句」

ma マ conj. しかし

per pòco. ペル・ポコ adv. (原因) 僅差で 「副詞句」

それから彼は売春宿に行こうと言ったが、僕はその気がないので断った。

Dópo lui voleva andare al bordello ma io gli ho détto di no perché non ne avevo vòglia.

「副詞」「主語」「動詞句」「間接目的語」 ma 「主語」「間接目的語」「動詞句」「応答」

Dópo トーポ adv. それから 「副詞」

lui ルーイ pron 彼は 「主語」

voleva andare ヴォレヴァ・アンダーレ 3 単半・願望(volére+不定詞 andare)

v.i 行きたがった 「動詞句」

al bordello アル・ボルテッロ adv. 売春宿に 「間接目的語」

ma マ conj. しかし

io イオ pron 僕は 「主語」

gli リ pron 彼に 「間接目的語」

ho détto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

di no ディ・ノ adv. 行かないと 「応答」

perché ペルケ conj. ～なので 「副詞節」

non ne avevo vòglia. ノ・ネ・アヴェ・ヴェグ・オ・ウ・オリア 1 単半・否定(avére)

v.t(+vòglia) その気がない 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

それから僕たちはゆっくりアパートに戻った。レーモンは愛人を懲らしめることが出来てこれほど嬉しいことはないと言った。

Allóra siamo ritornati a casa pian piano e Raimondo mi diceva com'era contento di esser riuscito a punire la sua amante.

「副詞」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」 e 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 Allóra アッローラ adv. それから 「副詞」
 siamo ritornati シアーモ・リトルナーティ 1 複現・完了形.pl(ritornare)v.i 戻った、帰った 「動詞句」
 a casa ア・カーサ adv. 家へ、アパートへ 「間接目的語」
 pian piano ピアン・ッピアーノ adv. ゆっくりと 「副詞句」
 e エ conj. そして
 Raimondo ライモンﾄﾞ n.m レーモンは 「主語」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 diceva ディチェヴァ 3 単半(dire)v.t 言った 「動詞」
 com' コム adv. どれほど～するかということ 「直接目的語」
 era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」
 contento コンテント adj. 満足した 「補語」
 di+不定詞 ディ 不定詞・理由 adv. ～して 「副詞句」
 esser riuscito a punire エッセル・リウシット・ア・プニール 不定詞・完了形・成功
 (riuscire a+不定詞 punire)
 v.t 懲らしめることが出来た 「動詞句」
 la sua amante. ラ・スア・アマンテ n.f 愛人を 「目的語」

僕は彼が僕にとっても親切な事に気が付いて、楽しいひと時だと思った。

Io trovo che lui era molto caro con me e ho pensato che quello era un buon momento.

「主語」「動詞」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」
 Io イオ pron 僕は 「主語」
 trovo トロヴァ 1 単半(trovare)v.t 気付いた 「動詞」
 che ケ conj. ～ということ 「目的語」
 lui ルーイ pron 彼が 「主語」
 era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」
 molto caro モルト・カーロ adj. とても親切な、優しい 「補語」
 con me コン・メ adv. 僕に 「副詞句」
 e エ conj. そして
 ho pensato オ・ペンサット 1 単現・完了形(pensare)v.t 思った 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということ 「目的語」
 quello ケッロ pron それは 「主語」

PARTE PRIMA 第1部

era エラ 3 単半・時制の一致(èssere)v.i. ～である 「動詞」
 un buon moménto. ウン・ブオン・モメント n.m 楽しいひと時 「補語」

遠くから、サラマノ老人が落ち着かない様子で戸口の前にいるのが見えた。

Di lontano, ho scorto davanti alla pòrta il vècchio Salamano che sembrava agitato.

「副詞句」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Di lontano, ティ・ロンターノ adv. (起点) 遠くから 「副詞句」
 ho scorto オ・スコルト 1 単現・完了形(scòrgere)v.t 見つけた、気づいた 「動詞句」
 davanti alla pòrta タ・ヴァンティ・アッ・ポールタ adv. 戸口の前に 「副詞句」
 il vècchio Salamano イル・ヴェッキオ・サラマノ n.m サラマノ老人を 「目的語」
 che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 sembrava センブラヴァ 3 単半・時制の一致(sembrare)
 v.i. ～に見える 「動詞」
 agitato. アジタート adj. 落ち着かない 「補語」

もっと近づくと、犬を連れていないことに気付いた。

Quando siamo stati più vicini, ho visto che era senza il suo cane.

「副詞節」, 「動詞句」「目的語」

Quando クワント conj. ～すると 「副詞節」
 siamo stati シアモ・スタート 1 複現・完了形・状態変化(èssere)v.i. ～になった 「動詞句」
 più vicini, ピウ・ヴィチニ adj(vicino).pl もっと近い 「補語」
 ho visto ホ・ヴィスト 1 単現・完了形(vedére)v.t 気付いた、分かった 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 era エラ 3 単半・時制の一致(èssere)v.i. ～である 「動詞」
 senza il suo cane. センツァ・イル・スオ・カーネ adj. 犬なしの 「補語」

彼は周りを見まわし、自分の周りを振り返り、廊下の暗闇の内部を見ようとして、脈絡のない言葉を呟いていた。それから、血走った目で再び通りを眺め始めた。

Si guardava da tutti i lati, si girava su se stesso, cercava di vedére nel bùio del corridóio, borbottava delle parole senza nesso e pòi ricominciava a scrutare la strada coi suoi occhietti róssi.

「動詞句」「副詞句」, 「動詞句」「副詞句」, 「動詞句」「間接目的語」,
 「動詞」「副詞句」e「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Si guardava シ・グワルターヴァ 3 単半(guardarsi)v.pr 見まわしていた 「動詞句」
 da tutti i lati, タ・トゥッティ・イ・ラーティ adv(lato). 全ての側を 「副詞句」
 si girava シ・ジラーヴァ 3 単半(girarsi)v.pr 振り返っていた 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

su se stéssu, ス・セ・ステッソ	adv. 自分自身の上で	「副詞句」
cercava di vedére	チェルカーヴァ・ディ・ヴェデーレ 3 単半・努力(cercare di+不定詞 vedére)	
v.t	見ようとしていた	「動詞句」
nel bùio	ネル・ブーイオ	adv. 暗闇の内部を
del corridóio,	デル・コリドーイオ	adj. 廊下の
borbottava	ボルボッターヴァ 3 単半(borbottare)v.i	ぶつぶつ言っていた
délle parole	デル・パローレ	adv. 言葉で
sènza nesso	センツァ・ネッソ	adv. 脈絡のない
e	エ	conj. そして
pòi	ポーイ	adv. それから
ricominciava a scrutare	リコミンチャーヴァ・ア・スクルターレ 3 単半・再開	
(ricominciare a+不定詞 scrutare)v.t	また眺め出した	「動詞句」
la strada	ラ・ストラダ	n.f 通りを
coi suoi occhietti róssi.	コイ・スオイ・オッキエッティ・ロッシ	adv. (手段) 血走った目で

レーモンが彼にどうしたのかと尋ねても、すぐに答えなかった。

Quando Raimondo gli ha chiesto che cosa aveva, non ha rispósto sùbito.

Quando	クワント	conj. ～する時	「副詞節」
Raimondo	ライノント	n.m レーモンが	「主語」
gli	リ	pron 彼に	「間接目的語」
ha chiesto	ア・キエスト	3 単現・完了形(chièdere)v.t 尋ねた	「動詞句」
che cosa aveva,	ケ・コサ・アヴァーザ	pron どうしたのかと	「直接目的語」
non ha rispósto	ノ・ナ・リスポスト	3 単現・完了形・否定(rispóndere)v.i 答えなかった	「動詞句」
sùbito.	ス・ビト	adv. すぐに	「副詞」

「死にぞこないの畜生」と呟く声がぼんやりと聞こえたが、彼は動き回り続けた。

Ho udito vagamente che mormorava: “Maledétto, Carógna” e continuava ad agitarsi.

Ho udito	オ・ウディート	1 単現・完了形(udire)v.t 聞こえた	「動詞句」
vagamente	ヴァガメンテ	adv. ぼんやりと、漠然と	「副詞」
che	ケ	conj. ～ということが	「目的語」
mormorava:	モルモラヴァ	3 単半(mormorare)v.i つぶやく	「動詞」
“Maledétto, Carógna”	マレデット・カーニャ	adv. いまゝしい死にぞこない「つぶやき」	
e	エ	conj. そして	
continuava ad agitarsi.	コンチヌアヴァ・アド・アジタルシ	3 単半・継続(continuare a+不定詞 agitarsi)	

PARTE PRIMA 第1部

v.pr 動き回り続けた

「動詞句」

彼に犬はどこにいるのか尋ねると、いなくなったとぶっきらぼうに答えた。

Gli ho chiesto dov'era il suo cane. Mi ha risposto, bruscamente, che se n'era andato.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | 「間接目的語」「動詞句」「副詞」「直接目的語」

Gli リ pron 彼に

「間接目的語」

ho chiesto オ・キエスト 1 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた

「動詞句」

dov' トゥヴェ conj. どこでなにするかということを

「直接目的語」

era エラ 3 単半・存在(essere)v.i ~にいる

「動詞」

il suo cane. イル・スー・カーネ n.m 彼の犬は

「主語」

Mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha risposto, ア・リスポスト 3 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた

「動詞句」

bruscamente, ブルスカメンテ adv. 荒々しく、ぶっきらぼうに、いきなり

「副詞」

che ケ conj. ~ということ

「直接目的語」

se n'era andato. セ・ネ・アンダーント 3 単半・完了形(andarsene)v.pr いなくなった

「動詞句」

突然、彼は打って変わって話始めた：「いつものようにあれを練兵場に連れていきました」

E poi di colpo si è messo a parlare con gran volubilità: “L'ho portato in Piazza d'Armi, come il solito.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」：《「目的語」「動詞句」「副詞句」》

E poi エ・ポーイ adv. それから

「副詞句」

di colpo デイ・コルポ adv. 突然

「副詞句」

si è messo a parlare リ・エ・メツ・ア・ハルラーレ 3 単現・完了形(mettersi a+不定詞 parlare)

v.pr 話し始めた

「動詞句」

con gran volubilità: コン・グラン・ヴォルビリタ adv. (様態) 打って変わって

「副詞句」

volubilità ヴォルビリタ n.f (気持ちや意見の) 変わりやすさ

“L' □ pron 犬を

「目的語」

ho portato オ・ポルタート 1 単現・完了形(portare)v.t 連れて行った

「動詞句」

in Piazza d'Armi, イン・ビ・アツァ・ダルミ adv. 練兵場に

「副詞句」

come il solito. コメ・イル・ソリト adv. いつものように

「副詞句」

練兵場

平時に兵士を訓練するための場所。

複合時制の助動詞

「複合時制」では、助動詞は *essere* か *avere* のどちらかが用いられる。(essere の時には、過去分詞が主語の性・数に一致して語尾変化〈～o, i, a, e〉をする。)

動詞の形態	助動詞
自動詞	èssereまたはavére
他動詞	avére
再帰動詞	èssere
非人称動詞	天候・自然現象 avére その他 èssere
受動態	èssere

「見世物小屋の周りにはたくさんの人がいました。私は立ち止まって《縄抜け名人》を見ていました。」

C'era parecchia gente, là intórno ai baracconi. Io mi sono fermato per guardare 'il re déll'evasione'. 《「動詞句」「主語」,「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」》

C'era チェラ 3 単半・存在(esserci)v.i ~がいた、あった 「動詞句」

parecchia パレッキア adj(parecchio).f かなり多くの 「形容詞」

gente, ジェンテ n.f 人々が 「主語」

là ラー adv. そこに 「副詞」

intórno ai baracconi. イントール・アイ・バラコーニ adv. 見世物小屋の周りに 「副詞句」

intórno a イントール・ア prep (場所) ~の周りに baraccone バラコーネ n.m 見世物小屋

Io イオ pron 私は 「主語」

mi sono fermato ミ・ソーノ・フェルマート 1 単現・完了形(fermarsi)v.pr 立ち止まった 「動詞句」

per guardare ペル・グァルダレ 不定詞・結果 adv. そして~を見た 「副詞句」

'il re イル・レ n.m 王様 「目的語」

déll'evasione'. デレウヴァジオーネ adj. 逃亡の 「形容詞句」

縄抜け名人

お祭りなどで、縄で縛られた人が縄をはずして逃げる技を見せる出し物の名称。

「先に進もうと思ったら、もういなかったんです。もちろん、ずっと前からもっと小さい首輪を買ってやろうと考えていました。でもこんな風にいなくなるなんて思いませんでした」

E quando ho voluto continuare la strada, lui non c'era più. Si capisce, era da tanto tempo che volevo comprargli un collare meno largo, ma non avrei mai creduto che quella Carógna se ne potesse andare così.

《E「副詞節」,「主語」「動詞句」「副詞」

「副詞句」「動詞」「副詞句」「主語」,ma「動詞句」「目的語」》

E エ conj. そして

quando クワンド conj. ~した時 「副詞節」

ho voluto continuare オ・ヴァオルト・コンチヌアレ 1 単現・完了形・願望(volere+不定詞 continuare)

v.t ~を続けようとした 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

la strada, ラ・ストラダ ^ダ n.f	行程を	「目的語」
lui ルー pron	あの犬が	「主語」
non c'era ノン・チェラ ^ラ 3 単半・存在・否定(esserci)v.i	いなかった	「動詞句」
più. ピー adv.	もう	「副詞」
Si capisce, シ・カピ ^{シエ} adv.	もちろん	「副詞句」
era エラ 3 単半(essere)v.i	～だった	「動詞」
da tanto tempo ダ・タント・テンポ ^ポ adv.	ずっと前から	「副詞句」
che ケ conj.	～ということは	「主語」
volevo comprargli ヴォレウ ^{ヴォ} ・コンプ ^{ラル} ・リ 1 単半・願望(volére+不定詞 comprare+gli)		
v.t	あれに買ってやろうと思っていた	「動詞句」
un collare ウン・コラーレ n.m	首輪を	「目的語」
meno largo, メノ・ラーゴ ^ゴ adj.	もっと小さい	「形容詞句」
ma マ conj.	しかし	
non avrèi mai creduto ノン・アヴレイ・マイ・クレド ^{ウト} 条・1 単現・完了形・否定(crédere)		
v.t	まったく思わなかった	「動詞句」
che ケ conj.	～ということを	「目的語」
quella Carogna ケラ・カーニャ n.f	あの死にぞこないが	「主語」
se ne potesse andare セ・ネ・ポ ^{テッセ} ・アンダ ^レ 3 単半・可能性(potére+不定詞 andarsene)		
v.pr	いなくなってしまう	「動詞句」
così.” コシ adv.	こんな風に	「副詞」

レーモンは、犬は道に迷ってしまったのかもしれないが、きっと戻ってくるだろうとサラマノを励ました。

Raimondo gli ha spiegato che il cane poteva aver perso la strada e che sarebbe certamente tornato.

	「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e 「直接目的語」	
Raimondo ライモン ^ト n.m	レーモンは	「主語」
gli リ pron	彼に	「間接目的語」
ha spiegato ア・スピ ^エ ・ガート 3 単現・完了形(spiegare)v.t	説明した	「動詞句」
che ケ conj.	～ということを	「直接目的語」
il cane イル・カーネ n.m	犬は	「主語」
poteva aver perso ポ ^テ ・ウ ^ア ・ア ^ハ ・ル ^ペ ・ール ^リ 3 単半・可能性(potére+不定詞・完了形 pèrdere)		
v.t	失ってしまったかもしれない	「動詞句」
la strada ラ・ストラダ ^ダ n.f	道を	「目的語」
e エ conj.	そして	
che ケ conj.	～ということを	「直接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

sarèbbe... tornato. サレッベ...トルナト 条・3 単現・完了形・推量(tornare)

v.i 戻って来るだろう

「動詞句」

certamente チェルタメンテ adv. きっと

「副詞」

彼は、なん十キロも歩いて飼い主のもとに戻った犬の例を挙げて説明した。

Gli ha citato esempi di cani che avevano fatto dozzine di chilometri per ritrovare il loro padrone. 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Gli リ pron 彼に

「間接目的語」

ha citato ア・チタート 3 単現・完了形(citare)v.t 引用した

「動詞句」

esempi エゼンピ pl(esempio).n.m 例を

「直接目的語」

di cani デイ・カーネ adj.(cane) 犬の

「形容詞句」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

avevano fatto アヴ・ェヴァ・アノ・ファット 3 複現・完了形(faire)

v.t (動作を) 行った

「動詞句」

dozzine di chilometri トゥッジー・ネ・デイ・キローメトリ

pl(chilometro)n.m なん十キロを

「目的語」

per ritrovare ヘル・リトロヴァーレ 不定詞・結果

adv. そして見つけた

「副詞句」

il loro padrone. イル・ローロ・ハ・ドロネ

n.m 主人を、飼い主を

「目的語」

しかし、それでも老人はまだ不安な様子だった。

Ma il vecchio è parso ancor più agitato.

Ma 「主語」「動詞句」「補語」

Ma マ conj. しかし

il vecchio イル・ヴェッキオ n.m 老人は

「主語」

è parso エ・パルソ 3 単現・完了形(parère)v.i ~のように見えた

「動詞句」

ancor アンコール adv. まだ

「副詞」

più agitato. ヒウ・アジタート adj. 不安な

「補語」

PARTE PRIMA 第1部

「でも、私の犬を連れ去るでしょう。せめて、誰かがあれを拾ってくれたら良いのですが。しかし、それは不可能です。あのかさぶたを見たら、誰でも気味悪くなります。業者があれを捕まえるでしょう。それは確かです」

“Ma me lo porteranno via, capite. Se alméno ci fósse qualcuno che me lo raccogliesse. Ma è impossibile, fa schifo a tutti con le sue cròste. Lo prenderanno gli agenti, è sicuro.”

《Ma 「間接目的語」「直接目的語」「動詞句」「副詞」, 「問いかけ」

「副詞節」 | Ma 「動詞」「補語」, 「動詞」「補語」「目的語」「副詞句」

「目的語」「動詞」「主語」, 「動詞」「補語」》

“Ma マ conj. しかし

me メ pron 私の 「間接目的語」

lo ロ pron 犬を 「直接目的語」

porteranno ポルテランノ 3 複末(portare)v.t 連れて行くだろう 「動詞句」

via, ヴィア adv. 遠くに 「副詞」

capite. カピテ 2 複現(capire)adv. (同意を求める) そうでしょう? 「問いかけ」

Se セ conj. もし～ならば 「副詞節」

alméno アルメーノ adv. せめて 「副詞句」

ci fósse チ・フォッセ 接・3 単半・仮定・存在(esserci)v.i ～がいる 「動詞句」

qualcuno クワルクーノ pron 誰かが 「主語」

che ケ pron(主語) ～する 「形容詞節」

me メ pron 私の 「間接目的語」

lo ロ pron 犬を 「直接目的語」

raccogliesse. ラッコリエッセ 接・3 単半(raccogliere)

v.t 拾ってくれる 「動詞」

Ma マ conj. しかし

è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

impossibile, イムポッシビレ adj. 不可能な 「補語」

fa ファ 3 単現(fare)v.t ～にさせる 「動詞」

schifo スキーフォ adj. 胸がむかつく 「補語」

a tutti ア・トゥッティ adv. 皆を 「目的語」

con le sue cròste. コン・レ・スーエ・クロステ pl(cròsta).n.f かさぶたで 「副詞句」

Lo ロ pron あの犬を 「目的語」

prenderanno プレンテランノ 3 複末(prendere)v.t 捕まえるだろう 「動詞」

gli agenti, リ・アジエンティ pl(agente).n.m 業者が 「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

sicuro.” シクーロ adj. 確かな 「補語」

PARTE PRIMA 第1部

そこで僕は、野犬収容所に行った方が良いだろう、そうすれば、いくらかの料金を支払えば犬を返してもらえるだろう、と彼に提案した。

Allóra gli ho détto che doveva andare al Canile e glielo avrebbero restituito diètro pagaménto di una cèrta tassa. 「副詞」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Allóra アッローラ adv. それでは、そこで 「副詞」

gli リ pron 彼に 「間接目的語」

ho détto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

doveva andare トヴェヴァ・ア・アンドァーレ 3 単半・助言(dovére+不定詞 andare)

v.i 行ったらよいだろう 「動詞句」

al Canile アル・カニレ adv. 野犬収容所へ 「間接目的語」

e エ conj. そして

glielo リエ・ロ pron 犬を彼に 「目的語」

avrebbero restituito アヴレベ・ロ・レスティトゥイト 条・3 複現・完了形・推量(restituire)

v.t 返すだろう 「動詞句」

diètro ディエートロ prep (交換) ～によって、(時間) 後に 「副詞句」

pagaménto パガメント n.m 支払い 「目的語」

di una cèrta tassa. ティ・ウナ・チェルタ・タッサ

adj. いくらかの料金の 「形容詞句」

その料金は高いのだろうか、と僕に尋ねた。それは僕には分からない。

Mi ha chiesto se era una tassa elevata. Io non lo sapevo.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」

Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chièdere)v.t 尋ねた 「動詞句」

se セ conj. ～かどうかということを 「直接目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」

una tassa ウナ・タッサ n.f 料金 「補語」

elevata. エエヴァータ adj(elevato).f 高い 「形容詞」

Io イオ pron 僕は 「主語」

non ...sapevo. ノン...サペヴォ 1 単半・時制の一致(sapére)v.t 知らない 「動詞句」

lo ロ pron それを 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

すると、彼は怒りだした：「あの死にぞこないのために金を払うだって！くたばってしまえ！」そして、犬を罵り始めた。

Allóra si è messo in còllera: “Dare dei sòldi per quèlla Carógna! Che crepi pure!” E si è messo a insultarlo.

「副詞」「動詞句」：《「感嘆」》,E「動詞句」

Allóra アッローラ adv. すると

「副詞」

si è messo シ・エ・メツ 3 単現・完了形(méttersi)v.pr (状態に) なった

「動詞句」

in còllera: イン・コレラ adv. 怒った

「補語」

“Dare ダーレ 不定詞 v.t 払うこと

「感嘆」

dei sòldi デイ・ソールディ pl(sòldo).n.m 金を

「目的語」

per quèlla Carógna! ペル・クエツ・カローニャ adv. あの死にぞこないのために 「副詞句」

Che crepi pure!” ケ・クレピ・プーレ adv. くたばれ！

「嘆願」

E エ conj. そして

si è messo a insultarlo. シ・エ・メツ・ア・インスタル・ロ 3 単現・完了形・開始(mettersi a+不定詞)

v.pr 犬を罵り始めた

「動詞句」

レーモンは笑って、アパートに入って行った。僕も彼について行き、階段の踊り場で別れた。

Raimondo ha riso ed è entrato in casa. Io l’ho seguito e ci siamo lasciati sul pianerottolo.

「主語」「動詞句」 ed 「動詞句」「間接目的語」

「主語」「目的語」「動詞句」 e 「動詞句」「副詞句」

Raimondo ライモンﾄﾞ n.m レーモンは

「主語」

ha riso ア・リゾ 3 単現・完了形(ridere)v.i 笑った

「動詞句」

ed エ conj. そして

è entrato エ・エントラート 3 単現・完了形(entrare)v.i 入った

「動詞句」

in casa. イン・カーサ adv. アパートの中へ

「間接目的語」

Io イ・オ pron 僕は

「主語」

l’ ロ pron 彼に

「目的語」

ho seguito オ・セグィート 1 単現・完了形(seguire)v.i ついて行った

「動詞句」

e エ conj. そして

ci siamo lasciati チ・シアーモ・ラツシャーティ 1 複現・完了形(pl(lasciarsi)

v.pr (相互的) 別れた

「動詞句」

sul pianerottolo. スル・ピアネットロ adv. (階段の) 踊り場で

「副詞句」

この後すぐに、足音が聞こえた。そして老人が僕の部屋のドアをノックした。

Un momento dopo ho sentito il passo del vecchio, poi ha bussato alla mia porta.

「副詞句」「動詞句」「目的語」, 「副詞」「動詞句」「間接目的語」

Un momento dopo ウン・モメント・ドーポ adv. 少し後で 「副詞句」

ho sentito オ・センチート 1 単現・完了形(sentire)v.t 聞こえた 「動詞句」

il passo イル・パッソ n.m 足音 「目的語」

del vecchio, デル・ヴェッキオ adj. 老人の 「形容詞句」

poi ポーイ adv. それから 「副詞」

ha bussato ア・ブッサート 3 単現・完了形(bussare)v.i ノックした 「動詞句」

alla mia porta. アラ・ミア・ポールタ adv. 僕の部屋のドアを 「間接目的語」

僕がドアを開けると、彼は一瞬戸口に留まり、僕に言った：「すいません、すいません」

Quando ho aperto, è rimasto un momento sulla soglia e mi ha detto: “Mi scusi, mi scusi.”

「副詞節」, 「動詞句」「副詞句」 e 「間接目的語」「動詞句」: 《「挨拶」》

Quando クワント conj. ～する時 「副詞節」

ho aperto, オ・アペールト 1 単現・完了形(aprire)v.t 開けた 「動詞句」

è rimasto エ・リマスト 3 単現・完了形(rimanere)v.i 留まっていた 「動詞句」

un momento ウン・モメント adv. 一瞬、少しの間 「副詞句」

sulla soglia スラ・ソーリア adv. 戸口に 「副詞句」

e エ conj. そして

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha detto: ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

“Mi scusi, mi scusi.” ミ・スクジ・ミ・スクジ adv. すいません、すいません 「挨拶」

PARTE PRIMA 第1部

彼に入るように言ったが、入ろうとしなかった。彼は靴の先端を見つめていた。そして彼のかさぶた
で覆われた両手は震えていた。

Gli ho detto di entrare, ma non ha voluto. Si guardava la punta delle scarpe e le sue mani
coperte di cròste tremavano.

「間接目的語」「動詞句」「補語」,ma「動詞句」

「動詞句」「目的語」e「主語」「動詞」

Gli リ pron 彼に

「間接目的語」

ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

di entrare, デイ・エントラーレ 不定詞・Gli の動作 v.i 入る

「補語」

ma マ conj. しかし

non ha voluto. ノ・ナ・ヴォルト 3 単現・完了形・願望・否定(volére+不定詞 entrare)

v.i 入ろうとしなかった

「動詞句」

Si guardava シ・グ・ワルダ・ヴァ 3 単半(guardarsi)v.pr 見つめていた

「動詞句」

la punta ラ・プンタ n.f 先端を

「目的語」

delle scarpe デレ・スカルペ adj.(scarpa) 靴の

「形容詞句」

e エ conj. そして

le sue mani レ・スエ・マーニ pl(mano).n.f 彼の両手は

「主語」

coperte コペールテ adj(coperto).pl.f(di ~で) 覆われた

「形容詞句」

di cròste デイ・クロステ adv.(cròsta) (動作主) かさぶたで

「副詞句」

tremavano. トレマヴァノ 3 複半(tremare)v.i 震えていた

「動詞」

僕の顔を見ないで、彼は僕に尋ねた：「私からあれを、絶対取り上げないですよね？ ムルソ
ーさん。きっと、返してくれますよね？」

Sènza guardarmi in faccia mi ha chiesto: “Non me lo prenderanno mica, no, signor
Meursault? Cèrto me lo restituiranno.

「副詞句」「間接目的語」「動詞句」:

《「動詞句」「目的語」「動詞句」,「呼びかけ」 | 「副詞」「目的語」「動詞」》

Sènza guardarmi センツァ・グアルダルメ adv. 僕を見ないで

「副詞句」

in faccia イン・ファッチャ adv. 顔を

「間接目的語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha chiesto: ア・キェスト 3 単現・完了形(chièdere)v.t 尋ねた

「動詞句」

“Non ... prenderanno mica, no, ノ... プレンデランノ・ミカ・ノ 3 複未・否定・疑問文

(prèndere)v.t 絶対とりあげないですよね？

「動詞句」

me lo メ・ロ pron わたしからあの犬を

「目的語」

signor Meursault? シニョール・ムルソー n.m ムルソーさん

「呼びかけ」

Cèrto チェルト adv. きっと

「副詞」

me lo メ・ロ pron 私にあの犬を

「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

restituiranno. レストラン 3 複末・疑問文(*restituire*)v.t 返してくれますよね? 「動詞」

「もしそうでなければ、私はどうなってしまうのでしょうか?」僕は彼に、野犬収容所では飼い主のことを考えて3日間犬を置いておくが、その後は、適切に処分すると教えた。

Altrimenti cosa sarà di me?" Gli ho detto che il Canile teneva i cani tre giorni a disposizione dei proprietari e che poi ne facevano quel che volevano.

《「副詞」「主語」「動詞」「間接目的語」》, 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Altrimenti アルトリメンティ adv. (接続詞的) さもなければ、もしそうでないと 「副詞」

cosa コーサ pron 何が 「主語」

sarà サ 3 単末・疑問文(*ser*)v.i 起こりますか? 「動詞」

di me?" デイ・ミ adv. 私に 「間接目的語」

Gli リ pron 彼に 「間接目的語」

ho detto オ・デット 1 単現・完了形(*dire*)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

il Canile イル・カニレ n.m 野犬収容所は 「主語」

teneva テネヴァ 3 単半・習慣(*tenere*)v.t 置いておく 「動詞」

i cani イ・カニ pl(cane).n.m 犬を 「目的語」

tre giorni トレ・ジョルニ pl(giorno).n.m 3 日間 「副詞句」

a disposizione dei proprietari ア・デイスポジツィオーネ・デイ・プロプリエターリ

adv. 飼い主を配慮して 「副詞句」

e エ conj. そして

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

poi ポーイ adv. その後は 「副詞句」

ne ネ pron (cani の代用) それらに 「間接目的語」

facevano ファチェヴァノ 3 複半・習慣(*fare*)v.t (行為を) する 「動詞」

quel che volevano. ケル・ケ・ヴォレヴァノ pron 望むことを 「直接目的語」

彼は無言で僕を見つめた。それから「おやすみなさい」と言って、ドアを閉めた。彼が行ったり来たりする音が聞こえた。彼のベッドがきしんだ。

Lui mi ha guardato in silenzio. Poi ha detto: “Buonasera.” Ha chiuso la porta e l’ho sentito che andava e veniva. Il suo letto ha scricchiolato.

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」 | 「副詞」「動詞句」:《「挨拶」》

「動詞句」「目的語」 e 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | 「主語」「動詞句」

Lui ルーイ pron 彼は	「主語」
mi ミ pron 僕を	「目的語」
ha guardato ア・グわルダート 3 単現・完了形(guardare)v.t 見つめた	「動詞句」
in silenzio. イン・シレンツィオ adv. 黙って	「副詞句」
Poi ポーイ adv. それから	「副詞」
ha detto: ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
“Buonasera.” ブオナセーラ n.f おやすみなさい	「挨拶」
Ha chiuso ア・キウツ 3 単現・完了形(chiudere)v.t 閉めた	「動詞句」
la porta ラ・ポールタ n.f ドアを	「目的語」
e エ conj. そして	
l’ ロ pron 彼が	「間接目的語」
ho sentito オ・センチート 1 単現・完了形(sentire)v.t 聞こえた	「動詞句」
sentire qlcu. che+直説法 「人が... するのを聞く」	
che ケ conj. ～することを	「直接目的語」
andava e veniva. アンダヴァ・エ・ヴァ エニヴァ 3 単半(andare / venire)	
v.i 行ったり来たりする	「動詞句」
Il suo letto イル・スーオ・レット n.m 彼のベッドが	「主語」
ha scricchiolato. ア・スクリキオラート 3 単現・完了形(scricchiolare)v.i きしんだ	「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

そして、壁越しに聞こえてくる奇妙な小さい物音で、僕は彼が泣いているのが分かった。

E dal piccolo rumore strano che mi è giunto attraverso la parete, ho capito che stava piangendo.

E 「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」

E エ conj. そして

dal piccolo rumore strano タル・ピッコロ・ルモーレ・ストラノ

adv. (手段) 奇妙な小さい物音で

「副詞句」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

è giunto エ・ジント 3 単現・完了形(giungere)v.i 届いた

「動詞句」

attraverso la parete, アトラヴァール・ラ・パレーテ

adv. 壁を通して、壁越しに

「副詞句」

ho capito オ・カプト 1 単現・完了形(capire)v.t 分かった

「動詞句」

che ケ conj. ~ということ

「目的語」

stava piangendo. スターヴァ・ピアングェント 3 単半・進行形・時制の一致(stare+現在分詞)

v.i 泣いている

「動詞句」

なぜか分からないが、僕は母さんの事を考えた。しかし、明日の朝は早く起きなければならなかった。空腹ではなかったので、夕食を取らずに寝た。

Non so perché ho pensato alla mamma. Ma la mattina dopo dovevo alzarmi presto. Non avevo fame e sono andato a letto senza cenare.

「副詞句」 「動詞句」 「間接目的語」 | Ma 「副詞句」 「動詞句」 「副詞」

「動詞句」 「目的語」 e 「動詞句」 「間接目的語」 「副詞句」

Non so perché ノン・ソ・ペルケ adv. なぜか分からないが

「副詞句」

ho pensato オ・ペンサート 1 単現・完了形(pensare)v.i(a のことを) 考えた

「動詞句」

alla mamma. アラ・マンマ adv. 母さんの事を

「間接目的語」

Ma マ conj. しかし

la mattina dopo ラ・マッティナ・ドーポ n.f 明日の朝は

「副詞句」

dovevo alzarmi トゥェウ・オ・アルツアルミ 1 単半・必要(dovére+不定詞 alzarsi)

v.pr 起きなければならない

「動詞句」

presto. プレスト adv. 早く

「副詞」

Non avevo ノン・アヴェウ・ガ 1 単半・否定(avére)v.t ~がなかった

「動詞句」

fame ファーメ n.f 空腹が

「目的語」

e エ conj. そして

sono andato ソーノ・アンダート 1 単現・完了形(andare)v.i ~に行った

「動詞句」

a letto ア・レット adv. ベッドに

「間接目的語」

senza cenare. センツァ・チェナーレ adv. 夕食を取らずに

「副詞句」

5.

レーモンが僕の会社に電話をかけてきた。彼の友人が（彼は友人に僕のことを話していたのだ）アルジェ近くにある彼の海の別荘で日曜日を過ごさないかと僕を招待しているという話だった。

Raimondo mi ha telefonato in ufficio. Mi ha detto che un suo amico (al quale aveva parlato di me) mi invitava a passare la giornata di domenica nella sua capanna al mare, vicino ad Algèri.

「主語」	「間接目的語」	「動詞句」	「副詞句」	「間接目的語」	「動詞句」	「直接目的語」
Raimondo	ライモンﾄﾞ n.m	レーモンが				「主語」
mi	ミ pron	僕の				「間接目的語」
ha telefonato	ア・テレフォナート 3 単現・完了形(telefonare)v.t	電話で知らせてきた				「動詞句」
in ufficio.	イン・スツフィチョ adv.	会社に				「副詞句」
Mi	ミ pron	僕に				「間接目的語」
ha detto	ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t	言った				「動詞句」
che	ケ conj.	～ということを				「直接目的語」
un suo amico	ウン・スオ・アミコ n.m	彼の友人が				「主語」
(al quale	アル・クワレ adv.	その人に				「直接目的語」
aveva parlato	アヴェ・エヴァ・ア・パルラート 3 単半・完了形(parlare)v.t	話していた				「動詞句」
di me)	デ・ミ adv.	僕のことを				「間接目的語」
mi	ミ pron	僕を				「目的語」
invitava	インヴァターヴァ 3 単半(invitare)v.t	招待した				「動詞」
a passare	ア・パッサレ 不定詞・mi の動作 v.t	(時を) 過ごす				「補語」
la giornata di domenica	ラ・ジョルナータ・デ・ドメニカ					
	n.f	日曜日の一日を				「目的語」
nella sua capanna	ネラ・スア・カパンナ adv.	彼の別荘で				「副詞句」
al mare,	アル・マーレ adv.	海にある				「副詞句」
vicino ad Algèri.	ヴィチーノ・アド・アルジェリ					
	adv.	アルジェの近くの				「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

喜んで行きたいのだが、その日は女友達と一緒に過ごす約束がある、と彼に答えた。

Gli ho risposto che sarei andato volentieri ma avevo già promesso a un'amica di passare la giornata insieme.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 ma 「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」
 Gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 ho risposto オ・リスポ°スト 1 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 sarei andato サレー・アンダー°ト 条・1 単現・完了形・推量(andare)
 v.i 行っただろう 「動詞句」
 volentieri ヴォレンチエ°リ adv. 喜んで 「副詞」
 ma マ conj. しかし
 avevo già promesso アウ°エウ°ヴォ°ジヤ°プロ°メツシ 1 単半・完了形(promettere)
 v.t(di+不定詞 ～する) もう約束した 「動詞句」
 a un'amica ア・ウナ°ミカ adv. 女友達に 「間接目的語」
 di passare ディ°パ°ッサーレ 不定詞 n. 過ごすことを 「直接目的語」
 la giornata ラ°ジヨルナー°タ n.f その日を 「目的語」
 insieme. インシェ°メ adv. 一緒に 「副詞」

レーモンはすぐに言った。彼女も招待する。そうすれば、男たちのなかで一人きりにならないから、彼の細君も大喜びするだろう。

Raimondo ha subito detto che invitava anche lei, la moglie del suo amico sarebbe stata certo molto contenta di non essere sola in mezzo a un gruppo di uomini.

「主語」「動詞句」「目的語」
 Raimondo ライモン°ト n.m レーモンは 「主語」
 ha subito detto ア°スビ°ト°デット 3 単現・完了形(dire+ subito)v.t すぐに言った 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 invitava インヴァ°ターヴァ 3 単半・推量・時制の一致(invitare)v.t 招待する 「動詞」
 anche lei, アンケ°レーイ pron. 彼女も 「目的語」
 la moglie del suo amico ラ°モーリエ°テル°スオ°アミーコ n.f 友人の奥さんは 「主語」
 sarebbe stata サレバ°スター°タ 条・3 単現・完了形・f・推量・時制の一致(essere)
 v.i ～になるだろう 「動詞句」
 certo molto contenta チェルト°モルト°コンテンタ adj(contento).f きっと大喜びする 「補語」
 di non essere ディ°ノン°エッセル 不定詞・否定・理由 v.i ～にならなくて 「副詞句」
 sola ソラ adj(solo).f 一人きり 「補語」
 in mezzo a un gruppo di uomini. イン°メツツォ°ア°ウン°グル°ポ°。ディ°ウオー°ミニ
 adv. 男たちの中で 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

社長は社内の私用電話が嫌いなのは分かっていたので、僕はすぐに電話を切ろうと思った。

Volevo riappendere subito perché so che il principale non è contento che riceviamo telefonate in ufficio. 「動詞句」「副詞句」

Volevo riappendere ヲレウヴォ・リアペンデレ 1 単半・願望(volére+不定詞 riappendere)

v.t 電話を切ろうと思った 「動詞句」

riappendere リアペンデレ v.t 再びかける、電話を切る

subito スービト adv. すぐに 「副詞」

perché ペルケ conj. ～なので 「副詞節」

so ソ 1 単現(sapére)v.t 分かっている 「動詞」

che ケ conj. ～ということをして 「目的語」

il principale イル・プリンチパレ n.m 社長は 「主語」

non è ノネ 3 単現・否定(èssere)v.i ～でない 「動詞句」

contento コンテント adj. 嬉しい 「補語」

che ケ conj. (原因) ～ということに対して 「副詞節」

riceviamo リチェヴァーモ 1 複現(ricévere)v.t 受け取る 「動詞」

telefonate テレフォナーテ pl(telefonata).n.f 電話を 「目的語」

in ufficio. イン・スツフィーチョ adv. 社内で 「副詞句」

しかし、レーモンはもう少しこのまま聞いてくれと言い、招待の話は夜でも伝えられたのだが、今は別のことを知らせたかったのだと言った。

Ma Raimondo mi ha detto di starlo a sentire ancora un momento, che quell'invito avrebbe potuto anche trasmettermelo la sera, ma che adesso voleva avvertirmi di un'altra cosa.

Ma 「主語」「目的語」「動詞句」「補語」

Ma マ conj. しかし

Raimondo ライモンツォ n.m レーモンは 「主語」

mi ミ pron 僕に 「目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

di starlo a sentire ディ・スターロ・ア・センチレ 不定詞・mi の動作(stare a+不定詞 sentire)

v.t そのまま聞く 「補語」

ancora un momento, アンコーラ・ウン・モメント adv. もう少し 「副詞句」

che ケ conj. ～ということをして 「目的語」

quell'invito ケル・インヴァイト n.m 招待の話は 「主語」

avrebbe potuto ...trasmettermelo アヴレッペ・ポトウート...トラスメッテル・メ・ロ

条・3 単現・完了形・可能・推量(potére+不定詞 trasmetter+me+lo)

v.pr 僕にそれを伝えられたかもしれない 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

anche アンケ adv. ～でもまた	「副詞」
la sera, ラ・セーラ adv. 夜に	「副詞句」
ma マ conj. しかし	
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
adesso アデッソ adv. 今	「副詞」
voleva avvertirmi ヲレヴァ・アヴェルチル・メ 3 単半・願望(volére+不定詞 avvertire+mi)	
v.t 僕に知らせたかった	「動詞句」
di un'altra còsa. ディ・ウ・ナトラ・コーサ n.f 別のことを	「目的語」

彼は一日中アラブ人の一団に付け回されたが、その中に彼の元愛人の兄弟がいたのだ。

Per tutta la giornata era stato seguito da un gruppo di àrabi fra cui si trovava il fratello della sua ex amante.

Per tutta la giornata ヘル・トゥッタ・ラ・ジョルナータ adv. (期間) 一日中	「副詞句」
era stato seguito エラ・スタート・セグィート 3 単半・完了形・受動(seguire)v.t 付け回された	「動詞句」
da un gruppo di àrabi タ・ウン・グルッポ・ディ・アラビィ adv. (動作主) アラブ人の一団に	「副詞句」
fra cui フラ・クーイ adv. その中に	「副詞句」
si trovava シ・トロヴァーヴァ 3 単半・存在(trovarsi)v.pr ～がいた	「動詞句」
il fratello イル・フラテッロ n.m 兄弟が	「主語」
della sua ex amante. デラ・スーア・エクス・アマンテ adj. 彼の元愛人の	「形容詞句」

「もし今晩会社から戻った時に家の近くで奴を見かけたら、俺に知らせてくれ」僕は彼にきくと連絡すると答えた。

“Se lo vedi vicino a casa stasera quando torni dall’ufficio avvertimi.” Gli ho detto che l’avrèi fatto senz’altro.

《「副詞節」, 「動詞句」》, 「間接目的語」	「動詞句」	「直接目的語」
“Se セ conj. もし～ならば		「副詞節」
lo ロ pron その男を		「目的語」
vedi ヲエティ 2 単現(vedére)v.t 見る		「動詞」
vicino a casa ヲィチーノ・ア・カーサ adv. 家の近くで		「副詞句」
stasera スタセーラ adv. 今晚		「副詞」
quando クワント conj. ～した時に		「副詞節」
torni トルニ 2 単現(tornare)v.i 戻る		「動詞」
dall’ufficio ダルッフイーチョ adv. 会社から		「副詞句」
avvertimi.” アヴェルチ・ミ 命・2 単現(avvertire+mi)v.t 俺に知らせてくれ		「動詞句」
Gli リ pron 彼に		「間接目的語」
ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った		「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 l' ロ pron それを 「目的語」
 avrèi fatto アヴレイ・ファット 条・1 単現・完了形・意思(fare)v.t きつとする 「動詞句」
 senz'altro. センツアルトロ adv. もちろん 「副詞句」

少しして、社長のつかいが僕を迎えに来た。すぐに僕は悪い予感がした。社長はどうせあまり電話をしないでもっと働けとでも言うと思ったからだ。

Pòco dópo il principale mi ha mandato a chiamare, e lì per lì sono rimasto male perché pensavo che mi avrebbe détto di telefonare di meno e lavorare di più.

「副詞句」「主語」「目的語」「動詞句」 e 「副詞句」「動詞句」「補語」「副詞節」
 Pòco dópo ポコ・ドーポ adv. 少し後で 「副詞句」
 il principale イル・プリンチパレ n.m 社長が 「主語」
 mi ミ pron 僕を 「目的語」
 ha mandato a chiamare, ア・マンダート・ア・キアマーレ 3 単現・完了形・つかいを出す
 (mandare a+不定詞 chiamare)v.t つかいを出して呼ばせた 「動詞句」
 e エ conj. そして
 lì per lì リ・ペル・リ adv. すぐに 「副詞句」
 sono rimasto ソノ・リマスト 1 単現・完了形・変化(rimanere)v.i (～の状態に) なった 「動詞句」
 male マレ adv. 悪く 「補語」
 perché ペルケ conj. (理由) ～なので 「副詞節」
 pensavo ペンサーヴォ 1 単半(pensare)v.t 思っていた 「動詞」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 mi ミ pron 僕に 「目的語」
 avrebbe détto アヴレツパ・デット 条・3 単現・完了形・推量・時制の一致(dire)
 v.t 言うだろう 「動詞句」
 di telefonare ディ・テレフォナーレ 不定詞・mi の動作 v.i 電話する 「補語」
 di meno ディ・メノ adv. より少なく 「副詞句」
 e エ conj. そして
 lavorare ラヴォラーレ 不定詞・mi の動作 v.i 働く 「補語」
 di più. ディ・ピウ adv. もっと 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

しかし、まったくそんなことではなかった。社長は僕にまだ漠然とした計画について説明して、少し僕の意見を聞きたいというのだ。

Ma non si trattava affatto di qu sto. Ha d tto che voleva parlarmi di un progetto ancora molto vago: voleva soltanto conoscere il mio parere.

Ma 「動詞句」「副詞」「間接目的語」 | 「動詞句」「目的語」

Ma マ conj. しかし

non si trattava ノン・シ・トラターヴァ 非人称・3 単半・否定(trattarsi)

v.pr(di) ～のことではなかった

「動詞句」

affatto アッフアット adv. まったく

「副詞」

di qu sto. ディ・ク スト adv. この事について

「間接目的語」

Ha d tto ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

che ケ conj. ～ということ

「目的語」

voleva parlarmi ヲレヴァ・ア・パルラル・ミ 3 単半・願望(vol re+不定詞 parlare+mi)

v.i(di) のことを) 僕に話したい

「動詞句」

di un progetto ディ・ウン・プロジェクト adv. ある計画について

「間接目的語」

anc ra molto vago: アンコーラ・モルト・ヴァーゴ adv. まだ漠然とした「副詞句」

voleva soltanto conoscere ヲレヴァ・ソルタンテ・コノッシェ 3 単半・願望

(vol re+不定詞 conoscere)v.t 少し知りたい

「動詞句」

soltanto ソルタント adv. ただ、～だけ

il mio parere. イル・ミーオ・パレーレ n.m 僕の意見を

「目的語」

社長には、パリに事務所を開き、大企業と直接現地で取引をしたいという思惑があり、ついでには、僕がそこに行く気持ちがあるかどうかを知りたいということだった。

Aveva l'intenzione di installare un ufficio a Parigi per trattare i suoi affari sul posto, direttamente con le grandi compagnie, e voleva sapere se io sarei stato disposto ad andarci.

「動詞」「目的語」,e「動詞句」「目的語」

Aveva アヴェヴァ 3 単半(av re)v.t ～があつた

「動詞」

l'intenzione リンテンツィオーネ n.m 意図、意向、思惑

「目的語」

di installare ディ・インスタラーレ 不定詞・目的 adv. 設置する

「副詞句」

un ufficio ウン・ウッフイーチョ n.m 事務所を

「目的語」

a Parigi ア・パリージ adv. パリに

「副詞句」

per trattare ペル・トラッターレ 不定詞・目的 adv. 取り扱うために

「副詞句」

i suoi affari イ・スオイ・アッファリー pl(affare).n.m 取引を

「目的語」

sul posto, スル・ポスト adv. 現地で、現場で

「副詞句」

direttamente デイレタメンテ adv. 直接、じかに

「副詞」

con le grandi compagnie, コン・レ・グランドィ・コンパニエ

PARTE PRIMA 第1部

adv. 大企業と	「副詞句」
e e conj. そして	
voleva sapére ヲレヴァ・サペレ 3 単半・願望(volére+不定詞 sapére)	
v.t 知りたかった	「動詞句」
se セ conj. ～かどうかということ	「目的語」
io イオ pron 僕は	「主語」
sarèi stato サレイ・スタート 条・1 単現・完了形(èssere)v.i ～である	「動詞句」
dispósto ディスポスト adj.(a+不定詞) ～する気持ちがある	「補語」
ad andarci. アト・アンダールチ adv. そこに行く	「副詞句」

そうすれば、僕はパリに住んで、一年の一定の期間は旅行も出来るという事だ。

Quèsto mi avrebbe permesso di vivere a Parigi e anche di viaggiare una parte dell'anno.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」 e 「副詞」「動詞句」「副詞句」	
Quèsto ケスト pron これは (パリに赴任する事)	「主語」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
avrebbe permesso di vivere アヴレツァ・ペルメツツ・ディ・ヴィーヴァレ 条・3 単現・完了形・許可 (permettere di+不定詞)v.t 住むことを許すだろう	「動詞句」
a Parigi ア・パリジ adv. パリに	「副詞句」
e e conj. そして	
anche アンケ adv. その上	「副詞」
di viaggiare ディ・ヴィアジャレ 条・3 単現・完了形・許可(permettere di+不定詞) v.i 旅行することを許すだろう	「動詞句」
una parte dell'anno. ウナ・パルテ・デランノ adv. 一年の内一部の期間を	「副詞句」

「君は若いから、そんな暮らしは君の気に入ると私は思っているんだが」

“Lèi è giovane, e mi sembra che sia una vita che dovrebbe piacerle.”

《「主語」「動詞」「補語」, e 「間接目的語」「動詞」「主語」》	
“Lèi レイ pron 君は	「主語」
è e (èssere)v.i ～である	「動詞」
giovane, ジョヴァネ adj. 若い	「補語」
e e conj. そして	
mi ミ pron 私には	「間接目的語」
sembra センブラ 3 単現(sembrare)v.i ～のように思われる	「動詞」
che ケ conj. ～ということが	「主語」
sia シア 接・3 単現・推量(èssere)v.i ～だろう	「動詞」
una vita ウナ・ヴァータ n.f 暮らし、生活	「補語」

PARTE PRIMA 第1部

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 dovrebbe piacerele.” トヴレツペ・ピアセル・レ 条・3 単現・可能性(dovére+不定詞 piacere+le)
 v.i 君が気に入るに違いない 「動詞句」

僕は、ええ、でも結局はどちらでもいいですと答えた。すると彼は、生活を変えることに興味はないのかと尋ねた。

Io gli ho detto di sì, ma in fondo per me era lo stesso. Allora mi ha chiesto se non mi interessava un cambiamento di vita.

「主語」「間接目的語」「動詞句」,ma「副詞句」「間接目的語」「動詞」「補語」
 「副詞」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Io イオ pron 僕は 「主語」
 gli リ pron 彼に (社長に) 「間接目的語」
 ho detto オ・テット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 dire di sì 「肯定する」 dire di no 「否定する」
 di sì, ディ・シ adv. (肯定) ええ 「応答」
 ma マ conj. しかし
 in fondo イン・フォント adv. 結局、本質的には 「副詞句」
 per me ペル・メ adv. 僕にとっては 「間接目的語」
 era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった 「動詞」
 lo stesso. ロ・ステツ pron 同じ事、どちらでも良い事 「補語」
 Allora アッローラ adv. すると 「副詞」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた 「動詞句」
 se セ conj. ～かどうなのかと 「直接目的語」
 non ...interessava ノン...インテサヴァ 3 単半・否定(interessare)
 v.t 興味がひかなかった 「動詞句」
 mi ミ pron 僕の 「目的語」
 un cambiamento ウン・カンビアメント n.m 変えることは 「主語」
 di vita. ディ・ヴィータ adv. 生活を 「間接目的語」
 cambiare di casa カンビアーレ・ディ・カーサ 「引越しをする」

僕は、生活は変えられるものではないし、他の生活のどれも似たようなもので、僕の生活だって全く気に入らないものではないと答えた。

Ho risposto che non si cambia mai di vita, che del resto tutte le vite si equivalgono e che la mia, così com'era, non mi dispiaceva affatto.

「動詞句」「目的語」, 「目的語」, 「目的語」

Ho risposto オ・リスポスト 1 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

non si cambia mai ノン・シ・カンビア・マイ 3 単現・再帰受動・否定(cambiarsi)

v.pr 変えられない 「動詞句」

di vita, ディ・ヴァータ n.f 生活は 「主語」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

del resto デル・レスト adv. 残りの中で、だがしかし 「副詞句」

tutte le vite トゥッテ・レ・ヴァーテ pl(vita).n.f どの生活も 「主語」

si equivalgono シ・エキヴァルゴノ 3 複現(equivalersi)v.pr 同等である 「動詞句」

e エ conj. そして

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

la mia, ラ・ミア pron.f 僕の生活は 「主語」

così com'era, コシ・コメラ adv. それなりに 「副詞句」

non ...dispiaceva ノン...ディスピアチェヴァ 3 単半・否定(dispiacere)

v.i 気に入らない 「動詞句」

mi ミ pron 僕にとって 「間接目的語」

affatto. アッフアット adv. まったく 「副詞」

PARTE PRIMA 第1部

社長は不機嫌そうな顔で僕に言った。僕はいつでも中途半端な返事をする。僕には野心が無い。野心が無いというのは、ビジネスでは最悪だ。

Lui mi è parso scontento, mi ha detto che rispondevo sempre a metà, che non avevo ambizione e che questo era disastroso, negli affari.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「補語」, 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Lui ルー pron 社長は 「主語」
 mi ミ pron 僕にとって 「間接目的語」
 è parso エ・パルソ 3 単現・完了形(parére)v.i 〜に見えた 「動詞句」
 scontento, スコンテント adj. 不機嫌な 「補語」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 che ケ conj. 〜ということを 「直接目的語」
 rispondevo リスポンデヴォ 1 単半・習慣(rispondere)
 v.i 返事する、答える 「動詞」
 sempre センプレ adv. いつも 「副詞」
 a metà, ア・メタ adv. 中途半端に 「副詞句」
 che ケ conj. 〜ということを 「直接目的語」
 non avevo ノン・アヴェーヴォ 1 単現・否定(avére)v.t 〜がない 「動詞句」
 ambizione アンビツィオーネ n.f 野心 「目的語」
 e エ conj. そして
 che ケ conj. 〜ということを 「直接目的語」
 questo クェスト pron これは 「主語」
 era エラ 3 単半・時制の一致(ser)v.i 〜である 「動詞」
 disastroso, ディザストロソ adj. 厄介な、最悪の 「補語」
 negli affari. ネリ・アッファリ adv. ビジネスでは 「副詞句」

それから僕は仕事に戻った。社長の機嫌を損ねたくはなかったが、僕の生活を変える理由は見当たらなかった。

Poi sono tornato al lavoro. Avrei preferito non scontentarlo, ma non vedevo una ragione di modificare la mia vita.

「副詞」「動詞句」「間接目的語」 | 「動詞句」, ma 「動詞句」「目的語」「副詞句」
 Poi ポーイ adv. それから 「副詞」
 sono tornato ソーノ・トルナート 1 単現・完了形(tornare)v.i 戻った 「動詞句」
 al lavoro. アル・ラヴォーロ adv. 仕事に 「間接目的語」
 Avrei preferito non scontentarlo, アヴレイ・プレフェリート・ノン・スコンテンタル・ロ 条・1 単現・完了形・否定
 (preferire+不定詞)v.t 彼の機嫌を損ねたくなかった 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

ma マ conj. しかし

non vedevo ノン・ヴェデーヴォ 1 単半・否定(vedere)v.t. ～が見えなかった 「動詞句」

una ragione ウナ・ラジオーネ n.f 理由が 「目的語」

di modificare ティ・モディフィカレ 不定詞・目的 adv. ～を変えるための 「副詞句」

la mia vita. ラ・ミア・ヴァイタ n.f 僕の生活を 「目的語」

良く考えると、僕は不幸ではなかった。学生だった時は、この種の野心はおおいにあった。

A pensarci bène, non ero infelice. Da studente, avevo molte ambizioni di quel genere.

「副詞句」「動詞句」「補語」 | 「副詞句」「動詞」「目的語」

A pensarci bène, ア・ペンサル・チ・ベーネ 不定詞句 adv. よく考えると 「副詞句」

non ero ノン・エロ 1 単半・否定(essere)v.i. ～でなかった 「動詞句」

infelice. インフェリーチェ adj. 不幸な 「補語」

Da studente, ダ・スツェンテ adv. 学生だった時は 「副詞句」

avevo アヴェーヴォ 1 単半(avere)v.t. ～があった 「動詞」

molte ambizioni モルテ・アンビツィオーニ pl(ambizione).n.f 沢山の野心が 「目的語」

di quel genere. ティ・ケル・ジエーネ adj. この種の 「形容詞句」

だが、学業を諦めざるを得なくなってから、僕はすぐに、こういうことは本当に重要ではないと分かった。

Ma dopo che ho dovuto abbandonare gli studi ho capito molto presto che tutte queste cose non avevano una reale importanza.

Ma 「副詞節」, 「動詞句」「副詞句」「目的語」

Ma マ conj. しかし

dopo che ドーポ・ケ conj. ～したあとで 「副詞節」

ho dovuto abbandonare オ・ドヴート・アッバントナレ 1 単現・完了形・必要(dovere+不定詞)

v.t 諦めざるをえなかった 「動詞句」

gli studi リ・ストゥデー pl(studio).n.m 学業を 「目的語」

ho capito オ・カピート 1 単現・完了形(capire)v.t 理解した、分かった 「動詞句」

molto presto モルト・プレスト adv. すぐに 「副詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

tutte queste cose トゥッテ・クェステ・コセ pl(cosa).n.f このような事は 「主語」

non avevano ノン・アヴェヴァノ 3 複半・否定(avere)v.t. ～がない 「動詞句」

una reale importanza. ウナ・レアレ・インポルタンツァ n.f 本当の重要性を 「目的語」

その晩、マリーが僕を誘いに来て、僕は彼女と結婚する気はあるのかと尋ねた。そういうことは僕にはどちらでも良いが、彼女がしたいなら、結婚しても良いと答えた。

La sera Maria è venuta a prendermi e mi ha domandato se volevo sposarla. Le ho detto che la cosa mi era indifferente, e che avremmo potuto farlo se lei voleva.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」 e 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」, e 「直接目的語」

La sera ラ・セーラ n.f その晩 「副詞句」

Maria マリア n.f マリーが 「主語」

è venuta a prendermi エ・ヴェヌタ・ア・プレndermi 3 単現・完了形.f. するために

(venire a+不定詞 prendermi)v.i 僕を連れに来た 「動詞句」

e エ conj. そして

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha domandato ア・ドマンダー 3 単現・完了形(domandare)v.t 尋ねた 「動詞句」

se セ conj. へかどうかということ 「直接目的語」

volevo sposarla. ヴォレヴァ・スパーラ 1 単半・願望(volére+不定詞 sposare+la)

v.t 彼女と結婚したい 「動詞句」

Le レ pron.f 彼女に 「間接目的語」

ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. へということ 「直接目的語」

la cosa ラ・コサ n.f ということ 「主語」

mi ミ pron 僕には 「間接目的語」

era エ 3 単半・時制の一致(essere)v.i へである 「動詞」

indifferente, インディフェレンテ adj. どうでもよい 「補語」

e エ conj. そして

che ケ conj. へということ 「直接目的語」

avremmo potuto farlo アヴレモ・ポトゥート・ファル 条・1 複現・可能(potére+不定詞 fare+lo)

v.t 結婚したってよい 「動詞句」

se セ conj. (条件) もしへならば 「副詞節」

lei レイ pron.f 彼女が 「主語」

voleva. ヴォレヴァ 3 単半・時制の一致(volére)v.t 望む 「動詞」

PARTE PRIMA 第1部

すると、彼女は僕が彼女を愛しているのかどうかを知りたがった。僕は、以前に1度言ったように、それは何の意味もないが、きっと彼女を愛していないと思うと答えた。

Allóra ha voluto sapére se l'amavo. Le ho rispósto, cóme già avevo fatto un'altra vòlta, che ciò non voleva dir nulla, ma che ero cèrto di non amarla.

「副詞」「動詞句」「目的語」

「間接目的語」「動詞句」, 「副詞節」, 「直接目的語」, ma 「直接目的語」

Allóra アッローラ adv. すると

「副詞」

ha voluto sapére ハ・ヴォルト・サペーレ 3 単現・完了形・願望(volére+不定詞 sapére)

v.t 知りたがった、～を尋ねた

「動詞句」

se セ conj. ～かどうかということ

「目的語」

l' ラ pron 彼女を

「目的語」

amavo. アマヴォ 1 単半・時制の一致(amare)v.t 愛している

「動詞」

Le レ pron 彼女に

「間接目的語」

ho rispósto, オリスポスト 1 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた

「動詞句」

cóme コーメ conj. ～のように

「副詞節」

già ジャ adv. 以前に

「副詞」

avevo fatto アヴェヴォ・ファット 1 単半・完了形(fare)v.t 答えた、言った

「動詞句」

直前に「ho rispósto」があるので、同じ動詞を避けるために fare で代用した

un'altra vòlta, ウアルタ・ヴォルタ n.f 1 度

「副詞句」

che ケ conj. ～ということ

「直接目的語」

ciò チョー pron そのことは

「主語」

non voleva dir ノン・ヴォレーヴァ・ディール 3 単半・願望・否定(volére+不定詞 dire)

v.t 言おうとしない、意味がない

「動詞句」

nulla, ヌッラ pron 何も～ない

「目的語」

ma マ conj. しかし

che ケ conj. ～ということ

「直接目的語」

ero エロ 1 単半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

cèrto チェルト adj. 確実な

「補語」

di +不定詞 ディー adv. ～することについて

「副詞句」

non amarla. ノン・アマル・ラ 不定詞・否定(amare+la)

v.t 彼女を愛していない

「動詞句」

「それじゃあ、どうして私と結婚するの？」と、彼女は僕に訊いた。そんなことは重要ではない、もし彼女が結婚したいのなら、結婚しても構わないと彼女に説明した。

“Perché sposarmi, allora?” mi ha detto. Le ho spiegato che questo non aveva alcuna importanza e che se lei ci teneva potevamo sposarci.

《「副詞句」》, 「間接目的語」「動詞句」

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e 「直接目的語」

“Perché +不定詞 ^{ペルケ} adv. どうして～する 「副詞句」

sposarmi, ^{スposアル・ミ} 不定詞(sposare+mi)v.t 私と結婚する 「動詞句」

allora?” ^{アッローラ} adv. それじゃあ 「副詞」

mi ^ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha detto. ^{ア・テット} 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

Le ^レ pron 彼女に 「間接目的語」

ho spiegato ^{オ・スピエガート} 1 単現・完了形(spiegare)v.t 説明した、言った 「動詞句」

che ^ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

questo ^{クエスト} pron それは 「主語」

non aveva ^{ノン・アヴェーヴァ} 3 単半・否定・時制の一致(avére)

v.t. ～がない 「動詞句」

alcuna importanza ^{アルクナ・インポルタンシア} n.f 何の重要性も～ない 「目的語」

e ^エ conj. そして

che ^ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

se ^セ conj. もし～ならば 「副詞節」

lei ^{レイ} pron 彼女が 「主語」

ci ^チ pron それを(結婚する希望) 「目的語」

teneva ^{テネヴァ} 3 単半・時制の一致(tenére)v.t ～がある 「動詞」

potevamo sposarci. ^{ポテヴァモ・スposアルチ} 1 複半・容認(potére+不定詞 sposarsi)

v.pr 結婚しても構わない 「動詞句」

だがしかし、僕にそれを聞いたのは彼女の方で、僕は彼女にイエスと答えたただけだ。すると、彼女は、結婚は重大なことだと言った。

Del resto era lei che me lo aveva chiesto e io non avevo fatto che dirle di sì. Allora lei ha osservato che il matrimonio è una cosa seria.

「副詞句」, 「動詞」「補語」「主語」 e 「主語」「動詞句」「目的語」

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」

Del resto	デル・レスト adv.	とは言っても、だがしかし	「副詞句」
era	エラ 3 単半・時制の一致(èssere)v.i	～である	「動詞」
lei	レイ pron.f	彼女	「補語」
che	ケ conj.	～ということは	「主語」
me	メ pron	僕に	「間接目的語」
lo	ロ pron	それを	「直接目的語」
aveva chiesto	アヴェーヴァ・ア・キエスト 3 単半・完了形(chiedere)v.t	聞いた、尋ねた	「動詞句」
e	エ conj.	そして	
io	イオ pron	僕は	「主語」
non avevo fatto	ノン・アヴェーヴァ・オ・ファット 1 単半・否定・限定(fare)v.t	(行為を) しただけ	「動詞句」
che	ケ conj.	～ということを	「目的語」
dirle	ディール・レ 不定詞(dire+le)v.t	彼女に言う	「動詞句」
di sì.	ディ・シ adv.	イエスと	「副詞句」
Allora	アッローラ adv.	すると	「副詞」
lei	レイ pron.f	彼女は	「主語」
ha osservato	ア・オッセルヴァート 3 単現・完了形(osservare)v.t	(意見を) 述べた	「動詞句」
che	ケ conj.	～ということを	「目的語」
il matrimonio	イル・マトリモニオ n.m	結婚は	「主語」
è	エ 3 単現(èssere)v.i	～である	「動詞」
una cosa seria.	ウナ・コーサ・セリア n.f	重大な事	「補語」

PARTE PRIMA 第1部

僕は「違う！」と答えた。すると彼女はしばらく黙り込んでから、黙って僕を見つめた。

Io ho risposto: “No.” È rimasta zitta un momento e mi ha guardato in silenzio.

「主語」「動詞句」《「応答」》 「動詞句」「補語」e「目的語」「動詞句」「副詞句」	
Io イオ pron 僕は	「主語」
ho risposto: オ・リスポスト 1 単現・完了形(rispondere)v.i 答えた	「動詞句」
“No.” ノ adv. 違う	「応答」
È rimasta エ・リマスタ 3 単現・完了形.f・変化(rimanere)v.i (ある状態に) なった	「動詞句」
zitta ツィッタ adj(aitto).f 黙った	「補語」
un momento ウン・モメント adv. しばらく	「副詞句」
e エ conj. そして	
mi ミ pron 僕を	「目的語」
ha guardato ア・グワルダート 3 単現・完了形(guardare)v.t 見つめた	「動詞句」
in silenzio. イン・シレンツィオ adv. 黙って	「副詞句」

それから、彼女は話した：もし同じような関係にある別の女性から同じ申し出を受けたら、僕はそれを受け入れたのかどうかだけ知りたいと彼女は言った。

Poi ha parlato: voleva soltanto sapere se avrei accettato la stessa proposta se mi fosse venuta da un'altra donna cui fossi legato nello stesso modo.

「副詞」「動詞句」：「動詞句」「副詞」「動詞句」「目的語」	
Poi ポイ adv. それから	「副詞」
ha parlato: ア・パルラート 3 単現・完了形(parlare)v.i 話した	「動詞句」
voleva ...sapere ウォレヴァ...サペーレ 3 単半・願望(volere+不定詞 sapere)	
v.t 知りたがった	「動詞句」
soltanto ソルタント adv. ただ～だけ	「副詞」
se セ conj. ～かどうかということ	「目的語」
avrei accettato アヴレイ・アッチェッタート 条・1 単現・完了形(accettare)	
v.t 受け入れた	「動詞句」
la stessa proposta ラ・ステッサ・プロポスタ n.f 同じ申し出を	「目的語」
se セ conj. もし～ならば	「副詞節」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
fosse venuta フォッセ・ヴェヌータ 接・3 単半・完了形(venire)v.i 来た	「動詞句」
da un'altra donna ダ・ウ・ナルトラ・ドンナ adv. 別の女性から	「副詞句」
cui クイ pron (主語) ～する	「形容詞節」
fossi フォッシ 接・1 単半・時制の一致(essere)	
v.i ～である	「動詞」
legato レガート adj. 繋がれた	「補語」

PARTE PRIMA 第1部

nello stéssu mòdo. ネッロ・ステッス・モート

adv. 似たような関係に

「副詞句」

僕は言った:「もちろん受け入れたらう」と、彼女は僕を愛しているのだろうかと自問したが、それについては、僕は分かりかねる。

Io ho détto: “Naturalmènte.” Allóra si è domandata se lèi mi amava, e io, su quésto punto, non potevo saperne nulla.

「主語」「動詞句」:《「応答」》 | 「副詞」「動詞句」「目的語」,
e 「主語」「副詞句」「動詞句」「目的語」

Io イオ pron 僕は

「主語」

ho détto: オ・テット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

“Naturalmènte.” ナチュラルメンテ adv. (肯定) もちろん、受け入れた

「応答」

Allóra アッローラ adv. すると

「副詞」

si è domandata シ・エ・ト・マダンタ 3 単現・完了形.f(domandarsi)v.pr 自問した

「動詞句」

se セ conj. ～かどうかということ

「目的語」

lèi レイ pron.f 彼女は

「主語」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

amava, アマヴァ 3 単半・時制の一致(amare)v.t 愛している

「動詞」

e エ conj/ そして

io, イオ pron 僕は

「主語」

su quésto punto, ス・クェスト・プント adv. (関連) この点に関しては

「副詞句」

non potevo saperne ノン・ポ・テウ・ヴォ・サヘルネ 1 単半・可能・否定・時制の一致(potére+不定詞)

v.t それについて知りかねる

「動詞句」

nulla. ヌッラ pron 何も～ない

「目的語」

短い沈黙の後で、彼女は、僕はとても変わっている。そしてきっとそのせいで僕を愛している。しかし、おそらくいつか同じ理由で僕を嫌いになるかもしれない、と呟いた。

Dópo un altro istante di silènzio, ha mormorato che ero móltu strambo, che cèrto lèi mi amava a càusa di quésto, ma che fòrse un giòrno le avrèi fatto schifo per la stéssa ragiòne.

「副詞句」, 「動詞句」「目的語」, 「目的語」, 「目的語」

Dópo ドーポ prep (時間) ～のあとで

「副詞句」

un altro istante di silènzio, ウン・アルトロ・イスタンテ・ディ・シレンツィオ adv. 短い沈黙 「目的語」

ha mormorato ア・モルモラート 3 単現・完了形(mormorare)v.t ささやいた、呟いた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということ

「目的語」

ero エロ 1 単半・時制の一致(èssere)v.i ～である

「動詞」

móltu strambo, モルト・ストランボ adj. とても奇妙な

「補語」

PARTE PRIMA 第1部

che ケ conj. ～ということを	「目的語」
certo チェルト adv. きっと	「副詞」
lei レイ pron 彼女は	「主語」
mi ミ pron 僕を	「目的語」
amava アマヴァ 3 単半・時制の一致(amare)v.t 愛している	「動詞」
a causa di questo, ア・コース・ディ・クェスト adv. そのせいで	「副詞句」
ma マ conj. しかし	
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
forse フォルセ adv. おそらく、たぶん	「副詞」
un giorno ウン・ジォルノ adv. いつか	「副詞句」
le レ pron 彼女を	「目的語」
avrè fatto アヴレイ・ファット 条・1 単現・完了形・推量(fare)	
v.t (状態に) させたかもしれない	「動詞句」
schifo スキフォ adj. 嫌な気分、嫌いな	「補語」
per la stessa ragione. ペル・ラ・ステッサ・ラジオーネ adv. 同じ理由で	「副詞句」

何も言う事が無かったので黙っていると、彼女は微笑みながら僕の腕を取って、僕と結婚したいと言った。

Siccome io tacevo, non avendo niente da dirle, mi ha preso il braccio sorridendo e ha detto che voleva sposarmi.

「副詞節」, 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「副詞」 e 「動詞句」「目的語」	
Siccome シッコメ conj. (原因) ～なので	「副詞節」
io イオ pron 僕が	「主語」
tacevo, タチェヴォ 1 単半(tacere)v.i 黙った	「動詞」
non avendo ノン・アヴェント ジェルンディオ・理由 adv. ～がないので	「副詞句」
niente ニエンテ pron 何も～ない	「目的語」
da dirle, ダ・ディール・レ adj. 彼女に言うべきことが	「形容詞句」
mi ミ pron 僕の	「間接目的語」
ha preso ア・プレツ 3 単現・完了形(prendere)v.t 取った	「動詞句」
il braccio イル・ブラッチョ n.m 腕を	「直接目的語」
sorridendo ソリエント adv. 微笑みながら	「副詞」
e エ conj. そして	
ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
voleva sposarmi. ヴォレヴァ・スポサルミ 3 単半・願望(volere+不定詞 sposare+mi)	
v.t 僕と結婚したい	「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

僕は、彼女がその気になったらすぐにでも結婚しようと答えた。

Io ho risposto che l'avremmo fatto appena lei avesse voluto.

「主語」「動詞句」「目的語」

Io イーオ pron 僕は

「主語」

ho risposto オ・リスポスト 1 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

l' ロ pron それを

「目的語」

avremmo fatto アヴレムモ・ファット 条・1 単現・完了形・可能性(fare)

v.t しても構わない

「動詞句」

appena アッペーナ conj. ～するとすぐに

「副詞節」

lei レーイ pron 彼女が

「主語」

avesse voluto. アヴェッセ・ヴァオルト 接・3 単半・完了形・仮定(volere)

v.t 望んだ

「動詞句」

それから社長の申し出のことをマリーに話した。するとパリに行ってみたいと僕に言った。

Poi le ho parlato della proposta che mi aveva fatto il principale e Maria mi ha detto che le sarebbe piaciuto conoscere Parigi.

「副詞」「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」 e 「主語」「動詞句」「目的語」

Poi ポーイ adv. それから

「副詞」

le レ pron 彼女に

「間接目的語」

ho parlato オ・パルラート 1 単現・完了形(parlare)v.i(di のことを) 話した

「動詞句」

della proposta デラ・プロポスタ adv. 申し出について

「間接目的語」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

aveva fatto アヴェヴァ・ファット 3 単半・完了形(fare)

v.t (動作を) した

「動詞句」

il principale イル・プリンチパレ n.m 社長が

「主語」

e エ conj. そして

Maria マリア n.f マリーは

「主語」

mi ミ pron 僕に「間接目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

le レ pron 彼女にとって

「間接目的語」

sarebbe piaciuto conoscere サレbbe・ピアチウト・コノツシェ 条・3 単現・完了形・時制の一致

(piacere+不定詞 conoscere)v.t 行ってみたい

「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

Parigi. パリージ n.f パリに

「直接目的語」

僕は一時期パリで暮らしていたことがあると彼女に話すと、そこはどんな感じなのかと僕に尋ねた。

Le ho raccontato che c'ero vissuto per un certo tempo e lei mi ha chiesto com'era.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

e 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Le レ pron 彼女に

「間接目的語」

ho raccontato オ・ラコンタート 1 単現・完了形(raccontare)v.t 話して聞かせた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

c' チ adv. そこ (パリ) に

「副詞」

ero vissuto エロ・ヴィスト 1 単半・完了形(vivere)

v.i 住んでいたことがある

「動詞句」

per un certo tempo ヘル・ウン・チェルト・テンポ adv. 一時期

「副詞句」

e エ conj. そして

lei レイ pron.f 彼女は

「主語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた

「動詞句」

com' コム conj. どのようなのかということを

「直接目的語」

era. エア 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

僕は彼女に言った：「汚い所さ。鳩がいて、暗い中庭があってみんな青白い肌をしている」

Le ho detto: “È spòrco. Ci sono dei piccioni e dei cortili bùi. La gente ha la pelle bianca.”

「間接目的語」「動詞句」:

《「動詞」「補語」 | 「動詞句」「主語」 | 「主語」「動詞」「目的語」》

Le レ pron 彼女に

「間接目的語」

ho detto: オ・テット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

“È エ 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

spòrco. スポールコ adj. 汚い、汚れた

「補語」

Ci sono シ・ソーノ 3 複現・存在(esserci)v.i ～がいる、ある

「動詞句」

dei piccioni デイ・ピッチョーニ pl(piccione).n.m 鳩が

「主語」

e エ conj. そして

dei cortili bùi. デイ・コルチーリ・ブーイ pl(cortile).n.m 暗い中庭が

「主語」

bùい ブーイ adj(bùio).pl 暗い

La gente ラ・ジエンテ n.f 人々は

「主語」

ha ア 3 単現(avere)v.t (特徴を) している

「動詞」

la pelle ラ・ペッレ n.f 皮膚を、肌を

「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

bianca.” ビアンカ adj(bianco).f 白い、青白い

「形容詞」

不健康そうな肌の色

それから大通り沿いに歩いて町を横切った。女たちはきれいだった。僕は、そう思わないかとマリーに尋ねた。

Poi, a piedi, abbiamo attraversato la città per le strade principali. Le donne erano belle e ho chiesto a Maria se lo notava anche lei.

「副詞句」「動詞句」「目的語」「副詞句」

「主語」「動詞」「補語」 e 「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

Poi, ポーイ adv. それから、次に

「副詞」

a piedi, ア・ピエーティ adv. 徒歩で

「副詞句」

abbiamo attraversato アッビアーモ・アットラヴァーエルサート 1 複現・完了形(attraversare)

v.t 横断した

「動詞句」

la città ラ・チッタ n.f 街を

「目的語」

per le strade principali. ペル・レ・ストラデー・プリンチパリー adv. 大通りを通して

「副詞句」

Le donne レ・ドンネ pl(donna).n.f 女たちは

「主語」

erano エラーノ 3 複半(essere)v.i ~だった

「動詞」

belle ベッレ adj(bello).f.pl 美しい

「補語」

e エ conj. そして

ho chiesto オ・キエスト 1 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた

「動詞句」

a Maria ア・マリア adv. マリーに

「間接目的語」

se セ conj. ~ということ

「直接目的語」

lo ロ pron それを

「目的語」

notava ノターヴァ 3 単半・時制の一致(notare)v.t 気付く、思う

「動詞」

anche lei. アンケ・レイ pron 彼女も

「主語」

彼女はええと答え、僕の言う事が分かると言った。それからもう何も話さなかった。

Lèi ha detto di sì, e che mi capiva. Poi non abbiamo più parlato.

「主語」「動詞句」「副詞句」 e 「目的語」 | 「副詞」「動詞句」

Lèi レーイ pron.f 彼女は

「主語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

di sì, ディ・シ adv. 肯定して

「副詞句」

dire di sì 「同意する、はいと言う」 dire di no 「否定する」

e エ conj. そして

che ケ conj. ~ということ

「目的語」

mi ミ pron 僕のいう事を

「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

capiva. カピヴァ 3 単半・時制の一致(capire)v.t 分かる、理解する 「動詞」
 Pòi ポーイ adv. それから 「副詞」
 non abbiamo più parlato. ノン・アッビアーモ・ピウ・パルラート 1 複現・完了形(parlare)
 v.i もう何も話さなかった 「動詞句」

しかしまだ一緒にいて欲しかったので、セレストのレストランで一緒に夕食を食べないかと彼女を誘った。

Ma desideravo che restasse con me e le ho detto che potevamo cenare insieme da Celeste.
 Ma 「動詞」「目的語」e 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Ma マ conj. しかし
 desideravo デシデラーヴォ 1 単半(desiderare)v.t 望んだ 「動詞」
 che ケ conj. ～ということ 「目的語」
 restasse レスタッセ 接・3 単半・時制の一致(restare)v.i 留まる 「動詞」
 con me コン・メ adv. 僕と 「副詞句」
 e エ conj. そして
 le レ pron.f 彼女に 「間接目的語」
 ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということ 「直接目的語」
 potevamo cenare ポ・テヴァーモ・チェナーレ 1 複半・勧誘・時制の一致(potére+不定詞 cenare)
 v.i 夕食を食べよう 「動詞句」
 insieme インシエーメ adv. 一緒に 「副詞」
 da Celeste. ダ・チェルステ adv. (場所) セレストのレストランで 「副詞句」

彼女は喜んで来たかっただろう。しかし彼女には用事があった。僕たちはもうアパートの近くまで来ていたので、僕は彼女にさよならを言おうとした。

Lèi ci sarèbbe venuta molto volentieri, ma aveva qualcosa da fare. Eravamo vicini a casa mia e ho fatto per salutarla.

「主語」「副詞」「動詞句」「副詞句」,ma 「動詞」「目的語」
 「動詞」「副詞句」e 「動詞句」

Lèi レーイ pron.f 彼女は 「主語」
 ci チ adv. そこに 「副詞」
 sarèbbe venuta サレッベ・ヴェヌータ 条・3 単現・完了形・推量(venire)v.i 来ただろう 「動詞句」
 molto volentieri, モルト・ヴォレンチエーリ adv. よろこんで 「副詞句」
 ma マ conj. しかし
 aveva アヴァーヴァ 3 単半(avére)v.t ～があった 「動詞」
 qualcosa クワルコーサ pron 何か 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

da fare. ダ・ファレ adj. するべき 「形容詞句」
 Eravamo エラヴァーモ 1 複半・存在(essere)v.i. ～にいた 「動詞」
 vicini a casa mia ヴィチニ・ア・カサ・ミア adv. 僕のアパートの近く 「副詞句」
 e エ conj. そして
 ho fatto per salutarla. オ・ファット・ヘル・サルタル・ラ 1 単現・完了形・寸前(fare per+不定詞)
 v.t. 彼女にさよならを言おうした 「動詞句」
 fare per+不定詞 「～しようとする」

マリーは僕を見つめて言った：「何の用事か知りたくないの？」もちろん、僕もそれは知りたい。だが、それを考えていなかった。マリーが僕を咎めていたのはそのことだったのだ。

Maria mi ha guardato: “Non ti interessa che cosa ho da fare?” Mi interessava saperlo, sì, ma non ci avevo pensato ed era questo che ella sembrava rimproverarmi.

「主語」「目的語」「動詞句」：《「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「主語」》

「間接目的語」「動詞」「主語」, 「副詞」、ma 「動詞句」ed 「動詞」「補語」「主語」

Maria マリア pron マリーは 「主語」
 mi ミ pron 僕を 「目的語」
 ha guardato: ア・グ・ワルダート 3 単現・完了形(guardare)v.t. 見つめた 「動詞句」
 “Non ...interessa ノン...インテレッサ 3 単現・否定(interessare)v.t. 興味を引かない 「動詞句」
 ti チ ron あなたに 「間接目的語」
 che cosa ケ・コサ pron (目的語) 何を～するかという事は 「主語」
 ho オ 1 単現(avere)v.t. ～がある 「動詞」
 da fare?” ダ・ファレ adj. するべき 「形容詞句」
 Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 interessava インテレッサーヴァ 3 単半・時制の一致(interessare)v.t. 興味を引く 「動詞」
 saperlo, サペール・ロ 不定詞 v.t. それを知ることは 「主語」
 sì, シ adv. そうだ 「副詞」
 ma マ conj. しかし
 non ci avevo pensato ノン・チ・アヴェーウ・オ・ペンサート 1 単半・完了形・否定(pensare)
 v.i. そのことを考えていなかった 「動詞句」
 ed エ conj. そして
 era エ 3 単半(essere)v.i. ～だった 「動詞」
 questo クェスト pron このこと 「補語」
 che ケ conj. ～ということは 「主語」
 ella エッラ pron 彼女が 「主語」
 sembrava センブラヴァ 3 単半(sembrare)v.i. ～のように見えた 「動詞」
 rimproverarmi. リンプロヴァーミ 不定詞(rimproverare+mi)

PARTE PRIMA 第1部

v.t 僕をとがめている

「補語」

すると僕の困った顔を見て、彼女はまた笑いだし、全身で僕の方へ口を差し出した。

Allóra, davanti al mio imbarazzo, si è messa a ridere ancóra e ha avuto un moviménto di tutto il còrpo vèrso di me nel tendermi la bócca.

「副詞句」, 「動詞句」 「副詞」 e 「動詞句」 「目的語」

Allóra, アッローラ adv. その時、すると

「副詞」

davanti ダヴァンティ prep(a) 〜に直面して、〜を前にして

「副詞句」

al mio imbarazzo, アル・ミー・インバラッツォ adv. 僕の困惑に

「間接目的語」

si è messa a ridere シ・エ・メッサ・ア・リーデレ 3 単現・完了形・開始(méttersi a+不定詞)

v.pr 笑い出した

「動詞句」

ancóra アンコーラ adv. また、もう一度

「副詞」

e エ conj. そして

ha avuto ア・アウート 3 単現・完了形(avére)v.t (動作を) した

「動詞句」

un moviménto ウン・モヴィメント n.m 動作、動き

「目的語」

di tutto il còrpo デイ・トゥット・イル・コルポ adv. (手段) 全身で

「副詞句」

vèrso di me ヴェルソ・デイ・メ adv. 私の方へ

「副詞句」

nel tendermi ネル・テンデル・ミ 不定詞(tendere+mi)・方法

adv. 僕に差し出して

「副詞句」

la bócca. ラ・ボカ n.f 口を

「目的語」

僕はセレステのレストランで夕食を食べた。僕がすでに食べ始めた時、小柄で奇妙な女が入って来て、僕のテーブルに座っても構わないかと僕に尋ねた。

Ho cenato da Celeste. Avevo già cominciato a mangiare quando è entrata una strana dònnina che mi ha chiesto se poteva sedersi al mio tavolo.

「動詞句」 「副詞句」 | 「動詞句」 「副詞節」

Ho cenato オ・チェナト 1 単現・完了形(canare)v.i 夕食を食べた

「動詞句」

da Celeste. ダー・チェステ adv. (場所) セレステのレストランで

「副詞句」

Avevo già cominciato a mangiare アヴェーヴォ・ジョ・コミンチャート・ア・マンジャレ 1 単半・完了形・開始

(cominciare a+不定詞 mangiare+ già)v.t すでに食べ始めていた

「動詞句」

quando クワント conj. その時〜する

「副詞節」

è entrata エ・エントラタ 3 単現・完了形(f(entrare)v.i) 入って来た

「動詞句」

una strana dònnina ウナ・ストラナ・ドニーナ n.f 小柄で奇妙な女が

「主語」

che ケ pron (主語) 〜する

「形容詞節」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chièdere)v.t 尋ねた 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

se セ conj. へかどうかということ 「直接目的語」
 poteva sedersi ポテヴァ・セデルシ 3 単半・許可(potére+不定詞 sedersi)
 v.pr 座っても構わない 「動詞句」
 al mio tavolo. アル・ミーオ・ターヴォロ
 adv. 僕のテーブルに 「副詞句」

もちろん、座っても構わない。彼女は無愛想な仕草をして、リンゴみたいに小さな顔の中に目が輝いていた。

Naturalmente, poteva accomodarsi. Aveva dei gèsti sécchi e degli òcchi brillanti in una faccia piccola, cóme una mela.

「副詞」, 「動詞句」 | 「動詞句」 「目的語」 e 「目的語」
 Naturalmente, ナチュラルメンテ adv. もちろん、当然 「副詞」
 poteva accomodarsi. ポテヴァ・アッコモダルシ 3 単半・可能(potére+不定詞 accomodarsi)
 v.pr 腰かけても構わない 「動詞句」
 Aveva アヴェヴァ 3 単半(avére)v.t (特徴を) していた 「動詞」
 dei gèsti デイ・ジェスティ pl(gèsto).n.m 仕草 「目的語」
 sécchi セッキ adj(sécco).pl 無愛想な、素っ気ない、乾いた 「形容詞」
 e エ conj. そして
 degli òcchi デッリ・オッキ pl(òcchio).n.m 目 「目的語」
 brillanti ブリランティ adj(brillant).pl.m 輝く 「形容詞」
 in una faccia piccola, イン・ウナ・ファッチャ・ツピッコラ adv. 小さな顔の中で 「副詞句」
 cóme una mela. コーメ・ウナ・メーラ adv. リンゴみたいに 「副詞句」

女は上着を脱いで座り、じつくりとメニューに目を通した。

Si è tolta la giacca, si è seduta e ha consultato febbrilmente la carta.

「動詞句」 「目的語」, 「動詞句」 e 「動詞句」 「副詞」 「目的語」
 Si è tolta シ・エ・トルタ 3 単現・完了形.f(tògliersi)v.pr 脱いだ 「動詞句」
 la giacca, ラ・ジヤッカ n.f 上着を 「目的語」
 si è seduta シ・エ・セトタータ 3 単現・完了形.f(sedersi)v.pr 座った 「動詞句」
 e エ conj. そして
 ha consultato ア・コンスルタート 3 単現・完了形(consultare)v.t (文書を) 調べた 「動詞句」
 febbrilmente フェブ rilメンテ adv. 熱狂的に、じつくりと 「副詞」
 la carta. ラ・カルタ n.f メニュー、紙、文書 「目的語」

女はセレステを呼ぶとすぐに、几帳面かつせつかな口調で料理をすべて一気に注文した。

Ha chiamato Celeste e ha ordinato immediatamente tutto quel che c'era con una voce al

PARTE PRIMA 第1部

tèmpo stéssu precisa e precipitosa.

「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」「副詞」「目的語」「副詞句」

Ha chiamato ア・キマート 3 単現・完了形(chiamare)v.t 呼んだ 「動詞句」

Celeste チェステ n.m セステを 「目的語」

e エ conj. そして

ha ordinato ア・オルデナート 3 単現・完了形(ordinare)v.t 注文した 「動詞句」

immediataménte インメデアタメンテ adv. すぐに 「副詞」

tutto quel トゥット・ケル pron すべての料理を 「目的語」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

c'era チェラ 3 単半・存在(esserci)v.i あった 「動詞句」

con una voce コン・ウナ・ヴォーチェ adv. (手段) 一声で 「副詞句」

al tèmpo stéssu アル・テンポ・ステッソ adv. いっきに 「副詞句」

precisa プレチサ adj(preciso).f 几帳面な 「形容詞」

e エ conj. そして

precipitosa. プレチピトザ adj(precipitoso).f せっかちな、大急ぎの 「形容詞」

前菜を待っている間に、女はハンドバッグを開いて、小さな四角い紙と鉛筆を取り出して、
前もって食事の勘定を計算して、チップを加えた正確な金額を財布から取り出して、それを
自分の前のテーブルに置いた。

Aspettando l'antipasto ha aperto la borsétta, ha tirato fuori un quadratino di carta e una
matita, ha fatto in anticipo il conto della cena, poi ha tirato fuori da un borsellino la
somma esatta, mancia compresa, e l'ha messa sul tavolo davanti a lei.

「副詞句」「動詞句」「目的語」, 「動詞句」「副詞」「目的語」,

「動詞句」「副詞句」「目的語」, 「副詞」「動詞句」「副詞句」「目的語」,

e 「目的語」「動詞句」「副詞句」

Aspettando アスペッタント ジェルンディオ・同時(aspettare)

adv. 待っている間に、待ちながら 「副詞句」

l'antipasto ランチパスト n.m 前菜を、オードブルを 「目的語」

ha aperto ア・アペールト 3 単現・完了形(aprire)v.t 開けた 「動詞句」

la borsétta, ラ・ホルセッタ n.f ハンドバッグを 「目的語」

ha tirato ア・チラート 3 単現・完了形(tirare)v.t 取り出した 「動詞句」

fuori フォーリ adv. 外に 「副詞」

un quadratino ウン・クワトラーチノ n.m(di の) 小さい四角いもの 「目的語」

di carta ディ・カルタ adj. 紙の 「形容詞句」

e エ conj. そして

una matita, ウナ・マチータ n.f 鉛筆を 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

ha fatto ア・ファット 3 単現・完了形(fare)v.t (動作を) した	「動詞句」
in anticipo イン・アンティチポ° adv. 前もって	「副詞句」
il conto イル・コント n.m 勘定を、計算を	「目的語」
della céna, デラ・チェナ adj. 食事の、夕食の	「形容詞句」
pòi ポーイ adv. それから、次に	「副詞」
ha tirato ア・チラート 3 単現・完了形(tirare)v.t 取り出した	「動詞句」
fuòri da un borsellino フォーリ・ダ・ウン・ボルセルリーノ adv. 財布から	「副詞句」
la somma esatta, ラ・ソマ・エサッタ n.f 正確な金額を	「目的語」
mància マンチャ n.f チップを	「目的語」
compresa, コンプレサ 過去分詞・受動.f(comprendere)adj. 含まれた	「形容詞句」
e エ conj. そして	
l' ラ pron.f(la somma esatta の代用) それを	「目的語」
ha messa ア・メッサ 3 単現・完了形.f(mettere)v.t 置いた	「動詞句」
sul tavolo スル・ターヴォロ adv. テーブルの上に	「副詞句」
davanti a lèi. ダヴァンティ・ア・レーイ adv. 自分の前の	「副詞句」

その時、前菜が運ばれてきた。彼女はそれをものすごい速さで飲み込んだ。

In quel momento le hanno portato l'antipasto che ha ingerito a gran velocità.

「副詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」,
「目的語」「動詞句」「副詞句」

In quel momento イン・ケル・モメント adv. (限定的な時間) その時	「副詞句」
le レ pron 彼女に	「間接目的語」
hanno portato アンノ・ポルタート 3 複現・完了形(portare)v.t 運ばれてきた	「動詞句」
受動態に翻訳する	
l'antipasto ランチパスト n.m オードブルが	「直接目的語」
che ケ pron それを～する	「目的語」
ha ingerito ア・インジェリト 3 単現・完了形(ingerire)v.t 飲み込んだ	「動詞句」
a gran velocità. ア・グラン・ヴェロチタ adv. (方法) ものすごい速さで	「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

次の料理を待つ間、女はハンドバッグから青い鉛筆とその週のラジオ番組が掲載されている雑誌を取り出した。

Aspettando il piatto seguente, ha tirato fuori dalla borsétta una matita blu e una rivista coi programmi radiofonici della settimana.

「副詞句」、「動詞句」「副詞句」「目的語」

Aspettando アスペッタント ジェルンディオ・同時(aspettare)

adv. 待っている間に、待ちながら

「副詞句」

il piatto イル・ピャット n.m 料理を

「目的語」

seguente, セグエンテ adj. 次の

「形容詞」

ha tirato ア・チラート 3 単現・完了形(tirare)v.t 取り出した

「動詞句」

fuori フォーリ adv. 外に

「副詞」

dalla borsétta ダラ・ホルセッタ adv. ハンドバッグから

「副詞句」

una matita blu ウナ・マチータ・ブルー n.f 青い鉛筆を

「目的語」

e エ conj. そして

una rivista ウナ・リヴィスタ n.f 雑誌を

「目的語」

coi programmi コイ・プログラミ adv. (付属) 番組表を持った

「副詞句」

radiofonici ラディオフォニチ adj. ラジオ放送の

「形容詞」

della settimana. デラ・セッチマナ adj. その週の

「形容詞句」

非常に入念に、全ての番組に一つ一つ下線を引いていった。

Con molta cura, ha sottolineato a una a una tutte le trasmissioni.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」「目的語」

Con molta cura, コン・モルタ・カーラ adv. 非常に入念に

「副詞句」

ha sottolineato ア・ソットリネート 3 単現・完了形(sottolineare)v.t 下線を引いた

「動詞句」

a una a una ア・ウナ・ア・ウナ adv. 一つ一つ、番組ごとに

「副詞句」

tutte le trasmissioni. トウッテ・レ・トラスミシオーニ pron(trasmissione)n.f 全ての番組に

「目的語」

雑誌は 12 ページほどなので、女は食事の間じゅう細心の注意を払ってその作業を続けた。

Poiché la rivista aveva una dozzina di pagine, ha continuato il lavoro meticolosamente durante tutto il pasto.

「副詞節」、「動詞句」「目的語」「副詞句」

Poiché ポイェ conj. (理由) ~だから

「副詞節」

la rivista ラ・リヴィスタ n.f その雑誌は

「主語」

aveva アヴェーヴァ 3 単半(avére)v.t ~があった

「動詞」

una dozzina di pagine, ウナ・トッジンナ・ディ・ページネ

pl(página).n.f 12 ページ

「目的語」

ha continuato ア・コンチヌアト 3 単現・完了形(continuare)v.t 続けた

「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

il lavóro イル・ラヴォーロ n.m その作業を 「目的語」
 meticolosamente メチコロサメンテ adv. くそまじめに、細心の注意を払って 「副詞句」
 durante tutto il pasto. トゥランテ・トアウト・イル・パスト adv. 食事の間中 「副詞句」

僕はすでに食事を終えていたが、女は相変わらず同じ集中力で下線を引いていた。

Io avevo già finito di mangiare e lei sottolineava ancora con la stessa attenzione.

Io イーオ pron 僕は 「主語」
 avevo già finito di mangiare アヴェーヴァ・ジョ・フィニート・ディ・マンジヤレ 1 単半・完了形・終了
 (finire di+不定詞 mangiare)v.t もう食事を終えていた 「動詞句」
 e エ conj. そして
 lei レー pron.f 女は 「主語」
 sottolineava ソトリネヴァ 3 単半(sottolineare)v.t 下線を引いていた 「動詞」
 ancora アンコーラ adv. いまだに、相変わらず 「副詞」
 con la stessa attenzione. コン・ラ・ステッサ・アッテンツィオーネ adv. 同じ集中力で 「副詞句」

それから女は、立ち上がり、ロボットのような正確な動作で上着をきると、出て行った。

Poi si è alzata, si è rimessa la giacca con gli stessi gesti precisi da automa e se n'è andata.

Poi ポーイ adv. それから 「副詞」
 si è alzata, シ・エ・アルツァータ 3 単現・完了形(alzarsi)v.pr 立ち上がった 「動詞句」
 si è rimessa シ・エ・リメッサ 3 単現・完了形(rimettere+si)v.t (服を) また着た 「動詞句」
 si は「自分自身に」という「間接目的語」... 自分に(服を)着せた
 la giacca ラ・ジャッカ n.f 上着を 「目的語」
 con gli stessi gesti コン・リ・ステッシ・ジェスティ adv. 同じ身振りで、動作で 「副詞句」
 precisi プレチーシ adj(preciso).pl 正確な 「形容詞」
 da automa ダ・アウトマ adv. ロボットのような 「副詞句」
 e エ conj. そして
 se n'è andata. セ・ネ・アンダータ 3 単現・完了形(f(andarsene)v.pr 立ち去った 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

何もすることが無かったので、僕も店を出て、少しの間、女の後を追った。

Siccome non avevo niente da fare, sono uscito anch'io e l'ho seguita un momento.

「副詞節」, 「動詞句」 「主語」 e 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」

Siccome シッコメ conj. (原因) ~なので 「副詞節」

non avevo ノン・アヴェーヴォ 1 単半・否定(avére)v.t ~が無かった 「動詞句」

niente ニエンテ pron 何も~ない 「目的語」

da fare, ダ・ファレ 不定詞・目的 adj. するべき 「形容詞句」

sono uscito ソーノ・ウッシート 1 単現・完了形(uscire)v.i 出た 「動詞句」

anch'io アンキオ pron 僕も 「主語」

e エ conj. そして

l'ラ pron 女を 「目的語」

ho seguita オ・セグィータ 1 単現・完了形.f(seguire)v.t 後を追った 「動詞句」

un momento. ウン・モメント adv. 少しの間 「副詞句」

女は舗道の縁石の上を、信じられない程の速度と確実性で、縁石から落ちたり振り返ったりしないで、我が道を進んで行った。

Camminava sull'orlo del marciapiède con una velocità e una sicurezza incredibile, andava per la sua strada senza deviare né voltarsi indietro.

「動詞」 「副詞句」, 「動詞」 「副詞句」

Camminava カミンヴァ 3 単半(camminare)v.i 歩いた 「動詞」

sull'orlo スロロ adv. 縁の上を、縁、縁石の上 「副詞句」

del marciapiède テール・マルチャッピエーデ adj. 歩道の 「形容詞句」

con コン prep (手段) ~で 「副詞句」

una velocità ウナ・ヴェロチタ n.f 速度 「目的語」

e エ conj. そして

una sicurezza ウナ・シクレツァ n.f 確かさ、確信 「目的語」

incredibile, インクレディビレ adj. 信じられない 「形容詞」

andava アンダーヴァ 3 単半(andare)v.i 歩いた、進んだ 「動詞」

per la sua strada ペル・ラ・スア・ストラータ adv. 自分の道を 「副詞句」

senza deviare センツァ・デヴァィアーレ adv. 脱線しないで 「副詞句」

né voltarsi ネ・ヴォルタルシ adv. 振り返りもせずに 「副詞句」

indietro. インディエトロ adv. 後ろを 「副詞」

PARTE PRIMA 第1部

結局は女を見失って、僕は女についてきた道に戻った。僕は変わった女だと思ったが、女の事はすぐに忘れた。

Ho finito per perderla di vista e per ritornare sui miei passi. Ho trovato che era bizzarra, ma mi sono dimenticato di lei abbastanza presto.

「動詞句」「副詞句」 | 「動詞句」「目的語」,ma「動詞句」「間接目的語」「副詞句」
 Ho finito オ・フィント 1 単現・完了形(finirei)v.i(+per+不定詞) 結局～した 「動詞句」
 per +不定詞 ヘル prep (結果) ～する 「副詞句」
 perderla ヘルデル・ラ 不定詞(perdere+la)v.i(di を) 女を失う 「動詞句」
 di vista デイ・ヴィスタ adv. 姿を 「間接目的語」
 e エ conj. そして
 per +不定詞 ヘル prep (結果) ～する 「副詞句」
 ritornare リトルネ 不定詞 v.i 戻る 「動詞」
 sui miei passi. スー・ミエイ・パッシ adv. 自分の道に (今来た) 「副詞句」
 Ho trovato オ・トロヴァート 1 単現・完了形(trovare)v.t 気付いた、思った 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということ 「目的語」
 era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」
 bizzarra, ビザラ adj(bizzarro).f 風変わりな 「補語」
 ma マ conj. しかし
 mi sono dimenticato ミ・ソーノ・ディメンチカート 1 単現・完了形(dimenticarsi)
 v.pr(di のことを) 忘れた 「動詞句」
 di lei デイ・レイ adv. 女のことを 「間接目的語」
 abbastanza presto. アッバスタツァ・プレスト adv. すぐに 「副詞句」

僕の部屋の戸口の前で、サラマノ老人に出会った。

Davanti alla mia pòrta ho trovato il vècchio Salamano.

「副詞句」「動詞句」「目的語」
 Davanti ダヴァンティ prep(a) ～の前で 「副詞句」
 alla mia pòrta アラ・ミーア・ポールタ adv. 僕の部屋の戸口 「間接目的語」
 ho trovato オ・トロヴァート 1 単現・完了形(trovare)v.t (偶然に) 出会った、気づいた 「動詞句」
 il vècchio Salamano. イル・ヴェッキオ・サラマノ n.m サラマノ老人 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

彼を僕の部屋に入らせた。すると彼は、野犬収容所に行ったが彼の犬が見つからないので全く行方不明だと僕に訴えた。

L'ho fatto entrare e mi ha detto che il suo cane era definitivamente perduto perché al Canile non c'era.

「目的語」「動詞句」「補語」 e 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

L' レ pron 彼を 「目的語」

ho fatto オ・ファット 1 単現・完了形・使役(fare)v.t(+不定詞) ~させた 「動詞句」

entrare エントラーレ 不定詞・L'の動作 v.i 入る 「補語」

e エ conj. そして

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. ~ということ 「直接目的語」

il suo cane イル・スオ・カーネ n.m 彼の犬が 「主語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ~である 「動詞」

definitivamente perduto, デフィニティヴァメンテ・ペルトゥート

adj. 完全に消えてしまった 「補語」

perché ペルケ conj. (理由) ~なので 「副詞節」

al Canile アル・カーネレ adv. (場所) 野犬収容所に 「副詞句」

non c'era. ノン・チェラ 3 単半・存在・否定(essere)

v.i ~にいなかった 「動詞句」

職員は彼に、恐らく車に轢かれたのだらうと告げた。

Gli impiegati gli avevano detto che forse era andato sotto una macchina.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Gli impiegati リ・インピエガティ pl(impiegato).n.m 職員は 「主語」

gli リ pron 彼に 「間接目的語」

avevano detto アヴエヴァノ・デット 3 複半・完了形(dire)v.t 告げた 「動詞句」

che ケ conj. ~ということ 「直接目的語」

forse フォルセ adv. おそらく 「副詞」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ~である 「動詞」

andato アンダート adj. 死んだ 「補語」

sotto una macchina. ソット・ウナ・マッキナ adv. (位置) 車の下で 「副詞句」

サラマノは、警察に問い合わせることは出来ないだろうかと職員に尋ねた。

Aveva chiesto se non fosse possibile informarsi ai Commissariati.

「動詞句」「目的語」

Aveva chiesto アヴェヴァ・キェスト 3 単半・完了形(chiedere)v.t 尋ねた

「動詞句」

se セ conj. ～かどうかという事を

「目的語」

non fosse ノン・フォッセ 接・3 単半・否定・時制の一致(essere)v.i ～でない

「動詞句」

possibile ポッシービレ adj. 可能な

「補語」

informarsi インフォルマルシ 不定詞 v.pr 問い合わせることは

「主語」

ai Commissariati. アイ・コミサリアーティ adv. (相手) 警察に

「間接目的語」

職員は彼に、こういった出来事は毎日起きるので記録は取っていないと答えた。

Gli avevano risposto che non si tiene nota delle cose di questo genere, perché succedono tutti i giorni.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Gli リ pron 彼に

「間接目的語」

avevano risposto アヴァン・リスポスト 3 複半・完了形(rispondere)v.t 答えた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということ

「直接目的語」

non si tiene ノン・シ・ティエネ 3 単現・否定(tenersi)v.pr 記録しない

「動詞句」

nota ノタ n.f メモを

「目的語」

delle cose di questo genere, テレ・コゼ・ティ・クエスト・ジエネ

adj. この種の物事の

「形容詞句」

perché ペルケ conj. (理由) ～なので

「副詞節」

succedono スチェットノ 3 複現(succedere)v.i 起こっている

「動詞」

tutti i giorni. トゥッティ・イ・ジョルニ adv. 毎日

「副詞句」

僕はサラマノ老人に別の犬を飼ってみてはどうだろうと言った。しかし当然だが、彼はあの犬に馴染んでいたと答えた。

Ho detto al vecchio Salamano che avrebbe potuto trovare un altro cane, ma con ragione lui mi ha fatto osservare che era abituato a quello lì.

「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」,

ma 「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

al vecchio Salamano アル・ヴァエッキオ・サラマノ adv. サラマノ老人に

「間接目的語」

che ケ conj. ～ということ

「直接目的語」

avrebbe potuto trovare アヴレバ・ポトヴァーレ 条・3 単現・完了形・可能性(potere+不定詞)

v.t 飼って見たらどうだろう

「動詞句」

un altro cane, ウン・アルトロ・カーネ n.m 別の犬を

「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

ma マ conj.	しかし	
con ragione コン・ラジオーネ adv.	当然の事として	「副詞句」
lui ルー pron	彼は	「主語」
mi ミ pron	僕に	「間接目的語」
ha fatto osservare ア・ファット・オッセルヴァーレ	3 単現・使役・完了形(fare+不定詞 osservare)	
v.t	述べた	「動詞句」
使役としては、「僕に気付かせた」だが、「～と述べた」と翻訳した		
che ケ conj.	～ということ	「直接目的語」
era エラ 3 単半(èssere)v.i	～だった	「動詞」
abituato アビトゥアート adj.	馴染んだ	「補語」
a quello lì. ア・ケッロ・リ adv.	あの犬に	「副詞句」

僕はベッドの上に寝そべっていた。そしてサラマノはテーブルの前の椅子に腰かけていた。

Ero sdraiato sul letto e Salamano si era seduto su una sedia davanti al tavolo.

		「動詞」「補語」 e 「主語」「動詞句」「副詞句」
Ero エロ 1 単半(èssere)v.i	～だった	「動詞」
sdraiato ストライアート adj.	寝そべった	「補語」
sul letto スル・レット adv.	ベッドの上に	「副詞句」
e エ conj.	そして	
Salamano サラマノ n.m	サラマノは	「主語」
si era seduto シ・エラ・セドゥート 3 単半・完了形(sedersi)v.pr	腰かけていた	「動詞句」
su una sedia ス・ウナ・セーディア adv.	椅子の上に	「副詞句」
davanti al tavolo. ダヴァンティ・アル・ターヴォロ adv.	テーブルの前の	「副詞句」

彼は僕の正面に居て、両手を膝の上に置いていた。古びたフェルト帽を被っていた。

Mi stava di fronte e teneva le mani sulle ginocchia. Aveva in testa il suo vecchio feltro.

		「間接目的語」「動詞」「副詞句」 e 「動詞」「目的語」「副詞句」
		「動詞」「副詞句」「目的語」
Mi ミ pron	僕の、僕に対して	「間接目的語」
stava スターヴァ 3 単半(stare)v.i	いた	「動詞」
di fronte ティ・フロンテ adv.	正面に	「副詞句」
e エ conj.	そして	
teneva テネヴァ 3 単半(tenere)v.t	置いていた	「動詞」
le mani レ・マーニ pl(mano).n.f	両手を	「目的語」
sulle ginocchia. スル・ジノッキア adv.	両ひざの上に	「副詞句」
ginocchia ジノッキア pl(ginocchio).n.m	両膝	

PARTE PRIMA 第1部

Aveva アヴェーヴァ 3 単半(avére)v.t (服などを) 着用していた 「動詞」
 in testa イン・テスト adv. 頭に 「副詞句」
 il suo vecchio féltro. イル・スー・ウ・エッキオ・フェルトロ n.m 古びたフェルト帽を 「目的語」

彼は黄ばんだ口髭の下に言葉尻を飲み込んだ。彼には少しうんざりさせられたが、することが何も無かったし、眠たくも無かった。

Biascicava dei framménti di frasi sòtto i baffi ingialliti. Mi annoiava un po', ma non avevo niènte da fare e non avevo sònno.

「動詞」「目的語」「副詞句」

「目的語」「動詞」「副詞句」,ma「動詞句」「目的語」e「動詞句」「目的語」

Biascicava ビアスカーヴァ 3 単半(biascicare)v.t 飲み込んだ、咬まないで食べた 「動詞」
 dei framménti デイ・フラメンティ pl(framménto).n.m 断片を 「目的語」
 di frasi デイ・フラージ adj.(frase) 言葉の 「形容詞句」
 sòtto ソット prep (位置) ~の下に 「副詞句」
 i baffi イ・バッフィ pl(baffo).n.m 口髭 「目的語」
 ingialliti. インジャーティ 過去分詞(ingiallire)adj.pl.n 黄ばんだ 「形容詞」
 Mi ミ pron 僕を 「目的語」
 annoiava アンノイヴァ 3 単半(annoiare)v.t うんざりさせた 「動詞」
 un po', ウン・ポ adv. 少し 「副詞句」
 ma マ conj. しかし
 non avevo ノン・アヴェーヴォ 1 単半・否定(avére)v.t ~が無かった 「動詞句」
 niènte da fare ニエンテ・ダ・ファーレ pron することが何も~ない 「目的語」
 e エ conj. そして
 non avevo ノン・アヴェーヴォ 1 単半・否定(avére)v.t ~が無かった 「動詞句」
 sònno. ソノ n.m 眠気 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

何か話そうと思って、彼に犬のことを尋ねてみた。彼は奥さんに死なれてから、あの犬を飼ったのだと答えた。

Per parlare di qualcosa, gli ho domandato del suo cane. Mi ha detto che l'aveva avuto dopo la morte di sua moglie.

「副詞句」, 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」

「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」

Per +不定詞 ペル prep (目的) ~するために 「副詞句」
 parlare パルラーレ 不定詞 v.i(di について) 話す 「動詞」
 di qualcosa, ディ・クワルコーサ adv. 何かを 「間接目的語」
 gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 ho domandato オ・ドマダート 1 単現・完了形(domandare)v.i(di のことを) 尋ねた 「動詞句」
 del suo cane. デル・スオ・カーネ adv. 彼の犬の事を 「間接目的語」
 Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 答えた 「動詞句」
 che ケ conj. ~ということ を 「直接目的語」
 l' ロ pron その犬を 「目的語」
 aveva avuto アヴェーヴァ・アヴァート 3 単半・完了形(avére)
 v.t 飼った、手に入れた 「動詞句」
 dopo トーポ prep (時) ~の後に 「副詞句」
 la morte ラ・モルテ n.f 死 「目的語」
 di sua moglie. ディ・スア・モーリエ adj. 妻の 「形容詞句」

結婚は遅かった。若いころは演劇がやりたかった：連隊では、軍隊歌劇に出演していた。

Si era sposato tardi. In gioventù desiderava fare del teatro: al reggimento recitava nei vaudevilles militari.

「動詞句」 「副詞」 | 「副詞句」 「動詞句」 「目的語」: 「副詞句」 「動詞」 「副詞句」

Si era sposato シ・エラ・スポサート 3 単半・完了形(sposarsi)v.pr 結婚した 「動詞句」
 tardi. タルディ adv. 遅く 「副詞」
 In gioventù イン・ジョヴェントゥ adv. 若い頃は、青春時代には 「副詞句」
 desiderava fare デシテラヴァ・ファレ 3 単半・願望(desiderare+不定詞 fare)
 v.t ~をやりたかった 「動詞句」
 del teatro: デル・テアートロ n.m 演劇を 「目的語」
 al reggimento アル・レジメント adv. (場所) 連隊では 「副詞句」
 recitava レチターヴァ 3 単半(recitare)v.t 演じていた 「動詞」
 nei vaudevilles ネイ・ヴァウデヴィルス adv. (活動の場所) 歌劇で 「副詞句」
 militari. ミリタリ adj(militare).pl 軍隊の 「形容詞」

PARTE PRIMA 第1部

しかしその後鉄道会社に就職したが、今ではお陰でわずかな年金を貰っているので後悔はしていない。
妻とはうまくいっていなかったが、結局はお互いに馴染んだ。

Ma pòì era entrato nelle ferrovie e non se ne pentiva perché adesso aveva una piccola pensione. Non era stato felice con sua moglie, ma in fondo aveva finito col farci l'abitudine.

Ma 「副詞」「動詞句」「副詞句」 e 「動詞句」「副詞節」
「動詞句」「補語」, ma 「副詞句」「動詞句」「目的語」

Ma マ conj. しかし

pòì ポーイ adv. その後 「副詞」

era entrato エラ・エントラート 3 単半・完了形(entrare)v.i. ~に入った、就職した 「動詞句」

nelle ferrovie ネレ・フェロヴァーイェ adv. 鉄道に 「副詞句」

ferrovie フェロヴァーイェ pl(ferrovia).n.f 鉄道、鉄道会社

e エ conj. そして

non se ne pentiva ノン・セ・ネ・ペンチヴァ 3 単半・否定・時制の一致(pentirsi)v.i.

v.pr. そのことを後悔していない 「動詞句」

ne ネ pron (演劇をしたかったのに) 鉄道に入ったこと

perché ペルケ conj. (理由) ~なので 「副詞節」

adesso アデッソ adv. 今では 「副詞」

aveva アヴァーヴァ 3 単半・時制の一致(avere)v.t. ~がある 「動詞」

una piccola pensione. ウナ・ピッコラ・ペンシオーネ n.f. わずかな年金を 「目的語」

Non era stato ノン・エラ・スタート 3 単半・完了形・否定(essere)v.i. ~でなかった 「動詞句」

felice フェリーチェ adj. 幸せな 「補語」

con sua moglie, コン・スア・モリーエ adv. 妻とは 「副詞句」

ma マ conj. しかし

in fondo イン・フォント adv. 結局は 「副詞句」

aveva finito アヴァーヴァ・フィニート 3 単半・完了形・結局(finire con+不定詞)

v.i. ついには~した 「動詞句」

col farci コル・ファルチ 不定詞(farsi)v.pr. 互いに~になる 「動詞句」

l'abitudine. ラビトゥーディネ n.f. 習慣、慣れ 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

だから妻が亡くなると、とても孤独な思いに包まれた。

E quando lèi era mòrta, si era sentito mólto sólo.

E 「副詞節」, 「動詞句」 「補語」

E エ conj. そして

quando クわント conj. ～すると

「副詞節」

lèi レイ pron.f 彼の妻が

「主語」

era mòrta, エラ・モルタ 3 単半・完了形(morire)v.i 死んだ

「動詞句」

si era sentito シ・エラ・センチト 3 単半・完了形(sentirse)

v.pr (自分が～と) 感じた

「動詞句」

mólto sólo. モルト・ソーロ adj. とても孤独な

「補語」

それで職場の同僚に頼んで、まだとても小さかったこの犬を譲ってもらったのだ。

Allóra aveva chièsto un cane a un compagno di officina e aveva ricevuto quésto, che a qué l t è m p o era m ól t o p ì c c h i l l o.

「副詞」 「動詞句」 「直接目的語」 「間接目的語」 e 「動詞句」 「目的語」

Allóra アッローラ adv. それで

「副詞」

aveva chièsto アヴェーヴァ・ア・キエスト 3 単半・完了形(chièdere)v.t 頼んだ

「動詞句」

un cane イン・カーネ n.m 犬を

「直接目的語」

a un compagno di officina ア・ウン・コンパニョ・ディ・オフィーナ adv. 会社の同僚に

「間接目的語」

e エ conj. そして

aveva ricevuto アヴェーヴァ・リチェヴァート 3 単半・完了形(ricévere)v.t 貰った

「動詞句」

quésto, ケスト pron この犬を

「目的語」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

a quél tèmpo ア・ケル・テンポ adv. その時は

「副詞句」

era エラ 3 単半(èssere)v.i ～だった

「動詞」

mólto piccolo. モルト・ピッコロ adj. とても小さい

「補語」

PARTE PRIMA 第1部

最初は哺乳瓶で食べさせなければならなかった。しかし、犬の寿命は人間よりも短いので、やがて一緒に年老いてしまった。

Aveva dovuto dargli da mangiare col biberòn. Ma siccome un cane vive meno di un uomo, avevano finito per diventare vecchi insieme.

「動詞句」「副詞句」 | Ma 「副詞節」, 「動詞句」「補語」

Aveva dovuto +不定詞 アヴェウァ・トヴラート 3 単半・完了形・必要(dovére)

v.t. ~しなければならなかった 「動詞句」

dargli da mangiare ダール・リ・ダ・マンジヤレ 不定詞・使役(dare+ O da+不定詞)

v.t. 犬に食べさせる 「動詞句」

col biberòn. コル・ビベロン adv. (道具) 哺乳瓶で 「副詞句」

Ma マ conj. しかし

siccome シッコーメ conj. (原因) ~なので 「副詞節」

un cane ウン・カーネ n.m 犬は 「主語」

vive ヴィヴェ 3 単現(vivere)vi 生きる 「動詞」

meno di un uomo, メノ・ディ・ウン・ウオーモ adv. 人間よりも短く 「副詞句」

avevano finito per diventare アヴェウァ・フィニート・ペル・ディヴァンターレ 3 複半・完了形・変化

(finire per+不定詞 diventare)v.i. ついには~になった 「動詞句」

vecchi ヴェッキ adj(vecchio).pl 年老いた 「補語」

insieme. インシェーメ adv. 一緒に 「副詞」

「あれは性格が悪かったんです」と、サラマノが言った。「時々、喧嘩をすることもありましたが、あれはいい犬でした」

“Aveva un brutto carattere,” mi ha detto Salamano. “Di tanto in tanto si trovava da dire, ma in fondo era un buon cane.”

《「動詞」「目的語」》, 「間接目的語」「動詞句」「主語」,

《「副詞句」「動詞句」, ma 「副詞句」「動詞」「補語」》

“Aveva アヴェウァ 3 単半(avére)v.t (特性が) あった 「動詞」

un brutto carattere,” ウン・ブルット・カラッテレ n.m 悪い性格 「目的語」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

Salamano. サラマノ n.m サラマノが 「主語」

“Di tanto in tanto ディ・タント・イン・タント adv. 時々 「副詞句」

si trovava da dire, シ・トロヴァーウァ・ダ・ディレ 3 単半・相互(trovarsi da+不定詞 dire)

v.t. 言い合ったものだ、文句をつけ合った 「動詞句」

ma マ conj. しかし

in fondo イン・フォント adv. 結局は、本質的には 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

era エラ 3 単半(èssere)v.i へだった 「動詞」
 un buon cane.” ウン・ブオン・カーネ n.m いい犬 「補語」

あれは良い血統の犬でしたねと彼に言うと、サラマノは満足そうな様子だった。「それに考えてみて
 ください」と付け加えた。「あなたは病気になる前のあれを知らない。毛並みは今よりずっと素晴ら
 しかったのです」

Gli ho detto che era di bella razza e Salamano ha avuto l'aria contenta. “E pensi,” ha
soggiunto, “che lei non l'ha mai conosciuto prima della sua malattia. Il pelo era la cosa
più bella che aveva.”

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e 「主語」「動詞句」「目的語」
 《「動詞句」》, 「動詞句」, 《「目的語」》

Gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 che ケ conj. へということを 「直接目的語」
 era エラ 3 単半(èssere)v.i へだった 「動詞」
 di bella razza ティ・ベッラ・ラッサ adj. 良い血統の 「補語」
 e エ conj. そして
 Salamano サラマノ n.m サラマノは 「主語」
 ha avuto ア・アヴート 3 単現・完了形(avére)v.t (様子を) した 「動詞句」
 l'aria contenta. ラーリア・コンテンタ n.f 満足そうな様子 「目的語」
 “E pensi,” エ・ペンシ 命・3 単現(pensare)v.t そして考えて下さい 「動詞句」
 ha soggiunto, ア・ソジエント 3 単現・完了形(soggiungere)v.t 付け加えた 「動詞句」
 “che ケ conj. へということを 「目的語」
 lei レイ pron あなたは 「主語」
 non ...ha mai conosciuto ノン...ア・マイ・コノシュート 3 単現・完了形・否定(conoscere)
 v.t 知らない 「動詞句」
 l' 〇 pron あれを 「目的語」
 prima della sua malattia. プリーマ・デラ・スーア・マラッティアー adv. 病気前の 「副詞句」
 Il pelo イル・ペロ n.m 毛は、毛並みは 「主語」
 era エラ 3 単半(èssere)v.i へだった 「動詞」
 la cosa più bella' ラ・コーサ・ピウ・ベッラ n.f 最も美しいもの 「補語」
 che ケ conj. (比較) へよりも 「副詞節」
 aveva.” アヴェーヴァ 3 単半・時制の一致(avére)v.t 持つ 「動詞」

犬がその皮膚病にかかってから毎朝毎晩、サラマノは犬の全身に軟膏を塗ってやっていた。

Ógni séra e ógni mattina, da quando il cane aveva avuto quella malattia délla pèlle, Salamano lo ungeva tutto con la pomata.

「副詞句」, 「主語」 「目的語」 「動詞」 「副詞句」

Ógni séra オンニ・セーラ n.m 毎晩

「副詞句」

e エ conj. そして

ógni mattina, オンニ・マッティーナ n.f 毎朝

「副詞句」

Ógni séra e ógni mattina 「毎朝毎晩」

da quando ダ・クワント conj. (起点) 〜した時から

「副詞節」

il cane イル・カーネ n.m 犬が

「主語」

aveva avuto アヴ・ェーヴァ・アヴ・ート 3 単半・完了形(avére)

v.t (病気に) かかった

「動詞句」

quella malattia ケッラ・マラッティーア n.f その病気に

「目的語」

délla pèlle, テラ・ペッレ adj. 皮膚の

「形容詞句」

Salamano サラマノ n.m サラマノは

「主語」

lo ロ pron それに (犬に)

「目的語」

ungeva ウンジ・ェヴァ 3 単半(ungere)v.t 油を塗っていた

「動詞」

tutto トゥット adv. 全身に

「副詞」

con la pomata. コン・ラ・ポマータ adv. (手段) 軟膏で

「副詞句」

だが彼に言わせると、本当の病気は「老い」だった。そして、老いは治らないのだ。

Ma, secóndo lui, la vera malattia era la vecchiaia, e délla vecchiaia non si guarisce.

Ma, 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「補語」, e 「主語」 「動詞句」

Ma, マ conj. しかし

secóndo lui, セコント・ルーイ adv. 彼に言わせれば

「副詞句」

la vera malattia ラ・ヴェラ・マラッティーア n.f 本当の病気は

「主語」

era エラ 3 単半(essere)v.i 〜だった

「動詞」

la vecchiaia, ラ・ヴェッキア n.f 老い

「補語」

e エ conj. そして

délla vecchiaia テラ・ヴェッキア n.f その老いは

「主語」

non si guarisce. ノン・シ・グワリシェ 3 単現・否定(guarirsi)v.pr 治らない

「動詞句」

その時僕はあくびをした。すると、老人はもう帰りますと僕に告げた。

In quel momento ho fatto uno sbadiglio e il vecchio mi ha annunciato che se ne andava.

「副詞句」「動詞句」「目的語」 e 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

In quel momento イン・ケル・モメント adv. その時 「副詞句」

ho fatto オ・ファット 1 単現・完了形(fare)v.t (動作を) した 「動詞句」

uno sbadiglio ウノ・ズバディリオ n.m あくびを 「目的語」

e エ conj. そして

il vecchio イル・ヴェッキオ n.m 老人は 「主語」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha annunciato ア・アヌンシアート 3 単現・完了形(annunciare)v.t 告げた 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

se ne andava. セ・ネ・アンダーヴァ 3 単半・時制の一致(andarsene)

v.pr 帰る、立ち去る 「動詞句」

僕は彼に、ゆっくりして行ってください、犬のことは残念ですと言った。

Gli ho detto che poteva restare, e che mi dispiaceva di quel che era successo al suo cane.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」, e 「直接目的語」

Gli リ pron 彼に 「間接目的語」

ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

poteva restare, ポ・テヴァ・レスターレ 3 単半・許可(potére+不定詞 restare)

v.i 残っていて構わない 「動詞句」

e エ conj. そして

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

mi ミ pron 僕にとって 「間接目的語」

dispiaceva ディスピアチェヴァ 3 単半・時制の一致(dispiacére)

v.i 残念である 「動詞」

di quel ディ・ケル adv. (関連) そのことに関して 「副詞句」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

era successo エラ・スチェツ 3 単半・完了形(succedere)

v.i 起こった 「動詞句」

al suo cane. アル・スオ・カーネ adv. あなたの犬に 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

彼は僕に礼を言って、母さんが彼の犬をととても可愛がってくれたと告げた。

Lui mi ha ringraziato. Mi ha detto che la mamma voleva molto bene al suo cane.

「主語」「間接目的語」「動詞句」 | 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Lui ルー pron 彼は 「主語」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha ringraziato. ア・リングラツィアート 3 単現・完了形(ringraziare)v.t 礼を言った 「動詞句」
 Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 la mamma ラ・マンマ n.f 母さんが 「主語」
 voleva ヴォーレヴァ 3 単半(volére)v.t 愛した、欲しがった 「動詞」
 molto bene モルト・ベーネ adv. とても 「副詞句」
 al suo cane. アル・スー・カーネ adv. (対象) 彼の犬を 「間接目的語」

母さんのことを話すとき、彼は『今は亡き母上』と呼んでいた。

Parlando di lei la chiamava “la sua pòvera mamma”.

「副詞句」, 「目的語」「動詞」「補語」
 Parlando パ・ラント ジェルンディオ(parlare)・同時 adv. (di のことを) 話すとき 「副詞句」
 di lei ディ・レーイ adv. 母さんのことを 「間接目的語」
 la ラ pron.f 彼女を 「目的語」
 chiamava キアマヴァ 3 単半・習慣(chiamare)v.t 呼んでいた 「動詞」
 “la sua pòvera mamma”. ラ・スー・ポーヴェラ・マンマ n.f 『今は亡き母上』 「補語」
 pòvera ポーヴェラ adj(pòvero).f 今は亡き、可哀そうな、貧しい

彼は、母上を亡くされてどれ程悲しまれているかお察し致しますと口上を述べたが、僕は返事をしなかった。

Ha espresso l'opinione che doveva essere molto infelice da quando era mòrta la mamma,

e io non ho risposto. 「動詞句」「目的語」, e 「主語」「動詞句」
 Ha espresso ア・エスプレッソ 3 単現・完了形(esprimire)v.t 口に出した、言った 「動詞句」
 l'opinione オピニオーネ n.f 考えを、意見を 「目的語」
 che ケ conj. (同格) ～という 「形容詞節」
 dovevo essere トゥヴェーヴォ・エッセレ 1 単半・必然(dovére+不定詞 essere)
 v.i ～に違いない 「動詞句」
 molto infelice モルト・インフェリーチェ adj. まったく不幸な 「補語」
 da quando ダ・クワント conj. (時) ～して以来 「副詞節」
 era mòrta エラ・モールタ 3 単半・完了形.f(morire)

PARTE PRIMA 第1部

v.i 死んだ、亡くなった 「動詞句」
 la mamma, ラ・マンマ n.f 母さんが 「主語」
 e エ conj. そして
 io イオ pron 僕は 「主語」
 non ho rispósto. ノン・ノ・リスポスト 1 単現・完了形・否定(rispondere)v.i 答えなかった 「動詞句」

すると、彼はとても早口で困惑した様子で、この界限では僕のことを親不孝ものとみなしていることは知っているが、彼は僕という人間をよく分かっていて、僕が母さんをとても愛していることも知っていると言った。

Allóra mi ha détto, móltó in fretta e imbarazzato, che sapeva che nel rióne mi avevano giudicato male perché avevo messo la mamma all'ospizio, ma lui mi conosceva e sapeva che volevo móltó bène alla mamma.

「副詞」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」「直接目的語」
 Allóra アッローラ adv. すると、その時 「副詞」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha détto, エ・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 móltó in fretta e imbarazzato, モルト・イン・フレッタ・エ・インバ・ラッツアート
 adv. とても早口で困惑した様子で 「副詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 sapeva サペ・ヴァ 3 単半・時制の一致(sapére)v.t 知っている 「動詞」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 nel rióne ネル・リオネ adv. この界限では 「副詞句」
 mi ミ pron 僕のことを 「目的語」
 avevano giudicato アヴァ・エヴァ・ノ・ジユディカート 3 複半・完了形・時制の一致(giudicare)
 v.t ～とみなしている 「動詞句」
 male マレ n.m 悪人 「補語」
 perché ペルケ conj. (理由) ～なので 「副詞節」
 avevo messo アヴァ・エヴァ・オ・メツ 1 単半・完了形(méttere)
 v.t 入れた 「動詞句」
 la mamma ラ・マンマ n.f 母さんを 「目的語」
 all'ospizio, アロスピツィオ adv. 養老院へ 「副詞句」
 ma マ conj. しかし
 lui ルーイ pron 彼は 「主語」
 mi ミ pron 僕を 「目的語」
 conosceva コノシェヴァ 3 単半・時制の一致(conóscere)
 v.t (人を) 知っている 「動詞」

PARTE PRIMA 第1部

e エ conj. そして

sapeva サペーヴァ 3 単半・時制の一致(sapére)v.t (事実を) 知っている 「動詞」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

volevo ヴォーレヴォ 1 単半・時制の一致(volére)

v.i(bène a qlcu を) 愛している 「動詞」

molto bène モルト・ベーネ adv. とても 「副詞句」

alla mamma. アラ・マンマ adv. 母さんの事を 「間接目的語」

いまだになぜか分からないが、僕はそのことで界限の人から悪く思われていたことを知らなかったが、
母さんの面倒を見るための十分な金が無かったのだから、養老院は僕としては自然なことだと思うと
彼に答えた。

Gli ho rispósto, non so ancóra perché, che non avevo mai saputo che mi si giudicava male
da quel punto di vista, ma che l'ospizio mi era parso una còsa naturale, dato che non
avevo abbastanza denaro per fare assistere la mamma.

「間接目的語」「動詞句」, 「動詞句」「副詞」「目的語」, 「直接目的語」

Gli リ pron 彼に 「間接目的語」

ho rispósto, オリスポスト 1 単現・完了形(rispóndere)v.t(che ～と) 答えた 「動詞句」
adv. (挿入節)

non so ノンソ 1 単現・否定(sapére)v.t 分からない 「動詞句」

ancóra アンコーラ adv. (動作の継続を示す) 今でも、いままで 「副詞」

perché, ペルケ n.m 理由が 「目的語」

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

non avevo mai saputo ノン・アヴェーヴォ・マイ・サプート 1 単半・完了形・否定(sapére)

v.t 知っていたことがなかった 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

si giudicava シ・ジューディカーヴァ 3 単半(giudicarsi)

v.pr (界限の人が) 思っていた 「動詞句」

male マーレ adv. 悪く 「補語」

da quel punto di vista, ダ・ケル・プント・ディ・ヴィスタ

adv. (手段) その点で 「副詞句」

ma マ conj. しかし

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

l'ospizio ロスピツィオ n.m 養老院は 「主語」

mi ミ pron 僕にとっては 「間接目的語」

era parso エラ・パルソ 3 単半・完了形(parére)v.i ～のように思われた毒

PARTE PRIMA 第1部

una còsa naturale, ウナ・コサ・ナトゥーレ n.f 自然な事 「補語」
 dato che +直説法 ダト・ケ conj. (理由) ～なので 「副詞節」
 non avevo ノン・アヴェーヴォ 1 単半・否定(avére)
 v.t. ～が無かった 「動詞句」
 abbastanza denaro アッバスタンツァ・デナロ n.m 十分な金が 「目的語」
 per fare assistere ペル・ファレ・アッシステレ 不定詞・目的
 adv. 世話をするための 「副詞句」
 la mamma. ラ・マンマ n.f 母さんを 「目的語」

「けれども」と、僕は付け加えた。「母さんは、ずっと前から僕に話すことがなくて、ずっと一人でいることに退屈していました」

“Del resto,” ho aggiunto, “era molto tempo che non aveva più niente da dirti e si annoiava a stare sempre sola.”

《「副詞句」》, 「動詞句」, 《「動詞」「補語」「主語」》

“Del resto,” デル・レスト adv. だがしかし、それでもやはり 「副詞句」
 ho aggiunto, オ・アジエント 1 単現・完了形(aggiungere)v.t 付け加えた 「動詞句」
 “era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i. ～である 「動詞」
 molto tempo モルト・テンポ adv. ずっと前 「補語」
 che ケ conj. ～したのは 「主語」
 non aveva più ノン・アヴェーヴォ・ア・ピウ 3 単半・否定(avére)
 v.t. もうなかった 「動詞句」
 niente da dirti ニエンテ・ダ・ディル・メ
 pron 僕に話すことは何も～ない 「目的語」
 e エ conj. そして
 si annoiava a stare シ・アンノイヴァ・ア・スターレ 3 単半・退屈(annoiarsi a+不定詞 stare)
 v.i. いることに退屈していた 「動詞句」
 sempre sola.” センプレ・ソラ adv. いつも一人で 「副詞句」

「そうですね」と、彼は僕に言った。「少なくとも、養老院では友達ができます」それから、彼は僕に許しを求めた。

“Sì,” mi ha detto lui, “all’ospizio almeno ci si fa degli amici.” Poi mi ha chiesto permesso.

《「応答」》, 「間接目的語」「動詞句」「主語」, 《「副詞句」「動詞句」「目的語」》,
 「副詞」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

“Sì,” シ adv. ええ、そう 「応答」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

lui, ルーイ pron 彼は	「主語」
“all’ospizio アッロスピツィオ adv. 養老院では	「副詞句」
alméno アルメーノ adv. 少なくとも、ともかくも	「副詞」
ci si fa チ・シ・ファ 3 単現(farsi)v.pr へができる、作る	「動詞句」
degli amici.” デリ・アミチ pl.n 友達を	「目的語」
Poi ポーイ adv. それから	「副詞」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 求めた	「動詞句」
permesso. ペルメソ n.m 許しを	「直接目的語」

彼は眠りたかった。今や彼の生活は変わってしまい、何をしたら良いか分からなかった。

Voleva andare a dormire. Adesso la sua vita era cambiata e non sapeva bene che cosa avrebbe fatto.

「動詞句」 | 「副詞」「主語」「動詞句」 e 「動詞句」「目的語」

Voleva andare a dormire. ヴォレヴァ・アンダ・レ・ア・ドルミレ 3 単半・願望・近接未来

(volére+不定詞 andare a+不定詞 dormire)v.i 眠りたかった 「動詞句」

Adesso アデッソ adv. 今や、今では 「副詞」

la sua vita ラ・スヴァ・ヴィータ n.f 彼の生活は 「主語」

era cambiata エラ・カンビアータ 3 単半・完了形.f(cambiare)v.i 変わってしまった 「動詞句」

e エ conj. そして

non sapeva bene ノン・サペヴァ・ベネ 3 単半・否定(sapére)v.t よく分からなかった 「動詞句」

che cosa ケ・コサ pron 何をするかということ 「目的語」

avrebbe fatto. アヴレツェ・ファット 条・3 単現・完了形・推量(fare)

v.t するべきである、したらよい 「動詞句」

彼と知り合って以来初めて、彼はそっと僕に手を差し出した。そして僕は手の皮膚がうろこのようだと感じた。

Per la prima volta da quando lo conoscevo, con un gesto furtivo, mi ha téso la mano e ho sentito le squame délla sua pèle.

「副詞句」, 「副詞句」, 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e 「動詞句」「目的語」

Per la prima volta ペル・ラ・プリマ・ヴォルタ adv. はじめて 「副詞句」

da quando ダ・クアント conj. (時間の起点) ~した時から 「副詞節」

lo ロ pron 彼を 「目的語」

conoscevo, コノシェヴォ 1 単半(conoscere)v.t 知った、知り合った 「動詞」

con un gesto コン・ウン・ジエスト adv. ある仕草で 「副詞句」

furtivo, フルティヴォ adj. 密かな、内密の 「形容詞」

PARTE PRIMA 第1部

mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha téso ア・テゾ 3 単現・完了形(tendere)v.t 差し出した	「動詞句」
la mano ラ・マーノ n.f 手を	「直接目的語」
e エ conj. そして	
ho sentito オ・センチート 1 単現・完了形(sentire)v.t 感じた	「動詞句」
le squame レ・スクワメ pl(squama).n.f うろこを	「目的語」
della sua pelle. デラ・スア・ペッレ adj. 皮膚の	「形容詞句」

彼は微笑み、僕の部屋を立ち去る前に言った：「今晚は犬が吠えないで欲しいです。私には、どれもう
ちの犬の声に聞こえるので」

Ha sorriso e prima di andare via mi ha detto: “Spero che i cani non abbaieranno stanotte. Mi pare sèmpre di udire il mio.”

「動詞句」 e 「副詞句」 「動詞句」：「動詞」 「目的語」

Ha sorriso ア・ソリゾ 3 単現・完了形(sorridere)v.i 微笑んだ	「動詞句」
e エ conj. そして	
prima di +不定詞 プリーマ・ディ 不定詞 adv. ～する前に	「副詞句」
andare via mi アンダー・レ・ヴァイ・ミ 不定詞 v.i 僕の所を立ち去る	「動詞句」
ha détto: ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
“Spero スペロ 1 単現(sperare)v.t 期待する、望む	「動詞」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
i cani イ・カーニ pl(cane).n.m 犬が	「主語」
non abbaieranno, ノン・アバィエランノ 3 複未・否定(abbaiare)v.i 吠えない	「動詞句」
stanotte. スタノッテ adv. 今晚	「副詞」
Mi ミ pron 私には	「間接目的語」
pare パーレ 3 単現(parere)v.i ～に思われる	「動詞」
sèmpre センプレ adv. いつも、どれも	「副詞」
di udire ディ・ウディレ 不定詞 n. 聞いていること	「主語」
il mio.” イル・ミーオ n.m うちの犬を	「目的語」

6.

日曜日の朝、僕はなかなか起き上がれず、マリーは僕に声をかけて、少し揺り起こすほどだった。

Doménica mattina ho faticato a svegliarmi e Maria mi ha dovuto chiamare e scuòtere un po'. 「副詞句」「動詞句」 e 「主語」「目的語」「動詞句」 e 「動詞句」「副詞句」

Doménica mattina トメニカ・マッティナ n.f 日曜日の朝 「副詞句」

ho faticato a svegliarmi オ・ファチカート・ア・スヴェグリエアル・ミ 1 単現・完了形・やっと

(faticare a+不定詞 svegliarmi)v.pr やっと起きることが出来た 「動詞句」

→ なかなか起きられなかった

e ɛ conj. そして

Maria マリア n.f マリーが 「主語」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

ha dovuto chiamare ア・トヴート・キマーレ 3 単現・完了形・必要(dovére+不定詞 chiamare)

v.t 声をかけなければならなかった 「動詞句」

e ɛ conj. そして

scuòtere スクオーテレ 3 単現・完了形・必要(dovére+不定詞 scuòtere)

v.t 揺すらなければならなかった 「動詞句」

un po'. ウン・ポ adv. 少し 「副詞句」

僕達は早く泳ぎたかったので、食事はしなかった。

Non abbiamo mangiato perché volevamo fare il bagno presto.

「動詞句」「副詞節」

Non abbiamo mangiato ノン・アビアーモ・マンジヤート 1 複現・完了形・否定(mangiare)

v.t 食べなかった 「動詞句」

perché ペルケ conj. ～なので 「副詞節」

volevamo fare ヴォレヴァーモ・ファーレ 1 複半・願望(volére+不定詞 fare)

v.t (行為を) したかった 「動詞句」

il bagno イル・バンニョ n.m 水浴を、泳ぎを 「目的語」

presto. プレスト adv. すぐに、早く 「副詞」

僕は体が抜け殻になったような気がして、少し頭痛もあった；タバコは苦い味がした。

Mi sentivo un gran vuòto déntro e un po' di mal di tèsta; la sigarétta aveva un sapore amaro. 「動詞句」「目的語」 e 「目的語」；「主語」「動詞」「目的語」

Mi sentivo ミ・センチヴォ 1 単半(sentirsi)v.pr (自分が～と) 感じた 「動詞句」

un gran vuòto ウン・グラン・ヴァート n.m 全くの空虚を 「目的語」

déntro デントロ adv. 体内の 「副詞」

PARTE PRIMA 第1部

e エ conj. そして

un po' di mal di testa; ウン・ポ・ディ・マル・ディ・テスト n.m 少しの頭痛を

「目的語」

la sigarétta ラ・シガレッタ n.f タバコは

「主語」

aveva アヴェ・ヴァ 3 単半(avére)v.t (特徴が) ~だった、あった

「動詞」

un sapore ウン・サポーレ n.m 味

「目的語」

amaro. アマーロ adj. 苦い

「形容詞」

僕が葬式に行くような顔をしていると言って、マリーは僕をからかった。

Maria mi ha preso in giro perché avevo “una faccia da funerale”.

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞節」

Maria マリア n.f マリーは

「主語」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

ha preso in giro ア・プ・レソ・イン・ジロー 3 単現・完了形(prendere in giro qlcu)

v.t (人を) からかった

「動詞句」

perché ペルケ conj. ~なので

「副詞節」

avevo アヴェ・ヴォ 1 単半(avére)v.t (特徴を) していた

「動詞」

“una faccia da funerale”. ウナ・ファッチャ・ダ・フネラーレ n.f 葬式に行く顔

「目的語」

彼女は白地のドレスを着て、髪はほどいていた。きれいだと言うと、嬉しそうに笑った。

Si era messa un vestito di tela bianca, si era sciolti i capelli. Le ho detto che era bella e lei ha riso di piacere.

「動詞句」「目的語」, 「動詞句」「目的語」

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e 「主語」「動詞句」「副詞句」

Si era messa シ・エラ・メッサ 3 単半・完了形(mettersi)v.pr ~を着ていた

「動詞句」

un vestito ウン・ヴェストー 1 n.m 上着、ドレス

「目的語」

di tela bianca, ディ・テラ・ビアンカ adv. (素材) 白い生地

「副詞句」

si era sciolti シ・エラ・シオルティ 3 単半・完了形(pl(sciogliersi)

v.pr 自分の~をほどいていた

「動詞句」

i capelli. イ・カペッリ pl(capello).n.m 髪を

「目的語」

Le レ pron 彼女に

「間接目的語」

ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

che ケ conj. ~ということ

「直接目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ~である

「動詞」

bella ベッラ adj. 美しい、きれいな

「補語」

e エ conj. そして

lei レイ pron 彼女は

「主語」

PARTE PRIMA 第1部

ha riso ア・リゾ 3 単現・完了形(ridere)v.i 笑った 「動詞句」
 di piacere. デイ・ピェアチェレ adv. (起源) 喜びから 「副詞句」

僕達は出かける時にレーモンの部屋のドアをノックした：彼はすぐに降りると答えた。

Uscendo, abbiamo bussato alla porta di Raimondo: ci ha risposto che scendeva subito.

「副詞」, 「動詞句」 「間接目的語」: 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」

Uscendo, ウェント ジェルンディオ・同時(uscire)adv. 出る時に 「副詞」
 abbiamo bussato アビアーモ・ブッサート 1 複現・完了形(bussare)v.i (a を) ノックした 「動詞句」
 alla porta アラ・ポールタ adv. ドアを 「間接目的語」
 di Raimondo: デイ・ライムント adj. レーモンの 「形容詞句」
 ci チ pron.pl 僕たちに 「間接目的語」
 ha risposto ア・リスポスト 3 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということ 「直接目的語」
 scendeva シェンデヴァ 3 単半・時制の一致(scendere)v.i 降りる 「動詞」
 subito. スビト adv. すぐに 「副詞」

通りへ出ると、すでに太陽が一杯の昼の日差しが、平手打ちのように僕に打ち付けた。

Giù in strada la luce del giorno, già tutto pieno di sole, mi ha colpito come uno schiaffo.

「副詞句」, 「主語」 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」

Giù in strada ジュ・イン・ストラダ adv. 通りに降りると 「副詞句」
 la luce del giorno, ラ・ルス・デル・ジョルノ n.f 昼の日差しが 「主語」
 già ジャ adv. もう、すでに 「副詞」
 tutto pieno di sole, トゥット・ピェノ・デイ・ソーレ adj. 太陽が一杯の 「形容詞句」
 mi ミ pron 僕を 「目的語」
 ha colpito ア・コピト 3 単現・完了形(colpire)v.t 殴った、打った 「動詞句」
 come uno schiaffo. コメ・ウノ・シアッフォ adv. 平手打ちのように 「副詞句」

多分、疲れていたのと、その上、よろい戸を閉めたままで部屋にいたせいだと思われる。

Forse perché ero stanco, e poi in camera eravamo restati con le persiane chiuse.

「副詞」 「副詞節」

Forse フォルセ adv. おそらく、たぶん 「副詞」
 perché ペルケ conj. (原因) ～なので 「副詞節」
 ero エロ 1 単半(essere)v.i ～だった 「動詞」
 stanco, スタンコ adj. 疲れた 「補語」
 e エ conj. そして
 poi ポイ adv. そのうえ、さらに 「副詞」

PARTE PRIMA 第1部

in càmera イン・カメラ adv. 部屋で	「副詞句」
eravamo restati エラヴ・アーモ・レスターティ 1 複現・完了形(restare)	
v.i 留まっていた	「動詞句」
con le persiane chiuse. コン・レ・ペルシアーネ・キウゼ	
adv. (状態) よろい戸を閉めたままで	「副詞句」

マリーは喜んで跳び上がり、何度もいい天気ねと言っていた。

Maria saltellava di gioia e continuava a dire che era bel tempo.

	「主語」「動詞」「副詞句」 e 「動詞句」「目的語」
Maria マリア n.f マリーは	「主語」
saltellava サルテラヴァ 3 単半(saltellare)v.i 飛び跳ねた	「動詞」
di gioia ティ・ジョイ adv. (原因) 喜んで	「副詞句」
e エ conj. そして	
continuava a dire コンチヌアヴァ・ア・ディ 3 単半・継続(continuare a+不定詞 dire)	
v.t 言い続けた	「動詞句」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
era エ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である	「動詞」
bel tempo. ベル・テンポ n.m 良い天気「補語」	

僕は気分が良くなってきて、自分が空腹だと気づいた。

Io mi sono sentito meglio e mi sono accorto che avevo fame.

	「主語」「動詞句」「補語」 e 「動詞句」「目的語」
Io イオ pron 僕は	「主語」
mi sono sentito ミ・ソーノ・センチト 1 単現・完了形(sentirsi)v.pr 感じた	「動詞句」
mèglio メーリオ adj. より良い	「補語」
e エ conj. そして	
mi sono accorto ミ・ソーノ・アコルト 1 単現・完了形(accòrgersi)v.pr 自覚した	「動詞句」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
avevo アヴェーヴォ 1 単半・時制の一致(avère)v.t (状態) ～である	「動詞」
fame. ファーメ n.f 空腹	「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

僕はそのことをマリーに言った。すると彼女は水着とタオルを入れた蠟引きのビーチバッグを僕に見せた。

L'ho detto a Maria e lei mi ha mostrato la sua borsa di tela cerata dove aveva messo i nostri due costumi da bagno e un asciugamano.

「直接目的語」「動詞句」「間接目的語」 e 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 L' ρ pron そのことを 「直接目的語」
 ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 a Maria ア・マリア adv. マリーに 「間接目的語」
 e ϵ conj. そして
 lei レイ pron.f 彼女は 「主語」
 mi \imath pron 僕に 「間接目的語」
 ha mostrato ア・モストラート 3 単現・完了形(mostrare)v.t 見せた 「動詞句」
 la sua borsa ラ・スー・ボルサ n.f 彼女のバッグを 「直接目的語」
 di tela ティ・テラ adj. 布の 「形容詞句」
 cerata セラタ adj(cerato).f 蠟引きした、防水加工した 「形容詞」
 dove トーヴァ ϵ adv. そこに～する 「副詞節」
 aveva messo アヴァ・エヴァ・ア・メツ 3 単半・完了形(mettere)
 v.t 入っていた 「動詞句」
 i nostri due costumi イ・ノストリ・ドゥエ・コストゥーメ
 pl(costume).n.m 服を 「目的語」
 da bagno ダ・バンニョ adv. (目的) 水浴用の 「副詞句」
 e ϵ conj. そして
 un asciugamano. ウン・アシュガマノ n.m タオル 「目的語」
 食べ物を用意していないことを示した。

待つより他にすることは無かった。レーモンがドアを閉じる音が聞こえた。

Non c'era da far altro che aspettare e abbiamo sentito Raimondo chiudere la porta.

「動詞句」「主語」 e 「動詞句」「目的語」「補語」
 Non c'era ノン・チェラ 3 単半・否定(esserci)v.i ～がなかった 「動詞句」
 da far ダ・ファレ 不定詞 n. することは 「主語」
 altro アルトロ pron 他のことを 「目的語」
 che ケ conj. (比較) ～するよりも 「副詞句」
 aspettare アスペ・ッターレ 不定詞 v.t 待つ 「動詞」
 e ϵ conj. そして
 abbiamo sentito アビアーモ・センチート 1 複現・完了形・知覚動詞(sentire)v.t 聞こえた 「動詞句」
 Raimondo ライモンツォ n.m レーモンが 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

chiudere キューデレ 不定詞・Raimondo の動作 v.t 閉める 「補語」
la porta. ラ・ポールタ n.f ドアを 「目的語」

彼は濃い青のズボンに白の半袖シャツを着ていた。

Aveva dei pantalóni blu e una camicia bianca con le maniche corte.

「動詞」「目的語」 e 「目的語」

Aveva アヴェヴァ 3 単半(avére)v.t (特徴) ～をしていた、(服を) 着ていた 「動詞」
dei pantalóni blu テイ・パントローニ・ブルー pl(pantalóni).n.m 濃い青のズボン 「目的語」
e エ conj. そして
una camicia bianca ウナ・カミチャ・ビアンカ n.f 白いシャツ 「目的語」
con le maniche corte. コン・レ・マニケ・コルテ adv. 袖が短い 「副詞句」

しかし、彼はかんかん帽を被っていた。マリーはそれを見て笑った。そして彼の前腕部は黒い毛の下はひどく白かった。

Ma sotto si era messo una canottiera, cosa che ha fatto ridere Maria, e i suoi avambracci erano molto bianchi sotto i peli neri.

Ma 「副詞」「動詞句」「目的語」, 「主語」(挿入句), e 「主語」「動詞」「補語」

Ma マ conj. しかし

sotto ソット adv. (位置) 下に 「副詞」
si era messo シ・エラ・メツ 3 単半・完了形(mettersi)v.pr 着用していた、着ていた 「動詞句」
una canottiera, ウナ・カノッチェラ n.f 麦わら帽子を 「目的語」
cosa コーサ n.f 事 「主語」
che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
ha fatto ア・ファット 3 単現・完了形・使役(fare)v.t(+不定詞) ～させた 「動詞句」
ridere リーデレ 不定詞・Maria の動作 v.i 笑う 「補語」
Maria, マリア n.f マリーを 「目的語」
e エ conj. そして
i suoi avambracci イ・スオイ・アヴァンブラッチ pl(avambraccio).n.m 彼の前腕部は 「主語」
erano エラーノ 3 複半(essere)v.i ～だった 「動詞」
molto bianchi モルト・ビアンキ adj. ひどく白い 「補語」
sotto i peli neri. ソット・イ・ペリ・ネリ adv. 黒い毛の下は 「副詞句」
peli ペーリ pl(pélo).n.m 毛、毛髪

フランス語版では

しかし、彼はかんかん帽をかぶっていたので、これを見てマリーは笑った。そして彼の
前腕は、黒い体毛の下はとても白かった。

Mais il avait mis **un canotier**, ce qui a fait rire Marie, et ses avant-bras étaient très

PARTE PRIMA 第1部

blancs sous les poils noirs.

イタリア語の翻訳者は、フランス語の *un canotier* (かんかん帽) を *canottiera* と翻訳した。これにはタンクトップと麦わら帽子の意味がある。白いシャツの下にタンクトップを着ていたと翻訳しようと考えて *sotto* が使われたと考えられる。麦藁帽ならば、*sotto* は不要だと思う。

それを見て僕は少し気分が悪くなった。彼は口笛を吹きながら階段を降りてきた。上機嫌そうだった。

Questo mi faceva un po' schifo. Fischiettava scendendo le scale e aveva l'aria molto contenta. 「主語」「目的語」「動詞」「補語」 | 「動詞」「副詞句」 e 「動詞」「目的語」
 Questo ケスト pron これが 「主語」
 mi ミ pron 僕を 「目的語」
 faceva ファチェヴァ 3 単半(fare)v.t ~にした 「動詞」
 un po' schifo. ウン・ポ・スキフォ n.m 少し嫌な気分 「補語」
 Fischiettava フィシエターヴァ 3 単半(fischiettare)v.i 口笛を吹いていた 「動詞」
 scendendo シェンデント ジェルンディオ・同時(scendere)adv. 降りながら 「副詞句」
 le scale レ・スカレ pl(scala).n.f 階段を 「目的語」
 e エ conj. そして
 aveva アヴァ 3 単半(avere)v.t (特徴) ~をしていた 「動詞」
 l'aria ラーリア n.f 様子を 「目的語」
 molto contenta. モルト・コンテンタ adj(contento).f 上機嫌の、満足した 「形容詞句」

彼は「やあ！」と僕に挨拶して、マリーのことを「お嬢さん」と呼んだ。

Mi ha detto: "Ciao, vecchio" e ha chiamato Maria "signorina".

「間接目的語」「動詞句」: 《「挨拶」》 e 「動詞句」「目的語」「補語」
 Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha detto: ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 "Ciao, vecchio" チャオ・ヴェッキオ adv. やあ! 「挨拶」
 e エ conj. そして
 ha chiamato ア・キアマト 3 単現・完了形(chiamare)v.t 呼んだ 「動詞句」
 Maria マリア n.f マリーを 「目的語」
 "signorina". シニョリーナ n.f お嬢さん 「補語」

PARTE PRIMA 第1部

前日に、僕達は警察署に行って来た。僕は「あの女がレーモンを裏切った」と証言した。

Il giorno prima eravamo stati al Commissariato e io avevo testimoniato che la ragazza aveva “tradito” Raimondo.

「副詞句」「動詞句」「目的語」 e 「主語」「動詞句」「目的語」

Il giorno prima イル・ジョルノ・プリマ adv. 前日に、前の日に 「副詞句」

eravamo stati エラヴァー・アモスターティ 1 複現・完了形・移動(estar)v.i(a に) 行って来た 「動詞句」

al Commissariato アル・コミサリアート adv. 警察署へ 「間接目的語」

e エ conj. そして

io イオ pron 僕は 「主語」

avevo testimoniato アヴァー・ウヴォ・テスチモニアート 1 単半・完了形(testimoniare)

v.t 証言をした 「動詞句」

che ケ conj. ～ということ 「目的語」

la ragazza ラ・ラガッツァ n.f あの女が 「主語」

aveva “tradito” アヴァー・ウヴァ・トラディート 3 単半・完了形(tradire)v.t 裏切った 「動詞句」

Raimondo. ライモンド n.m レーモンを 「目的語」

彼は注意だけで方面になった；つまり警察は僕の証言を確認もしなかった。

Lui se l'è cavata con una diffida; non hanno controllato la mia affermazione.

「主語」「動詞句」「副詞句」；「動詞句」「目的語」

Lui ルーイ pron 彼は 「主語」

se l'è cavata セ・レ・カヴァタ 3 単現・完了形・再帰受動(cavare)v.pr 放免された、免れた 「動詞句」

con una diffida; コン・ウナ・ディフィダ adv. 注意を受けて 「副詞句」

non hanno controllato ノン・アンノ・コントロアート 3 複現・完了形(controllare)

v.t 確認しなかった 「動詞句」

la mia affermazione. ラ・ミア・アフェルマツィオーネ n.f 僕の証言を、主張、断言 「目的語」

玄関先でレーモンとそのことを少し話して、それからバスに乗ることに決めた。

Davanti alla porta, ne abbiamo parlato un momento con Raimondo, poi abbiamo deciso di prendere l'autobus.

「副詞句」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」, 「副詞」「動詞句」「目的語」

Davanti ダヴァンティ prep (場所) (a) ～の前で 「副詞句」

alla porta, アラ・ポールタ adv. 玄関の 「副詞句」

ne ネ pron それについて、そのことを 「間接目的語」

abbiamo parlato アビアーモ・パルアート 1 複現・完了形(parlare)v.i 話した 「動詞句」

un momento ウン・モメント adv. ちょっと 「副詞句」

con Raimondo, コン・ライメント adv. レーモンと 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

pòi ポーイ adv. それから	「副詞」
abbiamo deciso アビアーモ・デチーズ 1 複現・完了形・決心(decidere di+不定詞)	
v.t へすることに決めた	「動詞句」
di prendere ディ・プレンドレ 不定詞 v.t (乗り物に) 乗る	「動詞句」
l'autobus. ラウトブス n.m バスに	「目的語」

その浜辺はあまり遠くないが、バスで行けばより早く着けるだろう。そしてレーモンは、僕達が早く着いたのを見て彼の友人は喜ぶだろうと思っていた。

La spiaggia non era lontana, ma così saremmo arrivati prima e Raimondo pensava che il suo amico sarebbe stato contento di vederci arrivare presto.

「主語」「動詞句」「補語」,ma「副詞節」e「主語」「動詞」「目的語」	
La spiaggia ラ・スピアッジャ n.f その浜辺は	「主語」
non era ノン・エラ 3 単半・否定・時制の一致(essere)v.i へでない	「動詞句」
lontana, ロンターナ adj(lontano).f 遠い	「補語」
ma マ conj. しかし	
così コシ conj. そうすると	「副詞節」
saremmo arrivati サレンモ・アリガアーティ 条・1 複現・完了形・推量(arrivare)	
v.i 着くだろう	「動詞句」
prima プリーマ adv. もっと早く	「副詞」
e エ conj. そして	
Raimondo ライモント n.m レーモンは	「主語」
pensava ペンサーヴァ 3 単半(pensare)v.t 考えていた	「動詞」
che ケ conj. へということ	「目的語」
il suo amico イル・スーオ・アミーコ n.m 彼の友人は	「主語」
sarebbe stato サレバ・スタート 条・3 単現・完了形・状態・推量(essere)	
v.i へになるだろう	「動詞句」
contento コンテント adj. 喜んだ	「補語」
di vederci ディ・ヴェデルチ 不定詞・原因 adv. 僕達を見て	「副詞句」
arrivare presto. アッリガアーレ・プレスト 不定詞・ci の動作	
v.i 早く着く	「補語」

PARTE PRIMA 第1部

まさに出発しようという時、突然レーモンが僕に正面を見ろと合図した。

Si stava per partire quando Raimondo, d'improvviso, mi ha fatto segno di guardare di fronte a me. 「副詞句」 quando 「主語」 「副詞句」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」

Si stava per partire シ・スターヴァ・ア・ペル・ハ・ルチレ 3 単半・直前(stare per+不定詞)

adv. まさに出発しようという時 「副詞句」

quando クワント conj. その時～する

Raimondo, ライモンﾄ n.m レーモンが 「主語」

d'improvviso, デ・インプ・ロウ・イゾ adv. 突然、急に 「副詞句」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha fatto ア・ファット 3 単現・完了形(fare)v.t (動作を) した 「動詞句」

segno セーニョ n.m 合図を 「直接目的語」

di guardare デイ・グ・ワルダレ 不定詞・同格 adj. 見るという 「形容詞句」

di fronte a me. デイ・フォンテ・ア・メ adv. 僕の正面を 「副詞句」

僕はタバコ屋のショーウィンドーに背を向けたアラブ人の一団が見えた。

Ho visto un gruppo di àrabi addossati alla vetrina di un tabaccaio.

「動詞句」 「目的語」

Ho visto オ・ヴァイスト 1 単現・完了形(vedere)v.t 見えた 「動詞句」

un gruppo ウン・グルッポ n.m 一団が 「目的語」

di àrabi デイ・アーラビ adj.(àrabo) アラブ人の 「形容詞句」

addossati アッド・サーティ adj(addossato).pl もたれた、背を向けた 「形容詞」

alla vetrina アラ・ヴェトリナ adv. ショーウィンドウに 「間接目的語」

di un tabaccaio. デイ・ウン・タバカイオ adj. タバコ屋の 「形容詞句」

彼らは僕達を無言で見つめていたが、彼らのやり方で、まるで僕らが石ころか枯れ木であるかのように。

Ci guardavano in silenzio, ma a mòdo loro, né più né meno che se fossimo stati pietre, o àlberi mòrti. 「目的語」 「動詞」 「副詞句」 ,ma 「副詞句」

Ci チ pron.pl 僕達を 「目的語」

guardavano グ・ワルダヴァノ 3 複半(guardare)v.t 見つめていた 「動詞」

in silenzio, イン・シレンツィオ adv. 無言で 「副詞句」

ma マ conj. しかし

a mòdo loro, ア・モート・ローロ adv. 彼らのやり方で 「副詞句」

né più né meno ネ・ピウ・ネ・メノ adv. ぴったりと、多すぎずまた少なすぎず 「副詞句」

che ケ conj. (比較) ～よりも 「副詞節」

se fossimo stati セ・フォッシモ・スターティ 接・1 複現・完了形・時制の一致(essere)

PARTE PRIMA 第1部

v.i ~である	「動詞句」
piètre, ピエトレ pl(pietra).n.f 石ころ	「補語」
o オ conj. または	
àlberi mòrti. アルベリ・モルティ pl(àlbero).n.m 枯れ木	「補語」

レーモンは僕に、左から2番目が問題の相手だと言った。それで、彼は不安そうに見えた。

Raimondo mi ha détto che il secóndo a sinistra era il suo uòmo, e mi è parso preoccupato.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」,e「間接目的語」「動詞句」「補語」	
Raimondo ライモンﾄ n.m レーモンは	「主語」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha détto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
che ケ conj. ~ということを	「直接目的語」
il secóndo イル・セコント n.m 2 番目の奴が	「主語」
a sinistra ア・シストラ adv. (位置) 左側で、左側の	「副詞句」
era エ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ~である	「動詞」
il suo uòmo, イル・ス・オ・ウオモ n.m 問題の男	「補語」
e エ conj. そして	
mi ミ pron 僕には	「間接目的語」
è parso エ・パルソ 3 単現・完了形(parere)v.i ~のように見えた	「動詞句」
preoccupato. プレオクパート adj. 心配している、不安な	「補語」

だが今では過ぎ去った問題だと付け加えた。

<u>Ha aggiunto che del rèsto era ormai una faccènda esaurita.</u>	「動詞句」「目的語」
Ha aggiunto ア・アジエント 3 単現・完了形(aggiungere)v.t 付け加えた	「動詞句」
che ケ conj. ~ということを	「目的語」
del rèsto テル・レスト adv. だがしかし、とは言っても	「副詞句」
era エ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ~である	「動詞」
ormài オルマイ adv. 今では、もはや	「副詞」
una faccènda ウナ・ファチェンダ n.f 問題	「補語」
esaurita. エサウリータ adj(esaurito).f 使い果たした、売り切れた	「形容詞」

PARTE PRIMA 第1部

マリーはよく分からないままだったので、何があったのかと僕に尋ねた。

Maria non capiva bene e mi ha chiesto che cosa c'era.

「主語」「動詞句」「副詞」 e 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Maria マリア n.f マリーは

「主語」

non capiva ノン・カピヴァ 3 単半・否定(capire)v.t 分からないままでいた

「動詞句」

bene ベーネ adv. よく

「副詞」

e エ conj. そして

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

cosa コーサ n.f 何が

「主語」

c'era. チェラ 3 単半・存在(esserci)v.i ～があった

「動詞句」

彼らはレーモンに恨みを持つアラブ人だと彼女に話して聞かせた。

Le ho detto che erano degli àrabi che ce l'avevano con Raimondo.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Le レ pron.f 彼女に

「間接目的語」

ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 話して聞かせた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

erano エラ 3 複半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

degli àrabi デリ・アーラビ pl(àrabo).n.m アラブ人

「補語」

che ケ pron.pl (主語) ～する

「形容詞節」

ce l'avevano チェ・ラヴァエヴァノ 3 複半・時制の一致(avercela)

v.pr(+con qlcu. 人に) 恨みを持つ

「動詞句」

avercela con qlcu. 「人に腹を立てる、反感を持つ、恨む」

人称代名詞 ci の後ろに lo, la, ne などがつく時、ci は ce となる。

con Raimondo. コン・ライムント adv. レーモンに「間接目的語」

マリーはすぐにその場を離れたいと言った。

Lèi ha voluto che si andasse via subito.

「主語」「動詞句」「目的語」

Lèi レイ pron.f 彼女は

「主語」

ha voluto ア・ヴァオルト 3 単現・完了形(volere)v.t 望んだ

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

si andasse via シ・アンダッセ・ヴァーア 接・3 単半・時制の一致(andare via+si)

v.i 立ち去る

「動詞句」

si は強調

PARTE PRIMA 第1部

sùbito. スービト adv. すぐに

「副詞」

レーモンは気を取り直して、笑いながら、急ごうと言った。

Raimondo si è ripreso e ridendo ha detto che bisognava sbrigarsi.

「主語」「動詞句」e「副詞」「動詞句」「目的語」

Raimondo ライモント n.m レーモンは

「主語」

si è ripreso シ・エ・リプ レゾ 3 単現・完了形(riprendersi)v.pr 気を取り直した

「動詞句」

e e conj. そして

ridendo リデント ジェルンディオ・同時(ridere)adv. 笑いながら

「副詞」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

bisognava ビゾニャバ 非人称・3 単半・時制の一致(bisognare)v.h 必要だ

「動詞」

sbrigarsi. スブリガルシ 不定詞 n. 急ぐことが

「主語」

僕達は少し先にあるバス停へ向かった。するとレーモンは、アラブ人たちは僕達の後を追ってこないようだと僕に知らせた。

Ci siamo avviati verso la fermata dell'autobus che era un po' più avanti e Raimondo mi ha annunciato che gli àrabi non ci seguivano.

「動詞句」「副詞句」e「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Ci siamo avviati チ・シアーモ・アウヴァーティ 1 複現・完了形(avviarsi)

v.pr ～に向かった、出発した

「動詞句」

verso ヴェールツ prep (方向) ～のほうへ

「副詞句」

la fermata ラ・フェルマータ n.f 停留所

「目的語」

dell'autobus テ・ラウトバス adj. バスの

「形容詞句」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

era エラ 3 単半・存在(essere)v.i ～にある

「動詞」

un po' più avanti ウン・ポ・ピウ・アヴァンティ adv. 少し先に

「副詞句」

e e conj. そして

Raimondo ライモント n.m レーモンは

「主語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha annunciato ア・アヌンチャート 3 単現・完了形(annunciare)v.t 知らせた、告げた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

gli àrabi リ・アーラビ pl(àrabo).n.m アラブ人たちは

「主語」

non ...seguivano. ノン...セグィヴァノ 3 複半・否定・時制の一致(seguire)

v.t ついてこない

「動詞句」

ci チ pron.pl 僕達に

「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

僕は振り返った。彼らは相変わらず同じ場所に居て、僕達が後にしたばかりの地点を同じ無関心な様子で眺めていた。

Io mi sono voltato indietro: erano sempre nello stesso posto e guardavano con la stessa indifferenza il punto che noi avevamo appena lasciato.

「主語」「動詞句」「副詞」: 「動詞」「副詞句」 e 「動詞」「副詞句」「目的語」

Io イオ pron 私は 「主語」
 mi sono voltato ミ・ソノ・ウォルタート 1 単現・完了形(voltarsi)v.pr 振り返った 「動詞句」
 indietro: インディエトロ adv. 後ろに、後方に 「副詞」
 erano エーノ 3 複過(essere)v.i 〜だった 「動詞」
 sempre センプレ adv. 相変わらず 「副詞」
 nello stesso posto ネ・ステツ・ポスト adv. 同じ場所に 「副詞句」
 e エ conj. そして
 guardavano グォルダヴァノ 3 複半(guardare)v.t 見ていた 「動詞」
 con la stessa indifferenza コン・ラ・ステツ・インディフェレンサ adv. 同じ無関心な様子で 「副詞句」
 il punto イル・プント n.m (場所) 地点を 「目的語」
 che ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」
 noi ノイ pron.pl 僕たちが 「主語」
 avevamo ...lasciato. アヴェ・エヴァーモ...ラツシャート 1 複半・完了形(lasciare)
 v.t 後にした 「動詞句」
 appena アッペーナ adv. 〜したばかり 「副詞」

それから、僕達はバスに乗った。

Poi abbiamo preso l'autobus. 「副詞」「動詞句」「目的語」
 Poi ポーイ adv. それから 「副詞」
 abbiamo preso アッビアーモ・プレツ 1 複現・完了形(prendere)v.t (乗り物に) 乗った 「動詞句」
 l'autobus. ラウトブス n.m バス 「目的語」

レーモンはやっと安心したと見え、ずっとマリーに冗談を言っていた。

Raimondo pareva ormai tranquillo e continuava a scherzare con Maria.

「主語」「動詞」「補語」 e 「動詞句」「間接目的語」

Raimondo ライモンテ n.m レーモンは 「主語」
 pareva パレヴァ 3 単半(parere)v.i 〜のように見えた 「動詞」
 ormai オルマイ adv. もう、やっと 「副詞」
 tranquillo トランキーロ adj. 安心した、落ち着いた 「補語」
 e エ conj. そして

PARTE PRIMA 第1部

continuava a scherzare コンチヌアヴァ・ア・scherzare 3 単半・継続(continuare a+不定詞 scherzare)

v.i ずっと冗談を言っていた 「動詞句」

con Maria. コン・マリア adv. マリーに 「間接目的語」

レーモンはマリーが気に入ったようだが、彼女は彼の話を聞いていなかった。

Mi sono accorto che Maria gli piaceva, ma lei non gli dava retta.

「動詞句」「目的語」,ma「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」

Mi sono accorto ミ・ソノ・アッコルト 1 単現・完了形(accórgersi)v.pr 〜に気付いた 「動詞句」

che ケ conj. 〜ということを 「目的語」

Maria マリア n.f マリーは 「主語」

gli リ pron レーモンにとって 「間接目的語」

piaceva, ピアチェヴァ 3 単半(piacere)v.i 気に入った 「動詞」

ma マ conj. しかし

lei レイ pron.f 彼女は 「主語」

non ...dava retta. ノン...ダヴァ・レッタ 3 単半・否定(dare retta a...)

v.t 耳を傾けなかった 「動詞句」

gli リ pron 彼に 「間接目的語」

彼女は時々笑いながら僕を見ていた。

Di tanto in tanto mi guardava ridendo. 「副詞句」「目的語」「動詞」「副詞」

Di tanto in tanto ディ・タント・イン・タント adv. 時々 「副詞句」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

guardava グワルダヴァ 3 単半(guardare)v.t 見ていた 「動詞」

ridendo. リエンド ジェレンディオ(ridere)・同時 adv. 笑いながら 「副詞」

僕たちはアルジェの郊外でバスを降りた。

Siamo scesi alla periferia di Algèri. 「動詞句」「副詞句」

Siamo scesi シアーモ・シェシ 1 複現・完了形(scendere)v.i (乗り物から) 降りた 「動詞句」

alla periferia アラ・ペリフェリア adv. (位置・場所) 周辺部で 「副詞句」

di Algèri. ディ・アルジェリ adj. アルジェの 「形容詞句」

浜辺はバス停から遠くないが、海を見下ろす小さな高台を越えなければならない。それから高台の道は次第に浜辺に向かって下っていく。

La spiaggia non è distante dalla fermata dell'autobus, ma abbiamo dovuto traversare un piccolo altopiano che domina il mare e che poi degrada verso la spiaggia.

「主語」「動詞句」「補語」,ma「動詞句」「目的語」

La spiaggia ラ・スピアッジャ n.f 浜辺は

「主語」

non è ノ・ネ 3 単現・否定(essere)v.i ~でない

「動詞句」

distante デイスタンテ adj. 遠い

「補語」

dalla ダッラ prep (da+la) (起点) ~から

「副詞句」

fermata dell'autobus, フェルマータ・デ・ラウトバス n.f バス停

「目的語」

ma マ conj. しかし

abbiamo dovuto traversare アビアーモ・トヴエート・トラヴァエル 1 複現・完了形・必要・時制の一致

(dovére+不定詞 traversare)v.t 通り抜けなければならない、越える

「動詞句」

un piccolo altopiano ウン・ピッコロ・アルトピーアノ n.m 小さな高台を

「目的語」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

domina トミナ 3 単現(dominare)v.t 見渡す

「動詞」

il mare イル・マーレ n.m 海を

「目的語」

e エ conj. そして

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

poi ポーイ adv. それから

「副詞」

degrada デグラダ 3 単現(degradare)v.i 次第に下りていく

「動詞」

verso la spiaggia. ウェールゾ・ラ・スピアッジャ

adv. (方向) 浜辺に向かって

「副詞句」

既にぎらつく空の青さの下で、そこは黄色っぽい石と白いアスフォデルに覆われていた。

Era coperto di pietre giallastre e di asfodeli, bianchi contro il blu già duro del cielo.

「動詞句」「副詞句」

Era coperto エラ・コペールト 3 単半・受動(coprire)v.t 覆われていた

「動詞句」

di pietre giallastre ディ・ピエートレ・ジヤラストレ

adv.(pietra) (動作主) 黄色がかった石に

「副詞句」

e エ conj. そして

di asfodeli, ディ・アスフォデリ adv.(asfodelo) (動作主) アスフォデルに

「副詞句」

bianchi ビアンキ adj(bianco).pl 白い

「形容詞」

contro コントロ prep (対抗) ～に反して、～の逆に

「副詞句」

il blu イル・ブルー n.m 青い色

「目的語」

già duro ジヤ・ドゥロ adj. 既に厳しい

「形容詞句」

del cielo. デル・シエロ adj. 空の

「形容詞句」

アスフォデル

ツルボラン科 ツルボラン属

<https://www.eu-alps.com/flower/05w/w0490.htm>

より



マリーはビーチバッグを振り回して、アスフォデルの花弁を叩き飛ばして楽しんでいた。

Maria si divertiva a disperderne i petali con dei gran colpi della borsa di tela cerata.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Maria マリア n.f マリーは

「主語」

si divertiva a disperderne シ・ディヴエルチヴァ・ア・ディスペルテルネ 3 単半・楽しむ

(divertire a+不定詞 disperdere+ne)v.pr 散乱させて楽しんでいた

「動詞句」

i petali イ・ペーтали pl(pétalo).n.m 花弁を

「目的語」

con dei gran colpi コン・ディ・グラン・コルピ adv. (手段) 打撃によって

「副詞句」

della borsa デラ・ボルサ adj. バッグの

「形容詞句」

di tela cerata. ディ・テラ・チェラタ adj. 防水生地

「形容詞句」

僕達は、緑や白の塀で囲まれた小さな別荘が道の両側に立ち並ぶ2列の間をさらに歩いた。あるものはベランダごとタマリスに埋もれ、他のものは石だらけの地面に剥き出しだった。

Abbiamo camminato ancora tra due file di piccole ville con intorno un muretto verde o bianco, certe sepolte sotto i tamarindi con le loro verande, certe altre nude in mezzo alla pietra. 「動詞句」「副詞句」, 「主語」「補語」, 「主語」「補語」

Abbiamo camminato アビアーモ・カミナート 1 複現・完了形(caminare)v.i 歩いた 「動詞句」

ancora adv. さらに、ずっと 「副詞」

tra due file トラ・ツェ・フィーレ adv.(fila) 2列の間を 「副詞句」

di piccole ville ティ・ピッコレ・ヴィッレ adj.(villa) 小さな別荘の 「形容詞句」

con intorno un muretto コン・イントルノ・ウン・ムレット

adv.(muro + -etto) (存在・様態) 周りに壁のある、壁で囲まれた 「副詞句」

verde o bianco, ヴェルデ・オ・ビアンコ adj. 緑や白の 「形容詞句」

certe チェルテ pron(certo).pl あるものは 「主語」

sepolte セポルテ 過去分詞・受動(seppelire).adj.pl 埋もれていた 「補語」

sotto ソット prep (位置) ~の下に 「副詞句」

i tamarindi イ・タマリンディ

pl(tamarindo).n.m タマリンド、タマリス 「目的語」

con le loro verande, コン・レ・ローロ・ヴェランデ

adv. (付属) 彼らのヴェランダと一緒に 「副詞句」

certe altre チェルテ・アルトレ pron(certo).pl 他のものは 「主語」

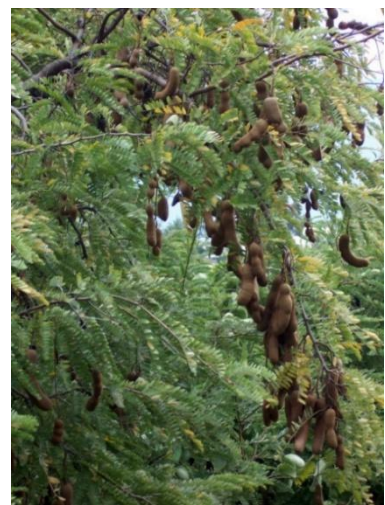
nude ヌデ adj(nudo).pl 剥き出しの 「補語」

in mezzo alla pietra. イン・メツォ・アラ・ピエトラ adv. 石の真ん中で 「副詞句」

タマリンド



タマリス (タマリスク)



タマリンド (樹高は 20m 以上)

PARTE PRIMA 第1部

フランス語の tamarin はマメ科の常緑高木タマリンドの実、または御柳ギョリュウ (tamaris) を意味するので、この文の tamarindo はタマリス (ク) tamaris と考えられる。

高さは2~3m程度。中国産の Tamarix chinensis の高さは3~5m程度。

高台の終点に着く前に、すでに穏やかな海が見られた。そしてさらに遠くに、澄み切った水の中で眠るどっしりとした岬が見えた。

Prima di arrivare al termine dell'altopiano, già si poteva vedére il mare immobile e più lontano un promontorio sonnolento e massiccio nell'acqua limpida.

「副詞句」、「副詞」「動詞句」「主語」 e 「副詞句」「主語」

Prima di +不定詞 プリマ・ディ adv. ~する前に、~より早く、~しないうちに 「副詞句」

arrivare アリガ・アーレ 不定詞 v.i(a に) 着く、到着する 「動詞」

al termine アル・テルミネ adv. 終点に、終わり 「間接目的語」

dell'altopiano, デ・ラウトピアーノ adj. 高台の 「形容詞句」

già ジャ adv. もう、すでに 「副詞」

si poteva vedére シ・ポテヴァ・ア・ウエデーレ 3 単半・可能・再帰受動(potére+不定詞 vedersi)

v.t 見られた、見えた 「動詞句」

il mare イル・マーレ n.m 海が 「主語」

immobile インモビレ adj. 動かない、波のない、穏やかな 「形容詞」

e エ conj. そして

più lontano ピ・ウ・ロンターノ adv. さらに遠くには 「副詞句」

un promontorio ウン・プロモントーリオ n.m 岬が 「主語」

sonnolento ソンノルト adj. うとうとしている 「形容詞」

e エ conj. そして

massiccio マッショ adj. どっしりとした 「形容詞」

nell'acqua limpida. ネ・ラックワ・リンピダ adv. 澄み切った水の中で 「副詞句」

静かな大気の中をエンジンの軽い響きが僕達の所まで届き、遥か彼方の光り輝く海上をゆったりと進む小さな漁船が見えた。

Nell'aria calma è venuto fino a noi il leggèro ronzio di un motóre e abbiamo visto, molto lontano, un piccolo peschereccio che avanzava impercettibilmente sul mare luccicante.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」「主語」 e 「副詞句」「動詞句」「目的語」

Nell'aria calma ネーリア・カルマ adv. 静かな大気の中を 「副詞句」

è venuto エ・ヴェヌート 3 単現・完了形(venire)v.i やって来た 「動詞句」

fino a noi フィーノ・ア・ノイ adv. (場所) 僕たちの所まで 「副詞句」

il leggèro ronzio イル・ロンツイーオ n.m 軽い響きが 「主語」

ronzio ロンツイーオ n.m (虫などの) ブーンという音

PARTE PRIMA 第1部

di un motore	ディ・ウン・モトル	adj. エンジンの	「形容詞句」
e	エ	conj. そして	
abbiamo visto,	アビアーモ・ヴィスト	1 複現・完了形(vedere)v.t 見えた	「動詞句」
molto lontano,	モルト・ロンターノ	adv. はるか遠くに	「副詞句」
un piccolo peschereccio	ウン・ピッコロ・ペッセルレチョ	n.m 小さな漁船が	「目的語」
che	ケ	pron (主語) ~する	「形容詞節」
avanzava	アヴァンザバ	3 単半・時制の一致(avanzare)v.i 進む	「動詞」
impercettibilmente	インペルチェティビルメンテ	adv. 気付かない程に	「副詞句」
sul mare luccicante.	スル・マーレ・ルチカンテ	adv. 光り輝く海上を	「副詞句」

マリーは岩アヤメを摘み取った。

<u>Maria ha colto qualche piccola iris di ròccia.</u>	「主語」「動詞句」「目的語」
Maria マリア n.f マリーは	「主語」
ha colto ア・コルト 3 単現・完了形(cogliere)v.t 摘み取った	「動詞句」
qualche piccola iris クワルク・ピッコラ・イリス n.f いくらかのアイリスを	「目的語」
di ròccia. ディ・ローチャ adj. 岩の	「形容詞句」

海に通じている道を下っていると、浜辺にはすでに何人かの海水浴客が居るのが見えた。

Scendendo la strada che porta fino al mare, abbiamo visto che c'erano già dei bagnanti sulla spiaggia.

			「副詞句」, 「動詞句」「目的語」
Scendendo	シェンデント	ジェルンディオ・同時(scendere)adv. 降りていくと	「副詞句」
la strada	ラ・ストラダ	n.f 道を	「目的語」
che	ケ	pron (主語) ~する	「形容詞節」
porta	ポルタ	3 単現(portare)v.t (道が) 通じている	「動詞」
fino al mare,	フィーノ・アル・マーレ	adv. (場所) 海まで「間接目的語」	
abbiamo visto	アビアーモ・ヴィスト	1 複現・完了形(vedere)v.t 見えた	「動詞句」
che	ケ	conj. ~ということ	「目的語」
c'erano	チェーノ	3 単半・存在・時制の一致(esserci)v.i ~がいる	「動詞句」
già	ジャ	adv. もう、すでに	「副詞」
dei bagnanti	ディ・バニャンティ	pl(bagnante).n 海水浴をする人が	「主語」
sulla spiaggia.	スラ・スピアッジャ	adv. 浜辺に	「副詞句」

レーモンの友人は浜の外れに小さな木造の別荘を持っていた。

L'amico di Raimondo aveva una capanna di légno all'estremità della spiàggia.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

L'amico di Raimondo ラミコ・ディ・ライモンド n.m レーモンの友人は

「主語」

aveva アヴェーヴァ 3 単半(avére)v.t 〜があった

「動詞」

una capanna カパンナ n.f 小屋、別荘

「目的語」

di légno ディ・レンニョ adj. (材料) 木の

「形容詞句」

all'estremità アレストレミタ adv. (位置) 〜の外れに

「副詞句」

della spiàggia. デラ・スピアッジャ adj. 浜の

「形容詞句」

その家は岩にもたれかかるように建っていた。そして家の正面を支える杭はすでに水中に没していた。

La casetta era addossata alle ròcce e le palafitte che la sostenevano sul davanti affondavano già nell'acqua.

「主語」「動詞」「補語」 e 「主語」「動詞」「副詞句」

La casetta ラ・カセッタ n.f その家は

「主語」

era エラ 3 単半(essere)v.i 〜だった

「動詞」

addossata アドッサータ 過去分詞(adossare).adj.f もたれかかった

「補語」

alle ròcce アレ・ロッチェ adv. 岩に

「副詞句」

e エ conj. そして

le palafitte レ・パ・ラフィッテ pl(palafitta).n.f 杭は

「主語」

che ケ pron (主語) 〜する

「形容詞節」

la ラ pron(casetta の代用) 家を

「目的語」

sostenevano ソステネヴァノ 3 複半・時制の一致(sostenére)v.t 支える

「動詞」

sul davanti スル・ダヴァンティ adv. 正面を

「副詞句」

affondavano アッフオンダヴァノ 3 複半(affondare)v.i 沈んでいた

「動詞」

già nell'acqua. ジャ・ネラックワ adv. もう水中に

「副詞句」

レーモンは僕達を紹介してくれた。彼の友人の名前はマソンだった。

Raimondo ha fatto le presentazioni. Il suo amico si chiamava Masson.

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「補語」

Raimondo ライモンド n.m レーモンは

「主語」

ha fatto ア・ファット 3 単現・完了形(fare)v.t (行為を) 行った

「動詞句」

le presentazioni. レ・プレゼンタチオーニ pl(presentazione).n.f 紹介を

「目的語」

Il suo amico イル・スーオ・アミコ n.m 彼の友人は

「主語」

si chiamava シ・キアマヴァ 3 単半(chiamarsi)v.pr 〜という名前だった

「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

Masson. マソン n.m マソン

「補語」

マソンは大柄でいかつい肩をしていた。隣にいる細君は、丸々として愛嬌があり、パリなまりがあった。

Era un uomo grande e grosso dalle spalle massicce, con una piccola moglie, rotondetta e carina, dall'accento parigino.

「動詞」「補語」, 「副詞句」

Era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

un uomo ウン・ウオーモ n.m 男

「補語」

grande グランデ adj. 大柄な

「形容詞」

e エ conj. そして

grosso グロッシ adj. ごつい、大きな

「形容詞」

dalle spalle massicce, ダレ・スパッレ・マッシェ

adv. (位置) いかつい肩が

「副詞句」

con una piccola moglie, コン・ウナ・ピッコラ・モーリエ adv. (随伴) 小柄な細君を伴って「副詞句」

rotondetta ロンデッタ adj.(rotondo + -etta) 丸まるとした

「形容詞」

e エ conj. そして

carina, カリーナ adj. 可愛い、愛嬌のある

「形容詞」

dall'accento parigino. ダラクチェント・パリジーノ adj. パリなまりの

「形容詞句」

マソンはすぐに僕たちにくつろいでくれと言い、彼がその日の朝に釣った魚のフライがあると付け足した。

Lui ci ha detto subito di metterci in libertà e che c'era una frittura di pesce che aveva pescato quella mattina stessa.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞」「補語」e「目的語」

Lui ルーイ pron. マソンは

「主語」

ci チ pron 僕たちに

「間接目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

subito スービト adv. すぐに

「副詞」

di metterci デイ・メッテルチ 不定詞・ci の動作(mettersi)v.pr (自分を~の状態に) する「補語」

in libertà イン・リベルタ adv. 遠慮なく、自由な

「補語」

e エ conj. そして

che ケ conj. ~ということ

「目的語」

c'era チェラ 3 単半・存在・時制の一致(esserci)v.i ~がある

「動詞句」

una frittura ウナ・フリトゥーラ n.f フライが

「主語」

di pesce デイ・ペッシェ adj. 魚の

「形容詞句」

PARTE PRIMA 第1部

che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 aveva pescato アヴェ・ウァ・ア・ペ スカト 3 単半・完了形(pescare)
 v.t 釣った 「動詞句」
 quèlla mattina ケッラ・マッティナ n.f その日の朝 「副詞句」
 stéssa. ステッサ adj. 同じ 「形容詞」

僕は、とても素晴らしい別荘ですねと彼に言った。

Gli ho détto che trovavo la sua casa móltro graziosa.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 ho détto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 trovavo トロヴァーヴォ 1 単半・時制の一致(trovare)v.t 気付く、思う 「動詞」
 la sua casa ラ・スア・カーサ n.f 彼の家を 「目的語」
 móltro graziosa. モルト・グラチオーサ adj(grazioso).f とても素晴らしい 「補語」

彼はいつもそこへ来て、土曜日、日曜日そして全ての休日を過ごしている、と僕に説明した。

Veniva sèmpre lì mi ha spiegato a passare il sàbato, la doménica e tutti i suoi giórni di vacanza.

「動詞句」「副詞句」, 「間接目的語」「動詞句」, 「動詞句」「目的語」
 Veniva ヴェニヴァ 3 単半・時制の一致(venire)
 v.i(a+不定詞 passare) ～しに来ている 「動詞句」
 sèmpre センプレ adv. いつも 「副詞」
 lì リ adv. そこに 「副詞」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha spiegato ア・スピエガート 3 単現・完了形(spiegare)v.t 説明した 「動詞句」
 a passare ア・パッサレ 不定詞・目的 v.t 過ごす 「動詞句」
 il sàbato, イル・サーバト adv. 土曜日 「目的語」
 la doménica ラ・ドメニカ adv. 日曜日 「目的語」
 e エ conj. そして
 tutti i suoi giórni di vacanza. トウッティ・イ・スオイ・ジヨルニ・ディ・ウァカンツァ
 pl(giórno).n.m 全ての休暇 「目的語」

「もちろん、妻と一緒に」と、彼は付け加えた。

“Con mia móglie, benintéso,” ha soggiunto.

《「副詞句」》, 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

“Con mia móglie, コン・ミー・モーリエ adv. 妻と一緒に 「副詞句」
beninteso,” ベニンテソ adv. もちろん 「副詞」
ha soggiunto. ア・ツジント 3 単現・完了形(soggiungere)v.t 付け加えた 「動詞句」

ちょうどその時、彼の妻がマリーと一緒に笑い出した。

Pròprio in quel mómento, sua móglie stava ridendo con Maria.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Pròprio プロープリオ adv. ちょうど、まさに 「副詞」
in quel mómento, イン・ケル・モメント adv. その時に 「副詞句」
sua móglie スー・モーリエ n.f 彼の妻が 「主語」
stava ridendo スターヴァ・リエント 3 単半・進行形(stare+ジェルンディオ ridere)
v.i 笑い出した 「動詞句」
stare+ジェルンディオ 「～するところだ、～しかかっている」
con Maria. コン・マリア adv. マリーと一緒に 「副詞句」

おそらくその時初めて、自分はまもなく結婚するだろうと本気で考えた。

Per la prima vòlta, forse, ho pensato realmente che mi sarèi sposato.

「副詞句」, 「動詞句」 「副詞」 「目的語」

Per ペル prep (属性) ～として 「副詞句」
la prima vòlta, ラ・プリーマ・ヴォルタ n.f 初回、はじめて 「目的語」
forse, フォルセ adv. おそらく、たぶん 「副詞」
ho pensato オ・ペンサート 1 単現・完了形(pensare)v.t (che ～と) 考えた 「動詞句」
realmente レアルメンテ adv. 本当に 「副詞」
che ケ conj. ～ということ 「目的語」
mi sarèi sposato. ミ・サレイ・スポザート 条・1 単現・完了形・未来の推量(sposarsi)
v.pr 結婚するだろう 「動詞句」

マソンは泳ぎに行きたがったが、彼の妻とレーモンは行きたくないようだった。

Masson voleva fare il bagno, ma sua móglie e Raimondo non hanno voluto venire.

「主語」 「動詞句」 「目的語」, ma 「主語」 「動詞句」

Masson マソン n.m マソンは 「主語」
voleva fare ヴォレヴァ・ファレ 3 単半・願望(volére+不定詞 fare)
v.t(動作を) やりたがった 「動詞句」
il bagno, イル・バンヨ n.m 水浴、水泳 「目的語」
ma マ conj. しかし
sua móglie スー・モーリエ n.f 彼の妻は 「主語」

PARTE PRIMA 第1部

e エ conj. そして

Raimondo ライモンﾄﾞ n.m レーモンは

「主語」

non hanno voluto venire. ノン・アッノ・ヴァオルト・ヴェニレ 3 複現・完了形・願望・否定

(volére+不定詞 venire)v.t 行きたくなかった

「動詞句」

volére+不定詞 「～したい、～するつもりである」

僕達は3人で海に降りて行った。マリーはすぐ海に飛び込んだ。

Siamo scesi noi tre, e Maria si è immediatamente gettata in acqua.

「動詞句」「主語」,e「主語」「動詞句」「副詞」「間接目的語」「動詞句」

Siamo scesi シアーモ・シェジ 1 複現・完了形.pl(scéndere)v.i 降りた

「動詞句」

noi tre, ノイ・トレ pron.pl 僕達3人は

「主語」

e エ conj. そして

Maria マリア n.f マリーは

「主語」

si è ...gettata シ・エ...ジ ャッタータ 3 単現・完了形(gettarsi)v.pr ～に飛び込んだ

「動詞句」

immediatamente インメデアタメンテ adv. すぐに

「副詞」

in acqua. イン・アックワ adv. 海に、水に

「間接目的語」

僕とマソンは少し待った。

Io e Masson abbiamo aspettato un po'.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Io e Masson イオ・エ・マソン pl.n.m 僕とマソンは

「主語」

abbiamo aspettato アビアーモ・アスペッタート 1 複現・完了形(aspettare)v.t 待った

「動詞句」

un po'. ウン・ポ' adv. 少し

「副詞句」

彼はゆっくり話す。僕は気が付いたのだが、彼は言った事全てに「さらに付け加えると」という一言を補足する癖がある。しかも、結局は彼が言ったことの意味に何も付け加えない時でもだ。

Lui parlava lentamente e ho notato che aveva l'abitudine di completare tutto quel che diceva con un "e vorrei aggiungere", anche quando, in fondo, non aggiungeva niente al senso della sua frase.

「主語」「動詞」「副詞」e「動詞句」「目的語」

Lui ルーイ pron 彼は

「主語」

parlava パルラーヴァ 3 単半・時制の一致(parlare)v.i 話す

「動詞」

lentamente レンタメンテ adv. ゆっくり

「副詞」

e エ conj. そして

ho notato オ・ナート 1 単現・完了形(notare)v.t 気付いた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

aveva アヴェーヴァ 3 単半・時制の一致(avére)v.t	～がある	「動詞」
l'abitudine ラビトゥーディネ n.f	癖	「目的語」
di completare ディ・コンプレターレ 不定詞・同格 v.t	補足するという	「形容詞句」
tutto quel che diceva トウト・ケル・ケ・ディチェヴァ		
pron 言った事全てを		「目的語」
con コン adv. ～によって		「副詞句」
un “e vorrei aggiungere”, ウン・エ・ウーレイ・アシュンジェレ		
pron 「さらに付け加えると」という一言を		「目的語」
anche quando, アンケ・クワント conj. ～する時でさえも		「副詞節」
in fóndo, イン・フォント adv. 結局は		「副詞句」
non aggiungeva ノン・アシュンジェヴァ 3 単半・否定・時制の一致(aggiungere)		
v.t 付け加えない		「動詞句」
niènte ニエンテ pron 何も～ない		「目的語」
al sènso délla sua frase. アル・センソ・デラ・スア・フラセ		
adv. 彼が言ったことの意味に		「副詞句」

マリーについて彼は僕に言った：「彼女は愛らしいね、さらに言えば、魅力的だ」

A proposito di Maria, mi ha detto: “È adorabile, e vorrei aggiungere, deliziosa.”

「副詞句」, 「間接目的語」「動詞句」: 《「動詞」「補語」, e 「副詞句」, 「補語」》

A proposito di ア・プロポシ・ディ prep	～に関して	「副詞句」
Maria, マリア n.f	マリア	「目的語」
mi ミ pron	僕に	「間接目的語」
ha detto: ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t	言った	「動詞句」
“È 3 単現(essere)v.i	～である	「動詞」
adorabile, アドラビレ adj.	愛らしい	「補語」
e エ conj.	そして	
vorrei aggiungere, ウーレイ・アシュンジェレ 条・1 単現・願望(volére+不定詞 aggiungere)		
adv. さらに言うなら		「副詞句」
deliziosa.” デリツィオーサ adj(delizioso).f	魅力的な	「補語」

それから僕はもう彼の口癖が気にならなくなった。というのは、気持ちの良い太陽を感じる事に集中していたから。

Poi non ho fatto più caso a quella mania perché ero intento a sentire che mi faceva bene il sole.

「副詞」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」「副詞節」

Poi ポーイ adv.	それから	「副詞」
non ho fatto ノ・ノ・ファット 1 単現・完了形・否定(fare)		

PARTE PRIMA 第1部

v.t(+caso a... ～に) 気にしなかった、注目しなかった	「動詞句」
più caso ビ・ウ・カゾ n.m (否定文で) もう問題を～ない	「直接目的語」
a quèlla mania ア・クェラ・マニア adv. その癖に	「間接目的語」
perché ヘ・ルケ conj. なぜなら～なので	「副詞節」
ero エロ 1 単半(èssere)v.i ～だった	「動詞」
intento a sentire インテント・ア・センチーレ adj. 感じることに集中した	「補語」
che ケ conj. ～といことを	「目的語」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
faceva ファチェヴァ 3 単半(fare)v.t する	「動詞」
bène ベーネ adv. よく	「副詞」
il sóle. イル・ソーレ n.m 太陽が	「主語」

足下の砂が熱くなってきた。

<u>La sabbia cominciava a scottare sotto i piedi.</u>	「主語」「動詞句」「副詞句」
La sabbia ラ・サッビア n.f 砂が	「主語」
cominciava a scottare コミンチャヴァ・ア・スコッターレ 3 単半・開始(cominciare a+不定詞 scottare)	
v.i 熱くなり始めた	「動詞句」
sotto i piedi. ソット・イ・ピエーティ adv. 足元で	「副詞句」

僕は水に触れたいという願望をまだ抑えていた。しかし、それから結局、マソンに言った：

<u>Ho represso ancora il desiderio che avevo dell'acqua, ma poi ho finito per dire a Masson:</u>	「動詞句」「副詞」「目的語」,ma「副詞」「動詞句」「間接目的語」
Ho represso オ・レプ°レツ 1 単現・完了形(reprimere)v.t (欲望を) 抑制した	「動詞句」
ancóra アンコーラ adv. まだ～ない	「副詞」
il desiderio イル・デシデーリオ n.m 欲望を、願望を	「目的語」
che ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
avevo アヴァ°エヴァ° 1 単半(avère)v.t 持っていた	「動詞」
dell'acqua, デ°・ラックワ adv. 水に対して	「副詞句」
ma マ conj. しかし	
pòi ホ°イ adv. それから、その後	「副詞」
ho finito per dire オ・フィニート・ペル・ディエーレ 1 単現・完了形・結局(finire per+不定詞 dire)	
v.t 結局は言った	「動詞句」
a Masson: ア・マソン adv. マソンに	「間接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

「泳ぎませんか？」と言って、僕は飛び込んだ。彼は少しづつ水の中を歩き、もう足が届かなくなつた所で泳ぎ出した。

“Ci si butta?” Mi sono tuffato; lui è entrato nell’acqua a pòco a pòco e si è messo a nuotare quando non ha toccato più.

《「副詞」「動詞句」》, 「動詞句」; 「主語」「動詞句」「副詞句」 e 「動詞句」「副詞節」

“Ci チ adv. そこで 「副詞」

si butta?” シ・ブッタ 3 単現・勧誘(buttarsi)v.pr 泳ぎませんか?、身を投げる 「動詞句」

Mi sono tuffato; ミ・ソノ・トゥッファート 1 単現・完了形(tuffarsi)v.pr 飛び込んだ 「動詞句」

lui ルー pron 彼は 「主語」

è entrato エ・エントラート 3 単現・完了形(entrare)v.i ~に入った 「動詞句」

nell’acqua ネラックわ adv. 水に 「副詞句」

a pòco a pòco ア・ポコ・ア・ポコ adv. 少しづつ 「副詞句」

e エ conj. そして

si è messo a nuotare シ・エ・メツ・ア・ヌターレ 3 単現・完了形・開始(mettersi a+不定詞 nuotare) v.i 泳ぎ出した 「動詞句」

quando クワント conj. ~の時に 「副詞節」

non ha toccato ノ・ナ・トッカート 3 単現・完了形・否定・時制の一致(toccare) v.t 届かない 「動詞句」

più. ピウ adv. もう~ない 「副詞」

彼はかなり泳ぎが下手だったので、僕はマリーと合流した。

Nuotava piuttosto male e così l’ho lasciato per raggiungere Maria.

「動詞」「副詞句」 e 「副詞」「目的語」「動詞句」「副詞句」

Nuotava ヌターヴァ 3 単半(nuotare)v.i 泳いだ 「動詞」

piuttosto male ピウット・スト・マーレ adv. かなり下手に 「副詞句」

e エ conj. そして

così コシ adv. それで 「副詞」

l’ ロ pron 彼を 「目的語」

ho lasciato ア・ラッシャート 1 単現・完了形(lasciare)v.t 残した 「動詞句」

per ペル prep (目的・結果) そして~する 「副詞句」

raggiungere ラジエンジエ 不定詞 v.t 追いつく 「動詞」

Maria. マリア n.f マリーに 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

水は冷たかった、そして泳いでいると楽しかった。

L'acqua era fredda e mi dava piacere nuotare.

「主語」「動詞」「補語」 e 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

L'acqua ラックワ n.f 水は 「主語」
 era エラ 3 単半(essere)v.i 〜だった 「動詞」
 fredda フレッダ adj(freddo).f 冷たい 「補語」
 e エ conj. そして
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 dava ダヴァ 3 単半(dar)v.t 与えた 「動詞」
 piacere ピアチェレ n.m 喜びを、楽しみを 「直接目的語」
 nuotare. ノタレ 不定詞 n. 泳ぐことは 「主語」

僕達はマリーと二人でさらに沖まで泳いで行き、互いの動作と喜びが一致したのを感じた。

Con Maria ci siamo allontanati e ci sentivamo d'accordo nei nostri gesti e nel nostro piacere.

「副詞句」「動詞句」 e 「動詞句」「補語」

Con Maria コン・マリア adv. マリーと 「副詞句」
 ci siamo allontanati チ・シアモ・アロンタナーティ 1 複現・完了形(allontanarsi)
 v.pr 遠くへ行った 「動詞句」
 e エ conj. そして
 ci sentivamo チ・センチヴァーモ 1 複半(sentirsi)v.pr 感じた、〜の気分になった 「動詞句」
 d'accordo ダッコールト adj. 一致した 「補語」
 nei nostri gesti ネイ・ノストリ・ジェスティ adv. 二人の動作に 「副詞句」
 e エ conj. そして
 nel nostro piacere. ネル・ノストロ・ピアチェレ adv. 喜びに 「副詞句」

僕達は沖で浮き身をした。すると空を向いた僕の顔の上の、最後の水のヴェールを太陽が吹き消して、その水が僕の口の中に滴り落ちてきた。

Al largo, abbiamo fatto il mòrto, e sul mio viso girato verso il cielo, il sóle cancellava gli ultimi véli d'acqua che mi colavano in bocca.

「副詞句」「動詞句」「目的語」, e 「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」

Al largo, アル・ラルゴ adv. (場所) 沖で、遠くで 「副詞句」
 abbiamo fatto アビアーモ・ファット 1 複現・完了形(fare)v.t (動作名詞と) 〜をした 「動詞句」
 il mòrto, イル・モルト n.m 浮き身を 「目的語」
 fare il mòrto 「死んだふりをする、身動きしないでいる、背泳ぎする」
 e エ conj. そして

PARTE PRIMA 第1部

sul mio viso スル・ミーオ・ウエイゾ	adv. 僕の顔の上に	「副詞句」
girato ジラート	過去分詞・受動(girare)adj. 回転した、向かった	「形容詞句」
verso il cielo, ヴェールツ・イル・チェロ	adv. 空に向かって	「副詞句」
il sóle イル・ソーレ	n.m 太陽が	「主語」
cancellava カンチェラヴァ	3 単半(cancellare)v.t 取り去った	「動詞」
gli ultimi véli リ・ウルチミ・ヴェーリ	pl(vélo).n.m 最後のヴェールを	「目的語」
d'acqua ダックワ	adj. 水の	「形容詞句」
che ケ pron (主語)	それが～する	「主語」
mi ミ pron	僕の	「間接目的語」
colavano コラヴァノ	3 複半(colare)v.i 滴り落ちてきた	「動詞」
in bocca イン・ボッカ	adv. 口の中に	「副詞句」

浮き身

水泳において、水面上に体の一部を出して泳がずに浮くことを指す。浮き方には、顔を水面につけて浮く伏せ浮き、顔を水面上に出してあおむけに浮く背浮き、立ったままの姿勢の立ち浮き、横体の横浮き、初心者用のくらげ浮き（上体を前屈させ、膝を曲げて浮く）などがある。この場面では、背浮きに相当する。

マソンが浜に上がり、横になって日光浴をしているのが見えた。

Abbiamo visto Masson ritornare sulla spiaggia e stendersi al sóle.

Abbiamo visto アビアーモ・ヴィスト	1 複現・完了形・知覚動詞(vedere)v.t 見えた	「動詞句」「目的語」「補語」
Masson マソン	n.m マソンが	「目的語」
ritornare リトルナレ	不定詞・Masson の動作 v.i 戻る	「補語」
sulla spiaggia スラ・スピアジヤ	adv. 浜に	「副詞句」
e エ conj.	そして	
stendersi ステンデルシ	不定詞・Masson の動作	
v.pr (手足をいっぱい伸ばして)	横たわる	「補語」
al sóle. アル・ソーレ	adv. 太陽に向かって	「副詞句」

遠くからでも、彼は大きく見えた。マリーと一緒に泳ぎたいと言った。

Da lontano pareva enorme. Maria ha voluto che nuotassimo insieme.

Da lontano ダ・ロンターノ	adv. 遠くから	「副詞句」
pareva パレヴァ	3 単半(parere)v.i ～に見えた	「動詞」
enorme エルメ	adj. 巨大な	「補語」
Maria マリア	n.f マリーは	「主語」

PARTE PRIMA 第1部

ha voluto ア・ウォルト 3 単現・完了形(volére)v.t 望んだ	「動詞句」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
nuotassimo スタッシモ 接・1 複半(nuotare)v.i 泳ぐ	「動詞句」
insieme. インシエーメ adv. 一緒に	「副詞」

僕は彼女の腰を両腕でしっかりとつかんだ：彼女は腕かきだけで進み、僕は後ろからバタ足で彼女を助けた。

L'ho tenuta strétta per la vita con le due mani: lèi avanzava soltanto a bracciate mentre io, diètro, l'aiutavo con la battuta dei pièdi.

「直接目的語」「動詞句」「副詞」「間接目的語」「副詞句」:

「主語」「動詞」「副詞句」 *mentre* 「主語」「副詞」「目的語」「動詞」「副詞句」

L' ラ pron 彼女を	「直接目的語」
ho tenuta オ・テヌタ 1 単現・完了形.f(tenére)v.t つかんだ	「動詞句」
strétta スレッタ adv. しっかりと	「副詞」
per la vita ヘル・ラ・ウァーイタ adv. 胴のあたりを	「間接目的語」
vita ウァーイタ n.f 胴体、ウエスト	
con le due mani: コン・レ・ヅエ・マーニ adv. 両腕で	「副詞句」
lèi レーイ pron.f 彼女は	「主語」
avanzava アヴァンサヴァ 3 単半(avanzare)v.i 進んだ	「動詞」
soltanto a bracciate ソルタント・ア・ブラチャーテ adv. (手段) (水泳の) ストロークだけで	「副詞句」
mentre メントレ conj. 一方～する	
io, イオ pron 僕は	「主語」
diètro, ディエトロ adv. 後ろで	「副詞」
l' ラ pron.f 彼女を	「目的語」
aiutavo アユターヴォ 1 単半(aiutare)v.t 助けた	「動詞」
con la battuta コン・ラ・バットゥータ adv. (手段) 打撃で	「副詞句」
dei pièdi. デイ・ピエーディ adj. 足の	「形容詞句」

バタ足による水の微かな騒めきが、僕が疲れを感じない限り、僕達を追って来た。

Il piccolo rumóre déll'acqua frustata ci ha seguiti nel mattino fino a che io non mi sono sentito stanco.

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」「副詞節」

Il piccolo rumóre イル・ピッコロ・ルモレ n.m 微かな騒めきが	「主語」
déll'acqua デラ・クワ adj. 水の	「形容詞句」
frustata フルスタ 過去分詞(frustare)adj. 打ち付ける	「形容詞」
ci チ pron.pl 僕たちを	「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

ha seguiti ア・セグイーチ 3 単現・完了形(pl(seguire)v.t 追って来た	「動詞句」
nel mattino ネル・マッティノ adv. 朝の中を	「副詞句」
fino a che フィーノ・ア・ケ adv. ～する限りは	「副詞節」
io イオ pron 僕が	「主語」
non mi sono sentito ノン・ミ・ソーノ・センチト 1 単現・完了形・否定・時制の一致(sentirsi)	
v.pr 感じない	「動詞句」
stanco. スタンコ adj. 疲れた	「補語」

そこで僕はマリーを残して、一定のペースで泳ぎ、しっかり呼吸をして岸に戻った。

Allóra ho lasciato Maria e sono tornato a riva nuotando regolarménte e respirando bène.

「副詞」「動詞句」「目的語」e「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

Allóra アッローラ adv. それで	「副詞」
ho lasciato オ・ラッシャト 1 単現・完了形(lasciare)v.t 残した	「動詞句」
Maria マリア n.f マリーを	「目的語」
e エ conj. そして	
sono tornato ソーノ・トナト 1 単現・完了形(tornare)v.i 戻った	「動詞句」
a riva ア・リーヴァ adv. 岸へ	「間接目的語」
nuotando ノタント 現在分詞・同時 adv. 泳いで	「副詞句」
regolarménte レゴラルメンテ adv. 規則的に	「副詞」
e エ conj. そして	
respirando レスピラント 現在分詞・同時 adv. 呼吸をして	「副詞句」
bène. ベーネ adv. しっかり、よく	「副詞」

浜に上がり、僕はマソンのそばに腹ばいになって、砂の中に顔を埋めた。

Sulla spiaggia mi sono steso a pància in giù vicino a Masson e ho messo la faccia nélla sàbbia.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」e「動詞句」「目的語」「副詞句」

Sulla spiaggia スラ・スピアッジャ adv. 浜に上がって	「副詞句」
mi sono steso ミ・ソーノ・ステーゾ 1 単現・完了形(stendersi)	
v.pr (手足をいっぱい伸ばして) 横たわった	「動詞句」
a pància ア・パンチャ adv. (手段) 腹で	「副詞句」
in giù vicino a Masson イン・ジウ・ヴィチーノ・ア・マソン adv. マソンの近くに	「副詞句」
e エ conj. そして	
ho messo オ・メツ 1 単現・完了形(mettere)v.t 置いた、入れた	「動詞句」
la faccia ラ・ファッチャ n.f 顔を	「目的語」
nélla sàbbia. ネラ・サッビア adv. 砂の中に	「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

「いい気分ですね」と彼に言うと、彼も同じ意見だった。少しして、マリーがやって来た。

Gli ho détto che si stava bène, e anche lui era di questa opinióne. Pòco dópo è venuta Maria.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」,e「主語」「動詞」「補語」

「副詞句」「動詞句」「主語」

Gli リ pron 彼に

「間接目的語」

ho détto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

si stava シ・スターヴァ 非人称・3 単半・気候・時制の一致(sitarsi)

v.pr ～である

「動詞句」

bène, ベーネ adv. 良い、気分がよい、気持ち良い

「補語」

e エ conj. そして

anche lui アンケ・ルーイ pron 彼も

「主語」

era エラ 3 単半(estar)v.i ～だった

「動詞」

di questa opinióne. ディ・クェスタ・オピニオーネ adj. 同じ考えの

「補語」

Pòco dópo ホコ・ドーホ adv. 少ししてから

「副詞句」

è venuta エ・ヴェヌタ 3 単現・完了形(venire)v.i やって来た

「動詞句」

Maria. マリア n.f マリーが

「主語」

僕は振り返って、こちらへ向かって来るマリーを見た。全身が海水でべたついており、髪を後ろに押し広げていた。

Mi sono girato per vederla venire avanti. Era tutta vischiosa d'acqua marina e aveva spinto i capélli all'indietro.

「動詞句」「副詞句」 | 「動詞」「補語」 e 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Mi sono girato ミ・ソーノ・ジラート 1 単現・完了形(girarsi)

v.pr 向きを変えた、振り返った

「動詞句」

per +不定詞 ヘル adv. (目的) ～するために

「副詞句」

vederla ヴェデーラ 不定詞(vedere+la)v.t 彼女を見る

「動詞句」

venire ヴェニーレ 不定詞・la の動作 v.i 来る

「補語」

avanti. アヴァンティ adv. 前に、こちらへ

「副詞」

Era エラ 3 単半(estar)v.i ～だった

「動詞」

tutta vischiosa ツッタ・ヴィスキオザ adj. 全身ねばねばの

「補語」

d'acqua marina ダックワ・マリナ adv. 海水で

「副詞句」

e エ conj. そして

aveva spinto アヴェヴァ・スピント 3 単半・完了形(spingere)v.t 伸ばしていた

「動詞句」

i capélli イ・カッペッリ pl(capéllo).n.m 髪を

「目的語」

all'indietro. アリンディエトロ adv. (方向) 後ろへ

「副詞句」

マリーは僕と脇腹を接して横になった。彼女の体と太陽の温もりが僕を少し微睡ませた。

Si è distesa còntro il mio fianco e i due calori, del suo còrpo e del sóle, mi hanno un po' addormentato.

「動詞句」「副詞句」 e 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」「動詞句」

Si è distesa シ・エ・ディスタ 3 単現・完了形.f(distendersi)v.pr 横になった 「動詞句」

còntro コントロ prep 〜に接して 「副詞句」

il mio fianco イル・ミーオ・フィアコ n.m 僕の脇腹 「目的語」

e エ conj. そして

i due calori, イ・ドゥ・カローリ pl(calóre).n.m 二つの熱が、温もり 「主語」

del suo còrpo デル・スーオ・コルポ° adj. 彼女の体の 「形容詞句」

e エ conj. そして

del sóle, デル・ソーレ adj. 太陽の 「形容詞句」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

hanno ...addormentato. アンノ...アッドルメント 3 複現・完了形(addormentare)

v.t まどろませた 「動詞句」

un po' ウン・ポ° adv. 少し 「副詞句」

マリーは僕を揺り起こして、マソンは別荘に戻った：昼食の時間よ言った。

Maria mi ha scòsso dicendo che Masson era tornato a casa: era óra di far colazione.

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

Maria マリア n.f マリーは 「主語」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

ha scòsso ア・スコッソ 3 単現・完了形(scuòtere)v.t 揺り起こした 「動詞句」

dicendo ディシエント° ジェルンディオ(dire)・同時 adv. そして言った 「副詞句」

che ケ conj. 〜ということを 「目的語」

Masson マソン n.m マソンは 「主語」

era tornato エラ・トルナト 3 単半・完了形(tornare)v.i 戻った 「動詞句」

a casa: ア・カーサ adv. 別荘に 「副詞句」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i 〜である 「動詞」

óra オーラ n.f 時間 「補語」

di far colazione. ディ・ファール・コラツィオーネ adj. 昼食の 「形容詞句」

PARTE PRIMA 第1部

僕は空腹だったのですぐに飛び起きた。しかしマリーは今朝からまだキスしてくれていないと僕に言った。

Mi sono alzato subito perché avevo fame, ma Maria mi ha detto che dal mattino non l'avevo baciata.

「動詞句」「副詞句」,ma「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Mi sono alzato ミ・ソノ・アルツァート 1 単現・完了形(alzarsi)v.pr 飛び起きた 「動詞句」
 subito スービト adv. すぐに 「副詞」
 perché ペルケ conj. (理由) ~なので 「副詞節」
 avevo アヴェーヴォ 1 単半(avére)v.t ~があった 「動詞」
 fame, ファーメ n.f 空腹 「目的語」
 ma マ conj. しかし
 Maria マリア n.f マリーは 「主語」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 che ケ conj. ~ということ 「直接目的語」
 dal mattino ダル・マッティーナ adv. (時間の起点) 朝から 「副詞句」
 non ...avevo baciata. ノン...アヴェーヴォ・ハ・チャート 1 単半・完了形.f(baciare)
 v.t キスをしていない 「動詞句」
 l' ラ pron 彼女に 「目的語」

それは確かだ。しかし、それをする気持ちはある。「水の中に来て！」と、彼女が言った。

Era véro e tuttavia avevo voglia di farlo. “Vieni nell'acqua,” mi ha detto.

「動詞」「補語」e「副詞」「動詞」「目的語」
 《「動詞」「副詞句」》,「間接目的語」「動詞句」
 Era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」
 véro ヴェーロ adj. 本当の 「補語」
 e エ conj. そして
 tuttavia トゥッタヴィア adv. それでも、しかしながら 「副詞」
 avevo アヴェーヴォ 1 単半・時制の一致(avére)v.t ~がある 「動詞」
 voglia ヴォーリア n.f 意欲 「目的語」
 di farlo. デ・イ・ファール・ロ 不定詞・目的 adv. それをする 「副詞句」
 “Vieni ヴィエニ 命・2 単現(venire)v.i 来て 「動詞」
 nell'acqua,” ネ・ラックワ adv. 水の中に 「副詞句」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha detto. ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

数かきすると、彼女が僕にすり寄ってきた。彼女の脚が僕の脚に絡みつくのを感じて、彼女が欲しくなった。

Abbiamo fatto qualche bracciata e lei si è strétta cóntro di me. Ho sentito le sue gambe attorno alle mie e l'ho desiderata.

「動詞句」「目的語」 e 「主語」「動詞句」「副詞句」

「動詞句」「目的語」「副詞句」 e 「目的語」「動詞句」

Abbiamo fatto アビアーモ・ファット 1 複現・完了形(fare)v.t (動作を) 行った 「動詞句」

qualche bracciata クワルク・ブラチャータ n.f 数かき 「目的語」

e エ conj. そして

lei レイ pron 彼女は 「主語」

si è strétta シ・エ・ストレッタ 3 単現・完了形(stringersi)v.pr (ぴったりを) 近づいて来た 「動詞句」

cóntro di me. コントロ・デ・ミ adv. 僕に 「副詞句」

Ho sentito オ・センチート 1 単現・完了形(sentire)v.t 感じた 「動詞句」

le sue gambe レ・スエ・ガンベ pl(gamba).n.f 彼女の脚 「目的語」

attorno alle mie アットールノ・アレ・ミーエ adv. 僕の脚の周りに 「副詞句」

e エ conj. そして

l' ラ pron.f 彼女を 「目的語」

ho desiderata. オ・デシテラータ 1 単現・完了形.f(desiderare)v.t 欲しくなった 「動詞句」

僕達が戻ると、マソンは僕達を呼んでいた。僕は彼にすごく腹が減ったと告げた。すると彼はすぐに妻に向かって、僕が気に入ったと言った。

Quando siamo tornati, Masson ci stava chiamando. Gli ho détto che avevo una gran fame e lui ha subito dichiarato a sua móglie che gli piacevo.

「副詞節」, 「主語」「目的語」「動詞句」 | 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

e 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

Quando クワント conj. (時間) ~する時に 「副詞節」

siamo tornati, シアーモ・トルナーティ 1 複現.pl・完了形・移動(tornare)v.i 戻った 「動詞句」

Masson マソン n.m マソンは 「主語」

ci チ pron.pl 僕達を 「目的語」

stava chiamando. スターヴァ・キアマント 3 単半・進行形(stare+ジェルンディオ chiamare)

v.t 呼んでいた 「動詞句」

Gli リ pron 彼に 「間接目的語」

ho détto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. ~ということ 「直接目的語」

avevo アヴァエヴァ 1 単半(avére)・時制の一致

v.t (冠詞なしの目的語と) ~である 「動詞」

PARTE PRIMA 第1部

una gran fame	ウナ・グラン・ファメ n.f	大変な空腹	「目的語」
e	エ conj.	そして	
lui	ルイ pron	彼は	「主語」
ha subito dichiarato	ア・ス・ビト・ディキアラート	3 単現・完了形(dichiarare)	
v.t	すぐに宣言した		「動詞句」
a sua moglie	ア・ス・モリエ adv.	妻に	「間接目的語」
che	ケ conj.	～ということを	「直接目的語」
gli	リ pron	彼にとって	「間接目的語」
piacevo.	ピ・アチェヴォ	1 単半(piacere)v.i	気に入った
			「動詞」

旨いワインがあった。僕は自分の分の魚をむさぼるように食べた。それから、肉とフライドポテトが
でてきた。皆、ものも言わずに食べた。

C'era del buon vino, e ho divorato la mia parte di pesce. Poi c'era carne e patate fritte.
Mangiavamo tutti senza parlare.

			「動詞句」「主語」, e 「動詞句」「目的語」
			「副詞」「動詞句」「主語」 「主語」「動詞」「副詞句」
C'era	チェラ	3 単半・存在(esserci)v.pr	～があった
del buon vino,	デル・ブオン・ヴィーノ	n.m	旨いワインがいくらか
e	エ conj.	そして	
ho divorato	オ・ディヴ・ォラート	1 単現・完了形(divorare)v.t	貪り食った
la mia parte di pesce.	ラ・ミー・ア・パルテ・ディ・ペッシェ	n.f	自分の分の魚を
parte	パルテ	n.f	割り当て、分け前
Poi	ポイ	adv.	それから
c'era	チェラ	3 単半・存在(esserci)v.pr	～があった
carne e patate fritte.	カルネ・エ・パ・タテ・フリッテ	pl.n.f	肉とフライドポテト
Mangiavamo	マンジ・ャヴァーモ	1 複半(mangiare)v.t	食べた
tutti	トゥイッティ	pron.pl	我々全員が
			「主語」
			「全ての物を食べた」なら、tutto になる。
senza parlare.	センツァ・パルラーレ	adv.	ものも言わずに、無言で
			「副詞句」

フランス語版では

パンが美味しかった。僕は自分の分の魚をむさぼるように食べた。

Le pain était bon, j'ai dévoré ma part de poisson.

PARTE PRIMA 第1部

マソンはたくさんワインの飲み、僕に続けざまにワインを注いだ。コーヒーの頃には頭が重くなった。
それでも大いに話した。

Masson beveva molto vino e me ne versava continuamente. Al caffè avevo la testa un po' pesante e ho parlato molto.

「主語」「動詞」「目的語」 e 「間接目的語」「直接目的語」「動詞」「副詞」

「副詞句」「動詞」「目的語」 e 「動詞句」「副詞」

Masson マソン n.m マソンは 「主語」
beveva ベヴァ 3 単半(bére)v.t 飲んでいた 「動詞」
molto vino モルト・ヴィーノ n.m ワインをたくさん 「目的語」
e エ conj. そして
me メ pron 僕に 「間接目的語」
ne ネ pron それを 「直接目的語」
versava ヴェルサーヴァ 3 単半(versare)v.t 注いだ 「動詞」
continuamente. コンチヌアメンテ adv. 絶え間なく 「副詞」
Al caffè アル・カフェ adv. (時) コーヒーの時に 「副詞句」
avevo アヴェヴォ 1 単半(avére)v.t 〜があった 「動詞」
la testa ラ・テスト n.f 頭 「目的語」
un po' pesante ウン・ポ・ペサンテ adj. 少し重い 「形容詞句」
e エ conj. そして
ho parlato オ・パルラート 1 単現・完了形(parlare)v.i 話した 「動詞句」
molto. モルト adv. おおいに 「副詞」

フランス語版では

コーヒーの頃には、僕は少し頭が重くなっていて、タバコをたくさん吸った。

Au café, j'avais la tête un peu lourde et j'ai fumé beaucoup.

マソン、レーモンそして僕は、費用を出し合って 8 月に海辺で一緒に過ごす計画を立てた。

Masson, Raimondo ed io abbiamo fatto il progetto di passare l'agosto insieme alla spiaggia dividendo le spese.

「主語」「動詞句」「目的語」

Masson, Raimondo ed io マソン・ライモンド・エド・イオ pl.n マソン、レーモンそして僕は 「主語」
abbiamo fatto アビアーモ・ファット 1 複現・完了形(fare)v.t 〜をした 「動詞句」
il progetto イル・プロジェクト n.m 計画 「目的語」
di passare ディ・パッサレ 不定詞・同格 adj. (時を) 過ごすという 「形容詞句」
l'agosto ラゴスト n.m 8 月に 「副詞句」
insieme インシエメ adv. 一緒に 「副詞」
alla spiaggia アラ・スピアッツィア adv. (場所) 海辺で 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

dividendo ディヴィデント ジェルンディオ・条件(dividere)

adv. ～を分かち合って

「副詞句」

le spese. レ・スペー pl(spésa).n.f 費用を

「目的語」

不意にマリーが言った：「今、何時だと思う？まだ11時半よ」

D'improvviso Maria ha detto: "Sapete che óra è? Sono le undici e mezza."

「副詞句」「主語」「動詞句」：《「動詞」「目的語」 | 「動詞」「補語」》

D'improvviso ディンプロウーゾ adv. 突然、不意に

「副詞句」

Maria マリア n.f マリーが

「主語」

ha detto: ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

"Sapete サペーテ 2 複現・疑問文(sapere)v.t 分かる？

「動詞」

che óra è? ケ・オラ・エ conj. 何時かということ

「目的語」

Sono ソーノ 1 複現(essere)v.i ～である

「動詞」

le undici e mezza." レ・ウンディ・エ・メッサ pl.n.f 1 時半

「補語」

皆、驚いた：マソンはだいぶ早く食べたが、当たり前的事だ。腹が減った時が食事の時間なんだから。

Siamo rimasti tutti sorpresi: Masson ha detto che avevamo mangiato molto presto e che era una cosa naturale, perché l'óra giusta di colazione è quando si ha fame.

「動詞句」「補語」：「主語」「動詞句」「目的語」 e 「目的語」

Siamo rimasti シアーモ・リマスティ 1 複現・完了形.pl(rimanere)v.i (ある状態に) なった「動詞句」

tutti sorpresi: トゥッティ・ソルプレーシ adj(sorpreso).pl 皆驚いた

「補語」

Masson マソン n.m マソンが

「主語」

ha detto ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

che ケ conj. ～ということ

「目的語」

avevamo mangiato アヴ・エヴ・アーモ・マンジヤート 1 複半・完了形(mangiare)

v.t 食べた

「動詞句」

molto presto モルト・プレスト adv. だいぶ早く

「副詞句」

e エ conj. そして

che ケ conj. ～ということ

「目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

una cosa naturale, ウナ・コサ・ナトゥーレ n.f あたり前の事

「補語」

perché ペルケ conj. (理由) ～だから

「副詞節」

l'óra giusta ローラ・ジスタ n.f 適切な時間は

「主語」

di colazione ディ・コラツィオーネ adj. 食事の

「形容詞句」

è エ 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

PARTE PRIMA 第1部

quando クント ^ㇰ adv. ～する時	「補語」
si シ pron 人が	「主語」
ha ア 3 単現(avére)v.t ～がある	「動詞」
fame. ファーメ n.f 空腹	「目的語」

なぜか分からないが、これを聞いてマリーが笑い出した。たぶん、飲み過ぎたのだろう。

Quésto ha fatto ridere Maria, non so perché. Forse aveva bevuto un po' troppo.

「主語」「動詞句」「補語」「目的語」, 「動詞句」「目的語」 「副詞」「動詞句」「副詞句」	
Quésto ケスト pron このことは	「主語」
ha fatto ア・ファット 3 単現・完了形・使役(fare)v.t (O 人を 不定詞) ～させた	「動詞句」
ridere リーデレ 不定詞・Maria の動作 v.i 笑う	「補語」
Maria, マリア n.f マリーを	「目的語」
non so ノンソ 1 単現・否定(sapére)v.t 分からない	「動詞句」
perché. ヘルケ conj. なぜかということ	「目的語」
Forse フォルセ adv. たぶん	「副詞」
aveva bevuto アヴァーウヴァ・ベヴァート 3 単半・完了形(bére)v.t 飲んだ	「動詞句」
un po' troppo. ウン・ポ・トロッポ adv. 少し過度に	「副詞句」

それからマソンは、一緒に浜辺を散歩しないと僕を誘った。

Pòi Masson mi ha chiesto se volevo passeggiare sulla spiaggia con lui.

「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」	
Pòi ポーイ adv. それから	「副詞」
Masson マソン n.m マソンは	「主語」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chièdere)v.t 尋ねた	「動詞句」
se セ conj. ～かどうかということ	「直接目的語」
volevo passeggiare ヴォーレヴァ・ヴォ・パッセジヤレ 1 単半・勧誘(volére+不定詞 passeggiare)	
v.i 散歩したい	「動詞句」
sulla spiaggia スラ・スピアッジャ adv. 浜辺を	「副詞句」
con lui. コン・ルーイ adv. 彼と	「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

《妻はいつも昼食後は昼寝をするんだが、私は昼寝は好まない。歩く必要があるんだ。それはいつも妻にも言っているんだ。散歩は健康に良いと。しかし、結局は妻の気持ちしだいだ》

“Mia moglie fa sempre la siesta dopo colazione. A me non piace, ho bisogno di camminare. Lo dico sempre anche a lei, che è meglio per la salute. Ma dopotutto ha diritto di fare quel che vuole.”

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」 | 「間接目的語」「動詞句」,
「動詞」「目的語」 | 「直接目的語」「動詞」「副詞」「間接目的語」,
「主語」「動詞」「補語」 | Ma 「副詞」「動詞」「目的語」

“Mia moglie ミア・モージェ n.f 妻は 「主語」
fa ファ 3 単現(fare)v.t ~をする 「動詞」
sempre センプレ adv. いつも 「副詞」
la siesta ラ・シエスタ n.f 昼寝を 「目的語」
dopo colazione. ドーポ・コラチオーネ adv. 昼食の後は 「副詞句」
A me ア・メ adv. 私にとって 「間接目的語」
non piace, ノン・ピアーチェ 1 単現・否定(piacere)v.i 好んでない 「動詞句」
ho オ 1 単現(avere)v.t ~がある 「動詞」
bisogno di camminare. ビゾーニョ・ディ・カミネレ n.m 歩く必要が 「目的語」
Lo ロ pron そのことを 「直接目的語」
Lo は che 以降の内容を表わす
dico ディコ 1 単現(dire)v.t 言っている 「動詞」
sempre センプレ adv. いつも 「副詞」
anche a lei, アンケ・ア・レーイ adv. 彼女にも 「間接目的語」
che ケ pron 散歩は 「主語」
è エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
meglio メーリオ adj. (比較級) より良い 「補語」
per la salute. ペル・ラ・サルテ adv. 健康のために 「副詞句」
Ma マ conj. しかし
dopotutto ドーポ・トゥット adv. 結局は 「副詞」
ha ア 3 単現(avere)v.t ~がある 「動詞」
diritto di fare ディリット・ディ・ファレ n.m する権利が 「目的語」
quel che vuole.” ケル・ケ・ウレ conj. 彼女が望むことを 「目的語」

マリーは、マソンの奥さんが皿洗いするのを手伝うために残ると言った。

Maria ha detto che restava per aiutare la signóra Masson a lavare i piatti.

「主語」「動詞句」「目的語」

Maria マリア n.f マリーは

「主語」

PARTE PRIMA 第1部

ha détto ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t	言った	「動詞句」
che ケ conj.	～ということを	「目的語」
restava レスターヴァ 3 単半・時制の一致(restare)v.i	残る、留まる	「動詞」
per aiutare ペル・アイターレ 不定詞・目的 adv.	手伝うために	「副詞句」
la signóra Masson ラ・シニョーラ・マソン n.f	マソンを奥さんが	「目的語」
a lavare ア・ラヴァーレ 不定詞・signóra の動作 v.t	洗う	「動詞句」
i piatti. イ・ピッアッティ pl(piatto).n.m	皿を	「目的語」

小柄なパリジャンは言った: 皿洗いをするためには、まず男たちを外に出さなきゃならない。それで、三人とも外に出た。

La piccola parigina ha détto che gli uòmini, per lavare i piatti, bisogna metterli fuori. E siamo usciti tutti e tre.

「主語」「動詞句」「目的語」 「動詞句」「主語」		
La piccola parigina ラ・ピッコラ・パリジーナ n.f	小柄なパリジャンは	「主語」
ha détto ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t	言った	「動詞句」
che ケ conj.	～ということを	「目的語」
gli uòmini, リ・ウオーミニ pl(uòmo).n.m	男たちを	「目的語」
per lavare ペル・ラヴァーレ 不定詞・目的 adv.	(条件) 洗うためには	「副詞句」
i piatti, イ・ピッアッティ pl(piatto).n.m	皿を	「目的語」
bisogna ビゾーニャ 非人称・3 単現(bisognare)v.i	必要である	「動詞」
metterli メッテル・リ 不定詞(mettere+li)n.	男たちを置くことが	「主語」
fuori. フォーリ adv.	外に	「副詞」
E エ conj.	それで	
siamo usciti シアーモ・ウッシーティ 1 複現・完了形.pl(uscire)v.i	出た	「動詞句」
tutti e tre. トウッティ・エ・トレ pron.pl	三人とも	「主語」

太陽はほぼ真上から砂に降り注ぎ、海面からの反射光は目がくらむほどだった。

Il sóle cadeva quasi a piombo sulla sabbia e lo sfolgorio sul mare era accecante.

「主語」「動詞」「副詞句」 e 「主語」「動詞」「補語」		
Il sóle イル・ソーレ n.m	太陽は	「主語」
cadeva カデーヴァ 3 単半(cadere)v.i	降り注いでいた	「動詞」
quasi a piombo クシ・ア・ピオンボ adv.	ほとんど垂直に、真上から	「副詞句」
sulla sabbia スラ・サッビア adv.	砂の上に	「副詞句」
e エ conj.	そして	
lo sfolgorio ロ・スフォルコーリオ n.m	輝きは	「主語」
sul mare スル・マーレ adv.	海の上の	「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

era エラ 3 単半(essere)v.i. ～だった 「動詞」
 accecante. アチェカンテ adj. 目をくらませた 「補語」

浜には、もうだれもいなかった。

Nella spiaggia non c'era più nessuno. 「副詞句」「動詞句」「副詞」「主語」
 Nella spiaggia ネラ・スピ・アッジャ adv. 浜辺には 「副詞句」
 non c'era ノン・チェラ 3 単半・存在(esserci)v.i. いなかった 「動詞句」
 più ピウ adv.(non...più) もう～ない 「副詞」
 nessuno. ネスーノ pron 誰も～ない 「主語」

海に突き出した高台の縁に立ち並ぶ別荘から、皿と食器の音が聞こえてきた。

Dalle capanne sul bordo dell'altopiano, a strapiombo sul mare, giungevano rumóri di piatti e di stoviglie. 「副詞句」, 「動詞」「主語」
 Dalle capanne ダレ・カパンネ adv.(capanna) (起点) 別荘から 「副詞句」
 sul bordo スル・ボルト adv. 端の上にある 「副詞句」
 dell'altopiano, デラルトピオ adj. 高台の 「形容詞句」
 a strapiombo sul mare, ア・ストラピオンボ・スル・マーレ
 adv. 海の上につき出した 「形容詞句」
 giungevano ジュンジェヴァノ 3 複半(giungere)v.i. 届いた 「動詞」
 rumóri ルモリ pl(rumóre).n.m 物音が 「主語」
 di piatti デイ・ピアッティ adj.(piatto) 皿の 「形容詞句」
 e エ conj. そして
 di stoviglie. デイ・ストヴィリエ adj.(stoviglia) 食器の 「形容詞句」

大地から湧き上がる激しい熱気の中で、息をするのもやっとだった。

Si respirava a fatica nel calore tòrrido che montava dalla tèrra. 「主語」「動詞」「副詞句」
 Si シ pron 人は 「主語」
 respirava レスピラーヴァ 3 単半(respirare)v.i. 息をしていた 「動詞」
 a fatica ア・ファティーカ adv. やつとのこと、かろうじて 「副詞句」
 nel calore tòrrido ネル・カローレ・トールト adv. 激しい熱気の中で 「副詞句」
 che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 montava モンターヴァ 3 単半・時制の一致(montare)v.i. 湧き上がる 「動詞」
 dalla tèrra. ダラ・テッラ adv. 大地から 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

最初、レーモンとマソンは僕の知らない事や知らない人々について話していた。

Per cominciare, Raimondo e Masson hanno parlato di cose e di persone che non conosco.

「副詞句」、「主語」「動詞句」「間接目的語」

Per cominciare, ペル・コミンチャーレ adv. 最初は、まず最初に、始めるにあたって 「副詞句」

Raimondo e Masson ライモンと・エ・マソン pl.n.m レーモンとマソンは 「主語」

hanno parlato アンノ・パルラート 3 複現・完了形(parlare)v.i(di のことを) 話していた 「動詞句」

di cose e di persone デイ・コセ・エ・デイ・ペルソネ adv. 物事と人のことを 「間接目的語」

che け conj. (目的語) ～する 「形容詞節」

non conosco. ノン・コノスコ 1 単現・否定(conoscere)v.t 知らない 「動詞句」

漏れ聞こえた事から、彼らはかなり前から友人同士で、一緒に暮らしていたことさえあると僕は理解した。

Ho capito che erano amici da molto tempo e che avevano persino vissuto insieme durante un certo periodo.

「動詞句」「目的語」 e 「目的語」

Ho capito オ・カピート 1 単現・完了形(capire)v.t 理解した、分かった 「動詞句」

che け conj. ～ということを 「目的語」

erano エラーノ 3 複半(essere)v.i ～だった 「動詞」

amici アミチ pl(amico).n.m 友人 「補語」

da molto tempo ダ・モルト・テンポ adv. (起点) 大分以前から 「副詞句」

e エ conj. そして

che け conj. ～ということを 「目的語」

avevano persino vissuto アヴァエヴァーノ・ペルシーノ・ヴァイスト 3 複現・完了形(vivere)

v.i 暮らしていたことさえあった 「動詞句」

insieme インシェーメ adv. 一緒に 「副詞」

durante ドゥランテ prep (期間) ～の間 「副詞句」

un certo periodo. ウン・チェルト・ペリオド n.m ある程度の期間 「目的語」

僕達は水際に近づいた。それから海に沿って歩いた。

Ci siamo avvicinati all'acqua e poi abbiamo costeggiato il mare.

「動詞句」「副詞句」 e 「副詞」「動詞句」「目的語」

Ci siamo avvicinati チ・シアーモ・アヴァイチナーティ 1 複現・完了形.pl(avvicinarsi)

v.pr(a に) 近づいて行った、向かって行った 「動詞句」

all'acqua アラックワ adv. 水際へ 「副詞句」

e エ conj. そして

poi ポーイ adv. それから 「副詞」

abbiamo costeggiato アビアーモ・コステジヤート 1 複現・完了形(costeggiare)

PARTE PRIMA 第1部

v.t. ～に沿って進んだ 「動詞句」
 il mare. イル・マーレ n.m. 海に 「目的語」

時々、足の長い小さい波がやって来て、僕達のズック靴を濡らした。

A volte una piccola onda più lunga delle altre veniva a bagnare le nostre scarpe di téla.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

A volte ア・ヴォルテ adv. 時々、時に 「副詞句」

una piccola onda ウナ・ピッコラ・オンダ n.f. 小さな波が 「主語」

più lunga delle altre ピウ・ルンガ・デレ・アルトレ

adj(lungo).f (比較) 他よりも長い 「形容詞句」

veniva a bagnare ヴェニヴァ・ア・バニャレ 3 単半・しに来る(venire a+不定詞 bagnare)

v.t. 濡らしに来た 「動詞句」

le nostre scarpe レ・ノストレ・スカパ pl(scarpa).n.f. 僕たちの靴を 「目的語」

di téla. デイ・テラ adj. (素材) 布の 「形容詞句」

ズック靴

「ズック」は麻や木綿の太撚りの糸を平織りにした厚手の布を意味しており、ズック製の靴のことをズック靴と呼ぶ。スニーカーやジョギングシューズもズック靴に含まれる。

僕は何も考えられなかった。太陽が僕の頭に打ち付けていたので、半睡状態だったから。

Io non pensavo a nulla perché ero mezzo intontito da tutto quel sole che mi batteva sulla testa.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞節」

Io イオ pron 僕は 「主語」

non pensavo ノン・ペンサヴォ 1 単半・否定(pensare)v.i. 考えていなかった 「動詞句」

a nulla ア・ヌッラ adv. 何のことも 「間接目的語」

perché ペルケ conj. ～なので 「副詞節」

ero エロ 1 単半(essere)v.i. ～だった 「動詞」

mezzo intontito メッツ・イントンチート adj. 半睡状態の 「補語」

da ダ prep (原因) ～のために 「副詞句」

tutto quel sole トゥット・ケル・ソーレ n.m. あの太陽全体 「目的語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

batteva バターヴァ 3 単半(battere)

v.t. 打ち付ける 「動詞」

sulla testa. スラ・テスタ adv. 頭に 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

その時レーモンがマソンに何か言ったが、僕はよく聞き取れなかった。だが同時に遙か遠くの浜の外れに、菜っ葉服を着た二人のアラブ人が僕たちの方にやって来るのが見えた。

In quel momento Raimondo ha detto a Masson qualcosa che non ho ben capito, ma nello stesso tempo ho scorto, al limite della spiaggia e molto lontano da noi, due àrabi in tuta che venivano nella nostra direzione.

「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」,

ma 「副詞句」「動詞句」「副詞句」「目的語」

In quel momento イン・ケル・モメント adv. その時 「副詞句」
 Raimondo ライメント[°] n.m レーモンが 「主語」
 ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 a Masson ア・マソン adv. マソンに 「間接目的語」
 qualcosa クワルコーサ pron 何かを 「直接目的語」
 che ケ pron. (目的語) ~する 「形容詞節」
 non ho ben capito, ノ・ノ。オ・ベン・カピート 1 単現・完了形・否定(capire+ben)
 v.t よく理解できなかった、聞き取れなかった 「動詞句」
 ma マ conj. しかし
 nello stesso tempo ネッロ・ステッソ・テンポ[°] adv. 同時に 「副詞句」
 ho scorto, オ・スコルト 1 単現・完了形(scòrgere)v.t 気付いた、見つけた 「動詞句」
 al limite della spiaggia アル・リミテ・デラ・スピエッジャ adv. 浜のはずれに 「副詞句」
 e エ conj. そして
 molto lontano da noi, モルト・ロンタノ・ダ・ノイ adv. 遙か遠くに 「副詞句」
 due àrabi ドゥエ・アーラビ[°] pl(àrabo).n.m 二人のアラブ人を 「目的語」
 in tuta イン・トゥータ adv. 作業服を着た、菜っ葉服を着た 「副詞句」
 che ケ pron.pl (主語) ~する 「形容詞節」
 venivano ヴェニヴァノ 3 複半(venire)v.i やって来る 「動詞」
 nella nostra direzione. ネッラ・ノストラ・ディレチオーネ adv. 僕たちの方へ 「副詞句」

僕はレーモンを見つめた：彼は僕に言った：「奴だ！」僕たちは前に進んだ。マソンは、彼らはどうやってここまで僕達の後を追ってこれたのだろうか、と尋ねた。

Ho guardato Raimondo: mi ha detto: “È lui.” Siamo andati avanti. Masson ha chiesto come potevano aver fatto a seguirci fin là.

「動詞句」「目的語」:「間接目的語」「動詞句」:《「動詞」「補語」》

「動詞句」「副詞」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

Ho guardato オ・グワルダート 1 単現・完了形(guardare)v.t 見つめた 「動詞句」
 Raimondo: ライメント[°] n.m レーモンを 「目的語」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

ha detto: ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
“È 3 単現(essere)v.i ~である	「動詞」
lui.” ルーイ pron 奴	「補語」
Siamo andati シア・モ・アンダーティ 1 複現・完了形・移動(andare)v.i 進んだ	「動詞句」
avanti. アヴァンティ adv. 前に	「副詞」
Masson マソン n.m マソンは	「主語」
ha chiesto ア・キェスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた	「動詞句」
cóme コーメ conj. どのように~するかということ	「目的語」
potevano aver fatto a seguirci ポ・テヴァノ・アヴァ・エル・ファット・ア・セグ・イル・チ 3 複半・可能 (potére+不定詞・完了形 fare a+不定詞 seguire+ci)	
v.t 僕達の後を追って来ることが出来た	「動詞句」
fin là. フィン・ラ adv. ここまで	「副詞句」

彼らは僕たちがビーチバッグを持ってバスに乗るところを見ていたに違いないと思ったが、僕は何も言わなかった。

Ho pensato che dovevano averci visto prendere l'autobus con una borsa da spiaggia, ma non ho detto nulla.

Ho pensato オ・ペンサート 1 単現・完了形(pensare)v.t 思った	「動詞句」「目的語」,ma 「動詞句」「目的語」
che ケ conj. ~ということ	「目的語」
dovevano averci visto ト・ウ・ェウ・アヴァ・アノ・アヴァ・エル・チ・ウ・イスト 3 複半・推量 (dovére+不定詞・知覚動詞・完了形 vedére+ci)	
v.t 僕達を見たに違いない	「動詞句」
prendere プレンデレ 不定詞・ci の動作 v.t (乗り物に) 乗る	「補語」
l'autobus ラウトバス n.m バスに	「目的語」
con una borsa da spiaggia, コン・ウナ・ホルサ・ダ・スピ・アッジャ adv. (様態) ビーチバッグを持って	「副詞句」
spiaggia スピ・アッジャ n.f 海水浴場、浜辺	
ma マ conj. しかし	
non ho detto ノ・ノ・テット 1 単現・完了形・否定(dire)v.t 言わなかった	「動詞句」
nulla. ヌッラ pron 何も~ない	「目的語」

アラブ人たちはゆっくり進んで来た。そして既にかなり近くにいた。

Gli àrabi avanzavano lentamente ed erano già molto più vicini.

Gli àrabi リ・アーラビ pl(àrabo).n.m アラブ人たちは	「主語」「動詞」「副詞」ed 「動詞」「副詞句」
avanzavano アヴァンサヴァノ 3 複半(avanzare)v.i 前進してきた	「主語」「動詞」

PARTE PRIMA 第1部

lentamente レンタメンテ adv.	ゆっくりと	「副詞」
ed エド conj.	そして	
erano エーノ 3 複半・存在(èssere)v.i	～にいた	「動詞」
già ジャ adv.	もう	「副詞」
molto più vicini. モルト・ピウ・ヴィチニ adv.	かなり近くに	「副詞句」

僕らは歩調を変えなかった。だがレーモンが言った：

Nói non abbiamo modificato la nostra andatura, ma Raimondo ha detto:

	「主語」「動詞句」「目的語」,ma「主語」「動詞句」	
Nói ノーイ pron.pl	僕たちは	「主語」
non abbiamo modificato	ノン・アビアーモ・モディフィカート 1 複現・完了形・否定(modificare)	
v.t	修正しなかった	「動詞句」
la nostra andatura,	ラ・ノストラ・アンダトゥーラ n.f	我々の歩調を
ma マ conj.	しかし	
Raimondo ライモント n.m	レーモンが	「主語」
ha detto:	ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t	言った
		「動詞句」

「もし何かが起こったら、マソン、君は二人目の相手をしてくれ。俺は自分の相手を引き受ける。ムルソー、君は、もしもう一人がやってきたら、それを頼む」

“Se succede qualcosa, tu, Masson, ti occuperai del secóndo. Io mi incarico del mio uòmo. Tu, Meursault, se ne arriva un altro, è per te.”

	《「副詞節」,「主語」「動詞句」「間接目的語」 「主語」「動詞句」「間接目的語」	
	「主語」,「副詞節」,「動詞」「副詞句」》	
“Se セ conj.	もし～ならば	「副詞節」
succede スチェデ 3 単現(succedere)v.i	起こる	「動詞」
qualcosa, クワルコーサ pron	何か	「主語」
tu, Masson, トゥ・マソン n.m	マソン、君は	「主語」
ti occuperai チ・オクペライ 2 単末・依頼(occuparsi)v.pr(di	に) 従事してくれ	「動詞句」
del secóndo. デル・セコント adv.	二人目の奴に	「間接目的語」
Io イオ pron	俺は	「主語」
mi incarico ミ・インカリコ 1 単現(incaricarsi)v.pr(di	を) 引き受ける	「動詞句」
del mio uòmo. デル・ミオ・ウオーモ adv.	俺の相手を	「間接目的語」
Tu, Meursault, トゥ・ムルソー n.m	ムルソー、君は	「主語」
se セ conj.	もし～ならば	「副詞節」
ne ネ adv.	そこに	「副詞」
arriva アリヴァ 3 単現(arrivare)v.i	やって来る	「動詞」

PARTE PRIMA 第1部

un altro, ウン・アルトロ pron もう一人が 「主語」
 è エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
 per te.” ペル・テ adv. (分担) 君の分の 「副詞句」

僕は答えた:「分かった」そしてマソンは両手をポケットに突っ込んだ。

Ho detto: “Sì” e Masson si è messo le mani in tasca.

「動詞句」:《「応答」》e「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Ho detto: オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 “Sì” シ adv. (肯定) 分かった、了解 「応答」
 e エ conj. そして
 Masson マソン n.m マソンは 「主語」
 si è messo シ・エ・メツ 3 単現・完了形(mettersi)v.pr (体の部分を) 入れる、置く 「動詞句」
 le mani レ・マーニ pl(mano).n.f 両手を 「目的語」
 in tasca. イン・タスカ adv. ポケットに 「副詞句」

今は僕には灼熱の砂が真っ赤に見えた。僕たちはアラブ人たちの方へ一定の歩調で進んだ。

La sabbia surriscaldata mi pareva rossa, ora. Avanzavamo, d'un passo costante, verso gli àrabi.

「主語」「間接目的語」「動詞」「補語」 | 「動詞」「副詞句」

La sabbia ラ・サッド・ア n.f 砂は 「主語」
 surriscaldata スリスカルダータ adj(surriscaldato).f 過熱した 「形容詞」
 mi ミ pron 僕には 「間接目的語」
 pareva パレヴァ 3 単半(parére)v.i ~のように見えた 「動詞」
 rossa, ロッサ adj(rosso).f 赤い 「補語」
 ora. オーラ adv. 今は 「副詞」
 Avanzavamo, アヴァンサヴァーモ 1 複半(avanzare)v.i 進んだ 「動詞」
 d' ディ prep (手段) ~によって 「副詞句」
 un passo costante, ウン・パッ・コスタンテ n.m 一定の歩調で 「副詞句」
 verso ヴェールツ prep (方向) ~の方に 「副詞句」
 gli àrabi. リ・アーラビ pl(àrabo).n.m アラブ人たち 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

僕達と彼らの間の距離は着実に縮まっていった。僕らがあと数歩の所まで来ると、アラブ人たちは立ち止まった。

La distanza fra noi e loro diminuiva regolarmente. Quando siamo stati a pochi passi da loro, gli àrabi si sono fermati.

「主語」「動詞」「副詞」 | 「副詞節」, 「主語」「動詞句」

La distanza ラ・ディスタンサ ñ.f 距離は 「主語」
 fra フラ prep (空間) 〜の間の 「副詞句」
 noi e loro ノー・エ・ローロ pron 僕達と彼ら 「目的語」
 diminuiva ディミヌイーヴァ 3 単半(diminuire)v.i 減少していった 「動詞」
 regolarmente レゴラルメンテ adv. 規則的に、順調に 「副詞」
 Quando クアント conj. 〜する時に 「副詞節」
 siamo stati シアーモ・スターティ 1 複現・完了形(essere)v.i 〜来た 「動詞句」
 a pochi passi ア・ポキ・パッシ adv. (位置) 数歩の位置に 「副詞句」
 da loro, ダ・ローロ adv. 彼らから 「副詞句」
 gli àrabi リ・アーラビ pl(àrabo).n.m アラブ人たちは 「主語」
 si sono fermati. シ・ソーノ・フェルマーティ 3 複現・完了形(fermarsi)v.pr 立ち止まった 「動詞句」

僕とマソンは歩調を緩めた。レーモンはまっすぐ自分の相手に向かって進んでいった。

Io e Masson abbiamo rallentato. Raimondo è andato diritto verso il suo uomo.

「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

Io e Masson イーオ・エ・マソン pron 僕とマソンは 「主語」
 abbiamo rallentato. アビアーモ・ラレンタート 1 複現・完了形(rallentare)v.i 歩調を緩めた 「動詞句」
 Raimondo ライモンﾄﾞ n.m レーモンは 「主語」
 è andato エ・アンダート 3 単現・完了形(andare)v.i 進んだ 「動詞句」
 diritto ディリット adv. まっすぐに 「副詞」
 verso il suo uomo. ヴェールツ・イル・スー・ウオーモ adv. 自分の相手の方へ 「副詞句」

マソンが相手に何を言ったのかよく分からなかったが、相手は頭突きをする仕草を見せた。

Non ho ben capito quello che gli diceva, ma l'altro ha fatto la mossa di dargli una testata.

「動詞句」「目的語」, ma 「主語」「動詞句」「目的語」

Non ho ben capito ノ・ノ・ベン・カピート 1 単現・完了形・否定(capire+ben)
 v.t よく分からなかった 「動詞句」
 quello ケッロ pron それを 「目的語」
 che ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」
 gli リ pron 相手に 「間接目的語」
 diceva, ディチェヴァ 3 単半(dire)v.t 言った 「動詞」

PARTE PRIMA 第1部

ma マ conj. しかし

l'altro ラルトロ pron 相手は

「主語」

ha fatto ア・ファット 3 単現・完了形(fare)v.t (動作を) した

「動詞句」

la mòssa ラ・モッサ n.f (体の) 動きを、仕草を

「目的語」

di dargli ディ・ダル・リ 不定詞・目的 adv. 彼に与えるための

「副詞句」

una testata. ウナ・テストタータ n.f 頭突きを

「目的語」

そこでレーモンが先に殴り、すぐにマソンを呼んだ。

Allóra Raimondo ha colpito una prima vòlta, e sùbito ha chiamato Masson.

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」,e「副詞」「動詞句」「目的語」

Allóra アッローラ adv. その時、そこで

「副詞」

Raimondo ライモンテ n.m レーモンは

「主語」

ha colpito ア・コピト 3 単現・完了形(colpire)v.t 殴った

「動詞句」

una prima vòlta, ウナ・プリマ・ヴォルタ n.f まず、最初に

「副詞句」

e エ conj. そして

sùbito スービト adv. すぐに

「副詞」

ha chiamato ア・キアマト 3 単現・完了形(chiamare)v.t 呼んだ

「動詞句」

Masson. マソン n.m マソンを

「目的語」

マソンは自分に割り当てられた相手に向かって進み、全力で2発殴った。

Masson è andato verso l'uòmo che gli era stato designato, e l'ha colpito due vòlte con tutto il suo peso.

「主語」「動詞句」「副詞句」,e「目的語」「動詞句」「副詞句」

Masson マソン n.m マソンは

「主語」

è andato エ・アンダー 3 単現・完了形(andare)v.i 進んだ

「動詞句」

verso l'uòmo ヴェルツ・ルオーモ adv. 男のほうへ

「副詞句」

che ケ pron (目的語) ~する

「形容詞節」

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

era stato designato, エラ・スタート・デシグナート 3 単半・完了形・受動(designare)

v.t 指名された

「動詞句」

e エ conj. そして

l' エル pron 相手を

「目的語」

ha colpito ア・コピト 3 単現・完了形(colpire)v.t 殴った

「動詞句」

due vòlte トゥエ・ヴォルテ adv. 2度

「副詞句」

con tutto il suo peso. コン・トゥット・イル・スーオ・ペソ adv. 全力で

「副詞句」

相手は顔を水底に向けて長い間倒れていた：しばらくの間そのままだったが、彼の周りの水面に小さい泡が弾けだした。

Quello è caduto lungo disteso nell'acqua con la faccia contro il fondo: è restato qualche istante così, e delle bollicine venivano a scoppiare a fiór d'acqua, intórno al suo capo.

「主語」「動詞句」「副詞句」:

「動詞句」「補語」,e「主語」「動詞句」「副詞句」

Quello ケッロ pron その男は、相手は 「主語」
 è caduto エ・カドゥート 3 単現・完了形(cadére)v.i 倒れた 「動詞句」
 lungo disteso ルンゴ・ディステソ adv. 長い間、長々と、しばらく 「副詞句」
 nell'acqua ネラックワ adv. 水中に 「副詞句」
 con la faccia コン・ラ・ファッチャ adv. (様態) 顔を～して 「副詞句」
 còntro il fòndo: コントロ・イル・フォント` adv. 水底に向けて 「副詞句」
 è restato エ・レスタート 3 単現・完了形・維持(restare)v.i ～のままでいた 「動詞句」
 qualche istante クワルケ・インスタンテ adv. しばらくの間 「副詞句」
 così, コシ adv. そのような 「補語」
 e エ conj. そして
 delle bollicine デレ・ボリチネ pl(bólla+icino 縮小・接尾詞).n.f 小さい泡が 「主語」
 venivano a scoppiare ヴェニヴァ`アノ・ア・スコッピ`アーレ 3 複半・開始(venire a+不定詞 scoppiare)
 v.i 破裂しだした 「動詞句」
 a fiór d'acqua, ア・フィオール・ダ`ックワ adv. 水面に 「副詞句」
 intórno al suo capo. イントルノ・アル・スーオ・カーポ` adv. 彼の顔の周りに 「副詞句」

同時に、レーモンも殴り、相手の顔は血まみれになった。

Nello stéssso moménto, anche Raimondo ha colpito e l'altro aveva il vólto insanguinato.

「副詞句」,「主語」「動詞句」 e 「主語」「動詞」「目的語」

Nello stéssso moménto, ネル・ステッソ・モメント adv. (時間) 同じ時間に 「副詞句」
 anche Raimondo アンケ・ライメント` n.m レーモンも 「主語」
 ha colpito ア・コルピ`ト 3 単現・完了形(colpire)v.t 殴った 「動詞句」
 e エ conj. そして
 l'altro ラルトロ pron 相手は、もう一人は 「主語」
 aveva アヴ`エヴァ`ア 3 単半(avére)v.t ～を持った 「動詞」
 il vólto イル・ヴォルト n.m 顔を 「目的語」
 insanguinato. インサンゲ`イット adj. 血まみれの 「形容詞」

PARTE PRIMA 第1部

レーモンは僕の方へ振り返って、言った。「今すぐ、奴が受けるものを見せてやる」

Raimondo si è girato verso di me e ha detto “vedrai adesso quel che si prende.”

「主語」「動詞句」「副詞句」 e 「動詞句」 | 《「動詞」「副詞」「目的語」》

Raimondo ライモンﾄﾞ n.m レーモンは 「主語」
 si è girato シ・エ・ジラト 3 単現・完了形(girarsi)v.pr 振り返った 「動詞句」
 verso di me ヴェルソ・ディ・メ adv. (方向) 僕の方へ 「副詞句」
 e エ conj. そして
 ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 “vedrai ヴェドレイ 2 単未・意思(vedere)v.t 見るだろう、見せてやる 「動詞」
 adesso アデッソ adv. すぐに、今から 「副詞」
 quel ケル pron それを 「目的語」
 che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 si prende.” シ・プレンデ 3 単現(prendersi)v.pr 受け取る 「動詞句」

僕は彼に叫んだ：「気を付けろ！ナイフを持っているぞ」だが、すでにレーモンは腕を切られ、口の上にも切り傷があった。

Io gli ho gridato: “Attento, ha un coltello!” Ma già Raimondo aveva il braccio ferito e un taglio sulla bocca.

「主語」「間接目的語」「動詞句」：《「呼びかけ」 | 「動詞」「目的語」》

Ma 「副詞」「主語」「動詞」「目的語」 e 「目的語」「副詞句」

Io イ・オ pron 僕は 「主語」
 gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 ho gridato: オ・グリダート 1 単現・完了形(gridare)v.t 叫んだ 「動詞句」
 “Attento, アテント adj. 注意しろ！ 「呼びかけ」
 ha ア 3 単現(avere)v.t ～を持っている 「動詞」
 un coltello!” ウン・コルテッロ n.m ナイフを 「目的語」
 Ma マ conj. しかし
 già ジャ adv. もう、すでに 「副詞」
 Raimondo ライモンﾄﾞ n.m レーモンは 「主語」
 aveva アヴェーヴァ 3 単半(avere)v.t ～があった 「動詞」
 il braccio ferito イル・ブラッチョ・フェリート n.m 怪我した腕を 「目的語」
 e エ conj. そして
 un taglio ウン・タリオ n.m 切り傷 「目的語」
 sulla bocca. スラ・ボッカ adv. 口の上を 「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

マソンは前に跳び出た。しかし、もう一人のアラブ人はすでに起き上がっていて、ナイフを持った男の後ろに隠れた。

Masson ha fatto un balzo in avanti. Ma l'altro arabo si è rialzato e si è messo dietro a quello che era armato.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 | Ma 「主語」「動詞句」 e 「動詞句」「副詞句」
 Masson マソン n.m マソンは 「主語」
 ha fatto ア・ファット 3 単現・完了形(fare)v.t (動作を) した 「動詞句」
 un balzo ウン・バルツォ n.m ひと跳び 「目的語」
 in avanti. イン・アヴァンティ adv. 前へ 「副詞句」
 Ma マ conj. しかし
 l'altro arabo ラルトロ・アーラボ n.m もう一人のアラブ人は 「主語」
 si è rialzato シ・エ・リアルツァート 3 単現・完了形(rialzarsi)v.pr 起き上がっていた 「動詞句」
 e エ conj. そして
 si è messo シ・エ・メツ 3 単現・完了形(mettersi)v.pr 身を置いた 「動詞句」
 dietro デ・イエトロ adv. 後ろに 「副詞句」
 a quello ア・ケッロ adv. 人の 「副詞句」
 che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」
 armato. アルマト adj. 武装した、ナイフを持った 「補語」

僕達は動くに動けなかった。彼らは、絶えず僕らをまじまじと監視して、ナイフで威嚇して僕達の様子を見ながら、ゆっくり後ずさった。

Nói non abbiamo osato muoverci. Loro hanno indietreggiato lentamente, sempre guardandoci fissi, tenendoci a rispetto sotto la minaccia del coltello.

「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」, 「副詞句」
 Nós ノー pron.pl 僕たちは 「主語」
 non abbiamo osato muoverci. ノン・アビアーモ・オサート・ムオヴェルチ 1 複現・完了形・敢えて・否定
 (osare+不定詞 muoverci)v.pr 敢えて動くことが出来なかった 「動詞句」
 Loro ローロ pron.pl 彼らは 「主語」
 hanno indietreggiato アンノ・インデ・イエトレジヤート 3 複現・完了形(indietreggiare)
 v.i 後退した、後ずさった 「動詞句」
 lentamente, レンタメンテ adv. ゆっくり 「副詞」
 sempre センプレ adv. 絶えず、いつでも 「副詞」
 guardandoci グォルダント・チ ジェルンディオ・同時(guardare+ci)
 adv. 僕らを監視しながら 「副詞句」
 fissi, フィッシ adv(fisso) まじまじと 「副詞」

PARTE PRIMA 第1部

tenendoci テネント・チ ジェルンディオ・同時(tener+ci)adv. 僕たちに～を持ちながら「副詞句」
 a rispetto ア・リスぺット adv. 配慮を 「間接目的語」
 sótto la minaccia ソット・ラ・ミナッチャ adv. 威嚇のもとに 「副詞句」
 del coltello. デル・コルテロ adv.(手段) ナイフでの 「副詞句」

彼らは十分離れている時に、素早く逃げ去った。その間、僕らは太陽の下に釘付けされていて、レーモンは血の滴る腕を押さえていた。

Quando sono stati a una distanza sufficiente, sono fuggiti di gran corsa, mentre noi restavamo inchiodati sotto il sole e Raimondo si teneva stretto il braccio gocciolante sangue.

「副詞節」, 「動詞句」 「副詞句」, 「副詞節」 e
 「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「補語」 「直接目的語」

Quando クワント conj. ～する時 「副詞節」
 sono stati ソーノ・スターティ 3 複現・存在・完了形.pl(essere)v.i. ～にいた 「動詞句」
 複合時制の助動詞が(essere)の場合には、過去分詞は「主語」と性・数一致する
 a una distanza sufficiente, ア・ウナ・ディスタンツァ・スフィエンテ adv. 十分な距離に 「副詞句」
 sono fuggiti ソーノ・フジティ 3 複現・完了形.pl(fuggire)v.i. 逃げた 「動詞句」
 di gran corsa, ディ・グラン・コルサ adv. (手段) すごい駆け足で 「副詞句」
 mentre メントレ conj. ～する間 「副詞節」
 noi ノーイ pron.pl 僕たちは 「主語」
 restavamo レスタヴァモ 1 複半(restare)v.i. ～のままでいた 「動詞」
 inchiodati インキオダーティ 過去分詞・受動(inchiodare)adj.pl 釘付けされた 「補語」
 sotto il sole ソット・イル・ソレ adv. 太陽の下に 「副詞句」
 e エ conj. そして
 Raimondo ライモント n.m. レーモンは 「主語」
 si シ pron 自分の 「間接目的語」
 teneva テネヴァ 3 単半(tenere)v.t (状態に) 保った 「動詞」
 stretto スレット adj. 締め付けた、押し付けた 「補語」
 il braccio イル・ブラッチョ n.m 腕を 「直接目的語」
 gocciolante ゴッチョランテ 現在分詞・同時 adv. 滴らせる 「副詞句」
 sangue. サングエ n.m 血を 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

すぐにマソンが、いつも高台で日曜を過ごしにやって来る医者がいると言った。

Masson ha detto immediatamente che c'era un dottore che veniva sempre a passare la domenica sull'altopiano.

	「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」
Masson マソン n.m マソンが	「主語」
ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
immediatamente インメデアタメンテ adv. すぐに	「副詞」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
c'era チェラ 3 単半・存在(esserci)v.i ～がいる	「動詞句」
un dottore ウン・ドットーレ n.m 医者が	「主語」
che ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
veniva ...a passare ヴェニヴァ...ア・パッサレ 3 単半・しにくる(venire a+不定詞 passare)	
v.t 過ごしに来る	「動詞句」
sempre センプレ adv. いつも	「副詞」
la domenica ラ・デメニカ n.f 日曜を	「目的語」
sull'altopiano. ス・ラルトピアーノ adv. 高台で	「副詞句」

レーモンはすぐそこに行きたいと言ったが、話す度に、傷口からの血が口の中で泡になった。

Raimondo voleva andarci subito. Ma ogni volta che parlava, il sangue della ferita gli faceva delle bollicine in bocca.

	「主語」「動詞句」「副詞」
Ma 「副詞節」, 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」	
Raimondo ライモンﾄﾞ n.m レーモンは	「主語」
voleva andarci ヴォレヴァ・アンダール・チ 3 単半・願望(volére+不定詞 andare+ci)	
v.t そこに行きたがった	「動詞句」
subito. ス・ビト adv. すぐに	「副詞」
Ma マ conj. しかし	
ogni volta che オンニ・ヴォルタ・ケ conj. ～する度に	「副詞節」
parlava, パルラーヴァ 3 単半・時制の一致(parlare)v.i 話す	「動詞」
il sangue イル・サングエ n.m 血が	「主語」
della ferita テラ・フェリータ adv. 傷口からの	「形容詞句」
gli リ pron 彼に	「間接目的語」
faceva ファチェヴァ 3 単半(fare)v.t 作った	「動詞」
delle bollicine テレ・ボリチネ pl(bólla + -icino).n.f 小さい泡	「直接目的語」
in bocca. イン・ボッカ adv. 口の中で	「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

彼の体を支えながら、僕達は至急、別荘へ戻った。

Sorreggendolo, siamo ritornati alla capanna il più in fretta possibile.

「副詞句」, 「動詞句」 「間接目的語」 「副詞句」

Sorreggendolo, ソレヰェント・ロ ジェルンディオ・同時(sorreggere+lo)adv. 彼を支えて「副詞句」

siamo ritornati シアーモ・リトルターティ 1 複現・完了形.pl(ritornare)v.i 戻った 「動詞句」

alla capanna アラ・カパンナ adv. 別荘へ 「間接目的語」

il più in fretta possibile. イル・ピウ・フレッタ・ポッシービレ adv. 可能な限り最速で、至急「副詞句」

その時、レーモンは傷はかすり傷でいだから医者には自分で行ける、と言った。

Lì Raimondo ha detto che le sue ferite erano superficiali e che era in grado di andare dal dottore.

「副詞」 「主語」 「動詞句」 「目的語」 e 「目的語」

Lì リ adv. そこで、その時 「副詞」

Raimondo ライモンテ n.m レーモンは 「主語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

le sue ferite レ・スエ・フェリーテ pl(ferita).n.f 彼の傷は 「主語」

erano エーノ 3 複半・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」

superficiale スーペルフイチャーレ adj. 表面の 「補語」

e エ conj. そして

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～だった 「動詞」

in grado di andare イン・グラト・ディ・アンダレ

adv.(in grado di+不定詞) 行くことが出来る 「補語」

dal dottore. ダル・ドットレ adv. 医者に 「間接目的語」

レーモンはマソンと一緒に出て行った。僕は残って、何が起こったかを女たちに説明した。

È uscito con Masson e io sono rimasto per spiegare alle donne quel che era successo.

「動詞句」 「副詞句」 e 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

È uscito エ・ウッシート 3 単現・完了形(uscire)v.i 出て行った 「動詞句」

con Masson コン・マソン adv. マソンと一緒に 「副詞句」

e エ conj. そして

io イオ pron 僕は 「主語」

sono rimasto ソーノ・リマスト 1 単現・完了形(rimanere)v.i 残った 「動詞句」

per spiegare ペル・スピアガレ 不定詞・結果・目的 adv. そして説明する 「副詞句」

alle donne アレ・ドンネ adv.(donna) 女たちに 「間接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

quél ケル pron それを 「直接目的語」
 che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 era successo. エラ・スチェツツ 3 単半・完了形(succèdere)
 v.i 起こった 「動詞句」

マソンの妻は泣き、マリーは真っ青になった。僕は説明するのにうんざりしてきた。

La signóra Masson piàngeva e Maria era móltó pallida. Mi seccava di dover spiegare.

「主語」「動詞」 e 「主語」「動詞」「補語」 | 「目的語」「動詞」「主語」

La signóra Masson ラ・シニョーラ・マソ n.f マソンの妻は 「主語」
 piàngeva ピ・アンジエバ 3 単半(piàngere)v.i 泣いた 「動詞」
 e エ conj. そして
 Maria マリア n.f マリーは 「主語」
 era エラ 3 単半・変化(èssere)v.i ～になった 「動詞」
 móltó pallida. モルト・パーリダ adj. 真っ青な 「補語」
 Mi ミ pron 僕を 「目的語」
 seccava セカヴァ 3 単半(seccare)v.t うんざりさせた 「動詞」
 di dover spiegare. デイ・トヴァエル・スプエガーレ 不定詞 n. 説明しなければならない事は 「主語」

結局、僕は黙り込んで、海を見ながら煙草を吸った。

Ho finito per restar zitto e ho fumato una sigarétta, guardando il mare.

「動詞句」「補語」 e 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Ho finito per restar オ・フィニート・ペル・レスタール 1 単現・完了形・ついに(finire per+不定詞 restare)
 v.i ついに～の状態になった 「動詞句」
 zitto ツィット adj. 黙った 「補語」
 e エ conj. そして
 ho fumato オ・フマート 1 単現・完了形(fumare)v.t (タバコを) 吸った 「動詞句」
 una sigarétta, ウナ・シガレッタ n.f タバコを 「目的語」
 guardando ゲワルダント ジェルンディオ(guardare)・同時 adv. 見ながら 「副詞句」
 il mare. イル・マーレ n.m 海を 「目的語」

1 時半頃、レーモンはマソンと一緒に戻って来た。

Vèrso la una e mèzza, Raimondo è tornato con Masson.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

Vèrso ヴェールツ prep (時間) ～ころ 「副詞句」
 la una e mèzza, ラ・ウナ・エ・メツァ n.f 1 時半 「目的語」
 Raimondo ライモンツ n.m レーモンは 「主語」

PARTE PRIMA 第1部

è tornato エ・トルナート 3 単現・完了形(tornare)v.i 戻って来た 「動詞句」
 con Masson. コン・マソン adv. マソンと一緒に 「副詞句」

腕に包帯を巻き、口の端にはガーゼを貼っていた。

Aveva il braccio fasciato e un cerotto all'angolo della bocca.

「動詞」「目的語」 e 「目的語」「副詞句」

Aveva アヴェーヴァ 3 単半(avére)v.t (特徴を) していた、あった 「動詞」
 il braccio イル・ブラッチョ n.m 腕 「目的語」
 fasciato ファッシャート 過去分詞・受動(fasciare)adj. 包帯を巻かれた 「形容詞句」
 e エ conj. そして
 un cerotto ウン・チェロット n.m ガーゼ 「目的語」
 all'angolo ア・ランゴロ adv. 片隅に 「副詞句」
 della bocca. デラ・ボッカ adj. 口の 「形容詞句」

医者は彼に傷は問題ないと言っていたが、レーモンはすごく暗い様子だった。

Il dottore gli aveva detto che era una cosa da nulla, ma Raimondo aveva l'aria molto
scura.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」,ma 「主語」「動詞」「目的語」

Il dottore イル・ドットーレ n.m 医者は 「主語」
 gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 aveva detto アヴェーヴァ・デット 3 単半・完了形(dire)v.t 言っていた 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 era エ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」
 una cosa da nulla, ウナ・コサ・ダ・ヌラ n.f 何でもない事 「補語」
 ma マ conj. しかし
 Raimondo ライモンテ n.m レーモンは 「主語」
 aveva アヴェーヴァ 3 単半(avére)v.t (特徴を) していた 「動詞」
 l'aria ラーリア n.f 様子 「目的語」
 molto scura. モルト・スクーラ adj(scuro).f すごく暗い 「形容詞句」

マソンは彼を笑わせようとしたが、彼は相変わらず黙っていた。

Masson ha cercato di farlo ridere, ma lui continuava a tacere.

「主語」「動詞句」「補語」,ma 「主語」「動詞句」

Masson マソン n.m マソンは 「主語」
 ha cercato di farlo ア・チェルカー・ディ・ファル・ロ 3 単現・完了形・努力(cercare di+不定詞 fare+lo)
 v.t 彼に～させようとした 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

ridere, リーデレ 不定詞・lo の動作 v.i 笑う 「補語」
 ma マ conj. しかし
 lui ルー pron 彼は 「主語」
 continuava a tacere. コンチヌアヴァ・ア・タチェレ 3 単半・継続(continuare a+不定詞 tacere)
 v.i 相変わらず黙っていた 「動詞句」

彼が浜辺に行くと言ったので、僕は何処へ行くのかと尋ねた。

Quando ha detto che scendeva in spiaggia, gli ho domandato dove andava.

「副詞節」, 「間接目的語」 「直接目的語」 「動詞句」
 Quando クワント conj. 〜だから、〜する時 「副詞節」
 ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 che ケ conj. 〜ということを 「目的語」
 scendeva シェンデーヴァ 3 単半(scendere)v.i 降りる 「動詞」
 in spiaggia, イン・スピアッジャ adv. 浜辺に 「間接目的語」
 gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 ho domandato オ・トマンドート 1 単現・完了形(domandare)v.t 尋ねた 「動詞句」
 dove andava. ドヴァ・エ・アンダーヴァ conj. どこへ行くのかということを 「直接目的語」

彼は、外の空気を吸いたいと僕に答えた。

Mi ha risposto che voleva prendere un po' d'aria.

「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」
 Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha risposto ア・リスポスト 3 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた 「動詞句」
 che ケ conj. 〜ということを 「直接目的語」
 voleva prendere ヴォレヴァ・プレネレ 3 単半・願望・時制の一致(volere+不定詞 prendere)
 v.t 吸いたい 「動詞句」
 un po' d'aria. ウンポ・ダリア n.f 少し外気を 「目的語」

僕とマソンはレーモンと一緒にいくと言った；すると彼は怒りだして、僕達を罵った。

Io e Masson gli abbiamo detto che lo accompagnavamo; allora è andato in collera e ci ha insultati.

「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」；
 「副詞」 「動詞句」 「補語」 e 「目的語」 「動詞句」
 Io e Masson イ・オ・エ・マソン pl.n 僕とマソンは 「主語」
 gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 abbiamo detto アビアーモ・デット 1 複現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

PARTE PRIMA 第1部

che ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
lo ロ pron 彼に	「目的語」
accompagnavamo; ャヴ ^ア アモ 1 複半(accompagnare)v.t 同行する	「動詞」
allóra アッローラ adv. すると	「副詞」
è andato エ ^ア ンダート 3 単現・完了形・変化(andare)v.i (状態) ～になった	「動詞句」
in còllera イン ^コ レラ adv. 立腹した	「補語」
e エ conj. そして	
ci チ pron.pl 僕達を	「目的語」
ha insultati. ア ^イ ンスルターティ 3 単現・完了形.pl(insultare)v.t 罵った	「動詞句」

マソンは逆らわない方が良いと言った。それでも僕は彼について行った。

Masson ha detto che non si doveva contrariarlo. Ma io l'ho seguito ugualmente.

「主語」「動詞句」「目的語」 Ma 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞」	
Masson マソン n.m マソンは	「主語」
ha detto ア ^テ ット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
non si doveva contrariarlo. ノン ^シ ト ^ウ ェ ^ラ ア ^コ ントラリアル ^ル ・ロ 3 単半・禁止 (dovere+不定詞 contrariarsi+lo)v.t 彼に逆らってはならない	「動詞句」
Ma マ conj. しかし	
io イオ pron 僕は	「主語」
l' ロ pron 彼に	「目的語」
ho seguito オ ^セ グイート 1 単現・完了形(seguire)v.t ついて行った	「動詞句」
ugualmente. ウ ^グ アルメンテ adv. それでも、やはり	「副詞」

長い間、僕達は浜辺を歩いた。今や、太陽はすさまじい状態になっていた。

A lungo abbiamo camminato sulla spiaggia. Il sóle era tremendo, óra.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」 「主語」「動詞」「補語」	
A lungo ア ^ル ンゴ ^ッ adv. 長い間	「副詞句」
abbiamo camminato アビ ^ア アモ ^カ ミナト ^ッ 1 複現・完了形(camminare)v.i 歩いた	「動詞句」
sulla spiaggia. スラ ^ス ピ ^ア ッジャ ^ッ adv. 浜辺を	「副詞句」
Il sóle イル ^ソ レ n.m 太陽は	「主語」
era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった	「動詞」
tremendo, トレメント ^ッ adj. 恐ろしい、すさまじい	「補語」
óra. オーラ adv. 今や	「副詞」

PARTE PRIMA 第1部

日差しは、砂浜や海面に降り注ぎ、砕け散っていた。

Andava a frantumarsi sulla sabbia e sul mare.

「動詞句」「副詞句」

Andava a frantumarsi アンダーヴァ・ア・フラントゥマルシ 3 単半・開始(andare a+不定詞 frantumarsi)

v.pr 砕けだした 「動詞句」

sulla スラ prep ーの上で 「副詞句」

sabbia サビァ n.f 砂 「目的語」

e エ conj. そして

sul mare. スル・マーレ adv. 海の上で 「副詞句」

レーモンの行先は決まっている印象を抱いていたが、どうもそうでは無いようだった。

Ho avuto l'impressione che Raimondo sapesse dove andava, ma certo non era così.

「動詞句」「目的語」,ma「副詞」「動詞句」「補語」

Ho avuto オ・アヴァート 1 単現・完了形(avére)v.t ーがあった 「動詞句」

l'impressione リンプ・レッシオーネ n.f 印象が 「目的語」

che ケ conj. (同格) ーという 「形容詞節」

Raimondo ライモント n.m レーモンは 「主語」

sapesse サペッセ 接・3 単現(sapére)v.t 分かっている 「動詞」

dove トーヴァエ adv. どこにーするかということを 「目的語」

andava, アンダーヴァ 3 単現(andare)v.i 行く 「動詞」

ma マ conj. しかし

certo チェルト adv. いくらか 「副詞」

non era ノン・エラ 3 単半・否定(essere)v.i ーでなかった 「動詞句」

così. コシ adv. そのような 「補語」

結局、浜辺の外れで、岩陰の海の辺りで砂に滴り落ちる小さな泉にたどり着いた。

Finalmente, proprio in fondo alla spiaggia, siamo arrivati a una piccola fonte che colava giù nella sabbia verso il mare, dietro a una roccia.

「副詞句」,「動詞句」「間接目的語」

Finalmente, ファイナルメンテ adv. 結局、最後に 「副詞」

proprio in fondo プロプリオ・イン・フォント adv. まさに突き当りで 「副詞句」

alla spiaggia, アラ・スピ・アッジャ adv. 浜辺の 「副詞句」

siamo arrivati シアーモ・アリヴァート 1 複現・完了形(arrivare)v.i 到着した、たどり着いた「動詞句」

a una piccola fonte ア・ウナ・ピッコラ・フォンテ adv. 小さい泉へ 「間接目的語」

che ケ pron (主語) ーする 「形容詞節」

colava コラヴァ 3 単半(colare)v.i 滴り落ちる 「動詞」

PARTE PRIMA 第1部

giù ジュ adv. 下に 「副詞」
 nëlla sàbbia ネラ・サビァ adv. 砂の中へ 「副詞句」
 vèrso ヴェールツ prep (方向) 〜のあたりで、〜の方へ 「副詞句」
 il mare, イル・マーレ n.m 海 「目的語」
 diètro a ディエトロ・ア
 prep (場所) (〜の) 後ろの 「副詞句」
 una ròccia. ア・ウナ・ロッカ ñ.f 岩 「目的語」

そしてそこに、二人のアラブ人がいた。彼らは脂ぎった菜っ葉服を着て横になっていた。

E là che abbiamo trovato i due àrabi. Erano distési con le loro tute bisunte.

E 「副詞」「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「補語」

E エ conj. そして
 là ラー adv. そこに 「副詞」
 che ケ conj. (事実の提示)
 abbiamo trovato アビアーモ・トロヴァート 1 複現・完了形(trovare)v.t 〜に気付いた 「動詞句」
 i due àrabi. イ・ドゥエ・アーラビ pl(àrabo).n.m 2 人のアラブ人 「目的語」
 Erano エラーノ 3 複半・状態(essere)v.i 〜だった 「動詞」
 distési ディステシ 過去分詞(distendere).adj.pl 横たわった 「補語」
 con le loro tute コン・レ・ロー・トゥーテ adv. (様態) (tuta) 作業服を着て 「副詞句」
 bisunte. ビズンテ adj(bisunto).pl 脂ぎった、汚れた 「形容詞」

彼らは全く落ち着き払って、ほとんど平静なように見えた。

Parevano assolutamente tranquilli, e quasi pacificati.

「動詞」「補語」 e 「補語」

Parevano パレヴァノ 3 複半(parere)v.i 〜のように見えた 「動詞」
 assolutamente tranquilli, アッソルタメンテ・トランキリ adj(tranquillo).pl 全く落ち着いた 「補語」
 e エ conj. そして
 quasi クワジ adv. ほとんど、まるで 「副詞」
 pacificati. パシフィカーティ adj(pacificato).pl 平静な 「補語」

僕達がやって来ても何も変わらなかった。

Il nostro arrivo non ha cambiato nulla.

「主語」「動詞句」「目的語」

Il nostro arrivo イル・ノストロ・アッリーヴォ n.m 僕たちの到着は 「主語」
 non ha cambiato ノナ・カンビアート 3 単現・完了形・否定(cambiare)v.t 変えなかった 「動詞句」
 nulla. ヌッラ pron 何も〜ない 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

レーモンに切りつけた男は、無言で彼を見つめていた。

L'uomo che aveva colpito Raimondo lo guardava senza parlare.

「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

L'uomo ルオーモ n.m 男は

「主語」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

aveva colpito アヴァーウヴァ・コルピト 3 単半・完了形(colpire)

v.t 傷を負わせた

「動詞句」

Raimondo ライモント n.m レーモンを

「目的語」

lo ロ pron レーモンを

「目的語」

guardava グワルダヴァ 3 単半(guardare)v.t 見つめていた

「動詞」

senza parlare. センツァ・パルラーレ adv. 無言で

「副詞句」

もう一人は葦笛に息を吹き込み、横目で僕達を見ながら、その笛で出せる 3 つの音をずっと繰り返していた。

L'altro soffiava dentro una piccola canna e continuava a ripetere, guardandoci con la coda dell'occhio, le tre note che ricavava dal suo strumento.

「主語」「動詞」「副詞句」 e 「動詞句」「副詞句」, 「目的語」

L'altro ラルトロ pron もう一人は

「主語」

soffiava ソフィアーヴァ 3 単半(soffiare)v.i 息を吹き付けていた

「動詞」

dentro デントロ prep ~の中へ

「副詞句」

una piccola canna ウナ・ピッコラ・カナ n.f 小さな葦

「目的語」

e エ conj. そして

continuava a ripetere, コンチヌアヴァ・ア・リペーレ 3 単半・継続(continuare a+不定詞 ripetere)

v.t ずっと繰り返していた

「動詞句」

guardandoci グワルダント・チ ジェルンディオ・同時(guardare)adv. 見ながら

「副詞句」

con la coda dell'occhio, コン・ラ・コーダ・デ・ロッキオ

adv. (手段) 目の端で、横目で

「副詞句」

le tre note レ・トレ・ノーテ pl(nòta).n.f 3 つの音

「目的語」

che ケ pron (目的語) ~する

「形容詞節」

ricavava リカヴァーヴァ v.t 作り出す

「動詞」

dal suo strumento. ダル・スーオ・ストルメント adv. 彼の楽器から

「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

しばらくの間、太陽と静寂だけがあたりを包み、泉のかすかな騒めきと葦笛の3つの音が漏れ聞こえていた。

Per un lungo tèmpo non c'è stato altro che il sóle e il silènzio, col liève rumóre délla fónte e quélle tre nòte.

「副詞句」「動詞句」「主語」

Per ヘル prep (期間) ーの間

「副詞句」

un lungo tèmpo ウン・ルンゴ・テンポ n.m 長い時間

「目的語」

non c'è stato ノン・チェ・スタート 3 単現・完了形・存在・否定(esserci)v.pr ーは無かった 「動詞句」

altro che アルトロ・ケ conj. ーするもの以外は

「主語」

il sóle e il silènzio, イル・ソーレ・エ・イル・シレンツィオ n.m 太陽と静寂

「主語」

col コル prep (同伴) ーと一緒に

「副詞句」

liève rumóre リエーヴ・エルモーレ n.m かすかな物音

「目的語」

délla fónte デラ・フォンテ adv. 泉の

「形容詞句」

e エ conj. そして

quélle tre nòte. クェレ・トレ・ノーテ pl(nòta).n.f その3つの音 「目的語」

それからレーモンは尻ポケットに手を運んだが、相手は動かず、二人は相変わらず睨み合っていた。

Pòi Raimondo ha portato la mano alla tasca délla rivoltèlla, ma l'altro non si è mosso e si guardavano sèmpre.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」,ma「主語」「動詞句」e「動詞句」「副詞」

Pòi ポーイ adv. それから、次に

「副詞」

Raimondo ライモンテ n.m レーモンは

「主語」

ha portato ア・ポルタート 3 単現・完了形(portare)v.t 持って行った、運んだ

「動詞句」

la mano ラ・マーノ n.f 手を

「目的語」

alla tasca アラ・タスカ adv. (位置) ポケットに

「副詞句」

délla rivoltèlla, デラ・リヴォルテーラ adj. リヴォルバーの

「形容詞句」

ma マ conj. しかし

l'altro ラルトロ pron 相手は

「主語」

non si è mosso ノン・シ・エ・モツ 3 単現・完了形・否定(muoversi)v.pr 動かなかった 「動詞句」

e エ conj. そして

si guardavano シ・グワルダヴァノ 3 複半(guardarsi)v.pr 互いに見つめ合っていた 「動詞句」

sèmpre. センプレ adv. 相変わらず

「副詞」

フランス語版では

それからレーモンは尻ポケットに手をやった。だが相手は身動きせず、二人はそのまま睨みあった。

PARTE PRIMA 第1部

Puis Raymond a porté la main à **sa poche revolver**, mais l'autre n'a pas bougé et ils se regardaient toujours.

poche revolver d'un pantalon 「ズボンの尻ポケット」

イタリア語では、**tasca posteriore**

僕は、葦笛を吹いている男の指が他の指とひどく離れていることに気付いた。

Ho notato che l'uomo che suonava il flauto aveva, nei piedi, gli alluci molto distanti dalle altre dita.

「動詞句」「目的語」

Ho notato オ・ノート 1 単現・完了形(notare)v.t 気付いた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

l'uomo ルオーモ n.m 男は

「主語」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

suonava スオーヴァ 3 単半・時制の一致(suonare)

v.t 吹いている

「動詞」

il flauto イル・フラウト n.m 葦笛を

「目的語」

aveva, アヴェヴァ 3 単半・時制の一致(avére)v.t (特徴を) している

「動詞」

nei piedi, ネイ・ピエティ adv. (位置) 足の

「副詞句」

gli alluci リ・アルチ pl(alluce).n.m 親指

「目的語」

molto distanti モルト・ディスタンティ adj. ひどく離れた

「補語」

dalle altre dita. ダレ・アルトレ・ディタ adv. 他の指から

「副詞句」

しかし、自分の相手から目をそらさずに、レーモンは僕に言った：「やってやろうか？」

Ma sènza staccare gli occhi dal suo avversario, Raimondo mi ha chiesto: “Lo faccio fuori?”

Ma 「副詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」: 《「目的語」「動詞」「副詞」》

Ma マ conj. しかし

sènza +不定詞 センツァ adv. ～せずに

「副詞句」

staccare スタッカレ 不定詞 v.t 離す

「動詞」

gli occhi リ・オッキ pl(occhio).n.m 目を

「目的語」

dal suo avversario, ダル・スーオ・アウヴェルサーリオ adv. (起点) 自分の相手から

「副詞句」

Raimondo ライモント n.m レーモンは

「主語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha chiesto: ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた

「動詞句」

“Lo 〇 pron 奴を

「目的語」

faccio ファッチョ 1 単現・意思(fare)v.t (動作を) する

「動詞」

fuori?” フォーリ adv. 外に

「副詞」

PARTE PRIMA 第1部

fare fuori ファーレ・フォーリ 「(人を) 殺す、除外する、はずす、壊す、やっつける」

僕は、もしやるなど言えば、彼は勝手に興奮して、間違いなく撃つだろうと思った。

Ho pensato che se gli dicevo di no si sarèbbe montato da sé e avrebbe sparato certamente.

「動詞句」「目的語」

Ho pensato オ・ペンサート 1 単現・完了形(pensare)v.t 考えた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

se セ conj. (仮定) もし～ならば

「副詞節」

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

dicevo ティチェヴォ 1 単半(dire)v.t 言った

「動詞」

di no ティ・ノ adv. だめだと

「直接目的語」

si sarèbbe montato シ・サレッベ・モンタート 条・3 単現・完了形・推量(montarsi)

v.pr 興奮してしまうだろう

「動詞句」

da sé ダ・セ adv. 自分で、自分一人で、かつてに

「副詞句」

e エ conj. そして

avrebbe sparato アヴレッベ・スパラート 条・3 単現・完了形・推量(sparare)

v.t 発射するだろう

「動詞句」

certamente. チェルタメンテ adv. 確実に、間違いなく

「副詞」

僕は彼に一つだけ言った：「相手はまだ喋っていない。ここで撃ったら卑怯者になる」

Gli ho detto soltanto: “Lui non ti ha parlato ancora. Sarèbbe brutto sparare così.”

「主語」「動詞句」「副詞」:

《「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「副詞」 | 「動詞」「補語」「主語」》

Gli リ pron 彼に

「間接目的語」

ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

soltanto: ソルタント adv. ただ～だけ

「副詞」

“Lui ルーイ pron 相手は

「主語」

non ...ha parlato ノン...ア・パラルート 3 単現・完了形・否定(parlare)v.i 喋っていない

「動詞句」

ti ティ pron 君に

「間接目的語」

ancora. アンコーラ adv. まだ

「副詞」

Sarèbbe サレッベ 条・3 単現・変化・推量(essere)v.i ～になるだろう

「動詞」

brutto ブルト adj. 汚い、見苦しい、卑怯な

「補語」

sparare スパラーレ 不定詞・条件 n. 撃つことは

「主語」

così.” コシ adv. こんな風に、このようにして

「副詞」

PARTE PRIMA 第1部

また水と葦笛の音が、静寂と炎熱の中心から聞こえた。

Si è udito ancóra il liève rumóre d'acqua e di flauto nel cuore del silènzio e délla calura.

「動詞句」「副詞」「主語」「副詞句」

Si è udito シ・エ・ウディート 3 単現・完了形(udirsi)v.pr 聞こえた

「動詞句」

ancóra アンコーラ adv. また

「副詞」

il liève rumóre イル・リエーヴェ・ルモレ n.m かすかな物音が

「主語」

d'acqua ダックワ adj. 水の

「形容詞句」

e エ conj. そして

di flauto ディ・フラウト adj. 葦笛の

「形容詞句」

nel cuore ヌル・クオーレ adv. 中心で

「副詞句」

del silènzio デル・シレンツィオ adj. 静寂の

「形容詞句」

e エ conj. そして

délla calura. デラ・カラ adj. 酷暑の

「形容詞句」

それからレーモンが言った：「それじゃあ奴を挑発して、俺に言い返したら、やってやる」

Pòi Raimondo ha détto: “Allóra lo provocherà e quando lui mi risponderà lo farà fuori.”

「副詞」「主語」「動詞句」：《「副詞」「目的語」「動詞」 e 「副詞節」「目的語」「動詞」》

Pòi ポーイ adv. 次に、それから

「副詞」

Raimondo ライモンﾄﾞ n.m レーモンは

「主語」

ha détto: ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

“Allóra アッローラ adv. それでは

「副詞」

lo ロ pron 奴を

「目的語」

provocherà フロヴァケー 1 単未・假定(provocare)v.t 挑発する

「動詞」

e エ conj. そして

quando クワンﾄﾞ conj. (条件) ～ならば

「副詞節」

lui ルーイ pron 奴が

「主語」

mi ミ pron 俺に

「目的語」

risponderà リスポンデラ 3 単未(rispondere)v.t 言い返す

「動詞」

lo ロ pron 奴を

「目的語」

farà fuori.” ファロ・フォーリ 1 単未(fare fuori)v.t やってやる、殺してやる

「動詞」

PARTE PRIMA 第1部

僕は答えた：「それなら良い。だが相手がナイフを抜かなければ、撃ってはならない」

Ho risposto: “Precisamente. Ma se lui non tira fuori il coltello, tu non puoi sparare.”

「動詞句」：「「応答」 | Ma 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」

Ho risposto: オ・リスポ・スト 1 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた 「動詞句」

“Precisamente. プレシサメンテ adv. まさに、それなら良い 「応答」

Ma マ conj. しかし

se セ conj. もし～ならば 「副詞節」

lui ルー pron 彼が 「主語」

non tira ノン・チラ 3 単現・否定(tirare)v.t 抜かない 「動詞句」

fuori フォーリ adv. 外に 「副詞」

il coltello, イル・コルテッロ n.m ナイフを 「目的語」

tu トゥ pron 君は 「主語」

non puoi sparare.” ノン・プ・オイ・スパラーレ 2 単現・許可・否定(potére+不定詞 sparare)

v.t 撃ってはならない 「動詞句」

レーモンは少し興奮し始めた。

Raimondo ha cominciato ad agitarsi un po’.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Raimondo ライモンﾄﾞ n.m レーモンは 「主語」

ha cominciato ad agitarsi ア・コミンチャト・アド・アジタルシ 3 単現・完了形・開始

(cominciare a+不定詞 agitarsi)v.pr 興奮し始めた 「動詞句」

un po’. ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」

もう一人は相変わらず葦笛を吹いていた。そして二人ともレーモンの仕草を見守っていた。

L’altro suonava sempre e tutt’e due osservavano ogni gesto di Raimondo.

「主語」 「動詞」 「副詞」 e 「主語」 「動詞」 「目的語」

L’altro ラルトロ pron もう一人は 「主語」

suonava スォナーヴァ 3 単半(suonare)v.t 葦笛を吹いていた 「動詞」

sempre センプレ adv. 相変わらず 「副詞」

e エ conj. そして

tutt’e due トゥッテ・トゥエ pron.pl(tutti e due) 二人とも 「主語」

osservavano オッセルヴァヴァノ 3 複半(osservare)v.t 見守っていた 「動詞」

ogni gesto オンニ・ジェスト n.m 各仕草を 「目的語」

di Raimondo. デイ・ライモンﾄﾞ adj. レーモンの 「形容詞句」

PARTE PRIMA 第1部

「だめだ、撃つな！」と、僕はレーモンに言った。

“No,” ho détto a Raimondo.

《「呼びかけ」》, 「動詞句」 「間接目的語」

“No,” / adv. だめだ、撃つな！

「呼びかけ」

ho détto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

a Raimondo. ア・ライモンツォ adv. レーモンに

「間接目的語」

「素手でやれ！それから、僕にリヴォルヴァーをよこせ！もしもう一人やって来たり、ナイフを抜いたら、僕が撃つ」

“Affrontalo da uòmo a uòmo e dà a me la rivoltèlla. Se l'altro interviene, o tira fuori il coltèllo, io sparero.”

《「命令」 e 「命令」 | 「副詞節」, 「主語」 「動詞」》

“Affrontalo アフロンタ・ロ 命・2 単現(affrontare+lo)v.t 対決しろ

「命令」

da uòmo a uòmo ダ・ウオモ・ア・ウオモ adv. 一対一で、素手で

「副詞句」

e エ conj. そして

dà ダ 命・2 単現(dare)v.t よこせ

「命令」

a me ア・メ adv. 僕に

「間接目的語」

la rivoltèlla. ラ・リヴァルテラ n.f リヴォルヴァーを

「直接目的語」

Se セ conj. もし～ならば

「副詞節」

l'altro ラルトロ pron もう一人が

「主語」

interviene, インテルヴィエネ 3 単現(intervenire)v.i やって来る

「動詞」

o オ conj. それとも

tira fuori チラ・フォーリ 3 単現(tirare+ fuori)v.t 取り出す、抜く

「動詞句」

il coltèllo, イル・コルテッロ n.m ナイフを

「目的語」

io イオ pron 僕が

「主語」

sparerò.” スパレロ 1 単未・意思(sparare)v.t 撃つ

「動詞」

レーモンが僕にリヴォルヴァーをよこした時、太陽のきらめきがその上に滑り落ちた。

Quando Raimondo mi ha dato la rivoltèlla, il sóle c'è scivolato sópra.

「副詞節」, 「主語」 「副詞」 「動詞句」 「副詞」

Quando クワンツォ conj. ～する時

「副詞節」

Raimondo ライモンツォ n.m レーモンが

「主語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha dato ア・ダート 3 単現・完了形(dare)v.t よこした

「動詞句」

la rivoltèlla, ラ・リヴァルテラ n.f リヴォルヴァーを

「直接目的語」

il sóle イル・ソレ n.m 太陽が

「主語」

PARTE PRIMA 第1部

c'ス adv. そこを 「副詞」
 è scivolato エ・シヴォラート 3 単現・完了形(scivolare)v.i 滑り落ちた 「動詞句」
 sópra. ソプラ adv. 上を 「副詞」

しかし周りを完全に塞がれたかのように、僕達は相変わらず動けなかった。

Ma siamo rimasti ancóra immobili cóme se tutto si fósse chiuso intórno a nói.

Ma 「動詞句」「補語」

Ma マ conj. しかい
 siamo rimasti シアモ・リマスティ 1 複現・完了形(pl(rimanére)v.i (状態) ~のままでいた「動詞句」
 ancóra アンコーラ adv. まだ、相変わらず 「副詞」
 immobili インモービレ adj(immòbile).pl 動かない 「補語」
 cóme se コ・セ conj. まるで~のように 「副詞節」
 tutto トゥット pron すべてが 「主語」
 si fósse chiuso シ・フォッセ・キヅ 接・3 単半・完了形(chiudersi)
 v.pr 塞がれた 「動詞句」
 intórno イントルノ prep(a の) 周りを 「副詞句」
 a nói. ア・ノイ adv. 僕たちの 「目的語」

僕達は目を伏せずに睨み合っていた。すべてがここで、海と砂と太陽、そして葦笛と泉の水による二重の静寂の間で停止していた。

Ci guardavamo sènza abbassare gli òcchi e tutto si fermava lì tra il mare, la sabbia ed il sóle, il doppio silenzio del flauto e déll'acqua.

「動詞句」「副詞句」 e 「主語」「動詞句」「副詞句」

Ci guardavamo チ・グワルダヴァーモ 1 複半(guardarsi)v.pr 睨み合っていた 「動詞句」
 sènza +不定詞 センツァ 不定詞・方法 adv. ~しないで 「副詞句」
 abbassare アッバッサレ 不定詞 v.t 下げる、(目を) 伏せる 「動詞」
 gli òcchi リ・オッキ pl(òcchio).n.m 目を 「目的語」
 e エ conj. そして
 tutto トゥット pron すべてが 「主語」
 si fermava シ・フェルマーヴァ 3 単半・時制の一致(fermarsi)v.pr 停止している 「動詞句」
 lì リ adv. そこで、ここで 「副詞」
 tra トラ prep ~の間で 「副詞句」
 il mare, イル・マーレ n.m 海 「目的語」
 la sabbia ラ・サッビア n.f 砂 「目的語」
 ed エ conj. そして
 il sóle, イル・ソーレ n.m 太陽 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

il doppio silenzio イル・ドッピォ・シレンツィォ n.m 二重の静寂

「目的語」

del flauto e dell'acqua. デル・フラウト・エ・テラックワ

adv. 葦笛と泉の水による

「形容詞句」

その時、僕は思った。撃つことになるかもしれない。または、撃たないで済むかもしれない。すべては成り行き次第だ。

In quel momento ho pensato che si poteva sparare oppure non sparare e che una cosa valeva l'altra.

「副詞句」「動詞句」「目的語」 e 「目的語」

In quel momento イン・ケル・モメント adv. その時

「副詞句」

ho pensato オ・ペンサト 1 単現・完了形(pensare)v.t(che と) 思った

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

si シ pron 人は

「主語」

poteva sparare ホ・テヴァ・スパラレ 3 単半・可能性(potére+不定詞 sparare)

v.t 撃つかも

「動詞句」

oppure オップレ conj. あるいは

non sparare ノン・スパラレ 不定詞・可能性・否定(potére+不定詞 sparare)

v.t 撃たないか

「動詞句」

e エ conj. そして

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

una cosa ウナ・コーサ n.f ある事は

「主語」

valeva ヴァレヴァ 3 単半(valére)v.i 価値があった、相当した

「動詞」

l'altra. ラルトラ pron 他のものに

「補語」

しかし、突然アラブ人たちは後ずさりして、岩陰に消えた。

Ma d'improvviso gli àrabi sono scivolati all'indietro e sono scomparsi diètro la ròccia.

Ma 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」 e 「動詞句」「副詞句」

Ma マ conj. しかし

d'improvviso デ・インプ・ロヴァーゾ adv. 突然

「副詞句」

gli àrabi リ・アーラビ pl(àrabo).n.m アラブ人たちは

「主語」

sono scivolati ソーノ・シヴァーティ 3 複現・完了形 pl・移動(scivolare)

v.i 滑るように進んだ

「動詞句」

all'indietro アリンディエトロ adv. 後ろに

「副詞句」

e エ conj. そして

sono scomparsi ソーノ・スコンパルシ 3 複現・完了形(scomparire)v.i 消えた

「動詞句」

diètro la ròccia. デ・イエトロ・ラ・ロッチャ adv. 岩陰に

「副詞句」

それで僕とレーモンはいま来た道に戻った。彼は少し落ち着いたようで、帰りのバスのことを話していた。

Allóra io e Raimondo siamo tornati sui nostri passi. Lui mi è parso più calmo e ha parlato dell'autobus che bisognava prendere per ritornare in città.

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「補語」

e 「動詞句」「間接目的語」

Allóra アッローラ adv. それで 「副詞」
 io e Raimondo イオ・エ・ライモンド pl.n 僕とレーモンは 「主語」
 siamo tornati シアーモ・トルナーティ 1 複現・完了形(pl(tornare)v.i 戻った 「動詞句」
 sui nostri passi. スーイ・ノストリ・パッシ adv. 今来た道を 「副詞句」
 Lui ルーイ pron 彼は 「主語」
 mi ミ pron 僕には 「間接目的語」
 è parso エ・パルソ 3 単現・完了形(parére)v.i ーのように見えた 「動詞句」
 più calmo ピー・ウ・カルモ adj. (精神的に) 落ち着いた 「補語」
 e エ conj. そして
 ha parlato ア・ラルラート 3 単現・完了形(parlare)v.i(di のことを) 話していた 「動詞句」
 dell'autobus テラウトバス adv. バスの事を 「間接目的語」
 che ケ pron (目的語) ーする 「形容詞節」
 bisognava prendere ビゾニャーヴァ・ブレンデレ 非人称・必要(bisognare+不定詞 prendere)
 v.h 乗る必要がある 「動詞句」
 per ritornare in città. ペル・リトルナーレ・イン・チッタ
 adv. 町に戻るために 「副詞句」

僕は別荘まで彼に付き添った。そして彼が木の階段をのぼる間、最初の一段で立ち止まった。頭は太陽でがらがん鳴り、階段をのぼり女たちに説明する労力を考えてやる気が失せた。

L'ho accompagnato fino alla capanna e mentre lui saliva la scaletta di légno, sono rimasto al primo gradino, la testa rimbombante di sóle, scoraggiato dinanzi allo sfòrzo che occorreva fare per salire la scala di légno e affrontare le donne.

「目的語」「動詞句」「副詞句」 e 「副詞節」, 「動詞句」「副詞句」,

「主語」「補語」, 「補語」

L' ロ pron 彼に 「目的語」
 ho accompagnato オ・アッコンパニャート 1 単現・完了形(accompagnare)v.t 付き添った 「動詞句」
 fino alla capanna フィーノ・アラ・カパンナ adv. 別荘まで 「副詞句」
 e エ conj. そして
 mentre メントレ conj. ーする間 「副詞節」

PARTE PRIMA 第1部

lui ルーイ pron	彼が	「主語」
saliva サリーヴァ	3 単半・時制の一致(salire)v.t のぼる	「動詞」
la scaletta ラ・スカレッタ n.f	踏み台	「目的語」
di légno, ティ・レンニョ adj.	(材料) 木の	「形容詞句」
sono rimasto ソーノ・リマスト	1 単現・完了形(rimanére)v.i 留まっていた	「動詞句」
al primo gradino, アル・プリモ・グラディーノ adv.	最初の段で	「副詞句」
la testa ラ・テスト n.f	頭は	「主語」
rimbombante リンボンバンテ	現在分詞(rimbonbare)adv. がんがん鳴っていた	「補語」
di sóle, ティ・ソーレ adv.	(動作主) 太陽で	「副詞句」
scoraggiato スコラジヤート adj.	やる気をなくした	「補語」
dinanzi allo sfòrzo ティンツィ・アロ・スフォルツォ adv.	骨折りを前にして	「副詞句」
che ケ conj.	(同格) ~するという	「形容詞節」
occorreva オッコレヴァ	非人称・3 単半・時制の一致(occorrere)	
v.h	必要である	「動詞」
fare ファーレ	不定詞 n. することが	「主語」
per salire ペル・サリーレ adv.	(目的) 上るために	「副詞句」
la scala di légno ラ・スカラ・ティ・レンニョ		
n.f	木の階段を	「目的語」
e エ conj.	そして	
affrontare アフロンターレ adv.	(目的) 立ち向かうために	「副詞句」
le donne. レ・ドンネ pl(donna).n.f	女たちに	「目的語」

しかし、空から降り注ぐまぶしい雨の下でじっとしているのもつらい程の暑さだった。

Ma il calore era tale che era una fatica anche restare immobile sotto la pioggia accecante che cadeva dal cielo.

Ma 「主語」「動詞」「補語」

Ma マ conj.	しかし	
il calore イル・カローレ n.m	暑さは	「主語」
era エラ	3 単半(essere)v.i ~だった	「動詞」
tale che ターレ・ケ adj.	~するほど	「補語」
era エラ	3 単半・時制の一致(essere)v.i ~である	「動詞」
una fatica ウナ・ファチカ ñ.f	骨折り	「補語」
anche restare アンケ・レスターレ	不定詞 n. ~のままでいることも	「主語」
immobile インモービレ adj.	動かない、不動の	「補語」
sotto ソット prep	~の下で	「副詞句」
la pioggia ラ・ビ°アジジャ n.f	雨	「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

accecante アチェカンテ 現在分詞(accecare)

adj. 目をくらませる 「形容詞」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

cadeva カデーヴァ 3 単半・時制の一致(cadére)

v.i 降り注ぐ 「動詞」

dal cielo. ダル・チェーロ adv. 空から 「副詞句」

ここに留まるも、立ち去るも同じ事だ。しばらくして、僕は浜辺の方に向かって歩き始めた。

Restare lì o andar via, una còsa valeva l'altra. Passato un istante, mi sono diretto verso la spiaggia e mi sono messo a camminare.

「主語」「補語」 | 「副詞句」, 「動詞句」「副詞句」 e 「動詞句」

Restare レスター 不定詞 n. 留まることは 「主語」

lì リ adv. ここに 「副詞」

o オ conj. または

andar via, アンダー・ヴァイ 不定詞 n. 立ち去ることは 「主語」

una còsa ウナ・コーサ n.f ある事 「補語」

valeva ヴァレーヴァ (valére) v.i 価値がある、等価である 「動詞」

l'altra. ラルトラ pron 他のもの 「補語」

Passato un istante, パッサート・ウン・イスタンテ adv. 少し後で 「副詞句」

mi sono diretto ミ・ソーノ・ディレット 1 単現・完了形(dirigersi)v.pr 進んだ 「動詞句」

verso la spiaggia ヴェールツ・ラ・スピ・アッジャ adv. 浜辺の方へ 「副詞句」

e エ conj. そして

mi sono messo a camminare. ミ・ソーノ・メツ・ア・カミネレ 1 単現・完了形・開始

(mettersi a+不定詞 camminare)v.i 歩き始めた 「動詞句」

またあの赤い輝きが見えた。海は最初の速く、息切れした波で砂の上で喘いでいた。

C'era sèmpre quel rósso sfolgorio. Sulla sabbia il mare ansimava di tutto il respiro rapido e soffocato delle sue prime onde.

「動詞句」「副詞」「主語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」

C'era チェラ 3 単半・存在(esserci)v.i ~があった 「動詞句」

sèmpre センプレ adv. 相変わらず、またもや 「副詞」

quel rósso ケル・ロッソ adj. あの赤い 「形容詞句」

sfolgorio. スフォルコーリオ n.m 激しい輝きが 「主語」

Sulla sabbia スラ・サッピャ adv. 砂の上に 「副詞句」

il mare イル・マーレ n.m 海は 「主語」

ansimava アンシマーヴァ 3 単半(ansimare)v.i 息を切らしていた、喘いでいた 「動詞」

PARTE PRIMA 第1部

di tutto il respiro ティ・トゥット・イル・レスピロ adv (様相) 呼吸で 「副詞句」
 rapido ラピト adj. 速い 「形容詞」
 e エ conj. そして
 soffocato ソッフォカート 過去分詞(soffocare)adj. 息切れした 「形容詞」
 delle sue prime onde. テレ・スエ・プリメ・オンデ
 adv. (原因) 最初の波で 「副詞句」

フランス語版では

同じ赤の爆発だった。海は、砂の上で、小さな波で小刻みに息切れするような、精一杯の息づかいで喘いでいた。

C'était le même éclatement rouge. Sur le sable, la mer haletait de toute la respiration rapide et étouffée de ses petites vagues.

ゆっくり岩場に向かって歩いていくと、太陽の日差しで額が腫れてくるを感じた。

Camminavo lentamente verso le rocce e sentivo la mia fronte gonfiarsi sotto il sole.

「動詞句」「副詞句」 e 「動詞」「目的語」「補語」

Camminavo カンミナーヴォ 1 単半(camminare)v.i 歩いた 「動詞」
 lentamente レンタメンテ adv. ゆっくり 「副詞」
 verso le rocce ヴェール・レ・ロッチェ adv. (方向) 岩場の方へ 「副詞句」
 e エ conj. そして
 sentivo センチーヴォ 1 単半・知覚動詞(sentire)v.t 感じた 「動詞」
 la mia fronte ラ・ミア・フロンテ n.f 僕の額が 「目的語」
 gonfiarsi ゴンフィアルシ 不定詞・fronте の動作 v.pr 腫れる、膨れる 「補語」
 sotto il sole. ソット・イル・ソーレ adv. 太陽の下で 「副詞句」

あのすべての熱気が僕にのしかかって来て、僕の前進の妨げた。

Tutto quel calore pesava sopra di me e contrastava il mio andare.

「主語」「動詞」「副詞句」 e 「動詞」「目的語」

Tutto quel calore トゥット・ケル・カローレ n.m あのすべての熱気が 「主語」
 pesava ペッサヴァ 3 単半(pesare)v.i のしかかって来た 「動詞」
 sopra di me ソプラ・ディ・メ adv. 僕の上に 「副詞句」
 e エ conj. そして
 contrastava コントラスターヴァ 3 単半(contrastare)v.t 妨害した 「動詞」
 il mio andare. イル・ミオ・アンダーレ n.m 僕の前進を 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

そして、顔に熱い息吹を感じる度に、僕は歯を食いしばり、ポケットの中で拳を握り締め、太陽と太陽が僕に注ぐあの不透明な陶酔に打ち勝つために全身を緊張させた。

E ogni volta che sentivo il soffio caldo sul viso, serravo i denti, stringevo i pugni dentro le tasche, mi tendevo tutto per vincere il sole e quella ubriachezza opaca che esso riversava su di me.

E 「副詞節」, 「動詞」 「目的語」, 「動詞」 「目的語」 「副詞句」,
「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」 「副詞句」

E エ conj. そして

ogni volta che オニ・ヴォルタ・ケ adv. ～する度に 「副詞節」

sentivo センチヴォ 1 単半・時制の一致(sentire)v.t 感じる 「動詞」

il soffio caldo イル・ソフフィオ・カルト n.m 熱い息吹を 「目的語」

sul viso, スル・ヴィーゾ adv. 顔の上に 「副詞句」

serravo セラーヴォ 1 単半(serrare)v.t (歯を) 食いしばった 「動詞」

i denti, イ・デンティ pl(dente)n.m 歯を 「目的語」

stringevo スリンジエヴォ 1 単半(stringere)v.t 締め付けた 「動詞」

i pugni イ・プニ pl(pugno)n.m 拳を 「目的語」

dentro le tasche, デントロ・レ・タスカ adv.(tasca) ポケットの中で 「副詞句」

mi ミ pron 僕の 「間接目的語」

tendevo テンデーヴォ 1 単半(tendersi)v.pr 緊張させた 「動詞」

tutto トット n.m 全身を 「直接目的語」

per+不定詞 ペル adv. (目的) ～するために 「副詞句」

vincere ヴィンチェレ 不定詞 v.t 勝つ、打ち勝つ 「動詞」

il sole イル・ソレ n.m 太陽 「目的語」

e エ conj. そして

quella ubriachezza opaca ケラ・ウブリアケッツァ・オパカー n.f あの不透明な陶酔 「目的語」

che ケ pron (同格) ～である 「形容詞節」

esso エッソ pron 太陽が 「主語」

riversava リヴァエルサーヴァ 3 単半・時制の一致(riversare)

v.t 注ぐ 「動詞」

su di me. ス・ディ・メ adv. 僕に 「間接目的語」

PARTE PRIMA 第1部

砂から、白い貝殻から、ガラスの破片から、光の刃がほとばしる度に、僕の顎は引きつった。

A ogni sciabolata di luce sprizzata dalla sabbia, da una conchiglia candida o da un frammento di vetro, mi si contraevano le mascelle.

「副詞句」, 「間接目的語」 「動詞句」 「主語」

A ogni sciabolata ア・オンニ・シャボラータ adv. (対象) 一撃の度に 「副詞句」

di luce ディ・ルーチェ adj. 光の 「形容詞句」

sprizzata スプリザータ adj.(sprizzato).f ほとばしった 「形容詞句」

dalla sabbia, ダラ・サビビア adv. 砂から 「副詞句」

da una conchiglia candida ダ・ウナ・コンキリア・カンディダ

adv. 白い貝殻から 「副詞句」

o オ conj. または

da un frammento di vetro, ダ・ウン・フラメント・ディ・ヴェトロ

adv. ガラスの破片から 「副詞句」

mi ミ pron 僕の 「間接目的語」

si contraevano シ・コントラエヴァノ 3 複半(contrarsi)v.pr ひきつった、しわが寄った 「動詞句」

le mascelle. レ・マシェレ pl(mascella).n.f 顎が 「主語」

僕は長いこと歩いた。光と波しぶきによるまばゆい暈に包み込まれた岩の黒っぽい小さな塊が遠くから見えた。

Ho camminato a lungo. Vedevo da lontano la piccola mòle scura della roccia circondata da un alóne accecante per la luce e il pulviscolo del mare.

「動詞句」 「副詞句」 | 「動詞」 「副詞句」 「目的語」

Ho camminato オ・カミナート 1 単現・完了形(camminare)v.i 歩いた 「動詞句」

a lungo. ア・ルンゴ adv. 長いこと、長い間 「副詞句」

Vedevo ヴェデーヴォ 1 単半(vedere)v.t 見えた 「動詞」

da lontano ダ・ロンターノ adv. 遠くから 「副詞句」

la piccola mòle scura ラ・ピッコラ・モーレ・スクーラ n.f(mòle) 黒っぽい小さな塊が 「目的語」

della roccia テラ・ロッチャ adj. 岩の 「形容詞句」

circondata シルコンダータ 過去分詞(circondare)・受動 adj.f 取り囲まれた 「副詞句」

da un alóne accecante ダ・ウン・アローネ・アチェカンテ

adv. (動作主) 眩い暈に 「副詞句」

per ペル prep (手段) 〜によって 「副詞句」

la luce ラ・ルーチェ n.f 光 「目的語」

e エ conj. そして

il pulviscolo イル・プルヴィスコロ n.m 粉塵 「目的語」

del mare. テル・マーレ adj. 海の 「形容詞句」

PARTE PRIMA 第1部

僕は岩陰の冷たい泉に思いをはせた。

Pensavo alla frésca fónte diètro la ròccia.

「動詞」「間接目的語」「副詞句」

Pensavo ペンサーヴォ 1 単半(pensare)v.i(a に) 思いをはせた

「動詞」

alla frésca fónte アラ・フレスカ・フォンテ adv. 冷たい泉に

「間接目的語」

diètro la ròccia. ディエトロ・ラ・ロッチャ adv. 岩陰の

「副詞句」

僕はもう一度その泉のざわめきを聞きたかった。太陽から、仕事から、女の涙から遠くに逃げたかった。要するに、日陰とその安らぎを取り戻したかった。

Avevo desidèrio di ritrovare il mormorio di quell'acqua, desidèrio di fuggire lontano dal sóle, dalla fatica, dai pianti di donna, desidèrio infine di ritrovare l'ombra e il riposo déll'ombra.

「動詞」「目的語」, 「目的語」, 「目的語」

Avevo アヴェーヴォ 1 単半(avére)v.t ~があった

「動詞」

desidèrio デシデーリオ n.m 願望が

「目的語」

di ritrovare ディ・リトロヴァーレ 不定詞・目的 adv. 再び聞くための

「副詞句」

il mormorio イル・モルモリオ n.m ざわめきを

「目的語」

di quell'acqua, ディ・ケラックワ adj. その泉の

「形容詞句」

desidèrio デシデーリオ n.m 願望が

「目的語」

di fuggire ディ・フッジーレ 不定詞・目的 adv. 逃げるための

「副詞句」

lontano ロンターノ adv. 遠くに

「副詞句」

dal sóle, ダル・ソーレ adv. 太陽から

「副詞句」

dalla fatica, ダラ・ファチカ adv. 仕事から

「副詞句」

dai pianti ダイ・ピアンティ adv. 涙から

「副詞句」

di donna, ディ・ドンナ adj. 女の

「形容詞句」

desidèrio デシデーリオ n.m 願望が

「目的語」

infine インフィーネ adv. 要するに、最後に

「副詞」

di ritrovare ディ・リトロヴァーレ 不定詞・目的 adv. 取り戻すための

「副詞句」

l'ombra ロンブラ n.f 日陰を

「目的語」

e エ conj. そして

il riposo イル・リポソ n.m 安らぎを

「目的語」

déll'ombra. デロンブラ adj. 日陰の

「形容詞句」

しかし近づくと、レーモンの相手が戻っていることに気が付いた。

Ma quando sono stato vicino, ho visto che l'uomo di Raimondo era tornato.

Ma 「副詞節」, 「動詞句」 「目的語」

Ma マ conj. しかし

quando クワンド conj. ～する時

「副詞節」

sono stato ソノ・スタート 1 単現・完了形・移動(essere)v.i 来た

「動詞句」

vicino, ヴィチノ adv. 近くに

「副詞」

ho visto オ・ヴィスト 1 単現・完了形(vedere)v.t 見えた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということが

「目的語」

l'uomo ルオーモ n.m 相手の奴が、男

「主語」

di Raimondo ディ・ライモンド adj. レーモンの

「形容詞句」

era tornato. エラ・トナート 3 単半・完了形(tornare)v.i 戻っていた

「動詞句」

彼は一人だった。腕枕をし、頭は岩陰に入れ、体全体は日向に置いて、仰向けで休んでいた。

Era sólo. Riposava supino, le mani sotto la nuca, la fronte nell'ombra della roccia e tutto il corpo al sólo.

「動詞」「補語」 | 「動詞」「副詞句」

Era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった

「動詞」

sólo. ソーロ adj. 一人だけ

「補語」

Riposava リボ・サーヴァ 3 単半(riposare)v.i くつろいでいた、休んでいた

「動詞」

supino, スピノ adv. 仰向けで

「副詞」

le mani レ・マーニ pl(mano).n.f 手は～の状態で

「副詞句」

sotto ソット prep. ～の下にして

「副詞句」

la nuca, ラ・ヌカ n.f うなじ

「目的語」

la fronte ラ・フロンテ n.f 額は～の状態で

「副詞句」

nell'ombra ネンブラ adv. ～の影に

「副詞句」

della roccia デラ・ロッチャ adj. 岩の

「形容詞句」

e エ conj. そして

tutto il corpo トゥット・イル・コルポ n.m 体全体は～の状態で

「副詞句」

al sólo. アル・ソーレ adv. 太陽に向けて

「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

彼の菜っ葉服は熱気で湯気を立てていた。僕は少し驚いた。

La sua tuta fumava nell'aria calda. Sono rimasto un po' stupito.

「主語」「動詞」「副詞句」 | 「動詞句」「補語」

La sua tuta ラ・スーア・トゥータ n.f 彼の作業服は、つなぎ、菜っ葉服

「主語」

fumava フマーヴァ 3 単半(fumare)v.i 湯気を立てていた

「動詞」

nell'aria ネッリア adv. 大気の中で

「副詞句」

calda. カルダ` adj(caldo).f 熱い

「形容詞」

Sono rimasto ソーノ・リマスト 1 単現・完了形・変化(rimanere)v.i (状態に) なった

「動詞句」

un po' stupito. ウン・ポ`・ストゥピト adj. 少し驚いた

「補語」

僕にとっては終わった話だった。それで何も考えずにそこにやって来た。

Per me era una storia finita, ed ero venuto lì senza pensarci affatto.

「間接目的語」「動詞」「補語」,ed 「動詞句」「副詞句」

Per me ペル・メ adv. 僕にとっては

「間接目的語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

una storia finita, ウナ・ストーリア・フィニータ n.f 終わった話

「補語」

ed エ` conj. そして

ero venuto エロ・ヴェヌート 1 単半・完了形(venire)v.i やって来た

「動詞句」

lì リ adv. そこに

「副詞」

senza pensarci センツァ・ペンサルチ adv. それについて考えずに

「副詞句」

affatto. アッフアット adv. まったく

「副詞」

彼は僕を見るとすぐに少し体を起こして、ポケットに手を入れた。

Appena mi ha visto si è sollevato un po' e ha messo la mano in tasca.

「副詞節」「動詞句」「副詞句」 e 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Appena アッペーナ conj. ~するとすぐに

「副詞節」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

ha visto ア・ヴィスト 3 単現・完了形(vedere)v.t 見た

「動詞句」

si è sollevato シ・エ・ソッレヴァート 3 単現・完了形(sollevarsi)

v.pr 体を起こした、立ち上がった

「動詞句」

un po' ウン・ポ` adv. 少し

「副詞句」

e エ conj. そして

ha messo ア・メツ 3 単現・完了形(mettere)v.t 入れた、置いた

「動詞句」

la mano ラ・マーノ n.f 手を

「目的語」

in tasca. イン・タスカ adv. ポケットに

「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

僕はもちろん上着の中のレーモンのリボルバーを握り締めた。

Io, naturalmente, ho strétto la rivoltella di Raimondo nella giacca.

「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Io, イオ pron 僕は

「主語」

naturalmente, ナチュラルメンテ adv. もちろん

「副詞」

ho strétto オ・ストレット 1 単現・完了形(stringere)v.t 握り締めた

「動詞句」

la rivoltella ラ・リヴオルテッラ n.f リボルバーを

「目的語」

di Raimondo ディ・ライモンテ adj. レーモンの

「形容詞句」

nella giacca. ネッラ・ジヤッカ adv. 上着の中の

「副詞句」

すると、相手はまた後方に体を戻したが、ポケットの手は入れたままだった。

Allóra si è abbandonato di nuòvo all'indietro, ma senza togliere la mano di tasca.

「副詞」「動詞句」「副詞句」,ma 「副詞句」

Allóra アッローラ adv. すると、そして

「副詞」

si è abbandonato シ・エ・アバントナート 3 単現・完了形(abbandonarsi)v.pr 身をゆだねた「動詞句」

di nuòvo ディ・ヌォヴォ adv. 再び、また

「副詞句」

all'indietro, アリンデイエトロ adv. 後方に

「副詞句」

ma マ conj. しかし

senza +不定詞 センツァ adv. ～しないで

「副詞句」

togliere トリエレ 不定詞 v.t 取り去る、取り出す

「動詞」

la mano ラ・マーノ n.f 手を

「目的語」

di tasca. ディ・タスカ adj. ポケットの

「形容詞句」

彼との距離はかなり遠くて、10 メートルはあった。

Ero abbastanza distante da lui, a una decina di mètri.

「動詞」「補語」

Ero エロ 3 単半(essere)v.i ～だった

「動詞」

abbastanza distante アッバスタンツァ・ディスタンテ adj. かなり遠い

「補語」

da lui, ダ・ルーイ adv. 彼から

「副詞句」

a una decina di mètri. ア・ウナ・ディセナ・ディ・メートリ adv. 10 メートルの

「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

時々、半分閉じた瞼の奥に彼の視線が垣間見えた。

A tratti indovinavo il suo sguardo dietro le palpebre socchiuse.

「副詞句」「動詞」「目的語」「副詞句」

A tratti ア・トラッティ adv. 時々、時には

「副詞句」

indovinavo インドヴィナーヴォ 1 単半(indovinare)v.t 推測した

「動詞」

il suo sguardo イル・スーオ・ズグアルト n.m 彼の視線を

「目的語」

dietro le palpebre ディエートロ・レ・パールペブレ adv. 瞼の奥に

「副詞句」

socchiuse. ソッキューゼ adj(socchiuso).pl 半分閉じた

「形容詞」

しかし彼の姿は、ほとんどは、僕の目の前の陽炎の中で踊っているように見えた。

Ma più spesso la sua immagine ballava davanti ai miei occhi, nell'aria infuocata.

Ma 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」

Ma マ conj. しかし

più spesso ピウ・スペツィ adv. より頻繁に、ほとんどは

「副詞句」

la sua immagine ラ・スーア・インマジネ n.f 彼の姿は

「主語」

ballava バラヴァ 3 単半(ballare)v.i 踊っていた

「動詞」

davanti ai miei occhi, ダヴァンティ・アイ・ミエイ・オッキ adv. 僕の目の前で

「副詞句」

nell'aria infuocata. ネーリア・インフォカータ adv. 熱気の中で

「副詞句」

波の騒めきは正午に比べると、さらにけだるく、単調になっていた。

Il rumore delle onde era ancora più pigro, più ritmato che a mezzogiorno.

「主語」「動詞」「補語」

Il rumore イル・ルモレ n.m 騒めきは、物音

「主語」

delle onde デッレ・オンデ adj.(onda) 波の

「形容詞句」

era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

ancora アンコーラ adv. さらに、(否定文で) まだ~ない

「副詞」

più pigro, ピウ・ピグロ adj. もっとけだるい

「補語」

più ritmato ピウ・リマト adj. 単調な、一定のリズムの

「補語」

che a mezzogiorno. ケ・ア・メツジヨルノ conj. (比較) 正午と比較して

「副詞句」

それは同じ太陽、同じ浜辺の同じ光で、今もここに続いている。

Era quello stesso sole, quella stessa luce nella stessa spiaggia, che ora si prolungava qui.

「動詞」「補語」, 「補語」, 「主語」「副詞」「動詞句」「副詞」

Era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

quello stesso sole, クエッロ・ステツソ・ソーレ pron 同じ太陽

「補語」

quella stessa luce クエッラ・ステツサ・ルーチェ pron 同じ光

「補語」

PARTE PRIMA 第1部

nella stessa spiaggia, ネッラ・ステッサ・スピ・アッジャ adv. 同じ浜辺の 「形容詞句」
 che ケ pron. それは 「主語」
 ora オラ adv. 今 「副詞」
 si prolungava シ・プロンガヴァ 3 単半・時制の一致(prolungarsi)v.pr 続く 「動詞句」
 qui. クイ adv. ここに 「副詞」

フランス語版では

ここまで続く同じ砂の上にも、同じ太陽と同じ光が照りつけていた。

C'était le même soleil, la même lumière sur le même sable qui se prolongeait ici.

既に2時間、日は歩みを止めている。2時間、煮えたぎる金属の海に錨を投げ込んだままだ。

Erano già due ore che la giornata non avanzava, due ore che aveva gettato l'ancora in un oceano di metallo fuso.

「動詞」「補語」, 「補語」
 Erano エラーノ 3 複半・時制の一致(essere)v.i (時間の経過が) ~になる 「動詞」
 già due ore ジャ・トゥエ・オーレ pl(óra).n.f もう2時間 「補語」
 che ケ conj. ~してから 「副詞節」
 la giornata ラ・ジョルナータ n.f 日が 「主語」
 non avanzava, ノン・アヴァンサヴァ 3 単半・否定(avanzare)
 v.i 進まなくなった 「動詞句」
 due ore トゥエ・オーレ pl(óra).n.f 2時間 「補語」
 che ケ conj. ~してから 「副詞節」
 aveva gettato アヴェ・エヴァ・ア・ジエッタート 3 単半・完了形(gettare)
 v.t 投げた 「動詞句」
 l'ancora ランコラ n.f 錨を 「目的語」
 in un oceano イン・ウン・オケアノ adv. 海に 「副詞句」
 di metallo fuso. ディ・メタル・フーズ
 adj. 煮えたぎる金属の、溶けた金属の 「形容詞句」

水平線を小さい船が通り過ぎた。僕はその黒い斑点を目の片隅で見た。アラブ人から目を離せなかったからだ。

All'orizzonte è passata una piccola nave e ne ho intravisto la macchia nera con la coda dell'occhio perché non cessavo di fissare l'arabo.

「副詞句」「動詞句」「主語」 e 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「副詞句」「副詞節」
 All'orizzonte アロリゾンテ adv. 水平線上を 「副詞句」
 è passata エ・パッサータ 3 単現・完了形(f(passare)v.i 通り過ぎた 「動詞句」
 una piccola nave ウナ・ピッコラ・ナーヴェ n.f 小さな船が 「主語」

PARTE PRIMA 第1部

e エ conj.	そして	
ne ネ pron	その	「間接目的語」
ho intravisto	オ・イントラヴィスト 1 単現・完了形(intravedére)v.t	「動詞句」
la macchia	ラ・マッキア n.f	「直接目的語」
néra	ネーラ adj(néro).f	「形容詞」
con la coda	コン・ラ・ッコダ adv. (手段) 末端で	「副詞句」
dell'occhio	デ・ロッキオ adj.	「形容詞句」
perché	ペルケ conj. (理由) ～なので	「副詞節」
non cessavo di fissare	ノン・チェッサヴァ・オ・ディ・フィッサレ 1 単半・停止・否定 (cessare di+不定詞 fissare)v.t	「動詞句」
l'àrabo.	ラーラボ n.m	「目的語」

僕は単に回れ右すればなんとかなると思った。

Pensai che potevo cavarmela facendo un semplice dietrofront.

Pensai	ペンサイ 1 単遠(pensare)v.t	「動詞」
che	ケ conj. ～ということを	「目的語」
potevo cavarmela	ポテヴァ・オ・カヴァール・メラ 1 単半・可能(potére+不定詞 cavarsela) v.pr	「動詞句」
facendo	ファチェント ジェルンディオ・手段(fare) adv. ～することで、～すれば	「副詞句」
un semplice dietrofront.	ウン・センプリチェ・ディエトロフロント n.m	「目的語」

しかし僕の背後では、砂浜全体が太陽に震えてひしめいていた。

Ma dietro a me si addossava tutta una spiaggia vibrante di sole.

Ma	マ conj. しかし	「副詞句」
diietro a me	ディエトロ・ア・メ adv. 僕の背後には	「主語」
si addossava	シ・アットサーヴァ 3 単半(addossarsi) v.pr	「動詞句」
tutta una spiaggia	トゥッタ・ウナ・スピアッジャ n.f	「主語」
vibrante	ヴィブランテ adj. 震える	「形容詞句」
di sole.	ディ・ソレ adv. (原因) 太陽に、太陽のために	「副詞句」

PARTE PRIMA 第1部

僕は泉に向かって数歩進んだ。アラブ人は動かなかった。

Ho fatto qualche passo verso la fonte. L'àrabo non si è mosso.

「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」

Ho fatto オ・ファット 1 単現・完了形(fare)v.t (動作を) した

「動詞句」

qualche passo クワルケ・パッソ n.m 数歩

「目的語」

verso la fonte. ヴェールツ・ラ・フォンテ adv. 泉の方へ、泉に向かって

「副詞句」

L'àrabo ラーラボ n.m アラブ人は

「主語」

non si è mosso. ノン・シ・エ・モッソ 3 単現・完了形・否定(muoversi)v.pr 動かなかった

「動詞句」

いずれにしても、まだかなり離れていた。

In fondo, era ancora piuttosto lontano.

「副詞句」, 「動詞」「補語」

In fondo, イン・フォンド adv. 本質的には、結局は

「副詞句」

era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

ancora アンコーラ adv. まだ

「副詞」

piuttosto lontano. ピウットースト・ロンターノ adj. かなり遠い

「補語」

顔に影が差しているせいだと思うが、彼は笑っているように見えた。

Forse a causa delle ombre che aveva sul viso, mi sembrò che ridesse.

「副詞句」, 「間接目的語」「動詞」「主語」

Forse フォールセ adv. たぶん

「副詞」

a causa delle ombre ア・カウサ・デッレ・オンブレ adv. 影のために、影のせいで

「副詞句」

che ケ pron (目的語) ~する

「形容詞節」

aveva アヴェーヴァ 3 単半・時制の一致(avere)v.t ~がある

「動詞」

sul viso, スル・ヴィーゾ adv. 顔に

「副詞句」

mi ミ pron 僕には

「間接目的語」

sembrò センブロ 3 単遠(sembrare)v.i ~のように見えた

「動詞」

che ケ conj. ~ということは

「主語」

ridesse. リデッセ 接・3 単半・時制の一致(ridere)v.i 笑っている

「動詞」

PARTE PRIMA 第1部

僕は待った。今や、太陽は僕の頬まで炙り、汗のしずくが眉毛に溜るのを感じた。

Ho aspettato. Ora il sóle mi bruciava anche le guance e ho sentito delle gocce di sudore accumularsi nelle sopracciglia.

「動詞句」 | 「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

e 「動詞句」「目的語」「補語」

Ho aspettato. オ・アスペッタート 1 単現・完了形(aspettare)v.t 僕は待った。 「動詞句」

Ora オーラ adv. 今や 「副詞」

il sóle イル・ソレ n.m 太陽は 「主語」

mi ミ pron 僕の 「間接目的語」

bruciava ブルチャーヴァ 3 単半(bruciare)v.t 焼いていた 「動詞」

anche アンケ adv. さえも、までも 「副詞」

le guance レ・グワンチェ pl(guancia).n.f 頬を 「直接目的語」

e エ conj. そして

ho sentito オ・センチート 1 単現・知覚動詞・完了形(sentire)v.t 感じた 「動詞句」

delle gocce デッレ・ゴーチェ pl(goccia).n.f しずくを 「目的語」

di sudore ディ・ストーレ adj. 汗の 「形容詞句」

accumularsi アクムラルシ 不定詞・gocce の動作 v.pr 積み重なる、集まる 「補語」

nelle sopracciglia. ネッレ・ソプラッチェリア adv. 眉毛に 「副詞句」

母さんを埋葬した日と同じ太陽だった。そしてその時と同じように、額が一番苦しかった：額の血管全てが皮膚の下で一斉に脈打っていた。

Era lo stésso sóle di quel giorno che avevo sotterrato la mamma e, come allora, era la frónte che mi faceva più soffrire: tutte le véne mi battevano insieme sòtto la pèlle.

「動詞」「補語」 e, 「副詞句」「動詞」「補語」: 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

Era エー 3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」

lo stésso sóle ロ・ステッソ・ソレ n.m 同じ太陽 「補語」

di quel giorno ティ・クエッロ・ジヨルノ adj. あの日の 「形容詞句」

che ケ conj. その時~する 「形容詞節」

avevo sotterrato アヴェ・エヴァ・オ・ソッテラート 1 単半・完了形(sotterrare)

v.t 埋葬した 「動詞句」

la mamma ラ・ママ n.f 母さんを 「目的語」

e, エ conj. そして

come allora, コーメ・アッローラ adv. その時と同様に 「副詞句」

era エー 3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」

la frónte ラ・フロンテ n.f 額 「補語」

che ケ conj. ~ということは 「主語」

PARTE PRIMA 第1部

mi ミ pron 僕を	「目的語」
faceva ファチェヴァ 3 単半・使役(fare)v.t(+不定詞) ～させた	「動詞」
più ピウ adv. もっとも	「副詞」
soffrire: ソフリーレ 不定詞・mi の動作 v.i 苦しむ	「補語」
tutte le véne トウッテ・レ・ヴェネ pl(véna).n.f 全ての血管が	「主語」
mi ミ pron 僕を	「目的語」
battevano バテヴァノ 3 複半(battere)v.t たたいた	「動詞」
insieme インシエメ adv. 一斉に、同時に	「副詞」
sotto la pelle. ソット・ラ・ペッレ adv. 皮膚の下で	「副詞句」

激しい日照りに耐えかねて、僕は一步前に進んだ。

A causa di quel bruciore che non potevo più sopportare ho fatto un movimento in avanti.

「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」

A causa di ア・カウ・ディ adv. ～のために、～のせいで

「副詞句」

quel bruciore ケル・ブルチオーレ n.m その日焼け

「目的語」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

non potevo più sopportare ノン・ポテヴァ・オ・ピウ・ソッポルターレ 1 単半・可能・否定(potére+不定詞)

v.t もう耐えられない

「動詞句」

ho fatto オ・ファット 1 単現・完了形(fare)v.t (動作を) した

「動詞句」

un movimento ウン・モヴイメント n.m 動き

「目的語」

in avanti. イン・アヴァンティ adv. 前に

「副詞句」

それが馬鹿げた事で、一步動いた所で太陽から逃れられない事も、僕は分かっていた。

Sapevo che era stupido, che non mi sarei liberato dal sole spostandomi di un passo.

「動詞」 「目的語」, 「目的語」

Sapevo サペーヴォ 1 単半(sapére)v.t 分かっていた

「動詞」

che ケ conj. ～ということ

「目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

stupido, ストゥーピド adj. 馬鹿げた

「補語」

che ケ conj. ～ということ

「目的語」

non mi sarei liberato ノン・ミ・サレイ・リベラート 条・1 単現・完了形・推量(liberarsi)

v.pr(da から) 逃れられないだろう

「動詞句」

dal sole ダル・ソーレ adv. 太陽から

「副詞句」

spostandomi スポ・スタント・ミ ジェルンディオ(spostarsi)

adv. (譲歩) たとえ動いたとしても

「副詞句」

di un passo. ディ・ウン・パッソ n.m 一步

「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

それでも、僕は1歩、たった1歩前に進んだ。

Ma ho fatto un passo, un sólo passo in avanti.

Ma 「動詞句」「目的語」, 「目的語」「副詞句」

Ma マ conj. しかし

ho fatto オ・ファット 1 単現・完了形(fare)v.t (動作を) した

「動詞句」

un passo, ウン・パッソ n.m 1 歩

「目的語」

un sólo passo ウン・ソロ・パッソ n.m 1 歩だけ

「目的語」

in avanti. イン・アヴァンティ adv. 前に

「副詞句」

そして今回は、アラブ人は立ち上がらずにナイフを取り出して、それを太陽にかざして僕に差し出した。

E questa volta, senza alzarsi, l'àrabo ha estratto il coltello e me l'ha presentato nel sóle.

E 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」 e

「間接目的語」「直接目的語」「動詞句」「副詞句」

E エ conj. そして

questa volta, ケスタ・ヴォルタ n.f 今回は、今度

「副詞句」

senza +不定詞 センツァ prep ~なしに、しないで

「副詞句」

alzarsi, アルツァルシ 不定詞 v.pr 立ち上がる

「動詞句」

l'àrabo ラーラボ n.m アラブ人は

「主語」

ha estratto ア・エストラット 3 単現・完了形(estrarre)v.t 取り出した

「動詞句」

il coltello イル・コルテッロ n.m ナイフを

「目的語」

e エ conj. そして

me メ pron 僕に

「間接目的語」

l' ロ pron それを

「直接目的語」

ha presentato ア・プレゼンタート 3 単現・完了形(presentare)v.t 差し出した

「動詞句」

nel sóle. ネル・ソーレ adv. 太陽の中で

「副詞句」

鋼の上で光が煌めいた。それは僕の額を突き刺す輝く長い刃のようだった。

La luce ha balenato sull'acciaio e fu come una lunga lama scintillante che mi colpisse alla fronte.

「主語」「動詞句」「副詞句」 e 「動詞」「補語」

La luce ラ・ルーチェ n.f 光が

「主語」

ha balenato ア・バレーナート 3 単現・完了形(balenare)v.i 煌めいた、ぴかっと光った

「動詞句」

sull'acciaio スラッチャイオ adv. 鋼の上で

「副詞句」

e エ conj. そして

PARTE PRIMA 第1部

fu フ 3 単遠(èssere)v.i	～だった	「動詞」
cóme コーメ conj.	～のような	「補語」
una lunga lama ウナ・ルンガ・ラマ n.f	長い刃	「目的語」
scintillante シンチランテ adj.	輝く	「形容詞」
che ケ pron (主語)	～する	「形容詞節」
mi ミ pron	僕を	「直接目的語」
colpisse コルピッセ 接・3 単半・時制の一致(colpire)		
v.t	突き刺す	「動詞」
alla frónte. アラ・フロンテ adv.	(部位) 額を	「間接目的語」

それと同時に、突然、汗が眉から臉に滴り落ちて、生暖かく濃密なヴェールでそれを覆った。

In quéllo stéssso moménto, il sudóre dalle mie sopracciglia è colato di cólpo giù sulle palpebre e le ha ricoperte di un vélo tèpido e dènso.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 e 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」	
In quéllo stéssso moménto, イン・ケッロ・ステッソ・モメント adv. それと同時に	「副詞句」
il sudóre イル・ストーレ n.m 汗が	「主語」
dalle mie sopracciglia ダレ・ミー・ソプラチーリア adv.(sopracciglio) 僕の眉から	「副詞句」
è colato エ・コラート 3 単現・完了形(colare)v.i 滴り落ちた	「動詞句」
di cólpo ディ・コルポ adv. 突然	「副詞句」
giù ジュ adv. 下に	「副詞」
sulle palpebre スレ・パールペブレ adv.(palpebra) まぶたの上に	「副詞句」
e エ conj. そして	
le レ pron それを	「目的語」
ha ricoperte ア・リコペルテ 3 単現・完了形.f.pl(ricoprire)v.t 覆った	「動詞句」
di un vélo ディ・ウン・ヴェーロ adv. (手段) ヴェールで	「副詞句」
tèpido テーピト adj. 生暖かい	「形容詞」
e エ conj. そして	
dénso. デンソ adj. 濃密な	「形容詞」

フランス語版では

上の文に続いて、次の文があった。

涙と塩のカーテンに閉ざされて、僕の目は見えなくなっていた。

Mes yeux étaient aveuglés derrière ce rideau de larmes et de sel.

PARTE PRIMA 第1部

僕はもう、額の上で太陽の鳴り響く音と相変わらず僕の目の前にあるナイフからほとばしるぼんやりと輝く刃以外何も感じられなかった。

Non sentivo più altro che il risuonar del sóle sulla mia frónte e, indistintamente, la sciabola sfolgorante sprizzata dal coltello che mi era sèmpre di frónte.

「動詞句」「目的語」

Non sentivo ノン・センチ・ウォ 1 単半・否定(sentire)v.t 感じなかった

「動詞句」

più altro ピ・ウ・アルト pron(non ...più altro) もう他の事を

「目的語」

che ケ conj. (比較) ～しか

「副詞句」

non...più altro che ～しか... ない

il risuonar del sóle イル・リスオナル・テル・ソーレ n.m 太陽の鳴り響く音 「目的語」

sulla mia frónte スラ・ミー・フロンテ adv. 額の上で

「副詞句」

e, エ conj. そして

indistintamente, インディスタンメンテ adv. ぼんやりと

「副詞」

la sciabola ラ・シャボラ n.f サーベルを、刃を

「目的語」

sfolgorante スフォルゴランテ adj. 輝く

「形容詞」

sprizzata スプリザータ adj. ほとばしる、噴出する 「形容詞」

dal coltello ダル・コルテッロ adv. 刃から

「副詞句」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

mi ミ pron 僕の 「間接目的語」

era エラ 3 単半・存在(essere)

v.i ～にあった

「動詞」

sèmpre センプレ

adv. 相変わらず

「副詞」

di frónte. ディ・フロンテ

adv. 正面に

「副詞句」

その燃え盛る刃は僕の睫毛を蝕み、僕の痛む目をかき乱した。

Quélla spada ardente mi corrodeva le ciglia e frugava nei miei òcchi doloranti.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 e 「動詞」「間接目的語」

Quélla spada ケッラ・スパータ n.f その刃は

「主語」

ardente アルデンテ adj. 燃えている、燃えるような

「形容詞」

mi ミ pron 僕の

「間接目的語」

corrodeva コロデヴァ 3 単半(corródere)v.t 蝕んだ

「動詞」

le ciglia レ・チリア pl(ciglio).n.m 睫毛を

「直接目的語」

e エ conj. そして

frugava フルガーヴァ 3 単半(frugare)v.i (かき回して) 探した

「動詞」

PARTE PRIMA 第1部

nei miei òcchi ネイ・ミエイ・オッキ adv. 僕の目の中を 「間接目的語」
 doloranti. ドロランティ adj(dolorante).pl 痛む 「形容詞」

全てが揺らめいたのはその時だ。海から、濃厚で燃えるような息吹が立ち昇ってきたのだ。

È allóra che tutto ha vacillato. Dal mare è rimontato un sóffio dènso e bruciante.
 「動詞」「補語」「主語」 | 「副詞句」「動詞句」「主語」
 È エ 3 単現(èssere)v.i ~である 「動詞」
 allóra アッローラ adv. その時 「補語」
 che ケ conj. ~ということは 「主語」
 tutto トゥット pron すべてが 「主語」
 ha vacillato. ア・ヴァチラート 3 単現・完了形(vacillare)v.i 揺らめいた 「動詞句」
 Dal mare ダル・マーレ adv. 海から 「副詞句」
 è rimontato エ・リモンタート 3 単現・移動・完了形(rimontare)v.t さかのぼって来た 「動詞句」
 un sóffio ウン・ソフフィオ n.m 息吹が、突風が 「主語」
 dènso e bruciante. デンソ・エ・ブルチヤンテ adj. 濃厚で燃えるような 「形容詞句」

空が全体に渡って裂け、火の雨を降らせるのではないかと思われた。

Mi è parso che il cièlo si aprisse in tutta la sua larghezza per lasciar piòvere fuoco.
 「間接目的語」「動詞句」「主語」
 Mi ミ pron 僕には 「間接目的語」
 è parso エ・パルソ 3 単現・完了形(parére)v.i ~のように見えた 「動詞句」
 che ケ conj. ~ということは 「主語」
 il cièlo イル・チェーロ n.m 空が 「主語」
 si aprisse シ・アプリッセ 接・3 単半(aprirsi)v.pr 裂けた 「動詞句」
 in tutta la sua larghezza イン・ツッタ・ラ・スア・ラルゲッツァ adv. 全体に渡って 「副詞句」
 per +不定詞 adv. (結果) そして~する
 lasciar piòvere ラッシャール・ピョーヴェレ 不定詞・使役(lasciar+不定詞 piòvere)
 v.t 降らせる 「動詞句」
 fuoco. フォーコ n.m 火を 「目的語」

僕は全身が緊張して、拳銃に手を添えた。

Tutta la mia persóna si è tesa e ho contratto la mano sulla rivoltèlla.
 「主語」「動詞句」 e 「動詞句」「目的語」「副詞句」
 Tutta la mia persóna ツッタ・ラ・ミーア・ペルソーナ n.f 僕の全身は 「主語」
 si è tesa シ・エ・テサ 3 単現・完了形.f(tendersi)v.pr 張り詰めた 「動詞句」
 e エ conj. そして

PARTE PRIMA 第1部

ho contratto オ・コントラット 1 単現・完了形(contrarre)v.t 縮めた 「動詞句」
 la mano ラ・マーノ n.f 手を 「目的語」
 sulla rivoltella. スラ・リヴォルテッラ adv. 拳銃の上で 「副詞句」

引き金がたわみ、指が銃把の滑らかな腹に触れた。そしてそこで、乾いた、そして同時に耳をつんざくような物音の中で、全てが始まった。

Il grilletto ha ceduto, ho toccato il ventre liscio déll'impugnatura e è là, in quel rumore secco e insieme assordante, che tutto è cominciato.

「主語」「動詞句」, 「動詞句」「目的語」 e 「動詞」「補語」「主語」

Il grilletto イル・グリレット n.m 引き金は 「主語」
 ha ceduto, ア・セトゥート 3 単現・完了形(cedere)v.i たわんだ、引かれた 「動詞句」
 ho toccato オ・トッカート 1 単現・完了形(toccare)v.t 触れた 「動詞句」
 il ventre liscio イル・ヴェントレ・リッショ n.m 滑らかな腹に 「目的語」
 déll'impugnatura デ・リンプ・グナトゥーラ adj. 銃把の 「形容詞句」
 e エ conj. そして
 è エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
 強調構文
 là, ラー adv. そこ 「補語」
 in quel rumore イン・ケル・ルモーレ adv. その物音の中で 「副詞句」
 secco セッコ adj. 乾いた 「形容詞」
 e エ conj. そして
 insieme assordante, インシェーメ・アッソルダンテ
 adj. 同時に耳をつんざくような 「形容詞句」
 che ケ conj. ~ということは 「主語」
 tutto トゥット pron 全てが 「主語」
 è cominciato. エ・コミンチャート 3 単現・完了形(cominciare)v.i 始まった 「動詞句」

僕は汗と太陽を振り払った。

Mi sono scrollato via il sudore ed il sole.

「動詞句」「副詞句」「目的語」

Mi sono scrollato ミ・ソーノ・スクロラート 1 単現・完了形(scrollarsi)
 v.pr 激しく体を揺すった 「動詞句」
 via ヴァイア adv. 向こうに 「副詞」
 il sudore ed il sole. イル・ストーレ・エト・イル・ソーレ n.m 汗と太陽を 「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

僕は理解した。昼間の均衡を、僕が幸せだった浜辺の特別な静寂を破壊してしまったのだ。

Ho capito che avevo distrutto l'equilibrio del giorno. lo straordinario silenzio di una spiaggia dove ero stato felice.

「動詞句」「目的語」

Ho capito オ・カピート 1 単現・完了形(capire)v.t 理解した

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

avevo distrutto アヴェ・エウ・オ・ディストルト 1 単半・完了形(distruggere)

v.t 破壊した

「動詞句」

l'equilibrio レクイリーブリオ n.m 均衡を

「目的語」

del giorno, デル・ジヨルノ adj. 昼間の

「形容詞句」

lo straordinario silenzio ロ・ストラオルディナリオ・シレンツィオ n.m 特別な静寂を

「目的語」

di una spiaggia ディ・イ・スピアッジャ adj. 浜辺の

「形容詞句」

dove トヴェ adv. そこで～する

「形容詞節」

ero stato エロ・スタート 1 単半・完了形(essere)

v.i ～だった

「動詞句」

felice. フェリチェ adj. 幸せな、幸福な

「補語」

それから僕は動かなくなった体に 4 発発射した。弾丸は痕跡を残さず体に吸い込まれた。

Allora ho sparato quattro volte su un corpo inerte dove i proiettili si insaccavano senza lasciare traccia.

「副詞」「動詞句」「副詞句」

Allora アッローラ adv. それから

「副詞」

ho sparato オ・スパラート 1 単現・完了形(sparare)v.t 発射した

「動詞句」

quattro volte クワトロ・ヴォルテ pl(volta).n.f 4 回

「副詞句」

su un corpo ス・ウン・コルポ 体の上に

「副詞句」

inerte イネルテ adj. 動かない、不動の

「形容詞」

dove トヴェ adv. そこで～する

「副詞節」

i proiettili イ・プロエッティリ pl(proiettile).n.m 弾丸は

「主語」

si insaccavano シ・インサッカーヴァノ 3 複半(insaccarsi)

v.pr(狭い所に) すし詰めになった

「動詞句」

senza lasciare センツァ・ラッシャーレ adv. 残さずに

「副詞句」

traccia. トラッチャ n.f 痕跡を

「目的語」

PARTE PRIMA 第1部

そしてそれは僕が不幸の扉を叩いた、4回のかん高い打撃音のようだった。

E furono cóme quattro cólpi sécchi che battevo sulla pòrta délla sventura.

E 「動詞」「補語」

E エ conj. そして

furono フーノ 3 複遠(essere)v.i ~だった

「動詞」

cóme コーメ conj. ~のような

「補語」

quattro cólpi クワットロ・コルピ° pl(cólpo).n.m 4 打 (打撃音)、4 発

「目的語」

sécchi セッキ adj(sécco).pl 容赦のない、乾いた

「形容詞」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

battevo バッテヴァ° 3 単半(battere)v.i 叩いた

「動詞」

sulla pòrta スラ・ポールタ adv. ドアを

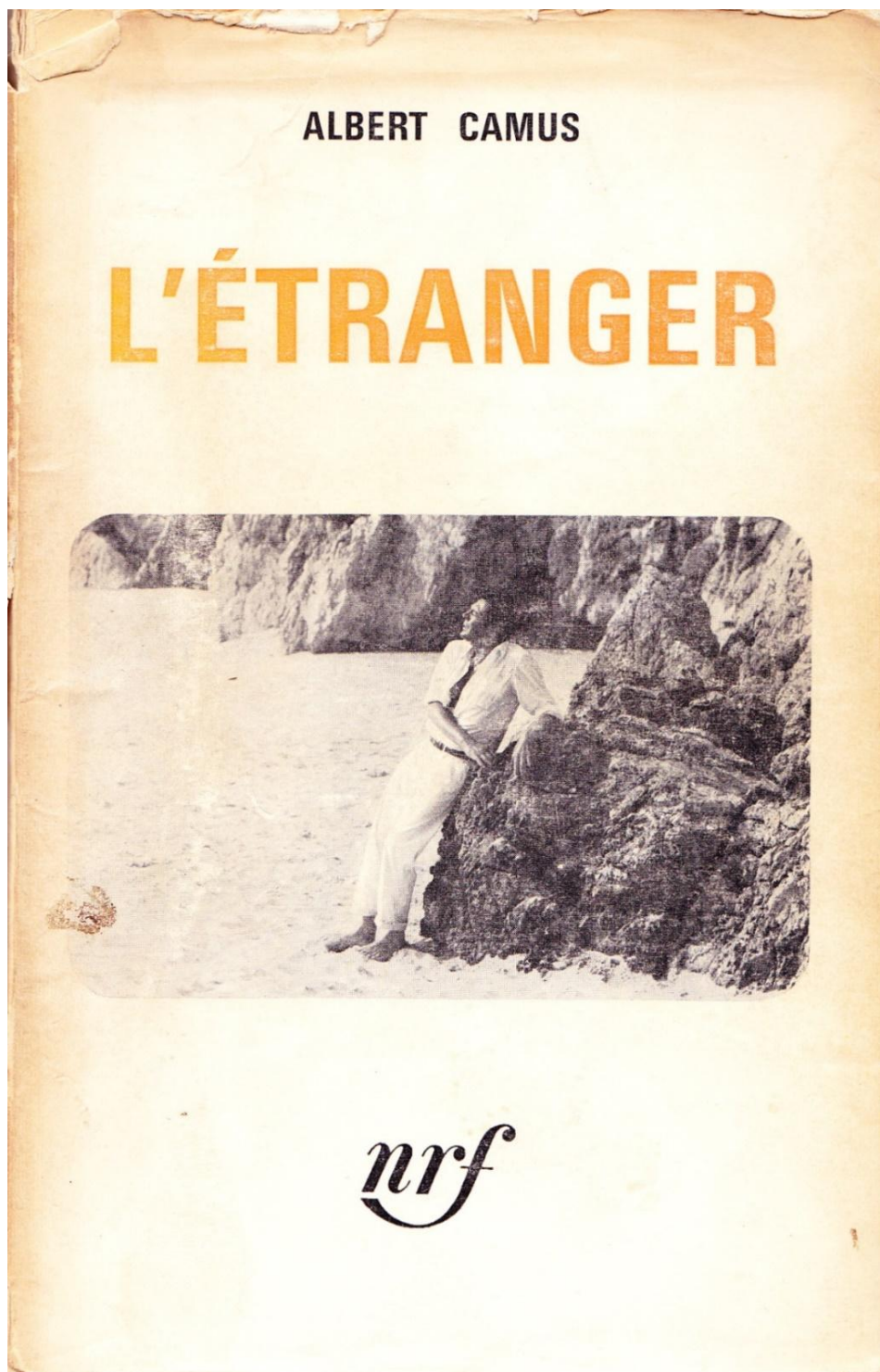
「間接目的語」

délla sventura. デラ・ズヴァントゥーラ

adj. 不幸の

「形容詞句」

ALBERT CAMUS
LO STRANIERO
PARTE SECONDA 第2部



1.

逮捕されると、僕はすぐに何度も尋問された。

Sùbito dópo il mio arresto, sono stato interrogato parecchie vòlte.

「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」

Sùbito スービト adv. すぐに

「副詞」

dópo トーポ prep (時間) ~の後で

「副詞句」

il mio arresto, イル・ミー・オ・アレスト n.m 僕の逮捕

「目的語」

sono stato interrogato ソーノ・スタート・インテロガート 1 単現・完了形・受動(interrogare)

v.t 尋問された

「動詞句」

parecchie vòlte. パレッキエ・ウォルテ pl(vòlta).n.f 何度も

「副詞句」

parecchie パレッキエ adj(parecchio).f.pl かなり多くの vòlte ウォルテ pl(vòlta).n.f 回数

しかし、それは人定尋問だったので、あまり時間はかからなかった。

Ma si trattava di interrogatori di identità che non hanno durato molto.

Ma 「動詞句」 「補語」 「主語」 「動詞句」 「副詞」

Ma マ conj. しかし

si trattava シ・トラタバ 非人称・3 単半(si tratta dei...)v.pr ~のことだった

「動詞句」

di interrogatori デイ・インテロガートリ adj.(interrogatorio) 尋問の

「補語」

di identità デイ・イデンチタ adj. 身元の

「形容詞句」

che ケ pron (主語) それは

「主語」

non hanno durato ノン・アンノ・トゥラート 3 複現・完了形・否定(durare)v.i 続かなかった 「動詞句」

mólto. モルト adv. (否定文で) あまり長く~ない

「副詞」

最初警察では、誰も僕の事件に興味を持たないように思われた。

La prima vòlta, al Commissariato, sembrava che nessuno si interessasse alla mia faccènda.

「副詞句」, 「動詞」 「主語」

La prima vòlta, ラ・プ・リマ・ウォルタ adv. 最初

「副詞句」

al Commissariato, アル・コミッサリアート adv. 警察では

「副詞句」

sembrava センブラヴァ 3 単半(sembrare)v.i ~のように思われた、~のようだった 「動詞」

che ケ conj. ~ということは

「主語」

nessuno ネスーノ pron 誰も~ない

「主語」

si interessasse シ・インテレッサッセ 接・3 単半(interessarsi)v.pr 興味を持つ

「動詞句」

alla mia faccènda. アッラ・ミー・ア・ファチェンダ adv. 僕の事件に

「間接目的語」

ところが一週間後、予審判事が物珍しそうに僕を見つめた。

Otto giorni dopo, invece, il giudice istruttore mi ha guardato con curiosità.

「副詞句」, 「主語」 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」

Otto giorni dopo, オット・ジョルニ・ドーポ adv. 8日後、一週間後 「副詞句」

invece, インヴェーチェ adv. ところが、一転して 「副詞」

il giudice istruttore イルジューテ・イチェ・イストルトルレ n.m 予審判事は 「主語」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

ha guardato ア・グワルダート 3 単現・完了形(guardare)v.t 見つめた 「動詞句」

con curiosità. コン・クリオスタ adv. 物珍しそうに、好奇の目で 「副詞句」

だがまずは名前と住所、職業、生年月日それに出生地を聞かされただけだった。

Ma per cominciare mi ha chiesto soltanto il nome e indirizzo, la professione, la data e il luogo di nascita.

Ma 「副詞句」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」

Ma マ conj. しかし、だが

per cominciare ペル・コンチャーレ adv. まずは、最初に 「副詞句」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた 「動詞句」
受動態に翻訳する

soltanto ソルタント adv. ーだけ 「副詞」

il nome イル・ノメ n.m 名前 「直接目的語」

e エ conj. そして

indirizzo, インディリツツォ n.m 住所 「直接目的語」

la professione, ラ・プロフェッショネ n.f 職業 「直接目的語」

la data ラ・ダータ n.f 生年月日 「直接目的語」

e エ conj. そして

il luogo イル・ルオ・コ n.m 場所 「直接目的語」

di nascita. ディ・ナツタ adj. 誕生の 「形容詞句」

それから彼は、もう弁護士は選んだのかと尋ねた。

Poi ha voluto sapere se mi ero scelto un avvocato.

「副詞」 「動詞句」 「目的語」

Poi ポーイ adv. それから 「副詞」

ha voluto sapere ア・ヴォルト・サペーレ 3 単現・完了形・願望(volére+不定詞 sapere)

v.t 知りたがった、尋ねた 「動詞句」

se セ conj. ーかどうかを 「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

mi ero scelto ミ・エロ・シェルト 1 単半・完了形(scéglisersi)

v.pr (自分のために) 選んだ

「動詞句」

再帰動詞の複合時制では助動詞は *essere* が使用される

un avvocato. アヴヴァート n.m 弁護士を

「目的語」

僕はまだ選んでないと答えた。そして、弁護士は絶対につける必要があるのかと彼に尋ねた。

Ho detto di no e gli ho chiesto se era assolutamente necessario averne uno.

「動詞句」「目的語」 e 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

di no ディ・ノ n. いいえということを

「目的語」

e エ conj. そして

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

ho chiesto オ・キエスト 1 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた

「動詞句」

se セ conj. へかどうかを

「直接目的語」

era エ 3 単半・時制の一致(ser)v.i へである

「動詞」

assolutamente necessario アツツルメンテ・ネサリオ adj. 絶対に必要な

「補語」

averne アヴェルネ 不定詞.n 持つことは

「主語」

uno. ウノ pron 弁護士を

「目的語」

「どうしてですか？」と、彼は僕に訊いた。僕の事件は非常に単純だと思ふと彼に答えた。

“Perché?” mi ha detto. Gli ho risposto che trovavo la mia faccenda molto semplice.

《「応答」》, 「間接目的語」「動詞句」 | 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

“Perché?” ペルケ adv. 「どうしてですか？」

「応答」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha detto. ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

Gli リ pron 彼に

「間接目的語」

ho risposto オ・リスポスト 1 単現・完了形(rispondere)v.t (質問に) 答えた

「動詞句」

che ケ conj. へということを

「直接目的語」

trovavo トロヴァーヴォ 1 単半・時制の一致(trovare)v.t へと思っている

「動詞」

la mia faccenda ラ・ミー・ファチェンダ n.f 僕の事件は

「目的語」

molto semplice. モルト・センプリチェ adj. 非常に単純な

「補語」

彼は微笑んで言った：「そうかもしれません。いずれにしても、法律はそうなっています。もしあなたが弁護士を選ばないのなら、こちらで国選弁護士を指名致します」

Ha sorriso dicendo: “Anche questa è un’opinione. In ogni modo la legge è fatta così. Se lei non si sceglierà un avvocato, ne designeremo noi uno d’ufficio.”

「動詞句」「副詞句」：

《「主語」「動詞」「補語」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

「副詞節」, 「副詞」「動詞」「主語」「目的語」》

Ha sorriso ア・ソリーゾ 3 単現・完了形(sorridere)v.i 微笑んだ 「動詞句」
dicendo: ディェント 現在分詞・同時 adv. 言いながら 「副詞句」
“Anche questa アンケ・クェスタ pron それも 「主語」
è エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
un’opinione. ウン・オピニオーネ n.f 一つの意見 「補語」
In ogni modo イン・オニ・モト adv. いずれにしても、どうあろうと 「副詞句」
la legge ラ・レッジェ n.f 法律は 「主語」
è fatta エ・ファッタ 3 単現・受動(fare)v.t 作られている 「動詞句」
così. コシ adv. そのように 「副詞句」
Se セ conj. (条件) もし~ならば 「副詞節」
lei レイ pron あなたが 「主語」
non si sceglierà ノン・シ・シェリエラ 3 単末・否定(scegliersi)v.t 選ばない 「動詞句」
un avvocato, ウン・アヴァッオカート n.m 弁護士を 「目的語」
ne ネ pron それについて 「副詞」
designeremo デジニエレモ 1 複末(designare)v.t 指名する 「動詞」
noi ノイ pron 私たちが 「主語」
uno ウノ pron 一人 「目的語」
d’ufficio.” ド・ウッフィーチョ adj. 職務上の 「形容詞句」
uno d’ufficio ウノ・ド・ウッフィーチョ pron 国選弁護人を

僕は、司法当局がこんな細々した事まで気遣いをしてくれるのはとても便利だと思った。

Ho trovato che era molto comodo che la giustizia si occupasse di questi particolari.

「動詞句」「目的語」

Ho trovato オ・トロヴァート 1 単現・完了形(trovare)v.t ~と思った 「動詞句」
che ケ conj. ~ということ を 「目的語」
era エ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ~である 「動詞」
molto comodo モルト・コモト adj. 便利な 「補語」
che ケ conj. ~ことは 「主語」
la giustizia ラ・ジユスティーツィア n.f 司法当局が 「主語」

PARTE SECONDA 第2部

si occupasse シ・オハッセ 接・3 単半・時制の一致(occuparsi)

v.pr (di に) 気づかう

「動詞句」

di questi particolari. ディ・クェスティ・パルチコラーリ

adv. こんな細々したことに

「間接目的語」

僕が彼にそう言うと、彼は僕に同意して、法律は良く出来ていると結論付けた。

Gliel'ho détto, lui mi ha dato ragione e ha concluso che la legge era fatta bene.

「目的語」「動詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

e 「動詞句」「目的語」

Gliel' リエル pron 彼にそのことを

「目的語」

ho détto, オ・テット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

lui ルーイ pron 彼は

「主語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha dato ア・ダート 3 単現・完了形(dare)v.t 与えた

「動詞句」

dare ragione a qlcu. 「人の言い分を認める、同意する」

ragione ラジオーネ n.f (当然の) 言い分を

「直接目的語」

e エ conj. そして

ha concluso ア・コンクル 3 単現・完了形(concludere)v.t 結論付けた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

la legge ラ・レッジエ n.f 法律は

「主語」

era fatta エラ・ファッタ 3 単現・受動(fare)v.t 作られている、出来ている

「動詞句」

bene. ベーネ adv. よく、うまく

「副詞」

始めのうち、僕は彼の事を真剣に考えていなかった。

Da principio non l'ho preso sul serio.

「副詞句」「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」

Da タ prep (時間・継続) ～の間

「副詞句」

principio プリンシーピオ n.m 初め

「目的語」

non ...ho preso ノン...オ・プレ 1 単現・完了形・否定(prendere)v.t 考えなかった

「動詞句」

l' ロ pron 彼を

「目的語」

sul serio. スル・セリオ adv. 真剣に

「副詞句」

彼はカーテンを巡らせた部屋に僕を迎え入れた；事務机の上にはランプが一つだけあって、肘掛椅子を照らしていた。彼はそこに僕を座らせたが、彼自身は暗がりに留まっていた。

Mi ha ricevuto in una stanza con molte tende; c'era una sola lampada, sulla sua scrivania, che illuminava la poltrona dove mi ha fatto sedere mentre lui restava nell'ombra.

「目的語」「動詞句」「副詞句」；「動詞句」「主語」「副詞句」「主語」

「副詞」「目的語」「動詞句」 mentre 「主語」「動詞」「副詞句」

Mi ミ pron 僕を 「目的語」
 ha ricevuto ア・リェヴァート 3 単現・完了形(ricévere)v.t 迎えた 「動詞句」
 in una stanza イン・ウナ・スタンツァ adv. 部屋に 「副詞句」
 con molte tende; コン・モルテ・テンデ adv. 沢山のカーテンのある 「副詞句」
 c'era チェラ 3 単半・存在(esseerci)v.i 〜があった 「動詞句」
 una sola lampada, ウナ・ソラ・ランパ・ダ n.f ランプが一つだけ 「主語」
 sulla sua scrivania, スラ・スア・スクリヴァニア adv. 事務机の上に 「副詞句」
 che ケ pron (lampada の代用) それが〜する 「形容詞節」
 illuminava イルミナヴァ 3 単半・時制の一致(illuminare)v.t 照らす 「動詞」
 la poltrona ラ・ポルトロナ n.f 肘掛椅子を 「目的語」
 dove ドーヴァ adv. そこに〜する 「副詞」
 mi ミ pron 僕を 「目的語」
 ha fatto sedere ア・ファット・セデーレ 3 単現・完了形・使役(fare+不定詞 sedere)
 v.i 座らせた 「動詞句」
 mentre メントレ conj. その一方で
 lui ルーイ pron 彼は 「主語」
 restava レスターヴァ 3 単半(restare)v.i 留まっていた 「動詞」
 nell'ombra. ネロンブラ adv. 暗がりに 「副詞句」

似たような記述を本で読んだことがあったので、僕にはすべてがゲームのように思われた。

Avevo già letto una descrizione analoga su dei libri e tutto mi è parso un gioco.

「動詞句」「目的語」「副詞句」 e 「主語」「間接目的語」「動詞句」「補語」

Avevo già letto アヴェーヴァ・エ・ジヤ・レット 1 単半・完了形(lèggere)
 v.t 以前に読んだことがあった 「動詞句」
 una descrizione ウナ・デスクリチオーネ n.f 記述を 「目的語」
 analoga アナーカ adj(anàlogo).f 似ている 「形容詞」
 su dei libri ス・デイ・リーブリ adv. 本で 「副詞句」
 e エ conj. そして
 tutto トゥット pron 全てが 「主語」
 mi ミ pron 僕にとって 「間接目的語」

PARTE SECONDA 第2部

è parso エ・パーソ 3 単現・完了形(parére)v.i 〜に見えた

「動詞句」

un giòco. ウン・ジョーコ n.m ゲーム

「補語」

話の後で、僕は逆に彼をよく観察して、繊細な顔立ちで、窪んだ青い目に灰色の長い口髭とほとんど白くなった豊かな髪をした人物だと分かった。

Dópo la nostra conversazióne, invéce, l'ho osservato bène e ho visto un uòmo dai lineamenti fini, dagli òcchi azzurri scavati, móltó alto, con lunghi baffi grigi e capélli abbondanti quasi bianchi.

「副詞句」, 「副詞」「目的語」「主語」「動詞句」「副詞」 e 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Dópo トーポ prep (時間) 〜の後で

「副詞句」

la nostra conversazióne, ラ・ノストラ・コンヴァルサツォーネ n.f 僕たちの会話

「目的語」

invéce, インヴェーチェ adv. 反対に、逆に

「副詞」

l' 〇 pron 彼を

「目的語」

ho osservato オ・オッセルヴァート 1 単現・完了形(osservare)v.t 観察した、じっと見た

「動詞句」

bène ベーネ adv. よく

「副詞」

e エ conj. そして

ho visto オ・ヴィスト 1 単現・完了形(vedere)v.t 見えた、分かった

「動詞句」

un uòmo ウン・ウオーモ n.m 人、人物

「目的語」

dai ダイ prep(da+i) (特徴) をもった

「副詞句」

lineamenti fini, リネアメンティ・フィニ pl(lineament).n.m 繊細な顔立ち

「目的語」

dagli òcchi azzurri scavati, ダリ・オッキ・アズーリ・スカヴァーティ adv. 窪んだ青い目をした

「副詞句」

móltó alto, モルト・アルト adj. かなり長身の

「形容詞句」

con lunghi baffi grigi コン・ルンギ・バッフィ・グリージ adv. 灰色の長い口髭の

「副詞句」

e エ conj. そして

capélli abbondanti カペッリ・アッボンダンティ pl(capéll).n.m 豊かな髪をした

「副詞句」

quasi bianchi. クワジ・ビアンキ adj. ほとんど白い

「形容詞句」

彼は、口を引きつらせる少し神経性の痙攣があるものの、非常に理性的で好感が持てる人間だとさえ思われた。

Mi è sembrato móltó ragiónevole, e in fóndo anche simpatico, nonostante cèrti tic nervósi che gli facevano tirare la bócca.

「間接目的語」「動詞句」「補語」, e 「補語」「副詞句」

Mi ミ pron 僕には

「間接目的語」

è sembrato エ・センブラート 3 単現・完了形(sembrare)v.i 〜のように見えた

「動詞句」

móltó ragiónevole, モルト・ラジヨネヴァレ adj. 非常に理性的な

「補語」

e エ conj. そして

PARTE SECONDA 第2部

in fóndo イン・フォント° adv. 結局	「副詞句」
anche simpatico, アンケ・シンパ°チコ adv. 好感の持てるとさえ	「補語」
nonostante ノンスタネ prep. ～とはいえ、～にもかかわらず	「副詞句」
cèrti tic nervósi チェルティ・チック・ネルヴァ°オーシ pl(tic).n.m 少し神経的な痙攣	「目的語」
che ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
gli リ pron 彼に	「間接目的語」
facevano ファチェヴァ°アノ 3 複半・使役・時制の一致(fare)	
v.t. ～させる	「動詞」
tirare チラーレ 不定詞・gli の動作 v.t. 引き締める	「補語」
la bócca. ラ・ボッカ n.f. 口を	「目的語」

帰り際に、僕は彼に手を差し出しそうにさえなったが、すんでの所で、自分は人を殺していたことを思い出した。

Uscendo stavo persino per tendergli la mano, ma mi sono ricordato in tèmpo che avevo ucciso un uòmo.

	「副詞」「動詞句」「目的語」,ma「副詞句」「動詞句」「目的語」
Uscendo ウシェント° ジェルンディオ(uscire)adv. 帰る時に	「副詞」
stavo persino per tendergli スターヴァ°ォ・ヘルシーノ・ヘル・テンデ°ルリ 1 単半・直前	
(stare per+不定詞 tendergli+ persino)v.t. 彼に差し出しそうにさえなった	「動詞句」
la mano, ラ・マーノ n.f. 手を	「目的語」
ma マ conj. しかし	
mi sono ricordato ミ・ツノ・リコルダ°ート 1 単現・完了形(ricordarsi)v.pr. 思い出した	「動詞句」
in tèmpo イン・テンポ° adv. 間に合って、間一髪で、寸前で	「副詞句」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
avevo ucciso アヴ°ェヴァ°ォ・ウチ°ゾ 1 単半・完了形(uccidere)v.t. 殺していた	「動詞句」
un uòmo. ウン・ウオーモ n.m. 人を	「目的語」

翌日、弁護士が拘置所に僕を訪ねてやって来た。

Il giorno dópo, un avvocato è venuto da me in prigione.

	「副詞句」,「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」
Il giorno dópo, イル・ジ°オルノ・ドーポ° n.m. 翌日	「副詞句」
un avvocato ウン・アヴヴァ°ォート n.m. 弁護士が	「主語」
è venuto エ°ヴェヌート 3 単現・完了形(venire)v.i. やって来た	「動詞句」
da me ダ°・メ adv. 僕の所へ	「間接目的語」
in prigione. イン・プリジ°オーネ adv. 拘置所に	「副詞句」

彼は小柄の小太りでかなり若く、髪は丁寧に撫でつけられていた。

Era piccolo e grassoccio, abbastanza giovane, i capelli impomatati con cura.

「動詞」「補語」, 「主語」「補語」

Era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

piccolo ピッコロ adj. 小さな

「補語」

e エ conj. そして

grassoccio, グラッソーチョ adj. 小太りの

「補語」

abbastanza giovane, アッバスタンツァ・ジョーヴァネ adj. かなり若い

「補語」

i capelli イ・カペッリ pl(capello).n.m 髪は

「主語」

impomatati インポ・マターティ adj(impomatato).pl 髪をてかてかにした

「補語」

con cura. コン・クーラ adv. (手段) 入念に、丁寧に

「副詞句」

この暑さにも拘わらず (僕は上着を脱いでいた)、彼は黒っぽい背広に、ウィングカラーと白と黒の縞模様の変ったネクタイという恰好だった。

Malgrado il caldo (io ero in maniche di camicia) aveva un vestito scuro, un colletto inamidato e una strana cravatta a striscioni bianchi e neri.

「副詞句」(「主語」「動詞」「補語」)「動詞」「目的語」

Malgrado マルグァート prep ~にも拘わらず

「副詞句」

il caldo イル・カルト n.m 暑さ

「目的語」

(io イオ pron 僕は

「主語」

ero エロ 1 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

in maniche di camicia) イン・マニケ・ディ・カミチャ adv. 上着を脱いだ

「補語」

aveva アヴェーヴァ 3 単半(avere)v.t (特徴を) していた

「動詞」

un vestito scuro, ウン・ヴェストイト・スクロ n.m 黒い背広を

「目的語」

un colletto inamidato ウン・コルレット・イナミダート n.m 糊のきいた襟

「目的語」

e エ conj. そして

una strana cravatta ウナ・ストラナ・クラヴァッタ n.f 奇妙なネクタイ

「目的語」

a striscioni ア・ストリシオーニ adv. 横断幕のある、縞模様の

「形容詞句」

bianchi e neri. ビアンキ・エ・ネリ adj.pl 白と黒の

「形容詞句」

ウィングカラー

襟全体は立ち襟で首を覆い、襟先だけは小さく折られたシャツのこと。



PARTE SECONDA 第2部

彼は小脇に抱えていた書類カバンをベッドの上に置き、自己紹介した。それから、僕の事件の書類はもう確認したと僕に言った。

Ha posato sul letto la cartella che teneva sotto il braccio, si è presentato e mi ha detto che aveva studiato il mio caso.

「動詞句」「副詞句」「目的語」, 「動詞句」 e 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Ha posato ア・ポザート 3 単現・完了形(posare)v.t 置いた 「動詞句」

sul letto スル・レット adv. ベッドの上に 「副詞句」

la cartella ラ・カルテッラ n.f 書類入れを、ブリーフケース 「目的語」

che ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

teneva テネヴァ 3 単半(tenere)v.t 持っていた 「動詞」

sotto ソット prep ~の下に 「副詞句」

il braccio, イル・ブラッチョ n.m 腕 「目的語」

si è presentato シ・エ・プレゼンタート 3 単現・完了形(presentarsi)v.pr 自己紹介した 「動詞句」

e エ conj. そして

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. ~ということを 「直接目的語」

aveva studiato アヴェヴァ・ア・ストゥディアート 3 単半・完了形(studiare)

v.t 確認した 「動詞句」

il mio caso. イル・ミオ・カーゾ n.m 僕の事件を 「目的語」

「これは難しい事件だが、僕が彼を信頼するならきっと成功だろう」

Era una faccenda delicata, ma non dubitava del successo, se avessi avuto fiducia in lui.

《「動詞」「補語」, ma 「動詞句」「間接目的語」「副詞節」》

Era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ~である 「動詞」

una faccenda ウナ・ファチェンダ n.f 事件 「補語」

delicata, デリカータ adj(delicato).f 難しい、微妙な 「形容詞」

ma マ conj. しかし

non dubitava ノン・ドゥビターヴァ 3 単半・否定・時制の一致(dubitare)

v.i (di を) 疑わない 「動詞句」

del successo, デル・スチェッソ adv. 成功を、勝利を 「間接目的語」

se セ conj. (仮定) もし~ならば 「副詞節」

avessi avuto アヴェッソ・アヴァート 接・1 単半・完了形(avere)v.t ~を持った 「動詞句」

fiducia フイドゥーチャ n.f 信頼 「目的語」

in lui. イン・ルーイ adv. 彼に 「副詞句」

僕が礼を述べると、彼は言った：「問題の核心に入りましょう」

L'ho ringraziato e mi ha detto: "Entriamo nel vivo della questione."

「目的語」「動詞句」 e 「間接目的語」「動詞句」：《「動詞」「間接目的語」》

L' \square pron 彼に

「目的語」

ho ringraziato オ・リングラチアト 1 単現・完了形(ringraziare)v.t 礼を述べた

「動詞句」

e E conj. そして

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha detto: ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

"Entriamo エントリアモ 命・1 複現・勧誘(entrare)v.i 入りましょう

「動詞」

nel vivo ネル・ヴィーヴォ adv. 核心に

「間接目的語」

della questione." デラ・クェスチオーネ adj. 問題の

「形容詞句」

彼はベッドに腰掛けて、当局は既に僕の私生活の情報を収集したと僕に教えてくれた。

Si è seduto sul letto e mi ha spiegato che erano state assunte informazioni sulla mia vita privata.

「動詞句」「副詞句」 e 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Si è seduto シ・エ・セドゥート 3 単現・完了形(sedersi)v.pr 腰掛けた、座った

「動詞句」

sul letto スル・レット adv. ベッドの上に

「副詞句」

e E conj. そして

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha spiegato ア・スピエガート 3 単現・完了形(spiegare)v.t 教えた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということ

「直接目的語」

erano state assunte エラーノ・スターテ・アスンテ 3 複半・完了形.pl・受動(assumere)

v.t 集められた

「動詞句」

informazioni インフォルマツィオーニ pl(informazione).n.f 情報が

「主語」

sulla スラ prep (話題) ～についての

「副詞句」

mia vita privata. ミア・ヴィーラ・プリヴァータ n.f 僕の私生活

「目的語」

母さんが最近養老院で死んだことも知られた。

Si era saputo che mia madre era morta recentemente all'ospizio.

「動詞句」「主語」

Si era saputo シ・エラ・サプート 3 単半・受動(sapersi)v.pr 知られた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということが

「主語」

mia madre ミア・マドレ n.f 母さんが

「主語」

era morta エラ・モルタ 3 単半・完了形(morire)v.i 死んだ

「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

recentemente レチェンテメンテ adv. 最近
all'ospizio. アロスピーツィオ adv. 養老院で

「副詞」

「副詞句」

そこで、マレンゴで調査を行った。

Allóra avevano fatto un'inchiesta a Marengo.

「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Allóra アッローラ adv. それで

「副詞」

avevano fatto アヴェアノ・ファット 3 複半・完了形(fare)v.t 行なった

「動詞句」

un'inchiesta ウンインキエスタ n.f 調査を

「目的語」

a Marengo. ア・マレンゴ adv. (場所) マレンゴで

「副詞句」

予審判事たちは、僕が母さんの葬儀の日に冷酷さの証拠を示したことを知った。

Gli istruttori avevano sentito che “avevo dato prova di insensibilità” il giorno dei funerali.

「主語」「動詞句」「目的語」

Gli istruttori リ・イストゥルットーリ pl(istruttore).n.m(法) 予審判事は

「主語」

avevano sentito アヴェウァノ・センチト 3 複半・完了形(sentire)v.t ～を知った

「動詞句」

che ケ conj. ～ということ

「目的語」

“avevo dato アヴェウ・ダート 1 単半・完了形(dare)v.t 与えた、示した

「動詞句」

prova プローヴァ n.f 証拠を

「目的語」

di insensibilità” ティ・インセンシビリタ adj. 無感動の、無関心の

「形容詞句」

il giorno イル・ジヨルノ n.m その日に

「副詞句」

dei funerali. ティ・フネラーリ adj. 葬儀の

「形容詞句」

「分かって頂けますね」と、弁護士が僕に言った。「あなたにこんなことを訊くのは少し気が引けるのですが」

“Lèi capisce,” mi ha detto l'avvocato, “è un po' imbarazzante per me domandarle questo.

《「呼びかけ」》, 「間接目的語」「動詞句」「主語」, 《「動詞」「補語」「主語」》

“Lèi レイ pron あなたは

「呼びかけ」

capisce,” カピシェ 3 単現(capire)v.t 分かる

「動詞」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

l'avvocato, ラヴァコート n.m 弁護士が

「主語」

“è エ 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

un po' imbarazzante ウン・ポ・インバラザンテ adj. 少し困惑する

「補語」

per me ペル・メ adv. 私にとって

「副詞句」

domandarle トマンダール・レ 不定詞(domandare+le)v.t あなたに尋ねることは

「主語」

PARTE SECONDA 第2部

quésto. ケスト pron このことを

「目的語」

しかし、それは非常に重要なのです。もし私が何も反論できなければ、検察にとって強力な論拠になってしまう。

Ma è mólto importante. Sarà un argomento mólto fòrte per l'accusa, se io non trovo niènte da ribattere.”

Ma 「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」, 「副詞節」

Ma マ conj. しかし

è エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

mólto importante. モルト・インポルタンテ adj. 非常に重要な

「補語」

Sarà サラ 3 単未(essere)v.i ~になるだろう

「動詞」

un argomento ウン・アルゴメント n.m 論拠

「補語」

mólto fòrte モルト・フォルテ adj. 強力な

「形容詞句」

per l'accusa, ヘル・アカーザ adv. 検察にとって

「副詞句」

se セ conj. もし~ならば

「副詞節」

io イオ pron 私が

「主語」

non trovo ノン・トロヴァ 1 単現・否定(trovare)v.t 見つけられない

「動詞句」

niènte ニエンテ pron 何も~ない

「目的語」

da ribattere.” ダ・リバッテレ 不定詞・目的 adj. 反論すべき

「形容詞句」

彼は僕の協力を望んでいた。あの日は辛かったかと僕に尋ねた。

Voleva che lo aiutassi. Mi ha chiesto se quel giorno avevo sofferto.

「動詞」「目的語」 | 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Voleva ヴォレーヴァ 3 単半(volére)v.t 望んでいた

「動詞」

che ケ conj. ~ということ

「目的語」

lo ロ pron 彼を、彼に

「目的語」

aiutassi. アイタッシ 接・1 単半(aiutare)v.t 手伝う、協力する

「動詞」

Mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた

「動詞句」

se セ conj. ~かどうかということ

「直接目的語」

quel giorno ケル・ジオルノ adv. あの日は

「副詞」

avevo sofferto. アヴェーヴァ・ソフエルト 1 単半・完了形(soffrire)

v.i 苦しんでいた、辛かった

「動詞句」

この質問を聞いて僕はすごく驚いた。そして、もし僕が誰かにこの質問をしなければならなかったとしたら、とても決まづくなっただろうと思った。

Questa domanda mi ha molto stupito e mi è parso che sarei stato molto imbarazzato se avessi dovuto farla io a un altro.

「主語」「目的語」「動詞句」 e 「間接目的語」「動詞句」「主語」
 Questa domanda ケスタ・ドマンドァ n.f この質問は 「主語」
 mi ミ pron 僕を 「目的語」
 ha molto stupito ア・モルト・ストゥピト 3 単現・完了形(stupire)v.t すごく驚かせた 「動詞句」
 e エ conj. そして
 mi ミ pron 僕にとっては 「間接目的語」
 è parso エ・パルソ 3 単現・完了形(parere)v.i どのように思われた 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということは 「主語」
 sarei stato サイ・スタート 条・1 単現・完了形・変化(essere)v.i ～になっただろう 「動詞句」
 molto imbarazzato モルト・インバ・ラッツァート adj. とても気まずい 「補語」
 se セ conj. もし～ならば 「副詞節」
 avessi dovuto farla アヴェッシ・ドヴート・ファール・ラ 接・1 単半・完了形・必要(dovere+不定詞)
 v.t それをしなければならなかった 「動詞句」
 io イオ pron 僕が 「主語」
 a un altro. ア・ウン・アルトロ adv. 誰かに 「間接目的語」

それでも僕は、自分自身に問いかける習慣がありませんので、それを話すのは難しいと彼に答えた。

Comunque gli ho risposto che avevo un po' perduto l'abitudine di interrogare me stesso, che mi era difficile informarlo.

「副詞」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」, 「直接目的語」
 Comunque コムンケ conj. それでも 「副詞」
 gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 ho risposto オ・リスポスト 1 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 avevo un po' perduto アヴェウ・ウ・ポ・ペルトゥート 1 単半・完了形(perdere)
 v.t 少し失った 「動詞句」
 l'abitudine ラビトゥーディネ n.f 習慣を 「目的語」
 di interrogare me stesso, ティ・インテロガ・レ・メ・ステッソ
 adj. (同格) 自分自身に問いかけるという 「形容詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 mi ミ pron 僕には 「間接目的語」

PARTE SECONDA 第2部

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i. ～である 「動詞」
 difficile ディッフィチレ adj. 難しい、困難な 「補語」
 informarlo. インフォルマル・ロ 不定詞(informare+lo)n. それを話すことは 「主語」

もちろん僕は母さんをととても愛していた。しかしこれは何の意味も無い。

Naturalmente volevo bene alla mamma, ma questo non significava nulla.

「副詞」「動詞」「副詞」「目的語」, ma 「主語」「動詞句」「目的語」
 Naturalmente ナトゥラルメンテ adv. もちろん、当然 「副詞」
 volevo ヴォレヴォ 1 単半(volere)v.t. 愛していた 「動詞」
 bene ベーネ adv. ととても 「副詞」
 alla mamma, アッ・マンマ n.f. 母さんを 「目的語」
 ma マ conj. しかし
 questo ケスト pron. これは 「主語」
 non significava ノン・シグニフィカヴァ 3 単半・否定・時制の一致(significare)
 v.i. 意味しない 「動詞句」
 nulla. ヌッラ pron. 何も～ない 「目的語」

普通の人なら誰だって、彼に言った、一度くらいは愛する人の死を望んだことがあるはずだ。

Tutte le persone normali, gli ho detto, hanno una volta o l'altro desiderato la morte di coloro che amano.

「主語」, 「間接目的語」「動詞句」, 「動詞句」「副詞句」「目的語」
 Tutte le persone トゥッテ・レ・ペルソネ pl(persone).n.f. 全ての人は 「主語」
 normali, ノルマーリ adj(normale).pl. ふつうの、通常の 「形容詞」
 gli リ pron. 彼に 「間接目的語」
 ho detto, オ・テット 1 単現・完了形(dire)v.t. 言った 「動詞句」
 hanno ...desiderato アンノ...デシテラート 3 複現・完了形(desiderare)
 v.t. 望んだ～ことがある 「動詞句」
 una volta o l'altro ウナ・ヴォルタ・オ・ラルトロ adv. 一度くらいは 「副詞句」
 la morte ラ・モルテ n.f. 死を 「目的語」
 di coloro デイ・コロロ adj. 人の 「形容詞句」
 che ケ pron. (目的語) ～する 「形容詞節」
 amano. アマノ 3 複現(amare)v.t. 愛する 「動詞」

この時、弁護士は僕の話遮った。彼はかなり動揺しているように見えた。

A questo punto l'avvocato mi ha interrotto e mi è parso molto agitato.

「副詞句」「主語」「目的語」「動詞句」 e 「間接目的語」「動詞句」「補語」
 A questo punto ア・クェスト・プント adv. この時点で、この時 「副詞句」
 l'avvocato ラヴヴァコート n.m 弁護士は 「主語」
 mi ミ pron 僕を 「目的語」
 ha interrotto ア・インテロット 3 単現・完了形(interrómpere)v.t 遮った 「動詞句」
 e エ conj. そして
 mi ミ pron 僕には 「間接目的語」
 è parso エ・パールソ 3 単現・完了形(parére)v.i へのように見えた 「動詞句」
 molto agitato. モルト・アジタート adj. かなり動揺した 「補語」

彼は僕に、審理中も予審判事にもこのことを言わないと約束させた。

Mi ha fatto promettere di non dire questo, né durante l'udienza, né al giudice istruttore.

「目的語」「動詞句」「補語」
 Mi ミ pron 僕に 「目的語」
 ha fatto ア・ファット 3 単現・完了形・使役(fare)v.t へさせた 「動詞句」
 promettere プロメッテレ 不定詞・mi の動作 v.t(+di+不定詞 へすると) 約束する 「補語」
 di non dire ディ・ノン・ディレ 不定詞・否定 v.t 言わない 「動詞句」
 questo, クェスト pron このことを 「目的語」
 né durante l'udienza, ネ・トウランテ・ルディエンツァ adv. 審理中もへない 「副詞句」
 né al giudice istruttore. ネ・アル・ジューデ・イチェ・イストルトーレ adv. 予審判事にも 「副詞句」

しかし、僕は感情が体調によって影響されやすい体質なのだと彼に説明した。

Comunque gli ho spiegato che avevo una natura tale che il mio fisico influenzava spesso i miei sentimenti.

「副詞」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Comunque コムンクェ conj. しかし、それでも 「副詞」
 gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 ho spiegato オ・スピエガート 1 単現・完了形(spiegare)v.t 説明した 「動詞句」
 che ケ conj. へということを 「直接目的語」
 avevo アヴァエヴォ 1 単半・時制の一致(avére)v.t (特徴が) ある 「動詞」
 una natura tale ウナ・ナトゥーラ・ターレ n.f そのような気質が 「目的語」
 che ケ conj. (同格) へという 「形容詞節」
 il mio fisico イル・ミーオ・フィージコ n.m 自分の肉体は 「主語」
 influenzava インフルエンツァヴァ 3 単半・時制の一致(influenzare)

PARTE SECONDA 第2部

v.t 影響を与える 「動詞」
 spésso スペッツ adv. しばしば、頻繁に 「副詞」
 i miei sentiménti. イ・ミエイ・センチメンティ
 pl(sentiménto).n.m 感情に 「目的語」

母さんを埋葬した日、僕はひどく疲れていて、それに眠かった。

Il giorno che avevo sotterrato la mamma ero molto stanco e avevo un gran sonno.

「副詞句」「動詞」「補語」e「動詞」「目的語」
 Il giorno イル・ジョルノ n.m その日は 「副詞句」
 che ケ conj. (同格) ～という 「形容詞節」
 avevo sotterrato アヴ・ェウ・ォ・ソッテラート 1 単半・完了形(sotterrare)
 v.t 埋葬した 「動詞句」
 la mamma ラ・マンマ n.f 母さんを 「目的語」
 ero エロ 1 単半(essere)v.i ～だった 「動詞」
 molto stanco モルト・スタコ adj. とても疲れた 「補語」
 e エ conj. そして
 avevo アヴ・ェウ・ォ 1 単半(avere)v.t ～があった 「動詞」
 un gran sonno. ウン・グラン・ソノ n.m とても眠気 「目的語」

それで、何が起きているのか分からなかった。

E così non mi sono reso conto di quel che succedeva.

「副詞句」「動詞句」「間接目的語」
 E così エ・コシ adv. それで 「副詞句」
 non mi sono reso conto ノン・ミ・ソノ・レソ・コント 1 単現・完了形・否定(rendersi conto)
 v.pr(di が) 分からなかった 「動詞句」
 di quel デイ・ケル adv. 何が 「間接目的語」
 che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 succedeva. スチェデーヴァ 3 単半・時制の一致(succedere)
 v.i 起きている 「動詞」

確実に言えることは、母さんが死なない方が良かったということだ。

Ciò che potevo dire con sicurezza è che avrei preferito che la mamma non fosse morta.

「主語」「動詞」「補語」
 Ciò チョ pron そのことは 「主語」
 che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 potevo dire ポテヴァ・ォ・デーレ 1 単半・可能・時制の一致(potére+不定詞 dire)

PARTE SECONDA 第2部

v.t 言える	「動詞句」
con sicurezza コン・シクレツァ adv. 確信を持って	「副詞句」
è エ 3 単現(essere)v.i ~である	「動詞」
che ケ conj. ~ということ	「補語」
avrèi preferito アヴレイ・プレフェリート 条・1 単現・完了形(preferire)	
v.t 選んだだろう	「動詞句」
che ケ conj. ~ということを	「目的語」
la mamma ラ・マンマ n.f 母さんが	「主語」
non fósse mòrta. ノン・フォッセ・モルタ 接・3 単半・完了形.f・否定・時制の一致(morire)	
v.i 死なない	「動詞句」

しかし弁護士は満足していないようだった。「これでは十分ではありません」と、僕に言った。

Ma l'avvocato non mi è parso soddisfatto. “Quésto non basta,” mi ha détto.

Ma 「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「補語」
《「主語」「動詞句」》, 「間接目的語」「動詞句」

Ma マ conj. しかし	
l'avvocato ラヴ・オクト n.m 弁護士は	「主語」
non ...è parso ノン...エ・パルソ 3 単現・完了形・否定(parére)v.i ~に見えなかった	「動詞句」
mi ミ pron 僕には	「主語」
soddisfatto. ソディスファット adj. 満足した	「補語」
“Quésto ケスト porn これは	「主語」
non basta,” ノン・バスタ 3 単現・否定(bastare)v.i 十分ではない	「動詞句」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha détto. ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」

彼は考え込んで、あの日は本来の感情を抑制していたと言えないだろうかと僕に尋ねた。

Ha riflettuto. Mi ha chiesto se poteva dichiarare che quel giorno avevo soffocato i miei sentimenti naturali.

「動詞句」 | 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Ha riflettuto. ア・リフレットゥート 3 単現・完了形(riflettere)v.i 考え込んだ	「動詞句」
riflettere の過去分詞は riflesso または riflettuto	
Mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 訊ねた	「動詞句」
se セ conj. ~かどうかを	「直接目的語」
poteva dichiarare ポテヴァ・ディキアラレー 3 単半・可能(potére+不定詞 dichiarare)	
v.t 言うことが出来る	「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

che ケ conj. ～ということを	「目的語」
quél giòrno ケル・ジョルノ adv. あの日	「副詞句」
avevo soffocato アヴェ・エウ・オ・ソッフオカート 1 単現・完了形(soffocare)	
v.t 抑制していた	「動詞句」
i miei sentimentí naturali. イ・ミエイ・センチメンティ・ナツラーリ	
pl(sentiménto).n.m 本来の感情を	「目的語」

僕は彼に答えた：「いや、それでは嘘になる」すると彼は、まるで僕が彼にいくらかの嫌悪感を抱かせたかのように怪訝そうな顔つきで僕を見つめた。

Gli ho rispósto: “No, perché non sarèbbe véro”, e lui mi ha guardato in maniera strana, còme se gli ispirassi un cèrto disgusto.

「間接目的語」「動詞句」：《「応答」》, e 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」	
Gli リ pron 彼に	「間接目的語」
ho rispósto: オ・リスポスト 1 単現・完了形(rispóndere)v.i 答えた	「動詞句」
“No, / adv. いや	「応答」
perché ヘルケ conj. ～なので	「副詞節」
non sarèbbe ノン・サレベ 条・3 単現・変化(èssere)	
v.i ～にならないだろう	「動詞句」
véro”, ヴェーロ adj. 本当の、真実の	「補語」
e エ conj. そして	
lui ルーイ pron 彼は	「主語」
mi ミ pron 僕を	「目的語」
ha guardato ア・グェワルダート 3 単現・完了形(guardare)v.t 見つめた	「動詞句」
in maniera strana, イン・マネエラ・ストラナ adv. 奇妙な態度で	「副詞句」
còme se コーメ・セ conj. まるで～するように	「副詞節」
gli リ pron 彼に	「間接目的語」
ispirassi イスピラッシ 接・1 単半(ispirare)v.t 生じさせた	「動詞」
un cèrto disgusto. ウン・チェルト・ディスクスト	
n.m いくらかの嫌悪感を	「直接目的語」

彼は、ほとんど悪意のある口調で、いずれにしても養老院の院長と職員が証人として聞かれるだろう。
そして、これは僕に酷い結果をもたらすかもしれない、と言った。

Mi ha détto quasi con cattivèria che in ógni mòdo il direttóre e il personale déll'ospizio sarèbbero stati uditi cóme testimòni e che “quésto poteva giuocarmi un brutto scherzo”.

「間接目的語」「動詞句」「副詞句」「直接目的語」

Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha détto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 quasi con cattivèria クわ・ジ・コン・カチヴェリア adv. ほとんど悪意をもって 「副詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 in ógni mòdo イン・オンニ・モート adv. いずれにしても 「副詞句」
 il direttóre イル・デイレットレ n.m 院長が 「主語」
 e エ conj. そして
 il personale イル・ペルソナーレ n.m 職員が、スタッフが 「主語」
 déll'ospizio デロスピツィオ adj. 養老院の 「形容詞句」
 sarèbbero stati uditi サレベロ・スターティ 条・3 複現・完了形・受動・推量(udire)
 v.t 聞かれるだろう 「動詞句」
 cóme testimòni コーメ・テスチモーニ adv. 証人として 「副詞句」
 e エ conj. そして
 che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 “quésto クェスト pron これは 「主語」
 poteva giuocarmi ポ・テヴァ・ア・ジユカル・ミ 3 単半・可能性・時制の一致
 (potére+不定詞 giocare+mi)v.t 僕に仕掛けるかもしれない 「動詞句」
 un brutto scherzo. ウン・ブルット・スケルツォ n.m 酷いいたずらを 「目的語」

僕はその話は僕の事件とは何の関係もないと彼に指摘した。しかし彼は、「僕が裁判に関わったことが無いのは明らかだ」とだけ答えた。

Gli ho fatto notare che quèlla stòria non aveva alcun rappòrto con la mia faccènda, ma mi ha rispósto soltanto che si vedeva bène che non avevo mai avuto rappòrti con la giustìzia.

「目的語」「動詞句」「補語」,ma 「間接目的語」「動詞句」「副詞」「直接目的語」

Gli リ pron 彼を 「目的語」
 ho fatto オ・ファット 1 単現・完了形・使役(fare+不定詞)v.t ～させた 「動詞句」
 notare ノター 不定詞/gli の動作 v.t 気付く 「補語」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 quèlla stòria ケッラ・ストーリア n.f その話は 「主語」
 non aveva ノン・アヴァエヴァ 3 単半・否定(avére)v.t ～がない 「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

alcun rapporto アルクン・ラッポ ールト n.m 何の関係～もない	「目的語」
con la mia faccenda, コン・ラ・ミーア・ファチェンダ adv. 僕の事件と	「副詞句」
ma マ conj. しかし	
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha risposto ア・リスポ スト 3 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた	「動詞句」
soltanto ソルタント adv. ただ～だけ	「副詞」
che ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
si vedeva シ・ヴェテ ヲ ヴァ 3 単半・時制の一致(vedersi)	
v.pr ～と分かる、見える	「動詞句」
Si vede che... 「明らかに～だ」	
bène ベーネ adv. 良く	「副詞」
che ケ conj. ～ということは	「主語」
non avevo mai avuto ノン・アヴェ ヲ ウォ・マイ・アヴェート 1 単半・完了形・否定(avére)	
v.t 持ったことが無い	「動詞句」
rapporti ラッポ ルティ pl(rapporto)n.m 関係を	「目的語」
con la giustizia. コン・ラ・ジ ュ スティチャ adv. 裁判と	「副詞句」

彼は不機嫌な様子で立ち去った。出来る事なら、彼を引き留めて、もっとうまく弁護してもらうためではなく、言ってみれば自然な感情から、彼の好意を得たかったと説明したかった。

Se n'è andato di cattivo umore. Avrèi voluto trattenerlo, spiegargli che desideravo la sua simpatia, non per essere meglio difeso, ma per un sentimento naturale, se così posso dire.

「動詞句」「副詞句」 | 「動詞句」, 「動詞句」「目的語」

Se n'è andato セ・ネ・アンダート 3 単現・完了形(andarsene)v.pr 立ち去った 「動詞句」

di cattivo umore. ディ・カッティウ ヲ ウモレ adv. (様態) 不機嫌な様子で 「副詞句」

Avrèi voluto trattenerlo, アヴェレイ・ウオルト・トラッテネル・ロ 条・1 単現・完了形

(volére+不定詞 trattenerlo)v.t 彼を引き留めたかった～ができなかった 「動詞句」

spiegargli スピ・エガル・リ 条・1 単現・完了形(volére+不定詞 spiegare+gli)

v.t 彼に説明したかったのだが 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

desideravo デシテラウ ヲ 1 単半(desiderare)v.t 望んでいた 「動詞」

la sua simpatia, ラ・スーア・シンパチア n.f 彼の好意を 「目的語」

non per +不定詞 ノン・ペル adv. ～するためではなく 「副詞句」

essere meglio difeso, エッセレ・メルリョ・ディフソ 不定詞・受動

v.i より良く弁護される 「動詞句」

ma マ conj. そうではなく

per un sentimento naturale, ペル・ウン・センチメント・ナツラレ

PARTE SECONDA 第2部

adv. 自然な感情のため 「副詞句」
 se così posso dire. セ・コシ・ポッソ・ディエーレ adv. 言ってみれば 「副詞句」

何よりも、僕は彼を厄介な状況にしたことに気付いた。彼は僕のことが理解できず、少し苛立っていた。

Soprattutto mi rendevo conto che lo mettevo a disàgio. Lui non mi capiva ed era un po' irritato con me.

「副詞」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」 ed 「動詞」「補語」
 Soprattutto ソプラットウート adv. 何よりもまして、特に 「副詞」
 mi rendevo conto ミ・レンデヴォ・コント 1 単半(rendersi conto)v.pr(che ～に) 気付いた「動詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 lo ロ pron 彼を 「目的語」
 mettevo メッテヴォ 1 単半(mettere)v.t (ある状況に) 置いた、入れた 「動詞」
 a disàgio. ア・ディザージョ adv. 厄介な 「補語」
 Lui ルーイ pron 彼は 「主語」
 non ...capiva ノン...カピヴァ 3 単半(capire)v.t 理解できなかった 「動詞句」
 mi ミ pron 僕の事を 「目的語」
 ed エド conj. そして
 era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった 「動詞」
 un po' irritato ウン・ポ・イリタート adj. 少し苛ついた 「補語」
 con me. コン・メ adv. 僕に 「副詞句」

僕は他のみんなと同じだ、絶対に他のみんなと同じだと彼に言いたかった。

Desideravo dirgli che ero come tutti gli altri, assolutamente come tutti gli altri.

「動詞句」「目的語」
 Desideravo dirgli デシデラーヴォ・ディール・リ 1 単半・願望(desiderare+不定詞 dire+gli)
 v.t 彼に言いたかった 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 ero エロ 1 単半・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」
 come コーメ conj. ～と同じ 「補語」
 tutti gli altri, トゥッティ・リ・アルトリ pl(altero).pron 他の人たち 「目的語」
 assolutamente come アッソルタメンテ・コーメ conj. 絶対に～と同じ 「補語」
 tutti gli altri. トゥッティ・リ・アルトリ pl(altero).pron 他の人たち 「目的語」

しかし結局、そう言った所であり効果は無かったので、やる気をなくして諦めた。

Ma tutto questo, in fondo, non aveva una grande utilità, e per pigiizia ho rinunciato.

Ma 「主語」「副詞句」「動詞句」「目的語」,e 「副詞句」「動詞句」

Ma マ conj. しかし

tutto questo, トゥット・クェスト この全ては 「主語」

con tutto questo adv. (譲歩) それにも拘わらず

そう言ったところで、そう言ったとしても

in fondo, イン・フォント adv. 結局は 「副詞句」

non aveva ノン・アヴェーヴァ 3 単半・否定(avére)v.t ~が無かった 「動詞句」

una grande utilità, ウナ・グランデ・ウチリタ n.f 有効性 「目的語」

e エ conj. そして

per pigiizia ペル・ピグリツィア adv. (原因) やる気の無さで 「副詞句」

ho rinunciato. オ・リンンチャート 1 単現・完了形(rinunciare)v.i 断念した、諦めた 「動詞句」

少ししてから、僕はまた予審判事の前へ連れて行かれた。

Poco tempo dopo sono stato condotto di nuovo davanti al giudice istruttore.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」

Poco tempo dopo ホコ・テンポ・ドーポ adv. 少ししてから 「副詞句」

sono stato condotto ソーノ・スタート・コンドット 1 単現・完了形・受動(condurre)

v.t 連れて行かれた 「動詞句」

di nuovo デイ・ヌオーヴォ adv. また、再び 「副詞句」

davanti ダヴァンティ prep(a~の) 前に 「副詞句」

al giudice istruttore. アル・ジューデ・イチェ・イストルトーレ n.m 予審判事 「目的語」

午後の2時だった。今回は、彼の執務室はヴェールのカーテンから漏れる光で溢れていた。

Erano le due del pomeriggio e questa volta il suo ufficio era tutto pieno di luce che filtrava dalle tende di vélo.

「動詞」「補語」 e 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

Erano エラーノ 3 複半(essere)v.i ~だった 「動詞」

le due レ・ドゥエ pl(óra).n.f 2 時 「補語」

del pomeriggio テル・ポメリッジョ adj, 午後の 「形容詞句」

e エ conj. そして

questa volta クェスタ・ヴォルタ adv. 今回は 「副詞句」

il suo ufficio イル・スー・ウッフイーチョ n.m 彼の執務室は 「主語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」

tutto pieno di luce トゥット・ピエーノ・ディ・ルチェ adj. 光で溢れた 「補語」

PARTE SECONDA 第2部

che ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
filtrava フィルトラヴァ 3 単半(filtrare)v.i 漏れた	「動詞」
dalle ダレ prep ～から	「副詞句」
tende テンデ pl(tenda)n.f カーテン	「目的語」
di vélo. ティ・ヴェロ adj. ヴェールの	「形容詞句」

ひどく暑かった。彼は僕を座らせてから、弁護士が急用で来られなくなったととても丁寧に僕に告げた。

Faceva molto caldo. Mi ha fatto sedere e con molta cortesia mi ha detto che l'avvocato "a causa di un contrattempo" non aveva potuto venire.

「動詞」「補語」

「目的語」「動詞句」「補語」 e 「副詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Faceva ファチェヴァ 非人称・3 単半(fare)v.h (天候が) ～だった	「動詞」
molto caldo. モルト・カルト adj. ひどく暑い	「補語」
Mi ミ pron 僕を	「目的語」
ha fatto ア・ファット 3 単現・完了形・使役(fare)v.t(+不定詞) ～させた	「動詞句」
sedere セデーレ 不定詞・mi の動作 v.i 座る	「補語」
e エ conj. そして	
con molta cortesia コン・モルタ・コルテジーア adv. とても丁寧に	「副詞句」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
che ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
l'avvocato ラヴ・オクト n.m 弁護士は	「主語」
"a causa di un contrattempo" ア・カサ・ティ・ウン・コントラテンポ	
adv. (理由) 急用のために	「副詞句」
non aveva potuto venire. ノン・アヴァ・エーヴァ・ポトット・ヴェニレ 3 単半・完了形・可能・否定 (potére+不定詞 venire)v.i 来られなかった	「動詞句」

しかし、僕には彼の質問に答えなくて、弁護士の同席を待つ権利があるということだった。

Ma io avevo il diritto di non rispondere alle sue domande e aspettare l'assistenza dell'avvocato.

Ma 「主語」「動詞」「目的語」

Ma マ conj. しかし	
io イオ pron 僕は	「主語」
avevo アヴァ・エーヴォ 1 単半・時制の一致(avére)v.t ～がある	「動詞」
il diritto イル・ディリット n.m 権利	「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

di non rispondere ディ・ノン・リスポ・ンデレ adv. (目的) 答えないための 「副詞句」
 alle sue domande アレ・スエ・ド・マンデ adv. 彼の質問に 「間接目的語」
 e エ conj. そして
 aspettare アスペ・ッターレ adv. (目的) 待つための 「副詞句」
 l'assistenza ラシステンツァ n.f 列席 「目的語」
 dell'avvocato. デラヴァカート adj. 弁護士の 「形容詞句」

僕は彼に自分一人で答えられると言った。彼が机の上のボタンに触れると、若い書記がやって来てほとんど僕の真後ろに座った。

Gli ho detto che potevo rispondere da me. Ha toccato un bottone sulla scrivania e un giovane cancelliere è venuto a sedersi quasi contro la mia schiena.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

「動詞句」「目的語」「副詞句」 e 「主語」「動詞句」「副詞句」

Gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 potevo rispondere ポ・テヴァ・リスポ・ンデレ 1 単半・可能・時制の一致(potére+不定詞 rispondere)
 v.t 答えられる 「動詞句」
 da me. ダ・メ adv. 自分一人で 「副詞句」
 Ha toccato ア・トッカート 3 単現・完了形(toccare)v.t 触れた 「動詞句」
 un bottone ウン・ボットーネ n.m ボタンに 「目的語」
 sulla scrivania スラ・スクリヴァニア adv. 机の上の 「副詞句」
 e エ conj. そして
 un giovane cancelliere ウン・ジョヴァーネ・カンチェリエ n.m 若い書記が 「主語」
 è venuto エ・ヴェヌート 3 単現・完了形(venire)v.i(a+不定詞) やって来て～した 「動詞句」
 a sedersi ア・セレルシ 不定詞 v.pr 座った 「動詞句」
 quasi contro la mia schiena. クワジ・コントロ・ラ・ミア・シェーナ adv. ほとんど僕の真後ろに 「副詞句」

僕達は二人ともそれぞれ肘掛椅子に落ち着いた。尋問が始まった。

Ci siamo tutt'e due aggiustati nelle nostre poltrone. L'interrogatorio è iniziato.

「動詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」

Ci siamo ...aggiustati チ・シアモ... 1 複現・完了形(aggiustarse)v.pr 落ち着いた 「動詞句」
 tutt'e due トゥッテ・ツエ pron 2 人とも 「主語」
 nelle nostre poltrone. ネレ・ノストレ・ポ・ストローネ adv.(poltrona) それぞれの肘掛椅子に 「副詞句」
 L'interrogatorio リンテロガトリオ n.m 尋問が、取り調べが 「主語」
 è iniziato. エ・インツィアート 3 単現・完了形(iniziare)v.i 始まった 「動詞句」

判事はまず、世間では僕のことを寡黙で閉鎖的な人間と言っているようだが、それについて僕がどう思うかを知りたがった。

Il giudice ha cominciato col dirmi che mi si descriveva come uomo di carattere taciturno e chiuso e ha voluto sapere cosa ne pensavo.

「主語」「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」

Il giudice イル・ジューデイチェ n.m 判事は 「主語」

ha cominciato col dirmi ア・コンチヤート・コル・ディル・ミ 3 単現・完了形・まず

(cominciare col+不定詞)v.t まず僕に述べ始めた 「動詞句」

che ケ conj. ～ということ 「目的語」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

si シ pron 人は、世間の人は 「主語」

descrivere デ・スクリヴ・エーヴ・ア 3 単半・時制の一致(descrivere)v.t 述べている 「動詞」

come コーメ conj. ～のように 「補語」

uomo ウォーモ n.m 人間 「目的語」

di carattere ディ・カラッテレ adj. 性格の 「形容詞句」

taciturno タクトルノ adj. 寡黙な 「形容詞」

e エ conj. そして

chiuso キウゾ adj. 閉鎖的な 「形容詞」

e エ conj. そして

ha voluto sapere ア・ヴァオルイト・サペーレ 3 単現・完了形・願望(volére+不定詞 sapere)

v.t 知りたがった 「動詞句」

cosa コーサ n.f 事を 「目的語」

ne ネ adv. それについて 「副詞」

pensavo. ペンサーヴォ 1 単半・時制の一致(pensare)v.t 思う、考える 「動詞」

僕は答えた：「それはあまり話すことが無いからです。それで黙っているんです」

Ho risposto: “È che non ho mai molto da dire. Allora sto zitto.”

「動詞句」：《「動詞」「補語」 | 「副詞」「動詞」「補語」》

Ho risposto: オ・リスポスト 1 単現・完了形(rispondere)v.i 答えた 「動詞句」

“È エ (essere)v.i ～である 「動詞」

che ケ conj. ～ということ 「補語」

non ho mai ノ・ノ・マイ 1 単現・否定(avére)v.t ～がぜんぜんない 「動詞句」

molto モルト pron 多くの事 「目的語」

da dire. ダ・ディレ 不定詞・目的 adj. 話すべき 「形容詞句」

Allora アッローラ conj. それで

PARTE SECONDA 第2部

sto スト 1 単現(stare)v.i. ーのままている 「動詞」
 zitto.” チット adj. 黙った 「補語」

彼は最初の時のように笑って、それが最善の理由だと同意してから付け加えた：「だがしかし、これは重要な事ではありません」

Ha sorriso come la prima volta, ha convenuto che era la migliore delle ragioni e ha soggiunto: “Del resto questo non ha alcuna importanza.”

「動詞句」「副詞句」, 「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」:

《「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」》

Ha sorriso ハ・ソリーゾ 3 単現・完了形(sorridere)v.i. 笑った 「動詞句」
 come コーメ conj. ーのように 「副詞句」
 la prima volta, ラ・プリーマ・ヴォルタ n.f. 最初の時 「目的語」
 ha convenuto ハ・コンヴェニウト 3 単現・完了形(convenire)v.t. 同意した 「動詞句」
 che ケ conj. ーということを 「目的語」
 era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i. ーである 「動詞」
 la migliore ラ・ミヨーレ pron 最善のもの 「補語」
 delle ragioni デレ・ラジオーニ adj. 理由の中で 「副詞句」
 e エ conj. そして
 ha soggiunto: ア・ソジエント 3 単現・完了形(soggiungere)v.t. 付け加えた 「動詞句」
 “Del resto デル・レスト adv. だがしかし、とは言っても 「副詞句」
 questo ケスト pron これは 「主語」
 non ha ノナ 3 単現・否定(avere)v.t. ーがない 「動詞句」
 alcuna importanza.” アルカーナ・インポルタンツァ n.f. いかなる重要性 「目的語」

彼は話を中断して僕を見つめた、それから急に頭をあげて早口で僕に言った：「私が興味があるのはあなたです」

Ha cessato di parlare, mi ha guardato, e poi, bruscamente, ha levato la testa per dirmi, molto in fretta: “Quello che mi interessa, è lei.”

「動詞句」, 「目的語」「動詞句」, e 「副詞句」, 「動詞句」「目的語」「副詞句」:

《「主語」「動詞」「補語」》

Ha cessato di parlare, ア・チェッサート・ディ・パルラーレ 3 単現・完了形・やめる(cessare di+不定詞)
 v.i. 話すのを中断した 「動詞句」
 mi ミ pron 僕を 「目的語」
 ha guardato, ア・グワルダート 3 単現・完了形(guardare)v.t. 見つめた 「動詞句」
 e エ conj. そして
 poi, ポーイ adv. それから 「副詞」

PARTE SECONDA 第2部

bruscamente, ブルスカメンテ adv. 突然、急に	「副詞」
ha levato ア・レヴァート 3 単現・完了形(levare)v.t 上げた	「動詞句」
la testa ラ・テスト n.f 頭を	「目的語」
per dirmi, ペル・ドルミ 不定詞・継続 adv. そして僕に言った	「副詞句」
mólto in fretta: モルト・イン・フレッタ adv. とても早口で	「副詞句」
“Quéllo クェッロ pron それは	「主語」
che ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
mi ミ pron 私に	「間接目的語」
interessa, インテレッサ 3 単現(interessare)v.t 興味を抱かせる	「動詞」
è エ 3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
lèi.” レイ pron あなた	「補語」

彼が何を言いたいのかよく分からなかったので、何も答えなかった。

Non ho ben capito còsa intendesse dire e non ho rispósto nulla.

「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」

Non ho ben capito ノ・ノ・ベン・カピート 1 単現・完了形・否定(capire)

v.t よく分からなかった 「動詞句」

còsa コーサ n.f ～する事が 「目的語」

intendesse dire インテンデッセ・ディレ 接・3 単過・つもり(intendere+不定詞)

v.t 言うつもりである 「動詞句」

e エ conj. それで

non ho rispósto ノ・ノ・リスポスト 1 単現・完了形・否定(rispondere)v.t 答えなかった 「動詞句」

nulla. ヌッラ pron 何も～ない 「目的語」

彼は付け加えた。「あなたの行為には、私には理解できない事がある。私がそれを理解するのを君が手助けしてくれることを確信している」

“Ci sono délle còse,” ha soggiunto, “che mi sfuggono, nel suo gèsto. Sono sicuro che lèi mi aiuterà a comprenderle.”

《「動詞句」「主語」》, 「動詞句」, 《「形容詞節」, 「副詞句」「動詞」「補語」》

“Ci sono チ・ソーノ 3 複現・存在(esserci)v.i ～がある 「動詞句」

délle còse,” テッレ・コーセ pl(còsa).n.f 事が 「主語」

ha soggiunto, ア・ソジユント 3 単現・完了形(soggiungere)v.t 付け加えた 「動詞句」

“che ケ pron.pl (主語) ～する 「形容詞節」

mi ミ pron 私を 「目的語」

sfuggono, スフゴノ 3 複現(sfuggire)v.t 避ける、身をかわす 「動詞」

nel suo gèsto. ネル・スー・ヘスト adv, あなたの行為には 「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

Sono ソーノ 1 単過(essere)v.i	～である	「動詞」
sicuro シケーロ adj.	確信がある	「補語」
che ケ pron	～することに	「副詞節」
lèi レーイ pron	あなたが	「主語」
mi ミ pron	私を	「目的語」
aiuterà アイテラ 2 単未・推量(aiutare)v.t	手助けしてくれるだろう	「動詞」
a comprenderle.” ア・コンプレンデーレ	不定詞・mi の動作	
v.t	それを理解する	「補語」

僕は彼に、全てはとても単純な事だと言った。彼は、その日の事を話して欲しいと言った。

Gli ho detto che tutto era molto semplice, lui ha voluto che gli descrivessi quella giornata.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」, 「主語」「動詞句」「目的語」

Gli リ pron	彼に	「間接目的語」
ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t	言った	「動詞句」
che ケ conj.	～ということを	「直接目的語」
tutto トゥット pron	すべては	「主語」
era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i	～である	「動詞」
molto semplice, モルト・センプレチェ adj.	とても単純な	「補語」
lui ルーイ pron	彼は	「主語」
ha voluto ア・ヴォルト 3 単現・完了形(volere)v.t	望んだ	「動詞句」
che ケ conj.	～ということを	「目的語」
gli リ pron	彼に	「間接目的語」
descrivessi テスクリヴァッシ 接・1 単半(descrivere)v.t	話す	「動詞」
descrivere	「描写する、詳細に物語る」	
quella giornata. クエッラ・ジョルナータ n.f	その日の事を	「直接目的語」

僕は前に話したことを掻い摘んで彼にもう一度話した：レーモンのこと、浜辺、海水浴、殴り合い、また浜辺、小さな泉、太陽、そして4回の発砲。

Gli ho ripetuto, riassumendolo, quello che avevo già raccontato: Raimondo, la spiaggia, il bagno, la rissa, di nuovo la spiaggia, la piccola fonte, il sole e i quattro colpi di rivoltella.

「間接目的語」「動詞句」「副詞句」

Gli リ pron	彼に	「間接目的語」
ho ripetuto, オ・リペトゥート 1 単現・完了形(ripetere)v.t	繰り返して言った	「動詞句」
riassumendolo, リアスムントーロ	ジェルンディオ(riassumere)	
adv. (手段)	それを要約して	「副詞句」
quello che クエッロ・ケ pron	(目的語) ～する	「形容詞節」

PARTE SECONDA 第2部

avevo già raccontato: アヴェウガォ・ジヤラコンタート 1 単半・完了形(raccontare)

v.t 前に話した 「動詞句」

Raimondo, ライモンﾄﾞ n.m レーモンのこと 「目的語」

la spiaggia, ラ・スピアヅジャ n.f 浜辺 「目的語」

il bagno, イル・バンニョ n.m 海水浴 「目的語」

la rissa, ラ・リッサ n.f 殴り合い 「目的語」

di nuovo ティ・ヌォーヴォ adv. また 「副詞句」

la spiaggia, ラ・スピアヅジャ n.f 浜辺 「目的語」

la piccola fonte, ラ・ピッコラ・フォンテ n.f 小さな泉 「目的語」

il sole イル・ソレ n.m 太陽 「目的語」

e エ conj. そして

i quattro colpi イ・クワットロ・コルピ pl(colpo).n.m 4 発の発砲 「目的語」

di rivoltella. ティ・リヴァオルテッラ adv. (手段) 拳銃による 「副詞句」

フランス語版では

レーモン、浜辺、海水浴、けんか、また浜辺、小さな泉、太陽、そしてリボルバーでの5回の発砲。

Raymond, la plage, le bain, la querelle, encore la plage, la petite source, le soleil et les cinq coups de revolver.

一区切りごとに彼は言った:「ああ、結構」話が死体が横たわったところに進むと、「よろしい」と言って頷いた。

A ogni frase diceva: “Bène, bène.” Quando sono arrivato al corpo disteso, ha annuito dicendo: “Sì.”

「副詞句」「動詞」:《「応答」》 | 「副詞節」, 「動詞句」「副詞句」

A ogni frase ア・オンニ・フラーゼ adv. 一区切りごとに 「副詞句」

diceva: ティチェヴァ 3 単半(dire)v.t 言った 「動詞」

“Bène, bène.” ベーネ・ベーネ adv. ああ、結構 「応答」

Quando クワンﾄ conj. ～すると 「副詞節」

sono arrivato ソーノ・アリヴァート 1 単現・完了形(arrivare)v.i やって来た 「動詞句」

al corpo アル・コルポ adv. 死体のところに 「間接目的語」

disteso, ティステソ adj. 横たわった 「形容詞」

ha annuito ア・アンニウト 3 単現・完了形(annuire)v.i 頷いた 「動詞句」

dicendo: ティチェント ジェルンディオ(dire)

adv. (同時) 言いながら 「副詞句」

“Sì.” シ adv. よろしい 「応答」

僕は同じ話を繰り返さなければならないことにうんざりしていた。そしてこんなに沢山話したことは一度もないと感じていた。

Io ero stanco di dover ripetere la stessa storia e mi sembrava di non aver mai parlato tanto.

「主語」「動詞」「補語」 e 「間接目的語」「動詞」「主語」

Io イオ pron 僕は 「主語」

ero エロ 1 単半(essere)v.i 〜だった 「動詞」

stanco スタンコ adj. 疲れた 「補語」

di +不定詞 ディ adv. (目的) 〜するのに 「副詞句」

dover ripetere ドヴエール・リペーテレ 不定詞(dover+不定詞 ripetere)

v.t 繰り返さなければならない 「動詞句」

la stessa storia ラ・ステッサ・ストーリア n.f 同じ話を 「目的語」

e エ conj. そして

mi ミ pron 僕には 「間接目的語」

sembrava センブラヴァ 3 単半(sembrare)v.i のように思われた 「動詞」

di non aver mai parlato ディ・ノン・アヴァール・マイ・パルラート 不定詞・完了形・否定

v.i 一度も話したことは無いということが 「主語」

tanto. タント adv. こんなにたくさん 「副詞」

中断の後で、彼は立ち上がり言った。僕の手助けをしたい、僕は彼の興味を引く、そして、神の助けがあれば僕のために何か出来るだろう。

Dopo una pausa si è alzato e ha detto che voleva aiutarmi, che lo interessavo e che, con l'aiuto di Dio, avrebbe fatto qualcosa per me.

「副詞句」「動詞句」 e 「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」, 「目的語」

Dopo ドーポ prep (時間) 〜の後で 「副詞句」

una pausa ウナ・パウザ n.f 中断 「目的語」

si è alzato シ・エ・アルツァート 3 単現・完了形(alzarsi)v.pr 立ち上がった 「動詞句」

e エ conj. そして

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. 〜ということを 「目的語」

voleva aiutarmi, ヴォレヴァ・アイタルミ 3 単半・願望・時制の一致(volere+不定詞 aiutare+mi)

v.t 僕を手助けしたい 「動詞句」

che ケ conj. 〜ということを 「目的語」

lo ロ pron 彼の 「目的語」

interessavo インテレッサーヴォ 1 単半・時制の一致(interessare)v.t 興味を引く 「動詞」

e エ conj. そして

PARTE SECONDA 第2部

che, ケ conj. ～ということを	「目的語」
con コン prep (条件) ～があれば	「副詞句」
l'aiuto di Dio, ライウト・ディ・ディオ n.m 神の助け	「目的語」
avrebbe fatto アヴレツェ・エ・ファット 条・3 単現・完了形・推量・時制の一致(fare)	
v.t するだろう	「動詞句」
qualcosa クワルコーサ pron 何か	「目的語」
per me. ペル・メ adv. ぼくのために	「副詞句」

だがその前に、まだいくつか質問をしたいと言い、続けて、母さんを愛しているかと尋ねた。

Ma prima voleva farmi ancora qualche domanda. Senza interrompersi mi ha chiesto se volevo bene alla mamma.

Ma 「副詞」「動詞句」「副詞」「目的語」
「副詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Ma マ conj. しかし	
prima プリーマ adv. その前に、先に	「副詞」
voleva farmi ヴォレヴァ・ファルミ 3 単半・願望・時制の一致(volére+不定詞 fare+mi)	
v.t 僕に～したい	「動詞句」
ancora アンコーラ adv. まだ、さらに	「副詞」
qualche domanda. クワルク・トマンダ n.f いくつか質問を	「目的語」
Senza interrompersi セツァ・インテロンペルシ adv. 中断せずに、すぐに続けて	「副詞句」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた	「動詞句」
se セ conj. ～かどうかということを	「直接目的語」
volevo bene ヴォレヴォ・ベネ 1 単半(volére)v.t 愛していた	「動詞句」
alla mamma. アッラ・マンマ n.f 母さんを	「目的語」

僕は答えた：「ええ、皆と同じです」すると、それまで順調にタイプを打っていた書記官がタッチを間違えたに違いない。彼はまごつき、後戻りしなければならなかったから。

Ho detto: “Sì, come tutti” e il cancelliere, che fino allora aveva battuto a macchina regolarmente, deve aver sbagliato tasto perché si è confuso e ha dovuto tornare indietro.

「動詞句」《「応答」, 「副詞句」》e 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Ho detto: オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
“Sì, シ adv. (肯定) ええ	「応答」
come tutti” コーメ・トゥッティ adv. 皆と同じに	「副詞句」
e エ conj. そして	
il cancelliere, イル・カンチェリエーレ n.m 書記官は	「主語」

PARTE SECONDA 第2部

che ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
fino allóra フィノ・アッローラ adv. その時まで	「副詞句」
aveva battuto アヴェ・バ・ハットゥート 3 単半・完了形(battere)	
v.i(a) を) 打っていた	「動詞句」
a macchina ア・マッキナ adv. タイプライターを	「間接目的語」
regolarmente, レコラルメンテ adv. 順調に	「副詞」
deve aver sbagliato デヴェ・アヴェル・ズバリアート 3 単現・完了形・推量	
(dover+不定詞・完了形 sbagliare)v.t 間違えたに違いない	「動詞句」
tasto タスト n.m (キーボードの) タッチを	「目的語」
perché ペルケ conj. ～なので	「副詞節」
si è confuso シ・エ・コンフーズ 3 単現・完了形(confondersi)	
v.pr まごついていた	「動詞句」
e エ conj. そして	
ha dovuto tornare ア・ドヴュー・トルネレ 3 単現・必要・完了形(dovere+不定詞 tornare)	
v.i 戻らなければならなかった	「動詞句」
indietro. インデ・イエトロ adv. 後ろへ	「副詞」

相変わらず明らかな道筋もなく、判事は僕に 4 発の銃弾を次々に打ったのかと尋ねた。僕は考えてから、引き続いて詳細に説明した。

Sempre senza logica apparente, il giudice mi ha chiesto allóra se avevo tirato quattro colpi di rivoltella uno dópo l'altro. Ho riflettuto e ho precisato seguenti.

「副詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞」「直接目的語」
「動詞句」 e 「動詞句」「副詞」

Sempre センプレ adv. 相変わらず	「副詞」
senza logica apparente, センツァ・ロヒカ・アパレンテ adv. 明らかな道筋もなく	「副詞句」
il giudice イル・ジューデ・イチェ n.m 判事は	「主語」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた	「動詞句」
allóra アッローラ adv. そこで	「副詞」
se セ conj. ～かどうかを	「直接目的語」
avevo tirato アヴェ・ウ・チラート 1 単半・完了形(tirare)	
v.t 撃った、引いた	「動詞句」
quattro cólpi di rivoltella クワットロ・コルピ・ディ・リヴオルテッラ	
pl(cólpo).n.m 4 発の銃弾を	「目的語」
uno dópo l'altro. ウノ・ドポー・ラルトロ adv. 次々に、続けざまに	「副詞句」
Ho riflettuto オ・リフレットゥート 1 単現・完了形(riflettere)v.t 熟考した	「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

Riflettere の過去分詞は riflesso も使用される。

e エ conj. そして

ho precisato オ・プレシザート 1 単現・完了形(precisare)v.t 詳細に説明した 「動詞句」

seguenti. セグエンティ adv. 引き続いて 「副詞」

「どうしてあなたは 1 発目と 2 発目の間に待ったのですか？」そこで彼は言った。

“Perché ha aspettato tra il primo e il secondo colpo?” egli disse allora.

《「副詞」「動詞句」「副詞句」》, 「主語」「動詞」「副詞」

“Perché ペルケ adv. どうして 「副詞」

ha aspettato ア・アスペッタート 3 単現・疑問文 1(aspettare)v.t 待ったのですか? 「動詞句」

tra il primo e il secondo colpo? トラ・イル・プリモ・エ・イル・セコント・コルポ

adv. 1 発目と 2 発目の間に 「副詞句」

egli エリ pron 彼は 「主語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

allora. アッローラ adv. そこで 「副詞」

もう一度、僕はあの赤い砂浜が見えた。そして、額に太陽の熱による疼きを感じた。

Ancóra una vòlta ho rivisto la spiàggia róssa e ho sentito sulla mia frónte il bruciore del sóle.

「副詞句」「動詞句」「目的語」 e 「副詞句」「動詞句」「目的語」

Ancóra una vòlta アンコーラ・ウナ・ヴォルタ adv. さらにもう一度 「副詞句」

ho rivisto オ・ヴィスト 1 単現・完了形(rivedere)v.t 再会した、見直した 「動詞句」

la spiàggia ラ・スピアッジャ n.f 砂浜を 「目的語」

róssa ロッサ adj(róss)o.f 赤い 「形容詞」

e エ conj. そして

ho sentito オ・センチート 1 単現・完了形(sentire)v.t 感じた 「動詞句」

sulla mia frónte スラ・ミア・フロンテ adv. 額に 「副詞句」

il bruciore イル・ブルチョレ n.m うずきを 「目的語」

del sóle. デル・ソーレ adv. 太陽による 「副詞句」

だが今回は、僕は何も答えなかった。それから少し沈黙があり、僕には判事がイライラし始めたように思われた。

Ma questa vòlta non ho rispósto nulla. Pòi c'è stato un silénzio e mi è parso che il giúdice cominciasse a innervosirsi.

Ma 「副詞句」「動詞句」「目的語」

「副詞」「動詞句」「主語」 e 「間接目的語」「動詞句」「主語」

PARTE SECONDA 第2部

Ma マ conj. しかし	
questa vòlta ケスタ・ヴォルタ adv. 今回は	「副詞句」
non ho rispósto ノ・ノリスポ スト 1 単現・完了形・否定(rispondere)v.t 答えなかった	「動詞句」
nulla. ヌッラ pron 何も～ない	「目的語」
Pòi ポーイ adv. それから	「副詞」
c'è stato チェ・スタート 3 単現・完了形・存在(èsserci)v.i ～があった	「動詞句」
un silènzio ウン・シレンツィオ n.m 沈黙が	「主語」
e エ conj. そして	
mi ミ pron 僕には	「間接目的語」
è parso エ・パルソ 3 単現・完了形(parére)v.i ～と思われた	「動詞句」
che ケ conj. ～ということが	「主語」
il giùdice イル・ジューデッチェ n.m 判事は	「主語」
cominciasse a innervosirsi. コミンチャッセ・ア・インネルヴィョシル 接・3 単半・開始(cominciare a+不定詞)	
v.pr イライラし始めた	「動詞句」

彼は腰を降ろし、髪を掻き上げ、テーブルに肘を突いた。それから奇妙な様子で僕のほうへ屈みこんだ。「どうして、どうして、あなたは地面に横たわった体を撃ったのですか？」

Si è seduto, si è grattato i capélli, ha messo i gómiti sul tàvolo, e si è piegato un po' vèrso di me con un'ària strana: “Perché, perché ha tirato su un còrpo stéso a tèrra?”

「動詞句」, 「動詞句」 「目的語」, 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」 e

「動詞句」 「副詞句」: 《「呼びかけ」, 「動詞句」 「副詞句」》

Si è seduto, シ・エ・セドゥート 3 単現・完了形(sedersi)v.pr 座った、腰を降ろした 「動詞句」

si è grattato シ・エ・グラッタート 3 単現・完了形(grattarsi)

v.pr (自分の体の部分を) 掻いた 「動詞句」

i capélli, イ・カペッリ pl(capélllo).n.m 髪を 「目的語」

ha messo ア・メッソ 3 単現・完了形(méttere)v.t 置いた 「動詞句」

i gómiti イ・ゴミチ pl(gómito).n.m 肘を 「目的語」

sul tàvolo, スル・ターヴォロ adv. 机の上に 「副詞句」

e エ conj. そして

si è piegato シ・エ・ピエガート 3 単現・完了形(piegare)v.pr 屈みこんだ 「動詞句」

un po' vèrso di me ウン・ポ・ヴェールソ・ディ・ミ adv. 少し僕のほうへ 「副詞句」

con un'ària strana: コン・ウアーリア・ストラナ adv. (様態) 奇妙な様子で 「副詞句」

“Perché, perché ペルケ・ペルケ adv. どうして、どうして 「呼びかけ」

ha tirato ア・チラート 3 単現・完了形・疑問文(tirare)v.t 撃ったのですか? 「動詞句」

su un còrpo ス・ウン・コルポ adv. 体の上に 「副詞句」

stéso ステソ adj. 横たわった 「形容詞句」

PARTE SECONDA 第2部

a tèrra?" ア・テラ adv. (場所) 地面に

「副詞句」

今回もまた、僕は答えられなかった。

Ancóra una vòlta, non ho potuto rispondere.

「副詞句」「動詞句」

Ancóra una vòlta, アンコーラ・ウナ・ヴォルタ adv. 今回もまた、もう一度

「副詞句」

non ho potuto rispondere. ノ・ノ・ポトウ・リスポ・ンデレ 1 単現・完了形・可能・否定

(potere+不定詞 rispondere)v.i 答えられなかった

「動詞句」

判事は両手を額に当て、動揺した声でその質問を繰り返した：「どうして？あなたにその理由を答えて欲しいのです」僕は黙ったままでいた。

Il giudice si è passato le mani sulla frónte e ha ripetuto la domanda con vóce un po' alterata: "Perché? Bisogna che lèi me lo dica Perché?" Io continuavo a tacére.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「副詞句」 e

「動詞句」「目的語」「副詞句」：《「呼びかけ」 | 「動詞」「主語」》

「主語」「動詞句」

Il giudice イル・ジューデ・イチェ n.m 判事は

「主語」

si シ pron 自分の

「間接目的語」

è passato エ・パッサート 3 単現・完了形(passare)v.t 動かした

「動詞句」

le mani レ・マーニ pl(mano).n.f 両手を

「直接目的語」

sulla frónte スッラ・フロンテ adv. 額に

「副詞句」

e エ conj. そして

ha ripetuto ア・リペトウ・ト 3 単現・完了形(ripetere)v.t 繰り返した

「動詞句」

la domanda ラ・トマンダ n.f その質問を

「目的語」

con vóce un po' alterata: コン・ヴォーチェ・ウン・ポ・アルテラタ adv. (手段) 動揺した声で

「副詞句」

"Perché? ペルケ adv. どうして

「呼びかけ」

Bisogna ビゾーニャ 非人称・3 単現(bisognare)v.h 必要である

「動詞」

che ケ conj. ～ということが

「主語」

lèi レイ pron あなたが

「主語」

me メ pron 私に

「間接目的語」

lo ロ pron それを

「直接目的語」

dica ディカ 接・3 単現(dire)v.t 言う

「動詞」

Perché?" ペルケ adv. どうして

「呼びかけ」

Io イオ pron 私は

「主語」

continuavo a tacére. コンチヌアーヴォ・ア・タチェレ 1 単現・継続(continuare a+不定詞 tacére)

v.i 黙り続けていた

「動詞句」

不意に彼は立ち上がり、大股で部屋を横切り、部屋の隅にある書類戸棚の引き出しを開けた。

D'improvviso si è alzato, ha attraversato a passi lunghi la stanza e ha aperto un cassétto di un mòbile-archivio che c'era nell'angolo.

「副詞句」「動詞句」, 「副詞句」「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」

D'improvviso ディンプ・ロウ・イゾ adv. 不意に、突然 「副詞句」

si è alzato, エイ・エ・アルツァート 3 単現・完了形(alzarsi)v.pr 立ち上がった 「動詞句」

ha attraversato ア・アットラウ・エルサート 3 単現・完了形(attraversare)

v.t 横切った、通過した 「動詞句」

a passi lunghi ア・ハ・ッシ・ルンギ adv. (手段) 大股で 「副詞句」

la stanza ラ・スタンツァ n.f 執務室を 「目的語」

e エ conj. そして

ha aperto ア・アペールト 3 単現・完了形(aprire)v.t 開けた 「動詞句」

un cassétto ウン・カセット n.m 引き出しを 「目的語」

di un mòbile-archivio ディ・ウン・モビレ・アルキヴァイオ adj. 書類戸棚の 「形容詞句」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

c'era チェラ 3 単半・存在(esserci)v.i ~があった 「動詞句」

nell'angolo. ネル・アングロ adv. 角に、部屋の隅に 「副詞句」

彼は銀の十字架を振り回しながら僕の方へ戻って来た。

È tornato verso di me brandendo un crocefisso d'argento.

「動詞句」「副詞句」

È tornato エ・トルナート 3 単現・完了形(tornare)v.i 戻って来た 「動詞句」

verso di me ヴェールツ・ディ・ミ adv. 僕のほうへ 「副詞句」

brandendo ブランデント ジェルンディオ(brandire)v.t 振り回しながら 「副詞句」

un crocefisso ウン・クロチェフィツ n.m 磔像、十字架を 「目的語」

d'argento. ダルジェント adv. (材料) 銀の 「形容詞句」

「そして一変してまるで震えるような声で叫んだ：それでは、これを知っていますか？」

E con una voce tutta mutata, quasi tremante, ha gridato: E quèsto lo conosce, lài?"

《E「副詞句」, 「動詞句」: E「目的語」「動詞句」「呼びかけ」》

E エ conj. そして

con una voce コン・ウナ・ヴォーチェ adv. (手段) ~の声で 「副詞句」

tutta mutata, トウッタ・ムタータ 過去分詞(mutare).adj.f 全く変わった 「形容詞句」

quasi tremante, クワー・ジ・トーマンテ adj. ほとんど震えるような「形容詞句」

ha gridato: ア・グリダート 3 単現・完了形(gridare)v.i 叫んだ 「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

E エ conj. それでは
 quésto ケスト pron これを 「目的語」
 lo ロ pron それを 「目的語」
 conosce, コノスケ 3 単現・疑問文(conoscere)v.t 知っていますか? 「動詞」
 lei? レイ pron あなたは 「呼びかけ」

僕は答えた:「ええ、もちろん」

Ho detto: “Sì, naturalmente.”

「動詞句」:《「応答」》

Ho detto: オ・テット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 “Sì, naturalmente.” シ・ナトゥラルメンテ adv. ええ、もちろん 「応答」

すると彼は非常に早口で煽るように、自分は神を信じていると僕に言った。

Allóra mi ha détto in mòdo móltò rapìdo e concitato che lui credeva in Dio;

「副詞」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」「直接目的語」

Allóra アッローラ adv. それでは、すると 「副詞」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha détto ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 in mòdo móltò rapìdo e concitato イン・モート・モルト・ラーピド・エ・コンチタート
 adv. (手段) 非常に早口で煽るように 「副詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 lui ルーイ pron 彼は 「主語」
 credeva クレデーヴァ 3 単半・時制の一致(crédere)v.i 信じている 「動詞」
 in Dio; インディオ adv. (～を、の存在を) 神を 「間接目的語」

神が許さないほど罪深い人間はいないと確信している。しかしそのためには、悔い改めによって純真無垢で何事も受け入れることのできる魂を持つ子供のようにする必要はある。

era convinto che nessun uòmo fòsse tanto colpévole che Dio non lo perdonasse, ma occorreva per quèsto che l'uòmo, attraverso il pentimento, diventasse cóme un bambino la cui anima è vuòta e pronta a tutto accogliere.

「動詞」「補語」,ma 「動詞」「副詞句」「主語」

era エ 3 単半・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
 convinto コンヴィクト 過去分詞(convincere)adj.(che を) 確信した 「補語」
 che ケ conj. ～だと 「副詞節」
 nessun uòmo ネス・ウオーモ n.m どんな人間も～ない 「主語」
 fòsse フォッセ 接・3 単半・推量・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」

PARTE SECONDA 第2部

tanto colpevole	タント・コルペーヴォレ	adj. それほど罪深い	「補語」
che	ケ	conj. (比較) (tanto...che) ～するほど	「副詞節」
Dio	ディオ	n.m 神が	「主語」
non ...perdonasse,	ノン...ペルトナッセ	接・3 単半・否定・推量(perdonare)	
v.t	許さない		「動詞句」
lo	ロ	pron 彼を	「目的語」
ma	マ	conj. しかし	
occorreva	オッコレヴァ	3 単半・時制の一致(occorrere)v.i 必要である	「動詞」
per questo	ペル・クェスト	adv. このために	「副詞句」
che	ケ	conj. ～ということが	「主語」
l'uomo,	ルオーモ	n.m 人は	「主語」
attraverso	アットラヴェール	prep ～を通して	「副詞句」
il pentimento,	イル・ペンチメント	n.m 、悔い改め、悔恨	「目的語」
diventasse	ディヴェンタッセ	接・3 単半・時制の一致(diventare)v.i ～になる	「動詞」
cóme un bambino	コメ・ウン・バンビーノ	adv. こどものように	「補語」
la cui anima	ラ・クー・アーニマ	n.f その魂は～する	「形容詞節」
è	エ	3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
vuòta	ヴォータ	adj.f 空虚な	「補語」
e	エ	conj. そして	
pronta	プロンタ	adj.f 準備のできた	「補語」
a tutto accogliere.	ア・トゥット・アッコリエレ		
adv. (目的)	全て受け入れるのに		「副詞句」

彼は全身でテーブルに覆いかぶさり、ほとんど僕の頭上で十字架を振り回していた。

Aveva tutto il corpo curvo sul tavolo. Agitava il suo crocefisso quasi sopra di me.

「動詞」「目的語」 | 「動詞」「目的語」「副詞句」

Aveva	アヴェーヴァ	3 単半・状態(avere)v.t ～を持っていた	「動詞」
tutto il corpo	トゥット・イル・コルポ	n.m 全身を	「目的語」
curvo	クルヴォ	adj. かがめた	「形容詞」
sul tavolo.	スル・ターヴォ	adv. テーブルの上に	「副詞句」
Agitava	アジターヴァ	3 単半(agitare)v.t 振り回していた	「動詞」
il suo crocefisso	イル・スー・クロチェフィッソ	n.m 十字架を	「目的語」
quasi	クワジ	adv. ほぼ	「副詞」
sopra di me.	ソープラ・ディ・メ	adv. 僕の上で	「副詞句」

実を言うと、僕はほとんど彼の考えについていけなかった。なぜならまず暑かったから。そして部屋に大きなハエがいて僕の顔にとまったからだ。それに僕は彼が怖かったからだ。

A dire il véro, l'avevo seguito abbastanza male nel suo ragionamento, anzitutto perché avevo caldo e nell'ufficio c'erano delle grösse mosche che si posavano sulla mia faccia, e anche perché mi faceva un po' paura.

「副詞句」, 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」, 「副詞節」, e 「副詞節」

A dire ア・デーレ 不定詞・条件 adv. 言うならば 「副詞句」

il véro, イル・ヴェーロ n.m 真実 「目的語」

l' イル pron 彼に 「目的語」

avevo seguito アヴ・ェーヴォ・セグイット 1 単半・完了形(seguire)v.t ついて行った 「動詞句」

abbastanza male アッバ・スタンツァ・マーレ adv. かなり悪く 「副詞句」

nel suo ragionamento, ネル・スーオ・ラジヨナメント adv. 彼の思考に 「副詞句」

anzitutto perché アンチトゥット・ペルケ conj. なぜならまず 「副詞節」

avevo アヴ・ェーヴォ 3 単半(avére)v.t ~だった 「動詞」

caldo カルト n.m 暑さ 「目的語」

e エ conj. そして

nell'ufficio ネルツフィーチョ adv. 部屋に 「副詞句」

c'erano チェラーノ 3 複半・存在(esserci)v.i ~がいた 「動詞句」

delle grösse mosche テレ・グロッセ・モスケ pl(mosca).n.f 大きなハエが 「主語」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

si posavano シ・ポ・サヴァノ 3 複半(posarsi)

v.pr (虫が) とまる 「動詞句」

sulla mia faccia, スラ・ミー・ファッチャ adv. 僕の顔の上に 「副詞句」

e エ conj. そして

anche perché アンケ・ペルケ conj. ~でもあるから 「副詞節」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

faceva ファチェヴァ 3 単半(fare)v.t 起こさせた 「動詞」

un po' paura. ウン・ポ・パーウラ n.f 少し恐れを 「直接目的語」

faceva の「主語」は単数なので「ハエ」ではなく「彼」である。

僕は同時にこれはおかしいことだと気づいた。なぜなら、結局、犯罪者は僕なのだから。

Al tèmpo stéssu mi rendevo conto che quèsto era ridicolo perché, dopotutto, il criminale ero io.

「副詞句」 「動詞句」 「補語」, 「副詞節」

Al tèmpo stéssu アル・テンポ・ステッソ adv. 同時に 「副詞句」

mi rendevo ミ・レンデヴァ 1 単半(rendersi)v.pr (状況に) なった 「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

conto コント adj. 気付いた、分かった	「補語」
che ケ conj. ～ということについて	「副詞節」
quésto クェスト pron. これは	「主語」
era エラ 3 単半・時制の一致(èssere)v.i. ～である	「動詞」
ridicolo リデーコロ adj. おかしな	「補語」
perché, ヘルケ conj. なぜなら～なので	「副詞節」
dopotutto, トポトウト adv. 結局	「副詞」
il criminale イル・クリミナレ n.m. 犯罪者は	「主語」
ero エロ 1 単半・時制の一致(èssere)v.i. ～である	「動詞」
io. イオ pron. 僕	「補語」

それでも彼は話し続けた。

Comunque lui ha continuato a parlare.

	「副詞」「主語」「動詞句」
Comunque コムンケ adv. それでも	「副詞」
lui ルーイ pron. 彼は	「主語」
ha continuato a parlare. ア・コンチヌアート・ア・ハルラーレ 3 単現・完了形・継続(continuare a+不定詞)	
v.i. 話し続けた	「動詞句」

僕は大体理解した。彼の考えでは、僕の告白には 1 つだけ曖昧な点があるというのだ：リボ
ルバーの 2 発目の発砲を待ったという事実だ。

Ho su per giù capito che secóndo lui non c'era che un punto oscuro nélla mia confessione:
il fatto di avére aspettato a tirare il secóndo cólpo di rivoltèlla.

	「動詞句」「副詞句」「動詞句」「目的語」：「主語」
Ho ...capito オ・カピート 1 単現・完了形(capire)v.t. 理解した	「動詞句」
su per giù ス・ペル・ジュー adv. 大体、上から下まで	「副詞句」
che ケ conj. ～ということ	「目的語」
secóndo lui セコント・ルーイ adv. 彼によれば、彼の意見では	「副詞句」
non c'era che ノン・チェラ・ケ 3 単半・否定・時制の一致(esserci)	
v.i. ～しかない、～だけがある	「動詞句」
un punto oscuro ウン・プント・オスクロ n.m. あいまいな点が	「主語」
nélla mia confessione: ネラ・ミア・コンフェッショネ adv. 僕の告白には	「副詞句」
il fatto イル・ファット n.m. 事実	「主語」
di avére aspettato a tirare ティ・アウエーレ・アスペッター・ア・チラーレ 不定詞・完了形・待つ	
(aspettare a+不定詞 tirare)adj.(同格) 発砲を待ったという	「形容詞句」
il secóndo cólpo イル・セコント・コルポ n.m. 2 発目を	「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

di rivoltèlla. ティ・リヴァルテッラ adj. リボルバーの 「形容詞句」

他の部分は問題なかったが、その点だけ彼は理解できなかった。

Quanto al rèsto, andava tutto benissimo, ma quel punto non lo capiva.

「副詞句」, 「動詞」 「主語」 「副詞」, ma 「副詞句」 「動詞句」 「目的語」 「動詞句」
 Quanto al rèsto, クワント・アレスト adv. 他については 「副詞句」
 andava アンダーヴァ 3 単半(andare)v.i 進行していた 「動詞」
 tutto トット pron 全てが 「主語」
 benissimo, ベニッシモ adv. 大変よく 「副詞」
 ma マ conj. しかし
 quel punto ケル・プント pron その点については 「副詞句」
 non ...capiva. ノン...カピヴァ 3 単半・否定(capire)v.t 理解できなかった 「動詞句」
 lo ロ pron それを 「目的語」

僕は彼に、固執するのは間違っている：その事実あまり重要ではないと言おうとしていた。

Stavo per dirgli che aveva torto a ostinarsi: quel fatto non aveva poi tanta importanza.

「動詞句」 「目的語」
 Stavo per dirgli スターヴァ・ォ・ペル・ディル・リ 1 単半・直前(stare per+不定詞 dire+gli)
 v.t 彼に言うところだった 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということ 「目的語」
 aveva アヴァエヴァ 3 単半・時制の一致(avére)v.t ～がある 「動詞」
 torto トルト n.m 間違い 「目的語」
 a ostinarsi: ア・オスチナリ 不定詞・理由 adv. 固執することは 「副詞句」
 quel fatto ケル・ファット n.m その事実は 「主語」
 non aveva ノン・アヴァエヴァ 3 単半・否定(avére)v.t ～がない 「動詞句」
 poi ポイ adv. その上 「副詞」
 tanta importanza. タンタ・インポルタンツァ n.f あまり重要性が 「目的語」

だが彼は僕を遮って仁王立ちになり、また僕に話を始めて、神を信じているかと尋ねた。

Ma mi ha interrotto e ha ricominciato a parlarmi ancora una volta, eretto in tutta la sua persona, e mi ha chiesto se credevo in Dio.

Ma 「目的語」 「動詞句」 e 「動詞句」 「副詞句」, e 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」
 Ma マ conj. しかし
 mi ミ pron 僕の話 「目的語」
 ha interrotto ア・インテロット 3 単現・完了形(interrómpere)v.t 遮った 「動詞句」
 e エ conj. そして

PARTE SECONDA 第2部

ha ricominciato a parlarmi ア・リコミンチャート・ア・パ^ルラル・ミ 3 単現・完了形・再開

(ricominciare a+不定詞 parlare+mi)v.i 再び僕に話し始めた 「動詞句」

ancóra una vòlta, アンコーラ・ウナ・ヴォルタ adv. もう一度 「副詞句」

eretto エレット 過去分詞(erigere)adv. (様態) 立って 「副詞句」

in tutta la sua persóna, イン・トゥッタ・ラ・スア・ペ^ルソナ adv. 全身全霊で 「副詞句」

e エ conj. そして

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha chièsto ア・キェスト 3 単現・完了形(chièdere)v.t 尋ねた 「動詞句」

se セ conj. へかどうかということ 「直接目的語」

credevo クレデーヴォ 1 単半・時制の一致(crédere)v.i(in を) 信じる 「動詞」

in Dio. イン・ドゥオ adv. 神を 「間接目的語」

僕は彼に、信じていないと答えた。彼は憤然として腰を降ろした。

Io gli ho rispósto di no. Si è seduto indignato.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」 | 「動詞句」「副詞」

Io イオ pron 僕は 「主語」

gli リ pron 彼に 「間接目的語」

ho rispósto オ・リスポスト 1 単現・完了形(rispondere)v.i 答えた 「動詞句」

di no. デイ・ノ adv. いやと 「間接目的語」

Si è seduto シ・エ・セドゥート 3 単現・完了形(sedersi)v.pr 座った、腰を降ろした 「動詞句」

indignato. インディグナート adj. (様態) 憤然として 「副詞」

彼は僕に言った、それはあり得ない、全ての人間は神を信じている、たとえ神に背を向けるものでさえも神を信じている。

Mi ha détto che era impossibile, che tutti gli uòmini credono in Dio, anche quèlli che se ne allontanano.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」, 「直接目的語」

Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha détto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. へということ 「直接目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i へである 「動詞」

impossibile, インポッシビレ adv. ありえない 「補語」

che ケ conj. へということ 「直接目的語」

tutti gli uòmini トウッティ・リ・ウオーミニ pl(uòmo)n.m 全ての人間は 「主語」

credono クレトノ 3 複現(crédere)v.i 信じている 「動詞」

in Dio, イン・ディオ adv. 神の存在を 「間接目的語」

PARTE SECONDA 第2部

anche quèlli アンケ・ケッリ pron 人さえも 「主語」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

se ne allontanano. セ・ネ・アロンタナノ 3 複現(allontanarsi+ne)

v.pr 神から離れる 「動詞句」

彼はこのことを確信していた。もし彼がそれを疑わなければならないとしたら、彼の人生はもはや何の意味も無くなってしまおうだろう。

Era convinto di quèsto, e se mai avesse dovuto dubitarne, la sua vita non avrebbe avuto più alcun sènso.

「動詞」「補語」, e 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」

Era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」

convinto コンヴィント adj.(di を) 確信した 「補語」

di quèsto, ディ・ケスト adv. これを 「間接目的語」

e エ conj. そして

se セ conj. もし~ならば 「副詞節」

mai マーイ adv. 万一にも、ひょっとして 「副詞」

avesse dovuto dubitarne, アヴ・エッセ・ドゥヴァート・ドゥビタルネ 接・3 単半・完了形・必要

(dovére+不定詞 dubitare+ne)v.i それを疑わなければならない 「動詞句」

la sua vita ラ・スー・ヴァーイータ n.f 彼の人生は 「主語」

non avrebbe avuto ノン・アヴレabbo・アヴァート 条・三単現・完了形・推量(avére)

v.t ~が無くなってしまおうだろう 「動詞句」

più ビウ adv.(non...più) もはや~ない 「副詞」

alcun sènso. アルクン・センソ n.m なんの意味も 「目的語」

「望むのですか？」と、彼は大声で言った。「私の人生の意味がなくなることを」それは僕には関係がない、と彼に言った。

“Vuole,” ha esclamato, “che la mia vita non abbia sènso?” A me quèsto non riguardava, e gliel’ho détto.

《「動詞」》, 「動詞句」, 《「目的語」》

「間接目的語」「主語」「動詞句」 e 「目的語」「動詞句」

“Vuole,” ヴアレ 3 単現・疑問文(volére)v.t 望むのですか？ 「動詞」

ha esclamato, ア・エスクラマート 3 単現・完了形(esclamare)v.i 大声で言った 「動詞句」

“che ケ conj. ~ということ を 「目的語」

la mia vita ラ・ミー・ヴァーイータ n.f 私の人生が 「主語」

non abbia ノン・アッバ 接・3 単現・否定(avére)v.t 持たなくなる 「動詞句」

sènso?” センソ n.m 意味を 「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

A me ア・メ adv. 僕には	「間接目的語」
quésto クェスト pron. それは	「主語」
non riguardava, ノン・リグゝわルダゝハ 3 単半・否定・時制の一致(riguardare)	
v.t 関係がない	「動詞句」
e エ conj. そして	
gliel' リエロ pron(gli + lo) 彼にそれを	「目的語」
ho détto. オ・テット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」

しかし、彼はすでに書記の机越しにキリスト像を僕の目の下まで突き出して、憑りつかれたように叫んでいた：「私はキリスト教徒だ」

Ma attraverso la scrivania lui spingeva già in avanti il Cristo fin sotto i miei occhi, e gridava come un ossesso: “Io sono un Cristiano, io.

Ma 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞」「副詞句」「目的語」「副詞句」, e
「動詞」「副詞句」: 《「主語」「動詞」「補語」, 「主語」》

Ma マ conj. しかし	
attraverso アットラウゝェール prep. ～を横切って	「副詞句」
la scrivania ラ・スクリヴァニア n.f 机	「目的語」
lui ルーイ pron. 彼は	「主語」
spingeva スピンジェヴァ 3 単半(spingere)v.t 押し出した	「動詞」
già ジャ adv. すでに、もう	「副詞」
in avanti イン・アヴァンティ adv. 前に	「副詞句」
il Cristo イル・クリスト n.m キリスト像を	「目的語」
fin sotto i miei occhi, フィン・ソット・イ。ミエイ・オッキ adv. 僕の目の下まで	「副詞句」
fin → fino フィノ prep. ～まで	
e エ conj. そして	
gridava グリタゝヴァ 3 単半(gridare)v.i 叫んでいた	「動詞」
come コーメ conj. ～のように	「副詞句」
un ossesso: ウン・オッセツ n.m 取り付かれた人	「目的語」
“Io イーオ pron. 私は	「主語」
sono ソーノ 1 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
un Cristiano, ウン・クリスチアーノ n.m キリスト教徒	「補語」
io. イーオ pron. 私は	「主語」

君の過ちについて彼に許しを求めよう。どうして彼が君のために苦しんだことが分からないのですか？

E domando perdóno a Lui delle tue colpe. Come puoi non vedére che ha sofferto per te?

E 「動詞」「直接目的語」「間接目的語」「副詞句」 | 「副詞」「動詞句」「目的語」

E エ conj. そして

domando ドマント 1 単現(domandare)v.t 請う、求める 「動詞」

perdóno ペルトーノ n.m 許しを 「直接目的語」

a Lui ア・ルイ adv. 彼に 「間接目的語」

delle tue colpe. デッレ・トゥエ・コルペ adj.(colpa) 君の過ちについて 「副詞句」

Come コーメ adv. どうして 「副詞」

puoi non vedére プオイ・ノン・ヴェデーレ 2 単現・可能・否定・疑問文(potére+不定詞 vedére)

v.t 分からないのですか 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

ha sofferto ア・ソフエルト 3 単現・完了形(soffrire)v.i 苦しんだ 「動詞句」

per te?" ペル・テ adv. あなたのために 「副詞句」

彼が僕を親し気と呼んでいることに気が付いた。だが、もう十分だ。

Ho notato che mi dava del tu, ma... ormai ne avevo abbastanza.

「動詞句」「目的語」,ma... 「副詞」「動詞句」「副詞」

Ho notato オ・ノタート 1 単現・完了形(notare)v.t 気付いた 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

mi ミ pron 僕を 「直接目的語」

dava ダヴァ 3 単半(dare)v.t 与えた 「動詞」

del tu, デル・トゥ adv. (方法) 君という呼び方で 「副詞句」

ma... マ conj. しかし

ormai オルマイ adv. もはや 「副詞」

ne avevo ネ・アヴェーヴォ 1 単現(avére)v.t ～がある 「動詞句」

abbastanza. アッバスタンツァ adv. 十分に 「副詞」

averne abbastanza di... 「～にうんざりする」

暑さはますます厳しくなってきた。無理に話を聞かされる相手から解放されたい時にいつもするように、僕は同意した様子で彼を見つめた。

Il caldo continuava a aumentare. Come faccio sèmpre quando voglio liberarmi di qualcuno che mi sécca ascoltare, l'ho guardato con l'aria di essere d'accordo.

「主語」「動詞句」 | 「副詞節」, 「目的語」「動詞句」「副詞句」

Il caldo イル・カルト° n.m 熱は、暑さは

「主語」

continuava a aumentare. コンチヌアヴァ・ア・アウメンターレ 3 単半・継続

(continuare a+不定詞 aumentare)v.i 上昇し続けていた

「動詞句」

Come コーメ conj. どのように

「副詞節」

faccio ファッチョ 1 単現(fare)v.t する

「動詞」

sèmpre センプレ adv. いつも

「副詞」

quando クワント° conj. する時に

「副詞節」

voglio liberarmi ヲォリオ・リベラルミ 1 単現・願望(volere+不定詞 liberarsi)

v.pr(di から) 解放されたいと望む

「動詞句」

di qualcuno ディ・クワルクーノ adv. 誰かから

「間接目的語」

che ケ pron (主語) する

「形容詞節」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

sécca セッカ 3 単現(seccare)v.t 煩わす

「動詞」

ascoltare, アスコルターレ 不定詞・mi の動作

v.t 聞く

「補語」

l' ロ pron 彼を

「目的語」

ho guardato オ・グアルダート 1 単現・完了形(guardare)v.t 見つめた

「動詞句」

con l'aria コンラーリア adv. (手段) 態度で、様子で

「副詞句」

di essere d'accordo. ディ・エッセレ・ダコルト° adj. 同意したという

「形容詞句」

驚いたことに、判事は興奮した。

Con mio gran stupóre, il giudice si è entusiasmato.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」

Con コン conj. (結果) になる

「副詞句」

mio gran stupóre, ミーオ・グラン・ストゥポール n.m 僕の驚き

「目的語」

il giudice イル・ジューデイチェ n.m 判事は

「主語」

si è entusiasmato. シ・エ・エントゥアジ・アスマート 3 単現・完了形(entusiasmarsi)

v.pr 興奮した、熱狂した

「動詞句」

「それ見なさい、それ見なさい」と、彼は言い始めた。「彼を信じて、自分自身を彼に任せるのが正しいのではないか？」

“Lo vedi, lo vedi,” si è messo a dire, “non è véro che credi e ti confiderai a Lui?”

《「目的語」「動詞」,「動詞句」》,「動詞句」,《「動詞」「補語」「主語」》

“Lo ▯ pron それを 「目的語」
vedi, ベディ 命・2 単現(vedére)v.t 見なさい 「動詞」
lo vedi,” ▯・ベディ 命・2 単現(vedére)v.t それを見なさい 「動詞句」
si è messo a dire, シ・エ・メツ・ア・デーレ 3 単現・完了形・開始(mettersi a+不定詞)
v.pr 言い始めた 「動詞句」
“non è ノ・ネ 3 単現・否定・疑問文(essere)v.i 〜ではないのか? 「動詞句」
véro ベーロ adj. 本当の 「補語」
che ケ conj. 〜ということは 「主語」
credi クレディ 2 単現(crédere)v.t 信じる 「動詞」
e エ conj. そして
ti confiderai ティ・コンフィテライ 2 単末(confidarsi)v.pr 自分自身を任せる 「動詞句」
a Lui?” ア・ルーイ adv. 彼に 「間接目的語」

当然、僕はもう一度否定した。判事は肘掛椅子に座り込んだ。

Naturalmente ho détto ancóra una vòlta di no. Il giudice è rimasto nélla sua poltrona.

「副詞」「動詞句」「副詞句」「間接目的語」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

Naturalmente ナチュラルメンテ adv. 当然 「副詞」
ho détto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
ancóra アンコーラ adv. また、再び 「副詞句」
una vòlta ウナ・ヴォルタ n.f 一度 「目的語」
di no. ディ・ノ adv. そうではないと 「間接目的語」
Il giudice イル・ジューデイチェ n.m 判事は 「主語」
è rimasto エ・リマスト 3 単現・完了形(rimanére)v.i (ある状態に) なった、留まった 「動詞句」
nélla sua poltrona. ネラ・スア・ポルトローナ adv. 肘掛椅子に 「副詞句」

彼はひどく疲れた様子だった。彼はしばらくの間無言だったが、その間も、それまで休みなく会話に追従していた書記のタイプライターはまだ最後の会話を打ち続けていた。

Aveva l'aria molto stanca. È rimasto un istante in silenzio mentre la macchina da scrivere, che non aveva cessato di seguire il dialogo, ne prolungava ancora le ultime frasi.

「動詞」「目的語」 | 「動詞句」「副詞句」「補語」, 「副詞節」

Aveva アヴェーヴァ 3 単半(avére)v.t (特徴を) していた 「動詞」

l'aria ラーリア n.f 様子を 「目的語」

molto stanca. モルト・スタンカ adj(stanco).f ひどく疲れた 「形容詞句」

È rimasto エ・リマスト 3 単現・完了形(rimanére)v.i (ある状態に) なった、留まった 「動詞句」

un istante ウン・イスタンテ adv. 少しの間、しばらく 「副詞句」

in silenzio イン・シレンツィオ adv. 無言に 「補語」

mentre メントレ conj. その間～する 「副詞節」

la macchina da scrivere, ラ・マッキナ・ダ・スクリーヴァレ

n.f 書記のタイプライターは 「主語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

non aveva cessato di seguire ノン・アヴェーヴァ・チェッサート・ディ・セグアイレ 3 単半・完了形・否定

v.t 休みなく追従していた 「動詞句」

il dialogo, イル・ディアロゴ n.m 会話を 「目的語」

ne ネ pron それを 「副詞」

prolungava プロルンガヴァ 3 単半(prolungare)v.t 引き延ばしていた 「動詞」

ancora アンコーラ adv. まだ 「副詞」

le ultime frasi. レ・ウルチメ・フラーシ pl(frase).n.f 最後の言葉を 「目的語」

それから彼は少し悲しそうな様子でじっと僕を見つめた。

Poi mi ha guardato con attenzione e con un po' di tristezza.

「副詞」「目的語」「動詞句」

Poi ポーイ adv. それから 「副詞」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

ha guardato ア・グワルダート 3 単現・完了形(guardare)v.t 見つめた 「動詞句」

con attenzione コン・アッテンツィオーネ adv. 注意深く、じっと 「副詞句」

e エ conj. そして

con un po' di tristezza. コン・ウン・ポ・ディ・トリステツァ adv. 少し悲しそうに 「副詞句」

彼は話し始めた：「私はあなたの魂ほど頑なな魂を一度も見たことはありません」

Ha cominciato: “Io non ho mai visto un’anima altrettanto incallita che la sua.

「動詞句」：《「主語」「動詞句」「目的語」》

Ha cominciato: ア・コミンチャート 3 単現・完了形・開始(cominciare)v.t 話し始めた 「動詞句」

“Io イ・オ pron 私は 「主語」

non ho mai visto ノ・ノ・マイ・ヴィスト 1 単現・完了形・否定(vedere)

v.t 一度も見たことがない 「動詞句」

un’anima ウ・ナーニマ n.m 魂を 「目的語」

altrettanto incallita アルトレッタント・インカリータ adj. 同じ位頑なな 「形容詞句」

che ケ conj. (比較) ～と 「副詞句」

la sua. ラ・スア n.f あなたの魂 「目的語」

「私の前にやって来た犯罪者たちは、この苦しみの象徴を前にすると、必ず泣いたものです」

I criminali che sono venuti dinanzi a me hanno sempre pianto di fronte a questo simbolo del dolore.”

《「主語」「動詞句」「副詞句」》

I criminali イ・クリミナリ pl(criminale).n 犯罪者は 「主語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

sono venuti ソーノ・ヴェヌーティ 3 複現・完了形(venire)v.i やって来た 「動詞句」

dinanzi a me デイナンツイ・アメ adv. 私の前に 「副詞句」

hanno sempre pianto アンノ・センプレ・ピアント 3 複現・完了形(piangere+ sempre)

v.i 必ず泣いた 「動詞句」

di fronte a デイ・フロンテ・ア adv. ～を前にして 「副詞句」

questo simbolo クェステ・シンボロ n.m この象徴 「目的語」

del dolore.” テル・ドロレ adj. 苦しみの 「形容詞句」

→ 磔像、十字架

それは彼らが犯罪者だからだ、と言いつくすところだった。

Stavo per rispondere che era precisamente perché si trattava di criminali.

「動詞句」「目的語」

Stavo per rispondere スタヴォ・ペル・リスポンドェレ 1 単半・直前(stare per+不定詞 rispondere)

v.t 言いつくすところだった 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」

precisamente プレチザメンテ adv. まさに 「副詞」

perché ペルケ conj. ～だから 「補語」

PARTE SECONDA 第2部

si trattava シ・トラッターヴァ 非人称・3 単半・時制の一致(si trattare)

v.h(di) 〜である

「動詞句」

di criminali. ティ・クリミナリ adv.(criminale) 犯罪者

「補語」

だが、そこで考えると、僕も彼ら同様犯罪者だった。

Ma pòì ho pensato che anch'io ero come loro.

Ma 「副詞」「動詞句」「目的語」

Ma マ conj. しかし

pòì ポーイ adv. そこで

「副詞」

ho pensato オ・ペンサート 1 単現・完了形(pensare)v.t 考えた

「動詞句」

che ケ conj. 〜ということを

「目的語」

anch'io アンキオ pron 僕も

「主語」

ero エロ 1 単半(essere)v.i 〜である

「動詞」

come loro. コモ・ローロ adv. 彼らと同様の

「補語」

それは僕にとっては馴染めない考えだ。

Questa era un'idea alla quale non potevo adattarmi.

「主語」「動詞」「補語」

Questa クェスタ pron これは

「主語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i 〜である

「動詞」

un'idea ウン・イデア n.f 考え

「補語」

alla quale アラ・クワレ adv. (間接目的語) それに対して〜する

「形容詞節」

non potevo adattarmi. ノン・ポテヴァ・オ・アダッタリミ 1 単半・可能・否定(potére+不定詞 adattarsi)

v.pr 受け入れられない、慣れることが出来ない

「動詞句」

それから判事は、もう尋問は終わったと僕に知らせるかのように立ち上がった。

Pòì il giudice si è alzato in piedi come per informarmi che l'interrogatorio era terminato.

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」

Pòì ポーイ adv. それから

「副詞」

il giudice イル・ジューデイチェ n.m 判事は

「主語」

si è alzato シ・エ・アルツァート 3 単現・完了形(alzarsi)v.pr 立ち上がった

「動詞句」

in piedi イン・ピエーティ adv. 立って、直立して

「副詞句」

come コメ conj. 〜のように

「副詞句」

per informarmi ペル・インフォルマリミ 不定詞・目的 adv. 僕に知らせるため

「副詞句」

che ケ conj. 〜ということを

「目的語」

l'interrogatorio リンテロガトリオ n.m 尋問は

「主語」

PARTE SECONDA 第2部

era terminato. エラ・テルミナト 3 単半・完了形(terminare)

v.i 終わった

「動詞句」

ただ彼は相変わらず少し奇妙な様子で、僕は自分のした事を後悔しているかと尋ねた。

Mi ha chiesto soltanto, sempre con quell'aria un po' strana, se mi dispiaceva quel che avevo fatto.

「間接目的語」「動詞句」「副詞句」「直接目的語」

Mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた

「動詞句」

soltanto, ソルタント adv. ただ

「副詞」

sempre con quell'aria un po' strana, センプレ・コン・クエッラーリア・ウン・ポ・ストラナ

adv. (手段) 相変わらず少し奇妙な様子で

「副詞句」

se セ conj. ～かどうかということ

「直接目的語」

mi ミ pron 僕にとって

「間接目的語」

dispiaceva ディスピェーヴァ 3 単半(dispiacere)

v.i 遺憾である、後悔している

「動詞」

quel ケル pron それは

「主語」

che ケ conj. (目的語) ～する

「形容詞節」

avevo fatto. アヴェウ・ファット 1 単半・完了形(fare)v.t 行なった 「動詞句」

僕は少し考えてから、後悔するというよりも、なにか厄介なものを感じていると答えた。

Ho riflettuto un po' e ho detto che piuttosto che dispiacere provavo una certa noia.

「動詞句」「副詞句」 e 「動詞句」「目的語」

Ho riflettuto オ・リフレットウト 1 単現・完了形(riflettere)v.i よく考えた

「動詞句」

un po' ウン・ポ adv. 少し

「副詞句」

e エ conj. そして

ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

che ケ conj. ～ということ

「目的語」

piuttosto che dispiacere ピ・ウットースト・ケ・ディスピェーヴァ

adv. 後悔するというよりも

「副詞句」

provavo プロヴァーヴォ 1 単半・時制の一致(provare)v.t 感じている

「動詞」

una certa noia. ウナ・チェルタ・ノイア n.f ある種の悩みの種を

「目的語」

僕は彼が僕のことを理解していないという印象を受けた。しかし、その日はそれで終わった。

Ho avuto l'impressione che non mi capisse. Ma per quel giorno le cose si sono fermate lì.

「動詞句」「目的語」 | Ma 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞」

Ho avuto オ・アヴート 1 単現・完了形(avére)v.t. ～を持った 「動詞句」

l'impressione リンプ レッシオーネ n.f 印象を 「目的語」

che ケ conj. (同格) ～という 「形容詞節」

non ...capisce. ノン...カピッセ 接・3 単半・否定・推量(capire)

v.t 理解していない 「動詞句」

mi ミ pron 僕のことを 「目的語」

Ma マ conj. しかし

per quel giorno ペル・ケル・ジヨルノ adv. (予定) その日については 「副詞句」

le cose レ・コーセ pl(còsa).n.f 物事は 「主語」

si sono fermate シ・ソーノ・フェルマーテ 3 複現・完了形.pl(fermarsì)

v.pr 終わった、中断した 「動詞句」

lì. リ adv. そこで 「副詞」

その後、僕は予審判事と何度も会った。ただ、毎回弁護士が同伴した。

In seguito ho rivisto spesso il giudice istruttore. Sólo che, tutte le volte, l'avvocato mi accompagnava.

「副詞句」「動詞句」「副詞」「目的語」 | 「副詞句」, 「主語」「目的語」「動詞句」

In seguito イン・セグイット adv. その後 「副詞句」

ho rivisto オ・リヴィスト 1 単現・完了形(vedére)v.t 会った 「動詞句」

spesso スペッツ adv. しばしば、何度も 「副詞」

il giudice istruttore. イル・ジューテ・イチェ・イストラットーレ n.m 予審判事と 「目的語」

Sólo che, ソーロ・ケ adv. ただ 「副詞句」

tutte le volte, トゥッテ・レ・ヴォルテ pl(vòlta).n.f 毎回 「副詞句」

l'avvocato ラヴヴォカート n.m 弁護士が 「主語」

mi ミ pron 僕に 「目的語」

accompagnava. アッコンパニャヴァ 3 単半(accompagnare)v.t 同伴した 「動詞」

彼らは僕に以前の陳述のいくつかの点を詳しく述べさせた。あるいは、判事は弁護士と検察側の訴因について検討していた。

Si limitavano a farmi precisare cèrti punti délle mie precedenti dichiarazioni, oppure il giudice discuteva con l'avvocato i capi d'accusa.

「動詞句」「目的語」, oppure 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

Si limitavano シ・リミターヴァノ 3 複半・限定(limitarsi)

v.pr(a+不定詞) 〜するように限定していた 「動詞句」

a farmi precisare ア・ファール・ミ・プレチザレ 不定詞・使役(fare +mi+不定詞)

v.t 僕に明確に述べさせる 「動詞句」

cèrti punti チェルティ・プンティ pl(punto).n.m ある点を 「目的語」

délle mie precedenti dichiarazioni, テレ・ミー・プレチェンティ・ディイアラッチォーニ

adj. 僕の以前の陳述の 「形容詞句」

oppure オップレ conj. あるいは、または

il giudice イル・ジューディチェ n.m 判事は 「主語」

discuteva ディスクテヴァー 3 単半(discutere)v.t 検討した 「動詞」

con l'avvocato コン・ラヴァッオカート adv. 弁護士と 「副詞句」

i capi d'accusa. イ・カピ・ダクサー pl(capo).n.m (起訴状の) 訴因 「目的語」

しかし、そんな時には実際に彼らはまったく僕に気配りすることは無かった。

Ma in realtà in quei momenti non si occupavano affatto di me.

Ma 「副詞句」「動詞句」「副詞」「間接目的語」

Ma マ conj. しかし

in realtà イン・リアルタ adv. 実際に 「副詞句」

in quei momenti イン・クエイ・モメンティ adv. そんな時には 「副詞句」

non si occupavano ノン・シ・オックパヴァノ 3 複半・否定(occuparsi)

v.pr (di に) 気づかわなかった 「動詞句」

affatto アッフアット adv. まったく〜ない 「副詞」

di me. ディ・ミ adv. 僕に 「間接目的語」

それでも少しずつ、取り調べの様子が変化した。

A pòco a pòco. Comùnque, il tònno degl'interrogatori è mutato.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」

A pòco a pòco, ア・ポコ・ア・ポコ adv. 少しずつ

「副詞句」

Comùnque, コムンケ adv. いずれにしても、それでも

「副詞」

il tònno イル・トノ n.m 調子が

「主語」

degl'interrogatori デリンテロガトリー adj. 質問の、取り調べの

「形容詞句」

è mutato. エ・ムタート 3 単現・完了形・変化(nutare)v.i 変わった

「動詞句」

判事はもう僕に興味が無く、ある意味では、僕の事件の調査を断念したように思われた。

Pareva che il giudice non avesse più interesse per me e avesse in un cèrto qual mòdo archiviato il mio caso.

「動詞」「主語」

Pareva パレヴァ 3 単半(parére)v.i ーのように思われた

「動詞」

che ケ conj. ーということは

「主語」

il giudice イル・ジューデイチェ n.m 判事は

「主語」

non avesse più ノン・アヴェッセ・ピウ 接・3 単半・否定(avére)v.t もうーがない

「動詞句」

interesse インテレッセ n.m 興味、関心

「目的語」

per me ペル・メ adv. (対象) 僕に

「副詞句」

e エ conj. そして

avesse ...archiviato アヴェッセ...アルキヴァイト 接・3 単半・完了形(archiviare)

v.t (事件の調査を) 断念した

「動詞句」

in un cèrto qual mòdo イン・ウン・チェルト・クワル・モト adv. ある意味では

「副詞句」

il mio caso. イル・ミーオ・カーゾ n.m 僕の事件を

「目的語」

彼が僕に神について語ることはもう無くなったし、最初の日のように興奮した彼を見ることも無くなった。

Non mi ha più parlato di Dio, e non l'ho più visto agitato còme il primo giorno.

「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」, e 「動詞句」「目的語」「動詞句」「補語」

Non ...ha più parlato ノン...ア・ピウ・パルラート 3 単現・完了形・否定(parlare+ più)

v.i もう話さなかった

「動詞句」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

di Dio, ディ・ディオ adv. 神について

「副詞句」

e エ conj. そして

non ...ho più visto ノン...オ・ピウ・ヴィスト 1 単現・完了形・否定(vedére+ più)

v.t もう見ることは無かった

「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

l' ㄱ pron 彼を 「目的語」
 agitato アジタート adj. 興奮した 「補語」
 come コーメ conj. どのように 「副詞句」
 il primo giorno. イル・プリモ・ジョルノ n.m 最初の日 「目的語」

その結果、僕達の会談はより和やかになった。

Ne è risultato che i nostri incóntri sono divenuti assai più cordiali.

「間接目的語」「動詞句」「主語」
 Ne ネ pron 僕たちにとって 「間接目的語」
 è risultato エ・リスルタート 3 単現・完了形(risultare)v.i ーの結果になった 「動詞句」
 che ケ conj. ーということが 「主語」
 i nostri incóntri イ・ノストリ・インコントリ pl(incóntro).n.m 僕たちの会談は 「主語」
 sono divenuti ソーノ・デー・イヴ・エヌーティ 3 複現・完了形.pl・変化(divenire)
 v.i ーになった 「動詞句」
 assai più cordiali. アッサーイ・ピウ・コルデアーリ adj(cordiale).pl より和やかな 「補語」

いくつかの質問と弁護士との少しの会話、それで尋問は終わった。

Qualche domanda, un po' di conversazione col mio avvocato, e gli interrogatori erano finiti.

「主語」, 「主語」「動詞句」
 Qualche domanda, クワルク・ド・マンダ n.f いくつかの質問 「主語」
 un po' di conversazione ウン・ポ・ディ・コンヴァ・エスサチオーネ n.f 少しの会話 「主語」
 col mio avvocato, コル・ミーオ・アヴウ・オカート adv. 弁護士との 「副詞句」
 e エ conj. そして
 gli interrogatori リ・インテロガトリー pl(interrogatòrio).n.m 尋問は 「主語」
 erano finiti. エラーノ・フィニーティ 3 複半・完了形.pl(finire)v.i 終わった 「動詞句」

判事の表現を用いれば、僕の事件は成り行き通りに進んでいた。

La mia faccenda seguiva il suo corso, per usare l'espressione del giudice.

「主語」「動詞」「目的語」, 「副詞句」
 La mia faccenda ラ・ミア・ファチェンダ n.f 僕の事件は、状況は 「主語」
 seguiva セグ・イヴァ 3 単半(seguire)v.t 進んでいた 「動詞」
 il suo corso, イル・スー・コーソ n.m 成り行きを、その経過を 「目的語」
 per +不定詞 ヘル prep (手段) ーするならば 「副詞句」
 usare ウザーレ 不定詞 v.t 用いる、使う 「動詞」
 l'espressione レスプレッシオーネ n.f 表現を 「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

del giudice. テル・ジューデウチェ adj. 判事の

「形容詞句」

会話が世間話の時には、僕も彼らの会話に入らせてくれることも何度かあった。

Qualche volta, persino, quando la conversazione era genèrica, lasciavano che vi entrassi anch'io.

「副詞句」, 「動詞」 「目的語」

Qualche volta, クワルク・ヴォルタ adv. 何度か

「副詞句」

persino, ペルシーノ adv. ～さえ

「副詞」

quando クワンド conj. ～の時に

「副詞節」

la conversazione ラ・コンヴェルサチオーネ n.f 会話が

「主語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

genèrica, ジェネーリカ adj(genèrico).f 一般的な事、世間話

「補語」

lasciavano ラッシャーヴァノ 3 複半(lasciare)v.t(che+接続法) ～させてくれた

「動詞」

che ケ conj. ～ということ

「目的語」

vi ヴィ pron.pl 彼らに

「間接目的語」

entrassi エントラッシ 接・1 単半・時制の一致(entrare)v.i 入る

「動詞」

anch'io. アンキョー pron 僕も

「主語」

そういう時には、誰も僕に対して意地の悪い対応をしなかった。

In quelle ore nessuno era cattivo con me.

「副詞句」 「主語」 「動詞」 「補語」

In quelle ore イン・クエレ・オーレ adv. その時には

「副詞句」

nessuno ネッスーノ pron 誰も～ない

「主語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった

「動詞」

cattivo カッティウヴォ adj. 意地悪な

「補語」

con me. コン・メ adv. 僕に対して

「副詞句」

全てがとても自然で、とてもうまい具合に進み、非常につつましく演じられた。それで僕は「家族と一緒にいる」というおかしい印象を抱いた。

Tutto era così naturale, funzionava così bene, ed era recitato così sobriamente, che avevo l'impressione buffa di “essere in famiglia”.

「主語」 「動詞」 「補語」, 「動詞」 「副詞句」,

ed 「動詞句」 「副詞句」, che 「動詞」 「目的語」

Tutto トット pron 全てが

「主語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった

「動詞」

così naturale, コシ・ナトゥーレレ adj. とても自然な

「補語」

PARTE SECONDA 第2部

funzionava	フンツィオーヴァ 3 単半(funzionare)v.i	調子よく動いた	「動詞」
così bène,	コシ・ビェン adv.	とてもうまい具合に	「副詞句」
ed	エト conj.	そして	
era recitato	エラ・レチタート 3 単半・受動(recitare)v.t	演じられた	「動詞句」
così sobriamente,	コシ・ソブリアメンテ adv.	非常につつましく	「副詞句」
che	ケ conj.	(結果) それで～する	
avevo	アヴェーヴォ 1 単半(avére)v.t	～を持った	「動詞」
l'impressioné buffa	リンプレッシオーネ・ブッファ n.f	おかしい印象を	「目的語」
di +不定詞	不定詞・同格 adj.	～するという	「形容詞句」
“essere	エッセル 不定詞(èssere)v.i	～にいる	「動詞」
in famiglia”.	イン・ファミリア adv.	家族の中に	「副詞句」

そして、予審が続いた 11 か月の終わりになって、判事が執務室のドアまで僕に付き添って、僕の肩を叩き、『今日のところはこれで終わりだ。アンチ・キリスト君』と心のこもった口調で言ってくれる滅多にない瞬間以外にほとんど喜びを知らなかったことに驚いた。それから、僕は警官に再び引き渡された。

E al termine degli undici mesi che ha durato l'istruttoria, quasi mi stupivo di aver mai conosciuto altra gioia che quella dei rari istanti in cui il giudice mi riaccomagnava alla porta del suo ufficio, battendomi sulla spalla e dicendo, con aria cordiale: “È finito per oggi, signor Anticristo.” Poi venivo riconsegnato ai gendarmi.

E 「副詞句」, 「副詞」 「動詞句」 「副詞句」 | 「副詞」 「動詞句」 「間接目的語」

E	エ conj.	そして	
al termine	アル・テルミネ adv	(時) 終わりに	「副詞句」
degli undici mesi	デリ・ウンテ・イチ・メジ adj.	11 か月の	「形容詞句」
che	ケ pron	(副詞的) ～する	「副詞節」
ha durato	ア・ドゥラート 3 単現・完了形(durare)v.i	続いた	「動詞句」
l'istruttoria,	リストルトーリア n.f	予審が	「主語」
quasi	クワ・ジ adv.	ほとんど	「副詞」
mi stupivo	ミ・ストゥピヴォ 1 単半(stupirsi)v.pr	驚いた	「動詞句」
di +不定詞	ディ 不定詞・原因 adv.	～して	「副詞句」
aver mai conosciuto	アヴェール・マイ・コノシュート 不定詞(conoscere)・完了形		
	v.t	知っていることは無かった	「動詞句」
altra gioia	アルトラ・ジョーイア n.f	他の喜びを	「目的語」
che	ケ conj.	(比較) ～よりも	「副詞句」
quella	クェッラ pron	(gioia の代用) 喜び	「目的語」
dei rari istanti	デ・イ・ラーリ・イスタンティ		

PARTE SECONDA 第2部

- adj. 滅多にない瞬間の 「形容詞句」
- in cui イン・クイ adv. その時に～する 「副詞節」
- il giudice イル・ジューディチェ n.m 判事が 「主語」
- mi ミ pron 僕に 「目的語」
- riaccompagnava リアッコンプァニャーヴァ 3 単半・時制の一致(riaccompagnare)
- v.t 同伴する、付き添う 「動詞」
- alla porta del suo ufficio, アラ・ポールタ・デル・ス・ウッフイーチョ
- adv. 執務室のドアまで 「副詞句」
- battendomi バテント・ミ ジェルンディオ(battere+mi)
- adv. 叩きながら 「副詞句」
- sulla spalla スッラ・SPAッラ
- adv. 肩を 「間接目的語」
- e エ conj. そして
- dicendo, ディチェント ジェルンディオ(dire)
- adv. 言いながら 「副詞句」
- con ària cordiale: コン・アーリア・コルデアーレ
- adv. 心のこもった様子で 「副詞句」
- “È finito エ・フィニート 3 単現・完了形(finire)
- v.i 終わった 「動詞句」
- per oggi, ペル・オジ
- adv. 今日のところは 「副詞句」
- signor Anticristo.” シニョール・アンチクリスト
- n.m アンチ・キリスト君 「呼びかけ」
- Poi ポーイ adv. それから 「副詞」
- venivo riconsegnato ヴェニーヴァ・オ・リコンセニャート 1 単半・受動(venire+過去分詞 riconsegnare)
- v.t 再び手渡された 「動詞句」
- ai gendarmi. アイ・ジエンダルミ adv. 警官に 「間接目的語」

2.

僕には決して話す気にならない事がある。

Ci sono cose di cui non mi è mai piaciuto parlare.

「動詞句」「主語」

Ci sono シ・ソノ 3 複現・存在(esserci)v.i. ～がある

「動詞句」

cose コーゼ pl(cosa).n.f 物事が

「主語」

di cui デイ・クイ adv. それについて～する

「形容詞節」

non ...è mai piaciuto ノン...エ・マイ・ヒ°アチュート 3 単現・完了形・否定(piacere)

v.i 決して気に入らなかった

「動詞句」

mi ミ pron 僕にとって

「間接目的語」

parlare. パルラーレ 不定詞 n. 話すことが

「主語」

刑務所に入って数日後に、僕は自分の生活のこの部分について話す気にならないだろうと気が付いた。

Quando sono entrato in prigione, ho capito dopo qualche giorno che non mi sarebbe piaciuto parlare di questa parte della mia vita.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」「動詞句」「目的語」

Quando クワント° conj. (時間) ～する時

「副詞節」

sono entrato ソノ・アントラート 1 単現・完了形(entrare)v.i 入った

「動詞句」

in prigione, イン・プリジオーネ adv. 拘置所に、刑務所に

「間接目的語」

ho capito オ・カピート 1 単現・完了形(capire)v.t 分かった、理解した

「動詞句」

dopo qualche giorno トーホ°・クワルケ・ジオルノ adv. 数日後に

「副詞句」

che ケ conj. ～ということ

「目的語」

non ...sarebbe piaciuto ノン...サレツベ°・ヒ°アチュート 条・3 単現・完了形・推量・否定(piacere)

v.i 気に入らないだろう

「動詞句」

mi ミ pron 僕にとって

「間接目的語」

parlare パルラーレ 不定詞 n. 話すことが

「主語」

di questa parte デイ・クェスタ°・パルテ adv. この部分について

「間接目的語」

della mia vita. デッラ°・ミーア°・ヴァイタ adj. 自分の生活の「形容詞句」

その後、僕はこの嫌悪感があまり気にならなくなった。

In séguito non ho dato più peso a questa ripugnanza.

「副詞句」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」

In séguito イン・セグイト adv. その後

「副詞句」

non ho dato ノ・ノ・ダート 1 単現・完了形・否定(dare)v.t 与えなかった

「動詞句」

più peso ヒ・ウ・ペーソ n.m より重要性を〜ない

「直接目的語」

a questa ripugnanza. ア・クェスタ・リプニャンサ adv. この嫌悪感に

「間接目的語」

実際に、最初の数日は牢獄に入っているという心境ではなかった：僕は何か新しい出来事を待つ漠然とした期待の中にいた。

In verità i primi giorni non ero realmente in prigione: ero nell'attesa vaga di un qualche avvenimento nuovo.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」：「動詞」「副詞句」

In verità イン・ヴェリタ adv. 実は、実際に

「副詞句」

i primi giorni イ・プリミ・ジオルニ pl(giorno).n.m 最初の数日は

「副詞句」

non ero ノ・エロ 1 単半・否定・存在(essere)v.i 〜にいなかった

「動詞句」

realmente レアルメンテ adv. 実際に

「副詞」

in prigione: イン・プリジオーネ adv. 牢獄に

「副詞句」

ero エロ 1 単半・存在(essere)v.i 〜にいた

「動詞」

nell'attesa vaga ネ・ラテーサ・ヴァーガ adv.(di 〜を待つ) 漠然とした期待の中に

「副詞句」

di un qualche avvenimento nuovo. ディ・ウン・クワルケ・アヴエニメント・ヌオーヴォ

adv. 何か新しい出来事を待つ

「副詞句」

全てが始まったのは、マリーが最初で最後の面会に来てからだった。

È soltanto dopo la prima e unica visita di Maria che tutto è cominciato.

「動詞」「補語」「主語」

È エ 3 単現(essere)v.i 〜である

「動詞」

soltanto dopo ソルタント・ドーポ adv. 〜して初めて

「補語」

la prima e unica visita ラ・プリマ・エ・ウニカ・ヴィジタ n.f 最初で最後の訪問

「目的語」

di Maria ディ・マリア adj. マリーの

「形容詞句」

che ケ conj. 〜ということは

「主語」

tutto トゥット pron 全てが

「主語」

è cominciato. エ・コンチヤート 3 単現・完了形(cominciare)v.i 始まった

「動詞句」

彼女の手紙を受け取った日（彼女は僕の妻ではないので、もうこれ以上面会に来ることが許されないと書かれていた）、その日から、僕の家はこの独房であり、僕の人生はここで終わるのだと感じた。

Dal giorno in cui ho ricevuto la sua lettera (mi diceva che non le permettevano più di venire perché non era mia moglie), da quel giorno ho sentito che la mia casa era quella cella e che la mia vita si fermava lì.

「副詞句」「(間接目的語)」「動詞」「直接目的語」, 「副詞句」「動詞句」「目的語」
 Dal giorno ダル・ジヨルノ adv. その日 「副詞句」
 in cui イン・クーイ adv. その日に 「副詞句」
 ho ricevuto オ・リェヴァート 1 単現・完了形(ricévere)v.t 受け取った 「動詞句」
 la sua lettera ラ・スーア・レッテラ n.f 彼女の手紙を 「目的語」
 (mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 diceva デ・イチェヴァ 3 単半(dire)v.t 言っていた、書いてあった 「動詞」
 che ケ conj. ～ということ 「直接目的語」
 non ...permettevano ノン...ペルメテヴァノ 3 複半・否定(perméttre)
 v.t(di+不定詞 ～することを) 許さなかった 「動詞句」
 le レ pron 彼女に 「目的語」
 più di venire ピウ・ディ・ヴァニェーレ 不定詞・le の動作
 v.i これ以上面会に来る 「補語」
 perché ペルケ conj. (理由) ～なので 「副詞節」
 non era ノン・エラ 3 単半・否定・時制の一致(essere)
 v.i ～でない 「動詞句」
 mia moglie), ミアモリーエ n.f 僕の妻 「補語」
 da quel giorno ダ・ケル・ジヨルノ adv. その日から 「副詞句」
 ho sentito オ・センチート 1 単現・完了形(sentire)v.t 感じた 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということ 「目的語」
 la mia casa ラ・ミア・カサ n.f 僕の家は 「主語」
 era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」
 quella cella ケッラ・チェーラ n.f この独房 「補語」
 e エ conj. そして
 che ケ conj. ～ということ 「目的語」
 la mia vita ラ・ミア・ヴァイタ n.f 僕の人生は 「主語」
 si fermava シ・フェルマーヴァ 3 単半・時制の一致(fermarsi)
 v.pr 停止する、終わる 「動詞句」
 lì. リ adv. ここで 「副詞」

逮捕された日、僕はまずほとんどアラブ人の拘置者が既に入っている一室に収容された。

Il giorno dell'arresto sono stato dapprima chiuso in una stanza dove c'erano già parecchi detenuti, quasi tutti àrabi.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」

Il giorno イル・ジョルノ n.m その日に

「副詞句」

dell'arresto デ・ラレスト adj. 逮捕の

「形容詞句」

sono stato dapprima chiuso ソーノ・スタート・ダップリマ・キウゾ 1 単現・完了形・受動(chiudere)

v.i(in に) まず収容された

「動詞句」

in una stanza イン・ウナ・スタンツァ adv. 一室に

「副詞句」

dove トーヴァエ adv. そこで～する

「形容詞節」

c'erano チェラーノ 3 複半・存在(esserci)v.i ～がいた

「動詞句」

già ジャ adv. すでに

「副詞」

parecchi detenuti, パレッキ・デテヌーティ

pl(detenuto).n.m 何人もの拘置者が

「主語」

quasi tutti àrabi. クワシ・トゥッティ・アーラビ

pl(àrabo).n.m ほとんどアラブ人

「主語」

彼らは僕を見て笑った；それから、僕に何をしたらんだと尋ねた。

Hanno riso al vedermi; poi mi hanno chiesto che cosa avevo fatto.

「動詞句」「副詞句」；「副詞」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Hanno riso アンノ・リーゾ 3 複現・完了形(ridere)v.i 笑った

「動詞句」

al vedermi; アル・ウエデーメル・ミ adv. 僕を見て

「副詞句」

poi ポーイ adv. それから

「副詞」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

hanno chiesto アンノ・キスト 3 複現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた、聞いた

「動詞句」

che cosa ケ・コサ pron 何を～するかということ

「直接目的語」

avevo fatto. アヴェウヴォ・ファット 1 単半・完了形(fare)v.t やった

「動詞句」

僕がアラブ人を殺したと答えると、彼らは黙り込んだ。

Ho detto che avevo ucciso un àrabo e sono rimasti silenziosi.

「動詞句」「目的語」e「動詞句」「補語」

Ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

che ケ conj. ～ということ

「目的語」

avevo ucciso アヴェウヴォ・ウチャーゾ 1 単半・完了形(uccidere)v.t 殺した

「動詞句」

un àrabo ウン・アーボ n.m アラブ人を

「目的語」

e エ conj. そして

PARTE SECONDA 第2部

sono rimasti リーノ・リマスティ 3 複現・完了形(pl.m(rimanére)v.i) への状態になった 「動詞句」
 silenziosi. シレンツィオージ adj(silenzióso).pl.m 無言の 「補語」

やがて日が暮れた。彼らは僕の寝床になるむしろの使い方を教えてくれた。むしろの一端を巻けば、
 枕になるというのだ。

Ma pòco dópo è caduta la séra. Mi hanno spiegato cóme sistemare la stuoia dóve avrèi
 dovuto dormire. Arrotolando una delle estremità si poteva fare un cuscino.

Ma 「副詞句」「動詞句」「主語」

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | 「副詞句」「動詞句」「主語」

Ma マ conj. しかし

pòco dópo ホコドーホ adv. 少しすると、やがて 「副詞句」

è caduta エ・カドゥータ 3 単現・完了形(cadére)v.i (日が) 暮れた 「動詞句」

la séra. ラ・セーラ n.f. 夕方が 「主語」

Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

hanno spiegato アンノ・スピエガート 3 複現・完了形(spiegare)v.t 教えた 「動詞句」

cóme sistemare コーメ・システマーレ adv. どのように行かうかという事を 「直接目的語」

la stuoia ストゥォイア n.f. むしろを 「目的語」

dóve ドーヴァーレ adv. そこで～する 「形容詞節」

avrèi dovuto dormire. アヴレイ・ドヴューート・トルミーレ 条・1 単現・完了形・必然(dovére+不定詞)

v.i 寝ることになる 「動詞句」

Arrotolando アロトランド ジェルンディオ(arrotolare)adv. (条件) ～を巻けば 「副詞句」

una delle estremità ウナ・デレ・エストレミタ n.f. わらの一端を 「目的語」

si poteva fare シ・ポテヴァ・ファーレ 3 単半・可能(potére+不定詞 farsi)v.pr ～になる 「動詞句」

un cuscino. ウン・クッシーノ n.m. 枕 「主語」

一晩中、顔の上で南京虫が這いまわるのを感じた。

Durante tutta la notte mi sono sentito correre le cimici sul viso.

「副詞句」「動詞句」「補語」「目的語」

Durante tutta la notte ドゥランテ・トゥッタ・ラ・ノッテ adv. 夜の間中ずっと 「副詞句」

mi sono sentito 1 単現・完了形(sentirsi)v.pr 感じていた 「動詞句」

correre コーレレ 不定詞・cimici の動作 v.t 駆け回る、這いまわる 「補語」

le cimici レ・シーチ pl(cimice)n.f. 南京虫が 「目的語」

sul viso. スル・ヴィーゾ adv. 顔の上で 「副詞句」

数日後に、僕は独房に隔離された。そこでは木製の簡易ベッドに寝た。

Qualche giorno dopo mi hanno isolato in una cella dove dormivo su una panca di legno.

「副詞句」「目的語」「動詞句」, 「副詞」「動詞」「副詞句」

Qualche giorno dopo クワルケ・ジョルノ・ドーポ adv. 何日か後になって 「副詞句」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

hanno isolato アンノ・イソラト 3 複現・完了形(isolare)v.t 隔離した 「動詞句」

受動態に翻訳する

in una cella イン・ウナ・チェーラ adv. 独房に 「副詞句」

dove ドーヴェ adv. そこで～する 「副詞」

dormivo ドルミーヴォ 1 単半(dormire)v.i 寝た 「動詞」

su una panca ス・ウナ・パンカ adv. ベンチの上に 「副詞句」

di legno. デイ・レンゴ adj. (素材) 木製の 「形容詞句」

トイレ用の桶と鉄製の洗面器があった。

Avevo un vaso per i miei bisogni e una bacinella di ferro.

「動詞」「目的語」「副詞句」 e 「目的語」

Avevo アヴェーヴォ 1 単半(avere)v.t ～があった 「動詞」

un vaso ウン・ヴァーゾ n.m 壺、桶 「目的語」

per ペル prep (目的) ～のために 「副詞句」

i miei bisogni イ・ミエイ・ビズーニ pl(bisogno)n.m トイレ 「目的語」

e エ conj. そして

una bacinella ウナ・バチネッラ n.f 洗面器 「目的語」

di ferro. デイ・フェットロ adj. 鉄製の 「形容詞句」

拘置所は街の高台にあって、小窓から海を見下ろすことが出来た。

La prigione era nel punto più alto della città e dalla mia finestrina potevo vedere il mare.

「主語」「動詞」「副詞句」 e 「副詞句」「動詞句」「目的語」

La prigione ラ・プリジオーネ n.f 拘置所は 「主語」

era エラ 3 単半・存在(essere)v.i ～にあった 「動詞」

nel punto ネル・プント adv. (場所) 地点に 「副詞句」

più alto della città ヒー・アルト・デーラ・チッタ adv. 街のより高い 「副詞句」

e エ conj. そして

dalla ダッラ prep (場所) ～から 「副詞句」

mia finestrina ミア・フィネストリーナ n.f(finestra+・ina) 小窓 「目的語」

potevo vedere ポテーヴォ・ヴェデーレ 1 単半・可能(potere+不定詞 vedere)

v.t 見ることが出来た

「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

il mare. イル・マーレ n.m 海を

「目的語」

ある日、鉄格子にしがみつき、顔を光に向けていると、看守が入って来て、僕に面会人がいると告げた。

Un giorno che ero aggrappato alle sbarre, la faccia tesa verso la luce, è entrato un carceriere e mi ha detto che c'era una visita.

「副詞句」, 「動詞句」 「主語」 e 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」

Un giorno ウン・ジォルノ n.m ある日

「副詞句」

che ケ pron (副詞) ~する

「形容詞節」

ero エロ 1 単半・状態(essere)v.i ~だった

「動詞」

aggrappato アグラッパート adj. しがみついた

「補語」

alle sbarre, アレ・スバルレ adv. 鉄格子に

「副詞句」

la faccia ラ・ファッチャ n.f 顔は~の状態

「副詞句」

tesa テサ 過去分詞(tendere)・受動.f 伸ばされた 「形容詞」

verso la luce, ヴェールゾ・ラ・ルーチェ

adv. 光に向かって

「副詞句」

è entrato エ・エントラート 3 単現・完了形(entrare)v.i 入って来た

「動詞句」

un carceriere ウン・カルチェリエレ n.m 看守が

「主語」

e エ conj. そして

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

che ケ conj. ~ということ

「直接目的語」

c'era チェラ 3 単半・時制の一致(esserci)v.i ~がある

「動詞句」

una visita. ウナ・ヴィジタ n.f 面会者が

「主語」

僕はマリーだろうと思った。実際、彼女だった。

Ho pensato che fosse Maria e difatti era lei.

「動詞句」 「目的語」 e 「副詞」 「動詞」 「補語」

Ho pensato オ・ペンサート 1 単現・完了形(pensare)v.t 考えた、思った

「動詞句」

che ケ conj. ~ということ

「目的語」

fosse フォッセ 接・3 単半・時制の一致・推量(essere)v.i ~だろう

「動詞」

Maria マリア n.f マリー

「補語」

e エ conj. そして

difatti デイファッティ adv. 実際に

「副詞」

era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

lei. レイ pron 彼女

「補語」

面会所に行くために、長い廊下を歩き、次に階段を降り、最後に2番目の廊下を進んだ。

Per andare in parlatorio ho dovuto fare un lungo corridoio, poi una scala e infine un secondo corridoio.

「副詞句」「動詞句」「目的語」, 「副詞」「目的語」 e 「副詞」「目的語」

Per andare ペル・アンダーレ 不定詞・目的 adv. 行くためには 「副詞句」

in parlatorio イン・パルトリオ adv. 面会所に 「間接目的語」

ho dovuto fare オドヴート・ファレ 1 単現・完了形・必要(dovére+不定詞 fare)

v.t 歩かなければならなかった 「動詞句」

un lungo corridoio, ウン・ルンゴ・コルトーイオ n.m 長い廊下を 「目的語」

poi ポーイ adv. それから 「副詞」

una scala ウナ・スカラ n.f 階段を 「目的語」

e エ conj. そして

infine インフィーネ adv. 最後に 「副詞」

un secondo corridoio. ウン・セコンド・コルトーイオ n.m 2 番目の廊下を 「目的語」

僕は大きなガラス窓からの光に照らされる非常に広い部屋に入った。そこは部屋を縦方向に断ち切る2つの大きな鉄格子によって3つの部分に分割されていた。

Sono entrato in una sala molto vasta illuminata da una gran vetrata e divisa in tre parti da due grandi inferriate che la tagliavano nel senso della lunghezza.

「動詞句」「間接目的語」

Sono entrato ソーノ・エントラート 1 単現・完了形(entrare)v.i 入った 「動詞句」

in una sala イン・ウナ・サラ adv. 部屋に 「間接目的語」

molto vasta モルト・ヴァースタ adj. 非常に広い 「形容詞句」

illuminata イルミナータ adj. 照らされた 「形容詞句」

da ダ prep (動作主) ~によって 「副詞句」

una gran vetrata ウナ・グラン・ヴェトラータ

n.f 大きなガラス窓 「目的語」

e エ conj. そして

divisa ディヴィーザ adj(diviso).f 分割された 「形容詞句」

in tre parti イン・トレ・パルティ adv. 3つの部分に 「間接目的語」

da ダ prep (動作主) ~によって 「副詞句」

due grandi inferriate トゥエ・グランディ・インフェリアーテ

pl(inferriata).f 2つの大きな鉄柵 「目的語」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

la ラ pron.f (sala の代用)

PARTE SECONDA 第2部

部屋を 「目的語」
 tagliavano タリアヴァノ 3 複半・時制の一致(tagliare)
 v.t 断ち切る 「動詞」
 nel sènsò ネル・センソ
 adv. 方向に 「副詞句」
 délla lunghézza. デラ・ルンゲッツァ
 adj. 長さの「形容詞句」

2つの鉄柵の間には8から10メートルの距離があって、それが囚人と面会者を隔てていた。

Fra le due inferriate c'era uno spàzio di otto-dièci mètri che separava i visitatóri dai prigionieri.

「副詞句」「動詞句」「主語」
 Fra フラ prep (空間) 〜の間に 「副詞句」
 le due inferriate レ・トゥエ・インフェリアーテ pl(inferriata).n.f 2つの鉄柵 「目的語」
 c'era チェラ 3 単半・存在(esserci)v.i 〜があった 「動詞句」
 uno spàzio ウノ・スパーツィオ n.m 距離、空間 「主語」
 di otto-dièci mètri デイ・オット・ディエチ・メートリ adj. 8から10メートルの 「形容詞句」
 che ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」
 separava セパ・ラヴァ 3 単半・時制の一致(separare)v.t 分離する 「動詞」
 i visitatóri イ・ヴィジターリ pl(visitatore).n.m 面会者を 「目的語」
 dai prigionieri. タイ・プリジヨニエーリ adv. 囚人から 「副詞句」

僕の正面に、ストライプ柄の服を着て、日焼けした顔のマリーが見えた。

Ho visto di frónte a me Maria, col suo vestito a righe e la fàccia abbronzata.

「副詞句」「動詞句」「目的語」
 Ho visto オ・ヴィスト 1 単現・完了形(vedere)v.t 見えた 「動詞句」
 di frónte a me デイ・フロンテ・ア・メ adv. 僕の正面に 「副詞句」
 Maria, マリア n.f マリーが 「目的語」
 col コル prep (付属) 〜の様子の 「副詞句」
 suo vestito a righe スー・ヴィエスチート・ア・リーゲ adv. ストライプ柄の服 「目的語」
 e エ conj. そして
 la fàccia ラ・ファッチャ n.f 顔 「目的語」
 abbronzata. アブロンザータ adj. 日焼けした 「形容詞」

僕の側には、10人ほどの囚人がいて、ほとんどがアラブ人だった。

Dalla mia parte c'era una decina di detenuti, per lo più àrabi.

「副詞句」「動詞句」「主語」

Dalla mia parte ダッ・ミア・パルテ adv. 僕の側には

「副詞句」

c'era チェラ 3 単半・存在(esserci)v.i. ～があった

「動詞句」

una decina di detenuti, ウナ・デチーナ・ディ・ テーヌーティ

pl(detenuto).n.m 10人ほどの囚人

「主語」

per lo più ペル・ロ・ピウ adv. ほとんどが

「副詞」

àrabi. アーラビ pl(àrabo).n.m アラブ人

「主語」

マリーもアラブ女たちに囲まれていた：一方は黒衣をまとった唇の薄い老婆で、他方は身振り手振りと大声で話す帽子を被っていない大女だった。

Anche Maria era circondata da donne àrabe: da un lato aveva una vecchietta dalle labbra sottili, vestita di néro, e dall'altro un donnone che parlava molto forte e gesticolando.

「主語」「動詞句」「副詞句」：「副詞句」「動詞」「主語」e「副詞句」「主語」

Anche アンケ conj. ～のまた

「副詞」

Maria マリア n.f マリー

「主語」

era circondata エラ・チルコンダータ 3 単半・受動.f(circondare)v.t 取り囲まれていた

「動詞句」

da ダ prep (動作主) ～によって

「副詞句」

donne àrabe: ドンネ・アーラベ pl(donna).n.f アラブ女性

「目的語」

da ダ prep (場所) ～には

「副詞句」

un lato ウン・ラト n.m 一方、片方

「目的語」

aveva アヴェーヴァ 3 単半・存在(avére)v.t ～がいた

「動詞」

una vecchietta ウナ・ヴェッキエッタ n.f 老婆が

「主語」

dalle labbra sottili, ダレ・ラッブラ・ソッティーリ adj(sottile).f.pl 唇の薄い

「形容詞句」

vestita di néro, ヴェスチータ・ディ・ネーロ 過去分詞(vestire)adj. 黒い服を着た

「形容詞句」

e エ conj. そして

dall'altro ダラルトロ adv. 他方には

「副詞句」

un donnone ウン・ドノネ n.m(donna+ -one) 大女

「主語」

若干の女性名詞は-one が付いて男性名詞となる。donna → donnone

con la tètta scoperta コン・ラ・テスタ・スコペルタ

adv. (様態) 帽子を被っていない、剥き出しの頭の

「副詞句」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

parlava パルラーヴァ 3 単半・時制の一致(parlare)v.i 話す

「動詞」

mólto fòrte モルト・フォルテ adv. 大声で

「副詞句」

e エ conj. そして

PARTE SECONDA 第2部

gesticolando. ジェスティコラント ジェルンディオ(gesticolare)

adv. 身振り手振りによって

「副詞句」

鉄格子間の距離のために、面会者も囚人も非常に大きな声で話さなければならなかった。

A càusa délla distanza fra le inferriate, visitatóri e prigionieri erano obbligati a parlare a_vóce móltto alta.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

A càusa ア・カウザ adv.(di) ~のために、~のせいで

「副詞句」

dèlla distanza デラ・ディスタンツァ adj. 距離の

「形容詞句」

fra le inferriate, フラ・レ・インフェリアーテ adv.(inferriata) 鉄格子間の「副詞句」

visitatóri ヲ・ヴィタトリ pl(visitatóre).n.m 面会者は

「主語」

e エ conj. そして

prigionieri プリジヨニエリ pl(prigioniere).n.m 囚人は

「主語」

erano obbligati a parlare エラーノ・オブリーガティ・ア・パルラーレ 3 複半・受動・義務

(obbligare a+不定詞 parlare)v.i 話さなければならなかった

「動詞句」

a_vóce ア・ヴォーチェ adv. (手段) 声で

「副詞句」

móltto alta. モルト・アルタ adj. 非常に大きな

「形容詞句」

僕が入ると、剥き出しの大きな壁に反響する騒めきと空からガラス窓に溢れだし面会所全体に広がる強烈な光に、僕は少し眩暈がした。

Quando sono entrato il rumore delle voci che rimbombavano contro le grandi pareti nude, la luce cruda che dal cielo si riversava sui vetri e si riverberava nella sala, mi hanno un po' stordito.

「副詞節」, 「主語」「目的語」「動詞句」

Quando クワント conj. ~する時

「副詞節」

sono entrato ソーノ・エントラート 1 単現・完了形(entrare)v.i 入った

「動詞句」

il rumore delle voci イル・ルモレ・デレ・ヴォーチ n.m 騒めき

「主語」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

rimbombavano リンボンバーヴァノ 3 複半・時制の一致(rimbonbare)

v.i とどろく、反響する

「動詞」

contro コントロ prep ~に反射して

「副詞句」

le grandi pareti nude, レ・グランドティ・パレティ・ヌーテ

pl(parète).n.f 剥き出しの大きな壁

「目的語」

la luce cruda ラ・ルチェ・クルダ n.f 強烈な光は

「主語」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

dal cielo ダル・チェロ adv. 空から

「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

si riversava シ・リヴ^ァェルサーヴァ 3 単半・時制の一致(riversarsi)

v.pr 溢れだす

「動詞句」

sui vetri スーイ・ヴ^ィェルティ adv. 窓ガラスの上に

「副詞句」

e エ conj. そして

si riverberava シ・リヴ^ァェルベラーヴァ 3 単半・時制の一致(riverberarsi)

v.pr 反射する

「動詞句」

nella sala, ネラ・サラ adv. 面会所内に

「副詞句」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

hanno un po' stordito. アンノ・ウン・ポ'・ストルディート 3 複現・完了形(stordire)

v.t 少し目をくらませた

「動詞句」

独房はもっと静かで暗かった。

La mia cella era più calma e piena d'ombra.

「主語」「動詞」「補語」

La mia cella ラ・ミー・ア・チェラ n.f 僕の独房は

「主語」

era エラ 3 単半(essere)v.i 〜だった

「動詞」

più calma ピウ・カルマ adj(calmo).f もっと静かな

「補語」

e エ conj. そして

piena d' ピーナ・ディ adj. 〜でいっぱい

「補語」

ombra. オンブラ n.f 暗がり

「目的語」

慣れるのに数秒かったが、やがて昼の強烈な光の中に一人一人の顔をはっきりと識別できるようになった。

C'è voluto qualche secondo perché mi adattassi, ma poi ho finito per vedére nettamente ogni viso, staccato nella luce viva del giorno.

「動詞句」「目的語」「副詞節」,ma 「副詞」「動詞句」「副詞」「目的語」

C'è voluto チェ・ヴォルト 非人称・3 単現・完了形(vplerci)v.pr (時間が) かかった

「動詞句」

qualche secondo クワルケ・セコント n.m 数秒

「目的語」

perché ペルケ conj. (目的) 〜するために

「副詞節」

mi adattassi, ミ・アダッタッシ 接・1 単半・時制の一致(adattarsi)

v.pr 〜に慣れる

「動詞句」

ma マ conj. しかし

poi ポーイ adv. その後、それから

「副詞」

ho finito per vedére オフィート・ヘル・ヴァエターレ 1 単現・完了形・結局(finire per+不定詞 vedére)

v.t やがて見えるようになった

「動詞句」

nettamente ネットンテ adv. はっきりと、明確に

「副詞」

PARTE SECONDA 第2部

ogni viso, オニ・ヴィーゾ n.m 一人一人の顔を 「目的語」
 staccato スタカト adj. 分離した、ばらばらになった 「形容詞」
 nélla luce viva ネラ・ルーチェ・ヴィーヴァ adv. 強烈な光の中に 「副詞句」
 del giórno. デル・ジヨルノ adj. 昼の 「形容詞句」

僕は、鉄格子の間の通路の端に、看守が座っていることに気が付いた。

Ho notato che un carceriere era seduto all'estremità del corridóio fra le due inferriate.
 「動詞句」「目的語」
 Ho notato オ・ノタト 1 単現・完了形(notare)v.t 気付いた 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 un carceriere ウン・カルチェリエレ n.m 看守が 「主語」
 era seduto エラ・セドゥート 3 単半・完了形・時制の一致(sedére)v.i 座っている 「動詞句」
 all'estremità ア・レストレミタ adv. (位置) 端に 「副詞句」
 del corridóio デル・コリドゥーイオ adj. 通路の 「形容詞句」
 fra le due inferriate. フラ・レ・トゥエ・インフェリアーテ
 adv. 2 つの鉄格子の間の 「副詞句」

大部分のアラブ人の囚人と同様にその家族は地面にしゃがみ込んで向き合っていた。

La maggior parte dei prigionieri àrabi erano rannicchiati per tèrra e così pure le lóro famiglie di frónte.
 「主語」「動詞句」「副詞句」 e 「副詞句」「主語」「副詞句」
 La maggior parte ラ・マッジョル・パルテ n.f 大部分は 「主語」
 dei prigionieri àrabi デイ・プリジヨネーリ・アーラビ adj. アラブ人の囚人の 「形容詞句」
 erano rannicchiati エラーノ・ランニキアーティ 3 複現・完了形.pl(rannichiarsi)
 v.pr しゃがみ込んでいた 「動詞句」
 per tèrra ヘル・テッラ adv. (方向) 地面に 「副詞句」
 e エ conj. そして
 così pure コジ・プーレ conj. 同様に 「副詞句」
 le lóro famiglie レ・ローロ・ファミリエ pl(famiglia).n.f 彼らの家族は 「主語」
 di frónte. デイ・フロンテ adv. 正面に 「副詞句」

彼らは大声で話さない。

Quélli non gridavano.
 「主語」「動詞句」
 Quélli ケल्ली pron.pl 彼らは 「主語」
 non gridavano. ノン・グリダヴァーノ 3 複半・否定・時制の一致(gridare)

PARTE SECONDA 第2部

v.i 大声で話さない

「動詞句」

騒音の中であっても、彼らは低い声で理解し合えるのだ。

Malgrado la confusione riuscivano a comprendersi parlando a voce molto bassa.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」

Malgrado マルグァート^テ prep 〜にも拘わらず

「副詞句」

la confusione ラ・コンフジオーネ n.f 大騒ぎ、騒音

「目的語」

riuscivano a comprendersi リウシヴァノ・ア・コンプレンデルシ 3 複半・成功・時制の一致

(riuscire a+不定詞)v.pr 理解し合える

「動詞句」

parlando パラント^テ 現在分詞(parlare)・手段 adv. 話すことで

「副詞句」

a voce molto bassa. ア・ヴォーチェ・モルト・バッサ adv. とても低い声で

「副詞句」

非常に低い声から生じる彼らの内にこもった呟きは、彼らの頭上で交錯する会話に通奏低音を加えていた。

Il loro mormorio sordo, partendo da un tono molto profondo, accompagnava come un basso continuo le conversazioni che si intrecciavano al di sopra delle loro teste.

「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

Il loro mormorio イル・ローロ・モルモリーオ n.m 彼らの呟きは

「主語」

sordo, ソルト^テ adj. 内にこもった

「形容詞」

partendo パルテント^テ ジェルンディオ(partire)adv. 生じる

「副詞句」

da ダ^テ prep (場所) 〜から

「副詞句」

un tono molto profondo, ウン・トノ・モルト・フ^ロフォント^テ

n.m 非常に低い声

「目的語」

accompagnava アッコンパニャヴァ 3 単半(accompagnare)v.t 伴奏していた

「動詞」

come un basso continuo コーメ・ウン・ハッソ・コンチヌオ adv. 通奏低音として

「副詞句」

le conversazioni レ・コンヴァルサチオーニ pl(conversazione).n.f 会話を

「目的語」

che ケ pron(主語) 〜する

「形容詞節」

si intrecciavano シ・イントレチャヴァノ 3 複半(intrecciarsi)

v.pr 交錯する

「動詞句」

al di sopra delle loro teste. アル・ディソヴァ・ラ・テレ・ローロ・テスト

adv. 彼らの頭上で

「副詞句」

僕は瞬時にこれら全てに気づき、マリーの方へ進んだ。

Tutto ciò, lo osservai in pochi istanti, e mi diressi verso Maria.

「目的語」「動詞」「副詞句」,e「動詞句」「副詞句」

Tutto ciò, トゥット・チョ pron これら全てを

「目的語」

lo ロ pron それを

「目的語」

osservai オッセルヴァイ 1 単遠(osservare)v.t 気付いた

「動詞」

in pochi istanti, イン・ポキ・イスタンテ adv. 瞬時に、一瞬の間に

「副詞句」

e エ conj. そして

mi diressi ミ・ディレッシ 1 単遠(dirigersi)v.pr 進んだ

「動詞句」

verso Maria. ヴェールツ・マリア adv. マリーの方へ

「副詞句」

彼女は早くも鉄格子にへばり付いて、全力で僕に微笑みかけていた。

Già strétta cóntro l'inferriata mi sorrideva con tutte le sue forze.

「副詞句」「間接目的語」「動詞」「副詞句」

Già ジャ adv. すでに、早くも

「副詞」

strétta スレッタ 過去分詞(stringersi)adv. (状態) ぴったりと実を寄せて

「副詞句」

cóntro コントロ prep. ～に対して

「副詞句」

l'inferriata リンフェリアータ n.f 鉄格子

「目的語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

sorrideva ソリデーヴァ 3 単半(sorridere)v.i 微笑んでいた

「動詞」

con tutte le sue forze. コン・トゥッテ・レ・スエ・フォルツェ adv. 力いっぱい、全力で

「副詞句」

彼女が格別に美しく見えた。しかしそれを彼女に伝えることは出来なかった。

Ho trovato che era móltro bella, ma non gliel'ho saputo dire.

「主語」「動詞句」「目的語」,ma「動詞句」「目的語」「動詞句」

Ho trovato オ・トロヴァート 1 単現・完了形(trovare)v.t 見えた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

móltro bella, モルト・ベラ adj. 格別美しい

「補語」

ma マ conj. しかし

non ...ho saputo dire. ノン...オ・サプート・ディレ 1 単現・完了形・可能・否定(sapere+不定詞 dire)

v.t 言えなかった

「動詞句」

gliel' リエロ pron それを彼女に

「目的語」

「それで？」と、彼女は大声で言った。「それで、この通りだよ」「元気なの？何か必要な物はあるの？」

「ああ、みんな足りている」

“E allora?” mi ha detto a voce molto alta. “Allora, eccoci qui.” “Stai bene, hai quel che ti serve?” “Sì, tutto.”

《「応答」》, 「間接目的語」「動詞句」「副詞句」 | 《「応答」》

《「動詞」「補語」, 「動詞」「目的語」》 | 「応答」

“E allora?” エ・アッローラ adv. それで? 「応答」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha detto ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 a voce molto alta. ア・ヴォーチェ・モルト・アルタ adv. (手段) 大声で 「副詞句」
 “Allora, アッローラ adv. それで 「応答」
 eccoci qui.” エッコチ・クイ adv. この通りだよ 「応答」
 “Stai スタイ 2 単現・疑問文(stare)v.i ~なの? 「動詞」
 bene, ベーネ adv. 元気で 「補語」
 hai ハイ 2 単現・疑問文(avere)v.t あるの? 「動詞」
 quel ケル pron 物が 「目的語」
 che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 ti チ pron あなたにとって 「間接目的語」
 serve?” セルヴェ 3 単現(servir)v.i 必要である 「動詞」
 “Sì, tutto.” シットット adv. みんな足りている 「応答」

僕達は話を中断した。それでもマリーは相変わらず微笑んでいた。

Abbiamo smesso di parlare e Maria sorrideva sempre.

「動詞句」 e 「主語」「動詞」「副詞」

Abbiamo smesso di parlare アビアーモ・ス・メツ・ディ・パルラーレ 1 複現・完了形・中止

(smettere di+不定詞 parlare)v.i 話を中断した

「動詞句」

e エ conj. そして

Maria マリア n.f マリ ^ は

「主語」

sorrideva ソリデーヴァ 3 単半(sorrìdere)v.i 微笑んでいた

「動詞」

sempre. センプレ adv. 相変わらず、なおも

「副詞」

あの太った女が僕の隣人、間違いなく夫、に向かって大声で怒鳴った、夫は穏やかな眼差しの大柄で金髪
の男だった。

Il donnone urlava in direzione del mio vicino, senza dubbio il marito, che era un uomo grande e grosso con uno sguardo franco.

「主語」「動詞」「副詞句」、「副詞句」

Il donnone イル・ドノネ n.m(donna + -one) あの太った女が 「主語」

若干の女性名詞は-one が付いて男性名詞になる。

urlava ウルラーヴァ 3 単半(urlare)v.i 大声で怒鳴った 「動詞」

in direzione del mio vicino, イン・ディレツィオーネ・デル・ミーオ・ヴィチーノ adv. 僕の隣人の方に 「副詞句」

senza dubbio センツァ・ドゥッビオ adv. 間違いなく 「副詞句」

il marito, イル・マリート n.m 夫 「目的語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」

un uomo ウン・ウオーモ n.m 男 「補語」

grande e grosso グランデ・エ・グロッソ

adj. 大柄でゴツイ 「形容詞句」

con uno sguardo franco. コン・ウーノ・スグワルト・フランコ

adv. 穏やかな眼差しをした 「副詞句」

フランス語版では

あの太った女が、僕の近くで、率直なまなざしをした夫と思われる大柄で金髪の男に向かって、大声で話していた。

La grosse femme hurlait vers mon voisin, son mari sans doute, **un grand type blond** au regard franc. → イタリア語では、**grande e bióndo** 大柄で金髪の

フランス語版では

「そうか、そうだろうな」と、男が言った。「私は、**あんたが出てきたら**また連れ戻すと
言ったんだけど、連れて行こうとしなかったんだよ」

«Oui, oui», disait l'homme. «Je lui ai dit que tu le reprendrais **en sortant**, mais elle n'a pas voulu le prendre.»

マリーの方は、レーモンが僕によろしくと言っていたと僕に叫んだ。僕は彼女に「ありがとう」と答えた。

Dalla sua parte Maria mi ha gridato che Raimondo mi mandava i suoi saluti e io le ho detto: “Grazie.”

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e 「主語」「間接目的語」「動詞句」: 《「応答」》
 Dalla sua parte ^{ダラ・スア・パルテ} adv. 彼女の方は 「副詞句」
 Maria ^{マリア} n.f マリーは 「主語」
 mi ^ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha gridato ^{ア・グリダート} 3 単現・完了形(*gridare*)v.t 叫んだ 「動詞句」
 che ^ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 Raimondo ^{ライモンテ} n.m レーモンが 「主語」
 mi ^ミ pron 僕に 「間接目的語」
 mandava ^{マンダーヴァ} 3 単半(*mandare*)v.t 送った 「動詞」
 i suoi saluti ^{イ・スオイ・サルティ} pl(*saluto*).n.m 挨拶を 「直接目的語」
 e ^エ conj. そして
 io ^{イオ} pron 僕は 「主語」
 le ^レ pron 彼女に 「間接目的語」
 ho detto: ^{オ・テット} 1 単現・完了形(*dire*)v.t 言った 「動詞句」
 “Grazie.” ^{グラツィエ} n.m 感謝の言葉を 「応答」

しかし僕の声は、隣人が「元気にしているか」と尋ねる声にかき消された。

Ma la mia voce è stata coperta da quella del mio vicino che ha domandato “se stava bene”.

Ma 「主語」「動詞句」「副詞句」

Ma ^マ conj. しかし
 la mia voce ^{ラ・ヴォーチェ・ミア} n.f 僕の声は 「主語」
 è stata coperta ^{エ・スタータ・コペールタ} 3 単現・完了形・受動.f(*coprire*)
 v.t 覆われた、圧倒された 「動詞句」
 da quella del mio vicino ^{ダ・ケッラ・デル・ミオ・ヴィチーノ}
 adv. (動作主) 隣人の声によって 「副詞句」
 che ^ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 ha domandato ^{ハ・トマンダー} 3 単現・完了形・時制の一致(*domandare*)
 v.t 尋ねる 「動詞句」
 “se stava ^{セ・スタヴァ} 3 単半・疑問文(*starsi*)v.pr (状態) ～でいるのか? 「動詞句」
 bene”. ^{ベーネ} adv. 元気で 「補語」

彼の妻は笑いながら言った。「今ほど元気だったことはないわ」

Sua moglie ha detto ridendo “che non era mai stato bene come allora”.

「主語」「動詞句」「副詞」《「目的語」》

Sua moglie スー・モーリエ n.f 彼の妻は

「主語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

ridendo リデント ジェルンディオ(ridere)adv. 笑いながら

「副詞」

“che ケ conj. ～ということを

「目的語」

non era mai stato ノン・エラ・マイ・スタート 1 単半・完了形・否定(stare)

v.i ～だったことはない

「動詞句」

bene ベーネ adv. 元気な

「補語」

come allora コム・アッローラ conj. (比較) 今ほど

「副詞句」

僕の左隣の華奢な手をした背の低い男は何も言わなかった。

Il mio vicino di sinistra, un uomo piccolo, dalle mani fini, non diceva nulla.

「主語」「動詞句」「目的語」

Il mio vicino イル・ミオ・ヴィチーノ n.m 僕の隣人は

「主語」

di sinistra, ディ・シニストラ adv. 左側の

「形容詞句」

un uomo ウン・ウオーモ n.m (同格) 男

「主語」

piccolo, ピッコロ adj. 背の低い

「形容詞」

dalle mani fini, ダレ・マーニ・フィニ adv.(属性) 華奢な手をした

「副詞句」

non diceva ノン・ディチェヴァ 3 単半・否定(dire)v.t 言わなかった

「動詞句」

nulla. ヌッラ pron 何も～ない

「目的語」

僕は、彼が老婆の正面にいてお互いにじっと見つめ合っていることに気が付いた。

Ho notato che stava di fronte alla vecchietta e che tutt'e due si guardavano intensamente.

「動詞句」「目的語」e「目的語」

Ho notato オ・ナート 1 単現・完了形(notare)v.t 気付いた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

stava スターヴァ 3 単半(stare)v.i ～にいた

「動詞」

di fronte ディ・フロンテ adv. 正面に

「副詞句」

alla vecchietta アッラ・ヴェッキエッタ adv. 老婆の

「副詞句」

e エ conj. そして

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

tutt'e due トゥッテ・ドゥエ pron.pl 二人は

「主語」

si guardavano シ・グワルダヴァノ 3 複半・相互(guardarsi)

v.pr お互いに見つめ合っていた

「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

intensaménte. インテンサメンテ adv. 激しく

「副詞」

だが、僕にはもう彼らを観察する時間がなかった。マリーが、希望を持たなければだめだと僕に叫んだからだ。

Ma non ho avuto il tèmpo di osservarli di più perché Maria mi ha gridato che bisognava sperare.

Ma 「動詞句」「目的語」「副詞節」

Ma マ conj. しかし

non ho avuto ノ・ノ・アヴェート 1 単現・完了形・否定(avére)v.t. ～が無かった

「動詞句」

il tèmpo イル・テンポ n.m 時間が

「目的語」

di osservarli ディ・オッセルヴァール・リ 不定詞(osservare+li)・目的

adv. 彼らを観察するための

「副詞句」

di più ディ・ピウ adv. もう、これ以上

「副詞句」

perché ヘルケ conj. ～なので

「副詞節」

Maria マリア n.f マリーが

「主語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha gridato ア・グリダート 3 単現・完了形(gridare)v.t. 叫んだ

「動詞句」

che ケ conj. ～ということ

「直接目的語」

bisognava sperare. ビゾナヴァ・ア・スペラレ 3 単半・必要(bisognare+不定詞 sperare)

v.t. 希望を持たなければならない

「動詞句」

僕は彼女に言った：「もちろん」それから彼女を見つめ、ドレスの上から肩を抱きしめたいと思った。

Le ho détto: “Sì,” e intanto la guardavo e avevo vòglia di stringerle la spalla sópra il vestito.

「間接目的語」「動詞句」：《「応答」》, e 「副詞」「目的語」「動詞」 e 「動詞」「目的語」

Le レ pron.f 彼女に

「間接目的語」

ho détto: オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t. 言った

「動詞句」

“Sì,” シ adv. (肯定) はい、もちろん

「応答」

e エ conj. そして

intanto インタント adv. その間に

「副詞」

la ラ pron.f 彼女を

「目的語」

guardavo ガアルダーヴォ 1 単半(guardare)v.t. 見つめた

「動詞」

e エ conj. そして

avevo アヴェーヴォ 1 単半(avére)v.t. ～を持った

「動詞」

vòglia ヴォーリア n.f 欲求を、願望を

「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

di stringerle ティ・ストリンジエル・レ 不定詞(stringere+le)・目的

adj. 彼女の～を抱きしめるという

「形容詞句」

la spalla ラ・スパッラ n.f 肩を

「目的語」

sopra ソフ・ラ prep (接触) ～の上で

「副詞句」

il vestito. イル・ヴェスチート n.m 服

「目的語」

僕はあの薄布が欲しかった。そしてその布以外に何を望めばよいか分からなかった。

Avevo voglia di quella stoffa fine e non sapevo che cos'altro se non quella stoffa bisognasse sperare.

「動詞」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」

Avevo アヴェーヴォ 1 単半(avére)v.t ～を持った

「動詞」

vòglia ヴォーリア n.f 欲求を、願望を

「目的語」

di quella stoffa fine ティ・クェッラ・stoffa・フィーネ adj. その薄い生地

「形容詞句」

e エ conj. そして

non sapevo ノン・サペーヴォ 1 単半・否定(sapére)v.t 分からなかった

「動詞句」

che ケ conj. ～ということ

「目的語」

cos'altro, コサルトロ pron 他に何を

「目的語」

se non セ・ノン conj.(条件) もし～でないなら

「副詞句」

quella stoffa, クェッラ・stoffa n.f その布

「目的語」

bisognasse sperare. ビゾニャッセ・スペラーレ 接・1 単半・必要・時制の一致

(bisognare+不定詞 sperare)v.t 望むべきである

「動詞句」

だが、マリーは相変わらず微笑んでいた、きっとこれを言いたかったのだ。

Ma era cèrto quèsto che voleva dire Maria, perché sorrideva sèmpre.

Ma 「動詞」「補語」「主語」, 「副詞節」

Ma マ conj. しかし

era エラ 3 単半(èssere)v.i ～だった

「動詞」

cèrto チェルト adj. 確かな

「補語」

quèsto クェスト これが

「主語」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

voleva dire ヴォレーヴァ・デーレ 3 単半・願望(volére+不定詞 dire)

v.t 言いたかった

「動詞句」

Maria, マリア n.f マリーが

「主語」

perché ペルケ conj. (理由) ～なので

「副詞節」

sorrideva ソリデーヴァ 3 単半(sorridere)v.i 微笑んでいた

「動詞」

sèmpre. センプレ adv. 相変わらず

「副詞」

もう彼女の歯のきらめきと目の小さなしわしか見えなかった。

Non vedevo più altro che lo scintillio dei suoi denti, le piccole pieghe dei suoi occhi.

「動詞句」「目的語」

Non vedevo ノン・ヴェデーヴォ 1 単半・否定(vedere)v.t 見えなかった

「動詞句」

più altro che ピー・アルトロ・ケ pron(限定) もう～しか

「目的語」

lo scintillio ロ・シンティリオ n.m 煌めき、輝き

「目的語」

dei suoi denti, デイ・スオイ・デンティ adj. 彼女の歯の

「形容詞句」

le piccole pieghe レ・ピッコレ・ピエゲ n.f 小さなしわ

「目的語」

dei suoi occhi, デイ・スオイ・オッキ adj. 彼女の目の

「形容詞句」

彼女はまた叫んだ：「あなたが出てきたら、結婚するのよ！」

Ha gridato di nuovo: “Tu verrai fuori e ci sposeremo!”

「動詞句」「副詞句」：《「主語」「動詞」「副詞」 e 「動詞句」》

Ha gridato ア・グリダート 3 単現・完了形(gridare)v.i 叫んだ

「動詞句」

di nuovo: デイ・ヌォーヴォ adv. また、再び

「副詞句」

“Tu トゥ pron あなたは

「主語」

verrai ヴェライ 2 単未(venire)v.i 出て来るだろう

「動詞」

fuori フォーリ adv. 外に

「副詞」

e エ conj. そして

ci sposeremo!” チ・スッセルモ 1 複現・意思(sposarsi)v.pr 結婚するつもりだ

「動詞句」

僕は答えた：「本当に？」だが、それは単に何か答えるためだった。

Ho risposto: “Sì?” ma era soprattutto per dire qualcosa.

「動詞句」：《「応答」》 ma 「動詞」「副詞」「補語」

Ho risposto: オ・リスポスト 1 単現・完了形(rispondere)v.i 答えた

「動詞句」

“Sì?” シ adv. (疑問) 本当に？

「応答」

ma マ conj. しかし

era エ 3 単半(essere)v.i ～だった

「動詞」

soprattutto ソプラットゥート adv. 特に

「副詞」

per dire qualcosa. ペル・デーレ・クワルコーサ 不定詞・目的 adv. 何かを言うために

「補語」

それから彼女はとても早口で、相変わらず大声で言った。僕は無罪になる、そうだ、そしてまた一緒に海に行ける。

Allóra lèi ha détto móltó rapidamente e sèmpre a vóce móltó alta che cèrto sarèi stato assolto, sì, e che saremmo andati ancóra insième alla spiàggia.

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」 e 「目的語」

Allóra アッローラ adv. それから 「副詞」

lèi レーイ pron.f 彼女は 「主語」

ha détto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

móltó rapidamente モルト・ラピダメンテ adv. ひどく早口で 「副詞句」

e エ conj. そして

sèmpre a vóce móltó alta センプレ・ア・ヴォーチェ・モルト・アルタ adv. 相変わらず大声で 「副詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

cèrto チェルト adv. 間違いなく 「副詞」

sarèi stato サレイ・スタート 条・1 単現・完了形・変化・推量(essere)

v.i ～になるだろう 「動詞句」

assolto, アツソルト adj. 無罪宣告を受けた 「補語」

sì, シ adv. そうだ 「副詞」

e エ conj. そして

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

saremmo andati サレンモ・アンダーティ 条・1 複現・完了形(andare)

v.i 行くだろう 「動詞句」

ancóra insième アンコーラ・インシエメ adv. また一緒に 「副詞句」

alla spiàggia. アッラ・スピ・アッジャ adv. 海に 「間接目的語」

しかし、そうしている間も、大柄な女は彼女の隣で大声で怒鳴り続け、受付にバスケットを置いてきたと言っていた。

Ma intanto il donnone continuava a urlare di fianco a lèi e diceva che aveva lasciato un cestino in segreteria.

Ma 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」 e 「動詞」「目的語」

Ma マ conj. しかし

intanto インタント adv. その間に、そうしている間に 「副詞」

il donnone イル・ドノネ n.m その大柄な女が 「主語」

continuava a urlare コンチヌアーヴァ・ア・ウルレー 3 単半・継続(continuare a+不定詞 urlare)

v.i 大声で怒鳴り続けていた 「動詞句」

di fianco a lèi ディ・フィアニコ・ア・レーイ adv. 彼女の隣で 「副詞句」

e エ conj. そして

PARTE SECONDA 第2部

diceva ディェヴァ 3 単半(dire)v.t 言っていた 「動詞」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 aveva lasciato アヴァ・エヴァ・ラッシャート 3 単半・完了形(lasciare)v.t 置いてきた 「動詞句」
 un cestino ウン・チェステイーノ n.m バスケットを 「目的語」
 in segreteria. イン・セグレテリア adv. 事務所に、受付に 「副詞句」

女は受付に預け入れた品物を一つ一つ数え上げた。

Stava enumerando tutto ciò che ci aveva messo dentro.

「動詞句」「目的語」
 Stava enumerando スターヴァ・エヌメラント 3 単半・進行形(stare+ジェルテ・イオ enumerare)
 v.t 数え上げた 「動詞句」
 tutto ciò トゥット・チヨ pron 全てのものを 「目的語」
 che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 ci チ adv. そこに 「副詞」
 aveva messo アヴァ・エヴァ・メッソ 3 単半・完了形(mettere)
 v.t 入れた、置いた 「動詞句」
 dentro. デントロ adv. 中に 「副詞」

どれも高い品物なのだから、確認しなければだめだ。

Bisognava verificare perché tutta quèlla roba costava cara.

「動詞句」「副詞節」
 Bisognava verificare ビゾナヴァ・ヴァリフィカーレ 非人称・必要(bisognare+不定詞 verificare)
 v.h 確認しなければならない 「動詞句」
 perché ペルケ conj. (理由) ～なのだから 「副詞節」
 tutta quèlla roba ツッタ・ケッラ・ローバ n.f その品物は全て 「主語」
 costava コスターヴァ 3 単半・時制の一致(costare)v.i ～の値段である 「動詞」
 cara. カラ adj(caro).f 高価な 「補語」

隣のもう一人の男とその母親はまだ見つめ合っていた。

L'altro mio vicino e sua madre si guardavano sèmpre.

「主語」「動詞句」「副詞」
 L'altro ラルトロ pron.m もう一人の男は 「主語」
 mio vicino ミオ・ヴィチーノ adj. 僕の隣の 「形容詞句」
 e エ conj. そして
 sua madre スーア・マトレ n.f その母親は 「主語」
 si guardavano シ・グワルダヴァノ 3 複半・相互(guardarsi)v.pr 見つめ合っていた 「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

sèmpre. センプレ adv. 相変わらず、まだ

「副詞」

アラブ人の眩きが僕たちの足元で続いていた。外では、光が大きなガラス窓に反射して膨らんでいるように思われた。

Il mormorio degli àrabi continuava al di sópra di nói. Fuòri, la luce parve gonfiarsi cóntro la baia e colò cóme un sugo su tutti i vólti.

「主語」「動詞」「副詞句」 | 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」 e 「動詞」「副詞句」

Il mormorio イル・モルモリオ n.m 眩きは

「主語」

degli àrabi デリ・アーラビ adj. アラブ人の

「形容詞句」

continuava コンチヌアバ 3 単半(continuare)v.i 続いていた

「動詞」

al di sópra di nói. アル・ディ・ソプラ・ディ・ノイ adv. 僕たちの頭上で

「副詞句」

Fuòri, フォーリ adv. 外では

「副詞」

la luce ラ・ルチェ n.f 光が

「主語」

parve gonfiarsi パルヴェ・ゴンフィアルシ 3 単遠・思われる(parere+不定詞 gonfiarsi)

v.pr 膨らんでいるように思われた

「動詞句」

cóntro コントロ prep. ～に反射して

「副詞句」

la baia ラ・バイア n.f 湾

「目的語」

e エ conj. そして

colò コロ 3 単遠(colare)v.i 滴り落ちていた

「動詞」

cóme un sugo コーメ・ウン・スコ adv. ジュースのように

「副詞句」

su tutti i vólti. ス・トゥッティ・ヴォルティ adv. 顔全体の上に

「副詞句」

それは既に始まっていた会話の続きだった。

Era il séguito di una conversazione già iniziata.

「動詞」「補語」

Era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった

「動詞」

il séguito イル・セグイット n.m 続き

「補語」

di una conversazione ディ・ウナ・コンヴァルサチオーネ adj. ある会話の

「形容詞句」

già iniziata. ジャ・イニツィアータ 過去分詞(iniziare)・受動

adj.f すでに始まっていた

「形容詞句」

「ジャンヌがあれを引き取ろうとしないんだよ」と、女があらん限りの声で叫んだ。「そうか、やっぱりな」と、男が答えた。「あんたが出てきたら、また引き取るからって言ったんだ。それでも引き取ろうとしないんだよ」

“Jeanne non ha voluto prenderlo,” gridava lèi a pièni polmoni. “Sì, Sì,” diceva l’uomo. “Le ho détto che tu l’avresti ripreso, uscendo, ma lèi non ha voluto prenderlo.”

《「主語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞句」 | 《「応答」》, 「動詞」「主語」
《「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」, ma 「主語」「動詞句」》

“Jeanne ジャンヌ n.f (フランス語・女の子の名) ジャンヌが 「主語」
non ha voluto prenderlo,” ノ・ナ・ウ・ォルト・プ・レンデル・ロ 3 単現・完了形・願望・否定
(volére+不定詞 prendere+lo)v.t あれを引き取りたがらなかった 「動詞句」
gridava グリダーヴァ 3 単半(gridare)v.i 叫んだ 「動詞」
lèi レイ pron.f 彼女が 「主語」
a pièni polmoni. ア・ピ・エニ・ポ・ルモニ adv. あらん限りの声で 「副詞句」
“Sì, Sì,” シ・シ adv. やはり、そうか 「応答」
diceva デイチェヴァ 3 単半(dire)v.t 言った 「動詞」
l’uomo. ルオーモ n.m 男が 「主語」
“Le レ pron.f 彼女に 「間接目的語」
ho détto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
tu トゥ pron あんたが 「主語」
l’ロ pron それを 「目的語」
avresti riprèso, アヴ・レスティ・リプ・レソ 条・2 単現・完了形・推量(riprendere)
v.t 引き取るだろう 「動詞句」
uscendo, ウシェント ジェルンディオ(uscire)adv. (条件) 出てきたら 「副詞」
ma マ conj. しかし
lèi レイ pron.f 彼女は 「主語」
non ha voluto prenderlo.” ノ・ナ・ウ・ォルト・プ・レンデル・ロ 3 単現・完了形・願望・否定
(volére+不定詞 prendere+lo)v.t あれを引き取りたがらなかった 「動詞句」

フランス語版では

アラブ人たちのつぶやきが僕たちの足元で続いていた。

Le murmure des Arabes continuait **audessous de nous**.

イタリア語では、sotto di noi が適当と思われる。

戸外では、光が大きなガラス窓に反射して膨らんでいるように思われた。

Dehors la lumière a semblé se gonfler **contre la baie**.

フランス語の la baie は「湾」の他に「大きな窓」の意味があり、ここでは「大きな窓」の意味で使われている。イタリア語の翻訳では「湾」と翻訳し、意味不明の文も追加された

のだと思う。

Fuòri, la luce parve gonfiarsi cóntro le grandi finestre di vetro. が適当と思われる。

気分が悪くなって、出来れば立ち去りたいと思った。騒音すべてがうるさかった。

Non mi sentivo bène e avrèi voluto andarmene. Mi faceva male tutto quél rumóre.

「動詞句」「補語」 e 「動詞句」 | 「間接目的語」「動詞」「補語」「主語」

Non mi sentivo ノン・ミ・センチ・ヴェー 1 単半・否定(sentirsi)v.pr. ~の気分にならなかった「動詞句」

bène ベーネ adv. 良い 「補語」

e エ conj. そして

avrèi voluto andarmene. アヴレイ・ヴルト・アンダー・メ・ネ 条・1 単現・完了形・願望

(volére+不定詞 andarsene)v.t. 出来れば立ち去りたいと思った 「動詞句」

Mi ミ pron 私にとって 「間接目的語」

faceva ファチェ・ヴァ 非人称・3 単半(fare)v.i. ~になった 「動詞」

male マーレ adv. 気分が悪い 「補語」

tutto quél rumóre. トウト・ケル・ルモーレ n.m 全ての騒音が 「主語」

しかし一方では、まだマリーの姿を見ていたい気持ちもあった。

Ma d'altra parte volevo profittare ancóra délla presènza di Maria.

「副詞句」「動詞句」「副詞」「目的語」

Ma d'altra parte マ・ダルトラ・パルテ adv. だがしかし、しかし一方では 「副詞句」

volevo profittare ヴォレ・ヴォ・プロフィターレ 1 単半・願望(volére+不定詞 profittare)

v.t. 利用したいと思った 「動詞句」

ancóra アンコーラ adv. まだ 「副詞」

délla presènza デッラ・プレゼンツァ n.f 存在を 「目的語」

di Maria. デイ・マリア adj. マリーの 「形容詞句」

それからどれ程時間が経ったか分からない。マリーは仕事の事を話して、ずっと笑っていた。

Pòi non so quanto tèmpo. è passato. Maria mi ha parlato del suo lavóro e sorrideva ininterrottamente.

「副詞」「動詞句」「目的語」

「主語」「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」 e 「動詞」「副詞」

Pòi ポーイ adv. それから 「副詞」

non so ノン・ソ 1 単現・否定(sapére)v.t. 分からない 「動詞句」

n. ~ということ 「目的語」

quanto tèmpo クワント・テンポ n.m どれ程の時間が 「主語」

è passato. エ・パッサート 3 単現・完了形(passare)v.i. 経った、経過した 「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

Maria マリア n.f	マリーは	「主語」
mi ミ pron	僕に	「間接目的語」
ha parlato ア・パルラート 3 単現・完了形(parlare)v.i(di について)	話した	「動詞句」
del suo lavóro テル・スオ・タヴォーロ adv.	仕事について	「間接目的語」
e エ conj.	そして	
sorrideva ソリデーヴァ 3 単半(sorrìdere)v.i	微笑んだ	「動詞」
ininterrottamente. インテロタメンテ adv.	途切れなく、間断なく	「副詞」

眩きと叫び声と会話が交錯していた；あの若者と老婆がじっと見つめ合う僕の隣だけは静寂の離れ小島だった。

Il mormorio, le grida, le conversazioni si intrecciavano; l'única isola di silenzio era di fianco a me, in quel giovane e quella vecchia che continuavano a guardarsi fissi.

「主語」「動詞句」；「主語」「動詞句」「補語」		
Il mormorio, イル・モルモリオ n.m	つぶやきは	「主語」
le grida, レ・グリダ pl(grido).n.f	叫び声は	「主語」
le conversazioni レ・コンヴァエルサッチオーニ pl(conversazione).n.f	会話は	「主語」
si intrecciavano; シ・イントレチャーヴァノ 3 複半(intrecciarsi)v.pr	交錯していた	「動詞句」
l'única isola ルニカ・イズラ n.f	唯一の孤島は	「主語」
di silenzio ティ・シレンツィオ adj.	静寂の	「形容詞句」
era エラ 3 単半(èssere)v.i	～だった	「動詞」
di fianco a me, ティ・フィアンコ・ア・メ adj.	僕の隣の	「補語」
in イン prep (場所)	そこに～	「副詞句」
quel giovane ケル・ジョーヴァネ n.m	あの若者	「目的語」
e エ conj.	そして	
quella vecchia ケッラ・ヴェッキア n.f	あの老婆	「目的語」
che ケ pron(主語)	～する	「形容詞節」
continuavano a guardarsi コンチヌアヴァノ・ア・グワルダersi 3 複半・継続(continuare a+不定詞)		
v.pr	見つめ合っていた	「動詞句」
fissi. フィッシ adv(fisso).	じっと	「副詞」

少しずつ、アラブ人たちが連れて行かれた。

A pòco a pòco gli àrabi sono stati portati via.

「副詞句」「主語」「動詞句」		
A pòco a pòco ア・ポコ・ア・ポコ adv.	しだいに、少しずつ	「副詞句」
gli àrabi リ・アーラビ pl(àrabo).n.m	アラブ人たちは	「主語」
sono stati portati ソーノ・スターティ・ポルターティ 3 複現・完了形・受動(portare)		

PARTE SECONDA 第2部

v.t 連れて行かれた 「動詞句」
via. ヴィーア adv. あちらへ 「副詞」

最初の一人が出て行くと、とたんに、ほとんど全員が話を止めた。

Quasi tutti hanno smesso di parlare di colpo appena se n'è andato il primo.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Quasi tutti クワジ・トゥッティ pron ほとんど全員が 「主語」
hanno smesso di parlare アンノ・ス・メツ・ディ・パ・ルラーレ 3 複現・完了形・中止
(smettere)v.i(di+不定詞 parlare) 話すのを止めた 「動詞句」
di colpo ディ・コルポ adv. 突然、とたんに 「副詞句」
appena アッペーナ conj. ～するとすぐに 「副詞節」
se n'è andato セ・ネ・アンダート 3 単現・完了形(andarsene)
v.pr 出て行った 「動詞句」
il primo. イル・プリモ n.m 最初の一人が 「主語」

あの小柄な老婆が鉄格子に身を寄せて、息子に合図した。

La vecchietta si era avvicinata alle sbarre e ha fatto un cenno a suo figlio.

「主語」「動詞句」「間接目的語」 e 「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」

La vecchietta ラ・ヴェッキエッタ n.f あの小柄な老婆は 「主語」
si era avvicinata シ・エラ・アヴィチナータ 3 単半・完了形(avvicinarsi)v.pr ～に近づいた 「動詞句」
alle sbarre アレ・ズ・バツレ adv.(sbarra) 鉄格子に 「間接目的語」
e エ conj. そして
ha fatto ア・ファット 3 単現・完了形(fare)v.t (動作を) した 「動詞句」
un cenno ウン・チェノ n.m 合図を 「直接目的語」
a suo figlio. ア・ス・オ・フィーリオ adv. 息子に 「間接目的語」

息子は言った：「さよなら、お母さん」すると老婆は鉄格子の間から手を差し出してゆつくりと時間をかけて息子に小さな合図をした。

Lui ha detto: "Arrivederci, mamma", e lei ha abbassato la mano fra le sbarre per fargli un piccolo saluto lento e prolungato.

「主語」「動詞句」：《挨拶》, e 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Lui ルーイ pron.m 彼は 「主語」
ha detto: ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
"Arrivederci, mamma", アリガ・エテルチ・マンマ adv. 《さよなら、お母さん》 「挨拶」
e エ conj. そして
lei レーイ pron.f 彼女は 「主語」

PARTE SECONDA 第2部

ha abbassato ア・アバッサート 3 単現・完了形(abbassare)v.t 降ろした	「動詞句」
la mano ラ・マーノ n.f 手を	「目的語」
fra le sbarre フラ・レ・ズバツレ adv. 鉄格子の間から	「副詞句」
per fargli ヘル・ファール・リ 不定詞・結果 adv. そして彼に〜した	「副詞句」
un piccolo saluto ウン・ピッコロ・サルート n.m 小さい挨拶を	「目的語」
lento レント adj. ゆっくりした	「形容詞」
e エ conj. そして	
prolungato. プロルンガート adj. 長く続く	「形容詞」

老婆が出て行くと、帽子を手に持った男が入って来て、すぐに彼女がいた場所に入った。

È uscita mentre entrava un uomo col cappello in mano che ha subito preso il suo posto.

「動詞句」「副詞節」

È uscita エ・ウッシータ 3 単現・完了形.f(uscire)v.i 老婆は出て行った	「動詞句」
mentre メントレ conj. 〜する間に	「副詞節」
entrava エントラーヴァ 3 単半(entrare)v.i 入って来た	「動詞」
un uomo ウン・ウオーモ n.m 男が	「主語」
col cappello コル・カッペッロ adv. (所有) 帽子を持った	「副詞句」
in mano イン・マーノ adv. 手に	「副詞句」
che ケ pron (主語) 〜する	「形容詞節」
ha subito preso ア・スービト・プレ 3 単現・完了形(prendere+ subito)	
v.t すぐにとった	「動詞句」
il suo posto. イル・スー・ポスト n.m 彼女がいた場所を	「目的語」

囚人が連れて来られ、彼らは活発に話し始めた。しかし部屋がまた静かに戻っていたので低い声で話していた。

È stato introdotto un prigioniero e si sono messi a parlare animatamente ma a mezza voce perché la stanza era tornata silenziosa.

「動詞句」「主語」 e 「動詞句」「副詞」 ma 「副詞句」

È stato introdotto エ・スタート・イントロドゥット 3 単現・完了形・受動(introdurre)	
v.t 連れて来られた	「動詞句」
un prigioniero ウン・プリジヨニエーロ n.m 囚人が	「主語」
e エ conj. そして	
si sono messi a parlare シ・ソーノ・メッシ・ア・パルラーレ 3 複現・完了形・開始	
(mettersi a+不定詞 parlare)v.pr 話し始めた	「動詞句」
animatamente アニマタメンテ adv. 活発に	「副詞」
ma マ conj. しかし	

PARTE SECONDA 第2部

a mezza voce ア・メツァ・ヴォーチェ adv. (手段) 低い声で	「副詞句」
perché ペルケ conj. (理由) ~なので	「副詞節」
la stanza ラ・スタンツァ n.f 部屋は	「主語」
era tornata エラ・トルナータ 3 単半・完了形.f(tornare)v.i 戻っていた	「動詞句」
silenziosa シレンチオーサ adj. 静かな	「補語」

看守たちが僕の右隣の男を連れに來た。すると彼の妻が、もう叫ぶ必要が無いことに気が付かないように、声を下げないで言った：「体に気を付けるんだよ。注意するんだよ」

Sono venuti a prendere il mio vicino di destra e sua moglie gli ha detto senza abbassare il tono di voce, come non si fosse accorta che non era più necessario gridare: “Abbi cura di te e sta Attento!”

「動詞句」「目的語」e「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」:

《「動詞」「目的語」e「動詞」「補語」》

Sono venuti a prendere ソーノ・ヴァニエーティ・ア・プレンドレ 3 複現・完了形・しに来る

(venire a+不定詞 prendere)v.t 連れに來た 「動詞句」

il mio vicino イル・ミーオ・ヴィチーノ n.m 隣人を 「目的語」

di destra デイ・デストラ adj. 右側の 「形容詞句」

e エ conj. そして

sua moglie スーア・モーリエ n.f 彼の妻は 「主語」

gli リ pron 彼に 「間接目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

senza +不定詞 センツァ 不定詞・目的 adv. ~しないで 「副詞句」

abbassare アッバッサーレ 不定詞 v.t 下げる、低くする 「動詞」

il tono di voce, イル・トーノ・デイ・ヴォーチェ n.m 声の調子を 「目的語」

come コーメ conj. ~のように 「副詞節」

non si fosse accorta ノン・シ・フォッセ・アッコルタ 接・3 単半・完了形・否定・時制の一致

(accorgersi)v.pr 気付かない 「動詞句」

che ケ conj. ~ということを 「目的語」

non era ノン・エラ 3 単半・否定・時制の一致(essere)

v.i ~でない 「動詞句」

più necessario ピウ・ネセッサーリオ adj. もう必要な 「補語」

gridare: グリダーレ 不定詞 n. 叫ぶことは 「主語」

“Abbi アッビ 命・2 単現(avere)v.t 持ちなさい 「動詞」

cura クーラ n.f 配慮、気遣い 「目的語」

di te デイ・テ adv. 自分の体について 「副詞句」

e エ conj. そして

PARTE SECONDA 第2部

sta スタ 命・2 単現(stare)v.i ~でいなさい

「動詞」

Attento!" アtent adj. 注意深い

「補語」

それから僕の順番になった。マリーは僕にキスをする仕草をした。

Poi è venuto il mio turno. Maria ha fatto il gesto di darmi un bacio.

「副詞」「動詞句」「主語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

Poi ポーイ adv. それから

「副詞」

è venuto エ・ヴェヌート 3 単現・完了形(venire)v.i 来た

「動詞句」

il mio turno. イル・ミー・トルノ n.m 僕の番が

「主語」

「副詞」、「目的語」または「補語」で文が始まると、「動詞」「主語」の順になる。

Maria マリア n.f マリーは

「主語」

ha fatto ア・ファット 3 単現・完了形(fare)v.t (動作を) した

「動詞句」

il gesto イル・ジェスト n.m 仕草を

「目的語」

di +不定詞 ディ 不定詞・目的 adj. ~するための

「形容詞句」

darmi ダル・ミ 不定詞(dare+mi)v.t 僕に与える

「動詞句」

un bacio. ウン・バーチョ n.m キスを

「目的語」

面会所を出る前に、僕はもう一度振り向いた。

Mi sono ancora voltato prima di scomparire.

「動詞句」「副詞句」

Mi sono ancora voltato ミ・ソノ・アソコー・ヴォルト 1 単現・完了形(voltarsi+ ancora)

v.pr もう一度振り向いた

「動詞句」

prima di プリーマ・ディ adv. (時間) ~の前に

「副詞句」

scomparire. スコンパリーレ 不定詞 v.i 退場する

「動詞」

彼女はじっと動かなかった。引き裂かれたような引きつったようなあの同じ微笑みを浮かべて、鉄格子に顔を押し付けていた。

Era immobile, il viso schiacciato contro le inferriate, con lo stesso sorriso strappato e contratto.

「動詞」「補語」

Era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

immobile, インモービレ adv. 不動の

「補語」

il viso イル・ヴィーゾ n.m (様態) 顔は~

「副詞句」

schiacciato スキアチャート 過去分詞・受動 adj. 押し付けられた

「形容詞」

contro le inferriate, コントロ・レ・インフェリアーテ adv. 鉄格子に

「副詞句」

con lo stesso sorriso コン・ロ・ステツ・ソリーゾ adv. 同じ微笑みで

「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

strappato ストラパト 過去分詞・受動 adj. 引き裂かれた 「形容詞」

e エ conj. そして

contratto. コントラット 過去分詞・受動 adj. 縮んだ、ひきつった 「形容詞」

数日後に彼女は僕に手紙をくれた。そしてその瞬間から、僕にとっては決して話したくない事が始まった。

Pochi giorni dopo mi ha scritto. Ed è a partire da quel momento che sono cominciate le cose di cui non mi è mai piaciuto parlare.

Pochi giorni dopo ホ・キ・ジ・ョルニ・チーホ° adv. 数日後に 「副詞句」

mi ミ pron 僕に 「目的語」

ha scritto. ア・エスクリト 3 単現・完了形(ecrivere) 「動詞句」

Ed エ° conj. そして

è エ (essere)v.i ~である 「動詞」

a partire da quel momento ア・ハ°ルチーレ・ダ°・ケル・モメント adv. その瞬間から 「副詞句」

che ケ conj. ~ということが 「主語」

sono cominciate ソーノ・コミンチャーテ 3 複現・完了形 f.pl(cominciare)v.i 始まった 「動詞句」

le cose レ・コーゼ pl(cosa).n.f 事が、物事が 「主語」

di cui デイ・クイ pron(間接目的語) それについて~する 「形容詞節」

non ...è mai piaciuto ...parlare. ノン...エ・マイ・ヒ°アチュート...ハ°ルラーレ

3 単現・完了形・希望・否定・時制の一致(piacere+不定詞 parlare)

v.i 決して話したくない 「動詞句」

mi ミ pron 僕にとって 「間接目的語」

だがしかし、何事も誇張してはならないが、僕にとっては、他の人よりもずっと簡単だった。

Del resto non bisogna mai esagerare nulla, e per me è stato più facile che per altri.

「副詞句」「動詞句」「目的語」,e「副詞句」「動詞」「補語」

Del resto レル・レスト adv. だがしかし、とは言っても、結局 「副詞句」

non bisogna mai esagerare ノン・ビ°ゾーニャ・マイ・エサジエラーレ 非人称・3 単現・禁止

(bisognare+不定詞 esagerare)v.t 誇張してはならない 「動詞句」

nulla, ヌッラ pron 何も~ない 「目的語」

e エ conj. そして

per me ペ°ル・メ adv. 僕にとっては 「副詞句」

è stato エ°スタート 3 単現・完了形(essere)v.i ~だった 「動詞」

più facile ビ°ウ・ファーチェ adj. ずっと簡単な 「補語」

che per altri. ケ・ペ°ル・アルトリ conj. (比較) 他の人よりも 「副詞句」

しかし、拘留された当初、一番辛かったのは自由人の考えが残っていたことだ。

Al principio della mia detenzione, Comunque, la cosa più dura è stata che avevo dei pensieri di uomo libero.

「副詞句」, Comunque, 「主語」「動詞」「補語」

Al principio アル・プリンチーピォ adv. 最初の頃 「副詞句」

della mia detenzione, デラ・ミー・デ・テンツイオーネ adj. 拘留の 「形容詞句」

Comunque, コミンクェ conj. しかし

la cosa più dura ラ・コサ・ピウ・トゥーラ n.f. 最も辛かったことは 「主語」

è stata エ・スタータ 3 単現・完了形.f(essere)v.i. 〜だった 「動詞」

che ケ conj. 〜ということ 「補語」

avevo アヴェーヴォ 1 単半(avere)v.t. 〜があった 「動詞」

dei pensieri デイ・ペンシエリ pl(pensiero)n.m. 考え 「目的語」

di uomo libero. デイ・ウオーモ・リベロ adj. 自由な人間の 「形容詞句」

例えば、浜辺に行って、海に向かって降りて行きたいという欲求が沸き起こるのだ。

Per esempio mi veniva voglia di essere su una spiaggia e scendere verso il mare.

「副詞句」「間接目的語」「動詞」「主語」

Per esempio ペル・エゼンピォ adv. 例えば 「副詞句」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

veniva ヴェニヴァ 3 単半(venire)v.i. 来た、生じた 「動詞」

voglia ヴォリア n.f. 欲求が 「主語」

di essere デイ・エッセレ 不定詞・同格・存在(essere)v.i. 〜にいるという 「形容詞句」

su una spiaggia ス・ウナ・スピアジァ adv. 浜辺に 「副詞句」

e エ conj. そして

scendere シェンデレ 不定詞・同格 v.i. 降りていく 「動詞」

verso il mare. ヴェールツ・イル・マーレ adv. 海に向かって 「副詞句」

足元で一番波の騒めきや海に入っていく自分の体や安堵について考えていると、突然、独房の壁がいかに狭苦しいかを感じた。

Quando pensavo al rumore delle prime onde sotto la pianta dei piedi, al mio corpo che entrava nell'acqua e al sollievo che ne provavo, di colpo sentivo quanto erano strétti i muri della mia prigione.

「副詞節」, 「副詞句」「動詞」「目的語」

Quando クワント conj. 〜した時 「副詞節」

pensavo ペンサーヴォ 1 単半(pensare)v.i.(a のことを) 考えた 「動詞」

PARTE SECONDA 第2部

al rumóre アル・ルモーレ	adv. 物音	「間接目的語」
délle prime ónde テレ・プリメ・オンデ	adj.(ónda) 一番波の	「形容詞句」
sótto ソット	prep (位置) 〜の下に	「副詞句」
la pianta dei pièdi, ラ・ピ・アンタ・デイ・ピ・エ・ディ		
n.f 足の裏		「目的語」
al mio còrpo アル・ミオ・コルポ	adv. 自分の体	「間接目的語」
che ケ	pron (主語) 〜する	「形容詞節」
entrava エントラーヴァ	3 単半・時制の一致(entrare)	
v.i 入っていく		「動詞」
nell'acqua ネラックワ	adv. 水の中に	「副詞句」
e エ	conj. そして	
al sollievo アル・ソリエヴォ	adv. 安心を	「間接目的語」
che ケ	pron (目的語) 〜する	「形容詞節」
ne ネ	adv. それを	「間接目的語」
provavo, プロヴァーヴォ	1 単半・時制の一致(provare)	
v.t 感じる、体験する		「動詞」
di cólpo デイ・コルポ	adv. 突然、急に	「副詞句」
sentivo センチーヴォ	1 単半(sentire)v.t 感じた	「動詞」
quanto クワント	pron どれほど〜であることを	「目的語」
erano エーノ	3 複半・時制の一致(èssere)v.i 〜である	「動詞」
strétti スレッティ	adj(strétto).pl 狭苦しい	「補語」
i muri イ・ムーリ	pl(muro).n.m 壁は	「主語」
délla mia prigione. デラ・ミア・プリジョーネ	adj. 僕の独房の	「形容詞句」

だが、これが続いたのは数か月だけだった。その後は、囚人の考え方しかなかった。

Ma quésto durò qualche mése soltanto. In séguito non ebbi che pensieri di prigioniero.

Ma 「主語」「動詞」「副詞句」 | 「副詞句」「動詞句」「目的語」

Ma マ conj. しかし、だが

quésto ケスト pron これは、このような事は 「主語」

durò ドゥロ 3 単遠(durar)v.i 続いた 「動詞」

qualche mése soltanto. クワルケ・メセ・ソルタンテ adv. 数か月だけ 「副詞句」

In séguito イン・セグイト adv. その後は 「副詞句」

non ebbi ノン・エビ 1 単遠・否定(avére)v.t 持たなかった 「動詞句」

che pensieri ケ・ペンシエーリ pl(pensiero).n.m (限定: non...che) 考えしか 「目的語」

di prigioniero. デイ・プリジョニエーロ adj. 囚人の 「形容詞句」

僕は、刑務所の中庭で毎日する散歩や弁護士の面会を待ち望むようになった。

Aspettavo la passeggiata quotidiana che facevo nel cortile délla prigione, o la visita déll'avvocato.

Aspettavo	アスペッターヴォ 1 単半(aspettare)v.t	待っていた	「動詞」
la passeggiata	ラ・パッセジャータ n.f	散歩を	「目的語」
quotidiana	クォティディアーナ adj.	毎日の、日々の	「形容詞」
che che	ケ pron	(目的語) ~する	「形容詞節」
facevo	ファチェヴォ 1 単半(fare)v.t	やっていた	「動詞」
nel cortile	ネル・コルチーレ adv.	中庭で	「副詞句」
délla prigione,	デラ・プリジョーネ adj.	刑務所の	「形容詞句」
o オ conj.		または	
la visita	ラ・ヴィスタ n.f	面会を	「目的語」
déll'avvocato.	デラッヴォカート adj.	弁護士の	「形容詞句」

僕は残された時間をうまくやりくりした。

Mi arrangiavo bène col tèmpo che mi restava.

Mi arrangiavo	ミ・アランジヤーヴォ 1 単半(arrangiarsi)v.pr	やりくりした	「動詞句」
bène	ベーネ adv.	うまく	「副詞」
col tèmpo	コル・テンポ adv.	時間を	「間接目的語」
che che	ケ pron	(主語) ~する	「形容詞節」
mi	ミ pron	僕のために	「間接目的語」
restava.	レスターヴァ 3 単半(restare)v.i	残っていた	「動詞」

その頃僕はよく考えた。仮に頭上の花だけを見て枯れ木の幹の中で暮らさなければならなかったとしても、次第に慣れただろうと。

Ho pensato spésso, allóra, che se avessi dovuto vivere déntro un tronco d'àlbero mòrto, senz'altra occupazione che guardare il fióre del cièlo sópra il mio capo, a pòco a pòco mi sarèi abituato...

Ho pensato	オ・ペンサート 1 単現・完了形(pensare)v.t	考えた	「動詞句」
spésso,	スペツツ adv.	何度も、しばしば	「副詞」
allóra,	アッローラ adv.	その頃	「副詞」
che	ケ conj.	~ということ	「目的語」
se	セ conj.	(譲歩) もし~だったとしても	「副詞節」

PARTE SECONDA 第2部

avessi dovuto vivere セ・アヴ・エッシ・ト・ヴ・エート・ヴ・イー・ヴ・エレ 接・1 単半・完了形・必要

(dovére+不定詞 vivere)v.i 暮らさなければならない 「動詞句」

déntro デントロ prep 〜の中で 「副詞句」

un tronco ウン・トロンコ n.m 木の幹 「目的語」

d'albero mòrto, ダール・ヘ・ロ・モールト adj. 枯れ木の「形容詞句」

senz' センツァ prep 〜なしに 「副詞句」

altra occupazione アルトラ・オカ・ツィオーネ n.f 何かの仕事 「目的語」

che+不定詞 ケ

conj. (限定) 〜するしか、〜する以外に 「副詞句」

guardare グアルダーレ 不定詞 v.t 眺める 「動詞」

il fióre イル・フィオーレ

n.m 花 (のような雲) を 「目的語」

del cièlo デル・チェーロ adj. 空 「形容詞句」

sópra il mio capo, ソフ・ラ・イル・ミー・オ・カーボ

adv. 頭上の 「副詞句」

a pòco a pòco ア・ポ・コ・ア・ポ・コ adv. 次第に、少しずつ 「副詞句」

mi sarèi abituato. ミ・サレイ・アビトゥアート 条・1 単現・完了形(abituarsi)

v.pr 慣れただろう 「動詞句」

そこで弁護士の奇妙なネクタイを待ったように、別の世界ではマリーの体を抱くために辛抱強く土曜日を待ちわびたように、僕は小鳥の通過や雲との出会いを待っただろう。

Avrèi atteso passaggi di uccelli o incóntri di nubi come, lì attendevo le strane cravatte dell'avvocato e come, in un altro mondo, aspettavo pazientemente il sabato per avere il corpo di Maria.

「動詞句」「目的語」 o 「目的語」「副詞節」 e 「副詞節」

Avrèi atteso アヴレイ・アテツォ 条・1 単現・完了形(attendere)v.t 待っただろう 「動詞句」

passaggi パッサージ pl(passaggio)n.m 通過を 「目的語」

di uccelli ディ・ウッチェリ adj.(uccello) 小鳥の 「形容詞句」

o オ conj. または

incóntri インコントリ pl(incóntro).n.m 出会いを 「目的語」

di nubi ディ・ヌービ adj.(nube) 雲の 「形容詞句」

come, コーメ conj. 〜のように 「副詞節」

lì リ adv. そこで 「副詞」

attendevo アテンデーヴォ 1 単半(attendere)v.t 待っていた 「動詞」

le strane cravatte dell'avvocato レ・ストラネ・クラヴァッテ・デラッヴォ オート

pl(cravatta).n.f 弁護士の奇妙なネクタイを 「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

e ɛ conj.	そして	
cóme, コーメ conj.	～のように	「副詞節」
in un altro mondo, イン・ウン・アルトロ・モンド	adv. 別の世界では	「副詞句」
aspettavo アスペッターヴォ	1 単半(aspettare)v.t 待っていた	「動詞」
pazientemente パツィエンテメンテ	adv. 辛抱強く	「副詞」
il sàbato イル・サーハト	n.m 土曜日を	「目的語」
per avére ペル・アヴェーレ	不定詞・目的 v.t 抱くために	「副詞句」
il còrpo di Maria. イル・コルポ・ディ・マリア	n.m マリーの体を	「目的語」

実際、よく考えると、僕は枯れ木の中にいるわけではない。

In realtà, a pensarci bène, non ero déntro un àlbero mòrto.

		「副詞句」、「動詞句」「副詞句」
In realtà, イン・リアルタ	adv. 実際には	「副詞句」
a pensarci bène, ア・ペンサルチ・ベーネ	不定詞・条件 adv. よく考えると	「副詞句」
non ero ノン・エロ	1 単半・存在・否定(èssere)v.i ～にいなかった	「動詞句」
déntro デントロ	prep (空間) ～の中に	「副詞句」
un àlbero mòrto. ウン・アルベロ・モルト	n.m 枯れ木	「目的語」

a+不定詞 副詞節的用法

時間「... するとき」

All'uscire dalla stazione il generale fu acclamato da grande folla.

駅を出るとき、将軍は大勢の群集の歓呼で迎えられた。

条件「... するならば」

A star zitti non si sbaglia.

黙っていれば間違えることはない。

譲歩「... しても」

Non trovi un tassì a pagarlo un milione.

100 万はらったとしてもタクシーは見つからないよ。

原因・理由「... なので」

Hai fatto male a mentirmi.

君は私に嘘をついて気まずくなった。

判断の根拠「... するなんて」

Sei scortése a parlare così!

そんな言い方をするなんて、あなた失礼よ。

PARTE SECONDA 第2部

目的「... すべく」

Vado a farmi tagliare I capelli.

髪を切ってもらいに行く。

手段・方法「... して」

限定「... するかぎりでは」

Sono abituato a sopportare il freddo.

寒いのを我慢するのは慣れている。

僕より不幸な人もいる。だがこれは母さんの考え方だ。母さんは、人はどんなことにでもいづれ慣れてしまうものだと、いつも繰り返していた。

C'erano persone più infelici di me. Del resto era un'idea della mamma, e lei lo ripeteva sempre, che si finisce per abituarsi a tutto.

「動詞句」「主語」 | 「副詞句」「動詞」「補語」,e

「主語」「目的語」「動詞」「副詞」「目的語」

C'erano チェラーノ 3 複半・存在(èsserci)v.i ~でいた

「動詞句」

persone ペルソーネ pl(persóna).n.f 人が

「主語」

più infelici ピウ・インフェリーチ adj(infelice).pl もっと不幸な

「形容詞句」

di me. ディ・メ adv. (比較) 僕より

「副詞句」

Del resto デル・レスト adv. だがしかし、とは言っても

「副詞句」

era エラ 3 単半(èssere)v.i ~だった

「動詞」

un'idea della mamma, ウン・イデア・デラ・マンマ n.m 母さんの考え方

「補語」

e エ conj. そして

lei レイ pron 彼女は

「主語」

lo ロ pron それを

「目的語」

ripeteva リペ・テヴァ 3 単半(ripetere)v.t 繰り返していた

「動詞」

sempre, センプレ adv. いつも

「副詞」

che ケ conj. ~ということ

「目的語」

si シ pron 人は

「主語」

finisce per abituarsi フィニッシェ・ペル・アビトゥアルシ 3 単現・結局(finire per+不定詞 abituarsi)

v.pr 結局は慣れてしまうものだ

「動詞句」

a tutto. ア・トゥット adv. 何事にも

「間接目的語」

それから、普通はあまり動かない。最初の数か月は、辛かった。

E poi non è che di solito mi muovevsi tanto. I primi mesi sono stati duri.

E 「副詞」「動詞句」「主語」 | 「副詞句」「動詞句」「補語」

E エ conj. そして

poi ポーイ adv. それから

「副詞」

non è ノネ 3 単現・否定(èssere)v.i. ～でない

「動詞句」

che ケ conj. ～ということは

「主語」

di solito ディ・ソルト adv. 通常は、いつもは

「副詞句」

mi muovevsi ミ・ムヴェッシ 接・1 単半(muoversi)v.pr 動く

「動詞句」

tanto. タント adv. すごく

「副詞」

I primi mesi イ・プリミ・メシ pl(mése).n.m 最初の数か月

「副詞句」

sono stati ソーノ・スターティ 1 単現・完了形.pl 状態(èssere)v.i. ～だった

「動詞句」

duri. ドゥーリ adj(duro).pl 辛い、大変な

「補語」

だがまさにやらなければならなかったその労苦が、その数か月を乗り切る助けになった。

Ma precisamente lo sfôrzo che ho dovuto fare mi ha aiutato a passarli.

Ma 「主語」「目的語」「動詞句」「補語」

Ma マ conj. しかし、だが

precisamente プレチザメンテ adv. まさに、まさしく

「副詞」

lo sfôrzo ロ・スフォルツォ n.m その努力が、骨折りが

「主語」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

ho dovuto fare オ・ドヴュー・ファレ 1 単現・完了形・必要(dovére+不定詞 fare)

v.t. しなければならなかった

「動詞句」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

ha aiutato ア・アイタート 3 単現・完了形(aiutare)v.t. 助けた

「動詞句」

a passarli. ア・パッサールリ 不定詞・mi の動作 v.t. その数か月を乗り切る

「補語」

li は I primi mesi の代用

例えば、僕は女に対する欲望に苛まれた。若いのだから、当たり前だ。

Per esèmpio ero tormentato dal desidèrio di una donna. Era naturale, essendo giovane.

「副詞句」「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」

Per esèmpio ペル・エゼンピオ adv. 例えば

「副詞句」

ero エロ 1 単半(èssere)v.i. ～だった

「動詞」

tormentato トルメンタート adj. 苦痛に苛まれた

「補語」

dal desidèrio ダル・デシデーリオ adv. (動作主) 願望により

「副詞句」

di una donna. ディ・ウナ・ドンナ adj. 女の

「形容詞句」

PARTE SECONDA 第2部

Era エラ 3 単半 3 単半(èssere)v.i. ～だった 「動詞」
 naturale, ナトゥーレ adj. 当り前の 「補語」
 essendo エシント` ジェルンディオ・理由(èssere)v.i. ～なのだから 「副詞句」
 giovane. ジョーヴァネ adj. 若い 「補語」

決して特にマリーののことを考えていた訳ではない。

Non pensavo mai a Maria in particolare.

「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

Non pensavo mai ノン・ペンサーヴォ・マイ 1 単半・否定(pensare)

v.i. 決して考えていた訳ではない 「動詞句」

a Maria ア・マリア adv. マリーののことを 「間接目的語」

in particolare. イン・パルチコラーレ adv. 特に 「副詞句」

そうではなく、要するに女のことを、女たちを、僕が関係した女たちのことを、そして女たちを愛した時のすべての状況を考えていた。その結果、僕の独房は女たちの顔でいっぱいになり、僕の欲望で満たされた。

Ma pensavo talmente a una donna, alle donne, a tutte quelle che avevo conosciute, a tutte le circostanze in cui le avevo amate, che la mia cella si riempiva di tutti i loro volti e si popolava dei miei desideri.

Ma 「動詞」「間接目的語」「間接目的語」「間接目的語」, 「間接目的語」
 che 「主語」「動詞句」「副詞句」 e 「動詞句」「副詞句」

Ma マ conj. そうではなく

pensavo ペンサーヴォ 1 単半(pensare)v.i.(a のことを) 考えていた 「動詞」

talmente タルメンテ adv. そのように 「副詞」

a una donna, ア・ウナ・ドンナ adv. 女のことを 「間接目的語」

alle donne, アレ・ドンネ adv. 女たちを 「間接目的語」

a tutte quelle ア・トゥッテ・ケレ adv. すべての女たちを 「間接目的語」

che che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

avevo conosciute, アヴ・エヴァ`ォ・コノシューテ 1 単半・完了形.f.pl(conoscere)

v.t. 知った、関係を持った 「動詞句」

a tutte le circostanze ア・トゥッテ・レ・シルコンスタンツェ adv. 全ての状況を 「間接目的語」

in cui イン・クーイ adv. そこで～する 「形容詞節」

le レ pron.f.pl 女たちを 「目的語」

avevo amate, アヴ・エヴァ`ォ・アマテ 1 単半・完了形.f.pl(amre)

v.t. 愛した 「動詞句」

che ケ conj. (結果) それで～する

PARTE SECONDA 第2部

la mia cella ラ・ミーア・チェラ n.f 僕の独房は 「主語」
 si riempiva シ・リエンプィーヴァ 3 単半(riempirsi)v.pr いっぱいになった 「動詞句」
 di tutti i loro volti デイ・トゥッティ・イ・ロー・ヴァー オルティ adv. (動作主) すべての女の顔で 「副詞句」
 e e conj. そして
 si popolava シ・ポポーラヴァ 3 単半(popolarsi)v.pr いっぱいになった 「動詞句」
 dei miei desideri. デイ・ミエイ・デシテリー adv. (動作主) 僕の欲望で 「副詞句」

見方によれば、これは僕の精神の安定を奪った。

Da un certo punto di vista questo mi squilibrava.

「副詞句」「主語」「目的語」「動詞」
 Da ダー prep (原因) ～から、～のために 「副詞句」
 un certo punto ウン・チェルト・ポイント n.m ある点 「目的語」
 di vista デイ・ヴァイスタ adj. 視覚の 「形容詞句」
 questo クェスト pron これは 「主語」
 mi ミ pron 僕を 「目的語」
 squilibrava. スキリブラヴァ 3 単半(squilibrare)v.t 精神の安定を失わせた 「動詞」

しかし別の見方では、時間を潰すのに役立った。

Ma da un altro, serviva ad ammazzare il tempo.

Ma 「副詞句」「動詞句」「目的語」
 Ma マ conj. しかし
 da ダー prep (原因) ～から、～のために 「副詞句」
 un altro, ウン・アルトロ pron 別の視点 「目的語」
 serviva ad ammazzare セルヴァー・ヴァ・アト・アマツァーレ 3 単半・役立つ(servire a+不定詞)
 v.t (時間を) 潰すのに役立った 「動詞句」
 il tempo. イル・テンポ n.m 時間を 「目的語」

僕はやっと、食事の時に賄い係に同行して来る看守長に気に入られた。

Avevo finito per guadagnarmi la simpatia del carceriere capo che accompagnava, all'ora dei pasti, l'uomo della cucina.

「動詞句」「目的語」
 Avevo finito per guadagnarmi アヴェー・フィニト・ペル・グワダニャルミ 1 単半・完了形・結局
 (finire per+不定詞 guadagnarsi)v.pr ついに勝ち取ることができた 「動詞句」
 la simpatia ラ・シンパチア n.f 好意を 「目的語」
 del carceriere capo テル・カルチェリエーレ・カーポ adj. 看守長の 「形容詞句」
 che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

PARTE SECONDA 第2部

accompagnava, アッコンパニャーヴァ 3 単半・時制の一致(accompagnare)

v.t 同伴する

「動詞」

all'óra dei pasti, アッローラ・デー・パステイ

adv. 食事の時間に

「副詞句」

l'uòmo délla cucina. ルオーモ・デーラ・クチャー

n.m 調理場の男、賄い係

「目的語」

僕に最初に女の事を話したのは彼だ。

È lui che mi ha parlato delle donne per primo.

「動詞」「補語」「主語」

È エ (èssere)v.i ~である

「動詞」

lui ルーイ pron 彼

「補語」

che ケ conj. ~ということは

「主語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha parlato ア・パルラト 3 単現・完了形(parlare)v.i(di のことを) 話した

「動詞句」

delle donne デレ・ドンネ adv. 女のことを

「間接目的語」

per primo. ヘル・プリモ adv. 最初に

「副詞句」

他の囚人が最初に文句を言うのはそのことだと、彼は僕に言った。

Mi ha detto che era la prima cosa di cui si lamentavano gli altri.

Mi 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t(che と) 言った

「動詞句」

che ケ conj. ~ということを

「直接目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(èssere)v.i ~である

「動詞」

la prima cosa ラ・プリマ・コサ n.f 最初のこと

「補語」

di cui デイ・クイ adj. それについて~する

「形容詞節」

si lamentavano シ・ラメントヴァノ 3 複半・時制の一致(lamentarsi)

v.pr 文句をいう

「動詞句」

gli altri. リ・アルトリ pl(altro).pron 他の囚人が

「主語」

僕も彼らと同じ考えで、この扱いは不公平だと思ふと彼に言った。

Gli ho detto che ero anch'io come loro e che trovavo questo trattamento ingiusto.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e 「直接目的語」

Gli リ pron 彼に

「間接目的語」

ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

che ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
ero エロ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である	「動詞」
anch'io アンキオ adv. 僕も	「副詞句」
cóme lóro コーメ・ローロ adv. 彼らと同様の	「補語」
e エ conj. そして	
che ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
trovavo トロヴァーヴォ 1 単半・時制の一致(trovare)v.t ～と思う	「動詞」
quésto trattamento ケスト・トラタメント n.m この扱い、この待遇	「目的語」
ingiusto. インジュスト adj. 不公平な	「補語」

「しかし」と、彼は言った。「君たちがここに入っているのはまさにそのためなんだ」

“Ma,” ha détto lui, “è appunto per quésto che vi mettono in prigione.”

《「応答」》, 「動詞句」「主語」, 《「動詞」「副詞句」「主語」》

“Ma,” マ conj. 「しかし」	「応答」
ha détto ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
lui, ルーイ pron 彼は	「主語」
“è エ 3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
appunto アッポント adv. まさに	「副詞」
per quésto ペール・ケスト adv. (目的) そのため	「副詞句」
che ケ conj. ～ということは	「主語」
vi mettono ヴィ・メトノ 2 複現(méttersi)v.pr 入っている	「動詞句」
in prigione.” イン・プリジョーネ adv. 刑務所に	「副詞句」

「どうして、そのためなんですか?」「しかし、そう、自由だよそれは。自由を奪うのさ」

“Cóme, per quésto?” “Ma sì, la libertà, è questa. Vi si priva délla libertà.”

《「応答」》

《「応答」, 「補語」「動詞」「主語」 | 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」》

“Cóme, コーメ adv. どうして?	「応答」
per quésto?” ペール・ケスト adv. そのためなんですか?	「応答」
“Ma sì, マ・シ adv. しかし、そう	「応答」
la libertà, ラ・リベルタ n.f 自由	「補語」
è エ 3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
questa. ケスタ pron それは	「主語」
Vi ヴィ pron あなたの	「間接目的語」
si シ pron 人は	「主語」
priva プリヴァ 3 単現(privare)v.t(di を) 奪う	「動詞」

PARTE SECONDA 第2部

della libertà.” デッラ・リベルタ n.f 自由を

「直接目的語」

そんな事は今まで考えたことが無かった。それで彼の言い分を認めた：「その通りだ」と、彼に言った、「さもないければ、どこに罰があると言うのか？」

Non ci avevo mai pensato e gli ho dato ragione: “È vero,” gli ho detto, “se no dove sarebbe la punizione?”

「動詞句」「間接目的語」「動詞句」 e 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」:

《「動詞」「補語」》, 「間接目的語」「動詞句」, 《「副詞句」「動詞」「主語」》

Non ...avevo mai pensato ノン...アヴェーヴォ・マイ・ペンサート 1 単半・完了形・否定

(pensare)v.i (～のことを) 決して考えたことがなかった

「動詞句」

ci チ pron それについて

「間接目的語」

e エ conj. そして

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

ho dato オ・ダート 1 単現・完了形(dare)v.t 与えた

「動詞句」

ragione: ラジオーネ n.f 道理を

「直接目的語」

fare ragione a qlcu 人の言い分を認める

“È エ 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

vero,” ヴェーロ adj. 正しい

「補語」

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

ho detto, オ・テット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

“se no セ・ノ adv. さもないければ

「副詞句」

dove トーヴェ adv. どこに

「副詞」

sarebbe サレハ 条・3 単現・存在(essere)v.i ある

「動詞」

la punizione?” ラ・プニツィオーネ n.f 罰が

「主語」

「そうだ。お前さんは物事が分かっている。他の奴らはそうでは無い。だが、いずれ自分でもなんとかするんだ」そう言って、看守長は立ち去った。

“Sì, lèi capisce le cose, lèi. Gli altri no. Ma finiscono col darsi sollievo da sé.” Pòi il carceriere se n'è andato.

《「応答」, 「主語」「動詞」「目的語」, 「呼びかけ」 | 「主語」「動詞句」

Ma 「動詞句」「目的語」「副詞句」》, 「副詞」「主語」「動詞句」

“Sì, シ adv. その通り、そうだ

「応答」

lèi レーイ pron (敬称) お前さんは

「主語」

capisce カピシェ 3 単現(capire)v.t 知っている

「動詞」

le cose, レ・コセ pl(cosa)n.f 物事を

「目的語」

lèi. レーイ pron あなたは

「呼びかけ」

PARTE SECONDA 第2部

Gli altri リ・アルトリ pl(altro).pron 他の奴らは 「主語」
 no. ノ 3 複現・否定(capire)v.t 知らない 「動詞句」
 Ma マ conj. しかし
 finiscono col darsi フィニスコノ・コル・ダールシ 3 複現・結局(finire col+不定詞 darsi)
 v.pr 結局は自分に与える 「動詞句」
 sollievo ソリエウヴォ n.m 慰めを 「目的語」
 da sé.” ダ・セ adv. (動作主) 自分で 「副詞句」
 Poi ポーイ adv. それから 「副詞」
 il carceriere イル・カルチェリエーレ n.m 看守長は 「主語」
 se n'è andato. セ・ネ・アンダート 3 単現・完了形(andarsene)v.pr 立ち去った 「動詞句」

翌日、僕は他の奴らと同じようにやった。

Il giorno dopo ho fatto come gli altri.

Il giorno dopo イル・ジヨルノ・ドーポ adv. 次の日 「副詞句」
 ho fatto オ・ファット 1 単現・完了形(fare)v.t (行為を) やった 「動詞句」
 come コーメ conj. ーと同様に 「副詞句」
 gli altri. リ・アルトリ pl(altro).pron 他の奴ら 「目的語」
 フランス語版では
 この文はない。

タバコの問題もあった。

C'è stata anche la faccenda delle sigarète.

C'è stata チェ・スタータ 3 単現・完了形・存在(esserci)v.i ーがあった 「動詞句」「主語」
 anche アンケ adv. もまた、も 「副詞」
 la faccenda ラ・ファチェンダ n.f (気がかりな) 問題が 「主語」
 delle sigarète. テッレ・シガレッテ pl(sigarétta).n.f タバコの 「形容詞句」

刑務所に入った時、ベルト、靴紐、ネクタイ、ポケットにある全ての物、特にタバコを取り上げられた。

Quando sono entrato in prigione, mi hanno tolto la cintura, le stringhe delle scarpe, la cravatta, e tutto quello che avevo nelle tasche, tra l'altro le sigarète.

「副詞節」, 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」, 「副詞句」「直接目的語」
 Quando クント conj. ーの時に 「副詞節」
 sono entrato ソーノ・エントラート 1 単現・完了形(entrare)v.i 入った 「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

in prigione, イン・プリジョーネ	adv. 刑務所に	「副詞句」
mi ミ	pron 僕の	「間接目的語」
hanno tolto アンノ・トルト	3 複現・完了形(togliere)v.t 取り上げた	「動詞句」
受動態に翻訳する		
la cintura, ラ・チントウーラ	n.f ベルトを	「直接目的語」
le stringhe délle scarpe, レ・ストリンゲ・デッレ・スカルペ	pl(stringha).n.f 靴紐を	「直接目的語」
la cravatta, ラ・クラヴァッタ	n.f ネクタイを	「直接目的語」
e エ	conj. そして	
tutto quéllo トゥット・クェッロ	pron すべての物を	「直接目的語」
che ケ	pron (目的語) ～する	「形容詞節」
avevo アヴェーヴォ	1 単半(avére)v.t 持っていた	「動詞」
nelle tasche, ネッレ・タッシェ	adv. ポケットの中に	「副詞句」
tra l'altro トラ・ラルトロ	adv. 特に、中でも	「副詞句」
le sigarétte, レ・シガレッテ	pl(sigarétta).n.f 特にタバコを	「直接目的語」

独房で一度、煙草を返して欲しいと頼んだが、それは禁じられていると言われた。

Una volta in cella, ho chiesto che me le restituissero; mi hanno detto che era proibito.

「副詞句」「動詞句」「目的語」；「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Una volta	ウナ・ヴォルタ	adv. 一度	「副詞句」
in cella, イン・チェッラ	adv. 独房の中で		「副詞句」
ho chiesto	オ・キエスト	1 単現・完了形(chiedere)v.t 頼んだ	「動詞句」
che ケ	conj. ~ということを		「目的語」
me メ	pron 僕に		「間接目的語」
le レ	pron.pl それを (タバコ)		「直接目的語」
restituissero;	レストゥイッセロ	接・3 複半・時制の一致・期待(restituire)v.t 返す	「動詞」
mi ミ	pron 僕に		「間接目的語」
hanno detto	アンノ・デット	3 複現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
受動態に翻訳する			
che ケ	conj. ~ということを		「直接目的語」
era エラ	3 単半・時制の一致(essere)v.i ~である		「動詞」
proibito.	プロイビート	adj. 禁じられた	「補語」

最初の数日はとても辛かった。

I primi giorni sono stati molto duri.

「主語」「動詞」「補語」

I primi giorni イ・プリーミ・ジョールニ pl(giorno).n.m 最初の数日は

「主語」

sono stati ソーノ・スターティ 3 複現・完了形.pl・状態(essere)v.i 〜だった

「動詞句」

molto duri. モルト・ドゥーリ adj(duro).pl とても辛い

「補語」

おそらくこれが一番僕を落ち込ませたものだ。ベッドの板から剥がした木っ端を吸ってみた。一日中、ひどい吐き気に苦しめられた。

È forse questo che mi ha abbattuto di più: succhiavo dei pezzetti di legno che staccavo dalla tavola del letto; una gran nausea mi perseguitava tutto il giorno.

「動詞」「副詞」「補語」「主語」; 「動詞」「目的語」; 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

È エ (essere)v.i 〜である

「動詞」

forse フォルセ adv. おそらく、多分

「副詞」

questo クェスト pron これ

「補語」

che ケ conj. 〜ということは

「主語」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

ha abbattuto ア・アバットゥート 3 単現・完了形(abbattere)

v.t (精神的に) 打ちのめした

「動詞句」

di più: ディ・ピウ adv. 最も

「副詞句」

succhiavo スッキアーヴォ 1 単半(succhiare)v.t 吸った

「動詞」

dei pezzetti ディ・ペゼッティ pl(pèzzo + -etto).n.m 小片を

「目的語」

di legno ディ・レンニョ adj. 木の

「形容詞句」

che ケ pron (目的語) 〜する

「形容詞節」

staccavo スタッカーヴォ 1 単半(staccare)v.t 剥がした

「動詞」

dalla tavola タラ・ターヴォ adv. 板から

「副詞句」

del letto; テル・レット adj. ベッドの

「形容詞句」

una gran nausea ウナ・グラン・ナーゼア n.f ひどい吐き気が

「主語」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

perseguitava ペルギターヴァ 3 単半(perseguire)v.t 苦しめた

「動詞」

tutto il giorno. トゥット・イル・ジョルノ adv. 一日中

「副詞句」

誰も傷つけないこんなものをどうして僕から奪うのか理解できなかった。

Non capivo perché mi privassero di una cosa che non faceva male a nessuno.

「動詞句」「目的語」

Non capivo ノン・カピョーヴォ 1 単半・否定(capire)v.t 理解できなかった

「動詞句」

perché ペルケ conj. なぜ〜かということ

「目的語」

mi ミ 僕の

「間接目的語」

privassero プリヴァッセルロ 接・3 複半・時制の一致(privare)v.t(di から) 奪う 「動詞」

di una cosa ディ・ウナ・コサ adv. そのような物を

「間接目的語」

che ケ pron (主語) 〜する

「形容詞節」

non faceva ノン・ファチェヴァ 3 単半・否定・時制の一致(fare)

v.t 与えない、しない

「動詞句」

male マレ n.m 苦痛、苦しみ

「直接目的語」

a nessuno ア・ネッスノ adv. 誰にも〜ない

「間接目的語」

後になって、これも罰の一部だと納得した。

Più tardi ho capito che anche questo faceva parte della punizione.

「副詞句」「動詞句」「目的語」

Più tardi ピウ・タルディ adv. 後になって

「副詞句」

ho capito オ・カピート 1 単現・完了形(capire)v.t 分かった、理解した

「動詞句」

che ケ conj. 〜ということ

「目的語」

anche questo アンケ・クェスト pron これも

「主語」

faceva ファチェヴァ 3 単半・時制の一致(fare)v.t (身分が) 〜である

「動詞」

parte パルテ n.f 一部、部分

「補語」

della punizione. テラ・プニツィオーネ adj. 罰の

「形容詞句」

だが、その頃にはすでに禁煙の習慣がついており、煙草はもう僕にとって罰では無かった。

Ma allóra avevo fatta ormai l'abitudine di non fumare e quèlla non era più una punizione per me.

Ma 「副詞」「動詞句」「副詞」「目的語」 e 「主語」「動詞」「補語」

Ma マ conj. しかし

allóra アッローラ adv. その頃には

「副詞」

avevo fatta アヴエーヴォ・ファッタ アヴエーヴォ・ファッタ 1 単半・完了形.f(fare)v.t 出来ていた 「動詞句」

ormai オルマイ adv. もはや、もう

「副詞」

l'abitudine ラビトゥーディネ n.f 習慣を

「目的語」

di non fumare ディ・ノン・フマーレ 不定詞・同格 adj. 禁煙の

「形容詞句」

e エ conj. そして

PARTE SECONDA 第2部

quella ケッラ pron.f それは(sigarétta) 「主語」
 non era ノン・エラ 3 単半・否定(essere)v.i 〜でなかった 「動詞句」
 più una punizione ピウ・ウナ・プニツィオーネ n.f もはや罰〜でない 「補語」
 per me. ペル・メ adv. 僕にとって 「副詞句」

これらの煩わしさを除けば、僕はそれほど不幸ではなかった。

A parte questi fastidi, non ero eccessivamente infelice.

「副詞句」「動詞句」「補語」
 A parte ア・パルテ adv. (条件) 〜を除けば 「副詞句」
 questi fastidi, ケスティ・ファスティデー pl(fastidio).n.m これらの煩わしさ 「目的語」
 non ero ノン・エロ 1 単半・否定(essere)v.i 〜でなかった 「動詞句」
 eccessivamente エチェシヴァメンテ adv. (否定文で) それほど〜ない 「副詞」
 infelice. インフェリーチェ adj. 不幸な 「補語」

いまだに、唯一の問題は時間を潰すことだった。

Il sólo problema, ancora una volta, era di ammazzare il tempo.

「主語」「副詞句」「動詞」「補語」
 Il sólo problema, イル・ソーロ・プロブレマ n.m 唯一の問題は 「主語」
 ancora アンコーラ adv. まだ 「副詞」
 una volta, ウナ・ヴォルタ n.f 一度 「副詞句」
 era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i 〜である 「動詞」
 di +不定詞 ディ n. 〜すること 「補語」
 ammazzare アマツァーレ 不定詞 v.t 殺す 「動詞」
 il tempo. イル・テンポ n.m 時間を 「目的語」

そして記憶の呼び起こし方を習得した瞬間からは、もう全く退屈しなくなった。

E ho finito per non annoiarmi più affatto dall'istante in cui ho imparato a ricordare.

E 「動詞句」「副詞句」
 E エ conj. そして
 ho finito per non annoiarmi オ・フィニート・ペル・ノン・アノイアルミ 1 単現・完了形。結局
 (finire per+不定詞・否定形 annoiarmi)v.pr ついに退屈しなくなった 「動詞句」
 più affatto ピウ・アッファット adv. もう全く〜ない 「副詞句」
 dall'istante ダリスタンテ adv. (起点) その瞬間から 「副詞句」
 in cui イン・クーイ adv. 〜する 「副詞節」
 ho imparato a ricordare. オ・インパラート・アリコルダール 1 単現・完了形・学ぶ(imparare a+不定詞)
 v.t 記憶の呼び起こし方を習得した 「動詞句」

時々、僕は自分の部屋を考え始める。そして想像で、ある一角から出発する。そして途中で見つけた物を全て数え上げながら最終的にそこに戻るのだ。

A volte mi mettevo a pensare alla mia camera e, con l'immaginazione, partivo da un angolo per ritornarvi enumerando mentalmente tutto ciò che trovavo sulla mia strada.

「副詞句」「動詞句」「間接目的語」e, 「副詞句」「動詞」「副詞句」

A volte ア・ヴォルテ adv. 時々

「副詞句」

mi mettevo a pensare ミ・メッテ・ヴォ・ア・ペンサーレ 1 単半・開始(mettersi a+不定詞 pensare)

v.i 考え始めた

「動詞句」

alla mia camera アラ・ミー・ア・カメラ adv. 自分の部屋のことを

「間接目的語」

e, エ conj. そして

con l'immaginazione, コン・イマジナツィオーネ adv. 想像で

「副詞句」

partivo パルチーヴォ 1 単半・時制の一致(partire)v.i 出発する

「動詞」

da un angolo ダ・ウン・アングロ adv. (起点) ある一角から

「副詞句」

per ritornarvi ペル・リトル・ヴィ 不定詞・結果・目的 adv. 最終的にそこに戻るために「副詞句」

enumerando エヌメラント ジェルンディオ(enumerare)v.t 数え上げながら

「副詞句」

mentalmente メンタルメンテ adv. 心の中で

「副詞」

tutto ciò トゥット・チョ 全ての物を

「目的語」

che che ケ pron (目的語) ~する

「形容詞節」

trovavo トロヴァーヴォ 1 単半(trovare)v.t 見つけた

「動詞」

sulla mia strada. スッラ・ミー・ストラダ adv. 途中で

「副詞句」

最初は、それはすぐに終わってしまった。

In principio era una cosa prèsto fatta.

「副詞句」「動詞」「補語」

In principio イン・プリンチピオ adv. 最初は

「副詞句」

era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

una cosa ウナ・コーサ n.f 事

「補語」

prèsto fatta. プレスト・ファッタ adj.f すぐに完成した

「形容詞句」

だが、やり直す度に、少しずつ長くなっていった。

Ma ogni volta che ricominciavo, era un po' più lungo.

Ma「副詞節」,「動詞」「補語」

Ma マ conj. しかし

ogni volta che オンニ・ヴォルタ・ケ conj. ~する度に

「副詞節」

ricominciavo, リコミンチャーヴォ 1 単半・時制の一致(ricominciare)v.t やり直す

「動詞」

PARTE SECONDA 第2部

era エア 3 単半・変化(essere)v.i ~になった 「動詞」
 un po' più lungo. ウン・ポ・ピウ・ルンゴ adj. 少し長い 「補語」

なぜなら、僕はそれぞれの家具を思い浮かべると、次はそれぞれの家具にあるそれぞれの物を思い浮かべ、さらにそれぞれの物について全ての細部を、さらに、細部についてもひび割れやそれらの色や木目の欠けた端までも思い浮かべたのだから。

Perché mi ricordavo di ogni mobile e, per ciascuno di essi, di ogni oggetto che vi si trovava e; per ogni oggetto, di tutti i particolari, e anche per i particolari, di una fessura o di un bordo sbocconcellato, del loro colore e della loro grana.

「副詞節」

Perché ペルケ conj. なぜなら...

「副詞節」

mi ricordavo ミ・リコルダヴァ 1 単半(ricordarsi)v.pr 思い浮かべる 「動詞句」

di ogni mobile デイ・オンニ・モビレ n.m それぞれの家具を 「目的語」

e, エ conj. そして、さらに

per ciascuno di essi, ペル・チャスカーノ・デイ・エッシ

adv. (関連) それらのそれぞれについて 「副詞句」

di ogni oggetto デイ・オンニ・オブジェクト n.m それぞれの物を 「目的語」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

vi ヴィ adv. そこに 「副詞」

si trovava シトワヴァ 3 単半・時制の一致(trovarsi)

v.pr ある 「動詞句」

e; エ conj. そして、さらに

per ogni oggetto, ペル・オンニ・オブジェクト adv. それらのそれぞれの物について 「副詞句」

di tutti i particolari, デイ・トゥッティ・イ・パルチコラーリ

pl(particolare).n.m 全ての細部を 「目的語」

e エ conj. そして、さらに

anche アンケ adv. までも 「副詞」

per i particolari, ペル・イ・パルチコラーリ adv. 細部について 「副詞句」

di una fessura デイ・ウナ・フェッスーラ n.f ひび割れを 「目的語」

o オ conj. または

di un bordo sbocconcellato, デイ・ウン・ホルト・スボコンチェラト n.m 欠けた端を 「目的語」

del loro colore デル・ロー・コロレ adj. それらの色の 「形容詞句」

e エ または

della loro grana. デラ・ロー・グラナ adj. それらの木目の 「形容詞句」

同時に僕は、記憶リストの連結を失わないように努め、完全な目録を作ろうとした。

Allo stéssu tèmpo cercavo di non pèrdere il filo del mio inventario, di fare un'enumerazione completa.

「副詞句」「動詞句」「目的語」, 「動詞句」「目的語」

Allo stéssu tèmpo アロ・ステッソ・テンポ adv. 同時に 「副詞句」

cercavo di non pèrdere チェルカーヴォ・ディ・ノン・ペールデレ 1 単半・努力

(cercare di+不定詞 non pèrdere)v.t 失わないように努めた 「動詞句」

il filo イル・フィーロ n.m つながりを、糸を 「目的語」

del mio inventario, デル・ミーオ・インヴェンタリオ adj. 記憶の目録の 「形容詞句」

di fare ディ・ファレ 1 単半・努力(cercare di+不定詞 fare)v.t 作るように 「動詞句」

un'enumerazione ウネヌメラチオーネ n.f 目録を、列挙を 「目的語」

completa. コンプレタ adj(completo).f 完全な 「形容詞」

だから数週間後には、僕の部屋にある物を列挙するだけで、何時間も考えることが出来るようになった。

Di mòdo che, d'òpo qualche settimana, potevo pensare òre intere senza far altro che enumerare quel che si trovava n'èlla mia stanza.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」

Di mòdo che, ディ・モート・ケ adv. だから 「副詞句」

d'òpo qualche settimana, トーポ・クワルケ・セッチマーナ adv. 数週間後には 「副詞句」

potevo pensare ポテウヴォ・ペンサーレ 1 単半・可能(potére+不定詞 pensare)

v.i 考えられた 「動詞句」

òre intere オーレ・インテレ pl(ora).n.f ずっと何時間も 「副詞句」

senza far センツァ・ファール 不定詞(fare)v.t ~しないで 「副詞句」

altro アルトロ pron 何も~ない 「目的語」

che ケ pron (目的語) ~することしか 「形容詞節」

enumerare エヌメラレ 不定詞 v.t 列挙する 「動詞」

quel che クワルケ pron 物を 「目的語」

si trovava シ・トロヴァーヴァ 3 単半(trovarsi)

v.pr ある 「動詞句」

n'èlla mia stanza. ネラ・ミーア・スタンツァ

adv. 僕の部屋に 「副詞句」

それで、考えれば考える程、未知のことや忘れていたことを僕の記憶の中からより多く取り出すことが出来るようになった。

E così più riflettevo e più tiravo fuori dalla mia memoria cose sconosciute e dimenticate.

「副詞句」「動詞句」 e 「動詞句」「副詞句」「目的語」

E così エ・コシ adv. それで 「副詞句」

più riflettevo ヒ°ウ・リフテグ°ォ 1 単半・時制の一致(riflettere)v.i より考えると 「動詞句」

e エ conj. そして

più tiravo fuori ヒ°ウ・チラグ°ォ・フォーリ 1 単半(tirare)v.t もっと取り出せた 「動詞句」

dalla mia memoria ダラ・ミア・メモリア adv. 僕の記憶から 「副詞句」

cose コセ pl(cosa).n.f 事を 「目的語」

sconosciute スコノシュテ adj(sconosciuto).f.pl 未知の 「形容詞」

e エ conj. または

dimenticate. デイメンチャーテ adj(dimenticato).f.pl 忘れていた 「形容詞」

それで僕は、たった1日しか生きなかった人でも、簡単に監獄で100年も生きられるだろうと気づいた。

Allora ho compreso che un uomo che fosse vissuto un giorno sólo potrebbe senza difficoltà vivere cento anni in una prigione.

「副詞」「動詞句」「目的語」

Allora アッローラ adv. それで 「副詞」

ho compreso オ・コンプレゾ° 1 単現・完了形(comprendere)v.t 分かった、気づいた 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

un uomo ウン・ウオーモ n.m 人は 「主語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

fosse vissuto フォッセ・ヴィスト 接・3 単半・完了形・仮定(vivere)

v.i 生きた 「動詞句」

un giorno sólo ウン・ジ°オルノ・ソーロ adv. 1 日しか～ない 「副詞句」

potrebbe senza difficoltà vivere ホ°トレッベ°センツァ°ディフィコルタ°ヴァーヴェレ 条・3 単現・完了形

(potére+不定詞 vivere)v.i 簡単に生きられるだろう 「動詞句」

cento anni チェント°アニニ pl(anno).n.m 100 年を 「目的語」

in una prigione. イン°ウナ°プリジオーネ adv. 監獄で 「副詞句」

彼は退屈しないだけ十分な記憶を持っているはずだ。

Avrebbe abbastanza ricòrdi per non annoiarsi.

	「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」
Avrebbe アヴレッベ 条・3 単現・推量(avére)v.t 持っているはずだ	「動詞」
abbastanza アッバスタツァ adv. 十分に	「副詞」
ricòrdi リコルディ pl(ricòrdo).n.m 記憶を、思い出を	「目的語」
per +不定詞 ペル adv. (目的) ～するために	「副詞句」
non annoiarsi. ノン・アンノイアルシ 不定詞 v.pr 退屈しない	「動詞句」

ある見方をすれば、これは強みだ。

Da un cèrto punto di vista, quèsto è un vantàggio.

	「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」
Da ダ prep (起点) ～から	「副詞句」
un cèrto punto ウン・チェルト・ポイント n.m ある点	「目的語」
di vista, ディ・ヴィスタ adj. 視界の	「形容詞句」
quèsto クェスト pron これは	「主語」
è エ 3 単現(èssere)v.i ～である	「動詞」
un vantàggio. ウン・ヴァンタージヨ n.m 利点、優位性	「補語」

そして睡眠のこともあった。最初の頃は夜はよく眠れず、昼間は全く眠れなかった。

E c'era anche il sónno. I primi tèmpi dormivo male, e di giòrno non dormivo affatto.

E	「動詞句」「主語」 「副詞句」「動詞」「副詞」 e 「副詞句」「動詞句」「副詞」
E エ conj. そして	
c'era チェラ 1 単半・存在(èssere)v.i ～があった	「動詞句」
anche アンケ conj. ～も	「副詞」
il sónno. イル・ソノ n.m 睡眠	「主語」
I primi tèmpi イ・プリミ・テンピ pl(tèmpo)n.m 最初の頃は	「副詞句」
dormivo ドルミーヴォ 1 単半(dormire)v.i 眠った	「動詞」
male, マレ adv. 悪く	「副詞」
e エ conj. そして	
di giòrno ディ・ジョルノ adv. 昼間は	「副詞句」
non dormivo ノン・ドルミーヴォ 1 単半・否定(dormire)v.i 眠らなかった	「動詞句」
affatto. アッフアット adv. (否定文で) まったく～ない	「副詞」

少しずつ、夜は良くなり、昼も眠れるようになった。

A pòco a pòco le mie nòtti sono diventate migliori e ho potuto dormire anche di giorno.

「副詞句」「主語」「動詞句」「補語」 e 「動詞句」「副詞句」

A pòco a pòco ア・ポ°ーコ・ア・ポ°ーコ adv. 少しずつ 「副詞句」

le mie nòtti レ・ミーエ・ノッティ pl(nòtte)n.f 夜は 「主語」

sono diventate ソーノ・デー・イヴ°エンターテ 3 複現・完了形.pl・変化 v.i ~になった 「動詞句」

migliori ミリョーリ adj(buono の比較級).pl よりよく 「補語」

e エ conj. そして

ho potuto dormire オ・ポ°トウ°ト・ドルミレ 1 単現・完了形・可能(potére+不定詞 dormire)

v.i 眠れた 「動詞句」

anche di giorno. アンケ・デー・ジヨルノ adv. 昼も 「副詞句」

最近の数か月は、毎日 16 から 18 時間は眠れたと言える。

Posso dire che, gli ultimi mesi, dormivo dalle sedici alle diciotto ore.

「動詞句」「目的語」

Posso dire ポ°ッツ・デーレ 1 単現・可能(potére+不定詞 dire)

v.t(che と) という事が出来る 「動詞句」

che, ケ conj. ~ということ 「目的語」

gli ultimi mesi, リ・ウルチミ・メシ pl(mése).n.m 最近の数か月は 「副詞句」

dormivo ドルミヴ°ォ 1 単半(dormire)v.i 眠った 「動詞」

dalle sedici ダレ・セーティチ adv. 16 から 「副詞句」

alle diciotto アレ・デーイチョット adv. 18 まで 「副詞句」

ore. オーレ pl(óra).n.f 時間 「副詞句」

だから、6 時間残されていたので、食事、自然の欲求、記憶の呼び出しそしてチェコスロヴァキアの話によって時間を潰した。

Me ne restavano così sei da ammazzare coi pasti, i bisógni naturali, i ricòrdi e la stòria del Cecoslovacco.

「間接目的語」「副詞」「動詞」「副詞」「主語」「副詞句」

Me メ pron 僕には 「間接目的語」

ne ネ adv. そこに 「副詞」

restavano レスタヴァノ 3 複半(restare)v.i 残っていた 「動詞」

受動態に翻訳する

così コシ conj. だから、それで 「副詞」

sei セイ pl(ora).n.f 6 時間 「主語」

da +不定詞 ダ° adv. (目的) ~するために、(結果) ~した 「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

ammazzare アマツァーレ 不定詞 v.t (時間を) 潰す	「動詞」
coi コイ prep(con i) (手段) ~によって	「副詞句」
pasti, パスティ pl(pasto)n.m 食事	「目的語」
i bisogni naturali, イ・ビズーニ・ナトゥラーリ pl(bisógno).n.m 自然の欲求	「目的語」
i ricòrdi イ・リコルディ pl(ricòrdo).n.m 記憶の呼び出し	「目的語」
e エ conj. そして	
la stòria del Cecoslovacco. ラ・ストーリア・テル・チェコスロヴァッコ n.f チェコスロヴァキアの話	「目的語」

実は、藁布団とベッドの板の間に、ほとんど生地貼り付いた、黄ばんで透けた、古新聞の切れ端が見つかったのだ。

giornale quasi incollato alla stoffa, ingiallito e trasparente.

	「副詞句」「動詞句」「副詞句」「目的語」
Fra フラ prep (空間) ~の間に	「副詞句」
il mio pagliericcio イル・ミーオ・パリエリッチョ n.m 藁布団	「目的語」
e エ conj. そして	
la tàvola del lètto ラ・ターヴァ・オラ・テル・レット n.f ベッドの板	「目的語」
avevo trovato アヴェヴァ・トラヴァート 1 単半・完了形(trovare)v.t 見つけた	「動詞句」
in fatti イン・ファッティ adv. 実は、実際に	「副詞句」
un vècchio pèzzo di giornale ウン・ヴァエッキョ・ペッツ・ディ・ジョルナーレ n.m 古新聞の切れ端を	「目的語」
quasi incollato クワジ・インコラート adj. ほとんどくっついた、貼り付いた	「形容詞句」
alla stoffa, アッラ・ストッファ adv. 生地に	「間接目的語」
ingiallito インジャリート adj. 黄ばんだ	「形容詞」
e エ conj. そして	
trasparente. トラスパレンテ adj. 透けた	「形容詞」

それは、最初の部分が欠けていたが、チェコスロヴァキアで起こったに違いないニュース記事を報じていた。

Riportava un fatto di crònaca di cui mancava il principio ma che doveva essere avvenuto in Cecoslovacchia.

	「動詞」「目的語」
Riportava リポルターヴァ 3 単半(riportare)v.t 報告していた	「動詞」
un fatto ウン・ファット n.m 記事を、事件を	「目的語」
di crònaca ディ・クローナカ adj. ニュースの	「形容詞句」

PARTE SECONDA 第2部

di cui デイ・クイ pron	それについて～する	「形容詞節」
mancava マンカーヴァ 3 単半(mancare)v.i	欠けていた	「動詞」
il principio イル・プリンチピオ n.m	初めの部分が	「主語」
ma マ conj.	しかし	
che ケ pron (主語) ～する		「形容詞節」
doveva essere avvenuto トヴェーヴァ・ア・エッセル・アッヴェヌート 3 単半・受動・可能性		
(dovére+不定詞・完了形 avvenire)		
v.i 起こったに違いない		「動詞句」
in Cecoslovacchia. イン・チェコスロヴァキア		
adv. チェコスロヴァキアで		「副詞句」

ある男が財産を築くためにチェコの村を出た。

Un uomo era partito da un villaggio ceco per fare fortuna.

		「主語」「動詞句」「副詞句」
Un uomo ウン・ウオーモ n.m	ある男が	「主語」
era partito エラ・パルチート 3 単半・完了形(partire)v.i	出た	「動詞句」
da un villaggio ceco ダ・ウン・ヴィラッジョ・チェコ	adv.(出発点) チェコの村から	「副詞句」
per +不定詞 ヘル	adv. (目的) ～するために	「副詞句」
fare ファーレ 不定詞 v.t	作る	「動詞」
fortuna. フォルトゥーナ n.f	財産を	「目的語」

25 年後、彼は裕福になり、妻と子供を連れて戻って来た。

Dopo venticinque anni, diventato ricco, era ritornato con la moglie e un bambino.

		「副詞句」, 「動詞句」「副詞句」
Dopo venticinque anni, トーポ・ウ・エンチンクェ・アンイ	adv. 25 年後	「副詞句」
diventato デイヴエンタート 過去分詞(diventare)adv.	(理由) ～になったので	「副詞句」
ricco, リッコ adj.	裕福な	「補語」
era ritornato エラ・リトルナート 3 単半・完了形(ritornare)v.i	戻って来た	「動詞句」
con コン prep	(同伴) ～を連れて	「副詞句」
la moglie e un bambino. ラ・モーリエ・エ・ウン・バンビーノ pl.n	妻と子供を	「目的語」

男の母親と彼の妹は故郷の村で旅館を営んでいた。

Sua madre e sua sorella avevano un albergo nel suo villaggio natale.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Sua madre スー・マトレ n.f 男の母親は

「主語」

e エ conj. そして

sua sorella スー・ソレッラ n.f 彼の妹は

「主語」

avevano アヴェヴァノ 3 単半(avere)v.t 所有していた

「動詞」

un albergo ウン・アルベルゴ n.m 旅館を

「目的語」

nel suo villaggio natale. ネル・スー・ウイラッジョ・ナターレ adv. 故郷の村で

「副詞句」

二人を驚かすために、彼は妻と子供を別の旅館に置いて、母親の所へ行ったが、母親は彼が誰なのか気付かなかった。

Per far loro una sorpresa, egli aveva lasciato in un altro albergo la moglie e il bambino, poi era andato da sua madre che non l'aveva riconosciuto.

「副詞句」、「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」、

「副詞」「動詞句」「間接目的語」「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」

Per +不定詞 ペル adv. (目的) ~するために

「副詞句」

far ファール 不定詞(fare)v.t (行為を) する

「動詞」

loro ロロ pron.pl 彼らに

「間接目的語」

una sorpresa, ウナ・ソルプレサ n.f サプライズを、驚き

「直接目的語」

egli エリ pron 彼は

「主語」

aveva, lasciato アヴェヴァ・ア・ラッシャート 3 単半・完了形(lasciare)v.t 置いてきた

「動詞句」

in un altro albergo イン・ウン・アルトロ・アルベルゴ adv. 他の旅館に

「副詞句」

la moglie e il bambino, ラ・モリエ・エ・イル・バンビーノ pl.n 妻と子供を

「目的語」

poi ポーイ adv. それから

「副詞」

era andato エラ・アンダート 3 単半・完了形(andare)v.i 行った

「動詞句」

da sua madre ダ・スー・マトレ adv. (場所) 母親の所へ

「間接目的語」

che ケ pron (madre の代用) 母親は

「主語」

non ...aveva riconosciuto. ノン...アヴェヴァ・アリコノシュート 3 単半・完了形・否定(riconoscere)

v.t 気付かなかった、分からなかった

「動詞句」

l' ロ pron 彼を

「目的語」

冗談で、宿泊することにした。

Per scherzo, aveva preso una càmera.

「副詞句」「動詞句」「目的語」

Per scherzo, ヘル・スケルツォ adv. 冗談で

「副詞句」

aveva preso アヴァ・エヴァ・プレ 3 単半・完了形(prèndere)v.t 取った

「動詞句」

una càmera. ウナ・カメラ n.f 部屋を

「目的語」

彼は所持金を見せた。その夜、母親と妹は金槌で殴って彼を殺して、金を奪って、死体を川に投げ込んだ。

Aveva mostrato il denaro. La notte sua madre e sua sorèlla l'avevano assassinato a colpi di martello per derubarlo e avevano gettato il suo còrpo nel fiume.

「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

e 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Aveva mostrato アヴァ・エヴァ・モストラート 3 単半・完了形(mostrare)v.t 見せた

「動詞句」

il denaro. イル・デネロ n.m 金を

「目的語」

La notte ラ・ノッテ n.f その夜

「副詞句」

sua madre e sua sorèlla スー・マドレ・エ・スー・ソレーラ pl.n 彼の母親と妹は

「主語」

l' pron 彼を

「目的語」

avevano assassinato アヴァ・エヴァ・アーノ・アッサシナート 3 複半・完了形(assassinare)

v.t 殺害した

「動詞句」

a colpi di martello ア・コルピ・デ・イ・マルテロ adv. (手段) 金槌で殴って

「副詞句」

per derubarlo ヘル・デルハール・ロ adv. (結果) そして金を奪った

「副詞句」

e conj. そして

avevano gettato アヴァ・エヴァ・アーノ・ゲッタート 3 複半・完了形(gettare)v.t 投げ込んだ

「動詞句」

il suo còrpo イル・スー・オ・コルポ n.m 彼の体を

「目的語」

nel fiume. ネル・フィウメ adv. 川に

「副詞句」

朝になると、妻がやって来て何も知らずに旅人の素性を明かした。母親は首を吊り、妹は井戸に飛び込んだ。

Il mattino era venuta la mógie e senza saperlo aveva rivelato l'identità del viaggiatore, la madre si era impiccata, la sorèlla si era gettata in un pozzo.

「副詞句」「動詞句」「主語」 e 「副詞句」「動詞句」「目的語」,

「主語」「動詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

Il mattino イル・マッティーノ adv. 朝に

「副詞句」

era venuta エラ・ヴァ・エメタ 3 単半・完了形.f(venire)v.i やって来た

「動詞句」

la mógie ラ・モフイエ n.f 妻が

「主語」

PARTE SECONDA 第2部

e	エ conj.	そして	
senza saperlo	センツァ・サperl・ロ	adv. (起こった事を) 知らずに	「副詞句」
aveva rivelato	アヴァ・エヴァ・リヴァ・エラト	3 単半・完了形(rivelare)v.t 明らかにした	「動詞句」
l'identità	リデンチタ	n.f 素性を	「目的語」
del viaggiatore,	デル・ヴァイヅィジャトール	adj. 旅人の	「形容詞句」
la madre	ラ・マトレ	n.f 母親は	「主語」
si era impiccata,	シ・エラ・インピッカト	3 単半・完了形.f(impiccarsi)v.pr 首を吊った	「動詞句」
la sorella	ラ・ソレラ	n.f 妹は	「主語」
si era gettata	シ・エラ・ゲッタータ	3 単半・完了形.f(gettarsi)v.pr 飛び込んだ	「動詞句」
in un pozzo.	イン・ウン・ポツ	adv. 井戸に	「副詞句」

僕はこの話を何千回も読んだに違いない。

Devo aver letta questa stòria un migliaio di vòlte.

「動詞句」「目的語」「副詞句」

Devo aver letta テヴァ・オ・アヴァ・エル・レッタ 1 単現・推量(dovére+不定詞・完了形.f leggere)

v.t 読んだに違いない 「動詞句」

questa stòria ケスタ・ストーリア n.f この話を 「目的語」

un migliaio di vòlte. ウン・ミリアーイ・ディ・ヴァールテ adv. 何千回も 「副詞句」

一方では、あり得ないと思われた、他方では当然の結果だった。

Da una parte mi pareva inverosimile, dall'altra era naturale.

「副詞句」「間接目的語」「動詞」「補語」, 「副詞句」「動詞」「補語」

Da una parte ダ・ウナ・パルテ adv. 一方では 「副詞句」

mi ミ pron 僕にとって 「間接目的語」

pareva パレヴァ 3 単半(parére)v.i ーのように見えた 「動詞」

inverosimile, インヴェロシーミレ adj. あり得ない 「補語」

dall'altra ダラルトラ adv. 他方では 「副詞句」

era エラ 3 単半(essere)v.i ーだった 「動詞」

naturale. ナトゥーレ adj. 当然の 「補語」

いずれにしても、その旅人は多少自業自得であり、他人の振りをしてはならないと思った。

In ogni mòdo, trovavo che il viaggiatore se l'era un po' meritato, e che non si deve mai giocare.

「副詞句」, 「動詞」 「目的語」, e 「目的語」

In ogni mòdo, イン・オンニ・モート adv. いずれにせよ 「副詞句」

trovavo トロヴァーヴォ 1 単半(trovare)v.t(che と) 思った 「動詞」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

il viaggiatore イル・ヴァイアジヤトーレ n.m その旅人は 「主語」

se l'era un po' meritato, ス・レラ・ウン・ポ・メリタート 3 単半・完了形・再帰受動(meritarsi)

v.pr 多少は当然の結果だった 「動詞句」

e エ conj. そして

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

non si deve mai giocare. ノン・シ・デヴェ・マイ・ギョカレ 3 単現・否定・必要

(dovere+不定詞 giocare)

v.t 他人の振りをしてはならない、自分自身をかけてはならない 「動詞句」

こうして、睡眠、記憶の呼び出し、三面記事の読書そして光と影の交代の間で、時は過ぎて行った。

Così, fra le ore di sonno, i ricordi, la lettura del mio fatto di crònaca e l'avvicinarsi délla luce e déll'ombra, il tèmpo è passato.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」

Così, コシ adv. こうして、このように 「副詞」

fra le ore フラ・レ・オーレ adv. 時間のあいだで 「副詞句」

di ディ prep. ～の 「形容詞句」

sonno, ソノ n.m 睡眠 「目的語」

i ricordi, イ・リコールディ pl(ricòrdo).n.m 記憶の呼び出し 「目的語」

la lettura ラ・レットゥーラ n.f 読書 「目的語」

del mio fatto di crònaca テル・ミーオ・ファット・ディ・クロナカ

adj. 三面記事の 「形容詞句」

del articolo di crònaca の間違いと思われる

e エ conj. そして

l'avvicinarsi ラヴァイチェンダールシ n. 交代 「目的語」

délla luce テラ・ルーチェ adj. 光の 「形容詞句」

e エ conj. そして

déll'ombra, テロンブラ adj. 影の 「形容詞句」

il tèmpo イル・テンポ n.m 時は 「主語」

PARTE SECONDA 第2部

è passato. エ・パッサート 3 単現・完了形(passare)v.i 過ぎて行った 「動詞句」

フランス語版では

こうして、睡眠や記憶の回想や三面記事の読み直しや光と闇の規則正しい交代などによって、時は過ぎていった。

Ainsi, avec les heures de sommeil, les souvenirs, la lecture de mon fait divers et l'alternance de la lumière et de l'ombre, le temps a passé.

mio fatto di crònaca (僕の事件のニュース) → articolo di crònaca (三面記事)

そう言えば、監獄ではやがて時間の観念が無くなると読んだことがある。

Avevo letto, sì, che in prigione si finisce col perdere la nozione del tempo.

「動詞句」, 「副詞」, 「目的語」

Avevo letto, アヴ ェウ ヴォ・レト 1 単半・完了形(lèggere)v.t 読んだことがある 「動詞句」

sì, シ adv. そうだ 「副詞」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

in prigione イン・プリジ ヨーネ adv. 監獄では 「副詞句」

si finisce col perdere シ・フィニシェ・コル・ペルテール 3 単現・やがて

(finire con+定冠詞+不定詞 pèrdersi)v.pr やがてなくなる 「動詞句」

la nozione ラ・ノツィオーネ n.f 概念が 「主語」

del tempo. テル・テンポ adj. 時間の 「形容詞句」

しかし、これは僕には余り意味が無かった。

Ma quésto non aveva móltro sènso per me.

Ma 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」

Ma マ conj. しかし

quésto ケスト pron これは 「主語」

non aveva ノン・アヴ ェウ ヴァ 3 単半・否定(avére)v.t ～が無かった 「動詞句」

móltro sènso モルト・センソ n.m (否定文で) あまり意味が～ない 「目的語」

per me. ペル・メ adv. 僕にとっては 「副詞句」

最初の頃は、1 日がどこまで長く、そして同時に短くなれるものなのか知らなかった。

Non sapevo, prima, fino a qual punto i giorni possono essere lunghi e corti allo stéssio tèmpe.

「動詞句」, 「副詞」, 「副詞句」 「主語」 「動詞句」 「補語」

Non sapevo, ノン・サペ ヴォ 1 単半・否定(sapere)v.t 知らなかった 「動詞句」

prima, プリーマ adv. 最初の頃は 「副詞」

fino a qual punto フィーノ・ア・QUAL・プント adv. どこまで、どの程度まで 「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

i giorni イ・ジョールニ pl(giórno).n.m 1 日が	「主語」
possono essere ホッソノ・エッセル 3 複現・可能・変化(potére+不定詞 essere)	
v.i ~になれる	「動詞句」
lunghi ルンギ adj(lungo).pl 長い	「補語」
e エ conj. そして	
córti コルティ adj(córto).pl 短い	「補語」
allo stéssu tèmpo. アロ・ステッソ・テンポ adv. 同時に	「副詞句」

生きるならば、恐らく長いだろう。しかし余りにも伸びすぎて、他の1日に流れ込む。

Lunghi a vivere, senza dubbio, ma talmente distési che finiscono per traboccare gli uni sugli altri.

	「補語」,ma「補語」,che「動詞句」「副詞句」
Lunghi ルンギ adj(lungo).pl 長い	「補語」
a vivere, ア・ヴィーヴ・エレ 不定詞・条件 adv. 生きるのならば	「副詞句」
senza dubbio, センツァ・ドゥッビオ adv. 恐らく、疑いもなく	「副詞句」
ma マ conj. しかし	
talmente タルメンテ adv. そんなに、あまりにも	「副詞」
distési ディステシ adj(distésu).pl 伸びた、広がった	「補語」
che ケ conj.(talmente...che) (結果) ~する	
finiscono per traboccare フィンスコノ・ペル・トラボッカレ 3 複現・結局(finire per+不定詞 traboccare)	
v.i 結局は溢れる	「動詞句」
gli uni sugli altri. リ・ウニ・スリ・アルトリ adv. 他の1日の上に	「副詞句」

こうして、自分の名前を失う。

Così perdevano il loro nome.

	「副詞」「動詞」「目的語」
Così コシ adv. こうして	「副詞」
perdevano ペルデヴァノ 3 複半・時制の一致(perdere)v.t 失う	「動詞」
il loro nome. イル・ローロ・ノメ n.m 自分の名前を	「目的語」

「昨日」や「明日」という言葉だけが僕にとって意味を持つ言葉だった。

Le parole ieri o domani erano le sole che conservassero un senso per me.

	「主語」「動詞」「補語」
Le parole レ・パローレ pl(parola).n.f 言葉が	「主語」
ieri o domani イェリ・オ・ドマーニ n.m (同格)「昨日」や「明日」という	「形容詞句」
erano エーノ 3 複半(essere)v.i ~だった	「動詞」

PARTE SECONDA 第2部

le sóle レ・ソーレ	adj(sólo).f.pl 唯一の言葉	「補語」
che ケ pron	(主語) ~する	「形容詞節」
conservassero コンセルヴァッエロ	接・3 複半・時制の一致(conservare)	
v.t	持っている	「動詞」
un sènso ウン・センソ	n.m 意味を	「目的語」
per me. ペルメ	adv. 僕にとって	「副詞句」

ある日、看守長が僕にここに入って5か月になると言った時、僕は彼の言う事を信じたが、その意味は理解できなかった。

Quando un giorno il guardiano mi ha détto che ero lì da cinque mési, gli ho creduto, ma non l'ho capito.

	「副詞節」, 「目的語」 「動詞句」 ,ma 「動詞句」 「目的語」 「動詞句」	
Quando クワント	conj. なにした時	「副詞節」
un giòrno ウン・ジョルノ	adv. ある日	「副詞句」
il guardiano イル・グワルディアーノ	n.m 看守長が	「主語」
mi ミ pron	僕に	「間接目的語」
ha détto ア・デット	3 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
che ケ conj.	~ということを	「直接目的語」
ero エロ	1 単半・存在(essere)v.i ~にいた	「動詞」
lì リ	adv. そこに、独房に	「副詞」
da cinque mési, ダ・チンクェ・メシ	adv. (時間の継続) 5 か月間	「副詞句」
gli リ pron	彼を	「目的語」
ho creduto, オ・クレドゥート	1 単現・完了形(crédere)v.t 信じた	「動詞句」
ma マ conj.	しかし	
non ...ho capito. ノン...オ・カピート	1 単現・完了形・否定(capire)v.t 理解できなかった	「動詞句」
l' ロ pron	その意味を	「目的語」

僕にとっては、いつも僕の独房に流れ込む同じ1日で、僕はいつも同じ道を進んでいた。

Per me era sèmpre lo stéssso giòrno che scorreva nélla mia cèlla, e io percorrevo sèmpre la stéssa via.

	「副詞句」 「動詞」 「補語」 ,e 「主語」 「動詞」 「副詞」 「目的語」	
Per me ペル・メ	adv. 僕にとっては	「副詞句」
era エラ	3 単半(essere)v.i ~だった	「動詞」
sèmpre lo stéssso giòrno センプレ・ロ・ステッソ・ジョルノ	n.m いつも同じ1日	「補語」
che ケ pron	(主語) ~する	「形容詞節」
scorreva スコレヴァ	3 単半・時制の一致(scórrere)v.i(in に) 流れ込む	「動詞」

PARTE SECONDA 第2部

nella mia cella, ネラ・ミーア・チェーラ	adv. 僕の独房に	「副詞句」
e エ	conj. そして	
io イオ	pron 僕は	「主語」
percorrevo	ペルコレウヴォ 1 単半・時制の一致(percorrere)v.t 進む	「動詞」
sèmpre センプレ	adv. いつも	「副詞」
la stéssa via. ラ・ステッサ・ヴィーア	n.f 同じ道を	「目的語」

その日、看守長が去った後で、僕は鉄製の飯盒に映り込んだ自分の顔を覗き込んだ。

Quél giòrno, dópo che il guardiano è uscito, mi sono guardato nella gavetta di fèrro.

Quél giòrno, ケル・ジョルノ	adv. その日	「副詞句」
dópo che +直接法 トーポ・ケ	conj. ～した後で	「副詞節」
il guardiano イル・ガウォルデアーノ	n.m 看守長が	「主語」
è uscito, エウッシート	3 単現・完了形(uscire)v.i 去った	「動詞句」
mi sono guardato ミ・ソーノ・ガウォルダート	1 単現・完了形(guardarsi)	
v.pr	自分自身の姿を眺めた	「動詞句」
nella gavetta ネラ・ガウェタ	adv. 飯盒の中を	「副詞句」
di fèrro. ディ・フェットロ	adj. (素材) 鉄製の	「形容詞句」

僕は笑ったつもりだったが、映った顔は真剣なままのようだった。

Mi è parso che la mia immagine restasse seria anche se cercavo di sorridere.

Mi ミ	pron 僕には	「間接目的語」
è parso エ・パルソ	3 単現・完了形(parere)v.i ～のように見えた	「動詞句」
che ケ	conj. ～ということは	「主語」
la mia immagine ラ・ミーア・インマジネ	n.f 僕の映像は	「主語」
restasse レスタッセ	接・3 単半・時制の一致(restare)v.i ～のままである	「動詞」
seria セリア	adj. 真剣な	「補語」
anche se +接続法 (時に直接法) アンケ・セ	conj. たとえ～でも	「副詞節」
cercavo di sorridere. チェルカーヴォ・ディ・ソリーデレ	1 単半・努力(cercare di+不定詞 sorridere)	
v.i	笑おうとした	「動詞句」

僕は目の前でそれを揺さぶってみた。僕は笑ったが、その映像は相変わらず厳しく悲し気な表情のままだった。

Me la sono agitata dinanzi. Ho sorriso e lei ha conservato la stessa aria severa e triste.

「間接目的語」「直接目的語」「動詞句」「副詞」 | 「動詞句」 e 「主語」「動詞句」「目的語」
 Me メ pron 僕の 「間接目的語」
 la ラ pron (gavetta の代用) それを 「直接目的語」
 sono agitata ソーノ・アジタータ 1 単現・完了形(fagitare)v.t 揺さぶった 「動詞句」
 dinanzi. デイナツィ adv. 前で 「副詞」
 Ho sorriso オ・ソリーゾ 1 単現・完了形(sorridere)v.i 笑った 「動詞句」
 e エ conj. そして
 lei レイ pron (immagine の代用) その映像は 「主語」
 ha conservato ア・コンセルヴァート 3 単現・完了形(conservare)v.t 維持していた 「動詞句」
 la stessa aria ラ・ステッサ・アーリア n.f 同じ表情を 「目的語」
 severa e triste. セヴ・エーラ・エ・トリステ adj.f 厳しく悲し気な 「形容詞句」

1 日が終わった。それは、僕が話したくない時刻、刑務所の全ての階から夕方の騒めきが沈黙の行列になって立ち昇って来る、名前の無い時刻だ。

Finiva il giorno e era l'ora di cui non voglio parlare, l'ora senza nome, quando i rumori della sera salivano da tutti i piani della prigione in un corteo di silenzio.

「動詞」「主語」 e 「動詞」「補語」, 「補語」
 Finiva フィニーヴァ 3 単半(finire)v.i 終わった 「動詞」
 il giorno イル・ジョーノ n.m 1 日が 「主語」
 e エ conj. そして
 era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ~である 「動詞」
 l'ora ローラ n.f 時刻 「補語」
 di cui デイ・クイ adv. それについて~する 「形容詞節」
 non voglio parlare, ノン・ウォーリオ・パルラーレ 1 単現・願望・否定(volére+不定詞 parlare) v.i 話したくない 「動詞句」
 l'ora ローラ n.f 時刻 「補語」
 senza nome, センツァ・ノメ adv. 名前の無い 「副詞句」
 quando クワント adv. その時~する 「形容詞節」
 i rumori イルモーリ pl(rumóre).n.m 騒音が 「主語」
 della sera テーラ・セーラ adj. 夕方の 「形容詞句」
 salivano サリヴァノ 3 複半・時制の一致(salire)v.i 上がって来る 「動詞」
 da tutti i piani タ・トゥッティ・ピーアーニ adv. (起点) 全ての階から 「副詞句」
 della prigione テーラ・プリジオーネ adj. 刑務所の 「形容詞句」

PARTE SECONDA 第2部

in un corteo イン・ウン・コルテオ adv. (状態) 列になって 「副詞句」
 di silenzio. デイ・シレンツィオ adj. 沈黙の 「形容詞句」

僕は天窗に近づき、最後の光で、もう一度僕の映像をじっと見つめた。

Mi sono avvicinato al lucernario e, nell'ultima luce, ho contemplato la mia immagine ancora una volta.

「動詞句」「間接目的語」 e 「副詞句」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Mi sono avvicinato ミ・ソノ・アヴィチナート 1 単現・完了形(avvicinarsi)v.pr 近づいた 「動詞句」
 al lucernario アル・ルチェルナリオ adv. 明り取りの窓に、天窗に 「間接目的語」
 e, エ conj. そして
 nell'ultima luce, ネル・ルチマ・ルーチェ adv. 最後の光の中で 「副詞句」
 ho contemplato オ・コンテンプレート 1 単現・完了形(contemplare)v.t じっと見つめた 「動詞句」
 la mia immagine ラ・ミア・イマジンネ n.f 僕の映像を 「目的語」
 ancora una volta. アンコーラ・ウナ・ヴォルタ adv. もう一度 「副詞句」

その顔は相変わらず真剣だった。結局、それは何もおかしくない。その時は僕自身も真剣だったのだから。

Era sempre seria, e in fondo non c'era nulla di strano perché in quel momento ero serio anch'io.

「動詞」「補語」, e 「副詞句」「動詞句」「補語」

Era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」
 sempre seria, センプレ・セリア adj. あいかわらず真剣な 「補語」
 e エ conj. そして
 in fondo イン・フォント adv. 結局は 「副詞句」
 non c'era ノン・チェラ 3 単半・否定(essere)v.i ~でない 「動詞句」
 nulla di strano ヌッラ・デイ・ストラノ adj. 何もおかしくない 「補語」
 perché ペルケ conj. ~なので 「副詞節」
 in quel momento イン・ケル・モメント adv. その時 「副詞句」
 ero エロ 1 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」
 serio セリオ adj. 真剣な 「補語」
 anch'io. アンキオ pron 僕自身も 「主語」

しかし同時にそして最近数か月で初めて、はっきりと自分の声色（こわいろ）を聞いた。

Ma nello stésso tèmpo e per la prima vòlta dópo lunghi mési, ho udito distintamente il suòno délla mia vóce.

Ma 「副詞句」 e 「副詞句」, 「動詞句」 「副詞」 「目的語」

Ma マ conj. しかし

nello stésso tèmpo ネロ・ステッソ・テンポ° adv. 同時に 「副詞句」

e エ conj. そして

per la prima vòlta ペル・ラ・プリーマ・ヴォールタ° adv. 初めて 「副詞句」

dópo トーポ° prep. ～の後で 「副詞句」

lunghi mési, ルンギ・メジ° pl.(mése).n.m 長い月 「目的語」

ho udito オウディト 1 単現・完了形(udire)v.t 聞いた 「動詞句」

distintamente ディスタンタメンテ° adv. はっきりと 「副詞」

il suòno イル・スオーノ° n.m 声色を、響き 「目的語」

délla mia vóce. デラ・ミア・ヴォーチェ° adj. 自分の声の 「形容詞句」

僕はその声に気付いた；それは何日も前から僕の耳の中で鳴り響いていた声だ。それで、僕はその間じゅう独り言を言っていたのだと理解した。

L'ho riconosciuta: era quèlla che mi risuonava alle orécchie da mólte lunghe giornate e ho capito che durante tutto quel tèmpo avevo parlato da sólo.

「目的語」 「動詞句」；「動詞」 「補語」 e 「動詞句」 「目的語」

L' ラ pron(vóce).f その声を 「目的語」

ho riconosciuta: オ・ロコノシュタ 1 単現・完了形.f(riconoscere)v.t 気付いた 「動詞句」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」

quèlla クエッラ pron それ、声 「補語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

mi ミ pron 僕の 「間接目的語」

risuonava リスオーヴァ 3 単半(risonare)v.i 鳴り響いていた 「動詞」

alle orécchie アレ・オレッキエ° adv. 耳で 「副詞句」

da mólte lunghe giornate ダ・モルテ。ルンゲ・ジヨルナーテ

adv. 何日も前から 「副詞句」

e エ conj. そして

ho capito オ・カピート 1 単現・完了形(capire)v.t 理解した 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

durante tutto quel tèmpo ドゥランテ・トゥット・ケル・テンポ° adv. その間じゅう 「副詞句」

avevo parlato アウヴェヴァ・オ・パルラート 1 単半・完了形(parlare)v.i 話していた 「動詞句」

da sólo. ダ・ソーロ° adv. 一人で 「副詞句」

母さんの葬儀で看護婦が言っていた言葉が頭に浮かんだ。

Mi è venuto in mente quel che diceva l'infermiera ai funerali della mamma.

「動詞句」「主語」

Mi è venuto in mente ミ・エ・ヴェヌート・イン・メンテ 3 単現・完了形(si venire in mente)

v.i 僕の頭に～が浮かんだ

「動詞句」

スペイン語でも同様の表現になる venir a uno a la mente

A menudo me viene su imagen a la mente. よく彼の姿が目浮かぶ。

qué ケル pron そのことが

「主語」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

diceva ディチェヴァ 3 単半(dire)v.t 言っていた

「動詞」

l'infermiera リンフェルミエラ n.f 看護婦が

「主語」

ai funerali della mamma. アイ・フネーリ・デ・ラ・マンマ

adv. (場所) 母さんの葬儀で

「副詞句」

いや、逃げ道はない。そして誰も刑務所の夜がどんなものなのか想像できない。

No, non c'era una via d'uscita, e nessuno può immaginare quel che sono le sére nelle prigioni.

「間投」, 「動詞句」「主語」, e 「主語」「動詞句」「目的語」

No, ノ adv. いや

「間投」

non c'era ノン・チェラ 3 単半・存在・否定・時制の一致(èsserci)v.i ～がない

「動詞句」

una via ウナ・ヴィア n.f 道は

「主語」

d'uscita, トゥッシタ adv. (目的) 出るための

「副詞句」

e エ conj. そして

nessuno ネスーノ pron 誰も～ない

「主語」

può immaginare プォ・イマジナレ 3 単現・可能(potére+不定詞 immaginare)

v.t (否定文) 想像できない

「動詞句」

qué ケル pron それを

「目的語」

che ケ pron (補語) どのよう～である

「形容詞節」

sono ソーノ 3 複現(èssere)v.i ～である

「動詞」

le sére レ・セーレ pl(séra).n.f 夜が

「主語」

nelle prigioni. ネレ・プリジョーニ adv. 刑務所の

「副詞句」

3.

夏はすぐに戻って来た。

È prèsto ritornata l'estate.

「動詞句」「主語」

È prèsto ritornata エ・プレスト・リトルナータ 3 単現・完了形.f(ritornare+ prèsto)

v.i すぐに戻って来た

「動詞句」

l'estate. レスターテ n.f 夏は

「主語」

最初の暑さの到来と共に、僕にとって何か新しいことが起こるだろうと分かっていた。

Col giungere dei primi caldi, lo sapevo, sarebbe avvenuto qualcosa di nuovo per me.

「副詞句」, 「目的語」「動詞」, 「動詞句」「主語」

Col コル prep(con il) (付属) ~と共に

「副詞句」

giungere ジュンジェレ 不定詞.n 到着

「目的語」

dei primi caldi, デイ・プリミカルディ adj. 最初の暑さの

「形容詞句」

lo ロ pron それを

「目的語」

sapevo, サペーヴォ 1 単半(sapere)v.t 知っていた

「動詞」

sarebbe avvenuto サレッベ・アヴヴェント 条・3 単現・完了形(avvenire)v.i 起こるだろう「動詞句」

qualcosa di nuovo per me. クワルコーサ・デイ・ヌオーヴォ・ペル・メ

pron 僕にとって何か新しいことが

「主語」

僕の訴訟は、6 月に終わる重罪院の最後の会期に差し込まれている。

La mia causa era inserita nell'ultima sessione della Corte d'Assise che termina a giugno.

「主語」「動詞句」「副詞句」

La mia causa ラ・ミーア・カーウザ n.f 僕の訴訟は

「主語」

era inserita エラ・インセリタ 3 単半・受動・時制の一致(inserire)v.t 差し込まれている「動詞句」

nell'ultima sessione ネルチマ・セッショネ adv. 最後の会期に

「副詞句」

della Corte d'Assise テラ・コルテ・ダッセ adj. 重罪院の

「形容詞句」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

termina テルミナ 3 単現(terminare)v.i 終わる

「動詞」

a giugno. ア・ジュニョ adv. (時刻) 6 月に

「副詞句」

裁判が始まると、外は至る所太陽が照り付けていた。

Quando il processo si è aperto, il sóle, fuori, batteva in pieno.

「副詞節」, 「主語」, 「副詞」, 「動詞」 「副詞句」

Quando クワント conj. ～する時

「副詞節」

il processo イル・プロチェッソ n.m 裁判が

「主語」

si è aperto, シ・エ・アペルト 3 単現・完了形(aprirsi)v.pr 始まった

「動詞句」

il sóle, イル・ソーレ n.m 太陽は

「主語」

fuori, フォーリ adv. 外は

「副詞」

batteva バッテヴァ 3 単半(battere)v.t (太陽が) 照り付けた

「動詞」

in pieno. イン・ピーエノ adv. 全面的に

「副詞句」

弁護士は僕に、2・3 日で決着がつくだろうと保証した。

L'avvocato mi aveva assicurato che tutto sarebbe stato liquidato in due o tre giorni.

「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」

L'avvocato ラヴヴァコート n.m 弁護士は

「主語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

aveva assicurato アヴァエヴァ・アッシクラート 3 単半・完了形(assicurare)

v.t 断言した、保証した

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

tutto トット pron 全ては

「主語」

sarebbe stato liquidato サベッレ・スタート・リクイダート 条・3 単現・完了形・受動・推量(liquidare)

v.t 決着がつくだろう

「動詞句」

in due o tre giorni. イン・ドゥオ・オ・トレ・ジヨルニ adv. 2・3 日で

「副詞句」

「とは言っても」と、彼は付け加えた。「あなたの裁判は今期の最重要の一件ではないので、裁判所は急いで進めるでしょう。その後すぐに、父親殺しが裁かれますから」

“Del resto,” aveva aggiunto, “la Côte farà in fretta perché il suo processo non è il più importante della sessione. C’è un parricidio che sarà giudicato subito dopo.”

《「副詞句」》, 「動詞句」, 《「主語」 「動詞」 「副詞句」 | 「動詞句」 「主語」》

“Del resto,” デル・レスト adv. だがしかし、とは言っても

「副詞句」

aveva aggiunto, アヴァエヴァ・アジエント 3 単半・完了形(aggiungere)v.t 付け加えた

「動詞句」

“la Côte ラ・コルテ n.f 裁判所は

「主語」

farà ファラ 3 単末(fare)v.t ～をするだろう

「動詞」

in fretta イン・フレッタ adv. 急いで

「副詞句」

perché ペルケ conj. ～なので

「副詞節」

il suo processo イル・スオ・プロチェッソ n.m あなたの裁判が

「主語」

PARTE SECONDA 第2部

non è ノ・ネ 3 単現・否定(èssere)v.i	～でない	「動詞句」
il più importante イル・ピウ・インポルタンテ pron	最も重要な	「補語」
della sessione. デラ・セッショネ adv.	今期の	「形容詞句」
C'è チェ 3 単現・存在(èsserci)v.i	～がある	「動詞句」
un parricidio ウン・パリチディオ n.m	父親殺し	「主語」
che ケ pron (主語)	～する	「形容詞節」
sarà giudicato サラ・ジユディカト 3 単未・予定(giudicare)		
v.t	裁判される、裁かれる	「動詞句」
sùbito dópo.” スービト・ドーポ adv.	その後すぐに	「副詞句」

朝 7 時半に迎えが来て、護送車で裁判所まで連れて行かれた。

Sono venuti a prendermi la mattina alle sette e mezza e la vettura cellulare mi ha condotto al palazzo di giustizia.

	「動詞句」「副詞句」 e 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」		
Sono venuti a prendermi	ソーノ・ウ゛ェヌーティ・ア・プレンデルミ 3 複現・完了形・しに来る		
(venire a+不定詞 prendermi)v.i	僕を迎えに来た	「動詞句」	
la mattina	ラ・マッティーナ adv.	朝	「副詞句」
alle sette e mezza	アレ・セッテ・エ・メッツァ ^サ adv.	7 時半に	「副詞句」
e	エ conj.	そして	
la vettura cellulare	ラ・ウ゛ェットウーラ・チェルラーレ n.f	護送車が	「主語」
mi	ミ pron	僕を	「目的語」
ha condotto	ア・コント ^ッ ット 3 単現・完了形(condurre)v.t	連れて行った	「動詞句」
al palazzo di giustizia.	アル・パ ^ッ ラツツォ・ディ・ジユスティーツィア adv.	裁判所まで	「副詞句」

2 人の警官が、僕を日陰の匂いのする小部屋に入らせた。

I due gendarmi mi hanno fatto entrare in una stanzetta odorosa d'ombra;

		「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」	
I due gendarmi	イ・トゥエ・ジエンタルミ	pl(gendarme).n.m 2 人の警官が	「主語」
mi	ミ pron	僕を	「目的語」
hanno fatto entrare	アンオ・ファット・エントラーレ	3 複現・完了形・使役(fare+不定詞 entrare)	
v.t	入らせた		「動詞句」
in una stanzetta	イン・ウナ・スタンツェッタ	adv. 小部屋に	「副詞句」
odorosa d'ombra;	オドロサ・ドンブラ	adv. 日陰の匂いのする	「副詞句」

僕達はドアの近くで座って待っていた。ドアの向こうから、話し声や呼び声、沢山の椅子の音、それからコンサートの後でダンスが出来るように部屋が片付けられる近郊のお祭りを連想させる様々な騒めきが聞こえてきた。

abbiamo aspettato, seduti presso una porta diètro la quale si sentivano voci, grida di gente che si chiamava, rumore di seggiole e tutto un trambusto che mi ha fatto pensare a quelle feste di sobborgo dóve, dópo il concèrto, si libera la sala per poter ballare.

「動詞句」「副詞句」, 「副詞句」「動詞句」「主語」, 「主語」, 「主語」, 「主語」
abbiamo aspettato, アビアーモ・アスペッタート 1 複現・完了形(aspettare)v.t 待っていた 「動詞句」
seduti セドゥーティ 過去分詞(sedére)・様態 adj.pl 座って 「副詞句」
presso una porta プレツ・ウナ・ポルタ adv. ドアの近くに 「副詞句」
diètro la quale デイートロ・ラ・クワル adv. ドアの向こうでは 「副詞句」
si sentivano シ・センチヴァノ 3 複半(sentirsi)v.pr 〜が聞こえた 「動詞句」
voci, ヴォーチ pl(vóce).n.f 話し声が 「主語」
grida di gente グリダ・ディ・エンテ n.f 人の叫び声が 「主語」
che si chiamava, ケ・シ・キアマーヴァ conj. 呼ぶ 「形容詞節」
rumóre ルモーレ n.m 物音が 「主語」
di seggiole ディ・セジヨレ adj. 沢山の椅子の 「形容詞句」
e エ conj. そして
tutto un trambusto トゥット・ウン・トランブスト n.m 全ての大騒ぎが 「主語」
che ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」
mi ミ pron 僕に 「目的語」
ha fatto pensare ア・ファット・ペンサーレ 3 単現・完了形・使役(fare+不定詞 pensare)
v.t 考えさせる、想像させる 「動詞句」
a quelle feste di sobborgo ア・クェッレ・フェステ・ディ・ソボルゴ
adv. 近郊の祭りを 「副詞句」
dóve, トーヴェ adv. そこでは 「副詞句」
dópo il concèrto, トーポ・イル・コンチェルト
adv. コンサートの後で 「副詞句」
si libera シ・リベラ 3 単現・再帰受動(liberarsi)
v.pr かたづけられる 「動詞句」
la sala ラ・サラ n.f 部屋が 「主語」
per poter ballare. ヘル・ポテル・ハッラーレ 不定詞・目的
adv. ダンスが出来るように 「副詞句」

警官たちが僕に開廷を待たなければならないと言い、警官の一人が僕にタバコを差し出したが、僕はそれを断った。

I gendarmi mi hanno detto che bisognava aspettare la corte e uno di loro mi ha offerto una sigaretta che ho rifiutata.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

e 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」, 「目的語」「動詞句」

I gendarmi イ・ジェンダルミ pl(gendarme).n.m 警官たちが 「主語」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

hanno detto アンノ・デット 3 複現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

bisognava ビゾニャヴァ 非人称・3 単半・時制の一致(bisognare)

v.h(+不定詞 ～することが) 必要である 「動詞」

aspettare アスペッターレ 不定詞 n. 待つことが 「主語」

la corte ラ・コルテ n.f 法廷を 「目的語」

e エ conj. そして

uno di loro ウノ・ディ・ローロ pron 警官の一人が 「主語」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha offerto ア・オフERTO 3 単現・完了形(offrire)v.t 差し出した 「動詞句」

una sigaretta ウナ・シガレッタ n.f タバコを 「直接目的語」

che ケ pron それを 「目的語」

ho rifiutata. オ・リフィウタータ 1 単現・完了形.f(rifiutare)v.t 断った 「動詞句」

その後すぐに、緊張しているのかと僕に尋ねたが、そんなことは無いと答えた。

Dopo un po' mi ha chiesto se ero nervoso e ho risposto di no.

「副詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e 「動詞句」「間接目的語」

Dopo un po' ドーポ・ウン・ポ adv. その後すぐに 「副詞句」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた 「動詞句」

se セ conj. ～かどうかを 「直接目的語」

ero エロ 1 単半・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」

nervoso ネルヴオーソ adj. 緊張した 「補語」

e エ conj. そして

ho risposto オ・リスポスト 1 単現・完了形(rispondere)v.i(di ～と) 答えた 「動詞句」

di no. ディ・ノ adv. いえと 「間接目的語」

それどころか、ある意味では、裁判を傍聴することに興味があった。

In un certo senso, anzi, mi interessava vedére un processo.

「副詞句」, anzi, 「目的語」「動詞」「主語」

In un certo senso, イン・ウン・チェルト・センソ adv. ある意味では

「副詞句」

anzi, アンツイ conj. それどころか

mi ミ pron 僕を

「目的語」

interessava インテレッサーヴァ 3 単半・時制の一致(interessare)v.t 興味をひく

「動詞」

vedére ヴェデーレ 不定詞 n. 見ることは

「主語」

un processo. ウン・プロチェッソ n.m 裁判を

「目的語」

僕の人生で、それに立ち会う機会一度もなかった。

Non avevo mai avuto l'occasione di assistervi in vita mia.

「動詞句」「目的語」「副詞句」

Non avevo mai avuto ノン・アヴェーヴァ・オ・マイ・アヴァート 1 単半・完了形・否定(avére)

v.t ~を持った事は一度もなかった

「動詞句」

l'occasione ロジョーネ n.f 機会を

「目的語」

di assistervi デイ・アシステル・ヴィ 不定詞・目的 adj. それに立ち会う

「形容詞句」

in vita mia. イン・ヴィータ・ミア adv. 僕の人生で

「副詞句」

「そうだろうな」と、二人目の警官が言った。「けど、結局は疲れるだけだよ」

“Sì,” ha détto il secóndo gendarme, “ma finisce per stancare.”

《「応答」》, 「動詞句」「主語」, 《ma 「動詞句」》

“Sì,” シ adv. そうだろうな

「応答」

ha détto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

il secóndo gendarme, イル・セコント・ジェンダールメ n.m 二人目の警官が

「主語」

“ma マ conj. しかし

finisce per stancare.” フィニシェ・ペル・スタンカーレ 3 単現・結局(finire per+不定詞 stancare)

v.t 結局は疲れさせる

「動詞句」

「主語」は「裁判を傍聴する行為」

しばらくすると、法廷の中に小さなベルの音が鳴り響いた。

Dópo un po' una piccola suoneria ha squillato nélla stanza.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

Dópo un po' ドーポ・イン・ポ adv. 少し後で

「副詞句」

una piccola suoneria ウナ・ピッコラ・スオネリア n.f 小さなベルが

「主語」

ha squillato ア・スクイラート 3 単現・完了形(squillare)v.i 鳴り響いた

「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

nella stanza. ネラ・スタンツァ adv. 部屋の中で

「副詞句」

それから、警官は僕の手錠を外した。

Allóra mi hanno tolto le manette.

「副詞」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Allóra アッローラ adv. それから

「副詞」

mi ミ pron 僕の

「間接目的語」

hanno tolto アンノ・トルト 3 複現・完了形(togliere)v.t 取り去った

「動詞句」

le manette. レ・マネッテ pl(manétta).n.f 手錠を

「直接目的語」

彼らは扉を開けて、僕を被告人席に入れた。

Hanno apèrto la pòrta e mi hanno fatto entrare nélla gabbia degli accusati.

「動詞句」「目的語」 e 「目的語」「動詞句」「副詞句」

Hanno apèrto アンノ・アペルト 3 複現・完了形(aprire)v.t 開けた

「動詞句」

la pòrta ラ・ポールタ n.f 扉を

「目的語」

e エ conj. そして

mi ミ pron 僕を

「目的語」

hanno fatto entrare アンノファット・エントラーレ 3 複現・完了形・使役(fare+不定詞 entrare)

v.t 入らせた

「動詞句」

nélla gabbia ネラ・ガールビァ adv. 被告席へ

「副詞句」

degli accusati. デリ・アクサーティ adj. 被告人の

「形容詞句」

法廷は人であふれかえっていた：雨戸を閉めていたにも拘らず、あちらこちらから日差しが漏れてきて、空気はすでに息苦しかった。

La sala straripava di gente: malgrado le impòste, il sóle filtrava déntro qua e là e l'aria era già soffocante.

「主語」「動詞」「副詞句」:

「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」 e 「主語」「動詞」「補語」

La sala ラ・サーラ n.f 法廷は

「主語」

straripava ストラリパーヴァ 3 単半(straripare)v.i 溢れていた

「動詞」

di gente: ディ・ヘンテ adv. 人で

「副詞句」

malgrado マルグラト prep へにも拘らず

「副詞句」

le impòste, レ・インポステ pl(impòsta)n.f 雨戸

「目的語」

il sóle イル・ソーレ n.m 日差しが

「主語」

filtrava フィルトラーヴァ 3 単半(filtrare)v.i 漏れてきた

「動詞」

déntro qua e là テントロ・クワエ・ラ adv. あちらこちらに

「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

e エ conj. そして

l'aria ラーリア n.f 空気は

「主語」

era エラ 3 単半(essere)v.i 〜だった

「動詞」

già soffocante. ジャ・ソッフオカンテ adj. すでに息苦しい

「補語」

窓は閉じられたままだった。

Avevano lasciato le vetrine chiuse.

「動詞句」「目的語」「補語」

Avevano lasciato アヴ`ェウ`ァノ・ラッシャ`テ 3 複半・完了形.f・放任(lasciare)

v.t. 〜のままにさせた

「動詞句」

le vetrine レ・ウ`ェトリン pl(vetrina).n.f ガラス窓を

「目的語」

chiuse. キウゼ` adj(chiuso).f.pl 閉まった

「補語」

僕が座ると、警官たちがやって来て、僕の両側に一人ずつ位置についた。

Mi sono seduto e i gendarmi sono venuti a mettersi uno per parte.

「動詞句」 e 「主語」「動詞句」「副詞句」

Mi sono seduto ミ・ソノ・セドゥ`ット 1 単現・完了形(sedersi)v.pr 座った

「動詞句」

e エ conj. そして

i gendarmi イ・ジ`エンタルミ pl(gendarme).n.m 警官たちが

「主語」

sono venuti a mettersi ソノ・ウ`ェヌーティ・ア・メッテルシ 3 複現・完了形・しに来る

(venire a+不定詞 mettersi)v.pr やって来て位置についた

「動詞句」

uno per parte. ウノ・ペ`ル・パ`ルテ adv. 片側ごとに一人ずつ

「副詞句」

この時、僕の目の前に一列に並んだ顔が見えた。

È a questo punto che ho visto una fila di facce davanti a me.

「動詞」「補語」「主語」

È エ 3 単現(essere)v.i 〜である

「動詞」

a questo punto ア・クェスト・プント adv. (時刻) この時に

「補語」

che ケ conj. 〜することは

「主語」

ho visto オ・ウ`イスト 1 単現・完了形(vedere)v.t 見えた

「動詞句」

una fila ウナ・フィーラ n.f 列が

「目的語」

di facce ディ・ファツチェ adj. 顔の

「形容詞句」

davanti a me. ダヴ`ァンティ・ア・メ adv. 目の前に

「副詞句」

強調構文

essere...che, essere... a+不定詞 「〜するのは... である」

全員が僕を見つめていた：彼らが陪審員だと思った。

Tutte mi guardavano: ho capito che erano i giurati.

「主語」「目的語」「動詞」:「動詞句」「目的語」

Tutte トットェ pron(tutto).pl 全員が

「主語」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

guardavano: グォルダヴァノ 3 複半(guardare)v.t 見つめていた

「動詞」

ho capito オ・カピット 1 単現・完了形(capire)v.t 理解した、分かった

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

erano エーノ 3 複半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

i giurati. イ・ジウラーティ pl(giurato).n.m 陪審員

「補語」

しかし、彼らを一人一人識別できる何らかの特徴は見つけられなかった。

Ma non saprei dire che cosa li distinguesse l'uno dall'altro.

Ma 「動詞句」「目的語」

Ma マ conj. しかし

non saprei dire ノン・サプレイ・ディエーレ 条・1 単現・可能・否定(sapere+不定詞)

v.t 言えない

「動詞句」

che cosa ケ・コサ pron 何が～するかということを

「目的語」

li リ pron 彼らを

「目的語」

distinguesse ディスチングェッセ 接・3 単半・時制の一致(distinguere)

v.t 識別する

「動詞」

l'uno dall'altro. ルーノ・ダッラールトロ adv. 一人一人を

「副詞句」

僕の抱いた印象はこれだけだった：僕は路面電車の座席の前において、全ての名も無い乗客が
この新参者の可笑しな事を見つけようとして観察しているのだ。

L'impressione che avevo era soltanto questa: ero di fronte a una panca del tram e
tutti quei viaggiatori anonimi osservavano il nuovo arrivato per scoprire ciò che era
ridicolo in lui.

「主語」「動詞」「補語」:「動詞」「副詞句」e「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

L'impressione リンプレッションェ n.f 印象は

「主語」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

avevo アヴェーヴォ 1 単半(avere)v.t ～をもった

「動詞」

era エー 3 単半(essere)v.i ～だった

「動詞」

soltanto ソルタント adv. ～だけ

「副詞」

questa: クェスタ pron これ

「補語」

PARTE SECONDA 第2部

ero エロ 1 単半・存在・時制の一致(èssere)v.i	～にいる	「動詞」
di frònte a ディ・フロンテ・ア adv.	(位置) ～の前に、正面に	「副詞句」
una panca del tram ウナ・パンカ・テル・トラム n.f	路面電車の座席	「目的語」
e エ conj.	そして	
tutti quei viaggiatori anonimi トウッティ・ケイ・ウエイ・アッジ・ヤトリ・アノニ		
pl(viaggiatore)n.m	全ての名もない旅行者が	「主語」
osservavano オッセルヴァーヴァノ 3 複半		
(osservare)v.t	観察していた、じっと見つめていた	「動詞句」
il nuòvo arrivato イル・ヌォヴォ・アリヴァート n.m	新しい乗客を、新参者を	「目的語」
per +不定詞 不定詞・目的 adv.	～するために、～しようとして	「副詞句」
scoprire スコプリレ 不定詞 v.t	見つける	「動詞」
ciò チョ pron	それを	「目的語」
che ケ pron (主語)	～する	「形容詞節」
era エラ 3 単半・時制の一致(èssere)v.i	～である	「動詞」
ridicolo リディコロ adj.	可笑しな	「補語」
in lui. イン・ルーイ adv.	彼の中に	「副詞句」

それが愚かな考えだということはよく分かっている。かれらが探していたのは可笑しな所ではなく、罪なのだから。

So bene che era un'idèa sciòcca perché qui non era il viaggiatore che cercavano, ma il delitto.

		「動詞」「副詞」「目的語」「副詞節」
So ソ 1 単現(sapére)v.t	知っている、分かっている	「動詞」
bène ベーネ adv.	よく	「副詞」
che ケ conj.	～ということ	「目的語」
era エラ 3 単半・時制の一致(èssere)v.i	～である	「動詞」
un'idèa sciòcca ウン・エデア・ショッカ n.f	愚かな考え	「補語」
perché ペルケ conj.	～なので	「副詞節」
qui クイ adv.	ここで	「副詞」
non era ノン・エラ 3 単半・否定・時制の一致(èssere)		
v.i	～でない	「動詞」
il viaggiatore イル・ヴァイ・アッジ・ヤトリ n.m	旅行者	「補語」
che ケ pron (物)	～する物は	「主語」
cercavano, チェルカーヴァノ 3 複半(cercare)		
v.t	探していた	「動詞」
ma マ conj.	そうではなく	

PARTE SECONDA 第2部

il delitto. イル・デリット n.m 罪

「補語」

フランス語版では

それが愚かな考えだというのはよくわかっている。というのは、ここで彼らが探っていたのは、僕の欠点ではなく僕の犯罪なのだから。

Je sais bien que c' était une idée niaise puisque ici ce n' était pas le ridicule qu' ils cherchaient, mais le crime.

しかし、違いはそれほど大きくない。いずれにせよ、僕の頭に浮かんだのはこの考えだ。

Comunque la differenza non è tanto grande e in ogni modo è questa l'idea che mi è venuta.

「副詞」「主語」「動詞」「補語」 e 「副詞句」「動詞」「補語」「主語」

Comunque コムンケ conj. それでも、とにかく

「副詞」

la differenza ラ・デ・イフェレンツァ n.f 相違は

「主語」

non è ノ・ネ 3 単現・否定(essere)v.i ~である

「動詞」

tanto grande タント・グランデ adj. (否定文で) それほど大きく~ない

「補語」

e エ conj. そして

in ogni modo イン・オニ・モト adv. いずれにせよ

「副詞句」

è エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

questa l'idea クェスタ・イデア n.f この考え

「補語」

che ケ conj. ~ということは

「主語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

è venuta. エ・ヴァ・エヌタ 3 単現・完了形(venire)v.i 頭に浮かんだ

「動詞句」

また、僕はこの締め切った部屋にいる群衆に少し茫然とした。

Ero anche un po' intontito per tutta quèlla fòlla déntro a quèlla sala chiusa.

「動詞」「副詞」「補語」

Ero エロ 1 単半 (essere)v.i ~だった

「動詞」

anche アンケ adv. もまた

「副詞」

un po' intontito ウン・ポ・イントンチート adj. 少し茫然とした

「補語」

per tutta quèlla fòlla ペル・トゥッタ・クェッラ・フォッラ adv. (原因) その群衆のせいで「副詞句」

déntro a quèlla sala デントロ・ア・クェッラ・サーラ

adv. (場所) この部屋の中にある

「副詞句」

chiusa. キウサ adj(chiuso).f 閉じた

「形容詞」

僕はもう一度法廷を眺めたが、見覚えのある顔は見つからなかった。

Ho guardato ancora l'aula e non ho visto alcuna faccia nota.

「動詞句」「副詞」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」

Ho guardato オ・グアルダート 1 単現・完了形(guardare)v.t 眺めた 「動詞句」

ancora アンコーラ adv. もう一度 「副詞」

l'aula ラーウラ n.f 部屋を、法廷を 「目的語」

e エ conj. そして

non ho visto ノ・ノ・ヴィスト 1 単現・完了形・否定(vedere)v.t 見えなかった 「動詞句」

alcuna faccia アルクーナ・ファッチャ n.f (否定文で) どんな顔も～ない 「目的語」

nota. ノタ adj(noto).f 良く知った 「形容詞」

これらの人々全員が、僕がこの全ての動きの原因であると知るために努力をしたに違いないということを、本当に僕は気が付かなかったという印象だ。

Ho veramente l'impressione di non essermi reso conto in un primo tempo che tutta quella gente dovuto fare uno sforzo per capire che ero io la causa di tutto quel movimento.

「動詞」「副詞」「目的語」

Ho オ 1 単現(avere)v.t ～がある 「動詞」

veramente ヴェラメンテ adv. 本当に 「副詞」

l'impressione リンプ レッショネ n.f 印象が 「目的語」

di +不定詞 ディ adj. (同格) ～するという 「形容詞句」

non essermi reso conto ノン・エセルミ・レゾ・コント 不定詞・完了形・否定(rendersi conto)

v.pr 気付かなかった 「動詞句」

in un primo tempo イン・ウン・プロ・リモ・テンポ adv. 最初に 「副詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

tutta quella gente トクタ・ケッラ・ジエンテ

n.f これらの人々全員が 「主語」

dovuto fare ドゥーヴォ・ファレ 3 単現・完了形・推量(dovere+不定詞)

v.t したに違いない 「動詞句」

uno sforzo ウノ・スフォルツォ n.m 努力を 「目的語」

per capire ペル・カピレ 不定詞・目的 adv. 知るために 「副詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

ero エロ 1 単半・時制の一致(essere)

v.i ～である 「動詞」

io イオ pron 僕 「補語」

la causa ラ・カーウザ n.f 原因は 「主語」

di tutto quel movimento. ディ・トゥット・ケル・モヴイメント

adj. この全ての動きの 「形容詞句」

僕は警官に言った：「何て沢山の人の人だ！」彼は僕に答えた、新聞のせいだ、それから僕に陪審員席の下でテーブルを囲んでいた小さな一団を指し示した。

Ho detto al gendarme: “Quanta gente!” Mi ha risposto che dipendeva dai giornali e mi ha indicato un gruppetto che stava intorno a un tavolo, sotto il banco dei giurati.

「動詞句」「間接目的語」：《「感嘆」》 | 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

e 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Ho detto オ・テット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

al gendarme: アル・ジェンタルメ adv. 警官に 「間接目的語」

“Quanta gente!” クワンタ・ジエンテ int. 何て沢山の人の人だ！ 「感嘆」

Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha risposto ア・リスポスト 3 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

dipendeva デイペンデーヴァ 3 単半(dipendere)v.i(da の) せいである 「動詞」

dai giornali タイ・ジョルナリ adv. 新聞の 「間接目的語」

e エ conj. そして

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha indicato ア・インディカト 3 単現・完了形(indicare)v.t 指し示した 「動詞句」

un gruppetto ウン・グルペット n.m 小さな一団を 「直接目的語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

stava スターヴァ 3 単半・存在(stare)v.i いた 「動詞」

intorno a イントルノ・ア prep ～の周りに 「副詞句」

un tavolo, ウン・ターヴォロ n.m テーブル 「目的語」

sotto ソット prep(位置) ～の下で 「副詞句」

il banco dei giurati. イル・バンコ・デイ・ジウラティ

n.m 陪審員席 「目的語」

彼は僕に言った：「そこにいる」僕は尋ねた。「誰が？」すると彼が答えた。「新聞だよ」

Mi ha detto: “Eccoli là.” Ho chiesto: “Chi?” e lui ha ripetuto: “I giornali.”

「間接目的語」「動詞句」：《「応答」》

「動詞句」：《「主語」》 e 「主語」「動詞句」：《「主語」》

Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha detto: ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

“Eccoli là.” エコリ・ラー adv. そこにいる 「応答」

Ho chiesto: オ・キエスト 1 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた 「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

“Chi?” キ pron 誰が? 「主語」
 e エ conj. そして
 lui ルーイ pron 彼は 「主語」
 ha ripetuto: ア・リペトウト 3 単現・完了形(ripetere)v.t 繰り返した 「動詞句」
 “I giornali.” イ・ジヨルナーリ pl(giornale).n.m 新聞 「主語」

彼は記者の一人を知っていた。その記者が丁度その時彼を見て、僕達の方へ向かってきた。

Lui conosceva uno dei giornalisti e difatti in quel momento il giornalista l'ha visto e si è diretto verso di noi.

「主語」「動詞」「目的語」 e 「副詞句」「主語」「目的語」「動詞句」 e 「動詞句」「副詞句」
 Lui ルーイ pron 彼は 「主語」
 conosceva コノシェヴァ 3 単半(conoscere)v.t 知っていた 「動詞」
 uno dei giornalisti ウノ・デイ・ジヨルナリスティ pron 記者たちの一人を 「目的語」
 e エ conj. そして
 difatti デイファッティ adv. 実際 「副詞」
 in quel momento イン・ケル・モメント adv. その時 「副詞句」
 il giornalista イル・ジヨルナリスタ n.m その記者は 「主語」
 l' ル pron 彼を 「目的語」
 ha visto ア・ヴィスト 3 単現・完了形(vedere)v.t 見た 「動詞句」
 e エ conj. そして
 si è diretto シ・エ・ディレット 3 単現・完了形(dirigersi)v.pr 進んで来た 「動詞句」
 verso di noi. ヴェール・デイ・ノイ adv. (方向) 僕達の方へ 「副詞句」

彼は、すでになんかなり年配で、好感の持てそうな、少ししかめっ面をした男だった。

Era un uomo già piuttosto anziano, simpatico, con la faccia un po' contratta in una smorfia.

「動詞」「補語」
 Era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」
 un uomo ウン・ウオーモ n.m 男 「補語」
 già ジャ adv. すでに 「副詞」
 piuttosto ピョットースト adv. かなり 「副詞」
 anziano, アンツィアーノ adj. 年をとった 「形容詞」
 simpatico, シンパチコ adj. 好感の持てる 「形容詞」
 con la faccia コン・ラ・ファッチャ adv. (様態) 顔をした 「副詞」
 un po' contratta ウン・ポ・コントラッタ adj(contratto).f (顔を) 少ししかめた
 in una smorfia. イン・ウナ・ズモルフィア adv. しかめっ面に 「副詞句」

彼は警官と念入りに握手を交わした。

Ha strétto la mano al gendarme molto calorosamente.

「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」「副詞句」

Ha strétto ア・ストレット 3 単現・完了形(stringere)v.t 握り締めた

「動詞句」

la mano ラ・マーノ n.f 手を

「直接目的語」

al gendarme アル・ジェンダールメ adv. 警官の

「間接目的語」

molto calorosamente. モルト・カロサメンテ adv. 心を込めて、念入りに

「副詞句」

その時、皆がやって来て、挨拶を交わし、同じ社会の人間と楽しく過ごす社交クラブのよう
に会話をしていることに気付いた。

In quel momento ho notato che tutti si venivano incontro, si salutavano, e conversavano
come in un circolo dove si è felici di ritrovarsi fra persone dello stesso ambiente.

「副詞句」「動詞句」「目的語」

In quel momento イン・ケル・モメント adv. その時

「副詞句」

ho notato オ・ナート 1 単現・完了形(notare)v.t 気付いた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

tutti ツウッティ pron 皆は

「主語」

si venivano incontro, シ・ヴェニヴァノ・インコントロ 3 複半・相互・時制の一致(venirsi)

v.pr やって来る

「動詞句」

si salutavano, シ・サルタヴァノ 3 複半・相互・時制の一致(salutarsi)

v.pr 挨拶を交わす

「動詞句」

e エ conj. そして

conversavano コンヴァエルサヴァノ 3 複半・時制の一致(conversare)v.i 会話をする

「動詞」

come コーメ conj. ～のように

「副詞句」

in un circolo イン・ウン・チルコロ adv. 社交クラブで

「副詞句」

dove ドーヴェ adv. そこで～する

「形容詞節」

si シ pron 人は

「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

felici フェリーチェ adj. 幸せな

「補語」

di ritrovarsi デイ・リトロヴァルシ 不定詞・原因

adv. 居合わせていて

「副詞句」

fra persone フラ・ペルソーネ

adv. 人の間に

「副詞句」

dello stesso ambiente. デロ・ステッソ・アンビエンテ

adv. 同じ環境の「形容詞句」

僕はまた、少し余計なよそ者だったに違いないという奇妙な印象を抱いた。

Mi sono spiegato anche l'impressione strana che avevo di essere di troppo, un po' come un intruso.

「動詞句」「副詞」「目的語」

Mi sono spiegato ミ・ソノ・スピエガート 1 単現・完了形(spiegarsi)v.pr 自分に説明した「動詞句」

anche アンケ adv. また 「副詞」

l'impressione リンプレッシオーネ n.f 印象を 「目的語」

strana ストラナ adj(strano).f 奇妙な 「形容詞」

che ケ conj. (同格) ~という 「形容詞節」

avevo di essere アヴェーヴェ・オ・ディ・エッセル 1 単半・推量(avére di+不定詞 essere)

v.i ~だったに違いない 「動詞句」

di troppo, ディ・トロッポ adv. 余計な、余分の 「副詞句」

un po' come ウン・ポ・コメ adv. 少し~のような 「副詞句」

un intruso. ウン・イントルゾ n.m よそ者 「補語」

しかし、記者は微笑んで僕のほうを向き、すべてがうまくいくことを願っていると言った。

Tuttavia il giornalista si è rivolto a me sorridendo e mi ha detto che sperava che tutto sarebbe andato bene.

Tuttavia 「主語」「動詞句」「副詞句」 e 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Tuttavia トゥッタヴァ イーア conj. かししながら

il giornalista イル・ジヨルナリスタ n.m 記者は 「主語」

si è rivolto シ・エ・リヴオルト 3 単現・完了形(rivòlgersi)v.pr 振り向いた 「動詞句」

a me ア・メ adv. 僕のほうへ 「副詞句」

sorridendo リラデント ジェルンディオ(soridere)adv. 微笑みながら 「副詞」

e エ conj. そして

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. ~ということ 「直接目的語」

sperava スペラーヴァ 3 単半・時制の一致(sperare)v.t 願っている 「動詞」

che ケ conj. ~ということ 「目的語」

tutto トゥット pron 全てが 「主語」

sarebbe andato サレベ・アンダート 条・3 単現・完了形・願望(andare)

v.i 結果を迎える、進む 「動詞句」

bene. ベーネ adv. うまく 「副詞」

僕が彼に礼を言くと、彼は付け加えて言った：

L'ho ringraziato e lui ha aggiunto:

「目的語」「動詞句」 e 「主語」「動詞句」：

L' ル pron 彼に

「目的語」

ho ringraziato オ・リングラチアート 1 単現・完了形(ringraziare)v.t 礼を言った

「動詞句」

e エ conj. そして

lui ルーイ pron 彼は

「主語」

ha aggiunto: ア・アッジェント 3 単現・完了形(aggiungere)v.t 付け加えた

「動詞句」

「実は、私どもはあなたの事件を少し大げさに取り上げました。夏は新聞にとって活気の無い季節で、いくらか記事になりそうなのはあなたの件と父親殺しだけでした」

“Sa, abbiamo un po' montato la sua faccenda. L'estate è la stagione morta per i giornali. E non c'è che la sua storia e quella del parricida che valgono qualcosa.”

《「呼びかけ」, 「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」 | E 「動詞句」「主語」》

“Sa, サ 3 単現(sapere)v.t 実は、ご承知のように

「呼びかけ」

abbiamo un po' montato アビアーモ・ウン・ポ・モンタート 1 複現・完了形(montare)

v.t 誇張した

「動詞句」

la sua faccenda. ラ・スーア・ファチェンダ n.f あなたの事件を

「目的語」

L'estate レスターテ n.f 夏は

「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

la stagione morta ラ・スタジオーネ・モルタ n.f 活気の無い季節

「補語」

per i giornali. ペル・イ・ジオルナーリ adv. 新聞にとって

「副詞句」

E エ conj. そして

non c'è ノン・チェ 3 単現・存在・否定(esserci)v.i ~がない

「動詞句」

che ケ conj.(non ... che) ~しか

「主語」

la sua storia ラ・スーア・ストーリー n.f あなたの事件

「主語」

e エ conj. そして

quella ケッラ pron(storia の代用) それ

「主語」

del parricida テル・パリチダ adj. 父親殺しの

「形容詞句」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

valgano ヴァルカノ 3 複現(valere)v.i 価値がある

「動詞」

qualcosa.” クォルコーサ adv. いくらか

「副詞」

それから、彼はいま抜け出してきた一団の中から、黒縁の大きな眼鏡をかけた太ったイタチのような小柄な男を僕たちに指し示した。

Poi ci ha mostrato, nel gruppo da cui si era appena staccato, un ométto che somigliava a una donnola ingrassata, con degli enormi occhiali cerchiati di nero.

「副詞」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」「直接目的語」

Poi ポーイ adv. それから

「副詞」

ci チ pron.pl 僕たちに

「間接目的語」

ha mostrato, ア・モストラート 3 単現・完了形(mostrare)v.t 指し示した

「動詞句」

nel gruppo ネス・グルッポ adv. 一団の中から

「副詞句」

da cui ダ・クイー adj. (人から) ～した

「形容詞節」

si era appena staccato, シ・エラ・アッペーナ・スタカート 3 単半・完了形・直前(staccarsi)

v.pr 離れてきたばかり

「動詞句」

un ométto ウン・オメット n.m 小柄な男を

「直接目的語」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

somigliava ソミリアヴァ 3 単半・時制の一致(somigliare)

v.i ～に似ている

「動詞」

a una donnola ingrassata, ア・ウナ・トノラ・イングラッサータ

n.f 太ったイタチ

「補語」

con degli enormi occhiali コン・デリ・エノルメ・オッキアーリ

adv. 大きな眼鏡をかけた

「副詞句」

cerchiati di nero. チェルキアーティ・デ・イ・ネーロ

adj. 黒縁の

「形容詞句」

彼はパリの新聞社の特派員だと教えてくれた。

Mi ha detto che era l'inviato speciale di un giornale di Parigi.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

l'inviato speciale リンヴァィアート・スペチャレ n.m 特派員

「補語」

di un giornale デ・イ・ウン・ジョルナーレ adj. 新聞社の

「形容詞句」

di Parigi. デ・イ・パリージ adj. パリの

「形容詞句」

「ですが、彼は特にあなたの事件のために来た訳ではありません。父親殺しの裁判を報告する依頼を受けたのですが、ついでにあなたの事件も電報を打つように頼まれたのです」

“Del resto non è che sia venuto proprio per lei. Ma siccome è incaricato di fare il resoconto del processo del parricida, gli hanno chiesto di telegrafare insieme anche il suo.”

《「副詞句」「動詞句」「主語」 | Ma 「副詞節」, 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」》
 “Del resto テル・レスト adv. だがしかし、とは言っても 「副詞句」
 non è ノ・ネ 3 単現・否定(essere)v.i ~でない 「動詞句」
 che ケ conj. ~ということ 「主語」
 sia venuto シア・ヴェヌート 接・3 単現・完了形(venire)v.i 来た 「動詞句」
 proprio per lei. プ・ロー・リオ・ヘル・レイ adv. 特にあなたのために 「副詞句」
 Ma マ conj. そうではなく
 siccome シッコメ conj. ~なので 「副詞節」
 è incaricato di fare エ・インカリカート・ディ・ファレ 3 単現・完了形・受動(inc caricare di+不定詞 fare)
 v.t ~するように委託された 「動詞句」
 il resoconto イル・レソコント n.m 報告 「目的語」
 del processo del parricida, テル・プロ・ロチェツィ・テル・パ・リチータ
 adj. 父親殺しの裁判の 「形容詞句」
 gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 hanno chiesto di telegrafare アンノ・キェスト・ディ・テレグラファレ 3 複現・完了形(chiedere di+不定詞)
 v.t 電報を打つように頼んでいた 「動詞句」
 受動態に翻訳する
 insieme インシェーメ adv. 同時に 「副詞」
 anche il suo.” アンケ・イル・スオ n.m あなたの事件も 「直接目的語」

僕はもう一度お礼を言いそうになったが、それは馬鹿げていると思って止めた。

Sono stato sul punto di ringraziarlo un'altra volta. Ma poi ho pensato che sarebbe stato ridicolo.

「動詞句」「補語」 | Ma 「副詞」「動詞句」「目的語」
 Sono stato ソー・ノ・スタート 1 単現・完了形(essere)v.i ~だった 「動詞句」
 sul punto di ringraziarlo スル・プント・ディ・リンクラツィアル・ロ adv. 彼に礼を言う瞬間 「補語」
 un'altra volta. ウ・ナルトラ・ヴォルタ adv. もう一度 「副詞句」
 Ma マ conj. しかし
 poi ポーイ adv. それで 「副詞」
 ho pensato オ・ペンサート 1 単現・完了形(pensare)v.t 考えた 「動詞句」
 che ケ conj. ~ということを 「目的語」
 sarebbe stato サレッパ・スタート 条・3 単現・完了形・推量(essere)v.i ~だろう 「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

ridicolo. リデーコロ adj. 馬鹿げた

「補語」

彼は僕たちに心を込めて手を振り、僕達を残して去った。僕たちはさらに数分待った。

Ci ha fatto un piccolo cenno cordiale con la mano e ci ha lasciati. Abbiamo atteso ancora qualche minuto.「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「副詞句」 e 「目的語」「動詞句」
「動詞句」「副詞句」

Ci チ pron 僕たちに

「間接目的語」

ha fatto ア・ファット 3 単現・完了形(fare)v.t (動作を) した

「動詞句」

un piccolo cenno ウン・ピッコロ・チェンノ n.m 小さな合図を、身振りを

「直接目的語」

cordiale コルデアーレ adv. 温かく、心から

「副詞」

con la mano コン・ラ・マーノ adv. (手段) 手で

「副詞句」

e エ conj. そして

ci チ pron 僕達を

「目的語」

ha lasciati. ア・ラッシャーティ 3 単現・完了形(pl(lasciare)v.t 残した、去った

「動詞句」

Abbiamo atteso アッビアーモ・アテゾ 1 複現・完了形(attendere)v.t 待った

「動詞句」

ancora アンコーラ adv. さらに

「副詞」

qualche minuto. クォルケ・ミヌート n.m 数分

「副詞句」

僕の弁護士が、法衣を着て、同僚の一段に囲まれてやって来た。

Il mio avvocato è arrivato, in toga, circondato da un gruppo di colleghi.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Il mio avvocato イル・ミーオ・アヴァッォカート n.m 僕の弁護士が

「主語」

è arrivato, エ・アッリヴァート 3 単現・完了形(arrivare)v.i 着いた

「動詞句」

in toga, イン・トガ adv. (様態) 法衣を着て

「副詞句」

circondato チルコンダート 過去分詞(circondare)・受動 adv. 囲まれて

「副詞句」

da un gruppo ダ・ウン・グループ adv.(動作主) 一団によって

「副詞句」

di colleghi. デイ・コレギ adj. 同僚の

「形容詞句」

彼は記者たちの方へ進み、握手をした。

Si è diretto verso i giornalisti, ha distribuito strétte di mano.

「動詞句」「副詞句」, 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Si è diretto シ・エ・ディレット 3 単現・完了形(dirigersi)v.pr ~の方へ進んで行った

「動詞句」

verso i giornalisti, ヴェールツ・イ・ジョルナリステイ adv. 記者たちの方へ

「副詞句」

ha distribuito ア・ディストリブイート 3 単現・完了形(distribuire)v.t 与えた

「動詞句」

strétte スレッテ pl(strétta).n.f 締め付けを

「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

di mano. ディ・マーノ adv. (手段) 手で

「副詞句」

法廷内にベルが鳴り響くまで、彼らは冗談を言ったり、笑ったりして全くくつろいでいるように見えた。全員が自分の席に戻った。

Hanno scherzato e riso e parevano perfettamente a lóro àgio, fino al moménto in cui la suoneria ha echeggiato nell'aula. Tutti sono ritornati ai lóro posti.

「動詞句」 e 「動詞句」 e 「動詞」「補語」「副詞節」 | 「主語」「動詞句」「間接目的語」

Hanno scherzato アンノ・スケルツァート 3 複現・完了形(scherzare)v.i 冗談を言った 「動詞句」

e エ conj. そして

riso リゾ 3 複現・完了形(ridere)v.i 笑った 「動詞句」

e エ conj. そして

parevano パレヴァノ 3 複半(parére)v.i ~のように見えた 「動詞」

perfettamente ペルフェタメンテ adv. 完全に 「副詞」

a lóro àgio, ア・ロー・アージョ adv. くつろいだ 「補語」

fino al moménto フィーノ・アル・モメント adv. ~の時まで 「副詞句」

in cui イン・クーイ adv. そこで~する 「副詞節」

la suoneria ラ・スネリア n.f ベルが 「主語」

ha echeggiato ア・エチェギヤート 3 単現・完了形(echeggiare)

v.i 鳴り響く 「動詞句」

nell'aula. ネラウ adv. 法廷内に 「副詞句」

Tutti トウッティ pron 全員が 「主語」

sono ritornati ソーノ・リトルナーティ 3 複現・完了形(pl(ritornare)v.i 戻った 「動詞句」

ai lóro posti. アイ・ロー・ポスティ adv. 自分の席に 「間接目的語」

弁護士が僕の所へやって来て僕と握手して、聞かれた質問には簡潔に答え、決して率先した行動をとらないように、それからあとは全て彼を信頼するようにと助言された。

Il mio avvocato è venuto vèrso di me, mi ha strétto la mano e mi ha consigliato di rispondere brevemente alle domande che mi sarèbbero state rivolte, di non prendere mai io l'iniziativa e fidarmi di lui per tutto il rèsto.

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e

「間接目的語」「動詞句」「補語」, 「補語」 e 「補語」

Il mio avvocato イル・ミー・オ・アヴァウカート n.m 僕の弁護士が 「主語」

è venuto エ・ヴェヌート 3 単現・完了形(venire)v.i やって来た 「動詞句」

vèrso di me, ヴェールゾ・ッティ・メ adv. 僕の方へ 「副詞句」

mi ミ pron 僕の 「間接目的語」

ha strétto ア・ストレット 3 単現・完了形(stringere)v.t 締め付けた 「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

la mano ラ・マーノ n.f 手を	「直接目的語」
e エ conj. そして	
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha consigliato ア・コンシリアート 3 単現・完了形(consigliare)v.t 助言した	「動詞句」
di rispondere ティ・リスポ インデレ 不定詞・mi の動作 v.t 答える	「補語」
brevemente ブレヴェメンテ adv. 簡潔に	「副詞」
alle domande アレ・ドマンデ adv. 質問に対して	「間接目的語」
che ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
sarebbero state rivolte, サレバロ・スター・リヴォルテ 条・3 複現・完了形.pl・受動(rivolgere) v.t 聞かれた	「動詞句」
di non prendere mai ティ・ノン・プレンドレ・マイ 不定詞・mi の動作 v.t 決して取らない	「補語」
io イオ pron 僕が	「主語」
l'iniziativa リニツィアティヴァ n.f 率先した行動を	「目的語」
e エ conj. そして	
fidarmi フィタル・ミ 不定詞・mi の動作 v.pr(di を) 信頼する	「補語」
di lui ティ・ルーイ adv. 彼を	「間接目的語」
per tutto il resto. ペル・トゥット・イル・レスト adv. あとは全て	「副詞句」

僕の左側で椅子が引かれる音が聞こえ、赤い服を着て眼鏡をかけた背が高く痩せた男が座って、法服を丁寧に畳んでいるのが見えた。

Alla mia sinistra ho udito il rumore di una sedia spinta indietro e ho visto un uomo alto e magro, vestito di rosso, con l'occhialino, che si sedeva piegando accuratamente la toga.

「副詞句」「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」

Alla mia sinistra アッ・ミア・シストラ adv. 僕の左側で	「副詞句」
ho udito オ・ウディート 1 単現・完了形(udire)v.t 聞こえた	「動詞句」
il rumore イル・ルモレ n.m 物音が	「目的語」
di una sedia ティ・ウナ・セディータ adj. 椅子の	「形容詞句」
spinta スピンタ 過去分詞(spingere)・受動 adj. 押された	「形容詞句」
indietro インディエートロ adv. 後ろに	「副詞」
e エ conj. そして	
ho visto オ・ヴィスト 1 単現・完了形(vedere)v.t 見えた	「動詞句」
un uomo ウン・ウオーモ n.m 男が	「目的語」
alto e magro, アルト・エ・マーグロ adj. 背が高く痩せた	「形容詞句」
vestito di rosso, ヴェスチート・ティ・ロッソ 過去分詞・様態 adv. 赤い服を着た	「副詞句」
con l'occhialino, コン・ロッキアリーノ adv. 眼鏡をかけた	「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

che ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
si sedeva シ・セデヴァ 3 単半(sedersi)v.pr 座った	「動詞句」
piegando ピ・エガント ジェルンディオ(piegare)	
adv. (結果) そして畳んでいた	「副詞句」
accuratamente アクラタメンテ adv. 慎重に、丁寧に	「副詞」
la tōga. ラ・トーガ n.f 法服を	「目的語」

それが検事だった。廷吏が裁判官の入廷を告げた。

Era il Pùbblico Ministèro. Un uscière ha annunciato la Córte.

	「動詞」「補語」 「主語」「動詞句」「目的語」
Era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった	「動詞」
il Pùbblico Ministèro. イル・プブリコ・ミニステーロ n.m 検事、検察官	「補語」
Un uscière ウン・ウシェレ n.m 廷吏が	「主語」
ha annunciato ア・アヌチャート 3 単現・完了形(annunciare)v.t 告げた、知らせた	「動詞句」
la Córte. ラ・コールテ n.f 裁判官の入廷を	「目的語」

それと同時に 2 台の巨大な扇風機が轟音をたてて動き始めた。

Nello stéssu istante due gròssi ventilatóri si sono messi a rombare.

	「副詞句」「主語」「動詞句」
Nello stéssu istante ネロ・ステッス・イスタンテ adv. 同時に	「副詞句」
due gròssi ventilatóri トゥエ・グロッシ・ウエンチラトーリ	
pl(ventilátore).n.m 2 台の巨大な扇風機が	「主語」
si sono messi a rombare. シ・ソーノ・メッシ・ア・ロンバーレ 3 複現・完了形・開始	
(mettersi a+不定詞 rombare)v.pr 轟音を立て始めた	「動詞句」

3 人の裁判官が、二人は黒服を着て 3 人目は赤服を着ていた、書類を抱えて入場して、法廷を見渡す裁判官席に足早に向かった。

Tre giùdici, due in néro e il tèrzo in rósso, sono entrati con degli incartaménti e si sono diretti móltu in fretta vèrso la tribuna che dominava la sala.

	「主語」, 「副詞句」, 「動詞句」「副詞句」 e 「動詞句」「副詞句」
Tre giùdici, トゥレ・ジューデイチ pl(giùdice).n.m 3 人の裁判官が	「主語」
due in néro トゥエ・イン・ネロ pron.pl 二人は黒服を着て	「副詞句」
e エ conj. そして	
il tèrzo in rósso, イル・テルゾ・イン・ロッソ pron 3 人目は赤服を着た	「副詞句」
sono entrati ソーノ・エントラティ 3 複現・完了形.pl(entrare)v.i 入場した	「動詞句」
con degli incartaménti コン・テリ・インカルタメンティ adv. 書類を抱えて	「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

e エ conj. そして

si sono diretti シ・ソーノ・ディレツティ 3 複現・完了形(pl(dirigersi)v.pr 進んだ 「動詞句」

molto in fretta モルト・イン・フレッタ adv. 足早に 「副詞句」

verso la tribuna ヴェールツ・ラ・トリブ・トリブーナ adv. 裁判官席に向かって 「副詞句」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

dominava ト・ミナーヴァ 3 単半・時制の一致(dominare)

v.t 見渡す、見晴らす 「動詞」

la sala. ラ・サーラ n.f 法廷を 「目的語」

赤い法服の裁判官が真ん中の席に座り、縁なし帽を自分の前に置き、ハンカチで小さな頭を拭いてから、開廷を宣言した。

Quello in toga rossa si è seduto nel sedile di mezzo, ha posato il tocco davanti a sé, si è asciugato col fazzoletto il piccolo cranio e ha dichiarato che l'udienza era aperta.

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「動詞句」「目的語」「副詞句」,

「副詞句」「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」

Quello ケッロ pron(giudice の代用) それは 「主語」

in toga rossa イン・トーガ・ロッサ adv. 赤い法服を着た 「副詞句」

si è seduto シ・エ・セドゥート 3 単現・完了形(sedersi)v.pr 座った 「動詞句」

nel sedile di mezzo, ネル・セディーレ・ディ・メツツ adv. 真ん中の席に 「副詞句」

ha posato ア・ポザート 3 単現・完了形(posare)v.t 置いた 「動詞句」

il tocco イル・トッコ n.m 縁なし帽を 「目的語」

davanti a sé, ダヴァンティ・ア・セ adv. 自分の前に 「副詞句」

si è asciugato シ・エ・アシュカート 3 単現・完了形(asciugare)v.pr (布で) 拭いた 「動詞句」

col fazzoletto コル・ファツツォレット adv. (手段) ハンカチで 「副詞句」

il piccolo cranio イル・ピッコロ・クラニオ n.m 小さな頭を 「目的語」

e エ conj. そして

ha dichiarato ア・ディキアラート 3 単現・完了形(dichiarare)v.t 宣言した 「動詞句」

che ケ conj. ~ということ 「目的語」

l'udienza ルディエンサ n.f 公判は 「主語」

era aperta. エラ・アペールタ 3 単半・受動.f(aprire)v.t 開かれた 「動詞句」

記者たちはすでにペンを手にしていた。彼らは皆、無関心で皮肉めいた表情をしていた。

I giornalisti avevano già la penna in mano. Avevano tutti la stessa aria indifferente e un po' ironica.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」 | 「動詞」「主語」「目的語」

I giornalisti イ・ジヨルナリスティ pl(giornalista).n.m 記者たちは 「主語」
 avevano アヴェウァノ 3 複半(avére)v.t 持っていた 「動詞」
 già ジャ adv. すでに、もう 「副詞」
 la penna ラ・ペンナ n.f ペンを 「目的語」
 in mano. イン・マーノ adv. 手に 「副詞句」
 Avevano アヴェウァノ 3 複半(avére)v.t (特徴を) していた 「動詞」
 tutti トウッティ pron.pl みんな 「主語」
 la stessa aria ラ・ステッサ・アーリア n.f 同じ表情を 「目的語」
 indifferente インディフェレンテ adj. 無関心な 「形容詞」
 e エ conj. そして
 un po' ironica. ウン・ポ・イロニカ adj. 少し皮肉な 「形容詞句」

しかしながら、彼らの一人、他よりもずっと若く、グレーのフランネルのスーツを着て青いネクタイをした記者はペンをテーブルの上に置いたままにして、僕をじっと見つめていた。

Tuttavia uno di loro, molto più giovane degli altri, con un vestito di flanella grigia e una cravatta azzurra, aveva lasciato la penna appoggiata sul tavolo e mi guardava.

Tuttavia 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」 e 「目的語」「動詞」

Tuttavia トウッタヴァーイア conj. しかしながら
 uno di loro, ウノ・ディ・ローロ pron 記者の1人は 「主語」
 molto più giovane モルト・ピウ・ジョーヴァネ adj. ずっと若い 「形容詞句」
 degli altri, デリ・アルトリ adv. 他よりも 「副詞句」
 con コン adv. (様態) ～を着た 「副詞句」
 un vestito ウン・ヴェスチート n.m スーツ 「目的語」
 di flanella grigia デイ・フラネッラ・グリージャ
 adj. (材質) グレーのフランネルの 「形容詞句」
 e エ conj. そして
 una cravatta azzurra, ウナ・クラヴァッタ・アズツラ n.f 青いネクタイを 「目的語」
 aveva lasciato アヴェウァ・ラッシャート 3 単半・完了形・放任(lasciare)v.t ～のままにした「動詞句」
 la penna ラ・ペンナ n.f ペンを 「目的語」
 appoggiata アッポジャータ 過去分詞(appoggiare)・受動 adj. 置かれた 「補語」
 sul tavolo スル・ターヴォ adv. テーブルの上に 「副詞句」
 e エ conj. そして

PARTE SECONDA 第2部

mi ミ pron 僕を 「目的語」
 guardava. グォルダヴァー 3 単半(guardare)v.t 見つめていた 「動詞」

彼の少し非対称な顔には、何の変化も見せず注意深く僕を観察する彼の目だけが見えた。

Nélla sua faccia un po' asimmetrica non vedevo che i suoi occhi molto chiari che mi esaminavano attentamente, senza esprimere nulla che fosse definibile.

「副詞句」「動詞句」「目的語」

Nélla sua faccia ネッラ・スア・ファッチャ adv. 彼の顔には 「副詞句」

un po' asimmetrica ウン・ポ'・アシメトリカ adj(asimmetrico).f 少し非対称な 「形容詞句」

non vedevo ノン・ヴェデーヴォ 1 単半・否定(vedere)v.t 見えなかった 「動詞句」

che ケ conj.(non ... che : 限定) ~ということしか

i suoi occhi, イ・スオイ・オッキ pl(occhio).n.m 彼の目 「目的語」

molto chiari, モルト・キアーリ adj(chiaro).m 非常に澄んだ 「形容詞句」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

esaminavano エサミナーヴァノ 3 複半・時制の一致(esaminare)

v.t 調べる 「動詞」

attentamente, アテンタメンテ adv. 注意深く、慎重に 「副詞」

senza esprimere センツァ・エスプリメレ 不定詞・手段 adv. 表わさずに 「副詞句」

nulla ヌッラ pron 何も~ない 「目的語」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

fosse フォッセ 接・3 単半・時制の一致(essere)

v.i ~である 「動詞」

definibile. デフィニビレ

adj. 定義できる、特徴のある 「補語」

そして、自分自身に見つめられているという奇妙な印象を受けた。

E ho avuto l'impressione strana di essere guardato da me stesso.

E「動詞句」「目的語」

E エ conj. そして

ho avuto オ・アヴァート 1 単現・完了形(avére)v.t ~を持った 「動詞句」

l'impressione strana リンプレッシオーネ・ストラナ n.f 奇妙な印象を 「目的語」

di essere guardato ティ・エッセル・グォルダヴァート 不定詞・受動・同格

adj. 見られているという 「形容詞句」

da me stesso. タ・メ・ステッソ adv. (動作主) 自分自身に 「副詞句」

恐らくこのせいと、僕がこの場所の風習を知らなかったことが原因だろう。それでその後に起こったことがまるで理解できなかった。

È forse a càusa di quésto, e anche perché non conoscevo gli usi del luògo, che non ho ben compreso tutto ciò che è avvenuto in séguito:

「動詞」「補語」, e anche 「副詞節」, che 「動詞句」「目的語」

È エ 3 単現(essere)v.i. ~である 「動詞」

forse フォルセ adv. たぶん、おそらく 「副詞」

a càusa di quésto, ア・カーウザ・ディ・クエスト adv. このせいで 「補語」

e エ conj. そして

anche アンケ conj. もまた

perché ペルケ conj. ~なので 「副詞節」

non conoscevo ノン・コノシェヴォ 1 単半・否定(conoscere)v.t. 知らなかった 「動詞句」

gli usi リ・ウジ pl(uso).n.m 風習、習慣を 「目的語」

del luògo, デル・ルオーゴ adj. この場所の 「形容詞句」

che ケ conj. (結果) それで~する

non ho ben compreso ノン・オ・ベン・コンプレズ 1 単現・完了形・否定(comprendere)

v.t. よく理解できなかった 「動詞句」

tutto ciò トゥット・チョ pron すべてを 「目的語」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

è avvenuto エ・アヴェニエント 3 単現・完了形(abbenire)v.i. 起こった 「動詞句」

in séguito: イン・セグイット adv. その後に 「副詞句」

陪審員のくじ引き、弁護士と検事と陪審員への裁判長からのいくつかの質問(その度に陪審員全員の頭が同時に裁判官席のほうに振り向いた)、僕が聞き覚えのある地名と人名が出て来る起訴状の早口の読み上げ、そして最後に僕の弁護士に向けられたその他の質問を。

il sorteggio dei giurati, cèrte domande rivolte dal presidente all'avvocato, al Pùbblico Ministèro e ai giurati (ógni vòlta tutte le teste dei giurati si voltavano contemporaneamente verso la Còrte), una lettura rapida déll'atto di accusa in cui ho riconosciuto dei nómi di luòghi e di persóne, e infine altre domande rivolte al mio avvocato.

「目的語」, 「目的語」(「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」),

「目的語」, e 「副詞」「目的語」

il sorteggio イル・ソルテージョ n.m くじ引きを 「目的語」

dei giurati, デイ・ジウラーティ adj. 陪審員の 「形容詞句」

cèrte domande チェルテ・トマンテ pl(domanda).n.f. いくつかの質問 「目的語」

rivolte リヴォルテ 過去分詞・受動(rivolgere)adj.pl.f. 向けられた 「形容詞句」

PARTE SECONDA 第2部

dal presidente タル・プレジデんテ	adv. (動作主) 裁判長から	「副詞句」
all'avvocato, アッヴァカート	adv. 弁護士へ	「副詞句」
al Pubblico Ministero アル・プブブリコ・ミニストロ	adv. 検事へ	「副詞句」
e ɛ conj. そして		
ai giurati アイ・ジウラティ	adv. 陪審員へ	「副詞句」
(ogni volta オンニ・ヴォルタ	adv. その度に	「副詞句」
tutte le teste dei giurati トウッテ・レ・テスト・デ・イ・ジウラティ	pl(testa).n.f 陪審員全員の頭が「主語」	
si voltavano シ・ヴォルターヴァノ	3 複半(voltarsi)v.pr 振り向いた	「動詞句」
contemporaneamente コンテンポラネアメンテ	adv. 同時に	「副詞」
verso la Côte), ヴェールツ・ア・コールテ	adv. 裁判官席のほうに	「副詞句」
una lettura rapida ウナ・レットウーラ・ラーピダ	n.f 早口の朗読	「目的語」
dell'atto di accusa テル・アット・デ・イ・アクーザ	adj. 起訴状の	「形容詞句」
in cui イン・クーイ	conj. その中で～する	「形容詞節」
ho riconosciuto オ・リコノシュート	1 単現・完了形(riconoscere)	
v.t 認識した		「動詞句」
dei nomi デイ・ノミ	pl(nóme).n.m 名前を	「目的語」
di luoghi デイ・ルオーギ	adj. 場所の	「形容詞句」
e ɛ conj. そして		
di persóne, デイ・ペルソーネ	adj. 人の	「形容詞句」
e ɛ conj. そして		
infine インフィーネ	adv. 最後に	「副詞」
altre domande アルトレ・トマンテ	pl(domanda).n.f その他の質問	「目的語」
rivolte リヴォルテ	過去分詞・受動(rivolgere)adj.pl.f 向けられた	「形容詞句」
al mio avvocato. アル・ミーオ・アッヴァカート	adv. 僕の弁護士へ	「副詞句」

しかしそれから、裁判長は証人の呼名を進めると言った。

Ma pòì il presidente ha détto che avrebbe fatto procedere all'appello dei tèsti.

Ma 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」

Ma マ	conj. しかし	
pòì ポーイ	adv. それから、その後	「副詞」
il presidente イル・プレジデんテ	n.m 裁判長は	「主語」
ha détto ア・デット	3 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
che ケ	conj. ～ということを	「目的語」
avrebbe fatto procedere	アヴレツペ・ファット・プロチェテレ 条・3 単現・完了形・使役	
(fare+不定詞 procedere)v.t	進めさせる	「動詞句」
all'appello アッラッペーロ	adv. 点呼を	「間接目的語」

PARTE SECONDA 第2部

dei tèsti. ティ・テストィ adj.(tèste) 証人の

「形容詞句」

廷吏が僕の注意を引く名前を読み上げた。

Il cancelliere ha letto dei nomi che hanno attirato la mia attenzione.

「主語」「動詞句」「目的語」

Il cancelliere イル・カンチェリエーレ n.m 廷吏が

「主語」

ha letto ア・レット 3 単現・完了形(lèggere)v.t 読んだ

「動詞句」

dei nomi ティ・ノミ pl(nóme).n.m 名前を

「目的語」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

hanno attirato アンノ・アチラト 3 複現・完了形(attirare)

v.t 引いた、引き付けた

「動詞句」

la mia attenzione. ラ・ミー・アッテンツィオーネ n.f 僕の注意を

「目的語」

少し前までは形の無いその聴衆の中から、養老院の院長や門衛、トーマス・ペレス老人、レーモン、マソン、サラmanoそしてマリーが一人ずつ立ち上がって、脇の扉から消えていくのが見えた。

Da quel pubblico un istante prima informe, ho visto alzarsi a uno a uno, per poi scomparire da una porta laterale, il direttore e il portiere dell'ospizio, il vecchio Tommaso Perez, Raimondo, Masson, Salamano, Maria.

「副詞句」, 「動詞句」「補語」「目的語」, 「副詞句」「補語」, 「目的語」

Da ダ prep (場所) ~から

「副詞句」

quel pubblico クェル・プブブリコ n.m その聴衆

「目的語」

un istante prima ウン・イスタンテ・プリマ adv. 少し前に

「副詞句」

informe, インフォルメ adj. 形のない

「形容詞」

ho visto オ・ヴィスト 1 単現・完了形・知覚動詞(vedere)

v.t(+不定詞 ~するのが) 見えた

「動詞句」

alzarsi アルツァルシ 不定詞・uno の動作 v.pr 立ち上がる

「補語」

a uno a uno, ア・ウノ・ア・ウノ pron 一人ずつが

「目的語」

per poi ペル・ポイ adv. その後、それから

「副詞句」

scomparire スコンパリーレ 不定詞・uno の動作 v.i 消えていく

「補語」

da una porta ダ・ウナ・ポールタ adv. 扉から

「副詞句」

laterale, ラテラーレ adj. 脇の

「形容詞」

il direttore イル・ディレットーレ n.m 院長が

「目的語」

e エ conj. そして

il portiere dell'ospizio, イル・ポルチエーレ・テロスピツィオ n.m 養老院の門衛が

「目的語」

il vecchio Tommaso Perez, イル・ヴェッキオ・トマソ・ペレス n.m トーマス・ペレス老人が

「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

Raimondo, ライモンﾄﾞ n.m レーモンが「目的語」

Masson, マッソ n.m マソンが

「目的語」

Salamano, サラマノ n.m サラマノが

「目的語」

Maria. マリア n.f マリーが

「目的語」

マリーは僕に向かってちょっと不安げな仕草を見せた。

Maria mi ha fatto un piccolo saluto ansioso.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Maria マリア n.f マリーは

「主語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha fatto ア・ファット 3 単現・完了形(fare)v.t (動作を) した

「動詞句」

un piccolo saluto ウン・ピッコロ・サルト n.m 小さな挨拶を

「直接目的語」

ansioso. アンシオ adj. 不安そうな

「形容詞」

彼らにもっと早く気が付かなかったことに驚いていると、その時、呼名に応じて最後の証人セレステが立ち上がった。

Stavo ancora meravigliandomi di non essermi accorto di loro prima, quando, alla chiamata del suo nome, si è alzato l'ultimo testimone, Celeste.

「動詞句」「副詞句」, 「副詞」, 「副詞句」「動詞句」「主語」

Stavo ancora meravigliandomi スターヴァンコーラ・メラヴァリャントミ 1 単半・進行中

(stare+ジェルンディオ)v.i まだ驚いていた

「動詞句」

di non essermi accorto ディ・ノン・エセルミ・アコルト

adv. (理由: di+不定詞・完了形・否定) (+di に) 気が付かなかった

「副詞句」

di loro ディ・ローロ adv. 彼らに

「間接目的語」

prima, プリーマ adv. もっと早く

「副詞」

quando, クワンﾄ adv. その時

「副詞」

alla chiamata del suo nome, アラ・キアマータ・デル・スーオ・ノーメ adv. 呼名に対して

「副詞句」

si è alzato シ・エ・アルツァート 3 単現・完了形(alzarsi)v.pr 立ち上がった

「動詞句」

l'ultimo testimone, Celeste. ルイチモ・テストイモネオ・セレステ n.m 最後の証人セレステが

「主語」

PARTE SECONDA 第2部

彼の隣に、僕を熱心に見つめる、同じジャケットを着て几帳面で確固たる様子のレストランの小柄な女が見えた。

Di fianco a lui ho riconosciuto la donnina della trattoria, con la sua stessa giacca e l'aria esatta e decisa, che mi guardava intensamente.

「副詞句」「動詞句」「目的語」

Di fianco a lui ディ・フィアソ・ア・ルーイ adv. 彼の隣に

「副詞句」

ho riconosciuto オ・リコノシュート 1 単現・完了形(riconoscere)v.t 認識した、見えた

「動詞句」

la donnina ラ・ドニナ n.f 小柄な女が

「目的語」

della trattoria, デラ・トラットリア adj. レストランの

「形容詞句」

con コン prep (状態) ～を着た

「副詞句」

la sua stessa giacca ラ・スア・ステッサ・ジャッカ n.f 同じジャケットを

「目的語」

e エ conj. そして

l'aria ラーリア n.f 様子

「目的語」

esatta エサッタ adj. 几帳面な

「形容詞」

e エ conj. そして

decisa, デチーサ adj. 確固とした

「形容詞」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

guardava ゲ・ワルダ・ヴァ 3 単半・時制の一致(guardare)

v.t 見つめる

「動詞」

intensamente. インテンサメンテ adv. 熱心に

「副詞」

しかし、裁判長が発言し始めたので、よく考えている時間は無かった。

Ma non ho avuto il tempo di riflettere perché il presidente ha preso la parola.

Ma 「動詞句」「目的語」「副詞節」

Ma マ conj. しかし

non ho avuto ノ・ノ・アウート 1 単現・完了形・否定(avére)v.t ～がなかった

「動詞句」

il tempo イル・テンポ n.m 時間が

「目的語」

di riflettere ディ・リフレッテレ 不定詞・目的 adv. 熟考するための

「形容詞句」

perché ペルケ conj. ～なので

「副詞節」

il presidente イル・プレジデンテ n.m 裁判長が

「主語」

ha preso la parola. ア・プレゾ・ラ・パローラ 3 単現・完了形(prendere la parola)

v.i 発言を始めた

「動詞句」

裁判長は、実際の本格的な審理はまさに始まる場所であるが、傍聴人に静粛であるようにと要請する必要は無いものと信じて言った。

Ha detto che stavano per iniziare i dibattiti veri e propri e che riteneva inutile raccomandare al pubblico di essere calmo.

「動詞句」「目的語」 e 「目的語」

Ha detto ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

stavano per iniziare スタヴァーノ・ペル・インツィアーレ 3 複半・まさに(stare per+不定詞 iniziare)

v.i まさに始まる場所である

「動詞句」

i dibattiti イ・ディバッティーティ pl(dibattito).n.m 審理は

「主語」

veri ヴェーリ adj(véro).pl 実際の

「形容詞」

e エ conj. そして

propri プロプリ adj(proprio).pl 本格的な、そのもの

「形容詞」

e エ conj. そして

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

riteneva リテネヴァ 3 単半・時制の一致(ritenere)v.i ～と思う

「動詞」

inutile イヌチレ adj. 無用な

「補語」

raccomandare ラッコマンダーレ 不定詞

n.(di+不定詞 ～するように) 要請することは

「主語」

al pubblico アル・プブリコ adv. 傍聴人に

「間接目的語」

di essere ディ・エッセレ 不定詞 n. ～でいるように

「直接目的語」

calmo. カルモ adj. 静粛な

「補語」

彼によれば、客観的に検討すべき事件の審議を公平に指揮するために彼はそこに居る。

Secóndo lui, egli era lì per dirigere con imparzialità la discussione di una causa che voleva considerare con obiettività.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」

Secóndo lui, セコント・ルーイ adv. 彼によれば

「副詞句」

egli エッリ pron 彼は

「主語」

era エラ 3 単半・時制の一致・存在(essere)v.i ～にいる

「動詞」

lì リ adv. そこに

「副詞」

per dirigere ペル・ディリジェレ 不定詞・目的 adv. 指揮するために

「副詞句」

con imparzialità コン・インパルツィアリタ adv. 公平に、客観的に

「副詞句」

la discussione ラ・ディスキューオーネ n.f 審議を

「目的語」

di una causa ディ・ウナ・カウザ adj. 事件の

「形容詞句」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

PARTE SECONDA 第2部

voleva considerare ヲレウァ・コンシデラレ 3 単半・意図・時制の一致

(volére+不定詞 considerare)

v.t 検討するつもり 「動詞句」

con obiettività. コン・オビェツチヴァイタ

adv. 客観的に 「副詞句」

陪審の判決は正義の精神に基づいて承認されなければならない。そして、些細な出来事でも傍聴人は退廷を命じられるだろう。

La sentenza del giurì doveva essere accolta con spirito di giustizia, e ad ogni modo egli avrebbe fatto evacuare la sala al minimo incidente.

「主語」「動詞句」「副詞句」, e 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

La sentenza ラ・センテンツァ n.f 判決は 「主語」

del giurì テル・ジユリ adj. 陪審の 「形容詞句」

doveva essere accolta トゥェウァ・エッセレ・アッコルタ 3 単半・義務

(dovére+不定詞・受動 accogliere)v.t 承認されなければならない 「動詞句」

con spirito di giustizia, コン・スピールト・ディ・ジユスティツィア adv. 正義の精神に基づいて 「副詞句」

e e conj. そして

ad ogni modo アト・オン・モト adv. いずれにしても 「副詞句」

egli エリ pron 傍聴人は、彼は 「主語」

avrebbe fatto evacuare アヴレツァ・ファット・エヴァクアーレ 条・3 単現・完了形・使役

(fare+不定詞 evacuare)v.t 出されるだろう 「動詞句」

la sala ラ・サラ n.f 法廷を 「目的語」

al minimo incidente. アル・ミニモ・インシデンテ adv. 些細な出来事でも 「副詞句」

暑さが増してきた。法廷内には新聞紙であおぐ傍聴人が見えた。これが紙がこすれる連続的にガサガサいう小さな音を発生した。

Il calore aumentava e nella sala vedevo gli assistenti che si facevano vento con dei giornali. Questo produceva un piccolo fruscio continuo di carta sgualcita.

「主語」「動詞」 e 「副詞句」「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞」「目的語」

Il calore イル・カレ n.m 暑さが 「主語」

aumentava アウメントァ 3 単半(aumentare)v.i 増した 「動詞」

e e conj. そして

nella sala ネッラ・サラ adv. 法廷内には 「副詞句」

vedevo ヴェデーヴォ 1 単半(vedére)v.t 見えた 「動詞」

gli assistenti リ・アシステンティ pl(assistente).n.m 傍聴人が 「目的語」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

PARTE SECONDA 第2部

si facevano シ・ファチェヴァノ 3 複半・時制の一致(farsi)v.pr 自分のために作る

vènto ヴェント n.m 風を

「目的語」

→ あおぐ

con dei giornali. コン・デイ・ジョルナーリ adv. (手段) 新聞紙で

「副詞句」

Questo クェスト pron これは

「主語」

produceva プロトウチェヴァ 3 複半(produrre)v.t 生み出した

「動詞」

un piccolo fruscio continuo ウン・ピッコロ・フルシーオ・コンティヌオ

n.m 連続的にガサガサいう小さな音を

「目的語」

di carta sgualcita. ディ・カルタ・ズグアルチタ adj. こすれた紙の

「形容詞句」

フランス語版では

暑くなってきていた。傍聴席には、新聞紙を使って扇いでいる傍聴者たちが目についた。

新聞紙がしわくちゃになって、かすかな音を立て続けていた。

La chaleur montait et je voyais dans la salle les assistants s'éventer avec des journaux.

Cela faisait un petit bruit continu de papier froissé.

les assistants は「列席者」の意味もある → 「傍聴者」

イタリア語では、「astanti」または「auditori」が適当と思われる。

裁判長が合図をすると、廷吏が藁で編んだうちわを3個持ってきた。すると3人の裁判官はすぐにそれを使った。

Il presidente ha fatto un cenno e l'usciera ha portato tre ventagli di paglia intrecciata che i tre giudici hanno utilizzato immediatamente.

「主語」「動詞句」「目的語」 e 「主語」「動詞句」「目的語」

「目的語」「主語」「動詞句」「副詞句」

Il presidente イル・プレジデンテ n.m 裁判長が

「主語」

ha fatto ア・ファット 3 単現・完了形(fare)v.t (動作を) した

「動詞句」

un cenno ウン・チェノ n.m 合図を

「目的語」

e エ conj. そして

l'usciera ルシェーレ n.m 廷吏が

「主語」

ha portato ア・ポルタート 3 単現・完了形(portare)v.t 持ってきた

「動詞句」

tre ventagli トレ・ヴェンターリ pl(ventaglio).n.m うちわを3個

「目的語」

di paglia ディ・パーリア adv. (素材) 藁で出来た

「副詞句」

intrecciata イントレッチャタ 過去分詞(intrecciare)・受動 adj.f 編まれた 「形容詞」

che ケ pron それを

「目的語」

i tre giudici イ・トレ・ジューディチ pl(giudice).n.m 3人の裁判官は

「主語」

hanno utilizzato アンノ・ウチリザート 3 複現・完了形(utilizzare)v.t 使った

「動詞句」

immediatamente. インメデアタメンテ adv. すぐに

「副詞」

僕の尋問はこの直後に始まった。

Il mio interrogatorio è cominciato subito dopo.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Il mio interrogatorio イル・ミーオ・インテロガトリオ n.m 僕の尋問が 「主語」
 è cominciato エ・コミンチャート 3 単現・完了形(cominciare)v.i 始まった 「動詞句」
 subito dopo. スービト・ドーポ adv. 直後に 「副詞句」

裁判長は僕に穏やかに質問したが、思いやりがあるようにさえ感じた。

Il presidente mi ha interpellato con calma e persino, mi è parso, con una sfumatura di cordialità.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」 e 「間接目的語」「動詞句」「副詞句」

Il presidente イル・プレジデンテ n.m 裁判長は 「主語」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha interpellato ア・インテルペラート 3 単現・完了形(interpellare)v.t 質問した 「動詞句」
 con calma コン・カルマ adv. 穏やかに 「副詞句」
 e エ conj. そして
 persino, ペルシーノ adv. ～さえ 「副詞」
 mi ミ pron 僕には 「間接目的語」
 è parso, エ・パルソ 3 単現・完了形(parere)v.i ～に見えた 「動詞句」
 con una sfumatura コン・ウナ・スフマトゥーラ adv. (付属) 様子がある 「副詞句」
 di cordialità. ディ・コルデアリタ adj. 思いやりの 「形容詞句」

僕は再び氏名や住所などを述べさせられた、これにはとても気分を害したが、別の人間を間違えて裁くと重大なことになるので、結局はまったく当たり前ののだと考えた。

Mi hanno fatto di nuovo declinare le mie generalità e, malgrado ciò mi indisponesse molto, ho pensato che in fondo era abbastanza naturale, perché sarebbe troppo grave giudicare un uomo al posto di un altro.

「目的語」「動詞句」「副詞句」「補語」 e, 「副詞節」, 「動詞句」「目的語」, 「副詞節」

Mi ミ pron 僕に 「目的語」
 hanno fatto アンノ・ファット 3 複現・完了形・使役(fare)v.t ～をさせた 「動詞句」
 di nuovo ディ・ヌーヴォ adv. また、再び 「副詞句」
 declinare デクлинаレ 不定詞・Mi の動作 v.t 述べる、表明する 「補語」
 le mie generalità レ・ミー・ジェネラリタ

pl(generalità).n.f 僕の個人情報、指名・住所などを 「目的語」
 受動態に翻訳する

PARTE SECONDA 第2部

e, ɛ conj.	そして	
malgrado マルグァート conj.	～にもかかわらず	「副詞節」
ciò チョ pron	これが	「主語」
mi ミ pron	僕を	「目的語」
indisponesse インディスポネッセ 接・3 単半(indispórre)v.t	気分を悪くさせた	「動詞」
mólto, モルト adv.	ひどく、大変	「副詞」
ho pensato オ・ペンサート 1 単現・完了形(pensare)v.t	考えた	「動詞句」
che ケ conj.	～ということ	「目的語」
in fóndo イン・フォント adv.	結局は	「副詞句」
era エラ 3 単半・時制の一致(èssere)v.i	～である	「動詞」
abbastanza naturale, アッバスタツァ・ナトゥーレ adj.	まったく当然の	「補語」
perché ペルケ conj.	～なので	「副詞節」
sarèbbe サレッベ 条・3 単現・推量・変化(èssere)v.i	～になるだろう	「動詞」
tròppo grave トロッポ・グラーヴェ adj.	とても深刻な、重大な	「補語」
giudicare ジュディカーレ 不定詞 n.	裁くことは	「主語」
un uòmo ウン・ウオーモ n.m	人間を	「目的語」
al pósto di アル・ポ・スト・ディ prep	～の代わりに	「副詞句」
un altro. ウン・アルトロ pron	別人	「目的語」

それから裁判長は僕がやった事の話を開いて、段落ごとに僕の方へ振り向き、尋ねた：

Pòi il presidente ha ricominciato il racconto di quéllo che avevo fatto, rivolgendosi a me ogni tre frasi per domandare:

		「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」, 「副詞句」
Pòi ポーイ adv.	それから	「副詞」
il presidente イル・プレジデンテ n.m	裁判長は	「主語」
ha ricominciato ア・リコミンチャート 3 単現・完了形(ricominciare)v.t	再開した	「動詞句」
il racconto イル・ラコント n.m	話を	「目的語」
di quéllo ティ・クェッロ adj.	その	「形容詞句」
che ケ pron (目的語)	～する	「形容詞節」
avevo fatto, アヴ・エウ・ファット 1 単半・完了形(fare)		
v.t	やった	「動詞句」
rivolgendosi リヴ・オルジエンツィ ジェルンディオ(rivòlgersi)adv.	振り向きながら	「副詞句」
a me ア・メ adv.	僕のほうへ	「副詞句」
ogni tre frasi オンニ・トレ・フラジ adv.	段落ごとに	「副詞句」
per domandare: ペル・トマンデ 不定詞・結果 adv.	そして尋ねた	「副詞句」

「この通りですか？」そしてその度に僕は答えた：弁護士の指示に従って「はい、裁判長殿」

“È proprio così?” e ogni volta ho risposto: “Sì, signor presidente” secondo le istruzioni dell'avvocato.

《「動詞」「補語」》e「副詞句」「動詞句」：《「応答」》「副詞句」

“È 3 単現・疑問文(essere)v.i. ～ですか 「動詞」
 proprio così?” フロープリオ・コシ adj. これで適切な 「補語」
 e 3 conj. そして
 ogni volta オンニ・ヴォルタ adv. その度に 「副詞句」
 ho risposto: オリスポスト 1 単現・完了形(rispondere)v.i. 答えた 「動詞句」
 “Sì, signor presidente” シ・セニョール・プレジデンテ adv. はい、裁判長殿 「応答」
 secondo セコンド prep. ～によって 「副詞句」
 le istruzioni レ・イストルツィオーニ pl(istruzione).n.f 指示 「目的語」
 dell'avvocato. デラヴァガート adj. 弁護士の 「形容詞句」

裁判長が詳細に話をしたので、これは非常に時間がかかった。

Questo ha durato molto, perché il presidente era molto minuzioso nella sua relazione.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Questo ケスト pron. これは 「主語」
 ha durato ア・トゥラート 3 単現・完了形(durare)v.i. 続いた 「動詞句」
 molto, モルト adv. とても、長く 「副詞」
 perché ペルケ conj. (原因) ～なので 「副詞節」
 il presidente イル・プレジデンテ n.m. 裁判長は 「主語」
 era エラ 3 単半(essere)v.i. ～だった 「動詞」
 molto minuzioso モルト・ミヌチオーソ adj. 非常に厳密な 「補語」
 nella sua relazione. ネラ・スア・レラツィオーネ adv. 報告に 「副詞句」

この間ずっと、記者たちは書き取っていた。

Durante tutto questo tempo i giornalisti scrivevano.

「副詞句」「主語」「動詞」

Durante トゥランテ prep. ～の間、～じゅう 「副詞句」
 tutto questo tempo トゥット・ケスト・テンポ n.m. この時間 「目的語」
 i giornalisti イ・ジヨルナリスティ pl(giornalista).n.m. 記者たちは 「主語」
 scrivevano. スクリヴェガノ 3 複半(scrivere)v.t. 書いていた 「動詞」

僕は、一団の中で一番若い記者と小柄な自動人形のような女の視線を感じていた。

Io sentivo gli sguardi del più giovane di loro e della donnina automatica.

「主語」「動詞」「目的語」

Io イオ pron 僕は

「主語」

sentivo センチーヴォ 1 単半(sentire)v.t 感じていた

「動詞」

gli sguardi リ・ズグワルティ pl(sguardo).n.m 視線を

「目的語」

del più giovane デル・ピウ・ジョヴァネ pron 一番若い記者の

「形容詞句」

di loro ティ・ローロ adj. 彼らの中で

「副詞句」

e エ conj. そして

della donnina automatica. デラ・トニナ・アウトマカ

adj. 小柄な自動人形のような女の

「形容詞句」

路面電車の座席はみな裁判長の方を振り向いていた。

La panca di tram era tutta girata verso il presidente.

「主語」「動詞句」「副詞句」

La panca di tram ラ・パンカ・ディ・トラム n.f 路面電車の座席は

「主語」

era tutta girata エラ・トゥッタ・ジラタ 3 単半・完了形(girare)v.i みな振り向いていた

「動詞句」

verso il presidente. ヴェルソ・イル・プレジデンテ adv. 裁判長の方を

「副詞句」

裁判長は咳払いをし、書類をめくって、うちわであおぎながら僕の方に振り向いた。

Il quale ha tossito, ha sfogliato il suo incartamento e si è voltato verso di me agitando il ventaglio.

「主語」「動詞句」, 「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」「副詞句」

Il quale イル・クワレ pron (presidente の代用) 裁判長は

「主語」

ha tossito, ア・トッシート 3 単現・完了形(tossire)v.i 咳払いをした

「動詞句」

ha sfogliato ア・スフォルティート 3 単現・完了形(sfoliare)

v.t (本のページを) ぱらぱらめくった

「動詞句」

il suo incartamento イル・スーオ・インカルタメント n.m 書類を

「目的語」

e エ conj. そして

si è voltato シ・エ・ヴォルタート 3 単現・完了形(voltarsi)v.pr 振り向いた

「動詞句」

verso di me ヴェルソ・ディ・メ adv. 僕の方へ

「副詞句」

agitando アジタント ジェルンディオ(agitare)adv. 振りながら

「副詞句」

il ventaglio. イル・ヴァンターリオ n.m うちわを

「目的語」

彼は、明らかに僕の事件に関係のないいくつかの問題にこれから取り掛からなければならないが、恐らく反対にそれと非常に密接に関係があるだろう、と僕に言った。

Mi ha détto che doveva óra occuparsi di cèrte questioni apparentemente estranee alla mia faccènda, ma che forse, invéce, avevano con essa un legame mólto strétto.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」,ma「直接目的語」

Mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha détto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

doveva óra occuparsi トヴエーヴァ・オー・オカパルシ 3 単半・必要(dovére+不定詞 occuparsi)

v.pr(di に) 今～に専念しなければならない

「動詞句」

di cèrte questioni ティ・チェルテ・クェスチオーニ adv. いくつかの問題に 「間接目的語」

apparentemente estranee アパレンテメンテ・エストラネー

adj. 明らかに関係のない

「形容詞句」

alla mia faccènda, アラ・ミー・ファチェンダ

adv. 僕の事件に

「副詞句」

ma マ conj. しかし

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

forse, フォルセ adv. 恐らく

「副詞」

invéce, インヴェーチェ adv. 反対に、ところが

「副詞」

avevano アヴァエヴァノ 3 複半・時制の一致(avére)v.t ～がある

「動詞」

con essa コン・エッサ adv. それと adv.

「副詞句」

un legame ウン・レガーマ n.m 関係

「目的語」

mólto strétto. モルト・ストレット adj. 非常に密接な 「形容詞句」

僕は彼がまた母さんの事を話すつもりだと分かった。それと同時に、それは僕にとってなんと嫌な事かと感じた。

Ho capito che avrebbe ancóra parlato délla mamma e allo stéssò tèmpo ho sentito quanto la còsa mi dava nòia.

「動詞句」「目的語」e「副詞句」「動詞句」「目的語」

Ho capito オ・カピート 1 単現・完了形(capire)v.t 分かった

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

avrebbe ancóra parlato アヴレッベ・アンコーラ・パルタート 条・3 単現・完了形・時制の一致

(parlare)v.i(di のことを) また話すつもりである

「動詞句」

délla mamma テラ・マンマ adv. 母さんのことを

「間接目的語」

e エ conj. そして

allo stéssò tèmpo アロ・ステッソ・テンポ adv. 同時に

「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

ho sentito オ・センチート 1 単現・完了形(sentire)v.t 感じた	「動詞句」
quanto クワント pron どれほど〜するかということ	「目的語」
la còsa ラ・コサ n.f そのことが	「主語」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
dava ダヴァ 3 単半・時制の一致(dare)v.t 与える	「動詞」
nòia. ノイア n.f 不快感を	「直接目的語」

どうして母さんを養老院に入れたのかと聞かれた。

Mi ha chiesto perché avevo messo la mamma all'ospizio.

	「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
Mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた	「動詞句」
perché ペルケ conj. なぜ〜かということ	「直接目的語」
avevo messo アヴェ・エヴァ・オ・メツ 1 単現・完了形(mettere)v.t 入れた	「動詞句」
la mamma ラ・マンマ n.f 母さんを	「目的語」
all'ospizio. アロスビ・ツイオ adv. 養老院へ	「副詞句」

僕は、母さんに付き添って世話してもらうのに十分なお金が無かったからだと答えた。

Ho risposto che era perché non avevo abbastanza denaro per farla assistere e curare.

	「動詞句」「目的語」
Ho risposto オ・リスポ・スト 1 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた	「動詞句」
che ケ conj. 〜ということ	「目的語」
era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i 〜である	「動詞」
perché ペルケ conj. 〜だからということ	「補語」
non avevo ノン・アヴェ・エヴァ・オ 1 単半・否定(avere)v.t 〜が無かった	「動詞句」
abbastanza denaro アッバスタンツァ・デナロ n.m 十分なお金	「目的語」
per +不定詞 ペル adv. (目的) 〜するために	「副詞句」
farla assistere e curare. ファル・ラ・アッシステレ・エ・クラレ 不定詞・使役(fare+不定詞+la)	
v.t 母さんに付き添って世話してもらう	「動詞句」

その事は辛かったかと尋ねられたので、僕も母さんももうお互いに、さらに隣人さえも期待していなし、二人とも新しい生活に馴染んでいると答えた。

Mi ha chiesto se avevo sofferto délla còsa e ho rispósto che tanto io che la mamma non ci aspettavamo più nulla l'uno dall'altro e del rèsto neppure dal prossimo e che ci eravamo abituati tutt'e due alle nostre nuòve vite.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e 「動詞句」「目的語」 e 「目的語」

Mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chièdere)v.t 尋ねた

「動詞句」

se セ conj. ～かどうかということ

「直接目的語」

avevo sofferto アヴェウグォ・ソフフェルト 1 単半・完了形(soffrire)

v.i(di で、に) 苦しんだ

「動詞句」

délla còsa デラ・コサ adv. その事で

「副詞句」

e エ conj. そして

ho rispósto オ・リスポスト 1 単現・完了形(rispóndere)v.t 答えた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということ

「目的語」

tanto io che la mamma タント・イオ・ケ・ラ・マンマ pl.n 僕も母さんも

「主語」

non ci aspettavamo ノン・チアスパッタヴァモ 1 複半・否定(aspettarsi)

v.pr 期待していなかった

「動詞句」

più nulla ピウ・ヌッラ pron. もう何も

「目的語」

l'uno dall'altro ルーノ・ダラルトロ adv. お互いに

「副詞句」

e エ conj. そして

del rèsto デル・レスト adv. 結局のところ、さらに

「副詞句」

neppure dal prossimo ネップーレ・ダルプロッシモ n.m 隣人さえも

「目的語」

e エ conj. そして

che ケ conj. ～ということ

「目的語」

ci eravamo abituati チ・エラヴァーモ・アビトゥアーティ 1 複半・完了形(abituarsi)

v.pr 馴染んでいた

「動詞句」

tutt'e due alle トウッテ・ドゥエ・アレ pron.pl 二人とも

「主語」

nostre nuòve vite. ノストレ・ヌオーヴェ・ヴィーテ pl(vita).n.f 新しい生活

「目的語」

tanto...che～

...も～も同様に、...するほど～である、...であると同時に～、...である上に～だ

それから裁判長はその点にはこだわらないと言って、検事に僕についてさらに質問はあるかと尋ねた。

Il presidente ha detto allora che non voleva insistere su quel punto e ha chiesto al Pubblico Ministero se aveva altre domande da rivolgermi.

「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」 e 「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」
 Il presidente イル・プレジデント n.m 裁判長は 「主語」
 ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 allora アッローラ adv. すると、それで 「副詞」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 non voleva insistere ノン・ヴォーレヴァ・インシステレ 3 単半・願望・否定(volére+不定詞 insistere)
 v.i こだわらない 「動詞句」
 su quel punto ス・ケル・ポイント adv. その点に関して 「間接目的語」
 e エ conj. そして
 ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた 「動詞句」
 al Pubblico Ministero アル・プブリコ・ミニストロ adv. 検事に 「間接目的語」
 se セ conj. ～かどうかを 「直接目的語」
 aveva アヴァ・エヴァ 3 単半・時制の一致(avére)v.t ～がある 「動詞」
 altre domande アルトレ・ドマンデ pl(domanda).n.f さらに質問が 「目的語」
 da rivolgermi. ダー・リヴォルジエル・ミ 不定詞・目的
 adv. 僕に向けるための 「副詞句」

彼は背中を半分僕に向けて、僕を見ないで、裁判長の許可を得て、僕がアラブ人を殺すつもりで一人で泉に戻ったのかを尋ねたいのだが、と言った。

Costui mi voltava a metà le spalle e senza guardarmi mi ha detto che, con l'autorizzazione del presidente, avrebbe desiderato sapere se ero tornato da sólo verso la fonte, con l'intenzione di uccidere l'arabo.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 e
 「副詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Costui コストゥーイ pron(Pubblico Ministero の代用) 彼は 「主語」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 voltava ヴォルターヴァ 3 単半(voltare)v.t 向けていた 「動詞」
 a metà le spalle ア・メタ・レ・スパッレ pl(spalla).n.f 背中を半分 「直接目的語」
 e エ conj. そして
 senza guardarmi センツァ・グワルダールミ 不定詞 adv. 僕を見ないで 「副詞句」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 che, ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

con l'autorizzazione del presidente, コン・ラウトリザツツイオーネ・テル・プレジデント

adv. (条件) 裁判長の許可のもとに

「副詞句」

avrebbe desiderato sapere アヴレツハ・デシテラト・サペーレ 条・3 単現・完了形・願望

(desiderare+不定詞 sapere)v.t 出来れば知りたいのだが

「動詞句」

se セ conj. へかどうかを

「目的語」

ero tornato エロ・トルナト 1 単半・完了形(tornare)v.i 戻った

「動詞句」

da sólo ダ・ソーロ adv. 一人で

「副詞句」

verso la fonte, ヴェールツ・ラ・フォンテ adv. 泉の方へ

「間接目的語」

con l'intenzione di uccidere l'arabo. コン・リンテンツィオーネ・ディ・ウツシテール・ラーラボ

adv. (所有) アラブ人を殺す意図を持って

「副詞句」

「違います」と、僕は答えた。「それではなぜ、武器を持っていたのか、どうして正確にあの場所に戻ったのか？」

“No,” ho detto. “Allóra, perché si trovava armato, e perché tornare precisamente verso quel luogo?”

《「応答」》, 「動詞句」 | 《「副詞句」「動詞句」「補語」, e 「副詞句」》

“No,” ノ adv. 違います、いいえ

「応答」

ho detto. オ・テット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った、答えた

「動詞句」

“Allóra, アッローラ adv. それでは

「副詞」

perché ペルケ adv. なぜ、どうして

「副詞」

si trovava シ・トロヴァーヴァ 3 単半(trovarsi)v.pr への状態になっていた

「動詞句」

armato, アルマト adj. 武装した、武器を持った

「補語」

e エ conj. そして

perché +不定詞 ペルケ adv. なぜ～するのか

「副詞句」

tornare トルナーレ 不定詞・時制の一致 v.i 戻った

「動詞」

precisamente プレチザメンテ adv. 正確に、まさに

「副詞」

verso quel luogo? ヴェールツ・ケル・ルオーゴ adv. あの場所に

「間接目的語」

perché +不定詞

なぜ～するのか

Perché affannarsi tanto? なぜそんなにいらいらしているのか?

Non capisco perché prendere la macchina quando son due passi.

すぐそばなのにどうして車に乗るのか私には分からない。

僕は、それは偶然だと答えた。すると検事は、悪意のある口調で述べた：

Ho detto che era stato il caso. E il Pubblico Ministero ha osservato con accento cattivo:

「動詞句」「目的語」 | E 「主語」「動詞句」「副詞句」

Ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

era stato エラ・スタート 3 単半・完了形・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」

il caso. イル・カゾ n.m 偶然 「補語」

E エ conj. そして

il Pubblico Ministero イル・プ・ッブリコ・ミニステロ n.m 検事は 「主語」

ha osservato ア・オッセルヴァート 3 単現・完了形(osservare)v.t 述べた 「動詞句」

con accento cattivo: コン・アチェント・カッティーヴォ adv. (手段) 悪意のある口調で 「副詞句」

「今のところはこれですべてです」

“Quésto sarà tutto per il momento.”

《「主語」「動詞」「補語」》

“Quésto ケスト pron これは 「主語」

sarà サラ 3 単末(essere)v.i ～になります 「動詞」

tutto トゥット pron すべて 「補語」

per il momento.” ペル・イル・モメント adv. 今の所、この時としては 「副詞句」

その後、少なくとも僕にとって全てが少し不明瞭になった。

In séguito tutto è stato un po' confuso, alméno per me.

「副詞句」「主語」「動詞句」「補語」

In séguito イン・セグイト adv. その後 「副詞句」

tutto トゥット pron 全てが 「主語」

è stato エ・スタート 3 単現・完了形・変化(essere)v.i ～になった 「動詞句」

un po' confuso, ウン・ポ・コンフーゾ adj. 少し混乱した、不明瞭な 「補語」

alméno アルメーノ adv. 少なくとも 「副詞」

per me. ペルメ adv. 僕にとっては 「副詞句」

しかしその密談の後で、裁判長は審問は休延され、証人たちの審問のために午後に延期されたと告げた。

Ma dopo quel conciliabolo, il presidente ha dichiarato che l'udienza era chiusa e rinviata al pomeriggio per l'escussione dei testimoni.

Ma 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Ma マ conj. しかし

dopo quel conciliabolo, トーボ・ケル・コンチアボロ adv. その密談の後で 「副詞句」

il presidente イル・プレジデンテ n.m 裁判長は 「主語」

ha dichiarato ア・ディキアラート 3 単現・完了形(dichiarare)v.t 告げた、表明した 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

l'udienza ルディエンサ n.f 審問は 「主語」

era chiusa エラ・キウサ 3 単半・受動(chiudere)v.t 閉じられた 「動詞句」

e エ conj. そして

rinviata リンヴィアタ 3 単半・受動(rinviare)v.t 延期された 「動詞句」

al pomeriggio アル・ポメリッジョ adv. 午後に 「副詞句」

per l'escussione ペル・レスクッシオーネ adv. (目的) 尋問のために 「副詞句」

dei testimoni. デイ・テストイモニ adj. 証人たちの 「形容詞句」

考えている時間は無かった。

Non ho avuto tempo per riflettere.

「動詞句」 「目的語」

Non ho avuto ノ・ノ・アヴァート 1 単現・完了形・否定(avére)v.t ～が無かった 「動詞句」

tempo テンポ n.m 時間が 「目的語」

per riflettere. ペル・リフレッテレ 不定詞・目的 adv. 考えるための 「副詞句」

僕は独房から連れ出され、護送車に乗せられて、刑務所に連れて行かれた。そこで、僕は食事をとった。

Mi hanno portato via, mi hanno fatto salire sulla vettura cellulare e condotto alla prigione dove ho mangiato.

「目的語」 「動詞句」 「副詞」, 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」 e

「動詞句」 「間接目的語」, 「副詞」 「動詞句」

Mi ミ pron 僕を 「目的語」

hanno portato アンノ・ポルタート 3 複現・完了形(portare)v.t 連れて行った 「動詞句」

via, ヴィア adv. よそへ 「副詞」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

hanno fatto salire アンノ・ファット・サリール 3 複現・完了形・使役(fare+不定詞 salire)

PARTE SECONDA 第2部

v.t 乗らせた	「動詞句」
sulla vettura cellulare スラ・ウ`ェットカーラ・チェルラーレ adv. 護送車に	「副詞句」
e エ conj. そして	
condotto コント`ット 3 複現・完了形(condurre)v.t 連れて行った	「動詞句」
alla prigione アラ・プリジ`ョーネ adv. 刑務所に	「間接目的語」
dóve ト`ーヴ`ェ adv. そこで	「副詞」
ho mangiato. オ・マンジ`ャート 1 単現・完了形(mangiare)v.t 食事をした	「動詞句」

自分が疲れていると気付くのにかろうじて十分な短い時間の後で、彼らはまた僕を迎えに来た。

Dopo pochissimo tèmpo, appena sufficiente per accorgermi che ero stanco, sono venuti a prendermi;

	「副詞句」,「動詞句」
Dopo pochissimo tèmpo, ト`ーホ`・ホ`キッシモ`テンホ` adv. 短い時間の後で	「副詞句」
appena sufficiente アッペ`ーナ`スフィシエンテ adj. かろうじて十分な	「形容詞句」
per accorgermi ヘル・アッコールジ`エルミ 不定詞(accorgersi)・目的	
adv. 自覚するために	「副詞句」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
ero エロ 1 単半・時制の一致(èssere)v.i ～である	「動詞」
stanco, スタンコ adj. 疲れている	「補語」
sono venuti a prendermi; ソーノ・ウ`ェヌーティ・ア`プレンデルミ 3 単現・完了形.pl・しに来た	
(venire a+不定詞 prendermi)v.i 僕を迎えに来た	「動詞句」

全てが再び始まり、僕は同じ法廷で同じ顔の前にいる。

tutto ha ricominciato e mi sono trovato nélla stéssa sala, davanti agli stéssi visi.

	「主語」「動詞句」 e 「動詞句」「副詞句」
tutto トゥット pron 全ては	「主語」
ha ricominciato ア`リコミンチャート 3 単現・完了形(ricominciare)v.i 再び始まった	「動詞句」
e エ conj. そして	
mi sono trovato ミ`ソーノ`トラヴァ`アート 1 単現・完了形(trovarsi)v.pr (ある場所に)居た	「動詞句」
nélla stéssa sala, ネラ`ステッサ`サラ adv. 同じ法廷で	「副詞句」
davanti agli stéssi visi. ダ`ヴァンテ`アリ`セテッシ`ウ`ィーシ` adv. 同じ顔の前に	「副詞句」

ただ、暑さは酷すぎた。まるで奇跡のように、陪審員、検事、弁護士そして何人かの記者がみんな、
麦藁のうちわを持っていた。

Sólo che il calore era móltó più fòrte e cóme per miracolo ognuno dei giurati, il Pùbblico
Ministèro, il mio avvocato e alcuni dei giornalisti, tutti erano muniti di ventàgli di pàglia.

「副詞節」 e 「主語」「動詞句」「副詞句」

Sólo che+直接法 ソロ・ケ conj. (事実の提示) ただ〜である

「副詞節」

il calore イル・カローレ n.m 暑さは

「主語」

era エラ 3 単半(èssere)v.i 〜だった

「動詞」

móltó più fòrte モルト・ピウ・フォルテ adj. ひどく暑すぎた

「補語」

e エ conj. そして

cóme per miracolo コーメ・ペル・ミラコロ adv. 奇跡のように

「副詞句」

ognuno dei オンニョノ・デイ pron 〜のそれぞれが、一人一人が

「主語」

giurati, ジュラーティ pl(giurato)n.m 陪審員

「目的語」

il Pùbblico Ministèro, イル・プブリーコ・ミニステロ n.m 検事

「目的語」

il mio avvocato イル・ミーオ・アヴァウカート n.m 僕の弁護士

「目的語」

e エ conj. そして

alcuni dei giornalisti, アルクーニ・デイ・ジヨルナリスティ

pl(alcuno).pron 何人かの記者たち

「目的語」

tutti トゥッティ pron.pl みな

「主語」

erano muniti エラーノ・ムニーティ 3 複半・受動.pl(munire)v.t 防備されていた

「動詞句」

di ventàgli di pàglia. デイ・ヴァンターリ・デイ・パーリア adv. (手段) 麦藁のうちわで

「副詞句」

Sólo che+接続法

条件の提示

Lo fare subito solo che ne avesse la possibilità.

その可能性さえあれば、私はすぐにそれをやるのだが。

若い記者とあの奇妙な小柄の女は相変わらずそこにいた。しかし、彼らはうちわを使わず、
無言でずっと僕を見つめていた。

Il giornalista giovane e la strana donnina c'erano sèmpre. Ma non si facevano vènto e mi
guardavano ancóra in silènzio.

「主語」「動詞句」「副詞」 | Ma 「動詞句」「目的語」 e 「目的語」「動詞」「副詞句」

Il giornalista giovane イル・ジヨルナリスタ・ジョーヴァネ n.m 若い記者は

「主語」

e エ conj. そして

la strana donnina ラ・ストラナ・ドニーナ n.f あの奇妙な小柄の女は

「主語」

c'erano チェラーノ 3 複半・存在(èsserci)v.i いた

「動詞句」

sèmpre. センプレ adv. 相変わらず

「副詞」

PARTE SECONDA 第2部

Ma マ conj. しかし

non si facevano ノン・シ・ファチェヴァノ 3 複半・否定(fare+si)

v.t 自分自身に～作らなかった

「動詞句」

vènto ヴェント n.m 風を

「目的語」

e エ conj. そして

mi ミ pron 僕を

「目的語」

guardavano グワルダヴァノ 3 複半(guardare)v.t 見つめていた

「動詞」

ancóra アンコーラ adv. まだ、いまだに

「副詞」

in silènzio. イン・シレンツィオ adv. 無言で

「副詞句」

僕は顔を覆っていた汗を拭った。そして、養老院の院長が呼ばれるのを聞いて初めて、その場所と自分自身の認識を取り戻した。

Ho asciugato il sudóre che mi copriva la fàccia e ho ripreso un po' coscienza del luògo e di me stéssso sólo quando ho udito chiamare il direttóre déll'ospizio.

「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」「副詞節」

Ho asciugato オ・アシュカート 1 単現・完了形(asciugare)v.t 拭った

「動詞句」

il sudóre イル・ストーレ n.m 汗を

「目的語」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

mi ミ pron 僕の

「間接目的語」

copriva コプリヴァ 3 単半(coprire)v.t 覆っていた

「動詞」

la fàccia ラ・ファッチャ n.f 顔を

「直接目的語」

e エ conj. そして

ho ripreso オ・リプレゾ 1 単現・完了形(riprendere)v.t 取り戻した

「動詞句」

un po' coscienza ウン・ポ・コシェンサ n.f 少し認識を、意識を

「目的語」

del luògo デル・ルオーゴ adj. その場所の

「形容詞句」

e エ conj. そして

di me stéssso デイ・ミ・ステツソ adj. 自分自身の

「形容詞句」

sólo quando ソロ・クワント adv. ～する時に初めて

「副詞節」

ho udito オ・ウディート 1 単現・知覚動詞・完了形(udire)

v.t(+不定詞) (～するのを) 聞いた

「動詞句」

chiamare キアマーレ 不定詞 n. (廷吏が) 呼ぶのを

「目的語」

il direttóre イル・ディレットーレ n.m 院長を

「目的語」

déll'ospizio. デロスピーチオ adj. 養老院の

「形容詞句」

PARTE SECONDA 第2部

母さんは僕のことと不平を言っていたかと彼に尋ねられた。彼はそうだと答えたが、近親者の不平を言うのは入寮者の癖みたいなものと付け加えた。

Gli è stato chiesto se la mamma si lamentava di me. Lui ha detto di sì, ma che era un po' la mania di tutti i suoi ospiti, quella di lagnarsi dei loro familiari.

「間接目的語」「動詞句」「主語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」,ma「目的語」
 Gli リ pron(direttore の代用) 彼に 「間接目的語」
 è stato chiesto エ・スタート・キスト 3 単現・完了形・受動(chiedere)v.t 尋ねられた 「動詞句」
 se セ conj. へかどうか 「主語」
 la mamma ラ・マンマ n.f 母さんは 「主語」
 si lamentava シ・ラメントヴァ 3 単半・習慣(lamentarsi)
 v.pr(di に、の) 不平を言っていた 「動詞句」
 di me. デイ・メ adv. 僕のこと 「間接目的語」
 Lui ルーイ pron(direttore の代用) 彼は 「主語」
 ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った、答えた 「動詞句」
 di sì, デイ・シ adv. そうだと 「目的語」
 dire di sì[no] 肯定[否定]する
 ma マ conj. しかし
 che ケ conj. へということを 「目的語」
 era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i へである 「動詞」
 un po' la mania ウン・ポ・ラ・マニア n.f 癖のようなもの 「補語」
 di tutti i suoi ospiti, デイ・トクティ・イスオイ・オスピチ adj. 入寮者全員の 「形容詞句」
 quella ケッラ pron そのことは 「主語」
 di lagnarsi デイ・ラグナルシ 不定詞・同格 adj. 不平をいう 「形容詞句」
 dei loro familiari. デイ・ロー・ファミリアーリ adv. 近親者の 「形容詞句」

裁判長は、僕が母さんを養老院へ入れたことで僕を責めていたかを彼に詳しく述べさせた。そして彼はその通りだとまた答えた。

Il presidente gli ha fatto precisare se la mamma mi rimproverasse di averla messa all'ospizio, e il direttore ha ancora detto di sì.

「主語」「目的語」「動詞句」「補語」,e「主語」「動詞句」「目的語」
 Il presidente イル・プレジデンテ n.m 裁判長は 「主語」
 gli リ pron(direttore の代用) 彼に 「目的語」
 ha fatto ア・ファット 3 単現・完了形・使役(fare)v.t(+不定詞) へさせた 「動詞句」
 precisare プレシサル 不定詞・gli の動作 v.t 明確にする、詳しく述べる 「補語」
 se セ conj. へかどうかということを 「目的語」
 la mamma ラ・マンマ n.f 母さんは 「主語」

PARTE SECONDA 第2部

mi ミ pron 僕を 「目的語」
 rimproverasse リンプロヴェラッセ 接・3 単半(rimproverare)
 v.t 咎めていた 「動詞」
 di averla messa デイ・アヴェル・ラ・メッサ 不定詞(mettere+la)・完了形
 adv. (理由) 母さんを入れたことで 「副詞句」
 all'ospizio, オスピツィオ adv. 養老院へ 「副詞句」
 e エ conj. そして
 il direttore イル・ディレットーレ n.m 院長は 「主語」
 ha ancora detto ア・アンコーラ・デット 3 単現・完了形(dire+ ancora)v.t また言った 「動詞句」
 di sì. デイ・シ adv. そうだと 「目的語」

しかし今回は何も付け加えなかった。別の質問に対して、彼は葬儀の日の僕の冷静さに驚いたと答えた。

Ma questa volta non ha aggiunto nulla. A un'altra domanda ha risposto che era rimasto stupito della mia calma il giorno dei funerali.

Ma 「副詞句」「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「動詞句」「目的語」

Ma マ conj. しかし
 questa volta クェスタ・ヴォルタ adv. 今回は 「副詞句」
 non ha aggiunto ノ・ナ・アジュント 3 単現・完了形・否定(aggiungere)
 v.t 付け加えなかった 「動詞句」
 nulla. ヌッラ pron 何も～ない 「目的語」
 A un'altra domanda ア・ウ・ナルトラ・トマンダ adv. 別の質問に対して 「副詞句」
 ha risposto ア・リスポスト 3 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということ 「目的語」
 era rimasto エラ・リマスト 3 単半・完了形・状態(rimanere)v.i ～になった 「動詞句」
 stupito ストゥピト adj. 驚いた 「補語」
 della mia calma デラ・ミア・カルマ adv. (原因) 僕の冷静さに 「副詞句」
 il giorno dei funerali. イル・ジヨルノ・テル・フネーリ
 adv. 葬儀の日に 「副詞句」

彼は、冷静とはどういう意味かと尋ねられた。

Gli è stato chiesto che cosa intendesse per calma.

「間接目的語」「動詞句」「主語」

Gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 è stato chiesto エ・スタート・キエスト 3 単現・完了形・受動(chiedere)v.t 尋ねられた 「動詞句」
 che cosa ケ・コサ conj. 何を～するかということが 「主語」

PARTE SECONDA 第2部

intendesse インテンデッセ 接・3 単半・時制の一致(intendere)v.t 意味する 「動詞」
 per calma. ペル・カルマ adv. (手段) 冷静によって 「副詞句」

すると、彼は靴の先端を見て言った。僕は母さんに会おうとせず、ただの一度も涙を流さず、葬儀の後は墓前で母親に思いをめぐらすこともなく、すぐに立ち去ったと。

Allóra si è guardato le punte delle scarpe e ha detto che io non avevo voluto vedére la mamma. non avevo pianto neppure una vòlta e me ne ero andato immediataménte dópo i funerali senza raccogliermi sulla tómba.

「副詞」「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」

Allóra アッローラ adv. そして、それから 「副詞」

si è guardato シ・エ・グ・ワルダート 3 単現・完了形(guardarsi)

v.pr (自分のからだの一部を) 見た 「動詞句」

le punte レ・プンテ pl(punta).n.f つま先を 「目的語」

delle scarpe デレ・スカルペ° adj. 靴の 「形容詞句」

e エ conj. そして

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

io イオ pron 僕は 「主語」

non avevo voluto vedére ノン・アウ・エーウ・オウ・オルト・ウ・エデーレ 1 単半・完了形・願望・否定

(volére+不定詞 vedére)v.t 会おうとしなかった 「動詞句」

la mamma, ラ・マンマ n.f 母さんに 「目的語」

non avevo pianto ノン・アウ・エーウ・オ・アント 1 単半・完了形・否定(piangere)

v.i 涙を流さなかった 「動詞句」

neppure una vòlta ネップ・レ・ウナ・ウ・オルタ adv. ただの一度も～ない 「副詞句」

e エ conj. そして

me ne ero andato メ・ネ・エロ・アンダート 1 単半・完了形(andarsene)

v.pr 立ち去った 「動詞句」

immediataménte インメデアタメンテ adv. すぐに 「副詞」

dópo トーポ° prep (時間) ～のあとで 「副詞句」

i funerali イネラーリ pl(funerale)n.m 葬式、葬儀 「目的語」

senza +不定詞 センツァ prep ～せずに 「副詞句」

raccogliermi ラッコリエルミ 不定詞(raccogliersi)

v.pr 集中する、没頭する 「動詞句」

sulla tómba. スラ・トンバ° adv. 墓の前で 「副詞句」

院長が驚いたことはもう一つあった：葬儀社の社員は僕が母さんの年齢を知らなかったと彼に報告していたのだ。

C'era un'altra còsa che l'aveva sorpreso: un impiegato delle pòmphe fùnebri gli aveva detto che non conoscevo l'età della mamma.

「動詞句」「主語」:「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

C'era チェラ 3 単半・存在(èsserci)v.i. ～があった 「動詞句」
 un'altra còsa ウ・ナルトラ・コサ n.f. もう一つの事が 「主語」
 che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 l' ル pron(direttore の代用) 彼を 「目的語」
 aveva sorpreso: アヴァ・エウヴァ・ソルプ・レーゾ 3 単半・完了形(sorprendere)
 v.t. 驚かせた 「動詞句」
 un impiegato ウン・インピエガート n.m. 社員が 「主語」
 delle pòmphe fùnebri テレ・ボンペ・フーネブリ adj. 葬儀社の 「形容詞句」
 gli リ pron(direttore の代用) 彼に 「間接目的語」
 aveva detto アヴァ・エウヴァ・デット 3 単半・完了形(dire)v.t. 言っていた 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 non conoscevo ノン・コノシェヴォ 1 単半・否定(conoscere)
 v.t. 知らなかった 「動詞句」
 l'età della mamma. レタ・テラ・マンマ n.f. 母さんの年齢を 「目的語」

少し黙り込んでから、裁判長は院長が言ったことは僕自身のことなのかと尋ねた。

C'è stato un momento di silenzio e il presidente gli ha chiesto se era proprio di me che aveva parlato.

「動詞句」「主語」e「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

C'è stato チェ・スタート 3 単現・完了形・存在(èsserci)v.i. ～があった 「動詞句」
 un momento di silenzio ウン・モメント・ディ・シレンツィオ n.m. 沈黙の時間が 「主語」
 e エ conj. そして
 il presidente イル・プレジデンテ n.m. 裁判長は 「主語」
 gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t. 尋ねた 「動詞句」
 se セ conj. ～かどうかを 「直接目的語」
 era エラ 3 単半(essere)v.i. ～だった 「動詞」
 proprio di me プロプリオ・ディ・メ adj. 僕自身の 「補語」
 che ケ conj. ～ということは 「主語」
 aveva parlato. アヴァ・エウヴァ・パルラート 3 単半・完了形(parlare)
 v.t. 話した 「動詞句」

院長が質問を理解できないようだったので、裁判長が彼に言った：「規則ですから」

Siccome il direttore non comprendeva la domanda, gli ha detto: “è la legge.”

「副詞節」, 「間接目的語」 「動詞句」: 《「動詞」 「補語」》

Siccome シッコメ conj. (原因) ~なので

「副詞節」

il direttore イル・ディレットレ n.m 院長が

「主語」

non comprendeva ノン・コンブレンデーヴァ 3 単半・否定(comprendere)

v.t 理解できなかった

「動詞句」

la domanda, ラ・トマンダ n.f 質問を

「目的語」

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

ha detto: ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

“è 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

la legge.” ラ・レッジェ n.f 規律、原則

「補語」

それから裁判長は、証人に質問はないかと検事に尋ねた。すると検事は大声で言った：

Poi il presidente ha domandato al P. M. se non aveva nulla da chiedere ai testimoni, e il P. M. ha esclamato:

「副詞」 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「直接目的語」, e 「主語」 「動詞句」

Poi ポーイ adv. それから

「副詞」

il presidente イル・プレジデンテ n.m 裁判長は

「主語」

ha domandato ア・トマンダート 3 単現・完了形(domandare)v.t 尋ねた

「動詞句」

al P. M. アル・ピー・エンメ adv. (Pubblico Ministero の略) 検事に

「間接目的語」

se セ conj. ~がどうかを

「直接目的語」

non aveva ノン・アヴァーヴァ 3 単半・否定・時制の一致(avere)v.t ~がない 「動詞」

nulla ヌッラ pron 何も~ない

「目的語」

da chiedere ダ・キエデーレ 不定詞・目的 adv. 尋ねるべき

「副詞句」

ai testimoni, アイ・テスティモニ adv. 証人に

「目的語」

e エ conj. そして

il P. M. イル・ピー・エンメ n.m 検事は

「主語」

ha esclamato: ア・エスクラマト 3 単現・完了形(esclamare)v.i 大声で言った

「動詞句」

「いえ、ありません。これで十分です！」と、僕に勝ち誇ったような眼差しで言った。それで、僕は法廷内の皆からどれ程嫌われているかを感じて、何年ぶりかで、泣きたいという馬鹿げた気分になった。

“Oh, no! Questo è sufficiente” con un tale entusiasmo e un tale sguardo di trionfo verso di me, che per la prima volta da molti anni ho avuto una stupida voglia di piangere perché ho sentito quanto ero detestato da tutta quella gente.

《「応答」「主語」「動詞」「補語」》,che「副詞句」「動詞句」「目的語」「副詞節」
 “Oh, no! オ・ノー adv. いえ、ありません 「応答」
 Questo ケスト pron これは 「主語」
 è エ 3 単現(essere)v.i 〜である 「動詞」
 sufficiente” スフィエンテ adj. 十分な 「補語」
 con コン prep (態度) 〜で 「副詞句」
 un tale entusiasmo ウン・ターレ・エントウジ・アーズモ n.m それほどの熱狂 「目的語」
 e エ conj. そして
 un tale sguardo ウン・ターレ・ズグワルト° n.m そんな眼差し 「目的語」
 di trionfo ティ・トリウンフォ adj. 勝利の 「形容詞句」
 verso di me, ヴェール・ディ・メ adv. 僕に向けた 「副詞句」
 che ケ pron (結果) それで〜する
 per la prima volta ペル・ラ・プリメラ・ヴァルタ adv. 初めて 「副詞句」
 da molti anni ダ・モルチ・アニ adv. 何年も前から 「副詞句」
 ho avuto オ・アヴート 1 単現・完了形(avere)v.t 持った 「動詞句」
 una stupida voglia ウナ・ストゥーピダ・ヴァーリア n.f 馬鹿げた望みを 「目的語」
 di piangere ティ・ピアンジェレ 不定詞・同格 adv. 泣くという 「副詞句」
 perché ペルケ conj. なぜなら 「副詞節」
 ho sentito オ・センチート 1 単現・完了形(sentire)v.t 感じた 「動詞句」
 quanto クワント adv. どれほど〜するかを 「目的語」
 ero detestato エロ・デテスタート 1 単半・受動・時制の一致(detestare)
 v.t 嫌われている 「動詞句」
 da tutta quella gente. ダ・トゥッタ・ケッラ・ヘンテ
 adv. (動作主) 法廷内の人全てから 「副詞句」

陪審員と僕の弁護士に何か質問があるかと聞いた後で、裁判長は養老院の門衛に聞いた。

Dopo aver chiesto ai giurati e al mio avvocato se avessero domande da fare, il presidente ha udito il portiere dell'ospizio.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Dopo aver chiesto トーポ・アヴェル・キエスト adv. 尋ねた後で

「副詞句」

Dopo (di) aver +過去分詞 「～した後で」

ai giurati アイ・ジューラティ adv. 陪審員に

「間接目的語」

e e conj. そして

al mio avvocato アル・ミーオ・アヴァカート adv. 弁護士に

「間接目的語」

se セ conj. ～かどうかを

「直接目的語」

avessero アヴェッセロ 接・3 複半・時制の一致(avére)v.t. ～がある 「動詞」

domande da fare, トマンダ・ダ・ファレ n.f. すべき質問を 「目的語」

il presidente イル・プレジデンテ n.m. 裁判長は

「主語」

ha udito ア・ウディート 3 単現・完了形(udire)v.t. 聞いた

「動詞句」

il portiere イル・ポルチエレ n.m. 門衛に

「目的語」

dell'ospizio. デ・ロスピーツィオ adj. 養老院の

「形容詞句」

彼に対しても他の証人たちと同じ儀式が繰り返された。入廷する時、門衛は僕を見つめてから、視線をそらした。

Si è ripetuto per lui lo stesso cerimoniale delle altre volte. Arrivando, il portiere mi ha guardato e ha girato gli occhi dall'altra parte.

「動詞句」 「間接目的語」 「主語」 | 「副詞」, 「主語」 「目的語」 「動詞句」 e

「動詞句」 「目的語」 「副詞句」

Si è ripetuto シ・エ・リペトウト 3 単現・完了形・受動(ripetersi)v.pr. 繰り返された 「動詞句」

per lui ペル・ルーイ adv. 彼に対して

「間接目的語」

lo stesso cerimoniale ロ・ステッソ・チェリモニアーレ n.m. 同じ儀式が

「主語」

delle altre volte. デッレ・アルトレ・ウオルテ adv. 他の証人たちと

「副詞句」

Arrivando, アリヴァント ジェルンディオ(arrivare)adv. 入廷する時

「副詞」

il portiere イル・ポルチエレ n.m. 門衛は

「主語」

mi ミ pron. 僕を

「目的語」

ha guardato ア・グワルダート 3 単現・完了形(guardare)v.t. 見つめた

「動詞句」

e e conj. そして

ha girato ア・ジラト 3 単現・完了形(girare)v.t. (方向に) 向けた

「動詞句」

gli occhi リ・オッキ pl(occhio).n.m. 視線を

「目的語」

dall'altra parte. ダッラルトラ・パルテ adv. 反対側に

「副詞句」

彼は聞かれた質問に答えた。僕は母さんに会おうとせず、煙草を吸い、眠って、カフェラテを飲んだと答えた。

Ha risposto alle domande che gli venivano rivolte. Ha detto che non avevo voluto vedere la mamma, che avevo fumato, che avevo dormito e bevuto il caffè latte.

「動詞句」「間接目的語」 | 「動詞句」「目的語」, 「目的語」, 「目的語」

Ha risposto ア・リスポスト 3 単現・完了形(rispondere)v.i 答えた 「動詞句」

alle domande アレ・ドマンデ adv. 質問に 「間接目的語」

che ケ pron.pl (主語) ~する 「形容詞節」

gli リ pron 彼に 「間接目的語」

venivano rivolte. ヴェニヴァノ・リヴォルテ 3 複半・受動(venire+過去分詞 rivolgere)

v.t 向けられた 「動詞句」

Ha detto ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. ~ということを 「目的語」

non avevo voluto vedere ノン・アヴェウ・ヴォ・ウ・オルト・ウ・エテ・レ 1 単半・完了形・願望

(volere+不定詞 vedere)v.t 会いたがらなかった 「動詞句」

la mamma, ラ・マンマ n.f 母さんに 「目的語」

che ケ conj. ~ということを 「目的語」

avevo fumato, アヴェウ・ヴォ・フマト 1 単半・完了形(fumare)

v.t タバコを吸った 「動詞句」

che ケ conj. ~ということを 「目的語」

avevo dormito アヴェウ・ヴォ・ドルミート 1 単半・完了形(dormire)v.i 眠った 「動詞句」

e エ conj. そして

bevuto ベヴート 1 単半・完了形(bere)v.t 飲んだ 「動詞句」

il caffè latte. イル・カフェラテ n.m カフェラテを、カフェオレを 「目的語」

その時、僕は何か法廷全体を蜂起させるのを感じた。そして初めて、自分は有罪なのだと理解した。

Allora ho sentito che qualcosa sollevava tutta la sala e per la prima volta ho compreso che ero colpevole.

「副詞」「動詞句」「目的語」 e 「副詞句」「動詞句」「目的語」

Allora アッローラ adv. その時 「副詞」

ho sentito オ・センチート 1 単現・完了形(sentire)v.t 感じた 「動詞句」

che ケ conj. ~ということを 「目的語」

qualcosa クワルコーサ pron 何か 「主語」

sollevava ソルヴァーヴァ 3 単半(sollevare)v.t 蜂起させる 「動詞」

tutta la sala トウッタ・ラ・サーラ n.f 法廷全体を 「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

e エ conj. そして

per la prima volta ペル・ラ・プリマ・ヴァルタ adv. 初めて

「副詞句」

ho compreso オ・コンプレゾ 1 単現・完了形(comprendere)v.t 理解した

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

ero エロ 1 単半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

colpevole. コルペ・ヴァレ adj. 有罪の

「補語」

門衛はカフェラテの話と煙草の話をまた繰り返させられた。

Hanno fatto ripètere al portiere la stòria del caffelatte e quèlla dèlle sigarétte.

「動詞句」「補語」「間接目的語」「補語」

Hanno fatto アンノ・ファット 3 複現・完了形・使役(fare)v.t ～させた

「動詞句」

ripètere リペーテレ 不定詞・portiere の動作 v.t 繰り返す

「補語」

al portiere アル・ポルチエーレ adv. 門衛に

「間接目的語」

la stòria ラ・ストーリア n.f 話を

「目的語」

del caffelatte デル・カフェラッテ adj. カフェラテの

「形容詞句」

e エ conj. そして

quèlla dèlle sigarétte. ケッラ・テル・シガレッテ pron タバコの話

「目的語」

検事は皮肉を込めた視線で僕を見つめた。この時、僕の弁護士が門衛に、彼も僕と一緒にタバコを吸わなかったのかと尋ねた。

Il P. M. mi ha guardato con una luce ironica negli occhi. A questo punto il mio avvocato ha chiesto al portiere se non aveva fumato anche lui con me.

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」

Il P. M. イル・ピー・エム n.m 検事は

「主語」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

ha guardato ア・グワルダート 3 単現・完了形(guardare)v.t 見つめた

「動詞句」

con una luce ironica コン・ウナ・ルチェ・イロニカ adv. 皮肉を込めて

「副詞句」

negli occhi. ネリ・オッキ adv. 目に

「副詞句」

A questo punto ア・クェスト・プント adv. この時

「副詞句」

il mio avvocato イル・ミーオ・アヴヴァカート n.m 僕の弁護士が

「主語」

ha chiesto ア・キェスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた

「動詞句」

al portiere アル・ポルチエーレ adv. 門衛に

「間接目的語」

se セ conj. ～かどうかを

「直接目的語」

non aveva fumato ノン・アヴァ・エヴァ・フマート 3 単半・完了形・否定(fumare)

v.t タバコを吸わなかった

「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

anche lui con me. アンケ・ルーイ・コン・メ adv. 彼も僕と一緒に 「副詞句」

しかし検事は、この質問に対して激しく抗議した。

Ma il P. M., si è opposto con violenza a questa domanda:

Ma 「主語」「動詞句」「副詞句」「間接目的語」

Ma マ conj. しかし

il P. M. イル・ピー・エム n.m 検事は 「主語」

si è opposto シ・エ・ホッスト 3 単現・完了形(opporsi)v.pr 抗議した 「動詞句」

con violenza コン・ヴィオレンサ adv. 激しく 「副詞句」

a questa domanda: ア・クェスタ・ド・マンダ adv. この質問に対して 「間接目的語」

「誰が犯罪者なのか？誰が？そして、確実な証拠を矮小化するために検察側の証人を汚そうとするこのやり方何なんだ？」

“Chi è il criminale, qui, e che sono questi metodi che tendono a insozzare i testi dell'accusa per minimizzare delle testimonianze che permangono cionondimeno schiacciati?”

《「主語」「動詞」「補語」, 「主語」, e 「主語」「動詞」「補語」》

“Chi キ pron 誰が 「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」

il criminale, イル・クリミナーレ n.m 犯罪者、罪人 「補語」

qui, キ pron 誰が 「主語」

e エ conj. そして

che ケ pron 何が 「主語」

sono ソーノ 3 複現(essere)v.i ~である 「動詞」

questi metodi クェスティ・メートディ pl(metodo)n.m このやり方、方法 「補語」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

tendono a insozzare テントノ・ア・インソツァーレ 3 複現・傾向(tendere a+不定詞 insozzare)

v.t 汚そうとする 「動詞句」

i testi dell'accusa イ・テストイ・テッラカーザ pl(tèste).n 検察の証人を 「目的語」

per minimizzare ヘル・ミニミツァーレ 不定詞・目的

adv. 矮小化するために 「副詞句」

delle testimonianze テレ・テストイモニアンゼ

pl(testimonianza).n.f 証拠を、証言を 「目的語」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

permangono ヘルマンゴノ 3 複現(permanere)

v.i 残っている 「動詞」

PARTE SECONDA 第2部

cionondimeno チョノンディメーノ conj. けれども

schiaccianti?” スキアチャンティ adv. 圧倒的に「副詞」

それにもかかわらず、裁判長は門衛に質問に答えるように求めた。

Malgrado ciò il presidente ha chiesto al portiere di rispondere alla domanda.

「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」「補語」

Malgrado ciò マルグラト・チォ adv. それにも関わらず

「副詞句」

il presidente イル・プレジデンテ n.m 裁判長は

「主語」

ha chiesto ア・キェスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t(di+不定詞 ~するように) 求めた「動詞句」

al portiere アル・ポルチエーレ adv. 門衛に

「間接目的語」

di rispondere ティ・リスポンドレ 不定詞・portiere の動作 v.i(a に) 答える

「補語」

alla domanda. アッ・トマンダ adv. 質問に

「間接目的語」

年老いた門衛はひどく困惑して言った：「私が間違った事をしたのはよく分かっています。

ですが、この方が勧めてくれたタバコを断ることが出来なかったのです」

Il vecchio ha detto con grande imbarazzo: “So bene che ho sbagliato. Ma non ho osato rifiutare la sigarétta che mi ha offerta il signore.”

「主語」「動詞句」「副詞句」：《「動詞」「副詞」「目的語」 | Ma 「動詞句」「目的語」》

Il vecchio イル・ヴェッキョ n.m 年老いた門衛は

「主語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

con grande imbarazzo: コン・グランデ・インバラッツォ adv. ひどく困惑して

「副詞句」

“So ソ 1 単現(sapere)v.t 知っている

「動詞」

bene ベーネ adv. よく

「副詞」

che ケ conj. ~ということを

「目的語」

ho sbagliato. オ・ズバリャート 1 単現・完了形(sbagliare)v.i 間違っていた

「動詞句」

Ma マ conj. しかし

non ho osato rifiutare ノ・ノ・オサート・リフィウターレ 1 単現・完了形・否定・あえて

(osare+不定詞 rifiutare)v.t 敢えて断ることが出来なかった

「動詞句」

la sigarétta ラ・シガレッタ n.f タバコを

「目的語」

che ケ pron (目的語) ~する

「形容詞節」

mi ミ pron 私に

「間接目的語」

ha offerta ア・オフエルタ 3 単現・完了形(offrire)v.t おすすめしてくれた「動詞句」

il signore.” イル・シニョール pron この方が

「主語」

最後に僕は、何か付け加えるものはあるかと聞かれた。

Infine hanno chiesto a me se avevo qualcosa da aggiungere.

「副詞」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」

Infine インフィーネ adv. 最後に

「副詞」

hanno chiesto アンノ・キェスト 3 複現・完了形(chiiedere)v.t 尋ねた

「動詞句」

a me ア・メ adv. 僕に対して

「間接目的語」

se セ conj. 〜かどうかを

「直接目的語」

avevo アヴ・ェーヴォ 1 単現(avére)v.t 〜がある

「動詞」

qualcosa クワルコーサ pron 何か

「目的語」

da aggiungere. ダ・アヅジ・ェンジ・ェレ 不定詞・目的

adv. 付け加えるべき

「副詞句」

「何もありません」と、僕は答えた。「ただ、証人は正しいという事だけです。僕が彼にタバコを勧めたのはその通りです」

“Niente,” ho risposto, “soltanto che il tèsse ha ragione. È vero che sono stato io a offrirgli una sigarétta.”

《「応答」》, 「動詞句」, 《「応答」 | 「動詞」「補語」「主語」》

“Niente,” ニエンテ pron 何もありません

「応答」

ho risposto, オ・リスポ・スト 1 単現・完了形(rispondere)v.i 答えた

「動詞句」

“soltanto che ソラメント・ケ pron 〜という事だけです

「応答」

il tèsse イル・テステ n.m 証人は

「主語」

ha ア 3 単現(avére)v.t 〜がある

「動詞」

ragione. ラジ・オーネ n.f 道理

「目的語」

È エ 3 単現(essere)v.i 〜である

「動詞」

véro ヴェーロ adj. 正しい、本当の

「補語」

che ケ conj. 〜ということは

「主語」

sono stato ソーノ・スタート 1 単現・完了形・時制の一致(essere)v.i 〜である

「動詞」

io イ・オ pron 僕

「補語」

a offrirgli ア・オフフリル・リ 不定詞 n. 彼に提供したのは

「主語」

una sigarétta.” ウナ・シガレッタ n.f タバコを

「目的語」

すると門衛は少し驚いた様子である種の感謝を込めて僕を見つめた。

Il portiere mi ha guardato allora con un po' di sorpresa e una specie di gratitudine.

「主語」「目的語」「副詞句」「動詞句」

Il portiere イル・ポ・ルチエーレ n.m 門衛は

「主語」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

ha guardato ア・グ・ワルダート 3 単現・完了形(guardare)v.t 見つめた

「動詞句」

allóra アッローラ adv. すると、その時

「副詞」

con コン prep(様態) ~の様子で

「副詞句」

un po' di sorpresa ウン・ポ・ディソルプレサ n.f すこしの驚き

「目的語」

e エ conj. そして

una specie di gratitudine. ウナ・スペ・シエ・ディグラチトゥーディネ

pron ある種の感謝

「目的語」

彼は少しためらってから、僕にカフェラテを勧めたのは彼の方だと言った。

Ha esitato, poi ha detto che era stato lui a offrirmi il caffè latte.

「動詞句」, 「副詞」「動詞句」「目的語」

Ha esitato, ア・エジタート 3 単現・完了形(esitare)v.i ためらった

「動詞句」

poi ポーイ adv. それから

「副詞」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

che ケ conj. ~ということ

「目的語」

era stato エラ・スタート 3 単半・完了形(essere)v.i ~だった

「動詞句」

lui ルーイ pron 彼

「補語」

a offrirmi ア・オフィール・ミ 不定詞 n. 僕に勧めたのは

「主語」

il caffè latte. イル・カフェラテ n.m カフェラテを

「目的語」

僕の弁護士は勝利の雄たけびをあげて、陪審員たちは評価するだろうと言った。

Il mio avvocato ha avuto un'esclamazione di trionfo e ha detto che i giurati "avrebbero apprezzato"

「主語」「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」

Il mio avvocato イル・ミー・オ・アヴァッォカート n.m 僕の弁護士は

「主語」

ha avuto ア・アヴァート 3 単現・完了形(avere)v.t (動作を) した

「動詞句」

un'esclamazione エ・ネスクラマツィオーネ n.f 叫びを

「目的語」

di trionfo ディ・トリウンフォ adj. 勝利の

「形容詞句」

e エ conj. そして

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

che ケ conj. ~ということ

「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

i giurati イ・ジューラーティ pl(giurato).n.m 陪審員たちは 「主語」
 “avrebbero apprezzato” アヴレベロ・アプレツァート 条・3 複現・完了形・推量(apprezzare)
 v.t 評価するだろう 「動詞句」

しかし検事は僕たちの頭上から大声で怒鳴り、言った：

Ma il P.M. ha tuonato al di sopra delle nostre teste dicendo:

Ma 「主語」「動詞句」「副詞句」

Ma マ conj. しかし
 il P.M. イル・ピー・エンメ n.m 検事は 「主語」
 ha tuonato ア・トゥオナート 3 単現・完了形(tuonare)v.i 大声で怒鳴った 「動詞句」
 al di sopra アル・ディ・ソプラ adv. 上に 「副詞句」
 delle nostre teste デッレ・ノストレ・テステ adj. 僕たちの頭の 「形容詞句」
 dicendo: ディチェント ジェルンディオ(dire)adv. そして言った 「副詞」

「はい、陪審員の皆さんは評価するでしょう。そして、他人であれば僕にコーヒーを勧めることは構わないが、息子の場合は自分を産んでくれた親の遺体の前ではそれを断る義務があったと結論付けるでしょう」門衛は自分の席に戻った。

“Sì, i signori giurati apprezzeranno. E concluderanno che un estraneo poteva sì offrire il caffè, ma che un figlio aveva il dovere di rifiutarlo davanti al corpo di colei che lo aveva dato alla luce.” Il portiere è ritornato al suo posto.

《「応答」「主語」「動詞」 | E「動詞」「目的語」,ma「目的語」》
 「主語」「動詞句」「間接目的語」

“Sì, シ adv. はい 「応答」
 i signori giurati イ・シニョーリ・ジューラーティ pl(giurato).n.m 陪審員のみなさんは 「主語」
 apprezzeranno. アプレツェランノ 3 複末(apprezzare)v.t 評価するでしょう 「動詞」
 E エ conj. そして
 concluderanno コンクルデランノ 3 複末(concludere)v.t 結論付けるだろう 「動詞」
 che ケ conj. ～ということ 「目的語」
 un estraneo ウン・エストラネオ n.m 他人が 「主語」
 poteva sì offrire ポテヴァ・シ・オフリーレ 3 単半・可能(potere+不定詞 offrire+ sì)
 v.t 僕に勧めることが出来ただろう 「動詞句」
 il caffè, イル・カフェ n.m コーヒーを 「目的語」
 ma マ conj. しかし
 che ケ conj. ～ということ 「目的語」
 un figlio ウン・フィーリオ n.m 息子は 「主語」
 aveva アヴェアヴァ 3 単半・時制の一致(avére)v.t ～があった 「動詞」

PARTE SECONDA 第2部

il dovere	イル・ドゥェレ	n.m	義務が	「目的語」
di rifiutarlo	ディ・リフイタル・ロ		不定詞・すべき	
adv.	それを断るべき			「副詞句」
davanti al corpo	ダヴァンティ・アル・コルポ	adv.	遺体の前では	「副詞句」
di colei che	ディ・キオレイ・ケ	conj.	～する	「形容詞節」
lo	pron		彼を	「目的語」
aveva dato alla luce.	アヴァ・エヴァ・ダート・アラ・ルーチェ	3 単半・完了形(dare alla luce)		
v.t	生んでくれた			「動詞句」
Il portiere	イル・ポルチエーレ	n.m	門衛は	「主語」
è ritornato	エ・リトルナト	3 単現・完了形(ritornare)v.i	戻った	「動詞句」
al suo pósto.	アル・スー・ポ・スト	adv.	自分の席に	「間接目的語」

トーマス・ペレスの順番が来た時、廷吏は彼を証言台まで支えなければならなかった。

Quando è venuto il turno di Tommaso Perez, un usciere ha dovuto sorreggerlo fino alla sbarra.

				「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」
Quando	クワント	conj.	～した時	「副詞節」
è venuto	エ・ヴェヌト	3 単現・完了形(venire)v.i	来た	「動詞句」
il turno	イル・トルノ	n.m	順番が	「主語」
di Tommaso Perez,	ディ・トマツ・ペレス	adj.	トーマス・ペレスの	「形容詞句」
un usciere	ウン・ウシエーレ	n.m	廷吏は	「主語」
ha dovuto sorreggerlo	ア・ドゥヴァート・ソレッジエル・ロ	3 単現・完了形・必要		
(dovere+不定詞 sorreggere+lo)v.t	彼を支えなければならなかった			「動詞句」
fino alla	フィーノ・アラ	adv.(場所)	～まで	「副詞句」
sbarra.	スバーラ	n.f	柵、証言台	「目的語」

ペレスは僕の母さんの事はよく知っているが、僕のことは葬儀の日に1度会ったことがあるだけだと言った。

Perez ha detto che aveva conosciuto soprattutto mia madre e aveva visto me una volta soltanto, il giorno dei funerali.

				「主語」 「動詞句」 「目的語」
Perez	ペレス	n.m	ペレスは	「主語」
ha detto	ア・デット	3 単現・完了形(dire)v.t	言った	「動詞句」
che	ケ	conj.	～ということを	「目的語」
aveva conosciuto	アヴァ・エヴァ・コノシュト	3 単半・完了形・時制の一致(conoscere)		
v.t	知っている			「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

soprattutto	ソプラット adv. 特に	「副詞」
mia madre	ミー・マトレ n.f 母さんを	「目的語」
e	エ conj. そして	
aveva visto	アヴェ・ヴァ・ヴィスト 3 単半・完了形(vedere)v.t 見たことがある	「動詞句」
me	メ pron 僕を	「目的語」
una volta soltanto	ウナ・ヴォルタ・ソルタント adv. 1 度だけ	「副詞句」
il giorno dei funerali	イル・ジヨルノ・デイ・フネラーリ adv. 葬儀の日に	「副詞句」

僕はその日何をしていたかと彼は尋ねられた。それに彼は答えた：

Gli è stato chiesto che cosa avevo fatto io quel giorno e ha risposto:

		「間接目的語」「動詞句」「主語」 e 「動詞句」
Gli	リ pron 彼に	「間接目的語」
è stato chiesto	エ・スタート・キスト 3 単現・完了形・受動(chiedere)v.t 尋ねられた	「動詞句」
che cosa	ケ・コサ pron 何を～するかが	「主語」
avevo fatto	アヴェ・ヴァ・フォ・ファット 1 単現・完了形(fare)v.t ～をした	「動詞句」
io	イ・オ pron 僕は	「主語」
quel giorno	ケル・ジヨルノ adv. その日に	「副詞句」
e	エ conj. そして	
ha risposto:	ア・リスポ・スト 3 単現・完了形(rispondere)v.i 答えた	「動詞句」

「お判りだと思いますが、あの日は私にとって悲し過ぎました。それで、何も見えませんでした。悲しみが見ることを妨げていたのです。それほど、私にとって大きい悲しみでした。そして、気絶するほどでした。だから、この方を見ることは出来ませんでした」

“Lèi capirà, era troppo un dispiacere per me. E così non ho visto niente. Era il dispiacere che me lo impediva. Perché era un dispiacere molto grande per me. E mi sono svenuto, persino, e così non ho potuto vedere il signore.”

《「主語」「動詞」, 「動詞」「補語」 | 「副詞句」「動詞句」「目的語」

「動詞」「補語」「主語」 | Perché 「動詞」「補語」

E 「動詞句」「副詞」, e 「副詞」「動詞句」「目的語」》

Lèi	レイ pron あなたは	「主語」
capirà	カピラ 3 単未(capire)v.t 分かるだろう	「動詞」
era	エラ 3 単半(essere)v.i (その日は) ～だった	「動詞」
troppo un dispiacere	トロッポ・ウン・ディステ・アチェレ adj. あまりにも悲しい	「補語」
per me	ペル・メ adv. 私にとって	「副詞句」
E così	エ・コシ adv. それで	「副詞句」
non ho visto	ノ・ノ・ヴィスト 1 単現・完了形・否定(vedere)v.t 見えなかった	「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

niènte. ニエンテ pron 何も～ない	「目的語」
Era エラ 3 単半(èssere)v.i ～だった	「動詞」
il dispiacére イル・ディスピ・アチェレ n.m 悲しみ	「補語」
che ケ conj. ～ということは	「主語」
me メ pron 私に	「間接目的語」
lo ロ pron それを	「直接目的語」
impediva. インペ・ディヴァ 3 単半(impedire)v.t 邪魔した、妨げた	「動詞」
Perché ペル・ケ conj. ～なので	
era エラ 3 単半(èssere)v.i ～だった	「動詞」
un dispiacére ウン・ディスピ・アチェレ n.m 悲しみ	「補語」
mólto grande モルト・グランデ adj. 非常に大きい	「副詞句」
per me. ペル・メ adv. 私にとって	「副詞句」
E エ conj. そして	
mi sono svenuto, ミ・ソーノ・ズヴェヌート 1 単現・完了形(svenirsi)v.pr 気を失った	「動詞句」
persino, ペルシーノ adv. ～さえ	「副詞」
e エ conj. そして	
così コシ adv. それで	「副詞」
non ho potuto vedére ノ・ノ・ポトウ・ヴェデーレ 1 単現・完了形・可能・否定 (potére+不定詞 vedére)v.t 見ることが出来なかった	「動詞句」
il signore.” イル・シニョーレ n.m この方を	「目的語」

検事は、少なくとも僕が泣いているのを見ましたかと彼に尋ねた。彼は見なかったと答えた。

Il P. M. gli ha chiesto se alméno mi aveva visto piangere. Perez ha rispósto di no.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 「主語」「動詞句」「間接目的語」	
Il P. M. イル・ピー・エンメ n.m 検事は	「主語」
gli リ pron 彼に	「間接目的語」
ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた	「動詞句」
se セ conj. ～かどうかを	「直接目的語」
alméno アルメーノ adv. 少なくとも	「副詞」
mi ミ pron 僕を	「目的語」
aveva visto アヴェ・ヴァ・ヴァイスト 3 単半・完了形・知覚動詞(vedére) v.t(qualcuno+不定詞 人が～するのを) 見た	「動詞句」
piangere. ピ・アンジエレ 不定詞・mi の動作 v.i 泣く	「補語」
Perez ペレス n.m ペレスは	「主語」
ha rispósto ア・リスポスト 3 単現・完了形(rispondere)v.i 答えた	「動詞句」
di no. ディ・ノ adv. いいえと	「間接目的語」

今度は検事が言った：「陪審員の皆さんは評価するでしょう」しかし、僕の弁護士は怒った。

Il P. M. ha detto allora a sua volta: “I signori giurati apprezzeranno.” Ma il mio avvocato è andato in collera.

「主語」「動詞句」「副詞句」：《「主語」「動詞」》Ma 「主語」「動詞句」「補語」
 Il P. M. イル・ピー・エム n.m 検事は 「主語」
 ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 allora アッローラ adv. そして、今度は 「副詞」
 a sua volta: ア・スア・ヴォルタ adv. 彼の順番で、彼のほうも 「副詞句」
 “I signori giurati イ・シニョーリ・ジューラティ pl(giurato).n.m 陪審のみなさんは 「主語」
 apprezzeranno.” アプレツェランノ 3 複未(apprezzare)v.t 評価するだろう 「動詞」
 Ma マ conj. しかし
 il mio avvocato イル・ミー・アヴァカート n.m 僕の弁護士が 「主語」
 è andato エ・アンダー 3 単現・完了形・変化(andare)v.i 〜になった 「動詞句」
 in collera. イン・コレラ adv. 激怒の状態に 「補語」

彼はペレスに、僕には過剰に思われる口調で、「僕が泣いていないところを見ましたか」と尋ねた。

Ha chiesto a Perez, con un tono di voce che mi è parso eccessivo, “se aveva visto che io non piangevo”.

「動詞句」「間接目的語」「副詞句」, 《「直接目的語」》
 Ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた 「動詞句」
 a Perez, ア・ペレス adv. ペレスに 「間接目的語」
 con un tono di voce コン・ウン・トノ・ディ・ヴォーチェ adv. 声の調子で 「副詞句」
 che ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」
 mi ミ pron 僕には 「間接目的語」
 è parso エ・パルソ 3 単現・完了形(parere)v.i 〜に思われる 「動詞句」
 eccessivo, エチェシーヴォ adj. 過剰な 「補語」
 “se セ conj. 〜かどうかを 「直接目的語」
 aveva visto アヴァ・ヴェスト 3 単半・完了形(vedere)v.t 見た 「動詞句」
 che ケ conj. 〜ということを 「目的語」
 io イオ pron 僕が 「主語」
 non piangevo”. ノン・ピアンジェヴォ 1 単半・否定(piangere)
 v.i 泣かなかった 「動詞句」

ペレスは、見ませんでしたと答えた。傍聴者は笑った。僕の弁護士は、片方の袖をたくし上げて断固とした口調で言った：

Perez ha detto: “No.” Il pubblico ha riso. Il mio avvocato, tirandosi su una delle maniche, ha detto in tono perentorio:

「主語」「動詞句」：《「応答」》「主語」「動詞句」 | 「主語」「副詞句」「動詞句」「副詞句」
Perez エレス n.m ペレスは 「主語」
ha detto: ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
“No.” ノ adv. 見なかった 「応答」
Il pubblico イル・プブブリコ n.m 傍聴者は 「主語」
ha riso. ア・リーゾ 3 単現・完了形(ridere)v.i 笑った 「動詞句」
Il mio avvocato, イル・ミーオ・アヴヴァカート n.m 僕の弁護士は 「主語」
tirandosi チラントシ ジェルンディオ(tirarsi)v.pr 自分の～を引っ張りながら 「副詞句」
su una delle maniche, ス・ウナ・デレ・マニケ n.f 片方の袖を 「目的語」
ha detto ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
in tono イン・トノ adv. 口調で 「副詞句」
perentorio: ペレントリオ adv. 断固とした 「形容詞」

「これがこの裁判の姿です。ここでは、全てが真実であり、同時に、何も真実ではない。」
検事は険しい表情をして、鉛筆の先端で書類の束を突っついてた。

“Ecco l’immagine di questo processo. Qui tutto è vero e niente è vero.” Il P. M. aveva la faccia dura e punzecchiava gli incartamenti con la punta della matita.

《「副詞」「主語」 | 副詞「主語」「動詞」「補語」 e 「主語」「動詞」「補語」》,
「主語」「動詞」「目的語」 e 「動詞」「目的語」「副詞句」

“Ecco エッコ adv. (動詞と副詞を合わせたような表現) これが～だ、ここに～がある 「副詞」
l’immagine リンマージネ n.f 姿が 「主語」
di questo processo. ディ・クェスト・プロセス adj. この裁判の 「形容詞句」
Qui クイ adv. (場所) ここでは 「副詞」
tutto トット pron 全てが 「主語」
è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」
vero ヴェロ adj. 真実の 「補語」
e エ conj. そして
niente ニエンテ pron 何もが～ない 「主語」
è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」
vero.” ヴェロ adj. 真実の 「補語」
Il P. M. イル・ピー・エム n.m 検事は 「主語」
aveva アヴェヴァ 3 単半(avere)v.t (特徴を) していた 「動詞」

PARTE SECONDA 第2部

la faccia ラ・ファッチャ n.f	顔、表情	「目的語」
dura トゥーラ adj.	厳しい	「形容詞」
e エ conj.	そして	
punzecchiava プンツェキアーヴァ 3 単半(punzecchiare)v.t	突っついていた	「動詞」
gli incartaménti リ・インカルタメント pl(incartaménto).n.m	書類の束を	「目的語」
gli 男性単数形 lo の複数形		
con la punta コン・ラ・プンタ adv.	先端で	「副詞句」
della matita. テラ・マチータ adj.	鉛筆の	「形容詞句」

5 分間の休憩があり、その間に弁護士は全て順調に進んでいると僕に言った、その後で弁護側から召喚されたセレステが聞かれた。

Dopo cinque minuti di sospensione, durante i quali l'avvocato mi ha detto che tutto andava per il meglio, è stato udito Celeste che era citato dalla difesa.

	「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」, 「動詞句」 「主語」	
Dopo トーポ prep (時間) ~の後で		「副詞句」
cinque minuti チンクエ・ミヌーティ pl(minuto).n.m 5 分		「目的語」
di sospensione, ティ・ソスペンシオーネ n.f 中断の		「形容詞句」
durante i quali トゥランテ・イクワリ adv. その間に		「副詞句」
l'avvocato ラヴヴォカート n.m 弁護士は		「主語」
mi ミ pron 僕に		「間接目的語」
ha detto ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った		「動詞句」
che ケ conj. ~ということ		「直接目的語」
tutto トゥット pron 全てが		「主語」
andava アンダーヴァ 3 単半・時制の一致(andare)v.i 進んでいる		「動詞」
per il meglio, ペル・イル・メリオ adv. 最も有利に		「副詞句」
è stato udito エ・スタート・ウディート 3 単現・完了形・受動(udire)v.t 聞かれた		「動詞句」
Celeste セステ n.m セレステが		「主語」
che ケ pron (主語) ~する		「形容詞節」
era citato エラ・チアート 3 単半・受動(citare)v.t 召喚された		「動詞句」
dalla difesa. ダッラ・ディフェーサ adv. 弁護側から		「副詞句」

弁護側、それは僕のことだ。セレステは時々僕の方へ視線を投げかけてきた。それから彼は両手でパナマ帽を回していた。

La difesa, ero io. Celeste gettava di tanto in tanto degli sguardi dalla mia parte e faceva girare un cappello di panama fra le mani.

「補語」「動詞」「主語」 | 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」「副詞句」

e 「動詞句」「目的語」「副詞句」

La difesa, ラ・ディフェーサ n.f 弁護側とは 「補語」
 ero エロ 1 単半・時制の一致(essere)v.i 〜である 「動詞」
 io. イオ pron 僕が 「主語」
 Celeste セステ n.m セレステは 「主語」
 gettava ジェッターヴァ 3 単半(gettare)v.t 投げかけてきた 「動詞」
 di tanto in tanto ディ・タント・イン・タント adv. 時々 「副詞句」
 degli sguardi デリ・スグアルディ pl(sguardo).n.m 視線を 「目的語」
 dalla mia parte ダッラ・ミア・パルテ adv. 僕の方へ 「副詞句」
 e エ conj. そして
 faceva girare ファチェヴァ・ジラーレ 3 単半・使役(fare+不定詞 girare)
 v.t 回転させていた 「動詞句」
 un cappello ウン・カッペーロ n.m 帽子を 「目的語」
 di panama ディ・パナマ adj. (素材) パナマの 「形容詞句」
 panama パナマ n.m パナマ帽、パナマ (エクアドル原産のパナマ草)
 fra le mani. フラ・レ・マーニ adv. (空間) 両手の間で 「副詞句」

彼は、日曜日に僕と一緒に競馬に行く時に時々着ていた背広を新調して着ていた。

Indossava il vestito nuovo che si metteva certe volte quando veniva la domenica alle corse con me.

「動詞」「目的語」

Indossava イントッサーヴァ 3 単半(indossare)v.t 着ていた 「動詞」
 il vestito nuovo イル・ヴェストー・ヌエヴォ n.m 新しい背広を 「目的語」
 che ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」
 si metteva シ・メッテヴァ 3 単半(mettersi)v.pr 着ていた 「動詞句」
 certe volte チェルテ・ヴォルテ adv. 時々 「副詞句」
 quando クワンド conj. 〜するときに 「副詞節」
 veniva ヴェニヴァ 3 単半・時制の一致(venire)v.i 行く 「動詞」
 la domenica ラ・ドメニカ adv. 日曜日に 「副詞句」
 alle corse アレ・コルセ adv.(corsa) 競馬に 「間接目的語」
 con me. コン・メ adv. 僕と一緒に 「副詞句」

しかし、彼は恐らくカラーを留められなかったのだと思う、シャツを閉じるための銅のボタンが1つしかついていなかったからだ。

Ma probabilmente non era riuscito ad allacciarsi il colletto perché aveva soltanto un bottone di rame per tener chiusa la camicia.

Ma 「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞節」

Ma マ conj. しかし

probabilmente プロバビルメンテ adv. おそらく 「副詞」

non era riuscito ad allacciarsi ノン・エラ・リウシット・アド・アラッチャルシ 3 単半・完了形・成功・否定

(riuscire a+不定詞 allacciarsi)v.pr 締められなかった 「動詞句」

il colletto イル・コレット n.m 襟を、カラーを 「目的語」

perché ペルケ conj. (理由) ~なので 「副詞節」

aveva アヴェーヴァ 3 単半(avére)v.t 持っていた 「動詞」

soltanto un bottone ソルタンテ・ウン・ボットーネ n.m ボタンを1つしか 「目的語」

di rame ディ・ラーメ adv. (素材) 銅の 「副詞句」

per tener ペル・テネル 不定詞・目的 adv. (状態を) 保つために 「副詞句」

chiusa キウサ adj(chiuso).f 閉じた 「補語」

la camicia. ラ・カミーチャ n.f シャツを 「目的語」

彼は、僕が彼の客だったのかを尋ねられて、答えた。

Gli è stato chiesto se ero suo cliente e ha detto:

「主語」「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」

Gli リ pron 彼は 「主語」

è stato chiesto エ・スタート・キエスト 3 単現・完了形・受動(chiedere)v.t 尋ねられた 「動詞句」

se セ conj. ~かどうかを 「目的語」

ero エロ 1 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」

suo cliente スーオ・クリエンテ n.m 彼の客 「補語」

e エ conj. そして

ha detto: ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 答えた 「動詞句」

「はい、でも友人でもあります」彼は僕のことをどのように思っていましたか。それで僕は男だと彼は答えた。

“Sì, ma era anche un amico”; che cosa pensava di me, e ha risposto che ero un uomo;
 «「応答」,ma「動詞」「補語」;「直接目的語」「動詞」「間接目的語」,e「動詞句」「目的語」
 “Sì, シ adv. はい 「応答」
 ma マ conj. しかし
 era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」
 anche un amico”; アンケ・ウン・アミーコ n.m 友人でも 「補語」
 che cosa ケ・コサ pron どんなことを 「直接目的語」
 pensava ペンサーヴァ 3 単半(pensare)v.t 思っていた 「動詞」
 di me, ディ・メ adv. 僕のことを 「間接目的語」
 e エ conj. そして
 ha risposto ア・リスポスト 3 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた 「動詞句」
 che ケ conj. ~ということを 「目的語」
 ero エロ 1 単半・時制の一致(essere)v.i ~である 「動詞」
 un uomo; ウン・ウオーモ n.m 男 「補語」

それはどのような意味なのか？そして彼は、その意味は誰でも知っていると言明した：

che cosa intendesse dire con questo e ha dichiarato che tutti sanno che cosa vuol dire;
 「目的語」「動詞句」「副詞句」e「動詞句」「目的語」
 che cosa ケ・コサ n.f 何を 「目的語」
 intendesse dire インテンデッセ・ディレ 接・3 単現・意図(intendere+不定詞 dire)
 v.t 意味する、言おうとする 「動詞句」
 con questo コン・クェスト adv.(手段) これによって 「副詞句」
 e エ conj. そして
 ha dichiarato ア・ディキアラート 3 単現・完了形(dichiarare)v.t 明言した 「動詞句」
 che ケ conj. ~ということを 「目的語」
 tutti トゥッティ pl(tutto).pron 誰もが 「主語」
 sanno サノ 3 複現(sapere)v.t 知っている 「動詞」
 che cosa ケ・コサ n.f 何を~するかを 「目的語」
 vuol dire; ヴォル・ディレ 3 単現・願望(volere+不定詞 dire)
 v.t 言いたい、意味する 「動詞句」

彼は僕が塞ぎがちな性格だと気付いていましたか？それで、僕は何も言わないように口を閉じていたことだけは認めた。

se aveva notato che io fossi di carattere chiuso, e ha riconosciuto soltanto che io non aprivo la bocca per non dir nulla.

「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」

se セ conj. ～かどうか (質問)

aveva notato アヴェウヴァ・ノタト 3 単半・完了形(notare)v.t 気付いていた 「動詞句」

che ケ conj. ～ということ 「目的語」

io イオ pron 僕は 「主語」

fossi フォッシ 接・1 単半(essere)v.i ～だった 「動詞」

di carattere chiuso, ディ・カラッテレ・キウ adj. 塞ぎがちな性格 「補語」

e エ conj. そして

ha riconosciuto ア・リコノシュト 3 単現・完了形(riconoscere)v.t 認めた 「動詞句」

soltanto che ソルタント・ケ conj. ～ということだけを 「目的語」

io イオ pron 僕は 「主語」

non aprivo ノン・アフリーヴォ 1 単半・否定・時制の一致(aprire)v.t 開かない 「動詞句」

la bocca ラ・ボッカ n.f 口を 「目的語」

per non dir nulla. ペル・ノン・ディール・ヌッラ 不定詞・目的

adv. 何も言わないように 「副詞句」

検事は、僕が食事代をきちんと支払っているかと彼に尋ねた。

Il P. M. gli ha chiesto se pagavo regolarménte la mia pensióné.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il P. M. イツ・ピー・エム n.m 検事は 「主語」

gli リ pron 彼に 「間接目的語」

ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた 「動詞句」

se セ conj. ～かどうかを 「直接目的語」

pagavo パ・ガーヴォ 1 単半・時制の一致(pagare)v.t 支払っている 「動詞」

regolarménte レゴラルメンテ adv. 規則的に、きちんと 「副詞」

la mia pensióné. ラ・ミー・ペンシオーネ n.f 支払いを、家賃を 「目的語」

セレステは笑って答えた：「我々の間では、些細なことです」僕の犯罪についてどう思うかと、彼はまた尋ねられた。

Celeste ha riso e ha detto: “Erano dei particolari fra noi.” Gli è stato chiesto ancora che cosa pensava del mio delitto.

「主語」「動詞句」 e 「動詞句」：《「動詞」「補語」》「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」
 Celeste セステ n.m セレステは 「主語」
 ha riso ア・リーゾ 3 単現・完了形(ridere)v.i 笑った 「動詞句」
 e エ conj. そして
 ha detto: ア・テット 3 単現・完了形(ire)v.t 言った 「動詞句」
 “Erano エーノ 3 複半・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」
 主語は「支払いをすること」
 dei particolari デイ・パルチコラーリ adj. 細部の 「補語」
 fra noi.” フラ・ノイ adv. われわれの間では 「副詞句」
 Gli リ pron 彼は 「主語」
 è stato chiesto エ・スタート・キスト 3 単現・完了形・受動(chiedere)v.t 尋ねられた 「動詞句」
 ancora アンコーラ adv. もう一度、また 「副詞」
 che cosa ケ・コーサ n.f 何を～したかと 「目的語」
 pensava ペンサーヴァ 3 単半・時制の一致(pensare)v.i(di について) 思う 「動詞」
 del mio delitto. テル・ミオ・デリット adv. 僕の犯罪について 「間接目的語」

フランス語版では

セレステは笑みを浮かべて、きっぱりと言った：「そんな事は、我々には些細なことだ」
 Céleste a ri et il a déclaré: «C’étaient des détails entre nous.»

それから証言席の柵の上に両手を置いた。彼が何かを準備してきたことが分かった。

Allóra ha messo le mani sulla sbarra e si capiva che aveva preparato qualcosa.

「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」 e 「動詞句」「主語」
 Allóra アッローラ adv. それから 「副詞」
 ha messo ア・メツ 3 単現・完了形(mettere)v.t 置いた 「動詞句」
 le mani レ・マーニ pl(mano).n.f 両手を 「目的語」
 sulla sbarra スッラ・スバッラ adv. (位置) 証言席の柵の上に 「副詞句」
 e エ conj. そして
 si capiva シ・カピヴァ 3 単半・再帰受動(capirsi)v.pr 理解された、分かった 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということが 「主語」
 aveva preparato アヴァ・エヴァ・プレパレート 3 単半・完了形(preparare)
 v.t 準備していた 「動詞句」
 qualcosa. クワルコーサ pron 何かを 「目的語」

彼は言った：「私にとっては、不運です。皆が知っている不運なんです。それは無防備になってしまうものです。だから、私に取っては不運なんです」

Ha detto: “Per me, è una disgrazia. Una disgrazia tutti sanno cos’è. È una cosa che lascia senza difesa. Ebbene, per me è una disgrazia.”

「動詞句」：《「副詞句」, 「動詞」「補語」 | 「主語」, 「主語」「動詞」「目的語」

「動詞」「補語」 | Ebbene, 「副詞句」「動詞」「補語」》

Ha detto: ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
“Per me, ヘル・メ adv. 私にとっては	「副詞句」
è エ 3 単現(essere)v.i ~である	「動詞」
una disgrazia. ウ・デイスグラチア n.f 不運	「補語」
Una disgrazia ウ・デイスグラチア n.f 不運だ	「主語」
tutti トゥッティ pron 皆が	「主語」
sanno サノ 3 複現(sapere)v.t 知っている	「動詞」
cos’è. コーゼ pron(cosa è) どんなものかを	「目的語」
È エ 3 単現(essere)v.i ~である	「動詞」
una cosa ウ・コーサ n.f 事	「補語」
che ケ pron (主語) ~する	「形容詞節」
lascia ラッシャ 3 単現・放任(lasciare)v.t(ある状態に) 放置する	「動詞」
senza difesa. センツァ・ディフェーサ adj. 無防備な状態に	「補語」
Ebbene, エッベ・ネ conj. それで	
per me ヘル・メ adv. 私にとっては	「副詞句」
è エ 3 単現(essere)v.i ~である	「動詞」
una disgrazia.” ウ・デイスグラチア n.f 不運	「補語」

彼はまだ話を続けたかったのだが、裁判長が彼に結構です、有難う御座いますと言った。

Avrebbe continuato, ma il presidente gli ha detto che andava bene così e che lo ringraziava.

「動詞句」,ma「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」e「直接目的語」

Avrebbe continuato, アヴレッベ・コンチヌアト 条・3 単現・完了形(continuare)

v.t 続けたかった～しかしできなかった

「動詞句」

ma マ conj. しかし

il presidente イル・プレジデンテ n.m 裁判長が

「主語」

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

andava bene アンダーヴァ・ベネ 3 単半(andare+ bene)

v.i 上手く進んでいる

「動詞句」

così コシ adv. これで

「副詞」

e エ conj. そして

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

lo ロ pron あなたに

「目的語」

ringraziava. リングラツィアーヴァ 3 単半(ringraziare)v.t 感謝を述べた

「動詞」

それでセレステは少しの間茫然としたが、その後、もっと話したいと宣言した。彼は、簡潔にするようにと求められた。

Allóra Celeste è rimasto un momento interdetto, ma pòi ha dichiarato che voleva parlare ancora. Gli è stato chiesto di essere breve.

「副詞」「主語」「動詞句」「補語」,ma「副詞」「動詞句」「目的語」

「主語」「動詞句」「目的語」

Allóra アッローラ adv. それで

「副詞」

Celeste セステ n.m セレステは

「主語」

è rimasto エ・リマスト 3 単現・完了形(rimanere)v.i (～の状態に) なった

「動詞句」

un momento ウン・モメント adv. 少しの間

「副詞句」

interdetto, インテルデット adj. 茫然とした、啞然とした

「補語」

ma マ conj. しかし

pòi ポーイ adv. それから

「副詞」

ha dichiarato ア・ディキアラート 3 単現・完了形(dichiarare)v.t 宣言した

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

voleva parlare ヴォレーヴァ・パルラーレ 3 単半・願望(volere+不定詞 parlare)

v.t 話したい

「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

ancóra. アンコーラ adv. もっと	「副詞」
Gli リ pron 彼は	「主語」
è stato chiesto エ・スタート・キエスト 3 単現・完了形・受動(chiedere)v.t 求められた	「動詞句」
di essere ディ・エッセル 不定詞 n. ～であることを	「目的語」
breve. ブレーヴェ adj. 簡潔な	「補語」

あれは不運だ、と彼は繰り返した。

Ha ancóra ripetuto che era una disgrazia.

「動詞句」「目的語」

Ha ancóra ripetuto ア・アンコーラ・リハトウト 3 単現・完了形(ripetere+ ancóra)

v.t また繰り返した 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」

una disgrazia. ウナ・ディスグラチア n.f 不運 「補語」

それで裁判長は彼に言った：「分かりました。しかし私たちはその種の不運を裁くためにここ
こいます。感謝します」

E il presidente gli ha détto: “Sì, d’accordo. Ma nói siamo qui per giudicare le disgrazie di
quésto genere. Vi ringraziamo.”

E 「主語」「間接目的語」「動詞句」:

《「応答」 | Ma 「主語」「動詞」「副詞句」「間接目的語」「動詞」》

E エ conj. そして

il presidente イル・プレジデンテ n.m 裁判長は 「主語」

gli リ pron 彼に 「間接目的語」

ha détto: ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

“Sì, d’accordo. シ・ダッコールト adv. はい、分かりました 「応答」

Ma マ conj. しかし

nói ノーイ pron.pl 我々は 「主語」

siamo シアーモ 1 複現・存在(essere)v.i ～にいる 「動詞」

qui クイ adv. ここに 「副詞」

per giudicare ペル・ジュディカレ 不定詞・目的 adv. 裁くために 「副詞句」

le disgrazie レ・ディスグラチアエ pl(disgrazia).n.f 不運 「目的語」

di quésto genere. ディ・クエスト・ジェーネレ adj. この種の 「形容詞句」

Vi ヴィ pron あなたに 「間接目的語」

ringraziamo.” リングラツィアーモ 1 複現(ringraziare)v.t 感謝します 「動詞」

まるで彼の知識と善意の限界に達したかのように、セレステは僕の方へ振り向いた。

Cóme fósse arrivato al limite délla sua scienza e délla sua buona volontà, Celeste si è allóra voltato vèrso di me.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Cóme コーメ conj. ～するように

「副詞節」

fósse arrivato フォッセ・アリヴァート 接・3 単半・完了形・推量(arrivare)

v.i 到達した

「動詞句」

al limite アル・リミテ adv. 限界に

「間接目的語」

délla sua scienza デラ・スア・シェンツァ adj. 知識の

「形容詞句」

e エ conj. そして

délla sua buona volontà, デラ・スア・ブオナ・ヴォンタ

adj. 善意の

「形容詞句」

Celeste セステ n.m セレステは

「主語」

si è allóra voltato シ・エ・アローラ・ヴォルタート 3 単現・完了形(voltarsi+ allóra)

v.pr そこで振り向いた

「動詞句」

vèrso di me. ヴェールソ・ディ・メ adv. 僕の方へ

「副詞句」

彼の目は輝き、唇は震えているように見えた。

Mi è sembrato che i suoi occhi fóssero lùcidi e che le labbra gli tremassero.

「間接目的語」 「動詞句」 「主語」 e 「主語」

Mi ミ pron 僕には

「間接目的語」

è sembrato エ・センブラート 3 単現・完了形(sembrare)v.i ～のように思われた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということは

「主語」

i suoi occhi イ・スーイ・オッキ pl(occhio).n.m 彼の目が

「主語」

fóssero フォッセロ 接・3 複半・状態・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

lùcidi ルーチディ adj(lùcido).pl 輝いた、光った

「補語」

e エ conj. そして

che ケ conj. ～ということは

「主語」

le labbra レ・ラッブラ pl(labbro).n.m 唇が

「主語」

gli リ pron 彼の

「間接目的語」

tremassero. トレマセロ 接・3 複半・時制の一致(tremare)v.i 震えている

「動詞」

まだ何か出来ることがあるかと、僕に尋ねているように見えた。

Aveva l'aria di chiedermi che cosa poteva fare ancora.

Aveva アヴェーヴァ 3 単半(avére)v.t (特徴を) していた

l'aria ラーリア n.f 顔色を、様子を

di chiedermi ディ・キエデル・ミ 不定詞・同格 adj. 僕に尋ねる

che cosa ケ・コサ pron.f 何を～するか

poteva fare ポ・テヴァ・ファレ 3 単半・可能(potére+不定詞 fare)

v.t 出来る

ancóra. アンコーラ adv. まだ

「動詞」「目的語」

「動詞」

「目的語」

「形容詞句」

「目的語」

「動詞句」

「副詞」

僕は何も言わず、どんな素振りもしなかったけれど、僕は生まれて初めて1人の男を抱きしめたいと思った。

Quanto a me, non ho detto nulla, non ho fatto alcun gesto, ma è stata la prima volta nella mia vita che ho avuto il desiderio di abbracciare un uomo.

「副詞句」, 「動詞句」「目的語」, 「動詞句」「目的語」, ma 「動詞」「補語」「主語」

Quanto a me, クワント・ア・メ adv. 僕としては

non ho detto ノ・ノ・デット 1 単現・完了形・否定(dire)v.t 言わなかった

nulla, ヌッラ pron 何も～ない

non ho fatto ノ・ノ・ファット 1 単現・完了形・否定(fare)v.t(動作を) しなかった

alcun gesto, アルクン・ジエスト n.m どんな素振りも

ma マ conj. しかし

è stata エ・スタータ 3 単現・完了形(essere)v.i ~だった

la prima volta ラ・プリーマ・ヴォルタ n.f 初めて

nella mia vita ネッラ・ミーア・ヴィータ adv. 僕の人生で

che ケ conj. ~ということは

ho avuto オ・アヴート 1 単現・完了形(avére)v.t ~を持った

il desiderio di abbracciare イル・デシデーリオ・ディ・アブラッチャーレ

n.m 抱きしめたいと言う願望を

un uomo. ウン・ウオーモ n.m 男を

「副詞句」

「動詞句」

「目的語」

「動詞句」

「目的語」

「動詞」

「補語」

「副詞句」

「主語」

「動詞句」

「目的語」

「目的語」

裁判長が彼に証言台を離れるように命じたので、セレステは戻ってまた傍聴席に座った。

Il presidente gli ha ingiunto di lasciare la sbarra e Celeste è tornato a sedersi al suo posto.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「補語」 e 「主語」「動詞句」「副詞句」

Il presidente イル・プレジデンテ n.m 裁判長は

「主語」

gli リ pron.3 格 彼に

「間接目的語」

ha ingiunto ア・インジユント 3 単現・完了形(ingiungere)v.t(di+不定詞 ~するように)

v.t 命じた

「動詞句」

di lasciare ディ・ラッシャーレ 不定詞・gli の動作 v.t 去る、離れる

「補語」

la sbarra ラ・ズバーラ n.f 証言台を

「目的語」

e エ conj. そして

Celeste セステ n.m セレステは

「主語」

è tornato a sedersi エ・トルナート・ア・セデルシ 3 単現・完了形・再度(tornare a+不定詞 sedersi)

v.pr また座った

「動詞句」

al suo posto. アル・スー・ポスト adv. 傍聴席に

「副詞句」

残りの審理の間中、彼はそこに残っていた。少し前屈みになり、肘を膝にのせ、パナマ帽を手に持ち、話される全てのことに聞き入っていた。

Durante tutto il resto dell'udienza è rimasto lì, un po' chino in avanti, i gomiti sulle ginocchia e il cappello di panama tra le mani, ad ascoltare tutto ciò che veniva detto.

「副詞句」「動詞句」「副詞」, 「副詞句」「主語」「副詞句」, 「主語」「副詞句」, 「副詞句」

Durante トゥランテ prep (時間) ~の間中

「副詞句」

tutto il resto dell'udienza トゥット・イル・レスト・デル・テ・イエンツァ

n.m 残りの審理すべて

「目的語」

è rimasto エ・リマスト 3 単現・完了形(rimanere)v.i 残っていた

「動詞句」

lì, リ adv. そこに

「副詞」

un po' chino in avanti, ウン・ポ・キノー・イン・アヴァンティ adv. (様態) 少し前屈みで

「副詞句」

i gomiti イ・ゴミチ pl(gomito).n.m 肘は

「主語」

sulle ginocchia スレ・ギノッキア adv. 膝の上に

「副詞句」

e

il cappello di panama イル・カッペーロ・デ・シ・パナマ n.m パナマ帽は

「主語」

tra le mani, トラ・レ・マーニ adv. 両手の間に

「副詞句」

ad ascoltare アド・アスcoltare 不定詞・目的 adv. 聞くために

「副詞句」

tutto ciò トゥット・チョ pron 全ての事を

「目的語」

che ケ pron (目的語) ~する

「形容詞節」

veniva detto. ヴェニヴァ・デット 3 単半・受動・時制の一致(venire+過去分詞 dire)

v.t 話される

「動詞句」

マリーが証言台に立った。彼女は帽子を被っていて、相変わらずきれいだった。

Si è presentata Maria. Si era messa un cappello ed era bella ancora.

「動詞句」「主語」 | 「動詞句」「目的語」 ed 「動詞」「補語」

Si è presentata シ・エ・プレゼンタータ 3 単現・完了形.f(presentarsi)v.pr 現れた 「動詞句」

Maria. マリア n.f マリーが 「主語」

Si era messa シ・エラ・メッサ 3 単現・完了形.f(mettersi)v.pr 着ていた 「動詞句」

un cappello ウン・カッペロ n.m 帽子を 「目的語」

ed エト conj. そして

era エラ 3 単半(essere)v.i 〜だった 「動詞」

bella ベーラ adj(bello).f 美しい 「補語」

ancora. アンコーラ adv. 相変わらず 「副詞」

それでも、僕は髪を解いた時のほうが好きだ。僕の居る所から、彼女の胸の微かな重みを推測できたし、いつも腫れぼったい下唇も見分けられた。

Ma a me piaceva di più con i capelli liberi. Dal punto dov'ero, indovinavo il peso lieve dei suoi seni e distinguevo il labbro inferiore sempre un po' gonfio.

Ma 「副詞句」「動詞」「副詞句」, 「動詞」「目的語」 e 「動詞」「目的語」

Ma マ conj. しかし

a me ア・メ adv. 僕としては 「副詞句」

piaceva ピアチェヴァ 3 単半・時制の一致(piacere)v.i 好みである 「動詞」

di più デイ・ピウ adv. もっと 「副詞句」

con i capelli liberi. コン・イ・カッペーリ・リーベリ adv. (様態) 髪を解いている 「副詞句」

Dal punto ダル・プント adv. (場所) 場所から 「副詞句」

dov' トーヴェ adv. 〜する 「副詞節」

ero, エロ 1 単半・存在(essere)v.i いた 「動詞」

indovinavo イントヴァイナヴォ 1 単半(indovinare)v.t 推測できた 「動詞」

il peso lieve イル・ペーソ・リエーヴェ n.m かすかな重みを 「目的語」

dei suoi seni デイ・スイ・セニ adj. 彼女の胸の 「形容詞句」

e エ conj. そして

distinguevo ディスチンゲーヴォ 1 単半(distinguere)v.t 見分けられた 「動詞」

il labbro イル・ラッブロ n.m 唇を 「目的語」

inferiore インフェリオレ adj. 下の 「形容詞」

sempre センプレ adv. いつも 「副詞」

un po' gonfio. ウン・ポ・ゴンフィオ adj. 少し腫れぼったい 「形容詞句」

彼女はかなり緊張しているようだった。いつから僕と知り合ったのかと、すぐに尋ねられた。

Sembrava molto nervosa. Subito le è stato domandato da quando mi conosceva.

「動詞」「補語」 | 「副詞」「間接目的語」「動詞句」「主語」

Sembrava センブラヴァ 3 単半(sembrare)v.i 〜に見えた 「動詞」

molto nervosa. モルト・ネルヴォーサ adj(nervoso).f 神経質な、緊張した 「補語」

Subito スービト adv. すぐに 「副詞」

le レ pron 彼女に 「間接目的語」

è stato domandato エ・スタート・ト・マンダート 3 単現・完了形・受動(domandare)

v.t 尋ねられた 「動詞句」

da quando ダ・クワント conj. いつから〜したかを 「主語」

mi ミ pron 僕に 「目的語」

conosceva. コノシェヴァ 3 単半(conoscere)v.t 知り合った 「動詞」

彼女は僕の会社で働いていた時期を答えた。

Ha indicato l'epoca in cui era impiegata da noi.

「動詞」「目的語」

Ha indicato ア・インディカト 3 単現・完了形(indicare)v.t 教えた、答えた 「動詞」

l'epoca レボカ n.f 時期を 「目的語」

in cui イン・クイ adv. 〜した 「形容詞節」

era エラ 3 単半(essere)v.i 〜だった 「動詞」

impiegata インピェガータ n.f 会社員 「補語」

da noi. ダ・ノイ adj. 僕たちの会社の 「副詞句」

裁判長は僕と彼女の間を尋ねると、彼女は僕の友人だと答えた。別の質問に対して、彼女が僕と結婚するはずだったのは事実であると答えた。

Il presidente ha voluto sapere quali erano i suoi rapporti con me e lei ha detto che era la mia amica; a un'altra domanda ha risposto che era vero che doveva sposarmi.

「主語」「動詞句」「目的語」, 「動詞句」「目的語」; 「副詞句」「動詞句」「目的語」

Il presidente イル・プレジデンテ n.m 裁判長は 「主語」

ha voluto sapere ア・ヴォルト・サペーレ 3 単現・完了形・願望(volére+不定詞 sapere)

v.t 知りたがった 「動詞句」

quali クワリ pron.pl 何が〜ということを 「目的語」

erano エーノ 3 複半・時制の一致(essere)v.i 〜である 「動詞」

i suoi rapporti イスオイ・ラッポ・ローティ pl(rapporto).n.m 関係 「補語」

con me e lei コン・メ・エ・レーイ adv. 僕の彼女の 「副詞句」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 答えた 「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

che ケ conj. ～ということを	「目的語」
era エラ 3 単半・時制の一致(èssere)v.i. ～である	「動詞」
la mia amica; ラ・ミー・アミカ n.f. 僕の友人	「補語」
a un'altra domanda ア・ウルトラ・ドマンダ adv. 別の質問には	「副詞句」
ha rispósto ア・リスポスト 3 単現・完了形(rispondere)v.t. 答えた	「動詞句」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
era エラ 3 単半・時制の一致(èssere)v.i. ～である	「動詞」
véro ヴェーロ adj. 事実の	「補語」
che ケ conj. ～ということは	「主語」
doveva sposarmi. ドヴェヴァ・ソサルミ 3 単半・可能性(dovére+不定詞 sposarmi)	
v.t. 僕と結婚するはずだった	「動詞句」

書類のページをめくっていた検事は僕たちの関係はいつ始まったのかと突然尋ねた。マリーは日付を答えた。

Il P. M., che stava sfogliando un incartaménto, le ha chiesto bruscamente quando era iniziata la nostra relazióne. Maria ha indicato la data.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞」「直接目的語」 「主語」「動詞句」「目的語」	
Il P. M., イル・ピー・エンメ n.m. 検事は	「主語」
che ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
stava sfogliando スターヴァ・スフォルアント 3 単半・進行形(stare+ジェルンディオ sfogliare)	
v.t. ページをめくっていた	「動詞句」
un incartaménto, ウン・インカルタメント n.m. 書類を	「目的語」
le レ pron 彼女に	「間接目的語」
ha chiesto ア・キェスト 3 単現・完了形(chièdere)v.t. 尋ねた	「動詞句」
bruscamente ブルスカメンテ adv. 急に、突然	「副詞」
quando クワント adv. いつ～したかを	「直接目的語」
era iniziata エラ・インツィアタ 3 単半・完了形(iniziare)v.i. 始まった	「動詞句」
la nostra relazióne. ラ・ノストラ・レラツィオーネ n.f. 僕たちの関係は	「主語」
Maria マリア n.f. マリーは	「主語」
ha indicato ア・インディカト 3 単現・完了形(indicare)v.t. 示した、答えた	「動詞句」
la data. ラ・ダータ n.f. 日付を	「目的語」

検事は、無関心を装って、それは母親が死んだ翌日のように思われるがと指摘した。

Il P. M. ha osservato con tono indifferente che gli sembrava fosse il giorno successivo alla morte della mamma.

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」
 Il P. M. イル・ピー・エム n.m 検事は 「主語」
 ha osservato ア・オッセヴァート 3 単現・完了形(osservare)v.t 指摘した 「動詞句」
 con tono indifferente コン・トノ・インディフェレンテ adv. (手段) 無関心の口調で 「副詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 gli リ pron 彼には 「間接目的語」
 sembrava センブラヴァ 3 単半(sembrare)v.i ～に思われる 「動詞」
 fosse il giorno フォッセ・イル・ジオルノ 接・3 単半・時制の一致(essere)
 v.i その日である 「補語」
 successivo スッチェシーヴォ adj. 次の 「形容詞」
 alla morte アラ・モルテ adv. 死亡の 「副詞句」
 della mamma. デラ・マンナ adj. 母親の 「形容詞句」

それから彼は皮肉を込めて言った。彼女のデリケートな問題にこだわって申し訳ない、マリ
 ーのうしろめたさはよく理解している。だが(ここで彼の語気は一段と激しくなった)検事
 としての義務感が、自分に礼節を越えて高みに至れと命じるのだと。

Poi ha detto con una sfumatura d'ironia che gli dispiaceva insistere su una questione delicata, che comprendeva benissimo gli scrupoli di Maria, ma (e qui il suo tono si è fatto più duro) che il dovere gli imponeva di elevarsi al di sopra delle convenienze.

「副詞」「副詞句」「動詞句」「目的語」, 「目的語」, ma
 (e 「副詞」「主語」「動詞句」「補語」) 「目的語」
 Poi ポーイ adv. それから 「副詞」
 ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 con una sfumatura d'ironia コン・ウナ・スファトゥーラ・ディロニア adv. (同伴) 皮肉を込めて 「副詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 gli リ pron 彼にとって 「間接目的語」
 dispiaceva ディスピァチェヴァ 3 単半・時制の一致(dispiacere)
 v.i 申し訳なく思う 「動詞」
 insistere インシステレ 不定詞 n. こたわることは 「主語」
 su una questione delicata, ス・ウナ・ケスチオーネ・デリカータ
 adv. 彼女のデリケートな問題に 「間接目的語」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 comprendeva コンプレンデヴァ 3 単半・時制の一致(comprendere)

PARTE SECONDA 第2部

v.t 理解している	「動詞」
benissimo ベニッシモ adv. 良く	「副詞」
gli scrùpoli di Maria, リ・スクルポ・リ・ディ・マリア	
pl(scrùpolo).n.m マリーのうしろめたさを	「目的語」
ma マ conj. しかし	
(e エ conj. そして	
qui クイ adv. ここで	「副詞」
il suo tono イル・スーオノ n.m 彼の語気は	「主語」
si è fatto シ・エ・ファット 3 単現・完了形・変化(farsi)v.pr 〜になった	「動詞句」
più duro) ピウ・トゥーロ adj. 更に激しい	「補語」
che ケ conj. 〜ということを	「目的語」
il dovere イル・ドヴァーレ n.m 義務が	「主語」
gli リ pron 彼に	「間接目的語」
imponeva di elevarsi インボネヴァ・ディ・エレヴァルシ 3 単過・命じる・時制の一致	
(impórre di+不定詞 〜するように)v.t 上がるように命じる	「動詞句」
al di sopra アルディ・ソプラ adv. 上に、高みに	「副詞句」
délle convenienze. デレ・コンヴェンエンサ adv. 礼節よりも	「副詞句」

そこで検事は、僕達に関係を持った日のことを簡潔に述べるようにマリーに求めた。

Ha chiesto dunque a Maria di fare il riassunto della giornata in cui l'avevo conosciuta.

「動詞句」「目的語」「補語」

Ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chièdere)v.t 求めた 「動詞句」

dunque トゥーンクエ conj. それで

a Maria ア・マリア n.m マリーに 「目的語」

di fare ディ・ファレ 不定詞・Maria の動作 v.t 〜をする 「補語」

il riassunto イル・リアスト n.m 要約、要点を述べる事 「目的語」

della giornata デラ・ジョルナータ adj. その日の 「形容詞句」

in cui イン・クイ adv. (時) その日に 「副詞句」

l' ラ pron 彼女と 「目的語」

avevo conosciuta. アヴェヴァ・オ・コノシユータ 1 単半・完了形(conoscere)

v.t 知った 「動詞句」

マリーは話たがらなかったが、検事のしつこさに屈して、海水浴したことや映画を見に行ったことや僕の部屋に来た事などを語った。

Maria non voleva parlare, ma di frónte all'insistenza del P. M. ha raccontato del nostro bagno, del cinema e del ritorno a casa mia.

「主語」「動詞句」,ma「副詞句」「動詞句」「目的語」

Maria マリア n.f マリーは

「主語」

non voleva parlare, ノン・ヴォレーヴァ・パルラーレ 3 単半・願望・否定(volere+不定詞 parlare)

v.i 話したがらなかった

「動詞句」

ma マ conj. しかし

di frónte ディ・フロンテ adv.(a を) 前にして

「副詞句」

all'insistenza アリンスステンツァ adv. しつこさ

「副詞句」

del P. M. デル・ピー・エム adj. 検事の

「形容詞句」

ha raccontato ア・ラッコンタート 3 単現・完了形(raccontare)v.t 語った

「動詞句」

del nostro bagno, デル・ノストロ・バンニョ n.m 海水浴のことを

「目的語」

del cinema デル・チネマ n.m 映画のこと

「目的語」

e エ conj. そして

del ritorno デル・リトルノ n.m 戻ったこと

「目的語」

a casa mia. ア・カーサ・ミア adv. 僕の部屋へ

「副詞句」

検事は、予審でのマリーの陳述に関して、その日の上演プログラムを確認したを述べた。

Il P. M. ha détto che, in séguito alle dichiarazioni di Maria in istruttoria, aveva controllato i programmi degli spettacoli di quel giorno.

「主語」「動詞句」「目的語」

Il P. M. イル・ピー・エム n.m 検事は

「主語」

ha détto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

che, ケ conj. ～ということを

「目的語」

in séguito イン・セグイト adv.(a に) に関して

「副詞句」

alle dichiarazioni アレ・ディキアラッチオーニ adv. 陳述に

「目的語」

di Maria ディ・マリア adj. マリーの

「形容詞句」

in istruttoria, イン・イストルトーリア adv. 予審での

aveva controllato アヴェ・エヴァ・コントロールト 3 単半・完了形(controllare)

v.t 確かめた、確認した

「動詞句」

i programmi イ・プログラミ pl(programma).n.m プログラムを

「目的語」

degli spettacoli テリ・スペッターコリ adj. 上演の

「形容詞句」

di quel giorno. ディ・ケリ・ジョルノ adj. その日の

「形容詞句」

検事は、その日の上演プログラムはマリー自身に言ってもらいたいと付け加えた。

Ha soggiunto che sarebbe stata Maria stessa a dire che film c'era allora.

「動詞句」「目的語」

Ha soggiunto ア・ソジュント 3 単現・完了形(soggiungere)v.t 付け加えた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

sarebbe stata サレッベ・スタタ 条・3 単現・完了形・必要・時制の一致(essere)

v.i ～であるべきである

「動詞」

Maria stessa マリア・ステッサ n.f マリー自身

「補語」

a dire ア・ディレ 不定詞 n. ～を言う事は

「主語」

che film ケ・フィルム n.m どんな映画が

「主語」

c'era チェラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i である

「動詞」

allora. アッローラ adv. その時は

「副詞」

マリーはか細い声で、フェルナンデルの映画だと答えた。

Con una voce quasi atona, lei ha precisato che era un film di Fernandel.

「副詞句」,「主語」「動詞句」「目的語」

Con una voce コン・ウナ・ヴォーチェ adv.(手段) 声で

「副詞句」

quasi atona, クワージ・アトナ adj. ほとんど無気力な

「形容詞句」

lei レイ pron 彼女は

「主語」

ha precisato ア・プレチサート 3 単現・完了形(precisare)v.t 言った

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

un film ウン・フィルム n.m 映画

「補語」

di Fernandel. デシ・フェルナンデル adj. フェルナンデルの

「形容詞句」

彼女の証言が終わると、法廷内が静まり返った。

Il silenzio era completo nell'aula al termine delle sue parole.

「主語」「動詞」「補語」

Il silenzio イル・シレンツィオ n.m 静寂は

「主語」

era エラ 3 単半・変化(essere)v.i ～になった

「動詞」

completo コンプレト adj. 満員の

「補語」

nell'aula ネラーウラ adv. 法廷内に

「副詞句」

al termine アル・テルミネ adv. (時) (di) の終わりに

「副詞句」

delle sue parole. デレ・スエ・パローレ adj. 彼女の言葉の

「形容詞句」

すると、検事は重々しく立ち上がり、僕には彼が感極まっていると思われる声で、指を僕に向けて、
ゆっくりと言った：

Allóra il P. M. si è alzato, molto serio, e, con una voce che ho trovato veramente commossa, il dito teso verso di me, ha pronunciato lentamente:

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」, e 「副詞句」, 「動詞句」「副詞」

Allóra アローラ adv. すると 「副詞」

il P. M. イル・ピー・エム n.m 検事は 「主語」

si è alzato, シ・エ・アルツァート 3 単現・完了形(alzarsi)v.pr 立ち上がった 「動詞句」

molto serio, モルト・セーリオ adv. 重々しく 「副詞句」

e, エ conj. そして

con una voce コン・ウナ・ヴォーチェ adv. (手段) 声で 「副詞句」

che ke pron (目的語) ~する 「形容詞節」

ho trovato オ・トロヴァート 1 単現・完了形(trovare)v.t 思う 「動詞句」

veramente commossa, ヴェラメンテ・コモッサ adv. 本当に感動した 「補語」

il dito イル・ディート n.m (様態) 指は 「副詞句」

teso テーゾ 過去分詞・受動 adj. 向けられた 「副詞句」

verso di me, ヴェールゾ・ディ・メ adv. 僕の方へ 「副詞句」

ha pronunciato ア・プロンチャート 3 単現・完了形(pronunciare)v.t 言った 「動詞句」

lentamente: レンタメンテ adv. ゆっくり 「副詞」

「陪審のみなさん、母親の死の翌日に、この男は海水浴に行き、不適切な関係を開始して、
コメディ映画を見て笑ったのです。これ以上付け加えることはありません」

“Signori giurati, l'indomani della morte di sua madre quest'uomo andava a fare un bagno di mare, iniziava una relazione irregolare e rideva davanti a un film comico. Non ho nient'altro da aggiungere.”

《「呼びかけ」, 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」, 「動詞」「目的語」

e 「動詞」「副詞句」 | 「動詞句」「目的語」》

“Signori giurati, シニョーリ・ジューラティ pl(signore)n.m 陪審のみなさん 「呼びかけ」

l'indomani リントマーニ adv. (時間) 翌日に 「副詞句」

della morte di sua madre デラ・モルテ・ディ・スア・マドレ adj. 母親の死の 「形容詞句」

quest'uomo クェスト・ウオーモ n.m この男は 「主語」

andava a fare アンダー・ヴァ・ア・ファレ 3 単半・する(andare a+不定詞 fare)

v.t (行為を) ~をした 「動詞句」

un bagno di mare, ウン・バンニョ・ディ・マーレ n.m 海水浴 「目的語」

iniziava イニツィアーヴァ 3 単半(iniziare)v.t 開始した 「動詞」

una relazione irregolare ウナ・レラツィオーネ・イレゴラーレ n.f 不適切な関係を 「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

e エ conj. そして

rideva リデーヴァ 3 単半(ridere)v.i 笑った 「動詞」

davanti a un film comico. ダヴァンティ・ア・ウン・フィルム・コモコ adv. コメディ映画を見て 「副詞句」

Non ho ノノ 1 単現・否定(avére)v.t ~がない 「動詞句」

nient'altro ニエン・タルト pron もう何も~ない 「目的語」

da aggiungere.” ダ・アジエンジエ 不定詞・目的 adv. 付け加えるべき 「副詞句」

法廷内が静まり返る中、彼は再び着席した。

Si è rimesso a sedere, sempre in mezzo al silenzio.

「動詞句」「副詞句」

Si è rimesso a sedere, シ・エ・リメツ・ア・セデーレ 3 単現・完了形・再開(riéettere a+不定詞 sedere)

v.pr また座った 「動詞句」

sempre in mezzo al silenzio. センプレ・イン・メツ・アル・シレンツィオ

adv. 相変わらず静寂の中に 「副詞句」

in mezzo a ... ~の中央に、~の最中に

だがマリーが突然泣き出して言った、そうじゃあない、違う、自分が思っていたのと逆のことを言われた、僕のことはよく知っている、僕は悪いことは何もしていない。

Ma d'improvviso Maria è scoppiata in singhiózzi, ha detto che non era così, che c'era qualcosa d'altro, che la si forzava a dire il contrario di quel che pensava, che lei mi conosceva bene e che io non avevo fatto nulla di male.

Ma 「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」,

「動詞句」「目的語」, 「目的語」, 「目的語」, 「目的語」

Ma マ conj. しかし

d'improvviso ディンプ・ロヴァーゾ adv. 突然 「副詞句」

Maria マリア n.f マリーは 「主語」

è scoppiata エ・スコッポ・アータ 3 単現・完了形.f(scoppiare)v.i(in) ~し始めた 「動詞句」

in singhiózzi, イン・シンギョッツィ adv. (動作) すすり泣きを 「間接目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. ~ということ を 「目的語」

non era ノン・エラ 3 単半・否定・時制の一致(essere)v.i ~でない 「動詞句」

così, コシ adv. このような 「補語」

che ケ conj. ~ということ を 「目的語」

c'era チェラ 3 単半・時制の一致(esserci)v.i ~がある 「動詞句」

qualcosa d'altro, クアルコーサ・ダルトロ pron 何か別のことが 「主語」

che ケ conj. ~ということ を 「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

la ラ pron 彼女に	「目的語」
si forzava a dire シ・フォルツァーヴァ・ア・ディレ 3 単半・使役(forzare a+不定詞 dire)	
v.t 誰かが言わせた	「動詞句」
il contrario イルコントラーイ pron 反対のことを	「目的語」
di quel デイ・ケル adv. (分離) ～から	「副詞句」
che ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
pensava, ペンサーヴァ 3 単半(pensare)	
v.t 考えていた	「動詞」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
lei レイ pron 彼女は	「主語」
mi ミ pron ミ 僕のことを	「目的語」
conosceva コノシェヴァ 3 単半・時制の一致(conoscere)v.t 知っている	「動詞」
bène ベーネ adv. よく	「副詞」
e エ conj. そして	
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
io イオ pron 僕は	「主語」
non avevo fatto ノン・アヴェーヴァ・オ・ファット 1 単半・完了形・否定(fare)	
v.t しなかった	「動詞句」
nulla ヌッラ pron 何も～ない	「目的語」
di male. デイ・マーレ adj. 悪い	「形容詞句」

しかし廷吏が、裁判長の合図で、彼女を証言台から連れ出して、審理は続行された。

Ma l'usciera, a un cenno del presidente, l'ha portata via e l'udienza è continuata.

Ma 「主語」「副詞句」「目的語」「動詞句」「副詞」 e 「主語」「動詞句」

Ma マ conj. しかし	
l'usciera, ルシェーレ n.m 廷吏が	「主語」
a un cenno ア・ウン・チェンノ adv. (原因) 合図によって	「副詞句」
del presidente, テル・プレジデンテ adj. 裁判長の	「形容詞句」
l' ラ pron 彼女を	「目的語」
ha portata ア・ポルタータ 3 単現・完了形.f(portare)v.t 連れて行った	「動詞句」
via ヴァーア adv. 向こうへ	「副詞」
e エ conj. そして	
l'udienza ルディエンサ n.f 審理は	「主語」
è continuata. エ・コンチヌアータ 3 単現・完了形(continuare)v.i 続いた	「動詞句」

マソンが僕は律義者だ、更に言えば良い男だと言うのをほとんど誰も聞いていなかった。そしてサラマノが僕は彼の犬に親切だったと言った時や母さんについての質問に答えて僕は母さんに何も話すことが無いので母さんを養老院へ入れたと言った時もほとんど誰も聞いていなかったと言える。

Si può dire che non sono stati nemmeno ad ascoltare Masson che ha dichiarato che ero un galantuomo “e avrebbe voluto aggiungere ero un brav’uomo”, e quasi non hanno ascoltato Salamano quando ha detto che ero stato buono con il suo cane e quando ha risposto a una domanda a proposito di mia madre e me dicendo che non avevo più niente da dire alla mamma e per questo l’avevo messa all’ospizio.

「動詞句」「主語」,e「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞節」e「副詞節」

Si può dire シ・プ オ・ディレ 3 単現・可能(potere+不定詞 dirsi)

v.pr ～と言える、言われることができる

「動詞句」

che ケ conj. ～ということは

「主語」

non sono stati nemmeno ad ascoltare ノン・ソノ・スターティ・ネメーノ・アト・アスコルターレ

3 複現・完了形・否定(stare a+不定詞 ascoltare+ nemmeno)

v.t 聞いてもいなかった

「動詞句」

Masson マソン n.m マソンの言う事を

「目的語」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

ha dichiarato ア・ディキアラート 3 単現・完了形(dichiarare)

v.t 証言した

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

ero エロ 1 単半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

un galantuomo ウン・ガラントウオーモ n.m 律義者

「補語」

“e エ conj. そして

avrebbe voluto aggiungere, アヴレツパ・ウ・オルトアジ・エンジエレ 条・1 単現・完了形・願望

(volére+不定詞 aggiungere)v.t 付け加えるならば

「副詞句」

ero エロ 1 単半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

un brav’uomo”, ウン・ブラヴァーオーモ n.m いい人

「補語」

e エ conj. そして

quasi クワ・ジ adv. ほとんど

「副詞」

non hanno ascoltato ノン・アンノ・アスコルタート 3 複現・完了形・否定(ascoltare)

v.t 聞いていなかった

「動詞句」

Salamano サラマノ n.m サラマノの言う事を

「目的語」

quando クワンド conj. ～する時

「副詞節」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

ero stato	エロ・スタート	1 単半・完了形(èssere)v.i	～だった	「動詞」
buono	ブオーノ	adj.	親切的な	「補語」
con il suo cane	コン・イル・スカーネ	adv.	彼の犬に	「副詞句」
e	エ	conj.	そして	
quando	クワンド	conj.	～する時	「副詞節」
ha rispósto	ア・リスポ・スト	3 単現・完了形(rispondere)v.t	答えた	「動詞句」
a una domanda	ア・ウナ・トマнда	adv.	質問に	「間接目的語」
a proposito di mia madre	ア・プロポ・シト・デ・ミア・マトレ			
adv.	母さんについて			「副詞句」
e	エ	conj.	そして	
me	メ	pron	僕に	「間接目的語」
dicendo	ディチェント	ジェルンディオ(dire)adv.	～と言って	「副詞句」
che	ケ	conj.	～ということ	「直接目的語」
non avevo	ノン・アヴェーヴォ	1 単半・否定(avére)v.t	～がない	「動詞句」
più niente	ピウ・ニエンテ	pron	もう何も～ない	「目的語」
da dire	ダ・ディレ	不定詞・目的	話すべき	「形容詞句」
alla mamma	アラ・マンマ	adv.	母さんに	「間接目的語」
e	エ	conj.	そして	
per questo	ペル・クェスト	adv.	このため	「副詞句」
l'	ル	pron	彼女を	「目的語」
avevo messa	アヴェーヴォ・メッサ	1 単半・完了形.f(méttere)		
v.t	入れた			「動詞句」
all'ospizio.	ロスピツィオ	adv.	養老院へ	「副詞句」

「理解しなければいけません」とサラマノ老人は言った、「理解しなければいけません」僕には、誰も理解していないように思われた。

“Bisogna capire,” diceva Salamano, “bisogna capire.” Mi sembrava che nessuno capisse. Lo hanno portato via.

《「発言」》, 「動詞」「主語」, 《「発言」》

「間接目的語」「動詞」「主語」 | 「目的語」「動詞句」「副詞」

“Bisogna	ビゾーニャ	非人称・3 単現(bisognare)v.h	～が必要だ	「発言」
capire,”	カピレ	不定詞 n.	理解することが	「主語」
diceva	ディチェヴァ	3 単半(dire)v.t	言った	「動詞」
Salamano,	サラマノ	n.m	サラマノ老人が	「主語」
“bisogna capire.”	ビゾーニャ・カピレ	adv.	理解しなければいけない	「発言」
Mi	ミ	pron	僕には	「間接目的語」

PARTE SECONDA 第2部

sembrava センブラヴァ 3 単半(sembrare)v.i	～に思われた	「動詞」
che ケ conj.	～ということが	「主語」
nessuno ネスーノ pron	誰も～ない	「主語」
capisse. カピッセ 接・3 単半・推量・時制の一致(capi-re)v.t	理解していない	「動詞」
Lo ロ pron(Salamano の代用)	彼を	「目的語」
hanno portato アンノ・ポルタート 3 複現・完了形(portare)v.t	連れて行った	「動詞句」
via. ヴィア adv.	あちらへ	「副詞」

次にレーモンの順番が来た。彼が最後の証人だ。

Pòi è venuto il turno di Raimondo, che era l'ultimo testimònio.

Pòi ポーイ adv.	次に、それから	「副詞」
è venuto エ・ヴェヌート 3 単現・完了形(venire)v.i	やって来た	「動詞句」
il turno di Raimondo, イル・トゥルノ・ディ・ライモンド n.m	レーモンの順番が	「主語」
che ケ pron	彼は	「主語」
era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i	～である	「動詞」
l'ultimo testimònio. ルチモ・テスティモニオ n.m	最後の証人	「補語」

レーモンは僕に小さく合図をすると、すぐに僕は無罪であると証言した。

Raimondo mi ha fatto un piccolo cénno e ha subito détto che ero innocènte.

Raimondo ライモンド n.m	レーモンは	「主語」
mi ミ pron	僕に	「間接目的語」
ha fatto ア・ファット 3 単現・完了形(fare)v.t(動作を)	した	「動詞句」
un piccolo cénno ウン・ピッコロ・チェンノ n.m	小さな合図を	「直接目的語」
e エ conj.	そして	
ha subito détto ア・スービト・デット 3 単現・完了形(dire+subito)v.t	すぐに言った	「動詞句」
che ケ conj.	～ということを	「目的語」
ero エロ 1 単半・時制の一致(essere)v.i	～である	「動詞」
innocènte. インチェンテ adj.	無罪の	「補語」

しかし裁判長は、個人的な意見ではなく事実だけを求めていると彼に注意をして、質問されるのを待ってから答えるようにと彼を促した。

Ma il presidente gli ha fatto notare che non chiedeva apprezzamenti personali ma soltanto fatti, e l'ha invitato ad attendere, per rispondere, che gli fossero rivolte delle domande.

Ma 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」, e
「間接目的語」「動詞句」「副詞句」「直接目的語」

Ma マ conj. しかし

il presidente イル・プレジデンテ n.m 裁判長は 「主語」

gli リ pron 彼に 「間接目的語」

ha fatto notare ア・ファット・ノターレ 3 単現・完了形・使役(fare)v.t 注意した 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

non chiedeva ノン・キエデーヴァ 3 単半・否定・時制の一致(chiedere)

v.t 望んでいない 「動詞句」

apprezzamenti personali, アプレツァメンティ・ペルソナリ

pl(apprezzamento).n.m 個人的な意見、評価 「目的語」

ma マ conj. しかし

soltanto fatti, ソルタント・ファッティ pl(fatto).n.m 事実だけを 「目的語」

e エ conj. そして

l' リ pron 彼に 「間接目的語」

ha invitato ad attendere, ア・インヴァタート・アド・アテンデーレ 3 単現・完了形・促す(invitare a+不定詞)

v.t 待つように促した 「動詞句」

per rispondere, ペル・リスポンドーレ 不定詞・結果 adv. それから答え 「副詞句」

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

gli リ pron 彼に 「間接目的語」

fossero rivolte フォッセル・リヴォルト 接・3 複半・受動(rivolgere)

v.t 向けられた 「動詞句」

delle domande. デレ・トマンデー pl(domanda).n.f 質問が 「主語」

レーモンは被害者との関係を詳しく述べるように求められた。

Gli è stato chiesto di precisare le sue relazioni con la vittima.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Gli リ pron 彼は 「主語」

è stato chiesto di precisare エ・スタート・キエスト・ディ・プレチザーレ 3 単現・完了形・受動

(chiedere di+不定詞 precisare)v.t 明確にするように求められた 「動詞句」

le sue relazioni レ・スエ・レラツィオーニ pl(relazione)n.f 関係を 「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

con la vittima. コン・ラ・ウゝイッティマ adv. 被害者との

「副詞句」

二人の関係について、レーモンはこの機会を利用して、彼の妹を平手打ちしてから被害者が憎んでいたのは自分のほうだと言った。

Raimondo ne ha approfittato per dire che era lui che la vittima odiava dopo che egli aveva schiaffeggiato sua sorella.

「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」

Raimondo ライモン^ト n.m レーモンは

「主語」

ne ネ adv. それについて

「副詞」

ha approfittato per dire ア・アプ^ロフィッター^ト・ペ^ル・ディエ^レ 3 単現・完了形(approfitte)

v.t この機会を利用して言った

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

era エ^ラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

lui ルーイ pron 彼

「補語」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

la vittima ラ・ウゝイッマ n.f 被害者が

「主語」

odiava オディ^アウ^ア 3 単半(odiare)v.t 憎んでいた

「動詞」

dopo che トーポ[・]ケ adv. ～する後で

「副詞節」

egli エッリ pron 彼が

「主語」

aveva schiaffeggiato アヴ^エウ^ア・スキ^アフェッジ^ャト 3 単半・完了形(schiaffeggiare)

v.t 平手打ちした

「動詞句」

sua sorella. スー^ア・ソレー^ラ n.f 彼の妹を

「目的語」

裁判長は、それでも被害者が僕を憎む理由が何かあったのではないかとレーモンに尋ねた。

Il presidente gli ha chiesto Comunque se la vittima aveva qualche ragione di odiarmi.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il presidente イル[・]プレジデ^ンテ n.m 裁判長は

「主語」

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

ha chiesto ア[・]キエ^{スト} 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた

「動詞句」

Comunque se コムク^エ・セ conj. それでも～かどうかを

「直接目的語」

la vittima ラ・ウゝイッマ n.f 被害者は

「主語」

aveva アヴ^エウ^ア 3 単半(avere)v.t ～があった

「動詞」

qualche ragione ク^ワル^ク・ラジ^ョネ n.f 何か理由が

「目的語」

di odiarmi. ディ^オディ^{アル}ミ 不定詞・目的 adj. 僕を憎むべき 「形容詞句」

レーモンは、僕が浜辺に居合わせたのは偶然の結果だと言った。

Raimondo ha detto che la mia presenza alla spiaggia era frutto di un caso.

「主語」「動詞句」「目的語」

Raimondo ライモンﾄﾞ n.m レーモンは

「主語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

la mia presenza ラ・ミア・プレゼンツァ n.f 僕が居合わせた事は

「主語」

alla spiaggia ア・スピ・アッジャ adv. 浜辺に

「副詞句」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

frutto フルト n.m 結果

「補語」

di un caso. デイ・ウン・カーゾ adj. 偶然の

「形容詞句」

すると検事は、事件の発端になったあの手紙はいったいどうして僕が書いたのかとレーモンに尋ねた。

Il P. M. gli ha chiesto allora come mai la lettera che si trovava all'origine del dramma era stata scritta da me.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞」「直接目的語」

Il P. M. イル・ピー・エム n.m 検事は

「主語」

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた

「動詞句」

allora アッローラ adv. すると

「副詞」

come mai コーメ・マイ conj. いったいどうして～すると

「直接目的語」

la lettera ラ・レッテラ n.f あの手紙は

「主語」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

si trovava シ・トロヴァーヴァ 3 単半・時制の一致(trovarsi)

v.pr ～の状態になっている

「動詞句」

all'origine アロジネ adv. 発端に

「間接目的語」

del dramma テル・ドラマ adj. 事件の「形容詞句」

era stata scritta エラ・スタハタ・スクリッタ 3 単半・完了形・受動(scrivere)

v.t 書かれた

「動詞句」

da me. ダ・メ adv. (動作主) 僕によって

「副詞句」

レーモンは、それも偶然だと答えた。

Raimondo ha risposto che era per caso.

「主語」「動詞句」「目的語」

Raimondo ライモント[°] n.m レーモンは

「主語」

ha risposto ア・リスポ[°] スト 3 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ～である

「動詞」

per caso. ペル・カーゾ[°] adv. 偶然に

「補語」

検事は、この事件では既に偶然が余りにも多すぎるように思われると応酬した。

Il P. M. ha controbattuto che il caso aveva già molte malefatte sulla coscienza in quella faccenda.

「主語」「動詞句」「目的語」

Il P. M. イル・ピー・エム[°] n.m 検事は

「主語」

ha controbattuto ア・コントロバットゥート 3 単現・完了形(controbattere)v.t 応酬した

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

il caso イル・カーゾ[°] n.m 偶然に

「主語」

aveva アヴェーヴァ[°] 3 単半・存在・時制の一致(avére)v.t ～がある

「動詞」

già ジャ adv. もう

「副詞」

molte malefatte モルト・マレファッテ pl(malefatta).n.f 多くの過ち

「目的語」

sulla coscienza スラ・コシェンサ adv. 良心において

「副詞句」

in quella faccenda. イン・ケッラ・ファチェンダ[°] adv. この事件では

「副詞句」

avére ql.co. coscienza 何かをやましく感じる

レーモンが愛人を平手打ちした時に僕が仲裁に入らなかったのは偶然なのか、警察署で証人になったのは偶然なのか、その証言での僕の申告が全くのもたらめだと判明したのはさらに偶然なのか、と検事は尋ねた。

Ha voluto sapere se era per caso che io non ero intervenuto quando Raimondo aveva schiaffeggiato la sua amante, per caso che avevo fatto da testimònio al Commissariato, per caso ancóra che le mie dichiarazioni in quella testimonianza si erano dimostrate di pura compiacenza.

「動詞句」「目的語」

Ha voluto sapere ア・ヴァオルト・サペ[°] レ 3 単現・完了形・願望(volére+不定詞 sapere)

v.t 知りがった、尋ねた

「動詞句」

se セ conj. ～かどうかを

「目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

PARTE SECONDA 第2部

per caso	ペル・カゾ	adv. 偶然の	「補語」
che	ケ	conj. ～ということは	「主語」
io	イオ	pron 僕が	「主語」
non ero intervenuto	ノン・エロ・インテロヴェヌート	1 単半・完了形・否定(intervenire)	
	v.i	仲裁に入らなかった	「動詞句」
quando	クワント	conj. ～する時	「副詞節」
Raimondo	ライモンテ	n.m レーモンが	「主語」
aveva schiaffeggiato	アヴェ・エヴァ・ア・スキアフェッジャート	3 単半・完了形(schiaffeggiare)	
	v.t	平手打ちした	「動詞句」
la sua amante,	ラ・スア・アマンテ	n.f 愛人を	「目的語」
per caso	ペル・カゾ	adv. 偶然の	「補語」
che	ケ	conj. ～ということは	「主語」
avevo fatto	アヴェ・エヴァ・オ・ファット	1 単半・完了形(fare)	
	v.t	(動作を) した	「動詞句」
da testimònio	ダ・テスティモニオ	adv. (資格) 証人として	「副詞句」
al Commissariato,	アル・コミサリアート	adv. 警察署で	「副詞句」
per caso ancora	ペル・カゾ・アンコーラ	adv. さらに偶然の	「補語」
che	ケ	conj. ～ということは	「主語」
le mie dichiarazioni	レ・ミー・ディキアラツィオーニ		
	pl(dichiarazióone)n.m	僕の申告は	「主語」
in quèlla testimonianza	イン・クエツァ・テスティモニアンザ		
	adv.	その証言での	「副詞句」
si erano dimostrate	シ・エラーノ・ディモストラテ	3 複半・完了形(dimostrarsi)	
	v.pr(～であることが)	判明した	「動詞句」
di pura compiacenza.	ディ・プーラ・コンピアチェンザ		
	adj.	全くのでっち上げ、全くの自己満足	「補語」

最後に、検事はレーモンに生計の手段は何かと尋ねた。彼が「倉庫番」と答えたので、検事は陪審員に向かって、証人がひも稼業を行っていたのは公然に事実であると宣言した。

Per finire ha chiesto a Raimondo quali erano i suoi mezzi di sostentamento e poiché quest'ultimo rispondeva "magazzinière", il P.M. ha dichiarato ai giurati che era di notorietà pubblica che il testimònio esercitava la professione di lenone.

「副詞句」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」 e

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」「動詞句」

Per finire ペル・フィニーレ adv. 終わりに、最後に 「副詞句」

ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chièdere)v.t 尋ねた 「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

a Raimondo ア・ライモント	adv. レーモンに	「間接目的語」
quali クワ・リ	pron.pl 何が～すると	「直接目的語」
erano エーノ	3 複半・時制の一致(èssere)v.i ～である	「動詞」
i suoi mèzzi イ・スオイ・メツィ	pl(mèzzo).n.m 手段	「補語」
di sostentaménto ティ・ソステンタメント	adj. 生計の	「形容詞句」
e エ conj.	そして	
poiché ポ・イェ conj.	～なので	「副詞節」
quest'ultimo ケストウルチモ	pron レーモンが	「主語」
rispondeva リスポンデーヴァ	3 単半(rispondere)v.t 答えた	「動詞」
“magazzinière”, マガジニエーレ	n.m 倉庫番	「目的語」
il P.M. イル・ピー・エム	n.m 検事は	「主語」
ha dichiarato ア・ディキアラート	3 単現・完了形(dichiarere)v.t 宣言した	「動詞句」
ai giurati アイ・ジウラーティ	adv. 陪審員に	「間接目的語」
che ケ conj.	～ということを	「直接目的語」
era エラ	3 単半・時制の一致(èssere)v.i ～である	「動詞」
di notorietà pùbblica ティ・ノトリエタ・プッブリカ	adj. 公然の事実の	「補語」
che ケ conj.	～ということは	「主語」
il testimònio イル・テストイモニオ	n.m 証人が	「主語」
esercitava エゼルチターヴァ	3 単半(esercitare)	
	v.t 営んでいた、行っていた	「動詞」
la professióne ラ・プロフェッシオーネ	n.f 職業を	「目的語」
di lenone. ティ・レノーネ	adj. (売春婦の) ひもの	「形容詞句」

僕は彼の共犯であり、相棒なのだ。

Io ero suo còmplice e suo amico.

		「主語」「動詞」「補語」 e 「補語」
Io イ・オ	pron 僕は	「主語」
ero エロ	1 単半・時制の一致(èssere)v.i ～である	「動詞」
suo còmplice スーオ・コンプレチェ	n.m 彼の共犯	「補語」
e エ conj.	そして	
suo amico. スーオ・アミーコ	n.m 彼の相棒	「補語」

我々は、道徳的な怪物を相手にすることで悪化され、最も卑劣な種類の悪の悲劇に直面した。

Ci si trovava di frónte a un dramma di malavita délla specie più abbietta, aggravato dal fatto che si aveva a che fare con un mostro morale.

「副詞」「動詞句」「副詞句」
 Ci チ adv. そこに 「副詞」
 si trovava シ・トロヴァーヴァ 3 単半(trovarsi)v.pr (ある場所に) いた 「動詞句」
 di frónte ディ・フロンテ adv. 正面に 「副詞句」
 a un dramma ア・ウン・ドラマ adv. 悲劇の 「副詞句」
 di malavita ディ・マラヴァイタ adj. 悪の 「形容詞句」
 délla specie più abbietta, デラ・スペー・チェ・ピウ・アビエッタ
 adj. 最も卑劣な種類の 「形容詞句」
 aggravato アグラヴァート 過去分詞(aggravare)・受動
 adj. 悪化された 「形容詞」
 dal fatto ダル・ファット adv.(動作主) 事実によって 「副詞句」
 che ケ conj. (同格) ～という 「形容詞節」
 si シ pron 人は 「主語」
 aveva アヴァーヴァ 3 単半・使役(avére)
 v.t(動作を) させていた 「動詞」
 a che ア・ケ pron 何かに 「間接目的語」
 fare ファーレ 不定詞・che の動作 v.t する 「補語」
 con un mostro morale. コン・ウン・モストロ・モラーレ
 adv. 怪物の道徳を持つ 「副詞句」

レーモンは反論したし弁護士も抗議したが、検事に最後まで話させるべきだと言われた。

Raimondo ha cercato di difendersi e il mio difensóre ha protestato, ma è stato détto lóro che bisognava lasciar terminare il P. M.

「主語」「動詞句」 e 「主語」「動詞句」,ma 「動詞句」「間接目的語」「主語」
 Raimondo ライモンﾄﾞ n.m レーモンは 「主語」
 ha cercato di difendersi ア・チェルカート・ディ・ディフェンデルシ 3 単現・完了形・しようとする
 (cercare di+不定詞 difendersi)v.pr 自分を弁護しようとした 「動詞句」
 e エ conj. そして
 il mio difensóre イル・ミーオ・ディフェンソーレ n.m 僕の弁護士は 「主語」
 ha protestato, ア・プロテスタート 3 単現・完了形(protestare)v.t 抗議した 「動詞句」
 ma マ conj. しかし
 è stato détto エ・スタート・デット 3 単現・完了形・受動(dire)v.t 言われた 「動詞句」
 lóro ロロ pron 彼らに 「間接目的語」

PARTE SECONDA 第2部

che ケ conj. ～ということは	「主語」
bisognava ビゾニャーヴァ 非人称・3 単半・時制の一致(bisognare)	
v.h(+不定詞 ～することが) 必要である	「動詞」
lasciar ラッシャー 不定詞・使役 v.t させる	「動詞」
terminare テルミナーレ 不定詞・P. M.の動作 v.t 終える	「補語」
il P. M. イル・ピー・エンメ n.m 検事に	「目的語」

検事は言った：「付け加えることはほとんどありません。この男はあなたの友人ですか？」と、彼はレーモンに尋ねた。

Il quale ha detto: “Ho ben pòco da aggiungere. Quest’uomo era vostro amico?” ha domandato a Raimondo.

「主語」「動詞句」：《「動詞」「目的語」 「主語」「動詞」「補語」》「動詞句」「間接目的語」	
Il quale イル・クワレ pron(il P. M.の代用) 検事は	「主語」
ha detto: ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
“Ho オ 1 単現(avére)v.t ～がある	「動詞」
ben pòco ベン・ポコ pron わずかなこと	「目的語」
da aggiungere. ダ・アツィエンジエレ 不定詞・目的 adj. 付け加えるべき	「形容詞句」
Quest’uomo ケストウオモ n.m この男は	「主語」
era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である	「動詞」
vostro amico?” ヴォストロ・アミコ n.m あなたの友人	「補語」
ha domandato ア・トマンダート 3 単現・完了形(domandare)v.t 尋ねた	「動詞句」
a Raimondo. ア・ライメント adv. レーモンに	「間接目的語」

「はい」とレーモンは答えた。「友人です」そこで検事は僕に同じ質問をした。僕がレーモンを見つめると、彼は視線をそらさなかった。

“Sì,” ha detto Raimondo, “era il mio amico.” Il P. M. ha allora rivolto a me la stessa domanda, e io ho guardato Raimondo che non ha allontanato lo sguardo.

《「応答」》, 「動詞句」「主語」, 《「動詞」「補語」》

「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」 e 「主語」「動詞句」「目的語」

「主語」「動詞句」「目的語」

“Sì,” シ adv. はい	「応答」
ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
Raimondo, ライメント n.m レーモンは	「主語」
“era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である	「動詞」
il mio amico.” イル・ミー・オ・アミコ n.m 友人	「補語」
Il P. M. イル・ピー・エンメ n.m 検事は	「主語」

PARTE SECONDA 第2部

ha allóra rivolto ア・アッローラ・リヴ`ォルト 3 単現・完了形(rivòlgere+ allóra)

v.t (言葉を) かけた

「動詞句」

a me ア・メ adv. 僕に

「間接目的語」

la stéssa domanda, ラ・ステッサ・ト`マンダ` n.f 同じ質問を

「直接目的語」

e エ conj. そして

io イ・オ pron 僕は

「主語」

ho guardato オ・グ`わルダ`ート 1 単現・完了形(guardare)v.t 見つめた

「動詞句」

Raimondo ライモン`ト` n.m レーモンを

「目的語」

che ケ pron レーモンは

「主語」

non ha allontanato ノ・ナ・アロンタ`ート 1 単現・完了形・否定(allontanare)

v.t 引き離さなかった

「動詞句」

lo sguardo. ロ・ズ`グ`ワルト` n.m 視線を

「目的語」

僕は答えた：「はい」。検事は陪審たちの方に向き直り、断固として述べた：「母親の死の翌日に最も恥ずべき放蕩に耽ったその同じ男が、女とのいかがわしい問題を清算するために無用な理由で殺したのであります」

Ho rispósto: “Sì.” Il P. M. si è allóra rivolto ai giurati e ha dichiarato: “Lo stéssu uòmo che all’indomani délla mòrte di sua madre si abbandonava alla dissolutezza più vergognósa, ha ucciso per futili motivi e per liquidare un equivoco affare di dònne.”

「動詞句」：《「応答」》 | 「主語」「動詞句」「間接目的語」 e 「動詞句」：

《「主語」「動詞句」「副詞句」》

Ho rispósto: オ・リスポ`スト 1 単現・完了形(rispóndere)v.i 答えた

「動詞句」

“Sì.” シ adv. はい

「応答」

Il P. M. イル・ピー`ー・エンメ n.m 検事は

「主語」

si è allóra rivolto シ・エ・アッローラ・リヴ`ォルト 3 単現・完了形(rivòlgersi+ allóra)

v.pr(a の方に) 向き直った

「動詞句」

ai giurati アイ・ジ`ュラ`ーティ adv. 陪審たちの方に

「間接目的語」

e エ conj. そして

ha dichiarato: ア・テ`ィキア`ート 3 単現・完了形(dichiarare)v.t 断固として述べた

「動詞句」

“Lo stéssu uòmo ロ・ステッサ・ウ`ォーモ n.m 同じ男が

「主語」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

all’indomani délla mòrte di sua madre アリント`マーニ・テ`ラ・モ`ルテ・テ`ィ・ス`ーア・マト`レ

adv. 母親の死の翌日に

「副詞句」

si abbandonava シ・アバ`ント`ナー`ヴァ 3 単半(abbandonarsi)

v.pr(a に) 身をゆだねていた

「動詞句」

alla dissolutezza ア`ラ・テ`ィソ`ルテ`ツァ adv. 放蕩に

「間接目的語」

PARTE SECONDA 第2部

più vergognosa, ヒ・ウ・ウ^グエルコ^ニョーサ

adj. 最も恥ずべき

「形容詞句」

ha ucciso ア・ウッチーゾ 3 単現・完了形(uccidere)v.t 殺した

「動詞句」

per futili motivi ヘル・フチリ・モチウ^グィ adv. (目的) 無用な理由のために

「副詞句」

e エ conj. そして

per +不定詞 ヘル adv. (目的) ~するために

「副詞句」

liquidare リキダーレ 不定詞 v.t 清算する

「動詞」

un equivoco affare ウン・エキウ^グォコ・アッファレ n.m いかかわしい問題を

「目的語」

di donne.” ディ・ドネ adj. 女との

「形容詞句」

それから彼はまた着席した。

Poi si è rimesso a sedere.

「副詞」 「動詞句」

Poi ポーイ adv. それから

「副詞」

si è rimesso a sedere. シ・エ・リメッソ・ア・セデーレ 3 単現・完了形・再度(rimettersi a+不定詞 sedere)

v.pr また着席した

「動詞句」

しかし、僕の弁護士は我慢の限界に達し、両手をあげて叫び始めたので糊のきいたシャツの袖がずり落ち、糊のきいたシャツのブリーツが露わになった。

Ma il mio avvocato, al limite della sua pazienza, si è messo a urlare alzando le braccia di modo che le maniche, ricadendo, hanno lasciato apparire le pieghe di una camicia inamidata.

Ma 「副詞句」 「動詞句」 「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」

Ma マ conj. しかし

il mio avvocato, イル・ミーオ・アウ^グォカート n.m 僕の弁護士は

「主語」

al limite della sua pazienza, アル・リミテ・デラ・スア・パチエンツァ adv. 忍耐の限界に達して 「副詞句」

si è messo a urlare シ・エ・メッソ・ア・ウルレーレ 3 単現・完了形・開始(mettersi a+不定詞 urlare)

v.pr 叫び出した

「動詞句」

alzando アルツァント^グ ジェルンディオ・同時(alzare)adv. 上げながら

「副詞句」

le braccia レ・ブラッチャ pl(braccio).n.f 両腕を

「目的語」

di modo che+接続法 ディ・モト^グ・ケ adv. (結果) それで~する

「副詞句」

le maniche, レ・マーニケ pl(mànica).n.f 袖が

「主語」

ricadendo, リカデント^グ ジェルンディオ(ricadere)v.i ずり落ちる

「動詞」

hanno lasciato apparire アンノ・ラッシャート・アッパ^グリーレ 3 複現・完了形・放任(lasciare+不定詞)

v.t 見えるままにされた

「動詞句」

le pieghe レ・ピエガ^グ pl(piéga).f ブリーツが、ひだ、しわが

「主語」

di una camicia ティ・ウナ・カミチャ adj. シャツの

「形容詞句」

inamidata: インミダータ adj. 糊のきいた

「形容詞」

「要するに、被告は母親を埋葬したから告訴されているのでしょうか？それとも人を殺したからでしょうか？」

“Insomma, è accusato di aver seppellito sua madre o di avere ucciso un uomo?”

《「副詞」, 「動詞句」 「副詞句」 o 「副詞句」》

“Insomma, インソマ adv. 要するに、早い話が

「副詞」

è accusato エ・アックサート 3 単現・受動(accusare)v.t 告訴されている

「動詞句」

di + 不定詞・完了形 ティ adv. (原因) ～したために

「副詞句」

aver seppellito アヴェル・セッペリート 不定詞・完了形(seppellire)v.t 埋葬した

「動詞句」

sua madre スー・マトレ n.f 母親を

「目的語」

o オ conj. または

di avere ucciso ティ・アヴェレ・ウチゾ adv. (原因) 殺したために

「副詞句」

un uomo? ウン・ウオーモ n.m 人を

「目的語」

傍聴人は笑った。しかし検事は再び立ち上がり法服を身にまとして、その 2 種類の事実の間に存在する深く悲壮で本質的な類似性に気付くためには高名な弁護人の純真さが必要だったと明言した。

Il pùbblico ha riso, ma il P.M. si è alzato ancóra, si è drappeggiato nêlla tōga e ha dichiarato che ci voleva l'ingenuità déll'emerito difensóre per non rendersi conto che esisteva fra quei due ordini di fatti una parentèela profónða, patètica, essenziale.

「主語」「動詞句」, ma 「主語」「動詞句」「副詞」, 「動詞句」「副詞句」 e 「動詞句」「目的語」

Il pùbblico イル・プッブリコ n.m 傍聴人は

「主語」

ha riso, ア・リーゾ 3 単現・完了形(ridere)v.i 笑った

「動詞句」

ma マ conj. しかし

il P.M. イル・ピー・エム n.m 検事は

「主語」

si è alzato シ・エ・アルツアート 3 単現・完了形(alzarsi)v.pr 立ち上がった

「動詞句」

ancóra, アンコーラ adv. また、再び

「副詞」

si è drappeggiato シ・エ・トラペジャート 3 単現(drappeggiarsi)

v.pr (衣類で) 身を包んだ、服をまとった

「動詞句」

nêlla tōga ネッラ・トガ adv. 法服に

「副詞句」

e エ conj. そして

ha dichiarato ア・ディキアラート 3 単現・完了形(dichiarare)v.t はっきりと言った

「動詞句」

che ケ conj. ～ということ

「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

ci voleva チ・ウゝォーヴァ 3 単半(voler-ci)v.h	～が必要だった	「動詞句」
l'ingenuità リンヅェヌイター n.f	純真さが	「主語」
dell'emerito difensore デレメリト・ディフェンソーレ adj.	高名な弁護人の	「形容詞句」
per +不定詞 ペル 不定詞・目的	adv. ～するために	「副詞句」
non rendersi ノン・レンデルシ 不定詞・再帰受動		
v.pr	気付かれる	「動詞句」
non	は「否定の強調」	
conto コント n.m	考慮が、評価	「主語」
che ケ pron(主語)	～する	「形容詞節」
esisteva, エジステヴァ 3 単半・時制の一致(esistere)		
v.i	存在する	「動詞」
fra quei due ordini di fatti, フラ・クエイ・トウエ・オルディニ・ディ・ファット		
adv.	その 2 種類の事実の間に	「副詞句」
una parentela ウナ・パレンテラ n.f	類似性が	「主語」
profonda, プロフォンダ adj(profondo).f	深い	「形容詞」
patetica, パテチカ adj(patetico).f	悲壮な、哀れな	「形容詞」
essenziale. エッセンチアーレ adj.	本質的な	「形容詞」

「そうです」、と彼は声を限りに叫んだ。「私はこの男が犯罪者の心を持って母親を埋葬したことを非難します」

“Sì,” ha gridato a pieni polmoni, “accuso quest'uomo di aver seppellito sua madre con cuore di criminale.”

《「応答」》, 「動詞句」 「副詞句」, 《「動詞」 「目的語」 「副詞句」》

“Sì,” シ adv.	そうです		「応答」
ha gridato ア・グリタート 3 単現・完了形(gridare)v.i	叫んだ		「動詞句」
a pieni polmoni, ア・ピエニ・ポルモニ adv.	あらん限りの声で		「副詞句」
“accuso アッカーゾ” 1 単現(accusare)v.t	非難する		「動詞」
quest'uomo クェスト・ウオーモ n.m	この男を		「目的語」
di aver seppellito ティ・アヴェル・セッペリト 不定詞・完了形・原因(seppellire)			
adv.	埋葬したことで		「副詞句」
sua madre スーア・マトレ n.f	母親を		「目的語」
con cuore コン・クオーレ adv.	(付属) 心を持って		「副詞句」
di criminale.” ティクリミナーレ adj.	犯罪者の		「形容詞句」

この発言は、陪審員と傍聴者にかなりの影響を与えたと思われる。

È parso che questa dichiarazione facesse un effètto considerévole sui giurati e sui 'pùbblico.

「動詞句」「主語」

È parso エ・パルソ 3 単現・完了形(parére)v.i. ～のように思われた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということは

「主語」

questa dichiarazione ケスタ・ディキアラツィオーネ n.f. この発言は

「主語」

facesse ファチェッセ 接・3 単半(fare)v.t. 作った

「動詞」

un effètto considerévole ウン・エフェット・コンシデレーヴレ n.m. かなりの影響を「直接目的語」

sui giurati e sul 'pùbblico. スイ・ジューラーティ・エ・スル・プッブリーコ

adv. 陪審員と傍聴者に

「間接目的語」

僕の弁護士は肩をすくめて、額を覆う汗を拭った。

Il mio avvocato ha alzato le spalle e si è asciugato il sudóre che gli copriva la frónte.

「主語」「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」

Il mio avvocato イル・ミーオ・アヴァッォカート n.m. 僕の弁護士は

「主語」

ha alzato ア・アルツァート 3 単現・完了形(alzare)v.t. 上げた

「動詞句」

le spalle レ・スパッレ pl(spalla).n.f. 両肩を

「目的語」

e エ conj. そして

si è asciugato シ・エ・アッジュカート 3 単現・完了形(asciugarsi)v.pr (水気を)拭った 「動詞句」

il sudóre イル・ストーレ n.m. 汗を

「目的語」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

gli リ pron 彼の

「間接目的語」

copriva コプリヴァ 3 単半・時制の一致(coprire)v.t. 覆う

「動詞」

la frónte. ラ・フロンテ n.f. 額を

「直接目的語」

しかし彼も動揺しているように見えたので、状況は僕にとって良くないことを理解した。

Ma anche lui sembrava scòsso e ho capito che le còse non andavano bène per me.

Ma 「主語」「動詞」「補語」 e 「動詞句」「目的語」

Ma マ conj. しかし

anche lui アンケ・ルーイ pron 彼も

「主語」

sembrava センブラヴァ 3 単半(sembrare)v.i. ～の様に見えた

「動詞」

scòsso スコッソ adj. 狼狽した

「補語」

e エ conj. そして

ho capito オ・カピート 1 単現・完了形(capire)v.t. 理解した

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

le cose レ・コセ pl(còsa).n.f 物事は	「主語」
non andavano ノン・アンダヴァノ 3 複半・否定・時制の一致(andare)	
v.i(事態が) 進行していない	「動詞句」
bene ベーネ adv. うまく	「副詞句」
per me. ペル・メ adv. 僕にとって	「副詞句」

それから、全てが急速に進行した。公判は閉廷した。

Poi tutto è andato molto velocemente. L'udienza è stata tolta.

	「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」 「主語」「動詞句」
Poi ポーイ adv. それから	「副詞」
tutto トゥット pron すべてが	「主語」
è andato エ・アンダート 3 単現・完了形(andare)v.i 進行した、進んだ	「動詞句」
molto velocemente. モルト・ウエロチェメンテ adv. 急速に	「副詞句」
L'udienza ルディエンザ n.f 公判は	「主語」
è stata tolta. エ・スター・トルタ 3 単現・完了形・受動(togliere)	
v.t 閉廷された、解放された	「動詞句」

護送車に乗って裁判所を出る時に、少しの間、夏の夕方の匂いや色に気が付いた。

Uscendo dal palazzo di giustizia per salire nella vettura, ho riconosciuto per un breve istante il profumo e il colore della sera d'estate.

	「副詞句」, 「動詞句」「副詞句」「目的語」
Uscendo ウシエンДО ジェルンディオ(uscire)adv.(da を) 出る時に	「副詞句」
dal palazzo di giustizia ダル・パラッツォ・ディ・ジユスティツィア adv. 裁判所を「間接目的語」	
per salire ペル・サリレ 不定詞・目的 adv. 出るために	「副詞句」
nella vettura, ネラ・ヴェットゥーラ adv. 護送車で	「副詞句」
ho riconosciuto オ・リコノシュート 1 単現・完了形(riconoscere)v.t 認識した、気づいた	「動詞句」
per un breve istante ペル・ウン・ブレヴェ・イスタンテ adv. 少しの間	「副詞句」
il profumo イル・プロフモ n.m 匂いを	「目的語」
e e conj. そして	
il colore イル・コロレ n.m 色を	「目的語」
della sera d'estate. デラ・セーラ・デ・スターテ adj. 夏の夕方の	「形容詞句」

僕の走る独房の闇の中で、僕は疲労の底からのように、僕が愛する街のそしてふと満足を感じるある時間の全ての物音を一つ一つ見つけ出した。

Nell'oscurità della mia prigione semovente ho ritrovato a uno a uno, come dal fondo della mia stanchezza, tutti i rumori familiari di una città che amavo e di una certa ora in cui mi avveniva di sentirmi contento.

「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」, 「目的語」

Nell'oscurità ネロスクリタ adv. 闇の中で

「副詞句」

della mia prigione デラ・ミア・プリジオーネ adj. 僕の独房の

「形容詞句」

semovente セモヴェンテ adj. 自力で走る

「形容詞」

ho ritrovato オ・リトロヴァート 1 単現・完了形(ritrovare)v.t 見つけた、取り戻した

「動詞句」

a uno a uno, ア・ウノ・ア・ウノ adv. 一つずつ

「副詞句」

come コーメ conj. ~のように

「副詞句」

dal fondo ダル・フォント adv. 底から

「副詞句」

della mia stanchezza, デラ・ミア・スタンケツツァ adj. 疲労の

「形容詞句」

tutti i rumori トゥッティ・イ・ルモリ pl(rumóre).n.m 全ての物音を

「目的語」

familiari ファミリアーリ adj(familiare).pl 馴染みのある

「形容詞」

di una città デイ・ウナ・チッタ adj. 一つの街の

「形容詞句」

che ケ pron (目的語) ~する

「形容詞節」

amavo アマーヴォ 1 単半・時制の一致(amare)v.t 愛する

「動詞」

e エ conj. そして

di una certa ora デイ・ウナ・チェルタ・オーラ adj. ある時間の

「形容詞句」

in cui イン・クイ adv. そこで~する

「副詞節」

mi avveniva di sentirmi ミ・アヴヴェニヴァ・ディ・センチルミ 1 単半(avvenirse di+不定詞 sentirsi)

v.pr たまたま感じる

「動詞句」

contento. コンテント adj. 満足した

「補語」

既に落ち着いた大気の中で聞こえる新聞売りの叫び声、公園で最後に残る鳥たちの鳴き声、サンドウィッチ売りの呼び声、高台のカーブできしる路面電車の車輪の音、港に夜が覆いかぶさる前に聞こえる音響、このすべてが、僕が刑務所に入る前によく知っていた旅程を、盲目状態の僕のために再構成してくれた。

Il grido dei giornalai nell'aria già calma, gli ultimi uccelli nel piazzale, il richiamo dei venditori di sandwiches, il lamento dei tram nelle svolte delle vie alte, quella sonorità del cielo prima che la notte si appesantisca sul pòrto, tutto questo ricomponeva per me un itinerario da cieco, che conoscevo bene prima di entrare in prigione.

「主語」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」 「目的語」

Il grido イル・グリト° n.m 叫び声 「主語」

dei giornalai デイ・ジョルナライ adj. 新聞売りたちの 「形容詞句」

nell'aria già calma, ネッテ-リア・ジヤ・カルマ adv. 既に静かな空気の中の 「副詞句」

gli ultimi uccelli リ・ウルチミ・ウッチェリ pl(uccello).n.m 最後の鳥たち 「主語」

nel piazzale, ネル・ピ°アツァーレ adv. 公園内の 「副詞句」

il richiamo イル・リキアーモ n.m 呼び声 「主語」

dei venditori di sandwiches, デイ・ウ°エンテ°イトリ・デイ・サント°ウイチェス

adj. サンドウィッチ売りの 「形容詞句」

il lamento イル・ラメント n.m 唸り声 「主語」

dei tram デイ・トラム adj. 路面電車の 「形容詞句」

nelle svolte ネッレ・ズヴ°オルテ adv. カーブで 「副詞句」

delle vie alte, デレ・ヴィー・アルテ adj. 高台の 「形容詞句」

quella sonorità クェッラ・ソノリタ n.f その音響 「主語」

del cielo デル・チェロ° adj. 空の 「形容詞句」

prima che プリーマ・ケ conj. ~する前に 「副詞節」

la notte ラ・ノッテ n.f 夜が 「主語」

si appesantisca シ・アペ°サンチスカ 接・3 単現(appesantirsi)

v.pr. のしかかる 「動詞句」

sul pòrto, スル・ポ°ールト adv. 港に 「副詞句」

tutto questo トゥット・クェスト pron この全てが 「主語」

ricomponeva リコンポ°ネヴァ° 3 単半(ricompórrre)v.t 再編成した 「動詞」

per me ペ°ル・メ adv. 僕のために 「副詞句」

un itinerario da cieco, ウン・イチネラーリオ・ダ°・チェコ n.m 盲目での旅程を 「目的語」

che ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

conoscevo コノシェヴァ° 1 単半(conóscere)v.t 知っていた 「動詞」

bene ベ°ネ adv. 良く 「副詞句」

prima di +不定詞 プリーマ・ディ° 不定詞 adv. ~する前に 「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

entrare エントラーレ 不定詞 v.i 入る 「動詞」
 in prigione. イン・プリジョーネ adv. 刑務所に 「間接目的語」

そうだ、ずっと以前に自分は満ち足りていると感じていたその時間だ。

Sì, era questa l'ora in cui, tanto tempo fa, mi sentivo contento.

Sì, シ adv. そうだ 「副詞」, 「動詞」 「補語」
 era エラ 3 単半・時制の一致(èssere)v.i ~である 「動詞」
 questa l'ora ケスタ・ローラ n.f この時間 「補語」
 in cui, イン・クーイ adv. その時に~する 「副詞節」
 tanto tempo fa, タント・テンポ・ファ adv. ずっと以前に 「副詞句」
 mi sentivo ミ・センチ・ヴォ 1 単半(sentirsi)
 v.pr (自分が~であると) 感じていた 「動詞句」
 contento. コンテント adj. 満ち足りた 「補語」

その時僕を待っていたのは、いつも浅くて、夢を見ない眠りだった。

Quello che mi aspettava, allora, era sempre un sonno leggero e senza sogni.

Quello ケッロ pron それは 「主語」 「動詞」 「補語」
 che ケ pron (主語) ~する 「主語」
 mi ミ pron 僕を 「形容詞節」
 aspettava, アスペッターヴァ 3 単半(aspettare)v.t 待っていた 「目的語」
 allora, アッローラ adv. その時 「動詞」
 era エラ 3 単半(èssere)v.i ~だった 「副詞」
 sempre センプレ adv. いつも 「動詞」
 un sonno ウン・ソノ n.m 眠り 「補語」
 leggero レッジェーロ adj. 軽い 「形容詞」
 e エ conj. そして 「形容詞句」
 senza sogni. センツァ・ソニ adj. 夢のない

しかし、何かが変わってしまった。というのは、明日を待っていると、僕が戻るのはこの独房だからである。

Eppure qualcosa era cambiato perché con l'attesa dell'indomani era la mia cella che ritrovavo.

Eppure 「主語」「動詞句」「副詞節」

Eppure エップーレ conj. しかし

qualcosa クワルコーサ pron 何かが

「主語」

era cambiato エラ・カンビエート 3 単半・完了形(cambiare)v.i 変わっていた

「動詞句」

perché ペルケ conj. ～なので

「副詞節」

con l'attesa コン・ラテーザ adv. (di を) 待っていると

「副詞句」

dell'indomani デリントマニ adv. 翌日を

「間接目的語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった

「動詞」

la mia cella ラ・ミア・チェラ n.f 僕の独房

「補語」

che ケ conj. ～ということは

「主語」

ritrovavo. リトロヴァーヴォ 1 単半・時制の一致(ritrovare)

v.t 回復する、戻る

「動詞」

まるで夏空に描かれた馴染みのある道が、牢獄にも無垢な眠りにも通じているように。

Cóme se le vie familiari tracciate nei cieli d'estate potessero condurre tanto alle prigioni che ai sonni innocenti.

「副詞節」

Cóme se コーメ・セ conj. まるで～のように

「副詞節」

le vie familiari レ・ヴィー・ファミリアリ pl(via).n.f 馴染みのある道が

「主語」

tracciate トラチャーテ 過去分詞・受動(tracciare)adj.pl 描かれた

「形容詞」

nei cieli d'estate ネイチェリ・デステアテ adv. 夏の空に

「副詞句」

potessero condurre ポテッセロ・コンドゥッレ 接・3 複半・可能性(potére+不定詞 condurre)

v.i(道路が)(a に) 通じるかもしれない

「動詞句」

tanto alle prigioni che ai sonni innocenti. タント・アレ・プ リジオーニ・ケ・アイ・ソニ・イノチェンティ

adv.(tanto a A che a B) 牢獄にと同様に無垢な眠りにも

「副詞句」

4.

被告席からであっても、自分のことが話されるのを聞くことはいつも興味深い。

Persino da un banco di imputato è sempre interessante sentir parlare di sé.

Persino	ペルシーノ	adv. ～でさえ	「副詞句」
da	ダ	prep(起点) ～から	「副詞句」
un banco	ウン・バンコ	n.m ベンチ、席	「目的語」
di imputato	ディ・インプタート	adj. 被告の	「形容詞句」
è	エ	3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
sempre interessante	センプレ・インテルサンテ	adj. いつも興味深い	「補語」
sentir	センチール	不定詞・知覚動詞 n. 聞くことは	「主語」
parlare	パルラーレ	不定詞・人の動作 v.i(di について) 話す	「補語」
		受動態に翻訳する	
di sé.	ディ・セ	adv. 自分のことを	「間接目的語」

検事と僕の弁護士の論告の間、沢山の事が、そして僕の犯罪についてよりも僕自身についてより多くの事が語られたと言えるだろう。

Durante le arringhe del P. M. e del mio difensore si è effettivamente parlato molto di me, e forse più di me che del mio delitto.

			「副詞句」, 「動詞句」 「主語」
Durante	ドゥランテ	prep ～の間	「副詞句」
le arringhe	レ・アリンゲ	pl(arringa).n.f 論告	「目的語」
del P. M.	テル・ピー・エンメ	adj 検事の	「形容詞句」
e	エ	conj. そして	
del mio difensore	テル・ミー・ディ・エンソーレ	adj. 僕の弁護士の	「形容詞句」
si è effettivamente parlato	シ・エ・エフエッティヴァメンテ・パルラート	3 単現・完了形・再帰受動	
		v.pr(parlarsi)v.pr 本当に語られた	「動詞句」
molto	モルト	沢山の事が	「主語」
di me,	ディ・ミ	pron 僕について	「副詞句」
e	エ	conj. そして	
forse	フォルセ	adv. おそらく	「副詞句」
più di me	ピー・ウ・ディ・メ	adv. 僕についてより多く	「副詞句」
che	ケ	conj.(比較) ～よりも	「副詞句」
del mio delitto.	テル・ミー・オ・デルリット	adv. 僕の犯罪について	「副詞句」

そして結局、双方の論告はお互いにそれ程異なるものだったのだろうか？

E in definitiva erano tanto differènti fra lóro, le arringhe déll'uno e déll'altro?

E 「副詞句」「動詞」「補語」「主語」

E エ conj. そして

in definitiva イン・デフィニティヴァ adv. 結局

「副詞句」

erano エーノ 3 複半・疑問文(èssere)v.i. 〜だったのか？

「動詞」

tanto differènti タント・ディフェレンティ adj. それほど異なる

「補語」

fra lóro, フラ・ローロ adv. 2 つの間で

「副詞句」

le arringhe レ・アリンゲ pl(arringa).n.f 論告は

「主語」

déll'uno e déll'altro? デールノ・エ・デラルトロ adv. お互いに

「副詞句」

弁護士は両手をあげて罪を認めたが、情状酌量を求めた。

L'avvocato alzava le bràccia e ammetteva la colpabilità, ma con attenuanti.

「主語」「動詞」「目的語」 e 「動詞」「目的語」,ma 「副詞句」

L'avvocato ラッヴァ`ォカート n.m 弁護士は

「主語」

alzava アルツァーヴァ 3 単半(alzare)v.t. あげた

「動詞」

le bràccia レ・ブラッチャ pl(braccio).n.m 両腕を

「目的語」

e エ conj. そして

ammetteva アンメテーヴァ 3 単半(ammèttre)v.t. 認めた

「動詞」

la colpabilità, ラ・コルパ`ビリタ n.f 有罪を

「目的語」

ma マ conj. しかし

con attenuanti. コン・アッテヌアンテ adv. (同伴) 情状酌量付きで

「副詞句」

検事は両手を広げて有罪を主張したが、情状酌量は認めなかった。

Il P. M. tendeva le mani e denunciava la colpabilità, ma senza attenuanti.

「主語」「動詞」「目的語」 e 「動詞」「目的語」,ma 「副詞句」

Il P. M. イル・ピー・エンメ n.m 検事は

「主語」

tendeva テンデーヴァ 3 単半(tèndere)v.t. 広げた

「動詞」

le mani レ・マーニ pl(mano).n.f 両手を

「目的語」

e エ conj. そして

denunciava デンチャーヴァ 3 単半(denunciare)v.t. 表明した

「動詞」

la colpabilità, ラ・コルパ`ビリタ n.f 有罪を

「目的語」

ma マ conj. しかし

senza attenuanti. センツァ・アッテヌアンティ adv. 情状酌量は認めなかった

「副詞句」

しかしながら、僕には納得できないことがあった。

C'era tuttavia una còsa che mi metteva a disàgio.

「動詞句」 tuttavia 「主語」

C'era チェーラ 3 単半・存在(èsserci)v.i ~があった

「動詞句」

tuttavia トゥッタヴィア conj. しかしながら

una còsa ウナ・コーサ n.f 事が

「主語」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

metteva メッテヴァ 3 単半(mettere)v.t (ある状態を) 引き起こす 「動詞」

a disàgio. ア・ディザージョ adv. 居心地の悪さ、当惑を

「補語」

時には、不安はあったが、口出しする誘惑にかられた。そういう時には、弁護士が僕に言った：「黙っていなさい。その方があなたのためです」

A vòlte, nonostante le mie preoccupazioni, ero tentato di intervenire, e allora l'avvocato mi diceva: "Stia zitto, che è meglio per lei."

「副詞句」, 「副詞句」, 「動詞句」, e 「副詞」 「主語」 「間接目的語」 「動詞」:

《「動詞」 「補語」, 「主語」 「動詞」 「補語」》

A vòlte, ア・ヴォルテ adv. 時には

「副詞句」

nonostante ノスタンテ prep ~にもかかわらず

「副詞句」

le mie preoccupazioni, レ・ミーエ・プレオクパ・ツィオーニ

pl(preoccupazione).n.f 心配、不安

「目的語」

ero tentato di intervenire, エロ・テンタート・ディ・インテルヴ・エニレ 1 単半・受動・誘惑

(tentare di+不定詞 intervenire)v.t 口出しする誘惑にかられた

「動詞句」

e エ conj. そして

allóra アッローラ adv. その時

「副詞」

l'avvocato ラヴヴォカート n.m 弁護士は

「主語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

diceva: デッチェヴァ 3 単半(dire)v.t 言った

「動詞」

"Stia スチア 接・3 単現・命令(stare)v.i ~でいなさい

「動詞」

zitto, ツィット adj. 黙っている

「補語」

che ケ pron そのことは

「主語」

è エ 3 単現(èssere)v.i ~である

「動詞」

mèglio メリオ adj. (buono の比較級) より良い

「補語」

per lei." ペル・レイ adv. あなたのために

「副詞句」

ある意味では、僕抜きで審理が進められる様子があった。

In un certo qual modo avevano l'aria di trattare la cosa al di fuori di me.

「副詞句」「動詞」「目的語」

In un certo qual modo イン・ウン・チェルト・クル・モート adv. ある意味では

「副詞句」

avevano アヴェヴァーノ 3 複半・存在(avére)v.t. ～があった

「動詞」

l'aria ラーリア n.f. 様子

「目的語」

di trattare ディ・トラッターレ 不定詞・同格 v.t. ～を扱うという

「形容詞句」

la cosa ラ・コサ n.f. 事を

「目的語」

al di fuori di me. アル・ディ・フォーリ・ディ・メ adv. 僕抜きで

「副詞句」

全てが僕の介入なしに進められた。

Tutto si svolgeva senza il mio intervento.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Tutto トット pron. すべてが

「主語」

si svolgeva シ・ズヴョルジェヴァ 3 単半(svòlgersi)v.pr. 行なわれた

「動詞句」

senza センツァ prep. ～無しで

「副詞句」

il mio intervento. イル・ミーオ・インテルヴェント n.m. 僕の介入

「目的語」

僕の運命は、僕の意見を聞くことも無く決定された。

Si decideva la mia sorte senza chiedere il mio parere.

「動詞句」「主語」「副詞句」

Si decideva シ・デチェーヴァ 3 単半・再帰受動(decidersi)v.pr. 決定された

「動詞句」

la mia sorte ラ・ミア・ソールテ n.f. 僕の運命は

「主語」

senza +不定詞 センツァ adv. ～しないで

「副詞句」

chiedere キェーデレ 不定詞 v.t. 尋ねる、聞く

「動詞」

il mio parere. イル・ミーオ・パレーレ n.m. 僕の意見を

「目的語」

時々、僕は誰でも遮って言ってやりたい衝動に駆られた：「しかし、要するに、ここでは誰が被告なのか？被告であることは重要なことだ。それに、僕には言いたいことがある」

Di tanto in tanto avevo voglia di interrompere tutti quanti e dire: “Ma insomma, chi è l'accusato qui? è una cosa importante, essere l'accusato! E io ho qualcosa da dire!”

「副詞句」「動詞」「目的語」：《Ma 「副詞」, 「主語」「動詞」「補語」

「動詞」「補語」「主語」 | E 「主語」「動詞」「目的語」》

Di tanto in tanto ディ・タント・イン・タント adv. 時々

「副詞句」

avevo アヴェヴォ 1 単半(avére)v.t. ～があった

「動詞」

vòglia ヴォーリア n.f. 欲求

「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

di interrompere	ディ・インテロンペレ 不定詞・目的 adv. 遮る	「副詞句」
tutti quanti	トゥッティ・クワンティ pron 全ての人を	「目的語」
e	エ conj. そして	
dire	ディレ 不定詞・目的 adv. 言う	「副詞句」
“Ma	マ conj. しかし	
insomma,	インソマ adv. 要するに	「副詞」
chi	キ pron 誰が	「主語」
è	エ 3 単現(essere)v.i ~である	「動詞」
l'accusato	ラックザート n.m 被告	「補語」
qui?	キ adv. ここでは	「副詞」
è	エ 3 単現(essere)v.i ~である	「動詞」
una cosa importante,	ウナ・コサ・インポルタンテ n.f 重要な事	「補語」
essere l'accusato!	エッセル・ラックザート 不定詞句 n. 被告であることは	「主語」
E	エ conj. そして	
io	イオ pron 僕は	「主語」
ho	オ 1 単現(avere)v.t ~がある	「動詞」
qualcosa	クワルコーサ pron 何か	「目的語」
da dire!”	ダ・ディレ adv. 言うべき	「形容詞句」

だが、少し考えると、言う事は何も無かった。

Ma dopo averci riflettuto un po', non avevo da dire nulla.

Ma 「副詞節」, 「動詞句」 「副詞句」

Ma	マ conj. しかし	
dopo	ドーポ conj. ~した後で	「副詞節」
averci riflettuto	アヴェルチ・リフレットゥト 1 単現・完了形(riflettere+ci)	
	v.t それについて考えた	「動詞句」
un po',	ウン・ポ adv. 少し	「副詞句」
non avevo	ノン・アヴェーヴォ 1 単半・否定(avere)v.t ~がなかった	「動詞句」
da dire	ダ・ディレ 不定詞・目的 adv. 話すべきことが	「副詞句」
nulla.	ヌラ pron 何も~ない	「目的語」

だが、人を注目させることができるという興味は長く続かないと認めなければならない。

Del resto devo riconoscere che l'interesse che si prova a tener occupate delle persone non dura molto a lungo.

「副詞句」「動詞句」「目的語」

Del resto デル・レスト adv. だがしかし、それでもやはり

「副詞句」

devo riconoscere デヴォ・リコノシエ 1 単現・必要(dovére+不定詞 riconoscere)

v.t 認めなければならない

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

l'interesse リンテレッセ n.m 興味は

「主語」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

si prova a tener シ・プロヴァ・ア・テネル 3 単現・可能(provarsi a+不定詞 tenere)

v.pr ～にしておくことが出来る

「動詞句」

occupate オックパ・テ adj(occupato).pl.f 占領された、忙しい「補語」

delle persone デレ・ペルソネ pl(persóna).n.f 人を

「目的語」

non dura ノン・トゥラ 3 単現・否定(durare)v.i 続かない

「動詞句」

molto a lungo. モルト・アルongo adv. (否定文で) そんなに長く～ない

「副詞句」

フランス語版では

それに、人が他人の気を紛らわせることができるのは、長くは続かないと分かるだろう。

D'ailleurs, je dois reconnaître que l'intérêt qu'on trouve à occuper les gens ne dure pas longtemps.

例えば、検事の論告に僕はすぐ飽きてしまった。

Per esempio l'arringa del P. M. mi ha prèsto stancato.

「副詞句」「主語」「目的語」「動詞句」「副詞」「動詞句」

Per esempio ペル・エゼンピオ adv. 例えば

「副詞句」

l'arringa del P. M. リンガ・デル・ピー・エメ n.f 検事の論告は

「主語」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

ha ...stancato. ア...スタンカート 3 単現・完了形(stancare)v.t 飽き飽きさせた

「動詞句」

prèsto プレスト adv. すぐに

「副詞」

僕はあちらこちらの断片的な言葉や何らかの身振りだけに注意を払った、そして僕に投げつけられたが、論告全体の流れに沿わない熱弁全体にも注目した。

Ho fatto attenzione soltanto a dei frammenti di frase qua e lì, a certi gesti o anche a intere tirate che mi hanno colpito, ma senza seguire l'insieme dell'arringa.

「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」, 「間接目的語」o「間接目的語」

Ho fatto オ・ファット 1 単現・完了形(fare)v.t ~をした 「動詞句」

attenzione アッテンツィオーネ n.f 注意を 「直接目的語」

soltanto ソルタント adv. ただ~だけ 「副詞」

a dei frammenti di frase ア・デイ・フラメンティ・ディ・フラセ adv. 言葉の断片に 「間接目的語」

qua e lì, クワ・エ・リ adv. あちらこちらの 「副詞句」

a certi gesti ア・チェルティ・ジ・ェスティ adv. なんらかの身振りに 「間接目的語」

o オ conj. または

anche a アンケ・ア prep ~に対しても 「間接目的語」

interi tirate インテレ・チラーテ pl(tirata).n.f 熱弁全体 「目的語」

che ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

hanno colpito, アンノ・コルピト 3 複現・完了形(colpire)

v.t 投げつけた 「動詞句」

ma マ conj. しかし

senza +不定詞 センツァ adv. ~しない 「副詞句」

seguire セグイーレ 不定詞 v.t 従う、沿う 「動詞」

l'insieme dell'arringa. リン・シェーメ・デ・ラリンガ

n.m 論告全体に 「目的語」

彼の考えの根底は、僕の理解が正しければ、僕は犯罪をあらかじめ計画していたということ、あるいは少なくとも彼はそれを証明しようと努力していたということだった。

Il fondo del suo pensiero, se ho ben compreso, è che avevo premeditato il delitto, o perlomeno ha cercato di dimostrarlo.

「主語」, 「副詞節」, 「動詞」「補語」, 「動詞」「補語」, o「副詞」「動詞句」

Il fondo イル・フォント n.m 根底は 「主語」

del suo pensiero, デル・スー・オ・ペンシエロ adj. 彼の考えの 「形容詞句」

se セ conj. もし~なら 「副詞節」

ho ben compreso, オ・ベン・コンプレゾ 1 単現・完了形(comprendere)

v.t 良く理解した 「動詞句」

è エ (essere)v.i ~である 「動詞」

che ケ conj. ~ということ 「補語」

PARTE SECONDA 第2部

avevo premeditato アヴェウガォ・プレメディタート 1 単半・完了形(premeditare)

v.t あらかじめ計画していた

「動詞句」

il delitto, イル・デリット n.m 犯罪を

「目的語」

o オ conj. または

perloméno ヘルメノ adv. 少なくとも

「副詞」

ha cercato di dimostrarlo. ア・チェルカート・ディ・ディモストラール・ロ 3 単現・完了形・努力

(cercare di+不定詞 dimostrare+lo)v.t. それを証明しようと努力した

「動詞句」

検事は言った：「陪審員のみなさん、私はその証拠をお見せします。それも、二通りの方法でお見せします」

Diceva: “Ve ne fornirò la pròva, signori giurati, e ve la fornirò doppiamente.

「動詞」：《「間接目的語」「動詞」「直接目的語」, 「呼びかけ」, e

「間接目的語」「直接目的語」「動詞」「副詞」》

Diceva: ディェヴァ 3 単半(dire)v.t. 言った

「動詞」

“Ve ウェ pron 皆さんに

「間接目的語」

ne ネ pron それについて

「間接目的語」

fornirò フオルノ 1 単未・意思(fornire)v.t. 示す

「動詞」

la pròva, ラ・プロヴァ n.f 証拠を

「直接目的語」

signori giurati, シニョーリ・ジューラティ pl(giurato).n.m 陪審員のみなさん

「呼びかけ」

e エ conj. そして

ve ウェ pron 皆さんに

「間接目的語」

la ラ pron それを

「直接目的語」

fornirò フオルノ 1 単未・意思(fornire)v.t. 示す

「動詞」

doppiamente. チッピアメンテ adv. 2 重に、二通りの方法で

「副詞」

「まず第一に、事実の目が眩むほどの光の下で、次に、この犯罪者の心理が私に与えるであろう暗い光の下で」

In primo luògo alla chiarézza accecante dei fatti, e pòi nélla luce tenebrosa che mi fornirà la psicologia di quest'anima criminale.”

《「副詞句」, e 「副詞句」》

In primo luògo イン・プリモ・ルオーゴ adv. 第一に

「副詞句」

alla アラ prep (場所) ～において

「副詞句」

chiarézza キアレツァ n.f 明るさ

「目的語」

accecante アツェカンテ 現在分詞(accecare)adj. 目を眩ませる

「形容詞」

dei fatti, デイ・ファッティ adj. 事実の

「形容詞句」

e エ conj. そして

PARTE SECONDA 第2部

pòi ポーイ adv. それから	「副詞」
nélla ネッラ prep (場所) 〜で	「副詞句」
luce ルーチェ n.f 光	「目的語」
tenebrosa テネブローサ adj(tenebroso).f 暗い	「形容詞」
che ケ pron (主語) 〜する	「形容詞節」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
fornirà フォルニラ 3 単未(fornire)v.t 示す	「動詞」
la psicologia ラ・ソコロジヤ n.f 心理	「直接目的語」
di quest'anima デイ・クェスタニマ	
adj. この魂の	「形容詞句」
criminale.” クリミナーレ	
adj. 犯罪的な	「形容詞」

彼は母さんの死から始めて、事実を要約した。

Ha riassunto i fatti a partire dalla morte della mamma.

	「動詞句」「目的語」「副詞句」
Ha riassunto ア・リアスト 3 単現・完了形(riassumere)v.t 要約した	「動詞句」
i fatti イ・ファッティ pl(fatto).n.m 事実を	「目的語」
a partire ア・パルチレ 不定詞・手段 adv. 始めて	「副詞句」
dalla morte ダラ・モルテ adv. (起点) 死から	「副詞句」
della mamma. デラ・マンマ adj. 母さんの	「形容詞句」

彼は、僕の感受性の欠如、母さんの年齢を知らなかった事実、女と海水浴したこと、フェルナンデルの映画、そして最後にマリーと一緒に帰宅したことを言及した。

Ha ricordato la mia insensibilità, il fatto che ignoravo l'età della mamma, il mio bagno con una ragazza, il cinema Fernandel, e infine il ritorno con Maria.

	「動詞句」「目的語」, 「目的語」, 「目的語」「副詞句」, 「目的語」 e 「副詞」「目的語」「副詞句」
Ha ricordato ア・リコルダート 3 単現・完了形(ricordare)v.t 言及した	「動詞句」
la mia insensibilità, ラ・ミー・インセンシビリタ n.f 僕の感受性の欠如	「目的語」
il fatto イル・ファット n.m 事実	「目的語」
che ケ conj. (同格) 〜という	「形容詞節」
ignoravo イグノラーヴォ 1 単半(ignorare)v.t 知らなかった	「動詞」
l'età della mamma, レタ・デラ・マンマ n.f 母さんの年齢を	「目的語」
il mio bagno イル・ミー・オ・バーニョ n.m 海水浴	「目的語」
con una ragazza, コン・ウナ・ラガッツァ adv. 女と	「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

il cinema, Fernandel, イル・チネマ・フェルナンデル n.m	フェルナンデルの映画	「目的語」
e ɛ conj.	そして	
infine インフィーネ adv.	最後に	「副詞」
il ritorno イル・リトルノ n.m	帰宅	「目的語」
con Maria. コン・マリア adv.	マリーと	「副詞句」

この時、僕は彼が何を言いたいのかすぐにはわからなかった。彼は、「僕の愛人」と言っていたが、僕にとっては、マリーはマリーなのだから。

A questo punto ho capito sólo un po' in ritardo quel che voleva dire, perché diceva "la sua amante" e per me lei era Maria.

	「副詞句」「副詞句」「動詞句」「目的語」, 「副詞節」	
A questo punto ア・クェスト・プント adv.	この時には	「副詞句」
ho capito オ・カピート 1 単現・完了形(capire)v.t	分かった	「動詞句」
sólo un po' in ritardo ソロ・ウン・ポ・イン・リタルト adv.	少し遅れてしか	「副詞句」
quel ケル pron	それを	「目的語」
che ケ pron	(目的語) ～する	「形容詞節」
voleva dire, ヴォレヴァ・ディエレ 3 単半・願望(volére+不定詞 dire)		
v.t	言いたい	「動詞句」
perché ペルケ conj.	というのは～なので	「副詞節」
diceva ディチェヴァ 3 単半(dire)v.t	言っていた	「動詞」
“la sua amante” ラ・スア・アマンテ n.f	「彼の愛人」	「目的語」
e エ conj.	そして	
per me ペル・メ adv.	僕にとって	「副詞句」
lei レイ pron	彼女は	「主語」
era エラ 3 単半・時制の一致(èssere)v.i	～である	「動詞」
Maria. マリア n.f	マリー	「補語」

それから、彼はレーモンの話に移った。

Poi è passato alla storia di Raimondo.

		「副詞」「動詞」「間接目的語」
Pòi ポーイ	adv. それから	「副詞」
è passato エ・ハッサート	3 単現・完了形(passare)v.i 進んだ	「動詞句」
alla stòria アッラ・ストーリア	adv. 話へ	「間接目的語」
di Raimondo. デイ・ライメント	adj. レーモンの	「形容詞句」

事実を見る彼のやり方は明確だと僕は分かった。

Ho trovato che il suo mòdo di vedére i fatti non mancava di chiarézza...

「動詞句」「目的語」

Ho trovato オ・トロヴァート 1 単現・完了形(trovare)v.t 分かった

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

il suo mòdo イル・スオ・モート n.m 彼のやり方は

「主語」

di vedére デイ・ヴェーレ 不定詞・目的 adv. 見るための

「副詞句」

i fatti イ・ファッティ pl(fatto).n.m 事実を

「目的語」

non mancava ノン・マンカーヴァ 3 単半・否定・時制の一致(mancare)

v.i 欠けていない

「動詞句」

di chiarézza. デイ・キアレツァ adv. 明確さに

「間接目的語」

彼の言ったことはすべてもってもらしかった。

Tutto ciò che diceva era plausibile.

「主語」「動詞」「補語」

Tutto ciò トゥット・チョ pron それは全て

「主語」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

diceva デイチェヴァ 3 単半(dire)v.t 言った

「動詞」

era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった

「動詞」

plausibile. プラウジビレ adj. もっともらしい

「補語」

僕はレーモンと合意の上で、彼の愛人を誘い出し倫理的に不審な男の言いなりにさせるために手紙を書いた。

Io avevo scritto la lettera d'accordo con Raimondo per attirare la sua amante e metterla in balia di un uomo "di moralità discutibile".

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Io イオ pron 私は

「主語」

avevo scritto アヴェーヴォ・スクリット 1 単半・完了形(scrivere)v.t 書いた

「動詞句」

la lettera ラ・レッテラ n.f 手紙を

「目的語」

d'accordo con Raimondo ダッコルト・コン・ライモント adv. レーモンと合意の上で

「副詞句」

per +不定詞 ペル 不定詞・目的 adv. ～するために

「副詞句」

attirare アチアレ 不定詞 v.t 引き寄せる、誘い出す

「動詞」

la sua amante ラ・スア・アマンテ n.f 彼の愛人を

「目的語」

e エ conj. そして

metterla メッテル・ラ 不定詞(mettere+la)v.t 彼女を入れる

「動詞句」

in balia イン・バリア adv. 権力に

「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

di un uomo ティ・ウノ・ウオーモ adj. 男の

「形容詞句」

“di moralità discutibile”. ティ・モラリタ・ディスクリビレ

adj. 倫理的に不審な

「形容詞句」

僕は浜辺でレーモンの敵対者たちを挑発した。

Sulla spiaggia avevo provocato gli avversari di Raimondo.

「副詞句」「動詞句」「目的語」

Sulla spiaggia スラ・スピ・アッジャ adv. (場所) 浜辺で

「副詞句」

avevo provocato アヴェ・エヴァ・オ・プロヴァート 1 単半・完了形(provocare)v.t 挑発した

「動詞句」

gli avversari リ・アヴェルサーリ pl(avversario)n.m 敵、相手

「目的語」

di Raimondo. ティ・ライモンテ adj. レーモンの

「形容詞句」

彼は負傷した。僕は彼のリヴォルバーを受け取った。

Lui era stato ferito. Gli avevo chiesto la rivoltella.

「主語」「動詞句」 | 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Lui ルーイ pron 彼は

「主語」

era stato ferito. エラ・スタート・フェリト 3 単半・完了形・受動(ferire)v.t 負傷した

「動詞句」

Gli リ pron 彼に

「間接目的語」

avevo chiesto アヴェ・エヴァ・オ・キスト 1 単半・完了形(chiedere)v.t 求めた

「動詞句」

la rivoltella. ラ・リヴァオルテッラ n.f リヴォルバーを

「直接目的語」

僕はそれを使うために一人でその場所に戻った。

Ero tornato sólo sul pósto per servirmene.

「動詞句」「副詞」「間接目的語」「副詞句」

Ero tornato エロ・トルナート 1 単半・完了形・移動(tornare)v.i 戻った

「動詞句」

sólo ソロ adv. 一人で

「副詞」

sul pósto スル・ポスト adv. その場所へ

「間接目的語」

per servirmene. ペル・セルヴァーイル・メネ 不定詞・目的(servirsi)adv. それを使うために

「副詞句」

僕は考えていた通りにアラブ人を殺した。僕は一発撃った。僕は待った。

Avevo ucciso l'àrabo come avevo in mente di fare. Avevo sparato una volta. Avevo atteso.

「動詞句」「目的語」「副詞節」 | 「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」

Avevo ucciso アヴェ・エヴァ・オ・ウッチーゾ 1 単半・完了形(uccidere)v.t 殺した

「動詞句」

l'àrabo ラーラボ n.m アラブ人を

「目的語」

come コーメ conj. ~のように

「副詞節」

avevo in mente di fare. アヴェ・エヴァ・オ・イン・メンテ・ティ・ファレ 1 単半(avere in mente)

PARTE SECONDA 第2部

v.t やろうと思っていた	「動詞句」
Avevo sparato アヴェウヴォ・スパラート 1 単半・完了形(sparare)v.t 発射した	「動詞句」
una volta. ウナ・ヴォルタ n.f 一度、一発	「目的語」
Avevo atteso. アヴェウヴォ・アテゾ 1 単半・完了形(attendere)v.t 待った	「動詞句」

そして「仕事が上手くいくことを確実にするために」、僕は、さらに 4 回冷静に確実な発射を行った。
つまり、自分がしていることを確かめながら発射したというのだ。

E “per esser sicuro che il lavóro era ben riuscito”, avevo sparato ancóra quattro vòlte freddamente, a cólpo sicuro, insomma pensando a quel che facevo.

E 《「副詞句」》, 「動詞句」 「副詞句」 「副詞句」

E エ conj. そして

“per +不定詞 ヘル 不定詞・目的 adv. ～するために 「副詞句」

esser エッセル 不定詞 v.i ～である 「動詞」

sicuro シーロ adj. 確実な、安全な 「補語」

che ケ conj. ～ということは 「主語」

il lavóro イル・ラヴォーロ n.m 仕事が 「主語」

era ben riuscito”, エラ・ベン・リウシート 3 単半・完了形(riuscire)

v.i 上手く出来た 「動詞句」

avevo sparato アヴェウヴォ・スパラート 1 単半・完了形(sparare)v.t 発射した 「動詞句」

ancóra アンコーラ adv. さらに 「副詞」

quattro vòlte クワットロ・ヴォルテ pl(vòlta)n.f 4 回 「副詞句」

freddamente, フレダメンテ adv. 冷静に 「副詞」

a ア prep (手段) ～によって 「副詞句」

cólpo コルポ n.m 発射 「目的語」

sicuro, シーロ adj. 確実な 「形容詞」

insomma インソマ adv. 要するに、早い話が 「副詞」

pensando ペンサント ジェルンディオ(pensare)adv.(a のことを) 考えながら 「副詞句」

a quel ア・ケル adv. そのことを 「間接目的語」

che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

facevo. ファチエヴォ 3 単半・時制の一致(fare)

v.t している 「動詞」

「それではみなさん、まとめに入りましょう」と、検事が言った。

“Riepiloghiamo, signori,” ha detto il P. M.

《「呼びかけ」》, 「動詞句」 「主語」

“Riepiloghiamo, signori,” リエピロギアーモ・シニョーリ 接・1 複現(riepilogare)

v.t 要約しましょう、みなさん

「呼びかけ」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

il P. M. イル・ピー・エム n.m 検事は

「主語」

「私は、この男が十分に道理をわきまえた上で殺人を起こすに至った一連の出来事を皆さんの前に再び描き出しました」

“Ho ritracciato davanti a voi il susseguirsi di avvenimenti che ha condotto quest'uomo ad uccidere in piena cognizione di causa.

《「副詞句」 「動詞句」 「目的語」》

“Ho ritracciato 1 単現・完了形(ritracciare)v.t 再び描き出した、再び追跡した 「動詞句」

davanti a voi ダヴァンティ・ア・ヴォー adv. あなた達の前に

「副詞句」

il susseguirsi di avvenimenti イル・スセギールシ・ディ・アヴェニメントィ n.m 連続した出来事「目的語」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

ha condotto ア・コンドット 3 単現・完了形(condurre)v.t 導いた 「動詞句」

quest'uomo クェストウオーモ n.m この男を

「目的語」

ad uccidere アト・ウッチーデーレ 不定詞・uomo の動作 v.t 殺人

「補語」

in piena cognizione イン・ピー・エナ・コグニツィオーネ

adv. 十分な認識で

「副詞句」

di causa. ディ・カーザ adj. 理由の

「形容詞句」

「そして今、私はこの点を主張します。なぜなら、この件は、一般的な殺人ではなく、皆さんが情状酌量と判断しうる軽率な行為でもないからです。」

E insisto su questo, adesso. Perché qui non si tratta di un comune assassinio, di un atto inconsulto che voi potreste considerare attenuato dalle circostanze.

《E 「動詞」 「間接目的語」 「副詞」 | Perché 「副詞」 「動詞句」 「補語」》

E エ conj. そして

insisto インシスト 1 単現(insistere)v.i(su に) こだわる、力説する

「動詞」

su questo, ス・クェスト adv. (対象) これに

「間接目的語」

adesso. アデッソ adv. 今

「副詞」

Perché ペルケ conj. なぜなら

qui クイ adv. ここで

「副詞」

non si tratta ノン・シ・トラッタ 非人称・3 単現・否定(non si trattare di)

PARTE SECONDA 第2部

v.h	～のことではない	「動詞句」
di un comune assassinio,	ディ・ウン・コムネ・アッサシーニオ adj. 一般的な殺人の	「補語」
di un atto inconsulto	ディ・ウン・アット・インコンスルト adj. 軽率な行為の	「補語」
che	ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
vói	ヴォイ pron あなた方が	「主語」
potreste considerare	ポトレステ・コンシデラレ 条・2 複現・可能(potére+不定詞 considerare)	
v.t	判断できる	「動詞句」
attenuato	アッテヌアート adj. 情状酌量された	「補語」
dalle circostanze.	ダレ・シルコスタンツェ adj. 状況から	「副詞句」

「皆さんこの男は、この男は聡明です。あなた方はこの男の話を聞きましたよね？彼は答え方を知っています。言葉の価値を知っているのです」

Quest'uòmo, signori, quest'uòmo è intelligente. Vói l'avete sentito, no? Egli sa rispondere, conosce il valore delle parole.

《「呼びかけ」, 「主語」「動詞」「補語」

「主語」「目的語」「動詞句」「確認」 | 「主語」「動詞句」, 「動詞」「目的語」》

Quest'uòmo, signori,	クェストウオモ・シニョーリ adv. 皆さん、この男は	「呼びかけ」
quest'uòmo	クェストウオモ n.m この男は	「主語」
è	エ 3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
intelligente.	インテリジエンテ adj. 聡明な	「補語」
Vói	ヴォイ pron あなた方は	「主語」
l'	ロ pron 彼の話を	「目的語」
avete sentito,	アヴェエテ・センチート 2 複現・完了形(sentire)v.t 聞いた	「動詞句」
no?	ノ adv. そうですね？	「確認」
Egli	エッリ pron 彼は	「主語」
sa rispondere,	サリスポンデレ 3 単現・やり方を知っている(sapére+不定詞 rispondere)	
v.i	答え方を知っている	「動詞句」
conosce	コノシェ 3 単現(conoscere)v.t 知っている	「動詞」
il valore	イル・ヴァローレ n.m 価値を	「目的語」
delle parole.	デレ・パローレ adj. 言葉の	「形容詞句」

そして、彼が何をしているのか分からずにそんなことを実行したとは言えません。

E non si può dire che abbia agito senza rendersi conto di quel che faceva.”

E「動詞句」「主語」

E conj. そして

non si può dire ノン・シ・プオ・ディレ 3 単現・否定・再帰受動(potérsi+不定詞 dire)v.t 言われる

PARTE SECONDA 第2部

ことは出来ない	「動詞句」
能動態に翻訳する	
che ケ conj. ～ということは	「主語」
abbia agito アッビァ・アジート 接・3 単現・完了形(agire)v.t 実行した	「動詞句」
senza +不定詞 センツァ 不定詞 adv. ～せずに	「副詞句」
rendersi conto di レンデルシ・コント・ディ 不定詞	
v.pr ～に気付く、分かる	「動詞句」
quéل ケル pron それ	「目的語」
che ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
faceva.” ファチェヴァ 3 単半・時制の一致(fare)	
v.t やっている、行っている	「動詞」

僕が耳を傾けていると、僕のことを聡明だと言っているのが聞こえた。

Io stavo ad ascoltare e sentivo che mi giudicavano intelligente.

「主語」「動詞句」e「動詞」「目的語」

Io イオ pron 僕は	「主語」
stavo ad ascoltare スターヴァ・ォ・アド・アスcoltare 1 単半・継続(stare a+不定詞 ascoltare)	
v.i 耳を傾けていた	「動詞句」
e エ conj. そして	
sentivo センチヴァ・ォ 1 単半(sentire)v.t 聞こえた、感じた	「動詞」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
mi ミ pron 僕を	「目的語」
giudicavano ジュディカーヴァノ 3 複半・時制の一致(giudicare)	
v.t みなしている、評価している	「動詞」
intelligente. インテジエンテ adj. 聡明な	「補語」

しかし、普通の人にとっては良い性質が犯罪者に対しては圧倒的な非難の項目になるのか
が良く理解できなかった。

Ma non capivo bene come le buone qualità di uòmo normale possano diventare dei capi
d'accusa schiacciati contro un colpevole.

Ma「動詞句」「副詞」,「副詞」「主語」「動詞句」「補語」

Ma マ conj. しかし	
non capivo ノン・カピョ・ヴォ 1 単半・否定(capire)v.t 理解できなかった	「動詞句」
bene ベーネ adv. よく	「副詞」
come ツコメ adv. どのようにして	「副詞」
le buone qualità レ・ブオーネ・カリタ pl(qualità).n.f よい性質が	「主語」

PARTE SECONDA 第2部

di uòmo normale テ・ウーモ・ノルマーレ adj. 普通の人の 「形容詞句」
 possano diventare ポッサノ・デ・イヴエンターレ 接・3 単現・可能(potére+不定詞 diventare)
 v.i ~になることが出来る 「動詞句」
 dei capi d'accusa デイ・カピ・ダ・ケーザ adj. 非難の項目の 「補語」
 schiaccianti スキアチンティ adj. 圧倒的な 「形容詞」
 cóntro un colpevole. コントロ・ウン・コルペーヴォレ adv. 犯罪者に対して 「副詞句」

要するに、これが僕に衝撃を与えたことだ。そして、「少なくとも被告人が遺憾の意を表すのを聞き
 ましたか」と、彼が言うのを聞くまで検事の話をもう聞かなかった。

Insomma questa è la còsa che mi ha colpito e non ho più ascoltato il P. M. fino al moménto
 in cui l'ho sentito dire: “Crédete alméno che abbia espresso qualche rincrescimento?”

「副詞」「主語」「動詞」「補語」 e 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Insomma インソマ adv. 要するに 「副詞」
 questa ケスタ pron これが 「主語」
 è エ 3 単現(èssere)v.i ~である 「動詞」
 la còsa ラ・コサ n.f 事 「補語」
 che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 mi ミ pron 僕を 「目的語」
 ha colpito ア・コルピト 3 単現・完了形(colpire)
 v.t 襲った、打撃を与えた 「動詞句」
 e エ conj. そして
 non ho più ascoltato ノ・ノ・ピウ・アスcolタート 1 単現・完了形・否定(ascoltare)
 v.t もう聞かなかった 「動詞句」
 il P. M. イル・ピー・エンメ n.m 検事の話 「目的語」
 fino al moménto フィーノ・アル・モメント adv. その時まで 「副詞句」
 in cui イン・クーイ adv. そこで~する 「副詞節」
 l' ル pron 彼が 「目的語」
 ho sentito オ・センチート 1 単現・完了形・知覚動詞(sentire)v.t 聞いた 「動詞句」
 dire: デイーレ 不定詞・l'の動作 v.t 言う 「補語」
 “Crédete クレデテ 3 単現・疑問文(crédersi)v.pr 思いますか? 「動詞句」
 alméno アルメーノ adv. 少なくとも 「副詞」
 che ケ conj. ~ということを 「目的語」
 abbia espresso アッビ・ア・エスプレッソ 接・3 単現・完了形(esprimere)
 v.t 表した 「動詞句」
 qualche rincrescimento? クワルケ・リンクレシメント
 n.m なんらかの遺憾の意を 「目的語」

「陪審員のみなさん、一度もありません。予審の経過の中で、この男は自分の恐ろしい犯罪を後悔しているように見えたことはただの一度もありません」

Mai signori giurati. Non una sóla vòlta nel córso déll'istruttoria quest'uòmo è parso pentito del suo orrendo misfatto!"

《「呼びかけ」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「補語」》

Mai マーイ adv. 一度もありません 「呼びかけ」
 signori giurati. シニョーリ・ジューラティ pl(giurato).n.m 陪審員のみなさん 「呼びかけ」
 Non una sóla vòlta ノン・ウナ・ソーラ・ヴォールタ adv. ただの一度も～ない 「副詞句」
 nel córso déll'istruttoria ネル・コーソ・デリストルットリア adv. 予審の経過の中で 「副詞句」
 quest'uòmo クェストウオーモ n.m この男は 「主語」
 è parso エ・パルソ 3 単現・完了形(parére)v.i ～のように見えた 「動詞句」
 pentito ペンチート adj.(di を) 後悔した 「補語」
 del suo orrendo misfatto!" テル・スーオ・オレンド・ミスファット
 adv. 自分の恐ろしい犯罪を 「間接目的語」

この時点で、彼は僕の方へ向き直り、僕を指差して非難し続けたが、僕は理由がよく理解できなかった。

A quèsto punto si è girato vèrso di me e mi ha designato col dito continuando sèmpre a subissarmi di accuse sènza che io ne comprendessi bène il perché.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」 e 「目的語」「動詞句」「副詞句」

A quèsto punto ア・クェスタ・プント adv. この時点で 「副詞句」
 si è girato シ・エ・ジラート 3 単現・完了形(girarsi)v.pr 向きを変えた 「動詞句」
 vèrso di me ヴェルト・ディ・メ adv. 僕の方へ 「副詞句」
 e エ conj. そして
 mi ミ pron 僕を 「目的語」
 ha designato ア・デジグナート 3 単現・完了形(designare)v.t 指名した 「動詞句」
 col dito コル・ディート adv. (手段) 指で 「副詞句」
 continuando sèmpre a subissarmi コンチヌアンツォ・センプレ・ア・スビッサル・ミ ジェルンディオ・継続
 (cuntinuare a+不定詞 subissare+mi+ sèmpre)
 adv.(di を) 相変わらず僕を非難し続けて 「副詞句」
 di accuse ディ・アクーゼ adv. 非難を 「間接目的語」
 sènza che センツァ・ケ conj. ～でないのに 「副詞節」
 io イオ pron 僕は 「主語」
 ne comprendessi ネ・コンプレンデッシ 接・1 単半・否定(comprendere)
 v.t 理解もしていない 「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

bène ベーネ adv. よく

「副詞」

il perché. イル・ペルケ n.m 理由を

「目的語」

もちろん、彼が正しいことは認めざるを得なかった：実の所、僕は自分がやった事をそれほど後悔していなかった。

Certo non potevo non riconoscere che aveva ragione: in realtà non mi dispiaceva poi molto di ciò che avevo fatto.

「副詞」「動詞句」「目的語」：「副詞句」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

Certo チェルト adv. 確かに、もちろん

「副詞」

non potevo non riconoscere ノン・ポテウヴォ・ノン・リコノシェ 1 単半・可能・2 重否定

(potére+不定詞 riconoscere)v.t 認めざるを得なかった

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

aveva アヴェウヴァ 3 単半・時制の一致(avére)v.t ～がある

「動詞」

ragione: ラジオーネ n.f 道理

「目的語」

in realtà イン・レアリタ adv. 実際に

「副詞句」

non ...dispiaceva ノン・ミ・ディスピェアチェウヴァ 1 単半・否定(dispiacere)

v.i 遺憾ではなかった

「動詞句」

mi ミ pron 僕にとって

「間接目的語」

poi molto ポーイ・モルト adv. それほど～ない

「副詞句」

di ciò ディ・チョ adv. ～について

「副詞句」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

avevo fatto. アヴェウヴォ・ファット 1 単半・完了形(fare)

v.t やった

「動詞句」

しかし、彼がなぜそこまで執拗なのかが理解できなかった。

Ma non capivo il perché di tanto accanimento.

Ma 「動詞句」「目的語」

Ma マ conj. しかし

non capivo ノン・カピウヴォ 1 単半・否定(capire)v.t 理解できなかった

「動詞句」

il perché イル・ペルケ n.m 理由を

「目的語」

di tanto accanimento. デ・タント・アカニメント adj. 非常な執拗さの

「形容詞句」

僕は何に対しても心からの遺憾の念を感じたことがないことを、心を込めて、ほとんど愛情を込めて、彼に説明しただろう。

Avrèi voluto cercare di spiegargli con simpatia, quasi affettuosamente, che mai ero riuscito a provare un véro dispiacére per qualcosa.

「動詞句」「副詞句」「目的語」

Avrèi voluto cercare di spiegargli アヴレイ・ウォルト・チェルカーレ・ディ・スピエガールリ

条・1 単現・完了形・努力・推量(volere+不定詞 cercare di+不定詞 spiegargli)

v.t 彼に説明しようとしただろう

「動詞句」

con simpatia, コン・シンパチア adv. 親切に

「副詞句」

quasi affettuosamente, クワシ・アフエトウサメンテ adv. ほとんど愛情を込めて

「副詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

mai ero riuscito a provare マーイ・エロ・リウッシート・ア・フロヴァーレ 1 単半・完了形・否定

(riuscire a+不定詞 provare)v.t 今までに感じたことはなかった

「動詞句」

un véro dispiacére ウン・ヴェーロディスピアチェレ n.m 心からの遺憾の念を

「目的語」

per qualcosa. ペル・クワルコーサ adv. 何に対しても

「副詞句」

僕はいつも、今日とか明日に起こりそうなことに気を取られていた。

Ero sèmpre stato tutto preso da ciò che doveva succedere, dall'oggi o dall'indomani.

「動詞句」「補語」

Ero sèmpre stato エロ・センプレ・スタート 1 単半・完了形(stare+ sèmpre)

v.i いつも～だった

「動詞句」

tutto preso トゥット・プレゾ adj. まったく心を奪われた

「補語」

da ciò ダ・チョ adv. (動作主) それに

「副詞句」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

doveva succedere, トゥヴァエウヴァ・スツェーデレ 3 単半・推量(dovére+不定詞 succedere)

v.i きつと起こるだろう

「動詞句」

dall'oggi ダ・ロッジ adv. 今日

「副詞句」

o オ conj. または

dall'indomani. ダ・リントマーニ adv. 明日

「副詞句」

しかしもちろん、自分が置かれた状況では、そのような口調では誰にも話せなかった。

Ma naturalmente, nella condizione in cui ero stato posto, non potevo parlare a nessuno con un simile tono.

Ma 「副詞句」, 「動詞句」 「間接目的語」 「副詞句」

Ma マ conj. しかし

naturalmente, ナチュラルメンテ adv. もちろん 「副詞」

nella condizione ネッラ。コンディツィオーニ adv. 状況において 「副詞句」

in cui イン・クーイ adv. その中で～する 「形容詞節」

ero stato posto, エロ・スタート・ポスト 1 単半・完了形・受動(porre)

v.t 置かれた 「動詞句」

non potevo parlare ノン・ポテヴァ・ォ・パルラーレ 1 単半・可能・否定(potére+不定詞 parlare)

v.i 話せなかった 「動詞句」

a nessuno ア・ネッスーノ adv. 誰にも～ない 「間接目的語」

con un simile tono. コン・ウン・シミレ・トノ adv. (手段) そのような口調で 「副詞句」

僕には自分の優しさを見せたり、善意を持つ権利がない。

Non avevo il diritto di mostrarmi affettuoso. di avere buona volontà.

「動詞句」 「目的語」

Non avevo ノン・アヴエヴァ 1 単半・時制の一致・否定(avére)v.t. ～がない 「動詞句」

il diritto イル・ディリット n.m 権利 「目的語」

di mostrarmi デイ・モストラール・ミ 不定詞・目的(mostrare+mi)

adv. 自分の姿を見せるための 「副詞句」

affettuoso, アフエツトゥオーソ adj. 情け深い 「補語」

di avere デイ・アヴエーレ 不定詞・目的 adv. 持つための 「副詞句」

buona volontà. ブエナ・ヴァンタ n.f 善意 「目的語」

そして、検事が僕の母さんのことを話し始めたので、僕はもう一度聞こうとした。

E ho cercato ancora di ascoltare, perché il P. M. si è messo a parlare della mia anima.

E 「動詞句」 「副詞節」

E エ conj. そして

ho cercato ancora di ascoltare, オ・チェルカート・アンコーラ・デイ・アスcoltare 1 単現・完了形・努力

(cercare di+不定詞 ascoltare+ ancora)v.t. もう一度聞こうとした 「動詞句」

perché ペルケ conj. ～なので 「副詞節」

il P. M. イル・ピー・ー・エンメ n.m 検事が 「主語」

si è messo a parlare シ・エ・メツ・ア・パルラーレ 3 単現・完了形・開始(méttersi a+不定詞 parlare)

v.i 話し始めた 「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

della mia anima. デラ・ミア・アニマ adv. 僕の魂のことを

「間接目的語」

陪審員のみなさん、私は屈みましたがそこで何も見つけることはできませんでした。と彼は言った。

Diceva che si era chinato su di essa e non vi aveva trovato nulla. signori giurati.

「動詞」「目的語」

Diceva ディチェヴァ 3 単半(dire)v.t(che と) 言った

「動詞」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

si era chinato シ・エラ・チナト 3 単半・完了形(chinarsi)v.pr かがんだ

「動詞句」

su di essa ス・ディ・エッサ adv. その上に

「副詞句」

e エ conj. そして

non ...aveva trovato ノン...アヴェヴァ トロヴァート 3 単半・完了形・否定(trovare)

v.t 見つけられなかった

「動詞句」

vi ヴィ adv. そこで

「副詞」

nulla, ヌッラ pron 何も～ない

「目的語」

signori giurati. シニョーリ・ジューラティ pl(giurato).n 陪審員のみなさん

「呼びかけ」

実の所、僕にはまったく魂がなく、そして人間らしさや人間の心を統括する道德原理にも手が届かない、と彼は言った。

Diceva che in verità io non ne avevo affatto, di ànima, e che nulla di umano mi era accessibile, nessuno dei principi morali che presiedono al cuore degli uomini.

「動詞」「目的語」,e「目的語」

Diceva ディチェヴァ 3 単半(dire)v.t(che と) 言った

「動詞」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

in verità イン・ヴェリタ adv. 実は、実の所

「副詞句」

io イオ pron 僕は

「主語」

non ne avevo affatto, ノ・ネ・アヴァ オッフアット 1 単半・否定(avére)

v.t まったく～がない

「動詞句」

di ànima, ディ・アニマ n.f 魂が

「目的語」

e エ conj. そして

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

nulla di umano ヌッラ・ディ・ウマーノ pron 人間らしさの何も～ない

「主語」

mi ミ pron 僕には

「間接目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

accessibile, アチェッシビレ adj. 手の届く

「補語」

nessuno ネッスーノ pron 何ひとつ～ない

「主語」

dei principi morali ティ・プリンチピ・モラーリ adj. 道德原理の

「形容詞句」

PARTE SECONDA 第2部

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

presiedono プレシエドノ 3 複現(presièdere)

v.i 統括する 「動詞」

al cuore アル・クオーレ adv. 心を 「間接目的語」

degli uòmini. デリ・ウオーニ

adj. 人間の 「形容詞句」

「もちろん」と、彼は付け加えた。「我々が彼を非難したいことはこのことではない」

“Naturalmente,” aggiungeva, “non è questo che vogliamo rimproverargli.

《「副詞」》, 「動詞」, 《「動詞句」「補語」「主語」》

“Naturalmente,” ナチュラルメンテ adv. もちろん 「副詞」

aggiungeva, アジエンジエヴァ 3 単半(aggiungere)v.t 付け加えた 「動詞」

“non è ノネ 3 単現・否定(essere)v.i ～でない 「動詞句」

questo クェスト pron これ、このこと 「補語」

che ケ conj. ～することは 「主語」

vogliamo rimproverargli. ウォリアーモ・リンポルヴァーラル・リ 1 複現・願望

(volére+不定詞 rimproverare+gli)v.t 我々が彼を非難したい 「動詞句」

彼が決して持つことが出来ないものを欠いていることについて、我々が嘆く権利はない。

Non abbiamo il diritto di lamentarci che sia privo di ciò che egli non potrà mai possedere.

「動詞句」「目的語」

Non abbiamo ノン・アビアーモ 1 複現・否定(avére)v.t ～がない 「動詞句」

il diritto イル・ディリット n.m 権利 「目的語」

di lamentarci ディ・ラメントルチ 不定詞(lamentarsi)・目的 adv. 嘆く 「副詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

sia シア 接・3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

privo プリヴォ adj.(di を) 欠いた 「補語」

di ciò ディ・チョ adv. そのものを 「間接目的語」

che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

egli エッリ pron 彼が 「主語」

non potrà mai possedere. ノン・ポトラ・マイ・ポッセデーレ 3 単未・可能性・否定(potére)

v.t 決して所有出来ない 「動詞句」

しかし、この法廷においては、寛容という全く否定的な徳は、より困難であるがより高い正義の徳に道を譲らなければならない。

Ma quando si tratta di questa Côte, la virtù tutta negativa della tolleranza deve cedere il passo a quella meno facile ma più elevata della giustizia.

Ma 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「直接目的語」 「間接目的語」

Ma マ conj. しかし

quando クォント conj. ～の時に、～ならば 「副詞節」

si tratta シ・トラッタ 3 単現(trattarsi)v.pr(di) のことである 「動詞句」

di questa Côte, ティ・クェスタ・コルテ n.f この法廷 「補語」

la virtù tutta negativa ラ・ヴ・イルトゥ・トゥッタ・ネガティヴァ n.f 全く否定的な徳は 「主語」

della tolleranza テ・ラ・トレランサ adj. 寛容の 「形容詞句」

deve cedere テ・ヴェ・チェデーレ 3 単現・必要(dovère+不定詞 cedere)

v.t(a に) 譲らなければならない 「動詞句」

il passo イル・パッソ n.m 道を 「直接目的語」

a quella ア・クェッラ adv. それに 「間接目的語」

meno facile メノ・ファチレ adj. より困難な 「形容詞句」

ma マ conj. しかし

più elevata ピ・ウ・エレヴァータ adj. より高い 「形容詞句」

della giustizia. テ・ラ・ジユストゲイツィア adj. 正義の 「形容詞句」

「特に、この男の中に見られるような魂の欠落が、社会が滅びるかもしれない深淵になる場合は」

Soprattutto quando il vuoto dell'animo quale si ritrova in quest'uomo diventa un abisso dove la società può perire.

《「副詞節」》

Soprattutto ソフ・ラットゥット adv. 特に 「副詞」

quando クォント conj. ～する時は 「副詞節」

il vuoto ヴォート n.m 空白が、欠落 「主語」

dell'animo テ・ラーニモ adj. 魂の、心の 「形容詞句」

quale クワ・レ pron (主語) ～のような 「形容詞節」

si ritrova シ・リトロヴァ 3 単現・再帰受動(ritrovarsi)

v.pr 見つけられる 「動詞句」

in quest'uomo イン・クェストウオーモ

adv. この男の中に 「副詞句」

diventa ティヴァンタ 3 単現・変化(diventare)v.i ～になる 「動詞」

PARTE SECONDA 第2部

un abisso ウン・アビッソ n.m 深淵 「補語」
 dóve トーヴェ adv. そこで～する 「副詞節」
 la società ラ・ソチエタ n.f 社会が 「主語」
 può perire.” フォ・ペリーレ 3 単現・可能性(potere+不定詞 perire)
 v.i 滅びるかもしれない 「動詞句」

彼が母さんに対する僕の態度について話したのはこの時だった。

È a questo punto che ha parlato del mio contégno verso la mamma.

È エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」 「補語」 「主語」
 a questo punto ア・クェスト・ポイント adv. この時に 「補語」
 che ケ conj. ～ということは 「主語」
 ha parlato ア・パルラート 3 単現・完了形(parlare)v.t(di について) 話した 「動詞句」
 del mio contégno デル・ミーオ・コンテニョ adv. 僕の態度について 「間接目的語」
 verso la mamma. ウェールソ・ラ・マンマ adv. 母さんに対する 「副詞句」

彼は審理の間に話したことを繰り返し述べた。

Ha ripetuto quello che aveva detto durante il dibattimento.

Ha ripetuto ア・リペトート 3 単現・完了形(ripetere)v.t 繰り返した 「動詞句」 「目的語」
 quello ケッロ pron それを 「目的語」
 che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 aveva detto アヴェーヴァ・ア・デット 3 単半・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 durante il dibattimento. ドゥランテ・イル・ディバチメント
 adv. 審理の間に 「副詞句」

しかし、彼が僕の罪について話していた時よりずっと長く、結局、夏の朝の暑さしか感じない程だった。

Ma è stato molto più lungo di quando aveva parlato del mio delitto, talmente lungo che alla fine non ho sentito più altro che il calore del mattino d'estate.

Ma 「動詞句」 「補語」, 「補語」

Ma マ conj. しかし
 è stato エ・スタート 3 単現・完了形(essere)v.i ～だった 「動詞句」
 molto più lungo モルト・ピウ・ルンゴ adj. ずっと長い 「補語」
 di quando ディ・クワント adv. (比較) ～する時より 「副詞節」
 aveva parlato アヴェーヴァ・ア・パルラート 3 単半・完了形(parlare)

PARTE SECONDA 第2部

v.i(di について) 話していた	「動詞句」
del mio delitto, テル・ミーオ・デリット adv. 僕の罪について	「間接目的語」
talmente lungo che タルメンテ・ルンゴ・ケ conj. ～するほど長い	「補語」
alla fine アラ・フィーネ adv. 結局	「副詞句」
non ho sentito ノ・センチート 1 単現・完了形・否定(sentire)v.t 感じなかった	「動詞句」
più altro che ピ・ウ・アルトロ・ケ	
adj.(non...altro che) もう～しか、～の他は...でない	「形容詞句」
il calore イル・カローレ n.m 暑さ	「目的語」
del mattino d'estate. テル・マッティエーノ・デ・スターテ adj. 夏の朝の	「形容詞句」

少なくとも、検事は話を中断して、一瞬の沈黙の後、彼は低い声で非常に感動した口調で話しを再開した。

Perloméno fino al moménto in cui il P. M. si è interrotto, e dópo un istante di silénzio, ha ripreso a bassa vóce e con accénto móltto commosso:

「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」

Perloméno fino al moménto in cui il P. M. si è interrotto, e dópo un istante di silénzio, ha ripreso a bassa vóce e con accénto móltto commosso:

「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」

Perloméno ペルロメノ adv. 少なくとも	「副詞句」
fino al moménto フィーノ・アル・モメント adv.(時間) ～まで	「副詞句」
in cui イン・クーイ adv. その時～する	「副詞節」
il P. M. イル・ピー・エム n.m 検事が	「主語」
si è interrotto, シ・エ・インテロット 3 単現・完了形(interrómpersi)	
v.pr 中断した	「動詞句」
e エ conj. そして	
dópo トーホ prep (時間) ～の後で	「副詞句」
un istante di silénzio, ウン・イスタンテ・ディ・シレンツィオ	
n.m 一瞬の沈黙	「目的語」
ha ripreso ア・リプレゾ 3 単現・完了形(riprèndere)v.t 再開した	「動詞句」
a bassa vóce ア・バッサ・ヴォーチェ adv. (手段) 低い声で	「副詞句」
e エ conj. そして	
con accénto コン・アチェント adv. (手段) 口調で	「副詞句」
móltto commosso: モルト・コモツ adv. 非常に感動した	「副詞句」

「陪審員の皆さん、この同じ法廷は明日、大罪の中でも最も忌まわしい、父親殺しを裁くことになっています」

“Questa stéssa Côte, signori giurati, dovrà giudicare domani il più abominévole dei misfatti, l’assassinio di un padre.”

《「主語」, 「呼びかけ」, 「動詞句」 「副詞」 「目的語」》

“Questa stéssa ケスタ・ステッサ adj(stéssu).f この同じ

「形容詞句」

Côte, コールテ n.f 法廷は

「主語」

signori giurati, シニョーリ・ジューラティ pl(giurato).n.m 陪審員のみなさん

「呼びかけ」

dovrà giudicare トヴラ・ジュティカーレ 3 単未・意向(divére+不定詞 giudicare)

v.t 裁くことになっています、裁く予定です

「動詞句」

domani トマーニ adv. 明日

「副詞」

il più abominévole dei misfatti, イル・ピウ・アボミネヴォレ・デイ・ミスファッティ

n.m 最も忌まわしい大罪を

「目的語」

l’assassinio di un padre.” ラッサシニオ・ディ・ウン・パドレ n.m 父親の殺害を

「目的語」

検事の言葉によると、そのようなむごい行為を前にして、想像力は退いた。そして彼は、人間の正義が容赦なく打撃を与えることをあえて望む。

Secóndo lui l’immaginazione indietreggiava di frónte a un così atróce gèsto ed égli osava sperare che la giustizia degli uòmini avrebbe colpito senza pietà.

「副詞句」 「主語」 「動詞」 「副詞句」 ed 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Secóndo lui セコント・ルーイ adv. 検事の言葉によると

「副詞句」

l’immaginazione リマジナツィオーネ n.f 想像力は

「主語」

indietreggiava インディエトレジヤヴァ 3 単半(indietreggiare)v.i 退いた

「動詞」

di frónte a デイ・フロンテ・ア adv. ～を前にして

「副詞句」

un così atróce gèsto ウン・コシ・アトロチェ・ジエスト n.m そのようなむごい行為 「目的語」

ed エ conj. そして

égli エッリ pron 彼は

「主語」

osava sperare オサヴァ・スペラーレ 3 単半・敢えて・時制の一致(osare+不定詞 sperare)

v.t 敢えて望む

「動詞句」

che ケ conj. ～ということ

「目的語」

la giustizia ラ・ジユスティツィア n.f 正義が

「主語」

degli uòmini デリ・ウオーニ adj. 人間の

「形容詞句」

avrebbe colpito アヴレッベ・コルピト 条・3 単現・完了形・推量・時制の一致(colpire)

v.t 打撃を与えるだろう

「動詞句」

senza pietà. センツァ・ピエタ adv. 同情なしに、容赦なく

「副詞句」

しかし彼は恐れずに言った。父親殺しという犯罪が彼に抱かせた恐怖は、僕の冷血さに対して彼が感じた恐怖に比べるとまるで大したことが無いというのだ。

Ma, non aveva paura di dirlo, l'orrore che gli ispirava quel delitto era quasi inferiore a quello che provava dinanzi alla mia insensibilità.

Ma 「動詞句」「目的語」「主語」, 「主語」「動詞」「補語」

Ma, マ conj. しかし

non aveva ノン・アヴェーヴァ 3 単半・否定(avére)v.t ~が無かった 「動詞句」

paura パウーラ n.f 恐れ、不安 「目的語」

di dirlo, ディ・ディール・ロ 不定詞・目的 adv. それを言うのに 「副詞句」

l'orrore ロローレ n.m 恐怖は 「主語」

di dirlo, の lo の説明

che ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

gli リ pron 彼に 「間接目的語」

ispirava イスピラーヴァ 3 単半(ispirare)v.t 生じさせた、与えた 「動詞」

quel delitto ケル・デリット n.m その犯罪が 「主語」

「父親殺し」の事

era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」

quasi inferiore クワー・コ・インフェイオーレ adj. まるで劣る 「補語」

a quello ア・ケッロ adv. それに比べて 「副詞句」

che ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

provava プロヴァーヴァ 3 単半(provare)v.t 感じた 「動詞」

dinanzi ディナンツイ prep (a の) 前で 「副詞句」

alla mia insensibilità. ア・ラ・ミーア・インセンシビリティ

adv. 僕の無神経 「間接目的語」

また彼によれば、心の内で自分の母親を殺す人間は、自分の産みの親に実際に手をあげる者と同じ理由で、人間社会から追放される。

Sempre a sentir lui, un uomo che uccideva moralmente sua madre radiava se stesso dal consorzio umano allo stesso titolo di colui che alzava una mano assassina sull'autore dei suoi giorni.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Sempre センプレ adv. また 「副詞」

a sentir ア・センチール 不定詞・条件 v.t 聞くと 「副詞句」

lui, ルーイ adv. 彼に 「間接目的語」

un uomo ウン・ウオーモ n.m 人間は 「主語」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

PARTE SECONDA 第2部

uccideva	ウッチデーヴァ	3 単半・時制の一致(uccidere)v.t	殺す	「動詞」
moralmente	モラルメンテ	adv.	精神的に	「副詞」
sua madre	スー・マトレ	n.f	自分の母親を	「目的語」
radiava	ラディアーヴァ	3 単半・時制の一致(radiare)v.t	追放する	「動詞」
se stésso	セ・ステツ	pron	自分自身を	「目的語」
dal consorzio umano	ダル・コンソールツィオ・ウマーノ	adv.	人間社会から	「副詞句」
allo stésso titolo di colui	アロ・ステツ・チートロ	adv.	(手段) 人と同じ理由で	「副詞句」
che	ケ	pron (主語)	～する	「形容詞節」
alzava	アルツァーヴァ	3 単半・時制の一致(alzare)v.t	あげる	「動詞」
una mano	ウナ・マーノ	n.f	手を	「直接目的語」
assassina	アッサシーナ	adj(assassino).f	殺人者の	「形容詞」
sull'autore	スルアウトレ	adv.	(対象) 創造者に	「間接目的語」
dei suoi giorni.	デー・スイ・ジョルニ	adj.	生涯の	「形容詞句」

確かに、前者は後者の行為を準備し、ある意味ではそれらを予告し、正当化する。

Certo è che il primo preparava gli atti del secóndo, in un certo qual sènsò li annunciava e li giustificava.

				「補語」「動詞」「主語」
Certo	チェルト	adj.	確かな	「補語」
			強調構文で強調したい語句を文頭に置く	
è	エ	3 単現(essere)v.i	～である	「動詞」
che	ケ	conj.	～ということは	「主語」
il primo	イル・プリーモ	n.m	前者は	「主語」
preparava	プレパラヴァ	3 単半・時制の一致(preparare)v.t	準備する	「動詞」
gli atti	リ・アッティ	pl(atto).n.m	行為を	「目的語」
del secóndo,	デル・セコント	adj.	後者の	「形容詞句」
in un certo qual sènsò	イン・ウン・チェルト・クワル・センソ	adv.	ある意味では	「副詞句」
li	リ	pron.pl	それらを	「目的語」
annunciava	アンンチャーヴァ	3 単半・時制の一致(annunciare)v.t	予告する	「動詞」
e	エ	conj.	そして	
li	リ	pron.pl	それらを	「目的語」
giustificava.	ジユスティフィカーヴァ	3 単半・時制の一致(giustificare)		
		v.t	正当化する	「動詞」

「陪審員のみなさん、私は確信しています」と、彼は大声で付け加えた。「もし私が被告人席に座っているその男は、本法廷が明日裁かねばならない殺人の罪も含めて有罪であり、結果として、彼は罰せらるべきであると言ったとしても、皆さんは私の考えが余りにも大胆だと思わないでしょう。」

“Io sono persuaso, signori giurati,” ha soggiunto elevando la voce, “che non giudicherete troppo audace il mio pensare se dico che l’uomo che è seduto a quel banco è colpevole anche dell’assassinio che questa Corte dovrà giudicare domani. Ed è in conseguenza che deve essere punito.”

《「主語」「動詞」「補語」「呼びかけ」》, 「動詞句」「副詞句」, 《「目的語」》

“Io イーオ pron 私は 「主語」
sono ソーノ 1 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
persuaso, ペルスアゾ adj. 確信した 「補語」
signori giurati,” シニョーリ・ジューラティ pl(giurato).n.m 陪審員のみなさん 「呼びかけ」
ha soggiunto ア・ソジ ュンジョ エレ 3 単現・完了形(soggiunge)v.t 付け加えた 「動詞句」
elevando エレヴァント ジェルンディオ(elevare)adv. 上げて 「副詞句」
la voce, ラ・ヴォーチェ n.f 声を 「目的語」
“che ケ conj. ~ということ を 「目的語」
non giudicherete ノン・ジューテ・イクレテ 2 複未・否定(giudicare)
v.t 思わないだろう 「動詞句」
troppo audace トロッポ・アウダーチェ adj. 余りにも大胆な 「補語」
il mio pensare イル・ミオ・ペンサーレ n.m 私の考えを 「目的語」
se セ conj. もし~しても 「副詞節」
dico ティコ 1 単現(dire)v.t 言う 「動詞」
che ケ conj. ~ということ を 「目的語」
l’uomo ルオーモ n.m その男は 「主語」
che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
è seduto エ・セドゥート 3 単現・完了形(sedere)
v.i 座っている 「動詞句」
a quel banco ア・ケル・バンコ
adv. 被告人席に、そのベンチに 「副詞句」
è エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
colpevole コルペーヴォレ adj. 有罪の 「補語」
anche アンケ conj. ~も含めて 「副詞句」
dell’assassinio テラッサシニョ pron 殺人の罪 「目的語」
che ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」
questa Corte ケスタ・コールテ
n.f 本法廷が 「主語」

PARTE SECONDA 第2部

dovrà giudicare ドヴラ・ジユティカーレ 3 単未・義務(dovére+不定詞 giudicare)

v.t 裁く 「動詞句」

domani. ドマーニ adv. 明日 「副詞」

Ed エト conj. そして

è エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」

in conseguenza イン・コンセグエンツァ adv. 従って、結果的に 「副詞句」

che ケ conj. ~ということ 「補語」

deve essere punito.” テヴエ・エッセル・プニート 3 単現・必要(dovére+不定詞・受動 essere punito)

v.t 罰せられなければならない 「動詞句」

ここで検事は汗で光る顔を拭った。

A questo punto il P. M. si è asciugato la faccia lucida di sudore.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

A questo punto ア・クェスト・プント adv. この時、ここで 「副詞句」

il P. M. イル・ピー・エム n.m 検事は 「主語」

si è asciugato シ・エ・アシュカート 3 単現・完了形(asciugarsi)v.pr (自分の体を)拭いた 「動詞句」

la faccia ラ・ファッチャ n.f 顔を 「目的語」

lucida ルーチャ adj.(lucido) 光る 「形容詞」

di sudore. ティ・ストレー adv. (原因) 汗で 「副詞句」

最後に、彼は自分の任務は辛いものであるが、それを断固として果たすと述べた。

Ha detto infine che il suo compito era doloroso, ma che l'avrebbe adempiuto con fermezza.

「動詞句」「副詞」「目的語」,ma 「目的語」

Ha detto ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

infine インフィーネ adv. 最後に 「副詞」

che ケ conj. ~ということ 「目的語」

il suo compito イル・スー・コンピト n.m 彼の任務は 「主語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ~である 「動詞」

doloroso, ドローソ adj. 辛い 「補語」

ma マ conj. しかし

che ケ conj. ~ということ 「目的語」

l'ル pron それを 「目的語」

avrebbe adempiuto アヴレッベ・アデムピウト 条・3 単現・完了形・意思(adempiere)

v.t 果たすつもりだ 「動詞句」

con fermezza. コン・フェルメツァ adv. 断固として 「副詞句」

彼は述べた。僕は最も基本的な法律を知らない社会とは関係が無く、最も基本的な感情を知らない人間の心から同情を期待することは出来ない。

Ha dichiarato che io non avevo nulla a che fare con una società di cui disconoscevo le leggi più essenziali, e che non potevo sperare pietà da questo cuore umano di cui ignoravo i più elementari sentimenti.

「動詞句」「目的語」,e「目的語」

Ha dichiarato ア・デ`イアラート 3 単現・完了形(dichiarare)v.t 述べた 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

io イオ pron 僕は 「主語」

non avevo ノンアヴェ`エウ`ォ 1 単半・否定・時制の一致(avére)v.t ～がない 「動詞句」

nulla ヌッラ pron 何も～ない 「目的語」

a che fare ア・ケ・ファレ 不定詞・目的 adj. 行なうべき 「形容詞句」

con una società コン・ウナ・ソチェタ adv. 社会と 「副詞句」

di cui デ`イ・クイ adv. その 「間接目的語」

disconoscevo デ`イスコノシェウ`ォ 1 単半・時制の一致(disconoscere)

v.t 無視する 「動詞」

le leggi レ・レヅジ`

pl(égge).n.f 法律を 「目的語」

più essenziali, ピ`ウ・エッセンチアーリ

adj(essenziale).pl

最も基本的な 「形容詞句」

e エ conj. そして

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

non potevo sperare ノン・ポテウ`ォ・スペラーレ 1 単半・可能・否定・時制の一致

(potére+不定詞 sperare)v.t 期待できない 「動詞句」

pietà ピ`エタ n.f 同情を 「目的語」

da questo cuore umano ダ`・クェスト・クオーレ・ウマーノ

adv. この人間の心から 「副詞句」

di cui デ`イ・クイ adv. その 「間接目的語」

ignoravo イニョラーウ`ォ 1 単半・時制の一致(ignorare)

v.t 知らない 「動詞」

i più elementari sentimenti. イ・ピ`ウ・エレメンターリ・センチメンティ

pl(sentiménto).n.m 最も基本的な感情を 「目的語」

「私は皆さんにこの男の首を求めます」と、彼は言った。「しかも、清々しい気持ちで、首を求めるものであります」

“Io vi chiedo la testa di quest'uomo,” ha detto, “ed è a cuor leggero che ve la chiedo.

《「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》, 「動詞句」,
《ed 「動詞」「副詞句」「補語」》

“Io イ・オ pron 私は 「主語」
vi ヴィ pron あなた方に、皆さんに 「間接目的語」
chiedo キエド 1 単現(chiedere)v.t 求める 「動詞」
la testa ラ・テスト n.f 首を 「直接目的語」
di quest'uomo,” デイ・クェストウオモ adj. この男の 「形容詞句」
ha detto, ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
“ed エド conj. そして、しかも
è エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
a cuor leggero ア・クオル・レッジェーロ adv. (方法) 清々しい気持ちで、軽やかな心で 「副詞句」
che ケ conj. ~ということ 「補語」
ve ヴェ pron 皆さんに 「間接目的語」
la ラ pron 首を 「直接目的語」
chiedo. キエド 1 単現(chiedere)v.t 求める 「動詞」

もう既に長い私の死刑を求める経歴の流れの中で、そう言う事は他にもあったが、今日ほど、この辛い任務が報われ、バランスが取れ、神聖で絶対的な命令の自覚や怪物以外の何物も読み取れない顔を直視した時に感じる恐怖に照らし出されたと感じたことはない。

Che se mi è avvenuto altre volte nel corso di una già lunga carriera di richiedere pene capitali, mai, mai altrettanto che oggi ho sentito questo triste dovere compensato, bilanciato, rischiarato dalla coscienza di un comandamento imperioso e sacro e dall'orrore che provo di fronte a un volto d'uomo dove non leggo nulla che non sia mostruoso.”

「副詞節」, 「副詞句」「動詞句」「目的語」「補語」, 「補語」, 「補語」

Che ケ conj. (事実の提示) ~である
se セ conj. もし~ならば 「副詞節」
mi ミ pron 自分に 「間接目的語」
è avvenuto エ・アヴヴェニョ 3 単現・完了形(avvenire)v.i 起こった 「動詞句」
altre volte アルトレ・ヴォルテ adv. 他の時に 「副詞句」
nel corso ネル・コース adv. (時間の) 流れの間に 「副詞句」
di una già lunga carriera デイ・ウナ・ジヤ・ルンガ・カリエーラ
adj. もう既に長い私の経歴の 「形容詞句」

PARTE SECONDA 第2部

di richiedere ティ・リキエーデレ 不定詞・同格

adj. ～を求める 「形容詞句」

péne capitali, ペーネ・カピターリ

pl(péna).n.f 死刑、極刑 「目的語」

mai, mai altrettanto che oggi マーイ・マーイ・アルトレッタント・ケ・オッジ

adv. 今日ほど～ない 「副詞句」

ho sentito オ・センチート 1 単現・完了形(sentire)v.t 感じた 「動詞句」

quésto triste dovere ケスト・トリスト・トヴエーレ n.m この辛い任務を 「目的語」

compensato, コンペンサート adj. 報われた 「補語」

bilanciato, ビランチャート adj. バランスのとれた 「補語」

rischiato リスキアート 過去分詞(rischiare)v.t 受動 adj. 照らされた 「補語」

dalla coscienza ダラ・コシエンサ adv. (動作主) 自覚により 「副詞句」

di un comandamento ティ・ウン・コマンドメント adj. 命令の 「形容詞句」

imperioso インペリオゾ adj. 抑えられない 「形容詞」

e エ conj. そして

sacro サクロ adj. 神聖な 「形容詞」

e エ そして

dall'orrore ダッロロレ adv. 恐怖から 「副詞句」

che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

provo プロヴォ 1 単現(provare)v.t 感じる 「動詞」

di frónte ティ・フロンテ adv. 正面から 「副詞句」

a un volto ア・ウン・ヴォルト adv. 顔を 「間接目的語」

d'uòmo トゥオーモ adj. 人の 「形容詞句」

dóve トーヴェ

adv. そこで～する 「副詞節」

non leggo ノン・レッゴ 1 単現・否定(lèggere)

v.t 読めない 「動詞句」

nulla ヌッラ pron 何も～ない 「目的語」

che ケ

conj.(non...che) ～しか 「形容詞節」

non sia ノン・シャ 接・3 単現(èssere)

v.i ～である 「動詞」

mostruoso.” モストルオーゾ

adj. 怪物の 「補語」

検事が席に戻ると、沈黙がかなり長い間続いた。

Quando il P. M. si è rimesso a sedere, vi è stato un silenzio piuttosto lungo.

「副詞節」, 「動詞句」 「主語」

Quando クワント conj. ～した時

「副詞節」

il P. M. イル・ピー・エム n.m 検事が

「主語」

si è rimesso a sedere, シ・エ・リメツ・ア・セデーレ 3 単現・完了形・再度(rimettere a+不定詞 sedere)

v.pr 再び座った

「動詞句」

vi è stato ヴィ・エ・スタート 3 単現・完了形・存在(esserci/esservi)v.i ～があった

「動詞句」

un silenzio ウン・シレンツィオ n.m 沈黙が

「主語」

piuttosto lungo. ピウットー・スト・ルンゴ adv. かなり長い

「形容詞句」

僕としては、暑さと驚きで茫然としていた。

Quanto a me, ero intontito per il caldo e per lo stupore.

「副詞句」, 「動詞」 「補語」

Quanto a me, クワント・ア・メ adv. 僕としては

「副詞句」

ero エロ 1 単半(essere)v.i ～だった

「動詞」

intontito イントンチト adj. ぼうっとした

「補語」

per il caldo ペル・イル・カルト adv (原因) 暑さのために

「副詞句」

e エ conj. そして

per lo stupore. ペリ・ロ・ストゥポーレ adv (原因) 驚きのために

「副詞句」

裁判長は咳ばらいをして、低い声で、僕に何か付け加えることはあるかと尋ねた。僕は立ち上がり、話したかったので、思い付きで、アラブ人を殺すつもりは無かったと答えた。

Il presidente ha dato qualche colpo di tosse e a bassa voce mi ha chiesto se avevo qualcosa da aggiungere. Mi sono alzato, e siccome avevo voglia di parlare, ho detto, un po' a caso, che non avevo avuto l'intenzione di uccidere l'arabo.

「主語」 「動詞句」 「目的語」 e 「副詞句」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」

「動詞句」, e 「副詞節」, 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」

Il presidente イル・プレジデンテ n.m 裁判長は

「主語」

ha dato ア・ダート 3 単現・完了形(dare)v.t(動作を) した、生じさせた

「動詞句」

qualche colpo di tosse クワルク・ディ・トッセ n.f 咳、咳払いを

「目的語」

e エ conj. そして

a bassa voce ア・バッサ・ヴォーチェ adv. (手段) 低い声で

「副詞句」

mi ミ peon 僕に

「間接目的語」

ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた

「動詞句」

se セ conj. ～かどうかということ

「直接目的語」

PARTE SECONDA 第2部

avevo アヴェーヴォ 1 単現(avére)v.t	〜がある	「動詞」
qualcosa クワルコーサ pron	何か	「目的語」
da aggiungere. ダ・アジエンジエ	不定詞・目的	
adj. 付け加えるべき		「形容詞句」
Mi sono alzato, ミ・ソーノ・アルツァート 1 単現・完了形(alzarsi)v.pr	立ち上がった	「動詞句」
e エ conj. そして		
siccome シッコーメ conj. (原因) 〜なので		「副詞節」
avevo アヴェーヴォ 1 単半(avére)v.t	〜があった	「動詞」
vòglia di parlare, ヴォーリア・ディ・パルラーレ n.f	話したい気持ち	「目的語」
ho detto, オ・テット 1 単現・完了形(dire)v.t	言った	「動詞句」
un po' a caso, ウン・ポ・ア・カーゾ adv.	思い付きで、行き当たりばつりに	「副詞句」
che ケ conj. 〜ということを		「目的語」
non avevo avuto ノン・アヴェーヴォ・アウート 1 単半・完了形・否定(avére)		
v.t	〜が無かった	「動詞句」
l'intenzione リンテンツィオーネ n.f	意図、つもり	「目的語」
di uccidere ディ・ウッチーデーレ 不定詞・目的 adj.	〜を殺す	「形容詞句」
l'àrabo. ラーラボ n.m	アブ人を	「目的語」

裁判長は、それは弁護側の主張である、しかし彼はいまだに僕の弁護方針が良く理解できないので、
 弁護士の話を聞く前に、僕がああの行為に走った動機を明らかにしてくれたらありがたいのだと答えた。

Il presidente ha risposto che quella era un'affermazione gratuita, che ancora lui non afferrava bene il mio sistema di difesa, e che sarebbe stato lieto, prima di sentire il mio avvocato, che io precisassi i motivi che avevano ispirato il mio gesto.

「主語」「動詞句」「目的語」, 「目的語」, e 「目的語」

Il presidente イル・プレジデンテ n.m	裁判長は	「主語」
ha risposto ア・リスポスト 3 単現・完了形(rispondere)v.t	答えた	「動詞句」
che ケ conj. 〜ということを		「目的語」
quella ケッラ pron	それは	「主語」
era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i	〜である	「動詞」
un'affermazione ウナッフエルマツチオーネ n.f	主張	「補語」
gratuita, グラトゥーイタ adj(gratuito).f	官選弁護人側の	「形容詞」
che ケ conj. 〜ということを		「目的語」
ancora アンコーラ adv.	いまだに、まだ	「副詞」
lui ルーイ pron	彼は、裁判長は	「主語」
non afferrava ノン・アッフエラーヴァ 3 単現・否定・時制の一致(afferrare)		

PARTE SECONDA 第2部

v.t 理解できない	「動詞句」
bène ベーネ adv. よく	「副詞」
il mio sistema di difesa, イル・ミーオ・システム・ディ・ディフェーサ	
n.m 僕の弁護方針を	「目的語」
e エ conj. そして	
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
sarebbe stato サレバ・スタート 条・3 単現・完了形・推量(essere)v.i ～だろう	「動詞句」
lieto, リエト adj. 喜ばしい	「補語」
prima di sentire プリーマ・ディ・センチレ adv. 聞く前に	「副詞句」
il mio avvocato, イル・ミーオ・アヴヴァート n.m 僕の弁護士の話	「目的語」
che ケ conj. ～ということは	「主語」
io イオ pron 僕が	「主語」
precisassi プレチザッシ 接・1 単半・假定(precisare)v.t 明確にしたら	「動詞」
i motivi イ・モチウ・ヴィ pl(motivo).n.m 動機を	「目的語」
che ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
avevano ispirato アヴァ・エヴァノ・イスピラート 3 複半・完了形(ispirare)	
v.t けしかけた	「動詞句」
il mio gesto, イル・ミーオ・ジェスト n.m 僕の行為を	「目的語」

僕は自分がどれ程滑稽だったかに気づき、急いで、それは太陽のせいだったと言った。

Ho detto molto in fretta, rendendomi conto di quanto ero ridicolo, che era stato a causa del sole.

	「動詞句」「副詞句」, 「副詞句」, 「目的語」
Ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
molto in fretta, モルト・イン・フレッタ adv. とても急いで	「副詞句」
rendendomi レンデンロミ ジェルンディオ(rendersi)	
adv. (conto di... に) 気付いて	「副詞句」
conto di quanto ero ridicolo, コント・ディ・クワント・エロ・リディコロ	
adv. どれほど滑稽かに	「間接目的語」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
era stato エラ・スタート 3 単半・完了形(essere)v.i ～だった	「動詞句」
a causa adj. (di ～の) adj. ～のせい	「補語」
del sole. デル・ソレ adj. 太陽の	「形容詞句」

法廷内は笑い声に包まれた。僕の弁護士が両肩をすくめると、直後に、発言を求められた。

Nell'aula si sono uditi scòppi di risa. Il mio difensóre ha alzato le spalle e immediataménte dópo gli è stata data la paròla.

「副詞句」「動詞句」「主語」

「主語」「動詞句」「目的語」 e 「副詞」「間接目的語」「動詞句」「主語」

Nell'aula ネーウラ adv. 法廷内に 「副詞句」

si sono uditi シ・ソーノ・ウディ 3 複現・完了形・再帰受動(udirsi)v.pr 聞こえた 「動詞句」

scòppi スコッピ pl(scòppio).n.m 爆発が 「主語」

di risa. ディ・リーザ adj(riso).pl 笑いの 「形容詞句」

Il mio difensóre イル・ミーオ・ディフェンソーレ n.m 僕の弁護人は 「主語」

ha alzato ア・アルツァート 3 単現・完了形(alzare)v.t 上げた 「動詞句」

le spalle レ・スパッレ pl(spalla).n.f 両肩を 「目的語」

e エ conj. そして

immediataménte dópo イメディアタメンテ・トポー adv. すぐ後に 「副詞」

gli リ pron 彼に 「間接目的語」

è stata data エ・スタータ・ダータ 3 単現・完了形・受動(dare)v.t 求められた 「動詞句」

la paròla. ラ・パローラ n.f 発言が 「主語」

しかし弁護士は、もう時間が遅く、発言には数時間かかると思われるので、午後に延期して
いただきたいと述べた。法廷は同意した。

Ma lui ha dichiarato che era tardi, che ne avrebbe avuto per parecchie ore e che chiedeva
il rinvio al pomeriggio. La Corte ha acconsentito.

Ma 「主語」「動詞句」「目的語」, 「目的語」 e 「目的語」 | 「主語」「動詞句」

Ma マ conj. しかし

lui ルー pron 彼は 「主語」

ha dichiarato ア・ディキアラート 3 単現・完了形(dichiarare)v.t 述べた、言った 「動詞句」

che ケ conj. ～ということ を 「目的語」

era エ 3 単半・時制の一致・時間(essere)v.i ～である 「動詞」

tardi, タルディ adj(tardo).pl 遅い 「補語」

che ケ conj. ～ということ を 「目的語」

ne ネ adv. それについては、そのためには 「副詞」

avrebbe avuto アヴレウヴェ・アヴァート 条・3 単現・完了形・推量(avére)

v.t (時間が) かかるだろう 「動詞句」

per parecchie ore ヘル・パレッキエ・オーレ pl(óra).n.f 数時間、かなりの時間 「目的語」

e エ conj. そして

che ケ conj. ～ということ を 「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

chiedeva キエデーヴァ 3 単半(chièdere)v.t 求めた、要望した	「動詞」
il rinvio イル・リンヴィーオ n.m 延期を	「目的語」
al pomeriggio アル・ポ・メリッジョ adv. 午後に	「副詞句」
La Corte ラ・コルテ n.f 法廷は	「主語」
ha acconsentito. ア・アッコンセンチート 3 単現・完了形(acconsentire)v.i 同意した	「動詞句」

午後、巨大な扇風機は相変わらず法廷内の重い空気の中で回っており、陪審員たちの色とりどりの小さな団扇はすべて同じ方向に揺れていた。

Il pomeriggio i grandi ventilatori giravano sempre nell'aria densa della sala e i ventaglietti variopinti dei giurati si agitavano tutti nello stesso senso.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」 e 「主語」「動詞句」「副詞句」

Il pomeriggio イル・ポ・メリッジョ n.m 午後	「副詞句」
i grandi ventilatori イ・グランドエイ・ヴァンチラトリ pl(ventilatore)n.m 巨大な扇風機が	「主語」
giravano ジラヴァノ 3 複半(girare)v.i 回っていた	「動詞」
sempre センプレ adv. 相変わらず	「副詞」
nell'aria ネーリア adv. 空気の中で	「副詞句」
densa デンサ adj(denso).f 重い、濃い	「形容詞」
della sala テラ・サーラ adj. 法廷の	「形容詞句」
e エ conj. そして	
i ventaglietti イ・ヴァンタリエッティ pl(ventaglio+ -etto).n.m 小さい団扇は	「主語」
variopinti ヴァリオピンティ adj(variopinto).pl 色とりどりの	「形容詞」
dei giurati デイ・ジューラティ adj.(所有) 陪審員たちの	「形容詞句」
si agitavano シ・アジターヴァノ 3 複半(agitarsi)v.pr 揺れていた	「動詞句」
tutti nello stesso senso. トゥッティ・ネッロ・ステッソ・センソ adv. すべて同じ方向へ	「副詞句」

メトロノームの同期現象

複数のメトロノームが最終的に同じタイミングで音を刻むようになる現象。
ホタルの光の同期なども知られている。

弁護士の口頭弁論は決して終わらないように思われた。

L'arringa del mio avvocato sembrava non dovesse mai finire.

「主語」「動詞」「補語」

L'arringa ラリンガ n.f 演説は	「主語」
del mio avvocato デル・ミーオ・アヴァカート adj. 僕の弁護士の	「形容詞句」
sembrava センブラヴァ 3 単半(sembrare)v.i ~のように思われた	「動詞」
n. ~すること	「補語」
non dovesse mai finire. ノン・ドッヴェッセ・マイ・フィニレ 接・3 単半・推量・否定	

(dovère+不定詞 finire)v.i 決して終わらないだろう

「動詞句」

しかし、僕はある個所に注目した：なぜなら僕の弁護士が、「私が殺したのは事実だ」と言ったからだ。

A un certo punto però ho fatto attenzione perché diceva: “è véro che ho ucciso.”

「副詞句」, però 「動詞句」「目的語」「副詞節」

A un certo punto ア・ウン・チェルト・ポイント adv. ある個所で、ある点においては 「副詞句」
però ペロ conj. しかし

ho fatto オ・ファット 1 単現・完了形(fare)v.t (動作を) した 「動詞句」

attenzione アッテンツィオーネ n.f 注意を 「目的語」

perché ペルケ conj (原因) ～なので 「副詞節」

diceva: ディチェヴァ 3 単半(dire)v.t 言った 「動詞」

“è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

véro ヴェロ adj. 事実の 「補語」

che ケ conj. ～ということは 「主語」

ho ucciso.” オ・ウチゾ 1 単現・完了形(uccidere)v.t 殺した 「動詞句」

それから、彼は僕について話す度に「私は…」と、同じ調子で話し続けた。

Poi ha continuato sullo stesso tono, dicendo “io, ’ ogni volta che parlava di me.

「副詞」「動詞句」「副詞句」「目的語」

Poi ポーイ adv. それから 「副詞」

ha continuato ア・コンチヌアト 3 単現・完了形(continuare)v.t 続けた 「動詞句」

sullo stesso tono, スロ・ステツ・トーノ adv. (手段) 同じ調子で 「副詞句」

dicendo ディチェント 現在分詞 n. 言う事を 「目的語」

“io, ’ イオ pron 私は… 「主語」

ogni volta che オンニ・ヴォルタ・チェ adv. ～する度に 「副詞節」

parlava パルラーヴァ 3 単半・時制の一致(parlare)

v.i(di ～のことを) 話す 「動詞」

di me. ディ・メ adv. 僕について 「間接目的語」

PARTE SECONDA 第2部

僕は非常に驚いた：僕は警官の方へ屈みこんで、理由を尋ねた。

Sono rimasto molto stupito: mi sono chinato verso un gendarme e gli ho chiesto il perché.

「動詞句」「補語」：「動詞句」「副詞句」 e 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Sono rimasto ソノ・リマスト 1 単現・完了形・状態変化(rimanére)

v.i (ある状態に) なった 「動詞句」

molto stupito: モルト・ストゥピト adj. 非常に驚いた 「補語」

mi sono chinato ニ・ソノ・キナート 1 単現・完了形(chinarsi)v.pr 体を屈めた 「動詞句」

verso un gendarme ヴェールゾ・ウン・ジエンタルメ adv. (方向) 警官の方へ 「副詞句」

e エ conj. そして

gli リ pron 彼に 「間接目的語」

ho chiesto オ・キエスト 1 単現・完了形(chiédere)v.t 尋ねた 「動詞句」

il perché. イル・ペルケ n.m 理由を 「直接目的語」

彼は僕に黙っていると云ったが、すぐ後で付け加えた：「弁護士は皆そうする」

Mi ha detto di star zitto e dopo un istante ha aggiunto: “Tutti gli avvocati fanno così.”

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e 「副詞句」「動詞句」：《「主語」「動詞」「副詞」》

Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

di +不定詞 ディ n. ～することを 「直接目的語」

star スター 不定詞・状態(stare)v.i ～でいる 「動詞」

zitto ツィット adj. 黙っている 「補語」

e エ conj. そして

dopo un istante ドーポ・ウン・イスタンテ adv. 少し後で 「副詞句」

ha aggiunto: ア・アジエント 3 単現・完了形(aggiungere)v.t 付け加えた 「動詞句」

“Tutti gli avvocati トゥッティ・リ・アヴヴァティ オカーティ pl(avvocato).n.m 弁護士は皆 「主語」

fanno ファンノ 3 複現(fare)v.t (動作を) する 「動詞」

così.” コシ adv. そのように 「副詞」

そこで僕は、これは僕を更に事件から排除し、僕をゼロに帰し、ある意味では、僕にとって代わることを意味することであると考えた。

Allóra ho pensato che questo significava eliminarmi ancóra un po' di più dalla còsa, ridurmi a zero e in un cèrto sènsò sostituirmi a me.

「副詞」「動詞句」「目的語」, 「目的語」 e 「目的語」

Allóra アッローラ adv. それで 「副詞」

ho pensato オ・ペンサート 1 単現・完了形(pensare)v.t 考えた 「動詞句」

che ケ conj. ～ということ 「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

quésto クェスト	pron	これは	「主語」
significava シグニフィカーヴァ	1 単半(significare)	v.t 意味する	「動詞」
eliminarsi エリミナルミ	不定詞(eliminare+mi)	n. 僕を排除する事であると	「目的語」
ancóra un po' di più dalla còsa,	アンコーラ・ウン・ポ・ディ・ピウ・ダッラ・コーサ		
adv.	更に事件から		「副詞句」
ridurmi リドゥルミ	不定詞(ridurre+mi)	n.(a に) 僕を帰する事である	「目的語」
a zero ア・ゼーロ	adv.	ゼロに	「補語」
e エ	conj.	そして	
in un cèrto sènso イン・ウン・チェルト・センソ	adv.	ある意味では	「副詞句」
sostituirsi ソステイトゥイルシ	不定詞(sostituirsi)	n.(a に) とって変わる事である	「目的語」
a me. ア・メ	adv.	僕に	「副詞句」

しかし、その時には、僕はすでに法廷からかなり離れていた。だが。弁護士は僕には馬鹿げているように思われた。

Ma in quel momento dovevo già essere molto lontano da quella sala d'udienza. Del resto l'avvocato mi è parso ridicolo.

Ma 「副詞句」「動詞句」「補語」	「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞句」「補語」
Ma マ conj. しかし	
in quel momento イン・ケル・メント adv. その時には	「副詞句」
dovevo già essere トゥェーヴォ・ジヤ・エッセル 1 単半・変化・推量(dovére+不定詞 essere)	
v.i 既に～になっていたに違いない	「動詞句」
molto lontano モルト・ロンターノ adj. かなり離れた	「補語」
da quella sala d'udienza. ダ・ケッラ・サラ・トゥディエンサ adv. その法廷から	「副詞句」
Del resto デル・レスト adv. だがしかし	「副詞句」
l'avvocato ラヴヴォカート n.m 弁護士は	「主語」
mi ミ pron 僕には	「間接目的語」
è parso エ・パールソ 3 単現・完了形(parére)v.i ～のように見えた	「動詞句」
ridicolo. リディコーロ adj. 馬鹿げた	「補語」

弁護士はすぐに正当防衛を主張した。次に、僕の魂についても話した。

Ha invocato la legittima difesa molto rapidamente e poi ha parlato anche lui della mia anima.

「動詞句」「目的語」「副詞句」 e 「副詞」「動詞句」「間接目的語」「間接目的語」		
Ha invocato	ア・インヴァート 3 単現・完了形(invocare)v.t	主張した 「動詞句」
la legittima difesa	ラ・レジッティマ・ディフェサ n.f	正当防衛を 「目的語」
molto rapidamente	モルト・ラピダメンテ adv.	大急ぎで 「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

e	エ conj.	そして	
pòi	ポイ adv.	次に	「副詞」
ha parlato	ア・パルラート 3 単現・完了形(parlare)v.i(di	のことを)	「動詞句」
anche	アンケ conj.	〜も	
lui	ルイ pron	彼に	「間接目的語」
délla mia ànima.	デラ・ミア・アーニマ adv.	僕の魂について	「間接目的語」

だが僕には、弁護士は検事よりも劣っているように思われた。「わたくしも」と、彼は言った。「この魂に屈みこんでみました。しかし、検察庁の卓越した代表者である検事殿とは異なり、私はそこに何かを見つけました。開いた本のように読み取れたと言えます」

Ma mi è sembrato che fosse meno bravo del P. M., “Anch’io,” ha detto, “mi sono curvato su quest’ànima, ma a differenza dell’eminente rappresentante délla Pùbblica Accusa, io vi ho trovato qualcòsa, e posso dire di avervi letto còme in un libro apèrto.”

Ma 「間接目的語」「動詞句」「主語」《「主語」》, 「動詞句」, 《「動詞句」「副詞句」》, ma 「副詞句」, 「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」》

Ma	マ conj.	しかし	
mi	ミ pron	僕には	「間接目的語」
è sembrato	エ・セムブラート 3 単現・完了形(sembrare)v.i	〜のように思われた	「動詞句」
che	ケ conj.	〜ということが	「主語」
fosse	フォッセ 接・3 単半・時制の一致・推量(essere)v.i	〜だろう	「動詞」
meno bravo	メノ・ブラヴァォ adj.	劣っている	「補語」
del P. M.	デル・ピー・エンメ adv.	(比較) 検事よりも	「副詞句」
“Anch’io,”	アンキオ adv.	私もまた	「主語」
ha detto,	ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t	言った	「動詞句」
“mi sono curvato	ミ・ソノ・クルヴァート 1 単現・完了形(curvarsi)v.pr	屈んだ	「動詞句」
su quest’ànima,	スクェスターニマ adv.	この魂の上に	「副詞句」
ma	マ conj.	しかし	
a differenza	ア・ディフェレンサ adv.(di〜とは)	異なり	「副詞句」
dell’eminente rappresentante	デル・エミネンテ・ラプレゼンタンテ		
	adv.	卓越した代表者	「目的語」
délla Pùbblica Accusa,	デラ・プブブリカ・アクーザ adj.	検察庁の	「形容詞句」
io	イオ pron	私は	「主語」
vi	ヴィ adv.	そこに	「副詞」
ho trovato	オ・トウヴァート 1 単現・完了形(trovare)v.t	見つけた	「動詞句」
qualcòsa,	クワルコーサ pron	何かを	「目的語」
e	エ conj.	そして	

PARTE SECONDA 第2部

posso dire di avervi letto ホッソ・ディ・テ・イー・レ・テ・イー・アヴ・エルヴ・イー・レット 1 単現・可能

(potére+不定詞 dire+di+不定詞 avervi letto)v.t それを読んだと言える 「動詞句」

cóme in un libro apèrto.” コーメ・イン・ウン・リブ・ロ・アペールト adv. 開いた本のように 「副詞句」

彼はそこから、僕は紳士であり、勤勉で疲れ知らずで勤務する会社に忠実で、皆から愛されて、他人の不幸に思いやりがあると読み取っていた。。

Vi aveva letto che ero un galantuomo, un lavoratore costante, indefesso, fedéle alla ditta dov'ero impiegato, amato da tutti e compassionevole per le miserie altrui.

「副詞」「動詞句」「目的語」

Vi ヴィ adv. そこに 「副詞」

aveva letto アヴ・エ・ヴァ・ア・レット 3 単半・完了形(lèggere)v.t 読み取っていた 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

ero エロ 1 単半・時制の一致(èssere)v.i ～である 「動詞」

un galantuomo, ウン・ガラントゥオーモ n.m 紳士 「補語」

un lavoratore ウン・ラヴァトーレ n.m 労働者 「補語」

costante, コスタンテ adj. 勤勉な 「形容詞」

indefesso, インデフェッソ adj. 疲れ知らずの 「形容詞」

fedéle フェデーレ adj. 忠実な 「形容詞」

alla ditta アラ・ディッタ adv. 会社に 「副詞句」

dov' トーヴ・エ adv. そこで～する 「副詞節」

ero impiegato, エロ・インピエガート 3 単半・受動(impiegare)

v.t 雇われていた 「動詞句」

amato アマト adj. 愛された 「補語」

da tutti タ・トゥッティ adv. (動作主) 皆から 「副詞句」

e エ conj. そして

compassionevole コンパシオネヴォーレ adj. 同情的な、思いやりのある 「補語」

per le miserie altrui. ペル・レ・ミゼーリエアルトゥーイ adv. 他人の不幸に 「副詞句」

弁護士から見れば、僕は可能な限り母親を支え続けてきた模範的な息子であった。

Per lui, ero un figlio modello che aveva sostenuto sua madre fin tanto che gli era stato possibile.

「副詞句」「動詞」「補語」

Per lui, ペル・ルーイ adv. 彼にとって 「副詞句」

ero エロ 1 単半(èssere)v.i ～だった 「動詞」

un figlio modello ウン・フィーリオ・モデロ n.m 模範的な息子 「補語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

PARTE SECONDA 第2部

aveva sostenuto アヴ ェーヴ ァ・ソステント 3 単半・完了形(sostenere)

v.t 支えてきた

「動詞句」

sua madre スーア・マトレ n.f 自分の母親を

「目的語」

fin tanto che フィン・タント・ケ conj. ～する限り

「副詞節」

gli リ pron 彼にとって

「間接目的語」

era stato エラ・スタート 3 単半・完了形・時制の一致(essere)

v.i ～である

「動詞句」

possibile. ポッシービレ adj. 可能な

「補語」

結局、自分の経済力では母親に与えられない快適な生活を養老院が提供すると期待した。

In ultimo avevo sperato che una casa di riposo avrebbe dato alla vecchia signóra le comodità che i miei mezzi non mi permettevano di procurarle.

「副詞句」「動詞句」「目的語」

In ultimo イン・ウルチモ adv. 結局、最後に

「副詞句」

avevo sperato アヴ ェーヴ ァ・スペラート 1 単半・完了形(sperare)v.t 期待した、望んだ

「動詞句」

che ケ conj. ～ということ

「目的語」

una casa di riposo ウナ・カーサ・ディ・リポ ーソ n.f 養老院が

「主語」

avrebbe dato アヴレッベ・ダート 条・3 単現・完了形・推量(dare)

v.t 与えるだろう

「動詞句」

alla vecchia signóra アラ・ヴェッキア・シニョーラ adv. 老婆に

「間接目的語」

le comodità レ・コモディタ pl(comodità).n.f 快適さを

「直接目的語」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

i miei mezzi イ・ミエイ・メッツィ

pl(mèzzo).n.m 僕の経済力が

「主語」

non ...permettevano di procurarle. ノン...ペ ルメッテヴァノ・ディ・プロクラール・レ

3 複半・許可・否定・時制の一致(permettere di+不定詞 procurare+le)

v.t 彼女の世話をすることを許さない

「動詞句」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

「陪審員の皆さん、私は驚いています」と、彼は付け加えた。「この養老院についてこれ程の問題になるとは？結局、この施設の有用性と偉大さの証拠を示さなければならないのなら、それらは他でもなく国から補助を受けていると言えば十分ではないでしょうか？」

“Io mi meraviglio, signori giurati,” ha soggiunto, “che tanto chiasso sia stato fatto a proposito di quest’ospizio. Perché insomma se si dovesse dare una prova dell’utilità e della grandezza di tali istituzioni, non basterebbe dire che esse sono sovvenzionate nientemeno che dallo Stato?”

《「主語」「動詞句」, 「呼びかけ」》, 「動詞句」,

《「目的語」 | 「副詞句」「副詞節」, 「動詞句」「主語」》

“Io イーオ pron 私は 「主語」
 mi meraviglio, ミ・メラヴィリオ 1 単現(meravigliarsi)v.pr 驚いている 「動詞句」
 signori giurati,” シニョーリ・ジユラーティ adv. 陪審員のみなさん 「呼びかけ」
 ha soggiunto, ア・ソジエント 3 単現・完了形(soggiungere)v.t 付け加えた 「動詞句」
 “che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 tanto chiasso タント・キアツ n.m これ程の騒ぎが 「主語」
 sia stato fatto シア・スタート・ファット 接・3 単現・完了形・受動(fare)
 v.t ～にされた 「動詞句」
 a proposito ア・プロポシト adv. 問題に、主題に 「補語」
 di quest’ospizio. デイ・クェストスピツィオ
 adv. (主題) この養老院について 「副詞句」
 Perché insomma ペルケ・インソマ adv. 要するに、結局 「副詞句」
 se セ conj. もし～ならば 「副詞節」
 si dovesse dare シ・ドヴエッセ・ダーレ 接・3 単半・再帰受動(doversi+不定詞 dare)
 v.t 与えられなければならない 「動詞句」
 una prova dell’utilità e della grandezza ウナ・プロヴァ・デルチリタ・エ・デラ・グランドエツァ
 n.f 有用性と偉大さの証拠が 「主語」
 di tali istituzioni, デイ・タリー・イスティツィオーニ adj. このような施設の 「形容詞句」
 non basterebbe ノン・バステレッベ 非人称・条・3 単現・否定・疑問文(bastare)
 v.h(+不定詞 ～することが) 十分ではないか? 「動詞句」
 dire デイーレ 不定詞 n. 言う事は 「主語」
 che ケケ conj. ～ということを 「目的語」
 esse エッセ pron 養老院は 「主語」
 sono sovvenzionate ソーノ・ソヴェンツィオナテ 3 複現・受動(sovvenzionare)
 v.t 補助を受けている 「動詞句」
 nientemeno che dallo Stato?” ニエンテメンテ・ケ・ダッロ・スタート
 adv. 他でもなく国から 「副詞句」

しかし、彼は葬儀について語らなかった、そしてそれが彼の弁論に欠けていると気付いた。

Però non ha parlato dei funerali, e mi sono reso conto che questo mancava nella sua arringa.

Però 「動詞句」「間接目的語」, e 「動詞句」「目的語」

Però ペロ conj. しかし

non ha parlato ノナパルト 3 単現・完了形・否定(parlare)

v.i(di について) 話さなかった

「動詞句」

dei funerali, デイフネーリ adv. 葬儀について

「間接目的語」

e エ conj. そして

mi sono reso conto ミソノレゾ・コント 1 単現・完了形(rendersi conto)v.pr 気付いた「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

questo クェスト pron これが (葬儀の話)

「主語」

mancava マンカーヴァ 3 単半・時制の一致(mancare)v.i 不足している「動詞」

nella sua arringa. ネラ・スア・アリンガ adv. 彼の弁論に

「副詞句」

しかし、僕の魂について語られた長い文章や果てしない日々や時間のために、僕は全てが無色の水のような印象を受けて、僕は眩暈を覚えた。

Ma a causa di tutte quelle lunghe frasi, di tutte quelle giornate e ore interminabili durante le quali si era parlato della mia anima, ho avuto l'impressione che tutto divenisse come un'acqua incolore che mi faceva girare la testa.

Ma 「副詞句」, 「動詞句」「目的語」

Ma マ conj. しかし

a causa ア・カーウザ adv.(di ～の) (原因) ために

「副詞句」

di tutte quelle lunghe frasi, デイ・トゥッティ・フレージ adv. 全ての長い言葉の「副詞句」

di tutte quelle giornate e ore デイ・トゥッティ・クェレ・ジヨルナーテ・エ・オーレ

adv. それらの日々や時間の

「副詞句」

interminabili adj(interminabile).f.pl 果てしない

「形容詞」

durante ドゥランテ prep ～の間

「副詞句」

le quali レ・クワリ pron.f.pl ～する言葉

「目的語」

si era parlato シ・エラ・パルト 3 単半・完了形・受動(parlarsi)

v.pr 語られた

「動詞句」

della mia anima, デラ・ミー・アーニマ

adv. 僕の魂について

「間接目的語」

ho avuto オ・アヴェート 1 単現・完了形(avére)v.t ～を持った

「動詞句」

l'impressione リンプレシオーネ n.f 印象を

「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

che ケ conj. (同格) ~という	「形容詞節」
tutto トゥット pron すべてが	「主語」
divenisse ディウヰェニッセ 接・3 単半(divenire)v.i ~になった	「動詞」
cóme un'acqua コモ・ウ・ナクワ adv. 水のように	「補語」
incolore インコロレ adj. 無色の	「形容詞」
che ケ pron (主語) それが~する	「形容詞節」
mi ミ pron 僕の	「間接目的語」
faceva girare ファチェヴァ・ジラレ 3 単半・使役(fare+不定詞 girare)	
v.t 回らせる	「動詞句」
la testa. ラ・テスタ n.f 頭を	「直接目的語」

最後に、僕の弁護士が話し続けている間中ずっと、通りから全ての部屋と法廷を通り抜けて、アイス
クリーム売りのラッパの音が僕の所まで聞こえてきたことだけは覚えている。

Infine mi ricordo soltanto che dalla strada, attraverso tutte le sale e le aule, mentre il
mio avvocato continuava a parlare, ha risuonato fino a me la trombetta di un venditore
di panna.

	「副詞」「動詞句」「目的語」
Infine インフィーノ adv. 最後に	「副詞」
mi ricordo ミ・リコルト° 1 単現(ricordarsi)v.pr 覚えている	「動詞句」
soltanto che ソルタンテ・ケ conj. ~という事だけを	「目的語」
dalla strada, ダッラ・ストラダ° adv. 通りから	「副詞句」
attraverso アットラヴ・ェールゾ prep ~を横切って、通過して	「副詞句」
tutte le sale e le aule, トゥッテ・レ・サーレ・エ・レ・アーウレ	
pl.n.f 全ての部屋と法廷	「目的語」
mentre メントレ conj. (期間) ~する間	「副詞節」
il mio avvocato イル・ミーオ・アヴヴァ・ォカート n.m 僕の弁護士が	「主語」
continuava a parlare, コンチヌアーヴァ・ア・ア・パルラレ 3 単半・継続・時制の一致	
(continuare a+不定詞)v.i 話し続けている	「動詞句」
ha risuonato ア・リスオナト 3 単現・完了形(risonare)v.i 鳴り渡っていた	「動詞句」
fino フィーノ prep (場所) (a) ~まで	「副詞句」
a me ア・メ adv. 僕の場合	「間接目的語」
la trombetta ラ・トロンベッタ n.f ラッパが	「主語」
di un venditore ディ・ウン・ヴァンデイトレ adj. 売り子の	「形容詞句」
di panna. ディ・パンナ adj. アイスクリームの	「形容詞句」

もう僕のものではない人生の記憶が僕に襲い掛かってきた。しかしそこには、最も貧しく、最も強い喜びがあった：夏の匂い、僕が愛した界限、ある夕日の空、マリーの笑顔と服。

Mi hanno assalito i ricòrdi di una vita che non mi apparteneva più, ma in cui avevo trovato le gioie più povere e più tenaci: odóri d'estate, il quartiere che amavo, un cèrto cièlo di séra, il riso e gli abiti di Maria.

「目的語」「動詞句」「主語」,ma「副詞句」「動詞句」「目的語」

Mi ミ pron 僕を

「目的語」

hanno assalito アンノ・アッサリート 3 複現・完了形(assalire)v.t 襲った

「動詞句」

i ricòrdi イ・リコルディ pl(ricòrdo).n.m 記憶が

「主語」

di una vita ティ・ウナ・ヴァイタ adj. 生活の、人生の

「形容詞句」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

non ...apparteneva ノン...アルテネヴァ 3 単半・否定・時制の一致(appartebére)

v.i(a) ~のものでない

「動詞句」

mi ミ pron 僕にとって

「間接目的語」

più, ピウ adv.(否定文で) もう~ない

「副詞」

ma マ conj. しかし

in cui イン・クイ adv. そこに

「副詞句」

avevo trovato アヴェーヴァ・オ・トロヴァート 1 単現・完了形(trovare)

v.t 見つけた、~があった

「動詞句」

le gioie レ・ジョイエ pl(giòia).n.f 喜び

「目的語」

più povere e più tenaci: ピウ・ポーヴェ・エ・ピウ・テナチ

adj. 最も貧しく、最も強い

「形容詞句」

odóri d'estate, オドーリ・デスターテ pl(odóre).n.m 夏の匂い

「目的語」

il quartiere che amavo, イル・クワルチエレ・ケ・アマヴォ n.m 僕が愛した界限

「目的語」

un cèrto cièlo di séra, ウン・チェルト・チェーロ・ティ・セーラ n.m ある夕日の空

「目的語」

il riso e gli abiti イル・リーゾ・エ・リ・アビチ n.m 笑顔と服

「目的語」

di Maria. ティ・マリア adj. マリーの

「形容詞句」

そして、その場所で僕がしていた全ての無駄な事が僕の喉に込み上げてきた。それで、早く終わらせて自分の独房と眠りを取り戻すためにただ急いだ。

Allóra tutta l'inutilità di ciò che facevo in quel luogo mi è rimontata alla gola e ho avuto una fretta soltanto, di farla finita prèsto e di ritrovare la mia cèlla ed il sónno.

「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e
「動詞句」「目的語」, 「副詞句」

Allóra アッローラ adv. そして 「副詞」
tutta l'inutilità トウッタ・リスリタ n.f 全ての無駄な事が 「主語」
di ciò ディ・チョ adj. そのことの 「形容詞句」
che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
facevo ファチェヴァ 1 単半(fare)v.t していた 「動詞」
in quel luogo イン・ケル・ルオーゴ adv. その場所で 「副詞句」
mi ミ pron 僕の 「間接目的語」
è rimontata エ・リモンタータ 3 単現・完了形(rimontare)v.i 登って来た 「動詞句」
alla gola アラ・ゴーラ adv. 喉に 「間接目的語」
e エ conj. そして
ho avuto オ・アヴート 1 単現・完了形(avére)v.t (動作を) した 「動詞句」
una fretta ウナ・フレッタ n.f 急ぐことを 「目的語」
soltanto, ソルタント adv. ～だけ 「副詞」
di farla finita prèsto ディ・ファール・ラ・フィニータ・プレスト 不定詞・使役・目的(fare+la+finita)
adv. それを早く終わらせるために 「副詞句」
e エ conj. そして
di ritrovare ディ・リトルヴァーレ 不定詞・目的 adv. 取り戻すために 「副詞句」
la mia cèlla ed il sónno. ラ・ミーア・チェッラ・エト・イル・ソノ
n. 自分の独房と眠りを 「目的語」

最後に弁護士が、陪審員は一瞬の混乱によって誠実な労働者を死に追いやることはしないだろう、そして僕が既に背負っている永遠の後悔という最も確実な罪に対して情状酌量を訴える、と言ったのを僕はほとんど聞き取れなかった。

Ho udito appena l'avvocato che gridava per finire che i giurati non potevano mandare alla morte un onesto lavoratore per un istante di smarrimento e invocava le circostanze attenuanti per un delitto di cui mi trascinavo già dietro, come la pena più certa, l'eterno rimorso.

「動詞句」「目的語」 e 「動詞」「目的語」「副詞句」

Ho udito appena オ・ウディート・アッペーナ 1 単現・完了形・否定(udire)

v.t ほとんど聞こえなかった 「動詞句」

l'avvocato ラヴヴァコート n.m 弁護士を (の話を) 「目的語」

che け pron (主語) ~する 「形容詞節」

gridava, グリダーヴァ 3 単半(gridare)v.t 叫んだ 「動詞」

per finire, ペル・フィニレ adv. 最後に 「副詞句」

che け conj. ~ということ 「目的語」

i giurati イ・ジューラティ pl(giurato)n.m 陪審員は 「主語」

non potevano mandare ノン・ポテヴァーノ・マンダレ 3 複半・可能・否定(potére+不定詞 mandare)

v.t 送り出すことは出来ない 「動詞句」

alla morte アラ・モルテ adv. 死に 「補語」

un onesto lavoratore ウン・オネスト・ラヴヴァトトレ

n.m 誠実な労働者を 「目的語」

per ペル prep(原因) ~のために 「副詞句」

un istante di smarrimento ウン・イスタンテ・ディ・スマリメント

n.m 一瞬の混乱 「目的語」

e エ conj. そして

invocava インヴォカーヴァ 3 単半(invocare)v.t 訴えた 「動詞」

le circostanze attenuanti レ・シルコスタンツェ・アテヌアンティ pl(circostanza).n.f 情状酌量を 「目的語」

per un delitto ペル・ウン・ディレット adv. (関連) 罪について 「副詞句」

di cui ディ・クイ adv. (目的語) ~する 「形容詞節」

mi trascinavo ミ・トラシナーヴォ 1 単半(trascinarsi)

v.pr 引きずっていた 「動詞句」

già dietro, ジャ・ディエトロ adv. 既に後ろに 「副詞句」

come コメ conj. (資格) ~として 「副詞句」

la pena più certa, ラ・ペーナ・ピウ・チェルタ

n.f 最も確実な罪 「目的語」

l'eterno rimorso. レテルノ・リモールソ

PARTE SECONDA 第2部

n.m (同格) 永遠の後悔

「目的語」

法廷は審理を中断し、弁護士は精魂尽きてまた着席した。

La Côte ha sospeso l'udienza e l'avvocato si è rimesso a sedere esausto.

「主語」「動詞句」「目的語」 e 「主語」「動詞句」「補語」

La Côte ラ・コルテ n.f 法廷は

「主語」

ha sospeso ア・ソスペーソ 3 単現・完了形(sospendere)v.t 中断した

「動詞句」

受動態に翻訳する

l'udienza ルディエンサ n.f 審理を

「目的語」

e e conj. そして

l'avvocato ラヴヴォカト n.m 弁護士は

「主語」

si è rimesso a sedere シ・エ・リメッソ・ア・セデレ 3 単現・完了形・再開(rimettersi a+不定詞 sedere)

v.pr 再び着席した

「動詞句」

esausto. エザウスト adj. 疲れ果てて

「補語」

しかし同僚たちは彼の周りにやって来て、彼と握手した。

Ma i colleghi gli sono venuti intorno per stringergli la mano.

Ma 「間接目的語」「動詞句」「副詞」, 「副詞句」

Ma マ conj. しかし

i colleghi イ・コレギ pl(collèga).n.m 同僚たちは

「主語」

gli リ pron 彼の

「間接目的語」

sono venuti ソーノ・ヴェヌーティ 3 複現・完了形・移動(venire)v.i やって来た

「動詞句」

intorno イントーノ adv. 周りに

「副詞」

per+不定詞 パル 不定詞・結果 adv. そして～する

「副詞句」

stringergli スリンジエル・リ 不定詞 v.t 彼の～を握り締める

「動詞句」

la mano. ラ・マーノ n.f 手を

「目的語」

同僚たちが彼に「素晴らしかった」と言うのが聞こえた。

Ho sentito che gli dicevano: "Sei stato magnifico."

「動詞句」「目的語」

Ho sentito オ・センチト 1 単現・完了形(sentire)v.t 聞こえた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

dicevano: ディチェヴァノ 3 複半・時制の一致(dire)v.t 言う

「動詞」

"Sei stato セイ・スタート 2 単現・完了形(essere)v.i ～だった

「動詞」

magnifico." マニフィコ adj. すばらしい

「補語」

同僚たちの一人が僕まで証人として迎えた：「そうだろ？」と、彼は僕に言った。僕は同意したが、それは正直な賛辞ではなかった。僕は疲れすぎていたから。

Uno di loro mi ha persino preso a testimònio: “Eh?” mi ha détto. Io ho fatto ségno di sì, ma il mio complimento non era sincero perché ero tròppo stanco.

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞」「動詞句」「補語」:

《確認》「間接目的語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「目的語」,ma
「主語」「動詞句」「補語」「副詞節」

Uno di loro	ウノ・ディ・ローロ	pron	同僚たちの一人が	「主語」
mi	ミ	pron	僕を	「目的語」
ha ...preso	ア...プレ	3 単現・完了形(prèndere)v.t	迎えた	「動詞句」
persino	ペルシーノ	adv.	～さえ	「副詞」
a testimònio:	ア・テスティモニオ	adv.	証人として	「補語」
“Eh?”	エー	int.	(同意を求める) そうだろ?	「確認」
mi	ミ	pron	僕に	「間接目的語」
ha détto.	ア・デット	3 単現・完了形(dire)v.t	言った	「動詞句」
Io	イオ	pron	僕は	「主語」
ho fatto	オ・ファット	1 単現・完了形(fare)v.t	(動作を) した	「動詞句」
ségno di sì,	セーニョ・ディ・シ	n.m	同意の身振りを	「目的語」
ma	マ	conj.	しかし	
il mio complimento	イル・ミオ・コンプリメント	n.m	僕の賛辞は	「主語」
non era	ノン・エラ	3 単半・否定(èssere)v.i	～でなかった	「動詞句」
sincero	シンチェーロ	adj.	正直な	「補語」
perché	ペルク	conj.	～なので	「副詞節」
ero	エロ	1 単半(èssere)v.i	～だった	「動詞」
tròppo stanco.	トロッポ・スタコ	adj.	疲れすぎた	「補語」

しかし、外は日が暮れて、暑さが和らいできた。

Eppure il giorno declinava al di fuòri e il caldo era meno intenso.

Eppure 「主語」「動詞」「副詞句」 e 「主語」「動詞」「補語」

Eppure	エッポーレ	conj.	しかし	
il giorno	イル・ジヨルノ	n.m	日光は	「主語」
declinava	デクлинаヴァ	3 単半(declinare)v.i	傾いた、沈んだ	「動詞」
al di fuòri	アル・ディ・フォーリ	adv.	外では	「副詞句」
e	エ	conj.	そして	
il caldo	イル・カルト	n.m	暑さは	「主語」

PARTE SECONDA 第2部

era エラ 3 単半・変化(essere)v.i. 〜になった 「動詞」
 meno intenso. メノ・インテンソ adj. あまり強くない 「補語」

しかし、遠くの通りの騒音の中に、もう夕暮れ時の穏やかさが感じられた。

Sentivo già, nei lontani rumóri di strada, la dolcezza déll'óra serale.

「動詞」「副詞句」「目的語」

Sentivo センチーヴォ 1 単半(sentire)v.t. 感じた 「動詞」
 già, ジャ adv. もう、すでに 「副詞」
 nei lontani rumóri ネイ・ロンターニ・ルモリー adv. 遠くの物音の中に 「副詞句」
 di strada, デイ・ストラダ adj. 通りの 「形容詞句」
 la dolcezza ラ・ドルチェッサ n.f. 穏やかさを 「目的語」
 déll'óra serale. テーロー・セラーレ adj. 夕暮れ時の 「形容詞句」

僕たちは全員そこで待っていた。そして待っていた物は、実は、僕だけに関わるものだった。

Eravamo lì tutti ad attendere, e quello che attendevamo, in realtà, riguardava soltanto me.

「動詞句」「副詞」「主語」「動詞句」, e 「主語」, 「副詞句」, 「動詞」「副詞句」

Eravamo ...ad attendere, エラヴァーモ...アト・アッテンデレ 1 複半(essere a+不定詞 attendere)
 v.t. 待っていた 「動詞句」
 lì リ adv. そこで 「副詞」
 tutti トゥッティ pron 全員が、皆 「主語」
 e エ conj. そして
 quello ケッロ pron それは 「主語」
 che ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」
 attendevamo, アテンデヴァーモ 1 複半(attendere)v.t. 待っていた 「動詞」
 in realtà, イン・レアルタ adv. 実は、本当は 「副詞句」
 riguardava リグェルヴァーヴァ 3 単半・時制の一致(riguardare)v.t. 関わる 「動詞」
 soltanto me. ソルタント・メ adv. 僕だけに 「副詞句」

僕はもう一度法廷内を観察した。何もかもが最初の日のままだった。

Ho osservato ancóra una vòlta l'aula. Tutto era identico al primo giorno.

「動詞句」「副詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」

Ho osservato オ・オッセルヴァート 1 単現・完了形(osservare)v.t. 観察した 「動詞句」
 ancóra una vòlta アンコーラ・ウナ・ヴォルタ adv. もう一度 「副詞句」
 l'aula. ラーウラ n.f. 法廷を 「目的語」
 Tutto トゥット pron 全てが 「主語」

PARTE SECONDA 第2部

era エラ 3 単半(èssere)v.i. ～だった 「動詞」
 identico イデンチコ adj. 同一の、全く同じの 「補語」
 al primo giorno. アル・プリモ・ジオルノ adv. (比較) 最初の日と比べて 「副詞句」

僕はグレーの上着を着た新聞記者と、小柄な自動人形のような女と視線を交わした。

Ho incontrato lo sguardo del giornalista con la giacca grigia e quello della donnina automatica.

「動詞句」「目的語」 e 「目的語」
 Ho incontrato オ・インコントラート 1 単現・完了形(incontrare)v.t 出会った 「動詞句」
 lo sguardo ロ・スグワールト n.m 視線に 「目的語」
 del giornalista デル・ジオルナリスタ adj. 新聞記者の 「形容詞句」
 con la giacca grigia コン・ラ・ジャッカ・グリージャ
 adv. (付属、服装) グレーの上着を着た 「副詞句」
 e エ conj. そして
 quello ケットロ pron(sguardo の代用) 視線 「目的語」
 della donnina automatica. デッラ・トニーナ・アウトマーティカ
 adj. 小柄な自動人形のような女の 「形容詞句」

このことから、僕は裁判の間一度もマリーを探さなかったことに気が付いた。

Questo mi ha fatto pensare che non avevo mai cercato Maria con lo sguardo durante tutto il processo.

「主語」「目的語」「動詞句」「補語」
 Questo ケスト pron このことは 「主語」
 mi ミ pron 僕に 「目的語」
 ha fatto ア・ファット 3 単現・完了形・使役(fare+不定詞)v.t. ～させた 「動詞句」
 pensare ペンサレ 不定詞・mi の動作 v.t. 考える 「補語」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 non avevo mai cercato ノン・アヴァーウ・オ・マイ・チェルカート 1 単半・完了形・否定
 v.t. 一度も探さなかった 「動詞句」
 Maria マリア n.f マリーを 「目的語」
 con lo sguardo コン・ロ・スグワールト adv. (手段) 視線で 「副詞句」
 durante tutto il processo. ドゥランテ・トゥット・イル・プロチェッソ adv. 裁判の間で 「副詞句」

彼女のことを忘れたからではなく、やるべきことが多すぎたのだ。

Non che l'avessi dimenticata, ma avevo troppo da fare.

「事実の提示」

Non che ノン・ケ conj. ～ということではない

「事実の提示」

l' ラ pron.f 彼女を

「目的語」

avessi dimenticata, アヴェッシ・ディメンチカータ 接・1 単半・完了形.f(dimenticare)

v.t 忘れた

「動詞句」

ma マ conj. そうではなくて

avevo アヴェヴォ 1 単半(avére)v.t ～があった

「動詞」

troppo トロppo pron 多すぎる量が

「目的語」

da fare. ダ・ファーレ 不定詞・目的 adj. やるべき

「形容詞句」

セレステとレーモンの中に彼女が見えた；彼女は「やっとな」と言うように小さく合図をした。そして少し不安そうに微笑む彼女の顔が見えた。

L'ho vista fra Celeste e Raimondo; mi ha fatto un piccolo cenno come per dire: "Finalmente!" e ho visto il suo viso un po' ansioso che sorrideva.

「目的語」「動詞句」「副詞句」；「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」e
「動詞句」「目的語」

L' ラ pron.f 彼女が

「目的語」

ho vista オ・ヴィスタ 1 単現・完了形.f(vedere)v.t 見えた

「動詞句」

fra Celeste e Raimondo; フラ・チェステ・エ・ライメント

adv. (空間) セレステとレーモンの中に

「副詞句」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha fatto ア・ファット 3 単現・完了形(fare)v.t (動作を) した

「動詞句」

un piccolo cenno ウン・ピッコロ・チェンノ n.m 小さい合図を

「直接目的語」

come per dire: コム・ペル・ディレ adv. 言うように

「副詞句」

"Finalmente!" フィナルメンテ adv. やっとな！

「呼びかけ」

e エ conj. そして

ho visto オ・ヴィスト 1 単現・完了形.f(vedere)v.t 見えた

「動詞句」

il suo viso イル・ス・ヴィーゾ n.m 彼女の顔が

「目的語」

un po' ansioso ウン・ポ・アンジオ adv. 少し不安げな

「副詞句」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

sorrideva. ソリデーヴァ 3 単半(sorridere)v.i 微笑む

「動詞」

しかし、何かが僕の心を閉ざして、彼女の微笑みに答える事さえ出来なかった。

Ma avevo qualcòsa che mi chiudeva il cuore e non ho potuto nemmeno rispondere al suo sorriso.

Ma 「動詞」「目的語」 e 「動詞句」「副詞句」

Ma マ conj. しかし

avevo アヴェーヴォ 1 単半(avére)v.t. ～があった 「動詞」

qualcòsa クォルコーサ pron 何かが 「目的語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

mi ミ pron 僕の 「間接目的語」

chiudeva キューデーヴァ 3 単半・時制の一致(chiudere)v.t. 閉ざす 「動詞」

il cuore イル・クオーレ n.m 心を 「直接目的語」

e エ conj. そして

non ho potuto nemmeno rispondere ノ・ノ・ポトート・ネメノ・リスコンટેレ 1 単現・完了形・可能・否定 (potére+不定詞 rispondere)v.t. 答える事さえ出来なかった 「動詞句」

al suo sorriso. アル・スー・ソリーゾ adv. (対象) 彼女の微笑みに 「副詞句」

法廷が再開した。一連の質問が、陪審員に早口で読み上げられた。

La Côte è rientrata. Molto rapidamente è stata letta ai giurati una serie di quesiti.

「主語」「動詞句」 | 「副詞句」「動詞句」「間接目的語」「主語」

La Côte ラ・コールテ n.f 法廷は 「主語」

è rientrata. エ・リエントラタ 3 単現・完了形.f(rientrare)v.i. 再開した 「動詞句」

Molto rapidamente モルト・ラピダメンテ adv. (手段) 非常に早口で 「副詞句」

è stata letta エ・スタータ・レッタ 3 単現・完了形.f・受動(lèggere)v.t. 読み上げられた 「動詞句」

ai giurati アイ・ジューラティ adv. 陪審員に 「間接目的語」

una serie di quesiti. ウナ・セリエ・ディ・クエジターティ n.f 一連の質問が 「主語」

「殺人罪... 挑発...情状酌量...」といった声が聞こえた。陪審員は退席した。僕は最初に待っていた小部屋に連れて行かれた。

Ho sentito “colpevole di assassinio” “provocazione” “circostanze attenuanti” ... I giurati sono usciti e io sono stato condotto nella guardina dove avevo già aspettato la prima volta.

「主語」「動詞句」《「目的語」》 | 「主語」「動詞句」 e 「主語」「動詞句」「間接目的語」

Ho sentito オ・センチート 1 単現・完了形(sentire)v.t. 聞いた、聞こえた 「動詞句」

“colpevole di assassinio” ... コルペーヴォーレ・ディ・アッサシーニオ n. 殺人罪 「目的語」

“provocazione” ... プロヴァカチオーネ n.f 挑発 「目的語」

“circostanze attenuanti”... チルコスタンツェ・アテヌアンテ pl(circostanza).n.f 情状酌量 「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

I giurati	イ・ジュラティ	pl(giurato).n.m	陪審員は	「主語」
sono usciti	ソーノ・ウッシチ	3 複現・完了形.pl(uscire)v.i	退席した	「動詞句」
e	エ	conj.	そして	
io	イオ	pron	僕は	「主語」
sono stato condotto	ソーノ・スタート・コントット	1 単現・完了形・受動(condurre)		
	v.t		連れて行かれた	「動詞句」
nella guardina	ネッラ・グワルティナ	adv.	小部屋に	「間接目的語」
dove	ドーヴェ	adv.	そこで～する	「形容詞節」
avevo già aspettato	アヴェーヴォ・ジョ・アスペッタート	1 単半・完了形(aspettare)		
	v.t		以前に待った	「動詞句」
la prima volta.	ラ・プリマ・ヴォルタ	adv.	最初に	「副詞句」

弁護士が僕と合流した：彼はこれまで以上の信頼と思いやりで僕に気ままに話しかけた。

L'avvocato mi ha raggiunto: mi ha parlato molto volubilmente, con più fiducia e cordialità di quanto l'avesse mai fatto prima.

「主語」「間接目的語」「動詞句」：「間接目的語」「動詞句」「副詞句」

L'avvocato	ラッヴォカート	n.m	弁護士は	「主語」
mi	ミ	pron	僕に	「間接目的語」
ha raggiunto:	ア・ラジエント	3 単現・完了形(raggiungere)v.t	追いついた	「動詞句」
mi	ミ	pron	僕に	「間接目的語」
ha parlato	ア・パルラート	3 単現・完了形(parlare)v.i	話した	「動詞句」
molto volubilmente,	モルト・ヴォルビルメンテ	adv.	思いつくままに	「副詞句」
con più fiducia e cordialità	コン・ピウ・フィトウ・チャーチャ・エ・コルディアリタ			
	adv. (手段)		より信頼と思いやりで	「副詞句」
di quanto l'avesse mai fatto prima.	ディ・クワント・ラヴェッセ・マイ・ファット・プリマ			
	adv. (比較)		これまで以上に	「副詞句」

彼は、全てが上手くいき、数年の禁固が懲役で出られるだろうと考えていた。

Era dell'idea che tutto sarebbe andato bene e che me la sarei cavata con qualche anno di carcere o penitenziario.

「動詞」「補語」

Era	エラ	3 単半(essere)v.i	～だった	「動詞」
dell'idea	デルリア	adj.	考えの	「補語」
che	ケ	conj.	(同格)～という	「形容詞節」
tutto	トゥット	pron	全てが	「主語」
sarebbe andato	サレbbe・アンダート	条・3 単現・完了形・推量(andare)		

PARTE SECONDA 第2部

v.i 進むだろう	「動詞句」
bène ベーネ adv. うまく	「副詞」
e エ conj. そして	
che ケ conj. (同格) ~という	「形容詞節」
me ...sarèi cavata メ...サレイ・カヴァータ 条・1 単現・完了形・推量(cavarsi)	
v.pr 脱出するだろう	「動詞句」
la ラ pron それを	「目的語」
con qualche anno di càrcere o penitenziario. コン・クワルク・アンノ・ディ・カールチェレ・オ・ペニテンツィアリオ	
adv. (付属) 数年の禁固か懲役によって	「副詞句」

禁固と懲役

禁固刑は刑務作業が無く、懲役刑は刑務作業が義務です。

僕は、不利な判決が出た場合には破棄できるかどうかを彼に尋ねた。

Gli ho chiesto se c'erano delle possibilità di cassazione in caso di verdétto sfavorevole.

	「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
Gli リ pron 彼に	「間接目的語」
ho chiesto オ・キェスト 1 単現・完了形(chièdere)v.t 尋ねた	「動詞句」
se セ conj. ~かどうかを	「直接目的語」
c'erano チェーノ 3 複半・存在(esserci)v.i ~がある	「動詞句」
delle possibilità デッレ・ポッシビリティ n.f 可能性が	「主語」
di cassazione ディ・カッサチオーネ adj. 破棄の、上訴の	「形容詞句」
in caso イン・カーゾ adv. ~の場合には	「副詞句」
di verdétto ディ・ヴェルデット adj. 判決の	「形容詞句」
sfavorevole. スファヴォレウオレ adj. 不利な	「形容詞」

彼は出来ないと答えた。彼は陪審員を刺激しないように、結論を話さない戦術を取っていた。

Mi ha rispósto di no. Aveva avuto per tattica di non deporre conclusioni per non irritare i giurati.

	「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」 「動詞句」「副詞句」
Mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha rispósto ア・リスポスト 3 単現・完了形(rispóndere)v.i 答えた	「動詞句」
di no. ディ・ノ adv. いやと、出来ないと	「間接目的語」
Aveva avuto アヴェヴァ・アウート 3 単半・完了形(avére)v.t 持っていた	「動詞句」
per tattica ペル・タッティカ adv. (属性) 戦術として	「副詞句」
di non deporre ディ・ノン・デポッレ 不定詞・目的 adv. 供述しないための	「副詞句」
conclusioni コンクルジオーニ pl(conclusioni).n.f 結論を	「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

per non irritare ペル・ノン・イターレ 不定詞・目的 adv. 刺激しないために 「副詞句」
 i giurati. イ・ジュラティ pl(giurato)n.m 陪審員を 「目的語」

すると、彼は僕に説明した。判決と言うものはやすやすと破棄されるものではない。

E una sentenza, mi ha spiegato, non si può cassare così per nulla.

E 「主語」, 「間接目的語」 「動詞句」, 「動詞句」 「副詞句」

E エ conj. そして

una sentenza, ウナ・センテンツァ n.f 判決は 「主語」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha spiegato, ア・スピエガート 3 単現・完了形(spiegare)v.t 説明した 「動詞句」

non si può cassare ノン・シ・プオ・カサーレ 3 単現・再帰受動・否定(potére+不定詞 cassarsi)

v.pr 破棄されない 「動詞句」

così per nulla. コシ・ペル・ヌッラ adv. まったくもって～ない 「副詞句」

これは僕には論理的に思われたので、彼の言い分を認めざるを得なかった。

Questo mi è parso logico e ho dovuto dargli ragione.

「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「補語」 e 「動詞句」 「目的語」

Questo ケスト pron これは 「主語」

mi ミ pron 僕にとって 「間接目的語」

è parso エ・パルソ 3 単現・完了形(parére)v.i ～のように見えた 「動詞句」

logico ロジコ adj. 論理的な 「補語」

e エ conj. そして

ho dovuto dargli オ・ドヴュート・ダールリ 1 単現・完了形・必然性(dovére+不定詞 dare+gli)

v.t 彼に与えざるを得なかった 「動詞句」

ragione. ラジオーネ n.f 言い分を 「目的語」

dare ragione a qlcu 人の言い分を認める

冷静に考えれば、それは当然である。さもないと、無駄な書類が山のように溜るだろう。

Considerando la cosa freddamente era naturale che fosse così: altrimenti si accumulerebbero troppi inutili incartamenti.

「副詞句」 「動詞」 「補語」 「主語」: 「副詞」 「動詞句」 「主語」

Considerando コンシテラント ジェルンディオ(considerare)adv. (条件) 考えれば 「副詞句」

la cosa ラ・コサ n.f 物事を 「目的語」

freddamente フレダメンテ adv. 冷静に 「副詞」

era エ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」

naturale ナトゥラーレ adj. 当然の 「補語」

PARTE SECONDA 第2部

che ケ conj. ～ということは	「主語」
fosse フォッセ 接・3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である	「動詞」
così コシ adv. このような	「補語」
altrimenti アルトリメンティ adv. さもないと	「副詞」
si accumulerebbero シ・アクムレッベロ 条・3 複現(accumularsi)v.pr たまるだろう	「動詞句」
troppi inutili incartaménti. トロッピ・イヌーチリ・インカルタメンティ pl(incartaménto)	
n.m 山のような無駄な書類が	「主語」

「いずれにしても」と、弁護士は僕に言った。「まだ、上訴という手段があります。しかし、良い結果を確信しています」

“Ad ogni mòdo,” mi ha détto l'avvocato, “c'è sèmpre la domanda di gràzia. Ma sono persuaso che l'esito sarà favorévole.”

《「副詞句」》, 「間接目的語」「動詞句」「主語」,

《「主語」「動詞句」「副詞」「主語」 | Ma 「動詞句」「目的語」》

“Ad ogni mòdo,” アド・オン・モート adv. いずれにしても、とにかく	「副詞句」
mi ミ pron.3 格 僕に	「間接目的語」
ha détto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
l'avvocato, ラヴヴォカト n.m 弁護士は	「主語」
“c'è チェ 3 単現・存在(esserci)v.i ～がある	「動詞句」
sèmpre センプレ adv. いつも、相変わらず	「副詞」
la domanda ラ・ドマندا n.f 要求、請求	「主語」
di gràzia. デイ・グラツィア adj. 恩赦の	「形容詞句」
Ma マ conj. しかし	
sono persuaso ソノ・ペルスアソ 1 単現・完了形(persuadere)v.t 確信している	「動詞句」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
l'esito レジト n.m 結果は	「主語」
sarà サラ 3 単末(essere)v.i ～だろう	「動詞」
favorévole.” ファヴォレーヴォレ adj. 有利な、好都合な	「補語」

僕たちは非常に長い間、恐らく 45 分位待ったと思う。

Abbiamo aspettato mólto a lungo, forse tre quarti d'óra.

「動詞句」「副詞句」「目的語」

Abbiamo aspettato アビアーモ・アスペッタト 1 複現・完了形(aspettare)v.t 待った	「動詞句」
mólto a lungo, モルト・アルongo adv. 非常に長い間	「副詞句」
forse フォルセ adv. おそらく	「副詞」
tre quarti d'óra. トレ・クワルティ・ドーラ pl(quarto).n.m 45 分	「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

最後に、ベルが鳴るのが聞こえた。

Infine si è udito squillare un campanello.

「副詞」「動詞句」「補語」「目的語」

Infine インフィーネ adv. 最後に

「副詞」

si è udito シ・エ・ウディート 3 単現・完了形・知覚動詞・再帰動詞(udirsi)v.pr 聞こえた

「動詞句」

squillare スキジャレ 不定詞・campanello の動作 v.i 鳴る

「補語」

un campanello. ウン・カンパネロ n.m ベルが

「目的語」

弁護士は、「これから陪審長が回答を読み上げますが、あなたは判決の言い渡しの時まで入れません」と言って僕を残していった。

L'avvocato mi ha lasciato dicendo: "Adesso il presidente del giurì leggerà le risposte. Non faranno entrare lei che per la lettura della sentenza."

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞」:

《「副詞」「主語」「動詞」「目的語」 | 「動詞句」「目的語」「副詞句」》

L'avvocato ラッヴォカート n.m 弁護士は

「主語」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

ha lasciato ア・ラッシャート 3 単現・完了形(lasciare)v.t 残した

「動詞句」

dicendo: ディチェント ジェルンディオ(dire)adv. 言いながら

「副詞」

"Adesso アデッソ adv. 今から

「副詞」

il presidente del giurì イル・プレジデンテ・デル・ジューリ n.m 陪審長が

「主語」

leggerà レッジェラ 3 単未(lèggere)v.t 読み上げる

「動詞」

le risposte. レ・リスポステ pl(risposta).n.f 回答を

「目的語」

Non faranno entrare ノン・ファランノ・エントラーレ 3 複未・使役・否定(fare+不定詞 entrare)

v.t 入らせない

「動詞句」

lei レー pron あなたを

「目的語」

che ケ conj. (non...che) ～しか

per la lettura della sentenza." ペル・ラ・レットゥーラ・テラ・センテンツァ adv. 判決の読み上げのため

「副詞句」

いくつものドアがボタンと閉まる音が聞こえた。人々が階段を駆け下りる音が聞こえたが、近いのか、遠いのか分からなかった。それから、法廷内で何かを読み上げるこもった声が聞こえた。

C'è stato uno sbattere di porte. Si sentiva gente correre per scale che non sapevo se fossero vicine o lontane. Poi ho udito una voce sorda che leggeva qualcosa nell'aula.

「動詞句」「主語」 | 「動詞句」「目的語」「補語」 | 「副詞」「動詞句」「目的語」

C'è stato チェ・スタート 3 単現・完了形・存在(èsserci)v.i ~があった 「動詞句」

uno sbattere ウノ・スバッテレ n.m 大きな音、強打 「主語」

di porte. ティポルテ adj. 複数のドアの 「形容詞句」

Si sentiva シ・センチャーヴァ 3 単半・再帰動詞(sentirsi)v.pr 聞こえた 「動詞句」

gente ヘンテ n.f 人々が 「目的語」

correre コーレ 不定詞・gente の動作 v.i 駆ける 「補語」

per scale ペル・スカレ adv. (通過) 階段を通して 「副詞句」

記者たちがニュースを新聞社に連絡するために階段を駆け下りる様子だと考えられる

che ケ pron (目的語) それを~する 「形容詞節」

non sapevo ノン・サペーヴォ 1 単半・否定(sapere)v.t 分からなかった 「動詞句」

se セ conj. ~かどうかを 「目的語」

fossero フォッセル 接・3 複半・時制の一致(essere)v.i ~である 「動詞」

vicine o lontane. ヴィチーノ・オ・ロンターノ adj. 近いのか遠いのか 「補語」

Poi ホーイ adv. それから 「副詞」

ho udito オ・ウディート 1 単現・完了形(ydire)v.t 聞こえた 「動詞句」

una voce sorda ウナ・ヴォーチェ・ソルダ n.f こもった声が 「目的語」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

leggeva レッジェーヴァ 3 単半・時制の一致(leggere)v.t 読み上げる 「動詞」

qualcosa クワルコーサ pron 何かを 「目的語」

nell'aula. ナラーウラ adv. 法廷内で 「副詞句」

ベルが再び鳴り被告人席の扉が開いた時、僕に向かって立ち昇って来たものは法廷の静寂、そして若い記者が視線をそらしたのを見て感じた静寂と奇妙な感覚である。

Quando il campanello ha squillato ancora e la porta della gabbia si è aperta, è il silenzio dell'aula che è salito verso di me, il silenzio e la sensazione strana che ho provato vedendo che il giovane giornalista aveva voltato altrove lo sguardo.

「副詞節」, 「動詞」 「補語」 「主語」, 「補語」

Quando クワンテ conj. ～する時

「副詞節」

il campanello イル・カンペネロ n.m ベルが

「主語」

ha squillato ア・スクイラート 3 単現・完了形(squillare)v.i 鳴った

「動詞句」

ancora アンコーラ adv. 再び

「副詞」

e エ conj. そして

la porta della gabbia ラ・ポルタ・デラ・ガッビア n.f 被告人席の扉が

「主語」

si è aperta, シ・エ・アペルタ 3 単現・完了形(f(aprirsi)v.pr 開いた

「動詞句」

è エ 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

il silenzio dell'aula イル・シレンツィオ・デラウラ n.m 法廷の静寂

「補語」

強調構文 ～したのは... である

che ケ conj. ～ということは

「主語」

è salito エ・サルト 3 単現・完了形(salire)v.i 立ち昇った

「動詞句」

verso di me, ヴェールツ・ディ・メ adv. 僕に向かって

「副詞句」

il silenzio イル・シレンツィオ n.m 静寂

「補語」

e エ conj. そして

la sensazione strana ラ・センサツィオーネ・ストラナ n.f 奇妙な感覚

「補語」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

ho provato オ・フ・ロヴァート 1 単現・完了形(provare)v.t 感じた

「動詞句」

vedendo ヴェデント ジェルンディオ(vedere)adv. (原因) ～を見て

「副詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

il giovane giornalista イル・ジオーヴァネジヨルナリスタ

n.m 若い新聞記者が

「主語」

aveva voltato アヴァ・エヴァ・ア・ヴォルタート 3 単半・完了形(voltare)

v.t 向けた

「動詞句」

altrove アルトロヴェ adv. よそに

「副詞」

lo sguardo. ロ・ズグワルト n.m 視線を

「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

僕はマリーの方を見ていなかった。

Non ho guardato dalla parte di Maria.

「動詞句」「間接目的語」

Non ho guardato ノ・ノ・グ わルダート 1 単現・完了形・否定(guardare)v.i 見ていなかった 「動詞句」
dalla parte ダッラ・パルテ adv. (方向) 場所の方を 「間接目的語」
di Maria. ディ・マリア adj. マリーの 「形容詞句」

僕はそのための時間が無かった。なぜなら、裁判長が僕に奇妙な言葉づかいで、僕の首はフランス国民の名において公共の広場で切断されると言ったからだ。

Non ne ho avuto il tempo perché il presidente mi ha detto in una forma strana che mi sarebbe stata tagliata la testa in una pubblica piazza in nome del popolo francese.

「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞節」

Non ... ho avuto ノ...オ・アヴァート 1 単現・完了形・否定(avere)v.t 〜が無かった 「動詞句」
ne ネ adv. それをするための 「副詞句」
il tempo イル・テンポ n.m 時間が 「目的語」
perché ベルケ conj. 〜なので 「副詞節」
il presidente イル・プレジデンテ n.m 裁判長が 「主語」
mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
in una forma strana イン・ウナ・フォルマ・ストラナ adv. (手段) 奇妙な言葉づかいで 「副詞句」
che ケ conj. 〜ということを 「直接目的語」
mi ミ pron 僕の 「間接目的語」
sarebbe stata tagliata サレバベ・スタータ・タリアータ 条・3 単現・完了形・推量(tagliare)
v.t 切断されるだろう 「動詞句」
la testa ラ・テスタ n.f 僕の首は 「主語」
in una pubblica piazza イン・ウナ・プブリーカ・ピアッツァ
adv. (場所) 公共の広場で 「副詞句」
in nome イン・ノメ adv. 名前において 「副詞句」
del popolo francese. デル・ポポーロ・フランチェーゼ
adj. フランス国民の 「形容詞句」

その時、法廷内全員の顔から読み取れた感情に気が付いたと思う。それはまさに敬意だったと思う。

Mi è parso allora di riconoscere il sentimento che leggevo su tutti i volti: credo proprio che fosse del rispetto.

「間接目的語」「動詞句」「副詞」「主語」:「動詞」「目的語」

Mi ミ pron 僕には 「間接目的語」

è parso エ・パルソ 3 単現・完了形(parére)v.i ~のように思われた 「動詞句」

allóra アッローラ adv. その時 「副詞」

di riconoscere ティ・リコノッシェ 不定詞 n. ~を認識していることは 「主語」

il sentimento イル・センチメント n.m 感情を 「目的語」

che ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

leggevo レッジェウヴォ 1 単半・時制の一致(lèggere)v.t 読み取る 「動詞」

su tutti i volti: ス・トゥッティ・イ・ヴォルティ

adv. 法廷内全員の顔に浮かぶ 「副詞句」

credo クレト 1 単現(crédere)v.t 思う 「動詞」

proprio プロ・プロリオ adv. まさに 「副詞」

che ケ conj. ~ということ を 「目的語」

fósse フォッセ 接・3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」

del rispetto. デル・リスぺット n.m 敬意 「補語」

警官たちはとても優しく僕を見つめていた。

I gendarmi mi guardavano con molta dolcezza.

「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

I gendarmi イ・ジエンダルミ pl(gendarme).n.m 警官たちは 「主語」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

guardavano グワルダヴァノ 3 複半(guardare)v.t 見つめた 「動詞」

con molta dolcezza. コン・モルタ・ドルチェッサ adv. とても優しく 「副詞句」

弁護士は僕の手首に手を置いた。僕はもう何も考えられなかった。

L'avvocato ha posato la mano sul mio polso. Io non pensavo più a nulla.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

L'avvocato ラッヴォカート n.m 弁護士は 「主語」

ha posato ア・ポザート 3 単現・完了形(posare)v.t 置いた 「動詞句」

la mano ラ・マーノ n.f 手を 「目的語」

sul mio polso. スル・ミオ・ポールソ adv. 僕の手首に 「副詞句」

Io イオ pron 僕は 「主語」

non pensavo ノン・ペンサーヴォ 1 単半・否定(pensare)v.t 考えられなかった 「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

più a nulla. ヒ・ウ・ア・ヌッラ pron もう何も～ない

「目的語」

しかし、裁判長は何か付け加える事はあるかと僕に尋ねた。

Ma il presidente mi ha chiesto se avevo qualcosa da aggiungere.

Ma 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Ma マ conj. しかし

il presidente イル・プレジデンテ n.m 裁判長は

「主語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha chiesto ア・キエスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた

「動詞句」

se セ conj. ～かどうかを

「直接目的語」

avevo アヴェーヴォ 1 単半・時制の一致(avere)v.t ～がある

「動詞」

qualcosa クワルコーサ pron 何か

「目的語」

da aggiungere. ダ・アジエンジエ 不定詞・目的 adj. 付け加えるべき 「形容詞句」

僕はよく考えて、言った：「ありません」そこで、僕は法廷から連れ出された。

Ho riflettuto. Ho detto: “No.” È allora che mi hanno portato via.

「動詞句」 | 「動詞句」：《「応答」》「動詞」「補語」「主語」

Ho riflettuto. オリフレットゥート 1 単現・完了形(riflettere)v.i 良く考えた

「動詞句」

Riflettere 他動詞として、反射する意味では過去分詞は riflesso が使われる

自動詞として、熟考するの意味では過去分詞は riflettuto が使われる

Ho detto: オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

“No.” ノ adv. (否定) ありません

「応答」

È エ 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

allora アッローラ adv. それで、その時

「補語」

che ケ conj. ～ということは

「主語」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

hanno portato via. アン・ポルトート・ヴィア 3 複現・完了形(portare via)v.t 連れ去った

「動詞句」

強調構文 僕を連れ出したのはその時だった。その時、僕は連れ出された。

5.

これまでに、僕は司祭の訪問を3度断ってきた。

Ho rifiutato per la terza volta di ricevere il prete.

「動詞句」「副詞句」「目的語」

Ho rifiutato ...di ricevere オ・リフィウタート...ディ・リチェーヴァレ 1 単現・完了形(rifiutare di+不定詞 ricevere)

v.t 受け入れるのを断った

「動詞句」

per la terza volta ヘル・ラ・テルセラ・ヴァールタ adv. (属性) 3 度目として

「副詞句」

il prete. イル・プレテ n.m 司祭を

「目的語」

彼に言うことはないし、話したくもない、いずれにしても近いうちに彼に会うことになるだろう。

Non ho niente da dirgli, non ho voglia di parlare, e dovrò comunque vederlo presto.

「動詞句」「目的語」, 「動詞句」「目的語」, e 「動詞句」「副詞」「動詞句」

Non ho ノ・ノ 1 単現・否定(avére)v.t ~がない

「動詞句」

niente ニエンテ pron 何も~ない

「目的語」

da dirgli, ダ・ディール・リ 不定詞・目的 adj. 彼に言うべき

「形容詞句」

non ho ノ・ノ 1 単現・否定(avére)v.t ~がない

「動詞句」

vòglia ヴォーリア n.f 願望

「目的語」

di parlare, ディ・パルラーレ 不定詞・目的 adj. 話すための

「形容詞句」

e エ conj. そして

dovrò ...vederlo presto. ドヴローロ...ヴェデーロ・ロ・プレスト 1 単未・推量(dovére+不定詞 vedere+lo)

v.t すぐに彼に会うことになるだろう

「動詞句」

comunque コムンクェ adv. いずれにしても

「副詞」

今、僕に興味があるのは、メカニズムを免れること、つまり、不可避はメカニズムにも逃げ道が存在するかどうかを知る事だけだ。

Quel che mi interessa in questo momento è soltanto di sfuggire alla meccanica, di sapere se l'inevitabile può avere una via d'uscita.

「主語」「動詞」「副詞」「補語」, 「補語」

Quel ケル pron それは

「主語」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

mi ミ pron 僕に

「目的語」

interessa インテレッサ 3 単現(interessare)v.t ~の興味を引く

「動詞」

in questo momento イン・クェスト・モメント adv. 今、現在

「副詞句」

è エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

soltanto ソルタント adv. ~だけ

「副詞」

PARTE SECONDA 第2部

di sfuggire	ディ・スフジッレ 不定詞 n.(a) を) 逃れること、免れる	「補語」
alla meccanica,	アラ・メカニカ adv. メカニズムを	「間接目的語」
di sapere	ディ・サペレ 不定詞 n. 知る事	「補語」
se	セ conj. 〜かどうかを	「目的語」
l'inevitabile	リネヴィタビレ n.m 不可避な物は	「主語」
può avere	プオ・アヴェレ 3 単現・可能性・存在(potére+不定詞 avere)	
v.t	〜があるだろうか	「動詞句」
una via d'uscita.	ウナ・ヴィア・ト・ウッシタ n.f 逃げ道	「目的語」

僕は独房を変更された。そして横になると、この独房から空が見える。しかも空だけが見える。

Mi hanno cambiato di cella e da questa, quando sono disteso, vedo il cielo e il cielo soltanto.

	「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e 「副詞句」, 「動詞」「目的語」 e 「目的語」	
Mi	ミ pron 僕の	「間接目的語」
hanno cambiato	アンノ・カンビアート 3 複現・完了形(cambiare)v.t 変更した	「動詞句」
di cella	ディ・チェラ n.f 独房を	「直接目的語」
e	エ conj. そして	
da questa,	ダ・ケスタ adv. この独房から	「副詞句」
quando	クワント conj. 〜すると	「副詞句」
sono	ソーノ 1 単現・状態(essere)v.i 〜である	「動詞」
disteso,	ディステソ adj. 横たわった	「補語」
vedo	ヴェト 1 単現(vedere)v.t 見える	「動詞」
il cielo	イル・チェロ n.m 空が	「目的語」
e	エ conj. そして	
il cielo soltanto.	イル・チェロ・ソルタント n.m 空だけが	「目的語」

僕は空の顔の中に、昼を夜へ導く色の陰りを眺めて日々を過ごしている。

Passo le mie giornate a guardare nel suo volto il degradare di colori che conduce il giorno alla notte...

	「動詞」「目的語」「副詞句」	
Passo	パッソ 1 単現(passare)v.t (時間を) 過ごす	「動詞」
le mie giornate	レ・ミー・ジョルナーテ pl(giornata).n.f 日々を	「目的語」
a guardare	ア・グワルダレ 不定詞・手段 adv. 眺めて	「副詞句」
nel suo volto	ネル・スオ・ヴォルト adv. 空の顔の中に	「副詞句」
il degradare di colori	イル・デグラダレ・ディ・コロリ n.m 色の劣化を	「目的語」
che	ケ pron (主語) 〜する	「形容詞節」
conduce	コントウチェ 3 単現(condurre)v.t 導く	「動詞」

PARTE SECONDA 第2部

il giorno イル・ジョルノ n.m 昼を 「直接目的語」
 alla notte. アッラ・ノッテ adv. 夜へ 「間接目的語」

横になり、両手を首の後ろに置いて、待つ。

Sdraiato, mi passo le mani dietro la nuca e attendo.

「副詞」, 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」 「副詞句」 e 「動詞」

Sdraiato, スドライアト 過去分詞・様態(sdraiare)adv. 横になって 「副詞」
 mi ミ pron 僕の 「間接目的語」
 passo パッソ 1 単現(passare)v.t 入れる、通す 「動詞」
 le mani レ・マーニ pl(mano)n.f 両手を 「直接目的語」
 dietro デ・イエトロ prep 〜の後ろに 「副詞句」
 la nuca ラ・ヌカ n.f 首 「目的語」
 e エ conj. そして
 attendo. アテント 1 単現(attendere)v.t 待つ 「動詞」

厳しいメカニズムを逃れ、死刑執行前に姿を消し、警察の非常線を突破した、死刑宣告を受けた人の
 例があるかどうかを何回自問したか分からない。

Non so quante volte mi sono chiesto se esistono esempi di condannati a morte che siano sfuggiti
 al meccanismo implacabile, siano scomparsi prima dell'esecuzione, abbiano rotto i cordoni di
 agenti.

「動詞句」 「目的語」

Non so ノン・ソ 1 単現・否定(sapere)v.t 分からない 「動詞句」
 quante volte クワンテ・ヴォルテ pl(volta) 何回〜するか 「目的語」
 mi ミ pron 自分に 「間接目的語」
 sono chiesto ソー・キスト 1 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた 「動詞句」
 se セ conj. 〜かどうかを 「直接目的語」
 esistono エジスト 3 複現・存在(esistere)v.i ある 「動詞」
 esempi di condannati a morte エゼンピ・デ・イ・コンダナティ・ア・モルテ
 pl(esempio)n.m 死刑宣告を受けた人の例が 「主語」
 che ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」
 siano sfuggiti シアーノ・スフジティ 接・3 複現・完了形.pl(sfuggire)
 v.i(a を) 逃れた 「動詞句」
 al meccanismo implacabile, アル・メカニズモ・インプラカビレ
 adv. 厳しいメカニズムを 「間接目的語」
 siano scomparsi シアーノ・スコンパルシ 接・3 単現・完了形.pl(scomparire)
 v.i 姿を消した 「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

prima dell'esecuzione, プリーマ・デレクチオーネ

adv. 死刑執行前に 「副詞句」

abbiamo rotto アビアーノ・ロット 接・3 複現・完了形(rompere)

v.t 破った、突破した 「動詞句」

i cordóni di agenti. イ・コルトーニ・ディ・アジエンティ

pl(cordone).n.m 警察の非常線を 「目的語」

そして、死刑の話に対して十分な関心を持たないでいたことを後悔した。

E allora mi rimproveravo di non aver mai fatto abbastanza attenzione ai racconti di condanne a morte.

E 「副詞」 「動詞句」 「副詞句」

E ɛ conj. そして

allora アッローラ adv. それで 「副詞」

mi rimproveravo ミ・リンプロヴァーヴォ 1 単半(rimproverarsi)v.pr 自分を責めた、後悔した 「動詞句」

di +不定詞・完了形 ティ adv. (理由) ~したことに 「副詞句」

non aver mai fatto ノン・アヴァー・マイ・ファット 不定詞・完了形・否定(fare)

v.t ~してこなかった 「動詞句」

abbastanza attenzione アッバスタツァ・アッテンツィオーネ n.f 十分な注意を 「目的語」

ai racconti アイ・ラツコンティ adv. 話に対して 「副詞句」

di condanne a morte. ティ・コンダネ・ア・モルテ adj. 死刑判決の 「形容詞句」

こういうことには、いつでも関心を持つべきだ；何が起るかなんて誰にも分からないのだから。

Bisognerebbe sempre interessarsi di queste cose; non si sa mai quello che può succedere.

「動詞」 「副詞」 「主語」；「動詞句」 「目的語」

Bisognerebbe ビゾニエレッベ 非人称・条・3 単現(bisognare)n.h 必要だろう 「動詞」

sempre センプレ adv. 常に 「副詞」

interessarsi インテレッサル 不定詞 n.(di ~に) 関心を持つことは 「主語」

di queste cose; ティ・クェスト・コセ n.f こういうことに 「目的語」

non si sa mai ノン・シ・サ・マイ 3 単現・否定(sapere)v.t 誰にも分からない 「動詞句」

quello クェッロ pron それを 「目的語」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

può succedere. プォ・スツェーデレ 3 単現・可能性(potere+不定詞 succedere)

v.i 起こるかもしれない 「動詞句」

僕も、皆と同じに、その話を新聞で読んでいた。

Anch'io, còme tutti, avevo lètto dei raccontì sui giornali.

「主語」「副詞句」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Anch'io, アンキオ pron 僕も

「主語」

còme tutti, コーメ・トゥッティ adv. 皆と同様に

「副詞句」

avevo lètto アヴェウヴォ・レット 1 単半・完了形(lèggere)v.t 読んでいた

「動詞句」

dei raccontì デイ・ラッコンティ-p(raccònto).n.m 話しを

「目的語」

sui giornali. スイ・ジョルナーリ adv. 新聞で

「副詞句」

しかし、僕が調べる好奇心を全く持たなかった特別な本も確かにあった；その中に、恐らく、脱走の話をみつけることが出来ただろう。

Ma cèrto esistevano libri speciali che non ho mai avuto la curiosità di consultare; in essi, forse, avrèi trovato dei raccontì di evasióne.

Ma 「副詞」「動詞」「主語」；「副詞句」「動詞句」「目的語」

Ma マ conj. しかし

cèrto チェルト adv. 確かに、確実に

「副詞」

esistevano エジステヴァノ 3 複半(esistere)v.i 存在した

「動詞」

libri speciali リブリ・スペチヤーリ pl(libro).n.m 特別な本が

「主語」

che ケ pron (間接目的語) ～する

「形容詞節」

non ho mai avuto ノ・ノ・マイ・アヴァート 1 単現・完了形・否定(avére)

v.t 決して持たなかった

「動詞句」

la curiosità ラ・クリオシタ n.f 好奇心を

「直接目的語」

di consultare; デイ・コンスルターレ 不定詞・目的 adv. 調べるための

「副詞句」

in essi, イン・エッシ adv. それらの中に

「副詞句」

forse, フォールセ adv. おそらく

「副詞」

avrèi trovato アヴレイ・トロヴァート 条・1 単現・完了形(trovare)v.t 見つけていただろう

「動詞句」

dei raccontì デイ・ラッコンティ pl(raccònto).n.m 話を

「目的語」

di evasióne. デイ・エヴァジオーネ adj. 脱走の

「形容詞句」

PARTE SECONDA 第2部

もしかすると、少なくともある時は車輪が止まって、その逆らう事の出来ない突進の中で、一度だけ、チャンスと幸運が何かを変えた事を、知っていたかもしれない。

Avrèi magari saputo che almeno in un caso la ruota si era fermata, che in quel precipitare irresistibile una sóla vòlta il caso e la fortuna avevano cambiato qualcosa.

「動詞句」「目的語」, 「目的語」

Avrèi magari saputo アヴレイ・マガリー・サプート 条・1 単現・完了形(sapére)

v.t もしかすると知っていたかもしれない 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

almeno アルメーモ adv. 少なくとも 「副詞」

in un caso イン・ウン・カーゾ adv. ある場合に 「副詞句」

la ruota ラ・ルオータ n.f 車輪が 「主語」

si era fermata, シ・エラ・フェルマータ 3 単半・完了形(f(fermarsi)v.pr 止まった 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

in quel precipitare irresistibile, イン・ケル・プレチビターレ・イレシスチービレ

adv. その逆らう事の出来ない突進の中で 「副詞句」

una sóla vòlta, ウナ・ソラ・ヴォールタ n.f 一度だけ 「副詞句」

il caso イル・カーゾ n.m チャンスが 「主語」

e エ conj. そして

la fortuna ラ・フォルトゥーナ n.f 幸運が 「主語」

avevano cambiato アヴェヴァン・カンビエート 3 複半・完了形(cambiare)v.t 変えた 「動詞句」

qualcosa. クワルコーサ pron 何かを 「目的語」

一度だけ！（見つけることが出来たら）結局のところ、僕としてはそれで充分だろうと思う。その他のことは僕の心が作り出しただろう。

Una vòlta! In fòndo credo che quèsto mi sarèbbe bastato: il mio cuore avrebbe fatto il rèsto...

「感嘆」 | 「副詞句」「動詞」「目的語」

Una vòlta! ウナ・ヴォールタ n.f (強調) 一度だけ！ 「感嘆」

In fòndo イン・フォント adv. 結局は 「副詞句」

credo クレド 1 単現(crédere)v.t と思う 「動詞」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

quèsto ケスト pron これは 「主語」

mi ミ pron 僕には 「間接目的語」

sarèbbe サレッベ 条・3 単現(essere)v.i ～だろう 「動詞」

bastato: バスタート 過去分詞(bastare)adj. 十分な 「補語」

il mio cuore イル・ミーオ・クオーレ n.m 僕の心が 「主語」

avrebbe fatto アヴレッベ・ファット 条・3 単現・完了形(fare)v.t 作っただろう 「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

il resto. イル・レスト n.m 残りを

「目的語」

新聞ではよく、「社会に対する負債」について報じられ、それは支払われるべきであると述べている。

I giornali parlano spesso di un “débito dovuto alla società” che, secondo loro, bisognerebbe pagare.

「主語」「動詞」「副詞」「間接目的語」

I giornali イ・ジォルナーリ pl(giornale).n.m 新聞は

「主語」

parlano パールナ 3 複現(parlare)v.i(刊行物で) 述べている

「動詞」

spesso スペッソ adv. よく、しばしば

「副詞」

di un “débito ディ・ウン・デービト adv. 負債について

「間接目的語」

dovuto ドヴァート 過去分詞・受動(dovére)adj. されなければならない

「形容詞」

alla società アッ・ソチェタ adv. 社会に

「副詞句」

che, ケ conj. 事実の提示

secondo loro, セコント・ローロ adv.新聞によれば

「副詞句」

bisognerebbe ビズネッベ 非人称・条・3 単現・推量(bisognare)

v.h. ～必要があるだろう

「動詞」

pagare. パカーレ 不定詞(pagare)

n. 支払うことは

「主語」

しかし、この主張は想像力に何も響かない。

Ma questo non dice nulla alla fantasia.

Ma 「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」

Ma マ conj. しかし

questo ケスト pron この主張は

「主語」

non dice ノン・ディチェ 3 単現・否定(dire)v.t 語らない

「動詞句」

nulla ヌッラ pron 何も～ない

「直接目的語」

alla fantasia. アッ・ファンタジーア adv. 想像力に

「間接目的語」

当時、僕にとって大切だったのは、逃亡の可能性、厳しい儀式からの跳躍、希望の全ての可能性をもたらしかもしれない狂気の疾走だった。

Quello che contava allora per me era una possibilità di evasione, un salto fuori dal rito implacabile, una folla corsa che offrisse tutte le possibilità della speranza.

「主語」「動詞」「補語」

Quello ケッロ pron それは

「主語」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

contava コンターヴァ 3 単半(contare)v.i 大切だった

「動詞」

allora アッローラ adv. 当時

「副詞」

per me ペル・メ adv. 僕にとって

「副詞句」

era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

una possibilità di evasione, ウナ・ポッシビリティ・エヴァシオネ n.f 逃亡の可能性

「補語」

un salto ウン・サルト n.m 跳躍

「補語」

fuori dal フォーリ・ダル prep ~から外への

「副詞句」

rito implacabile, リト・インプラカビレ n.m 厳しい儀式

「目的語」

una folla corsa ウナ・フォル・コルサ n.f 狂気の疾走

「補語」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

offrisse オフリッセ 接・3 単半・可能性(offrire)v.t もたらしかもしれない

「動詞」

tutte le possibilità トゥットレ・ポッシビリティ n.f 全ての可能性を

「目的語」

della speranza. デッラ・スペランサ adj. 希望の

「形容詞句」

もちろんこの希望とは、疾走中に街角で銃弾の一撃によって殺されることだった。

Naturalmente questa speranza era di essere freddati all'angolo di una strada, in piena corsa, d'un colpo di rivoltella.

「副詞」「主語」「動詞」「補語」

Naturalmente ナチュラルメンテ adv. もちろん

「副詞」

questa speranza ケスタ・スペランツァ n.f この希望は

「主語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

di essere freddati デイ・エッセレ・フレッダーティ 不定詞・受動形(freddare)v.t 殺されること

「補語」

all'angolo di una strada, アランゴロ・デイ・ウナ・ストラダ adv. 街角で

「副詞句」

in piena corsa, イン・ピエナ・コルサ adv. 疾走中に

「副詞句」

d'un colpo di rivoltella. ダン・コルポ・デイ・リボルテッラ adv. 拳銃の一撃によって

「副詞句」

しかしよく考えると、僕にこんな贅沢を許すものは何もなく、全てがそれを禁じて、メカニズムが僕を連れ戻す。

Ma, tutto ben considerato, nulla mi autorizzava questo lusso, tutto me lo vietava, la meccanica mi riprendeva.

Ma, 「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」,
「主語」 「間接目的語」 「直接目的語」 「動詞」, 「主語」 「目的語」 「動詞」

Ma, マ conj. しかし

tutto ben considerato, トゥット・ベン・コンシデラート 過去分詞(considerare)

adv. 良く考えると、すべてが良く考えられた 「副詞句」

nulla ヌッラ pron 何も～ない 「主語」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

autorizzava アウトリザヴァ 3 単半・時制の一致(autorizzare)v.t 許さない 「動詞」

questo lusso, ケスト・ルッソ n.m この贅沢を 「直接目的語」

tutto トゥット pron 全てが 「主語」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

lo ロ pron(speranza の代用) それを 「直接目的語」

vietava, ヴィエターヴァ 3 単半・時制の一致(vietare)v.t 禁じている 「動詞」

la meccanica ラ・メッカニカ n.f メカニズムが 「主語」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

riprendeva. リプレデーヴァ 3 単半・時制の一致(riprendere)v.t 連れ戻す 「動詞」

何があろうと、この無礼な確実性を受け入れることは出来ない。

Malgrado la mia buona volontà, non potevo accettare questa certezza insolente.

「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」

Malgrado マルグラト° prep ～にもかかわらず 「副詞句」

la mia buona volontà, ラ・ミア・ブオナ・ヴォンタ n.f 私の善意 「目的語」

tutta la buona volontà どんなに頑張っても

non potevo accettare ノン・ポテヴァ・オ・アッチェッターレ 1 単半・可能・否定(potére+不定詞 accettare)

v.t 受け入れられない 「動詞句」

questa certezza ケスタ・チェルテッサ n.f この確実性を 「目的語」

insolente. インソレンテ adj. 横柄な 「形容詞」

なぜなら、要するに、それを作り出した判決とその判決が宣告された瞬間からの揺るぎない展開の間にはばかげた不均衡があったからだ。

Perché insomma c'era una sproporzione ridicola fra il verdetto che l'aveva creata e il suo svolgersi imperturbabile a partire dal momento in cui quel verdetto era stato pronunciato.

Perché 「副詞」 「動詞句」 「主語」 「副詞句」

Perché ペルケ conj. なぜなら

insomma インソマ adv. 要するに 「副詞」

c'era チェーラ 3 単半・存在(èsserci)v.i あった 「動詞句」

una sproporzione ridicola ウナ・スボ^ルポ^ルツィオーネ・リディコーラ n.f ばかげた不均衡が 「主語」

fra フラ prep. ～の間に 「副詞句」

il verdetto イル・ヴェルテット n.m 判決 「目的語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

l' ロ pron それを 「目的語」

aveva creata アヴェ^ア・ヴェ^ア・クレアート 3 単半・完了形(creare)

v.t 作り出した 「動詞句」

e エ conj. そして

il suo svolgersi imperturbabile イル・スーオ・スヴウ^{オルジ}・エルシ^{・イン}・ペ^{ルト}ウルバ^{ビレ}
n.m その揺るぎない展開 「目的語」

a partire dal momento ア^{・パ}ルティエ^レ・ダ^ル・モメント adv. その瞬間から 「副詞句」

in cui イン^{・ケー} adv. そこで～する 「形容詞節」

quel verdetto ケル^{・ヴェ}ルテット n.m その判決が 「主語」

era stato pronunciato. エラ^{・スタート}・プロ^ンシアート 3 単半・完了形・受動(pronunciare)

v.t 宣告された 「動詞句」

判決が 17 時ではなく 20 時に読み上げられたという事実、全く違う判決の可能性があったという事実、下着を取り換えるような不貞の輩によって採決されたという事実、フランス国民（あるいはドイツ国民や中国人）のようにまったく曖昧な概念に責任を委ねたと言う事実、僕にはこれら全てがそのような判決の真剣さを大きく損なっていると思われる。

Il fatto che la sentenza fosse stata letta alle ore venti piuttosto che alle ore diciassette, il fatto che avrebbe potuto essere completamente diversa, che era stata deliberata da uomini che cambiano di biancheria, che era stata messa a carico di una nozione così imprecisa come il popolo francese (o tedesco, o cinese), tutto questo mi pareva proprio che diminuise di molto la serietà di una simile decisione.

「主語」, 「主語」, 「主語」, 「主語」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「補語」

Il fatto イル・ファット n.m 事実 「主語」

che ケ conj. (同格) ~という 「形容詞節」

la sentenza ラ・センテンツァ n.f 判決が 「主語」

fosse stata letta フォッセ・スター・レッタ 接・3 単半・完了形・受動(lèggere)

v.t 読み上げられた 「動詞句」

alle ore venti アレ・オーレ・ヴェンティ adv. 20 時に 「副詞句」

piuttosto che ピュットー・スト・ケ adv. (比較) ~ではなく、~よりも 「副詞句」

alle ore diciassette, アレ・オーレ・ディ・チャッセッテ adv. 17 時に 「副詞句」

Il fatto イル・ファット n.m 事実 「主語」

che ケ conj. (同格) ~という 「形容詞節」

avrebbe potuto essere アヴレッベ・ポ・トウート・エッセレ 条・3 単現・完了形・可能性(potére+不定詞 essere)

v.i ~である可能性があった 「動詞句」

completamente diversa, コンプレタメンテ・ディヴェルサ adj(diverso).f まったく違う 「補語」

che ケ conj. (同格) ~という 「形容詞節」

era stata deliberata エラ・スター・デリバレータ 3 単半・完了形・受動.f(deliberare)

v.t 決定された 「動詞句」

da uomini ダ・ウーミニ adv. (動作主) 人間によって 「副詞句」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

cambiano カンビアーノ 3 複現(cambiare)

v.i(di を) 取り替える 「動詞」

di biancheria, ディ・ビアンケリア n.f 下着を 「間接目的語」

che ケ conj. (同格) ~という 「形容詞節」

era stata messa エラ・スター・メッサ 3 単半・完了形・受動.f(mettere)

v.t 置かれた 「動詞句」

a carico ア・カリーコ adv. 責任に 「間接目的語」

di una nozione ディ・ウナ・ノツィオーネ adj. 概念の 「形容詞句」

PARTE SECONDA 第2部

così imprecisa	コシ・インプレチサ [°]	adj.	非常に曖昧な「形容詞句」
cóme il pòpolo francese	コメ・イル・ポ [°] ・ポ [°] ・ロ・フランチェセ [°]		
adv.	フランス国民のように		「副詞句」
(o tedesco, o cinese),	オ・テデスコ・オ・チネセ [°]		
adv.	(またはドイツ国民や中国人)		「副詞句」
tutto quèsto	トゥット・クエスト	pron	これら全ては「主語」
mi	ミ	pron	僕には「間接目的語」
pareva	パレヴァ [°]	3 単半(parere)v.i	〜のように思われた「動詞」
pròprio	プロフプリオ	n.m	特有性、原因「補語」
che	ケ	pron(主語)	〜する「形容詞節」
diminuisse	ディミヌッセ	接・3 単半(diminuire)v.t	減らす「動詞」
di molto	ディモルト	adv.	大いに「副詞句」
la serietà	ラセリエタ	n.f	真剣さを「目的語」
di una sìmile decisione.	ディ・ウナ・シーミレ・デチジオーネ		
adj.	そのような判決の		「形容詞句」

しかし、判決が下された瞬間から、その効力は僕が体を預けていたあの壁の存在と同様に確実に深刻なものになったことは認めざるを得ない。

Eppure ero costretto a riconoscere che, dal secóndo in cui era stata presa, i suoi effetti diventavano altrettanto sicuri, altrettanto sèri che la presènza di quel muro cóntro cui schiacciavo il mio còrpo.

Eppure 「動詞句」「目的語」

Eppure	エップレ	conj.	しかし
ero costretto a riconoscere	エロ・コストレット・ア・リコノッシェ	1 単半・受動・強制	
(costringere a+不定詞 riconoscere)v.t			認めざるを得なかった「動詞句」
che,	ケ	conj.	〜ということを「目的語」
dal secóndo	タル・セコント [°]	adv.	(起点) その瞬間から「副詞句」
in cui	イン・クイ	adv.	そこで〜する「副詞句」
era stata presa,	エラ・スタータ・プレサ	3 単半・完了形・受動.f(prèndere)	
v.t	判決が下された		「動詞句」
i suoi effetti	イスオイ・エッフエッティ	pl(effetto).n.m	その効力は「主語」
diventavano	ディヴァンターヴァノ	3 複半・変化(diventare)v.i	〜になった「動詞」
altrettanto sicuri,	アルトレッタント・シクリ	adj(sicuro).pl	同様に確実な「補語」
altrettanto sèri	アルトレッタント・セリ	adj(sèri).pl	同様に深刻な「補語」
che la presènza	ケ・ラ・プレゼンツァ	adv.(比較)	存在と「副詞句」
di quel muro	ディ・クエル・ムロ	adj.	その壁の「形容詞句」
cóntro cui	コントロ・クイ	adv.	それに対して〜する「副詞節」

PARTE SECONDA 第2部

schiacciavo スキアッチャーヴォ 1 単半(schicciare)

v.t 押し付けていた 「動詞」

il mio còrpo. イル・ミー・コルポ n.m 自分の体を 「目的語」

その時、母さんが僕に父親についてよく話してくれた話を思い出した。僕は父親のことを全く知らなかった。

In quei momenti mi sono ricordato di una stòria che la mamma mi raccontava a proposito di mio padre. Io non avevo mai conosciuto mio padre.

「副詞句」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

In quei momenti イン・ケイ・モメンティ adv. その時 「副詞句」

mi sono ricordato ミ・ソノ・リコルダート 1 単現・完了形(ricordarsi)v.pr(di) 思い出した 「動詞句」

di una stòria ティ・ウナ・ストーリア n.f 話を 「目的語」

che ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

la mamma ラ・マンマ n.f 母さんが 「主語」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

raccontava ラッコンターヴァ 3 単半・習慣(raccontare)v.t 話してくれた 「動詞」

a proposito di mio padre. ア・プロポシト・ティ・ミー・パトレ

adv. 父親について 「副詞句」

Io イオ pron 僕は 「主語」

non avevo mai conosciuto ノン・アヴェーヴォ・マイー・コノッシュート 1 単半・完了形・否定(conoscere)

v.t 全く知らなかった 「動詞句」

mio padre. ミー・パトレ n.m 父のことを 「目的語」

この男について知っていた唯一正確な事は、恐らく当時母さんが僕に話してくれたことだけだった：ある日、彼は、殺人犯の処刑を見に行った。

L'única còsa precisa che sapevo di quest'uòmo è forse ciò che mi raccontava allóra la mamma: era andato un giòrno a vedére l'esecuzióne di un assassino.

「主語」「動詞」「補語」：「動詞句」「副詞句」「動詞句」「目的語」

L'única còsa precisa ルーニカ・コーサ・プレチーザ n.f 唯一正確な事は 「主語」

che ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

sapevo サペーヴォ 1 単半(sapere)v.t 知っていた 「動詞」

di quest'uòmo ティ・クェストウオーモ adv. この男に関して 「副詞句」

è エ conj. (essere)v.i ~である 「動詞」

forse フォルセ adv. 多分、おそらく 「副詞」

ciò チョ pron そのこと 「補語」

che ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

PARTE SECONDA 第2部

mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
raccontava ラッコンターヴァ 3 単半(raccontare)v.t 話してくれた	「動詞」
allóra アッローラ adv. 当時	「副詞」
la mamma ラ・マンマ n.f 母さんが	「主語」
era andato ...a vedére エラ・アンダート...ア・ヴァ・エデーレ 3 単半・完了形(andare a+不定詞 vedére)	
v.t 見に行った	「動詞句」
un giorno ウン・ジ・ョルノ adv. ある日	「副詞句」
l'esecuziône di un assassino. レベ・クチオーネ・ディ・ウン・アッサシーノ n.f 殺人犯の処刑を	「目的語」

彼は、そこへ行くと考えただけでも気分が悪くなったが、それでもそこへ行った。そして、家に戻るとしばらく吐いていた。

Era stato male sólo al pensiero di andarci, ma c'era andato ugualmente e, al ritórno, aveva vomitato a lungo.

	「動詞句」「補語」,ma「動詞句」「副詞」e,「副詞句」「動詞句」「副詞句」
Era stato エラ・スタート 3 単半・完了形・変化(essere)v.i ~になった	「動詞句」
male マレ adj. 気分が悪く	「補語」
sólo al pensiero ソーロ・アル・ペ・ンシエロ adv. (方法) 考えだけで	「副詞句」
di andarci, ディ・アンダーチ 不定詞・同格 adj. そこへ行くという	「形容詞句」
ma マ conj. しかし	
c'era andato チェラ・アンダート 3 単半・完了形(andarci)v.i そこへ行った	「動詞句」
ugualmente ウガアルメンテ adv. それにもかかわらず	「副詞」
e, エ conj. そして	
al ritórno, アル・リトルノ adv. (時) 帰宅すると	「副詞句」
aveva vomitato アヴァ・エヴァ・ヴァ・ヴォミタート 3 単半・完了形(vomitare)v.i 吐いていた	「動詞句」
a lungo. ア・ルンゴ adv. 長い間、しばらく	「副詞句」

当時、僕は父親に不快感を抱いていた。今では、それは全く当たり前のだと理解できる。

A quel tèmpe mio padre mi faceva un po' schifo. Adesso comprendevo, era una còsa così naturale.

	「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 「副詞」「動詞」,「動詞」「補語」
A quel tèmpe ア・ケル・テンポ adv. 当時	「副詞句」
mio padre ミオ・パトレ n.m 僕の父親は	「主語」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
faceva ファチェヴァ 3 単半(fare)v.t 作り出した	「動詞」
un po' schifo. ウン・ポ・スキホ n.m 少し不快感を	「直接目的語」
Adesso アデッソ adv. 今では	「副詞」
comprendevo, コンプレンデーヴォ 1 単半・時制の一致(comprendere)v.t 理解している	「動詞」

PARTE SECONDA 第2部

era エラ 3 単半・時制の一致(èssere)v.i. ～である 「動詞」
 una còsa ウナ・コサ n.f 物事 「補語」
 così naturale. コシ・ナトゥーレ adj. 非常に当たり前の 「形容詞句」

どうして僕は死刑執行よりも重要なものはないと理解できなかったのだろう。そして、ある視点から
 すると、それが人間にとって唯一本当に興味深いことであることさえ理解できなかったのだろう。

Cóme facevo a non comprendere che nulla è più importante di un'esecuzione capitale e che, da un
 certo punto di vista, è addirittura l'unica cosa che sia veramente interessante per un uomo!

「副詞」「動詞句」「目的語」 e 「目的語」

Cóme コーメ adv. どうして 「副詞」
 facevo a non comprendere ファチェーヴォ・ア・ノン・コンブレンデレ 1 単半・否定(fare a+不定詞 comprendere)
 v.t 理解できなかった 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 nulla ヌッラ pron 何も～ない 「主語」
 è エ 3 単現(èssere)v.i. ～である 「動詞」
 più importante ピウ・インポルタンテ adj. より重要な 「補語」
 di un'esecuzione capitale ティ・ウン・エゼクチオーネ・カピターレ
 adv. (比較) 死刑執行よりも 「副詞句」
 e エ conj. そして
 che, ケ conj. ～ということを 「目的語」
 da ダ prep (起点) ～から 「副詞句」
 un certo punto di vista, ウン・チェルト・フント・ティ・ウイスタ n.m ある視点 「目的語」
 è エ 3 単現(èssere)v.i. ～である 「動詞」
 addirittura アディリトゥーラ adv. さえ 「副詞」
 l'unica còsa ルニカ・コサ n.f 唯一のこと 「補語」
 che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 sia シア 接・3 単現(èssere)v.i. ～である 「動詞」
 veramente interessante ヴェラメンテ・インテリサンテ adj. 本当に興味深い 「補語」
 per un uomo! ペル・ウン・ウオーモ adv. 人間にとって 「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

もしまたま、あの刑務所から出れたら、と僕は考えた。僕は全ての死刑執行を見に行っただろう。

Se fossi per un caso uscito da quella prigione, pensavo, sarei andato ad assistere a tutte le esecuzioni capitali.

「副詞節」, 「動詞」, 「動詞句」 「間接目的語」

Se セ conj. もし～ならば

「副詞節」

fossi per un caso uscito フォッシ・ペル・ウン・カーゾ・ウシト 接・1 単半・完了形・假定(uscire+ per un caso)

v.i たまたま出たならば

「動詞句」

da quella prigione, ダ・クェッラ・プリジオーネ adv. あの刑務所から

「副詞句」

pensavo, ペンサーヴォ 1 単半(pensare)v.i 考えた

「動詞」

sarei andato ad assistere サレイ・アンダー・アト・アシステレ 条・1 単現・完了形・しに行く

(andare a+不定詞 assistere)v.i 見学しにいったらう

「動詞句」

a tutte le esecuzioni capitali. ア・トゥッテ・レ・エグチウーニ・カピタルレ

pl(esecuzione).n.f 全ての死刑執行を

「間接目的語」

この可能性について考えたのは良くなかった、と僕は思った。

Facevo male, credo, a pensare a questa possibilità.

「動詞句」, 「動詞」, 「主語」

Facevo male, ファチェヴォ・マール 1 単半・否定(fare)v.t (動作) 良くなかった、失敗した

「動詞句」

credo, クレト 1 単現(crédere)v.t 思う

「動詞」

a pensare ア・ペンサーレ 不定詞 n. 考えることは

「主語」

a questa possibilità. ア・クェスタ・ポッシビリティ adv. この可能性について

「間接目的語」

なぜなら、夜明けに非常線の後ろで自由な身の自分を想像すると、つまり、自分は見に来て、後で嘔吐することが出来る見物人であると考え、僕の胸に毒を含んだ喜びが湧き上がってきたからだ。

Perché all'idea di trovarmi libero all'alba diètro a un cordone di agenti, "dall'altra parte" insomma, all'idea di essere lo spettatore che viene a vedère e potrà vomitare dopo, mi montava al cuore un'onda di gioia avvelenata.

「副詞節」, 「間接目的語」 「動詞」 「間接目的語」 「主語」

Perché ペルケ conj. なぜなら、～なので

「副詞節」

all'idea アリデア adv. (対象) 考えに対して

「副詞句」

di +不定詞 adj. (同格) ～するという

「形容詞句」

trovarmi トロヴァール・ミ 不定詞 v.t 自分が～の状態だと思う

「動詞句」

libero リーベロ adj. 自由な

「補語」

all'alba アラルバ adv. 夜明けに

「副詞句」

diètro a ディエトロ・ア adv. (場所) ～の後ろで

「副詞句」

un cordone di agenti, ウン・コルトーネ・ディ・アジエンティ

PARTE SECONDA 第2部

n.m 非常線	「目的語」
“dall'altra parte” ダラルトラ・パルテ adv. だがしかし	「副詞句」
insomma, インソマ adv. 要するに	「副詞」
all'idea アリデア adv. (対象) 考えに対して	「副詞句」
di +不定詞 adj. (同格) ～するという	「形容詞句」
essere エッセレ 不定詞 v.i. ～である	「動詞」
lo spettatore ロ・スペッターレ n.m 見物人	「補語」
che ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
viene a vedére ヴィエネ・ア・ヴェデーレ 3 単現・しに来た(venire a+不定詞 vedére)	
v.i 見に来た	「動詞句」
e エ conj. そして	
potrà vomitare ポトラ・ヴォミターレ 3 単未・可能(potére+不定詞 vomitare)	
v.i 嘔吐できる	「動詞句」
dopo, トーポ adv. 後で	「副詞」
mi ミ pron 僕の	「間接目的語」
montava モンタハ 3 単半(montare)v.i 上がってきた	「動詞」
al cuore アル・クオーレ adv. 胸に	「間接目的語」
un'onda ウン・オンダ n.f 波が	「主語」
di gioia ティ・ジョイ adj. 喜びの	「形容詞句」
avvelenata. アウヴェレナタ adj(avvelenato).f 毒を含んだ	「形容詞」

しかし、そうすることは合理的ではなかった。

Ma non era ragionevole fare così.

Ma 「動詞句」「補語」「主語」

Ma マ conj. しかし

non era ノン・エラ 3 単半・否定(essere)v.i. ～でなかった 「動詞句」

ragionevole ラジヨネーヴォレ adj. 合理的な 「補語」

fare così. ファーレコシ 不定詞 n. そうすることは 「主語」

PARTE SECONDA 第2部

そして、この推測に夢中になることは間違いだった。というのは、次の瞬間、酷い寒気を感じて、毛布にくるまらなければならなかったからだ。

E facevo male ad abbandonarmi a queste supposizioni perché un istante dopo avevo così terribilmente freddo che dovevo rannicchiarmi sotto la coperta.

E 「動詞句」「主語」「副詞節」

E ㇿ conj. そして

facevo male ファチェーヴ^ㇼォ・マル 1 単半・否定(fare)v.t (動作) 良くなかった、失敗した 「動詞句」

ad abbandonarmi アド^ㇼ・アバント^ㇼナル^ㇼミ 不定詞(abbandonarsi)n. 夢中になることは 「主語」

a queste supposizioni ア^ㇼ・クェスト^ㇼ・スポジチオーニ adv. この推測に 「間接目的語」

perché ペルケ conj. 〜だから 「副詞節」

un istante dopo ウン^ㇼ・イスタンテ^ㇼ・ドーポ adv. 次の瞬間に 「副詞句」

avevo アヴェーヴォ^ㇼ 1 単半(avére)v.t 〜をもった 「動詞」

così terribilmente freddo コシ^ㇼ・テリビ^ㇼリメンテ^ㇼ・フレット^ㇼ n.m ひどい寒気を 「目的語」

che ケ pron (結果) そして〜する 「形容詞節」

dovevo rannicchiarmi ドヴエーヴォ^ㇼ・ラニッチアル^ㇼ・ミ 1 単半・義務(dovére+不定詞 rannicchiarsi)

v.pr うずくまらざるを得なかった 「動詞句」

sotto la coperta. ソット^ㇼ・ラ^ㇼ・コペール^ㇼ adv. 毛布の下に 「副詞句」

歯がガチガチと噛み合って、止められなかった。

Battevo i denti senza potermi frenare.

「動詞」「目的語」「副詞句」

Battevo バッテーヴォ^ㇼ 1 単半(battere)v.t ぶつけた 「動詞」

i denti イ^ㇼ・デンティ^ㇼ pl(dente)n.m 歯を 「目的語」

senza +不定詞 センツァ adv. 〜せずに 「副詞句」

potermi frenare. ポ^ㇼ・テル^ㇼ・ミ^ㇼ・フレナー^ㇼ 不定詞・可能(potérsi+不定詞 frenare)

v.pr 自分で抑えることが出来る 「動詞句」

しかし、いつでも理性的でいられる訳ではない。

Ma naturalmente non si può sempre essere ragionevoli.

Ma 「副詞」「動詞句」「補語」

Ma マ conj. しかし

naturalmente ナトゥラルメンテ adv. もちろん 「副詞」

non si può sempre essere ノン^ㇼ・シ^ㇼ・プ^ㇼ・ォ^ㇼ・センプレ^ㇼ・エッセル 3 単現・可能・否定(potérsi+不定詞 essere)

v.i いつも〜でいられる訳ではない 「動詞句」

ragionevoli. ラジ^ㇼ・ヨネーヴォ^ㇼ・リ adj. 理性的な 「補語」

PARTE SECONDA 第2部

例えば、別の時には法案を作った。刑罰を改革した。

Altre volte, ad esempio, fabbricavo dei progetti di legge. Riformavo le pene.

「副詞句」, 「動詞」 「目的語」 | 「動詞」 「目的語」

Altre volte, アルトレ・ヴォルテ pl(volta).n.f 別の時には 「副詞句」

ad esempio, アド・エセンプィオ adv. 例えば 「副詞句」

fabbricavo ファブブリカーヴォ 1 単半(fabbricare)v.t 作った 「動詞」

dei progetti di legge. デイ・プロジエッティ・デイ・レッジエ pl(progetto).n.m 法案を 「目的語」

Riformavo リフォルマーヴォ 1 単半(riformare)v.t 改革した 「動詞」

le pene. レ・ペーナ pl(pena).n.f 刑罰を 「目的語」

本質的な事は、死刑囚に救われるためのチャンスを与える事だと気付いた。

Avevo osservato che l'essenziale è di dare al condannato una possibilità di salvarsi.

「動詞句」 「目的語」

Avevo osservato アヴェーヴォ・オッセルヴァート 1 単半・完了形(osservare)v.t 気付いた 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

l'essenziale レッセンチアルー n.m 本質的な事は 「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

di dare デイ・ダーレ 不定詞 n. 与える事 「補語」

al condannato アル・コンダナート adv. 死刑囚に 「間接目的語」

una possibilità ウナ・ポッシビリティ n.f チャンスを 「直接目的語」

di salvarsi. デイ・サルヴァルシ ティシ・目的 adj. 救われるための 「形容詞句」

1000 分の一の確率でも十分だった。

Anche una sóla su mille bastava.

「主語」 「動詞」

Anche アンケ conj. ～でさえも

una sóla うな・ソーラ pron 唯一が 「主語」

su mille ス・ミレ adv. 1000 に対して 「副詞句」

bastava. バスタヴァ 3 単半(bastare)v.i 十分だった 「動詞」

PARTE SECONDA 第2部

そんな訳で、投与されたら、10 回に 9 回は患者（患者を想定した）の命を奪うような化学物質の組み合わせが発明出来るだろうと考えた。ここで、患者はあらかじめ知らされていることが条件だ。

E così trovavo che si potesse inventare una combinazione chimica la quale, somministrata, uccidesse il paziente (pensavo: il paziente) nove volte su dieci. Lui avrebbe dovuto saperlo: sarebbe stato il patto.

「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞句」: 「動詞句」「補語」

E エ conj. そして

così コシ conj. だから、そんなわけで

trovavo トロヴァーヴォ 1 単半(trovare)v.t 気付いた、発見した

「動詞」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

si potesse inventare シ・ポッテッセ・インヴェンターレ 接・3 単半・完了形・再帰受動・可能性

(potére+不定詞 inventarsi)v.pr 発明されうる

「動詞句」

una combinazione chimica ウナ・コンビナツィオーネ・キミカ n.f 化学物質の組み合わせが

「主語」

la quale, ラ・クワレ pron ～するような

「形容詞句」

somministrata, ソンミストラータ 過去分詞・受動・仮定(somministrare)

adv. 投与されたら

「副詞」

uccidesse ウチデッセ 接・3 単半・推量(uccidere)v.t 命を奪うだろう

「動詞」

il paziente イル・パツィエンテ n.m 患者を

「目的語」

(pensavo: il paziente) ヘンサーヴォ・イル・パツィエンテ 1 単半(pensare+ il paziente)

v.t (患者を想定した)

「副詞句」

nove volte su dieci. ノーヴェ・ヴォルテ・ス・デーイェチ

pl(volta).n.f 10 回に 9 回

「副詞句」

Lui ルーイ pron 患者は

「主語」

avrebbe dovuto saperlo: アヴレッベ・ドヴュート・サペール 条・3 単現・完了形・必要

(dovére+不定詞 saperlo)v.t 知っているべきだった

「動詞句」

sarebbe stato サレッベ・スタート 条・3 単現・完了形・必要(essere)v.i ～であるべきだった

「動詞句」

il patto. イル・パット n.m 条件

「補語」

なぜなら、よく考え、物事を冷静に検討すると、ギロチンの欠点は逃れるための可能性がまったく何もない事に気が付いたからだ。

Perché, riflettendo bene, considerando le cose con calma, constatavo che il difetto della ghigliottina è che non esiste nessuna possibilità di salvarsi, assolutamente nessuna.

「副詞節」, 「動詞」「目的語」

Perché, ペルケ conj. なぜなら

「副詞節」

riflettendo bene, リフレント・ベーネ ジェルンディオ(riflettere)

adv. (条件) よく考えると

「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

considerando コンシデラント ジェルンディオ(considerare)

adv. (条件) よく検討すると

「副詞句」

le cose レ・コセ pl(cosa).n.f 物事を

「目的語」

con calma, コン・カルマ adv. 冷静に

「副詞句」

constatavo コンスタヴァ 1 単半(constatare)v.t 気付いた

「動詞」

che ケ conj. 〜ということ

「目的語」

il difetto イル・ディフェット n.m 欠点は

「主語」

della ghigliottina デラ・ギロチナ adj. ギロチンの

「形容詞句」

è エ 3 単現(essere)v.i 〜である

「動詞」

che ケ conj. 〜ということ

「補語」

non esiste ノン・エジステ 3 単現・否定(esistere)v.i 存在しない

「動詞句」

nessuna possibilità ネスーナ・ポッシビリティ n.f どんな可能性も

「主語」

di salvarsi, ディ・サルヴァルシ 不定詞・目的 adj. 逃れるための

「形容詞句」

assolutamente nessuna. アッソルタメンテ・ネスーナ adj. まったく何も無い

「補語」

要するに、患者の死は、一度で確実に決定されるのだ。

La morte del paziente, insomma, è decisa una volta per tutte.

「主語」「副詞」「動詞句」「副詞句」

La morte ラ・モルテ n.f 死は

「主語」

del paziente, デル・パツィエンツァ adj. 患者の

「形容詞句」

insomma, インソマ adv. 要するに、早い話が

「副詞」

è decisa エ・デチーザ 3 単現・受動(f(decidere)v.t 決定される

「動詞句」

una volta ウナ・ヴォルタ adv. 一度で

「副詞句」

per tutte. ペル・トゥッテ adv. 結局

「副詞句」

生き残ることはない

これは処理済みの1件であり、決定された事件であり、再審される事のない最終的な合意である。

È una faccenda sistemata, un affare fatto, un accordo definitivo che non si può più rimettere in discussione.

「動詞」「補語」, 「補語」, 「補語」

È エ 3 単現(essere)v.i 〜である

「動詞」

una faccenda ウナ・ファチェンダ n.f 問題、事柄

「補語」

sistemata, システマ 過去分詞・受動(sistemare)adj.f 処理された

「形容詞」

un affare ウン・アッファレ n.m 事件

「補語」

fatto, ファット 過去分詞・受動(fare)adj. 実行された

「形容詞」

un accordo ウン・アッコルト n.m 合意

「補語」

PARTE SECONDA 第2部

definitivo デフイニティーヴァ <i>adj.</i> , 最終的な	「形容詞」
che ケ <i>pron</i> (主語) ～する	「形容詞節」
non si può più rimettere ノン・シ・プォ・ピウ・リメッテレ 3 単現・可能・否定(<i>potére</i> +不定詞 <i>rimettersi</i>)	
v.pr もう戻らない	「動詞句」
in discussione イン・デ・イスクッショネ <i>adv.</i> 審議に	「副詞句」

もし異常事態で装置が動作しなかった場合には、最初からやり直されるのだ。

Se per un caso straordinario la macchina fallisse il colpo, si ricomincia da capo.

Se セ <i>conj.</i> もし～ならば	「副詞節」, 「動詞句」 「副詞句」
per ヘル <i>prep</i> (原因) ～のために	「副詞句」
un caso ウン・カーゾ <i>n.m</i> 場合	「目的語」
straordinario ストラオルデ・イナリオ <i>adj.</i> 異常な	「形容詞」
la macchina ラ・マッキナ <i>n.f</i> 装置が、システムが	「主語」
fallisse ファリスセ 接・3 単半(<i>fallire</i>) <i>v.i</i> 失敗した	「動詞」
il colpo, イル・コルポ <i>n.m</i> 一撃を	「目的語」
si ricomincia シ・リコミンチャ 3 単現・再帰受動(<i>ricominciarsi</i>) <i>v.pr</i> 始められる	「動詞句」
da capo. ダ・カーポ <i>adv.</i> 最初から	「副詞句」

だから、最も不愉快な事実は、死刑囚自身が装置が適切に動作することを望まなければならない事だ。

E così il fatto più antipatico è che il condannato deve desiderare egli stesso il buon funzionamento della macchina.

E エ <i>conj.</i> そして	E 「副詞」 「主語」 「動詞」 「補語」
così コシ <i>adv.</i> だから、こんなわけで	「副詞」
il fatto イル・ファット <i>n.m</i> 事実は	「主語」
più antipatico ピウ・アンチパチコ <i>adj.</i> 最も不愉快な	「形容詞句」
è エ 3 単現(<i>essere</i>) <i>v.i</i> ～である	「動詞」
che ケ <i>conj.</i> ～ということ	「補語」
il condannato イル・コンダンナート <i>n.m</i> 死刑囚は	「主語」
deve desiderare デウ・エ・デシテラレ 3 単現・必要(<i>dovere</i> +不定詞 <i>desiderare</i>)	
v.t 望まなければならない	「動詞句」
egli stesso エリ・ステッソ <i>pron</i> 自分自身が	「主語」
il buon funzionamento イル・ブォン・フンツィオナメント <i>n.m</i> 良好な動作を	「目的語」
della macchina. デラ・マッキナ <i>adj.</i> 装置の	「形容詞句」

PARTE SECONDA 第2部

僕はそれが欠点だと言いたい。そして、それはある視点からは正しい。

Io dico che è questo, il lato difettoso. Ed è véro, da un cèrto punto di vista.

「主語」「動詞」「目的語」 | Ed 「動詞」「補語」

Io イオ pron 僕は 「主語」
 dico ディコ 1 単現(dire)v.t 言う 「動詞」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」
 questo, クェスト pron これが 「主語」
 il lato difettoso. イル・ラト・ディフェットーソ n.m 欠陥の側面、欠点 「補語」
 Ed エト conj. そして
 è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」
 véro, ヴェロ adj. 正しい 「補語」
 da ダ prep (起点) ～から 「副詞句」
 un cèrto punto di vista. ウン・チェルト・フント・ディ・ヴィスタ n.m ある視点 「目的語」

しかし一方では、良いシステムの秘密がまさにそこにある事は認めなければならなかった。つまり、死刑囚は道徳的に協力しなければならないのだ。

Ma d'altra parte dovevo riconoscere che il segreto di una buona organizzazione sta precisamente lì. Il condannato, insómma, è obbligato a collaborarvi moralmente.

Ma 「副詞句」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「副詞」「動詞句」「副詞」

Ma マ conj. しかし
 d'altra parte ダルトラ・パルテ adv. 一方では 「副詞句」
 dovevo riconoscere ドヴェウエヴォ・リコノッシェ 1 単半・必要(dovére+不定詞 riconoscere)
 v.t 認識しなければならなかった 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 il segreto イル・セグレート n.m 秘密は 「主語」
 di una buona organizzazione ディ・ウナ・ブエナ・オルガニザチオーネ
 adj. 良いシステムの 「形容詞句」
 sta スタ 3 単現・存在(stare)v.i ある 「動詞」
 precisamente プレチサメンテ adv. まさしく、まさに 「副詞」
 lì. リ adv. そこに 「副詞」
 Il condannato, イル・コンダナート n.m 死刑囚は 「主語」
 insómma, インソマ adv. 要するに、つまり 「副詞」
 è obbligato a collaborarvi エ・オブリーガート・ア・コラボラル・ヴィ 3 単現・受動・強制
 (obbligare a+不定詞 collaborare+vi)v.t 協力を強制される 「動詞句」
 moralmente. モラルメンテ adv. 道徳的に 「副詞」

全てが支障なく動作することが彼にとって利益なのだ。

È nel suo interesse che tutto funzioni senza intoppi.

「動詞」「副詞句」「主語」

È エ 3 単現・存在(essere)v.i ~にある

「動詞」

nel suo interesse ネル・スオ・インテレスェ adv. 彼の利益に

「副詞句」

che ケ conj. ~ということは

「主語」

tutto トット pron すべてが

「主語」

funzioni フンツィオニ 接・3 単現(funzionare)v.i 正常に動作する

「動詞」

senza intoppi. センツァ・イントーピ adv. 支障なく

「副詞句」

またその瞬間まで、これらの事に関して正しくない考えを持っていたことを認めなければならない。

Ero anche obbligato a riconosce che fino a quel momento avevo avuto di queste cose delle idee che non erano giuste.

「動詞句」「副詞」「動詞句」「目的語」

Ero ...obbligato a riconosce エロ...オブリガート・ア・リコノッシェ 1 単半・受動・強制

(obbligare a+不定詞 riconosce)v.t 認識することを強制された

「動詞句」

anche アンケ adv. もまた

「副詞」

che ケ conj. ~ということを

「目的語」

fino a quel momento フィーノ・ア・ケル・モメント adv. その瞬間まで

「副詞句」

avevo avuto アヴエーヴォ・アヴァート 1 単半・完了形(avere)v.t 持っていた

「動詞句」

di queste cose デイ・クェステ・コゼ adv. これらの事に関して

「副詞句」

delle idee デッレ・イデー pl(idèa).n.f 考えを

「目的語」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

non erano ノン・エラーノ 3 複半・否定・時制の一致(essere)

v.i ~でない

「動詞句」

giuste. ジュステ adj(giusto).f.pl 正しい

「補語」

僕は長い間、なぜか分からないが、ギロチンに進むためには処刑台に登らなければならない、つまり階段を数段登らなければならないと信じていた。

Ho creduto per molto tempo non so per quale ragione che per andare alla ghigliottina si dovesse salire su un catafalco, fare alcuni gradini.

「動詞句」「副詞句」「目的語」

Ho creduto オ・クレドゥート 1 単現・完了形(credere)v.t 信じていた、思っていた

「動詞句」

per ヘル preo(期間) ~の間

「副詞句」

molto tempo モルト・テンポ n.m 長い時間

「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

non so ノ・ソ 1 単現・否定(sapere)v.t 分からない	「動詞句」
per quale ragione ペル・クワレ・ラジオーネ adv. どういう理由で、なぜか	「副詞句」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
per andare ペル・アンダーレ 不定詞・目的 adv. 進むためには	「副詞句」
alla ghigliottina アラ・ギロチナ adv. ギロチンへ	「間接目的語」
si シ pron 人は	「主語」
dovesse salire シ・ドヴ・エッセ・サリル 接・3 単現・必要(dovere+不定詞 salire)	
vi 上がらなければならない	「動詞句」
su un catafalco, ス・ウン・カタファルコ adv. 棺台の上に	「間接目的語」
catafalco よりも patibolo が適切と思われる	
fare ファレ 接・3 単現・必要(dovere+不定詞 fare)v.t(動作を) しなければならない	「動詞句」
alcuni gradini. アルクーニ・グラディーニ pl(gradino).n.m 数段を	「目的語」

それは恐らく 1789 年のせいだ。つまり、こういったことについて教えられたり見せられた全ての事のせいだ。

Probabilmente è a causa della Rivoluzione del 1789, cioè a causa di tutto ciò che mi hanno insegnato o fatto vedere su queste cose.

	「副詞」「動詞」「補語」, 「副詞」「補語」
Probabilmente プロバビルメンテ adv. 恐らく、多分	「副詞」
è エ 3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
a causa ア・カーザ adv. (理由) (di の) せいで	「補語」
della Rivoluzione デラ・リヴァオルツィオーネ adj. 革命の	「形容詞句」
del 1789, デル・ミレ・セッテチェントタンタノヴァエ adj. 1789 年の	「形容詞句」
cioè チョエ adv. つまり	「副詞」
a causa di tutto ciò ア・カーザ・ディ・トット・チョ adv. これらすべてせいで	「補語」
che ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
hanno insegnato アンノ・インセニャート 3 複現・完了形(insegnare)	
v.t 教えられた	「動詞句」
受動態に翻訳する	
o オ conj. または	
fatto vedere ファット・ガエターレ 3 単現・完了形・使役(fare+不定詞)	
v.t 見せられた	「動詞句」
受動態に翻訳する	
su queste cose. ス・クェスト・コセ adv.(話題) これらについて	「副詞句」

しかしある朝、死刑執行の際に新聞に掲載されて大いに話題になった写真のことを思い出した。

Ma un mattino mi sono ricordato di una fotografia che avevano pubblicato i giornali in occasione di una condanna a morte di cui si era parlato molto.

Ma 「副詞句」「動詞句」「間接目的語」

Ma マ conj. しかし

un mattino ウン・マッティノ n.m ある朝 「副詞句」

mi sono ricordato ミ・ソーノ・リコルダート 1 単現・完了形(ricordarsi)v.pr(di を) 思い出した 「動詞句」

di una fotografia ディ・ウナ・フォトグラフィア adv. 写真のことを 「間接目的語」

che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

avevano pubblicato アヴェウァノ・プブリカト 3 複半・完了形(pubblicare)

v.t 公表した 「動詞句」

i giornali イ・ジョルナーリ pl(giornale).n.m 新聞が 「主語」

in occasione di イン・カジオーネ・ディ adv. ～の際に 「副詞句」

una condanna a morte ウナ・コンダナ・ア・モルテ n.f 死刑執行 「目的語」

di cui ディ・クワイ adv. それについて～する 「形容詞節」

si era parlato シ・エラ・パルラト 3 単半・完了形・再帰受動(parlarsi)

v.i 話された 「動詞句」

molto. モルト adv. 大いに 「副詞」

その装置は、実際には、可能な限り単純な方法で、地面にじかに置かれていた。

In realtà la macchina era posata direttamente per terra, nel modo più semplice possibile.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

In realtà イン・レアルタ adv. 実際には 「副詞句」

la macchina ラ・マッキナ n.f(ghigliottina の代用) その装置は 「主語」

era posata エラ・ポザータ 3 単半・受動.f(posare)v.t 置かれていた 「動詞句」

direttamente ディレタメンテ adv. 直に、直接 「副詞」

per terra, ペル・テッラ adv. 地面に 「副詞句」

nel modo ネル・モート adv. 方法で 「副詞句」

più semplice possibile. ピウ・センプレ・リチェ・ポッシービレ adj. 可能な限り単純な 「形容詞句」

それは想像していたよりもずっと幅が狭かった。もっと早く思いつかなかったのは全く不思議だ。

Era molto più stretta di quanto credessi. È abbastanza strano che non mi sia venuto in mente prima.

「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」「主語」

Era エラ 3 単半(essere)v.i. ～だった 「動詞」

molto più stretta モルト・ピウ・ストレッタ adj(strétto).f. ずっと幅が狭い 「補語」

di quanto credessi. デイ・クワント・クレデッシ adv.(比較) 想像していたよりも 「副詞節」

È エ 3 単現(essere)v.i. ～である 「動詞」

abbastanza strano アッバスタンツァ・ストラノ adj. まったく不思議な 「補語」

che ケ conj. ～ということは 「主語」

non mi sia venuto ノン・ミ・シア・ヴェヌート 接・3 単現・完了形・否定(venire+mi)

v.i. 僕の頭に浮かばなかった 「動詞句」

in mente イン・メンテ adv. 心に 「副詞句」

prima. プリーマ adv. もっと早く 「副詞」

写真に写ったその装置の外観はよく磨かれて光り輝いており、僕は強い印象を受けた。

La macchina, nella fotografia, mi aveva colpito per il suo aspetto di strumento di precisione, ben rifinito e luccicante.

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

La macchina, ラ・マッキナ n.f. 装置は、機械は 「主語」

nella fotografia, ネッラ・フォトグラフィア adv. 写真の中の 「副詞句」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

aveva colpito アヴァ・エヴァ・ア・コルピト 3 単半・完了形(colpire)v.t. 殴った 「動詞句」

per ヘル prep (手段) ～によって 「副詞句」

il suo aspetto イル・スー・アスペット n.m. その外観 「目的語」

di strumento di precisione, デイ・ストルメント・デイ・プレジシオーネ

adj. 精密機械の 「形容詞句」

ben rifinito e luccicante. ベン・リニート・エルチカンテ

adj. よく磨かれて光り輝く 「形容詞句」

PARTE SECONDA 第2部

僕たちは、自分の知らない事に対して、いつも大袈裟に考えるものだ。

Ci si fanno sèmpre délle idèe esagerate su ciò che non si conosce.

「間接目的語」「動詞句」「副詞」「直接目的語」「副詞句」

Ci チ pron.pl 私たちに

「間接目的語」

Ci を「主語」として翻訳する

si fanno シ・ファンノ 3 複現(farsi)v.pr(動作を) する

「動詞句」

sèmpre センプレ adv. いつも

「副詞」

délle idèe esagerate デッレ・イデエ・エサジエラテ pl(idèa).n.f 誇張した考えを

「直接目的語」

su ciò ス・チョ adv. それに対して

「副詞句」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

non si conosce. ノン・シ・コノシェ 3 単現・否定(conóscersi)v.pr 知らない

「動詞句」

その代わり、僕は全てが非常に単純だと気付かなければならなかった：つまり、装置はそれに向かつて進む人間と同じ高さにあるのだ。

Invéce dovevo constatare che tutto è móltó sèmplice: la màccchina è allo stéssó livello déll'uòmo che vi si avvia.

「副詞」「動詞句」「目的語」：「主語」「動詞」「副詞句」

Invéce インヴェーチェ adv. その代わりに

「副詞」

dovevo constatare トヴエーヴォ・コンスタタレ 1 単半・必要(dovére+不定詞 constatare)

v.t 気付かなければならなかった

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

tutto トット pron 全ては

「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

móltó sèmplice: モルト・センプリチェ adj. 非常に単純な

「補語」

la màccchina ラ・マッキナ n.f 装置は

「主語」

è エ 3 単現・存在(essere)v.i ～にある

「動詞」

allo stéssó livello アロ・ステッソ・リヴェッロ adv. 同じ高さに

「副詞句」

déll'uòmo デルウーモ adv.(比較) 人間と

「副詞」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

vi si avvia. ヴィ・シ・アヴィアイ 3 単現(avviarsi+si)v.pr それに向かう

「動詞句」

avviarsi の si が vi に変化して、si は màccchina の代用

PARTE SECONDA 第2部

彼は誰かに会うのと同じやり方でそこへ行く。

Égli vi giunge allo stéssu mòdo che se andasse incóntro a qualcuno.

Égli	エツリ	pron	彼は		「主語」「副詞」「動詞」「副詞句」
vi	ヴィ	adv.	そこへ		「主語」
giunge	ジ ユンジエ	3 単現(giungere)v.i	達する、到達する		「副詞」
allo stéssu mòdo	アロ・ステツツ・モト	adv.	同じ方法で		「動詞」
che	ケ	conj.	(比較) ～するのと		「副詞句」
se andasse	セ・アンダッセ	接・3 単半(andarse)v.pr	行った		「形容詞節」
incóntro a qualcuno.	インコントロ・ア・クウォルクーノ	n.m	誰かとの出会いに		「動詞句」
					「目的語」

ある意味ではこれも不愉快だった。

In un cèrto sènsu anche quèsto era antipatico.

In un cèrto sènsu	イン・ウン・チェルト・センソ	adv.	ある意味では		「副詞句」「主語」「動詞」「補語」
anche quèsto	アンケ・クエスト	pron	これも		「副詞句」
era	エラ	3 単半(essere)v.i	～だった		「主語」
antipatico.	アンチパチコ	adj.	不愉快な		「動詞」
					「補語」

処刑台に登るとか、天に昇るという事は、全て想像力にすぎることが出来るものだった。

La salita vèrso il catafalco, quèll'ascesa vèrso il cièlo, erano tutte còse cui poteva aggrapparsi la fantasia.

La salita	ラ・サリータ	n.f	上昇、登る事は		「主語」「動詞」「補語」
vèrso il catafalco,	ヴェールソ・イル・カタファルコ	adv.	処刑台への		「主語」
quèll'ascesa	ケル・アシェーザ	n.f	あの上昇は		「副詞句」
vèrso il cièlo,	ヴェールソ・イル・チエロ	adv.	空への		「主語」
erano	エラーノ	3 複半(essere)v.i	～だった		「副詞句」
tutte còse	トゥッテ・コーゼ	pl(còsa).n.f	全てそれ		「動詞」
cui	クイー	pron	それを～する		「補語」
poteva aggrapparsi	ポテヴァ・ア・アグラッパルシ	3 単現・可能(potére+不定詞 aggrapparsi)			「形容詞節」
v.pr	すがりつける				「動詞句」
la fantasia.	ラ・ファンタジーア	n.f	想像力に		「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

一方、現実には反対に、メカニズムが再びすべてを抹殺した：人々は少しの恥辱と多くの正確性によって慎重に殺された。

Mentre invéce, in realtà, ancóra una vòlta la meccànica sopprimeva tutto: si era uccisi in maniera discreta, con un po' di vergogna e mólta precisione.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」：「主語」「動詞句」「副詞句」

Mentre メントレ conj. ところが一方

invéce, インヴェーチェ adv. 反対に

「副詞」

in realtà, イン・リアルタ adv. 現実には、実際には

「副詞句」

ancóra una vòlta アンコーラ・ウナ・ヴォルタ adv. 再び

「副詞句」

la meccànica ラ・メッカニカ n.f 装置が、システムが

「主語」

sopprimeva ソッポリメヴァ 3 単半(sopprimere)v.t 抹殺した

「動詞」

tutto: トゥット pron 全てを

「目的語」

si シ pron 人は

「主語」

era uccisi エラ・ウッチージ 3 単半・再帰受動(uccidere)v.pr 殺された

「動詞句」

in maniera discreta, イン・マニエーラ・ટેィスクレータ adv. (方法) 慎重に

「副詞句」

con un po' di vergogna e mólta precisione. コン・ウン・ポ'・ディ・ウエルコニャ・エ・モルタ・プレチジオーネ

adv. 少しの恥辱と多くの正確性で

「副詞句」

僕がいつも考えていたことが、他に2つあった：夜明けと上訴だ。

C'erano altre due cose a cui riflettevo sèmpre: l'alba e la domanda di grazia.

「動詞句」「主語」：「主語」e「主語」

C'erano チェラーノ 3 複半・存在(esserci)v.i ~があった

「動詞句」

altre due cose アルトレ・トゥエ・コセ pl(còsa).n.f 他に2つの事が

「主語」

a cui ア・クイー adv.(間接目的語) それについて~する

「形容詞節」

riflettevo リフレッテヴォ 1 単半(riflettere)v.i 考えていた

「動詞」

sèmpre: センプレ adv. いつも

「副詞」

l'alba ラールバ n.f(còse の代用) 夜明け

「主語」

e エ conj. そして

la domanda di grazia. ラ・トマンガ・ディ・グラツィア n.f 慈悲の願い、上訴

「主語」

PARTE SECONDA 第2部

それでも、理性的に考えて、それについてもう考えないように努めた。

Eppure cercavo di ragionare, cercavo di non pensarci più.

Eppure 「動詞句」, 「動詞句」

Eppure エップーレ conj. それでも

cercavo di ragionare, チェルカーウ^オ・デ^イ・ラジ^ョナーレ 1 単半・努力(cercare di+不定詞 ragionare)

v.i 理性的に考えようと努力した 「動詞句」

cercavo di non pensarci più. チェルカーウ^オ・デ^イ・ノン・ペンサルチ^{・ヒ}ウ

(cercare di+不定詞 non pensarci+ più)v.i それについてもう考えないように努めた 「動詞句」

僕は横になって空を眺めた。それからそれに興味を持つように努力した。

Mi stendevo, guardavo il cielo, facevo uno sforzo per interessarmene.

「動詞句」, 「動詞」「目的語」, 「動詞」「目的語」「副詞句」

Mi stendevo, ミ・ステンデーウ^オ 1 単半(stendersi)v.pr 横になった 「動詞句」

guardavo グ^ワルターウ^オ 1 単半(guardare)v.t 眺めた 「動詞」

il cielo, イル・チェロ n.m. 空を 「目的語」

facevo ファチェウ^オ 1 単半(fare)v.t (動作を) した 「動詞」

uno sforzo ウノ・スフォルツォ n.m 努力を 「目的語」

per interessarmene. ペル・インテサル・メ・ネ 不定詞・目的 adv. それに興味を持つために 「副詞句」

空が緑色に変わった。夕暮れだった。自分の思考の流れをそらすためにさらに努力した。自分の心臓の声に耳を傾けた。

Il cielo diventava verde, e era la sera. Facevo ancora uno sforzo per deviare il corso dei miei pensieri. Ascoltavo il mio cuore.

「主語」「動詞」「補語」, e 「動詞」「補語」

「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」 | 「動詞」「目的語」

Il cielo イル・チェロ n.m 空は 「主語」

diventava デ^イウ^{エンター}ウ^ア 3 単半(diventare)v.i 〜になった、変わった 「動詞」

verde, ヴ^ェールデ^ア adj. 緑の 「補語」

e エ conj. そして

era エラ 3 単半(essere)v.i 〜だった 「動詞」

la sera. ラ・セーラ n.f 夕暮れ 「補語」

Facevo ファチェウ^オ 1 単半(fare)v.t (動作を) した 「動詞」

ancora アンコーラ adv. (反復を表わして) さらに、また 「副詞」

uno sforzo ウノ・スフォルツォ n.m 努力を 「目的語」

per deviare ペル・デウ^イアーレ 不定詞・目的 adv. そらすために 「副詞句」

il corso イル・コース n.m 流れを 「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

dei miei pensieri. デイ・ミエイ・ペンシェーリ adj. 僕の思考の 「形容詞句」
 Ascoltavo アスコルターヴォ 1 単半(ascoltare)v.t 聞いた 「動詞」
 il mio cuore. イル・ミー・クォーレ n.m 僕の心臓の音を 「目的語」

長い間自分と一緒にいたあの小さい音が、まさか止まることは想像できなかった。

Non riuscivo a immaginarmi che quel piccolo rumore che mi accompagnava da tanto tempo potesse mai cessare.

「動詞句」「目的語」
 Non riuscivo a immaginarmi ノン・リウッシーヴァ・ア・インマジナルミ 1 単半・可能・否定
 (riuscire a+不定詞 immaginarmi)v.pr 想像できなかった 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 quel piccolo rumore ケル・ピッ・ツコロ・ルモーレ n.m あの小さな音が 「主語」
 che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 mi ミ pron 僕に 「目的語」
 accompagnava アッコンパニャヴァ 3 単半(accompagnare)
 v.t 同行していた 「動詞」
 da tanto tempo ダ・タント・テンポ adv. ずっと前から、長い間 「副詞句」
 potesse mai cessare. ポッテッセ・マイ・チェッサレ 接・3 単半・可能性(potére+不定詞 cessare)
 v.i 万が一にも止まるだろう～ない 「動詞句」

僕はこれまでずっと想像力が余り無かった：それでも、僕の脳内でこの心臓の鼓動がもう聞こえなくなる、その特別な瞬間を思い浮かべようと努力した。

Io non ho mai avuto molta immaginazione: E tuttavia cercavo di immaginarmi un determinato secondo in cui il battito di questo cuore non si sarebbe più prolungato nel mio cervello.

「主語」「動詞句」「目的語」：「副詞句」「動詞句」「目的語」
 Io イオ pron 僕は 「主語」
 non ho mai avuto ノン・ノ・マイ・アヴァート 1 単現・完了形・否定(avére)
 v.t いまだかつて～はなかった 「動詞句」
 molta immaginazione: モルタ・イマジナツィオーネ n.f (否定文で) 余り想像力が～ない 「目的語」
 E tuttavia エ・トゥッタヴィア adv. それでも 「副詞句」
 cercavo di immaginarmi チェルカーヴァ・ディ・イマジナルミ 1 単半・努力(cercare di+不定詞 immaginarsi)
 v.pr 思い浮かべようと努力した 「動詞句」
 un determinato secondo ウン・デテルミナート・セコンド n.m 特別な瞬間を 「目的語」
 in cui イン・クイ adv. その時に～する 「副詞節」
 il battito イル・バッチート n.m 鼓動が 「主語」
 di questo cuore デイ・クェスト・クォーレ adj. この心臓の 「形容詞句」

PARTE SECONDA 第2部

non si sarebbe più prolungato ノ・シ・サレッパ・ヒ・ウ・ブ ロルガート 条・3 単現・完了形・否定・推量

v.pr(prolungarsi) もう長く続かないだろう

「動詞句」

nel mio cervello. ネル・ミーオ・チェルヴェーロ adv. 僕の脳内で

「副詞句」

しかし無駄だった。まだ夜明けと上訴が残っていた。結局、自分に厳しくしない事が最も合理的だと自分に言い聞かせた。

Ma invano. C'era sempre l'alba e la mia domanda di grazia e finivo per dirmi che la cosa più ragionevole era di non farmi violenza.

Ma 「副詞」 | 「動詞句」「主語」 e 「動詞句」「目的語」

Ma マ conj. しかし

invano. インヴァーノ adv. 無駄に

「副詞」

C'era チェー 3 単半・存在(èsserci)v.i. 〜があった

「動詞句」

sempre センプレ adv. 相変わらず

「副詞」

l'alba ラールバ n.f. 夜明けが

「主語」

e エ conj. そして

la mia domanda di grazia ラ・ミーア・ト・マンダ。テ・イ・グラツィア n.f. 上訴が

「主語」

e エ conj. そして

finivo per dirmi フィニーヴ・オ・ベル・テイルミ 1 単半・結局(finire per+不定詞 dirsi)

v.pr 結局自分に言い聞かせた

「動詞句」

che ケ conj. 〜ということを

「目的語」

la cosa più ragionevole ラ・コサ・ピ・ウ・ラジォネヴァレ n.f. 最も合理的な事は

「主語」

era エー 3 単半・時制の一致(èssere)v.i. 〜である

「動詞」

di non farmi violenza. テ・イ・ノン・ファルミ・ヴァイオレンツァ 不定詞 n. 自分に厳しくしない事

「補語」

彼らがやって来るのは夜明けだ、それは分かっていた。だから、夜明けを待つために夜を過ごした。

È all'alba che vengono, lo sapevo. E ho passato le mie notti ad aspettare quell'alba.

「動詞」「補語」「主語」, 「目的語」「動詞」 | E 「動詞句」「目的語」「副詞句」

È エ 3 単現(èssere)v.i. 〜である

「動詞」

all'alba アールバ adv. 夜明けに

「補語」

che ケ conj. 〜ということは

「主語」

vengono, ヴェンゴノ 3 複現(venire)v.i. やって来る

「動詞」

lo ロ pron それを

「目的語」

sapevo. サペーヴォ 1 単半(sapere)v.t. 知っていた

「動詞」

E エ conj. そして

ho passato オ・パッサート 1 単現・完了形(passare)v.t.(時間を) 過ごした

「動詞句」

le mie notti レ・ミエ・ノッティ pl(notte).n.f. 夜を

「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

ad aspettare アト・アスペッタレ 不定詞・目的 adv. 待つために 「副詞句」
 quèll'alba. ケアルハ n.f 夜明けを 「目的語」

僕は不意打ちされるのはいやだった。自分に何かが起こる時には、そこにいたいと思う。

Non mi è mai piaciuto farmi sorprendere: quando mi succede qualcosa, preferisco essere presente.

「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「主語」:「副詞節」,「動詞」「目的語」

Non ...è mai piaciuto ノン...エ・マイ・ピアチウト 3 単現・完了形(piacere)v.i 好きでなかった 「動詞句」

mi ミ pron 自分にとって 「間接目的語」

farmi sorprendere: ファルミ・ソルプレンデレ 不定詞・使役 n. 不意打ちされることは 「主語」

quando クワント conj. ～する時 「副詞節」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

succede スチェテ 3 単現(succedere)v.i 起こる 「動詞」

qualcosa, クワルコーサ pron 何かが 「主語」

preferisco プレフェリスコ 1 単現(preferire)v.t 好む 「動詞」

essere presente. エッセレ・プレゼンテ 不定詞 n. いることを 「目的語」

そんな風に、僕は昼間はほんの少しだけ眠れたが夜は朝までずっと眠れなかった。天窓のガラスに光が差し込むのを辛抱強く待った。

Così ho finito per non dormire che un pòco durante il giorno e, lungo tutte le mie notti, ho atteso pazientemente che la luce nascesse sul vetro del cielo.

「副詞」「動詞句」「副詞句」 e, 「副詞句」, 「動詞句」「副詞」「目的語」

Così コシ adv. そんな風に 「副詞」

ho finito per non dormire オ・フィニート・ペル・ノン・ドルミレ 1 単現・完了形・結局・否定

(finire per+不定詞 dormire)v.i 結局眠れなかった 「動詞句」

che ケ conj.(non...che) (比較) ～しか 「副詞句」

un pòco ウン・ポコ adv. わずか、少し 「副詞句」

durante il giorno トゥランテ・イル・ジョルノ adv. 昼間は 「副詞句」

e, エ conj. そして

lungo ルンゴ adv. 長く 「副詞」

tutte le mie notti, トゥッテ・レ・ミー・ノッテ adv. 夜通し 「副詞句」

ho atteso オ・アテゾ 1 単現・完了形(attendere)v.t 待った 「動詞句」

pazientemente パツィエンテメンテ adv. 辛抱強く 「副詞」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

la luce ラルチェ n.f 光が 「主語」

nascesse ナジェッセ 接・3 単半(nascere)v.i 生まれる 「動詞」

sul vetro スル・ヴェトロ adv. ガラスの上に 「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

del cielo. テル・チェロ adj. 空の

「形容詞句」

最も厄介な瞬間は、彼らが通常行動すると分かっている、曖昧な時間だった。

Il momento più difficile era quell'ora incerta in cui sapevo che essi operano d'abitudine.

「主語」「動詞」「補語」

Il momento イル・モメント n.m 瞬間は

「主語」

più difficile ピウ・ディッフィチレ adj. 最も困難な

「形容詞句」

era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

quell'ora ケル・オーラ n.f 時間

「補語」

incerta インチェルタ adj(incerto).f あいまいな

「形容詞」

in cui イン・クイ adv. そこで~する

「副詞節」

sapevo サペ・ウォ 1 単半・時制の一致(sapere)v.t 分かっている

「動詞」

che ケ conj. ~ということ

「目的語」

essi エッシ pron.pl 彼らが

「主語」

operano オペラ 3 複現(operare)v.i 行動する

「動詞」

d'abitudine. ダビトゥーティネ adv. 通常は

「副詞句」

真夜中過ぎになると、僕は身構えて待っていた。

Passata la mezzanotte, attendevo e stavo in agguato.

「副詞句」「動詞」 e 「動詞」「副詞句」

Passata パッサータ 過去分詞(passare)・時間 adv. ~過ぎに

「副詞句」

la mezzanotte, ラ・メッサノッテ n.f 真夜中

「目的語」

attendevo アテンデ・ウォ 1 単半(attendere)v.t 待っていた

「動詞」

e エ conj. そして

stavo スター・ウォ 1 単半(stare)v.i ~のままでいた

「動詞」

in agguato. イン・アググワト adv.(様態) 待ち伏せした

「副詞句」

僕の耳がこれほど多くの音を聞き取った事も、これほど微かな音を聞き分けたこともなかった。

Mai il mio orecchio aveva percepito tanti rumóri, distinto suòni altrettanto lièvi.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」, 「動詞句」「目的語」

Mai マイ adv. 一度も~ない

「副詞」

il mio orecchio イル・ミオ・オレッキオ n.m 僕の耳が

「主語」

aveva percepito アヴェ・ウァ・ア・ペルチェビート 3 単半・完了形(percepire)v.t 聞き取った

「動詞句」

tanti rumóri, タント・ルモリ pl(rumóre).n.m これほど多くの音を

「目的語」

distinto ディストント 3 単半・完了形(distingere)v.t 聞き分けた

「動詞句」

suòni スォニ pl(suòno).n.m 音を

「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

altrettanto lièvi. アルトレッタント・リエーヴィ adj(liève).pl これほど微かな

「形容詞句」

その他については、この期間じゅう一度も足音を聞かなかったので、結局は幸運だったと言える。

Devo dire del resto che in fondo ho avuto fortuna durante tutto questo periodo perché non ho mai udito dei passi.

「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」

Devo dire デヴ・ヂョ・デーレ 1 単現・必要(dovére+不定詞 dire)v.t 言わなければならない 「動詞句」

del resto デル・レスト n.m (主題) 残りについては 「間接目的語」

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

in fondo イン・フォント adv. 結局は 「副詞句」

ho avuto オ・アウート 1 単現・完了形(avére)v.t (状態が) ～であった 「動詞句」

fortuna フォルトゥナ n.f 幸運 「目的語」

durante tutto questo periodo トゥランテ・トゥット・ケスト・ペリオド

adv. この期間じゅうずっと 「副詞句」

perché ペルケ conj. (原因) ～なので 「副詞節」

non ho mai udito ノ・ノ・マイ・ウディート 1 単現・完了形・否定(udire)

v.t 一度も聞かなかった 「動詞句」

dei passi. デイ・パッシ pl(passo).n.m 足音を 「目的語」

母さんは、完全に不幸な人間など居ない、とよく言っていた。

La mamma diceva spesso che non si è mai completamente infelici.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」

La mamma ラ・マンマ n.f 母さんが 「主語」

diceva ディチェヴァ 3 単半・習慣(dire)v.t 言っていたものだ 「動詞」

spesso スペッソ adv. しばしば、よく 「副詞」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

non ...è mai ノン...エ・マイ 3 単現・否定(essere)v.i ～でない 「動詞句」

si シ pron 人は 「主語」

completamente infelici. コンプレタメンテ・インフェリチ adj. 完全に不幸な 「補語」

PARTE SECONDA 第2部

空が色付き、僕の独房に新しい一日が滑り込むと、僕は刑務所の中で母さんに同意した。

Ero d'accòrdo con lèi nêlla mia prigione quando il ciêlo prendeva colóre e una nuòva giornata scivolava nêlla mia cèlla.

Ero	エロ 1 単半(èssere)v.i	～だった	「動詞」
d'accòrdo	ダッコールト adv.	同意した	「補語」
con lèi	コン・レーイ adv.	彼女に	「副詞句」
nêlla mia prigione	ネラ・ミア・プリジョーネ adv.	刑務所の中で	「副詞句」
quando	クワント conj.	～した時	「副詞節」
il ciêlo	イル・チェロ n.m	空が	「主語」
prendeva	プレンダーヴァ 3 単半・時制の一致(prèndere)v.t	持つ、取る	「動詞」
colóre	コロレ n.m	色を	「目的語」
e	エ conj.	そして	
una nuòva giornata	ウナ・ヌオーヴァ・ジョルナータ n.f	新しい一日が	「主語」
scivolava	シヴァーヴァ 3 単半・時制の一致(scivolare)v.i	滑り込む	「動詞」
nêlla mia cèlla.	ネラ・ミア・チェッラ adv.	僕の独房に	「副詞句」

それでも、足音が聞こえたら心臓が破裂するかも知れなかったから。

Perché poteva darsi ugualmente che udissi dei passi e mi scoppiasse il cuore.

Perché	ペルケ conj.	なぜなら～だから	「副詞」
poteva darsi	ポテーヴァ・ダールシ 3 単半・可能性(potére+不定詞 darsi)		
	v.pr	起こるかも知れなかった	「動詞句」
ugualmente	ウグアルメンテ adv.	それにもかかわらず	「副詞」
che	ケ conj.	～ということは	「主語」
udissi	ウディッシ 接・1 単半・假定(udire)v.t	聞いたら	「動詞」
dei passi	デイ・パッシ pl(passo).n.m	足音を	「目的語」
e	エ conj.	そして	
mi	ミ pron	僕の、僕にとって	「間接目的語」
scoppiasse	スコピアッセ 接・3 単半・推量(scoppiare)v.i	破裂するかもしれない	「動詞」
il cuore.	イル・クオーレ n.m	心臓が	「主語」

ほんのわずかな物音を聞いてドアに向かって飛び出したとしても、ドアの板に耳を押し付けて、半狂乱になって、自分の呼吸音がまるで犬の喘ぎ声のようにしわがれていると気付いて怯えるまで待ったとしても、実際には、僕の心臓は破裂しない。僕はまた 24 時間もうけたのだ。

E invece, per quanto il più lieve fruscio mi facesse balzare alla porta, per quanto l'orecchia schiacciata contro il legno, attendessi perdutamente fino a udire il mio proprio respiro, spaventato di trovarlo rauco e così simile all'ansimare di un cane, in verità il cuore non mi scoppiava e avevo guadagnato ancora una volta ventiquattr'ore.

「副詞句」, 「副詞句」「主語」「動詞句」 e 「動詞句」「副詞句」「目的語」

E invece, エ・インヴェーチェ adv. それでも 「副詞句」

per quanto +接続法 ヘル・クワント adv. ～としても 「副詞節」

il più lieve fruscio イル・ピウ・リエウヴェ・フルッシーオ n.m.ほんのわずかな物音が 「主語」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

facesse ファチェッセ 接・3 単半・使役・假定(fare)v.t. ～させた 「動詞」

balzare バルツァーレ 不定詞・mi の動作 v.i. 飛び出す 「補語」

alla porta, アラ・ポールタ adv. ドアの方へ 「副詞句」

per quanto, +接続法 ヘル・クワント adv. ～としても 「副詞節」

l'orecchia ロレッキア n.f (様態) 耳が～の状態 「副詞句」

schiacciata スキアッチャータ 過去分詞(schiacciare)・受動

adj.f 押し当てられた 「形容詞」

contro il legno, コントロ・イル・レンニョ adv. 板に 「間接目的語」

attendessi アテンデッシ 接・1 単半・假定(attendere)v.t. 待ったとして 「動詞」

perdutamente ヘル・タタメンテ adv. がむしやらに、半狂乱で 「副詞」

fino a udire フィーノ・ア・ウディアーレ adv. 聞くまで 「副詞句」

il mio proprio respiro, イル・ミオ・プロ・ロービオ・レスピロー

n.m. 自分の呼吸の音を 「目的語」

spaventato スパヴァンタート adj. 怯えた、驚いた 「補語」

di trovarlo rauco ティ・トロヴァル・ローウコ

adv. (原因) それが生わがれていると気付いて 「副詞句」

e エ conj. そして

così simile all'ansimare di un cane, コシ・シーミレ・アラシマーレ・ティ・ウン・カーネ

adv. まるで犬の喘ぎ声のように 「副詞句」

in verità イン・ヴェリタ adv. 実は、実際には 「副詞句」

il cuore イル・クオーレ n.m. 心臓は 「主語」

non mi scoppiava ノン・ミ・スコッピアーヴァ 3 単半・否定(scoppiare)v.i. 僕にとって破裂しない 「動詞句」

e エ conj. そして

avevo guadagnato アヴェー・ヴァグワニャート 1 単半・完了形(guadagnare)v.t. もうけた 「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

ancóra una vòlta アンコーラ・ウナ・ヴォールタ adv. もう一度、再び 「副詞句」
 ventiquattr'óre. ヴェンチクワトローレ pl(óra).n.f 24 時間を 「目的語」

昼間はずっと、上訴のことを考えていた。この考えを最大限に利用できたと思う。

Durante tutto il giorno avevo la domanda di grazia. Credo di aver sfruttato il massimo possibile quest'idea.

「副詞句」「動詞」「目的語」 | 「動詞句」「目的語」

Durante tutto il giorno トゥランテ・トゥット・イル・ジオルノ adv. 昼間はずっと、一日中 「副詞句」
 avevo アヴェーウォ 1 単半(avére)v.t. 〜があった 「動詞」
 la domanda ラ・トマンダ n.f 要求、願い 「目的語」
 di grazia. デイ・グラツィア adj. 赦免の、恩赦の 「形容詞句」
 Credo di クレド・デイ 1 単現・思う(crédere di+不定詞・完了形)v.t. 〜したと思う 「動詞句」
 aver sfruttato アヴェル・スフルッタート 不定詞・完了形(sfruttare)v.t. 利用した 「動詞句」
 il massimo possibile quest'idea. イル・マッシモ・ボッシビレ・クェステイデア
 n.m 可能な限り最大限のこの考えを 「目的語」

僕は効果を計算し、自分への影響を考えて、最高の結果を得た。

Calcolavo gli effetti e ottenevo dalle mie riflessioni il miglior rendimento.

「動詞」「目的語」 e 「動詞」「副詞句」「目的語」

Calcolavo カルコラーウォ 1 単半(cacolare)v.t. 計算した 「動詞」
 gli effetti リ・エフエッティ pl(effètto).n.m 効果を、影響を 「目的語」
 e エ conj. そして
 ottenevo オッテネーウォ 1 単半(ottenére)v.t. 得た 「動詞」
 dalle mie riflessioni ダッレ・ミーエ・リフレッジオニ adv. 自分への反射から 「副詞句」
 il miglior rendimento. イル・ミョール・レンデイメント n.m 最高の結果を 「目的語」

僕はいつも最悪の仮定から始めた：つまり上訴は却下されるのだ。

Partivo sempre dalla supposizione peggiore: la domanda era respinta.

「動詞」「副詞句」：「主語」「動詞句」

Partivo パルティーウォ 1 単半(partire)v.i. 始めた 「動詞」
 sempre センプレ adv. いつも 「副詞」
 dalla supposizione peggiore: ダッラ・スボジッチオーネ・ペッジョーレ adv. (起点) 最悪の仮定から 「副詞句」
 la domanda ラ・トマンダ n.f 上訴は、要求は 「主語」
 era respinta. エラ・レスピンタ 3 単半・受動.f・時制の一致(respingere)v.t. 却下される 「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

「それじゃあ、僕は死ぬんだ」ほかの人たちより明らかに早く。

“Ebbène, allóra morrò.” Più prèsto che mólti altri, evidentemente.

《Ebbène, 「副詞」「動詞」》「副詞句」

“Ebbène, エッベーネ conj. それでは

allóra アッローラ adv. じゃあ

「副詞」

morrò.” モロ 1 単末(morire)v.i 死ぬ

「動詞」

Più prèsto ピウ・プレスト adv. より早く

「副詞句」

che ケ conj. (比較) ～よりも

「副詞句」

mólti altri, モルチ・アルトリ pl.pron 他の多くの人

「目的語」

evidentemente. エヴィデントメンテ adv. 明らかに

「副詞」

しかし、誰でも人生は生きる価値が無いと知っている。結局、僕が 30 歳で死のうが 70 歳で死のうが
大差ない事は知っている。どちらの場合でも、他の男も女もまだ生き続ける訳だし、このことは何千
年も続いてきたのだから。

Ma tutti sanno che la vita non val la pena di essere vissuta, e in fondo non ignoravo che importa poco morire a trent'anni oppure a settanta quando si sa bene che in tutt'e due i casi altri uomini e altre donne vivranno e questo per migliaia d'anni.

Ma 「主語」「動詞」「目的語」, e 「副詞句」「動詞句」「目的語」

Ma マ conj. しかし

tutti トゥッティ pron.pl 誰でも

「主語」

sanno サノ 3 複現(sapere)v.t 知っている

「動詞」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

la vita ラ・ヴィータ n.f 人生は

「主語」

non val ノン・ヴァル 3 単現・否定(valere)v.i ～に値しない、価値が無い

「動詞句」

la pena ラ・ペーナ n.f 苦勞

「間接目的語」

di essere vissuta, ディ・エッセル・ヴィススータ 不定詞・受動・目的 adv. 生きるための

「副詞句」

e エ conj. そして

in fondo イン・フォント adv. 結局は

「副詞句」

non ignoravo ノン・イグノラヴォ 1 単半・否定(ignorare)v.t 知らなかったわけではない

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

importa インポルタ 3 単現(importare)v.i 重要である

「動詞」

poco ポコ adv. あまり～ない

「補語」

morire モーレ 不定詞 n. 死ぬことは

「主語」

a trent'anni ア・トレンタンニ adv. 30 歳で

「副詞句」

oppure オップレ conj. または

a settanta ア・セタンタ adv. 70 歳で

「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

quando クワンﾄ conj. (原因) ～だから 「副詞節」

si sa bène シ・サ・ベ・ネ 不定詞・再帰受動(sapersi)v.pr 良く知られている 「動詞句」

che ケ conj. ～ということは 「主語」

in tutt'e due i casi イン・トゥッテ・ドゥエ・イ・カージ adv. どちらの場合でも 「副詞句」

altri uòmini e altre dònne アルトリ・ウオーミニ・エ・アルトレ・ドンネ

pl.n 他の男や女は 「主語」

vivranno ヲイヴランノ 3 複未(vivere)v.i 生き続けるだろう 「動詞」

e エ conj. そして

quésto クェスト pron このことは 「主語」

per migliaia d'anni. ペル・ミリア・イ・ダンニ adv. 何千年もの間 「補語」

全ては非常に明確だった、要するに：すぐに死のうが、20 年後に死のうが、死ぬのはいつだって僕なのだ。

Tutto era molto chiaro, insomma: ero sempre io a morire, sia che morissi subito, sia che morissi fra vent'anni.

「主語」「動詞」「補語」, 「副詞」: 「動詞」「補語」, 「副詞節」

Tutto トゥット pron 全ては 「主語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった 「動詞」

mólto chiaro, モルト・キアーロ adj. 非常に明確な、明白な 「補語」

insómma: インソマ adv. 要するに 「副詞」

ero エロ 1 単半(essere)v.i ～だった 「動詞」

sèmpre センプレ adv. いつも、常に 「副詞」

io イオ pron 僕 「補語」

a morire, ア・モリーレ 不定詞・限定 v.i 死ぬのは 「形容詞句」

sia che シア・ケ conj. (仮定) ～であっても 「副詞節」

morissi モリッシ 接・1 単半(morire)v.i 死んだ 「動詞」

sùbito, スービト adv. すぐに 「副詞」

sia che シア・ケ conj. (仮定) ～であっても 「副詞節」

morissi モリッシ 接・1 単半(morire)v.i 死んだ 「動詞」

fra vent'anni. フラ・ヴァンタンニ adv. 20 年後に 「副詞句」

この時点で、僕の思考を少しかき乱したのは、まだ生きていない 20 年の人生を考えた時に僕の心に感じた恐ろしい虚しさだった。

A questo punto quel che mi turbava un po' nel mio ragionamento era il vuoto terribile che sentivo in me al pensiero di vent'anni di vita non ancora vissuta.

「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

A questo punto ア・ケスト・プント adv. この時点で

「副詞句」

quel ケル pron 物は

「主語」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

mi ミ pron 僕を

「直接目的語」

turbava トゥルバーヴァ 3 単半(turbare)v.t かき乱した

「動詞」

un po' ウン・ポ° adv. 少し

「副詞句」

nel mio ragionamento ネル・ミオ・ラジヨナメント adv. 僕の思考を

「間接目的語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった

「動詞」

il vuoto terribile イル・ウオト・テリービレ n.m 恐ろしい虚しさ、空虚

「補語」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

sentivo センチーヴォ 1 単半(sentire)v.t 感じた

「動詞」

in me イン・メ adv. 僕の心の中に

「副詞句」

al pensiero アル・ペンシエロ adv. 考えた時に

「副詞句」

di vent'anni ディ・ヴェンタンニ adv. 20 年について

「副詞句」

di vita ディ・ウァーイタ adj. 人生の

「形容詞句」

non ancora vissuta. ノン・アソコーラ・ヴィスータ

adj. まだ生きていない

「形容詞句」

PARTE SECONDA 第2部

しかし、いずれにせよ、20年後に、死ぬべき時に居なければならなかった時に、僕の考えはどうだったのかを想像することで感情を押さえつけるしかなかった。

Ma non avevo che da soffocarlo immaginando quali sarebbero stati i miei pensieri dopo vent'anni, quando mi sarei dovuto trovare in ogni modo a quel punto.

Ma 「動詞句」「目的語」

Ma マ conj. しかし

non avevo ノン・アヴェーヴォ 1 単半・否定(avére)v.t なかった

「動詞句」

che ケ conj.(non...che) ～しか

「目的語」

da soffocarlo ダ・ソッフォカルロ 不定詞(dare a+不定詞 soffocare+lo)

n. それを押さえつけること

「目的語」

immaginando イマジナント ジェルンディオ(immaginare)adv. (方法) 想像して

「副詞句」

quali クワリ adj(quale).pl どのような

「補語」

sarebbero stati サレベロ・スターティ 条・3 複現・完了形(essere)v.i ～だった 「動詞句」

i miei pensieri イ・ミエイ・ペンシエーリ pl(pensiero).n.m 僕の考えは

「主語」

dopo vent'anni, トーボ・ウエンタンニ adv. 20 年後に

「副詞句」

quando クワント conj. ～の時に

「副詞節」

mi sarei dovuto trovare ミ・サレイ・トヴァート・トロヴァーレ 条・1 単現・完了形・必要(dovére+不定詞 trovarsi)

v.pr (ある状態に) 居なければならない

「動詞句」

in ogni modo イン・オンニ・モート adv. いずれにせよ

「副詞句」

a quel punto. ア・ケル・プント adv. その時に

「副詞句」

dare a+不定詞 (da+不定詞) ～する原因となる、きっかけとなる

dare a dividere 信じさせる、示す、理解させる

dare a vedere 信じ込ます、ふりをする

死ぬ瞬間については、どのようにとかいつとかは重要でない、それは明らかだ。それゆえ(そして、その「それゆえ」が表わす推論の全体の脈絡を見失わないことが重要である)、従って、僕は上訴が棄却されるのを受け入れなければならない。

Dal momento che si muore, come e quando non importa, è evidente. Dunque (e il difficile era di non perder di vista tutto il filo dei ragionamenti che quel “dunque” rappresentava), dunque dovevo accettare che il mio ricorso fosse respinto.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」, 「動詞」 「補語」 | Dunque(e 「主語」 「動詞」 「補語」),
dunque 「動詞句」 「目的語」

Dal momento ダル・モメント adv. (限定) その瞬間に関しては 「副詞句」
che ケ adj. ～する 「形容詞節」
si muore, シ・ムレ 3 単現(morirsi)v.pr 死ぬ 「動詞句」
come e quando コメ・エ・クワント adv. どのようにとかいつとかは 「主語」
non importa, ノン・インポルタ 3 単現・否定(importare)v.i 重要ではない 「動詞句」
è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」
evidente. エヴィデンテ adj. 明らかな 「補語」
Dunque トゥンケ conj. それゆえ、だから
(e エ conj. そして
il difficile イル・ディフィチレ n.m 困難は 「主語」
era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」
di non perder デイ・ノン・ペルテール不定詞・否定形 n. 失わない事 「補語」
di vista tutto il filo デイ・ヴィスタ・トゥット・イル・フィーロ adv. 全体の脈絡を 「間接目的語」
dei ragionamenti デイ・ラジヨナメント adj. 推論の 「形容詞句」
che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
quel “dunque” ケル・トゥンケ n.m その「だから」が 「主語」
rappresentava), ラプレゼンターヴァ 3 単半・時制の一致(rappresentare)
v.t 表す 「動詞」
dunque トゥンケ conj. 従って
dovevo accettare トヴェウヴォ・アツェッターレ 1 単半・必要(docere+不定詞 accettare)
v.t 受け入れなければならなかった 「動詞句」
che ケ conj. ～ということを 「目的語」
il mio ricorso イル・ミオ・リコール n.m 上訴が 「主語」
fosse respinto. フォッセ・レスピント 接・3 単半・受動・時制の一致(respingere)
v.t 却下される 「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

この時に初めていわば権利を手に入れた、ある意味で第二の仮説を考える許可を得た：自分は赦免された。

A quèsto punto soltanto, avevo per così dire il diritto, mi davo in cèrto qual mòdo il permesso di considerare la seconda ipòtesi: ero graziato.

「副詞句」, 「動詞」 「目的語」, 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」: 「動詞句」

A quèsto punto soltanto, ア・クェスト・プント・ソルタント adv. この時になって初めて 「副詞句」

avevo アヴ・ェーヴォ 1 単半(avére)v.t 持った、手に入れた 「動詞」

per così dire ヘル・コシ・デーレ adv. いわば 「副詞句」

il diritto, イル・ディレット n.m 権利を 「目的語」

mi davo ミ・ダヴォ 1 単半(darsi)v.pr 手に入れた、自分に与えた 「動詞句」

in cèrto qual mòdo イン・チェルト・クワル・モート adv. ある意味で 「副詞句」

il permesso イル・ヘルメツ n.m 許可 「目的語」

di considerare ディ・コンシデラーレ 不定詞・目的 adj. 考えるための 「形容詞句」

la seconda ipòtesi: ラ・セコンダ・イポーテシ n.f 第二の仮説を 「目的語」

ero graziato. エロ・グラツィアート 1 単半・受動(graziare)v.t 赦免された 「動詞句」

困難だったのは、馬鹿げた喜びで僕の両目を刺す、心と体のこの衝動を穏やかに鎮めなければならなかったことだ。

La difficoltà era che dovevo rendere meno violento questo slancio del cuore e del corpo che mi pungeva gli occhi di una gioia insensata.

「主語」 「動詞」 「補語」

La difficoltà ラ・ディッフィコルタ n.f 困難は 「主語」

era エラ 3 単半(essere)v.i 〜だった 「動詞」

che ケ conj. 〜ということ 「補語」

dovevo rendere トヴ・ェーヴォ・レンデル 1 単半・必要(dovére+不定詞 rendere)

v.t (状態) 〜にしなければならない 「動詞句」

meno violento メノ・ヴィオレント adj. もっと穏やかに 「補語」

questo slancio クェスト・スランシオ n.m この衝動を 「目的語」

del cuore テル・クオーレ adj. 心の 「形容詞句」

e エ conj. そして

del corpo テル・コルポ adj. 体の 「形容詞句」

che ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

mi ミ pron 僕の 「間接目的語」

pungeva プンジェヴァ 3 単半・時制の一致(pungere)v.t 刺す 「動詞」

gli occhi リ・オッキ pl(occhio).n.m 両目を 「直接目的語」

di una gioia insensata. ディ・ウナ・ジョイ・インセンサタ

PARTE SECONDA 第2部

adv.(手段) 馬鹿げた喜びで

「副詞句」

僕はその叫びを鎮めて、理性に変換しなければならなかった。

Dovevo cercare di calmare quel grido, di ridurlo alla ragione.

「動詞句」「目的語」, 「動詞句」「目的語」

Dovevo cercare トヴェウヴォ・チェルカーレ 1 単半・必要(dovére+不定詞 cercare)

v.i(+不定詞 ~しようと) 努めなければならなかった

「動詞句」

di calmare デイ・カルマーレ 不定詞 v.t 鎮める

「動詞句」

quel grido, ケル・グリート n.m その叫びを

「目的語」

di ridurlo デイ・リトウル・ロ 不定詞(ridurre+lo)v.t ~に変える

「動詞句」

alla ragione. アッラ・ラジオーネ adv. 理性に

「補語」

第二の仮定によってもっともらしくしたいなら、この仮説においても理性的でなければならなかった。

Dovevo essere ragionevole anche in questa ipotesi, se volevo rendere plausibile la mia rassegnazione nell'altra.

「動詞句」「補語」, 「副詞節」

Dovevo essere トヴェウヴォ・エッセレ 1 単半・必要・変化(dovere+不定詞 essere)

v.i ~にならなければならなかった

「動詞句」

ragionevole ラジオーネウオレ adj. 理性的な

「補語」

anche in questa ipotesi, アンケ・イン・クェスタ・イポテーシ adv. この仮説においても

「副詞句」

se se conj. もし~ならば

「副詞節」

volevo rendere ヴォレーヴォ・レンデーレ 1 単半・願望・変化(volére+不定詞 rendere)

v.t ~にしたい

「動詞句」

plausibile プラウジビレ adj. もっともらしい

「補語」

la mia rassegnazione ラ・ミア・ラセニャツィオーネ n.m 自分の諦めを

「目的語」

nell'altra. ネラルトラ adv. (手段) 第二の仮定によって

「副詞句」

それが上手く出来ると、1時間の平穏が獲得できた。

Quando vi riuscivo, avevo conquistato un'ora di calma.

「副詞節」, 「動詞句」「目的語」

Quando クワント conj. ~した時

「副詞節」

vi ヴィ pron それに

「間接目的語」

riuscivo, リウシヴォ 3 単半(riuscire)v.i ~に成功した、上手く出来た

「動詞」

avevo conquistato アヴェウヴォ・コンクイスタート 1 単半・完了形(conquistare)v.t 獲得できた

「動詞句」

un'ora di calma. ウノーラ・デイ・カルマ n.f 1時間の平穏を

「目的語」

これは、少なくとも、考慮にいれるべき点だ。僕が再び司祭の面会を断ったのはそんな時だった。

Quésto, perloméno, era da tener presente. È in un simile moménto che ho rifiutato ancóra una vòlta di ricevere il prète.

「主語」, 「副詞」, 「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」「主語」

Quésto, ケスト pron	これは	「主語」
perloméno, ペルロメノ adv.	少なくとも	「副詞」
era エラ 3 単半(èssere)v.i	～だった	「動詞」
da tener presente. タ・テネル・プレゼンテ	不定詞・すべき事 n. 考慮にいれるべき点	「補語」
È エ 3 単現(èssere)v.i	～である	「動詞」
in un simile moménto イン・ウン・シーミレ・モメント adv.	同様の瞬間	「補語」
che ケ conj.	～ということは	「主語」
ho rifiutato オ・リフィウタート 1 単現・完了形(rifiutare)v.t	断った	「動詞句」
ancóra una vòlta アンコーラ・ウナ・ヴォルタ adv.	もう一度	「副詞句」
di ricevere il prète. ディ・リチェーヴェレ・イル・プレテ	不定詞 n. 司祭の受け入れを	「目的語」

僕は横になっていた。空の金色がかった色によって、夏の夕暮れが訪れるのを感じた。

Ero stéso e sentivo l'approssimarsi délla séra d'estate da un cèrto color biondo del cièlo.

「動詞」「補語」 e 「動詞」「目的語」「副詞句」

Ero エロ 1 単半・状態(èssere)v.i	～だった	「動詞」
stéso ステーズ adj.	横たわった	「補語」
e エ conj.	そして	
sentivo センチーヴォ 1 単半(sentire)v.t	感じた	「動詞」
l'approssimarsi ラッロッシマルシ n.	接近を	「目的語」
délla séra d'estate デッラ・セーラ・デステアテ adj.	夏の夕暮れの	「形容詞句」
da ダ prep (手段)	～から、～によって	「副詞句」
un cèrto color biondo ウン・チェルト・コロール・ビオント n.m	金色がかった色	「目的語」
del cièlo. デル・チェーロ adj.	空の	「形容詞句」

PARTE SECONDA 第2部

僕は上訴を断ったばかりで、血流が僕の体内を整然と流れるのを感じていた。

Avevo appena respinto la domanda di grazia e sentivo circolare regolarmente le onde del mio sangue.

「動詞句」「目的語」 e 「動詞」「補語」「目的語」

Avevo appena respinto アヴェーヴァ・エッペーナ・レスピント 1 単半・完了形(respingere)

v.t 断ったばかりだった

「動詞句」

la domanda di grazia ラ・トマント・デ・イ・グラツィア n.f 上訴を

「目的語」

e e conj. そして

sentivo センチーヴォ 1 単半・知覚動詞(sentire)v.t 感じていた

「動詞」

circolare チルコラーレ 不定詞・le onde の動作 v.i 循環する

「補語」

regolarmente レゴラルメンテ adv. 順調に

「副詞」

le onde レ・オンデ pl(onda).n.f 波を

「目的語」

del mio sangue. デル・ミーオ・サングーレ adj. 血液の

「形容詞句」

司祭に会おうと思わなかった。

Non avevo bisogno di vedére il prète.

「動詞句」「目的語」

Non avevo ノン・アヴェーヴォ 1 単半・否定(avére)v.t ～が無かった

「動詞句」

bisógno ビゾーニョ n.m 欲望が

「目的語」

di vedére デ・ウエデーレ 不定詞・目的 adj. 会うための

「形容詞句」

il prète. イル・プレーテ n.m 司祭に

「目的語」

久しぶりに、マリーの事を考えた。

Per la prima volta da molto tempo ho pensato a Maria.

「副詞句」「動詞句」「間接目的語」

Per la prima volta da molto tempo ペル・ラ・プリーマ・ヴォルタ・ダ・モルト・テンポ adv. 久しぶりに 「副詞句」

ho pensato オ・ペンサート 1 単現・完了形(pensare)v.i 考えた、思った

「動詞句」

a Maria. ア・マリーア adv. マリーのことを

「間接目的語」

もう何日も、彼女は僕に手紙をよこさない：その晩ぼくは熟考して、多分、死刑囚の愛人であることに疲れたのだらうと心の中で思った。

Erano lunghi giorni che non mi scriveva più: quella sera ho riflettuto e mi sono detto che forse si era stancata di essere l'amante di un condannato a morte.

「動詞」「補語」「主語」：「副詞句」「動詞句」e「動詞句」「目的語」

Erano エーノ 3 複半(essere)v.i 〜だった 「動詞」

lunghi giorni ルンギ・ジョールノ pl(giorno).n.m 長い日々 「補語」

che ケ conj. 〜ということは 「主語」

non ...scriveva ノン...スクリヴァーヴァ 3 単半・否定(scrivere)v.t 書かなかった 「動詞句」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

più: ビー ヌ adv. (否定文で) もう〜ない 「副詞」

quella sera クェッラ・セーラ adv. その晩 「副詞句」

ho riflettuto オ・リフレットゥート 1 単現・完了形(riflettere)v.i 熟考した 「動詞句」

e エ conj. そして

mi sono detto ミ・ソーノ・デット 1 単現・完了形(dirsi)v.pr 心の中で思った 「動詞句」

che ケ conj. 〜ということを 「目的語」

forse フォルセ adv. 多分、もしかしたら 「副詞」

si era stancata シ・エラ・スタンカータ 3 単半・完了形(stancarsi)v.pr 疲れた 「動詞句」

di essere ディ・エッセレ 不定詞・原因 adv. 〜であることに 「副詞句」

l'amante ラマンテ n.f 愛人 「補語」

di un condannato a morte. ディ・ウン・コンダナート・ア・モールテ

adj. 死刑囚の 「形容詞句」

PARTE SECONDA 第2部

彼女は病気なのか死んだのかという考えも心に浮かんだ。それは物事の成り行きだった。

Mi è venuta anche l'idea che forse era malata o morta. Era nell'ordine delle cose.

	「間接目的語」「動詞句」「主語」 「動詞」「補語」
Mi ミ pron 僕の頭に	「間接目的語」
è venuta エ・ヴェヌタ 3 単現・完了形.f(venire)v.i (心に) 浮かんだ	「動詞句」
anche l'idea アンケ・リデーア n.f 考えも	「主語」
che ケ conj. (同格) ~という	「形容詞節」
forse フォルセ adv. もしかすると、ことによると	「副詞」
era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ~である	「動詞」
malata マラータ adj(malato).f 病気の	「補語」
o オ conj. または	
morta. モールタ adj(morto).f 死んだ	「補語」
Era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ~である	「動詞」
nell'ordine ネールディネ adv. 秩序の	「補語」
delle cose. デッレ・コセ adj. 物事の	「形容詞句」

確かに、僕はそれを知ることが出来なかっただろう。なぜなら、今では引き離された僕たちの体の他には僕たちを結びつけるものは何もないし、お互いを思い出させるものも無いのだから。それにとにかく、その瞬間から僕にとって、マリーの記憶はどうでも良かったのかもしれない。

Certo non l'avrei saputo perché al di fuori dei nostri corpi ormai divisi nulla ci legava o ci ricordava l'un l'altro, e del resto, a partire da quel momento, il ricordo di Maria mi sarebbe stato indifferente.

	「副詞」「動詞句」「副詞節」, e 「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞句」「補語」
Certo チェルト adv. 確かに	「副詞」
non l'avrei saputo ノン・ラヴレイ・サプート 条・1 単現・完了形・推量・否定(sapere)	
v.t それを知ることが出来なかっただろう	「動詞句」
perché ベルケ conj. ~なのだから	「副詞節」
al di fuori dei nostri corpi アル・ディ・フォーリ・デイ・ノストリ・コルピ	
adv. 僕たちの体の他には	「副詞句」
ormai divisi オルマイ・ディヴィシ 過去分詞(dividere)・受動	
adj. 今では引き離された	「形容詞句」
nulla ヌッラ pron 何も~ない	「主語」
ci チ pron 僕たちを	「目的語」
legava ジェカヴァ 3 単半(legare)v.t 結びつける	「動詞」
o オ conj. または	
ci チ pron 僕たちを	「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

ricordava リコルダヴァ 3 単半(ricordare)v.t 思い出させる	「動詞」
l'un l'altro, ルン・ラルトロ adv. お互いに	「副詞句」
e エ conj. そして	
del resto, デル・レスト adv. とにかく、だがしかし	「副詞句」
a partire da quel momento, ア・パルチレ・デ・ケル・モメント adv. その瞬間から	「副詞句」
il ricordo di Maria イル・リコルト・ディ・マリア n.m マリーの記憶は	「主語」
mi ミ pron 僕にとって	「間接目的語」
sarebbe stato サレバ・スタート 条・3 単現・完了形・推量(essere)v.i 〜だったかもしれない	「動詞句」
indifferente. インディフェレンテ adj. どうでもよい	「補語」

死んだのなら、もう僕は興味が無い。これは、普通のことだと思う。いつか僕が死んだら、他人は僕を忘れるのと同じだ。

Mòrta, non mi interessava più. Questo, lo trovavo normale, così come il fatto che gli altri mi dimenticheranno dopo che sarò mòrto.

	「副詞」, 「動詞句」 「間接目的語」 「動詞句」 「副詞」
	「主語」, 「目的語」 「動詞」 「補語」, 「副詞句」
Mòrta, モルタ 過去分詞(morire)f・假定 adv. 死んだとしたら	「副詞」
non ...interessava ノン...インテレッサーヴァ 3 単半・否定(interessare)v.i 興味を引き起こさない	「動詞句」
mi ミ pron 僕にとって	「間接目的語」
più. ピウ adv. もう〜ない	「副詞」
Questo, ケスト pron これは	「主語」
lo ロ pron それを	「目的語」
trovavo トロヴァーヴォ 1 単半・時制の一致(trovare)v.t 思う	「動詞」
normale, ノルマーレ adj. 普通の、通常の	「補語」
così come il fatto コシ・ッコーメ・イル・ファット adv. その事実と同様に	「副詞句」
che ケ conj. (同格) 〜という	「形容詞節」
gli altri リ・アルトリ pron.pl 他人が	「主語」
mi ミ pron 僕を	「目的語」
dimenticheranno ディメンチケランノ 3 複未(dimenticare)v.t 忘れるだろう	「動詞」
dopo che トーポ・ケ conj. 〜した後で	「副詞節」
sarò mòrto. サロ・モルト 1 単未・完了形(morire)v.i いつか死んだ	「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

誰も僕とはもう関わらないだろう。考えるのが辛いとさえ言えない。結局、習慣にならない考えは存在しないのと同じだ。

Non avranno più nulla a che fare con me. Non posso nemmeno dire che fosse duro a pensarci. In fondo non c'è idea cui non si finisca per far l'abitudine.

「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「動詞句」「主語」
 Non avranno ノン・アヴランノ 3 複未・否定(avére)v.t 持たないだろう 「動詞句」
 più nulla ピウ・ヌッラ pron もう何も～ない 「目的語」
 a che fare con me. ア・ケ・ファレ・コン・メ adv. (目的) 僕と何かをするために 「副詞句」
 Non posso nemmeno dire ノン・ポッソ・ネメーノ・デーレ 1 単現・可能・否定(potére+不定詞 dire)
 v.t いう事さえできない 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということ 「目的語」
 fosse フォッセ 接・3 単半(essere)v.i ～である 「動詞」
 duro ドゥロ adj. 困難な 「補語」
 a pensarci. ア・ペンサルチ 不定詞・目的 adv. 考えるのが 「副詞句」
 In fondo イン・フォント adv. 結局 「副詞句」
 non c'è ノン・チェ 3 単現・存在・否定(esserci)v.i ～がない 「動詞句」
 idea イデア n.f 考えは 「主語」
 cui クイ pron それに～する 「形容詞節」
 non si finisca per far l'abitudine. ノン・シ・フィニスカ・ペル・ファール・ラビトゥーディネ 接・3 単現・結局・否定
 v.pr(finirsi per+不定詞 fare) 習慣にならない 「動詞句」

丁度その時、司祭が入ってきた。司祭が目に入った時、僕は少し震えた。彼はそれに気づいて、僕に、恐れることは無いと言った。

È esattamente in quel momento che è entrato il prete. Quando l'ho visto ho avuto un piccolo tremito. Egli se n'è accorto e mi ha detto di non aver paura.

「動詞」「補語」「主語」 | 「副詞節」「動詞句」「目的語」
 「主語」「動詞句」「間接目的語」 e 「間接目的語」「動詞句」「補語」
 È エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」
 esattamente エサッタマンテ adv. 丁度、まさに 「副詞」
 in quel momento イン・ケル・モメント adv. その時 「補語」
 che ケ conj. ～ということは 「主語」
 è entrato エ・アントラト 3 単現・完了形(entrare)v.i 入って来た 「動詞句」
 il prete. イル・プレテ n.m 司祭が 「主語」
 Quando クワント conj. ～する 「副詞節」
 l'ル pron 彼を 「目的語」
 ho visto オウヴィスト 1 単現・完了形(vedere)v.t 見た 「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

ho avuto オ・アヴート 1 単現・完了形(avére)v.t 持った	「動詞句」
un piccolo tremito. ウン・ピッコロ・トレミト n.m わずかな震え	「目的語」
Égli エッリ pron 彼は	「主語」
se ...è accorto セ...エ・アコルト 3 単現・完了形(accorgersi)v.pr 気が付いた	「動詞句」
n' ヌ pron(ne) それについて	「間接目的語」
e エ conj. そして	
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
di non aver デイ・ノン・アヴァール 不定詞・mi の動作 v.t 持たない	「補語」
paùra. パウーラ n.f 恐れ	「目的語」

僕は彼に、いつもは違う時間に来ると言った。

Gli ho detto che di solito veniva a un'altr'óra.

	「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
Gli リ pron 彼に	「間接目的語」
ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
che ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
di solito デイ・ソルト adv. いつもは	「副詞句」
veniva ヴェニーヴァ 3 単半・習慣(venire)v.i 来る	「動詞」
a un'altr'óra. ア・ウルトローラ adv. 違う時間に	「副詞句」

彼は、それは純粋に友好的な訪問で、僕の上告とは何の関係もないし、彼はそれについて何も知らないと答えた。

Mi ha risposto che era una visita puramente amichevole che non aveva nulla a che fare col mio ricorso di cui non sapeva nulla.

	「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
Mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha risposto ア・リスポスト 3 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた	「動詞句」
che ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である	「動詞」
una visita ウナ・ヴィジタ n.f 訪問	「補語」
puramente amichevole プラメンテ・アミケーヴォレ adv. 純粋に友好的な	「形容詞句」
che ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
non aveva ノン・アヴァー 3 単半・否定(avére)v.t ～がない	「動詞句」
nulla ヌッラ pron 何も～ない	「目的語」
a che fare ア・ケ・ファーレ adv. (目的) ～するために	「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

col mio ricórso コル・ミオ・リコール adv. 上告を 「間接目的語」

di cui デイ・クイ adv. それについて 「副詞句」

non sapeva ノン・サペ・ヴァ 3 単半(sapére)・否定・時制の一致

v.t 知らない 「動詞句」

nulla. ヌッラ pron 何も～ない 「目的語」

彼は僕のベッドに腰を下ろし、隣に座るようにと僕に言った。僕は断った。それでも、彼はとても優しい表情をしていることに気が付いた。

Si è seduto sulla mia branda e mi ha detto di mettermi vicino a lui. Ho rifiutato. Trovo tuttavia che aveva un'espressioné molto dolce.

「動詞句」「副詞句」 e 「間接目的語」「動詞句」「補語」

「動詞句」 | 「動詞」「副詞」「目的語」

Si è seduto シ・エ・セドゥート 3 単現・完了形(sedersi)v.pr 座った、腰を下ろした 「動詞句」

sulla mia branda スッラ・ミア・ブランド adv. 僕のベッドの上に 「副詞句」

e エ conj. そして

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

di mettermi デイ・メッテルミ 不定詞(mettersi)・mi の動作 v.pr 座る、身をおく 「補語」

vicino a lui. ヴィチーノ・アルーイ adv. 彼の隣に 「副詞句」

Ho rifiutato. オ・リフィウタート 1 単現・完了形(rifiutare)v.t 断った 「動詞句」

Trovo トゥロヴァ 1 単半(trovare)v.t 気付いた 「動詞」

tuttavia トゥッタヴァーイア adv. しかし、でも 「副詞」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

aveva アヴェーヴァ 3 単半(avére)v.t(特徴) ～をしていた、～があった 「動詞」

un'espressioné ウネスプレシオーネ n.f 表情を 「目的語」

molto dolce. モルト・ドルチェ adj. とても優しい 「形容詞句」

彼はしばらく座っままで、前腕を膝の上に置き、頭を前に傾け、自分の両腕を見つめていた。

È restato un moménto seduto, gli avambracci sulle ginòcchia, la tèsta reclinata in avanti, a guardarsi le mani.

「動詞句」「補語」

È restato エ・レスタート 3 単現・完了形・継続(restare)v.i ～のままでいた 「動詞句」

un moménto ウン・モメント adv. しばらく 「副詞句」

seduto, セドゥート adj. 座った 「補語」

gli avambracci リ・アヴァンブラッチ pl(avambraccio)n.m(様態) 前腕を～した 「副詞句」

sulle ginòcchia, スレ・ジノッキア adv. 膝の上に 「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

la tèsta ラ・テスタ n.f 頭は	「主語」
reclinata レクリナタ adj. 傾けた	「形容詞」
in avanti, イン・アヴァンティ adv. 前に	「副詞句」
a guardarsi ア・グワルダールシ 不定詞・様態 adv. 見つめて	「副詞句」
le mani. レ・ミニ pl(mano).n.f 両腕を	「目的語」

その両腕は細いが筋肉質で、僕に2頭の敏捷な獣を思わせた。

Erano fini e muscolóse, mi facevano pensare a due béstie àgili.

Erano エーノ 3 複半(essere)v.i ーだった	「動詞」「補語」, 「目的語」「動詞」「補語」
「主語」は le mani.	
fini フィニ adj(fino).pl 細い	「補語」
e エ conj. そして	
muscolóse, ムスコローゼ adj(muscolóso).pl 筋骨たくましい	「補語」
mi ミ pron 僕に	「目的語」
facevano ファチェヴァノ 3 複半・使役(fare+不定詞)	
v.t ーさせた	「動詞」
pensare ペンサーレ 不定詞・mi の動作 v.i(a のことを) 思う	「補語」
a due béstie ア・トゥエ・ベステイエ adv. 2頭の獣を	「間接目的語」
àgili. アージリ adj(àgile).pl 敏捷な	「形容詞」

彼はゆっくり両手を擦り合わせ、しばらく頭を下げたままだった。あまりにも長いので、ある瞬間、僕は彼の存在を忘れてしまった気がした。

Le ha passate lentamente l'una cóntro l'altra e pòi è rimasto così, con la tèsta sèmpe china, tanto a lungo che ho avuto l'impressione, a un certo mómento, di essermi dimenticato di lui.

	「目的語」「動詞句」「副詞句」 e 「副詞」「動詞句」「補語」, 「副詞句」
Le レ pron.f.pl それらを	「目的語」
ha passate ア・パッサーテ 3 単現・完了形.f.pl(passare)v.t 滑らせた、動かした	「動詞句」
lentamente レンタメンテ adv. ゆっくり	「副詞」
l'una cóntro l'altra ルナ・コントロ・ラルトラ adv. 互いに	「副詞句」
e エ conj. そして	
pòi ポーイ adv. それから	「副詞」
è rimasto エ・リマスト 3 単現・完了形(rimanére)v.i ーのままでいた	「動詞句」
così, コシ adv. このように	「補語」
con la tèsta コン・ラ・テスタ adv.(様態) 頭を〜で	「副詞句」
sèmpe china, センプレ・チーナ adj(chino).f 相変わらず傾けた	「形容詞句」

PARTE SECONDA 第2部

tanto a lungo タント・ア・ルンゴ adv. 長い間	「副詞句」
che ケ conj.(tanto...che) 余りに...なので～する	「形容詞節」
ho avuto オ・アヴート 1 単現・完了形(avére)v.t. ～があった	「動詞句」
l'impressione, リンプレッション n.f. 印象	「目的語」
a un certo momento, ア・ウン・チェルト・モメント adv. ある瞬間	「副詞句」
di essermi dimenticato ディ・エセルミ 不定詞・完了形・同格	
adj. 忘れてしまったという	「形容詞句」
di lui. ディ・ルーイ adv. 彼のことを	「間接目的語」

しかし彼は突然頭をあげ、僕の顔を見つめて言った。「どうして私の訪問を拒否するのですか？」

Ma ha sollevato bruscamente la testa e mi ha guardato in faccia: “Perché,” mi ha detto, “rifiuti le mie visite?”

Ma 「動詞句」「副詞」「目的語」 e 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」:
《「問いかけ」》, 「間接目的語」「動詞句」, 《「動詞」「目的語」》

Ma マ conj. しかし	
ha sollevato ア・ソッレヴァート 3 単現・完了形(sollevare)v.t. 上げた	「動詞句」
bruscamente ブルスカメンテ adv. だしぬけに、突然	「副詞」
la testa ラ・テスタ n.f. 頭を	「目的語」
e エ conj. そして	
mi ミ pron 僕を	「直接目的語」
ha guardato ア・グワルダート 3 単現・完了形(guardare)v.t. 見つめた	「動詞句」
in faccia: イン・ファッチャ adv. 顔を	「間接目的語」
“Perché,” ヘルケ adv. どうして	「問いかけ」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha detto, ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t. 言った	「動詞句」
“rifiuti リフィウティ 2 単現・疑問文(rifiutare)v.t. 拒否するのですか	「動詞」
le mie visite?” レ・ミー・ヴィージテ pl(visita).n.f. 私の訪問を	「目的語」

神を信じていない、と答えた。

Ho risposto che non credevo in Dio.

	「動詞句」「目的語」
Ho risposto オ・リスポスト 1 単現・完了形(rispondere)v.t. 答えた	「動詞句」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
non credevo ノン・クレデーヴォ 1 単半・否定・時制の一致(crédere)	
v.t(in を) 信じていない	「動詞句」
in Dio. イン・ディオ adv. 神の存在を	「間接目的語」

PARTE SECONDA 第2部

彼は僕がそれについて確信があるのかを知りたがっていたので、それを僕に尋ねるまでもないと彼に答えた：僕には、それは重要ではない問題に思われた。

Ha voluto sapére se ne ero ben sicuro e gli ho détto che non avevo bisógno di chiedermelo: mi sembrava una questióne senza importanza.

「動詞句」「目的語」e「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」:

「間接目的語」「動詞」「補語」

Ha voluto sapére ア・ウゝォルトサヘーレ 3 単現・完了形・願望(volére+不定詞 sapére)

v.t	知りたがっていた	「動詞句」
se	セ conj. ～かどうかを	「目的語」
ne	ネ adv. それについて	「間接目的語」
ero	エロ 1 単半・時制の一致(èssere)v.i ～である	「動詞」
ben sicuro	ベン・シケーロ adj. 確信のある	「補語」
e	エ conj. そして	
gli	リ pron 彼に	「間接目的語」
ho détto	オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
che	ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
non avevo	ノン・アヴェーヴォ 1 単半・否定(avére)v.t ～がない	「動詞句」
bisógno	ビスオーニョ n.m 必要が	「目的語」
di chiedermelo:	ディ・キエデルメロ 不定詞・目的	
adj.	私にそれを尋ねるための	「形容詞句」
mi	ミ pron 僕には	「間接目的語」
sembrava	センブラヴァ 3 単半(sembrare)v.i ～に思われた	「動詞」
una questióne	ウナ・クエスチオーネ n.f 問題	「補語」
senza importanza.	センツァ・インポルトンツァ adv. 重要性のない	「副詞句」

それから頭を後ろに倒して、壁によりかかって、手のひらを両腿に添えた。

Allóra ha gettato la tèsta all'indietro e si è addossato al muro, le palme appoggiate alle cosce.

「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」e「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

Allóra	アッローラ adv. それから、その時	「副詞」
ha gettato	ア・ジエッタート 3 単現・完了形(gettare)v.t 投げた	「動詞句」
la tèsta	ラ・テスタ n.f 頭を	「目的語」
all'indietro	アリンディエトロ adv. 後ろに	「副詞句」
e	エ conj. そして	
si è addossato	シ・エ・アドッサート 3 単現・完了形(addossarsi)v.pr もたれかかった	「動詞句」
al muro,	アル・ムーロ adv. 壁に	「間接目的語」

PARTE SECONDA 第2部

le palme レ・パーム pl(palma).n.f(様態) 手のひらは～して 「副詞句」
 appoggiate アポジヤテ 過去分詞・状態(appoggiare).adj.pl 置いた 「形容詞」
 alle cosce. アレ・コッシェ adv. 両腿に 「副詞句」

僕に話しかける様子も無しに、人は時々自分は確信していると思い込むが、実際は全く違くと、彼は僕に言った。

Quasi senza aver l'aria di parlarmi, ha detto che a volte ci si crede sicuri, e in verità non lo si è affatto.

「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」, e 「副詞句」 「動詞句」 「補語」 「動詞句」

Quasi senza +不定詞 クワジ・センツァ conj. ほとんど～せずに 「副詞句」
 aver アヴェール 不定詞(avére)v.t ～がある 「動詞」
 l'aria ラーリア n.f 様子 「目的語」
 di parlarmi, ディ・パルラルミ 不定詞・目的 adj. 僕に話しかけるための 「形容詞句」
 ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 a volte ア・ヴォルテ adv. 時々 「副詞句」
 ci si crede チ・シ・クレテ 3 単現(credersi)v.pr ～だと思う 「動詞」
 sicuri, シーリ adj. 確信した 「補語」
 e エ conj. そして
 in verità イン・ヴェリタ adv. 実は 「副詞句」
 non ...si è ノン...エ 3 単現・否定(èssersi)v.i ～でない 「動詞句」
 lo ロ pron それ 「補語」
 affatto. アフファット adv. まったく 「副詞」

僕は何も言わなかった。彼は僕を見つめて、僕に尋ねた：「これについてどう思いますか？」僕は「そう言う事はある」と答えた。

Io non dicevo nulla. Mi ha guardato e mi ha chiesto: "Cosa ne pensi, tu?" Ho risposto che poteva darsi.

「主語」 「動詞句」 「目的語」 | 「目的語」 「動詞句」 e 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」
 「動詞句」 「目的語」

Io イオ pron 僕は 「主語」
 non dicevo ノン・ディエヴォ 1 単半・否定(dire)v.t 言わなかった 「動詞句」
 nulla. ヌッラ pron 何も～ない 「目的語」
 Mi ミ pron 僕を 「目的語」
 ha guardato ア・グワルダート 3 単現・完了形(guardare)v.t 見つめた 「動詞句」
 e エ conj. そして

PARTE SECONDA 第2部

mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
ha chiesto: ア・キェスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた	「動詞句」
“Cosa ッコーサ n.f(疑問文で) 何を、どのように	「直接目的語」
ne ネ pron それについて	「間接目的語」
pensi, ヘンシ 2 単現(pensare)v.t 思う	「動詞」
tu?” トゥ pron あなたは	「主語」
Ho rispósto オ・リスポ°スト 1 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた	「動詞句」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
poteva darsi. 非人称・ポ°テーヴァ°ダ°ルシ 3 単半・可能性(potére+不定詞 darsi)	
v.pr 起こりうる、あり得る、そうかもしれない	「動詞句」

僕は、自分が何に本当に興味があるのか確信がなかった、しかし、何に関心がないのかについては完全に確信があった。

In ogni modo, io non ero forse sicuro di ciò che mi interessava realmente, ma ero perfettamente sicuro di ciò che non mi interessava.

	「副詞句」「主語」「動詞句」「補語」,ma 「動詞」「補語」
In ogni modo, イン・オンニ・モド° adv. いずれにしても	「副詞句」
io イオ pron 僕は	「主語」
non ero ノン・エロ 1 単半・否定(essere)v.i ～でなかった	「動詞句」
forse sicuro di ciò フォルセ・シクーロ・ディ・チョ° adj. それについて恐らく確信のある	「補語」
che ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
mi ミ pron 僕にとって	「間接目的語」
interessava インテレサ°ヴァ 3 単半・時制の一致(interessare)v.i 興味を引く	「動詞」
realmente, レアルメンテ adv. 本当に	「副詞」
ma マ conj. しかし	
ero エロ 1 単半(essere)v.i ～だった	「動詞」
perfettamente sicuro di ciò ペ°ルフェクタメンテ・シクーロ・ディ・チョ° adj. それについては完全に確信のある	「補語」
che ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
non mi interessava. ノン・ミ・インテレサ°ヴァ 3 単半・否定・時制の一致	
v.i 僕の興味を引かない	「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

そしてまさに、彼が僕に話していることは、僕には全く興味がない。

E per l'appunto, ciò di cui lui mi parlava non aveva alcun interesse per me.

E 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

E エ conj. そして

per l'appunto, ペル・ラフント adv. まさしく

「副詞句」

ciò di cui チョ・ディ・クイ pron それについて～するものは

「主語」

lui ルーイ pron 彼が

「主語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

parlava パルラーヴァ 3 単半(parlare)v.i 話していた

「動詞」

non aveva ノン・アヴァ 3 単半・否定(avére)v.t ～が無かった

「動詞句」

alcun interesse アルクン・インテレッセ n.m どんな興味も～ない

「目的語」

per me. ペル・メ adv. 僕には

「副詞句」

彼は視線をそらし、じっとしたままで、僕は絶望のあまりそんな風に言ったのかと尋ねた。

Ha girato altrove lo sguardo, e restando sempre lì fermo mi ha chiesto se parlavo così per eccesso di disperazione.

「動詞句」「副詞」「目的語」, e 「副詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Ha girato ア・ジラート 3 単現・完了形(girare)v.t 回転させた

「動詞句」

altrove アルトロヴェ adv. よそに

「副詞」

lo sguardo, ロ・スグワルト n.m 視線を

「目的語」

e エ conj. そして

restando sempre lì fermo レスタント・センプレ・リ・フェルモ ジェルンディオ・持続(restare)

adv. そこにじっとしたままで

「副詞句」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha chiesto ア・キスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた

「動詞句」

se セ conj. ～かどうかを

「直接目的語」

parlavo パルラーヴォ 1 単半(parlare)v.i 言った

「動詞」

così コシ adv. そのように

「間接目的語」

per eccesso ペル・エチェツソ adv. (原因) 過度のために

「副詞句」

di disperazione. ディ・ディスペラツィオーネ adj. 絶望の

「形容詞句」

僕は彼に、絶望なんかしていないと言った。恐ろしかっただけで、まったく当たり前の事だ。

Gli ho detto che non ero disperato. Avevo soltanto paura, ed era più che naturale.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 「動詞」「副詞」「目的語」 ed 「動詞」「補語」	
Gli リ pron 彼に	「間接目的語」
ho detto オ・テット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った	「動詞句」
che ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
non ero ノン・エロ 1 単半・否定・時制の一致(ser)v.i ～でない	「動詞句」
disperato. ディスぺラート adj. 絶望した	「補語」
Avevo アヴェーヴォ 1 単半(avére)v.t ～があった	「動詞」
soltanto ソルタント adv. ただ～だけ	「副詞」
paura, パウラ n/f 恐怖	「目的語」
ed エト conj. そして	
era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である	「動詞」
più che naturale. ピウ・ケ・ナトゥーレ adj. まったく当たり前の	「補語」
più che ピウ・ケ adv. まったく～、ぜったいに～	

「それでは、神があなたを救うでしょう」と、彼は言った。

“Allóra Dio ti aiuterebbe,” ha osservato.

《「副詞」「主語」「目的語」「動詞」》, 「動詞句」	
Allóra アッローラ adv. それでは	「副詞」
Dio ディーオ n.m 神が	「主語」
ti ティ pron あなたを	「目的語」
aiuterebbe,” アイテレッベ 条・3 単現・推量(aiutare)v.t 助けるだろう	「動詞」
ha osservato. ア・オッセヴァート 3 単現・完了形(osservare)v.t 指摘した、述べた	「動詞句」

「私が知っているあなたと同じ状態の人々は皆、神のもとへ戻りました」

“Tutti quèlli che ho conosciuto nelle tue condizioni ritornavano verso di Lui.”

《「主語」「動詞」「間接目的語」》	
Tutti quèlli トゥッティ・ケッリ pron.pl そのような人々は皆	「主語」
che ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
ho conosciuto オ・コノシュート 1 単現・完了形(conoscere)v.t 知っている	「動詞句」
nelle ネッレ prep (状態) ～の状態にある	「副詞句」
tue condizioni トゥーエ・コンディツィオーニ pl(condizione).n.f あなたの状態「目的語」	
ritornavano リトルナヴァノ 3 複半(ritornare)v.i 戻って来た	「動詞」
verso di Lui.” ソ・ディ・ルーイ adv. 神のもとへ	「間接目的語」

僕は彼らにはその権利があることを認めた。このことは、彼らにはまだ時間があることも示している。

Ho riconosciuto che ne avevano il diritto. Ciò provava anche che ne avevano il tempo.

「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」

Ho riconosciuto オ・リコノシュト 1 単現・完了形(riconoscere)v.t 認めた 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

ne ネ adv. それについて 「副詞」

avevano アヴェヴァノ 3 複半・時制の一致(avére)v.t ～がある 「動詞」

il diritto. イル・ディレット n.m n.m 権利 「目的語」

Ciò チョ pron そのことは 「主語」

provava プロヴァヴァ 3 単半・時制の一致(provare)v.t 証明する 「動詞」

anche アンケ conj. ～もまた 「副詞」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

ne ネ adv. それについて 「副詞」

avevano アヴェヴァノ 3 複半・時制の一致(avére)v.t ～がある 「動詞」

il tempo. イル・テンポ n.m 時間 「目的語」

僕としては、誰かに助けて欲しいと思わなかった。そして、まさに、興味のないものに関心を持つための時間は無かった。

Quanto a me, non volevo che mi si aiutasse e per l'appunto mi mancava il tempo di interessarmi a ciò che non mi interessava.

「副詞句」, 「動詞句」「目的語」 e 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「主語」

Quanto a me, クワント・ア・メ adv. 僕に関しては 「副詞句」

non volevo ノン・ヴォレヴォ 1 単半・否定(volére)v.t 望んでいなかった 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

si aiutasse シ・シュタッセ 接・3 単現(aiutarsi)v.pr 助ける 「動詞句」

e エ conj. そして

per l'appunto ペル・ラブント adv. まさに 「副詞句」

mi ミ pron 僕にとって 「間接目的語」

mancava マンカーヴァ 3 単半(mancare)v.i なかった、不足していた 「動詞」

il tempo イル・テンポ n.m 時間が 「主語」

di interessarmi デイ・インテレッサル・ミ 不定詞・目的 adj. 興味をもつための 「形容詞句」

a ciò ア・チョ adv. それに対して 「間接目的語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

non mi interessava. ノン・ミ・インテレッサヴァ 3 単半・否定(interessare)

v.i 僕の興味を引かない 「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

その時、彼の両手は苛立ちの動きを見せたが、彼は立ち上がって僧服のひだを整えた。

In quel momento le sue mani hanno avuto un gesto d'impazienza, ma si è alzato e si è sistemato le pieghe della sottana.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」,ma「動詞句」e「動詞句」「目的語」

In quel momento イン・クエール・モメント adv. その時 「副詞句」

le sue mani レ・スー・エ・マーニ pl(mano).n.f 彼の手は 「主語」

hanno avuto アンノ・アウート 3 複現・完了形(avére)v.t(動作を) した 「動詞句」

un gesto ウン・ジエスト n.m 仕草を 「目的語」

d'impazienza, デ・インパ・ツイエンツァ adj. 苛立ちの 「形容詞句」

ma マ conj. しかし

si è alzato シ・エ・アルツァート 3 単現・完了形(alzarsi)v.pr 立ち上がった 「動詞句」

e エ conj. そして

si è sistemato シ・エ・システマト 3 単現・完了形(sistemarsi)v.pr 整えた 「動詞句」

le pieghe レ・ピエーゲ pl(pièga).n.f ひだを 「目的語」

della sottana. デッラ・ソッターナ adj. 僧服の 「形容詞句」

彼は身なりを整えてから、「友よ」と呼びながら僕の方へ振り向いた。彼がそう言ったとしても、死刑囚に向き合っているからではなかった：彼によれば、我々は誰でも死刑を宣告されているのだ。

Dopo aver finito si è rivolto a me chiamandomi “amico mio”; se mi parlava così non era perché si rivolgeva a un condannato a morte: a parer suo siamo tutti condannati a morte.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」；「副詞節」「動詞句」「副詞節」：「副詞句」「動詞」「主語」「補語」

Dopo +不定詞・完了形 adv. (時間) ドーポ adv. ～の後で 「副詞句」

aver finito アヴェル・フィニート 不定詞・完了形(finire)n. 動作 「目的語」

si è rivolto シ・エ・リヴォルト 3 単現・完了形(rivolgersi)v.pr 振り向いた 「動詞句」

a me ア・メ adv. 僕の方へ 「副詞句」

chiamandomi キアマントミ ジェルンディオ(chiamare+mi)adv. 僕を呼びながら 「副詞句」

“amico mio”; アミーコ・ミーオ n.m 友よ 「呼びかけ」

se セ conj. もし～ならば、～しても 「副詞節」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

parlava パルラーヴァ 3 単半(parlare)v.i 話した 「動詞」

così コシ adv. このように 「副詞」

non era ノン・エラ 3 単半・否定(essere)v.i ～でなかった 「動詞句」

perché ベルケ conj. ～だから 「副詞節」

si rivolgeva シ・リヴォルジェヴァ 3 単半・時制の一致(rivolgersi)v.pr 振り向いている 「動詞句」

a un condannato a morte: ア・ウン・コンダンナート・モルテ adv. 死刑囚に 「間接目的語」

PARTE SECONDA 第2部

a parer suo ア・パレール・スーオ adv. 彼の意見では	「副詞句」
siamo シアーモ 1 複現(essere)v.i. ~である	「動詞」
tutti トゥッティ pron.pl. 全員が	「主語」
condannati a mòrte. コンダナート・ア・モルテ adj. 死刑宣告を受けた	「補語」

しかし、僕は彼を遮って、言った。それは同じ事ではない。いずれにしてもそれは慰めにはなり得ない
いと続けた。

Ma l'ho interrotto dicendogli che non era la stessa cosa e che Comunque questa non poteva essere
in nessun modo una consolazione.

Ma 「目的語」「動詞句」「副詞句」

Ma マ conj. しかし	
l' ɹ pron 彼を	「目的語」
ho interrotto オ・インテロット 1 単現・完了形(interrómpere)v.t. 遮った	「動詞句」
dicendogli ディチェント・リ ジェルンディオ(dire+gli)adv.(手段) 彼に言って	「副詞句」
che ケ conj. ~ということを	「目的語」
non era ノン・エラ 3 単半・否定・時制の一致(essere)v.i. ~でない	「動詞句」
la stessa cosa ラ・ステッサ・コーサ n.f. 同じ事	「補語」
e エ conj. そして	
che ケ conj. ~ということを	「目的語」
comunque コムクエ adv. いずれにしても	「副詞」
questa クェスタ pron. これは	「主語」
non poteva essere ノン・ポテヴァ・ア・エッセレ 3 単半・可能性・否定(potére+不定詞 essere) v.i. ~でありえない	「動詞句」
in nessun modo イン・ネッスン・モート adv. 決して~ない	「副詞句」
una consolazione. ウナ・コンソラチオーネ n.f. 慰め	「補語」

「確かに」と彼は認めた。「しかし、すぐに死なないとしても、いずれ同じ問題が起こります。この恐ろしい試練にあなたはどうか立ち向かうのですか？」

“Certo,” ha approvato, “ma morirai più tardi anche se non morirai fra breve. Si porrà allora lo stesso problema. Come affronterai questa terribile prova?”

《「応答」》, 「動詞句」, 《ma 「動詞」 「副詞句」

「動詞句」 「副詞」 「主語」 | 「副詞」 「動詞」 「目的語」》

“Certo,” チェルト adv. 確かに

「応答」

ha approvato, ア・アプ ロヴァート 3 単現・完了形(approvare)v.t 認めた

「動詞句」

“ma マ conj. しかし

morirai モライ 2 単未・運命(morire)v.i 死ぬことになる

「動詞」

più tardi ピウ・タルディ adv. いずれ、近いうちに

「副詞句」

anche se +接続法 conj. (ときに直接法) たとえ〜でも

「副詞節」

non morirai ノン・モライ 2 単未・否定・仮定(morire)v.i 死なない

「動詞句」

fra breve. フラ・ブレヴェ adv. 間もなく、すぐに

「副詞句」

Si porrà シ・ポッラ 3 単未・推量(porsi)v.pr 起こるだろう

「動詞句」

allóra アッローラ adv. それから、それで

「副詞」

lo stésso problèma. ロ・ステツ・プロブレマ n.m 同じ問題が

「主語」

Cóme コーメ adv. どのように

「副詞」

affronterai アフロンテライ 2 単未・疑問文(affrontare)v.t 立ち向かうのですか?

「動詞」

questa terribile prova?” クェスタ・テリービレ・プロヴァ n.f この恐ろしい試練に

「目的語」

僕は、その当時それに立ち向かっていたのと全く同じように立ち向かうつもりだと答えた。

Gli ho risposto che l'avrèi affrontata esattamente come l'affrontavo in quel momento.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Gli リ pron 彼に

「間接目的語」

ho risposto オ・リスポスト 1 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

l' ラ pron.f(pròva の代用) それを

「目的語」

avrèi affrontata アヴレイ・アフロンタータ 条・1 単現・完了形・意思(affrontare)

v.t 立ち向かうだろう

「動詞句」

esattamente come エサタメンテ・コメ conj. ～するのと全く同じように

「副詞節」

l' ラ pron.f それを

「目的語」

affrontavo アフロンターヴォ 1 単半・習慣(affrontare)v.t 立ち向かっていた

「動詞」

in quel momento. イン・ケル・モメント adv. その当時

「副詞句」

過去分詞の性・数一致

過去分詞の前に代名詞があるとそれに性・数一致する

僕の言葉を聞いて、彼は立ち上がり僕の目を覗き込んだ。これは僕がよく知っているゲームだった。

A queste mie parole si è alzato e mi ha guardato negli occhi. Era un gioco, quello, che conoscevo bene.

「副詞句」「動詞句」 e 「直接目的語」「動詞句」「間接目的語」 | 「動詞」「主語」「補語」

A queste mie parole ア・クェステ・ミーエ・パローレ adv. (対象) この僕の言葉に対して

「副詞句」

si è alzato シ・エ・アルツァート 3 単現・完了形(alzarsi)v.pr 立ち上がった

「動詞句」

e エ conj. そして

mi ミ pron 僕を

「直接目的語」

ha guardato ア・ク・オルグァート 3 単現・完了形(guardare)v.t 見つめた

「動詞句」

negli occhi. ネリ・オッキ adv. (体の部分) 目を

「間接目的語」

Era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった

「動詞」

un gioco, ウン・ジヨーコ n.m 遊び

「補語」

quello, ケッロ pron それは

「主語」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

conoscevo コノシェーヴォ 1 単半・時制の一致(conoscere)v.t 知っている

「動詞」

bene. ベーネ adv. よく

「副詞」

僕はエマヌエルやセレステとよくそれをやって楽しんだが、大抵は彼らの方が先に目をそらせた。

Mi divertivo spesso a farlo con Emanuele o Celeste, e per lo più loro voltavano per primi gli occhi.

「動詞句」「副詞句」, e 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

Mi divertivo spesso a farlo ミ・デ・イヴ・エルティ・ウ・オ・ス・ッ・ツ・ア・ファールロ 1 単半・習慣

(divertirsi a+不定詞 fare+lo)v.pr よくそれをして楽しんだものだ 「動詞句」

con Emanuele o Celeste, コン・エマヌエル・オ・セレステ adv. エマヌエルやセレステと 「副詞句」

e

per lo più ペル・ロ・ピウ adv. 大抵、たいてい 「副詞句」

loro ローロ pron.pl 彼らが 「主語」

voltavano ヲ・オルター・ヴァノ 3 複半・習慣(voltare)v.t 向きを変えた、(目を) そらせた 「動詞」

per primi ペル・プリミ adv. 最初に、先に 「副詞句」

gli occhi. リ・オッキ pl(occhio).n.m 目を 「目的語」

司祭もそのゲームをよく知っていた。僕はすぐそれに気づいた：彼の視線が揺らがなかったからだ。

Anche il prète conosceva bene quel gioco, l'ho subito capito: il suo sguardo non tremava.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」, 「目的語」「動詞句」: 「主語」「動詞句」

Anche アンケ conj. も同様に 「副詞」

il prète イル・プレテ n.m 司祭 「主語」

conosceva コノシェーヴァ 3 単半(conoscere)v.t 知っていた 「動詞」

bene ベーネ adv. 良く 「副詞」

quel gioco, ケル・ジョーコ n.m そのゲームを 「目的語」

l' 〇 pron その事を 「目的語」

ho subito capito: オ・ス・ビト・カピート 1 単現・完了形(capire)v.t 理解した、分かった 「動詞句」

il suo sguardo イル・ス・オ・スクォルト n.m 彼の視線は 「主語」

non tremava. ノン・トレマーヴァ 3 単半・否定(tremare)v.i 揺れ動かなかった 「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

そして、彼が「あなたは何の希望も持たず、丸ごと滅びるだろうと考えながら生きるのですか」と僕に尋ねた時、彼の声さえ震えていなかった。僕は「そうだ」と答えた。

E neppure la sua voce ha tremato quando mi ha detto: “Non hai dunque nessuna speranza e vivi pensando che morirai tutt’intero?” “Sì,” gli ho risposto.

E 「主語」「動詞句」「副詞節」 | 《「応答」》, 「間接目的語」「動詞句」

E ɛ conj. そして

neppure la sua voce ネップレ・ラ・スア・ヴォーチェ n.f 彼の声さえ～ない 「主語」

ha tremato ハ・トレマト 3 単現・完了形(tremare)v.i(否定文で) 震えなかった 「動詞句」

quando クワンド conj. ～した時 「副詞節」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha detto: ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

“Non hai ノ・ナイ 2 単現・否定・疑問文(avére)v.t 持たない? 「動詞句」

dunque ドゥンケ conj. それでは

nessuna speranza ネスナ・スペランサ n.f 何の希望も～ない 「目的語」

e ɛ conj. そして

vivi ヴィヴィ 2 単現・疑問文(vivere)v.i 生きる? 「動詞」

pensando ペンサント ジェルンディオ(pensare)adv. 考えて 「副詞句」

che ケ conj. ～ということ 「目的語」

morirai モライ 2 単未・推量(morire)v.i 死ぬだろう 「動詞」

tutt’intero? トゥッティンチエロ adv. 丸ごと、完全に 「副詞句」

“Sì,” シ adv. はい 「応答」

gli リ pron 彼に 「間接目的語」

ho risposto. オ・リスポスト 1 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた 「動詞句」

すると彼は俯いて、また腰を下ろして、僕に同情すると言った。

Allóra ha abbassato la testa e si è rimesso a sedere. Mi ha detto che aveva pietà di me.

「副詞」「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」 | 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Allóra アッローラ adv. それから 「副詞」

ha abbassato ア・アッパッサート 3 単現・完了形(abbassare)v.t 下げた 「動詞句」

la testa ラ・テスタ n.f 頭を 「目的語」

e ɛ conj. そして

si è rimesso a sedere. シ・エ・リメツ・ア・セデーレ 3 単現・完了形・再度(rimétersi a+不定詞 sedere)

v.pr また座った 「動詞句」

Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. ～ということ 「直接目的語」

PARTE SECONDA 第2部

aveva アヴェーヴァ 3 単半・時制の一致(avére)v.t. ～を持っている 「動詞」
 pietà di me. ピエタ・ディ・メ n.f 僕に同情を 「目的語」

彼は一人の人間がそのような事を我慢できるとは思っていなかった。僕は、単に彼のことがうんざりしてきた。

Non credeva che un uòmo potesse sopportare una simile còsa. Quanto a me, ho sentito soltanto che cominciava ad annoiarmi.

「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「動詞句」「副詞」「目的語」

Non credeva ノンクレデーヴァ 3 単半・否定(crédere)v.t. 思っていなかった 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 un uòmo ウン・ウオモ n.m 一人の人間が 「主語」
 potesse sopportare ポッテッセ・ソポルタレ 接・3 単半・可能(potére+不定詞 sopportare)
 v.t. 耐えられる、我慢できる 「動詞句」
 una simile còsa. ウナ・シーレ・コーサ n.f そのような事を 「目的語」
 Quanto a me, クワント・ア・メ adv. 僕としては 「副詞句」
 ho sentito オ・センチト 1 単現・完了形(sentire)v.t. 感じた 「動詞句」
 soltanto ソラメンテ adv. ただ... 「副詞」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 cominciava ad annoiarmi. コミンチャーヴァ・アド・アノイアルミ 3 単半・開始(cominciare a+不定詞 annoiarmi)
 v.t. 彼が僕を退屈させ始めた 「動詞句」

今度は僕が向きを変えて、天窗の下へ行行って壁に肩を持たせかけた。彼の話はよく聞こえなかったが、また僕に質問し始めたのが聞こえた。

Mi sono voltato a mia vòlta e sono andato a mettermi sótto il lucernàrio, la spalla appoggiata al muro. Senza seguirlo bène ho udito che ricominciava a farmi domande.

「動詞句」「副詞句」 e 「動詞句」「副詞句」, 「副詞句」, 「副詞句」「動詞句」「目的語」

Mi sono voltato ミ・ソーノ・ヴォルタート 1 単現・完了形(voltarsi)v.pr 振り返った、向きを変えた 「動詞句」
 a mia vòlta ア・ミーア・ヴォルタ adv. 今度は、私の番で 「副詞句」
 e エ conj. そして
 sono andato a mettermi ソーノ・アンダート・ア・メッテルミ 1 単現・完了形・しに行く(andare a+不定詞 mettersi)
 v.pr 身を置きに行った 「動詞句」
 sótto il lucernàrio, ソット・イル・ルチエルナリオ adv. 天窗の下へ 「副詞句」
 la spalla ラ・スッパッラ n.f (様態) 肩は 「副詞句」
 appoggiata アッジョジャタ 過去分詞(appoggiare).f.受動 adj. もたれかけられた 「形容詞」
 al muro. アル・ムーロ adv. 壁に 「副詞句」
 Senza センツァ prep. ～無しに 「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

seguirlo セグイルロ 不定詞 v.t 彼の話聞く	「動詞句」
bène ベーネ adv. よく	「副詞」
ho udito オウディート 1 単現・完了形(udire)v.t 聞こえた	「動詞句」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
ricominciava a farmi リコミンチャーヴァ・ア・ファルミ 3 単半・再開(ricominciare a+不定詞 farmi)	
v.t また僕に～し始めた	「動詞句」
domande. トマンデ pl(domanda).n.f 質問を	「目的語」

彼は不安気な声で執拗に話した。彼が動揺していると分かったので、彼の話より注意深く聞いた。

Parlava con voce inquieta e insistente. Ho capito che era commosso e l'ho meglio ascoltato.

	「動詞」「副詞句」 「動詞句」「目的語」 e 「目的語」「動詞句」
Parlava パルラーヴァ 3 単半(parlare)v.i 話した	「動詞」
con voce コン・ヴォーチェ adv. (手段) 声で	「副詞句」
inquieta e insistente. インキエタ・エ・インステンテ adj.f 不安そうで執拗な	「形容詞句」
Ho capito オカピート 1 単現・完了形(capire)v.t 分かった、理解した	「動詞句」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である	「動詞」
commosso コモッソ adj. 動揺した	「補語」
e エ conj. そして	
l'ル pron 彼の話	「目的語」
ho meglio ascoltato. オ・メルジョ・アスコルタート 1 単現・完了形(ascoltare)v.t より注意深く聞いた	「動詞句」

彼は僕の上訴は受け入れられるだろうと言った。しかし、僕は自分を解放しなければならない重荷を背負い続ける。

Égli era sicuro, diceva, che il mio ricorso sarebbe stato accolto, ma io portavo il peso di un peccato di cui dovevo liberarmi.

	「主語」「動詞」「補語」, 「動詞」, 「目的語」, ma 「主語」「動詞」「目的語」
Égli エッリ pron 彼は	「主語」
era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった	「動詞」
sicuro, シューロ adj. 確信した	「補語」
diceva, デイチェヴァ 3 単半(dire)v.t 言った	「動詞」
che ケ conj. ～ということを	「目的語」
il mio ricorso イル・ミョ・リコルソ n.m 僕の上訴は	「主語」
sarebbe stato accolto, サレバ・スタート・アッコルト 条・3 単現・完了形・受動・推量(accogliere)	
v.t 受理されるだろう	「動詞句」
ma マ conj. しかし	

PARTE SECONDA 第2部

io イオ pron 僕は	「主語」
portavo 1 単半・時制の一致(portare)v.t 担いでいる	「動詞」
il peso イル・ペソ n.m 重荷を	「目的語」
di cui デイ・クイ adv. それに対して～する	「形容詞節」
dovevo liberarmi. ドヴェウ・ヴォ・リベラルミ 1 単半・義務(devere+不定詞 liberarsi)	
v.pr 自分を解放しなければならない	「動詞句」

彼によれば、人間の正義は取るに足らないものであり、神の正義が全てなのだ。

Secóndo lui la giustizia, degli uòmini non era nulla e la giustizia di Dio era tutto.

	「副詞句」「主語」「動詞句」「補語」e「主語」「動詞」「補語」
Secóndo lui セコンド・ルーイ adv. 彼によれば	「副詞句」
la giustizia, ジュステイツィア n.f 正義は	「主語」
degli uòmini デリ・ウオーミニ adj. 人間の	「形容詞句」
non era ノン・エラ 3 単半・否定・時制の一致(èssere)v.i ～でない	「動詞句」
nulla ヌツァ pron 何物～でもない	「補語」
e エ conj. そして	
la giustizia di Dio ラ・ジュステイツィア・デイ・ディオ n.f 神の正義が	「主語」
era エラ 3 単半・時制の一致(èssere)v.i ～である	「動詞」
tutto. トゥット pron すべて	「補語」

僕に死刑判決を下したのは前者（人間）であると彼に指摘した。

Gli ho fatto notare che era la prima che mi aveva condannato.

	「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
Gli リ pron 彼に	「間接目的語」
ho fatto notare オ・ファット・ノターレ 1 単現・完了形・使役(fare+不定詞 notare)	
v.t 気づかせた、指摘した	「動詞句」
che ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
era エラ 3 単半(èssere)v.i ～だった	「動詞」
la prima ラ・プリマ n.f 前者	「補語」
che ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
aveva condannato. アヴァ・エヴァ・ア・コンダナート 3 単半・完了形(condannare)	
v.t 有罪の判決を下した	「動詞句」

彼は、人間の裁きでは僕の罪を何も洗い清められないと僕に答えた。

Mi ha rispósto che essa non aveva, con la sua condanna, lavato nulla del mio peccato.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha rispósto ア・リスポ スト 3 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

essa エッサ pron それは

「主語」

non aveva, ...lavato ノン・アヴァ エウヴァ...ラヴァート 3 単半・完了形・否定(lavare)

v.t 洗い清めなかった

「動詞句」

con la sua condanna, コン・ラ・スア・コンダナ adv. (手段) 人間の判決では

「副詞句」

nulla del mio peccato. ヌッラ・デル・ミオ・ペッカート n.m 僕の罪を何も～ない

「目的語」

僕は彼に言った、何が罪なのか知らなかった、ただ僕は有罪だと言われたただと。

Gli ho détto che non sapevo che cosa fosse un peccato: mi era stato détto soltanto che ero un colpevole.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Gli リ pron 彼に

「間接目的語」

ho détto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

non sapevo ノン・サペーヴォ 1 単半・否定(sapere)v.t 知らなかった

「動詞句」

che cosa ケ・コサ n.f 何が～かということ

「主語」

fosse フォッセ 接・3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

un peccato: ウン・ペッカート n.m 罪

「補語」

mi ミ pron 私に

「間接目的語」

era stato détto エラ・スタート・デット 3 単半・完了形・受動(dire)v.t 言われた

「動詞句」

soltanto ソルタント adv. ただ...だけ

「副詞」

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

ero エロ 1 単半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

un colpevole. ウン・コルペーヴォレ n.m 罪人

「補語」

PARTE SECONDA 第2部

僕は有罪だ、代償は払った、人は僕にもう何も要求出来ない。

Ero colpevole, pagavo, non si poteva chiedermi nulla di più.

「動詞」「補語」, 「動詞」, 「動詞句」「目的語」

Ero エロ 1 単半・時制の一致(essere)v.i ~である

「動詞」

colpevole, コルペーヴォレ adj. 有罪の

「補語」

pagavo, パカーヴォ 1 単半(pagare)v.t 支払った

「動詞」

non si poteva chiedermi ノン・シ・ポテヴァ・キエデルミ 3 単半・可能・否定(potére+不定詞 chiedersi+mi)

v.pr 僕に要求することは出来ない

「動詞句」

nulla di più. ヌッラ・ディ・ピウ pron もう何も~ない

「目的語」

この時点で、彼は再び立ち上がった。この狭い独房ではもし動きたいと思っても選択肢は無いと僕は思った。立ち上がるか、さもなければ座らなければならないのだ。

A questo punto si è alzato di nuovo e ho pensato che in quella cella così stretta, se uno aveva voglia di muoversi, non aveva da scegliere. Doveva alzarsi o sedersi.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」 e 「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」

A questo punto ア・ケスト・プント adv. (時) この時点で

「副詞句」

si è alzato シ・エ・アルツァート 3 単現・完了形(alzarsi)v.pr 立ち上がった

「動詞句」

di nuovo ディ・ヌオーヴォ adv. また、再び

「副詞句」

e エ conj. そして

ho pensato オ・ペンサート 1 単現・完了形(pensare)v.t 考えた

「動詞句」

che ケ conj. ~ということ

「目的語」

in quella cella イン・ケッラ・チェーラ adv. この独房では

「副詞句」

così stretta, コシ・ストレッタ adj. こんなに狭い

「形容詞句」

se セ conj. もし~ならば

「副詞節」

uno ウーノ pron 人が

「主語」

aveva アヴェーヴァ 3 単半・假定(avére)v.t ~があつたら

「動詞」

vòglia di muoversi, ヴォリア・ディ・ムーヴェルシ n.f 動きたい願望

「目的語」

non aveva ノン・アヴェーヴァ 3 単半・存在・否定(avére)v.t ~が無かつた

「動詞句」

da scegliere. ダ・シェリエ 不定詞・目的 n. 選ぶべき事

「目的語」

Doveva alzarsi o sedersi. トヴェーヴァ・アルツアルシ・オ・セデルシ 3 単半・必要(dovére+不定詞 alzarsi o sedersi)

v.pr 立ち上がるか座るかしなければならなかつた

「動詞句」

僕の目は床の上に釘付けされていた。彼は僕のほうへ一歩踏み出したが、まるで前に進む気が無いかのように立ち止まった。

Io avevo gli occhi fissi sul pavimento. Egli ha fatto un passo verso di me e si è fermato come se non osasse avanzare.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 e 「動詞」「副詞節」

Io イオ pron 僕は 「主語」
 avevo アヴェーウォ 1 単半(avére)v.t. ～を持った 「動詞」
 gli occhi リ・オッキ pl(occhio).n.m 目を 「目的語」
 fissi フィッシ 過去分詞(fissare)・受動 adj.pl.m 釘付けされた 「形容詞句」
 sul pavimento. スル・パヴェイメント adv. 床の上に 「副詞句」
 Egli エッリ pron 彼は 「主語」
 ha fatto ア・ファット 3 単現・完了形(fare)v.t.(動作を) した 「動詞句」
 un passo ウン・パッソ n.m 一歩 「目的語」
 verso di me ヴェールソ・ディ・メ adv. 僕の方へ 「副詞句」
 e エ conj. そして
 si è fermato シ・エ・フェルマート 3 単現・完了形(fermarsi)v.pr 立ち止まった 「動詞句」
 come se コー・セ conj. まるで～のように 「副詞節」
 non osasse avanzare. ノン・オサッセ・アヴァンツァーレ 接・3 単半・アエテ・否定(osare+不定詞 avanzare)
 v.t 前進する気が無い 「動詞句」

彼は鉄格子越しに空を見つめて、「息子よ、あなたは間違っています」と、僕に言った。

Guardava il cielo attraverso le sbarre. “Tu ti inganni, figlio mio,” mi ha detto.

「動詞」「目的語」「副詞句」 | 《「主語」「動詞句」, 「呼びかけ」》, 「間接目的語」「動詞句」

Guardava グェオルターヴァ 3 単半(guardare)v.t 見つめた 「動詞」
 il cielo イル・チェーロ n.m 空を 「目的語」
 attraverso le sbarre. アットラヴァーヴェールソ・レ・スバルラ adv. 鉄格子越しに 「副詞句」
 “Tu トゥ pron あなたは 「主語」
 ti inganni, ティ・インガニ 2 単現(ingannarsi)v.pr 間違えている 「動詞句」
 figlio mio,” フィーリオ・ミオ n.m 息子よ 「呼びかけ」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha detto. ア・テット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

「あなたはもっと求められるだろう。おそらく、求められるだろう」「それで、いったい何を?」「見るように求められるだろう」「何を?」

“Ti si potrebbe domandare di più. Te lo domanderanno, forse.” “E che cosa mai?” “Ti potrebbe esser chiesto di vedére.” “Vedére cosa?”

《「間接目的語」「動詞句」「副詞句」 | 「間接目的語」「直接目的語」「動詞」「副詞」》,

《E「目的語」「副詞」》, 《「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」》, 《「目的語」》

“Ti チ pron あなたに 「間接目的語」

si potrebbe domandare シ・ポ・トレッベ・ド・マンダレ 条・3 単現・推量(potére+不定詞 domandare)

v.t 求めるだろう 「動詞句」

受動態に翻訳する

di più. ディ・ピウ adv. もっと、さらに 「副詞句」

Te テ pron あなたに 「間接目的語」

lo ロ pronj それを 「直接目的語」

domanderanno, ド・マンデランノ 3 複末(domandare)v.t 求めるだろう 「動詞」

forse.” フォルセ adv. おそらく 「副詞」

“E エ conj. そして

che cosa ケ・コサ n.f 何を 「目的語」

mai?” マイ adv. (疑問文を強調して) いったい 「副詞」

“Ti チ pron あなたに 「間接目的語」

potrebbe esser chiesto ポ・トレッベ・エッセレ・キェスト 条・3 単現・可能性・受動(potére+不定詞・受動 chiedere)

v.t 求められるだろう 「動詞句」

di vedére.” ディ・ヴェデーレ 不定詞 n. 見ることを 「直接目的語」

“Vedére ヴェデーレ 不定詞 n. 見る事 「目的語」

cosa?” コサ n.f 何を 「目的語」

司祭は周りを見回して、とても疲れているような声で答えた:

Il prète ha girato lo sguardo tutt'intórno e ha rispósto con una vóce che d'improvviso ho trovato móltó stanca:

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 e 「動詞句」「副詞句」

Il prète イル・プレテ n.m 司祭は 「主語」

ha girato ア・ギラート 3 単現・完了形(girare)v.t (別方向に) 向けた 「動詞句」

lo sguardo ロ・ズグワルト n.m 視線を 「目的語」

tutt'intórno トクティントーノ adv. あたり一帯に 「副詞句」

e エ conj. そして

ha rispósto ア・リポスト 3 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた 「動詞句」

con una vóce コン・ウナ・ヴォチェ adv. (手段) 声で 「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

che ケ pron (目的語) ~する	「形容詞節」
d'improvviso デ・インプ・ロヴァーゾ adv. 突然	「副詞句」
ho trovato オ・トロヴァート 1 単現・完了形(trovare)v.t 気付いた	「動詞句」
mólto stanca: モルト・スタンカ adj(stanco).f とても疲れた	「補語」

これらの石はみな苦痛の汗を流している、私には分かります。苦悩を覚えずに見たことは一度もありません。あなた方の中で最も惨めな者は暗がりから神の顔が現れるのを見た私は思う。私があなた達に見て欲しいのは、この顔です。

“Tutte queste pietre sudano il dolore, lo so. Non l’ho mai guardate senza angoscia. Ma dal fondo del mio cuore so che i più miserabili di voi hanno visto sorgere dalla loro oscurità un volto divino. È questo volto che vi si chiede di vedere.”

「主語」「動詞」「目的語」, 「目的語」「動詞」 | 「動詞句」「副詞句」

Ma 「副詞句」「動詞」「目的語」 | 「動詞」「補語」「主語」

“Tutte queste pietre トゥッテ・クェステ・ピエトレ pl(pietra).n.f これらの石は皆	「主語」
sudano スダノ 3 複現(sudare)v.t にじみ出している	「動詞」
il dolore, イル・ドロレ n.m 痛みを	「目的語」
lo ロ pron それを	「目的語」
so. ソ 1 単現(sapere)v.t 分かる	「動詞」
Non l’ho mai guardate ノン・ロ・マーイク・ワルダテ 1 単現・完了形・否定(guardare)	
v.t それを見たことは一度もない	「動詞句」
senza angoscia. センツァ・アングォーシャ adv. 苦悩なしに	「副詞句」
Ma マ conj. しかし	
dal fondo del mio cuore ダル・フォント・デル・ミーオ・クォレ adv. 私の心の底から	「副詞句」
so ソ 1 単現(sapere)v.t 分かる	「動詞」
che ケ conj. ~ということを	「目的語」
i più miserabili di voi イ・ピウ・ミゼラビレ・ディ・ヴォイ	
pl(miserabile).n あなた方の中で最も惨めな者は	「主語」
hanno visto sorgere アンノ・ヴィスト・ソルジェレ 3 複現・完了形・知覚動詞(vedere+不定詞 sorgere)	
v.t 現れるのを見た	「動詞句」
dalla loro oscurità ダッラ・ロー・オスクリタ adv. 暗がりから	「副詞句」
un volto divino. ウン・ヴォルト・ディヴィーノ n.m 神の顔が	「目的語」
È エ 3 単現(essere)v.i ~である	「動詞」
questo volto クェスト・ヴォルト n.m この顔	「補語」
che ケ conj. ~ということは	「主語」
vi ヴィ pron あなた達に	「間接目的語」
si chiede di vedere.” シ・キエデ・ディ・ヴィエーレ 3 単現・要求(chiedere de+不定詞 vedere)	

v.pr 見てもらいたい

「動詞句」

僕は少し興奮してきた。その壁は何か月も前から見てきた、と言った。

Mi sono animato un po'. Ho detto che erano mesi che guardavo quei muri.

「動詞句」「副詞句」 | 「動詞句」「目的語」

Mi sono animato ミ・ツノ・アニマト 1 単現・完了形(animarsi)v.pr 活気づいた、興奮した 「動詞句」

un po'. ウン・ポ adv. 少し 「副詞句」

Ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

erano エラノ 3 複半(essere)v.i ～だった 「動詞」

mesi メッシ pl(mése).n.m 何か月 「補語」

che ケ conj. ～ということは 「主語」

guardavo グェルターヴォ 1 単半(guardare)v.t 見ていた 「動詞」

quei muri. ケイ・ムーリ pl(muro).n.m その壁を 「目的語」

この世の中で、僕がこれ以上よく知っている物も、人もない。

Non c'era nulla ni alcuna persóna al mondo che conoscessi meglio.

「動詞句」「主語」「副詞句」「主語」

Non c'era ノン・チェラ 3 単半・存在・否定・時制の一致(essere)v.i ～はない 「動詞句」

nulla ヌッラ pron 何も～ない 「主語」

ni alcuna persóna ニ・アルカーナ・ペルソーナ n.f どんな人も～ない 「主語」

al mondo アル・モンド adv. 世の中に 「副詞句」

che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

conoscessi コノセッシ 接・1 単半・時制の一致(conoscere)v.t 知っている 「動詞」

mèglio. メーリオ adv. より良く 「副詞」

フランス語版では

この世で、これより良く知っている物もなければ、人もいない。

Il n' y avait rien ni personne que je connusse mieux au monde.

ずっと前なら、恐らくそこに一つの顔を探していただろう。

Fórze, già móltó tèmpo prima, vi avevo cercato un volto.

「副詞句」, 「副詞」「動詞句」「目的語」

Fórze, フォルゼ adv. おそらく 「副詞」

già móltó tèmpo prima, ジャ・モルト・テンポ・プリマ adv. もうずっと前に 「副詞句」

vi ヴィ adv. そこに 「副詞」

avevo cercato アヴェ・エヴァ・オ・チェルカート 1 単半・完了形(cercare)v.t 探していた 「動詞句」

PARTE SECONDA 第2部

un volto. ウン・ヴォルト n.m 一つの顔を

「目的語」

だが、その顔は太陽の色と欲望の炎を纏っていた：マリーの顔だった。

Ma quel volto aveva il colore del sole e la fiamma del desiderio: era quello di Maria.

Ma 「主語」「動詞」「目的語」：「動詞」「補語」

Ma マ conj. しかし

quel volto ケル・ヴォルト n.m その顔は

「主語」

aveva アヴェ・エヴァ 3 単半(avere)v.t (特徴を) していた

「動詞」

il colore del sole イル・コロレ・デル・ソレ n.m 太陽の色

「目的語」

e エ conj. そして

la fiamma ラ・フィアンマ n.f 炎

「目的語」

del desiderio: デル・デシデーリオ adj. 欲望の

「形容詞句」

era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

quello di Maria. ケッロ・ディ・マリア pron マリーの顔

「補語」

僕はそれを探したが、無駄で、もう終わった事だった。いずれにしても、この石の汗からは何も現れなかった。

L'avevo cercato invano e adesso era una cosa finita. E in ogni modo non avevo visto sorgere nulla dal sudore di quelle pietre.

「目的語」「動詞句」「副詞」 e 「副詞」「動詞」「補語」

E 「副詞句」「動詞句」「補語」「目的語」「補語」

L' 〇 pron(volto の代用) それを

「目的語」

avevo cercato アヴェ・エヴァ・チェルカート 1 単半・完了形(cercare)v.t 探した

「動詞句」

invano インヴァーノ adv. 無駄に

「副詞」

e エ conj. そして

adesso アデッソ adv. たった今

「副詞」

era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

una cosa finita. ウナ・コサ・フィニータ n.f 終わった事

「補語」

E エ conj. そして

in ogni modo イン・オンニ・モート adv. どちらにしても、いずれにしても

「副詞句」

non avevo visto ノン・アヴェ・エヴァ・ヴィスト 1 単半・完了形・知覚動詞・否定(vedere)

v.t(O+不定詞 何かが~するのが) 見えなかった

「動詞句」

sorgere ソルジェ 不定詞・nulla の動作 v.i 現れる、立ち上がる

「補語」

nulla ヌッラ pron 何か~ない

「目的語」

dal sudore ダル・ストーレ adv. 汗から

「副詞句」

di quelle pietre. ディ・ケツレ・ピエーレ adj. この石の

「形容詞句」

司祭は少し悲しそうに僕を見つめた。僕は完全に壁に背を向けていた。そして、日差しが僕の額に降り注いでいた。

Il prète mi ha guardato con un po' di tristezza. Ero completamente addossato al muro e il giorno mi colava sulla fronte.

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

「動詞」「補語」e「主語」「間接目的語」「動詞」「間接目的語」

Il prète イル・プレテ n.m 司祭は 「主語」
 mi ミ pron 僕を 「目的語」
 ha guardato ア・グワルダート 3 単現・完了形(guardare)v.t 見つめた 「動詞句」
 con un po' di tristezza. コン・ウ・ポ・ディ・トリステツァ adv.(手段) 少し悲し気に 「副詞句」
 Ero エロ 1 単半・状態(essere)v.i 〜だった 「動詞」
 completamente addossato コンプレタメンテ・アッソサート adj. 完全に背を向けた 「補語」
 al muro アル・ムロ adv. 壁に 「副詞句」
 e エ conj. そして
 il giorno イル・ジヨルノ n.m 日光が 「主語」
 mi ミ pron 僕の 「間接目的語」
 colava コラーヴァ 3 単半(colare)v.i 滴り落ちていた、降り注いでいた 「動詞」
 sulla fronte. スラ・フロンテ adv. 額の上に 「間接目的語」

彼は何かを言ったが、僕は聞き取れなかった。それから急いで、僕を抱きしめてもよいかと尋ねた：
Ha detto qualche parola che non ho sentita e mi ha chiesto molto in fretta se gli permettevo di abbracciarmi.

「動詞句」「目的語」e「間接目的語」「動詞句」「副詞句」「直接目的語」

Ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 qualche parola クアルケ・パローラ n.f 何か言葉を 「目的語」
 che ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」
 non ho sentita ノ・ノ・センチート 1 単現・完了形・否定(sentire)
 v.t 聞き取れなかった 「動詞句」
 e エ conj. そして
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 ha chiesto ア・キスト 3 単現・完了形(chiedere)v.t 尋ねた 「動詞句」
 molto in fretta モルト・イン・フレッタ adv. 大急ぎで 「副詞句」
 se セ conj. 〜かどうかを 「直接目的語」
 gli リ pron 彼に 「目的語」
 permettevo ペルメテヴォ 1 単半(permettere)v.t 許す 「動詞」
 di abbracciarmi: ディ・アブラチャル・ミ 不定詞・gli の動作 v.t 僕を抱きしめる 「補語」

PARTE SECONDA 第2部

「断ります」と、僕は彼に答えた。彼は振り返り、壁に向かって進み、壁を手でゆっくりと撫でた：
「そんなにもこの世を愛しているのですか？」と、彼が呟いた。僕は何も答えなかった。

“No,” gli ho rispósto. Si è voltato ed è andato vèrso il muro su cui ha passato lentaménte la mano:

“Ami dúnque questa tèrra a tal punto?” ha mormorato. Io non ho rispósto nulla.

《「応答」, 「間接目的語」「動詞句」 | 「動詞句」 ed 「動詞句」「副詞句」「動詞句」「副詞」「目的語」:
《「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」》「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

“No,” ノ adv. (否定) 断る 「応答」
gli リ pron 彼に 「間接目的語」
ho rispósto. オ・リスポスト 1 単現・完了形(rispóndere)v.t 答えた 「動詞句」
Si è voltato シ・エ・ヴォルト 3 単現・完了形(volarsi)v.pr 振り向いた 「動詞句」
ed エト conj. そして
è andato エ・アンダート 3 単現・完了形(andare)v.i 進んだ、歩いた 「動詞句」
vèrso il muro ヴェールソ・イル・ムロ adv. 壁の方へ 「副詞句」
su cui ス・クイ adv.(結果) そしてその上で~する 「副詞句」
ha passato ア・パッサート 3 単現・完了形(passare)v.t 滑らせた 「動詞句」
lentaménte レンタメンテ adv. ゆっくりと 「副詞」
la mano: ラ・マーノ n.f 手を 「目的語」
“Ami アミ 2 単現・疑問文(amarre)v.t 好きなのか? 「動詞」
dúnque ドゥンケ adev. だから、それでは 「副詞」
questa tèrra クェスタ・テッラ n.f この世を 「目的語」
a tal punto? ア・タル・プント adv. それほどまでに 「副詞句」
ha mormorato. ア・モルモラート 3 単現・完了形(mormorare)v.i 呟いた 「動詞句」
Io イオ pron 僕は 「主語」
non ho rispósto ノ・ノ・リスポスト 1 単現・完了形・否定(rispóndere)v.t 答えなかった 「動詞句」
nulla. ヌッラ pron 何も~ない 「目的語」

彼はかなり長い間むこうを向いたままでいた。彼の存在が煩わしくて、迷惑だと感じた。

È rimasto abbastanza a lungo girato così. La sua presènza mi pesava e mi dava fastidio.

「動詞句」「補語」 | 「主語」「間接目的語」「動詞」 e 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

È rimasto エ・リマスト 3 単現・完了形(rimanere)v.i ~のままでいた 「動詞句」
abbastanza a lungo アッパスタンツァ・ア・ルンゴ adv. かなり長い間 「副詞句」
girato così. キラート・コシ adj. むこうを向いた 「補語」
La sua presènza ラ・スーア・プレゼンツァ n.f 彼の存在は 「主語」
mi ミ pron 僕にとって 「間接目的語」
pesava ペ・サヴァ 3 単半(pesare)v.i 重荷となっていた 「動詞」
e エ conj. そして

PARTE SECONDA 第2部

mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
dava ダヴァ 3 単半(dare)v.t 与えた	「動詞」
fastidio. ファスティデーイオ n.m 迷惑を	「直接目的語」

彼に立ち去れ、僕を放っておいてくれと言おうとしたその時、突然僕の方へ振り向いて大袈裟な言葉
使いで叫び始めた。

Stavo per dirgli di andarsene, di lasciarmi, quando di colpo si è messo a gridare, con una specie di enfasi, voltandosi verso di me:

「動詞句」「補語」, 「副詞」「副詞句」「動詞句」「副詞句」

Stavo per dirgli スターヴォ・ペル・ディル・リ 1 単半・近接未来(stare per+不定詞 dire+li)

v.t(di+不定詞 ~するように) 彼に言おうとした 「動詞句」

di andarsene, デイ・アンダー・セ・ネ 不定詞・li の動作 v.pr 立ち去る 「補語」

di lasciarmi, デイ・ラッシャル・ミ 不定詞・li の動作 v.t 僕を放っておく 「補語」

quando クワント conj. その時~する 「副詞」

di colpo デイ・コルポ adv. 突然 「副詞句」

si è messo a gridare, シ・エ・メツ・ア・グリダール 3 単現・開始・完了形(mettersi a+不定詞 gridare)

v.pr 叫び始めた 「動詞句」

con una specie di コン・ウナ・スペー・チェ・ディ adv. (手段) ある種の~で 「副詞句」

enfasi, エンファジ n.f 誇張、大袈裟な言葉遣い 「目的語」

voltandosi ヴォルトァントシ ジェツンディオ(voltarsi)adv. 振り向いて 「副詞句」

verso di me: ヴェールツ・ディ・メ adv. 僕の方へ 「副詞句」

「違う。信じられない。あなただって、別の人生を望んだことがあるはずだ」

“No, non posso crederti. Sono sicuro che ti è avvenuto di desiderare un'altra vita.”

《「応答」 | 「動詞句」 | 「動詞」「補語」》

“No, ノ adv. 違う 「応答」

non posso crederti. ノン・ポッソ・クレデル・ティ 1 単現・可能・否定(potére+不定詞 credere+ti)

v.t あなたの言う事を信じられない 「動詞句」

Sono ソーノ 1 単現(essere)v.i ~である 「動詞」

sicuro シーロ adj.(che について) 確信がある 「補語」

che ケ conj. ~ということについて 「副詞節」

ti チ pron あなたにとって 「間接目的語」

è avvenuto di desiderare エ・アヴヴェント・ディ・デシデラール 非人称・3 単現・完了形・たまたま

(avvenire di+不定詞 desiderare)v.i 望むことがあった 「動詞句」

un'altra vita.” ウァルトラ・ヴィータ n.f 別の人生を 「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

僕は、もちろんそう思う事はあったが、それは金持ちになりたいとか、もっと速く泳ぎたいとか、もっと整った口になりたいという願望と大差がないと彼に答えた。

Gli ho rispósto che naturalḿente mi era avvenuto, ma ciò non aveva maggiore importanza che il desiderare di essere ricco di nuotare mólto velóce o di avére una bócca m̀eglio fatta.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Gli リ pron 彼に

「間接目的語」

ho rispósto オ・リスポスト 1 単現・完了形(rispóndere)v.t 答えた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

naturalḿente ナチュラルメンテ adv. もちろん

「副詞」

mi ミ pron 僕にとって

「間接目的語」

era avvenuto, エラ・アヴヴェニウト 非人称・3 単半・完了形・たまたま(avvenire di+不定詞)

v.i そうしたいことがあった

「動詞句」

ma マ conj. しかし

ciò チョ pron それは

「主語」

non aveva ノン・アヴァ・エーヴァ 3 単半・否定(avére)v.t ～がなかった

「動詞句」

maggiore importanza マッジョーレ・インポルタンツァ n.f 最大の重要性

「目的語」

che ケ conj.(比較) ～よりも

「副詞句」

il desiderare イル・デシテラレ n.m 願望

「目的語」

di essere ricco, ディ・エッセレ・リッコ 不定詞・目的

adj. 金持ちになるという

「形容詞句」

di nuotare mólto velóce ディ・ヌオターレ・モルト・ウエローチェ 不定詞・目的

adj. もっと早く泳ぐ

「形容詞句」

o オ conj. または

di avére una bócca m̀eglio fatta. ディ・アヴァ・エーレ・ウナ・ボッカ・メリオ・ファッタ 不定詞・目的・特徴

adj. もっと整った口になる

「形容詞句」

それらは同じ次元の願望だ。しかし、彼は僕を遮って、どんな別の人生を望むのかと尋ねた。

Erano desidèri déllo stéssso órdine. Ma lui mi ha interrotto e voleva sapére còme vedevo quest'altra vita.

「動詞」「補語」 | Ma 「主語」「目的語」「動詞句」 e 「動詞句」「目的語」

Erano エラーノ 3 複半(èssere)v.i ～だった

「動詞」

desidèri デシテリー pl(desidèrio).n.m 願望、欲望

「補語」

déllo stéssso órdine. デッロ・ステッソ・オールディネ adj. 同次元の

「形容詞句」

Ma マ conj. しかし

lui ルーイ pron 彼は

「主語」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

ha interrotto ア・インテロット 3 単現・完了形(interrompere)v.t 遮った 「動詞句」
 e エ conj. そして
 voleva sapére ウォレヴァ・サペーレ 3 単半・願望(volére+不定詞 sapére)v.t 知りたがった 「動詞句」
 cómo コーメ conj. どのように～するかということを 「目的語」
 vedevo ヴェデーヴォ 1 単半(vedére)v.t 望む 「動詞」
 quest'altra vita. ケスタルトラ・ヴィータ n.f その別の人生を 「目的語」

それで、僕は彼に大声で叫んだ:「この人生を思い出せるような人生です」そして、すぐに、もう十分
 だと言った。

Allóra gli ho urlato: “Una vita in cui possa ricordarmi di questa”, e subito dópo gli ho détto che ne
 avevo abbastanza.

「副詞」「間接目的語」「動詞句」「主語」:《「応答」》,e
 「副詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Allóra アッローラ adv. それで 「副詞」
 gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 ho urlato: オ・ウルラート 1 単現・完了形(urlare)v.i 大声で怒鳴った 「動詞句」
 “Una vita ウナ・ヴィータ n.f 人生 「応答」
 in cui イン・クイー adv. そこで～する 「副詞節」
 possa ricordarmi ホッサ・リコルダール・ミ 接・1 単現・可能(potére+不定詞 ricordarsi)
 v.pr 思い出せる 「動詞句」
 di questa”, ディ・クェスタ adj. この人生について 「間接目的語」
 e エ conj. そして
 subito dópo スービト・ドーポ adv. すぐに 「副詞句」
 gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 ho détto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 ne ネ adv. それについて 「間接目的語」
 avevo アヴェーヴォ 1 単半(avére)v.t 持った 「動詞」
 abbastanza. アッバスタツァ adv. 十分に 「副詞」

彼はまだ僕に神について話したがっていたが、僕は彼に近づき、最後に、僕には少しの時間しか残っていないと説明しようとした。

Voleva ancora parlarmi di Dio, ma mi sono avvicinato a lui e ho cercato di spiegargli un'ultima volta che mi restava soltanto poco tempo.

「動詞句」「間接目的語」,ma「動詞句」「間接目的語」e「動詞句」「副詞句」「目的語」

Voleva ancora parlarmi ウォレヴァ・ア・アソコーラ・パルラーミ 3 単半・願望(volére +不定詞 parlare+mi)

vi(di について) まだ話したがっていた 「動詞句」

di Dio, ディ・ディ・オ adv. 神について 「間接目的語」

ma マ conj. しかし

mi sono avvicinato ミ・ソノ・アヴィチナト 1 単現・完了形(avvicinarsi)v.pr(a に) 近づいた 「動詞句」

a lui ア・ルーイ adv. 彼に 「間接目的語」

e エ conj. そして

ho cercato di spiegargli オ・チェルカート・ディ・スピエガール 1 単現・完了形・努力

(cercare di+不定詞 spiegare+gli)v.i 彼に説明しようとした 「動詞句」

un'ultima volta ウナルチマ・ウォールタ adv. 最後に 「副詞句」

che ケ conj. ～ということ 「目的語」

mi ミ pron 僕には 「間接目的語」

restava レスターヴァ 3 単半・時制の一致(restare)v.i 残っている、残されている 「動詞」

soltanto poco tempo. ソルタント・ポコ。テンポ n.m 少しの時間だけが 「主語」

僕は神の事で時間を無駄にしたくなかった。彼はどうして僕は神の事を「父」ではなく「彼」と呼ぶのかと尋ねて、話題を変えようとした。

Non volevo sprecarlo con Dio. Ha cercato di cambiar discorso chiedendomi perché lo chiamavo “signore” e non “padre”.

「動詞句」「副詞句」 | 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Non volevo sprecarlo ノン・ヴァォレヴァ・オ・スプレカル 1 単半・願望・否定(volére+不定詞 sprecare+lo)

v.t 時間を無駄にしたくなかった 「動詞句」

con Dio. コン・ディ・オ adv. 神のことで 「副詞句」

Ha cercato di cambiar ア・チェルカート・ディ・カンビアル 3 単現・完了形・努力(cercare di+不定詞 cambiar)

v.t 変えようとした 「動詞句」

discorso ディスコール n.m 話題を 「目的語」

chiedendomi キエテンント ジェルンディオ・手段(chiedere)adv. 聞くことで 「副詞句」

perché ベルケ adv. どうして 「副詞」

lo ロ pron 神を 「目的語」

chiamavo キアマヴォ 1 単半・時制の一致(chiamare)v.t 呼ぶ 「動詞」

“signore” シニョーレ n.m 「彼」 「補語」

PARTE SECONDA 第2部

e エ conj. そして

non “padre”. ノン・パドレ n.m 「父」ではなく

「補語」

これを聞いて、僕は腹が立って、彼は僕の父親ではないと答えた：彼も他の人たちと同じだ。

Questo mi ha dato ai nervi e gli ho risposto che non era mio padre: era anche lui come gli altri.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」 e 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」:

「動詞」「主語」「補語」

Questo ケスト pron これは

「主語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha dato ア・ダート 3 単現・完了形(dare)v.t 与えた

「動詞句」

ai nervi アイ・ネルヴィ adv. 神経に

「間接目的語」

dare ai nervi a qlcu. 人をイライラさせる、怒らせる

e エ conj. そして

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

ho risposto オ・リスポスト 1 単現・完了形(rispondere)v.t 答えた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

non era ノン・エラ 3 単半・否定・時制の一致(essere)v.i ～ではない

「動詞句」

mio padre: ミオ・パドレ n.m 僕の父親

「補語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

anche lui アンケ・ルイー pron. 彼もまた

「主語」

come gli altri. コー・メリ・アルトリ adv. 他の人たちと同様の

「補語」

「いや、息子よ」と、彼は僕の肩に手を置いて言った：「私はあなたと共にいます」

“No, figlio mio,” mi ha detto mettendomi la mano sulla spalla. “Io sono con te.

《「呼びかけ」》, 「間接目的語」「動詞句」「副詞句」, 《「主語」「動詞」「副詞句」》

“No, figlio mio,” ノ・フィリオ・ミオ adv. いや、息子よ

「呼びかけ」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

ha detto ア・デット 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

mettendomi メント・ミ ジェルンディオ(mettere+mi)adv. 置いて

「副詞句」

la mano ラ・マーノ n.f 手を

「目的語」

sulla spalla. スッラ・スパッラ adv. 肩の上に

「副詞句」

“Io イオ pron 私は

「主語」

sono ソーノ 1 単現・存在(essere)v.i いる

「動詞」

con te. コン・テ adv. あなたと共に

「副詞句」

「しかし、あなたは心の目が閉じているのでそれが見えないでしょう。私はあなたのために祈ります。」

Ma tu non puoi saperlo perché hai un cuore cieco. Io pregherò per te.”

《Ma 「主語」「動詞句」「副詞節」 | 「主語」「動詞」「副詞句」》

Ma マ conj. しかし

tu トゥ pron 君は

「主語」

non puoi saperlo ノンポイ・サペー・ル・ロ 2 単現・可能・否定(potére+不定詞 sapére+lo)

v.t それ分からない

「動詞句」

perché ペルケ conj. ～なので

「副詞節」

hai アイ 2 単現(avére)v.t(特徴) ～をしている

「動詞」

un cuore ウン・クオーレ n.m 心

「目的語」

cieco. チェコ adj. 盲目の

「形容詞」

Io イオ pron 私は

「主語」

pregherò プレゲロ 1 単未・意思(pregare)v.t 祈ろう

「動詞」

per te.” ペル・テ adv. 君のために

「副詞句」

その時、なぜか分からないが、僕の中で何かが砕けた。

Allóra, non so per quale ragióne, c'è qualcòsa che si è spezzato in me.

「副詞」, 「動詞句」「副詞句」, 「動詞」「補語」「主語」

Allóra, アッローラ adv. その時

「副詞」

non so ノンソ 1 単現・否定(sapére)v.t 分からない

「動詞句」

per quale ragióne, ペル・クワレ・ラジオーネ adv. なぜか

「副詞句」

c' ス pron 仮の主語 (真の主語は che 以降)

è エ 3 単現(èssere)v.i ～である

「動詞」

qualcòsa クワルコーサ pron 何か

「補語」

che ケ conj. ～ということは

「主語」

si è spezzato シ・エ・ス・ペッツァート 3 単現・完了形(spezzarsi)v.pr 砕けた

「動詞句」

in me. イン・メ adv. 僕の中で

「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

僕は全力で叫び始めて、彼を罵った。それから彼に祈るなど言い、消え去るより燃え尽きる方がまし
だといった。

Mi sono messo a urlare con tutta la mia forza e l'ho insultato e gli ho detto di non pregare e che è
meglio ardere che scomparire.

「動詞句」「副詞句」 e 「目的語」「動詞句」 e 「間接目的語」「動詞句」「補語」 e 「目的語」

Mi sono messo a urlare ミ・ソーノ・メツ・ア・ウルラーレ 1 単現・完了形・開始(mettersi a+不定詞 urlare)

v.i 叫び始めた 「動詞句」

con tutta la mia forza コン・トゥッタ・ラ・ミーア・フォルツァ adv. 全力で 「副詞句」

e ɛ conj. そして

l' ɔ pron 彼を 「目的語」

ho insultato オインスルト 1 単現・完了形(insultare)v.t 罵った 「動詞句」

e ɛ conj. そして

gli ʀ pron 彼に 「間接目的語」

ho detto オ・デット 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

di non pregare ディ・ノン・プレガール 不定詞・否定・gli の動作 v.t 祈らない 「補語」

e ɛ conj. そして

che ʃ conj. ～ということを 「目的語」

è ɛ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

miglior メーリオ adj. よりよい 「補語」

ardere アルデーレ 不定詞 n. 燃えることは 「主語」

che scomparire. ケ・スコンパリーレ adv. (比較) 消えることより 「副詞句」

フランス語版では

僕は声を張り上げて叫び、彼を侮辱し、彼にもう祈るなど怒鳴りつけた。

Je me suis mis à crier à plein gosier et je l'ai insulté et je lui ai dit de ne pas prier.

e che è meglio ardere che scomparire. 部分は存在しない。

僕は彼の僧服の襟を掴んだ。怒りと喜びが混ざり動揺した僕の心の内を全て彼にぶちまけた。彼はとても確信に満ちた様子だったな。

L'avevo preso per la sottana. Riversavo su di lui tutto il fóndo del mio cuore con dei sussulti misti di còllera e di giòia. Aveva l'ària così sicura, véro?

「目的語」「動詞句」「副詞句」 | 「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」
「動詞」「目的語」, 「確認」

L' \square pron 彼を 「目的語」
avevo preso アヴェーヴォ・オ・プレソ 1 単半・完了形(prèndere)v.t 掴んだ 「動詞句」
per la sottana. ペル・ラ・ソッターナ adv. (経由) 僧服を通じて 「副詞句」
Riversavo リヴェルサーヴォ 1 単半(riversare)v.t 注ぎ込んだ 「動詞」
su di lui ス・ディ・ルーイ adv. 彼に 「間接目的語」
tutto il fóndo del mio cuore トウト・イル・フォント・テル・ミーオ・クオーレ n.m 僕の心の内を全て 「直接目的語」
con dei sussulti コン・ディ・スッスルティ adv. (付属) 動揺を含んだ 「副詞句」
misti di còllera e di giòia. ミステイ・ディ・コレラ・エ・ディ・ジョイア
adj. 怒りと喜びが混ざった 「形容詞句」
Aveva アヴェーヴァ 3 単半(avére)v.t(特徴を) していた 「動詞」
l'ària ラーリア n.f 様子を 「目的語」
così sicura, コシ・シカーラ adj. とても確信した 「形容詞句」
véro? ヴェーロ adv. 本当に 「確認」

フランス語版では

僕は彼の法衣の襟をつかんだ。僕は彼に向かって、喜びと怒りが混ざり合い、膨れ上がった感情のすべてを彼にぶつけていた。

Je l'avais pris par le collet de sa soutane. Je déversais sur lui tout le fond de mon coeur avec des bondissements mêlés de joie et de colère.

per la sottana より per la colletto が近い。

PARTE SECONDA 第2部

だが、彼の確信のどれも女の髪の毛1本の価値もない。彼は死人のように生きていたから、自分が生きているのかさえ確信がなかった。

Eppure nessuna delle sue certezze valeva un capello di donna. Non era nemmeno sicuro di essere in vita dato che viveva come un morto.

Eppure 「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞句」「補語」「副詞節」

Eppure エップーレ conj. だが、しかし
 nessuna delle sue certezze ネスーナ・デッレ・スエ・チェルテツエ pron 彼の確信のどれも～ない 「主語」
 valeva ヴァレヴァ 3 単半・否定文(valére)v.i 価値がなかった 「動詞」
 un capello di donna. ウン・カペッロ・ディ・ドンナ n.m 女性の髪1本 「補語」
 Non era ノン・エラ 3 単半・否定(essere)v.i ～でなかった 「動詞句」
 nemmeno sicuro ネメーノ・シクーロ adj. さえ確信～ない 「補語」
 di essere ディ・エッセル 不定詞・同格 adj. ～でいるという 「形容詞句」
 in vita dato イン・ヴィータ・ダート adv. 与えられた人生に 「補語」
 che ケ conj.(事実の提示) (理由) ～であるから 「副詞節」
 viveva ヴィヴェヴァ 3 単半(vivere)v.i 生きていた 「動詞」
 come un morto. コモ・ウン・モルト adv. 死人のように 「副詞句」

僕は、空っぽの手を持っているように見える。しかし、僕は自分自身に確信がある。全てについて確信がある。彼よりも確信がある。僕の人生やこれから訪れるこの死について確信がある。

Io, pareva che avessi le mani vuote. Ma ero sicuro di me, sicuro di tutta, più sicuro di lui, sicuro della mia vita e di questa morte che stava per venire.

「主語」, 「動詞」「主語」 | Ma 「動詞」「補語」, 補語, 補語, 補語

Io, イオ pron 僕は 「主語」
 pareva パレヴァ 3 単半・時制の一致(parére)v.i ～のように見える 「動詞」
 che ケ conj. ～ということが 「主語」
 avessi アヴェッシ 接・1 単半・時制の一致(avére)v.t 持っている 「動詞」
 le mani レ・マーニ pl(mano).n.f 手を 「目的語」
 vuote. ヴォーテ adj(vuoto).pl.f 空っぽの 「形容詞」
 Ma マ conj. しかし
 ero エロ 1 単半・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」
 sicuro シクーロ adj(di について) 確信のある 「補語」
 di me, ディ・メ adv. 自分自身に 「副詞句」
 sicuro シクーロ adj(di について) 確信のある 「補語」
 di tutta, ディ・トゥッタ adv. すべてに 「副詞句」
 più sicuro ピウ・シクーロ adj(di ～より) もっと確信のある 「補語」
 di lui, ディ・ルーイ adv. 彼よりも 「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

sicuro シケー adj(di について) 確信のある	「補語」
della mia vita デラ・ミア・ヴァータ adv. 自分の人生について	「副詞句」
e エ conj. そして	
di questa morte ディ・クェスタ・モルテ adv. この死について	「副詞句」
che ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
stava スターヴァ 3 単半・時制の一致(stare)v.i 」ある	「動詞」
per venire. ペル・ヴェニエレ adv. 来るべき	「副詞句」

そうだ、僕にはこれしか無い。だが、少なくとも僕はこの真実を掴んでいる、その真実が僕を掴んでいたように。

Sì, non avevo che questo. Ma perlomeno avevo in mano questa verità così come essa aveva in mano me.

「副詞」, 「動詞句」 「目的語」 Ma 「副詞」 「動詞」 「副詞句」 「目的語」 「副詞節」	
Sì, シ adv. そうだ	「副詞」
non avevo ノン・アヴェーヴォ 1 単半・否定・時制の一致(avére)v.t 持っていない	「動詞句」
che questo. ケ・クェスト pron(non ...che) これしか～ない	「目的語」
Ma マ conj. しかし	
perlomeno ペルメーノ adv. 少なくとも	「副詞」
avevo アヴェーヴォ 1 単半・時制の一致(avére)v.t 持っている	「動詞」
in mano イン・マーノ adv. 手の中に	「副詞句」
questa verità クェスタ・ヴァリタ n.f この真実を	「目的語」
così come コシ・コメ conj. ～するように	「副詞節」
essa エッサ pron それが	「主語」
aveva アヴェーヴァ 3 単半(avére)v.t 持っていた	「動詞」
in mano イン・マーノ adv. 手の内に	「副詞句」
me. メ pron 僕を	「目的語」

僕は正しかった、僕はいまでも正しい、僕はいつでも正しい。

Avevo avuto ragione, avevo ancora ragione, avevo sempre ragione.

「動詞句」 「目的語」, 「動詞」 「副詞」 「目的語」, 「動詞」 「副詞」 「目的語」	
Avevo avuto アヴェーヴォ・アヴェート 1 単半・完了形(avére)v.t ～があった	「動詞句」
ragione, ラジオーネ n.f 道理	「目的語」
avevo アヴェーヴォ 1 単半(avére)v.t ～があった	「動詞」
ancora アンコーラ adv. いまだに	「副詞」
ragione, ラジオーネ n.f 道理	「目的語」
avevo アヴェーヴォ 1 単半(avére)v.t ～があった	「動詞」

PARTE SECONDA 第2部

sèmpre センプレ adv. いつでも

「副詞」

ragióne. ラジオーネ n.f 道理

「目的語」

僕はこのやり方で生きてきたが、他のやり方でも生きて来られただろう。

Avevo vissuto in questo modo e avrei potuto vivere in quest'altro.

「動詞句」「副詞句」e「動詞句」「副詞句」

Avevo vissuto アヴェウヴォ・ウ・イッスト 1 単半・完了形(vivere)v.i 生きてきた

「動詞句」

in questo modo イン・ケスト・モート adv. (手段) このやり方で

「副詞句」

e エ conj. そして

avrèi potuto vivere アヴレイ・ポトウト・ウ・イヴエ 条・1 単現・完了形・可能性・推量(potére+不定詞 vivere)
v.i 生きていけたらう

「動詞句」

in quest'altro. イン・ケスタルト adv. 他のやり方でも

「副詞句」

僕はこれを使ったがそれをしなかった。僕は別のそれを使ったのに、それをやらなかった。

Avevo fatto questo e non avevo fatto quello. Non avevo fatto una tal cosa mentre ne avevo fatto una tal altra.

「動詞句」「目的語」e「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「目的語」「副詞節」

Avevo fatto アヴェウヴォ・ファット 1 単半・完了形(fare)v.t やった

「動詞句」

questo ケスト pron これを

「目的語」

e エ conj. そして

non avevo fatto ノン・アヴェウヴォ・ファット 1 単半・完了形・否定(fare)v.t やらなかった

「動詞句」

quello. ケットロ pron それを

「目的語」

Non avevo fatto ノン・アヴェウヴォ・ファット 1 単半・完了形・否定(fare)v.t やらなかった

「動詞句」

una tal cosa ウナ・タル・ッコサ n.f そんなことを

「目的語」

mentre メントレ conj. ～であるのに

「副詞節」

ne ネ pron それについて

「間接目的語」

avevo fatto アヴェウヴォ・ファット 1 単半・完了形(fare)v.t やった

「動詞句」

una tal altra. ウナ・タル・アルトラ n.f 別のそれを

「直接目的語」

で、それで？僕はずっとその瞬間を、そして僕が処刑されるその夜明けを待っていたようだった。

E pòi? Era còme se avessi atteso sèmpre quél minuto... e quell'alba in cui sarèi stato giustiziato.

「副詞句」 | 「動詞」「補語」

E pòi? エ・ポ・イ adv. そして、それで？

「副詞句」

Era エラ 3 単半(essere)v.i. ～だった

「動詞」

còme コ・メ conj. ～のように

「補語」

se avessi atteso セ・アヴ・エッシ・アテゾ 接・1 単半・完了形(attendersi)v.pr. 待っていた

「動詞句」

sèmpre センプレ adv. ずっと

「副詞」

quél minuto... ケル・ミニート adv. その瞬間を

「目的語」

e エ conj. そして

quell'alba ケラルハ n.f. その夜明けを

「目的語」

in cui イン・ケイ pron. その時に～する

「副詞節」

sarèi stato giustiziato. サレイ・スターチ・ジ・ュステイツィアート 条・1 単現・完了形・受動(giustiziare)

v.t. 処刑される

「動詞句」

重要な事は何もなかった。僕はその理由をよく分かっていた。彼だって知っているはずだ。

Nulla, nulla aveva importanza e sapevo bène il perché. Anche lui sapeva perché.

「主語」「動詞」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「目的語」

Nulla, nulla ヌッラ・ヌッラ pron. 何も、何も

「主語」

aveva アヴ・ェーヴァ 3 単半・否定文(avère)v.t. ～がなかった

「動詞」

importanza インポ・ルタンツァ n.f. 重要性

「目的語」

e エ conj. そして

sapevo bène サヘ・ウ・ォ・ベ・ネ 1 単半(sapère)v.t. よく分かっていた

「動詞句」

il perché. イル・ペルケ n.m. その理由を

「目的語」

Anche lui アンケ・ルーイ pron. 彼も

「主語」

sapeva サヘ・ウ・ヴァ 3 単半(sapère)v.t. 分かっていた

「動詞」

perché. ペルケ n.m. 理由を

「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

僕が生きてきたこの不条理な人生の間中、僕の未来の奥底から、まだ来ていない年月を越えて僕の方へ暗い息吹が立ち昇って来た。そしてその息吹は、通り過ぎる時に、全てを僕が生きてきた年月と同じ位非現実的なものにした。

Dal fondo del mio avvenire, durante tutta questa vita assurda che avevo vissuta, un sóffio oscuro risaliva verso di me attraverso annate che non erano ancora venute e quel sóffio uguagliava, al suo passaggio, ogni cosa che mi fosse stata proposta allora nelle annate non meno irreali che stavo vivendo.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」 e 「主語」 「動詞」 「副詞句」 「目的語」

Dal fondo ダル・フント adv. 奥底から 「副詞句」

del mio avvenire, デル・ミー・オ・アヴヴェニレ adj. 僕の未来の 「形容詞句」

durante tutta questa vita トゥランテ・トゥッタ・クェスタ・ヴィータ adv. この人生の間中ずっと 「副詞句」

assurda アッスルダ adj(assurdo).f 不条理な 「形容詞」

che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

avevo vissuta, アヴェ・ヴィッ・スッタ 1 単半・完了形.f(vivere)

v.t 生きてきた 「動詞句」

un sóffio oscuro ウン・ソッフイオ・オスクロ n.m 暗い息吹が 「主語」

risaliva リサリーヴァ 3 単半(risalire).v.i 立ち昇って来た 「動詞」

verso di me ヴェールゾ・ディ・メ adv. 僕の方へ 「副詞句」

attraverso アットラヴヴェールソ prep 横切って 「副詞句」

annate アンナーテ pl(annata).n.f 数年 「目的語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

non erano ノン・エラーノ 3 複半・否定(essere).v.i ～でない 「動詞句」

ancora venute アンコーラ・ヴェヌーテ adj. まだ来ていない 「補語」

e エ conj. そして

quel sóffio ケル・ソッフイオ n.m その息吹は 「主語」

uguagliava, ウグァリアヴァ 3 単半(uguagliare).v.t 均一化する、等しくする 「動詞」

al suo passaggio, アル・スー・パッサージュ adv. 通り過ぎる時に 「副詞句」

ogni cosa オンニ・コーサ n.f 全てを 「目的語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

mi fosse stata proposta ミ・フォッセ・スタータ・プロポスタ 接・3 単半・完了形・受動(proporre)

v.t 僕に差し出された 「動詞句」

allora アッローラ adv. 当時 「副詞」

nelle annate ネレ・アンナーテ adv. 何年も 「副詞句」

non meno irreali ノンメーノ・イレアレ adj 同じ位非現実的な 「形容詞句」

che ケ conj. (比較) ～することと 「副詞節」

stavo vivendo. サヴァーヴヴェント 1 単半・継続(stare+ヴェンテ・ヴィvere)

PARTE SECONDA 第2部

v.i 生きてきた

「動詞句」

僕にとって何が重要なのだ？他人の死なのか？母親の愛なのか？僕にとって何が重要なのだ？彼の神か？一人一人が選択する人生か？人が選ぶ運命？ただ一つの運命が僕を、そして僕と一緒に彼と同様に僕の兄弟を自称する何十億もの特権者を選ばなくてはならない時に。

Còsa mi importavano la mòrte degli altri, l'amore di una madre, còsa mi importavano il suo Dio, le vite che ognuno si sceglie, i destini che un uòmo si elegge, quando un sólo destino doveva eleggere me e con me miliardi di privilegiati che, còme lui, si dicevano miei fratelli?

「主語」「間接目的語」「動詞」, 「主語」,

「主語」「間接目的語」「動詞」, 「主語」, 「副詞節」

Còsa コーサ pron 何が 「主語」
 mi ミ pron 僕にとって 「間接目的語」
 importavano インポルターヴァノ 3 複半(importare)v.i 重要だった、大切だった 「動詞」
 la mòrte degli altri, ラ・モールテ・デ・リ・アルトリ n.f 他人の死 「主語」
 l'amore di una madre, ラモーレ・デ・イ・ウナ・マトレ n.m 母親の愛 「主語」
 còsa コーサ pron 何が 「主語」
 mi ミ pron 僕にとって 「間接目的語」
 importavano インポルターヴァノ 3 複半(importare)v.i 重要だった、大切だった 「動詞」
 il suo Dio, イル・スーオ・デ・イオ n.m 彼の神 「主語」
 le vite レ・ウイ・テ pl(vita).n.f 人生 「主語」
 che ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」
 ognuno オンニウノ pron 一人一人が 「主語」
 si sceglie, シ・シェーリエ 3 単現(scéglie)si)v.pr 選択する 「動詞句」
 i destini イ・デスティニ pl(destino).n.m 運命 「主語」
 che ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」
 un uòmo ウン・ウオーモ n.m 人が 「主語」
 si elegge, シ・エレッジェ 3 単現(eleggersi)v.pr 選ぶ 「動詞句」
 quando クワント conj. ~する時に 「副詞節」
 un sólo destino ウン・ゾロ・デスティノ n.m ただ一つの運命が 「主語」
 doveva eleggere トゥーヴァ・エーヴァ・エレッジェレ 3 単半・必要(dovere+不定詞 eleggere)
 v.t 選ばなくてはならない 「動詞句」
 me メ pron 僕を 「目的語」
 e エ conj. そして
 con me コン・メ adv. 僕と一緒に 「副詞句」
 miliardi di privilegiati ミリアルディ・デ・イ・プリヴィレギアティ
 pl(privilegiato).n 何十億の特権者を 「目的語」

PARTE SECONDA 第2部

che, ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
cóme lui, コモ・ルーイ adv. 彼のように	「副詞句」
si dicevano シ・デ ^ィ チェヴァ ^ァ ノ 3 複半(dirsi)v.pr 自称する	「動詞句」
miei fratèlli? ミエイ・フラテ ^ェ リ pl(fratèllo).n.m 僕の兄弟	「目的語」

分かっているのか？一体、彼は分かっているのか？誰もが特権者だ。特権者しかいない。他の人もいつか死刑判決を受けるだろう。

Capiva, capiva d'unque? Tutti sono privilegiati. Non ci sono che privilegiati. Anche gli altri saranno condannati un giorno.

「動詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞句」「主語」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

Capiva, capiva d'unque? カピ^ァ・ヴァ^ァ・カピ^ァ・ヴァ^ァ・ト^ゥンクエ 3 単半・時制の一致・疑問文(capire)

v.t 分かっているのか？一体、彼は分かっているのか？	「動詞句」
Tutti トウッティ pron.pl 誰もが	「主語」
sono ソーノ 3 複現(essere)v.i ～である	「動詞」
privilegiati. プリウ ^ィ イレジ ^ィ ャーティ pl(privilegiato)n.m 特権者	「補語」
Non ci sono ノン・チ・ソーノ 非人称・3 複現・存在・否定(esserci)v.i いらない	「動詞句」
che privilegiati. ケ・プリウ ^ィ イレジ ^ィ ャーティ pl(privilegiato)n.m(non...che) 特権者しか	「主語」
Anche gli altri アンケ [・] リ [・] アルトリ pron(altro).pl 他の人たちも	「主語」
saranno condannati サランノ [・] コンダ ^ァ ナーティ 3 複未・受動(condannare)	
v.t 有罪判決を下されるだろう	「動詞句」
un giorno. ウン [・] ジ ^ョ ルノ adv. いつか	「副詞句」

あの司祭も死刑を宣告されるだろう。殺人で告発された男が、母親の葬儀で泣かなかったという理由で死刑を宣告されたら、何が問題なのか？

Anche lui sarà condannato. Che importa se un uomo accusato di assassinio è condannato a morte per non aver pianto ai funerali di sua madre?

「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞節」

Anche lui アンケ [・] ルーイ pron 彼も	「主語」
sarà condannato. サラ [・] コンダ ^ァ ナート 3 単未・受動(condannare)	
v.t 死刑判決を下されるだろう	「動詞句」
Che ケ pron 何が	「主語」
importa インポ ^ァ ルタ 3 単現・疑問文(importare)v.i 重要なのか？	「動詞」
se セ conj. もし～ならば	「副詞節」
un uomo ウン [・] ウオーモ n.m ある男が	「主語」
accusato アックザ ^ァ ート 過去分詞・受動 adj. 告発された	「形容詞句」
di assassinio ディ ^ィ ・アッサシ ^ィ ニョ adv. (理由) 殺人で	「副詞句」

PARTE SECONDA 第2部

è condannato エ・コンダッソナート 3 単現・受動(condannare)v.t 刑を宣告される 「動詞句」

a mòrte ア・モールテ adv. 死を 「副詞句」

per non aver pianto ペル・ノン・アヴェール・ピアント 不定詞(piangere)・理由

adv. 泣かなかったので 「副詞句」

ai funerali アイ・フネーリ adv. 葬儀で 「副詞句」

di sua madre? デイ・スア・マトレ adj. 母親の 「形容詞句」

サラマノ老人の犬は彼の妻と同じ位価値がある。あの機械人形みたいな少女は、マソンが結婚したパ
リジャンや僕と結婚したがっていたマリーと同様に有罪だ。

Il cane di Salamano valeva tanto quanto sua moglie. La donnina automatica era altrettanto
colpevole che la parigina che Masson aveva sposato o Maria che aveva voglia che io la sposassi.

「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」

Il cane di Salamano イル・カーネ・デイ・サラマノ n.m サラマノ老人の犬は 「主語」

valeva ヴァレーヴァ 3 単半・時制の一致(valere)v.i ~の価値がある 「動詞」

tanto quanto sua moglie. タント・クワント・スア・モーリエ adv. 彼の妻と同じ位 「副詞句」

La donnina automatica ラ・ドニナ・アウトマティカ n.f あの機械人形みたいな少女は 「主語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ~である 「動詞」

altrettanto colpevole アルトレッタント・コルペーヴォレ adj. 同じ位有罪の 「補語」

che ケ conj. (比較) ~と 「副詞句」

la parigina ラ・パリジナ n.f パリジャン 「目的語」

che ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

Masson マソン n.m マソンが 「主語」

aveva sposato アヴェーヴァ・ア・スポザート 3 単半・完了形(sposare)

v.t 結婚した 「動詞句」

o オ conj. または

Maria マリア n.f マリー 「目的語」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

aveva アヴェーヴァ 3 単半(avére)v.t ~があった 「動詞」

vòglia ヴォーリア n.f 願望 「目的語」

che ケ conj. (同格) ~という 「形容詞節」

io イオ pron 僕が 「主語」

la ラ pron 彼女と 「目的語」

sposassi. スポザッシ 接・1 単半(sposare)

v.t 結婚する 「動詞」

レーモンは彼より優れているセレステと同様に僕の友人だが、その何が問題なんだ？

Che importava che Raimondo fosse mio amico allo stesso modo di Celeste che valeva più di lui?

「補語」「動詞」「主語」

Che ケ pron 何だ

「補語」

importava インポルタヴァ 3 単半・疑問文(importare)v.i 重要なのか?、気にかかる

「動詞」

Che importa? (反語) それがどうしたと言うのか?

che ケ conj. (+接続法) ~として

「主語」

Raimondo ライモンﾄﾞ n.m レーモンは

「主語」

fosse フォッセ 接・3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

mio amico ミオ・アミコ n.m 僕の友人

「補語」

allo stesso modo アロ・ステッソ・モト adv.(di と) 同様に

「副詞句」

di Celeste ディ・セステ adj. セレステの場合と

「副詞句」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

valeva ヴァレーヴァ 3 単半 (valere)v.i 優れている

「動詞」

più di lui? ピウ・ディ・ルイ adv. 彼よりもっと

「副詞句」

マリーが今日、新しいムルソーに唇を与えてとしても、それがなんだ？

Che importava che Maria desse oggi la sua bocca a un nuovo Meursault?

「動詞句」「主語」

Che importava ケ・インポルタヴァ 3 単半・疑問文(importare)v.i それがどうしたと言うのか? 「動詞句」

che ケ conj. (+接続法) ~として

「主語」

Maria マリア n.f マリーが

「主語」

desse デッセ 接・3 単半(dare)v.t 与えた

「動詞」

oggi オジ adv. 今日

「副詞」

la sua bocca ラ・スア・ボッカ n.f 口を、唇を

「直接目的語」

a un nuovo Meursault? ア・ウン・ヌォヴァ・ムルソー adv. 新しいムルソーに

「間接目的語」

それで分かっているのか? この死刑囚は、僕の未来の深淵から... ここまで叫んで、息が詰まった。

Capiva dunque, quel condannato, e che dal fondo del mio avvenire... soffocavo gridando tutto questo.

「動詞句」「主語」,e「目的語」|「動詞」「副詞句」

Capiva dunque, カピヴァ・ダンケ 3 単半・疑問文(capire)v.t それで分かっているのか? 「動詞句」

quel condannato, ケル・コンダンナート n.m この死刑囚は

「主語」

e エ conj. そして

che ケ conj. ~ということを

「目的語」

dal fondo del mio avvenire... ダル・フォント・デル・ミオ・アヴヴェーレ

PARTE SECONDA 第2部

adv. 僕の未来の深淵から 「副詞句」
 soffocavo ソフカーヴォ 1 単半(soffocare)v.i 息が詰まった 「動詞」
 gridando グリタント ジェルンディオ・原因 adv. 叫んで 「副詞句」
 tutto quèsto. トウト・クエスト pron この全てを 「目的語」

しかし、彼らは既に司祭を僕の手から引き離し、看守たちは僕を威嚇していた。

Ma già mi strappavano il prète dalle mani e i guardiani mi stavano minacciando.

Ma 「副詞」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」 e 「主語」「目的語」「動詞句」
 Ma マ conj. しかし
 già ジャ adv. すでに 「副詞」
 mi ミ pron 僕の 「間接目的語」
 strappavano スラパーヴァノ 3 複半(strappare)v.t 引き離していた 「動詞」
 il prète イル・プレテ n.m 司祭を 「直接目的語」
 dalle mani ダレ・マニ adv. 手から 「副詞句」
 e エ conj. そして
 i guardiani イ・グワルディアニ pl(guardiano).n.m 看守たちは 「主語」
 mi ミ pron 僕を 「目的語」
 stavano minacciando. スタヴァノ・ミナチヤント 3 複半・進行形(stare+ジェルンディオ minacciare)
 v.t 威嚇していた 「動詞句」

しかし司祭は看守たちを落ち着かせてから、僕を無言で見つめた。彼の目は涙で溢れていた。彼は振り返り、立ち去った。

Ma lui li ha calmati e mi ha guardato un moménto in silénzio. Aveva gli occhi pieni di lagrime. Si è voltato ed è scomparso.

Ma 「主語」「目的語」「動詞句」 e 「目的語」「動詞句」「副詞句」
 「動詞」「目的語」 | 「動詞句」 ed 「動詞句」

Ma マ conj. しかし
 lui ルーイ pron 司祭は 「主語」
 li リ pron 看守たちを 「目的語」
 ha calmati ア・カルマーティ 3 単現・完了形(calmare)v.t 落ち着かせた 「動詞句」
 e エ conj. そして
 mi ミ pron 僕を 「目的語」
 ha guardato ア・グワルダート 3 単現・完了形(guardare)v.t 見つめた 「動詞句」
 un moménto ウン・モメント adv. しばらく 「副詞句」
 in silénzio. イン・シレンツィオ adv. 黙って 「副詞句」
 Aveva アヴェヴァ 3 単半・存在(avére)v.t ～があった、(特徴) ～だった 「動詞」

PARTE SECONDA 第2部

gli occhi リ・オッキ pl(occhio).n.m	目が	「目的語」
pièni di lagrime. ヒ・エニ・デ・イ・ラグリマ	adj. 涙で一杯の	「形容詞句」
Si è voltato シ・エ・ウ・オルタート	3 単現・完了形(voltarsi)v.pr	振り返った
ed エト conj.	そして	
è scomparso.エ・スコソハ・ルツ	3 単現・完了形(scomparire)v.pr	立ち去った

彼が立ち去ると、僕は平静を取り戻した。僕は疲れ果てていたので、ベッドに飛び込んだ。

Partito lui, ho ritrovato la calma. Ero esausto e mi sono gettato sulla branda.

「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」 | 「動詞」 「補語」 e 「動詞句」 「副詞句」

Partito パ・ルチート	過去分詞	adv. 立ち去ると	「副詞句」
lui, ルーイ	pron	彼が	「主語」
ho ritrovato オ・リトロヴァート	1 単現・完了形(ritrovare)v.t	取り戻した	「動詞句」
la calma. ラ・カルマ	n.f	平静を	「目的語」
Ero エロ	1 単半(essere)v.i	～だった	「動詞」
esausto エサウスト	adj.	疲れ果てた	「補語」
e エ conj.	そして		
mi sono gettato ミ・ソノ・ジエッタート	1 単現・完了形(gettarsi)v.pr	飛び込んだ	「動詞句」
sulla branda. スッラ・ブランド	adv.	簡易ベッドに	「副詞句」

僕は眠ってしまったに違いない、沢山の星明りで目が覚めたからだ。

Devo aver dormito perché mi sono svegliato con delle stéle sul viso.

「動詞句」 「副詞節」

Devo aver dormito デ・ウ・オアヴァ・エル・ドルミート	1 単半・推量(dovére+不定詞・完了形 dormire)		
v.i	眠ってしまったに違いない		「動詞句」
perché ペルケ conj.	～なので		「副詞節」
mi sono svegliato ミ・ソノ・スヴェリアート	1 単現・完了形(svegliarsi)v.pr	目覚めた	「動詞句」
con delle stéle コン・デッレ・ステッレ	adv.	沢山の星と一緒に	「副詞句」
sul viso. スル・ヴィーゾ	adv.	顔に	「副詞句」

田園の騒めきが僕の所まで聞こえてきた。夜と大地と潮の匂いが僕のこめかみを冷やした。

Rumóri di campagna giungevano fino a me. Odóri di nòtte, di tèrra e di sale rinfrescavano le mie tèmpie.

「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「目的語」

Rumóri ルモリー pl(rumóre).n.m 音が 「主語」
 di campagna ティ・カンパニー adj. 田園の「形容詞句」
 giungevano ジュンジェヴァノ 3 複半(giungere)v.i 届いた 「動詞」
 fino a me. フィーノ・ア・メ adv. 僕の所まで 「副詞句」
 Odóri オドーリ pl(odóre).n.m 匂いが 「主語」
 di nòtte, ティ・ノッテ adj. 夜の 「形容詞句」
 di tèrra ティ・テラ adj. 大地の 「形容詞句」
 e エ conj. そして
 di sale ティ・サーレ adj. 潮の 「形容詞句」
 rinfrescavano リンフレスカヴァノ 3 複半(rinfrescare)v.t 冷やした 「動詞」
 le mie tèmpie. レ・ミー・テンピエ pl(tèmpia).n.f 僕のこめかみを 「目的語」

眠りについた今年の夏の素晴らしい静けさが、まるで潮流のように、僕の心の中に流れ込んで来た。

La pace meravigliosa di quell'estate assopita entrava in me come una marèa.

「主語」「動詞」「副詞句」

La pace ラ・ツパーチェ n.f 静けさが 「主語」
 meravigliosa メラヴィギョーサ adj(meraviglioso).f 素晴らしい 「形容詞」
 di quell'estate ティ・ケレスターテ adj. この夏の 「形容詞句」
 assopita アッソピタ 過去分詞(assopire)adj. 眠りについた 「形容詞」
 entrava エントラーヴァ 3 単半(entrare)v.i 入って来た 「動詞」
 in me イン・メ adv. 僕の心の中に 「副詞句」
 come una marèa. コーメ・ウナ・マレーア adv. 潮流のように 「副詞句」

その時、夜の果てで、サイレンの甲高い音が聞こえた。もはや僕にとってはどうでも良い、ある世界への出発を告げていた。

In quel momento e al limite della notte, si è udito un sibilo di sirene. Annunciavano partenze per un mondo che mi era ormai indifferente per sempre.

「副詞句」, 「動詞句」 「主語」 | 「動詞」 「目的語」 「副詞句」

In quel momento イン・ケル・モメント adv. その時 「副詞句」

e エ conj. そして

al limite della notte, アル・リミテ・デラ・ノッテ adv. 夜の果てで 「副詞句」

si è udito シ・エ・ウディート 3 単現・完了形・再帰受動(udirsi)v.pr 聞こえた 「動詞句」

un sibilo ウン・シビロ n.m 甲高い音が 「主語」

di sirene. デイ・シレネ adj. サイレンの 「形容詞句」

sirèna シレーナ n.f サイレン

Annunciavano アヌンチャヴァノ 3 複半(annunciare)v.t 告げていた 「動詞」

partenze パルテンツァ n.f 出発を 「目的語」

per un mondo ペル・ウン・モント adv. ある世界への 「副詞句」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

mi ミ pron 僕にとって 「間接目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ~である 「動詞」

ormai indifferente オルマイ・インディフェレンテ adj. もはや無関心な 「補語」

per sempre. ペル・シエンプレ adv. 永遠に 「副詞句」

久しぶりに、母さんのことを考えた。

Per la prima volta da molto tempo, ho pensato alla mamma.

「副詞句」 「動詞句」 「間接目的語」

Per la prima volta da molto tempo, ペル・ラ・プラマ・ヴォルタ・ダ・モルト・テンポ adv. 久しぶりに 「副詞句」

ho pensato オ・ペンサート 1 単現・完了形(pensare)v.i(a のことを) 考えた 「動詞句」

alla mamma. アッラ・マンマ adv. 母さんのことを 「間接目的語」

どうして、母さんが人生の終わりに婚約者を作り、再出発しようとしたのか、理解できる気がした。

Mi è parso di comprendere perché, alla fine di una vita, si era preso un “fidanzato”, perché aveva giocato a ricominciare.

「間接目的語」「動詞句」「主語」

Mi ミ pron 僕には

「間接目的語」

è parso エ・パルソ 3 単現・完了形(parére)v.t. ~のように思われた

「動詞句」

di comprendere ディ・コンプレンデレ 不定詞 n. 理解できるということ

「主語」

perché, ペルケ conj. どうして~かということ

「目的語」

alla fine di una vita, アッラ・フィーネ・ディ・ウナ・ヴィータ adv. 人生の終わりに

「副詞句」

si era preso シ・エラ・プレソ 3 単半・完了形(prendersi)v.pr 作った

「動詞句」

un “fidanzato”, ウン・フィザンサート n.m 婚約者を

「目的語」

perché ペルケ conj. どうして~かということ

「目的語」

aveva giocato a ricominciare. アヴェ・ヴァ・ア・ジョカート・ア・リコミンチャーレ 3 単半・完了形・して遊ぶ

(giocare a+不定詞 ricominciare)v.t. 再出発しようとした

「動詞句」

Mi è parso di non doverti nascondere nulla. 君は何事も隠すべきではなかったと私は思った。

そこでも、いくつもの命が消えていくあの養老院の周辺でも、夕暮れは物悲しい休戦のようだ。

Laggiù, anche laggiù, intorno a quell’ospizio dove vite si stavano spegnendo, la sera era come una tréguamelanconica.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」

Laggiù, ラッジュー adv. そこで

「副詞」

anche laggiù, アンケ・ラッジュー adv. そこでも

「副詞句」

intorno a quell’ospizio イントルノ・ア・クェロスピーツィオ adv. あの養老院の周辺で

「副詞句」

dove トーヴェ adv. そこで~する

「副詞節」

vite ヴィーテ pl(vita).n.f 命が

「主語」

si stavano spegnendo, シ・スタヴァノ・スペニント 3 複半・継続・時制の一致

(stare+ジェルンディオ spègnersi)v.pr 消えていく

「動詞句」

la sera ラ・セーラ n.f 夕暮れは

「主語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ~である

「動詞」

come una tréguamelanconica. コーメ・ウナ・トレグ・ウェ・メランコーニカ adv. 物悲しい休戦のような

「補語」

PARTE SECONDA 第2部

死を間近にして、母さんは解放され、全てを生き直す準備ができたと感じたに違いない。

Così vicina alla morte, la mamma doveva sentirsi liberata e pronta a rivivere tutto.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「補語」

Così vicina コシヴィーナ adv. これ程近くで

「副詞句」

alla morte, アッラ・モルテ adv. 死に

「副詞句」

la mamma ラ・マンマ n.f 母さんは

「主語」

doveva sentirsi トヴェーウヴァ・センチルシ 3 単半・可能性(dovére+不定詞 sentirsi)

v.pr 感じたに違いない

「動詞句」

liberata リベラータ 過去分詞(liberare)・受動 adj. 解放された

「補語」

e エ conj. そして

pronta プロンタ adj(pronto).f 準備が出来た

「補語」

a rivivere ア・リーヴァーイヴァーレ 不定詞・目的 adv. 生き直すために

「副詞句」

tutto. トゥット pron 全てを

「目的語」

誰も母さんに対して泣く権利はない。

Nessuno, nessuno aveva il diritto di piangere su di lei.

「主語」 「動詞」 「目的語」

Nessuno, nessuno ネッスーノ・ネッスーノ pron 誰も、誰も～ない

「主語」

aveva アヴェーウヴァ 3 単半・否定文(avére)v.t. ～がない

「動詞」

il diritto イル・ディリット n.m 権利

「目的語」

di piangere ディ・ピアングェレ 不定詞・目的 adv. 泣くための

「副詞句」

su di lei. ス・ディ・レイ adv. 彼女に対して

「間接目的語」

PARTE SECONDA 第2部

そして僕も、全てを生き直す準備ができたと感じた。

E anch'io mi sentivo pronto a rivivere tutto.

E 「主語」「動詞句」「補語」

E エ conj. そして

anch'io アンキオ pron 僕も

「主語」

mi sentivo ミ・センチヴァ 1 単半(sentirsi)v.pr 感じた

「動詞句」

pronto プロント adj. 準備が出来た

「補語」

a rivivere ア・リーヴァーヴェ 不定詞・目的 adv. 生き直すために

「副詞句」

tutto. トゥット pron 全てを

「目的語」

あの大きな怒りが、僕を悪から清め、希望から解放したかのように、兆候と星で一杯のこの夜を前にして僕は世界の優しい無関心に心を開いた。

Cóme se quèlla grande ira mi avesse purgato dal male, liberato dalla speranza, davanti a quèlla notte carica di segni e di stèlle, mi aprivo per la prima vòlta alla dólce indifferenza del mondo.

「副詞節」, 「動詞句」「副詞句」「間接目的語」

Cóme se コーメセ conj. まるで～するように

「副詞節」

quèlla grande ira ケッラ・グランデ・イーラ n.f. あの大きな怒りが

「主語」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

avesse purgato アヴェッセ・プルガート 接・3 単半・完了形(purgare)v.t 清めた

「動詞句」

dal male, ダル・マーレ adv. 悪から

「副詞句」

liberato リベラート 接・3 単半・完了形(liberare)v.t 解放した

「動詞句」

dalla speranza, ダッラ・スペランツァ adv. 希望から

「副詞句」

davanti a quèlla notte ダヴァンティ・ア・ケッラ・ノッテ adv. この夜を前にして

「副詞句」

carica di segni e di stèlle, カリカ・ディ・センニョ・エ・ディ・ステッレ

adv. 兆候と星で一杯の

「副詞句」

mi aprivo ミ・アプリーヴァ 1 単半(aprirsi)v.pr 心を開いた

「動詞句」

per la prima vòlta ペル・ラ・プリーマ・ヴォルタ adv. 初めて

「副詞句」

alla dólce indifferenza アッラ・トールチェ・インディフェランツァ adv. 優しい無関心に

「間接目的語」

del mondo. デル・モンДО adj. 世界の

「形容詞句」

世界がこれほど僕に似ていて、さらにまるで兄弟のようだと気付いて、僕は幸せだった、そして今も
幸せだと感じた。

Nel trovarlo così simile a me, finalmente così fraterno, ho sentito che ero stato felice, e che lo ero ancora.

「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」, e 「目的語」

Nel trovarlo ネル・トロヴァール・ロ adv. それに気づいて

「副詞句」

lo は mondo (世界) の代用

così simile a me, コシ・シミレ・ア・メ adj. これ程僕に似ている

「補語」

finalmente così fraterno, フィナルメンテ・コシ・フラテルノ adj. さらにまるで兄弟のような

「補語」

ho sentito オ・センチート 1 単現・完了形(sentire)v.t 感じた

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

ero stato エロ・スタート 1 単半・完了形(essere)v.i ～だった

「動詞」

felice, フェリーチェ adj. 幸せな

「補語」

e エ conj. そして

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

lo ロ pron (前の文) 幸せであること

「補語」

ero エロ 1 単半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

ancóra. アンコーラ adv. いまだに

「副詞」

Nel+不定詞

「～する時に」「～する際に」「～する中で」という、ジェルンディオと同様に時間や状況を表す表現

Nel parlare con lui, ho capito il problema. 彼と話している時に、問題を理解した。

Nel sentire il fatto, me ne meravigliò. 事実を聞いて、私は驚いた。

In così dire, si mise a lacrimare. そう言って、彼女は泣きだした。

すべてが達成されるように、僕があまり寂しくならないように、僕の処刑の日には大勢の見物人が来て、憎悪の叫びで僕を迎えてくれることを願うだけだ。

Perché tutto sia consumato, perché io sia meno sólo, mi resta da augurarmi che ci siano molti spettatori il giorno della mia esecuzione e che mi accolgano con grida di odio.

「副詞節」, 「間接目的語」 「動詞」 「主語」

Perché ペルケ conj. (目的) ～するために

「副詞節」

tutto トット pron 全てが

「主語」

sia consumato, シア・コンスマート 接・3 単現・受動(consumare)v.t 達成される

「動詞句」

perché ペルケ conj. (目的) ～するために

「副詞節」

io イオ pron 僕は

「主語」

sia シア 接・1 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

meno sólo, メノ・ソロ adj. あまり寂しくない

「補語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

resta レスタ 3 単現(restare)v.i 残っている

「動詞」

da augurarmi ダ・アウグラルミ 不定詞(sugurarsi)・目的 n. 願うことが

「主語」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

ci siano チ・シアーノ 接・3 複現(esserci)v.i 来る

「動詞句」

molti spettatori モルチスペッタトーリ pl(spettatore)n. 大勢の見物人が

「主語」

il giorno イル・ジorno adv. その日に

「副詞句」

della mia esecuzione デラ・ミア・エセクショネ adj. 僕の処刑の

「形容詞句」

e エ conj. そして

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

accolgano アッコルガノ 接・3 複現(accogliere)v.t 迎える

「動詞」

con grida コン・グリダ adv(手段) 叫びで

「副詞句」

di odio. デイ・オー・デオ adj. 憎悪の

「形容詞句」